法と社会
Law and Society

松　島　裕　一（マツシマ　ユウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

この「法と社会」の授業では、法学部生が最初に修得しておくべき、法にまつわる基本的な事柄を学習します。具体的には、社会にはどのような法が存在し、どのような人びとがそうした法をどのように運用しているのか、そして、そうした法は社会においていったいどのような役割を果たしているのか、などを学んでいきます。

おそらく１回生の皆さんは、これから４年間をかけて学んでいく「法」というものに対して漠然としたイメージしか持っていないと思います。この講義を受けて自分なりに「法」というものを説明できるようになることが、この講義の目標です。

授業方法と留意点

講義は、毎時間授業中に配布するレジュメにしたがって行います。

科目学習の効果（資格）

特定の資格試験には対応していませんが、法律学全般にかかわる基本的知識を身につけることができます。次年度以降の本格的な法律学の学習に向けた準備作業だと思って、この講義を受講してください。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　はじめに
【内容・方法　等】　授業の進め方や成績評価の方法などを説明したあと、これから学習していく「法と社会」がどのような科目なのかを簡単に紹介し、そのなかで皆さんに法学部生として学んでほしいことを伝えたいと思います。
【事前・事後学習課題】　復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第２回　【授業テーマ】　社会に存在する、さまざまな法①
【内容・方法　等】　私たちの身の回りにはさまざまな法が存在しています。そこでまず日本に存在するさまざまな法を取り上げ、それらを整理し分類することからこの講義の学習をスタートします。
【事前・事後学習課題】　復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第３回　【授業テーマ】　社会に存在する、さまざまな法②
【内容・方法　等】　前回の講義の続き。「法源」という用語を理解したうえで、日本にはどのような「法源」が存在するのかを学習します。また「法」と似たものとして「道徳」がありますが、両者がどのように異なるのかも考えてみます。
【事前・事後学習課題】　復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第４回　【授業テーマ】　法の担い手①　裁判官
【内容・方法　等】　法は一般市民の生活とも深くかかわりますが、他方で法を専門的に扱う人々も少なからず存在します。第４回の講義では、専門的な法の担い手（法曹）として、まず裁判官が社会で果たしている役割を学習します。
【事前・事後学習課題】　復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第５回　【授業テーマ】　法の担い手②　検察官と弁護士
【内容・方法　等】　前回の講義の続き。第５回の講義では、裁判官以外の法曹として検察官と弁護士を取り上げ、彼らが社会で果たしている役割を学習します。あわせて日本の裁判制度も簡単に説明します。
【事前・事後学習課題】　復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第６回　【授業テーマ】　法の担い手③　法曹養成
【内容・方法　等】　前回の講義の続き。日本では法曹（裁判官・検察官・弁護士）がどのように養成されているのかを学習します。また法曹以外の法律家（準法律家）につてもその仕事内容などを簡単に確認します。
【事前・事後学習課題】　復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第７回　【授業テーマ】　法の役割①　公法
【内容・方法　等】　法が社会においてどのような役割を果たしているのかを学習します。まず第７回の講義では、「公法」と呼ばれる法――例えば、憲法・刑法――の役割について学習します。
【事前・事後学習課題】　復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第８回　【授業テーマ】　法の役割②　私法
【内容・方法　等】　前回の講義の続き。第８回の講義では「私法」と呼ばれる法――例えば、民法・商法――が社会において果たしている役割を、「公法」と比較しながら学習します。
【事前・事後学習課題】　復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第９回　【授業テーマ】　法の役割③　社会法
【内容・方法　等】　前回の講義の続き。公法や私法以外にも「社会法」と呼ばれる法分野――例えば、労働法・社会保障法・経済法――が存在しますが、それらが社会においてどのような役割を果たしているかを学習します。
【事前・事後学習課題】　復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第10回　【授業テーマ】　法の支配①　歴史的背景
【内容・方法　等】　これまでの講義では「法」の存在を当然の前提として説明してきましたが、そもそもなぜ「法」が必要なのでしょう？　第10回の講義では、まず「法の支配」という考え方が誕生してきた歴史的背景を学習します。
【事前・事後学習課題】　復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第11回　【授業テーマ】　法の支配②　理念と内容
【内容・方法　等】　前回の講義の続き。「法の支配」が何を理想とし、具体的にどのようなことを内容としているのかを学習します。「法の支配」と類似の観念として「法治主義」と呼ばれるものがありますが、これについても簡単に説明します。
【事前・事後学習課題】　復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第12回　【授業テーマ】　日本社会と日本国憲法①　個人の尊重
【内容・方法　等】　「法の支配」の考え方は、現在の日本国憲法にも当然に継承されています。第12回の講義では「個人の尊重」という観点から日本国憲法における「法の支配」を学習します。
【事前・事後学習課題】　復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第13回　【授業テーマ】　日本社会と日本国憲法②　民主政治
【内容・方法　等】　前回の続き。第13回の講義では、日本国憲法における統治機構の仕組みを「民主政治（民主主義）」という観点から概観し、「法の支配」という考え型がどのように日本社会に生かされているのかを学習します。
【事前・事後学習課題】　復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第14回　【授業テーマ】　21世紀の日本社会と法
【内容・方法　等】　21世紀に入り、社会が激しく変化していくにつれて、そこで期待されている法の役割も少しずつ変化を遂げているのかもしれません。第14回の講義では現代社会に特有の問題を取り上げ、それに法がどのように対処すべきかを考えてみます。
【事前・事後学習課題】　復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第15回　【授業テーマ】　授業全体のまとめ
【内容・方法　等】　これまでの講義で論じてきた事柄を簡単に復習し、社会のなかで法が果たすべき役割について考えてみます（可能であれば、これまでの講義で論じることができなかったトピックを補足説明する予定です）。
【事前・事後学習課題】　復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

評価方法（基準）

定期試験の成績70％と小テストおよび提出物など30％によって総合的に評価します。ただし受講者が少ない場合、定期試験に代えてレポートを実施します。なお、授業中の私語については、単位不認定を含め、厳しく対処します。

教材等

教科書…教科書は使用しません。
参考書…『2014年法学検定試験問題集ベーシック（基礎）コース』2200円程度（この問題集は講義の復習として最適なので、購入をお奨めします）

学生へのメッセージ

この「法と社会」の授業では、すべての法律学にかかわる基礎的知識を学習します。それゆえ、この講義の内容をしっかり理解することが、次年度以降の法律学の学習にとってとても重要になります。授業中に理解できなかったことや疑問に思ったことが出てきたら放っておかず、授業終了後に遠慮なく質問に来てください。

関連科目

すべての法律科目に関連します。この講義とあわせて、同じ法学入門科目である「法の基礎」（１年次後期開講）もぜひ受講してほしいと思います。また、法と社会の関係についてもっと深く知りたい学生は「法社会学」（３年次前期開講）を受講してください。

担当者の研究室等

11号館9階　松島講師室

備考

受講生の興味関心に応じて授業内容を多少変更するかもしれませんので、そのつもりで講義に臨んでください。

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　11　2014/10/14　17:50:31

法の基礎
Jurisprudence

木　村　秀　一（キムラ　ヒデカズ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
法令集の使い方・読み方をはじめとして、法を学ぶために最低限必要な知識を修得することを目指す。規範とは何か、法とは何か、法の支配、民主国家の意味、日本国憲法の基本的原則、基本的人権、権利と義務のような法律学習の基礎となる基本概念・原則について講義する。

授業方法と留意点
AV教室においてノートパソコン画面をディスプレイに表示しながら、講義を行う。全学生がノートを取れるようスピード調整しながら行う。プリントを配布する。教材フォルダにアップロードしてあるので、第一回目の授業までに各自で入手すること。

科目学習の効果（資格）
法学検定試験（ベーシックコース）の出題範囲中「法学入門」分野の知識の一部を学習できる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】** 法の意味と役割
【内容・方法　等】 法の支配、法の存在形式、成文法と不文法
【事前・事後学習課題】 配付プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。
第２回　**【授業テーマ】** 成文法（１）
【内容・方法　等】 日本国憲法、憲法の基本原理、基本的人権、法律、命令
【事前・事後学習課題】 配付プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。
第３回　**【授業テーマ】** 成文法（２）
【内容・方法　等】 条例、裁判所規則、議院規則、条約
【事前・事後学習課題】 配付プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。
第４回　**【授業テーマ】** 不文法（１）
【内容・方法　等】 慣習法、条理、法の一般原理
【事前・事後学習課題】 配付プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。
第５回　**【授業テーマ】** 不文法（２）
【内容・方法　等】 法の一般原理、法理、判例法
【事前・事後学習課題】 配付プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。
第６回　**【授業テーマ】** 法令（１）
【内容・方法　等】 条・項・号の意味、条文の削除と追加
【事前・事後学習課題】 配付プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。
第７回　**【授業テーマ】** 法令（２）
【内容・方法　等】 法令番号、見出し、本則と附則
【事前・事後学習課題】 配付プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。
第８回　**【授業テーマ】** 法令（３）
【内容・方法　等】 法令の制定改廃、法令の公布と施行
【事前・事後学習課題】 配付プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。
第９回　**【授業テーマ】** 法の種類（１）
【内容・方法　等】 一般法と特別法、強行法と任意法、公法と私法
【事前・事後学習課題】 配付プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。
第10回　**【授業テーマ】** 法の種類（２）
【内容・方法　等】 実体法と手続法、実定法と自然法、基本権、その他
【事前・事後学習課題】 配付プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。
第11回　**【授業テーマ】** 法令用語（１）
【内容・方法　等】 「及び・並びに」、「又は・若しくは」、「以上・超える」　など
【事前・事後学習課題】 配付プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。
第12回　**【授業テーマ】** 法令用語（２）
【内容・方法　等】 「場合・とき」、「者・もの・物」、「適用・準用」・例による」など
【事前・事後学習課題】 配付プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。
第13回　**【授業テーマ】** 法令用語（３）
【内容・方法　等】 「権利・権限・権原」、「代理・委任」、「違法・適法・不法・合法」など
【事前・事後学習課題】 配付プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。
第14回　**【授業テーマ】** 法令用語（４）
【内容・方法　等】 「審問・尋問・審尋」、「告訴・告発」、「控訴・公訴」など
【事前・事後学習課題】 配付プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。
第15回　**【授業テーマ】** 法の解釈
【内容・方法　等】 有権解釈・目的論的解釈・拡大解釈・縮小解釈・類推解釈・反対解釈
【事前・事後学習課題】 配付プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

評価方法（基準）
期末に試験を行い、その結果によって評価する。内容は、原則として、マークシート方式で、５０問を出題する。

教材等
教科書…なし
参考書…なし

学生へのメッセージ
授業中の私語をなくすため、座席指定とし、私語を厳しく取り締まる。六法は必ず持参すること。六法がないと、授業はまったくわからない。確実な理解をはかるため質問日なども設ける。

関連科目
すべての法律科目

担当者の研究室等
11号館10階　木村教授室

法哲学I
Philosophy of Law I

松　島　裕　一（マツシマ　ユウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
法哲学とは、その名の通り、法を哲学的に考察する学問分野です。「哲学」という言葉の響きに嫌悪感や苦手意識を持っている学生がいるかもしれませんが、「哲学的に考察する」とは、言い方を換えれば、「物事を批判的に考えてみる」ことにほかなりません。したがってこの講義では、法にまつわるさまざまな問題を、条文や判例にとらわれずに――そして、可能なかぎり哲学の難しい専門用語を使わずに――批判的に考えてみたいと思います。

授業方法と留意点
講義は、毎時間授業中に配布するレジュメにしたがって行います。

科目学習の効果（資格）
法学検定試験や公務員試験などの教養問題に一部対応しています。また、法哲学で扱われるテーマは法科大学院入学試験の小論文（未修者コース）の素材となることが多いので、法科大学院の受験を検討している学生には受講を強く推奨します。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】** 法哲学とは？
【内容・方法　等】 授業の進め方や成績評価の方法などを説明したあと、これから学習していく「法哲学」がどのような科目なのか、なぜ法学部で法哲学を学ぶ必要があるのかを簡単に解説します。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。
第２回　**【授業テーマ】** 人工生殖
【内容・方法　等】 科学技術の進展とともに人工生殖技術も劇的に発展しています。近年代理母やクローンが社会問題になっていますが、これらは全面的に禁止されるべきでしょうか？
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。
第３回　**【授業テーマ】** 自己決定その１
【内容・方法　等】 自分の所有物は自分の意思で自由に処分できるのが原則です。しかし、自分の命を自由に処分することは許されるでしょうか？　例えば、人間には自殺する自由があるでしょうか？
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。
第４回　**【授業テーマ】** 自己決定その２
【内容・方法　等】 前回の続き。他人に迷惑を掛けなければ自分の身体を自由に使用してもよいでしょうか？　例えば、当事者の自由意思に基づく売春や麻薬使用は禁止されるべきことなのでしょうか？
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。
第５回　**【授業テーマ】** 死刑制度
【内容・方法　等】 日本では死刑制度が存置されていますが、世界的に見れば死刑廃止国が増加しています。死刑制度は本当に必要でしょうか？　必要だとすればそれはなぜでしょうか？
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返す

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　12　2014/10/14　17:50:31

こと。予習は講義中に指示します。
第６回　【授業テーマ】　犯罪報道
【内容・方法　等】　犯罪をめぐる報道の在り方が問題になっています。例えば、未成年の加害者を実名報道することは許されるでしょうか？　被害者には実名報道を拒否する権利があるでしょうか？
【事前・事後学習課題】　復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。
第７回　【授業テーマ】　動物の権利
【内容・方法　等】　動物はペットとして人間によって保護されるべき存在でありますが、しかし同時に、医学の実験などにおいてはその命を利用される存在でもあります。そもそも人間にとって動物はいかなる存在なのでしょうか？
【事前・事後学習課題】　復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。
第８回　【授業テーマ】　社会福祉
【内容・方法　等】　近年生活保護の不正受給が問題になっていますが、そもそも国家はなぜ社会的弱者を保護しなければならないのでしょうか？　なぜ高所得者は低所得者のために高い税金を支払わなければならないのでしょうか？
【事前・事後学習課題】　復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。
第９回　【授業テーマ】　国際援助
【内容・方法　等】　日本は世界でも有数の豊かな国ですが、貧困に苦しむ国も世界には数多くあります。日本は貧困国を援助する義務があるでしょうか？　義務があるとすれば、それはなぜでしょうか？
【事前・事後学習課題】　復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。
第10回　【授業テーマ】　多文化主義
【内容・方法　等】　世界の国々には他国の人々にはなかなか理解しがたいさまざまな風習があります。例えば、アフリカには女子割礼の風習がありますが、その風習を他国の人々が批判することは許されるでしょうか？
【事前・事後学習課題】　復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。
第11回　【授業テーマ】　正義の戦争
【内容・方法　等】　世界中を見渡せば、戦争や紛争がいたるところで勃発しています。そもそも正しい目的を達するためであれば、戦争という手段も許されるのでしょうか？　許されるとすれば、それはなぜでしょうか？
【事前・事後学習課題】　復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。
第12回　【授業テーマ】　戦争責任
【内容・方法　等】　日本やドイツは第二次世界大戦で敗戦し、周辺国に多くの被害をもたらしました。しかし、なぜ戦争当事者ではない現世代のひとびとが前世代の犯した戦争責任を償わなければならないのでしょうか？
【事前・事後学習課題】　復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。
第13回　【授業テーマ】　リスク社会
【内容・方法　等】　原発問題で明らかになったように、私たちの生活を便利にするものが、他方で私たちの生活を脅かすものに転化する可能性があります。私たちはこうしたリスクにどのように対処すべきでしょうか？
【事前・事後学習課題】　復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。
第14回　【授業テーマ】　国家と法
【内容・方法　等】　第2回から第13回で論じてきた各問題は、「国家」や「法」の存在を当然の前提にしてきました。しかし、本当に国家や法は必要なのでしょうか？　必要だとすれば、それはなぜでしょうか？
【事前・事後学習課題】　復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。
第15回　【授業テーマ】　授業全体のまとめ
【内容・方法　等】　これまでの講義で論じてきた事柄を簡単に復習し、法の果たすべき役割について考えてみます（可能であれば、これまでの講義で論じることができなかったトピックを補足説明する予定です）。
【事前・事後学習課題】　復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

評価方法（基準）
定期試験の成績55％と毎回の提出物45％によって総合的に評価します（定期試験は必ず受験してください）。ただし受講者が少ない場合、定期試験に代えてレポートを実施します。なお、授業中の私語については、単位不認定を含め、厳しく対処します。一定時間経過後の理由なき遅刻については平常点から減点します。

教材等
教科書…教科書は使用しません。
参考書…深田三徳ほか『よくわかる法哲学・法思想』ミネルヴァ書房（2,730円）

学生へのメッセージ
この法哲学Iでは具体的な問題を取り上げますが、それらに唯一の正解は存在しません。重要なのは答えではなく、それを支える論理です。「法律で決まっているから」や「最高裁判所が判決で言っているから」という回答は法哲学という科目では通用しませんので、そのつもりで受講してください。

関連科目
直接的には法哲学II、法思想史と関連しますが、それ以外にも広く実定法学（憲法・民法・刑法など）の学習の一助になると思います。

担当者の研究室等
11号館9階　松島講師室

備考
受講生の興味関心に応じて多少授業内容を変更するかもしれませんので、そのつもりで講義に臨んでください。

法哲学II
Philosophy of Law II

松　島　裕　一（マツシマ　ユウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
法哲学とは、その名の通り、法を哲学的に考察する学問分野ですが、より具体的には、「法とは何か」、「法はいかに解釈すべきか」、「何が正義にかなっているか」といった法律学全般にかかわる基礎的な問題を扱う科目です。この講義では、法哲学の主要三部門と見なされている伝統的なテーマ――「法の一般理論」、「法学方法論」、「正義論（法価値論）」――にそくして法哲学の基本的事項を学習するとともに、普段の実定法の学習ではあまり意識されることのない「法（法律学）のあるべき姿」について考えてみたいと思います。

授業方法と留意点
講義は、毎時間授業中に配布するレジュメにしたがって行います。

科目学習の効果（資格）
法学検定試験や公務員試験などの教養問題に一部対応しています。また、法哲学で扱われるテーマは法科大学院入学試験の小論文（未修者コース）の素材となることが多いので、法科大学院の受験を検討している学生には受講を強く推奨します。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　法哲学とは？
【内容・方法　等】　授業の進め方や成績評価の方法などを説明したあと、これから学習していく「法哲学」がどのような科目であるかを簡単に解説します。その際、法哲学の基本的な参考文献を紹介します。
【事前・事後学習課題】　復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。
第２回　【授業テーマ】　法哲学の来歴
【内容・方法　等】　法哲学は、別名、法理学とも呼ばれます。そこで、この二つの名称のちがいに着目して、英米と大陸（ドイツ）における同科目の基本的な相違点と、それが日本に導入された経緯について説明します。
【事前・事後学習課題】　復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。
第３回　【授業テーマ】　正義論①　西洋における正義観念
【内容・方法　等】　西洋法思想において「正義」（dikaiosyne, iustitia, justice）がどのように理解されていたかを、古代ギリシア・ローマや中世の法思想にさかのぼって概観し、現代正義論の思想史的背景を確認します。
【事前・事後学習課題】　復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。
第４回　【授業テーマ】　正義論②　ロールズ『正義論』
【内容・方法　等】　現代正義論に多大なインパクトを与えたロールズ『正義論』を学習します。まず彼の基本的なアイデア（原初状態・正と善の区別など）を確認し、そのあとで彼の主張する「正義の二原理」を検討してみます。
【事前・事後学習課題】　復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。
第５回　【授業テーマ】　正義論③　リバタリアニズム
【内容・方法　等】　ロールズへの批判的主張として、リバタリアニズム（自由至上主義）を取り上げます。この講義では、おもにノージックの主張を検討しながら、課税や刑罰権といった国家の役割について考えてみる予定です。
【事前・事後学習課題】　復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。
第６回　【授業テーマ】　正義論④　共同体主義
【内容・方法　等】　ロールズへのもうひとつの批判的主張として、共同体主義を取り上げます。共同体主義の代表的論者の基本的立場や哲学的背景を学習するとともに、それらの学習を通じてロールズ『正義論』のより深い理解を目指します。

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　13　2014/10/14　17:50:31

【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第７回 【授業テーマ】 正義論⑤　現代正義論への視座
【内容・方法　等】 現代正義論を補完する議論として、ハーバーマスの討議倫理、キムリッカの多文化主義、バトラーらのフェミニズムを紹介します。これらの議論を知ることで、現代社会に求められている多様な「正義」について考えてみます。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第８回 【授業テーマ】 法学方法論①　ハートの司法裁量論
【内容・方法　等】 まず、現代の法学方法論の前史として、19世紀までの法律学の状況を簡単に説明します。そのあとで、H・L・A・ハートが『法の概念』で展開した司法裁量論の概要を説明し、その問題点を検討します。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第９回 【授業テーマ】 法学方法論②　ドゥウォーキンの法理論
【内容・方法　等】 この回ではドゥウォーキンの法解釈にかんする理論を、前回のハートとの対比を通じて学習します。はたして難事件（hard case）においても、唯一の正しい法解釈は存在するのでしょうか？　考えてみましょう。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第10回 【授業テーマ】 法学方法論③　ドイツにおける議論
【内容・方法　等】 ドイツでは法学方法論をめぐって、さまざまな理論が提唱されています。この講義では、エッサー、クリーレらの法律学的ヘルメノイティク、フィーヴェクのトピク論、アレクシーの法的議論の理論を学習します。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第11回 【授業テーマ】 法学方法論④　日本の法解釈論争
【内容・方法　等】 これまで学習した英米とドイツの解釈理論と照らし合わせながら、戦後日本の法学解釈論争を学習します。法解釈とはいかなる作業であるかを検討し、あわせて法律学における「客観性」についても考えてみます。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第12回 【授業テーマ】 法の一般理論①　自然法論
【内容・方法　等】 20世紀にいたるまでの自然法論の思想史的系譜を簡単に振り返ったあとで、ラートブルフの再生自然法論、フラーの「法の内面道徳」、フィニスの新しい自然法論を学習し、自然法論の可能性とその限界を考察します。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第13回 【授業テーマ】 法の一般理論②　法実証主義
【内容・方法　等】 代表的な現代の法実証主義者として、ケルゼン、ハート、ラズの三人を取り上げます。彼らの主張と自然法論者の主張とを比較検討することを通じて、「法と道徳」のあり方について考えてみます。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第14回 【授業テーマ】 法の一般理論③　法の三類型モデル
【内容・方法　等】 日本を代表する法哲学者である田中成明の「法の三類型モデル」を手がかりにしながら、現代社会における法の変容や、日本社会における「法の支配」の問題などを考察します。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第15回 【授業テーマ】 授業全体のまとめ
【内容・方法　等】 これまでの講義で論じてきた事柄を簡単に復習し、「法のあるべき姿」というものについて考えてみます（可能であれば、これまでの講義で論じることができなかったトピックを補足説明する予定です）。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

評価方法（基準）

定期試験の成績55％と毎回の提出物45％によって総合的に評価します（定期試験は必ず受験してください）。ただし受講者が少ない場合、定期試験に代えてレポートを実施します。なお、授業中の私語については、単位不認定を含め、厳しく対処します。一定時間経過後の理由なき遅刻については平常点から減点します。

教材等

教科書…教科書は使用しません。
参考書…中山竜一『二十世紀の法思想』岩波書店（2,310円）
R・ワックス『法哲学（1冊でわかるシリーズ）』岩波書店（1,890円）

学生へのメッセージ

この法哲学Ⅱの講義では法哲学Ⅰと比べてかなり難解で抽象的なテーマを扱う予定なので、法哲学に興味のない学生には、率直に言って、退屈な授業内容になるかもしれません。具体例を用いてできるだけ分かりやすく説明するように心がけますので、皆さんも理解できない点が出てきたら遠慮なく質問してください。

関連科目

直接的には法哲学Ⅰ、法思想史と関連しますが、それ以外にも広く実定法学（憲法・民法・刑法など）の学習の一助になると思います。

担当者の研究室等

11号館9階　松島講師室

法思想史
History of Legal Thought

松　島　裕　一（マツシマ　ユウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

法思想史とは、過去の思想家たちが法や正義をどのように理解してきたかを考察する学問分野です。この講義では、西洋世界に地域を限定したうえで、古典古代から19世紀までに登場したさまざまな法思想を駆け足で見ていきます（20世紀以降の新しい法思想は法哲学Ⅱで扱います）。

個々の思想家にかんする知識をたんに丸暗記するのではなく、各法思想に含まれる普遍性と特殊性――いつの時代においても通用する普遍的なアイデアとその時代にしか通用しない特殊なアイデア――を的確に見極められるようになることがこの講義の目標です。

授業方法と留意点

講義は、毎時間授業中に配布するレジュメにしたがって行います。

科目学習の効果（資格）

法学検定試験や公務員試験などの教養問題に一部対応しています。また、法科大学院入学試験の小論文（未修者コース）のヒントになる前提知識が獲得できると思います。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 法思想史とは？
【内容・方法　等】 授業の進め方や成績評価の方法などを説明したあと、これから学習していく「法思想史」がどのような科目なのか、なぜ法学部で西洋法思想の歴史を学ぶ必要があるのかを簡単に解説します。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第２回 【授業テーマ】 古代ギリシアの法思想①　哲学の起こり
【内容・方法　等】 「哲学」という独特の思考様式がなぜ古代ギリシアで誕生したのか、そして、それが後代の西洋世界にどのような影響を及ぼしたのかを学習します。哲学以前のホメロス・ヘシオドスの叙事詩も簡単に紹介します。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第３回 【授業テーマ】 古代ギリシアの法思想②　ソクラテスとプラトン
【内容・方法　等】 プラトンの前期著作を通じてソクラテスが追究した正しい生き方を概観するとともに、中後期著作でプラトン自身が構想した独創的な正義論・国家論の概要をを学習します。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第４回 【授業テーマ】 古代ギリシアの法思想③　アリストテレス
【内容・方法　等】 万学の祖アリストテレスの著作集はいずれも重要ですが、この回の講義では論理学関連の著作からは論理的思考の芽生え、『ニコマコス倫理学』からは正義論、『政治学』からは国制論をそれぞれ学習します。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第５回 【授業テーマ】 古代ローマの法思想　ローマ法の誕生
【内容・方法　等】 現代の法律学の基礎をなすローマ法がどのような経緯で誕生し、またそれにはどのような事柄が規定されているのかを学習します。また、当時のローマで栄えたストア派の法思想についても簡単に説明します。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第６回 【授業テーマ】 古代から中世へ　キリスト教と教父哲学
【内容・方法　等】 西洋の法思想に今なお強い影響力を及ぼし続けているキリスト教の成立とその教義をごく簡単に説明したうえで、最大の教父哲学者アウグスティヌスの法思想を『神の国』を中心に解説します。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第７回 【授業テーマ】 中世の法思想①　ローマ法の復活
【内容・方法　等】 ローマ帝国の衰退からいわゆる12世紀ルネサンスにおけるローマ法の復活にいたるまでの歴史的経緯を説明し、あわせてトマス以前の法思想の状況についても

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　14　2014/10/14　17:50:32

簡単に紹介します。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第８回 【授業テーマ】 中世の法思想② トマス・アクィナス
【内容・方法 等】 中世最大の哲学者トマス・アクィナスの法思想を『神学大全』を中心に解説します。可能であれば、ウィリアム・オッカムやドゥンス・スコトゥスの法思想も取り上げます。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第９回 【授業テーマ】 中世から近代へ ルネサンスと宗教改革
【内容・方法 等】 中学高校の世界史でも必ず取り上げられる「ルネサンス」と「宗教改革」ですが、これらの出来事がそれ以降の法思想にどのような影響を与えたのかを、中世の法思想との対比を通じて学習します。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第10回 【授業テーマ】 近代イギリスの法思想① ホッブズ
【内容・方法 等】 第10回から第12回までは社会契約説を学習します。まずこの回の講義ではホッブズ『リヴァイアサン』を取り上げ、彼の法思想を当時のイングランドの社会背景とあわせて学習します。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第11回 【授業テーマ】 近代イギリスの法思想② ロック
【内容・方法 等】 社会契約論を代表する第二の思想家としてジョン・ロックを取り上げ、『統治論』で示されている法思想を学習します。ロックからやや時代が下りますが、ヒュームやベンサムの法思想も簡単に紹介します。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第12回 【授業テーマ】 近代フランスの法思想 ルソー
【内容・方法 等】 社会契約論の最後の論者としてルソーを取り上げ、『社会契約論』で展開されている「一般意思」という考え方を学習します。あわせてモンテスキュー『法の精神』における権力分立の思想も解説します。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第13回 【授業テーマ】 近代ドイツの法思想① カントとヘーゲル
【内容・方法 等】 ドイツ観念論の系譜を簡単に説明したうえで、カント『人倫の形而上学』とヘーゲル『法の哲学』を中心的に取り上げ、彼らの法思想のエッセンスを解説します。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第14回 【授業テーマ】 近代ドイツの法思想② 歴史法学と概念法学
【内容・方法 等】 19世紀のドイツで展開された法思想を学習します。具体的にはサヴィニーに代表される歴史法学に始まり、ヴィントシャイトの概念法学を経て、イェーリングへと至る道のりを学習します。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第15回 【授業テーマ】 授業全体のまとめ
【内容・方法 等】 これまでの講義で論じてきた事柄を簡単に復習し、各法思想の普遍性と特殊性について考えてみます（可能であれば、これまでの講義で論じることができなかったトピックを補足説明する予定です）。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

評価方法（基準）
定期試験の成績55％と毎回の提出物45％によって総合的に評価します（定期試験は必ず受験してください）。ただし受講者が少ない場合、定期試験に代えてレポートを実施します。なお、授業中の私語については、単位不認定を含め、厳しく対処します。一定時間経過後の理由なき遅刻については平常点から減点します。

教材等
教科書…教科書は使用しません。
参考書…田中成明ほか『法思想史 第2版』有斐閣（1,890円）
長谷部恭男『法とは何か――法思想史入門』河出書房新社（1,260円）
三島淑臣『新版 法思想史』青林書院（5,100円）

学生へのメッセージ
この法思想史の講義では、法思想の「古典」と呼ばれる著作を毎時間取り上げます。授業では各法思想の要点しか説明できませんので、興味のある古典作品が出てきたらぜひ積極的に読書をしてほしいと思います。時代を超えて読み継がれてきた古典作品と向き合うことは、学生の皆さんにとってきっと有意義な読書体験になるはずです。

関連科目
直接的には法哲学I、同II、西洋の裁判の歴史などと関連しますが、それ以外にも広く実定法学（憲法・民法・刑法など）の学習の一助になると思います。

担当者の研究室等
11号館9階 松島講師室

備考
授業の進行状況によってはシラバスの内容が多少変更になるかもしません。

法思想史I
History of Legal Thought I

松 島 裕 一（マツシマ ユウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
法思想史とは、過去の思想家たちが法や正義をどのように理解してきたかを考察する学問分野です。この講義では、西洋世界に地域を限定したうえで、古典古代から19世紀までに登場したさまざまな法思想を駆け足で見ていきます（20世紀以降の新しい法思想は法哲学IIで扱います）。
個々の思想家にかんする知識をたんに丸暗記するのではなく、各法思想に含まれる普遍性と特殊性――いつの時代においても通用する普遍的なアイデアとその時代にしか通用しない特殊なアイデア――を的確に見極められるようになることがこの講義の目標です。

授業方法と留意点
講義は、毎時間授業中に配布するレジュメにしたがって行います。

科目学習の効果（資格）
法学検定試験や公務員試験などの教養問題に一部対応しています。また、法科大学院入学試験の小論文（未修者コース）のヒントになる前提知識が獲得できると思います。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 法思想史とは？
【内容・方法 等】 授業の進め方や成績評価の方法などを説明したあと、これから学習していく「法思想史」がどのような科目なのか、なぜ法学部で西洋法思想の歴史を学ぶ必要があるのかを簡単に解説します。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第２回 【授業テーマ】 古代ギリシアの法思想① 哲学の起こり
【内容・方法 等】 「哲学」という独特の思考様式がなぜ古代ギリシアで誕生したのか、そして、それが後代の西洋世界にどのような影響を及ぼしたのかを学習します。哲学以前のホメロス・ヘシオドスの叙事詩も簡単に紹介します。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第３回 【授業テーマ】 古代ギリシアの法思想② ソクラテスとプラトン
【内容・方法 等】 プラトンの前期著作を通じてソクラテスが追究した正しい生き方を概観するとともに、中後期著作でプラトン自身が構想した独創的な正義論・国家論の概要をを学習します。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第４回 【授業テーマ】 古代ギリシアの法思想③ アリストテレス
【内容・方法 等】 万学の祖アリストテレスの著作集はいずれも重要ですが、この回の講義では論理学関連の著作からは論理的思考の芽生え、『ニコマコス倫理学』からは正義論、『政治学』からは国制論をそれぞれ学習します。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第５回 【授業テーマ】 古代ローマの法思想 ローマ法の誕生
【内容・方法 等】 現代の法律学の基礎をなすローマ法がどのような経緯で誕生し、またそれにはどのような事柄が規定されているのかを学習します。また、当時のローマで栄えたストア派の法思想についても簡単に説明します。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第６回 【授業テーマ】 古代から中世へ キリスト教と教父哲学
【内容・方法 等】 西洋の法思想に今なお強い影響力を及ぼし続けているキリスト教の成立とその教義をごく簡単に説明したうえで、最大の教父哲学者アウグスティヌスの法思想を『神の国』を中心に解説します。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第７回 【授業テーマ】 中世の法思想① ローマ法の復活
【内容・方法 等】 ローマ帝国の衰退からいわゆる12世紀ルネサンスにおけるローマ法の復活にいたるまでの歴史的経緯を説明し、あわせてトマス以前の法思想の状況についても簡単に紹介します。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd 15 2014/10/14 17:50:32

第８回　【授業テーマ】 中世の法思想②　トマス・アクィナス
【内容・方法　等】 中世最大の哲学者トマス・アクィナスの法思想を『神学大全』を中心に解説します。可能であれば、ウィリアム・オッカムやドゥンス・スコトゥスの法思想も取り上げます。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第９回　【授業テーマ】 中世から近代へ　ルネサンスと宗教改革
【内容・方法　等】 中学高校の世界史でも必ず取り上げられる「ルネサンス」と「宗教改革」ですが、これらの出来事がそれ以降の法思想にどのような影響を与えたのかを、中世の法思想との対比を通じて学習します。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第10回　【授業テーマ】 近代イギリスの法思想①　ホッブズ
【内容・方法　等】 第10回から第12回までは社会契約説を学習します。まずこの回の講義ではホッブズ『リヴァイアサン』を取り上げ、彼の法思想を当時のイングランドの社会背景とあわせて学習します。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第11回　【授業テーマ】 近代イギリスの法思想②　ロック
【内容・方法　等】 社会契約論を代表する第二の思想家としてジョン・ロックを取り上げ、『統治論』で示されている法思想を学習します。ロックからやや時代が下りますが、ヒュームやベンサムの法思想も簡単に紹介します。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第12回　【授業テーマ】 近代フランスの法思想　ルソー
【内容・方法　等】 社会契約論の最後の論者としてルソーを取り上げ、『社会契約論』で展開されている「一般意思」という考え方を学習します。あわせてモンテスキュー『法の精神』における権力分立の思想も解説します。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第13回　【授業テーマ】 近代ドイツの法思想①　カントとヘーゲル
【内容・方法　等】 ドイツ観念論の系譜を簡単に説明したうえで、カント『人倫の形而上学』とヘーゲル『法の哲学』を中心的に取り上げ、彼らの法思想のエッセンスを解説します。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第14回　【授業テーマ】 近代ドイツの法思想②　歴史法学と概念法学
【内容・方法　等】 19世紀のドイツで展開された法思想を学習します。具体的にはサヴィニーに代表される歴史法学に始まり、ヴィントシャイトの概念法学を経て、イェーリングへと至る道のりを学習します。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

第15回　【授業テーマ】 授業全体のまとめ
【内容・方法　等】 これまでの講義で論じてきた事柄を簡単に復習し、各法思想の普遍性と特殊性について考えてみます（可能であれば、これまでの講義で論じることができなかったトピックを補足説明する予定です）。
【事前・事後学習課題】 復習は毎回のノート・資料を読み返すこと。予習は講義中に指示します。

評価方法（基準）
定期試験の成績55％と毎回の提出物45％によって総合的に評価します（定期試験は必ず受験してください）。ただし受講者が少ない場合、定期試験に代えてレポートを実施します。なお、授業中の私語については、単位不認定を含め、厳しく対処します。一定時間経過後の理由なき遅刻については平常点から減点します。

教材等
教科書…教科書は使用しません。
参考書…田中成明ほか『法思想史 第2版』有斐閣（1,890円）
長谷部恭男『法とは何か――法思想史入門』河出書房新社（1,260円）
三島淑臣『新版 法思想史』青林書院（5,100円）

学生へのメッセージ
この法思想史の講義では、法思想の「古典」と呼ばれる著作を毎時間取り上げます。授業では各法思想の要点しか説明できませんので、興味のある古典作品が出てきたらぜひ積極的に読書をしてほしいと思います。時代を超えて読み継がれてきた古典作品と向き合うことは、学生の皆さんにとってきっと有意義な読書体験になるはずです。

関連科目
直接的には法哲学I、同II、西洋の裁判の歴史などと関連しますが、それ以外にも広く実定法学（憲法・民法・刑法など）の学習の一助になると思います。

担当者の研究室等
11号館9階　松島講師室

備考
授業の進行状況によってはシラバスの内容が多少変更になるかもしません。

法社会学
Sociology of Law

前　田　剛　志（マエダ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
実定法の学習が進み、条文の細かな知識が増えるにつれ、法律学や現実の社会に対するさまざまな疑問が出てくるのではないでしょうか？　例えば、実社会は法律の条文どおりに動いているのだろうかとか、世の中のどれくらいの紛争が裁判所に持ち込まれているのだろうか等々。
この授業では、実定法の学習だけでは見えてこないような社会と法のかかわりについて、さまざまな統計データや理論を用いて検討を加えていくことで、法社会学の基本的事項を学習していきます。

授業方法と留意点
講義は、適宜配布するレジュメにしたがって行います。

科目学習の効果（資格）
可能なかぎり、実定法科目の理解を促進するような授業を行う予定です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】 法社会学とは？
【内容・方法　等】 授業の進め方や成績評価の方法などを説明したあと、これから学習していく「法社会学」がどのような科目であるかを簡単に解説します。その際、法社会学の基本的な参考文献を紹介します。
【事前・事後学習課題】 事前の予習は必要ありませんので、毎回の授業内容を復習するように努めてください。

第２回　【授業テーマ】 法専門職①　裁判官
【内容・方法　等】 各国の法曹制度を比較しながら、日本の法曹の特色を説明していきます。まず最初に裁判官を取り上げ、彼らのおかれている状況を検討します。また、司法行政の実態については詳しく考察する予定です。
【事前・事後学習課題】 授業を聞いて、裁判官に対する印象は変わりましたか？　感想をまとめておいてください。

第３回　【授業テーマ】 法専門職②　弁護士
【内容・方法　等】 前回の続き。日本の弁護士について考察します。はたして弁護士は市民にとって身近な存在なのでしょうか？　さらに司法書士、弁理士、行政書士などの職業を取り上げ、その職務内容をあわせて説明します。
【事前・事後学習課題】 授業を聞いて、弁護士に対する印象は変わりましたか？　感想をまとめておいてください。

第４回　【授業テーマ】 刑事事件と法①　日本の犯罪の現状
【内容・方法　等】 連日のように凶悪犯罪が報道され、日本の安全神話が崩壊しつつあります。しかし、本当に日本は犯罪の多い危険な社会なのでしょうか？また昔に比べ、本当に犯罪は凶悪化しているのでしょうか？
【事前・事後学習課題】 授業内容に関心を持った学生は、授業中に紹介した本を読み、その感想を書いてください。

第５回　【授業テーマ】 刑事事件と法②　日本の刑事司法の現状
【内容・方法　等】 警察による捜査活動、検察官による起訴判断、裁判における量刑などを手がかりに、日本の刑事司法の現状とその問題点を学習します（法専門職としての検察官についてはこの回に解説します）。
【事前・事後学習課題】 刑事訴訟法で学習したことと比較しながら、刑事司法の問題点を考えてみてください。

第６回　【授業テーマ】 刑事事件と法③ 刑事弁護活動
【内容・方法　等】 刑事司法過程において、被疑者・被告人のために活動する弁護士が実際にどのようなことを行ってるかを学習します。
【事前・事後学習課題】 テレビでも映画でも書籍でも良いので、自分なりの弁護士像をイメージしておいてください。

第７回　【授業テーマ】 民事紛争と法①　訴訟の要因
【内容・方法　等】 世の中のすべての紛争が裁判所に持ち込まれるわけではありません。いったい、人々はどのような場合に訴訟を検討し始め、逆にどのような場合に訴訟を回避しようとするのでしょうか？
【事前・事後学習課題】 友達や恋人とけんかしたとき、皆さんはどのように解決していますか？

第８回　【授業テーマ】 民事紛争と法②　紛争処理
【内容・方法　等】 交通事故などのトラブルを素材にして、紛争発生から紛争解決までのプロセスを学習します。またこの回の授業の中で、ADR（代替的紛争処理）についても解説します。
【事前・事後学習課題】 皆さんが交通事故の被害者や加害者になった場合、どのように振る舞いますか？

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　16　2014/10/14　17:50:32

第９回　【授業テーマ】　民事紛争と法③　現代型訴訟
【内容・方法　等】　公害訴訟や空港騒音訴訟に代表される「現代型訴訟」と呼ばれる訴訟の特徴について学習し、それらの訴訟が社会に与えたインパクトについて検討します。
【事前・事後学習課題】　通常の民事訴訟と現代型訴訟が何が異なるのか、説明できるようになること。
第10回　【授業テーマ】　前半の授業のまとめ
【内容・方法　等】　前半の授業のまとめとして、法律家や裁判の社会的機能やその限界について考察してみます（もし皆さんの方で詳しく知りたいトピックがあれば、そのテーマに基づいて講義を行う予定です）。
【事前・事後学習課題】　第２回から第９回までの授業で、分かりにくかったところをピックアップしておいてください。
第11回　【授業テーマ】　法社会学の理論家たち
【内容・方法　等】　この回の授業では少し目先を変えて、法社会学の開拓者たちを紹介します。ウェーバー、エールリッヒ、パウンドらの問題意識を理解することで、法社会学という学問分野の成り立ちを学習します。また、最も重要な社会学者の一人であるニクラス・ルーマンを取り上げ、彼が構築したシステム理論の概要を解説し、彼の目から見た近代法システムの特色を学習します。
【事前・事後学習課題】　図書館でウェーバーやエールリッヒ、ルーマンの入門書や著作を手にとってみてください。
第12回　【授業テーマ】　日本社会と法
【内容・方法　等】　日本人は権利や義務の意識が希薄なのだろうか。あるいは、日本人は和を尊ぶ国民なので訴訟が嫌いなのだろうか。こうした日本の法文化に関する諸問題を、川島武宜の著作を手がかりに学習します。
【事前・事後学習課題】　比較的安価なので、ぜひ一度、川島武宜「日本人の法意識」を読んでみてください。
第13回　【授業テーマ】　男女雇用機会均等法
【内容・方法　等】　日本社会における法を個別法を通じて検討します。
【事前・事後学習課題】　六法などで男女雇用機会均等法を軽く眺めておいてください。
第14回　【授業テーマ】　離婚と法
【内容・方法　等】　離婚は、法律が規律する中でも最も感情が表れる分野の１つといえます。そこには、社会の変化や人々の意識の変化が現れているといえます。
【事前・事後学習課題】　関連する家族法の分野を眺めておいてください。
第15回　【授業テーマ】　授業全体のまとめ
【内容・方法　等】　これまでの講義で論じてきた事柄を簡単に復習し、社会において法が果たすべき役割について考えてみます（可能であれば、これまでの講義で論じることができなかったトピックを補足説明する予定です）。
【事前・事後学習課題】　これまでの授業で理解できなかったところを、ピックアップしておいてください。

評価方法（基準）
定期試験の成績５５％と毎回の提出物４５％によって総合的に評価します。ただし受講者が少ない場合、定期試験に代えてレポートを実施する可能性があります。

教材等
教科書…教科書は使用しません。
参考書…村山眞維・濱野亮著　「法社会学」　有斐閣アルマ（1700円）
和田仁孝編　「法社会学（NJ叢書）」　法律文化社（3200円）
六本佳平著　「日本の法と社会」　有斐閣（3800円）

学生へのメッセージ
授業では具体的な事例を用いてできる限り分かりやすく説明するつもりですが、他方で、やや抽象的な理論も取り上げる予定です。授業で理解できないところが出てきたら、遠慮なく質問に来ていただければと思います。

関連科目
憲法・民法・刑法の基本的知識があることが望ましいです。また隣接科目として、法哲学や法思想史など受講していただくとより理解が深まると思います。

担当者の研究室等
11号館5階　法学部資料室（法学部非常勤講師室）

備考
学生の皆さんが興味をもったテーマやタイムリーな話題があれば、適宜授業のなかで取り上げたいと思います。また、講義中に適宜指名して質問を行うことがあります。どのような回答をしていただいても構いませんので、積極的にご回答下さい。

総合法学Ⅰ
Essence of Law I

小　山　　昇（コヤマ　ノボル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	ＧＨ	前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
「総合法学」では、われわれの生活関係からその関連する法規範の概観及びその重要事項を考えてみることを主眼とする。「総合法学Ⅰ」では、主に、公的な面の生活関係に関する法的問題を検討し、それらの法分野で重要と考えられる事項の理解を目標とする。

授業方法と留意点
講義形式で行うが、質問を適宜行い、双方向性を重視する。数回、重要事項について「確認問題」を授業時間の終わり（２０分程度）に実施し、成績評価の対象に加える。

科目学習の効果（資格）
法学部生として知っておくべき基本的法律知識を習得する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　講義の概要
【内容・方法　等】　講義の到達目標と全体像についての説明、注意事項
【事前・事後学習課題】　原則として、事後の学習を重視
第２回　【授業テーマ】　法を学ぶための基本的知識の確認
【内容・方法　等】　法解釈学、法源、法令用語、法令・判例の検索
【事前・事後学習課題】　重要事項の確認
第３回　【授業テーマ】　紛争解決と法①
【内容・方法　等】　法律上の責任と裁判
【事前・事後学習課題】　重要事項の確認
第４回　【授業テーマ】　紛争解決と法②
【内容・方法　等】　わが国の裁判制度
【事前・事後学習課題】　重要事項及び確認問題の再確認
第５回　【授業テーマ】　紛争解決と法③
【内容・方法　等】　裁判と法、民事訴訟と刑事訴訟
【事前・事後学習課題】　重要事項の確認
第６回　【授業テーマ】　紛争解決と法④
【内容・方法　等】　裁判員制度と裁判員裁判
【事前・事後学習課題】　重要事項の確認
第７回　【授業テーマ】　犯罪と法①
【内容・方法　等】　刑法の機能と基本原則
【事前・事後学習課題】　重要事項及び確認問題の再確認
第８回　【授業テーマ】　犯罪と法②
【内容・方法　等】　犯罪の成立要件
【事前・事後学習課題】　重要事項の確認
第９回　【授業テーマ】　犯罪と法③
【内容・方法　等】　違法性と責任
【事前・事後学習課題】　重要事項の確認
第10回　【授業テーマ】　犯罪と法④
【内容・方法　等】　刑事訴訟に関する手続
【事前・事後学習課題】　重要事項及び確認問題の再確認
第11回　【授業テーマ】　事故と法①
【内容・方法　等】　加害者の民事責任
【事前・事後学習課題】　重要事項の確認
第12回　【授業テーマ】　事故と法②
【内容・方法　等】　不法行為責任の限界と被害者救済
【事前・事後学習課題】　重要事項の確認
第13回　【授業テーマ】　事故と法③
【内容・方法　等】　道路交通に関する諸規則
【事前・事後学習課題】　重要事項及び確認問題の再確認
第14回　【授業テーマ】　事故と法④
【内容・方法　等】　道路交通規則の違反と行政責任・刑事責任
【事前・事後学習課題】　重要事項の確認
第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容・方法　等】　重要事項の再確認
【事前・事後学習課題】　全重要事項・配付資料の再確認
すべての確認問題の復習

評価方法（基準）
定期試験(55%)と「確認問題」(45%)で評価する。「確認問題」は、定期試験を受けた場合に限り点数化して成績評価に加える。授業時間内に提出がない場合は評価対象とはしない。

教材等
教科書…教科書となる資料を配付する。
参考書…授業中に紹介する。

学生へのメッセージ
授業中の質問には積極的に発言すること。正当な理由なく出席していない人に、後日の「確認問題」の提出は認めない。

関連科目
憲法、行政法、刑事訴訟法、民事訴訟法、民法

担当者の研究室等
11号館9階　小山教授室

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　17　2014/10/14　17:50:32

総合法学II
Essence of Law II

小　山　　昇（コヤマ　ノボル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	GH	後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

「総合法学」では、われわれの生活関係からその関連する法規範の概観及びその重要事項を考えてみることを主眼とする。「総合法学Ⅱ」では、主に、私的な生活関係を中心とした法的問題を検討し、それらの法分野で重要と考えられる事項の理解を目標とする。

授業方法と留意点

講義形式で行うが、質問を適宜行い、双方向性を重視する。授業時間の終わり（２０分程度）に、重要事項の「確認問題」を数回実施して成績評価の対象に加える。

科目学習の効果（資格）

法学部生として知っておくべき基本的法律知識を習得する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】 授業の概要
【内容・方法　等】 講義の到達目標と全体像の説明、注意事項
【事前・事後学習課題】 原則として、事後の学習を重視

第２回　【授業テーマ】 財産と法①
【内容・方法　等】 財産法の基本原理
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認

第３回　【授業テーマ】 財産と法②
【内容・方法　等】 法律行為の主体
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認

第４回　【授業テーマ】 財産と法③
【内容・方法　等】 契約の基本原則と典型契約
【事前・事後学習課題】 重要事項及び確認問題の再確認

第５回　【授業テーマ】 財産と法④
【内容・方法　等】 現代型の契約、消費者契約、特定商取引法
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認

第６回　【授業テーマ】 家族と法①
【内容・方法　等】 親族関係と法、戸籍制度
【事前・事後学習課題】 重要事項及び確認問題の再確認

第７回　【授業テーマ】 家族と法②
【内容・方法　等】 夫婦関係と法
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認

第８回　【授業テーマ】 家族と法③
【内容・方法　等】 親子関係と法
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認

第９回　【授業テーマ】 家族と法④
【内容・方法　等】 法定相続と遺言
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認

第10回　【授業テーマ】 労働と法
【内容・方法　等】 労働基本権と労働保護法、労働契約法
【事前・事後学習課題】 重要事項及び確認問題の再確認

第11回　【授業テーマ】 社会保障と法
【内容・方法　等】 社会保障制度、医療保険と国民年金
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認

第12回　【授業テーマ】 社会福祉と法
【内容・方法　等】 社会福祉事業
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認

第13回　【授業テーマ】 国際社会と法①
【内容・方法　等】 国際社会と国際法、国内法と国際法
【事前・事後学習課題】 重要事項及び確認問題の再確認

第14回　【授業テーマ】 国際社会と法②
【内容・方法　等】 国際取引と法、国際家族法
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認

第15回　【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 重要事項の再確認
【事前・事後学習課題】 全重要事項・配付資料の再確認
すべての確認問題の復習

評価方法（基準）

定期試験(55%)と「確認問題」(45%)で評価する。「確認問題」は、定期試験を受けた場合に限り点数化して成績評価に加える。授業時間内に提出がない場合は評価の対象とはしない。

教材等

教科書…教科書となる資料を配付する。
参考書…授業中に紹介する。

学生へのメッセージ

授業中の質問には、積極的に発言すること。出席していない（正当な理由を除く）場合、後日の「確認問題」の提出は認めない。

関連科目

民法総則、契約法、物権法、親族法、相続法、労働法、社会保障法、国際法、国際取引法、国際私法

担当者の研究室等

11号館9階　小山教授室

近世日本の法文化
Law and Culture in Tokugawa Japan

牧　田　　勲（マキタ　イサオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

わが国の近代化は、西欧諸国の大きな影響のもとに進められた。これは法文化においても例外ではなく、わが国は多くの西欧法を継受することで、法の近代化をおしすすめてきたのである。その中で、伝統的な法文化は、一部の例外を除いて捨て去られた。しかし、近代社会が目指したものをよりよく理解するためには、それに先立つ前近代社会の事情を是非とも知っておく必要があるだろう。本講義では、日本の近世社会の種々相を明らかにしながら、そこに現れる諸個人・諸集団の軋轢や調整といった近世の法現象や法文化を紹介する。

授業方法と留意点

講義および板書による説明が中心である。適宜関連する史料を配付し、参考文献等も紹介する。講義に合うよい既存の教材がないので、毎回出席し集中して講義を聞くことが望まれる。

科目学習の効果（資格）

教職課程履修者にとっては重要科目。間接的には公務員試験や諸資格試験にも繋がっている。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】 幕藩体制の概観
【内容・方法　等】 近世社会の構造
【事前・事後学習課題】 高校教科書の江戸時代の部分を読んでおくこと、家庭でのノート整理

第２回　【授業テーマ】 近世の法文化
【内容・方法　等】 身分制社会の諸相
法の多元性
【事前・事後学習課題】 講義ノートと当日配布した資料の整理・復習

第３回　【授業テーマ】 徳川の平和
【内容・方法　等】 幕府の支配と民衆
【事前・事後学習課題】 講義ノートと当日配布した資料の整理・復習

第４回　【授業テーマ】 将軍と大名
【内容・方法　等】 近世の主従関係
【事前・事後学習課題】 講義ノートと当日配布した資料の整理・復習

第５回　【授業テーマ】 江戸の役人世界
【内容・方法　等】 近世行政の特質
【事前・事後学習課題】 講義ノートと当日配布した資料の整理・復習

第６回　【授業テーマ】 藩支配の多様性
【内容・方法　等】 お家騒動あれこれ
【事前・事後学習課題】 講義ノートと当日配布した資料の整理・復習

第７回　【授業テーマ】 近世社会における犯罪の種々相
【内容・方法　等】 八百屋お七の悲劇
【事前・事後学習課題】 講義ノートと当日配布した資料の整理・復習

第８回　【授業テーマ】 近世の犯罪と法①
【内容・方法　等】 主殺し・親殺し・子殺し
【事前・事後学習課題】 講義ノートと当日配布した資料の整理・復習

第９回　【授業テーマ】 近世の犯罪と法②
【内容・方法　等】 日本左衛門と鼠小僧
【事前・事後学習課題】 講義ノートと当日配布した資料の整理・復習

第10回　【授業テーマ】 近世の紛争①
【内容・方法　等】 犯罪者の末路
【事前・事後学習課題】 講義ノートと当日配布した資料の整理・復習

第11回　【授業テーマ】 近世の紛争②
【内容・方法　等】 土地と金をめぐる争い(1)
【事前・事後学習課題】 講義ノートと当日配布した資料の整理・復習

第12回　【授業テーマ】 近世の紛争③
【内容・方法　等】 土地と金をめぐる争い(2)
【事前・事後学習課題】 講義ノートと当日配布した資料の整理・復習

第13回　【授業テーマ】 幕藩体制と公議輿論①
【内容・方法　等】 坂本龍馬と舟中八策
【事前・事後学習課題】 講義ノートと当日配布した資料の整理・復習

第14回　【授業テーマ】 幕藩体制と公議輿論②
【内容・方法　等】 大政奉還と五箇条の御誓文
【事前・事後学習課題】 講義ノートと当日配布した資料の整理・復習

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　18　　2014/10/14　17:50:32

第15回　【授業テーマ】　近世日本の法と社会
【内容・方法　等】　講義のまとめ
【事前・事後学習課題】　講義ノートと当日配布した資料の整理・復習

評価方法（基準）
定期試験の成績による。

教材等
教科書…使用せず
参考書…辻達也編　「日本の近世２　天皇と将軍」　中央公論社、藤井譲治編　「日本の近世３　支配のしくみ」中央公論社、平松義郎著「江戸の罪と罰」平凡社選書

学生へのメッセージ
法文化史は、日本史の知識を基礎として、その上に法学的視角から歴史にアプローチしようというものであるから、最低限高校の日本史教科書程度の知識をもっていること。

関連科目
憲法・刑法・民法などの法学科目などすべての歴史系諸科目。

担当者の研究室等
11号館10階　牧田教授室

日本の人権の歴史
History of Human Rights in Japan

牧　田　　勲（マキタ　イサオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
前近代社会は身分制社会であり、近代法は封建的身分や差別からの解放を重要な目標として誕生した。本講義は、近代に先立つ身分制社会とはどういうものなのかを明らかにして、逆に近代という時代の意味を理解してもらおうというものである。近世社会に生きた様々な人々の抑圧や差別、差別を克服する戦い、そういうものを学び取ってほしい。

授業方法と留意点
講義および板書による説明が中心である。適宜関連史料を配付し、参考文献を指示するので、毎回出席して講義を聞くことが望まれる。いうまでもなく、ふだんよりの自主的な勉強が大切である。

科目学習の効果（資格）
本講義は、教職課程履修者にとっては重要科目。また、公務員試験や各種試験にも繋がっている。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　封建法と市民法
【内容・方法　等】　自由・平等・人権の思想
「身分から契約へ」
【事前・事後学習課題】　西欧近代市民社会の成立について、予習しておくこと

第２回　【授業テーマ】　中世における差別
【内容・方法　等】　河原者と非人
【事前・事後学習課題】　日本の中世史の予習と、講義ノート・配布資料の復習

第３回　【授業テーマ】　近世身分制の成立
【内容・方法　等】　太閤検地と身分制
【事前・事後学習課題】　太閤政権の予習と、講義ノート・配布資料の復習

第４回　【授業テーマ】　近世被差別部落の成立
【内容・方法　等】　近世のえた身分と非人身分
【事前・事後学習課題】　講義ノート・配布資料の復習

第５回　【授業テーマ】　近世の被差別民①
【内容・方法　等】　えたと呼ばれた人々の生活
【事前・事後学習課題】　講義ノート・配布資料の復習

第６回　【授業テーマ】　近世の被差別民②
【内容・方法　等】　近世非人の実態
【事前・事後学習課題】　講義ノート・配布資料の復習

第７回　【授業テーマ】　近世の被差別民③
【内容・方法　等】　都市の下層社会
【事前・事後学習課題】　講義ノート・配布資料の復習

第８回　【授業テーマ】　身分解放の思想
【内容・方法　等】　近世の解放思想と抵抗運動
【事前・事後学習課題】　講義ノート・配布資料の復習

第９回　【授業テーマ】　近世の人身売買
【内容・方法　等】　廓の中の女たち
【事前・事後学習課題】　講義ノート・配布資料の復習

第10回　【授業テーマ】　解放令の成立
【内容・方法　等】　近代社会と被差別
【事前・事後学習課題】　明治維新の予習、講義ノート・配布資料の復習

第11回　【授業テーマ】　娼妓の解放
【内容・方法　等】　近代と人身売買
【事前・事後学習課題】　講義ノート・配布資料の復習

第12回　【授業テーマ】　近代の「身分」
【内容・方法　等】　華族の成立
【事前・事後学習課題】　講義ノート・配布資料の復習

第13回　【授業テーマ】　大正デモクラシーと被差別民
【内容・方法　等】　水平社運動
【事前・事後学習課題】　大正デモクラシーの予習、講義ノート・配布資料の復習

第14回　【授業テーマ】　その後の解放運動
【内容・方法　等】　解放運動や戦後の諸立法
【事前・事後学習課題】　講義ノート・配布資料の復習

第15回　【授業テーマ】　日本の人権の歴史
【内容・方法　等】　講義のまとめ
【事前・事後学習課題】　講義ノート・配布資料の復習

評価方法（基準）
定期試験の成績による。

教材等
教科書…使用せず
参考書…授業中に指示する。

学生へのメッセージ
高校時代に日本史を選択していることが必要。本講義は、社会科学入門の意味を持つ。歴史学だけでなく政治学・社会学・経済学などを同時に勉強することが望まれる。

関連科目
憲法・刑法など公法系の法学科目と歴史系諸科目。

担当者の研究室等
11号館10階　牧田教授室

家族と地域の法社会史
History of Family and Community in Japan

牧　田　　勲（マキタ　イサオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
近年、女性のM字型就労、アンペイド・ワーク、ストーカー問題、少年犯罪の凶悪化、引きこもり、パラサイト・シングル問題、高齢者ホームレスの増加、年金問題など、家族をとりまく問題が次々にもちあがっている。いずれも解決に時間がかかる難題ばかりであるが、本講義はこうした現在の家族問題を念頭におきながら、日本史の中における過去の家族問題を考察しようとするものである。家族を手がかりに、その時代の社会構造や地域について理解してもらえたらと思う。

授業方法と留意点
講義形式でおこなう。適当な教科書がないので、随時史料や関連文献を配付したり、紹介する。民法の親族法・相続法を選択していることが望ましいが、日本史の知識があれば、とくに家族法をとっていなくともよい。

科目学習の効果（資格）
間接的ながら、公務員試験、各種試験に繋がっている。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　戦国期の法と社会
【内容・方法　等】　政略結婚の時代
【事前・事後学習課題】　家族をとりまくさまざまな問題に対する関心をもつこと。

第２回　【授業テーマ】　近世の都市と家族(1)
【内容・方法　等】　不倫の結末
【事前・事後学習課題】　講義ノートの整理復習

第３回　【授業テーマ】　近世の都市と家族(2)
【内容・方法　等】　「かぶき者」の時代
【事前・事後学習課題】　講義ノートの整理復習

第４回　【授業テーマ】　近世の都市と家族(3)
【内容・方法　等】　道楽息子のなれのはて
【事前・事後学習課題】　講義ノートの整理復習

第５回　【授業テーマ】　近世の都市と家族(4)
【内容・方法　等】　捨てられた子供たち
【事前・事後学習課題】　講義ノートの整理復習

第６回　【授業テーマ】　近世の都市と家族(5)
【内容・方法　等】　駆け込む女たち
【事前・事後学習課題】　講義ノートの整理復習

第７回　【授業テーマ】　近世のキャリア・ウーマン
【内容・方法　等】　大奥女中の生活
【事前・事後学習課題】　講義ノートの整理復習

第８回　【授業テーマ】　近世の家族と道徳
【内容・方法　等】　儒教の中の女性
【事前・事後学習課題】　講義ノートの整理復習

第９回　【授業テーマ】　東と西の農村
【内容・方法　等】　地域差と家族
【事前・事後学習課題】　講義ノートの整理復習

第10回　【授業テーマ】　近世農村と同族

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　19　　2014/10/14　17:50:33

【内容・方法　等】 本家と分家
【事前・事後学習課題】 講義ノートの整理復習
第11回 【授業テーマ】 東の結婚・西の結婚
【内容・方法　等】 若者仲間とかけおち
【事前・事後学習課題】 講義ノートの整理復習
第12回 【授業テーマ】 近世農村の相続
【内容・方法　等】 姉家督と末子相続
【事前・事後学習課題】 講義ノートの整理復習
第13回 【授業テーマ】 地域と家族
【内容・方法　等】 「家」の地域差
【事前・事後学習課題】 講義ノートの整理復習
第14回 【授業テーマ】 現代の家族
【内容・方法　等】 漂流する家族の今を考える
【事前・事後学習課題】 講義ノートの整理復習
第15回 【授業テーマ】 おわりに
【内容・方法　等】 講義のまとめ
【事前・事後学習課題】 講義ノートの整理復習

評価方法（基準）
定期試験の成績とレポートによる。

教材等
教科書…使用せず
参考書…授業中に随時紹介する。

学生へのメッセージ
日本史に関心のある諸君の選択を希望する。

関連科目
「近世日本の法文化」、「法と社会」、民法、憲法など。

担当者の研究室等
11号館10階　牧田教授室

日本女性史
History of Women in Japan

牧　田　　勲（マキタ　イサオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
高校の日本史教科書に登場する女性は、ごくわずかである。江戸時代では、出雲の阿国、皇女和宮、東福門院和子、明正天皇、後桜町天皇くらいである。これまでの日本史教育では、女性が何を考えてどう生きたか、ということはほとんど捨象されてきたといってよい。この講義では、戦国期から近世のさまざまな女性像に焦点をあて、時代の中で奮闘し、悩み、楽しんだ女性の姿を紹介してみたい。

授業方法と留意点
講義形式でおこなう。適当な教科書がないので、随時史料や絵画資料、関連文献を配付したり、紹介する。

科目学習の効果（資格）
「男女共同参画社会」に生きる男女すべてにとって必要な教養といえる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 女性史とは
【内容・方法　等】 歴史の中の女性
【事前・事後学習課題】 男女共同参画について、日々関心を持つようにしよう
第２回 【授業テーマ】 中世の女性
【内容・方法　等】 中世社会と女性の地位
【事前・事後学習課題】 鎌倉・室町時代の予習、講義ノートの整理復習
第３回 【授業テーマ】 戦国時代の女性①
【内容・方法　等】 政略結婚の時代
【事前・事後学習課題】 戦国時代の予習、講義ノートの整理復習
第４回 【授業テーマ】 戦国時代の女性②
【内容・方法　等】 領国を支える女たち
【事前・事後学習課題】 講義ノートの整理復習
第５回 【授業テーマ】 近世の女性①
【内容・方法　等】 儒教と女性
【事前・事後学習課題】 江戸時代儒教の予習、講義ノートの整理復習
第６回 【授業テーマ】 近世の女性②
【内容・方法　等】 武家の女性
【事前・事後学習課題】 講義ノートの整理復習
第７回 【授業テーマ】 近世の女性③
【内容・方法　等】 大奥の女たち
【事前・事後学習課題】 講義ノートの整理復習
第８回 【授業テーマ】 近世の女性④
【内容・方法　等】 町人社会の女性
【事前・事後学習課題】 江戸町人についての予習、講義ノートの整理復習
第９回 【授業テーマ】 近世の女性⑤
【内容・方法　等】 長屋の中の女たち
【事前・事後学習課題】 講義ノートの整理復習
第10回 【授業テーマ】 近世の女性⑥
【内容・方法　等】 幕末の「お稽古事」事情
【事前・事後学習課題】 講義ノートの整理復習
第11回 【授業テーマ】 近世の女性⑦
【内容・方法　等】 江戸の娘たち
【事前・事後学習課題】 講義ノートの整理復習
第12回 【授業テーマ】 近世の女性⑧
【内容・方法　等】 天保改革と女性
【事前・事後学習課題】 天保改革についての予習、講義ノートの整理復習
第13回 【授業テーマ】 近世の女性⑨
【内容・方法　等】 遊郭の女たち
【事前・事後学習課題】 講義ノートの整理復習
第14回 【授業テーマ】 近世の女性⑩
【内容・方法　等】 幕末の動乱と女たち
【事前・事後学習課題】 講義ノートの整理復習
第15回 【授業テーマ】 おわりに
【内容・方法　等】 講義のまとめ
【事前・事後学習課題】 講義ノートの整理復習

評価方法（基準）
定期試験の成績による。

教材等
教科書…使用しない。
参考書…授業のなかで適宜紹介する。

学生へのメッセージ
日本史、女性史などに興味をもっている諸君が選択することを期待する。

関連科目
「近世日本の法文化」

担当者の研究室等
11号館10階　牧田教授室

祭りと地域の法社会史
History of Feast and Community in Japan

牧　田　　勲（マキタ　イサオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
現在、多くの自治体では「地域おこし」の手段として、伝統的にその地域に伝わる祭礼（岸和田だんじり祭・博多祇園山笠など）や、近年になって新規に始められたイヴェント（各地のよさこいソーラン祭など）が利用されています。しかし、そこには「政教分離」をどうするか、そこに自治体としてどう関わるか、町の空洞化による後継者不足、資金難、文化財的価値と観光化との矛盾など、多くの問題点を抱えています。この講義では、祭りの歴史・存在構造・現在の問題点などを紹介し、考察する予定です。

授業方法と留意点
講義形式であるが、随時資料を提供して、理解の一助としたい。自ら各地の祭りに出かけ、その問題性を発見することも望まれる。

科目学習の効果（資格）
旅行業務取扱主任など関連する資格がないわけではないが、それよりも自治体職員・警察官・議員・教員には実践的に必要な教養。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 祭りとは
【内容・方法　等】 祭り・祭礼・イヴェントの違い
【事前・事後学習課題】 日本の伝統文化に対する幅広い興味を持つこと。
第２回 【授業テーマ】 祭礼の出現と都市文化
【内容・方法　等】 京都祇園祭の意義
【事前・事後学習課題】 講義ノートの整理復習
第３回 【授業テーマ】 近世社会と祭礼（１）
【内容・方法　等】 城下町祭礼の出現
【事前・事後学習課題】 講義ノートの整理復習
第４回 【授業テーマ】 近世社会と祭礼（２）
【内容・方法　等】 東照宮祭礼にみる権力と民衆
【事前・事後学習課題】 講義ノートの整理復習
第５回 【授業テーマ】 近世社会と祭礼（３）
【内容・方法　等】 祭りと騒乱
【事前・事後学習課題】 講義ノートの整理復習
第６回 【授業テーマ】 近代社会と祭り（１）
【内容・方法　等】 伝統と変革の相克
【事前・事後学習課題】 講義ノートの整理復習
第７回 【授業テーマ】 近代社会と祭り（２）

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　20　　2014/10/14　17:50:33

【内容・方法　等】 祭りと天皇制
【事前・事後学習課題】 講義ノートの整理復習
第８回 【授業テーマ】 伝統の祭りと現代（１）
【内容・方法　等】 祇園祭がかかえる問題性
【事前・事後学習課題】 講義ノートの整理復習
第９回 【授業テーマ】 伝統の祭りと現代（２）
【内容・方法　等】 祭りとジェンダー
【事前・事後学習課題】 講義ノートの整理復習
第10回 【授業テーマ】 伝統の祭りと現代（３）
【内容・方法　等】 暴走族と祭り
【事前・事後学習課題】 講義ノートの整理復習
第11回 【授業テーマ】 伝統の祭りと現代（４）
【内容・方法　等】 文化財の保存と観光化
【事前・事後学習課題】 講義ノートの整理復習
第12回 【授業テーマ】 地域おこしとイヴェント（１）
【内容・方法　等】 地方自治体と地域おこし
【事前・事後学習課題】 講義ノートの整理復習
第13回 【授業テーマ】 地域おこしとイヴェント（２）
【内容・方法　等】 神戸祭とよさこいソーラン祭
【事前・事後学習課題】 講義ノートの整理復習
第14回 【授業テーマ】 祭りと憲法
【内容・方法　等】 祭りをめぐる政教分離原則と自治体
【事前・事後学習課題】 講義ノートの整理復習
第15回 【授業テーマ】 おわりに
【内容・方法　等】 講義のまとめ
【事前・事後学習課題】 講義ノートの整理復習

評価方法（基準）
定期試験の成績とレポートによる。

教材等
教科書…使用しない
参考書…柳田国男　『日本の祭り』（著作集所収）、小松和彦編『祭りとイベント』（小学館）

学生へのメッセージ
京都の祇園祭、大阪天神祭、岸和田だんじり祭など、関西には有名な祭りが目白押しである。こうした祭り、あるいは自分の郷里の祭りなどをとおして、今現在地域が抱えている問題を考えてみてほしい。

関連科目
日本史・社会学・美術史・地理学・近世日本の法文化・憲法

担当者の研究室等
11号館10階　牧田教授室

西洋の人権の歴史
History of Human Rights in Western Society

小宮山　直　子（コミヤマ　ナオコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
日本は、明治維新ののち近代化をなしとげるために西洋社会から多くの文化を取り入れました。授業では、西洋社会がはぐくんだ法文化の歴史的基礎について、法と社会の関係に重点をおいて説明します。焦点をあてるのは、西洋における人権保障のありかたとその歴史的変化です。とくに１６世紀以降を中心とします。西洋社会が現代のわたしたちに伝える重要な文化について、その基本知識を身につけることを目的とします。専門科目としての憲法I（人権）の基礎となります。

授業方法と留意点
毎回1-2枚程度のプリントを配布します。パワーポイントを用いて、図版や資料をカラフルに示し、わかりやすい授業をめざします。授業の進行にあわせて、２回分のテーマを１回にまとめることもあります。

科目学習の効果（資格）
教職科目（中学社会・高校公民・高校地歴)に必要です。公務員試験や就職試験の一般教養（SPI対策）としても有益です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 はじめにー近代日本における西洋文化の受容
【内容・方法　等】 明治政府・近代化・お雇い外国人
【事前・事後学習課題】 レジュメの指示にしたがって予習・復習をおこなっておくこと。
第２回 【授業テーマ】 古代ローマの市民と奴隷の法（権利）の違い（紀元前１世紀～紀元後３世紀）
【内容・方法　等】 奴隷と市民の法（＝権利）はどのように違っていたのか。古代ローマ法（市民法・万民法・勅法）の特徴についても説明する。
【事前・事後学習課題】 レジュメの指示にしたがって予習・復習をおこなっておくこと。
第３回 【授業テーマ】 大学法学部はいかにして生まれたか？ーユースティーニアーヌス法典が生まれて復活するまで（６世紀～１２世紀）
【内容・方法　等】 ユースティーニアーヌス法典（ローマ法大全）の成立。ビザンツ皇帝ユースティーニアーヌス、法典編纂、ローマ法学の復活・ボローニア大学法学部の成立・ローマ法の継受。
【事前・事後学習課題】 レジュメの指示にしたがって予習・復習をおこなっておくこと。
第４回 【授業テーマ】 身分制の原理は「不自由と不平等」ー中世ヨーロッパ社会の市民と農民（１２～１５世紀）
【内容・方法　等】 身分制社会の基本原理としての「不平等」・特権としての「自由」・封建法・農村慣習法
【事前・事後学習課題】 レジュメの指示にしたがって予習・復習をおこなっておくこと。
第５回 【授業テーマ】 宗教や民族が違っても人はみな平等ー自然法思想の成立（１７世紀）
【内容・方法　等】 大航海時代におけるアメリカ大陸原住民の殺害に対するル反省としてスペインでおこった自然法思想、理性法とよばれた近世自然法、グロティウス、社会契約論（ロック）と自然法との関係。
【事前・事後学習課題】 レジュメの指示にしたがって予習・復習をおこなっておくこと。
第６回 【授業テーマ】 革命の原理は「自由と平等」ー人権宣言とフランス革命（１７８９年）
【内容・方法　等】 フランス革命で市民がもとめた「自由と平等」。それでも財産等による差があった。フランス革命（1789年）・中間法・人権宣言・近代市民社会。
【事前・事後学習課題】 レジュメの指示にしたがって予習・復習をおこなっておくこと。
第７回 【授業テーマ】 ナポレオンと近代市民法ーフランス民法典（１８０４年）
【内容・方法　等】 近代市民法の原点ともいうフランス民法典の成立過程とその特徴。皇帝ナポレオンはいかに民法典に関心をもったか。
【事前・事後学習課題】 レジュメの指示にしたがって予習・復習をおこなっておくこと。
第８回 【授業テーマ】 法典論争（１８１４年）と歴史法学派
【内容・方法　等】 1814年にサヴィニーとティボーのあいだでかわされた法典論争の意義。歴史法学派・ローマ法学とゲルマン法学。
【事前・事後学習課題】 レジュメの指示にしたがって予習・復習をおこなっておくこと。
第９回 【授業テーマ】 プロイセン修正憲法の成立（１８５０年）ー三月革命（１８４８年）の挫折と社会主義思想
【内容・方法　等】 大日本帝国憲法の重要なモデルとなったプロイセン憲法の成立過程。フランクフルト憲法、三級選挙制。労働者の権利を求める運動のはじまり。
【事前・事後学習課題】 レジュメの指示にしたがって予習・復習をおこなっておくこと。
第10回 【授業テーマ】 ドイツ民法典（１８９６年）はこうして生まれたー日本民法典のルーツをさぐる
【内容・方法　等】 日本民法典のモデルとされたドイツ民法典の成立過程。パンデクテン法学、ドイツ民法典第一草案。
【事前・事後学習課題】 レジュメの指示にしたがって予習・復習をおこなっておくこと。
第11回 【授業テーマ】 人は人間らしく生きる権利があるー社会権と生存権を世界ではじめて定めたワーマール憲法（１９１９年）
【内容・方法　等】 現代型憲法としてのワイマール憲法の特徴。なぜ、ワイマール憲法はナチスによって利用・否定されたか。社会権・社会国家・ワイマール共和国。
【事前・事後学習課題】 レジュメの指示にしたがって予習・復習をおこなっておくこと。
第12回 【授業テーマ】 人権抑圧はここまで悲惨だったーナチス国家の法体制（１９３３～４５年）
【内容・方法　等】 ナチス憲法体制・全権委任法・ホロコースト。
【事前・事後学習課題】 レジュメの指示にしたがって予習・復習をおこなっておくこと。
第13回 【授業テーマ】 女性の権利をもとめてー女性解放運動（フェミニズム）の高まり（１９６０年代）
【内容・方法　等】 女性解放運動の２回の波。第１の波（１９世紀末～２０世紀初頭）、第２の波（１９６０年代以降）
【事前・事後学習課題】 レジュメの指示にしたがって予習・復習をおこなっておくこと。
第14回 【授業テーマ】 分断国家の国境を越えようとした人たちの悲劇ー東西ドイツと国家統一（１９９０年）
【内容・方法　等】 ドイツ：１９４９年の東西分裂し、１９９０年の統合
【事前・事後学習課題】 レジュメの指示にしたがって予習・復習をおこなっておくこと。
第15回 【授業テーマ】 授業のまとめと復習ーグローバル社会における人権保障
【内容・方法　等】 人権保障にはまだまだ多くの課題がある。授業をふりかえって歴史を確認し、今後の課題を展望する。
【事前・事後学習課題】 レジュメの指示にしたがって予習・復

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　21　2014/10/14　17:50:33

習をおこなっておくこと。

評価方法（基準）

原則として定期試験によって評価しますが、授業中の提出物なども成績評価の際に考慮します（詳細は初回の講義で説明します）。授業中の私語については、厳しく対処します。

教材等

教科書…とくに指定しません。

参考書…三成美保他『法制史入門』ナカニシヤ出版、三成美保『ジェンダーの法史学』勁草書房、２００５年、勝田有恒他編『概説西洋法制史』ミネルヴァ書房、２００４年、勝田有恒・山内進編『近世・近代ヨーロッパの法学者たち』ミネルヴァ書房、２００８年、マンテ『ローマ法の歴史』ミネルヴァ書房、２００８年、石部雅亮・笹倉秀夫『法の歴史と思想』放送大学教材、１９９５年。

学生へのメッセージ

高校での世界史し勉強しなかった人にもかわりやすい授業をします。気軽に質問してください。

関連科目

西洋の裁判の歴史、法とジェンダーの歴史、西洋女性史

担当者の研究室等

11号館5階　法学部資料室（法学部非常勤講師室）

西洋の裁判の歴史

History of Trial in Western Society

小宮山　直　子（コミヤマ　ナオコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

西洋社会における法と裁判の歴史につき、とくに刑事裁判の歴史を概説します。古代ギリシアから戦後まで、裁判制度と著名な裁判をとりあげて論じます。できるだけＤＶＤによる映像を授業に取り入れ、具体的なイメージがわくようにします。専門科目としての刑法や刑事訴訟法の基礎となります。裁判員制度が導入された現在、裁判に関する基礎知識として役立ててもらいたいと思います。

授業方法と留意点

毎回1-2枚程度のプリント（レジュメ）を配布します。わかりやすくするために、DVDやパワーポイントを用います。授業の進行状態にあわせて、２回分のテーマを１回にまとめることもあります。

科目学習の効果（資格）

教職科目（中学社会科・高校公民・高校地歴）に必要です。公務員試験や就職試験の一般教養（SPI対策）としても有益です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　序論ー日本と西洋の裁判の比較

【内容･方法　等】　授業内容の概説、裁判や権利に関する意識の異同、制度の相違、歴史的な変化についての概要

【事前･事後学習課題】　レジュメの指示にしたがって予習・復習をしておくこと。

第２回　**【授業テーマ】**　古代ギリシア・ローマの裁判ーソクラテス裁判・イエス・キリスト裁判

【内容･方法　等】　ソクラテスはアテネの法にしたがって死刑判決を受け、毒杯をあおいだ。イエス・キリストはユダヤ法に反したとして十字架にかけられた。有名な裁判をとおして、裁判とは何かを考える。

【事前･事後学習課題】　レジュメの指示にしたがって予習・復習をしておくこと。

第３回　**【授業テーマ】**　古代ゲルマンの裁判ー裁判集会型法発見

【内容･方法　等】　裁判が成立するまえは、自力救済が基本。自由人成人男性が裁判集会をひらいて判決を発見した。そのさい、水審・火審・決闘などの深神判も利用された。

【事前･事後学習課題】　レジュメの指示にしたがって予習・復習をしておくこと。

第４回　**【授業テーマ】**　イングランドにおける裁判（１）陪審制度の成立

【内容･方法　等】　ノルマン制服後、陪審制は国土支配の道具として導入された。起訴陪審・判決陪審・神判の禁止（ラテラノ公会議）。

【事前･事後学習課題】　レジュメの指示にしたがって予習・復習をしておくこと。

第５回　**【授業テーマ】**　イングランドにおける裁判（２）トマス・モアの裁判

【内容･方法　等】　『ユートピア』の著者として知られる大法官トマス・モアは、国王ヘンリー８世の離婚と国教会の創設に反対して陪審裁判にかけられる。判決は死刑。

【事前･事後学習課題】　レジュメの指示にしたがって予習・復習をしておくこと。

第６回　**【授業テーマ】**　近世の裁判（１）教会裁判の発展と糾問主義の成立

【内容･方法　等】　裁判集会型法発見では、ゲルマンの神々が裁判にいかに利用されたのか。雪冤宣誓・神判（火審・水審・決闘）教会裁判所・刑事裁判の変化・糾問主義の成立・拷問・魔女裁判

【事前･事後学習課題】　レジュメの指示にしたがって予習・復習をしておくこと。

第７回　**【授業テーマ】**　近世の裁判（２）ガリレオ裁判

【内容･方法　等】　「自白は証拠の女王」とされた時代。地動説を唱えたガリレオは、拷問の道具を見せられて自説を撤回する。思想と表現の自由がなかったころの裁判。

【事前･事後学習課題】　レジュメの指示にしたがって予習・復習をしておくこと。

第８回　**【授業テーマ】**　１９世紀の裁判（１）近代陪審制と参審制

【内容･方法　等】　フランス革命のときに大陸の導入された陪審制。起訴陪審は検察制度へと変化する。その後、陪審制はドイツを中心に参審制に移行。

【事前･事後学習課題】　レジュメの指示にしたがって予習・復習をしておくこと。

第９回　**【授業テーマ】**　１９世紀の裁判（２）ドレフュス事件とゾラ裁判

【内容･方法　等】　19世紀末のフランスで起こった軍部による組織的な冤罪事件。被告人ドレフュスはユダヤ人将校であり、文豪エミール・ゾラが事件を糾弾したことで有名。この事件後、ユダヤ民族運動が盛り上がる。

【事前･事後学習課題】　レジュメの指示にしたがって予習・復習をしておくこと。

第10回　**【授業テーマ】**　２０世紀の裁判（１）白バラ事件

【内容･方法　等】　ナチスへの抵抗として大学内でビラを配っただけで死刑になったミュンヘン大学生たち。そのなかにゾフィーも兄とともにいた。裁いたのは民族裁判所。後世に「司法殺人」として知られる組織である。

【事前･事後学習課題】　レジュメの指示にしたがって予習・復習をしておくこと。

第11回　**【授業テーマ】**　２０世紀の裁判（２）ナチスの犯罪

【内容･方法　等】　ナチスの「犯罪」は戦後裁かれる。どのような罪を犯したのか。ホロコーストの実態を『アンネの日記』で知られるアンネの強制収容所生活を中心にとりあげる。

【事前･事後学習課題】　レジュメの指示にしたがって予習・復習をしておくこと。

第12回　**【授業テーマ】**　２０世紀の裁判（３）ニュルンベルク裁判と東京裁判

【内容･方法　等】　戦後国際裁判として知られる二つの裁判。ナチス幹部はどのような罪で裁かれたのか。また、日本の戦犯はどのように裁かれたのか。当時の映像をもとに被告人たちの姿に迫る。

【事前･事後学習課題】　レジュメの指示にしたがって予習・復習をしておくこと。

第13回　**【授業テーマ】**　２０世紀の裁判（４）アイヒマン裁判

【内容･方法　等】　南アメリカに逃亡していたナチス親衛隊幹部アイヒマン。1961年、全世界が見守るなかでイスラエルで裁判が行われた。そのときの映像をもとに、この裁判の意味を考える。

【事前･事後学習課題】　レジュメの指示にしたがって予習・復習をしておくこと。

第14回　**【授業テーマ】**　２０世紀の裁判（５）戦後ドイツの司法改革

【内容･方法　等】　「開かれた司法」をめざしたドイツの戦後改革。

【事前･事後学習課題】　レジュメの指示にしたがって予習・復習をしておくこと。

第15回　**【授業テーマ】**　２１世紀への展望ー復習とまとめ

【内容･方法　等】　授業内容のまとめと復習をする。半年間の授業をもとに、国民が裁判に参加する制度の国際比較を整理して、裁判員制度のメリット・デメリットについて考える。

【事前･事後学習課題】　レジュメの指示にしたがって予習・復習をしておくこと。

評価方法（基準）

原則として定期試験によって評価しますが、授業中の提出物なども成績評価の際に考慮します（詳細は初回の講義で説明します）。授業中の私語については、厳しく対処します。

教材等

教科書…とくに指定しません。

参考書…ヨッヘン・フォン・ランゲ『アイヒマン調書』岩波書店、２００９年、菅野賢治『ドレフュス事件のなかの科学』青土社、２００２年。他は授業中に指示します。

学生へのメッセージ

高校で世界史を勉強したことがない人にもわかりやすい授業をするつもりですので、歴史が苦手な人もふるって履修してください。わからない点は、いつでも気軽に質問してください。

関連科目

西洋の人権の歴史

担当者の研究室等

11号館5階　法学部資料室（法学部非常勤講師室）

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　22　2014/10/14　17:50:33

法とジェンダーの歴史
History of Law and Gende

小宮山　直　子（コミヤマ　ナオコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

セクハラ（セクシュアル・ハラスメント）、ＤＶ（ドメスティック・バイオレンス）そしてデートレイプ（友人・恋人間での強かん）。聞いたことがありますよね。これらの言葉を生み出したのが、「ジェンダー法学」です。「ジェンダー」とは、「性にまつわるさまざまなことがら」をさします。わたしたちはみんな大切な身体をもち、かけがえのない命をもっています。身体には「性」があり、命をつなぐのは「生殖」です。性や生殖をめぐる問題も、家族や恋人など親しい人たち（親密圏）のあいだでおこる暴力も、長い間、法学や歴史学では論じられてきませんでした。個人的で私的な問題と考えられてきたためです。けれども、これらは、わたしたちの日常生活において非常に切実な問題です。授業では、「１身体と性（性暴力・生殖）」、「２親密圏（家族・恋人）」、「３労働（雇用・賃金）」の３つの問題について取り上げます。

授業方法と留意点

ジェンダーの問題は、女性だけの問題ではない。授業では毎回、かならず男性の問題も取り上げる。授業では、板書ではなく、パワーポイントを用いてカラフルな図版や表を多用し、わかりやすい授業を行う。パワーポイントで示した資料は、レジュメとして配布するので、これをノート代わりに使ってもらいたい。また、だれにでもおこりうる身近なトラブルについては、隣の人や友だち同士で互いに話し合う時間を適宜もうけるなど、みんなで考える参加型の授業とする。

科目学習の効果（資格）

公務員試験や企業採用試験の一般教養科目（SPI)対策として有益である。また。公務員をめざす人には、男女共同参画の基礎知識として必要である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　１　ようこそジェンダー法学へージェンダー法学の課題
【内容・方法　等】　ジェンダーってなあに？女性差別撤廃条約（１９７９年)、男女共同参画社会基本法（１９９９年)。「２１世紀の課題」と言われる男女共同参画について、基本法と各自治体の条例を比較する。また、「逸失利益の男女差」に関する判例を取り上げる。
【事前・事後学習課題】　教科書１を読んでおくこと。

第２回　**【授業テーマ】**　２　身体と性　（１）女性に対する暴力
【内容・方法　等】　国際社会にはいまも多くの理不尽な暴力がある！女性に対する暴力、ポルノグラフィー、性の二重基準、戦時性暴力。姦通罪（不倫）にみる性の二重基準や世界各地の女性に対する暴力（女性割礼・持参金殺人・寡婦殉死など)、ポルノグラフィーは「表現の自由」と出演者の「人権」という問題をはらむこと、男性への暴力について。
【事前・事後学習課題】　教科書２を読んでおくこと。

第３回　**【授業テーマ】**　２　身体と性　（２）セクシュアル・ハラスメント
【内容・方法　等】　あなただって加害者・被害者になりうる！セクハラは、教師＝学生だけでなく、学生同士のあいだでもおこる。セクシュアル・ハラスメント裁判の展開、福岡裁判（１９９２年)、損害賠償額、対価型と環境型。キャンパス・セクハラ、パワハラ（パワー・ハラスメント)、アカハラ（アカデミック・ハラスメント）についても考える。
【事前・事後学習課題】　教科書３を読んでおくこと。

第４回　**【授業テーマ】**　２　身体と性　（３）性的自己決定権の侵害
【内容・方法　等】　恋人間でも合意がなければ強かん罪が成立するか？強かん罪（デートレイプについても考える)、「落ち度」をどう考えるか？加害者の多くは顔見しり。性犯罪被害者のＰＴＳＤへの配慮。セカンドレイプ（裁判やマスコミによる二次被害)。
【事前・事後学習課題】　教科書４を読んでおくこと。

第５回　**【授業テーマ】**　２　身体と性　（４）買売春と人身売買
【内容・方法　等】　売春は自由な職業か？それとも性的奴隷か？買春と売春、セックスワーク論、売春合法化論、刑法における人身売買罪の新設（２００５年)。
【事前・事後学習課題】　教科書５を読んでおくこと。

第６回　**【授業テーマ】**　２　身体と性　（５）性と生殖の自己決定権（リプロダクティブ・ヘルス・ライツ）
【内容・方法　等】　中絶は女性の権利か？それとも胎児の殺害か？「性と生殖の健康・権利」（リプロダクティブ・ヘルス・ライツ)・「産む・産まない」（女性の自己決定権)・人工妊娠中絶・優生保護法・母体保護法・胎児の生命・ロウ判決(１９７３年)
【事前・事後学習課題】　教科書６を読んでおくこと。

第７回　**【授業テーマ】**　３　親密圏　（１）婚姻と離婚
【内容・方法　等】　離婚した親と別居する子は互いにどのような権利をもつのか？婚姻形態の多様化、離婚法、離婚と財産、離婚と子ども、同性カップルの保護、離婚制度・別居親と子の面会交流・離婚慰謝料算定・調停前置主義
【事前・事後学習課題】　教科書７を読んでおくこと。

第８回　**【授業テーマ】**　３　親密圏　（２）家族法改正とその課題
【内容・方法　等】　結婚内か結婚外で生まれたかによって、子を差別してもいいのか？民法９００条４号但し書き、婚外子（非摘出子）相続差別違憲訴訟、民法改正要綱（１９９６年)、欧米の状況。家制度とはなにか－戸籍制度の歴史と現状。同姓と選択別氏制。
【事前・事後学習課題】　教科書８を読んでおくこと。

第９回　**【授業テーマ】**　３　親密圏　（３）生殖補助医療と親子関係
【内容・方法　等】　父はだれか？母はだれか？代理母、出自を知る権利、特別養子制度。代理母事件最高裁判決。ベビーＭ事件（アメリカ)。少子化社会対策基本法（２００３年)。
【事前・事後学習課題】　教科書９を読んでおくこと。

第10回　**【授業テーマ】**　３　親密圏　（４）親密圏における暴力（ドメスティック・バイオレンス）
【内容・方法　等】　ＤＶはあなたにも無縁ではない！それはだれでもおこる身近な暴力。ＤＶ防止法（２００１年)、ＤＶサイクル論、ＤＶが生じる原因、ＤＶ加害者への対応（国際比較)、保護命令、児童虐待防止法（２０００年)。
【事前・事後学習課題】　教科書１０を読んでおくこと。

第11回　**【授業テーマ】**　４　労働　（１）労働者保護の基本
【内容・方法　等】　働く人の権利はどう保護されているのか？そこにいかなるジェンダー・バイアス（性にもとづく偏り）があるのか？労働者保護の基本的仕組み、労働時間、産休と有給休暇、健康診断とプライバシー、解雇・退職、過労死裁判、労災認定、時間外労働、転勤裁判
【事前・事後学習課題】　教科書１１を読んでおくこと。

第12回　**【授業テーマ】**　４　労働　（２）雇用差別と平等法
【内容・方法　等】　労働における男女差別、障害者差別、国籍差別などについて考える！男女雇用機会均等法（１９８５年)、育児介護休業法、ワークライフバランス手当家事労働（アンペイドワーク）裁判、間接差別。
【事前・事後学習課題】　教科書１２を読んでおくこと。

第13回　**【授業テーマ】**　４　労働　（３）法の保護からの排除
【内容・方法　等】　だれもがワーキングプアになりかねない！非正規雇用、有期雇用、パートタイム労働、覇権、アンペイドワーク、同一価値労働同一賃金原則。
【事前・事後学習課題】　教科書１３を読んでおくこと。

第14回　**【授業テーマ】**　４　労働　（４）差別と排除に抵抗する手段
【内容・方法　等】　自分を家族を守るために！ＮＧＯ、労働組合、不当労働行為、労働審判、裁判闘争、反貧困ネットワーク、女性ユニオン、国際労働機構、会社の誠実交渉義務。
【事前・事後学習課題】　教科書１４を読んでおくこと。

第15回　**【授業テーマ】**　５　ジェンダー主流化に向けて
【内容・方法　等】　ジェンダー主流化により世界が変わる！人権とジェンダー、フェミニズム、参政権、ポジティブ・アクション、性の多様性、ケア労働。
【事前・事後学習課題】　教科書１５．１６を読んでおくこと。

評価方法（基準）

原則として定期試験によって評価しますが、授業中の提出物なども成績評価の際に考慮します（詳細は初回の講義で説明します)。

教材等

教科書…三成美保・笹沼朋子・立石直子・谷田川知恵『ジェンダー法学入門』法律文化社、2011年、2300円程度
参考書…三成美保『ジェンダーの法史学』勁草書房、２００５年、辻村みよ子『ジェンダーと法（第２版)』不磨書房、２０１０年、浅倉むつ子他『比較判例ジェンダー法』不磨書房、２００７年、吉岡睦子他『実務ジェンダー法講義』民事法研究会、２００７年、浅倉むつ子監修『導入対話によるジェンダー法学』不磨書房、２００３年、浅倉むつ子他『フェミニズム法学』明石書店、２００４年、金城清子『ジェンダーの法律学（改訂版)』有斐閣、２００７年

学生へのメッセージ

比較をとおして現代日本の動向を常識として身につけてもらうための科目ですので、積極的に参加して下さい。

関連科目

西洋女性史

担当者の研究室等

11号館5階　法学部資料室（法学部非常勤講師室）

西洋女性史
History of Women in Western Society

小宮山　直　子（コミヤマ　ナオコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択必修	2

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　23　2014/10/14　17:50:33

授業概要・目的・到達目標

西洋社会における女性の地位について概説する。古代から現代までの重要な人物や事件・事項をとりあげ、できるだけ具体的なイメージがわくようにパワーポイントやＤＶＤを利用しながら講義する。この授業により、高校までの世界史のイメージが大きくかわるはずである。

授業方法と留意点

毎回、授業の内容要約プリントと参考資料プリントを1-2枚程度配布する。パワーポイントおよび図を多くしてわかりやすい講義にしたい。授業の進行にあわせて、２回分のテーマを１回にまとめることもあります。

科目学習の効果（資格）

公務員試験や企業採用試験の一般教養科目対策として有益である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** 西洋社会における女性像の原点ー聖書における女性像（イブとマリア）
【内容･方法　等】 授業全体の目的。創世記におけるアダムとイブの物語にはどのような女性像がかかれているのか？また、それは、聖母マリア像とどのように違うか？
【事前･事後学習課題】 レジュメの指示にしたがって予習・復習しておくこと。

第２回 **【授業テーマ】** 古代ギリシア・ローマ社会における女性の地位
【内容･方法　等】 古代ギリシアのポリス、アテネの市民女性。古代ローマ皇帝の妻たち。
【事前･事後学習課題】 レジュメの指示にしたがって予習・復習しておくこと。

第３回 **【授業テーマ】** １５世紀のジャンヌ・ダルク裁判（フランス）
【内容･方法　等】 異端審問。農民の娘ジャンヌ・ダルクは、神の啓示をうけてフランス国王の信任をうけ、イギリスとの戦争でフランスを率いた。しかし、のちに国王に見捨てられ、異端として火あぶりになる。
【事前･事後学習課題】 レジュメの指示にしたがって予習・復習しておくこと。

第４回 **【授業テーマ】** １６世紀宗教改革と女性ーーヘンリー８世の離婚問題とアン・ブーリンの処刑（イギリス）
【内容･方法　等】 ヘンリー８世は息子にめぐまれず、ローマ教会と決別してまで離婚して、アン・ブーリンと再婚した。その娘がエリザベスである。アンは処刑されるが、エリザベスはのち女王として復活する。
【事前･事後学習課題】 レジュメの指示にしたがって予習・復習しておくこと。

第５回 **【授業テーマ】** エリザベス女王と絶対主義(イギリス)
【内容･方法　等】 姉メアリー１世との確執。母アンが姦通罪で処刑され、非嫡出子とされたエリザベスはのち女王として復活する。父がはじめたイギリス国教会を確立させ、スペイン無敵艦隊をやぶった女王。
【事前･事後学習課題】 レジュメの指示にしたがって予習・復習しておくこと。

第６回 **【授業テーマ】** １７世紀の魔女裁判ーマリア・ホルの場合（ドイツ）
【内容･方法　等】 魔女狩りにおける女性たちの苦しみ。なぜ女性が魔女に仕立て上げられたのか？マリアは１年間の拷問をともなう取り調べに耐えて､ついに放免された。しかし､自宅軟禁という条件付きで・・・。
【事前･事後学習課題】 レジュメの指示にしたがって予習・復習しておくこと。

第７回 **【授業テーマ】** １８世紀啓蒙主義と女性ーサロン文化とポンパドゥール夫人(フランス)
【内容･方法　等】 女性たちが主宰するサロンは啓蒙主義を支えた。ルイ１５世の愛人として有名なポンパドゥール夫人は、教養と美貌にあふれた女性で、啓蒙主義を支援する。
【事前･事後学習課題】 レジュメの指示にしたがって予習・復習しておくこと。

第８回 **【授業テーマ】** １８世紀人道主義の影響ー子殺しをしたスザンヌの裁判（ドイツ）
【内容･方法　等】 スザンヌは客に強姦されて妊娠し、生まれた子供を殺してしまう。彼女は町の広場で公開処刑（斬首刑）に処せられた。文豪ゲーテはこの悲劇を代表作『ファウスト』に取り入れた。
【事前･事後学習課題】 レジュメの指示にしたがって予習・復習しておくこと。

第９回 **【授業テーマ】** １７８９年フランス革命と女性－王妃マリー・アントワネットの処刑（フランス）
【内容･方法　等】 フランス革命における女性たち。王妃マリー・アントワネットはオーストリア女帝マリア・テレジアの末娘。美貌の王妃として贅沢を極めたが、フランス革命のなかで断頭台の露と消える。
【事前･事後学習課題】 レジュメの指示にしたがって予習・復習しておくこと。

第10回 **【授業テーマ】** １７８９年フランス人権宣言と女権宣言ーオランプ・ドゥ・グージュの挑戦
【内容･方法　等】 人権宣言は男権宣言にすぎなかった。グージュはこれを厳しく批判し、女権宣言を書く。女性も政治的意見を言う権利があると主張した彼女は、ギロチンで処刑される。グージュとメアリ・ウルストンクラフトが、初期フェミニズムの代表。
【事前･事後学習課題】 レジュメの指示にしたがって予習・復習しておくこと。

第11回 **【授業テーマ】** 皇帝ナポレオン（１８０４年）とジョゼフィーヌー近代市民法と家父長制
【内容･方法　等】 フランス民法典のなかの女性。自由と平等を定めたはずの女性ナポレオンとその妻ジョゼフィーヌ。近代的家父長制。
【事前･事後学習課題】 レジュメの指示にしたがって予習・復習しておくこと。

第12回 **【授業テーマ】** １９世紀近代家族の成立と専業主婦の誕生ーモデルとしてのヴィクトリア女王（イギリス）
【内容･方法　等】 ヴィクトリア時代のイギリスでは「女性らしさ」や「母性」が称揚された。ヴィクトリアはそうした女性イメージの形成に大きな役割を果たした。一方、労働者女性の地位は保護されなかった。近代的公娼制（フランス）。
【事前･事後学習課題】 レジュメの指示にしたがって予習・復習しておくこと。

第13回 **【授業テーマ】** 19世紀末～20世紀初頭フェミニズムの第１の波（欧米全体）
【内容･方法　等】 参政権と高等教育（大学への入学資格）を求めた運動はいかにして成功したか？女性の服装の変化（ココ・シャネルの革新性）。性と生殖のコントロールをめぐる運動もおこる。
【事前･事後学習課題】 レジュメの指示にしたがって予習・復習しておくこと。

第14回 **【授業テーマ】** ２０世紀後半フェミニズムの第２の波
【内容･方法　等】 公民権運動のなかでウーマン・リブ運動が生まれ、女性解放が大きく進んだ。労働条件の均等化やセクハラ・ＤＶ・セカンドレイプが問題にされていく。
【事前･事後学習課題】 レジュメの指示にしたがって予習・復習しておくこと。

第15回 **【授業テーマ】** ２１世紀グローバル社会での女性問題
【内容･方法　等】 いまなお世界で繰り返される女性に対する暴力の実態。内戦や戦争時の性暴力。
【事前･事後学習課題】 レジュメの指示にしたがって予習・復習しておくこと。

評価方法（基準）

原則として定期試験によって評価しますが、授業中の提出物なども成績評価の際に考慮します（詳細は初回の講義で説明します）。

教材等

教科書…指定しない。
参考書…三成美保『ジェンダーの法史学』勁草書房、２００５年、三成美保編『ジェンダーの比較法史学』大阪大学出版会、２００６年、姫岡とし子他『ドイツ近現代ジェンダー史入門』青木書店、２００９年、服籐早苗・三成美保編『権力と身体』（ジェンダー史叢書第１巻）明石書店、２０１１年。

学生へのメッセージ

楽しく教養を深めるのに役立つ授業です。

関連科目

法とジェンダーの歴史

担当者の研究室等

11号館5階　法学部資料室（法学部非常勤講師室）

英米法
Anglo-American Law

家　本　真　実（イエモト　マミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

日本で生活していくうえで、他国の法制度の知識が役に立つことはあまり多くないかもしれません。しかし、他国の法制度を学ぶことは、日本の法制度に対する理解を深め、さまざまな法的問題の解決法を探ることにもつながります。そこでこの講義では、日本の法制度にも大きな影響を与えている英米法の基礎概念とアメリカの法制度を学んでいただきたいと考えています。講義では、英文の文献や映画などの映像資料も多用します。

授業方法と留意点

要点を記したレジュメを中心に授業をおこないます。「英語なんて見たくもない」という方にはお勧めできない授業ですが、アメリカや英語に興味がある方には、法という視点からアプローチする楽しさを感じていただけるかと思います。

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　24　2014/10/14　17:50:33

科目学習の効果（資格）
英米法の基本的な考え方、アメリカの歴史や社会、法制度についての知識を得ることができます。
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 **【授業テーマ】** はじめに
訴訟社会、アメリカ？
【内容・方法　等】 この講義の内容や目的、講義の進め方について
訴訟社会といわれるアメリカの裁判について
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第２回 **【授業テーマ】** 英米法とは
【内容・方法　等】 英米法の歴史と法体系
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第３回 **【授業テーマ】** 判例法とは
【内容・方法　等】 判例法は制定法とどう違うのか
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第４回 **【授業テーマ】** アメリカの立法府と行政府
【内容・方法　等】 アメリカの立法と行政のしくみはどのようになっているか
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第５回 **【授業テーマ】** アメリカの憲法（1）
【内容・方法　等】 アメリカの憲法を読んでみる
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第６回 **【授業テーマ】** アメリカの憲法（2）
【内容・方法　等】 アメリカの憲法に関する判例を読む
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第７回 **【授業テーマ】** アメリカ銃問題と憲法（1）
【内容・方法　等】 映画『ボウリング・フォー・コロンバイン』を通してアメリカの銃問題について学ぶ
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第８回 **【授業テーマ】** アメリカ銃問題と憲法（2）
【内容・方法　等】 映画『ボウリング・フォー・コロンバイン』を通してアメリカの銃問題について学ぶ
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第９回 **【授業テーマ】** アメリカの民事訴訟手続き（1）
【内容・方法　等】 アメリカの民事裁判手続きに採用されているディスカバリー（証拠開示手続き）について
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第10回 **【授業テーマ】** アメリカの民事訴訟手続き（2）
【内容・方法　等】 クラスアクション（集団代表訴訟）について
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第11回 **【授業テーマ】** アメリカの民事法（1）
【内容・方法　等】 アメリカの民事裁判と懲罰的損害賠償
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第12回 **【授業テーマ】** アメリカの民事法（2）
【内容・方法　等】 映画”Hot Coffee”を題材に、民事裁判の問題点を考える
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第13回 **【授業テーマ】** アメリカにおける市民の司法への参加（1）
【内容・方法　等】 映画”Hot Coffee”からわかるアメリカの陪審制度
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第14回 **【授業テーマ】** アメリカにおける市民の司法への参加（2）
【内容・方法　等】 アメリカの民事・刑事陪審制度について
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第15回 **【授業テーマ】** アメリカの法学教育と法曹
【内容・方法　等】 アメリカの法学教育の概要と法律の専門家について
【事前・事後学習課題】 全講義を通して疑問や不明点がないか確認したうえで講義に臨むこと
評価方法（基準）
受講者数が小規模の授業になることが予想されますので、授業中に意見や感想を求めたり、課題を提出していただいたりします。そうした授業中のやり取りや提出された課題の内容と受講姿勢を50%程度、学期末試験の成績を50％程度の割合で、最終的な評価をおこないます。授業中の不要な私語については減点の対象とします。
教材等
教科書…とくに使用しませんが、レジュメを配布し、それを基に講義をおこないます。
参考書…丸山徹『入門・アメリカの司法制度』（現代人文社、2007年）￥1,890、N.ヴィドマー・V.ハンス著（丸田隆代表編訳）『アメリカの刑事陪審』（日本評論社、2009年）￥3,150
学生へのメッセージ
アメリカや英語に興味があり、積極的に学ぼうという姿勢を持つ学生（他学部の学生を含む）を歓迎します。授業中は私語を慎んでください。講義内容は、進行具合や受講生の様子によっては変更する場合もあります。
関連科目
国際関係の科目、英語系の科目
担当者の研究室等
11号館9階　家本准教授室

憲法概論
Introduction to Constitutional Law

浮　田　　徹（ウキタ　トオル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ABCDEIJ	前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
憲法全体の基礎的な部分を概観します。
授業方法と留意点
講義形式です。詳細な進め方は初回の講義で配布されるプリントを参照のこと。
科目学習の効果（資格）
様々な資格試験および公務員試験の基礎となります。
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 **【授業テーマ】** ガイダンス・憲法総論１
【内容・方法　等】 ガイダンス・憲法の位置づけ
【事前・事後学習課題】 プリント復習
第２回 **【授業テーマ】** 憲法総論２
【内容・方法　等】 憲法の基本概念
【事前・事後学習課題】 プリント復習
第３回 **【授業テーマ】** 基本的人権総論１
【内容・方法　等】 基本的人権の思想
【事前・事後学習課題】 プリント復習
第４回 **【授業テーマ】** 基本的人権総論２
【内容・方法　等】 日本国憲法における重要な人権の原則
【事前・事後学習課題】 プリント復習
第５回 **【授業テーマ】** 基本的人権各論１
【内容・方法　等】 法の下の平等
【事前・事後学習課題】 プリント復習
第６回 **【授業テーマ】** 基本的人権各論２
【内容・方法　等】 精神的自由１：思想良心の自由
【事前・事後学習課題】 プリント復習
第７回 **【授業テーマ】** 基本的人権各論３
【内容・方法　等】 精神的自由２：信教の自由
【事前・事後学習課題】 プリント復習
第８回 **【授業テーマ】** 基本的人権各論４
【内容・方法　等】 精神的自由３：表現の自由
【事前・事後学習課題】 プリント復習
第９回 **【授業テーマ】** 基本的人権各論５
【内容・方法　等】 経済的自由、財産権
【事前・事後学習課題】 プリント復習
第10回 **【授業テーマ】** 基本的人権各論６
【内容・方法　等】 社会権
【事前・事後学習課題】 プリント復習
第11回 **【授業テーマ】** 統治機構１
【内容・方法　等】 統治機構概論
【事前・事後学習課題】 プリント復習
第12回 **【授業テーマ】** 統治機構２
【内容・方法　等】 議院内閣制１
【事前・事後学習課題】 プリント復習
第13回 **【授業テーマ】** 統治機構３
【内容・方法　等】 議院内閣制２
【事前・事後学習課題】 プリント復習
第14回 **【授業テーマ】** 統治機構４
【内容・方法　等】 司法権
【事前・事後学習課題】 プリント復習
第15回 **【授業テーマ】** 統治機構５
【内容・方法　等】 地方自治
【事前・事後学習課題】 プリント復習
評価方法（基準）
試験、レポート、平常点などで評価します。詳細は初回の講義で配布されるプリントを参照のこと。
教材等
教科書…なし。毎回配布するプリントをもとに行います。

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　25　2014/10/14　17:50:33

参考書…講義中指定することがあります。

学生へのメッセージ

講義の進め方、評価について詳細な説明をしますので初回の講義には必ず出席すること。

関連科目

憲法I、憲法II

担当者の研究室等

11号館9階　浮田准教授室

憲法概論
Introduction to Constitutional Law

松　島　裕　一（マツシマ　ユウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	GH	前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

この授業では、毎回身近な問題を取り上げ、憲法学の基本的な事項を学習していきます。「憲法学」というと、一見したところ難しそうで、なかなか具体的なイメージが浮かばないかもしれません。しかし、そこで問題とされている事柄は決して私たちの日常生活と無関係なものではありません。この授業を通じて憲法学の基本的な考え方を習得することはもちろんのこと、憲法学に少しでも慣れ親しみ、憲法を身近な存在として受け止められるようになることがこの授業の目標です。

授業方法と留意点

講義は、適宜配布するレジュメにしたがって行います（当然のことながら、六法は毎時間持参すること）。

科目学習の効果（資格）

「憲法学」を学習していくうえで必要となる基本的知識を習得する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　ガイダンス
【内容・方法　等】　授業の進め方や成績評価の方法を説明します。また、憲法学に関する参考書や判例集を紹介します。
【事前・事後学習課題】　事前の予習は必要ありませんので、毎回の授業内容を復習するように努めてください。

第２回　**【授業テーマ】**　憲法を学習する前に
【内容・方法　等】　憲法の学習するにあたって必要となる法律学全体の基礎知識を説明します。裁判所の仕組み（大法廷と小法廷）、判例の引用の仕方、六法の引き方と憲法条文の読み方など。
【事前・事後学習課題】　手元の六法で条文を見ながら、日本国憲法の構成を復習すること。

第３回　**【授業テーマ】**　憲法とは何か？
【内容・方法　等】　いったい憲法とは何だろうか？　なぜ憲法は必要なのだろうか？　このテーマに関連するDVDを視聴して、憲法のない社会を想像し、憲法の重要さについて学習します。立憲主義、人権保障と権力分立など。
【事前・事後学習課題】　授業中に鑑賞したDVDについてのレポートを課す予定なので、それを提出してください。

第４回　**【授業テーマ】**　自由権①　自由とは何か？
【内容・方法　等】　日本国憲法はさまざまな自由権を保障しています。まず自由権の種類とその内容を簡単に見ていきます。そのあとで、憲法が保障する「自由」とはどのようなものか、検討してみます。
【事前・事後学習課題】　自由にはどのような限界があると思いますか？　授業内容をふまえて考えてみてください。

第５回　**【授業テーマ】**　自由権②　信教の自由
【内容・方法　等】　世界にはさまざまな宗教が存在しますが、そもそも宗教とは何でしょうか？　また日本ではどのようなことが信教の自由との関連で争われているのでしょうか？　信教の自由の基本的事項を学習します。
【事前・事後学習課題】　剣道実技拒否事件についてレポートを課す予定ですので、それを提出してください。

第６回　**【授業テーマ】**　自由権③　表現の自由
【内容・方法　等】　日本国憲法は第21条で、表現の自由を保障してします。しかし、どのような表現でも一様に保障されているのでしょうか？　この問題を名誉毀損やポルノに対する規制を手がかりに学習します。
【事前・事後学習課題】　表現を取り締まる際にどのようなことが問題となると思いますか？　考えてみてください。

第７回　**【授業テーマ】**　社会権　生存権を中心に
【内容・方法　等】　社会権と呼ばれる人権のグループのうち、生存権について学習します。憲法25条が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」とはどのような生活なのでしょうか？　日本の社会保障制度もあわせて検討します。
【事前・事後学習課題】　授業中に取り上げた判例を手がかりにして、社会保障のあるべき姿を考えてみてください。

第８回　**【授業テーマ】**　法の下の平等①　平等とは何か？
【内容・方法　等】　日本国憲法は第14条で、すべての国民が平等であることを保障しています。しかし、そもそも平等とは何なのでしょうか？　平等の基本的な意味を学習し、差別の問題について考えてみます。
【事前・事後学習課題】　「差別」と「区別」とは何がちがうでしょうか？　授業内容をふまえて考えてみてください。

第９回　**【授業テーマ】**　法の下の平等②　平等をめぐる諸問題
【内容・方法　等】　前回の続き。人種差別や男女差別、さらに同性愛者に対する差別など、実際の社会で問題になっていることがらを具体的な事件に基づいて学習し、平等についての理解を深めていきます。
【事前・事後学習課題】　法律で男女を区別して扱うことが許されるのはどのような場合か、考えてみてください。

第10回　**【授業テーマ】**　プライバシー権
【内容・方法　等】　新しい人権と呼ばれる人権のグループのうち、プライバシー権を学習します。実際の憲法判例や、最近問題になることの多いネット上のトラブルを素材にして、プライバシーの重要性を検討します。
【事前・事後学習課題】　「石に泳ぐ魚」事件についてレポートを課す予定ですので、それを提出してください。

第11回　**【授業テーマ】**　子どもの人権
【内容・方法　等】　子どもはおとなに比べ、さまざまな制約があります。例えば、中学生や高校生は校則で髪型・服装の自由が制限されていたり、バイクの免許が禁止されていたりします。その理由を考えてみます。
【事前・事後学習課題】　高校の校則を思い出しながら、その憲法上の問題点について考えてみてください。

第12回　**【授業テーマ】**　国会・内閣・裁判所
【内容・方法　等】　日本の統治機構の基本的な仕組みを学習します。国会・内閣・裁判所のそれぞれの機関の組織や権限など。また権力分立という考え方もあわせて学習します。
【事前・事後学習課題】　授業中に統治機構に関する図表を配布するので、しっかり復習して必ず理解すること。

第13回　**【授業テーマ】**　平和主義
【内容・方法　等】　日本国憲法は第９条で「戦争の放棄」を宣言しています。それでは、他国から攻撃を受けたとき、日本は反撃できないのでしょうか？　そもそも自衛隊は違憲なのでしょうか？　平和の意味を検討します。
【事前・事後学習課題】　憲法９条を改正すべきと思いますか？　授業内容を踏まえて、自分なりに考えること。

第14回　**【授業テーマ】**　天皇制
【内容・方法　等】　日本国憲法は第１章で天皇制を定めていますが、日本国憲法における天皇とはそもそもどのような存在なのでしょうか？　近年問題になっている女系天皇についてもあわせて検討します。
【事前・事後学習課題】　女系天皇に賛成ですか？　そもそも天皇制は必要だと思いますか？　考えてみて下さい。

第15回　**【授業テーマ】**　まとめと復習
【内容・方法　等】　これまでの講義で論じてきた事柄を簡単に復習し、社会において憲法が果たすべき役割について考えてみます（可能であれば、これまでの講義で論じることができなかったトピックを補足説明する予定です）。
【事前・事後学習課題】　これまでの授業で理解できなかったところを、ピックアップしておいてください。

評価方法（基準）

期末テスト60％と提出物40％によって総合的に評価します。

教材等

教科書…教科書は使用しません。
参考書…「いちばんやさしい憲法入門」初宿正典ほか著　有斐閣（1600円）
「基本的人権の事件簿」棟居快行ほか著　有斐閣（1900円）

学生へのメッセージ

基本的に講義形式で授業を行いますが、毎時間の後半部分では学生みなさんに発言を求めたり、授業の感想や疑問点を書いてもらう予定です。授業中の私語は厳禁ですが、それ以外の発言であれば歓迎しますので、ぜひ積極的に授業に参加してください。

関連科目

憲法Ⅰ・Ⅱ

担当者の研究室等

11号館9階　松島講師室

憲法I（基本的人権）
Constitutional Law I

浮　田　　徹（ウキタ　トオル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期(30回)	履修申請要領参照	4

授業概要・目的・到達目標

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　26　2014/10/14　17:50:34

憲法は国家の基本的な組織と作用を規定したものです。それは大まかに言うと「基本的人権」を定める部分と「統治機構」を定める部分に分けられます。２年時履修の本講義では、その「基本的人権」の部分について詳しく勉強していきます。日本国憲法は「基本的人権」をどのように保障しているのか。このことは、統治機構を含めた憲法全体の理解、そしてそれにとどまらず、あらゆる法律の理解にも関わってきます。

授業方法と留意点

教科書、配布プリント、黒板を用いた講義形式で授業を行います。より具体的な内容は初回配布のプリントを参照すること。

科目学習の効果（資格）

各種資格試験、公務員試験などの試験科目です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法　等】 ・講義の概要説明と文献案内
・基本概念の説明
【事前・事後学習課題】 ――――

第２回 【授業テーマ】 人身の自由①
【内容・方法　等】 ・移動の自由
・奴隷的拘束からの自由
【事前・事後学習課題】 講義該当部分の教科書を読む

第３回 【授業テーマ】 人身の自由②
【内容・方法　等】 ・法定手続の保障
【事前・事後学習課題】 講義該当部分の教科書を読む

第４回 【授業テーマ】 人身の自由③
【内容・方法　等】 ・刑事手続の保障
【事前・事後学習課題】 講義該当部分の教科書を読む

第５回 【授業テーマ】 社会的権利①
【内容・方法　等】 ・生存権の保障
【事前・事後学習課題】 講義該当部分の教科書を読む

第６回 【授業テーマ】 社会的権利②
【内容・方法　等】 ・教育を受ける権利①
【事前・事後学習課題】 講義該当部分の教科書を読む

第７回 【授業テーマ】 社会的権利③
【内容・方法　等】 ・教育を受ける権利②
【事前・事後学習課題】 講義該当部分の教科書を読む

第８回 【授業テーマ】 社会的権利④
【内容・方法　等】 ・勤労の権利
・労働基本権
【事前・事後学習課題】 講義該当部分の教科書を読む

第９回 【授業テーマ】 経済的権利①
【内容・方法　等】 ・職業の自由
【事前・事後学習課題】 講義該当部分の教科書を読む

第10回 【授業テーマ】 経済的権利②
【内容・方法　等】 ・財産権の保障
【事前・事後学習課題】 講義該当部分の教科書を読む

第11回 【授業テーマ】 受益権
【内容・方法　等】 ・国家賠償請求権・刑事補償請求権
【事前・事後学習課題】 講義該当部分の教科書を読む

第12回 【授業テーマ】 精神的自由①
【内容・方法　等】 ・思想・良心の自由
【事前・事後学習課題】 講義該当部分の教科書を読む

第13回 【授業テーマ】 精神的自由②
【内容・方法　等】 ・信教の自由
・政教分離
【事前・事後学習課題】 講義該当部分の教科書を読む

第14回 【授業テーマ】 精神的自由③
【内容・方法　等】 ・表現の自由の意味、歴史、機能
【事前・事後学習課題】 講義該当部分の教科書を読む

第15回 【授業テーマ】 精神的自由④
【内容・方法　等】 ・インターネットにおける表現
【事前・事後学習課題】 講義該当部分の教科書を読む

第16回 【授業テーマ】 精神的自由⑤
【内容・方法　等】 ・知る権利
【事前・事後学習課題】 講義該当部分の教科書を読む

第17回 【授業テーマ】 精神的自由⑥
【内容・方法　等】 ・メディアの自由
【事前・事後学習課題】 講義該当部分の教科書を読む

第18回 【授業テーマ】 精神的権利⑦
【内容・方法　等】 ・表現の自由の規制
【事前・事後学習課題】 講義該当部分の教科書を読む

第19回 【授業テーマ】 精神的自由⑧
【内容・方法　等】 ・集会・結社の自由
【事前・事後学習課題】 講義該当部分の教科書を読む

第20回 【授業テーマ】 幸福追求権①
【内容・方法　等】 ・個人の尊重
【事前・事後学習課題】 講義該当部分の教科書を読む

第21回 【授業テーマ】 幸福追求権②
【内容・方法　等】 ・幸福追求権と新しい人権
【事前・事後学習課題】 講義該当部分の教科書を読む

第22回 【授業テーマ】 人権の意義
【内容・方法　等】 ・人権の理念と歴史、国際的補償
【事前・事後学習課題】 講義該当部分の教科書を読む

第23回 【授業テーマ】 人権の享有主体
【内容・方法　等】 ・自然人
・法人
【事前・事後学習課題】 講義該当部分の教科書を読む

第24回 【授業テーマ】 人権の到達範囲
【内容・方法　等】 ・私人間適用
・特殊な法律関係
【事前・事後学習課題】 講義該当部分の教科書を読む

第25回 【授業テーマ】 人権の制約原理
【内容・方法　等】 ・公共の福祉論の展開
・違憲審査基準論
【事前・事後学習課題】 講義該当部分の教科書を読む

第26回 【授業テーマ】 法の下の平等①
【内容・方法　等】 ・平等の理念
【事前・事後学習課題】 講義該当部分の教科書を読む

第27回 【授業テーマ】 法の下の平等②
【内容・方法　等】 ・平等違反の審査方法
【事前・事後学習課題】 講義該当部分の教科書を読む

第28回 【授業テーマ】 法の下の平等③
【内容・方法　等】 ・平等違反の裁判例について(1)
【事前・事後学習課題】 講義該当部分の教科書を読む

第29回 【授業テーマ】 法の下の平等④
【内容・方法　等】 ・平等違反の裁判例について(2)
【事前・事後学習課題】 講義該当部分の教科書を読む

第30回 【授業テーマ】 まとめ

評価方法（基準）

定期試験および複数回課す課題ペーパーなどで評価します。具体的には講義の初回に配布されるプリントを参照のこと。

教材等

教科書…毛利透，小泉良幸，淺野博宣，松本哲治 著「憲法II人権」(有斐閣2013年)

参考書…憲法判例百選I〔第6版〕(有斐閣、2013年)、憲法判例百選II;〔第6版〕(有斐閣2013年)

学生へのメッセージ

専門科目の憲法です。内容をしっかりと理解してください。

関連科目

憲法II（統治機構）、行政法、刑事訴訟法、民法、労働法など多くの科目の学習を展開する基礎となります。

担当者の研究室等

11号館9階　浮田准教授室

憲法II（統治機構）
Constitutional Law II

浮　田　　徹（ウキタ　トオル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

本講義では、憲法Ｉ（基本的人権）で習得した知識を土台として、基本的人権と並ぶ憲法の重要な構成要素である統治機構について勉強します。

憲法Ⅱの目的は、日本国憲法の採用する様々な制度を理解し、全体としての統治システムの構造と作用を把握するところにあります。その上で、統治に関する憲法の規定が、単に国家の構成について定めたというだけではなく、憲法で掲げられる基本的人権などの重要な価値を保障するための組織を作り上げるものであるということを理解してください。

授業方法と留意点

教科書、配布資料、板書を用いた講義形式で授業を行っていきます。講義中に受講者に質問することもあります。

科目学習の効果（資格）

司法試験、公務員試験などの試験科目です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法　等】 ・講義の概要説明
【事前・事後学習課題】 ――――

第２回 【授業テーマ】 統治機構総論
【内容・方法　等】 ・権力分立概論
・民主主義概論
【事前・事後学習課題】 講義該当部分の教科書を読む

第３回 【授業テーマ】 立法と行政(1)
【内容・方法　等】 ・議院内閣制
【事前・事後学習課題】 講義該当部分の教科書を読む

第４回 【授業テーマ】 立法と行政(2)
【内容・方法　等】 ・国会の性格、地位
【事前・事後学習課題】 講義該当部分の教科書を読む

第５回 【授業テーマ】 立法と行政(3)
【内容・方法　等】 ・内閣を頂点とする行政権の仕組み
【事前・事後学習課題】 講義該当部分の教科書を読む

第６回 【授業テーマ】 司法権(1)

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　27　2014/10/14　17:50:34

【内容・方法　等】　・裁判所の役割
【事前・事後学習課題】　講義該当部分の教科書を読む
第７回　【授業テーマ】　司法権(2)
【内容・方法　等】　・違憲審査
【事前・事後学習課題】　講義該当部分の教科書を読む
第８回　【授業テーマ】　司法権(3)
【内容・方法　等】　・憲法裁判
【事前・事後学習課題】　講義該当部分の教科書を読む
第９回　【授業テーマ】　平和主義(1)
【内容・方法　等】　・憲法9条の解釈について
【事前・事後学習課題】　講義該当部分の教科書を読む
第10回　【授業テーマ】　平和主義(2)
【内容・方法　等】　・自衛隊の憲法適合性、日本の安全保障
【事前・事後学習課題】　講義該当部分の教科書を読む
第11回　【授業テーマ】　憲法改正
【内容・方法　等】　・現代における憲法改正論議
【事前・事後学習課題】　講義該当部分の教科書を読む
第12回　【授業テーマ】　憲法保障
【内容・方法　等】　・憲法保障のシステムについて
【事前・事後学習課題】　講義該当部分の教科書を読む
第13回　【授業テーマ】　天皇制
【内容・方法　等】　・日本国憲法における象徴天皇制
【事前・事後学習課題】　講義該当部分の教科書を読む
第14回　【授業テーマ】　地方自治
【内容・方法　等】　・憲法上の地方自治
【事前・事後学習課題】　講義該当部分の教科書を読む
第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容・方法　等】　・まとめ
【事前・事後学習課題】　――――

評価方法（基準）
試験・平常点などにより評価します。詳細は初回に配布するプリントを参照のこと。

教材等
教科書…毛利透・小泉良幸・淺野博宣・松本哲治著『憲法I 統治』(有斐閣、2011年)
参考書…憲法判例百選II;〔第6版〕(有斐閣2013年)

学生へのメッセージ
基本的人権だけでなく、統治機構も理解することで憲法の勉強を完成させましょう。

関連科目
行政法や国際法といった実定法領域のほか、政治学、行政学などひろく政治学の領域へと学習を展開する基礎となります。

担当者の研究室等
11号館9階　浮田准教授室

行政法の基礎理論I
Administrative Law I

金　谷　重　樹（カナタニ　シゲキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
私人の活動がいわゆる「私的自治の原則」を基盤にしており、一定の法の柵の中であればその活動は個々人の自由な判断と責任に委ねられているのに対し、国や自治体による行政活動は必ず法に基づき、従って行われなければならないという「法治主義」ないし「法の支配」の下に置かれている。そこで、この授業では私人の活動と行政活動とが法的にどのように異なる扱いを受けているかについて、身近で具体的な事例を挙げながら、平易に解説する。

授業方法と留意点
プリントを配付します。配付したプリントは毎回、必ず、持参して下さい。
行政法という題名の法律は存在しません。そこで、授業は理論的な内容が多くなりますが、諸君においても、講義には必ず出席し、講義の内容を理解するように努力して下さい。

科目学習の効果（資格）
公務員を志望する諸君にとっては行政法は必須であり、また多くの国家試験においても行政法は必須です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　はじめに
【内容・方法　等】　行政の意味と様々な身近な行政活動
【事前・事後学習課題】　身近な行政について具体的に思い浮かべておくこと。
第２回　【授業テーマ】　私人の活動と行政主体の活動
【内容・方法　等】　法治主義・法の支配
【事前・事後学習課題】　事前にプリントを読んでおくこと。
第３回　【授業テーマ】　行政法の姿と形（１）
【内容・方法　等】　成文法源
【事前・事後学習課題】　事前にプリントを読んでおくこと。
第４回　【授業テーマ】　行政法の姿と形（２）
【内容・方法　等】　不文法源
【事前・事後学習課題】　事前にプリントを読んでおくこと。
第５回　【授業テーマ】　法律の留保
【内容・方法　等】　行政活動と授権規定
【事前・事後学習課題】　事前にプリントを読んでおくこと。
第６回　【授業テーマ】　行政目的を実現する手法
【内容・方法　等】　私人の私的目的実現手法との相違
【事前・事後学習課題】　事前にプリントを読んでおくこと。
第７回　【授業テーマ】　行政指導
【内容・方法　等】　協力の要請
【事前・事後学習課題】　事前にプリントを読んでおくこと。
第８回　【授業テーマ】　行政上の契約
【内容・方法　等】　私法上の契約との相違
【事前・事後学習課題】　事前にプリントを読んでおくこと。
第９回　【授業テーマ】　処分（１）
【内容・方法　等】　処分の意味
【事前・事後学習課題】　事前にプリントを読んでおくこと。
第10回　【授業テーマ】　処分（２）
【内容・方法　等】　処分の種類
【事前・事後学習課題】　事前にプリントを読んでおくこと。
第11回　【授業テーマ】　処分（３）
【内容・方法　等】　処分の効力その１
【事前・事後学習課題】　事前にプリントを読んでおくこと。
第12回　【授業テーマ】　処分（４）
【内容・方法　等】　処分の効力その２
【事前・事後学習課題】　事前にプリントを読んでおくこと。
第13回　【授業テーマ】　処分（５）
【内容・方法　等】　処分の取消と撤回
【事前・事後学習課題】　事前にプリントを読んでおくこと。
第14回　【授業テーマ】　処分（６）
【内容・方法　等】　瑕疵の治癒・附款　その他
【事前・事後学習課題】　事前にプリントを読んでおくこと。
第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容・方法　等】　これまでの講義内容をまとめる。
【事前・事後学習課題】　これまでの講義内容を復習しておくこと。

評価方法（基準）
学期末に試験を行い、その結果によって評価します。内容は原則として○×又は穴埋め方式です。

教材等
教科書…プリントが教科書ですが、六法（ポケット六法などの小型の六法で結構です）は必ず持参して下さい。
参考書…講義中に適宜示します。

学生へのメッセージ
とにかく私語をしないこと。私語は授業の進行と他学生の受講を妨害する悪質な行為であるから、私語を止めない学生は退室させます。

関連科目
憲法と民法総則は、履修するだけでなく、充分に理解しておくこと。

担当者の研究室等
11号館9階　金谷教授室

行政法の基礎理論II
Administrative Law II

金　谷　重　樹（カナタニ　シゲキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
この授業では、「行政法の基礎理論Ｉ」で学んだ行政主体がその目的を実現する特有の手法の中で最も一般的な「処分」以外の手法について学ぶとともに、法治主義と相容れない行政裁量の問題、権限の代行という行政活動における実務上の問題、行政の説明責任を全うするための情報公開の問題、行政活動に対する民法の適用範囲の問題などの重要な個別的な問題を解説し、その上で行政上の義務の不履行に対する権力的措置について説明する。

授業方法と留意点
プリントを配付します。配付したプリントは毎回、必ず、持参して下さい。
行政法という題名の法律は存在しません。そこで、授業は理論的な内容が多くなりますが、諸君においても、講義には必ず出席し、講義の内容を理解するように努力して下さい。

科目学習の効果（資格）
公務員を志望する諸君にとっては行政法は必須であり、また多くの国家試験においても行政法は必須です。

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　28　2014/10/14　17:50:34

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** はじめに
【内容・方法　等】 「行政法の基礎理論Ⅰ」で学んだことの復習
【事前・事後学習課題】 事前に行政法の基礎理論Ⅰで学んだことを復習しておくこと。

第２回 **【授業テーマ】** 拘束的計画・即時強制
【内容・方法　等】 処分との相違、行政調査など
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第３回 **【授業テーマ】** 行政裁量（１）
【内容・方法　等】 裁量と司法審査
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第４回 **【授業テーマ】** 行政裁量（２）
【内容・方法　等】 行政手続法
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第５回 **【授業テーマ】** 権限の代行
【内容・方法　等】 権限の委任、代理、専決、代決
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第６回 **【授業テーマ】** 情報公開
【内容・方法　等】 情報公開法と情報公開条例
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第７回 **【授業テーマ】** 行政法関係（１）
【内容・方法　等】 公法関係と私法関係その１
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第８回 **【授業テーマ】** 行政法関係（２）
【内容・方法　等】 公法関係と私法関係その２
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第９回 **【授業テーマ】** 行政法関係（３）
【内容・方法　等】 公法関係と私法関係その３
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第10回 **【授業テーマ】** 行政上の義務違反に対する措置（１）
【内容・方法　等】 行政罰
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第11回 **【授業テーマ】** 行政上の義務違反に対する措置（２）
【内容・方法　等】 行政上の秩序罰　その他
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第12回 **【授業テーマ】** 行政上の強制執行（１）
【内容・方法　等】 行政上の強制執行と民事上の強制執行
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第13回 **【授業テーマ】** 行政上の強制執行（２）
【内容・方法　等】 行政上の強制執行の種類
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第14回 **【授業テーマ】** 行政組織
【内容・方法　等】 国の行政組織と地方の行政組織
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第15回 **【授業テーマ】** まとめ
【内容・方法　等】 これまでの講義内容（行政法の基礎理論Ⅰ及びⅡ）のまとめ
【事前・事後学習課題】 これまでに配布したプリントを通読しておくこと。

評価方法（基準）
学期末に試験を行い、その結果によって評価します。内容は原則として○×又は穴埋め方式です。

教材等
教科書…プリントが教科書ですが、六法（ポケット六法などの小型の六法で結構です）は必ず持参して下さい。
参考書…講義中に適宜示します。

学生へのメッセージ
とにかく私語をしないこと。私語は授業の進行と他学生の受講を妨害する悪質な行為であるから、私語を止めない学生は退室させます。

関連科目
憲法と民法総則は、履修するだけでなく、充分に理解しておくこと。

担当者の研究室等
11号館9階　金谷教授室

行政救済法Ⅰ
Administrative Remedy I

金　谷　重　樹（カナタニ　シゲキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
法治主義ないし法の支配の下においては、すべての行政活動は適法に、しかも国民・住民の権利利益を最大限に尊重して行われなければならないが、この行政、神ならぬ人が行うことから、時として違法な行政が行われることがあり、それを放置することは法治主義ないし法の支配に反する。また、財産権については、正当な補償の下、公共の福祉のために剥奪・制限することが認められている。そこで、この授業では、このような行政活動に起因する被害の補填制度について説明する。

授業方法と留意点
プリントを配付します。配付したプリントは毎回必ず持参して下さい。

科目学習の効果（資格）
公務員試験を受験する諸君にとっては行政法は必須であり、また多くの国家試験においても行政法は必須です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** はじめに
【内容・方法　等】 「行政法の基礎理論Ⅰ・Ⅱ」で学んだことの復習
【事前・事後学習課題】 行政法の基礎理論Ⅰ及びⅡのプリントを通読しておくこと。

第２回 **【授業テーマ】** 行政救済制度
【内容・方法　等】 国家補償と行政争訟の説明
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第３回 **【授業テーマ】** 行政上の損害賠償制度
【内容・方法　等】 不法行為責任と債務不履行責任
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第４回 **【授業テーマ】** 国家賠償法（１）
【内容・方法　等】 国家賠償法第1条の説明その１
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第５回 **【授業テーマ】** 国家賠償法（２）
【内容・方法　等】 国家賠償法第1条の説明その２
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第６回 **【授業テーマ】** 国家賠償法（３）
【内容・方法　等】 国家賠償法第1条に関する判例その１
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第７回 **【授業テーマ】** 国家賠償法（４）
【内容・方法　等】 国家賠償法第１条に関する判例その２
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第８回 **【授業テーマ】** 国家賠償法（５）
【内容・方法　等】 国家賠償法第１条に関する判例その３
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第９回 **【授業テーマ】** 国家賠償法（６）
【内容・方法　等】 国家賠償法第2条の説明
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第10回 **【授業テーマ】** 国家賠償法（７）
【内容・方法　等】 国家賠償法第２条に関する判例
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第11回 **【授業テーマ】** 国家賠償法（８）
【内容・方法　等】 国家賠償法第１条と第２条の重複適用など
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第12回 **【授業テーマ】** 行政上の損失補償（１）
【内容・方法　等】 特別の犠牲
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第13回 **【授業テーマ】** 行政上の損失補償（２）
【内容・方法　等】 特別の犠牲に関する判例
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第14回 **【授業テーマ】** 国家補償
【内容・方法　等】 行政上の損害賠償と損失補償の狭間
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第15回 **【授業テーマ】** まとめ
【内容・方法　等】 これまでの講義内容のまとめ
【事前・事後学習課題】 これまでのプリントを通読しておくこと。

評価方法（基準）
学期末に試験を行い、その結果によって評価します。内容は、原則として、○×又は穴埋め方式です。

教材等
教科書…プリントが教科書です。
参考書…講義中に適宜示します。

学生へのメッセージ
とにかく私語をしないこと。私語は授業の進行と他学生の受講を妨害する悪質な行為であるから、私語を止めない学生は退室させます。

関連科目
できるだけ民事訴訟法の基本を理解しておいて下さい。

担当者の研究室等
11号館9階　金谷教授室

行政救済法II
Administrative Remedy II

金　谷　重　樹（カナタニ　シゲキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	2

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　29　2014/10/14　17:50:34

授業概要・目的・到達目標

法治主義ないし法の支配の下においては、すべての行政活動は適法に、しかも国民・住民の権利利益を最大限に尊重して行われなければならないが、この行政、神ならぬ人が行うことから、時として違法な行政が行われることがあり、それを放置することは法治主義ないし法の支配に反する。そこで「行政救済法Ⅰ」では、違法な行政活動によって人々が受けた被害の補填制度を説明したが、この授業では違法な措置や排除や是正を求める制度を説明する。

授業方法と留意点

プリントを配付します。配付したプリントは毎回必ず持参して下さい。

科目学習の効果（資格）

公務員試験を受験する諸君にとっては行政法は必須であり、また多くの国家試験においても行政は必須です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 はじめに
【内容・方法　等】 「行政法の基礎理論Ⅰ・Ⅱ」及び「行政救済法Ⅰ」で学んだことの復習
【事前・事後学習課題】 これまでのプリントを通読しておくこと。

第２回 【授業テーマ】 行政争訟制度
【内容・方法　等】 行政上の不服申立と行政事件訴訟
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第３回 【授業テーマ】 行政上の不服申立（１）
【内容・方法　等】 不服申立の対象と不服申立の種類
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第４回 【授業テーマ】 行政上の不服申立（２）
【内容・方法　等】 不服申立の要件
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第５回 【授業テーマ】 行政上の不服申立（３）
【内容・方法　等】 審理手続きの概要
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第６回 【授業テーマ】 行政上の不服申立（４）
【内容・方法　等】 審理手続きの特色と効果
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第７回 【授業テーマ】 行政事件訴訟（１）
【内容・方法　等】 行政事件訴訟の種類
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んで焼くこと。

第８回 【授業テーマ】 行政事件訴訟（２）
【内容・方法　等】 取消訴訟
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第９回 【授業テーマ】 行政事件訴訟（３）
【内容・方法　等】 無効等確認の訴え
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第10回 【授業テーマ】 行政事件訴訟（４）
【内容・方法　等】 義務付け訴訟と差し止め訴訟
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第11回 【授業テーマ】 行政事件訴訟（５）
【内容・方法　等】 当事者訴訟・民衆訴訟・機関訴訟
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第12回 【授業テーマ】 行政事件訴訟（６）
【内容・方法　等】 訴訟要件（原告適格・訴えの利益など）
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第13回 【授業テーマ】 行政事件訴訟（７）
【内容・方法　等】 訴訟手続の概要その１
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第14回 【授業テーマ】 行政事件訴訟（８）
【内容・方法　等】 訴訟手続の概要その２
【事前・事後学習課題】 事前にプリントを読んでおくこと。

第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 行政法の総まとめ
【事前・事後学習課題】 これまでのプリントを通読しておくこと。

評価方法（基準）

学期末に試験を行い、その結果によって評価します。
内容は、原則として、○×または穴埋め方式です。

教材等

教科書…プリントが教科書です。
参考書…講義中に適宜示します。

学生へのメッセージ

とにかく私語をしないこと。私語は授業の進行と他学生の受講を妨害する悪質な行為であるから、私語を止めない学生は退室させます。

関連科目

できるだけ民事訴訟法の基本を理解しておいて下さい。

担当者の研究室等

11号館9階　金谷教授室

地方自治と法
Local Government Law

金　谷　重　樹（カナタニ　シゲキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

地方自治法と地方公務員法を中心に、地方自治がどのような法に基づき、どのように運営されているのかについて、具体的事例を挙げながら、平易に解説します。地方公務員の受験者は受験勉強として講義を受けてください。また、地方公務員を受験しない学生も地方行政と関わりのない生活は存在しないことから、法学部の学生であれば、原則として、受講してください。

授業方法と留意点

プリントを配付します。配付したプリントは毎回必ず持参して下さい。

科目学習の効果（資格）

地方公務員を希望する学生は、必ず受講してください。この講義の内容は、公務員試験における教養問題としても出題されます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 地方自治の意味
【内容・方法　等】 地方自治の法的意味を理解する。
【事前・事後学習課題】 事前に、プリントの空欄を埋めて、予習しておくこと。

第２回 【授業テーマ】 地方公共団体の種類
【内容・方法　等】 普通地方公共団体と特別地方公共団体を理解する。
【事前・事後学習課題】 事前に、プリントの空欄を埋めて、予習しておくこと。

第３回 【授業テーマ】 地方公共団体の事務
【内容・方法　等】 国と地方公共団体の役割分担を理解する。
【事前・事後学習課題】 事前に、プリントの空欄を埋めて、予習しておくこと。

第４回 【授業テーマ】 地方議会
【内容・方法　等】 地方議会の意義と構成を理解する。
【事前・事後学習課題】 事前に、プリントの空欄を埋めて、予習しておくこと。

第５回 【授業テーマ】 地方議会の権限その１
【内容・方法　等】 地方議会の権限を理解する。
【事前・事後学習課題】 事前に、プリントの空欄を埋めて、予習しておくこと。

第６回 【授業テーマ】 地方議会の権限その２
【内容・方法　等】 地方議会の権限を理解する。
【事前・事後学習課題】 事前に、プリントの空欄を埋めて、予習しておくこと。

第７回 【授業テーマ】 執行機関
【内容・方法　等】 執行機関の意義と構成を理解する。
【事前・事後学習課題】 事前に、プリントの空欄を埋めて、予習しておくこと。

第８回 【授業テーマ】 長の権限
【内容・方法　等】 長の権限を理解する。
【事前・事後学習課題】 事前に、プリントの空欄を埋めて、予習しておくこと。

第９回 【授業テーマ】 地方公務員法その１
【内容・方法　等】 地方公務員制度を理解する。
【事前・事後学習課題】 事前に、プリントの空欄を埋めて、予習しておくこと。

第10回 【授業テーマ】 地方公務員法その２
【内容・方法　等】 地方公務員の権利義務を理解する。
【事前・事後学習課題】 事前に、プリントの空欄を埋めて、予習しておくこと。

第11回 【授業テーマ】 長と議会の関係
【内容・方法　等】 長と議会の関係を理解する。
【事前・事後学習課題】 事前に、プリントの空欄を埋めて、予習しておくこと。

第12回 【授業テーマ】 住民の権利その１
【内容・方法　等】 直接請求制度を理解する。
【事前・事後学習課題】 事前に、プリントの空欄を埋めて、予習しておくこと。

第13回 【授業テーマ】 住民の権利その２
【内容・方法　等】 住民監査請求と住民訴訟を理解する。
【事前・事後学習課題】 事前に、プリントの空欄を埋めて、予習しておくこと。

第14回 【授業テーマ】 情報公開制度と個人情報保護制度
【内容・方法　等】 地方公共団体における情報公開制度と個人情報保護制度を理解する。
【事前・事後学習課題】 事前に、プリントの空欄を埋めて、予習しておくこと。

第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 これまでの講義内容をまとめる。
【事前・事後学習課題】 これまで学んだことを復習しておくこ

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　30　2014/10/14　17:50:34

と。

評価方法（基準）
学期末に試験をし、それによって評価します。試験の内容は原則として○×方式か、穴埋め方式です。

教材等
教科書…プリントが教科書です。
参考書…授業中、適宜指示します。

学生へのメッセージ
とにかく私語は絶対しないこと。

関連科目
憲法、行政法

担当者の研究室等
11号館9階　金谷教授室

租税法Ⅰ
Tax Law Ⅰ

小　島　俊　朗（コジマ　トシロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
現代社会では、国民は法律（租税法)に基づいて納税の義務を負い税金を納付することになりますが、租税法は必ずしも容易に理解できるものではありません。これは、租税法が多様な経済活動を幅広く適用の対象としていることや、租税負担の公平を図るため、租税法が明確かつ一義的に規定することを要求されていることによるものです。一方、皆さん方が社会人になれば、自営業者、サラリーマン等を問わず税とは何らかの形で関わらざるを得ません。租税法Ⅰでは、税法の総論に関する事項と個人に関係する所得税法の仕組み、考え方について理解してもらいたいと思います。

授業方法と留意点
講義方式によります。聞き慣れない用語も出てくるとは思いますが、租税法の基本的な考え方を理解することが重要ですから、要点を確実に押さえるようにしてください。

科目学習の効果（資格）
税理士試験を目ざす人の入門講座になると思います。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】** 私達の生活と税
【内容・方法　等】 税との関わり、財政の状況、税の種類、税が持っている機能
【事前・事後学習課題】 教科書の第1章を読んでおいてください
第２回　**【授業テーマ】** 租税法序論
【内容・方法　等】 税法の法源、租税実体法と租税手続法
【事前・事後学習課題】 教科書の第1章を読んでおいてください
第３回　**【授業テーマ】** 租税法の原則
【内容・方法　等】 租税法律主義、租税公平主義
【事前・事後学習課題】 教科書の第２章を読んでおいてください
第４回　**【授業テーマ】** 租税法の解釈と適用
【内容・方法　等】 租税法解釈のあり方
【事前・事後学習課題】 教科書の第２章を読んでおいてください
第５回　**【授業テーマ】** 納税義務の確定等
【内容・方法　等】 納税義務の成立・確定、更正の期間制限、附帯税
【事前・事後学習課題】 教科書の第７章を読んでおいてください
第６回　**【授業テーマ】** 所得税法（１）
【内容・方法　等】 所得税の特色、納税義務者
【事前・事後学習課題】 教科書の第５章を読んでおいてください
第７回　**【授業テーマ】** 所得税法（２）
【内容・方法　等】 包括所得概念、担税力に応じた負担
【事前・事後学習課題】 教科書の第５章を読んでおいてください
第８回　**【授業テーマ】** 所得税法（３）
【内容・方法　等】 所得計算の概要
【事前・事後学習課題】 教科書の第５章を読んでおいてください
第９回　**【授業テーマ】** 所得税法（４）
【内容・方法　等】 所得の帰属、権利確定主義
【事前・事後学習課題】 教科書の第５章を読んでおいてください
第10回　**【授業テーマ】** 所得税法（５）
【内容・方法　等】 所得の種類（利子、配当、退職、給与）
【事前・事後学習課題】 教科書の第５章を読んでおいてください
第11回　**【授業テーマ】** 所得税法（６）
【内容・方法　等】 所得の種類（事業、不動産、山林、雑）
【事前・事後学習課題】 教科書の第５章を読んでおいてください
第12回　**【授業テーマ】** 所得税法（７）
【内容・方法　等】 所得の種類（譲渡、一時）
【事前・事後学習課題】 教科書の第５章を読んでおいてください
第13回　**【授業テーマ】** 所得税法（８）
【内容・方法　等】 所得控除と税額控除
【事前・事後学習課題】 教科書の第５章を読んでおいてください
第14回　**【授業テーマ】** 源泉徴収制度
【内容・方法　等】 制度の概要と源泉徴収の法律関係
【事前・事後学習課題】 教科書の第７章を読んでおいてください
第15回　**【授業テーマ】** まとめ
【内容・方法　等】 授業全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 ノートと配付資料を復習しておいてください

評価方法（基準）
定期試験の結果で評価します。

教材等
教科書…金子 宏他著「税法入門」（第６版）有斐閣新書(1050円)
参考書…金子宏著「租税法」（第17版）弘文堂（5985円）
図解所得税法（大蔵財務協会）
図解国税通則法（大蔵財務協会）

学生へのメッセージ
授業内容は連続していますので、欠席すると理解が難しくなってきます。教科書は初歩的な説明にとどまりますので授業は配付資料に沿って行います。参考書のうち、「税法入門」は租税法の概要を知りたい人に、「租税法」は本格的に勉強しようとする人に、図解シリーズは租税法の仕組みを速習したい人にお勧めします。

関連科目
憲法、民法、商法など

担当者の研究室等
11号館10階　小島教授室

備考
なし

租税法II
Tax Law II

小　島　俊　朗（コジマ　トシロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
現代社会では、国民は法律（租税法)に基づいて納税の義務を負い税金を納付することになりますが、租税法は必ずしも容易に理解できるものではありません。これは、租税法が多様な経済活動を幅広く適用の対象としていることや、租税負担の公平を図るため、租税法が明確かつ一義的に規定することを要求されていることによるものです。一方、皆さん方が社会人になれば、自営業者、サラリーマン等を問わず税とは何らかの形で関わらざるを得ません。租税法では、一般に関心の高い資産に関する税（相続税・贈与税）と実務上は極めて重要な法人に関係する税（法人税法)についてその仕組み、考え方を理解してもらいたいと思います。

授業方法と留意点
講義方式によります。聞き慣れない用語も出てくるとは思いますが、租税法の基本的な考え方を理解することが重要ですから、要点を確実に押さえるようにしてください。

科目学習の効果（資格）
税理士試験を目ざす人の入門講座になると思う。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】** 相続税法（１）
【内容・方法　等】 相続税の意義、課税方式
【事前・事後学習課題】 教科書の第５章を読んでおいてください
第２回　**【授業テーマ】** 相続税法（２）
【内容・方法　等】 相続税の納税義務者
【事前・事後学習課題】 教科書の第５章を読んでおいてください
第３回　**【授業テーマ】** 相続税法（３）
【内容・方法　等】 相続財産の範囲
【事前・事後学習課題】 教科書の第５章を読んでおいてください

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　31　2014/10/14　17:50:34

第４回　【授業テーマ】 相続税法（４）
【内容・方法　等】 債務控除
【事前・事後学習課題】 教科書の第５章を読んでおいてください
第５回　【授業テーマ】 相続税法（５）
【内容・方法　等】 相続税の課税標準と税額の計算、各相続人の納付税額
【事前・事後学習課題】 教科書の第５章を読んでおいてください
第６回　【授業テーマ】 相続税法（６）
【内容・方法　等】 贈与税の意義
【事前・事後学習課題】 教科書の第５章を読んでおいてください
第７回　【授業テーマ】 相続税法（７）
【内容・方法　等】 贈与税の課税標準と税額の計算、相続時精算課税制度
【事前・事後学習課題】 教科書の第５章を読んでおいてください
第８回　【授業テーマ】 相続税法（８）
【内容・方法　等】 財産の評価
【事前・事後学習課題】 教科書の第５章を読んでおいてください
第９回　【授業テーマ】 法人税法（１）
【内容・方法　等】 法人税の意義、納税義務者
【事前・事後学習課題】 教科書の第５章を読んでおいてください
第10回　【授業テーマ】 法人税法（２）
【内容・方法　等】 法人税の計算（企業会計と課税所得）
【事前・事後学習課題】 教科書の第５章を読んでおいてください
第11回　【授業テーマ】 法人税法（３）
【内容・方法　等】 法人税法22条と別段の定め
【事前・事後学習課題】 教科書の第５章を読んでおいてください
第12回　【授業テーマ】 法人税法（４）
【内容・方法　等】 益金の意義、損金の意義、
【事前・事後学習課題】 教科書の第５章を読んでおいてください
第13回　【授業テーマ】 法人税法（５）
【内容・方法　等】 同族会社の意義と特別規定、国際課税の概要
【事前・事後学習課題】 教科書の第５章を読んでおいてください
第14回　【授業テーマ】 納税者の権利救済
【内容・方法　等】 争訟手続（不服審査、訴訟）
【事前・事後学習課題】 教科書の第８章を読んでおいてください
第15回　【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 授業全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 教科書とノートを復習しておいてください

評価方法（基準）
定期試験の結果で評価します。

教材等
教科書…金子宏他著「税法入門」（第６版）有斐閣新書(1050円)
参考書…金子宏著「租税法」（第17版）弘文堂（5985円）
図解相続税法（大蔵財務協会）
図解法人税法（大蔵財務協会）

学生へのメッセージ
授業内容は連続していますので、欠席すると理解が難しくなってきます。教科書は初歩的な説明にとどまりますので授業は配付資料に沿って行います。相続税法については民法第4編（親族）第5編（相続）の基礎知識が必要です。

関連科目
憲法、民法（相続・親族編）、商法、会社法など

担当者の研究室等
11号館10階　小島教授室

備考
なし

刑事法概論
Introduction to Criminal Law

島　田　良　一（シマダ　リヨウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ABCDEJ	後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
本授業は、いわゆる「刑事法」（刑法・刑事訴訟法・少年法・犯罪者処遇法）について、その基本的な内容を理解することを目標とするものである。具体的内容であるが、どのような行為が「犯罪」として処罰されるのか、刑事手続の内容（犯罪捜査・刑事裁判）とはどのようなものか、刑罰にはどのような種類があるのか、成人の刑事手続と少年の刑事手続との違いはどこにあるのか、などといったことについて実際に起きた事件の解説等も交えながら授業を進めていく予定である。

授業方法と留意点
下記で指定した教科書及びそれをもとに作成したレジュメを中心に授業を行う。
なお、レジュメは大学の「教材・提出フォルダ（webbox）」から各自ダウンロードして印刷してください。

科目学習の効果（資格）
「刑事法」を学習していく上での基本的知識を習得する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法　等】 授業の進め方に関する説明、文献・参考書の紹介
【事前・事後学習課題】 教科書の入手
第２回　【授業テーマ】 刑法概説①
【内容・方法　等】 刑法とはなにか？
【事前・事後学習課題】 レジュメの穴埋め
第３回　【授業テーマ】 刑法概説②
【内容・方法　等】 刑罰の役割と機能について
【事前・事後学習課題】 レジュメの穴埋め
第４回　【授業テーマ】 刑法概説③
【内容・方法　等】 罪刑法定主義と刑法の解釈について
【事前・事後学習課題】 レジュメの穴埋め
第５回　【授業テーマ】 刑法概説④
【内容・方法　等】 「犯罪」とはなにか？
【事前・事後学習課題】 レジュメの穴埋め
第６回　【授業テーマ】 刑法概説⑤
【内容・方法　等】 「犯罪」の成立要件その1：構成要件
【事前・事後学習課題】 レジュメの穴埋め
第７回　【授業テーマ】 刑法概説⑥
【内容・方法　等】 「犯罪」の成立要件その2：違法性
【事前・事後学習課題】 レジュメの穴埋め
第８回　【授業テーマ】 刑法概説⑦
【内容・方法　等】 「犯罪」の成立要件その3：責任
【事前・事後学習課題】 レジュメの穴埋め
第９回　【授業テーマ】 刑法概説⑧
【内容・方法　等】 故意と過失について
【事前・事後学習課題】 レジュメの穴埋め
第10回　【授業テーマ】 刑法概説⑨
【内容・方法　等】 刑罰と保安処分について
【事前・事後学習課題】 レジュメの穴埋め
第11回　【授業テーマ】 刑法概説⑩
【内容・方法　等】 量刑について
【事前・事後学習課題】 レジュメの穴埋め
第12回　【授業テーマ】 刑事訴訟法概説①
【内容・方法　等】 刑事手続の流れと捜査について
【事前・事後学習課題】 レジュメの穴埋め
第13回　【授業テーマ】 刑事訴訟法概説②
【内容・方法　等】 公訴提起・公判手続と少年事件について
【事前・事後学習課題】 レジュメの穴埋め
第14回　【授業テーマ】 刑事政策概説
【内容・方法　等】 犯罪者の処遇などについて
【事前・事後学習課題】 レジュメの穴埋め
第15回　【授業テーマ】 重要論点のおさらい
【内容・方法　等】 1～14回で扱ったテーマのうち、特に重要な論点について復習
【事前・事後学習課題】 重要論点の確認

評価方法（基準）
定期試験の成績によって評価する。ただし、受講態度等を考慮することがある。

教材等
教科書…井田良「基礎から学ぶ刑事法」有斐閣、第5版（1,800円+税）
参考書…井田良「入門刑法学・総論」有斐閣（2,000円＋税）、三井誠・酒巻匡「入門刑事手続法」有斐閣、第5版（2,900円＋税）、三井誠・曽根威彦・瀬川晃「入門刑事法」有斐閣、第5版（2,500円＋税）

学生へのメッセージ
この授業は、大学で刑事法を勉強していく上でのいわば「入り口」にあたります。ですから、教員においてはできるだけ平易な解説を心がけるとともに、学生においてももしわからない点などがあれば臆せず質問するようにしてください。

関連科目
刑法総論Ⅰ・Ⅱ、刑法各論Ⅰ・Ⅱ、刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ、刑事政策、少年法など。

担当者の研究室等
11号館9階 島田准教授室

備考
六法は必ず持参するようにしてください。

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　32　2014/10/14　17:50:35

刑事法概論
Introduction to Criminal Law

松　島　裕　一（マツシマ　ユウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	GH	後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

この講義では、刑法・刑事訴訟法・少年法などの「刑事法」の諸分野を学習していきます。法律用語は難解なものが多いですが、そうした見かけの難しさに惑わされず、刑法の初歩的な考え方や刑事裁判の基本的な仕組みをしっかり習得することがこの講義の目標です。また普段から新聞やテレビの報道に関心をもち、社会で問題になっているさまざまな刑事事件を法的に分析できるようになってほしいと思います。

授業方法と留意点

授業は、適宜配布するレジュメにしたがって行います（当然のことながら、六法は毎回持参すること）。

科目学習の効果（資格）

「刑事法」を学習していくうえで必要となる基本的知識を習得する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　ガイダンス
【内容・方法　等】　授業の進め方や成績評価の方法を説明します。また刑事法関連の基本書や判例集を紹介します。
【事前・事後学習課題】　事前の予習は必要ありません。毎回の授業内容を復習するように努めてください。

第２回　**【授業テーマ】**　「刑事法」とは？
【内容・方法　等】　これから学習していく「刑事法」の概要を、民事法と比較しながら説明します。また授業で扱う各種の法律を簡単に解説します。刑法・刑事訴訟法・少年法・犯罪者処遇法など。
【事前・事後学習課題】　「刑事法」と「刑法」のちがいを説明できるように復習しておくこと。

第３回　**【授業テーマ】**　日本社会と犯罪
【内容・方法　等】　現在、日本では毎年何件の犯罪が発生しているのでしょうか？　また、そのうちどれくらいが解決しているのでしょうか？　統計データをもとに日本の犯罪の現状を学習します。
【事前・事後学習課題】　日本は危険な社会と思いますか？　講義で扱ったデータをもとに、考えてみてください。

第４回　**【授業テーマ】**　犯罪と刑罰
【内容・方法　等】　どうして人は犯罪を犯すのでしょうか？　またどうして犯罪を犯した人に刑罰を科さなければならないのでしょうか？　犯罪と刑罰をめぐる根本的な問題を考えてみます。
【事前・事後学習課題】　犯罪論の基礎に関わることなので、一度自分なりに犯罪や刑罰について考えてみて下さい。

第５回　**【授業テーマ】**　刑法①　役割と機能
【内容・方法　等】　刑法が社会においてどのような役割を果たしているかを学習します。そのあとで、日本の刑法典の基本的な仕組みを学習します。刑法典と特別刑法、刑法総論と刑法各論など。
【事前・事後学習課題】　手元の六法を開いて、刑法典の構成を理解するように努めること。

第６回　**【授業テーマ】**　刑法②　構成要件
【内容・方法　等】　「犯罪」の定義を説明しながら、犯罪論の基本的な枠組を学習します。また授業後半では構成要件の諸要素を学習し、それらが論点となりそうな具体的事件について考えてみます。
【事前・事後学習課題】　構成要件、違法性、責任。これらについては暗記できるまでしっかり復習すること。

第７回　**【授業テーマ】**　刑法③　違法性
【内容・方法　等】　違法性（違法性阻却事由）について学習します。とくに正当防衛と緊急避難についてはその要件のちがいを詳しく検討します。また、安楽死や尊厳死の問題も、違法性との関連で取り上げる予定です。
【事前・事後学習課題】　正当防衛と緊急避難の基本的な相違点を説明できるようにしておくこと。

第８回　**【授業テーマ】**　刑法④　責任
【内容・方法　等】　責任（責任阻却自由）について学習します。ニュースなどでよく話題になる責任能力については、このテーマに関連するDVDを視聴したあと、判例を素材にしながらその具体的内容について検討します。
【事前・事後学習課題】　責任能力については、刑法典の条文を確認しながらしっかり復習すること。

第９回　**【授業テーマ】**　刑法⑤　故意と過失
【内容・方法　等】　故意犯と過失犯の基本的な相違点を確認したあと、故意と過失の具体的な中身について学習します。未必の故意と認識ある過失など。また簡単に錯誤の問題についても考えてみます。
【事前・事後学習課題】　少なくとも殺人罪（刑199条）と過失致死罪（210条）のちがいを説明できるようになること。

第10回　**【授業テーマ】**　刑法⑥　まとめ
【内容・方法　等】　これまで学習してきた犯罪論の体系を復習します（その際、時間に余裕があれば、十分に論じることのできなかったテーマを補足説明したり、確認問題を解いてもらったりする予定です）。
【事前・事後学習課題】　第５回から第９回までの授業内容をしっかり復習して、授業に臨んでください。

第11回　**【授業テーマ】**　刑事訴訟法①　役割と機能
【内容・方法　等】　刑事訴訟法が社会においてどのような役割を果たしているかを説明します。そのあとで捜査と公判にかんする基本的事項を学習します。また警察と検察の職務内容のちがいについても解説します。
【事前・事後学習課題】　刑事訴訟法は憲法・刑法とどのような関係にあるか？　説明できるように復習すること。

第12回　**【授業テーマ】**　刑事訴訟法②　日本の刑事手続
【内容・方法　等】　近年実施された「裁判員制度」の基本的な仕組みを学習します。また諸外国と比較しながら日本の刑事手続の問題点を学習し、刑事手続のあるべき姿について考えてみます。
【事前・事後学習課題】　授業終了後に、裁判所ウェブにアクセスし、裁判員制度の仕組みを復習すること。

第13回　**【授業テーマ】**　少年事件と少年法
【内容・方法　等】　統計データや昨今の具体的な事件を手がかりに、日本における少年事件の現状を学習します。また少年法の基本的仕組みを学習したあと、少年法の問題点や課題について検討します。
【事前・事後学習課題】　凶悪な少年事件に対して社会はどのように対処すべきでしょうか？　考えてみてください。

第14回　**【授業テーマ】**　犯罪者処遇法
【内容・方法　等】　犯罪者の処遇にかんするいくつかの法律を学習します。また、日本における犯罪者処遇の特色を学習し、あわせてその問題点も検討します（時間に余裕があれば、再犯の問題についても考えてみます）。
【事前・事後学習課題】　ニュースで耳にすることの多い「仮釈放」や「保護観察処分」などの意味を理解すること。

第15回　**【授業テーマ】**　まとめと復習
【内容・方法　等】　これまでの講義で論じてきた事柄を復習し、社会において刑事法が果たすべき役割について考えてみます（可能であれば、これまでの講義で論じることができなかったトピックを補足説明する予定です）。
【事前・事後学習課題】　これまでの授業で理解できなかったところを、ピックアップしておいてください。

評価方法（基準）

定期試験の成績60％と提出物40％によって総合的に評価します。

教材等

教科書…教科書は使用しません。
参考書…「いちばんやさしい刑事法入門」佐久間修ほか　有斐閣（1800円）
「基礎から学ぶ刑事法」井田良著　有斐閣（1800円）

学生へのメッセージ

基本的に講義形式で授業を行いますが、毎時間の後半部分では学生みなさんに発言を求めたり、授業の感想や疑問点を書いてもらう予定です。授業中の私語は厳禁ですが、それ以外の発言であれば歓迎しますので、ぜひ積極的に授業に参加してください。

関連科目

刑法総論Ⅰ・Ⅱ、刑法各論Ⅰ・Ⅱ、刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ

担当者の研究室等

11号館9階　松島講師室

罪と罰
Crime and Punishment

島　田　良　一（シマダ　リョウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ABCDEIJ	後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

本授業は、いわゆる「刑事法」（刑法・刑事訴訟法・少年法・犯罪者処遇法）について、その基本的な内容を理解することを目標とするものである。具体的内容であるが、どのような行為が「犯罪」として処罰されるのか、刑事手続の内容（犯罪捜査・刑事裁判）とはどのようなものか、刑罰にはどのような種類があるのか、成人の刑事手続と少年の刑事手続との違いはどこにあるのか、などといったことについて実際に起きた事件の解説等も交えながら授業を進めていく予定である。

授業方法と留意点

下記で指定した教科書及びそれをもとに作成したレジュメを中心に授業を行う。
なお、レジュメは大学の「教材・提出フォルダ（webbox）」か

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　33　2014/10/14　17:50:35

ら各自ダウンロードして印刷してください。

科目学習の効果（資格）

「刑事法」を学習していく上での基本的知識を習得する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** ガイダンス
【内容・方法　等】 授業の進め方に関する説明、文献・参考書の紹介
【事前・事後学習課題】 教科書の入手

第２回 **【授業テーマ】** 刑法概説①
【内容・方法　等】 刑法とはなにか？
【事前・事後学習課題】 レジュメの穴埋め

第３回 **【授業テーマ】** 刑法概説②
【内容・方法　等】 刑罰の役割と機能について
【事前・事後学習課題】 レジュメの穴埋め

第４回 **【授業テーマ】** 刑法概説③
【内容・方法　等】 罪刑法定主義と刑法の解釈について
【事前・事後学習課題】 レジュメの穴埋め

第５回 **【授業テーマ】** 刑法概説④
【内容・方法　等】 「犯罪」とはなにか？
【事前・事後学習課題】 レジュメの穴埋め

第６回 **【授業テーマ】** 刑法概説⑤
【内容・方法　等】 「犯罪」の成立要件その1：構成要件
【事前・事後学習課題】 レジュメの穴埋め

第７回 **【授業テーマ】** 刑法概説⑥
【内容・方法　等】 「犯罪」の成立要件その2：違法性
【事前・事後学習課題】 レジュメの穴埋め

第８回 **【授業テーマ】** 刑法概説⑦
【内容・方法　等】 「犯罪」の成立要件その3：責任
【事前・事後学習課題】 レジュメの穴埋め

第９回 **【授業テーマ】** 刑法概説⑧
【内容・方法　等】 故意と過失について
【事前・事後学習課題】 レジュメの穴埋め

第10回 **【授業テーマ】** 刑法概説⑨
【内容・方法　等】 刑罰と保安処分について
【事前・事後学習課題】 レジュメの穴埋め

第11回 **【授業テーマ】** 刑法概説⑩
【内容・方法　等】 量刑について
【事前・事後学習課題】 レジュメの穴埋め

第12回 **【授業テーマ】** 刑事訴訟法概説①
【内容・方法　等】 刑事手続の流れと捜査について
【事前・事後学習課題】 レジュメの穴埋め

第13回 **【授業テーマ】** 刑事訴訟法概説②
【内容・方法　等】 公訴提起・公判手続と少年事件について
【事前・事後学習課題】 レジュメの穴埋め

第14回 **【授業テーマ】** 刑事政策概説
【内容・方法　等】 犯罪者の処遇などについて
【事前・事後学習課題】 レジュメの穴埋め

第15回 **【授業テーマ】** 重要論点のおさらい
【内容・方法　等】 1～14回で扱ったテーマのうち、特に重要な論点について復習
【事前・事後学習課題】 重要論点の確認

評価方法（基準）

定期試験の成績によって評価する。ただし、受講態度等を考慮することがある。

教材等

教科書…井田良「基礎から学ぶ刑事法」有斐閣、第5版（1,800円＋税）

参考書…井田良「入門刑法学・総論」有斐閣（2,000円＋税）、三井誠・酒巻匡「入門刑事手続法」有斐閣、第5版（2,900円＋税）、三井誠・曽根威彦・瀬川晃「入門刑事法」有斐閣、第5版（2,500円＋税）

学生へのメッセージ

この授業は、大学で刑事法を勉強していく上でのいわば「入り口」にあたります。ですから、教員においてはできるだけ平易な解説を心がけるとともに、学生においてももしわからない点などがあれば臆せず質問するようにしてください。

関連科目

刑法総論Ⅰ・Ⅱ、刑法各論Ⅰ・Ⅱ、刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ、刑事政策、少年法など。

担当者の研究室等

11号館9階 島田准教授室

備考

六法は必ず持参するようにしてください。

罪と罰
Crime and Punishment

松　島　裕　一（マツシマ　ユウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	GH	後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

この講義では、刑法・刑事訴訟法・少年法などの「刑事法」の諸分野を学習していきます。法律用語は難解なものが多いですが、そうした見かけの難しさに惑わされず、刑法の初歩的な考え方や刑事裁判の基本的な仕組みをしっかり習得することがこの講義の目標です。また普段から新聞やテレビの報道に関心をもち、社会で問題になっているさまざまな刑事事件を法的に分析できるようになってほしいと思います。

授業方法と留意点

授業は、適宜配布するレジュメにしたがって行います（当然のことながら、六法は毎回持参すること）。

科目学習の効果（資格）

「刑事法」を学習していくうえで必要となる基本的知識を習得する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** ガイダンス
【内容・方法　等】 授業の進め方や成績評価の方法を説明します。また刑事法関連の基本書や判例集を紹介します。
【事前・事後学習課題】 事前の予習は必要ありません。毎回の授業内容を復習するように努めてください。

第２回 **【授業テーマ】** 「刑事法」とは？
【内容・方法　等】 これから学習していく「刑事法」の概要を、民事法と比較しながら説明します。また授業で扱う各種の法律を簡単に解説します。刑法・刑事訴訟法・少年法・犯罪者処遇法など。
【事前・事後学習課題】 「刑事法」と「刑法」のちがいを説明できるように復習しておくこと。

第３回 **【授業テーマ】** 日本社会と犯罪
【内容・方法　等】 現在、日本では毎年何件の犯罪が発生しているのでしょうか？　また、そのうちどれくらいが解決しているのでしょうか？　統計データをもとに日本の犯罪の現状を学習します。
【事前・事後学習課題】 日本は危険な社会と思いますか？　講義で扱ったデータをもとに、考えてみてください。

第４回 **【授業テーマ】** 犯罪と刑罰
【内容・方法　等】 どうして人は犯罪を犯すのでしょうか？　またどうして犯罪を犯した人に刑罰を科さなければならないのでしょうか？　犯罪と刑罰をめぐる根本的な問題を考えてみます。
【事前・事後学習課題】 犯罪論の基礎に関わることなので、一度自分なりに犯罪や刑罰について考えてみて下さい。

第５回 **【授業テーマ】** 刑法①　役割と機能
【内容・方法　等】 刑法が社会においてどのような役割を果たしているかを学習します。そのあとで、日本の刑法典の基本的な仕組みを学習します。刑法典と特別刑法、刑法総論と刑法各論など。
【事前・事後学習課題】 手元の六法を開いて、刑法典の構成を理解するように努めること。

第６回 **【授業テーマ】** 刑法②　構成要件
【内容・方法　等】 「犯罪」の定義を説明しながら、犯罪論の基本的な枠組を学習します。また授業後半では構成要件の諸要素を学習し、それらが論点となりそうな具体的事件について考えてみます。
【事前・事後学習課題】 構成要件、違法性、責任。これらについては暗記できるまでしっかり復習すること。

第７回 **【授業テーマ】** 刑法③　違法性
【内容・方法　等】 違法性（違法性阻却事由）について学習します。とくに正当防衛と緊急避難についてはその要件のちがいを詳しく検討します。また、安楽死や尊厳死の問題も、違法性との関連で取り上げる予定です。
【事前・事後学習課題】 正当防衛と緊急避難の基本的な相違点を説明できるようにしておくこと。

第８回 **【授業テーマ】** 刑法④　責任
【内容・方法　等】 責任（責任阻却自由）について学習します。ニュースなどでよく話題になる責任能力については、このテーマに関連するDVDを視聴したあと、判例を素材にしながらその具体的内容について検討します。
【事前・事後学習課題】 責任能力については、刑法典の条文を確認しながらしっかり復習すること。

第９回 **【授業テーマ】** 刑法⑤　故意と過失
【内容・方法　等】 故意犯と過失犯の基本的な相違点を確認したあと、故意と過失の具体的な中身について学習します。未必の故意と認識ある過失など。また簡単に錯誤の問題についても考えてみます。
【事前・事後学習課題】 少なくとも殺人罪（刑199条）と過失致死罪（210条）のちがいを説明できるようになること。

第10回 **【授業テーマ】** 刑法⑥　まとめ
【内容・方法　等】 これまで学習してきた犯罪論の体系を復習します（その際、時間に余裕があれば、十分に論じることのできなかったテーマを補足説明したり、確認問題を解いてもらったりする予定です）。
【事前・事後学習課題】 第５回から第９回までの授業内容をしっかり復習して、授業に臨んでください。

第11回 **【授業テーマ】** 刑事訴訟法①　役割と機能

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　34　2014/10/14　17:50:35

【内容・方法　等】 刑事訴訟法が社会においてどのような役割を果たしているかを説明します。そのあとで捜査と公判にかんする基本的事項を学習します。また警察と検察の職務内容のちがいについても解説します。
【事前・事後学習課題】 刑事訴訟法は憲法・刑法とどのような関係にあるか？　説明できるように復習すること。

第12回 【授業テーマ】 刑事訴訟法②　日本の刑事手続
【内容・方法　等】 近年実施された「裁判員制度」の基本的な仕組みを学習します。また諸外国と比較しながら日本の刑事手続の問題点を学習し、刑事手続のあるべき姿について考えてみます。
【事前・事後学習課題】 授業終了後に、裁判所ウェブにアクセスし、裁判員制度の仕組みを復習すること。

第13回 【授業テーマ】 少年事件と少年法
【内容・方法　等】 統計データや昨今の具体的な事件を手がかりに、日本における少年事件の現状を学習します。また少年法の基本的仕組みを学習したあと、少年法の問題点や課題について検討します。
【事前・事後学習課題】 凶悪な少年事件に対して社会はどのように対処すべきでしょうか？　考えてみてください。

第14回 【授業テーマ】 犯罪者処遇法
【内容・方法　等】 犯罪者の処遇にかんするいくつかの法律を学習します。また、日本における犯罪者処遇の特色を学習し、あわせてその問題点も検討します（時間に余裕があれば、再犯の問題についても考えてみます）。
【事前・事後学習課題】 ニュースで耳にすることの多い「仮釈放」や「保護観察処分」などの意味を理解すること。

第15回 【授業テーマ】 まとめと復習
【内容・方法　等】 これまでの講義で論じてきた事柄を復習し、社会において刑事法が果たすべき役割について考えてみます（可能であれば、これまでの講義で論じることができなかったトピックを補足説明する予定です）。
【事前・事後学習課題】 これまでの授業で理解できなかったところを、ピックアップしておいてください。

評価方法（基準）
定期試験の成績60％と提出物40％によって総合的に評価します。

教材等
教科書…教科書は使用しません。
参考書…「いちばんやさしい刑事法入門」佐久間修ほか　有斐閣（1800円）
「基礎から学ぶ刑事法」井田良著　有斐閣（1800円）

学生へのメッセージ
基本的に講義形式で授業を行いますが、毎時間の後半部分では学生みなさんに発言を求めたり、授業の感想や疑問点を書いてもらう予定です。授業中の私語は厳禁ですが、それ以外の発言であれば歓迎しますので、ぜひ積極的に授業に参加してください。

関連科目
刑法総論Ⅰ・Ⅱ、刑法各論Ⅰ・Ⅱ、刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ

担当者の研究室等
11号館9階　松島講師室

刑法総論Ⅰ
Criminal Law Ⅰ

小　野　晃　正（オノ　コウセイ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
刑法総論Ⅰでは、全ての犯罪に共通する犯罪成立要件のうち、構成要件論（未遂犯論と共犯論を除く）と刑罰論を説明する。刑法総論は、抽象的な犯罪論体系をめぐる議論が多い。初学者にはやや難しく感じられるかもしれないが、なるべく身近で具体的な事例を用いて分かりやすく解説する。

授業方法と留意点
配布するレジュメを中心に授業を行うが、教科書を適宜参照すること。
小型六法（三省堂『デイリー六法』もしくは『模範小六法』、または有斐閣『ポケット六法』もしくは『判例六法』の最新版などがのぞましい）を必ず持ってくること。

科目学習の効果（資格）
刑法総論の知識を習得することで、刑法各論その他の刑事法科目の理解が容易となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 ガイダンスと文献紹介
刑法の意義
刑法の社会的機能
刑法の歴史
【内容・方法　等】 ・授業の進め方に関する説明と文献紹介
・刑法とは何か
・刑法の目的と機能
・法益保護機能
・刑法の歴史的発展と学派の対立について
【事前・事後学習課題】 ・教科書の入手
・教科書該当箇所の予習と復習

第２回 【授業テーマ】 罪刑法定主義と刑罰論
【内容・方法　等】 ・罪刑法定主義とその派生原則
・罪刑法定主義の現代社会における意義
・応報刑論と目的刑論
【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習

第３回 【授業テーマ】 犯罪論の基礎
【内容・方法　等】 ・犯罪論体系の意義
・犯罪論の各要素（構成要件、違法性、有責性）
・行為論
・法人処罰
【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習

第４回 【授業テーマ】 構成要件論1
【内容・方法　等】 ・構成要件の概念
・構成要件の各要素（客観的要素と主観的要素）
・修正された構成要件（未遂犯と共犯）
【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習

第５回 【授業テーマ】 構成要件論2
【内容・方法　等】 ・実行行為の概念
・実行行為の存否と判断基準
・実行行為の開始
【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習

第６回 【授業テーマ】 構成要件論3
【内容・方法　等】 ・作為犯と不作為犯
・不作為犯の処罰根拠
・不作為犯における実行行為の存否と判断基準
【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習

第７回 【授業テーマ】 構成要件論4
【内容・方法　等】 ・因果関係論
・条件関係
・相当因果関係
・その他
【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習

第８回 【授業テーマ】 構成要件論5
【内容・方法　等】 ・主観的構成要件要素
・構成要件的故意の種類と存否判断
・特殊的主観的構成要件（目的犯、傾向犯、表現犯）
【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習

第９回 【授業テーマ】 構成要件論6
【内容・方法　等】 ・構成要件的錯誤
・同一構成要件内の錯誤
・法定的符合説と具体的符合説
【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習

第10回 【授業テーマ】 構成要件論7
【内容・方法　等】 ・異なる構成要件間の錯誤
・法定的符合説と具体的符合説
【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習

第11回 【授業テーマ】 構成要件論8
【内容・方法　等】 ・構成要件的錯誤のおさらい
【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習

第12回 【授業テーマ】 構成要件論9
【内容・方法　等】 ・過失犯論
・新旧過失論
・過失犯における結果予見義務と結果回避義務
【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習

第13回 【授業テーマ】 構成要件論10
【内容・方法　等】 ・過失概念の拡大と縮小
・信頼の原則
【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習

第14回 【授業テーマ】 構成要件論11
【内容・方法　等】 ・管理過失と監督過失の意義
・過失の競合
【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習

第15回 【授業テーマ】 刑法の機能、罪刑法定主義、構成要件論のまとめ
【内容・方法　等】 ・前期の講義内容において特に重要なものの再検討
【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習

評価方法（基準）
原則として定期試験の成績により評価しますが、開講時にこの点について補足説明を行います。

教材等
教科書…大野眞義ほか『刑法総論』（世界思想社・2011年）、または、佐久間修『刑法総論』（成文堂・2009年）
参考書…福田平『刑法総論（第5版）』（有斐閣・2011年）、大塚仁『刑法概説（総論）（第4版）』（有斐閣・2008年）
判例教材：山口厚ほか編「刑法判例百選Ⅰ総論（第6版）」（有斐閣・2008年）、または、井田良ほか編『刑法総論判例インデックス』（商事法務・2011年）
※その他、第1回目に文献案内を行う。

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　35　2014/10/14　17:50:35

学生へのメッセージ
抽象的で難解な講義にならぬよう、受講生の皆さんにもイメージしやすい具体的な事例をあげながら、理解を深めることができるよう、丁寧に授業をしたいと思います。
この科目は、体系的性格の強い学問分野ですので、毎回の授業前には前回の講義内容を復習すると学習上効果的です。

関連科目
刑事法概論、刑法各論Ⅰ・Ⅱ、経済刑法、刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ、刑事学、少年法

担当者の研究室等
11号館10階　小野准教授室

刑法総論II
Criminal Law II

小　野　晃　正（オノ　コウセイ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
刑法総論Ⅱでは、全ての犯罪に共通する犯罪成立要件のうち、違法論、責任論、修正された構成要件論（未遂犯論と共犯論）を説明する。
刑法総論は、抽象的な犯罪論体系をめぐる議論が多い。初学者にはやや難しく感じられるかもしれないが、なるべく身近で具体的な事例を用いて分かりやすく解説する。刑法総論Iの続きとして行うので、受講者は、刑法総論Iを履修し終えていることが望ましい。

授業方法と留意点
配布するレジュメを中心に授業を行うが、教科書を適宜参照すること。
小型六法（三省堂『デイリー六法』もしくは『模範小六法』、または有斐閣『ポケット六法』もしくは『判例六法』の最新版などがのぞましい）を必ず持ってくること。

科目学習の効果（資格）
刑法総論の知識を習得することで、刑法各論その他の刑事法科目の理解が容易となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】**　違法論１
【内容・方法　等】　・違法性の理論と正当化事由
・違法性の要素
・可罰的違法性
・違法性阻却事由の一般原理
【事前・事後学習課題】　・教科書の入手
・教科書該当箇所の予習と復習
第２回　**【授業テーマ】**　違法論２
【内容・方法　等】　・正当防衛（刑法36条）の成立要件
・過剰防衛
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習
第３回　**【授業テーマ】**　違法論３
【内容・方法　等】　・緊急避難（刑法37条）の成立要件
・過剰避難
・義務の衝突
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習
第４回　**【授業テーマ】**　違法論４
【内容・方法　等】　・被害者の承諾
・被害者の推定的承諾
・危険に引受け
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習
第５回　**【授業テーマ】**　違法論５
【内容・方法　等】　・違法性阻却事由の錯誤
・誤想防衛と誤想避難
・誤想過剰防衛と誤想過剰避難
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習
第６回　**【授業テーマ】**　責任論１
【内容・方法　等】　・責任主義　・責任の本質
・道義的責任論と社会的責任論
・心理的責任論と規範的責任論
・責任の要素
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習
第７回　**【授業テーマ】**　責任論２
【内容・方法　等】　・責任能力
・原因において自由な行為
・実行途中の責任能力低下
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習
第８回　**【授業テーマ】**　責任論３
【内容・方法　等】　・違法性の意識
・違法性に関する錯誤
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習
第９回　**【授業テーマ】**　責任論４
【内容・方法　等】　・期待可能性その他
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習
第10回　**【授業テーマ】**　未遂犯論１
【内容・方法　等】　・予備・陰謀と未遂
・未遂犯の意義と処罰根拠
・実行の着手時期
・不能犯（実行行為の存否）
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習
第11回　**【授業テーマ】**　未遂犯論２
【内容・方法　等】　・中止未遂の意義と刑の減免根拠
・中止未遂の成立要件
・予備と陰謀の中止
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習
第12回　**【授業テーマ】**　共犯論１
【内容・方法　等】　・正犯と共犯
・間接正犯
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習
第13回　**【授業テーマ】**　共犯論２
【内容・方法　等】　・共同正犯
・実行共同正犯と共謀共同正犯
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習
第14回　**【授業テーマ】**　共犯論３
【内容・方法　等】　・過失の共同正犯
・片面的共同正犯
・承継的共同正犯
・教唆犯と幇助犯
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習
第15回　**【授業テーマ】**　共犯論４
罪数論
【内容・方法　等】　・共犯に関する諸問題
・一罪と数罪
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習

評価方法（基準）
原則として定期試験の成績により評価しますが、開講時にこの点について補足説明を行います。

教材等
教科書…大野眞義ほか『刑法総論』』（世界思想社・2009年）、または、佐久間修『刑法総論』（成文堂・2009年）
参考書…参考書・・福田平『刑法総論（第5版）』（有斐閣・2011年）、大塚仁『刑法概説（総論）（第4版）』（有斐閣・2008年）
判例教材：山口厚ほか編「刑法判例百選総論（第6版）」（有斐閣・2008年）、または、井田良ほか編『刑法総論判例インデックス』（商事法務・2011年）
※その他、第1回目の際に文献案内を行う。

学生へのメッセージ
抽象的で難解な講義にならぬよう、受講生の皆さんにもイメージしやすい具体的な事例をあげながら、理解を深めることができるよう、丁寧に授業をしたいと思います。
この科目は、体系的性格の強い学問分野ですので、毎回の授業前には前回の講義内容を復習すると学習上より効果的です。

関連科目
刑事法概論、刑法各論Ⅰ・Ⅱ、経済刑法、刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ、刑事学、少年法

担当者の研究室等
11号館10階　小野准教授室

刑法各論 I
Applied Criminal Law I

小　野　晃　正（オノ　コウセイ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
本講義では、刑法典各則の定める個々の犯罪類型のうち、個人的法益に対する罪を取り上げ、特に財産犯に重点を置いて講義する。判例及び学説の解説を中心とするが、刑法総論との関連性、各罪の相違点などについても学んでいく。

授業方法と留意点
配布するレジュメを中心に授業を行うが、適宜教科書の該当箇所を参照すること。
また、小型六法（三省堂『デイリー六法』もしくは『模範小六法』、または、有斐閣『ポケット六法』もしくは『判例六法』の最新版などがのぞましい）を必ず持ってくること。

科目学習の効果（資格）
刑法総論の知識を再確認しながら、個々の犯罪類型に即したその具体的応用を学ぶことを通じて、刑法の全体像を捉えることができるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】**　ガイダンスと文献紹介

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　36　2014/10/14　17:50:35

保護法益論と刑法各則の解釈
【内容・方法　等】　・授業の進め方に関する説明と文献及び参考書の紹介
【事前・事後学習課題】　・教科書の入手
・教科書該当箇所の予習と復習
第２回　【授業テーマ】　生命に対する罪
【内容・方法　等】　・「人」の範囲
・普通殺人罪
・同意殺人罪と自殺関与罪その他
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習
第３回　【授業テーマ】　身体に対する罪
【内容・方法　等】　・暴行罪と傷害罪
・過失傷害
・危険運転致死傷罪
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習
第４回　【授業テーマ】　生命・身体に対する危険犯
【内容・方法　等】　・遺棄罪
・堕胎罪
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習
第５回　【授業テーマ】　自由に対する罪
【内容・方法　等】　・脅迫罪と強要罪
・逮捕罪と監禁罪
・強制わいせつ罪と強姦罪
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習
第６回　【授業テーマ】　個人の私的領域を侵す罪
【内容・方法　等】　・住居侵入罪
・業務妨害罪
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習
第７回　【授業テーマ】　社会的存在としての人の保護
【内容・方法　等】　・名誉棄損罪と侮辱罪
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習
第８回　【授業テーマ】　財産に対する罪
【内容・方法　等】　・財産犯の分類と体系化
・財物と財産上の利益
・財産の刑法上の保護
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習
第９回　【授業テーマ】　窃盗の罪
【内容・方法　等】　・窃盗罪と器物損壊罪
・不法領得の意思
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習
第10回　【授業テーマ】　強盗の罪
【内容・方法　等】　・強盗罪と強盗殺人罪
・事後強盗罪
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習
第11回　【授業テーマ】　詐欺及び恐喝の罪
【内容・方法　等】　・詐欺罪と恐喝罪
・電子計算機使用詐欺罪
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習
第12回　【授業テーマ】　横領及び背任の罪１
【内容・方法　等】　・横領罪と背任罪
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習
第13回　【授業テーマ】　横領罪と背任罪２
【内容・方法　等】　・横領と背任の区別
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習
第14回　【授業テーマ】　盗品等に関する罪
毀棄及び隠匿の罪
【内容・方法　等】　・盗品関与罪その他
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習
第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容・方法　等】　前期の講義内容において特に重要なものの再検討
【事前・事後学習課題】　配布したレジュメすべて

評価方法（基準）
原則として定期試験の成績により評価しますが、開講時にこの点について補足説明を行います。

教材等
教科書…大野眞義ほか『刑法各論』（世界思想社・2014年春刊行予定）、または、佐久間修『刑法各論（第2版）』（成文堂・2012年）
参考書…大塚仁『刑法概説（各論）（第3版増補版）』（有斐閣・2005年）、中森喜彦『刑法各論（第3版）』（有斐閣・2011年）、西田典之『刑法各論（第6版）』（弘文堂・2012年）、井田良『刑法各論（第2版）』（弘文堂・2013年）
判例集・・・西田典之＝山口厚＝佐伯仁志編『刑法判例百選Ⅱ各論〔第6版〕』（有斐閣・2008年）
※その他、第1回目に文献案内を行う。

学生へのメッセージ
・刑法総論が、全ての犯罪に共通する犯罪成立要件の検討という点で、体系的かつ抽象的であるのに対して、刑法各論は、個別の犯罪成立要件の検討という点で、断片的かつ具体的である。総論の方がパズル的で面白いという側面もあるが、各論は私たちの身近にある問題と直結しているので、より理解しやすい。
・刑法各論の分野では、社会構造の変化にともない、刑法典制定時には想定できていない新たな犯罪現象がしばしば問題となる。新聞などを通じ、社会現象そのものに関心を持つことが、刑法への理解を深める契機となる。したがって、新聞を読む習慣を身につけてほしい。

関連科目
刑事法概論、刑法総論Ⅰ・Ⅱ、経済刑法、刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ、刑事学、少年法ほか

担当者の研究室等
11号館10階　小野准教授室

刑法各論 II
Applied Criminal Law II

小　野　晃　正（オノ　コウセイ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
本講義では、刑法典各則の定める個々の犯罪類型のうち、社会的法益に対する罪と国家的法益に対する罪を取り上げる。判例及び学説の解説を中心とするが、刑法総論との関連性、各罪の相違点などについても学んでいく。

授業方法と留意点
配布するレジュメを中心に授業を行うが、適宜教科書の該当箇所を参照すること。
また、小型六法（三省堂『デイリー六法』もしくは『模範小六法』、または、有斐閣『ポケット六法』もしくは『判例六法』の最新版などがのぞましい）を必ず持ってくること。

科目学習の効果（資格）
刑法総論の知識を再確認しながら、個々の犯罪類型に即したその具体的応用を学ぶことを通じて、刑法の全体像を捉えることができるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　ガイダンスと文献紹介
保護法益論と刑法各則の解釈
【内容・方法　等】　・授業の進め方に関する説明と文献紹介
・保護法益論と刑法各則の解釈
【事前・事後学習課題】　・教科書の入手
・教科書該当箇所の予習と復習
第２回　【授業テーマ】　社会的法益に対する罪
公共の安全に対する罪１
【内容・方法　等】　・騒乱の罪
・放火の罪１
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習
第３回　【授業テーマ】　社会的法益に対する罪
公共の安全に対する罪２
【内容・方法　等】　・放火の罪２
・失火の罪
・往来を妨害する罪その他
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習
第４回　【授業テーマ】　社会的法益に対する罪
公共の信用に対する罪１
【内容・方法　等】　・通貨偽造の罪
・有価証券偽造の罪
・印章偽造の罪
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習
第５回　【授業テーマ】　社会的法益に対する罪
公共の信用に対する罪２
【内容・方法　等】　・文書偽造の罪１
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習
第６回　【授業テーマ】　社会的法益に対する罪
公共の信用に対する罪３
【内容・方法　等】　・文書偽造の罪２
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習
第７回　【授業テーマ】　社会的法益に対する罪
公衆の風俗に対する罪
【内容・方法　等】　・公然わいせつ罪
・わいせつ物等頒布罪
・死体等損壊罪
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習
第８回　【授業テーマ】　国家的法益に対する罪
国家の安全に対する罪
国家の作用に対する罪１
【内容・方法　等】　・内乱の罪
・外患の罪
・国交に関する罪
・公務執行妨害罪１
【事前・事後学習課題】　・教科書該当箇所の予習と復習
第９回　【授業テーマ】　国家的法益に対する罪
国家の作用に対する罪２
【内容・方法　等】　・公務執行妨害罪２

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　37　2014/10/14　17:50:35

【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習
第10回 【授業テーマ】 国家的法益に対する罪
国家の作用に対する罪３
【内容・方法 等】 ・逃走の罪
・犯人蔵徳及び証拠隠滅の罪
【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習
第11回 【授業テーマ】 国家的法益に対する罪
国家の作用に対する罪４
【内容・方法 等】 ・職権濫用の罪
【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習
第12回 【授業テーマ】 国家的法益に対する罪
汚職の罪１
【内容・方法 等】 ・偽証の罪
・虚偽告訴の罪
【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習
第13回 【授業テーマ】 国家的法益に対する罪
汚職の罪２
【内容・方法 等】 ・贈収賄の罪１
【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習
第14回 【授業テーマ】 国家的法益に対する罪
汚職の罪３
【内容・方法 等】 ・贈収賄の罪２
【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 講義内容において特に重要なものの再検討
【事前・事後学習課題】 配布したレジュメすべて

評価方法（基準）
原則として定期試験の成績により評価しますが、開講時にこの点について補足説明を行います。

教材等
教科書…大野眞義ほか『刑法各論』（世界思想社・2014年春刊行予定）、または、佐久間修『刑法各論（第2版）』（成文堂・2012年）
参考書…大塚仁『刑法概説（各論）（第3版増補版）』（有斐閣・2005年）、中森喜彦『刑法各論（第3版）』（有斐閣・2011年）、西田典之『刑法各論（第6版）』（弘文堂・2012年）、井田良『刑法各論（第2版）』（弘文堂・2013年）
判例集・・・西田典之＝山口厚＝佐伯仁志編『刑法判例百選Ⅱ各論〔第6版〕』（有斐閣・2008年）
※その他、第1回目に文献案内を行う。

学生へのメッセージ
・刑法総論が、全ての犯罪に共通する犯罪成立要件の検討という点で、体系的かつ抽象的であるのに対して、刑法各論は、個別の犯罪成立要件の検討という点で、断片的かつ具体的である。総論の方がパズル的で面白いという側面もあるが、各論は私たちの身近にある問題と直結しているので、より理解しやすい。
・刑法各論の分野では、社会構造の変化にともない、刑法典制定時には想定できていない新たな犯罪現象がしばしば問題となる。新聞などを通じ、社会現象そのものに関心を持つことが、刑法への理解を深める契機となる。したがって、新聞を読む習慣を身につけてほしい。

関連科目
刑事法概論、刑法総論Ⅰ・Ⅱ、刑法各論Ⅰ、経済刑法、刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ、刑事学、少年法ほか

担当者の研究室等
11号館10階　小野准教授室

経済刑法
Economic Criminal Law

小　野　晃　正（オノ　コウセイ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
経済刑法とは、経済活動を規制する刑罰法令につき、刑事実体法、刑事手続法、刑事学といった様々な観点から、条文解釈、経済事犯の刑事手続及び経済犯罪の予防と対策をめぐる諸問題に関して総合的に検討する学問である。
本年度の講義は刑事実体法上の諸問題に力点をおきつつ、学生にとっても身近な事件を素材に経済刑法全体についてなるべくわかりやすく俯瞰することにしたい。

授業方法と留意点
配布するレジュメを中心に授業を行うが、教科書を適宜参照すること。
小型六法（三省堂『デイリー六法』もしくは『模範小六法』、または有斐閣『ポケット六法』もしくは『判例六法』の最新版などがのぞましい）を必ず持ってくること。

科目学習の効果（資格）
ビジネス科目といってよい本科目を学習することで、卒業後の進路に応じ、企業法務、行政実務及び警察実務においてすぐにでも役立つ経済刑法上の基本知識が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 ガイダンス
経済刑法の概念
【内容・方法 等】 ・文献紹介
・経済刑法と刑法各論の関係
【事前・事後学習課題】 ・教科書の入手
・教科書該当箇所の予習と復習
第２回 【授業テーマ】 経済刑法と刑罰
【内容・方法 等】 ・両罰規定
・自由刑と罰金刑の併科
・行政処分と刑罰の併科
【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習
第３回 【授業テーマ】 経済刑法における法益論と法人の刑事責任
【内容・方法 等】 ・経済刑法上の法益概念
・法人に対する刑事制裁
【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習
第４回 【授業テーマ】 マネー・ロンダリング
【内容・方法 等】 ・やみ金融と組織的犯罪処罰法
【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習
第５回 【授業テーマ】 会社法上の罰則
【内容・方法 等】 ・特別背任罪
・取締役等の贈収賄
・利益供与罪ほか
【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習
第６回 【授業テーマ】 証券取引をめぐる犯罪
【内容・方法 等】 ・相場操縦の禁止
・インサイダー取引の禁止
・損失補填の禁止ほか
【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習
第７回 【授業テーマ】 独占禁止法をめぐる犯罪
【内容・方法 等】 ・不当な取引制限の罪
・入札談合の罪
【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習
第８回 【授業テーマ】 破産犯罪
【内容・方法 等】 ・倒産処理と犯罪
・詐欺破産罪ほか
【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習
第９回 【授業テーマ】 民事執行制度をめぐる犯罪
【内容・方法 等】 ・執行妨害の罪
【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習
第10回 【授業テーマ】 悪徳商法と消費者保護
【内容・方法 等】 ・マルチ商法
・霊感商法
・内職商法
・催眠商法ほか
【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習
第11回 【授業テーマ】 欠陥商品・不当表示をめぐる犯罪
【内容・方法 等】 ・刑事製造物責任
・景品表示法違反の罪
・不正競争防止法違反の罪ほか
【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習
第12回 【授業テーマ】 補助金と公的資金の不正受給
【内容・方法 等】 ・補助金適正化法上の犯罪
【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習
第13回 【授業テーマ】 政財官の癒着をめぐる犯罪
【内容・方法 等】 ・防衛省汚職事件
・政治資金と選挙資金の規正
【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習
第14回 【授業テーマ】 脱税
【内容・方法 等】 ・租税ほ脱犯の成立要件と刑罰
【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習
第15回 【授業テーマ】 カード犯罪とコンピュータ犯罪
情報の刑法的保護
【内容・方法 等】 ・他人名義カードの不正使用
・不正アクセス防止法
・営業秘密侵害罪
【事前・事後学習課題】 ・教科書該当箇所の予習と復習

評価方法（基準）
原則として定期試験の成績により評価しますが、開講時にこの点について補足説明を行います。

教材等
教科書…神山敏雄ほか編著『新経済刑法入門（第2版）』（成文堂・2013年）
なお、小型六法（三省堂『デイリー六法』もしくは『模範小六法』、または有斐閣『ポケット六法』もしくは『判例六法』の最新版などがのぞましい）を必ず持ってくること。
参考書…山口厚編著『経済刑法』（商事法務・2012年）
判例教材・・芝原邦爾ほか『ケースブック経済刑法（第3版）』（有斐閣・2010年）

学生へのメッセージ
・経済刑法の分野では、社会構造の変化にともない、刑法典制

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd 38 2014/10/14 17:50:35

定時には想定できなかった新たな犯罪現象がしばしば問題となる。
とくに新聞やニュースなどを通じ、社会現象そのものに関心を持つことが、経済刑法への理解を深める契機となる。
したがって、日々の報道をチェックする習慣を身につけてほしい。

関連科目
刑事法概論、刑法総論Ⅰ・Ⅱ、刑法各論Ⅰ・Ⅱ、刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ、刑事学、少年法ほか

担当者の研究室等
11号館10階　小野准教授室

刑事政策
Criminal Policy

島　田　良　一（シマダ　リヨウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
刑事政策とは、社会現象としての犯罪をあらゆる角度から実証的に検証し、犯罪防止のための対策、刑罰の内容などについて学ぶ学問である。

授業方法と留意点
下記で指定した教科書およびそれをもとにしたレジュメを中心に授業を行う。

科目学習の効果（資格）
刑事政策に関する基本的な知識を習得する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　ガイダンス
【内容・方法　等】　授業の進め方に関する説明、文献・参考書の紹介。
【事前・事後学習課題】　配布レジュメを見直すこと。
第２回　【授業テーマ】　犯罪学①
【内容・方法　等】　犯罪原因論について解説する。
【事前・事後学習課題】　配布レジュメを見直すこと。
第３回　【授業テーマ】　犯罪学②
【内容・方法　等】　犯罪原因論について解説する。
【事前・事後学習課題】　配布レジュメを見直すこと。
第４回　【授業テーマ】　司法的処遇①
【内容・方法　等】　警察、検察、裁判の各段階における犯罪者処遇について解説する。
【事前・事後学習課題】　配布レジュメを見直すこと。
第５回　【授業テーマ】　司法的処遇②
【内容・方法　等】　警察、検察、裁判の各段階における犯罪者処遇について解説する。
【事前・事後学習課題】　配布レジュメを見直すこと。
第６回　【授業テーマ】　刑罰について
【内容・方法　等】　刑罰の種類や内容について解説する。
【事前・事後学習課題】　配布レジュメを見直すこと。
第７回　【授業テーマ】　死刑
【内容・方法　等】　死刑について解説する。
【事前・事後学習課題】　配布レジュメを見直すこと。
第８回　【授業テーマ】　施設内処遇について
【内容・方法　等】　刑事施設（刑務所、拘置所など）における処遇について解説する。
【事前・事後学習課題】　配布レジュメを見直すこと。
第９回　【授業テーマ】　社会内処遇について
【内容・方法　等】　保護観察、仮釈放、更生緊急保護などについて解説する。
【事前・事後学習課題】　配布レジュメを見直すこと。
第10回　【授業テーマ】　保安処分
【内容・方法　等】　触法精神障害者の処遇について解説する。
【事前・事後学習課題】　配布レジュメを見直すこと。
第11回　【授業テーマ】　交通犯罪
【内容・方法　等】　交通犯罪対策について解説する。
【事前・事後学習課題】　配布レジュメを見直すこと。
第12回　【授業テーマ】　性犯罪
【内容・方法　等】　性犯罪対策について解説する。
【事前・事後学習課題】　配布レジュメを見直すこと。
第13回　【授業テーマ】　薬物犯罪
【内容・方法　等】　薬物犯の実態や薬物犯罪対策などについて解説する。
【事前・事後学習課題】　配布レジュメを見直すこと。
第14回　【授業テーマ】　時事問題
【内容・方法　等】　実際に起きた事件などについて刑事政策的観点から解説を行う。
【事前・事後学習課題】　配布レジュメを見直すこと。
第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容・方法　等】　重要論点の再解説。
【事前・事後学習課題】　配布レジュメを見直すこと。

評価方法（基準）
定期試験の成績(80%)と授業中に随時行う予定である小テストの成績(20%)で評価する。

教材等
教科書…守山正・安部哲夫編「ビギナーズ刑事政策」成文堂、第2版（3,000円+税）
参考書…講義中に適宜指示する。

学生へのメッセージ
犯罪はなぜ起こるのか、犯罪を防ぐためにはどうしたらよいか、犯罪を行った者の処遇はどうすべきか、などといった問題について、自分なりに検討してみてください。

関連科目
刑法総論、刑法各論、刑事訴訟法、少年法、刑事法概論など。

担当者の研究室等
11号館9階　島田准教授室

犯罪学
Criminology

島　田　良　一（シマダ　リヨウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
刑事政策とは、社会現象としての犯罪をあらゆる角度から実証的に検証し、犯罪防止のための対策、刑罰の内容などについて学ぶ学問である。

授業方法と留意点
下記で指定した教科書およびそれをもとにしたレジュメを中心に授業を行う。

科目学習の効果（資格）
刑事政策に関する基本的な知識を習得する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　ガイダンス
【内容・方法　等】　授業の進め方に関する説明、文献・参考書の紹介。
【事前・事後学習課題】　配布レジュメを見直すこと。
第２回　【授業テーマ】　犯罪学①
【内容・方法　等】　犯罪原因論について解説する。
【事前・事後学習課題】　配布レジュメを見直すこと。
第３回　【授業テーマ】　犯罪学②
【内容・方法　等】　犯罪原因論について解説する。
【事前・事後学習課題】　配布レジュメを見直すこと。
第４回　【授業テーマ】　司法的処遇①
【内容・方法　等】　警察、検察、裁判の各段階における犯罪者処遇について解説する。
【事前・事後学習課題】　配布レジュメを見直すこと。
第５回　【授業テーマ】　司法的処遇②
【内容・方法　等】　警察、検察、裁判の各段階における犯罪者処遇について解説する。
【事前・事後学習課題】　配布レジュメを見直すこと。
第６回　【授業テーマ】　刑罰について
【内容・方法　等】　刑罰の種類や内容について解説する。
【事前・事後学習課題】　配布レジュメを見直すこと。
第７回　【授業テーマ】　死刑
【内容・方法　等】　死刑について解説する。
【事前・事後学習課題】　配布レジュメを見直すこと。
第８回　【授業テーマ】　施設内処遇について
【内容・方法　等】　刑事施設（刑務所、拘置所など）における処遇について解説する。
【事前・事後学習課題】　配布レジュメを見直すこと。
第９回　【授業テーマ】　社会内処遇について
【内容・方法　等】　保護観察、仮釈放、更生緊急保護などについて解説する。
【事前・事後学習課題】　配布レジュメを見直すこと。
第10回　【授業テーマ】　保安処分
【内容・方法　等】　触法精神障害者の処遇について解説する。
【事前・事後学習課題】　配布レジュメを見直すこと。
第11回　【授業テーマ】　交通犯罪
【内容・方法　等】　交通犯罪対策について解説する。
【事前・事後学習課題】　配布レジュメを見直すこと。
第12回　【授業テーマ】　性犯罪
【内容・方法　等】　性犯罪対策について解説する。
【事前・事後学習課題】　配布レジュメを見直すこと。
第13回　【授業テーマ】　薬物犯罪
【内容・方法　等】　薬物犯の実態や薬物犯罪対策などについて解説する。
【事前・事後学習課題】　配布レジュメを見直すこと。
第14回　【授業テーマ】　時事問題
【内容・方法　等】　実際に起きた事件などについて刑事政策的

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　39　2014/10/14　17:50:36

観点から解説を行う。
【事前・事後学習課題】 配布レジュメを見直すこと。
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 重要論点の再解説。
【事前・事後学習課題】 配布レジュメを見直すこと。

評価方法（基準）
定期試験の成績(80%)と授業中に随時行う予定である小テストの成績(20%)で評価する。

教材等
教科書…守山正・安部哲夫編「ビギナーズ刑事政策」成文堂、第2版（3,000円+税）
参考書…講義中に適宜指示する。

学生へのメッセージ
犯罪はなぜ起こるのか、犯罪を防ぐためにはどうしたらよいか、犯罪を行った者の処遇はどうすべきか、などといった問題について、自分なりに検討してみてください。

関連科目
刑法総論、刑法各論、刑事訴訟法、少年法、刑事法概論など。

担当者の研究室等
11号館9階　島田准教授室

少年法
Juvenile Law

島　田　良　一（シマダ　リヨウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
少年法は、非行少年の改善更生・健全育成を目的とする法律である。この授業では、上記の点を念頭に置いた上で、一般の刑事手続との比較も行いながら少年事件手続の特徴について基本的な理解を得ることを目標とする。

授業方法と留意点
下記で指定した教科書及びそれをもとに作成したレジュメを中心に授業を行う。

科目学習の効果（資格）
少年法に関する基本的知識を習得する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 授業の進め方に関する説明、文献・参考書の紹介
【事前・事後学習課題】 教科書の入手
第２回 【授業テーマ】 少年法の理念
【内容・方法 等】 少年法の意義・特徴など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第３回 【授業テーマ】 少年法の誕生
【内容・方法 等】 我が国の少年法制の沿革など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第４回 【授業テーマ】 少年非行の現状
【内容・方法 等】 少年犯罪の近年の趨勢など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第５回 【授業テーマ】 少年法の改正
【内容・方法 等】 少年法改正（2000，2007，2008）の経緯など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第６回 【授業テーマ】 少年事件と犯罪被害者
【内容・方法 等】 少年法における犯罪被害者の地位など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第７回 【授業テーマ】 非行少年の発見
【内容・方法 等】 発見活動の意義・諸態様など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第８回 【授業テーマ】 捜査・予防活動
【内容・方法 等】 非行防止のための活動、非行少年の捜査・調査活動など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第９回 【授業テーマ】 家庭裁判所の役割
【内容・方法 等】 家庭裁判所の意義など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第10回 【授業テーマ】 社会調査
【内容・方法 等】 調査の意義など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第11回 【授業テーマ】 少年審判
【内容・方法 等】 審判の対象・手続など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第12回 【授業テーマ】 少年の権利保障
【内容・方法 等】 我が国の少年法上における権利保障など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第13回 【授業テーマ】 非行少年の処遇・逆送と刑事処分
【内容・方法 等】 保護処分の種類、逆送手続など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第14回 【授業テーマ】 少年事件と報道
【内容・方法 等】 少年事件における実名報道の禁止について
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 重要論点の再解説
【事前・事後学習課題】 重要論点の確認

評価方法（基準）
定期試験の成績(80％)と授業中に随時行う予定である小テストの成績(20％)で評価する。

教材等
教科書…守山正・後藤弘子「ビギナーズ少年法」第2版補訂版、成文堂（2,900円＋税）
参考書…適宜指示する。

学生へのメッセージ
とかく議論の対象になりがちな「少年法」について、様々な角度から自分なりに検討してみてください。

関連科目
刑法、刑事訴訟法、刑事法概論など。

担当者の研究室等
11号館9階　島田准教授室

民事法概論
Introduction to Civil Law

古　川　行　男（フルカワ　ユキオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ABCDEＩJ	前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
民事とは日常生活に関することで、日常生活の主たる関心事は財産と家族である。したがって、民事法とは財産と家族に関する一連の法ということになる。民法、商法、民事訴訟法等が民事法にあたり、法学部生としてぜひ学んで貰いたい法律領域である。ところで、民事法の扱う領域が広範囲であること、民事法の根本となる民法が初心者が学習するには困難な体系となっている。そのため、民事法の学習には、民法の全体像、基本的概念の把握が必須である。本講義は、民事法の全体像と民事法に共通する基本的な概念を示すことによって、民法等の民事法の学習に役立つことを目的としている。学生諸君が興味を持って聴講できるように、小六法と教科書を活用して重要な財産関係である不動産と身近の問題である貸付債権を軸に進める。

授業方法と留意点
民事法の基本となる法律は民法である。民事法の全体像及び民事法の基本的概念の把握は民法の条文に基づいて説明し、くわしい内容を教科書で確認する方法で行う。したがって、小六法と教科書は必ず持参して聴講して貰いたい。知識を確実にするために確認テスト等を行う。

科目学習の効果（資格）
社会生活の基本法である民法の学習方法を知ることができ、民事法（民法、民事訴訟法、破産法等）が出題科目となっている各種資格試験の基礎となる知識を習得できる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 はじめに
【内容・方法 等】 ・授業の進め方、受講上の注意
・法律の分類（公法と私法）
【事前・事後学習課題】 小六法を持参すること、民事法が対象としている市民社会の基本原理を理解すること
第２回 【授業テーマ】 民事法とは
【内容・方法 等】 ・民事法の基本法としての民法
・民法の構造（財産法と家族法）
【事前・事後学習課題】 教科書第１章の１、３及び第２章の１を予復習すること（以下、教科書の章と番号のみを記載する）
第３回 【授業テーマ】 民事法の構造
【内容・方法 等】 ・民事法が扱う対象
・民事法の構造（実体法と手続法）
【事前・事後学習課題】 第１章の１、２

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd 40 2014/10/14 17:50:36

第４回　【授業テーマ】　民法学習の意義と方法
【内容・方法　等】　・民法について
・民法学習の意義と方法
【事前・事後学習課題】　第２章の２、３及び第３章の１、２
第５回　【授業テーマ】　物権について
【内容・方法　等】　・物権の構造
・所有権について
【事前・事後学習課題】　第３章の２、第８章
第６回　【授業テーマ】　不動産について
【内容・方法　等】　・土地と建物に関する諸問題
・登記事項証明書
・法律行為の基礎
【事前・事後学習課題】　第８章
第７回　【授業テーマ】　債権について
【内容・方法　等】　・債権の意義
・債権の発生原因
・契約を原因とする債権について
【事前・事後学習課題】　第３章の２、第７章の３
第８回　【授業テーマ】　金銭債権について
【内容・方法　等】　・金銭債権の構造
・金銭債権の権利実現、担保概論
【事前・事後学習課題】　第７章の４、第１６章
第９回　【授業テーマ】　契約について
【内容・方法　等】　・契約の成立、効力
・契約内容の実現
・契約の解消について
【事前・事後学習課題】　第７章の１，２，３，５
第10回　【授業テーマ】　不法行為等
【内容・方法　等】　・不法行為
・不当利得、事務管理
【事前・事後学習課題】　第９、第10章
第11回　【授業テーマ】　民法における諸概念
【内容・方法　等】　・権利能力、行為能力、
・法律行為、代理
・時効、期日・期間、条件
【事前・事後学習課題】　第２章の４及び第４章、第５章
第12回　【授業テーマ】　権利の実現について
【内容・方法　等】　・権利実現の手順
・実体法と手続法
・無効、取消、解除の意義
【事前・事後学習課題】　第１章の３及び第16章
第13回　【授業テーマ】　家族法概説、夫婦・親子
【内容・方法　等】　・家族法の基本原則
・婚姻及び親子関係について
・家事紛争の処理
【事前・事後学習課題】　第１２，１３章
第14回　【授業テーマ】　相続について
【内容・方法　等】　・相続とは
・法定相続・遺言相続について
【事前・事後学習課題】　第１４章
第15回　【授業テーマ】　講義のまとめ
【内容・方法　等】　・民事法の全体像の再確認
・講義内容の整理
【事前・事後学習課題】　講義内容の復習

評価方法（基準）
原則として、期末試験の成績による。授業中に小テストを行うこともある。

教材等
教科書…小六法
野村豊弘『民事法入門［最新版］』（有斐閣アルマ）（1890円）
参考書…池田真朗編著「Visual Materials民法」（有斐閣、2000円＋税）
大村敦史著「民法改正を考える」（岩波新書、720円＋税）

学生へのメッセージ
民事法は日常生活に関する規範である。したがって、民事法を学習することは、日常生活を法的観点から検討することでもある。

関連科目
刑事法概論を受講すること（法をより全体的に捉えることができる）。

担当者の研究室等
11号館10階　古川教授室

備考
授業の進行に応じて順序や内容を変更することもある。
なお、参考書「Visual Materials民法」は今後の民法の学習に有用なので備えることが望ましい。

民事法概論
Introduction to Civil Law

大　川　謙　蔵（オオカワ　ケンゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	GH	前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
民事法とは、国や地方公共団体などが直接に関係を有しない私人間の取引や法律関係を扱う法律の分野を総称した言葉です。ここでは、そのような法理論を全体的に捉える予定です。しかし、社会の民事に関する問題を知らないのに、それらの解決方法や法規定を把握したとしても、何の意味もありません。それゆえ、ここでは問題把握を重点とし、それらについて法がどのような対応をしているのかを見ていく予定です。

授業方法と留意点
講義形式と問答形式で行う予定です。必要に応じて資料を配布し、それに関する課題を与えることも予定しています。なお、法律学の講義なので、小型の六法は必ず持参してください。

科目学習の効果（資格）
将来の社会生活において必要となる法関連の資格において、民事法は非常に重要です。その基礎理論を是非押さえましょう。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　民事法の意義と構造
【内容・方法　等】　法全体から民事法の意義を捉え、その内容を見ていく。
【事前・事後学習課題】　現時点で知っている法律とその内容を頭の中で整理すること。
第２回　【授業テーマ】　民事法と民法の関係
【内容・方法　等】　民事法の分野とされている法律を全体的に捉え、その中で特に民法というものの位置を把握する。
【事前・事後学習課題】　民法の意義を確認しつつ、民事法全体を捉えられるように課題を与える予定。
第３回　【授業テーマ】　権利と義務
【内容・方法　等】　他分野における権利と義務を把握しつつ、民事法における権利と義務の関係を見ていく予定。
【事前・事後学習課題】　頭の中で抽象と具体の整理ができるような課題を与える。
第４回　【授業テーマ】　法律行為と能力
【内容・方法　等】　学生がおかれている法的状況と、そこでなされる行為を全体的に捉えていく予定。
【事前・事後学習課題】　一般・特別、客観・主観、抽象・具体などの思考様式を確認していただく予定。
第５回　【授業テーマ】　代理と時効
【内容・方法　等】　法システムの中で、これらの制度がどのような役割を果たすのか、法的な意義というものを確認していく予定。
【事前・事後学習課題】　規定の裏側にある意図・目的というものを読み取るような課題を与える予定。
第６回　【授業テーマ】　契約とは
【内容・方法　等】　人の生活を考える場合、何も知らない相手と交渉しなければならない場合がある。その場合、どのようなことに注意すればいいのかを見ていく。
【事前・事後学習課題】　起床から登校までの生活様式を法的に説明してもらいます。
第７回　【授業テーマ】　所有権
【内容・方法　等】　日本人は所有権の概念を知っていても、所有権自体を認識しているといえるか。借りた物は返しているのか。現実を見ていく予定。
【事前・事後学習課題】　これまでの生活で、所有権を主張したことがあるのかを再認識してもらいます。
第８回　【授業テーマ】　不法行為
【内容・方法　等】　自転車やバイクで人をはねると、何が起きるのか。それを法的にはどのように説明されるのかを見ていく予定。
【事前・事後学習課題】　現実の交通事故事例などを集めてもらう予定です。
第９回　【授業テーマ】　事務管理と不当利得
【内容・方法　等】　ここでは、法的な処理をすべきと考えられる場合を見ていく予定。制度として是認すべきかどうかの点も考察予定。
【事前・事後学習課題】　法と道徳の違いなども検討していただく予定です。
第10回　【授業テーマ】　債務の弁済
【内容・方法　等】　貸した金に対して、物で返還してくる場合や、お金以外の価値ある物を検討していく予定。
【事前・事後学習課題】　カードなどのシステムはなぜ必要なのかを考えよう。
第11回　【授業テーマ】　家族法と親子・扶養
【内容・方法　等】　親子関係や扶養義務など、家族生活を法的眼鏡でみると、何が見えるのかを検討する予定。
【事前・事後学習課題】　家族の意義についても考えてもらいま

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　41　2014/10/14　17:50:36

す。
第12回 【授業テーマ】 家族法と相続
【内容・方法 等】 相続の意義について考えながら、経済的視点についても検討する予定。
【事前・事後学習課題】 貧富の格差に相続は関連するのだろうか。
第13回 【授業テーマ】 団体と民法
【内容・方法 等】 団体で活動する場合には、その団体自体が動くことができるのかを見ていく予定。
【事前・事後学習課題】 クラブ活動を客観的に捉えてもらう予定です。
第14回 【授業テーマ】 権利実現の方法と裁判
【内容・方法 等】 紛争を最終的に解決するのは裁判です。それ以外の手段についても触れつつ、権利というものの現実を捉えていく予定。
【事前・事後学習課題】 裁判に関するイメージを考えてもらいます。
第15回 【授業テーマ】 講義のまとめ
【内容・方法 等】 これまでの全体を振り返りつつ、民事法的視点の理解を確認します。
【事前・事後学習課題】 ――――
評価方法（基準）
定期試験・講義への態度・課題への取り組みなどを総合評価します。
教材等
教科書…六法（出版社不問）
遠藤隆幸他編『ロードマップ民法』 一学舎
参考書…野村豊弘『民事法入門（第5版補訂版）』 有斐閣（1600円+税）
学生へのメッセージ
目標と合致する学生生活ができれば、人生で非常に有用な4年間になります。目標が不明確な人は、目の前の課題を乗り越えることで、何かに気付くことがあります。それに逃げないで下さい。
関連科目
刑事法概論、憲法概論を受講し、法を全体的に捉えて下さい。
担当者の研究室等
11号館9階 大川講師室

ライフステージと法
Life Stages and Law

古 川 行 男（フルカワ ユキオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ABCDEIJ	前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
民事とは日常生活に関することで、日常生活の主たる関心事は財産と家族である。したがって、民事法とは財産と家族に関する一連の法ということになる。民法、商法、民事訴訟訟法等が民事法にあたり、法学部生としてぜひ学んで貰いたい法律領域である。ところで、民事法の扱う領域が広範囲であること、民事法の根本となる民法が初心者が学習するには困難な体系となっている。そのため、民事法の学習には、民法の全体像、基本的概念の把握が必須である。本講義は、民事法の全体像と民事法に共通する基本的な概念を示すことによって、民法等の民事法の学習に役立つことを目的としている。学生諸君が興味を持って聴講できるように、小六法と教科書を活用して重要な財産関係である不動産と身近の問題である貸付債権を軸に進める。
授業方法と留意点
民事法の基本となる法律は民法である。民事法の全体像及び民事法の基本的概念の把握は民法の条文に基づいて説明し、くわしい内容を教科書で確認する方法で行う。したがって、小六法と教科書は必ず持参して聴講して貰いたい。知識を確実にするために確認テスト等を行う。
科目学習の効果（資格）
社会生活の基本法である民法の学習方法を知ることができ、民事法（民法、民事訴訟法、破産法等）が出題科目となっている各種資格試験の基礎となる知識を習得できる。
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 はじめに
【内容・方法 等】 ・授業の進め方、受講上の注意
・法律の分類（公法と私法）
【事前・事後学習課題】 小六法を持参すること、民事法が対象としている市民社会の基本原理を理解すること
第２回 【授業テーマ】 民事法とは
【内容・方法 等】 ・民事法の基本法としての民法
・民法の構造（財産法と家族法）
【事前・事後学習課題】 教科書第１章の１、３及び第２章の１を予復習すること（以下、教科書の章と番号のみを記載する）
第３回 【授業テーマ】 民事法の構造
【内容・方法 等】 ・民事法が扱う対象
・民事法の構造（実体法と手続法）
【事前・事後学習課題】 第１章の１、２
第４回 【授業テーマ】 民法学習の意義と方法
【内容・方法 等】 ・民法について
・民法学習の意義と方法
【事前・事後学習課題】 第２章の２、３及び第３章の１、２
第５回 【授業テーマ】 物権について
【内容・方法 等】 ・物権の構造
・所有権について
【事前・事後学習課題】 第３章の２、第８章
第６回 【授業テーマ】 不動産について
【内容・方法 等】 ・土地と建物に関する諸問題
・登記事項証明書
・法律行為の基礎
【事前・事後学習課題】 第８章
第７回 【授業テーマ】 債権について
【内容・方法 等】 ・債権の意義
・債権の発生原因
・契約を原因とする債権について
【事前・事後学習課題】 第３章の２、第７章の３
第８回 【授業テーマ】 金銭債権について
【内容・方法 等】 ・金銭債権の構造
・金銭債権の権利実現、担保概論
【事前・事後学習課題】 第７章の４、第１６章
第９回 【授業テーマ】 契約について
【内容・方法 等】 ・契約の成立、効力
・契約内容の実現
・契約の解消について
【事前・事後学習課題】 第７章の１，２，３，５
第10回 【授業テーマ】 不法行為等
【内容・方法 等】 ・不法行為
・不当利得、事務管理
【事前・事後学習課題】 第９、第10章
第11回 【授業テーマ】 民法における諸概念
【内容・方法 等】 ・権利能力、行為能力、
・法律行為、代理
・時効、期日・期間、条件
【事前・事後学習課題】 第２章の４及び第４章、第５章
第12回 【授業テーマ】 権利の実現について
【内容・方法 等】 ・権利実現の手順
・実体法と手続法
・無効、取消、解除の意義
【事前・事後学習課題】 第１章の３及び第16章
第13回 【授業テーマ】 家族法概説、夫婦・親子
【内容・方法 等】 ・家族法の基本原則
・婚姻及び親子関係について
・家事紛争の処理
【事前・事後学習課題】 第１２，１３章
第14回 【授業テーマ】 相続について
【内容・方法 等】 ・相続とは
・法定相続・遺言相続について
【事前・事後学習課題】 第１４章
第15回 【授業テーマ】 講義のまとめ
【内容・方法 等】 ・民事法の全体像の再確認
・講義内容の整理
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
評価方法（基準）
原則として、期末試験の成績による。授業中に小テストを行うこともある。
教材等
教科書…小六法
野村豊弘『民事法入門［最新版］』（有斐閣アルマ）（1890円）
参考書…池田真朗編著「Visual Materials民法」（有斐閣、2000円＋税）
大村敦史著「民法改正を考える」（岩波新書、720円＋税）
学生へのメッセージ
民事法は日常生活に関する規範である。したがって、民事法を学習することは、日常生活を法的観点から検討することでもある。
関連科目
刑事法概論を受講すること（法をより全体的に捉えることができる）。
担当者の研究室等
11号館10階 古川教授室
備考
授業の進行に応じて順序や内容を変更することもある。
なお、参考書「Visual Materials民法」は今後の民法の学習に有用なので備えることが望ましい。

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd 42 2014/10/14 17:50:36

ライフステージと法
Life Stages and Law

大　川　謙　蔵（オオカワ　ケンゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	GH	前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
民事法とは、国や地方公共団体などが直接に関係を有しない私人間の取引や法律関係を扱う法律の分野を総称した言葉です。ここでは、そのような法理論を全体的に捉える予定です。しかし、社会の民事に関する問題を知らないのに、それらの解決方法や法規定を把握したとしても、何の意味もありません。それゆえ、ここでは問題把握を重点とし、それらについて法がどのような対応をしているのかを見ていく予定です。

授業方法と留意点
講義形式と問答形式で行う予定です。必要に応じて資料を配布し、それに関する課題を与えることも予定しています。なお、法律学の講義なので、小型の六法は必ず持参してください。

科目学習の効果（資格）
将来の社会生活において必要となる法関連の資格において、民事法は非常に重要です。その基礎理論を是非押さえましょう。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】** 民事法の意義と構造
【内容・方法　等】 法全体から民事法の意義を捉え、その内容を見ていく。
【事前・事後学習課題】 現時点で知っている法律とその内容を頭の中で整理すること。
第２回　**【授業テーマ】** 民事法と民法の関係
【内容・方法　等】 民事法の分野とされている法律を全体的に捉え、その中で特に民法というものの位置を把握する。
【事前・事後学習課題】 民法の意義を確認しつつ、民事法全体を捉えられるように課題を与える予定。
第３回　**【授業テーマ】** 権利と義務
【内容・方法　等】 他分野における権利と義務を把握しつつ、民事法における権利と義務の関係を見ていく予定。
【事前・事後学習課題】 頭の中で抽象と具体の整理ができるような課題を与える。
第４回　**【授業テーマ】** 法律行為と能力
【内容・方法　等】 学生がおかれている法的状況と、そこでなされる行為を全体的に捉えていく予定。
【事前・事後学習課題】 一般・特別、客観・主観、抽象・具体などの思考様式を確認していただく予定。
第５回　**【授業テーマ】** 代理と時効
【内容・方法　等】 法システムの中で、これらの制度がどのような役割を果たすのか、法的な意義というものを確認していく予定。
【事前・事後学習課題】 規定の裏側にある意図・目的というものを読み取るような課題を与える予定。
第６回　**【授業テーマ】** 契約とは
【内容・方法　等】 人の生活を考える場合、何も知らない相手と交渉しなければならない場合がある。その場合、どのようなことに注意すればいいのかを見ていく。
【事前・事後学習課題】 起床から登校までの生活様式を法的に説明してもらいます。
第７回　**【授業テーマ】** 所有権
【内容・方法　等】 日本人は所有権の概念を知っていても、所有権自体を認識しているといえるか。借りた物は返しているのか。現実を見ていく予定。
【事前・事後学習課題】 これまでの生活で、所有権を主張したことがあるのかを再認識してもらいます。
第８回　**【授業テーマ】** 不法行為
【内容・方法　等】 自転車やバイクで人をはねると、何が起きるのか。それを法的にはどのように説明されるのかを見ていく予定。
【事前・事後学習課題】 現実の交通事故事例などを集めてもらう予定です。
第９回　**【授業テーマ】** 事務管理と不当利得
【内容・方法　等】 ここでは、法的な処理をすべきと考えられる場合を見ていく予定。制度として是認すべきかどうかの点も考察予定。
【事前・事後学習課題】 法と道徳の違いなども検討していただく予定です。
第10回　**【授業テーマ】** 債務の弁済
【内容・方法　等】 貸した金に対して、物で返還してくる場合や、お金以外の価値ある物を検討していく予定。
【事前・事後学習課題】 カードなどのシステムはなぜ必要なのかを考えよう。
第11回　**【授業テーマ】** 家族法と親子・扶養
【内容・方法　等】 親子関係や扶養義務など、家族生活を法的眼鏡でみると、何が見えるのかを検討する予定。
【事前・事後学習課題】 家族の意義についても考えてもらいます。
第12回　**【授業テーマ】** 家族法と相続
【内容・方法　等】 相続の意義について考えながら、経済的視点についても検討する予定。
【事前・事後学習課題】 貧富の格差に相続は関連するのだろうか。
第13回　**【授業テーマ】** 団体と民法
【内容・方法　等】 団体で活動する場合には、その団体自体が動くことができるのかを見ていく予定。
【事前・事後学習課題】 クラブ活動を客観的に捉えてもらう予定です。
第14回　**【授業テーマ】** 権利実現の方法と裁判
【内容・方法　等】 紛争を最終的に解決するのは裁判です。それ以外の手段についても触れつつ、権利というものの現実を捉えていく予定。
【事前・事後学習課題】 裁判に関するイメージを考えてもらいます。
第15回　**【授業テーマ】** 講義のまとめ
【内容・方法　等】 これまでの全体を振り返りつつ、民事法的視点の理解を確認します。
【事前・事後学習課題】 ――――

評価方法（基準）
定期試験・講義への態度・課題への取り組みなどを総合評価します。

教材等
教科書…六法（出版社不問）
遠藤隆幸他編『ロードマップ民法』　一学舎
参考書…野村豊弘『民事法入門（第5版補訂版）』　有斐閣（1600円+税）

学生へのメッセージ
目標と合致する学生生活ができれば、人生で非常に有用な4年間になります。目標が不明確な人は、目の前の課題を乗り越えることで、何かに気付くことがあります。それに逃げないで下さい。

関連科目
刑事法概論、憲法概論を受講し、法を全体的に捉えて下さい。

担当者の研究室等
11号館9階　大川講師室

民法総則
Civil Law

城　内　　明（キウチ　アキラ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期(30回)	履修申請要領参照	4

授業概要・目的・到達目標
民法は、私達の日常的な生活全般―とりわけ権利の発生と消滅について―を規律する法律です。民法総則、物権、債権、親族、そして相続という五編からなります。この授業では、最初の民法総則の部分を取り扱います。今後の民法学習の基礎となる重要な事項について学びますので、後の学習のためにも、しっかり理解して下さい。

授業方法と留意点
授業は、毎回配布するレジュメに基づいて行います。授業時は六法を必ずもってきてください。

科目学習の効果（資格）
司法試験、司法書士、行政書士、宅権等の各種資格試験、並びに公務員試験において必修。法学検定受験者。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】** ガイダンス
【内容・方法　等】 ガイダンス・民法の学習方法
【事前・事後学習課題】 特になし
第２回　**【授業テーマ】** 民法の全体図
【内容・方法　等】 民法の構造/債権と物権
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
第３回　**【授業テーマ】** 契約の成立(1)
【内容・方法　等】 意思表示の合致／申込みと承諾
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
第４回　**【授業テーマ】** 契約の成立(2)
【内容・方法　等】 隔地者間の契約の成立
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
第５回　**【授業テーマ】** 契約の拘束力からの離脱Ⅰ
【内容・方法　等】 意思表示の構造・意思表示の瑕疵(1)
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
第６回　**【授業テーマ】** 契約の拘束力からの離脱Ⅱ
【内容・方法　等】 意思表示の瑕疵(2)
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
第７回　**【授業テーマ】** 契約の拘束力からの離脱Ⅲ
【内容・方法　等】 意思表示の瑕疵（３）
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　43　　2014/10/14　17:50:36

第８回　【授業テーマ】　契約の拘束力からの離脱Ⅳ
【内容・方法　等】　意思表示の瑕疵(4)
【事前・事後学習課題】　授業時に指示する
第９回　【授業テーマ】　契約の拘束力からの離脱Ⅴ
【内容・方法　等】　意思表示の瑕疵(5)
【事前・事後学習課題】　授業時に指示する
第10回　【授業テーマ】　契約の拘束力からの離脱Ⅵ
【内容・方法　等】　意思表示の瑕疵(6)
【事前・事後学習課題】　授業時に指示する
第11回　【授業テーマ】　契約の拘束力からの離脱Ⅶ
【内容・方法　等】　消費者法上の取消権／クーリング・オフ
【事前・事後学習課題】　授業時に指示する
第12回　【授業テーマ】　契約の拘束力からの離脱Ⅷ
【内容・方法　等】　契約の有効性要件(1)
【事前・事後学習課題】　授業時に指示する
第13回　【授業テーマ】　契約の拘束力からの離脱Ⅸ
【内容・方法　等】　契約の有効性要件(2)
【事前・事後学習課題】　授業時に指示する
第14回　【授業テーマ】　契約の拘束力からの離脱Ⅹ
【内容・方法　等】　契約の有効性要件(3)
【事前・事後学習課題】　授業時に指示する
第15回　【授業テーマ】　人Ⅰ
【内容・方法　等】　権利能力(1)
【事前・事後学習課題】　授業時に指示する
第16回　【授業テーマ】　人Ⅱ
【内容・方法　等】　権利能力(2)
【事前・事後学習課題】　授業時に指示する
第17回　【授業テーマ】　人Ⅲ
【内容・方法　等】　意思能力／行為能力(1)
【事前・事後学習課題】　授業時に指示する
第18回　【授業テーマ】　人Ⅳ
【内容・方法　等】　行為能力(2)
【事前・事後学習課題】　授業時に指示する
第19回　【授業テーマ】　人Ⅴ
【内容・方法　等】　行為能力(3)
【事前・事後学習課題】　授業時に指示する
第20回　【授業テーマ】　人Ⅵ
【内容・方法　等】　行為能力(4)
【事前・事後学習課題】　授業時に指示する
第21回　【授業テーマ】　人Ⅶ
【内容・方法　等】　法人(1)
【事前・事後学習課題】　授業時に指示する
第22回　【授業テーマ】　人Ⅷ
【内容・方法　等】　法人(2)
【事前・事後学習課題】　授業時に指示する
第23回　【授業テーマ】　代理Ⅰ
【内容・方法　等】　代理総論
【事前・事後学習課題】　授業時に指示する
第24回　【授業テーマ】　代理Ⅱ
【内容・方法　等】　無権代理(1)
【事前・事後学習課題】　授業時に指示する
第25回　【授業テーマ】　代理Ⅲ
【内容・方法　等】　無権代理(2)
【事前・事後学習課題】　授業時に指示する
第26回　【授業テーマ】　代理Ⅳ
【内容・方法　等】　無権代理(3)
【事前・事後学習課題】　授業時に指示する
第27回　【授業テーマ】　代理Ⅴ
【内容・方法　等】　表見代理(1)
【事前・事後学習課題】　授業時に指示する
第28回　【授業テーマ】　代理Ⅵ
【内容・方法　等】　表見代理(2)
【事前・事後学習課題】　授業時に指示する
第29回　【授業テーマ】　時効(1)
【内容・方法　等】　時効制度の意義／取得時効と消滅時効／時効の起算点
【事前・事後学習課題】　授業時に指示する
第30回　【授業テーマ】　時効(2)

評価方法（基準）

授業中の小テスト（2～5回、各10点）と定期試験（100点-小テスト分）で評価します。
ただし、授業妨害行為（私語・携帯電話の使用・騒々しい途中入退室等）に対しては、減点措置を講じ、度重なる場合は単位不授与とします。ヒソヒソ話も禁止。厳格に対処するので注意してください。
なお、小テスト実施時に、やむを得ない事情(病気等(部活動は認めない))により欠席した場合は、その旨を証明する書類を付すことを条件に代替レポートの提出を認めます。

教材等

教科書…六法（出版社不問）
『ロードマップ民法１－総則』（一学舎,2012)
参考書…池田真朗『スタートライン民法総論』（日本評論社）
内田　貴『民法I 総則・物権総論　第4 版』東京大学出版会
中田・潮見・道垣内編『民法判例百選Ⅰ　第6版』有斐閣
潮見・松本編『判例プラクティス民法Ⅰ【総則・物権】』信山社

学生へのメッセージ

民法総則は，初学者にとって非常に難しい科目です。講義内容を理解し，知識を確実なものとするためには，事前にテキストで予習をした上，授業中きちんとノートをとり，その日のうちに復習するという（当たり前の）作業が不可欠となります。やる気のある人の受講を期待しています。

関連科目

民法科目全般・消費者と法

担当者の研究室等

11号館10階　城内准教授室

不法行為法
Tort Law

城　内　　明（キウチ　アキラ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

不法行為法は、709条というたった1条の条文で、交通事故、公害、医療過誤、薬害事件といった様々な現代的諸問題を解決してきました。その面白さをわかってもらえるような講義にしたいと思っています。

授業方法と留意点

授業時に配布するレジュメにより講義します。

科目学習の効果（資格）

各種資格試験、および今後の市民生活において不可欠です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　ガイダンス・不法行為法総説(1)
【内容・方法　等】　ガイダンス・債権発生原因としての不法行為・条文から見る不法行為法・不法行為の判断場面・不法行為法の難しさと面白さ
【事前・事後学習課題】　テキスト14章
第２回　【授業テーマ】　不法行為法総説(2)
【内容・方法　等】　不法行為法の基本原理・不法行為法の目的と機能
【事前・事後学習課題】　テキスト14章
第３回　【授業テーマ】　故意・過失(1)
【内容・方法　等】　故意/過失要件の意義・過失(1)
【事前・事後学習課題】　テキスト15章
第４回　【授業テーマ】　故意・過失(2)
【内容・方法　等】　過失(2)・責任能力・故意
【事前・事後学習課題】　テキスト15章
第５回　【授業テーマ】　権利侵害・違法性(1)
【内容・方法　等】　起草者の考えた権利侵害要件・権利侵害から違法性へ・権利一元論からの批判・権利侵害要件の再生
【事前・事後学習課題】　テキスト16章
第６回　【授業テーマ】　権利侵害・違法性(2)
【内容・方法　等】　権利と法律上保護される利益・権利の目録（人格権と財産権）
【事前・事後学習課題】　テキスト16章
第７回　【授業テーマ】　権利侵害・違法性(3)
【内容・方法　等】　生成途上の権利と権利の生成プロセス・不法行為成立要件としての違法性(違法性阻却事由)
【事前・事後学習課題】　テキスト16章
第８回　【授業テーマ】　因果関係(1)
【内容・方法　等】　相当因果関係説批判・成立上の因果関係／賠償範囲の因果関係／金銭評価の区別・成立上の因果関係（事実的因果関係）
【事前・事後学習課題】　テキスト17章
第９回　【授業テーマ】　因果関係(2)
【内容・方法　等】　事実的因果関係の立証（高度の蓋然性／疫学的因果関係論の位置付け）・賠償範囲の因果関係（大隅裁判官の反対意見・義務射程説・危険性関連説）
【事前・事後学習課題】　テキスト17章
第10回　【授業テーマ】　共同不法行為
【内容・方法　等】　1項前段の共同不法行為の成立要件・大気汚染訴訟と共同不法行為・1項後段の共同不法行為の成立要件・共同不法行為の効果
【事前・事後学習課題】　テキスト19章
第11回　【授業テーマ】　損害論
【内容・方法　等】　損害の種類・損害とは何か・救済の方法・損害額の算定方法(総論)
【事前・事後学習課題】　テキスト18章・20章
第12回　【授業テーマ】　損害額の算定方法
【内容・方法　等】　逸失利益の算定に係る問題・一時金賠償と

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　44　2014/10/14　17:50:36

定期金賠償・慰謝料の算定に係る問題・積極損害に係る問題
【事前・事後学習課題】 テキスト18章
第13回 【授業テーマ】 賠償額の調整(1)
【内容・方法 等】 損益相殺・過失相殺・被害者側の過失
【事前・事後学習課題】 テキスト18章
第14回 【授業テーマ】 賠償額の調整(2)
【内容・方法 等】 過失相殺規定の類推適用（素因減額）・消滅時効と除斥期間
【事前・事後学習課題】 テキスト18章
第15回 【授業テーマ】 特殊の不法行為
【内容・方法 等】 監督者責任・使用者責任・土地工作物責任・動物占有者責任・製造物責任・運行供用者責任
【事前・事後学習課題】 テキスト19章・20章

評価方法（基準）
学期末試験の成績により評価します。
ただし、私語等の授業妨害行為があった場合には、相応の減点をし、場合によっては単位不授与としますので注意してください。

教材等
教科書…小川富之・城内明編『ロードマップ民法3 債権各論』（一学舎,2014)
参考書…吉村良一『不法行為法(第4版)』有斐閣
窪田充見『不法行為法』有斐閣
円谷峻『不法行為法・事務管理・不当利得 －判例による法形成』成文堂

学生へのメッセージ
不法行為法は、判例・学説により大きく発展し、現在も、なお発展を続けている現在進行形の法領域です。この面白さを理解したい学生の参加を期待します。

関連科目
民法総則、債権法など民法科目全般。

担当者の研究室等
11号館10階 城内准教授室

債権法I
Law of obligations I

大 川 謙 蔵（オオカワ ケンゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
民法典における財産法には、総則・物権・債権の三つがあります。その中で、物権とは人と物との関係を扱う部分であり、債権とは人と人との関係を扱う部分です。
債権法の部分は大きく分けて、総論部分と各論部分に分かれます。本講義では、中心部分は総論部分となりますが、各論部分を触れてから総論部分に入り、債権法の把握を図ります。

授業方法と留意点
基本的に講義形式で行います。
レジュメを配布し、それに沿って講義を行う予定です。
六法は必ず持参してください。また、適宜、確認テストや小テストを行う予定です。

科目学習の効果（資格）
各種資格試験においては、債権法を含む民法の理解が必須となることがあります。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 債権法概論
【内容・方法 等】 講義のガイダンス
【事前・事後学習課題】 総則部分の復習。
第２回 【授業テーマ】 債権の発生原因①
【内容・方法 等】 契約総論および契約各論
【事前・事後学習課題】 債権を発生させる原因と債権の関係を整理すること。
第３回 【授業テーマ】 債権の発生原因②
【内容・方法 等】 契約各論
【事前・事後学習課題】 契約の各形態を整理すること。
第４回 【授業テーマ】 債権の発生原因③
【内容・方法 等】 事務管理・不当利得・不法行為
【事前・事後学習課題】 契約との違いを整理すること
第５回 【授業テーマ】 債権総論概説
【内容・方法 等】 債権の内容と種類
【事前・事後学習課題】 各論部分、とりわけ契約の性質を整理しておくこと。
第６回 【授業テーマ】 債権の効力①
【内容・方法 等】 強制履行・債務不履行
【事前・事後学習課題】 民事訴訟法など、手続法がどのようなものかについても自習しておくこと。
第７回 【授業テーマ】 債権の効力②
【内容・方法 等】 債務不履行の類型とその成立要件
【事前・事後学習課題】 債務不履行については教科書等で特に復習をすること。
第８回 【授業テーマ】 債権の効力③
【内容・方法 等】 債務不履行による損害賠償
【事前・事後学習課題】 債務不履行については教科書等で特に復習をすること。
第９回 【授業テーマ】 債権の効力④
【内容・方法 等】 受領遅滞
【事前・事後学習課題】 債権者・債務者はどのような人かについて、整理しておくこと。
第10回 【授業テーマ】 債権の効力⑤
【内容・方法 等】 第三者による債権侵害
【事前・事後学習課題】 不法行為について復習しておくこと。
第11回 【授業テーマ】 責任財産の保全①
【内容・方法 等】 債権者代位権①
【事前・事後学習課題】 責任財産とは何かについて把握しておくこと
第12回 【授業テーマ】 責任財産の保全②
【内容・方法 等】 債権者代位権②
【事前・事後学習課題】 内容の違いについて理解すること。
第13回 【授業テーマ】 責任財産の保全③
【内容・方法 等】 詐害行為取消権①
【事前・事後学習課題】 要件と効果について整理しておくこと。
第14回 【授業テーマ】 責任財産の保全④
【内容・方法 等】 詐害行為取消権②
【事前・事後学習課題】 法的性質など、ややこしいと思われる部分を焦らずに復習すること。
第15回 【授業テーマ】 全体の復習
【内容・方法 等】 前期期間中の講義のまとめと補足
【事前・事後学習課題】 全体的に債権法を捉えなおしておくこと。

評価方法（基準）
学期末試験および講義中に行う確認テストで採点します。
詳細については初回の講義において説明します。
講義中の不要な私語については減点の対象とします。

教材等
教科書…小川富之・福田健太郎編『ロードマップ民法―債権総論』（一学舎）
参考書…六法（出版社は問いません）。
池田真朗『スタートライン債権法』(日本評論社・第5版)

学生へのメッセージ
2年次配当科目です。法律学にもかなり慣れたことだと思いますが、不十分だと思われる方も、復習をしつつ取り組んでいけば十分に理解ができますし、興味も持っていけるはずです。

関連科目
契約法、不法行為法、民法総則など、民法系科目全般

担当者の研究室等
11号館9階 大川講師室

債権法II
Law of obligations II

大 川 謙 蔵（オオカワ ケンゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
民法典における財産法には、総則・物権・債権の三つがあります。その中で、物権とは人と物との関係を扱う部分であり、債権とは人と人との関係を扱う部分です。
債権法の部分は大きく分けて、総論部分と各論部分に分かれます。本講義では、中心部分は総論部分となりますが、各論部分を触れてから総論部分に入り、債権法の把握を図ります。

授業方法と留意点
基本的に講義形式で行います。
レジュメを配布し、それに沿って講義を行う予定です。
六法は必ず持参してください。また、適宜、確認テストや小テストを行う予定です。

科目学習の効果（資格）
各種資格試験においては、債権法を含む民法の理解が必須となることがあります。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 はじめに
多数当事者の債権関係①
【内容・方法 等】 講義のガイダンス
分割債権・債務、不可分債権・債務
【事前・事後学習課題】 前期の内容を復習しておくこと。
第２回 【授業テーマ】 多数当事者の債権関係②
【内容・方法 等】 連帯債務①
【事前・事後学習課題】 当事者が複数になる点を整理しておく

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd 45 2014/10/14 17:50:37

こと。
第３回　【授業テーマ】　多数当事者の債権関係③
【内容・方法　等】　連帯債務②　保証債務①
【事前・事後学習課題】　当事者が複数になる点を整理しておくこと。
第４回　【授業テーマ】　多数当事者の債権関係④
【内容・方法　等】　保証債務②
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと。
第５回　【授業テーマ】　債権関係の移転①
【内容・方法　等】　債権譲渡①
【事前・事後学習課題】　債権者の移転の意義を把握すること。
第６回　【授業テーマ】　債権関係の移転②
【内容・方法　等】　債権譲渡②
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと。
第７回　【授業テーマ】　債権関係の移転③
【内容・方法　等】　無留保承諾、債務引受け、契約譲渡
【事前・事後学習課題】　債権者および債務者という地位の移転が、それぞれどのように違うのか整理すること。
第８回　【授業テーマ】　債権の消滅①
【内容・方法　等】　弁済
【事前・事後学習課題】　消滅とはいかなる形態で生じるのかを確認すること。
第９回　【授業テーマ】　債権の消滅②
【内容・方法　等】　弁済者、弁済受領者、弁済の効果
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと。
第10回　【授業テーマ】　債権の消滅③
【内容・方法　等】　弁済による代位
【事前・事後学習課題】　弁済されることでどのような形になるのか復習しておくこと。
第11回　【授業テーマ】　債権の消滅④
【内容・方法　等】　代物弁済、供託
【事前・事後学習課題】　弁済との違いを整理すること。
第12回　【授業テーマ】　債権の消滅⑤
【内容・方法　等】　相殺
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと。
第13回　【授業テーマ】　債権の消滅⑥
【内容・方法　等】　その他の債権消滅原因
【事前・事後学習課題】　債権の消滅原因を全体として復習しておくこと。
第14回　【授業テーマ】　債権法総論の全体的検討
【内容・方法　等】　債権法を全体的に検討する。
【事前・事後学習課題】　前期も含めてみてきた内容を復習しておくこと。
第15回　【授業テーマ】　全体としての検討
【内容・方法　等】　後期期間中の講義のまとめと補足
【事前・事後学習課題】　後期の全講義を通して疑問や不明点がないか確認したうえで講義に臨むこと。

評価方法（基準）
学期末試験および講義中に行う確認テストで採点します。
詳細については初回の講義において説明します。
講義中の不要な私語については減点の対象とします。

教材等
教科書…小川富之・福田健太郎編『ロードマップ民法―債権総論』（一学舎）
参考書…六法（出版社は問いません）。
池田真朗『スタートライン債権法』（日本評論社・第5版）

学生へのメッセージ
2年次配当科目です。法律学にもかなり慣れたことだと思いますが、不十分だと思われる方も、復習をしつつ取り組んでいけば十分に理解ができますし、興味も持っていけるはずです。

関連科目
契約法、不法行為法、民法総則など、民法系科目全般

担当者の研究室等
11号館9階　大川講師室

債権法
Law of Obligations

大　川　謙　蔵（オオカワ　ケンゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	履修申請要領参照	4

授業概要・目的・到達目標
民法典における財産法には、総則・物権・債権の三つがあります。その中で、物権とは人と物との関係を扱う部分であり、債権とは人と人との関係を扱う部分です。
債権法の部分は大きく分けて、総論部分と各論部分に分かれます。本講義では、中心部分は総論部分となりますが、各論部分を触れてから総論部分に入り、債権法の把握を図ります。

授業方法と留意点
基本的に講義形式で行います。
レジュメを配布し、それに沿って講義を行う予定です。
六法は必ず持参してください。また、適宜、確認テストや小テストを行なう予定です。

科目学習の効果（資格）
各種資格試験においては、債権法を含む民法の理解が必須となることがあります。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　債権法概論
【内容・方法　等】　講義のガイダンス
【事前・事後学習課題】　総則部分の復習。
第２回　【授業テーマ】　債権の発生原因①
【内容・方法　等】　契約総論および契約各論
【事前・事後学習課題】　債権を発生させる原因と債権の関係を整理すること。
第３回　【授業テーマ】　債権の発生原因②
【内容・方法　等】　契約各論
【事前・事後学習課題】　契約の各形態を整理すること。
第４回　【授業テーマ】　債権の発生原因③
【内容・方法　等】　事務管理・不当利得・不法行為
【事前・事後学習課題】　契約との違いを整理すること
第５回　【授業テーマ】　債権総論概説
【内容・方法　等】　債権の内容と種類
【事前・事後学習課題】　各論部分、とりわけ契約の性質を整理しておくこと。
第６回　【授業テーマ】　債権の効力①
【内容・方法　等】　強制履行・債務不履行
【事前・事後学習課題】　民事訴訟法など、手続法がどのようなものかについても自習しておくこと。
第７回　【授業テーマ】　債権の効力②
【内容・方法　等】　債務不履行の類型とその成立要件
【事前・事後学習課題】　債務不履行については教科書等で特に復習をすること。
第８回　【授業テーマ】　債権の効力③
【内容・方法　等】　債務不履行による損害賠償
【事前・事後学習課題】　債務不履行については教科書等で特に復習をすること。
第９回　【授業テーマ】　債権の効力④
【内容・方法　等】　受領遅滞
【事前・事後学習課題】　債権者・債務者はどのような人かについて、整理しておくこと。
第10回　【授業テーマ】　債権の効力⑤
【内容・方法　等】　第三者による債権侵害
【事前・事後学習課題】　不法行為について復習しておくこと。
第11回　【授業テーマ】　責任財産の保全①
【内容・方法　等】　債権者代位権①
【事前・事後学習課題】　責任財産とは何かについて把握しておくこと
第12回　【授業テーマ】　責任財産の保全②
【内容・方法　等】　債権者代位権②
【事前・事後学習課題】　内容の違いについて理解すること。
第13回　【授業テーマ】　責任財産の保全③
【内容・方法　等】　詐害行為取消権①
【事前・事後学習課題】　要件と効果について整理しておくこと。
第14回　【授業テーマ】　責任財産の保全④
【内容・方法　等】　詐害行為取消権②
【事前・事後学習課題】　法的性質など、ややこしいと思われる部分を焦らずに復習すること。
第15回　【授業テーマ】　全体の復習
【内容・方法　等】　前期期間中の講義のまとめと補足
【事前・事後学習課題】　全体的に債権法を捉えなおしておくこと。
第16回　【授業テーマ】　はじめに
多数当事者の債権関係①
【内容・方法　等】　講義のガイダンス
分割債権・債務、不可分債権・債務
【事前・事後学習課題】　前期の内容を復習しておくこと。
第17回　【授業テーマ】　多数当事者の債権関係②
【内容・方法　等】　連帯債務①
【事前・事後学習課題】　前回の講義と連帯債務の違いを整理しておくこと。
第18回　【授業テーマ】　多数当事者の債権関係③
【内容・方法　等】　連帯債務②　保証債務①
【事前・事後学習課題】　当事者が複数になる点を整理しておくこと。
第19回　【授業テーマ】　多数当事者の債権関係④
【内容・方法　等】　保証債務②
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと。
第20回　【授業テーマ】　債権関係の移転①

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　46　2014/10/14　17:50:37

【内容・方法　等】　債権譲渡①
【事前・事後学習課題】　債権者の移転の意義を把握すること。
第21回　【授業テーマ】　債権関係の移転②
【内容・方法　等】　債権譲渡②
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第22回　【授業テーマ】　債権関係の移転③
【内容・方法　等】　無留保承諾、債務引受け、契約譲渡
【事前・事後学習課題】　債権者および債務者という地位の移転が、それぞれどのように違うのか整理すること。
第23回　【授業テーマ】　債権の消滅①
【内容・方法　等】　弁済
【事前・事後学習課題】　消滅とはいかなる形態で生じるのかを確認すること。
第24回　【授業テーマ】　債権の消滅②
【内容・方法　等】　弁済者、弁済受領者、弁済の効果
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと。
第25回　【授業テーマ】　債権の消滅③
【内容・方法　等】　弁済による代位
【事前・事後学習課題】　弁済されることでどのような形になるのか復習しておくこと。
第26回　【授業テーマ】　債権の消滅④
【内容・方法　等】　代物弁済、供託
【事前・事後学習課題】　弁済との違いを整理すること。
第27回　【授業テーマ】　債権の消滅⑤
【内容・方法　等】　相殺
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第28回　【授業テーマ】　債権の消滅⑥
【内容・方法　等】　その他の債権消滅原因
【事前・事後学習課題】　債権の消滅原因を全体として復習しておくこと。
第29回　【授業テーマ】　債権法総論の全体的検討
【内容・方法　等】　債権法を全体的に検討する。
【事前・事後学習課題】　前期も含めてみてきた内容を復習しておくこと。
第30回　【授業テーマ】　全体としての検討

評価方法（基準）
学期末試験および講義中に行う確認テストで採点します。
詳細については初回の講義において説明します。
講義中の不要な私語については減点の対象とします。

教材等
教科書…小川富之・福田健太郎編『ロードマップ民法―債権総論』（一学舎）
参考書…六法（出版社は問いません）。
池田真朗『スタートライン債権法』（日本評論社・第5版）

学生へのメッセージ
2年次配当科目です。法律学にもかなり慣れたことだと思いますが、不十分だと思われる方も、復習をしつつ取り組んでいけば十分に理解ができますし、興味も持っていけるはずです。

関連科目
契約法、不法行為法、民法総則など、民法系科目全般

担当者の研究室等
11号館9階　大川講師室

物権法
Property Law

家　本　真　実（イエモト　マミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
物権は、物を支配する権利です。たとえば、土地を所有していれば、その土地に対して所有権という物権を持っていることになり、その土地を自由に使用したり、処分したりすることができます。物権法は、民法の中でも、こうした物権に関するルールを定めた法律です。
本講義では、担保物権を除く物権法の全体像を理解することを目的とします。より理解を深めていただくために、できる限り身近な事例を挙げるとともに、条文に対する解釈や、学説、判例について紹介していきたいと考えています。

授業方法と留意点
基本的に講義形式で行います。毎回、レジュメを配布し、それに沿って六法や教科書を参照します。六法は必ず持参してください。

科目学習の効果（資格）
各種資格試験においては、物権法を含む民法の理解が必須となることがあります。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　はじめに
物権法概説
【内容・方法　等】　講義のガイダンス
物権法の全体像（物権とは何か、民法における物権法の位置づけ）
【事前・事後学習課題】　なし
第２回　【授業テーマ】　物権変動（1）
【内容・方法　等】　物権変動の基本的理論
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第３回　【授業テーマ】　物権変動（2）
【内容・方法　等】　不動産の物権変動における公示と登記制度
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第４回　【授業テーマ】　物権変動（3）
【内容・方法　等】　不動産の物権変動における「第三者」の範囲
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第５回　【授業テーマ】　物権変動（4）
【内容・方法　等】　不動産の物権変動における「取消しと登記」
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第６回　【授業テーマ】　物権変動（5）
【内容・方法　等】　不動産の物権変動における「取得時効と登記」
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第７回　【授業テーマ】　物権変動（6）
【内容・方法　等】　登記の効力
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第８回　【授業テーマ】　物権変動（7）
【内容・方法　等】　動産の物権変動における公示と即時取得
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第９回　【授業テーマ】　占有権
【内容・方法　等】　占有の取得、移転、消滅、効力
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第10回　【授業テーマ】　所有権（1）
【内容・方法　等】　所有権の基本的理論、所有権の取得
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第11回　【授業テーマ】　所有権（2）
【内容・方法　等】　所有権に基づく物権的請求権
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第12回　【授業テーマ】　所有権（3）
【内容・方法　等】　共同所有
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第13回　【授業テーマ】　所有権（4）
【内容・方法　等】　建物の区分所有
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第14回　【授業テーマ】　用益物権（1）
【内容・方法　等】　地上権、永小作権
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第15回　【授業テーマ】　用益物権（2）
おわりに
【内容・方法　等】　地役権、入会権
講義のまとめと補足
【事前・事後学習課題】　全講義を通して疑問や不明点がないか確認したうえで講義に臨むこと

評価方法（基準）
学期末試験の成績により評価します。授業中に小テストを行った場合は、その結果も加味します。授業中の不要な私語については減点の対象とします。

教材等
教科書…佐久間毅『民法の基礎２物権』（有斐閣、2006年）￥2,520
参考書…六法（出版社は問いません）

学生へのメッセージ
授業中は私語を慎んでください。講義内容は、講義の進行具合に応じて変更する場合もあります。

関連科目
債権法、契約法、担保物権法など民法科系目全般。

担当者の研究室等
11号館9階　家本准教授室

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　47　2014/10/14　17:50:37

担保物権法
Real Security

古　川　行　男（フルカワ　ユキオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

担保とは、債権、特に金銭債権の回収を確実にする方策のことである。債権が確実に弁済されることは債権者にとって重要なことである。さらに、市場原理による経済社会にあっては、企業は新たな事業展開を迫られ、常に、その資金の確保を必要とする。金融を得るには担保の提供は必須で、この点からも担保に関する法制度は極めて重要である。当該講義は抵当権を中心とし、仮登記担保、譲渡担保等の新たな担保方法や担保の対象についても知識が得られるようにする。なお、担保法は物権と債権が交錯する領域で、担保物権の学習は財産法の全体像を把握することにもなる。

授業方法と留意点

担保物権は物権法と債権法が交錯し、学ぶべき裁判例も多い法領域である。しかし、制度に関することが大半で、民事法の基本的知識を踏まえて着実に学習すれば、民事法全体が把握でき、金融に関する新たな知識が獲得でき、興味が広がる分野である。講義は、登記・民事執行についての基本を確認した上、教科書に即し、該当条文を確認・検討する方法で行う。

科目学習の効果（資格）

理解が進めば財産法全体に興味が持て、民法に関しての応用力が養われ、民法を試験科目とする各種資格試験に対応できる。金融についての知識も得られるので、金融関係の仕事に就くことを望む者にとっては必須の領域である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　・ガイダンス
・金銭債権の権利実現（金銭執行の概略）、担保の意義・必要性
【内容・方法　等】　・授業の進め方、受講上の注意
・小六法・教科書の活用方法、担保法の全体像
【事前・事後学習課題】　小六法・教科書を持参すること。
教科書第４章[二]２(a)金銭債権、第６章全体の予復習（以下、教科書の予復習の箇所は、同様の方法をもって指示する）

第２回　**【授業テーマ】**　担保法概論
【内容・方法　等】　・金融について
・貸付金債権の構造及び担保法の全体像
【事前・事後学習課題】　第11章[一]3、第13章[一]

第３回　**【授業テーマ】**　抵当権序説
【内容・方法　等】　・抵当権の概要
・不動産登記事項証明書
【事前・事後学習課題】　第13章の[二]、登記事項証明書の確認

第４回　**【授業テーマ】**　抵当権の設定
【内容・方法　等】　・抵当権設定契約
・抵当権に関する諸概念の把握
【事前・事後学習課題】　第13章[二]、[三]

第５回　**【授業テーマ】**　抵当権の実行及び物上代位
【内容・方法　等】　・抵当権実行手続の概略
・物上代位
【事前・事後学習課題】　第13章の[六]１、２及び[四]２

第６回　**【授業テーマ】**　抵当目的物の範囲
【内容・方法　等】　・不動産について
・抵当権の効力が及ぶ目的物の範囲
【事前・事後学習課題】　第13章の[四]

第７回　**【授業テーマ】**　抵当権侵害について
【内容・方法　等】　・物権的請求権の再検討
・抵当目的物に対する侵害について
【事前・事後学習課題】　第13章の[五]３

第８回　**【授業テーマ】**　抵当権目的物の利用・譲渡
【内容・方法　等】　・設定者の使用収益権
・抵当目的物の第三取得者等に関する問題
【事前・事後学習課題】　第13章の[五]の１、２、４

第９回　**【授業テーマ】**　法定地上権、特殊の抵当権
【内容・方法　等】　・法定地上権
・共同抵当権及び根抵当権について
【事前・事後学習課題】　第13章[六]３、[八]

第10回　**【授業テーマ】**　質権
【内容・方法　等】　質権の意義、目的物、効力
【事前・事後学習課題】　第14章

第11回　**【授業テーマ】**　留置権
【内容・方法　等】　留置権の成立、効力及び消滅について
【事前・事後学習課題】　第15章[一]

第12回　**【授業テーマ】**　先取特権
【内容・方法　等】　・先取特権の種類
・特別先取特権について
【事前・事後学習課題】　第15章[二]

第13回　**【授業テーマ】**　非典型担保概説・仮登記担保
【内容・方法　等】　非典型担保の意義・必要性
仮登記担保について
【事前・事後学習課題】　第16章の[一]、[四]

第14回　**【授業テーマ】**　譲渡担保等
【内容・方法　等】　・譲渡担保について
・その他の担保
【事前・事後学習課題】　第16章[二]、[三]

第15回　**【授業テーマ】**　おわりに
【内容・方法　等】　講義内容を復習をすることにより、担保物権の全体像を整理・概説する。
【事前・事後学習課題】　全講義を振り返り、理解していない部分や質問等がないか検討する。
質問があれば応じる。

評価方法（基準）

基本的に定期試験によって評価する。授業中に小テストを行うこともある。

教材等

教科書…野村豊弘著「民事法入門」有斐閣アルマ１８００円（消費税別）
参考書…内田貴著　「債権総論・担保物権」[最新版] 東京大学出版会（3675円）
小型六法
池田真朗編著「民法Visual Material s」（有斐閣）2100円（含消費税）

学生へのメッセージ

取引社会において金融は重要な意義を有しその概略を学ぶことは必須である。他方、担保物権は身近な法的領域でもある。法律の学習は講義内容を理解することが第一で、本講義も同様である。授業は工夫をするが、理解を深めるための質問を期待している。

関連科目

民法総則、物権法、債権総論、民事執行法、破産法

担当者の研究室等

11号館10階　古川教授室

備考

物権法を学習しておくことが望ましい。

契約法
Contract Law

家　本　真　実（イエモト　マミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

契約は、原則として当事者が合意さえすれば成立するという意味で、民法のなかでももっとも自由があるといえるでしょう。当事者が自由に決めたルールが、契約として有効なものであれば、法律がその実現を後押ししてくれることとなります。したがって、契約として必要な条件や問題が起きた場合の解決法などは、最低限、民法に規定がおかれています。
この講義では、民法第3編「債権」のうち、事務管理、不当利得、不法行為と並んで、債権が発生する原因の1つとして、契約がどのように定められているのかを学んでいただきたいと思います。より理解を深めていただくために、できる限り身近な事例を挙げるとともに、条文に対する解釈や、学説、判例について紹介していきたいと考えています。

授業方法と留意点

基本的に講義形式で行います。毎回、レジュメを配布し、それに沿って六法や教科書を参照します。六法は必ず持参してください。

科目学習の効果（資格）

各種資格試験においては、契約法を含む民法の理解が必須となることがあります。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　はじめに
契約法概論
【内容・方法　等】　講義のガイダンス
契約法とは
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと

第２回　**【授業テーマ】**　契約成立のプロセス（1）
【内容・方法　等】　契約はどのように成立するのか
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと

第３回　**【授業テーマ】**　契約成立のプロセス（2）
【内容・方法　等】　契約の成否
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと

第４回　**【授業テーマ】**　契約の効力（1）

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　48　2014/10/14　17:50:37

【内容・方法　等】　契約によって生じる権利・義務
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと

第５回　【授業テーマ】　契約の効力（2）
【内容・方法　等】　契約の有効性
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと

第６回　【授業テーマ】　契約の履行（1）
【内容・方法　等】　契約の履行とは
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと

第７回　【授業テーマ】　契約の履行（2）
【内容・方法　等】　契約履行の過程におけるリスク
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと

第８回　【授業テーマ】　契約違反
【内容・方法　等】　契約違反の類型、債務不履行
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと

第９回　【授業テーマ】　契約違反に対する救済
【内容・方法　等】　履行の強制、損害賠償の請求など
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと

第10回　【授業テーマ】　契約の終了
【内容・方法　等】　契約の解除
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと

第11回　【授業テーマ】　財産権の移転を目的とする契約
【内容・方法　等】　契約の分類、贈与、売買
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと

第12回　【授業テーマ】　物の利用を目的とする契約（1）
【内容・方法　等】　消費貸借、寄託
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと

第13回　【授業テーマ】　物の利用を目的とする契約（2）
【内容・方法　等】　使用貸借、賃貸借vol.1
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと

第14回　【授業テーマ】　物の利用を目的とする契約（3）
【内容・方法　等】　賃貸借vol.2
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと

第15回　【授業テーマ】　サービスの提供を目的とする契約
おわりに
【内容・方法　等】　雇用、請負、委任
講義のまとめと補足
【事前・事後学習課題】　全講義を通して疑問や不明点がないか確認したうえで講義に臨むこと

評価方法（基準）
学期末試験の結果をおもに評価の対象とします。講義中に小テストなどを行った場合は、その結果も加味します。授業中の不要な私語については減点の対象とします。

教材等
教科書…笠井修ほか『はじめての契約法』(第2版、有斐閣、¥1,995)
参考書…六法（出版社は問いません）。その他講義中に適宜、指示します。

学生へのメッセージ
授業中は私語を慎んでください。講義内容については、講義の進行具合に応じて変更する場合もあります。

関連科目
債権総論、不法行為法、民法総則など、民法系科目全般

担当者の研究室等
11号館9階　家本准教授室

親族法
Family Law

古　川　行　男（フルカワ　ユキオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
民法典の第４編「親族」を中心に講義を行う。具体的には、夫婦、親子関係などの身分関係について、その権利と義務の視点から検討を行う。親族関係は、戸籍制度とも密接に関係し、現在の日本において避けては通ることのできないものであり、日常で感じる家族などの人間関係が法的にどのようなものであるのかの把握も行う。

授業方法と留意点
レジュメに沿いつつ講義形式で行う。具体的な条文の参照を随時するので、六法を必ず持参すること。理解度を高めるために、重要事項の確認テストを行うことがあるので注意すること。

科目学習の効果（資格）
日常生活において生じる身分関係問題の理解だけでなく、資格試験などでの民法科目の理解にも役立つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　家族法概論
【内容・方法　等】　家族法の概略、意義、身分行為など。
【事前・事後学習課題】　これまで学習した民法を全体的に確認しておくこと

第２回　【授業テーマ】　家族紛争の解決方法
【内容・方法　等】　家事事件の処理手続、氏名、戸籍
【事前・事後学習課題】　実体法と手続法の違いを復習しておくこと

第３回　【授業テーマ】　婚姻の成立と不成立
【内容・方法　等】　婚姻の成立と成立が否定される場合
【事前・事後学習課題】　どのような場合は婚姻できないのか

第４回　【授業テーマ】　婚姻の効力
【内容・方法　等】　婚姻の効力について学ぶ
【事前・事後学習課題】　婚姻すると同様な法的効果が発生するのか

第５回　【授業テーマ】　夫婦財産制日常家事債務
【内容・方法　等】　夫婦間の財産関係
【事前・事後学習課題】　夫婦と他人の違い

第６回　【授業テーマ】　離婚
【内容・方法　等】　離婚制度
【事前・事後学習課題】　離婚とはどのようなものか

第７回　【授業テーマ】　協議離婚、裁判離婚、調停離婚
【内容・方法　等】　離婚するには
【事前・事後学習課題】　離婚によって生ずる問題とは

第８回　【授業テーマ】　離婚に伴う財産関係
【内容・方法　等】　財産分与
【事前・事後学習課題】　財産の清算など

第９回　【授業テーマ】　離婚と子の福祉
【内容・方法　等】　親権、面会交流
【事前・事後学習課題】　子の福祉の重要性

第10回　【授業テーマ】　実親子関係
【内容・方法　等】　実親子、嫡出制度
【事前・事後学習課題】　法的に親子関係を形成する意義を検討すること

第11回　【授業テーマ】　親子関係
【内容・方法　等】　認知、準正
【事前・事後学習課題】　法的な親子関係の成立とは、生物学的なものとどう違うのかを整理すること。

第12回　【授業テーマ】　養子親関係
【内容・方法　等】　養子制度
【事前・事後学習課題】　養子縁組の意義

第13回　【授業テーマ】　成年後見
【内容・方法　等】　成年後見制度の意義と問題点
【事前・事後学習課題】　高齢者社会の到来と成年後見制度

第14回　【授業テーマ】　扶養
【内容・方法　等】　扶養の内容、扶養義務者
【事前・事後学習課題】　扶養について考える

第15回　【授業テーマ】　全体の復習
【内容・方法　等】　全体を復習する
【事前・事後学習課題】　わからない点を確認する

評価方法（基準）
基本的に定期試験で評価する。授業中に小テストを行うこともある。

教材等
教科書…高橋朋子・床谷文雄・棚村政行著『民法７　親族・相続(第３版)』有斐閣アルマ（２，５２０円）
ただし、レジュメを配布し、それをもととした講義を行う。
参考書…適宜、紹介する。

学生へのメッセージ
身近な法律であるだけに、正確な知識を持つことが重要です。

関連科目
民法に関連する講義全般。
特に相続法とは大きな関連を有する。

担当者の研究室等
11号館10階　古川教授室

備考
授業の進行に応じて順序、内容を変更することがある。

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　49　2014/10/14　17:50:37

相続法
Succession Law

古　川　行　男（フルカワ　ユキオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
民法第５編の「相続」を講義する。具体的には、法定相続の仕組みと遺言について、その内容を明らかにする。親族関係を前提としての財産上の権利義務を承継するという相続制度を検討することを通して、身分関係法上の財産権移転の構造を理解することが目標となる。

授業方法と留意点
教科書に沿って講義形式で行うが、具体的な条文の参照を随時するので、六法を必ず持参すること。理解度を高めるために、重要事項の確認テストを行うことがあるので注意すること。また、親族法の理解が前提となるので、その知識の確認をしておくこと。

科目学習の効果（資格）
日常生活において生じる身分関係問題の理解だけでなく、資格試験などでの民法科目の理解にも役立つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】** 相続法の概略
【内容・方法　等】 相続法とは
【事前・事後学習課題】 教科書第７章を読む
重要事項の確認
第２回　**【授業テーマ】** 相続人と相続分①
【内容・方法　等】 相続人の範囲と順位
【事前・事後学習課題】 教科書第８章を読む
重要事項の確認
第３回　**【授業テーマ】** 相続人と相続分②
【内容・方法　等】 代襲相続、相続分
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認
第４回　**【授業テーマ】** 相続人と相続分③
【内容・方法　等】 相続欠格、相続廃除、相続回復請求権
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認
第５回　**【授業テーマ】** 相続の効力①
【内容・方法　等】 相続の一般的効果
【事前・事後学習課題】 教科書第９章を読む
重要事項の確認
第６回　**【授業テーマ】** 相続の効力②
【内容・方法　等】 相続と登記、祭祀承継
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認
第７回　**【授業テーマ】** 相続の効力③
【内容・方法　等】 遺産共有、遺産管理、遺産分割
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認
第８回　**【授業テーマ】** 相続の承認・放棄①
【内容・方法　等】 単純承認、限定承認
【事前・事後学習課題】 教科書第１０章を読む
重要事項の確認
第９回　**【授業テーマ】** 相続の承認・放棄②
【内容・方法　等】 相続放棄
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認
第10回　**【授業テーマ】** 財産分離と相続人の不存在
【内容・方法　等】 財産分離の意義、相続人不存在、特別縁故者
【事前・事後学習課題】 教科書第１１章・第１２章を読む
重要事項の確認
第11回　**【授業テーマ】** 遺言①
【内容・方法　等】 遺言とは、遺言の方式
【事前・事後学習課題】 教科書第１３章を読む
重要事項の確認
第12回　**【授業テーマ】** 遺言②
【内容・方法　等】 遺言の効力
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認
第13回　**【授業テーマ】** 遺言③
【内容・方法　等】 遺言による財産処分、遺言の執行
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認
第14回　**【授業テーマ】** 遺留分
【内容・方法　等】 遺留分とは、遺留分の確定、遺留分減殺請求権
【事前・事後学習課題】 教科書第１４章を読む
重要事項の確認
第15回　**【授業テーマ】** 全体の復習
【内容・方法　等】 相続全般を振り返る
【事前・事後学習課題】 すべての重要事項の再確認

評価方法（基準）
基本的に定期試験の結果により評価する。授業中に小テストを行うこともある。

教材等
教科書…高橋朋子・床谷文雄・棚村政行著『民法７　親族・相続(第３版)』有斐閣アルマ２，５２０円）
参考書…適宜、紹介する。

学生へのメッセージ
相続法の理解を通して、「相続」がもつ意義を再確認してください。

関連科目
親族法、民事法概論

担当者の研究室等
11号館10階　古川教授室

備考
授業の進行に応じて順序や内容を変更することがある

国際私法Ⅰ
Private International Law Ⅰ

小　山　　昇（コヤマ　ノボル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
国際私法は、複数の国の要素をもつ私的法律関係の問題について、最も密接な関係のある場所の法を適用することにより解決しようとする法律です。「牴触法」とも呼ばれ、民法のような実質法とは次元が異なる法であるために、講義では、その構造と理論の理解に力点を置きます。

授業方法と留意点
教科書に沿って講義しますが、重要事項をまとめた資料を配付して、それを使って進めます。国際私法の基本的知識の確認と復習のため、授業時間の最後（２０分程度）に、重要事項の「確認問題」を数回実施します。

科目学習の効果（資格）
外国との関連のある生活関係においてどのような法的問題が生じるのか、またその解決の考え方について理解できます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】** 国際私法とは何か
【内容・方法　等】 渉外的法律関係とは、国際私法の定義・名称、その法的性質
【事前・事後学習課題】 教科書第１章を読む
重要事項の確認
第２回　**【授業テーマ】** 国際私法の法源①
【内容・方法　等】 国際私法に関係する国内法と国際法
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認
第３回　**【授業テーマ】** 国際私法の法源②
【内容・方法　等】 「法の適用に関する通則法」と特別法
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認
第４回　**【授業テーマ】** 国際私法理論の歴史①
【内容・方法　等】 国際私法の沿革、法則学説
【事前・事後学習課題】 教科書第３章を読む
重要事項及び確認問題の再確認
第５回　**【授業テーマ】** 国際私法理論の歴史②
【内容・方法　等】 「伝統的国際私法理論」とは
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認
第６回　**【授業テーマ】** 法律関係の性質決定①
【内容・方法　等】 国際私法の構造、法性決定とは何か
【事前・事後学習課題】 教科書第２章Ⅰ・Ⅱを読む
重要事項の確認
第７回　**【授業テーマ】** 法律関係の性質決定②
【内容・方法　等】 法性決定の仕方、先決問題と適応問題
【事前・事後学習課題】 重要事項及び確認問題の再確認
第８回　**【授業テーマ】** 連結点の確定①
【内容・方法　等】 連結点とは、連結政策、連結点の主張・証明・不明
【事前・事後学習課題】 教科書第２章Ⅲを読む
重要事項の確認
第９回　**【授業テーマ】** 連結点の確定②
【内容・方法　等】 属人法の観念とは
【事前・事後学習課題】 教科書第４章Ⅰを読む
重要事項の確認
第10回　**【授業テーマ】** 連結点の確定③
【内容・方法　等】 国籍とは、わが国の国籍法の問題点
【事前・事後学習課題】 重要事項及び確認問題の再確認
第11回　**【授業テーマ】** 連結点の確定④
【内容・方法　等】 連結点としての国籍・住所・常居所、法律回避
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認
第12回　**【授業テーマ】** 準拠法の特定①
【内容・方法　等】 反致とは
【事前・事後学習課題】 教科書第２章Ⅳを読む
重要事項の確認
第13回　**【授業テーマ】** 準拠法の特定②
【内容・方法　等】 不統一法国法・未承認国法の指定

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　50　　2014/10/14　17:50:37

【事前・事後学習課題】 重要事項及び確認問題の再確認
第14回 【授業テーマ】 準拠法の適用①
【内容・方法　等】 準拠法の性質、外国法の扱い
【事前・事後学習課題】 教科書第２章Ⅴを読む
重要事項の確認
第15回 【授業テーマ】 準拠法の適用②
【内容・方法　等】 国際私法上の公序とは
【事前・事後学習課題】 確認問題の復習
すべての重要事項・配付資料・
確認問題の確認

評価方法（基準）
定期試験(55%)と「確認問題」(45%)で評価し、定期試験は、「確認問題」を基礎とした応用問題を出題します。「確認問題」は、定期試験を受験した場合に限り点数化して成績評価に加えますが、授業時間中に提出しなかった場合は評価の対象とはしません。

教材等
教科書…澤木敬郎・道垣内正人著『国際私法入門（第７版）』有斐閣(2,200円＋税)
参考書…講義の中で紹介します。

学生へのメッセージ
民法などの実質法とは次元の異なる牴触法の考え方のおもしろさ、そして奥の深さを感じてください。

関連科目
国際私法Ⅱ、国際取引法、民法

担当者の研究室等
11号館9階　小山教授室

国際私法ⅠⅠ
Private International LawII

小　山　　昇（コヤマ　ノボル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
国際私法Ⅰで理解した国際私法の構造について、単位法律関係ごとに具体的な検討をします。実質法上の概念と牴触法上の概念の違いを特に意識し、婚姻や親子関係、債権契約といったすでに実質法で得ている知識が、国際私法ではどのように違い、そして区別して考えるべきなのかを理解することが主眼となります。

授業方法と留意点
民法を始めとして関係する外国の私法にも言及して講義を行います。授業時間の最後（２０分程度）で、理解度の確認と復習のため、数回、重要事項の「確認問題」を実施します。六法は必携。

科目学習の効果（資格）
国際的な人の交流によって生じる具体的な法律関係の解決方法について理解でき、合わせて、日本の民法など民事法の知識を確認できます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 国際家族法①
【内容・方法　等】 婚姻の成立の準拠法
【事前・事後学習課題】 教科書第４章Ⅱ１を読む
重要事項の確認
第２回 【授業テーマ】 国際家族法②
【内容・方法　等】 婚姻の効力の準拠法
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認
第３回 【授業テーマ】 国際家族法③
【内容・方法　等】 離婚、別居、婚約、内縁の準拠法
【事前・事後学習課題】 教科書第４章Ⅱ２を読む
重要事項の確認
第４回 【授業テーマ】 国際家族法④
【内容・方法　等】 実親子関係、準正の準拠法
【事前・事後学習課題】 教科書第４章Ⅱ３を読む
重要事項及び確認問題の再確認
第５回 【授業テーマ】 国際家族法⑤
【内容・方法　等】 養親子関係の準拠法
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認
第６回 【授業テーマ】 国際家族法⑥
【内容・方法　等】 親子関係の効力、親族関係の法律行為の方式の準拠法
【事前・事後学習課題】 教科書第４章Ⅱ５を読む
重要事項の確認
第７回 【授業テーマ】 国際家族法⑦
【内容・方法　等】 その他の親族関係、親族間扶養
【事前・事後学習課題】 教科書第４章Ⅱ４・６を読む
重要事項及び確認問題の再確認
第８回 【授業テーマ】 国際家族法⑧
【内容・方法　等】 相続、遺言、氏の準拠法、身分関係と戸籍
【事前・事後学習課題】 教科書第４章Ⅲ・Ⅳを読む
重要事項の確認
第９回 【授業テーマ】 国際財産法①
【内容・方法　等】 自然人、後見・保佐・補助の管轄権と準拠法
【事前・事後学習課題】 教科書第５章Ⅰ１を読む
重要事項の確認
第10回 【授業テーマ】 国際財産法②
【内容・方法　等】 法人の準拠法、外国人法
【事前・事後学習課題】 教科書第５章Ⅰ２・３を読む
確認問題の復習
重要事項の確認
第11回 【授業テーマ】 国際財産法③
【内容・方法　等】 契約準拠法、当事者自治の原則とその制限
【事前・事後学習課題】 教科書第５章Ⅱ１を読む
重要事項の確認
第12回 【授業テーマ】 国際財産法④
【内容・方法　等】 契約の方式、代理の準拠法
【事前・事後学習課題】 教科書第５章Ⅱ２から７を読む
重要事項の確認
第13回 【授業テーマ】 国際財産法⑤
【内容・方法　等】 不法行為、事務管理・不当利得の準拠法
【事前・事後学習課題】 教科書第５章Ⅲを読む
確認問題の復習
重要事項の確認
第14回 【授業テーマ】 国際財産法⑥
【内容・方法　等】 債権譲渡、相殺、物権、知的財産権の準拠法
【事前・事後学習課題】 教科書第５章Ⅳ・Ⅴ・Ⅵを読む
重要事項の確認
第15回 【授業テーマ】 国際民事手続法
【内容・方法　等】 国際裁判管轄、外国判決の承認と執行、国際商事仲裁、国際倒産
【事前・事後学習課題】 教科書第６章を読む
すべての重要事項・配付資料・
確認問題の再確認

評価方法（基準）
定期試験(55%)と「確認問題」(45%)で評価し、定期試験は、「確認問題」を基礎とした応用問題を出題します。なお、「確認問題」は、定期試験を受験した場合に限り点数化して成績評価に加えます。授業時間中に提出しなかった場合は評価の対象とはしません。

教材等
教科書…澤木敬郎・道垣内正人著『国際私法入門（第７版）』有斐閣(2,200円＋税)
参考書…講義の中で紹介します。

学生へのメッセージ
民法総則、物権法、債権法、親族法、相続法のすべてについて、基本的知識を再確認しておいてください。

関連科目
国際私法Ⅰ、国際取引法、民法総則、物権法、債権法、不法行為法、親族法、相続法、商法、民事訴訟法

担当者の研究室等
11号館9階　小山教授室

商法総論Ⅰ
Commercial Law I

牛　丸　與志夫（ウシマル　ヨシオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
商法総則は、私法の特別法である。私法の一般法としては、民法が存在する。商法の特殊性は、企業関係に特有な法規から成り立っているということにある。企業とは、一定の計画に従い、継続的意図をもって営利行為を実現する独立の経済単位であるといわれている。企業によって、商品の生産および流通活動が、行われており、商法総則の知識は、企業活動に関係する者にとり、必須の知識である。商法総則では、商法の基本概念である商人の定義をはじめ、商人に特有な、商号や商業登記等の諸制度について、講義を行う。

授業方法と留意点
授業では、できるだけ、最近、話題になった事件を判例や専門雑誌の記事を通して紹介し、現実の商法の運用について説明したい。練習問題を解きながら、応用力を養いたい。授業中は、必ず、ポケット六法を携帯してください。

科目学習の効果（資格）
商業活動に必要であり、公務員試験に出題される。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　51　2014/10/14　17:50:37

第１回　【授業テーマ】　商法の意義
【内容・方法　等】　形式的意義における商法、実質的意義における商法、商法と他の法律との関係
【事前・事後学習課題】　教科書２ページ～７ページ
第２回　【授業テーマ】　商法の基本概念、商法の歴史
【内容・方法　等】　基本概念としての商行為と商人、商事法主義と商人法主義、商法の歴史
【事前・事後学習課題】　教科書８ページ～１３ページ
第３回　【授業テーマ】　商法の特色と傾向、商法の法源
【内容・方法　等】　商法の内容上の特色と発展傾向上の特色、商法の存在形式、商法の法源の適用順序
【事前・事後学習課題】　教科書１４ページ～２３ページ
第４回　【授業テーマ】　商人
【内容・方法　等】　商人の意義、商人資格、営業能力
【事前・事後学習課題】　教科書２６ページ～３２ページ
第５回　【授業テーマ】　営業・営業所
【内容・方法　等】　営業の意義、営業所の意義、本店および支店、営業所に結び付けられた法律上の効果
【事前・事後学習課題】　教科書３２ページ～３４ページ
第６回　【授業テーマ】　商業登記（１）
【内容・方法　等】　総説、商業登記事項、商業登記の手続、商業登記の一般的効力
【事前・事後学習課題】　教科書３５ページ～４２ページ
第７回　【授業テーマ】　商業登記（２）
【内容・方法　等】　不実登記の効力、商業登記の特殊の効力
【事前・事後学習課題】　教科書 ４３ページ～４５ページ
第８回　【授業テーマ】　商号(1)
【内容・方法　等】　総説、商号の選定、商号の数、商号の登記
【事前・事後学習課題】　教科書４６ページ～５３ページ
第９回　【授業テーマ】　商号（２）
【内容・方法　等】　商号権、商号の譲渡・廃止・変更、名板貸し
【事前・事後学習課題】　教科書 ５３ページ～６２ページ
第10回　【授業テーマ】　営業の譲渡（１）
【内容・方法　等】　営業譲渡の意義、営業譲渡契約、営業譲渡の機能、営業譲渡当事者間における効果
【事前・事後学習課題】　教科書 ６３ページ～６７ページ
第11回　【授業テーマ】　営業の譲渡（２）
【内容・方法　等】　第三者に対する営業譲渡の効果、営業の賃貸借・経営委任
【事前・事後学習課題】　教科書 ６８ページ～７２ページ
第12回　【授業テーマ】　商業帳簿
【内容・方法　等】　総説、商業帳簿の意義・種類、資産の評価、商業帳簿の保存・提出義務
【事前・事後学習課題】　教科書７３ページ～８５ページ
第13回　【授業テーマ】　商業使用人（１）
【内容・方法　等】　総説、支配人の意義、支配人の選任・終任、支配人の代理権・義務
【事前・事後学習課題】　教科書８６ページ～９２ページ
第14回　【授業テーマ】　商業使用人（２）
【内容・方法　等】　表見支配人、その他の商業使用人
【事前・事後学習課題】　教科書９２ページ～９６ページ
第15回　【授業テーマ】　代理商
【内容・方法　等】　代理商の意義、代理商契約の締結、代理商契約の効果、代理商契約の終了
【事前・事後学習課題】　教科書９７ページから１０５ページ

評価方法（基準）
講義中の授業態度、期末の筆記試験を総合して行う。

教材等
教科書…藤田勝利・北村雅史編『プライマリー商法総則・商行為法（第３版）』(法律文化社)(２４００円＋税)
参考書…講義の中で指示する。

学生へのメッセージ
商法総則は、比較的、解りやすい分野です。六法全書は、必ず、授業中に携帯してください。質問は、どしどし、してください。

関連科目
民法、会社法

担当者の研究室等
11号館9階　牛丸教授室

商法総論II
Commercial Law II

牛　丸　與志夫（ウシマル　ヨシオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
商行為法は、私法の特別法である。私法の一般法としては、民法が存在する。商法の特殊性は、企業関係に特有な法規から成り立っているということにある。企業とは、一定の計画に従い、継続的意図をもって営利行為を実現する独立の経済単位であるといわれている。企業によって、商品の生産および流通活動が、行われており、商行為法の知識は、企業活動に関係する者にとり、必須の知識である。商行為法では、商法の基本概念である商行為の意義、商行為法の通則、商事売買、交互計算、匿名組合、その他各種営業を講義する。

授業方法と留意点
授業では、できるだけ、最近、話題になった事件を判例や専門雑誌の記事を通して紹介し、現実の商法の運用について説明したい。練習問題を解きながら、応用力を養いたい。ポケット六法を授業中、必ず、携帯してください。

科目学習の効果（資格）
商業活動に必要であり、公務員試験に出題される。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　商行為の意義（１）
【内容・方法　等】　商行為の分類、絶対的商行為、
【事前・事後学習課題】　教科書１０８ページ～１１２ページ
第２回　【授業テーマ】　商行為の意義（２）
【内容・方法　等】　営業的商行為、公法人の商行為
【事前・事後学習課題】　教科書１１２ページ～１１５ページ
第３回　【授業テーマ】　附属的商行為等
【内容・方法　等】　附属的商行為、会社等の行為、一方的商行為と双方的商行為
【事前・事後学習課題】　教科書１１５ページ～１１７ページ
第４回　【授業テーマ】　商行為法の通則
【内容・方法　等】　商行為一般に関する規定、当事者の一方が商人である場合の規定、当事者双方が商人である場合の規定、有価証券に関する規定
【事前・事後学習課題】　教科書 １１７ページ～１３２ページ
第５回　【授業テーマ】　商事売買
【内容・方法　等】　商事売買の意義、売主の権利・義務、買主の権利・義務
【事前・事後学習課題】　教科書１３３ページ～１４１ページ
第６回　【授業テーマ】　交互計算
【内容・方法　等】　交互計算の意義、交互計算の効力、交互計算の終了
【事前・事後学習課題】　教科書１４２ページ～１４６ページ
第７回　【授業テーマ】　匿名組合
【内容・方法　等】　匿名組合の意義、匿名組合契約、匿名組合契約の終了
【事前・事後学習課題】　教科書１４７ページ～１５１ページ
第８回　【授業テーマ】　仲立人
【内容・方法　等】　仲立人の意義、法源と仲立契約の性質、仲立人の義務、仲立人の権利および権限
【事前・事後学習課題】　教科書 １５２ページ～１５９ページ
第９回　【授業テーマ】　問屋営業
【内容・方法　等】　問屋の意義、問屋の法的地位、問屋の権利・義務、準問屋
【事前・事後学習課題】　教科書 １６０ページ～１６８ページ
第10回　【授業テーマ】　運送営業（１）
【内容・方法　等】　運送営業の意義、物品運送契約
【事前・事後学習課題】　教科書１６９ページ～１７１ページ
第11回　【授業テーマ】　運送営業（２）
【内容・方法　等】　運送人の義務、損害賠償義務、運送人の権利、荷受人の地位、相次運送
【事前・事後学習課題】　教科書１７２ページ～１８１ページ
第12回　【授業テーマ】　運送営業（３）
【内容・方法　等】　貨物引換証の意義・性質、貨物引換証の方式および譲渡
【事前・事後学習課題】　教科書１８１ページ～１８３ページ
第13回　【授業テーマ】　運送営業（４）
【内容・方法　等】　貨物引換証の債権的効力、貨物引換証の物権的効力
【事前・事後学習課題】　教科書１８３ページ～１８６ページ
第14回　【授業テーマ】　旅客運送、運送取扱営業
【内容・方法　等】　旅客運送契約、乗車券の法的性質、旅客運送人の責任
運送取扱営業の意義、運送取扱人の義務・権利等
【事前・事後学習課題】　教科書１８７ページ～１９３ページ
第15回　【授業テーマ】　倉庫営業、場屋営業
【内容・方法　等】　倉庫営業の意義、倉庫寄託契約、倉庫営業者の義務・権利、倉庫証券
場屋営業の意義、場屋営業者の責任
【事前・事後学習課題】　教科書１９９４ページ２０３ページ

評価方法（基準）
講義中の授業態度、期末の筆記試験を総合して行う。

教材等
教科書…藤田勝利・北村雅史編『プライマリー商法総則・商行為法（第３版）』(法律文化社)(２４００円＋税)
参考書…講義の中で指示する。

学生へのメッセージ
商行為法は、比較的、解りやすい分野です。六法全書は、必ず、授業中に携帯してください。質問は、どしどし、してください。

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　52　2014/10/14　17:50:38

関連科目
民法、会社法I
担当者の研究室等
11号館9階　牛丸教授室

商法総則
Commercial Law

牛　丸　與志夫（ウシマル　ヨシオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
商法総則は、私法の特別法である。私法の一般法としては、民法が存在する。商法の特殊性は、企業関係に特有な法規から成り立っているということにある。企業とは、一定の計画に従い、継続的意図をもって営利行為を実現する独立の経済単位であるといわれている。企業によって、商品の生産および流通活動が、行われており、商法総則の知識は、企業活動に関係する者にとり、必須の知識である。商法総則では、商法の基本概念である商人の定義をはじめ、商人に特有な、商号や商業登記等の諸制度について、講義を行う。
授業方法と留意点
授業では、できるだけ、最近、話題になった事件を判例や専門雑誌の記事を通して紹介し、現実の商法の運用について説明したい。練習問題を解きながら、応用力を養いたい。授業中は、必ず、ポケット六法を携帯してください。
科目学習の効果（資格）
商業活動に必要であり、公務員試験に出題される。
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】** 商法の意義
【内容・方法　等】 形式的意義における商法、実質的意義における商法、商法と他の法律との関係
【事前・事後学習課題】 教科書２ページ～７ページ
第２回　**【授業テーマ】** 商法の基本概念、商法の歴史
【内容・方法　等】 基本概念としての商行為と商人、商事法主義と商人法主義、商法の歴史
【事前・事後学習課題】 教科書８ページ～１３ページ
第３回　**【授業テーマ】** 商法の特色と傾向、商法の法源
【内容・方法　等】 商法の内容上の特色と発展傾向上の特色、商法の存在形式、商法の法源の適用順序
【事前・事後学習課題】 教科書１４ページ～２３ページ
第４回　**【授業テーマ】** 商人
【内容・方法　等】 商人の意義、商人資格、営業能力
【事前・事後学習課題】 教科書２６ページ～３２ページ
第５回　**【授業テーマ】** 営業・営業所
【内容・方法　等】 営業の意義、営業所の意義、本店および支店、営業所に結び付けられた法律上の効果
【事前・事後学習課題】 教科書３２ページ～３４ページ
第６回　**【授業テーマ】** 商業登記（１）
【内容・方法　等】 総説、商業登記事項、商業登記の手続、商業登記の一般的効力
【事前・事後学習課題】 教科書３５ページ～４２ページ
第７回　**【授業テーマ】** 商業登記（２）
【内容・方法　等】 不実の効力、商業登記の特殊の効力
【事前・事後学習課題】 教科書 ４３ページ～４５ページ
第８回　**【授業テーマ】** 商号(1)
【内容・方法　等】 総説、商号の選定、商号の数、商号の登記
【事前・事後学習課題】 教科書４６ページ～５３ページ
第９回　**【授業テーマ】** 商号（２）
【内容・方法　等】 商号権、商号の譲渡・廃止・変更、名板貸し
【事前・事後学習課題】 教科書 ５３ページ～６２ページ
第10回　**【授業テーマ】** 営業の譲渡（１）
【内容・方法　等】 営業譲渡の意義、営業譲渡契約、営業譲渡の機能、営業譲渡当事者間における効果
【事前・事後学習課題】 教科書 ６３ページ～６７ページ
第11回　**【授業テーマ】** 営業の譲渡（２）
【内容・方法　等】 第三者に対する営業譲渡の効果、営業の賃貸借・経営委任
【事前・事後学習課題】 教科書 ６８ページ～７２ページ
第12回　**【授業テーマ】** 商業帳簿
【内容・方法　等】 総説、商業帳簿の意義・種類、資産の評価、商業帳簿の保存・提出義務
【事前・事後学習課題】 教科書７３ページ～８５ページ
第13回　**【授業テーマ】** 商業使用人（１）
【内容・方法　等】 総説、支配人の意義、支配人の選任・終任、支配人の代理権・義務
【事前・事後学習課題】 教科書８６ページ～９２ページ
第14回　**【授業テーマ】** 商業使用人（２）
【内容・方法　等】 表見支配人、その他の商業使用人
【事前・事後学習課題】 教科書９２ページ～９６ページ
第15回　**【授業テーマ】** 代理商
【内容・方法　等】 代理商の意義、代理商契約の締結、代理商契約の効果、代理商契約の終了
【事前・事後学習課題】 教科書９７ページから１０５ページ
評価方法（基準）
講義中の授業態度、期末の筆記試験を総合して行う。
教材等
教科書…藤田勝利・北村雅史編『プライマリー商法総則・商行為法（第３版）』(法律文化社)(2４００円＋税)
参考書…講義の中で指示する。
学生へのメッセージ
商法総則は、比較的、解りやすい分野です。六法全書は、必ず、授業中に携帯してください。質問は、どしどし、してください。
関連科目
民法、会社法
担当者の研究室等
11号館9階　牛丸教授室

商行為法
Commercial Transactions Law

牛　丸　與志夫（ウシマル　ヨシオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
商行為法は、私法の特別法である。私法の一般法としては、民法が存在する。商法の特殊性は、企業関係に特有な法規から成り立っているということにある。企業とは、一定の計画に従い、継続的意図をもって営利行為を実現する独立の経済単位であるといわれている。企業によって、商品の生産および流通活動が、行われており、商行為法の知識は、企業活動に関係する者にとり、必須の知識である。商行為法では、商法の基本概念である商行為の意義、商行為法の通則、商事売買、交互計算、匿名組合、その他各種営業を講義する。
授業方法と留意点
授業では、できるだけ、最近、話題になった事件を判例や専門雑誌の記事を通して紹介し、現実の商法の運用について説明したい。練習問題を解きながら、応用力を養いたい。ポケット六法を授業中、必ず、携帯してください。
科目学習の効果（資格）
商業活動に必要であり、公務員試験に出題される。
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】** 商行為の意義（１）
【内容・方法　等】 商行為の分類、絶対的商行為、
【事前・事後学習課題】 教科書１０８ページ～１１２ページ
第２回　**【授業テーマ】** 商行為の意義（２）
【内容・方法　等】 営業的商行為、公法人の商行為
【事前・事後学習課題】 教科書１１２ページ～１１５ページ
第３回　**【授業テーマ】** 附属的商行為等
【内容・方法　等】 附属的商行為、会社等の行為、一方的商行為と双方的商行為
【事前・事後学習課題】 教科書１１５ページ～１１７ページ
第４回　**【授業テーマ】** 商行為法の通則
【内容・方法　等】 商行為一般に関する規定、当事者の一方が商人である場合の規定、当事者双方が商人である場合の規定、有価証券に関する規定
【事前・事後学習課題】 教科書 １１７ページ～１３２ページ
第５回　**【授業テーマ】** 商事売買
【内容・方法　等】 商事売買の意義、売主の権利・義務、買主の権利・義務
【事前・事後学習課題】 教科書１３３ページ～１４１ページ
第６回　**【授業テーマ】** 交互計算
【内容・方法　等】 交互計算の意義、交互計算の効力、交互計算の終了
【事前・事後学習課題】 教科書１４２ページ～１４６ページ
第７回　**【授業テーマ】** 匿名組合
【内容・方法　等】 匿名組合の意義、匿名組合契約、匿名組合契約の終了
【事前・事後学習課題】 教科書１４７ページ～１５１ページ
第８回　**【授業テーマ】** 仲立人
【内容・方法　等】 仲立人の意義、法源と仲立契約の性質、仲立人の義務、仲立人の権利および権限
【事前・事後学習課題】 教科書 １５２ページ～１５９ページ
第９回　**【授業テーマ】** 問屋営業
【内容・方法　等】 問屋の意義、問屋の法的地位、問屋の権利・義務、準問屋
【事前・事後学習課題】 教科書 １６０ページ～１６８ページ

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　53　2014/10/14　17:50:38

第10回 【授業テーマ】 運送営業（1）
【内容・方法 等】 運送営業の意義、物品運送契約
【事前・事後学習課題】 教科書１６９ページ～１７１ページ
第11回 【授業テーマ】 運送営業（2）
【内容・方法 等】 運送人の義務、損害賠償義務、運送人の権利、荷受人の地位、相次運送
【事前・事後学習課題】 教科書１７２ページ～１８１ページ
第12回 【授業テーマ】 運送営業（3）
【内容・方法 等】 貨物引換証の意義・性質、貨物引換証の方式および譲渡
【事前・事後学習課題】 教科書１８１ページ～１８３ページ
第13回 【授業テーマ】 運送営業（4）
【内容・方法 等】 貨物引換証の債権的効力、貨物引換証の物権的効力
【事前・事後学習課題】 教科書１８３ページ～１８６ページ
第14回 【授業テーマ】 旅客運送、運送取扱営業
【内容・方法 等】 旅客運送契約、乗車券の法的性質、旅客運送人の責任
運送取扱営業の意義、運送取扱人の義務・権利等
【事前・事後学習課題】 教科書１８７ページ～１９３ページ
第15回 【授業テーマ】 倉庫営業、場屋営業
【内容・方法 等】 倉庫営業の意義、倉庫寄託契約、倉庫営業者の義務・権利、倉庫証券
場屋営業の意義、場屋営業者の責任
【事前・事後学習課題】 教科書１９９４ページ２０３ページ

評価方法（基準）
講義中の授業態度、期末の筆記試験を総合して行う。

教材等
教科書…藤田勝利・北村雅史編『プライマリー商法総則・商行為法（第３版）』(法律文化社)(2４００円＋税)
参考書…講義の中で指示する。

学生へのメッセージ
商行為法は、比較的、解りやすい分野です。六法全書は、必ず、授業中に携帯してください。質問は、どしどし、してください。

関連科目
民法、会社法I

担当者の研究室等
11号館9階　牛丸教授室

会社法I
Corporate Law I

牛　丸　與志夫（ウシマル　ヨシオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
会社の種類は、会社法上、４種類ある。すなわち、合名会社、合資会社、合同会社、株式会社である。そのうち、日本の経済において最も重要な役割を果たしている形態は、株式会社である。そこで、授業では、株式会社に対する法規制を中心に講義したい。特に、２００５年に商法が改正され、新たに会社法という法律が制定された。かなり株式会社に対する従来の法規制が変更されているので、改正法について、きめの細かい講義を行いたい。本講義は、会社法全体を概観する入門的な講義である。

授業方法と留意点
授業では、できるだけ、解りやすく基本的な知識の説明を行う。新聞記事や最近の判例を紹介し、会社法の運用の現実の動きをみていく。ポケット六法は、必ず、授業中、携帯すること。

科目学習の効果（資格）
会社に就職する者にとっては、必須の知識である。公務員試験にも出題される。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 会社法総論・会社法総則
【内容・方法 等】 会社法の現代化、会社法の歴史、会社の意義と能力、会社の種類と分類、会社法の法源、会社法の規制理念、会社法総則
【事前・事後学習課題】 教科書２ページ～４０ページ
第２回 【授業テーマ】 株式会社序説・株式会社の設立
【内容・方法 等】 株式会社序説、株式会社の設立の総説、定款の作成、出資、設立時役員等の選任・解任等、募集設立の場合、株式会社の成立、発起人等の責任、設立の無効
【事前・事後学習課題】 ４２ページ～６５ページ
第３回 【授業テーマ】 株式と株主（1）
【内容・方法 等】 株式の概念、株主の権利および義務、株券、株主名簿
【事前・事後学習課題】 ６６ページ～８６ページ
第４回 【授業テーマ】 株式と株主（2）
【内容・方法 等】 株式の譲渡、自己株式の取得、株式の担保化、株式の消却・併合・分割・無償割当て、単元株制度
【事前・事後学習課題】 ８６ページ～１07ページ
第５回 【授業テーマ】 募集株式の発行等・新株予約権
【内容・方法 等】 総説、募集株式の発行の態様、募集株式の発行等の手続、違法な募集株式の発行等の是正、新株予約権
【事前・事後学習課題】 １０５ページ～１３２ページ
第６回 【授業テーマ】 機関・株主総会
【内容・方法 等】 機関の意義と機関設計、株主総会の権限・招集・議事、株主の議決権、決議、決議の瑕疵、種類株主総会
【事前・事後学習課題】 １３３ページ～１５０ページ
第７回 【授業テーマ】 取締役・取締役会（1）
【内容・方法 等】 総説・取締役
【事前・事後学習課題】 １５０ページ～１５５ページ
第８回 【授業テーマ】 取締役・取締役会（2）
【内容・方法 等】 取締役会、代表取締役、取締役と会社との関係
【事前・事後学習課題】 １５５ページ～１６４ページ
第９回 【授業テーマ】 会計参与、監査役・監査役会、会計監査人、委員会・執行役
【内容・方法 等】 会計参与の権限・職務、監査役、監査役会、会計監査人の権限・職務、委員会、執行役
【事前・事後学習課題】 １６４ページ～１８０ページ
第10回 【授業テーマ】 役員等の損害賠償責任、株主による経営の監督是正
【内容・方法 等】 役員等の会社に対する責任、役員等の第三者に対する責任、違法行為の差止請求権、代表訴訟提起権
【事前・事後学習課題】 １８０ページ～１９２ページ
第11回 【授業テーマ】 計算、定款の変更、事業の譲渡等
【内容・方法 等】 計算規定の目的と原則、計算書類等の作成と承認、剰余金の配当等、資本金・準備金の額の変動、定款の変更、事業の譲渡等
【事前・事後学習課題】 １９３ページ～２１６ページ
第12回 【授業テーマ】 持分会社
【内容・方法 等】 合同会社、合名会社、合資会社
【事前・事後学習課題】 ２１７ページ～２２３ページ
第13回 【授業テーマ】 社債
【内容・方法 等】 社債の意義、社債の種類、社債の発行、社債の管理
【事前・事後学習課題】 ２２５ページ～２３６ページ
第14回 【授業テーマ】 組織再編行為
【内容・方法 等】 企業の結合と組織再編序説、組織変更、合併、会社分割、株式交換・株式移転
合併、会社分割、株式交換・株式移転の手続
合併、会社分割、株式交換・株式移転の無効
【事前・事後学習課題】 ２３７ページ～２９０ページ
第15回 【授業テーマ】 会社の消滅と倒産処理、外国会社
【内容・方法 等】 更生、解散、通常清算、特別清算、外国会社
【事前・事後学習課題】 ２９１ページ～３１４ページ

評価方法（基準）
講義中の授業態度、期末の筆記試験を総合して行う。

教材等
教科書…藤田勝利・北村雅史編『プライマリー会社法』（第３版）（法律文化社）(2,900円)
参考書…授業中、指示する。

学生へのメッセージ
出席することが重要です。授業中は、私語をしないで下さい。ポケット六法は、授業には、必ず、携帯して下さい。会社法は比較的、他の法律の知識を前提にしておらず、完結していますので理解しやすい

関連科目
民法I（総則）、金融商品取引法

担当者の研究室等
11号館9階　牛丸教授室

備考
特になし。

会社法II
Corporate Law II

牛　丸　與志夫（ウシマル　ヨシオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
会社の種類は、会社法上、４種類ある。すなわち、合名会社、合資会社、合同会社および株式会社である。そのうち、日本の経済において最も重要な役割を果たしている形態は、株式会社である。そこで、授業では、株式会社に対する法規制を中心に

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　54　2014/10/14　17:50:38

講義したい。特に、２００５年には、商法が改正され、新たに会社法という法律が制定された。かなり株式会社に対する従来の法規制が変更されているので、改正法について、きめの細かい講義を行いたい。本講義は、会社法の重要な論点を取り上げ、応用力の習得を目指す。

授業方法と留意点

授業では、できるだけ、解りやすく基本的な知識の説明を行う。新聞記事や最近の判例を紹介し、会社法の現実の動きをみていく。ポケット六法は、必ず、授業中、携帯すること。

科目学習の効果（資格）

会社に就職する者にとっては、必須の知識である。公務員試験にも出題される。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 会社法総論・会社法総則
【内容・方法　等】 会社法の現代化、会社法の歴史、会社の意義と能力、会社の種類と分類、会社法の法源、会社法の規制理念、会社法総則
【事前・事後学習課題】 教科書２ページ～４０ページ

第２回 【授業テーマ】 株式会社序説・株式会社の設立
【内容・方法　等】 株式会社序説、株式会社の設立の総説、定款の作成、出資、設立時役員等の選任・解任等、募集設立の場合、株式会社の成立、発起人等の責任、設立の無効
【事前・事後学習課題】 ４２ページ～６５ページ

第３回 【授業テーマ】 株式と株主（１）
【内容・方法　等】 株式の概念、株主の権利および義務、株券、株主名簿
【事前・事後学習課題】 ６６ページ～８６ページ

第４回 【授業テーマ】 株式と株主（２）
【内容・方法　等】 株式の譲渡、自己株式の取得、株式の担保化、株式の消却・併合・分割・無償割当て、単元株制度
【事前・事後学習課題】 ８６ページ～１０７ページ

第５回 【授業テーマ】 募集株式の発行等・新株予約権
【内容・方法　等】 総説、募集株式の発行の態様、募集株式の発行の手続、違法な募集株式の発行の是正、新株予約権
【事前・事後学習課題】 １０８ページ～１３２ページ

第６回 【授業テーマ】 機関・株主総会
【内容・方法　等】 機関の意義と機関設計、株主総会の権限・招集、株主総会の議事、株主の議決権、決議、決議の瑕疵、種類株主総会
【事前・事後学習課題】 １３３ページ～１５０ページ

第７回 【授業テーマ】 取締役・取締役会（１）
【内容・方法　等】 総説・取締役
【事前・事後学習課題】 １５０ページ～１５５ページ

第８回 【授業テーマ】 取締役・取締役会（２）
【内容・方法　等】 取締役会、代表取締役、取締役と会社との関係
【事前・事後学習課題】 １５５ページ～１６４ページ

第９回 【授業テーマ】 会計参与、監査役・監査役会、会計監査人、委員会・執行役
【内容・方法　等】 会計参与の権限・職務、監査役、監査役会、会計監査人の権限・職務、委員会、執行役
【事前・事後学習課題】 １６４ページ～１８０ページ

第10回 【授業テーマ】 役員等の損害賠償責任、株主による経営の監督是正
【内容・方法　等】 役員等の会社および第三者に対する責任、違法行為の差止請求権、代表訴訟
【事前・事後学習課題】 １８０ページ～１９２ページ

第11回 【授業テーマ】 計算、定款の変更、事業の譲渡等
【内容・方法　等】 計算規定の目的と原則、計算書類等の作成と承認、剰余金の配当等、資本金・準備金の額の変動、定款の変更、事業の譲渡等
【事前・事後学習課題】 １９３ページ～２１６ページ

第12回 【授業テーマ】 持分会社
【内容・方法　等】 合同会社、合名会社、合資会社
【事前・事後学習課題】 ２１７ページ～２２３ページ

第13回 【授業テーマ】 組織再編（１）
【内容・方法　等】 企業の統合と組織再編序説、組織変更、合併
【事前・事後学習課題】 ２７２ページ～２９０ページ

第14回 【授業テーマ】 組織再編（２）
【内容・方法　等】 会社分割
【事前・事後学習課題】 ２７２ページ～２９０ページ

第15回 【授業テーマ】 組織再編（３）
【内容・方法　等】 株式交換・株式移転
【事前・事後学習課題】 ２７２ページ～２９０ページ

評価方法（基準）

講義中の授業態度、期末の筆記試験を総合して行う。

教材等

教科書…藤田勝利・北村雅史編『プライマリー会社法』（第３版）（法律文化社）(2,９００円)
参考書…授業中、指示する。

学生へのメッセージ

出席することが重要です。授業中は、私語をしないで下さい。ポケット六法は、授業には、必ず、携帯して下さい。会社法は比較的、他の法律の知識を前提にしておらず、完結していますので理解しやすい。

関連科目

民法I（総則）、金融商品取引法

担当者の研究室等

11号館9階　牛丸教授室

備考

特になし。

有価証券法I
Law of Negotiable Instruments I

木　村　秀　一（キムラ　ヒデカズ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

有価証券は、権利の譲渡の簡易化・効力の強化のためにその機能を発揮する。手形・小切手は有価証券の典型である。手形には約束手形と為替手形がある。約束手形は信用の手段として、為替手形は送金・取立の手段として、小切手は支払の手段として利用される。手形・小切手は、このような経済的機能を果たしているが、とくに約束手形は、わが国の活発な経済活動をささえる重要な役割を担ってきた。したがって、約束手形の法的仕組みを理解することはきわめて重要である。

授業方法と留意点

AV教室においてノートパソコン画面をディスプレイに表示しながら、講義を行う。全学生がノートを取れるようスピード調整しながら行う。プリントを配付する。教材フォルダにアップロードしてあるので、各自で授業第一回目までに入手すること。

科目学習の効果（資格）

ビジネス実務法務検定試験３級取得に必要な法知識を提供する。この試験に合格すれば、ビジネス法務リーダーの称号が与えられ、受験を推奨する企業が増えている。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 手形・小切手の意義　有価証券の機能
【内容・方法　等】 手形とは何か・権利の譲渡方法の簡易化・効力の強化
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第２回 【授業テーマ】 手形・小切手の経済的機能
【内容・方法　等】 信用の手段・送金の手段・支払の手段
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第３回 【授業テーマ】 銀行取引と手形・小切手
【内容・方法　等】 自宅払い手形と銀行払い手形
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第４回 【授業テーマ】 手形行為の成立要件　形式的要件（1）
【内容・方法　等】 支払約束文句一定の金額・満期
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第５回 【授業テーマ】 形式的要件（2）
【内容・方法　等】 受取人・振出日・支払地
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第６回 【授業テーマ】 有益的記載事項　無益的記載事項　有害的記載事項
【内容・方法　等】 指図禁止文句・利息文句
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第７回 【授業テーマ】 署名の意義
【内容・方法　等】 記名捺印・署名の代行
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第８回 【授業テーマ】 別名使用　法人の署名
【内容・方法　等】 別名による手形行為
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第９回 【授業テーマ】 実質的要件　手形権利能力　手形行為能力
【内容・方法　等】 法人の手形権利能力・制限無能力者の手形行為能力
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第10回 【授業テーマ】 手形理論
【内容・方法　等】 交付契約説・発行説・創造説 鈴木理論と権利外観説
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第11回 【授業テーマ】 手形行為と意思表示の瑕疵・欠缺

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　55　2014/10/14　17:50:38

【内容・方法　等】 錯誤・詐欺・強迫と手形行為
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。
第12回 【授業テーマ】 他人による手形行為（1）
【内容・方法　等】 代理・代行方式の手形行為（1）
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。
第13回 【授業テーマ】 他人による手形行為（2）
【内容・方法　等】 代理・代行方式の手形行為（2）
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。
第14回 【授業テーマ】 他人による手形行為（3）
【内容・方法　等】 代理・代行方式の手形行為（3）
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。
第15回 【授業テーマ】 他人による手形行為（4）
【内容・方法　等】 代理・代行方式の手形行為（4）
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

評価方法（基準）
原則として、定期試験の結果のみによって評価する。

教材等
教科書…「判例手形・小切手法」木村秀一（中央経済社）
参考書…「手形・小切手判例百選」（有斐閣）

学生へのメッセージ
試験は教科書のみ持込可とするので、必ず購入すること。確実な理解をはかるため質問日なども設ける。

関連科目
民法総則・債権法

担当者の研究室等
11号館10階　木村教授室

備考
授業計画は各年度の事情（新事件・新判例の追加等）により多少の修正が生ずることがある。

有価証券法II
Law of Negotiable Instruments II

木　村　秀　一（キムラ　ヒデカズ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
有価証券は、権利の譲渡の簡易化・効力の強化のためにその機能を発揮する。手形・小切手は有価証券の典型である。手形には約束手形と為替手形がある。約束手形は信用の手段として、為替手形は送金・取立の手段として、小切手は支払の手段として利用される。手形・小切手は、このような経済的機能を果たしているが、とくに約束手形は、わが国の活発な経済活動をささえる重要な役割を担ってきた。したがって、約束手形の法的仕組みを理解することはきわめて重要である。

授業方法と留意点
AV教室においてノートパソコン画面をディスプレイに表示しながら、講義を行う。全学生がノートを取れるようスピード調整しながら行う。プリントを配付する。教材フォルダにアップロードしてあるので、各自で授業第一回目までに入手すること。

科目学習の効果（資格）
ビジネス実務法務検定試験３級取得に必要な法知識を提供する。この試験に合格すれば、ビジネス法務リーダーの称号が与えられ、受験を推奨する企業が増えている。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 無権限者による手形行為
【内容・方法　等】 無権代理と偽造
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。
第２回 【授業テーマ】 手形・小切手の譲渡方法（1）
【内容・方法　等】 裏書の意義・方式
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。
第３回 【授業テーマ】 手形・小切手の譲渡方法（2）
【内容・方法　等】 裏書によらない譲渡
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。
第４回 【授業テーマ】 裏書の効力
【内容・方法　等】 権利移転的効力・担保的効力・資格授与的効力
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。
第５回 【授業テーマ】 裏書の連続
【内容・方法　等】 裏書の連続性の判断基準
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。
第６回 【授業テーマ】 善意の手形取得者の保護（1）
【内容・方法　等】 善意取得制度
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。
第７回 【授業テーマ】 善意の手形取得者の保護（2）
【内容・方法　等】 物的抗弁・人的抗弁の制限（1）
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。
第８回 【授業テーマ】 善意の手形取得者の保護（3）
【内容・方法　等】 人的抗弁の制限（2）
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。
第９回 【授業テーマ】 善意の手形取得者の保護（4）
【内容・方法　等】 悪意の抗弁
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。
第10回 【授業テーマ】 手形行為独立の原則
【内容・方法　等】 同原則の根拠・手形保証との関係
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。
第11回 【授業テーマ】 利得償還請求権
【内容・方法　等】 発生要件
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。
第12回 【授業テーマ】 白地手形（1）
【内容・方法　等】 白地手形の意義
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。
第13回 【授業テーマ】 白地手形（2）
【内容・方法　等】 白地の不当補充
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。
第14回 【授業テーマ】 手形の喪失（1）
【内容・方法　等】 除権決定
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。
第15回 【授業テーマ】 手形の喪失（2）
【内容・方法　等】 除権決定の効力と善意取得
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

評価方法（基準）
原則として、定期試験の結果のみによって評価する。

教材等
教科書…授業において指定する。
参考書…「手形・小切手判例百選」（有斐閣）

学生へのメッセージ
試験は教科書のみ持込可とするので、必ず購入すること。確実な理解をはかるため質問日なども設ける。

関連科目
民法総則・債権法

担当者の研究室等
11号館10階　木村教授室

備考
授業計画は各年度の事情（新事件・新判例の追加等）により多少の修正が生ずることがある。

独占禁止法 I
Anti-trust LawI

木　村　秀　一（キムラ　ヒデカズ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
経済社会の基本秩序を維持することを目的とする経済法の中心をなすものは、独占禁止法（私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律）である。独占禁止法は、私的独占、不当な取引制限及び不公正な取引方法を禁止することが主たる目的であり、現代の国民生活を営むうえで独占禁止法を理解することはきわめて重要である。

授業方法と留意点
AV教室においてノートパソコン画面をディスプレイに表示しながら、講義を行う。全学生がノートを取れるようスピード調整しながら行う。プリントを配付する。教材フォルダにアップロードしてあるので、各自で授業第一回目までに入手すること。

科目学習の効果（資格）
ビジネス実務法務検定試験３級取得に必要な法知識を提供する。この試験に合格すれば、ビジネス法務リーダーの称号が与えられ、

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　56　2014/10/14　17:50:38

受験を推奨する企業が増えている。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** 経済法・独占禁止法とは何か　独占禁止法の目的
【内容・方法　等】 自由競争の促進と独禁法
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第２回 **【授業テーマ】** 独占禁止法の基礎概念(1)
【内容・方法　等】 事業者
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第３回 **【授業テーマ】** 独占禁止法の基礎概念(2)
【内容・方法　等】 一定の取引分野(1)
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第４回 **【授業テーマ】** 独占禁止法の基礎概念(3)
【内容・方法　等】 一定の取引分野(2)
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第５回 **【授業テーマ】** 独占禁止法の基礎概念(4)
【内容・方法　等】 競争の実質的制限(1)
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第６回 **【授業テーマ】** 独占禁止法の基礎概念(5)
【内容・方法　等】 競争の実質的制限(2)
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第７回 **【授業テーマ】** 独占禁止法の基礎概念(6)
【内容・方法　等】 公共の利益
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第８回 **【授業テーマ】** 私的独占の禁止(1)
【内容・方法　等】 私的独占とは何か
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第９回 **【授業テーマ】** 私的独占の禁止(2)
【内容・方法　等】 私的独占に関する主要判例(1)
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第10回 **【授業テーマ】** 私的独占の禁止(3)
【内容・方法　等】 私的独占に関する主要判例(2)
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第11回 **【授業テーマ】** 私的独占の禁止(4)
【内容・方法　等】 私的独占に関する主要判例(3)
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第12回 **【授業テーマ】** 私的独占の禁止(5)
【内容・方法　等】 私的独占に関する主要判例(4)
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第13回 **【授業テーマ】** 経済力集中規制（１）
【内容・方法　等】 持株会社の規制・金融会社の株式保有制限・一般会社の株式保有規制・役員兼任の制限
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第14回 **【授業テーマ】** 経済力集中規制（２）
【内容・方法　等】 合併・営業譲受等の制限
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第15回 **【授業テーマ】** 経済力集中規制（３）
【内容・方法　等】 独占的状態の規制
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

評価方法（基準）

原則として、定期試験の結果のみによって評価する。

教材等

教科書…「現代独占禁止法要論」谷原修身（中央経済社）￥3,500-
参考書…「独禁法審決・判例百選」（有斐閣）

学生へのメッセージ

試験は教科書のみ持込可とするので、必ず購入すること。確実な理解をはかるため質問日なども設ける。六法を必ず持参すること。

関連科目

経済学、会社法

担当者の研究室等

11号館10階　木村教授室

備考

授業計画は各年度の事情（新事件・新判例の追加等）により多少の修正が生ずることがある。

独占禁止法 II
Anti-trust Law II

木　村　秀　一（キムラ　ヒデカズ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

経済社会の基本秩序を維持することを目的とする経済法の中心をなすものは、独占禁止法（私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律）である。独占禁止法は、私的独占、不当な取引制限及び不公正な取引方法を禁止することが主たる目的であり、現代の国民生活を営むうえで独占禁止法を理解することはきわめて重要である。

授業方法と留意点

AV教室においてノートパソコン画面をディスプレイに表示しながら、講義を行う。全学生がノートを取れるようスピード調整しながら行う。プリントを配付する。教材フォルダにアップロードしてあるので、各自で授業第一回目までに入手すること。

科目学習の効果（資格）

ビジネス実務法務検定試験３級取得に必要な法知識を提供する。この試験に合格すれば、ビジネス法務リーダーの称号が与えられ、受験を推奨する企業が増えている。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** 不当な取引制限(1)
【内容・方法　等】 カルテルの弊害
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第２回 **【授業テーマ】** 不当な取引制限(2)
【内容・方法　等】 カルテル形成の条件・カルテルの類型
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第３回 **【授業テーマ】** 不当な取引制限(3)
【内容・方法　等】 不当な取引制限の成立時期　不当な取引制限の立証・行政指導とカルテル
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第４回 **【授業テーマ】** 不当な取引制限(4)
【内容・方法　等】 事業者団体によるカルテル・カルテルの規制方法
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第５回 **【授業テーマ】** 不公正な取引方法(1)
【内容・方法　等】 一般指定・特殊指定
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第６回 **【授業テーマ】** 不公正な取引方法(2)
【内容・方法　等】 取引拒絶　差別対価
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第７回 **【授業テーマ】** 不公正な取引方法(3)
【内容・方法　等】 取引条件の差別的取扱　事業者団体による差別的取扱
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第８回 **【授業テーマ】** 不公正な取引方法(4)
【内容・方法　等】 欺瞞的顧客誘引・不当な利益による顧客誘引
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第９回 **【授業テーマ】** 不公正な取引方法(5)
【内容・方法　等】 排他条件付取引
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第10回 **【授業テーマ】** 不公正な取引方法(6)
【内容・方法　等】 再販売価格の拘束
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第11回 **【授業テーマ】** 不公正な取引方法(7)
【内容・方法　等】 拘束条件付取引
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第12回 **【授業テーマ】** 不公正な取引方法(8)
【内容・方法　等】 優越的地位の濫用
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第13回 **【授業テーマ】** 不公正な取引方法(9)
【内容・方法　等】 取引妨害
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第14回 **【授業テーマ】** 不公正な取引方法(10)
【内容・方法　等】 内部干渉

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　57　2014/10/14　17:50:38

【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

第15回 【授業テーマ】 不公正な取引方法(11)
【内容・方法　等】 不公正な取引方法の規制方法
【事前・事後学習課題】 テキストおよび配布プリントの該当部分を予習し、受講後は板書も含めて復習する。

評価方法（基準）
原則として、定期試験の結果のみによって評価する。

教材等
教科書…「現代独占禁止法要論」谷原修身（中央経済社）￥3,500-
参考書…「独禁法審決・判例百選」（有斐閣）

学生へのメッセージ
試験は教科書のみ持込可とするので、必ず購入すること。確実な理解をはかるため質問日なども設ける。六法も必ず持参すること。

関連科目
経済学、会社法

担当者の研究室等
11号館10階　木村教授室

備考
授業計画は各年度の事情（新事件・新判例の追加等）により多少の修正が生ずることがある。

金融商品取引法
Financial Instrument and Exchange Law

牛　丸　與志夫（ウシマル　ヨシオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
金融商品取引法は、大衆投資家を保護する法律であるとともに、実質的に大企業に対する国家による規制を行うものである。第二次大戦後、アメリカ合衆国の1933年証券法および1934年証券取引所法を参考にして、導入されたものである。証券市場で株式が取引される大企業を規制するものであり、会社法を補完する重要な商事特別法である。大企業や金融商品取引業者に就職する予定の者は、受講が望ましい。

授業方法と留意点
金融商品取引法は、金融商品取引特有のテクニカル・タームが多く、また、条文が長く、難解である。できるだけ解りやすく説明するので、忍耐強く、勉強してください。ポケット六法は、必ず、授業中、携帯すること。

科目学習の効果（資格）
金融商品取引業者に就職する者にとって必須の講義である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 金融商品取引法の全体像
【内容・方法　等】 金融商品市場の基本的な仕組み
金融商品取引法はどのようなことをきせいしているか
金融商品取引法はどのような範囲に適用されるか
【事前・事後学習課題】 教科書１ページ～２４ページ

第２回 【授業テーマ】 有価証券の取引方法
【内容・方法　等】 有価証券の上場
有価証券取引の仕組み
金融商品取引所
【事前・事後学習課題】 教科書２５ページ～３９ページ

第３回 【授業テーマ】 企業内容の開示規制（１）
【内容・方法　等】 開示規制の内容
有価証券を発行する際の開示ー発行開示制度
【事前・事後学習課題】 教科書４０ページ～６１ページ

第４回 【授業テーマ】 企業内容の開示規制（２）
【内容・方法　等】 上場会社等が行う定期的な開示ー継続開示制度
財務情報の正確性を確保するための制度
虚偽の情報開示を行った者はどのような責任を負うか
【事前・事後学習課題】 教科書６２ページ～８７ページ

第５回 【授業テーマ】 金融商品取引業者の規制（１）
【内容・方法　等】 金融商品取引業の意義
開業の規制と登録制度
金融機関と金融商品取引業務
金融商品仲介業制度
【事前・事後学習課題】 教科書８８ページ～１０２ページ

第６回 【授業テーマ】 金融商品取引業者の規制（２）
【内容・方法　等】 外務員の規制
金融商品取引業者の誠実公正義務
顧客に対する情報提供に関する規制
特定投資家への適用除外
【事前・事後学習課題】 教科書１０３ページ～１１３ページ

第７回 【授業テーマ】 企業支配に関する開示制度（１）
【内容・方法　等】 公開買付（ＴＯＢ）
【事前・事後学習課題】 教科書１１４ページ～１３０ページ

第８回 【授業テーマ】 企業支配に関する開示制度（２）
【内容・方法　等】 株券委等を大量に保有する者の開示義務とはー５パーセントルール
委任状勧誘規制
【事前・事後学習課題】 教科書１３１ページ～１５１ページ

第９回 【授業テーマ】 投資信託および集団投資スキーム（１）
【内容・方法　等】 投資信託および集団投資スキームの経済的意義
投資信託の仕組みと規制
投資法人の仕組みと規制
【事前・事後学習課題】 教科書１５２ページ～１５９ページ

第10回 【授業テーマ】 投資信託および集団投資スキーム（２）
【内容・方法　等】 投資助言と投資一任
集団投資スキーム持分の規制
【事前・事後学習課題】 教科書１６０ージ～１６３ページ

第11回 【授業テーマ】 不公正な取引の規制（１）
【内容・方法　等】 詐欺的行為を禁止する１５７条
インサイダー取引（内部者取引）の規制
【事前・事後学習課題】 教科書１６４ページ～１８３ページ

第12回 【授業テーマ】 不公正な取引の規制（２）
【内容・方法　等】 相場操縦の規制
【事前・事後学習課題】 教科書１８４ページ～１９２ページ

第13回 【授業テーマ】 不公正な取引の規制（３）
【内容・方法　等】 金融商品取引業者による不公正取引
【事前・事後学習課題】 教科書１９３ページ～２０５ページ

第14回 【授業テーマ】 法の実現
【内容・方法　等】 罰則と課徴金
【事前・事後学習課題】 教科書２０６ページ～２０８ページ

第15回 【授業テーマ】 デリバティブ取引
【内容・方法　等】 デリバティブ取引とは
デリバティブ取引の例
金融商品取引法上のデリバティブ取引の定義とは
市場デリバティブ取引、店頭デリバティブ取引、外国デリバティブ取引とは
【事前・事後学習課題】 教科書２０９ページ～２１６ページ

評価方法（基準）
講義中の授業態度、期末の筆記試験を総合して行う。

教材等
教科書…近藤光男・志谷匡史・石田眞得・釜田薫子『基礎から学べる金融商品取引法第２版』（弘文堂）
参考書…講義の中で指示する。

学生へのメッセージ
出席することが重要です。授業中は、私語はしないでください。ポケット六法は、必ず授業中に携帯してください。金融商品取引法は、法律の条文ばかりではなく、政令・省令・金融商品取引所の規制も重要ですので、忍耐強く勉強してください。

関連科目
会社法

担当者の研究室等
11号館9階　牛丸教授室

保険法
Insurance Law

牛　丸　與志夫（ウシマル　ヨシオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
保険制度とは、同種の危険にさらされた多数の経済主体を１つの団体とみて、それに属する経済主体がそれぞれ金銭を拠出することにより共同的備蓄を形成し、現実に需要が発生した主体がそこから保険金の支払いを受ける方法で需要を満たす制度である。具体的には、損害保険契約、生命保険契約および傷害疾病保険契約についての法制度を講義する。到達目標は、保険法の習得である。

授業方法と留意点
保険契約の契約書、約款、最近の判例、および新聞で報道されている事件を紹介しながら、生きた保険法の講義を行いたい。

科目学習の効果（資格）
保険会社に就職する者にとり、必須の講義である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 保険システム
【内容・方法　等】 保険システムの目的と機能、保険法
【事前・事後学習課題】 教科書２ページ～２８ページ

第２回 【授業テーマ】 保険監督法
【内容・方法　等】 総説、保険業規制の内容、保険募集規制
【事前・事後学習課題】 ２９ページ～４８ページ

第３回 【授業テーマ】 損害保険契約総論（１）

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　58　2014/10/14　17:50:39

【内容・方法　等】　損害保険契約総説、損害保険契約の意義・特徴、損害保険契約の種類、片面強行規定の特徴
【事前・事後学習課題】　５０ページ～５８ページ
第４回　【授業テーマ】　損害保険契約総論（２）
【内容・方法　等】　保険契約の成立、告知義務
【事前・事後学習課題】　５９ページ～６９ページ
第５回　【授業テーマ】　損害保険契約総論（３）
【内容・方法　等】　損害保険契約における保険事故、保険期間、保険料
【事前・事後学習課題】　７０ページ～７５ページ
第６回　【授業テーマ】　損害保険契約総論（４）
【内容・方法　等】　損害保険契約の構造、保険金額と保険価額、重複保険
【事前・事後学習課題】　７６ページ～１００ページ
第７回　【授業テーマ】　損害保険契約総論（５）
【内容・方法　等】　損害保険契約の成立の効果
【事前・事後学習課題】　１０１ページ～１１９ページ
第８回　【授業テーマ】　損害保険契約総論（６）
【内容・方法　等】　損害保険の給付
【事前・事後学習課題】　１２０ページ～１４５ページ
第９回　【授業テーマ】　損害保険契約総論（７）
【内容・方法　等】　損害保険契約の終了
【事前・事後学習課題】　１４６ページ～１５６ページ
第10回　【授業テーマ】　損害保険契約総論（８）
【内容・方法　等】　損害保険契約の処分
【事前・事後学習課題】　１５７ページ～１６１ページ
第11回　【授業テーマ】　損害保険契約総論（９）
【内容・方法　等】　保険担保
【事前・事後学習課題】　１６２ページ～１７１ページ
第12回　【授業テーマ】　損害保険契約各論
【内容・方法　等】　火災保険、責任保険、自動車保険、運送保険、海上保険、再保険
【事前・事後学習課題】　１７４ページ～２２１ページ
第13回　【授業テーマ】　生命保険契約（１）
【内容・方法　等】　総説、生命保険契約の成立
【事前・事後学習課題】　２２４ページ～２４２ページ
第14回　【授業テーマ】　生命保険契約（２）
【内容・方法　等】　生命保険契約の効力、生命保険契約に基づく給付・終了、生命保険債権の処分と差押え
【事前・事後学習課題】　２４３ページ～２６６ページ
第15回　【授業テーマ】　傷害疾病保険契約
【内容・方法　等】　総説、保険給付の要件、障害疾病定額保険をめぐる問題
【事前・事後学習課題】　２６８ページ～２８３ページ

評価方法（基準）
講義中の授業態度、期末の筆記試験を総合して行う。

教材等
教科書…今井薫・岡田豊基・梅津明彦『レクチャー新保険法』（法律文化社）（2,８００円）
参考書…講義の中で指示する。

学生へのメッセージ
授業に出席することが重要です。授業中は、私語はしないでください。保険法の専門用語が多くありますので、用語の定義を重視してください。

関連科目
民法、商法総則Ⅰ・Ⅱ

担当者の研究室等
11号館9階　牛丸教授室

知的財産法
Intellectual Property Law

関　堂　幸　輔（セキドウ　コウスケ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
知的財産は，2002年の小泉首相（当時）による「知財立国宣言」以来，わが国の政策上の戦略的資源の一つとしても位置づけられており，ますますその重要性が増しつつあります。本講義では，知的財産法（知的所有権法）の概要を俯瞰することでなぜ知的財産が法的に保護されるべきなのかを理解し，その一方で，最新の事例等の問題を紹介しつつ，高度情報化社会に伴う情報の積極的な共有化と，いわば情報を囲い込む知的財産権との相克という観点から，将来の知的財産法制の在り方についても検討していくことを目標とします。

授業方法と留意点
板書中心の講義形式とし，適宜配付資料や視聴覚的資料を用います。なお，本来なら産業から文化まで広範囲に渡る知的財産法の全般を半年のみの科目で修めることはおよそ無理な話なのですが，本学部のカリキュラムはそれを強いていますので，やむを得ず本講義では特許法と著作権法のみを中心に授業を行います。

科目学習の効果（資格）
最先端かつ重要な特別法の分野に接することで，より応用的な法学の力や考え方が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　詳細なガイダンス
【内容・方法　等】　授業の内容，方法その他について詳細に説明します。
【事前・事後学習課題】　―
第２回　【授業テーマ】　情報の意義・性質と知的財産
【内容・方法　等】　いわば「情報を囲い込み独占する」という知的財産の制度が，情報本来の性質にどう関わってくるのか，法制度の趣旨と併せて検討します。
【事前・事後学習課題】　事後：当該回の内容の復習
第３回　【授業テーマ】　知的財産のいろいろ
【内容・方法　等】　特許権，実用新案権，意匠権，商標権，著作権などの対象として身近な例を取り上げ，それぞれ概要を理解します。
【事前・事後学習課題】　事後：当該回の内容の復習
第４回　【授業テーマ】　技術的アイディアの保護
【内容・方法　等】　特許権の対象である「発明」について理解します。
【事前・事後学習課題】　事後：当該回の内容の復習
第５回　【授業テーマ】　特許出願と特許権取得の手続
【内容・方法　等】　特許権を取得するための出願・審査・登録といった手続の流れを把握します。
【事前・事後学習課題】　事後：当該回の内容の復習
第６回　【授業テーマ】　特許権の性質・内容
【内容・方法　等】　特許権の存続期間と権利の及ぶ（逆に及ばない）範囲について学びます。「消尽論」「均等論」といった法学上の重要論点もここで取り上げます。
【事前・事後学習課題】　事後：当該回の内容の復習
第７回　【授業テーマ】　表示・標識の保護
【内容・方法　等】　識別性ないし周知性のある表示・標識を保護する制度としての商標法および不正競争防止法について簡単に説明します。
【事前・事後学習課題】　事後：当該回の内容の復習
第８回　【授業テーマ】　創作的表現の保護
【内容・方法　等】　著作権の対象である「著作物」，そしてそれを伝達する「実演」等について理解します。
【事前・事後学習課題】　事後：当該回の内容の復習
第９回　【授業テーマ】　著作権の内容 (1)
【内容・方法　等】　著作権や著作隣接権の具体的内容を把握します。
【事前・事後学習課題】　事後：当該回の内容の復習
第10回　【授業テーマ】　著作権の内容 (2)
【内容・方法　等】　同上。
【事前・事後学習課題】　事後：当該回の内容の復習
第11回　【授業テーマ】　著作権の制限 (1)
【内容・方法　等】　著作権等の存続期間（時間的制限）および「私的使用目的複製」「引用」など，著作権が制限される場合を理解し，そのような制度の趣旨や在り方について検討します。
【事前・事後学習課題】　事後：当該回の内容の復習
第12回　【授業テーマ】　著作権の制限 (2)
【内容・方法　等】　同上。
【事前・事後学習課題】　事後：当該回の内容の復習
第13回　【授業テーマ】　最新の事例・問題 (1)
【内容・方法　等】　知的財産法に関する最新の事例や問題点を取り上げ，検討します。
【事前・事後学習課題】　事後：当該回の内容の復習
第14回　【授業テーマ】　最新の事例・問題 (2)
【内容・方法　等】　同上。
【事前・事後学習課題】　事後：当該回の内容の復習
第15回　【授業テーマ】　試験、その他
【内容・方法　等】　試験により成績評価をします。試験についての詳細は授業にて説明します。
【事前・事後学習課題】　―

評価方法（基準）
最終回に行う試験100％で評価します。

教材等
教科書…担当者のウェブ（http://www.sekidou.com/）に資料を掲載します。
その他の詳細は授業内で指示します。
参考書…授業内で適宜紹介します。

学生へのメッセージ
こうした最先端の分野に関わる法律には，いわゆる「正解」がありません。現在妥当だとされる考え方が5年後，10年後に変わっている可能性さえあるのです。そうしたことを踏まえて，積極的に自分の頭で考えようとする姿勢が何よりも肝要です。

関連科目
民法（特に財産法），経済法，行政法

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　59　2014/10/14　17:50:39

担当者の研究室等
11号館6階　法学部

備考
担当者は各回ごとに特定の課題を与えることに特段の意義を見出していません。なぜなら，社会のさまざまな事象と密接に関連するこのような社会科学においては，周囲のあらゆることが学びのきっかけであり，またそれが絶ゆることはなく，すなわちいつでもどこでも予習・復習が必要なのですから。受講生においてもそのつもりで臨んで下さい。

知的所有権法
Intellectual Property Law

関　堂　幸　輔（セキドウ　コウスケ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
知的財産は，2002年の小泉首相（当時）による「知財立国宣言」以来，わが国の政策上の戦略的資源の一つとしても位置づけられており，ますますその重要性が増しつつあります。本講義では，知的財産法（知的所有権法）の概要を俯瞰することでなぜ知的財産が法的に保護されるべきなのかを理解し，その一方で，最新の事例等の問題を紹介しつつ，高度情報化社会に伴う情報の積極的な共有化と，いわば情報を囲い込む知的財産権との相克という観点から，将来の知的財産法制の在り方についても検討していくことを目標とします。

授業方法と留意点
板書中心の講義形式とし，適宜配付資料や視聴覚的資料を用います。なお，本来なら産業から文化まで広範囲に渡る知的財産法の全般を半年のみの科目で修めることはおよそ無理な話なのですが，本学部のカリキュラムはそれを強いていますので，やむを得ず本講義では特許法と著作権法のみを中心に授業を行います。

科目学習の効果（資格）
最先端かつ重要な特別法の分野に接することで，より応用的な法学の力や考え方が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】** 詳細なガイダンス
【内容・方法　等】 授業の内容，方法その他について詳細に説明します。
【事前・事後学習課題】 —
第２回　**【授業テーマ】** 情報の意義・性質と知的財産
【内容・方法　等】 いわば「情報を囲い込み独占する」という知的財産の制度が，情報本来の性質にどう関わってくるのか，法制度の趣旨と併せて検討します。
【事前・事後学習課題】 事後：当該回の内容の復習
第３回　**【授業テーマ】** 知的財産のいろいろ
【内容・方法　等】 特許権，実用新案権，意匠権，商標権，著作権などの対象として身近な例を取り上げ，それぞれ概要を理解します。
【事前・事後学習課題】 事後：当該回の内容の復習
第４回　**【授業テーマ】** 技術的アイディアの保護
【内容・方法　等】 特許権の対象である「発明」について理解します。
【事前・事後学習課題】 事後：当該回の内容の復習
第５回　**【授業テーマ】** 特許出願と特許権取得の手続
【内容・方法　等】 特許権を取得するための出願・審査・登録といった手続の流れを把握します。
【事前・事後学習課題】 事後：当該回の内容の復習
第６回　**【授業テーマ】** 特許権の性質・内容
【内容・方法　等】 特許権の存続期間と権利の及ぶ（逆に及ばない）範囲について学びます。「消尽論」「均等論」といった法学上の重要論点もここで取り上げます。
【事前・事後学習課題】 事後：当該回の内容の復習
第７回　**【授業テーマ】** 表示・標識の保護
【内容・方法　等】 識別性ないし周知性のある表示・標識を保護する制度としての商標法および不正競争防止法について簡単に説明します。
【事前・事後学習課題】 事後：当該回の内容の復習
第８回　**【授業テーマ】** 創作的表現の保護
【内容・方法　等】 著作権の対象である「著作物」，そしてそれを伝達する「実演」等について理解します。
【事前・事後学習課題】 事後：当該回の内容の復習
第９回　**【授業テーマ】** 著作権の内容 (1)
【内容・方法　等】 著作権や著作隣接権の具体的内容を把握します。
【事前・事後学習課題】 事後：当該回の内容の復習
第10回　**【授業テーマ】** 著作権の内容 (2)
【内容・方法　等】 同上。
【事前・事後学習課題】 事後：当該回の内容の復習
第11回　**【授業テーマ】** 著作権の制限 (1)
【内容・方法　等】 著作権等の存続期間（時間的制限）および「私的使用目的複製」「引用」など，著作権が制限される場合を理解し，そのような制度の趣旨や在り方について検討します。
【事前・事後学習課題】 事後：当該回の内容の復習
第12回　**【授業テーマ】** 著作権の制限 (2)
【内容・方法　等】 同上。
【事前・事後学習課題】 事後：当該回の内容の復習
第13回　**【授業テーマ】** 最新の事例・問題 (1)
【内容・方法　等】 知的財産法に関する最新の事例や問題点を取り上げ，検討します。
【事前・事後学習課題】 事後：当該回の内容の復習
第14回　**【授業テーマ】** 最新の事例・問題 (2)
【内容・方法　等】 同上。
【事前・事後学習課題】 事後：当該回の内容の復習
第15回　**【授業テーマ】** 試験、その他
【内容・方法　等】 試験により成績評価をします。試験についての詳細は授業にて説明します。
【事前・事後学習課題】 —

評価方法（基準）
最終回に行う試験100％で評価します。

教材等
教科書…担当者のウェブ（http://www.sekidou.com/）に資料を掲載します。
その他の詳細は授業内で指示します。
参考書…授業内で適宜紹介します。

学生へのメッセージ
こうした最先端の分野に関わる法律には，いわゆる「正解」がありません。現在妥当だとされる考え方が5年後，10年後に変わっている可能性さえあるのです。そうしたことを踏まえて，積極的に自分の頭で考えようとする姿勢が何よりも肝要です。

関連科目
民法（特に財産法），経済法，行政法

担当者の研究室等
11号館6階　法学部

備考
担当者は各回ごとに特定の課題を与えることに特段の意義を見出していません。なぜなら，社会のさまざまな事象と密接に関連するこのような社会科学においては，周囲のあらゆることが学びのきっかけであり，またそれが絶ゆることはなく，すなわちいつでもどこでも予習・復習が必要なのですから。受講生においてもそのつもりで臨んで下さい。

国際取引法 I
International Trade Law I

小　山　　昇（コヤマ　ノボル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
国際取引に適用される法について、その一般的な問題を検討することから始め、国際物品売買契約を中心に講義します。国際取引で適用される法の範囲は、国際条約や国際的規則だけでなく、「国際私法」や「渉外実質法」、「国際経済法」などにも及ぶため、その関係を明確にすることに力点を置き、国際取引法の基本的知識の理解を目標とします。

授業方法と留意点
教科書の理解を中心として、それを補充する国際条約や国際的規則も重視した講義をします。理解度の確認と復習のため、数回、授業時間の最後（２０分程度）に重要事項の「確認問題」を行います。

科目学習の効果（資格）
貿易関係など外国取引に関係する基本的知識が得られます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】** 国際取引の意義と特色
【内容・方法　等】 国際取引の現状、特色
【事前・事後学習課題】 教科書第１章第１節を読む
原則として、事後の学習を重視
第２回　**【授業テーマ】** 国際取引に適用される法①
【内容・方法　等】 国際取引法の定義・内容、「牴触法」と「渉外実質法」
【事前・事後学習課題】 教科書第１章第２節を読む
重要事項の確認
第３回　**【授業テーマ】** 国際取引に適用される法②
【内容・方法　等】 統一私法、国際的統一規則、公法的規制
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認
第４回　**【授業テーマ】** 国際取引の当事者①

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　60　2014/10/14　17:50:39

【内容・方法　等】 個人
【事前・事後学習課題】 確認問題の復習と重要事項の確認
教科書第２章を読む
第５回 【授業テーマ】 国際取引の当事者②
【内容・方法　等】 企業と法人、国家及び国家機関、国際法人
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認
第６回 【授業テーマ】 国際物品売買①
【内容・方法　等】 国際売買の構造と国際契約の準拠法
【事前・事後学習課題】 教科書第３章第１節を読む
重要事項の確認
第７回 【授業テーマ】 国際物品売買②
【内容・方法　等】 当事者自治の原則、
契約準拠法の構造
【事前・事後学習課題】 重要事項及び確認問題の再確認
第８回 【授業テーマ】 国際物品売買③
【内容・方法　等】 国際契約の方式の準拠法
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認
第９回 【授業テーマ】 国際物品売買④
【内容・方法　等】 ハーグ統一売買法
【事前・事後学習課題】 教科書第３章第２節を読む
重要事項の確認
第10回 【授業テーマ】 国際物品売買⑤
【内容・方法　等】 ウイーン統一売買法
【事前・事後学習課題】 重要事項及び確認問題の再確認
第11回 【授業テーマ】 国際物品売買⑥
【内容・方法　等】 インコタームズの概要
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認
第12回 【授業テーマ】 国際物品売買⑦
【内容・方法　等】 国際物品売買契約の成立、
契約交渉と契約の基本的条件
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認
第13回 【授業テーマ】 国際物品売買⑧
【内容・方法　等】 契約当事者の権利義務：その１
定型取引条件
【事前・事後学習課題】 重要事項及び確認問題の再確認
第14回 【授業テーマ】 国際物品売買⑨
【内容・方法　等】 契約当事者の権利義務：その２
売主の義務
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認
第15回 【授業テーマ】 国際物品売買⑩
【内容・方法　等】 契約当事者の権利義務：その３
買主の義務
所有権移転の準拠法
【事前・事後学習課題】 すべての確認問題・重要事項の確認

評価方法（基準）
定期試験(55%)と「確認問題」(45%)で評価し、定期試験では、「確認問題」を基礎とした応用問題を出題します。「確認問題」は、定期試験を受けた場合に限り点数化して成績評価に加えます。実施時の授業時間内に提出されなかったものはその評価の対象とはしません。

教材等
教科書…山田鐐一・佐野寛著『国際取引法（第３版補訂２版）』有斐閣(2,300円＋税)
参考書…授業で紹介します。

学生へのメッセージ
国際取引におけるグローバルスタンダードとは何かを知ってください。

関連科目
国際私法Ⅰ・Ⅱ、民法総則、債権法

担当者の研究室等
11号館9階　小山教授室

備考
２００９年度以前入学生科目名　『国際取引法』

国際取引法 II
International Trade Law II

小　山　　昇（コヤマ　ノボル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
国際取引に適用される法のうち、国際物品売買契約に関連する海上物品運送契約、貨物海上保険そして国際代金決済が中心となります。その他の個別契約類型については概観し、最後に、国際取引紛争の解決方法に言及します。国際取引の具体的契約について、その基本的知識を理解することが本講義の目標となります。

授業方法と留意点
教科書の理解を中心に、それを補充する国際条約や国際的規則を重視した講義をします。理解度を自ら確認するために、数回、授業時間の最後（２０分程度）に「確認問題」を実施します。

科目学習の効果（資格）
国際運送や国際代金決済など外国取引に関係する基本的知識が得られます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 国際物品運送①
【内容・方法　等】 国際物品運送の種類、国際海上物品運送法
【事前・事後学習課題】 教科書第３章第３節を読む
重要事項の確認
原則として、事後の学習を重視
第２回 【授業テーマ】 国際物品運送②
【内容・方法　等】 国際物品運送条約、船荷証券
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認
第３回 【授業テーマ】 国際物品運送③
【内容・方法　等】 国際航空運送とその国際条約
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認
第４回 【授業テーマ】 国際物品運送④
【内容・方法　等】 国際複合運送
【事前・事後学習課題】 重要事項及び確認問題の再確認
第５回 【授業テーマ】 国際貨物保険①
【内容・方法　等】 貨物海上保険契約、海上保険証券
【事前・事後学習課題】 教科書第３章第４節を読む
重要事項の確認
第６回 【授業テーマ】 国際貨物保険②
【内容・方法　等】 貨物海上保険契約の内容
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認
第７回 【授業テーマ】 国際代金決済①
【内容・方法　等】 代金決済の方式
【事前・事後学習課題】 教科書第３章第５節を読む
重要事項及び確認問題の再確認
第８回 【授業テーマ】 国際代金決済②
【内容・方法　等】 荷為替信用状
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認
第９回 【授業テーマ】 国際代金決済③
【内容・方法　等】 信用状統一規則
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認
第10回 【授業テーマ】 国際製造物責任
【内容・方法　等】 欧米とわが国の製造物責任法
【事前・事後学習課題】 教科書第３章第６節を読む
重要事項及び確認問題の再確認
第11回 【授業テーマ】 プラント輸出
【内容・方法　等】 プラント輸出契約の成立と内容
【事前・事後学習課題】 教科書第４章第１節・第２節を読む
重要事項の確認
第12回 【授業テーマ】 国際技術移転
【内容・方法　等】 国際技術移転契約
【事前・事後学習課題】 教科書第４章第３節を読む
重要事項の確認
第13回 【授業テーマ】 国際投資
【内容・方法　等】 国際投資と合弁事業
【事前・事後学習課題】 教科書第５章を読む
重要事項及び確認問題の再確認
第14回 【授業テーマ】 国際取引紛争の解決①
【内容・方法　等】 国際裁判管轄、外国判決の承認と執行
【事前・事後学習課題】 教科書第６章を読む
重要事項の確認
第15回 【授業テーマ】 国際取引紛争の解決②
【内容・方法　等】 国際商事仲裁
【事前・事後学習課題】 すべての確認問題・重要事項の確認

評価方法（基準）
定期試験(55%)と「確認問題」(45%)で評価します。定期試験では、「確認問題」を基礎とした応用問題を出題します。「確認問題」は、定期試験を受けた場合に限り点数化して成績評価に加えます。実施時の授業時間内に提出されなかったものはその評価の対象とはしません。

教材等
教科書…山田鐐一・佐野寛著『国際取引法（第３版補訂２版）』有斐閣(2,300円＋税)
参考書…授業で紹介します。

学生へのメッセージ
運送や保険について、わが国の取引関係法を再確認してください。国際取引法Ⅰを受講していることが非常に望ましい。

関連科目
国際取引法Ⅰ、債権法、商法、民事訴訟法、国際私法Ⅰ・Ⅱ

担当者の研究室等
11号館9階　小山教授室

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　61　2014/10/14　17:50:39

国際取引法
International Trade Law

小　山　　昇（コヤマ　ノボル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
国際取引に適用される法について、その一般的な問題を検討することから始め、国際物品売買契約を中心に講義します。国際取引で適用される法の範囲は、国際条約や国際的規則だけでなく、「国際私法」や「渉外実質法」、「国際経済法」などにも及ぶため、その関係を明確にすることに力点を置き、国際取引法の基本的知識の理解を目標とします。

授業方法と留意点
教科書の理解を中心として、それを補充する国際条約や国際的規則も重視した講義をします。理解度の確認と復習のため、数回、授業時間の最後（２０分程度）に重要事項の「確認問題」を行います。

科目学習の効果（資格）
貿易関係など外国取引に関係する基本的知識が得られます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】** 国際取引の意義と特色
【内容・方法　等】 国際取引の現状、特色
【事前・事後学習課題】 教科書第１章第１節を読む
原則として、事後の学習を重視
第２回　**【授業テーマ】** 国際取引に適用される法①
【内容・方法　等】 国際取引法の定義・内容、「抵触法」と「渉外実質法」
【事前・事後学習課題】 教科書第１章第２節を読む
重要事項の確認
第３回　**【授業テーマ】** 国際取引に適用される法②
【内容・方法　等】 統一私法、国際的統一規則、公法的規制
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認
第４回　**【授業テーマ】** 国際取引の当事者①
【内容・方法　等】 個人
【事前・事後学習課題】 確認問題の復習と重要事項の確認
教科書第２章を読む
第５回　**【授業テーマ】** 国際取引の当事者②
【内容・方法　等】 企業と法人、国家及び国家機関、国際法人
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認
第６回　**【授業テーマ】** 国際物品売買①
【内容・方法　等】 国際売買の構造と国際契約の準拠法
【事前・事後学習課題】 教科書第３章第１節を読む
重要事項の確認
第７回　**【授業テーマ】** 国際物品売買②
【内容・方法　等】 当事者自治の原則、
契約準拠法の構造
【事前・事後学習課題】 重要事項及び確認問題の再確認
第８回　**【授業テーマ】** 国際物品売買③
【内容・方法　等】 国際契約の方式の準拠法
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認
第９回　**【授業テーマ】** 国際物品売買④
【内容・方法　等】 ハーグ統一売買法
【事前・事後学習課題】 教科書第３章第２節を読む
重要事項の確認
第10回　**【授業テーマ】** 国際物品売買⑤
【内容・方法　等】 ウイーン統一売買法
【事前・事後学習課題】 重要事項及び確認問題の再確認
第11回　**【授業テーマ】** 国際物品売買⑥
【内容・方法　等】 インコタームズの概要
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認
第12回　**【授業テーマ】** 国際物品売買⑦
【内容・方法　等】 国際物品売買契約の成立、
契約交渉と契約の基本的条件
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認
第13回　**【授業テーマ】** 国際物品売買⑧
【内容・方法　等】 契約当事者の権利義務：その１
定型取引条件
【事前・事後学習課題】 重要事項及び確認問題の再確認
第14回　**【授業テーマ】** 国際物品売買⑨
【内容・方法　等】 契約当事者の権利義務：その２
売主の義務
【事前・事後学習課題】 重要事項の確認
第15回　**【授業テーマ】** 国際物品売買⑩
【内容・方法　等】 契約当事者の権利義務：その３
買主の義務
所有権移転の準拠法
【事前・事後学習課題】 すべての確認問題・重要事項の確認

評価方法（基準）
定期試験(55%)と「確認問題」(45%)で評価し、定期試験では、「確認問題」を基礎とした応用問題を出題します。「確認問題」は、定期試験を受けた場合に限り点数化して成績評価に加えます。実施時の授業時間内に提出されなかったものはその評価の対象とはしません。

教材等
教科書…山田鎌一・佐野寛著『国際取引法（第３版補訂２版）』有斐閣(2,300円＋税)
参考書…授業で紹介します。

学生へのメッセージ
国際取引におけるグローバルスタンダードとは何かを知ってください。

関連科目
国際私法Ⅰ・Ⅱ、民法総則、債権法

担当者の研究室等
11号館9階　小山教授室

労働保護法
Labor Standards Law

樫　原　義比古（カシハラ　ヨシヒコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
労働者の保護を目的とする法規のすべてを労働保護法と呼ぶ。この授業では、労働保護法の分野の中から、労働法の意義、法源と体系、労働者と使用者の概念、労働契約における権利と義務、労働基準法の基本理念、雇用の分野における男女の平等と就労の援助、労働契約の成立とその展開、労働時間などの問題を取り扱う。授業の中では、近時問題となっている論争的テーマを織込み、問題の背景、状況などの分析を通じて法的対応や紛争解決のあり方を検討する。

授業方法と留意点
教科書、判例、資料等を用いて検討する。判例や関係資料を指定するので各自で問題点を整理するなどして、予習をしておくこと。

科目学習の効果（資格）
労働基準監督官、社会保険労務士の資格取得のための必修科目

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】** 労働法の意義
【内容・方法　等】 ・労働法の意義と概念
・労働法の性格
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.２－６
第２回　**【授業テーマ】** 労働法の法源と体系
【内容・方法　等】 ・法源の種類
・個別的労働関係法、雇用保障法、団体的労働関係法、公務員労働関係法
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.７－１４
第３回　**【授業テーマ】** 労働者と使用者の概念、労働基準法の適用範囲
【内容・方法　等】 ・労働者と使用者の概念、法適用対象としての労働者と使用者、契約当事者としての労働者と使用者
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.２８－３６
第４回　**【授業テーマ】** 労働契約における権利と義務
【内容・方法　等】 ・労務提供と報酬の支払い義務、職場規律の維持
・誠実義務、配慮義務
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.９７－１０２
第５回　**【授業テーマ】** 労働基準法の基本理念
【内容・方法　等】 ・労働条件の基準、労働条件の決定原則
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.４９－５１
第６回　**【授業テーマ】** 雇用の分野における男女の平等と就労の援助
【内容・方法　等】 ・男女同一賃金の原則、男女雇用機会均等法、性差別と公序良俗、育児・介護休業法
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.５４－６６
第７回　**【授業テーマ】** 労働契約の成立とその展開Ⅰ
【内容・方法　等】 ・募集、採用内定、試用期間、本採用
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.８１－８９
第８回　**【授業テーマ】** 労働契約の成立とその展開Ⅱ
【内容・方法　等】 ・労働契約締結に関する法規制、契約の期間、労働条件の明示義務、賠償予定の禁止、前借相殺の禁止、強制貯金の禁止
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.８９－９６
第９回　**【授業テーマ】** 労働時間Ⅰ
【内容・方法　等】 ・労働時間の短縮
・労基法の改正
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.１３２－１３４
第10回　**【授業テーマ】** 労働時間Ⅱ
【内容・方法　等】 ・週休制、休日の振替・代休
・年休権、利用目的、時季指定権、時季変更権
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.１６０－１７０

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　62　　2014/10/14　17:50:39

第11回 【授業テーマ】 労働時間Ⅲ
【内容・方法　等】 ・変形労働時間制、一ヵ月以内、一年以内、非定形
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.１４０ー１４３
第12回 【授業テーマ】 労働時間Ⅳ
【内容・方法　等】 ・裁量労働制
・フレックスタイム制
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.１３７－１４４
第13回 【授業テーマ】 労働時間Ⅴ
【内容・方法　等】 ・労働時間規制の適用除外、例外
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.１４４－１４８
第14回 【授業テーマ】 賃金
【内容・方法　等】 ・賃金の意義、労基法上の賃金、平均賃金
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.１１３ー１１６
第15回 【授業テーマ】 退職金
【内容・方法　等】 ・退職金、退職年金
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.１１７－１２０

評価方法（基準）
学期末テスト、授業出席時の質疑応答への積極性、レポート等を総合して評価する。

教材等
教科書…安枝英訷・西村健一郎著　「労働法（第10版）」（有斐閣）
参考書…菅野和夫著　「労働法（第七版補正第二版）」（弘文堂）

学生へのメッセージ
教科書、判例、その他の資料を事前に読み、疑問点については、質問あるいは自分の考えを主張し、知識の習得と同時に、各自で自分の考えを的確に表現できる能力を養うことにも努めて欲しい。

関連科目
憲法、民法、

担当者の研究室等
11号館10階　樫原教授室

労働組合法
Labor Union Law

樫　原　義比古（カシハラ　ヨシヒコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
労働法は、個別的労働関係法、雇用保障法(労働市場法)、団体的労働関係法などに大きく分かれる。この授業では、団体的労働関係法の中から主要なテーマを取り上げる。なお、授業の中では、今日的な論争的話題を織り込んでいきたい。

授業方法と留意点
教科書、判例、資料等を用いて検討する。判例や関係資料を指定するので各自で問題点を整理するなどして、予習をしておくこと。

科目学習の効果（資格）
労働基準監督官、社会保険労務士の資格試験の必修科目

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 団体的労働関係法の歴史と現状
【内容・方法　等】 労働法制の概観、労使関係の現状と問題点
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.２６６－２６９
第２回 【授業テーマ】 労働組合
【内容・方法　等】 労働組合の要件、労働組合の組織と運営
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.２７０－２７６
第３回 【授業テーマ】 団体交渉
【内容・方法　等】 団体交渉権の保障、団体交渉の当事者・交渉事項・態様
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.２８４－２９０
第４回 【授業テーマ】 労働協約（1）
【内容・方法　等】 意義、機能、協約の成立、内容、効力
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.２９１－３０３
第５回 【授業テーマ】 労働協約（2）
【内容・方法　等】 労働協約の拡張適用制度
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.３０３－３０５
第６回 【授業テーマ】 争議行為
【内容・方法　等】 意義、法的保護、争議行為の正当性
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.３０９－３１９
第７回 【授業テーマ】 違法な争議行為とその責任
【内容・方法　等】 刑事責任、民事責任、懲戒責任
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.３２１ー３２４
第８回 【授業テーマ】 ロックアウト
【内容・方法　等】 意義、根拠、成立要件、正当性
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.３２５－３２８
第９回 【授業テーマ】 労働争議の調整
【内容・方法　等】 争議の調整、緊急調整
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.３３１－３３３
第10回 【授業テーマ】 組合活動（1）
【内容・方法　等】 法的保障、就業時間中の組合活動
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.３３４－３３６
第11回 【授業テーマ】 組合活動（2）
【内容・方法　等】 企業施設を利用した組合活動、便宜供与
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.３３６－３４４
第12回 【授業テーマ】 不当労働行為（1）
【内容・方法　等】 意義と概要、行為の主体
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.３４５－３５０
第13回 【授業テーマ】 不当労働行為（2）
【内容・方法　等】 類型と成立要件、救済手続
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.３５０－３７０
第14回 【授業テーマ】 不当労働行為（3）
【内容・方法　等】 複数組合間の差別問題
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.３６１－３６４
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 近時の団体的労働関係上の諸問題
【事前・事後学習課題】 各種の裁判例

評価方法（基準）
学期末テスト、授業出席時の質疑応答への積極性、レポート等を総合して評価する。

教材等
教科書…安枝英訷・西村健一郎著　「労働法（第10版）」（有斐閣）
参考書…菅野和夫著　「労働法（第七版補正第二版）」　（弘文堂）

学生へのメッセージ
教科書、判例、その他の資料を事前に読み、疑問点については、質問あるいは自分の考えを主張し、知識の習得と同時に、各自で自分の考えを的確に表現できる能力を養うことにも努めてほしい。

関連科目
憲法、民法、労働保護法、

担当者の研究室等
11号館10階　樫原教授室

社会保障法
Social Security Law

樫　原　義比古（カシハラ　ヨシヒコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
高齢社会の急速な到来と少子化など、日本の厳しい政治、経済、社会の状況を踏まえて、社会保障制度自体が適切な法的対応を現しているのかどうか今日検討を迫られている。そこで、まず総論として、社会保障（法）とは何か、社会保障法の生成と発展から検討することなしには、従来の議論に何か新しいものを付け加えることができない。そのうえで、各論として、医療保険、介護保険、年金保険、労働保険、社会手当、社会福祉、公的扶助などの検討を通じて、現代社会保障法の現状と課題を明らかにしていきたい。

授業方法と留意点
教科書、資料等を用いた講義方式を中心に、適宜ディスカッションやレポートの提出を求めることがある。

科目学習の効果（資格）
社会保険労務士ほか

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 社会保障法の構造と特質
【内容・方法　等】 社会保障法の概念と内容、種類と体系
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.３－９
第２回 【授業テーマ】 社会保障法の生成と発展
【内容・方法　等】 諸外国の社会保障と法、社会保障と国際社会、日本の社会保障法の展開
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.１１－３８
第３回 【授業テーマ】 社会保障の権利
【内容・方法　等】 生存権理念の歴史的発展、日本国憲法と社会保障法、社会保障受給権の諸類型とその手続的保障
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.３９－５７
第４回 【授業テーマ】 女性と社会保障
【内容・方法　等】 女性の生き方の多様化と社会保障
【事前・事後学習課題】 プリント
第５回 【授業テーマ】 医療保障
【内容・方法　等】 社会保障と医療制度、医療保険、介護保険
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.７１－１２３
第６回 【授業テーマ】 年金保険
【内容・方法　等】 年金保険の体系と現状、国民年金法、厚生年金保険法
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.１５５－２０４
第７回 【授業テーマ】 公的扶助Ⅰ
【内容・方法　等】 生活保護法の地位と性格、生活保護法運営

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　63　2014/10/14　17:50:39

の原則
【事前・事後学習課題】 課題　テキストp.３１１－３１９
第８回 【授業テーマ】 公的扶助Ⅱ
【内容・方法　等】 生活保護給付の範囲と方法、保護の機関と実施方法、生活保護法と裁判例
【事前・事後学習課題】 課題　テキストp.３２０－３３０
第９回 【授業テーマ】 社会福祉Ⅰ
【内容・方法　等】 社会福祉サービスと法
【事前・事後学習課題】 課題　テキストp.２９－３０
第10回 【授業テーマ】 社会福祉Ⅱ
【内容・方法　等】 無拠出年金・手当
【事前・事後学習課題】 課題　テキストp.１６４－１６５
第11回 【授業テーマ】 労働保険Ⅰ
【内容・方法　等】 労働保険
【事前・事後学習課題】 課題　テキストp.２０５－２１６
第12回 【授業テーマ】 労働保険Ⅱ
【内容・方法　等】 労災保険と裁判例
【事前・事後学習課題】 課題　テキストp.２１６－２２８
第13回 【授業テーマ】 労働保険Ⅲ
【内容・方法　等】 雇用保険
【事前・事後学習課題】 課題　テキストp.２２８－２５９
第14回 【授業テーマ】 介護保険(1)
【内容・方法　等】 介護保険の創設、介護保険の認定と給付
【事前・事後学習課題】 課題　テキストp.１２５－１３６
第15回 【授業テーマ】 介護保険(2)
【内容・方法　等】 介護保険の財政システム
【事前・事後学習課題】 課題　テキストp.１３７－

評価方法（基準）
期末テストの結果を中心に、ディスカッションやレポート等を総合的に勘案して評価。

教材等
教科書…窪田隼人・佐藤進・河野正輝編　「新現代社会保障法入門」(第3版)
2002年(3300円)、法律文化社
参考書…「講座社会保障法」1-6巻、法律文化社

学生へのメッセージ
教科書、資料を事前に読み、疑問点については、質問あるいは自分の考えを主張し、知識の習得と同時、各自で自分の考えを適切に表現できる能力を養うことにも努めてほしい。

関連科目
法律学以外に政治学、経済学などの科目

担当者の研究室等
11号館10階　樫原教授室

環境法
Environmental Law

浮　田　　徹（ウキタ　トオル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
環境にまつわる法と制度を周辺の事情なども含めて学習します。国家と環境の関係について、法律学的な検討だけでなくその他環境法の総合的理解に必要な観点から考察を加えます。

授業方法と留意点
講義形式です。領域の性質上、他専攻の教員の協力を仰いだ講義も組み込む予定です。

科目学習の効果（資格）
新司法試験の選択科目です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法　等】 ・講義の進め方、環境法を学ぶにあたっての前提事項の確認など
【事前・事後学習課題】 ――――
第２回 【授業テーマ】 環境法概説
【内容・方法　等】 ・法哲学的にみた「環境」とは
【事前・事後学習課題】 配布プリント復習
第３回 【授業テーマ】 環境法と権利①
【内容・方法　等】 ・環境法における実定法的「権利」とは
【事前・事後学習課題】 配布プリント復習
第４回 【授業テーマ】 環境法と環境行政①
【内容・方法　等】 ・環境法、環境行政の歴史①
【事前・事後学習課題】 配布プリント復習
第５回 【授業テーマ】 環境法と環境行政②
【内容・方法　等】 ・環境法、環境行政の歴史②
【事前・事後学習課題】 配布プリント復習
第６回 【授業テーマ】 環境と訴訟①
【内容・方法　等】 ・四大公害裁判と民事訴訟理論の展開①
【事前・事後学習課題】 配布プリント復習
第７回 【授業テーマ】 環境と訴訟②
【内容・方法　等】 ・四大公害裁判と民事訴訟理論の展開②
【事前・事後学習課題】 配布プリント復習
第８回 【授業テーマ】 環境と訴訟③
【内容・方法　等】 ・新しい形態をとる環境訴訟
【事前・事後学習課題】 配布プリント復習
第９回 【授業テーマ】 環境政策と基本法①
【内容・方法　等】 ・環境基本法の制定とその内容①
【事前・事後学習課題】 配布プリント復習
第10回 【授業テーマ】 環境政策と基本法②
【内容・方法　等】 ・環境基本法の制定とその内容②
【事前・事後学習課題】 配布プリント復習
第11回 【授業テーマ】 環境に対する事前の措置①
【内容・方法　等】 ・環境影響評価法の導入とその仕組み①
【事前・事後学習課題】 配布プリント復習
第12回 【授業テーマ】 環境に対する事前の措置②
【内容・方法　等】 ・環境影響評価法の導入とその仕組み②
【事前・事後学習課題】 配布プリント復習
第13回 【授業テーマ】 領域を越えた環境問題①
【内容・方法　等】 ・環境問題のグローバル化
【事前・事後学習課題】 配布プリント復習
第14回 【授業テーマ】 領域を越える環境問題②
【内容・方法　等】 ・領域を越えた環境問題の解決
【事前・事後学習課題】 配布プリント復習
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 環境法・環境行政・環境政策
【事前・事後学習課題】 ――――

評価方法（基準）
毎回の小課題、期末試験を基本として評価します。詳細は講義初回に配布するプリントを参照すること。

教材等
教科書…なし。
参考書…講義中指定することがあります。

学生へのメッセージ
資料等は適宜配布します。その他詳細については初回に配布するプリントを参照すること。

関連科目
憲法I、憲法II、行政法などの公法科目と関連します。法哲学、行政学や、民法(不法行為など)、民事訴訟法などとも関連します。

担当者の研究室等
11号館9階　浮田准教授室

刑事訴訟法Ⅰ
Criminal Procedure I

島　田　良　一（シマダ　リョウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
本授業では、刑事手続のうち、捜査段階について、学説・判例の状況を踏まえながら解説する。一般的に、新聞・テレビ等で刑事事件に接する際、とかく捜査機関あるいは犯罪被害者の視点で報じられることが多いように思われるが、本授業においては、刑事訴訟法が「公共の福祉の維持と個人の基本的人権の保障とを全うしつつ、事案の真相を明らかにし、刑罰法令を適正且つ迅速に適用実現する」ことをその目的としていることにも鑑み、捜査機関のみならず被疑者・被告人あるいは裁判官の視点にも立った解説を行う予定である。

授業方法と留意点
下記で指定した教科書及びそれをもとに作成したレジュメを中心に授業を行う。

科目学習の効果（資格）
我が国の刑事手続に関する基本的な知識を習得する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法　等】 授業の進め方に関する説明、文献・参考書の紹介
【事前・事後学習課題】 教科書の入手
第２回 【授業テーマ】 刑事訴訟法の基礎
【内容・方法　等】 刑事手続概観、刑事手続の関係者
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第３回 【授業テーマ】 捜査概説
【内容・方法　等】 捜査機関、捜査の端緒（職務質問、自動車検問等）
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第４回 【授業テーマ】 捜査の一般原則
【内容・方法　等】 比例原則、令状主義、強制処分法定主義

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　64　　2014/10/14　17:50:40

【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第５回 【授業テーマ】 被疑者の身柄拘束①
【内容・方法　等】 逮捕・勾留について
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第６回 【授業テーマ】 被疑者の身柄拘束②
【内容・方法　等】 逮捕・勾留に関する諸問題
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第７回 【授業テーマ】 供述の採取①
【内容・方法　等】 被疑者・参考人の取調べ
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第８回 【授業テーマ】 供述の採取②
【内容・方法　等】 被疑者・参考人の取調べに関する諸問題
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第９回 【授業テーマ】 証拠物の収集①
【内容・方法　等】 捜索・押収・検証などについて
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第10回 【授業テーマ】 証拠物の収集②
【内容・方法　等】 捜索、押収、検証などに関する諸問題
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第11回 【授業テーマ】 その他の捜査方法
【内容・方法　等】 写真撮影、秘密録音、おとり捜査などについて
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第12回 【授業テーマ】 被告人の防御①
【内容・方法　等】 黙秘権、弁護人選任権、接見交通権などについて
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第13回 【授業テーマ】 被告人の防御②
【内容・方法　等】 黙秘権、弁護人選任権、接見交通権などに関する諸問題
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第14回 【授業テーマ】 捜査の終結
【内容・方法　等】 事件処理、起訴後の捜査について
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 重要論点の再解説
【事前・事後学習課題】 重要論点の確認

評価方法（基準）
定期試験の成績(80％)と授業中に随時行う予定である小テストの成績(20％)で評価する。

教材等
教科書…山本正樹・渡辺修・宇藤崇・松田岳士「プリメール刑事訴訟法」法律文化社（2,800円＋税）
参考書…宇藤崇・松田岳士・堀江慎司「刑事訴訟法」有斐閣（3,400円＋税）

学生へのメッセージ
刑事訴訟法では、捜査・公判における現実の「場面」が問題となります。問題となっている「場面」において、もし自分が警察官・検察官だったら、裁判官だったら、あるいは被疑者・被告人・弁護人だったらどう考えるか、それぞれの視点に立って考えてみてください。

関連科目
刑事訴訟法Ⅱ、刑法総論、刑法各論、刑事政策、少年法など。

担当者の研究室等
11号館9階　島田准教授室

備考
六法は必ず持参してください。

刑事訴訟法II
Criminal Procedure II

島　田　良　一（シマダ　リヨウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
本授業では、刑事手続のうち、公訴・公判段階について、学説・判例の状況を踏まえながら解説する。一般的に、新聞・テレビ等で刑事事件に接する際、とかく捜査機関あるいは犯罪被害者の視点で報じられることが多いように思われるが、本授業においては、刑事訴訟法が「公共の福祉の維持と個人の基本的人権の保障とを全うしつつ、事案の真相を明らかにし、刑罰法令を適正且つ迅速に適用実現する」ことをその目的としていることにも鑑み、捜査機関のみならず被疑者・被告人あるいは裁判官の視点にも立った解説を行う予定である。

授業方法と留意点
下記で指定した教科書及びそれをもとに作成したレジュメを中心に授業を行う。

科目学習の効果（資格）
我が国の刑事手続に関する基本的な知識を習得する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法　等】 授業の進め方に関する説明、文献・参考書の紹介
【事前・事後学習課題】 教科書の入手
第２回 【授業テーマ】 公訴提起①
【内容・方法　等】 公訴提起に関する基本原則について
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第３回 【授業テーマ】 公訴提起②
【内容・方法　等】 公訴提起の手続について
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第４回 【授業テーマ】 訴因制度
【内容・方法　等】 訴因について
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第５回 【授業テーマ】 訴因変更①
【内容・方法　等】 訴因変更の要否・可否について
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第６回 【授業テーマ】 訴因変更②
【内容・方法　等】 訴因変更の許否、訴因変更命令について
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第７回 【授業テーマ】 公判手続①
【内容・方法　等】 公判手続に関する基本原則について
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第８回 【授業テーマ】 公判手続②
【内容・方法　等】 公判準備について
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第９回 【授業テーマ】 公判手続③
【内容・方法　等】 公判期日における審判手続について
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第10回 【授業テーマ】 証拠法①
【内容・方法　等】 証拠法の諸原則について
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第11回 【授業テーマ】 証拠法②
【内容・方法　等】 違法収集証拠排除法則について
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第12回 【授業テーマ】 証拠法③
【内容・方法　等】 自白法則について
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第13回 【授業テーマ】 証拠法④
【内容・方法　等】 伝聞法則について
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第14回 【授業テーマ】 裁判
【内容・方法　等】 裁判の手続、確定とその効力、一事不再理などについて
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読しておいてください。
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 重要論点の再解説
【事前・事後学習課題】 重要論点の確認

評価方法（基準）
定期試験の成績(80%)と授業中に随時行う予定である小テストの成績(20%)で評価する。

教材等
教科書…山本正樹・渡辺修・宇藤崇・松田岳士「プリメール刑事訴訟法」法律文化社（2,800円）
参考書…宇藤崇・松田岳士・堀江慎司「刑事訴訟法」有斐閣（3,400円＋税）

学生へのメッセージ
刑事訴訟法では、捜査・公判における現実の「場面」が問題となります。問題となっている「場面」において、もし自分が警察官・検察官だったら、裁判官だったら、あるいは被疑者・被

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　65　2014/10/14　17:50:40

告人だったらどう考えるか、それぞれの視点に立って考えてみてください。

関連科目

刑事訴訟法Ⅰ、刑法総論、刑法各論、刑事政策、少年法など。

担当者の研究室等

11号館9階　島田准教授室

民事訴訟法Ⅰ
Civil Procedure Ⅰ

萩　原　佐　織（ハギハラ　サオリ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

民法等により認められた権利が害され、私人間に紛争が生じた場合、その紛争解決手段として用いられるのが民事訴訟手続である。紛争の対象として取り扱うのが民法上の権利であるため、民法全般の復習・発展に役立つ。また、「実体法である民法」と「手続法である民事訴訟法を」含めた『民事法』としての総合的理解を図り、それらの知識を深めることを、目標とする。多様な紛争関係者を前提として適正・迅速といった対立する目的を実現しなければならないため、多面的な思考を養うことにも資する。

授業方法と留意点

講義は、教科書と六法を用いて、板書により行う。毎回、主要個所を括弧空けにした補助教材のプリントを配布するので、講義において、自分でその括弧に当てはまる用語や説明等を書き込む。講義内容に応じ、パワーポイントを用いた講義形式で行う場合もある。双方向の講義を目標としているため、座席指定を行い（座席の選択は自由）、質疑応答を行う。なお、多角的な知識を得、理解を深めるため、復習・確認演習ならびにレポートを数回実施し、評価の対象とする。

科目学習の効果（資格）

・紛争解決手段である民事訴訟手続のしくみが理解できるようになる。
・大学院ならびに法科大学院等への進学、裁判所職員（事務官・書記官）、司法書士、法検スタンダードコースなどの受験に対応できる知識・応用力を養われる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　・ガイダンス
・民事訴訟法の概要
・民事訴訟法と他の法律（憲法、民法、民事保全・執行法、倒産法）との関係
【内容・方法　等】　・授業の進め方、受講上の注意、評価方法等について
・裁判を受ける権利
・訴訟と非訟
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 55～76

第２回　【授業テーマ】　・裁判
【内容・方法　等】　・訴訟に勝てばどうなるのか
・訴訟には、どれだけの時間と費用がかかるか
・裁判にあたる人たち（裁判官、弁護士）
・紛争処理の方策（ADR、調停、仲裁）
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 5～54
前回講義における配布資料の復習

第３回　【授業テーマ】　・裁判所Ⅰ
【内容・方法　等】　・裁判所の種類
・最高裁判所
・高等裁判所
【事前・事後学習課題】　配布資料
前回講義における配布資料の復習

第４回　【授業テーマ】　・裁判所Ⅱ
【内容・方法　等】　・地方裁判所
・家庭裁判所
・簡易裁判所
【事前・事後学習課題】　配布資料
前回講義における配布資料の復習

第５回　【授業テーマ】　・上訴
【内容・方法　等】　・特別の不服申立て
・控訴
・上告
・抗告
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 311～332
前回講義における配布資料の復習

第６回　【授業テーマ】　・管轄（審理・判決はどの裁判所でするのか？）
【内容・方法　等】　・事物管轄と土地管轄
・合意管轄と応訴管轄
・移送
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 109～126
前回講義における配布資料の復習

第７回　【授業テーマ】　・訴えの種類（どんな訴えが起こせるか？）
【内容・方法　等】　・給付の訴え、確認の訴え、形成の訴え
・訴えの併合、訴えの変更、反訴
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 77～108
前回講義における配布資料の復習

第８回　【授業テーマ】　・当事者（訴える人、訴えられる人とは？）
【内容・方法　等】　・誰が当事者になれるか？（権利能力、当事者能力）
・誰が当事者になるのが正しいか？（当事者適格、選定当事者）
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 127～140
前回講義までに配布した全資料の復習

第９回　【授業テーマ】　・民事訴訟の基本原則
・事実認定
【内容・方法　等】　・処分権主義
・弁論主義
・自由心証主義
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 217～240　（222～228〈訴えの取下げ、請求の放棄・認諾、訴訟上の和解、は除く）
前回講義における配布資料の復習

第10回　【授業テーマ】　・訴訟審理の進め方
【内容・方法　等】　・訴えの提起から判決まで
・口頭弁論はどのように実地されるか？
・争点および証拠の整理
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 179～214　（204～209〈相殺の抗弁〉は除く）
前回講義における配布資料の復習

第11回　【授業テーマ】　・事実認定と証拠
【内容・方法　等】　・証拠はなぜ必要なのか？
・自由心証主義
・証拠の種類
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 241～257　(257～文書提出命令、証明責任等は除く）
前回講義における配布資料の復習

第12回　【授業テーマ】　・判決の成立と効力
【内容・方法　等】　・既判力
・執行力
・形成力
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 283～310
前回講義における配布資料の復習

第13回　【授業テーマ】　・再審
【内容・方法　等】　・再審の訴え～確定判決を動かす方法～
・再審訴訟の手続
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 330～332
前回講義における配布資料の復習

第14回　【授業テーマ】　・少額訴訟
【内容・方法　等】　・少額訴訟の要件と特則
・少額訴訟債権執行
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 333～338
前回講義における配布資料の復習

第15回　【授業テーマ】　・まとめ＆復習
【内容・方法　等】　・講義全体のまとめと復習
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 335～368
当該講義において配布した全資料の復習

評価方法（基準）

中間・定期試験(80%)、ならびに復習・確認演習やレポート等(20%)により総合評価する。また、講義への積極的な姿勢による加点や、講義中の態度による減点を考慮する。詳細は講義にて。

教材等

教科書…・中野貞一郎著『民事裁判入門 [第3版補訂版]』　（有斐閣　2012年）　2,200円＋税
・六法（出版社不問）

参考書…・高橋宏志・高田裕成・畑瑞穂編『民事訴訟法 判例百選 [第4版]』　有斐閣（2010年）2,800円＋税
・梅本吉彦『民事訴訟法[第4版]』（信山社　2009年）6.500円＋税
・市川正人・酒巻匡・山本和彦著　『現代の裁判[第6版]』（有斐閣アルマ　2013年）　1,700+税
・その他、講義において、適宜紹介する。

学生へのメッセージ

講義中における私語・携帯等の使用については、他の学生の迷惑になるので、厳しく対処します。教科書と六法は講義で常に使用するので、必ず持参すること。民事訴訟法を学ぶことで、既に学んだ民事法全般の知識をリフレッシュかつ深めてください。

関連科目

民法全般、民事保全・執行法、民事訴訟法Ⅱ、倒産法

担当者の研究室等

11号館9階 萩原講師室

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　66　2014/10/14　17:50:40

民事訴訟法II
Civil ProcedureII

萩　原　佐　織（ハギハラ　サオリ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

民法等により認められた権利が害され、私人間に紛争が生じた場合、その紛争解決手段として用いられるのが民事訴訟手続である。当該講義は、紛争解決手段としての民事訴訟手続につき、民事訴訟法Ⅰで学んだ知識をもとに、それらを発展・応用する能力を培うことを目的とする。ただし、民事訴訟法Ⅰの未履修者でも容易に理解できるよう講義やレジュメにつき配慮しているので、民事訴訟法Ⅰ未履修者でも興味があれば履修して差し支えない。紛争の対象として取り扱うのが民法上の権利であるため、民法全般の復習・発展に役立つ。また、「実体法である民法」と「手続法である民事訴訟法を」含めた『民事法』としての総合的理解を図り、それらの知識を深めることを、目標とする。

授業方法と留意点

講義は、教科書と六法を用いて、板書により行う。毎回、主要個所を括弧空けにした補助教材のプリントを配布するので、講義において、自分でその括弧に当てはまる用語や説明等を書き込む。講義内容に応じ、パワーポイントを用いた講義形式で行う場合もある。双方向の講義を目標としているため、座席指定を行い（座席の選択は自由）、質疑応答を行う。なお、多角的な知識を得、理解を深めるため、復習・確認演習ならびにレポートを数回実施し、評価の対象とする。

科目学習の効果（資格）

・紛争解決手段である民事訴訟手続のしくみが理解できるようになる。
・大学院ならびに法科大学院等への進学、裁判所職員（事務官・書記官）、司法書士、法検スタンダードコースなどの受験に対応できる知識・応用力を養う。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回
【授業テーマ】・ガイダンス
・現在の裁判
【内容・方法　等】・授業の進め方、受講上の注意、評価方法等について
・現在の裁判における状況
・時事問題
【事前・事後学習課題】配布資料の復習

第２回
【授業テーマ】・民事裁判権の限界
【内容・方法　等】・裁判権免除
・国際裁判管轄
【事前・事後学習課題】教科書　P. 119～126
配布資料の復習

第３回
【授業テーマ】・複数当事者　～共同訴訟が認められる場合とは？～
【内容・方法　等】・共同訴訟は、どういう場合に認められるのか？
・通常共同訴訟
・必要的共同訴訟
・同時審判申出訴訟
【事前・事後学習課題】教科書　P. 140～154
講義における配布資料の復習

第４回
【授業テーマ】・複数当事者　～第三者の訴訟参加～
【内容・方法　等】・他人の訴訟に割り込む方法
・補助参加
・独立当事者参加
【事前・事後学習課題】教科書　P. 154～168
・講義における配布資料の復習

第５回
【授業テーマ】・複数当事者　～訴訟承継～
【内容・方法　等】・訴訟が承継されるときとは？
・当事者が亡くなったら訴訟はどうなるのか？
・係争物の譲渡　～参加承継・引受承継～
・第三者の訴訟引込み
・任意的当事者変更
【事前・事後学習課題】教科書　P. 168～178
講義における配布資料の復習

第６回
【授業テーマ】・訴訟審理の進め方
【内容・方法　等】・相殺の抗弁
・当事者は期日に欠席してもいいのか？
【事前・事後学習課題】教科書　P. 204～209、214～216
講義における配布資料の復習

第７回
【授業テーマ】・訴訟の終了
【内容・方法　等】・訴えの取下げ
・請求の放棄/認諾
・訴訟上の和解
【事前・事後学習課題】教科書　P. 222～227
講義における配布資料の復習

第８回
【授業テーマ】・前回までの講義内容のまとめ＆復習
【内容・方法　等】・前回までの講義内容についてのまとめと復習、ならびに質疑応答
【事前・事後学習課題】前回講義までの内容についての復習、ならびに疑問点の抽出
前回講義までに配布した全資料の復習

第９回
【授業テーマ】・証拠　～文書提出命令～
【内容・方法　等】・文書提出命令
【事前・事後学習課題】教科書　P. 257～264
講義における配布資料の復習

第10回
【授業テーマ】・証拠　～立証の困難を克服するために～
・証拠　～証明がつかないときはどうなるのか？～
【内容・方法　等】・相当な損害額の認定
・証明責任とは何か？
・証明責任の分配
・証明責任の転換
【事前・事後学習課題】教科書　P. 264～282
講義における配布資料の復習

第11回
【授業テーマ】・判決　～既判力～
【内容・方法　等】・訴訟物による限界（既判力の客観的範囲）
・基準時による厳戒（既判力の時的限界）
・既判力の及ぶ人の歯に（既判力の主観的範囲）
【事前・事後学習課題】教科書　P. 293～305
講義における配布資料の復習

第12回
【授業テーマ】・上訴と再審
【内容・方法　等】・特別の不服申立て
・控訴/上告/抗告
・再審
【事前・事後学習課題】教科書　P. 311～332
講義における配布資料の復習

第13回
【授業テーマ】・督促手続
【内容・方法　等】・督促手続のメリット
・督促手続の経過
・オンライン督促手続
【事前・事後学習課題】教科書　P. 338～342
講義における配布資料の復習

第14回
【授業テーマ】・家庭紛争と裁判
【内容・方法　等】・家庭紛争の解決方法
・家事審判と家事調停
・人事訴訟
【事前・事後学習課題】教科書　P. 343～377
講義における配布資料の復習

第15回
【授業テーマ】・当該講義における全内容についてのまとめと復習
【内容・方法　等】当該講義における全内容についての、まとめ、復習、そして質疑応答
【事前・事後学習課題】当該講義における全内容についての復習、ならびに疑問点の抽出
当該講義において配布した全資料の復習

評価方法（基準）

中間・定期試験(80%)、ならびに復習・確認演習やレポート等(20%)により総合評価する。また、講義への積極的な姿勢による加点や、講義中の態度による減点を考慮する。詳細は講義にて。

教材等

教科書…・中野貞一郎著『民事裁判入門 [第3版補訂版]』　（有斐閣　2012年）　2,200円＋（民事訴訟法Ⅰと同様の教科書）
・六法（出版社不問）

参考書…・高橋宏志・高田裕成・畑瑞穂編『民事訴訟法 判例百選 [第4版]』　（有斐閣　2010年）2,800円＋税
・櫻田嘉章・道垣内正人編『国際私法 判例百選 [第2版]』　（有斐閣　2012年）　2,600円＋税
・梅本吉彦『民事訴訟法[第4版]』（信山社　2009年）6,500円＋税
・本間泰規・中野俊一郎・酒井一著『国際民事訴訟法 [第2版]』　（有斐閣アルマ　2012年）1,800円＋税
・古田啓昌『国際民事訴訟法入門』（日本評論社 2012年）2,300円＋税
・その他、講義において、適宜紹介する。

学生へのメッセージ

講義中における私語・携帯等の使用については、他の学生の迷惑になるので、厳しく対処します。教科書と六法は講義で常に使用するので、必ず持参すること。紛争解決手段である民事訴訟手続を学ぶことで、既に学んだ民法全般の知識をリフレッシュさせてください。

関連科目

民法全般、民事訴訟法Ⅰ、民事保全・執行法、倒産法、国際私法、国際取引法

担当者の研究室等

11号館9階　萩原講師室

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　67　2014/10/14　17:50:40

倒産法
Insolvency Law

萩　原　佐　織（ハギハラ　サオリ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

個人もしくは企業が経済的に破綻した場合、適切な対応は、関係者にとっても、経済全体にとっても重要なことである。倒産処理に関する法的処理は、激しく対立する債務者と債権者間の利害を公平かつ適切に調整する極めて動的で且つ実体法と訴訟法が複雑に交錯する実際的で、興味深い分野である。当該講義は、倒産処理法の中心である破産法について検討した上、民事再生の基本的な指導理念や枠組みについて説明する。これらの学習によって民事法全体についての理解が確実にもなる。

授業方法と留意点

講義は、教科書と六法を用いて、板書により行う。毎回、主要個所を括弧空けにした補助教材のプリントを配布するので、講義において、自分でその括弧に当てはまる用語や説明等を書き込む。講義内容に応じ、パワーポイントを用いた講義形式で行う場合もある。双方向の講義を目標としているため、座席指定を行い（座席の選択は自由）、質疑応答を行う。なお、多角的な知識を得、理解を深めるため、復習・確認演習ならびにレポートを数回実施し、評価の対象とする。

科目学習の効果（資格）

法科大学院への進学、裁判所職員、司法書士の試験等に有益である。金融についての理解が進むので、金融機関で働くことを望む者や、ファイナンシャルプランナー（FP）の資格取得希望者にとっても極めて有益である。また、それらを目指さない者であっても、経済的に困難な状況に陥った場合のリスク回避・倒産手続の理解・対処方法の習得として、全ての者にとって必要な知識を得ることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回
【授業テーマ】　・ガイダンス
・倒産法の概要
・倒産法と、他の法律（民法、民事訴訟法、民事保全・執行法）との関係
・平常時と倒産時の比較の観点
・倒産手続の種類（再建型と清算型）
【内容・方法　等】　・授業の進め方・受講上の注意及び評価方法等について
・個別執行（民事保全執行法）と包括執行（倒産法）との違い
・平常時は早い者勝ちの世界、倒産時は債権者平等の世界
・再建型（民事再生・会社更生）と清算型（破産・特別清算）
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 1～11

第２回
【授業テーマ】　・破産手続の流れ
【内容・方法　等】　・法人の破産手続で配当がある事案
・個人の破産手続で、破産管財人がついたうえで異時廃止となる事案
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 13～23
前回講義における配布資料の復習

第３回
【授業テーマ】　・再生手続の流れ
【内容・方法　等】　・通常再生手続で自主再生する事案（収益弁済型）
・通常再生手続でスポンサー型で再生する事案（スポンサー型）
・個人再生手続の事案（個人再生）
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 24～39
前回講義における配布資料の復習

第４回
【授業テーマ】　・開始決定の効果
【内容・方法　等】　・破産手続および再生手続の申立て
・手続開始決定の効果
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 42～57
前回講義における配布資料の復習

第５回
【授業テーマ】　・財産の管理/換価と管財人等
【内容・方法　等】　・破産財団の管理/換価等および破産管財人の善管注意義務
・破産財団の意義と範囲および係属中の訴訟手続の取扱い
・破産管財人の第三者生と手続開始後の登記等の効力
・再生債務者財産の管理等、再生債務者の第三者性等
・財産評定
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 58～73
前回講義における配布資料の復習

第６回
【授業テーマ】　・契約関係の処理（売買・取戻権）
【内容・方法　等】　・双務契約の一方未履行の場合
・双務契約の双方未履行の場合
・取戻権
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 74～89
前回講義における配布資料の復習

第７回
【授業テーマ】　・契約関係の処理（賃貸借・請負・リース契約）
【内容・方法　等】　・賃貸借契約
・請負契約
・ファイナンスリース契約
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 90～106
前回講義における配布資料の復習

第８回
【授業テーマ】　・否認権
【内容・方法　等】　・詐害行為否認
・偏頗行為否認
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 107～120
前回講義までに配布した全ての配布資料の復習

第９回
【授業テーマ】　・相殺権と相殺禁止
【内容・方法　等】　・相殺権の意義（民法における相殺との比較）
・相殺権の拡張
・相殺権の制限
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 134～148
前回講義における配布資料の復習

第10回
【授業テーマ】　・倒産手続における担保権の取扱い
【内容・方法　等】　・担保権とは何か
・別除権とは何か
・別除権の行使
・別除権となる担保権（典型担保の場合）
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 149～168
前回講義における配布資料の復習

第11回
【授業テーマ】　・債権の優先順位
【内容・方法　等】　・債権者平等の原則
・債権の優先順位
・財団債権と破産債権（破産手続）
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 186～203
前回講義における配布資料の復習

第12回
【授業テーマ】　・配当と破産手続の終了
【内容・方法　等】　・配当
・破産手続の終了
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 204～216
前回講義における配布資料の復習

第13回
【授業テーマ】　・再生計画、履行
【内容・方法　等】　・再生計画とは？
・再生計画の提出と可決、認可手続
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 217～234
前回講義における配布資料の復習

第14回
【授業テーマ】　・個人債務者の倒産手続
・免責
【内容・方法　等】　・個人倒産制度の全体像
・自由財産
・免責
・小規模個人再生/給与所得者等再生
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 235～251
前回講義における配布資料の復習

第15回
【授業テーマ】　・倒産法における諸問題
・まとめ＆復習
【内容・方法　等】　・倒産におけるライセンス契約等の取扱い等
・講義全体のまとめと復習
【事前・事後学習課題】　・該当範囲の復習
・当該講義において配布した全資料の復習

評価方法（基準）

中間・定期試験(80%)、ならびに復習・確認演習やレポート等(20%)により総合評価する。また、講義への積極的な姿勢による加点や、講義中の態度による減点を考慮する。詳細は講義にて。

教材等

教科書…藤本利一・野村剛司　編著　『基礎トレーニング　倒産法』日本評論社（2013年）2,700円＋税
参考書…・『倒産法　判例百選　[第4版]』　有斐閣（2006年）2,520円
その他、講義において適宜指示する。

学生へのメッセージ

講義中における私語・携帯等の使用については、他の学生の迷惑になるので、厳しく対処します。教科書と六法は講義で常に使用するので、必ず持参すること。倒産法を学ぶことで、既に学んだ民事法全般の知識をリフレッシュかつ深めてください。

関連科目

民事保全・執行法、民事訴訟法、担保物権法、債権法、契約法、知的財産法、商法

担当者の研究室等

11号館9階　萩原講師室

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　68　2014/10/14　17:50:40

民事再生法
Civil Rehabilitation Law

萩　原　佐　織（ハギハラ　サオリ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

個人もしくは企業が経済的に破綻した場合、適切な対応は、関係者にとっても、経済全体にとっても重要なことである。倒産処理に関する法的処理は、激しく対立する債務者と債権者間の利害を公平かつ適切に調整する極めて動的で且つ実体法と訴訟法が複雑に交錯する実際的で、興味深い分野である。当該講義は、倒産処理法の中心である破産法について検討した上、民事再生の基本的な指導理念や枠組みについて説明する。これらの学習によって民事法全体についての理解が確実にもなる。

授業方法と留意点

講義は、教科書と六法を用いて、板書により行う。毎回、主要個所を括弧空けにした補助教材のプリントを配布するので、講義において、自分でその括弧に当てはまる用語や説明等を書き込む。講義内容に応じ、パワーポイントを用いた講義形式で行う場合もある。双方向の講義を目標としているため、座席指定を行い（座席の選択は自由）、質疑応答を行う。なお、多角的な知識を得、理解を深めるため、復習・確認演習ならびにレポートを数回実施し、評価の対象とする。

科目学習の効果（資格）

法科大学院への進学、裁判所職員、司法書士の試験等に有益である。金融についての理解が進むので、金融機関で働くことを望む者や、ファイナンシャルプランナー（FP）の資格取得希望者にとっても極めて有益である。また、それらを目指さない者であっても、経済的に困難な状況に陥った場合のリスク回避・倒産手続の理解・対処方法の習得として、全ての者にとって必要な知識を得ることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回
【授業テーマ】　・ガイダンス
・倒産法の概要
・倒産法と、他の法律（民法、民事訴訟法、民事保全・執行法）との関係
・平常時と倒産時の比較の観点
・倒産手続の種類（再建型と清算型）
【内容・方法　等】　・授業の進め方・受講上の注意及び評価方法等について
・個別執行（民事保全執行法）と包括執行（倒産法）との違い
・平常時は早い者勝ちの世界、倒産時は債権者平等の世界
・再建型（民事再生・会社更生）と清算型（破産・特別清算）
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 1～11

第２回
【授業テーマ】　・破産手続の流れ
【内容・方法　等】　・法人の破産手続で配当がある事案
・個人の破産手続で、破産管財人がついたうえで異時廃止となる事案
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 13～23
前回講義における配布資料の復習

第３回
【授業テーマ】　・再生手続の流れ
【内容・方法　等】　・通常再生手続で自主再生する事案（収益弁済型）
・通常再生手続でスポンサー型で再生する事案（スポンサー型）
・個人再生手続の事案（個人再生）
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 24～39
前回講義における配布資料の復習

第４回
【授業テーマ】　・開始決定の効果
【内容・方法　等】　・破産手続および再生手続の申立て
・手続開始決定の効果
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 42～57
前回講義における配布資料の復習

第５回
【授業テーマ】　・財産の管理/換価と管財人等
【内容・方法　等】　・破産財団の管理/換価等および破産管財人の善管注意義務
・破産財団の意義と範囲および係属中の訴訟手続の取扱い
・破産管財人の第三者生と手続開始後の登記等の効力
・再生債務者財産の管理等、再生債務者の第三者性等
・財産評定
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 58～73
前回講義における配布資料の復習

第６回
【授業テーマ】　・契約関係の処理（売買・取戻権）
【内容・方法　等】　・双務契約の一方未履行の場合
・双務契約の双方未履行の場合
・取戻権
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 74～89
前回講義における配布資料の復習

第７回
【授業テーマ】　・契約関係の処理（賃貸借・請負・リース契約）
【内容・方法　等】　・賃貸借契約
・請負契約
・ファイナンスリース契約
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 90～106
前回講義における配布資料の復習

第８回
【授業テーマ】　・否認権
【内容・方法　等】　・詐害行為否認
・偏頗行為否認
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 107～120
前回講義までに配布した全ての配布資料の復習

第９回
【授業テーマ】　・相殺権と相殺禁止
【内容・方法　等】　・相殺権の意義（民法における相殺との比較）
・相殺権の拡張
・相殺権の制限
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 134～148
前回講義における配布資料の復習

第10回
【授業テーマ】　・倒産手続における担保権の取扱い
【内容・方法　等】　・担保権とは何か
・別除権とは何か
・別除権の行使
・別除権となる担保権（典型担保の場合）
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 149～168
前回講義における配布資料の復習

第11回
【授業テーマ】　・債権の優先順位
【内容・方法　等】　・債権者平等の原則
・債権の優先順位
・財団債権と破産債権（破産手続）
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 186～203
前回講義における配布資料の復習

第12回
【授業テーマ】　・配当と破産手続の終了
【内容・方法　等】　・配当
・破産手続の終了
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 204～216
前回講義における配布資料の復習

第13回
【授業テーマ】　・再生計画、履行
【内容・方法　等】　・再生計画とは？
・再生計画の提出と可決、認可手続
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 217～234
前回講義における配布資料の復習

第14回
【授業テーマ】　・個人債務者の倒産手続
・免責
【内容・方法　等】　・個人倒産制度の全体像
・自由財産
・免責
・小規模個人再生/給与所得者等再生
【事前・事後学習課題】　教科書　P. 235～251
前回講義における配布資料の復習

第15回
【授業テーマ】　・倒産法における諸問題
・まとめ＆復習
【内容・方法　等】　・倒産におけるライセンス契約等の取扱い等
・講義全体のまとめと復習
【事前・事後学習課題】　・該当範囲の復習
・当該講義において配布した全資料の復習

評価方法（基準）

中間・定期試験(80%)、ならびに復習・確認演習やレポート等(20%)により総合評価する。また、講義への積極的な姿勢による加点や、講義中の態度による減点を考慮する。詳細は講義にて。

教材等

教科書…藤本利一・野村剛司　編著　『基礎トレーニング　倒産法』日本評論社（2013年）2,700円＋税
参考書…・『倒産法　判例百選　[第4版]』　有斐閣（2006年）2,520円
その他、講義において適宜指示する。

学生へのメッセージ

講義中における私語・携帯等の使用については、他の学生の迷惑になるので、厳しく対処します。教科書と六法は講義で常に使用するので、必ず持参すること。倒産法を学ぶことで、既に学んだ民事法全般の知識をリフレッシュかつ深めてください。

関連科目

民事保全・執行法、民事訴訟法、担保物権法、債権法、契約法、知的財産法、商法

担当者の研究室等

11号館9階　萩原講師室

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　69　2014/10/14　17:50:40

民事保全・執行法
Enforcement of Judgments;Provisional Remedies

萩　原　佐　織（ハギハラ　サオリ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

民法等により認められた権利が害され、私人間に紛争が生じた場合、その紛争解決手段として用いられるのが民事訴訟手続、いわゆる民事裁判である。ただ、訴訟で勝訴しても、相手が応じない等の理由で、紛争が解決しない場合がある。その際の、究極の紛争解決手段が、民事保全執行手続である。当該講義では、民事保全執行手続の基礎を学ぶとともに、民法や民事訴訟法等で学んだ知識を発展・応用する能力を培うことを目的とする。紛争の対象として取り扱うのが民法上の権利であるため、民法全般の復習や応用ができ、また「実体法である民法」と「手続法である民事訴訟法・民事保全執行法」を含めた『民事法』としての総合的理解を図ることができる。

授業方法と留意点

講義は、教科書と六法を用いて、板書により行う。毎回、主要個所を括弧空けにした補助教材のプリントを配布するので、講義において、自分でその括弧に当てはまる用語や説明等を書き込む。講義内容に応じ、パワーポイントを用いた講義形式で行う場合もある。双方向の講義を目標としているため、座席指定を行い（座席の選択は自由）、質疑応答を行う。なお、多角的な知識を得、理解を深めるため、復習・確認演習ならびにレポートを数回実施し、評価の対象とする。

科目学習の効果（資格）

・民事保全執行手続のしくみを理解し、民事紛争解決手段の一端を知ることができる。
・大学院ならびに法科大学院等への進学、裁判所職員（事務官・書記官）、司法書士などの受験に対応できる知識・応用力を養う。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回
【授業テーマ】 ① ガイダンス
② 民事執行法の概観
【内容・方法　等】 ① 授業方法・評価方法等の説明
② 他の法分野との関係
③ 判決手続と執行手続
④ 民事執行の種類と沿革等
【事前・事後学習課題】 教科書　P. 1～11

第２回
【授業テーマ】 強制執行総論 1.
① 序説
② 債務名義
【内容・方法　等】 ① 強制執行の意義と種類
② 債務名義の種類
【事前・事後学習課題】 教科書　P. 12～25
前回講義における配布資料の復習

第３回
【授業テーマ】 強制執行総論 2.
・請求異議の訴え
【内容・方法　等】 ・請求異議の訴えの意義
・請求異議事由
・執行停止等の仮の処分
【事前・事後学習課題】 教科書　P. 26～37
前回講義における配布資料の復習

第４回
【授業テーマ】 強制執行総論 3.
・執行文
【内容・方法　等】 ・執行文の意義
・執行文の付与等に関する異議の申立て
・条件成就執行文と承継執行文
【事前・事後学習課題】 教科書　P. 38～53
前回講義における配布資料の復習

第５回
【授業テーマ】 強制執行総論 4.
① 執行機関
② 強制執行開始要件
③ 強制執行の停止
【内容・方法　等】 ① 執行機関の意義と担当職務
② 強制執行開始要件の意義と種類
③ 強制執行停止の意義と具体例
【事前・事後学習課題】 教科書　P. 54～63
前回講義における配布資料の復習

第６回
【授業テーマ】 強制執行総論 5.
① 違法執行と不当執行
② 執行異議と執行抗告
【内容・方法　等】 ① 違法執行と不当執行の意義
② 国家賠償請求との関係
③ 執行異議と執行抗告の意義
④ 不執行の合意
【事前・事後学習課題】 教科書　P. 82～83、64～67
前回講義における配布資料の復習

第７回
【授業テーマ】 強制執行総論 6.
・第三者異議の訴え
【内容・方法　等】 ① 第三者異議の訴えの趣旨
② 手続
③ 第三者異議事由
【事前・事後学習課題】 教科書　P. 68～81
前回講義における配布資料の復習

第８回
【授業テーマ】 まとめ＆復習
【内容・方法　等】 ・強制執行総論のまとめと復習
【事前・事後学習課題】 強制執行総論全範囲の復習
前回講義までに配布した全ての配布資料の復習

第９回
【授業テーマ】 強制執行各論 1.
金銭執行 Ⅰ
① 金銭執行序説
② 不動産執行
【内容・方法　等】 ① 金銭執行の諸段階・優先主義と平等主義
② 不動産執行の意義・強制競売・強制管理
【事前・事後学習課題】 教科書　P. 84～132
前回講義における配布資料の復習

第10回
【授業テーマ】 強制執行各論 2.
金銭執行 Ⅱ
・動産執行
【内容・方法　等】 ① 動産執行の意義
② 差押え・換価・満足
【事前・事後学習課題】 教科書　P. 133～142
前回講義における配布資料の復習

第11回
【授業テーマ】 強制執行各論 3.
金銭執行 Ⅲ
・債権執行
【内容・方法　等】 ① 債権執行の意義
② 差押え・換価・満足
③ 少額訴訟債権執行
【事前・事後学習課題】 教科書　P. 142～170
前回講義における配布資料の復習

第12回
【授業テーマ】 強制執行各論 4.
・非金銭執行
【内容・方法　等】 ① 不動産/動産の引渡しの強制執行
② 目的物を第三者が占有する場合の引渡しの強制執行
③ 代替的作為の強制執行
④ 不代替的作為および不作為の強制執行
【事前・事後学習課題】 教科書　P. 171～181
前回講義における配布資料の復習

第13回
【授業テーマ】 担保権の実行としての競売等
【内容・方法　等】 ① 序説
② 不動産担保権の実行
③ 動産競売
④ 債権およびその他の財産権についての担保権の実行
⑤ 形式的競売
【事前・事後学習課題】 教科書　P. 182～202
前回講義における配布資料の復習

第14回
【授業テーマ】 民事保全.
① 序説
② 保全命令手続
③ 保全執行手続
【内容・方法　等】 ① 民事保全の意義・種類・手続
② 保全命令手続の申立て・審理・裁判・不服申立て
③ 保全執行手続の申立て・仮差押えの執行・仮処分の執行
【事前・事後学習課題】 教科書　P. 205～225
前回講義における配布資料の復習

第15回
【授業テーマ】 まとめ＆復習
【内容・方法　等】 ① 強制執行各論のまとめ＆復習
② 担保権の実行としての競売等のまとめ＆復習
③ 民事保全のまとめ＆復習
【事前・事後学習課題】 該当範囲の復習
当該講義において配布した全ての配布資料の復習

評価方法（基準）

中間・定期試験(80%)、ならびに復習・確認演習やレポート等(20%)により総合評価する。また、講義への積極的な姿勢による加点や、講義中の態度による減点を考慮する。詳細は講義にて。

教材等

教科書…・和田吉弘著『基礎からわかる民事執行法 民事保全法【第2版】』（弘文堂 2010年） 2,200円（税別）
・六法（出版社不問）

参考書…・『民事執行・保全判例百選』（有斐閣 2005年）
その他、講義において、適宜紹介する。

学生へのメッセージ

講義中における私語・携帯等の使用については、他の学生の迷惑になるので、厳しく対処します。教科書と六法は講義で常に使用するので、必ず持参すること。民事保全執行手続を学ぶことで、既に学んだ民事法全般の知識をリフレッシュさせてください。

関連科目

民法全般、民事訴訟法Ⅰ、民事訴訟法Ⅱ、倒産法

担当者の研究室等

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　70　2014/10/14　17:50:40

11号館9階　萩原講師室

国際社会と法
International Community and Law

糟　谷　英　之（カスタニ　ヒデユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
国際社会の成立・発展に基づいて形成されてきた国際法は、国際社会の構造変化とともにその内容を変化・発展させてきている。講義では、とりわけ国内法と国際法の相違点に注目しながら、国際社会における法的ルールである国際法とは何かを考えることを目的とする。

授業方法と留意点
教科書および配布プリントを基本に、主として口頭による講義方式をとるが、ビデオ、インターネットなども随時利用する。講義ノートをしっかり取っておくこと。

科目学習の効果（資格）
国家公務員をはじめとする各種公務員の教養試験や教員資格取得および大学院・法科大学院進学にも役立つ。ＮＧＯなどに関連する職業によっては必要となる場合がある。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　講義のガイダンス
【内容・方法　等】　講義の到達目標を含む講義概要、講義の進め方、成績評価方法などについて説明する。
【事前・事後学習課題】　シラバスを読み講義概要に目を通しておくこと。

第２回　【授業テーマ】　社会と法
【内容・方法　等】　社会と社会規範の関係および法規範と他の社会規範の相違について説明する。
【事前・事後学習課題】　第1回目の講義で指示した課題をすること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第３回　【授業テーマ】　国際社会の成立と国際法
【内容・方法　等】　国際法の基盤となる国際社会の成立とそこに発生する国際法について論じる。
【事前・事後学習課題】　第2回目の講義で指示した課題をすること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第４回　【授業テーマ】　国際法の歴史
【内容・方法　等】　伝統的国際法から現代国際法へと国際法の歴史的変化を概観する。
【事前・事後学習課題】　第3回目の講義で指示した課題をすること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第５回　【授業テーマ】　国際法における国家とは何か
【内容・方法　等】　一般的な国家としての要件と国際法上の国家としての要件を検討する。
【事前・事後学習課題】　第4回目の講義で指示した課題をすること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第６回　【授業テーマ】　国際社会と国際組織
【内容・方法　等】　国際社会の発展と国際組織の成立および国際組織の定義を概説をする。
【事前・事後学習課題】　第5回目の講義で指示した課題をすること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第７回　【授業テーマ】　国際連合
【内容・方法　等】　国際連合の成立過程と構造について概観する。
【事前・事後学習課題】　第6回目の講義で指示した課題をすること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第８回　【授業テーマ】　国際社会と個人
【内容・方法　等】　国際法上の個人の地位および外国人の法的地位を考察する。
【事前・事後学習課題】　第7回目の講義で指示した課題をすること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第９回　【授業テーマ】　国際法の法源
【内容・方法　等】　条約、慣習法、法の一般原則など法源の類型を概説する。
【事前・事後学習課題】　第8回目の講義で指示した課題をすること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第10回　【授業テーマ】　領域と領土紛争
【内容・方法　等】　国家領域の範囲および領域紛争について検討する。
【事前・事後学習課題】　第9回目の講義で指示した課題をすること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第11回　【授業テーマ】　海洋法の制度
【内容・方法　等】　領海制度をはじめとする海洋法上の制度について概観する。
【事前・事後学習課題】　第10回目の講義で指示した課題をすること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第12回　【授業テーマ】　宇宙法
【内容・方法　等】　月その他の天体および宇宙空間に関連する宇宙法の基本概念を概説する。
【事前・事後学習課題】　第11回目の講義で指示した課題をすること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第13回　【授業テーマ】　国際人権保障制度
【内容・方法　等】　国際人権規約を中心に国際人権保障制度について概観する。
【事前・事後学習課題】　第12回目の講義で指示した課題をすること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第14回　【授業テーマ】　国際人道法
【内容・方法　等】　武力紛争時に適用される国際法の規範である国際人道法について紹介する。
【事前・事後学習課題】　第13回目の講義で指示した課題をすること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第15回　【授業テーマ】　学期のまとめ
【内容・方法　等】　本学期の講義内容の総括と学期末テストの準備について指示する。
【事前・事後学習課題】　これまでに完成した全レジメの復習と質問を準備しておくこと。

評価方法（基準）
講義への参加程度（出席ではない）、課題の提出（３回）、復習テスト及び学期末テストなどをもとに総合的に評価する。
なお提出された課題は、内容によって３段階評価され、最終的に課題評価点（A＝２０点、B＝１０点、C＝５点）として復習テストおよび期末テストの点数に加算される。

教材等
教科書…松井芳郎その他著『国際法〔第５版〕』有斐閣、最新版、約２０００円
参考書…松井芳郎その他編『ハンディ条約集』東信堂、最新版、１６８０円。
その他適宜指示する。

学生へのメッセージ
単に講義に出席するだけでなく、できる限り積極的に授業に参加し質問する（考える）努力が求められる。
現在社会で求められるのは問題点を見つけ、それに対する解決策を見つける能力である。

関連科目
国際法の基礎理論、国際組織法、国際人権法、国際関係論、国際平和論、国際協力論、国際ボランティア論など国際社会とかかわりのある科目

担当者の研究室等
11号館10階　糟谷教授室

国際法の基礎理論
International Law

糟　谷　英　之（カスタニ　ヒデユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
現代の国際社会は急速にその構造を変化させてきている。国際社会のルールとしての国際法は、またその影響を大きく受けることになる。講義では、この点を念頭に置きながら、国際法の基本的知識を習得することを目的とする。

授業方法と留意点
教科書及び配布プリントを基本に、主として口頭による講義方式をとるが、ビデオ、インターネットなども随時利用する。講義ノートをしっかり取っておくこと。

科目学習の効果（資格）
国家公務員をはじめとする各種公務員の教養試験や教員資格取得および大学院・法科大学院進学にも役立つ。ＮＧＯなどに関連する職業によっては必要となる場合がある。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　講義のガイダンス
【内容・方法　等】　講義の到達目標を含む講義概要、講義の進め方、成績評価方法などについて説明する。
【事前・事後学習課題】　シラバスを読み講義概要に目を通しておくこと。

第２回　【授業テーマ】　国家領域と国際化領域
【内容・方法　等】　国家の領土、領海、領空及び南極大陸などをはじめとする国際化領域について概説する。
【事前・事後学習課題】　第1回目の講義で指示した課題をすること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第３回　【授業テーマ】　海洋法（１）
【内容・方法　等】　海洋秩序形成と国連海洋法条約の成立過程を歴史的に概観する。
【事前・事後学習課題】　第2回目の講義で指示した課題をすること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第４回　【授業テーマ】　海洋法（２）

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　71　2014/10/14　17:50:41

【内容・方法　等】　個別的に領海、公海、排他的経済水域、大陸棚、深海底などの制度を概観する。
【事前・事後学習課題】　第3回目の講義で指示した課題をすること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第５回　【授業テーマ】　空及び宇宙に関する法
【内容・方法　等】　領空主権及び月やその他の天体の地位や衛星の規制などを概観する。
【事前・事後学習課題】　第4回目の講義で指示した課題をすること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第６回　【授業テーマ】　空間に関する国際法の総括と小テスト
【内容・方法　等】　空間に関する国際法の総括と確認の小テストを行う。
【事前・事後学習課題】　第5回目の講義で指示した課題をすること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第７回　【授業テーマ】　国際組織序説
【内容・方法　等】　国際社会における国際組織の発展の歴史を概観する。
【事前・事後学習課題】　第6回目の講義で指示した課題をすること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第８回　【授業テーマ】　国連の成立
【内容・方法　等】　国連の成立過程及び国連憲章の概要を説明する。
【事前・事後学習課題】　第7回目の講義で指示した課題をすること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第９回　【授業テーマ】　国連の構造
【内容・方法　等】　国連の主要機関及び専門機関の概説をする。
【事前・事後学習課題】　第8回目の講義で指示した課題をすること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第10回　【授業テーマ】　外国人の法的地位
【内容・方法　等】　国籍の問題と外国人の国際法上の地位について考える。
【事前・事後学習課題】　第9回目の講義で指示した課題をすること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第11回　【授業テーマ】　国際的人権保障序説
【内容・方法　等】　人権の国際的な保障の歴史的な展開を概観する。
【事前・事後学習課題】　第10回目の講義で指示した課題をすること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第12回　【授業テーマ】　国際人権規約
【内容・方法　等】　国際人権規約の内容について概観する
【事前・事後学習課題】　第11回目の講義で指示した課題をすること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第13回　【授業テーマ】　人権条約の実施措置
【内容・方法　等】　国際的な実施措置について概説する。
【事前・事後学習課題】　第12回目の講義で指示した課題をすること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第14回　【授業テーマ】　国際人道法序論
【内容・方法　等】　武力紛争時における人権について考える。
【事前・事後学習課題】　第13回目の講義で指示した課題をすること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第15回　【授業テーマ】　学期のまとめ
【内容・方法　等】　本学期の講義内容の総括と学期末テストの準備について指示する。
【事前・事後学習課題】　これまでに完成した全レジメの復習と質問を準備しておくこと。

評価方法（基準）

講義への参加程度（出席ではない）、課題の提出（３回）、復習テスト及び学期末テストなどをもとに総合的に評価する。
なお提出された課題は、内容によって３段階評価され、最終的に課題評価点（A＝２０点、B＝１０点、C＝５点）として復習テストおよび期末テストの点数に加算される。

教材等

教科書…松井芳郎その他著『国際法〔第５版〕』有斐閣、最新版、約２０００円
参考書…松井芳郎その他編『ハンディ条約集』東信堂、最新版、１６８０円。
その他適宜指示する。

学生へのメッセージ

講義の終わりに１５分間質問時間を設けるので、できる限り積極的に授業に参加して質問を見つける努力が求められる。現在社会で求められるのは問題点を見つけ、それに対する解決策を見つける能力である。

関連科目

国際組織法、国際人権法、国際関係論、国際平和論、国際協力論、国際ボランティア論など国際社会とかかわりのある科目

担当者の研究室等

11号館10階　糟谷研究室

国際人権法
International Human Rights Law

糟　谷　英　之（カスタニ　ヒデユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

現在の国際法は国際社会の構造変化とともにその内容を変化・発展させてきている。講義では、主として国際人権法分野のルールを、とりわけ国内法と国際法の相違点に注目しながら説明する。国際社会における法的ルールである国際法とは何かを考えることを目的とする。

授業方法と留意点

教科書及び配布プリントを基本に、主として口頭による講義方式をとるが、ビデオ、インターネットなども随時利用する。講義ノートをしっかり取っておくこと。

科目学習の効果（資格）

国家公務員をはじめとする各種公務員の教養試験や教員資格取得および大学院・法科大学院進学にも役立つ。ＮＧＯなどに関連する職業によっては必要となる場合がある。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　講義のガイダンス
【内容・方法　等】　講義の到達目標を含む講義概要、講義の進め方、成績評価方法などについて説明する。
【事前・事後学習課題】　シラバスを読み講義概要に目を通しておくこと。

第２回　【授業テーマ】　国際人権法とは何か
【内容・方法　等】　国際人権法とは何か、国際法における国際人権法の位置づけを考える。
【事前・事後学習課題】　前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第３回　【授業テーマ】　国際人権法の歴史的発展
【内容・方法　等】　特に１９４８年の世界人権宣言を出発点とする第二次世界大戦後から現在までの国際人権法の歴史的発展を概観する。
【事前・事後学習課題】　前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第４回　【授業テーマ】　国際人権規約
【内容・方法　等】　国際人権規約の内容を概説する。
【事前・事後学習課題】　前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第５回　【授業テーマ】　人権条約の国際的実施（１）　－　報告制度
【内容・方法　等】　国際人権規約その他の人権条約における報告制度について検討する。
【事前・事後学習課題】　前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第６回　【授業テーマ】　人権条約の国際的実施（２）　－　個人通報制度
【内容・方法　等】　国際人権規約その他の人権条約における個人通報制度について検討する。
【事前・事後学習課題】　前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第７回　【授業テーマ】　人権条約の国内的実施（１）　－　国内裁判
【内容・方法　等】　人権条約によって締約国が条約の定める権利を実現するための措置、特に各国の国内裁判に焦点を当てて検討する。
【事前・事後学習課題】　前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第８回　【授業テーマ】　人権条約の国内的実施（２）　－　国内人権機関など
【内容・方法　等】　人権条約の国内実施をその任務とする独立した国内人権機関の役割について検討する。
【事前・事後学習課題】　前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第９回　【授業テーマ】　第８回講義までの総括と確認テスト
【内容・方法　等】　前半の講義内容の復習と確認のための小テストを行う。
【事前・事後学習課題】　前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第10回　【授業テーマ】　武力紛争における人権の保護
【内容・方法　等】　国際人権法と武力紛争における人権の保護を目的とする国際人道法の関係を概説する。
【事前・事後学習課題】　前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第11回　【授業テーマ】　国際人道法の基本原則
【内容・方法　等】　戦闘員と文民の区別原則など国際人道法の根底にある基本原則を概説する。
【事前・事後学習課題】　前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第12回　【授業テーマ】　ハーグ法及びジュネーブ法
【内容・方法　等】　ジュネーブ諸条約及び追加議定書などを基

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　72　2014/10/14　17:50:41

礎に戦闘手段及び方法の規制、武力紛争犠牲者の保護に関する基本原則を概観する。
【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第13回 【授業テーマ】 国際人道法の履行確保
【内容・方法 等】 国際人道法の規則を遵守させ、その履行を確保するための手段をジュネーブ諸条約及び追加議定書を基本に検討する。
【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第14回 【授業テーマ】 赤十字国際委員会の役割（ICRC）
【内容・方法 等】 国際人道法の普及および履行において赤十字国際委員会の果たす役割について説明する。
【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第15回 【授業テーマ】 学期のまとめ
【内容・方法 等】 本学期の講義内容の総括と学期末テストの準備について指示する。
【事前・事後学習課題】 これまでに完成した全レジメの復習と質問を準備しておくこと。

評価方法（基準）
講義への参加程度（出席ではない）、課題の提出（３回）、復習テスト及び学期末テストなどをもとに総合的に評価する。
なお提出された課題は、内容によって３段階評価され、最終的に課題評価点（A＝２０点、B＝１０点、C＝５点）として復習テストおよび期末テストの点数に加算される。

教材等
教科書…松井芳郎その他著『国際法〔第５版〕』有斐閣、最新版、約２０００円
参考書…松井芳郎その他編『ハンディ条約集』東信堂、最新版、１６８０円。
その他適宜指示する。

学生へのメッセージ
単に講義に出席するだけでなく、できる限り積極的に授業に参加し質問する（考える）努力が求められる。
現在社会で求められるのは問題点を見つけ、それに対する解決策を見つける能力である。

関連科目
国際法の基礎理論、国際組織法、国際人権法、国際関係論、国際平和論、国際協力論、国際ボランティア論など国際社会とかかわりのある科目

担当者の研究室等
11号館10階　糟谷研究室

国際組織法
Law of International Organizations

糟　谷　英　之（カスタニ　ヒデユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
国際社会の成立・発展に基づいて形成されてきた国際法は、国際社会の構造変化とともにその内容を変化・発展させてきている。講義では、とりわけ国内法と国際法の相違点に注目しながら、国際社会における法的ルールである国際法とは何かを考えることを目的とする。

授業方法と留意点
教科書及び配布プリントを基本に、主として口頭による講義方式をとるが、ビデオ、インターネットなども随時利用する。講義ノートをしっかり取っておくこと。

科目学習の効果（資格）
国家公務員をはじめとする各種公務員の教養試験や教員資格取得および大学院・法科大学院進学にも役立つ。ＮＧＯなどに関連する職業によっては必要となる場合がある。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 講義のガイダンス
【内容・方法 等】 講義の到達目標を含む講義概要、講義の進め方、成績評価方法などについて説明する。
【事前・事後学習課題】 シラバスを読み講義概要に目を通しておくこと。

第２回 【授業テーマ】 国際社会の成立
【内容・方法 等】 近代国際社会の成立に伴い国家間のルールとしての国際法が発展することを説明する。
【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第３回 【授業テーマ】 国際社会の発展と国際組織の登場
【内容・方法 等】 国際社会の発展と国際組織の登場
【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第４回 【授業テーマ】 国際組織の基本類型とNGO
【内容・方法 等】 どのような国際組織が存在するかまたそれ以外のNGOとは何かについて説明する。
【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第５回 【授業テーマ】 国連の成立過程
【内容・方法 等】 国際連合がどのような状況で成立したかを説明する。
【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第６回 【授業テーマ】 国連の基本的組織構造と目的
【内容・方法 等】 国際連合全般の基本的な構造とその目的及び機能について説明する。
【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第７回 【授業テーマ】 第6回講義までの総括と確認テスト
【内容・方法 等】 前半の講義の復習と確認の小テストを行う。
【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第８回 【授業テーマ】 安全保障体制の基本的な分類
【内容・方法 等】 勢力均衡方式と国連の予定する集団安全保障体制の比較を行う。
【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第９回 【授業テーマ】 武力行使禁止原則の確立
【内容・方法 等】 国連の平和的紛争解決の前提としての武力行使禁止原則について説明する。
【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第10回 【授業テーマ】 国連による紛争の平和的解決
【内容・方法 等】 国連憲章第６章に基づく平和的紛争解決手続きについて説明する。
【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第11回 【授業テーマ】 国連による強制行動
【内容・方法 等】 国連憲章第７章に基づく制裁措置について概説する。
【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第12回 【授業テーマ】 国連の軍事的措置
【内容・方法 等】 国連憲章第42条措置の概説
【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第13回 【授業テーマ】 自衛権
【内容・方法 等】 国連の軍事的措置と国連憲章第51条の自衛権の関係について考える。
【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第14回 【授業テーマ】 PKOについて
【内容・方法 等】 国連の平和維持活動について説明する。
【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回配布したレジメを完成すること。

第15回 【授業テーマ】 学期のまとめ
【内容・方法 等】 本学期の講義内容の総括と学期末テストの準備について指示する。
【事前・事後学習課題】 これまでに完成した全レジメの復習と質問を準備しておくこと。

評価方法（基準）
講義への参加程度（出席ではない）、課題の提出（３回）、復習テスト及び学期末テストなどをもとに総合的に評価する。
なお提出された課題は、内容によって３段階評価され、最終的に課題評価点（A＝２０点、B＝１０点、C＝５点）として復習テストおよび期末テストの点数に加算される。

教材等
教科書…松井芳郎その他著『国際法〔第５版〕』有斐閣、最新版、約２０００円
参考書…松井芳郎その他編『ハンディ条約集』東信堂、最新版、１６８０円。
その他適宜指示する。

学生へのメッセージ
単に講義に出席するだけでなく、できる限り積極的に授業に参加し質問する（考える）努力が求められる。
現在社会で求められるのは問題点を見つけ、それに対する解決策を見つける能力である。

関連科目
国際法の基礎理論、国際組織法、国際人権法、国際関係論、国際平和論、国際協力論、国際ボランティア論など国際社会とかかわりのある科目

担当者の研究室等
11号館10階　糟谷研究室

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd 73 2014/10/14 17:50:41

世界の政治
World Politics

森　　康　一（モリ　コウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
前半は「政治」についての理論的概説をし、後半は現在につながる世界情勢を、ヨーロッパを中心に歴史にもふれながら述べていきたい。
現実の国際政治は歴史と深く関わっているということを理解し、国際政治を見る目を養うことが目標である。

授業方法と留意点
プリントと板書により授業を進める。大学の講義におけるノートの作り方の訓練もしてほしい。

科目学習の効果（資格）
政治の基本について学び、歴史的知識も得ることで、日々の国際情勢への理解がより深まることを目指したい。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】 講義の目的と内容・成績評価について
【内容・方法　等】 講義の内容全体について
【事前・事後学習課題】 新聞の国際面を読む習慣をつける
第２回　【授業テーマ】 「政治」とはなにか
【内容・方法　等】 「政治」の概念について
【事前・事後学習課題】 政治学に関する参考文献を読んでおく
第３回　【授業テーマ】 近代国家の誕生
【内容・方法　等】 近代国家とはなにか、またその誕生について
【事前・事後学習課題】 政治学に関する参考文献を読んでおく
第４回　【授業テーマ】 国家の政治体制（1）
【内容・方法　等】 政治体制とは何か、および政治体制の分類について
【事前・事後学習課題】 政治学に関する参考文献を読んでおく
第５回　【授業テーマ】 国家の政治体制（2）
【内容・方法　等】 自由民主主義体制の分類について
【事前・事後学習課題】 政治学に関する参考文献を読んでおく
第６回　【授業テーマ】 国家の政治体制（3）
【内容・方法　等】 非自由民主主義体制の分類について、および体制変動について
【事前・事後学習課題】 政治学に関する参考文献を読んでおく
第７回　【授業テーマ】 国際政治の見方
【内容・方法　等】 リアリズムとリベラリズムについて
【事前・事後学習課題】 国際政治に関する参考文献を読んでおく
第８回　【授業テーマ】 国際関係の歴史（1）
【内容・方法　等】 ウェストファリア体制について
【事前・事後学習課題】 ヨーロッパの政治史に関する参考文献を読んでおく
第９回　【授業テーマ】 国際関係の歴史（2）
【内容・方法　等】 ウィーン体制とヨーロッパ協調について
【事前・事後学習課題】 ヨーロッパの政治史に関する参考文献を読んでおく
第10回　【授業テーマ】 国際関係の歴史（3）
【内容・方法　等】 ヴェルサイユ体制について
【事前・事後学習課題】 ヨーロッパの政治史に関する参考文献を読んでおく
第11回　【授業テーマ】 国際関係の歴史（4）
【内容・方法　等】 ヤルタ体制および冷戦初期の国際政治について
【事前・事後学習課題】 現代国際政治に関する参考文献を読んでおく
第12回　【授業テーマ】 国際社会のとらえ方
【内容・方法　等】 現代の「国家体系」について
【事前・事後学習課題】 政治学に関する参考文献を読んでおく
第13回　【授業テーマ】 現代の世界情勢
【内容・方法　等】 「地域」「問題」「時期」による世界情勢のまとめ
【事前・事後学習課題】 現代国際政治、特に「紛争」に関する参考文献を読んでおく
第14回　【授業テーマ】 事例研究として：ヨーロッパの小国の政治
【内容・方法　等】 チェコの政治史について
【事前・事後学習課題】 事例研究をもとに、小国と大国との関係について整理しておく
第15回　【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 講義のまとめと、試験について
【事前・事後学習課題】 試験に向けたノート作りをしておく

評価方法（基準）
期末の試験の結果によって評価を行う。出席をとる予定です。

教材等
教科書…特に使用せず、プリントを配布する。
参考書…ジョセフ＝ナイ（田中明彦・村田晃嗣訳）『国際紛争』（有斐閣, 2600円）
加茂利男他『現代政治学』（有斐閣, 1800円）
村田晃嗣・君塚直隆他『国際政治学をつかむ』（有斐閣, 2200円）

学生へのメッセージ
日々ニュースや新聞にふれて、世界で起こっていることに関心を持ってください。そして、その出来事の原因や由来が何であるのか、常に問題意識を持つようにしてください。共に勉強しましょう。

関連科目
国際関係論・国際関係史など、国際関係の科目

担当者の研究室等
11号館5階　法学部資料室（法学部非常勤講師室）

政治史
Political History

河　原　匡　見（カワラ　マサミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
本講義では、政治史を、特定の国または地域の、特定の時代について学んでいく。今年度は、日本の近代政治体制の確立過程をみていく。そして、現在のアジア諸国と日本の関係の背景的要因のうち、最も影響の強いこの時期の政治史を学ぶことによって、それが現在の両者の関係とどのように関わっているのかをより深く考える材料を提供したい。

授業方法と留意点
講義形式で行う。毎回ワークブック形式のレジュメを配布するので、聴講しながら、それを完成させて理解を深めていく。また、より詳細な解説については各自の判断でノートすること。

科目学習の効果（資格）
歴史を見る眼と日本の近代政治の展開に関する基礎知識の習得。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】 ガイダンス、イントロダクション
【内容・方法　等】 講義内容の説明（進め方、評価方法など）、講義開始前の認識度確認調査
【事前・事後学習課題】 高校時代に歴史科目を履修した人は教科書を読み直してみましょう。
第２回　【授業テーマ】 学問としての政治史
【内容・方法　等】 歴史を見る眼について
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第３回　【授業テーマ】 西洋からの衝撃と体制の動揺（1）
【内容・方法　等】 開国と江戸幕府の終焉（1）
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第４回　【授業テーマ】 西洋からの衝撃と体制の動揺（2）
【内容・方法　等】 開国と江戸幕府の終焉（2）
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第５回　【授業テーマ】 新政府の樹立と中央集権化（1）
【内容・方法　等】 新政府の樹立と旧勢力の抵抗
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第６回　【授業テーマ】 新政府の樹立と中央集権化（2）
【内容・方法　等】 中央集権の強化（1）
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第７回　【授業テーマ】 新政府の樹立と中央集権化（3）
【内容・方法　等】 中央集権の強化（2）
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第８回　【授業テーマ】 新政府の外交政策（1）
【内容・方法　等】 初期外交と国境画定交渉
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第９回　【授業テーマ】 新政への反抗と政府の対応（1）
【内容・方法　等】 民衆・旧士族の反抗
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第10回　【授業テーマ】 新政への反抗と政府の対応（2）
【内容・方法　等】 自由民権運動（1）
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第11回　【授業テーマ】 新政への反抗と政府の対応（3）
【内容・方法　等】 自由民権運動（2）
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第12回　【授業テーマ】 国家財政の強化と体制の整備
【内容・方法　等】 松方財政と諸法制度の整備
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第13回　【授業テーマ】 立憲体制の確立
【内容・方法　等】 国会の開設と初期議会
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第14回　【授業テーマ】 新政府の外交政策（2）
【内容・方法　等】 条約改正交渉および大津事件について
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第15回　【授業テーマ】 総括

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　74　　2014/10/14　17:50:41

【内容・方法　等】 講義のまとめ・期末試験の説明
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。

評価方法（基準）
原則として、定期試験の成績によって評価する（なお、定期試験を必ず受験することが単位取得の最低条件である）。

教材等
教科書…教科書は特に指定しない。講義の際に、詳細なレジュメや参考資料などを配布する。
参考書…講義中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ
歴史を知らない、あるいは興味を感じない学生が増えているといいますが、せめて自分の国の近代以降の政治の歴史についての知識をしっかりもってほしいと思います。

関連科目
政治学関連科目

担当者の研究室等
11号館10階　河原教授室

アジアと日本
Asia and Japan

河　原　匡　見（カワラ　マサミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
本講義では、政治史を、特定の国または地域の、特定の時代について学んでいく。今年度は、日本の近代政治体制の確立過程をみていく。そして、現在のアジア諸国と日本の関係の背景的要因のうち、最も影響の強いこの時期の政治史を学ぶことによって、それが現在の両者の関係とどのように関わっているのかをより深く考える材料を提供したい。

授業方法と留意点
講義形式で行う。毎回ワークブック形式のレジュメを配布するので、聴講しながら、それを完成させて理解を深めていく。また、より詳細な解説については各自の判断でノートすること。

科目学習の効果（資格）
歴史を見る眼と日本の近代政治の展開に関する基礎知識の習得。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 ガイダンス、イントロダクション
【内容・方法　等】 講義内容の説明（進め方、評価方法など）、講義開始前の認識度確認調査
【事前・事後学習課題】 高校時代に歴史科目を履修した人は教科書を読み直してみましょう。
第２回 【授業テーマ】 学問としての政治史
【内容・方法　等】 歴史を見る眼について
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第３回 【授業テーマ】 西洋からの衝撃と体制の動揺（１）
【内容・方法　等】 開国と江戸幕府の終焉（１）
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第４回 【授業テーマ】 西洋からの衝撃と体制の動揺（２）
【内容・方法　等】 開国と江戸幕府の終焉（２）
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第５回 【授業テーマ】 新政府の樹立と中央集権化（１）
【内容・方法　等】 新政府の樹立と旧勢力の抵抗
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第６回 【授業テーマ】 新政府の樹立と中央集権化（２）
【内容・方法　等】 中央集権の強化（１）
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第７回 【授業テーマ】 新政府の樹立と中央集権化（３）
【内容・方法　等】 中央集権の強化（２）
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第８回 【授業テーマ】 新政府の外交政策（１）
【内容・方法　等】 初期外交と国境画定交渉
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第９回 【授業テーマ】 新政への反抗と政府の対応（１）
【内容・方法　等】 民衆・旧士族の反抗
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第10回 【授業テーマ】 新政への反抗と政府の対応（２）
【内容・方法　等】 自由民権運動（１）
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第11回 【授業テーマ】 新政への反抗と政府の対応（３）
【内容・方法　等】 自由民権運動（２）
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第12回 【授業テーマ】 国家財政の強化と体制の整備
【内容・方法　等】 松方財政と諸法制度の整備
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第13回 【授業テーマ】 立憲体制の確立
【内容・方法　等】 国会の開設と初期議会
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第14回 【授業テーマ】 新政府の外交政策（２）
【内容・方法　等】 条約改正交渉および大津事件について
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第15回 【授業テーマ】 総括
【内容・方法　等】 講義のまとめ・期末試験の説明
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。

評価方法（基準）
原則として、定期試験の成績によって評価する（なお、定期試験を必ず受験することが単位取得の最低条件である）。

教材等
教科書…教科書は特に指定しない。講義の際に、詳細なレジュメや参考資料などを配布する。
参考書…講義中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ
歴史を知らない、あるいは興味を感じない学生が増えているといいますが、せめて自分の国の近代以降の政治の歴史についての知識をしっかりもってほしいと思います。

関連科目
政治学関連科目

担当者の研究室等
11号館10階　河原教授室

日本の外交の歴史
Diplomatic History of Japan

森　　康　一（モリ　コウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
開国から現代までの日本の外交史を講義する。明治維新、日清・日露戦争、第一次世界大戦、満州事変、日中戦争、第二次世界大戦、そして戦後という激動の歴史を理解することで、今後日本がとるべき方向を考える土台を培ってほしい。

授業方法と留意点
プリントと板書により授業を進める。

科目学習の効果（資格）
現代の日本を考える上で必須となる歴史的な知識を得ることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 講義について
【内容・方法　等】 講義の内容全体について
【事前・事後学習課題】 高校の日本史を復習しておくこと。
第２回 【授業テーマ】 開国
【内容・方法　等】 江戸時代の末期、欧米諸国に開国を迫られた状況について
【事前・事後学習課題】 日本外交史に関する参考文献の該当箇所を読んでおく
第３回 【授業テーマ】 明治維新
【内容・方法　等】 明治維新期の対外関係について
【事前・事後学習課題】 日本外交史に関する参考文献の該当箇所を読んでおく
第４回 【授業テーマ】 領土問題・条約改正問題
【内容・方法　等】 諸外国との領土確定交渉と条約改正の試みについて
【事前・事後学習課題】 日本外交史に関する参考文献の該当箇所を読んでおく
第５回 【授業テーマ】 大陸問題
【内容・方法　等】 征韓論と日朝関係について
【事前・事後学習課題】 日本外交史に関する参考文献の該当箇所を読んでおく
第６回 【授業テーマ】 日清戦争と日露戦争
【内容・方法　等】 日本と清、ロシアをめぐる外交関係について
【事前・事後学習課題】 日本外交史に関する参考文献の該当箇所を読んでおく
第７回 【授業テーマ】 第一次世界大戦前後の国際情勢と日本の対外政策
【内容・方法　等】 第一次世界大戦前後の外交、幣原外交について
【事前・事後学習課題】 日本外交史に関する参考文献の該当箇所を読んでおく
第８回 【授業テーマ】 満州事変
【内容・方法　等】 田中外交と満州事変をめぐる国際連盟の対応について
【事前・事後学習課題】 日本外交史に関する参考文献の該当箇所を読んでおく
第９回 【授業テーマ】 日中戦争の始まり
【内容・方法　等】 日中戦争期の対外関係について
【事前・事後学習課題】 日本外交史に関する参考文献の該当箇

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　75　2014/10/14　17:50:41

所を読んでおく
第10回 【授業テーマ】 太平洋戦争への道
【内容・方法 等】 アメリカと敵対していく外交関係について
【事前・事後学習課題】 日本外交史に関する参考文献の該当箇所を読んでおく
第11回 【授業テーマ】 第二次世界大戦
【内容・方法 等】 第二次世界大戦期の日本をとりまく国際関係について
【事前・事後学習課題】 日本外交史に関する参考文献の該当箇所を読んでおく
第12回 【授業テーマ】 第二次世界大戦後の国際社会と日本
【内容・方法 等】 大戦終結直後の国際関係について
【事前・事後学習課題】 日本外交史に関する参考文献の該当箇所を読んでおく
第13回 【授業テーマ】 サンフランシスコ体制下の日本外交
【内容・方法 等】 日本の独立回復後の外交について
【事前・事後学習課題】 日本外交史に関する参考文献の該当箇所を読んでおく
第14回 【授業テーマ】 高度経済成長期以後の日本の政治と外交
【内容・方法 等】 最近の日本の外交について
【事前・事後学習課題】 日本外交史に関する参考文献の該当箇所を読んでおく
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 講義のまとめと試験について
【事前・事後学習課題】 試験に向けてノートをまとめておく

評価方法（基準）
期末試験（論述式）の結果によって評価します。持ち込みは認めません。

教材等
教科書…特に使用せず、プリントを配布する。
参考書…池井優『日本外交史概説』(慶應義塾大学出版会, 3990円)
井上寿一『日本外交史講義』(岩波書店, 2730円)

学生へのメッセージ
日々ニュースや新聞にふれて、日本や世界で起こっていることに関心を持ってください。そして、その出来事の原因や由来が何であるのか、常に問題意識を持つようにしてください。共に勉強しましょう。

関連科目
日本の政治、世界の政治、国際関係史、国際関係論、外交論

担当者の研究室等
11号館5階 法学部資料室（法学部非常勤講師室）

備考
出席をとる予定です。

国際関係史
International History

河 原 匡 見（カワラ マサミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
本講義では、国際関係の歴史について、特に第２次世界大戦後“冷戦”と呼ばれた時代に焦点を当てて、それがどのように発生し、展開し、そして終結したのか、米ソ間の対立の経緯を中心に解説していく。そうして、激動する今日の世界の動きを把握するための歴史的背景を理解できるように、また現代の国際関係に対する関心と問題意識をより高められるような材料を提供したい。

授業方法と留意点
講義形式で行う。毎回ワークブック形式のレジュメを配布するので、聴講しながら、それを完成させて理解を深めていく。また、より詳細な解説については各自の判断でノートすること。

科目学習の効果（資格）
歴史（特に現代史）を見る眼と戦後の国際関係の展開に関する基礎知識の習得。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 ガイダンス、イントロダクション
【内容・方法 等】 講義内容の説明（進め方、評価方法など）、講義開始前の認識度確認調査
【事前・事後学習課題】 高校時代に世界史・政治経済・現代社会の科目を履修した人は、教科書の中で戦後の世界の動きを扱った箇所を読み直してみましょう。
第２回 【授業テーマ】 “冷戦”の概念
【内容・方法 等】 定義、起源や原因に関する諸説について解説する。
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第３回 【授業テーマ】 戦後世界の起点
【内容・方法 等】 第２次世界大戦終盤の協力および戦後構想をめぐる動きについて解説する。
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第４回 【授業テーマ】 米ソ対立の契機
【内容・方法 等】 東欧の共産化について解説する。
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第５回 【授業テーマ】 米ソ対立の深化と拡大（１）/ 政治レベルの対立
【内容・方法 等】 米ソ間の対立が顕在化していく過程を、有力国の指導者の声明をたどりつつ解説する。
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第６回 【授業テーマ】 米ソ対立の深化と拡大（２）/ 経済レベルの対立
【内容・方法 等】 マーシャル・プランからドイツの東西分裂にいたる過程およびアメリカの封じ込め理論の内容を解説する。
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第７回 【授業テーマ】 米ソ対立の深化と拡大（３）/ 軍事レベルの対立
【内容・方法 等】 経済的対立が軍事的対立へと深化し、東西対立が固定化される過程を解説する。
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第８回 【授業テーマ】 米ソ対立の深化と拡大（４）/ アジアの“熱戦”〈前編〉
【内容・方法 等】 朝鮮戦争について解説する。
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第９回 【授業テーマ】 米ソ対立の深化と拡大（５）/ アジアの“熱戦”〈後編〉
【内容・方法 等】 前回に引き続き、朝鮮戦争について解説する。
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第10回 【授業テーマ】 “雪解け”とその影響
【内容・方法 等】 ソ連の指導者の死去とそれが与えた国際的影響を解説する。
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第11回 【授業テーマ】 ソ連の対西側積極攻勢とその影響
【内容・方法 等】 第２次ベルリン危機およびキューバ危機を中心に解説する。
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第12回 【授業テーマ】 （第１次）冷戦の特徴および緊張緩和の時代
【内容・方法 等】 第１次冷戦の構造的特質の説明、および緊張緩和が到来した原因とその影響について解説する。
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第13回 【授業テーマ】 新（第２次）冷戦
【内容・方法 等】 ソ連の核戦略の積極化とアメリカの対抗措置、それらに対する世界的な反核運動の展開、そしてソ連の指導者の交代と方針転換について解説する。
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第14回 【授業テーマ】 冷戦構造の崩壊
【内容・方法 等】 ソ連の変革と東欧の民主化、そして東側陣営の崩壊について解説する。
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第15回 【授業テーマ】 総括
【内容・方法 等】 講義のまとめ・期末試験の説明
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。

評価方法（基準）
原則として、定期試験の成績によって評価する（なお、定期試験を必ず受験することが単位取得の最低条件である）。

教材等
教科書…教科書は特に指定しない。講義の際に、詳細なレジュメや参考資料などを配布する。
参考書…講義中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ
現在の国際社会の状況を理解する上で、必要不可欠の内容といえます。

関連科目
政治学および国際関係に関連する科目

担当者の研究室等
11号館10階 河原教授室

多文化共生論
Multicultural Studies

河 原 匡 見（カワラ マサミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
２１世紀は「移民の時代」ともいわれている。わが国でも近年アジアや南米からの定住外国人が急増するにつれて、その存在が注目され始めている。また政府は、今後の日本社会の少子化に対応すべく、外国人労働者の本格的受け入れを検討し始めて

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd 76 2014/10/14 17:50:41

おり、異なる文化的背景をもつ人々との共生が大きな社会的課題となりつつある。本講義では、多文化との共生とはどのようなことなのか、さまざまな視点から概観して、初歩的かつ基礎的な知識を習得するとともに、共に生きるために何をなすべきかを考える材料を提示したいと考えている。

授業方法と留意点

講義形式で行う。また必要に応じて、ワークブック形式のレジュメや参考資料を配布するが、しっかり聴講して必要であればノートをとるように心がけてほしい。

科目学習の効果（資格）

今後日本社会が必ず直面する「異なる文化的背景をもつ人々との共存」という課題についての知識や考察の材料を学べる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 ガイダンス、イントロダクション
【内容・方法　等】 講義内容の説明（進め方、評価方法など)、講義開始前の認識度確認調査
【事前・事後学習課題】 テレビや新聞のニュースに関心をもとう。

第２回 【授業テーマ】 わが国における“共生”の現状
【内容・方法　等】 各種データからみた多文化共生の進展
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。

第３回 【授業テーマ】 多文化共生に関する入門的説明（１）
【内容・方法　等】 文化とは何か
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。

第４回 【授業テーマ】 多文化共生に関する入門的説明（２）
【内容・方法　等】 民族・人種とは何か
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。

第５回 【授業テーマ】 多文化共生に関する入門的説明（３）
【内容・方法　等】 言語、宗教（１）
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。

第６回 【授業テーマ】 多文化共生に関する入門的説明（４）
【内容・方法　等】 宗教（２）
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。

第７回 【授業テーマ】 多文化共生に関する基礎解説（１）
【内容・方法　等】 先住民族
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。

第８回 【授業テーマ】 多文化共生に関する基礎解説（２）
【内容・方法　等】 エスノセントリズム
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。

第９回 【授業テーマ】 多文化共生にいたる背景の説明（１）
【内容・方法　等】 人の移動の歴史（１）
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。

第10回 【授業テーマ】 多文化共生にいたる背景の説明（２）
【内容・方法　等】 人の移動の歴史（２）
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。

第11回 【授業テーマ】 多文化共生にいたる背景の説明（３）
【内容・方法　等】 人の移動の歴史（３）
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。

第12回 【授業テーマ】 大量移民の実例解説
【内容・方法　等】 華僑について
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。

第13回 【授業テーマ】 多文化共生に関する考え方や政策の推移
【内容・方法　等】 文化相対主義、多文化主義など
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。

第14回 【授業テーマ】 現代の多文化共生社会の事例説明
【内容・方法　等】 各国の具体的事例（実態）の紹介
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。

第15回 【授業テーマ】 総括
【内容・方法　等】 講義のまとめ・期末試験の説明
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。

評価方法（基準）

原則として、定期試験の成績によって評価する（なお、定期試験を必ず受験することが単位取得の最低条件である)。

教材等

教科書…教科書は特に指定しない。講義の際に、詳細なレジュメや参考資料などを配布する。
参考書…講義中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ

日本は今後確実に多文化社会へと向かうと考えられます。それがいったいどのような社会なのか、講義の中で提示するさまざまな知識や情報からそのイメージを感じ取ってほしいと思います。

関連科目

政治・国際関係に関連する科目

担当者の研究室等

11号館10階　河原教授室

多文化共生とは
Multicultural Studies

河　原　匡　見（カワラ　マサミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

２１世紀は「移民の時代」ともいわれている。わが国でも近年アジアや南米からの定住外国人が急増するにつれて、その存在が注目され始めている。また政府は、今後の日本社会の少子化に対応すべく、外国人労働者の本格的受け入れを検討し始めており、異なる文化的背景をもつ人々との共生が大きな社会的課題となりつつある。本講義では、多文化との共生とはどのようなことなのか、さまざまな視点から概観して、初歩的かつ基礎的な知識を習得するとともに、共に生きるために何をなすべきかを考える材料を提示したいと考えている。

授業方法と留意点

講義形式で行う。また必要に応じて、ワークブック形式のレジュメや参考資料を配布するが、しっかり聴講して必要であればノートをとるように心がけてほしい。

科目学習の効果（資格）

今後日本社会が必ず直面する「異なる文化的背景をもつ人々との共存」という課題についての知識や考察の材料を学べる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 ガイダンス、イントロダクション
【内容・方法　等】 講義内容の説明（進め方、評価方法など)、講義開始前の認識度確認調査
【事前・事後学習課題】 テレビや新聞のニュースに関心をもとう。

第２回 【授業テーマ】 わが国における“共生”の現状
【内容・方法　等】 各種データからみた多文化共生の進展
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。

第３回 【授業テーマ】 多文化共生に関する入門的説明（１）
【内容・方法　等】 文化とは何か
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。

第４回 【授業テーマ】 多文化共生に関する入門的説明（２）
【内容・方法　等】 民族・人種とは何か
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。

第５回 【授業テーマ】 多文化共生に関する入門的説明（３）
【内容・方法　等】 言語、宗教（１）
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。

第６回 【授業テーマ】 多文化共生に関する入門的説明（４）
【内容・方法　等】 宗教（２）
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。

第７回 【授業テーマ】 多文化共生に関する基礎解説（１）
【内容・方法　等】 先住民族
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。

第８回 【授業テーマ】 多文化共生に関する基礎解説（２）
【内容・方法　等】 エスノセントリズム
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。

第９回 【授業テーマ】 多文化共生にいたる背景の説明（１）
【内容・方法　等】 人の移動の歴史（１）
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。

第10回 【授業テーマ】 多文化共生にいたる背景の説明（２）
【内容・方法　等】 人の移動の歴史（２）
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。

第11回 【授業テーマ】 多文化共生にいたる背景の説明（３）
【内容・方法　等】 人の移動の歴史（３）
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。

第12回 【授業テーマ】 大量移民の実例解説
【内容・方法　等】 華僑について
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。

第13回 【授業テーマ】 多文化共生に関する考え方や政策の推移
【内容・方法　等】 文化相対主義、多文化主義など
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。

第14回 【授業テーマ】 現代の多文化共生社会の事例説明
【内容・方法　等】 各国の具体的事例（実態）の紹介
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。

第15回 【授業テーマ】 総括
【内容・方法　等】 講義のまとめ・期末試験の説明
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。

評価方法（基準）

原則として、定期試験の成績によって評価する（なお、定期試験を必ず受験することが単位取得の最低条件である)。

教材等

教科書…教科書は特に指定しない。講義の際に、詳細なレジュメや参考資料などを配布する。
参考書…講義中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ

日本は今後確実に多文化社会へと向かうと考えられます。それがいったいどのような社会なのか、講義の中で提示するさまざ

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　77　2014/10/14　17:50:41

まな知識や情報からそのイメージを感じ取ってほしいと思います。

関連科目
政治・国際関係に関連する科目

担当者の研究室等
11号館10階　河原教授室

国際関係論
International Relations

河　原　匡　見（カワラ　マサミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
『国際関係論』という学問について、その基本的な考え方を習得し、激動する現代の国際関係（世界の動き）に対する理解力の向上を，本講の目的とする。講義内容は、国際関係の基礎概念の説明から始め、アクターがどのように行動するのか、現実主義的アプローチに基づいてその行動態様を中心に解説していく。そうして、現実の国際関係がどのような構造で、何がどのような目的で活動しているのか、把握し理解できるよう《国際関係を見る眼》を養うような講義にしたい。

授業方法と留意点
講義形式で行う。毎回ワークブック形式のレジュメを配布するので、聴講しながら、それを完成させて理解を深めていく。また、より詳細な解説については各自の判断でノート。

科目学習の効果（資格）
国際関係を規定する要因などを学ぶことで、国際社会の動きを表面的だけでなくその本質を見抜く‘眼’を養う。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　ガイダンス、イントロダクション
【内容・方法　等】　講義内容の説明（進め方、評価方法など)、講義開始前の認識度確認調査
【事前・事後学習課題】　時事問題、特に国際関係の報道に目を向ける習慣をつけましょう。

第２回　**【授業テーマ】**　国際関係論とはどのような学問か
【内容・方法　等】　定義、研究方法についての解説
【事前・事後学習課題】　配布した資料で復習してください。

第３回　**【授業テーマ】**　国際関係における主要な行動主体〈アクター〉（１）
【内容・方法　等】　行動主体〈アクター〉とは？　国際関係の行動主体としての“国家”についての説明
【事前・事後学習課題】　配布した資料で復習してください。

第４回　**【授業テーマ】**　国際関係における主要な行動主体〈アクター〉（２）
【内容・方法　等】　国家以外の主要な行動主体〈アクター〉についての説明（１）
【事前・事後学習課題】　配布した資料で復習してください。

第５回　**【授業テーマ】**　国際関係における主要な行動主体〈アクター〉（３）
【内容・方法　等】　国家以外の主要な行動主体〈アクター〉についての説明（２）
【事前・事後学習課題】　配布した資料で復習してください。

第６回　**【授業テーマ】**　行動主体の行動原理
【内容・方法　等】　“国益”と行動目標についての説明
【事前・事後学習課題】　配布した資料で復習してください。

第７回　**【授業テーマ】**　行動主体の力の行使に関する概説（１）
【内容・方法　等】　国力とは何か？その内容についての説明
【事前・事後学習課題】　配布した資料で復習してください。

第８回　**【授業テーマ】**　行動主体の力の行使に関する概説（２）
【内容・方法　等】　力の行使の一般論および軍事的手段についての説明
【事前・事後学習課題】　配布した資料で復習してください。

第９回　**【授業テーマ】**　行動主体の力の行使に関する概説（３）
【内容・方法　等】　経済的手段についての説明
【事前・事後学習課題】　配布した資料で復習してください。

第10回　**【授業テーマ】**　行動主体の力の行使に関する概説（４）
【内容・方法　等】　宣伝的手段および文化的手段についての説明
【事前・事後学習課題】　配布した資料で復習してください。

第11回　**【授業テーマ】**　行動主体の力の行使に関する詳説（１）　経済制裁（前編）
【内容・方法　等】　経済制裁の種類、歴史的発展プロセスについての説明
【事前・事後学習課題】　配布した資料で復習してください。

第12回　**【授業テーマ】**　行動主体の力の行使に関する詳説（２）　経済制裁（後編）
【内容・方法　等】　経済制裁の効果を左右する要因についての説明
【事前・事後学習課題】　配布した資料で復習してください。

第13回　**【授業テーマ】**　行動主体の力の行使に関する詳説（３）　外交・外交交渉（前編）
【内容・方法　等】　外交の語義や形態の歴史についての説明
【事前・事後学習課題】　配布した資料で復習してください。

第14回　**【授業テーマ】**　行動主体の力の行使に関する詳説（４）　外交・外交交渉（後編）
【内容・方法　等】　外交交渉についての説明
【事前・事後学習課題】　配布した資料で復習してください。

第15回　**【授業テーマ】**　総括
【内容・方法　等】　講義のまとめ・期末試験の説明
【事前・事後学習課題】　配布した資料で復習してください。

評価方法（基準）
原則として、定期試験の成績によって評価する（なお、定期試験を必ず受験することが単位取得の最低条件である)。

教材等
教科書…教科書は特に指定しない。講義の際に、詳細なレジュメや参考資料などを配布する。
参考書…講義中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ
国際関係の動向が直接私たちの日常生活と密接に関連する現代社会において、複雑な国際情勢を的確に把握し読み解く能力が求められ、この科目の履修の必要性が高まってきているといえます。

関連科目
政治・国際関係に関連する科目

担当者の研究室等
11号館10階　河原教授室

グローバル社会論
Global Society

河　原　匡　見（カワラ　マサミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
いま国際社会において“グローバリゼーション（グローバル化)”が急速に進んでいる。その結果、さまざまな領域における世界的規模での相互依存の深化と競争の激化という現象が同時に進行している。そして、経済や文化などの領域での画一化が進む一方で地球規模の問題が起きており、「世界の一体化」を進展させているようにもみえるし、より「対立の深刻化」を引き起こしているようにもみえる。本講義では、現代の国際社会の変容を読み解く上で重要な“グローバリゼーション（グローバル化)”という現象の内容やそれがもたらす問題をさまざまな視点から解説していく。

授業方法と留意点
講義形式で行う。また必要に応じて、ワークブック形式のレジュメや参考資料を配布するが、しっかり聴講して必要であればノートをとるように心がけてほしい。

科目学習の効果（資格）
国際社会の現況およびその背景的要因を知ることで、世界の動きをみる“眼”を養うとともに、問題解決への意識を育む。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　ガイダンス、イントロダクション
【内容・方法　等】　講義内容の説明（進め方、評価方法など)、講義開始前の認識度確認調査
【事前・事後学習課題】　時事問題、特に国際問題に目を向ける習慣をつけてください。

第２回　**【授業テーマ】**　“グローバリゼーション”とは
【内容・方法　等】　基礎的な概念の説明
【事前・事後学習課題】　配布した資料で復習してください。

第３回　**【授業テーマ】**　グローバリゼーションの現状
【内容・方法　等】　各種データによる解説
【事前・事後学習課題】　配布した資料で復習してください。

第４回　**【授業テーマ】**　グローバリゼーションの発展の経緯（１）
【内容・方法　等】　“基層”の形成過程の説明（１）
【事前・事後学習課題】　配布した資料で復習してください。

第５回　**【授業テーマ】**　グローバリゼーションの発展の経緯（２）
【内容・方法　等】　“基層”の形成過程の説明（２）
【事前・事後学習課題】　配布した資料で復習してください。

第６回　**【授業テーマ】**　グローバリゼーションの発展の経緯（３）
【内容・方法　等】　“基層”の形成過程の説明（３）
【事前・事後学習課題】　配布した資料で復習してください。

第７回　**【授業テーマ】**　戦後のグローバリゼーションの展開（１）
【内容・方法　等】　国際分業の拡大・相互依存の浸透
【事前・事後学習課題】　配布した資料で復習してください。

第８回　**【授業テーマ】**　戦後のグローバリゼーションの展開（２）
【内容・方法　等】　南北問題の顕在化と深刻化

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　78　2014/10/14　17:50:42

【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第９回 【授業テーマ】 戦後のグローバリゼーションの展開（３）
【内容・方法　等】 新自由主義の浸透と反発
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第10回 【授業テーマ】 戦後のグローバリゼーションの展開（４）
【内容・方法　等】 世界金融危機 (2007-) 〈前編〉
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第11回 【授業テーマ】 戦後のグローバリゼーションの展開（５）
【内容・方法　等】 世界金融危機 (2007-) 〈後編〉
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第12回 【授業テーマ】 グローバリゼーションと地域統合（１）
【内容・方法　等】 世界各地のさまざまな地域統合の動きを紹介・解説する（１）
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第13回 【授業テーマ】 グローバリゼーションと地域統合（２）
【内容・方法　等】 世界各地のさまざまな地域統合の動きを紹介・解説する（２）
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第14回 【授業テーマ】 グローバリゼーションと日本
【内容・方法　等】 グローバル化の趨勢への日本の対応
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第15回 【授業テーマ】 総括
【内容・方法　等】 講義のまとめ・期末試験の説明
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。

評価方法（基準）
原則として、定期試験の成績によって評価する（なお、定期試験を必ず受験することが単位取得の最低条件である）。

教材等
教科書…教科書は特に指定しない。講義の際に、詳細なレジュメや参考資料などを配布する。
参考書…講義中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ
私たちの住む世界の重要な動き・趨勢なので、ぜひ関心をもってほしいと思います。

関連科目
政治・国際関係に関連する科目

担当者の研究室等
11号館10階　河原教授室

グローバリゼーション
Globalization

河　原　匡　見（カワラ　マサミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
いま国際社会において“グローバリゼーション（グローバル化）”が急速に進んでいる。その結果、さまざまな領域における世界的規模での相互依存の深化と競争の激化という現象が同時に進行している。そして、経済や文化などの領域での画一化が進む一方で地球規模の問題が起きており、「世界の一体化」を進展させているようにもみえるし、より「対立の深刻化」を引き起こしているようにもみえる。本講義では、現代の国際社会の変容を読み解く上で重要な“グローバリゼーション（グローバル化）”という現象の内容やそれがもたらす問題をさまざまな視点から解説していく。

授業方法と留意点
講義形式で行う。また必要に応じて、ワークブック形式のレジュメや参考資料を配布するが、しっかり聴講して必要であればノートをとるように心がけてほしい。

科目学習の効果（資格）
国際社会の現況およびその背景的要因を知ることで、世界の動きをみる“眼”を養うとともに、問題解決への意識を育む。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 ガイダンス、イントロダクション
【内容・方法　等】 講義内容の説明（進め方、評価方法など）、講義開始前の認識度確認調査
【事前・事後学習課題】 時事問題、特に国際問題に目を向ける習慣をつけてください。
第２回 【授業テーマ】 “グローバリゼーション”とは
【内容・方法　等】 基礎的な概念の説明
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第３回 【授業テーマ】 グローバリゼーションの現状
【内容・方法　等】 各種データによる解説
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第４回 【授業テーマ】 グローバリゼーションの発展の経緯（１）
【内容・方法　等】 “基層”の形成過程の説明（１）
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第５回 【授業テーマ】 グローバリゼーションの発展の経緯（２）
【内容・方法　等】 “基層”の形成過程の説明（２）
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第６回 【授業テーマ】 グローバリゼーションの発展の経緯（３）
【内容・方法　等】 “基層”の形成過程の説明（３）
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第７回 【授業テーマ】 戦後のグローバリゼーションの展開（１）
【内容・方法　等】 国際分業の拡大・相互依存の浸透
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第８回 【授業テーマ】 戦後のグローバリゼーションの展開（２）
【内容・方法　等】 南北問題の顕在化と深刻化
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第９回 【授業テーマ】 戦後のグローバリゼーションの展開（３）
【内容・方法　等】 新自由主義の浸透と反発
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第10回 【授業テーマ】 戦後のグローバリゼーションの展開（４）
【内容・方法　等】 世界金融危機 (2007-) 〈前編〉
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第11回 【授業テーマ】 戦後のグローバリゼーションの展開（５）
【内容・方法　等】 世界金融危機 (2007-) 〈後編〉
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第12回 【授業テーマ】 グローバリゼーションと地域統合（１）
【内容・方法　等】 世界各地のさまざまな地域統合の動きを紹介・解説する（１）
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第13回 【授業テーマ】 グローバリゼーションと地域統合（２）
【内容・方法　等】 世界各地のさまざまな地域統合の動きを紹介・解説する（２）
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第14回 【授業テーマ】 グローバリゼーションと日本
【内容・方法　等】 グローバル化の趨勢への日本の対応
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。
第15回 【授業テーマ】 総括
【内容・方法　等】 講義のまとめ・期末試験の説明
【事前・事後学習課題】 配布した資料で復習してください。

評価方法（基準）
原則として、定期試験の成績によって評価する（なお、定期試験を必ず受験することが単位取得の最低条件である）。

教材等
教科書…教科書は特に指定しない。講義の際に、詳細なレジュメや参考資料などを配布する。
参考書…講義中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ
私たちの住む世界の重要な動き・趨勢なので、ぜひ関心をもってほしいと思います。

関連科目
政治・国際関係に関連する科目

担当者の研究室等
11号館10階　河原教授室

国際協力論
International Cooperation

浅　野　英　一（アサノ　エイイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
国際協力は、開発途上国に対する援助供与という観点で捉えられがちだが、開発途上国、開発援助国を問わず、互いが抱える問題にパートナーとして協力していくことが国際協力の本来のあり方である。本講座では国際協力や国際援助の歴史、意義、効果と限界、南北問題、日本外交と対外援助、日本のＯＤＡやＮＧＯの現状と課題について、開発援助国と開発途上国との間で起こった事実を踏まえて学ぶ。

授業方法と留意点
摂南大学を休学・卒業して青年海外協力隊に参加している学生からの現地報告や、ビデオ・スライドを多様してビジュアルに国際協力の現状を知る。各講義の最後15～20分間は、質疑応答の時間とする。

科目学習の効果（資格）
将来的に、国際分野に進むために学んでおかなければならない国際協力の基礎

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 イントロダクションと授業内容概要
【内容・方法　等】 国際協力論ではどんなことを、どのように学ぶのか
【事前・事後学習課題】 ――――
第２回 【授業テーマ】 国際協力とは何か
【内容・方法　等】 国際協力の意味
【事前・事後学習課題】 前回の復習と、次回への展開

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd 79 2014/10/14 17:50:42

第３回　【授業テーマ】　日本の国際協力
【内容・方法　等】　日本が行ってきた国際協力について
【事前・事後学習課題】　前回の復習と、次回への展開
第４回　【授業テーマ】　非政府組織（NGO）
【内容・方法　等】　NGOの得意な分野と苦手な分野
【事前・事後学習課題】　前回の復習と、次回への展開
第５回　【授業テーマ】　草の根組織・地方自治体
【内容・方法　等】　普通の人が出来る国際協力
【事前・事後学習課題】　前回の復習と、次回への展開
第６回　【授業テーマ】　国際連合
【内容・方法　等】　様々な組織とその役割
【事前・事後学習課題】　前回の復習と、次回への展開
第７回　【授業テーマ】　国際協力を受ける国々（１）
【内容・方法　等】　開発途上国（アジア）について（過去・現在・将来）
【事前・事後学習課題】　前回の復習と、次回への展開
第８回　【授業テーマ】　国際協力を受ける国々（２）
【内容・方法　等】　開発途上国（アフリカ）について（過去・現在・将来）
【事前・事後学習課題】　前回の復習と、次回への展開
第９回　【授業テーマ】　国際協力を受ける国々（３）
【内容・方法　等】　開発途上国（アジア・アフリカ以外の国）について（過去・現在・将来）
【事前・事後学習課題】　前回の復習と、次回への展開
第10回　【授業テーマ】　国際協力の仕組み
【内容・方法　等】　国際協力の仕組みを解明する
【事前・事後学習課題】　前回の復習と、次回への展開
第11回　【授業テーマ】　人・物・金
【内容・方法　等】　国際協力にまつわるキイワード
【事前・事後学習課題】　前回の復習と、次回への展開
第12回　【授業テーマ】　国際協力の課題
【内容・方法　等】　主要援助国が抱える国際協力問題について
【事前・事後学習課題】　前回の復習と、次回への展開
第13回　【授業テーマ】　開発教育
【内容・方法　等】　開発教育とはなにか、どうして必要なのかを紐解く
【事前・事後学習課題】　前回の復習と、次回への展開
第14回　【授業テーマ】　国際協力の課題
【内容・方法　等】　今後、国際協力はどうあるべきかを考える
【事前・事後学習課題】　前回の復習と、次回への展開
第15回　【授業テーマ】　総括的確認（必ず出席すること）
【内容・方法　等】　これまでに学んできたことについて総合的判断を行う
【事前・事後学習課題】　――――

評価方法（基準）
記述式小テストや総括テストにより総合的に評価する。

教材等
教科書…「国際協力・国際交流ハンドブック　基礎から実践へ」実教出版
参考書…特になし

学生へのメッセージ
国際協力機関・国際ボランティア・青年海外協力隊など、将来この方面に進みたい学生には入門講座的として役割を果たします。この講義を受けて国際協力に興味を持った摂南大学の現役学生が青年海外協力隊員として、世界の国際協力現場の最前線で活躍しています。

関連科目
特になし

担当者の研究室等
７号館５階(浅野研究室)

国際ボランティア論
Studies in International Volunteers

浅　野　英　一（アサノ　エイイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
本講義では国際ボランティアを、一過性のイベントとしてとらえるのではなく、自分自身を見つけるチャンスとし、それを将来的に活用する。国際NGO、NPO、JICAボランティア青年海外協力隊や民間ボランティア等の現場を素材にケーススタディを行い、国際的社会常識と知識を深める。

授業方法と留意点
ビデオ・スライドを多様してビジュアルに国際ボランティアの現状を知る。各講義の最後15～20分間は、質疑応答の時間とする。

科目学習の効果（資格）
日本の立場を国際的な視野から見る。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　イントロダクションと授業内容概要
【内容・方法　等】　授業の目的や方針を確認し、全体の流れ（起承転結）を知る
【事前・事後学習課題】　――――
第２回　【授業テーマ】　（起-１）ボランティア
【内容・方法　等】　ボランティアとは何か、活動の内容とボランティアとしての自覚を学ぶ
【事前・事後学習課題】　前回の復習と、次回への展開
第３回　【授業テーマ】　（起-2）国際理解
【内容・方法　等】　なぜ貧困に悩まされているのかを知る
【事前・事後学習課題】　前回の復習と、次回への展開
第４回　【授業テーマ】　（起-3）国際協力
【内容・方法　等】　国際協力とは何かを知る
【事前・事後学習課題】　前回の復習と、次回への展開
第５回　【授業テーマ】　（承-１）貧困の現状把握
【内容・方法　等】　貧困で悩んでいる国々の現状を知る
【事前・事後学習課題】　前回の復習と、次回への展開
第６回　【授業テーマ】　（承-２）国際協力の現状把握
【内容・方法　等】　どういった国際協力が行われてきたのか、現在、何が行われているのかを知る
【事前・事後学習課題】　前回の復習と、次回への展開
第７回　【授業テーマ】　（転-１）国際ボランティア・NGOボランティア
【内容・方法　等】　国際ボランティア・NGOボランティアとは何かを知る
【事前・事後学習課題】　前回の復習と、次回への展開
第８回　【授業テーマ】　（転-2）国際ボランティア（青年海外協力隊）
【内容・方法　等】　国際ボランティア（青年海外協力隊）になるにはどうしたら良いのかを知る
【事前・事後学習課題】　前回の復習と、次回への展開
第９回　【授業テーマ】　（転-3）国際ボランティア（国連ボランティア）
【内容・方法　等】　国際ボランティア（国連ボランティア）になるにはどうしたら良いのかを知る
【事前・事後学習課題】　前回の復習と、次回への展開
第10回　【授業テーマ】　（転-4）国際ボランティア（NGOボランティア）
【内容・方法　等】　国際ボランティア（NGOボランティア）になるにはどうしたら良いのかを知る
【事前・事後学習課題】　前回の復習と、次回への展開
第11回　【授業テーマ】　（結-１）国際ボランティアの活動にあたって
【内容・方法　等】　国際ボランティアとしての自覚と次へのステップ
【事前・事後学習課題】　前回の復習と、次回への展開
第12回　【授業テーマ】　（結-2）自分に何ができるのか
【内容・方法　等】　ボランティア活動をするために、自分ができる事を明確にする
【事前・事後学習課題】　前回の復習と、次回への展開
第13回　【授業テーマ】　（結-3）更なる発展に向けて
【内容・方法　等】　ボランティア活動を一過性のイベントとして終わらせない
【事前・事後学習課題】　前回の復習と、次回への展開
第14回　【授業テーマ】　今後の課題
【内容・方法　等】　ボランティア活動の諸問題と克服について知る
【事前・事後学習課題】　前回の復習と、次回への展開
第15回　【授業テーマ】　総括的確認（必ず出席すること）
【内容・方法　等】　これまでに学んできたことについて総合的判断を行う
【事前・事後学習課題】　――――

評価方法（基準）
記述式小テストや小論文により総合的に評価する。

教材等
教科書…「国際協力・国際交流ハンドブック　基礎から実践へ」実教出版
参考書…特になし。

学生へのメッセージ
前期の国際協力論を履修することでこの講義内容が理解しやすくなる。

関連科目
国際協力論

担当者の研究室等
７号館５階（浅野研究室）

政治と政策
Politics and Public Policy

中　沼　丈　晃（ナカヌマ　タケアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　80　2014/10/14　17:50:42

この講義では、いまの政治・政策の大きな課題を取り上げ、テレビのニュース番組を関心を持って見られるようになることを目的とする。選挙で投票するにあたって、政治家や政党の訴えに対して自分の意見が持てるようになってほしいと考える。

授業方法と留意点

ひとつの時事のテーマを講義２回で扱う。時事を扱うため、夏までの情勢を見たあとに授業計画を確定する。講義では、簡単なレジュメを配布し、ニュース映像や新聞記事を多用する。毎回、知識の確認や自分の意見を書く確認ペーパーを課す。受講者とのやりとりを心がける。

科目学習の効果（資格）

公務員試験では、教養科目でも社会科学や政治の時事の知識が問われる。民間企業の採用試験でも、一般常識として、政治の仕組みの基礎や時事が問われる。職業社会人と会話をするうえで、政治や政策の話題についていく最低限の知識は不可欠である。この講義では、こういった知識や常識を身につける出発点を提供したい。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】** いまの政治・政策の大きな課題に目をとおしてみる。
【内容・方法　等】 講義で扱う時事について、学生とやりとりをしながら、いまの政治・政策の大きな課題の概要を確認する。
【事前・事後学習課題】 講義で勧めるニュース番組を通して見てみる。

第２回　**【授業テーマ】** 橋下維新、大阪都構想を支持する？（１）
【内容・方法　等】 地元大阪の政治動向を説明する。特に、既得権益の打破、有権者が決める政治を訴えて勢力を得た橋下維新と、その主張の核となった大阪都構想について解説する。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事を読む。大阪都構想に対する自分の意見を整理して書く。

第３回　**【授業テーマ】** 橋下維新、大阪都構想を支持する？（２）
【内容・方法　等】 地元大阪の政治動向を説明する。特に、既得権益の打破、有権者が決める政治を訴えて勢力を得た橋下維新と、その主張の核となった大阪都構想について解説する。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事を読む。大阪都構想に対する自分の意見を整理して書く。

第４回　**【授業テーマ】** 日本の内閣はなぜ長続きしない？（１）
【内容・方法　等】 近年、内閣が約１年しかもたなかった理由を探る。衆議院と参議院の「ねじれ」現象、内閣支持率の動き、無党派層の性格を解説する。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事を読む。なぜ短命内閣となるのか自分の意見を整理して書く。

第５回　**【授業テーマ】** 日本の内閣はなぜ長続きしない？（２）
【内容・方法　等】 近年、内閣が約１年しかもたなかった理由を探る。衆議院と参議院の「ねじれ」現象、内閣支持率の動き、無党派層の性格を解説する。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事を読む。なぜ短命内閣となるのか自分の意見を整理して書く。

第６回　**【授業テーマ】** 消費税を上げるのに賛成？（１）
【内容・方法　等】 本年4月に8%に上り、10%への増税も予定されている消費税を扱う。日本の借金残高や、借金が増えてきた経緯を説明し、消費税導入と増税の背景を理解してもらう。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事を読む。消費税増税に賛成するか、反対するか、自分の意見を整理して書く。

第７回　**【授業テーマ】** 消費税を上げるのに賛成？（２）
【内容・方法　等】 本年4月に8%に上り、10%への増税も予定されている消費税を扱う。日本の借金残高や、借金が増えてきた経緯を説明し、消費税導入と増税の背景を理解してもらう。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事を読む。消費税増税に賛成するか、反対するか、自分の意見を整理して書く。

第８回　**【授業テーマ】** 尖閣諸島・竹島にこだわる？（１）
【内容・方法　等】 近年、日中間、日韓間で争いの種となっている領土問題を取り上げる。歴史の経緯を簡単に整理したうえで、国有化、大統領の上陸などをめぐって、どのような言い争いの構図になっているか説明する。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事を読む。尖閣諸島・竹島問題に関する自分の意見を整理して書く。

第９回　**【授業テーマ】** 尖閣諸島・竹島にこだわる？（２）
【内容・方法　等】 近年、日中間、日韓間で争いの種となっている領土問題を取り上げる。歴史の経緯を簡単に整理したうえで、国有化、大統領の上陸などをめぐって、どのような言い争いの構図になっているか説明する。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事を読む。尖閣諸島・竹島問題に関する自分の意見を整理して書く。

第10回　**【授業テーマ】** 日本はTPPに参加すべきだと思う？（１）
【内容・方法　等】 原則、関税を撤廃するTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）をめぐる動向や議論を説明する。輸出国である日本にとってのメリット、食品の安全や小規模農業への影響の懸念など、TPPと生活の結びつきを理解してもらう。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事を読む。日本がTPPに参加すべきかどうか、自分の意見を整理して書く。

第11回　**【授業テーマ】** 日本はTPPに参加すべきだと思う？（２）
【内容・方法　等】 原則、関税を撤廃するTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）をめぐる動向や議論を説明する。輸出国である日本にとってのメリット、食品の安全や小規模農業への影響の懸念など、TPPと生活の結びつきを理解してもらう。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事を読む。日本がTPPに参加すべきかどうか、自分の意見を整理して書く。

第12回　**【授業テーマ】** いじめ、体罰、児童虐待はなぜ起こる？（１）
【内容・方法　等】 身近な日常で起きている肉体的・精神的暴力の問題を扱う。学校、部活、家庭でどのような暴力があるか、具体的な事件を取り上げ、現場での対応の問題を考えてもらう。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事を読む。いじめ、体罰、児童虐待にどう対応したらよいか、自分の意見を整理して書く。

第13回　**【授業テーマ】** いじめ、体罰、児童虐待はなぜ起こる？（２）
【内容・方法　等】 身近な日常で起きている肉体的・精神的暴力の問題を扱う。学校、部活、家庭でどのような暴力があるか、具体的な事件を取り上げ、現場での対応の問題を考えてもらう。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事を読む。いじめ、体罰、児童虐待にどう対応したらよいか、自分の意見を整理して書く。

第14回　**【授業テーマ】** どうして大阪は治安が悪い？（１）
【内容・方法　等】 地元大阪で、本年度どのような犯罪が起きているか、具体例で説明する。犯罪の数え方を説明したうえで、大阪の治安が他府県と比較して悪い現状を認識してもらう。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事を読む。どうして大阪は治安が悪いのか、自分の意見を整理して書く。

第15回　**【授業テーマ】** どうして大阪は治安が悪い？（２）
【内容・方法　等】 地元大阪で、本年度どのような犯罪が起きているか、具体例で説明する。犯罪の数え方を説明したうえで、大阪の治安が他府県と比較して悪い現状を認識してもらう。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事を読む。どうして大阪は治安が悪いのか、自分の意見を整理して書く。

評価方法（基準）

定期試験50%、講義毎回の確認ペーパー30%、中間のレポート20%の割合で総合的に評価する。

教材等

教科書…指定しない。
参考書…講義で紹介する。

学生へのメッセージ

どんな仕事に就いても、政治や政策の問題は避けられません。領土をめぐって中国や韓国との争いが厳しくなったり、国の借金が増え円高になり輸出に不利になったりすれば、よい製品も売れなくなります。加えて、教育や治安は、家庭を持ち子どもを育てることになるすべての大人に共通の問題です。自分と家族を守るために、毎日の政治・政策のニュースに関心が持てるようになってほしいと考えて、講義をしていきます。

関連科目

「公共政策の基礎」「行政と政策」「地方自治と政策」につながる基礎科目である。

担当者の研究室等

11号館9階　中沼准教授室

日本の政治
Government and History in Postwar Japan

松　永　信　一（マツナガ　シンイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

1945～1960年の戦後日本政治の推移について、占領統治を中心に説明する。

授業方法と留意点

講述形式を中心にしていく。プリントを毎時間配布。質問やディスカッションの時間もできる限り設けたい。

科目学習の効果（資格）

成熟した近代社会における市民としての常識的知識の獲得。職業的には教員やジャーナリスト・マスコミ関連や外交官あるいは公務員志望者向け。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】** はじめに

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　81　2014/10/14　17:50:42

【内容・方法　等】 授業の概要と趣旨
【事前・事後学習課題】 高校の日本史の教科書の該当部分(1930年代から現在に至る部分)を読み直す。

第２回 【授業テーマ】 太平洋戦争について①
【内容・方法　等】 満州事変（1931）から真珠湾攻撃（1941）まで
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない事柄については質問すること。

第３回 【授業テーマ】 太平洋戦争について②
【内容・方法　等】 戦争の経緯と無条件降伏受諾
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない事柄については質問すること。

第４回 【授業テーマ】 占領前期（敗戦－１９４８）①
【内容・方法　等】 敗戦と天皇制、民主化・非軍事化
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない事柄については質問すること。

第５回 【授業テーマ】 占領前期（敗戦－１９４８）②
【内容・方法　等】 日本国憲法、労働運動、中道政権
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない事柄については質問すること。

第６回 【授業テーマ】 占領後期（１９４８－５２）①
【内容・方法　等】 冷戦構造、占領政策の転換
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない事柄については質問すること。

第７回 【授業テーマ】 占領後期（１９４８－５２）②
【内容・方法　等】 経済復興、ドッジライン、朝鮮戦争
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない事柄については質問すること。

第８回 【授業テーマ】 占領後期（１９４８－５２）③
【内容・方法　等】 講和条約、保守対革新
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない事柄については質問すること。

第９回 【授業テーマ】 ＧＨＱ撤退から保守合同まで①
【内容・方法　等】 吉田政権、吉田派対反吉田派
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない事柄については質問すること。

第10回 【授業テーマ】 ＧＨＱ撤退から保守合同まで②
【内容・方法　等】 保守合同の経緯、鳩山政権
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない点は質問すること。

第11回 【授業テーマ】 保守合同から安保騒動まで
【内容・方法　等】 岸政権と安保条約の改正
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない点は質問すること。

第12回 【授業テーマ】 日本の統治構造
【内容・方法　等】 議院内閣制と大統領制
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない点は質問すること。

第13回 【授業テーマ】 立法過程①
【内容・方法　等】 国会審議と行政機構
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない点は質問すること。

第14回 【授業テーマ】 立法過程②
【内容・方法　等】 与党審査、利益団体、首相のリーダーシップ
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない点は質問すること。

第15回 【授業テーマ】 まとめと定期試験について
【内容・方法　等】 授業を振り返る。試験対策について。
【事前・事後学習課題】 プリントを読み返し、不明な点についての質問がないかどうかを確かめる。

評価方法（基準）
試験成績と平常点による。

教材等
教科書…授業の中で指示する。
参考書…福永文夫『戦後日本の再生』（丸善）、雨宮昭一『占領と改革』（岩波新書）、石川真澄『戦後政治史』（岩波新書）、五百旗頭真『戦争・講和・占領』（中央公論社）

学生へのメッセージ
高校の日本史教科書で明治以降の部分（特に戦後は丹念に）を復習しておいて下さい。連絡をとりたい人、授業内容について質問のある人などは以下にメールを送って下さい。
matunaga@law.setsunan.ac.jp

関連科目
政治学および国際関係論関連科目

担当者の研究室等
11号館10階　松永准教授室

政治学I
Politics I

松　永　信　一（マツナガ　シンイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
民主主義の歴史、民主主義の諸類型、民主主義と非民主的な政治体制の比較、民主主義の社会的基盤などについて講義する。

授業方法と留意点
プリントを配布し、講述形式による。

科目学習の効果（資格）
ジャーナリスト、公務員、議員、社会科教員などの公的な貢献に比重を置いた職業を目指す人。就職試験の時事問題対策。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 はじめに
【内容・方法　等】 授業の趣旨及び進め方
【事前・事後学習課題】 本日配布のプリントを読み直す

第２回 【授業テーマ】 民主主義はなぜ望ましいか
【内容・方法　等】 政治に何を望むか。政体の形態
【事前・事後学習課題】 プリントを読み直し、不明部分は参考書や事典によって解消すること。

第３回 【授業テーマ】 民主主義の歴史的変遷
【内容・方法　等】 民主主義の古代と現代
【事前・事後学習課題】 プリントを読み直し、不明部分は参考書や事典によって解消すること。

第４回 【授業テーマ】 ダールの民主主義論
【内容・方法　等】 ポリアーキー概念
【事前・事後学習課題】 プリントを読み直し、不明部分は参考書や事典によって解消すること。

第５回 【授業テーマ】 民主主義と自由主義
【内容・方法　等】 法の支配、自由権
【事前・事後学習課題】 プリントを読み直し、不明部分は参考書や事典によって解消すること。

第６回 【授業テーマ】 民主主義と平等（１）
【内容・方法　等】 経済的平等、ジェンダー
【事前・事後学習課題】 プリントを読み直し、不明部分は参考書や事典によって解消すること。

第７回 【授業テーマ】 民主主義と平等（２）
【内容・方法　等】 文化的多元主義
【事前・事後学習課題】 プリントを読み直し、不明部分は参考書や事典によって解消すること。

第８回 【授業テーマ】 民主主義と戦争
【内容・方法　等】 フランス革命、アメリカの独立戦争
【事前・事後学習課題】 プリントを読み直し、不明部分は参考書や事典によって解消すること。

第９回 【授業テーマ】 民主主義の土台（１）
【内容・方法　等】 政治文化論
【事前・事後学習課題】 プリントを読み直し、不明部分は参考書や事典によって解消すること。

第10回 【授業テーマ】 民主主義の土台（２）
【内容・方法　等】 ソーシャル・キャピタル（社会関係資本)、恩顧主義
【事前・事後学習課題】 プリントを読み直し、不明部分は参考書や事典によって解消すること。

第11回 【授業テーマ】 民主主義の将来（１）
【内容・方法　等】 巻町の住民投票運動
【事前・事後学習課題】 プリントを読み直し、不明部分は参考書や事典によって解消すること。

第12回 【授業テーマ】 民主主義の将来（２）
【内容・方法　等】 国民国家とグローバリズム
【事前・事後学習課題】 プリントを読み直し、不明部分は参考書や事典によって解消すること。

第13回 【授業テーマ】 非民主的な体制
【内容・方法　等】 権威主義的な政治体制
【事前・事後学習課題】 プリントを読み直し、不明部分は参考書や事典によって解消すること。

第14回 【授業テーマ】 非民主的な政治体制
【内容・方法　等】 全体主義的政治体制
【事前・事後学習課題】 プリントを読み直し、不明部分は参考書や事典によって解消すること。

第15回 【授業テーマ】 まとめ

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　82　2014/10/14　17:50:42

【内容・方法　等】 授業内容を振り返り、試験対策について
【事前・事後学習課題】 ――――

評価方法（基準）
定期試験の結果及び数回の小レポートの評価による。

教材等
教科書…授業の中で指示する
参考書…ダール『デモクラシーとは何か』（岩波書店）、『現代政治学事典』（大学教育社）、阿部他『現代政治学小辞典』（有斐閣）

学生へのメッセージ
毎日の新聞やテレビで報じられる政治ニュースに注目しよう。

関連科目
政治、国際関連科目

担当者の研究室等
11号館10階　松永准教授室

政治学II
Politics II

松　永　信　一（マツナガ　シンイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
現代政治における選挙と政党の問題について講義する。選挙は市民が政治に関わる最も一般的な装置であり、政党はそれを手助けする組織である。

授業方法と留意点
講述形式でプリントを配る。配られたプリントは必ず毎回持参すること。

科目学習の効果（資格）
ジャーナリスト、公務員、議員、社会科教員。いくつかの公務員試験や就職試験時事問題対策になる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 はじめに
【内容・方法　等】 授業の趣旨と進め方
【事前・事後学習課題】 プリントを読み直すこと。

第２回 【授業テーマ】 選挙制度
【内容・方法　等】 小選挙区と大選挙区、各国の選挙制度
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し、不明部分を参考書などで明らかにしていくこと。

第３回 【授業テーマ】 投票行動（１）
【内容・方法　等】 有権者の意識と投票
有権者の社会環境と投票行動
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し、不明部分を参考書などで明らかにしていくこと。

第４回 【授業テーマ】 投票行動（２）
【内容・方法　等】 有権者の心理と投票行動
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し、不明部分を参考書などで明らかにしていくこと。

第５回 【授業テーマ】 日英選挙運動の比較
【内容・方法　等】 イギリスの保守党と日本の自民党について
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し、不明部分を参考書などで明らかにしていくこと。

第６回 【授業テーマ】 日本の選挙運動（１）
【内容・方法　等】 民俗の中の選挙
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し、不明部分を参考書などで明らかにしていくこと。

第７回 【授業テーマ】 日本の選挙運動（２）
【内容・方法　等】 後援会組織
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し、不明部分を参考書などで明らかにしていくこと。

第８回 【授業テーマ】 政党（１）
【内容・方法　等】 定義と歴史的展開
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し、不明部分を参考書などで明らかにしていくこと。

第９回 【授業テーマ】 政党（２）
【内容・方法　等】 政党組織の類型
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し、不明部分を参考書などで明らかにしていくこと。

第10回 【授業テーマ】 政党（3）
【内容・方法　等】 政党システム
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し、不明部分を参考書などで明らかにしていくこと。

第11回 【授業テーマ】 戦後日本の政党（1）
【内容・方法　等】 自民党
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し、不明部分を参考書などで明らかにしていくこと。

第12回 【授業テーマ】 戦後日本の政党（2）
【内容・方法　等】 社会党及びそのほか野党
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し、不明部分を参考書などで明らかにしていくこと。

第13回 【授業テーマ】 戦後日本の政党（3）
【内容・方法　等】 無党派層とイメージ選挙
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し、不明部分を参考書などで明らかにしていくこと。

第14回 【授業テーマ】 90年代の選挙と政党
【内容・方法　等】 マスメディアの役割
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し、不明部分を参考書などで明らかにしていくこと。

第15回 【授業テーマ】 総括
【内容・方法　等】 まとめと試験の傾向と対策
【事前・事後学習課題】 テスト範囲を念頭に置きながら、プリントを読み返す

評価方法（基準）
定期試験の結果と数回の小レポートの評価による。

教材等
教科書…特に指定しない
参考書…梅津他『比較・選挙政治』（ミネルヴァ書房）、『現代政治学事典』（大学教育者）

学生へのメッセージ
毎日の新聞やテレビで報じられる政治ニュースに注目しよう。

関連科目
政治学および国際関係論関連科目

担当者の研究室等
11号館10階　松永准教授室

現代の民主主義
Democracy in Contemporary Society

松　永　信　一（マツナガ　シンイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
民主主義の歴史、民主主義の諸類型、民主主義と非民主的な政治体制の比較、民主主義の社会的基盤などについて講義する。

授業方法と留意点
プリントを配布し、講述形式による。

科目学習の効果（資格）
ジャーナリスト、公務員、議員、社会科教員などの公的な貢献に比重を置いた職業を目指す人。就職試験の時事問題対策。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 はじめに
【内容・方法　等】 授業の趣旨及び進め方
【事前・事後学習課題】 本日配布のプリントを読み直す

第２回 【授業テーマ】 民主主義はなぜ望ましいか
【内容・方法　等】 政治に何を望むか。政体の形態
【事前・事後学習課題】 プリントを読み直し、不明部分は参考書や事典によって解消すること。

第３回 【授業テーマ】 民主主義の歴史的変遷
【内容・方法　等】 民主主義の古代と現代
【事前・事後学習課題】 プリントを読み直し、不明部分は参考書や事典によって解消すること。

第４回 【授業テーマ】 ダールの民主主義論
【内容・方法　等】 ポリアーキー概念
【事前・事後学習課題】 プリントを読み直し、不明部分は参考書や事典によって解消すること。

第５回 【授業テーマ】 民主主義と自由主義
【内容・方法　等】 法の支配、自由権
【事前・事後学習課題】 プリントを読み直し、不明部分は参考書や事典によって解消すること。

第６回 【授業テーマ】 民主主義と平等（１）
【内容・方法　等】 経済的平等、ジェンダー
【事前・事後学習課題】 プリントを読み直し、不明部分は参考書や事典によって解消すること。

第７回 【授業テーマ】 民主主義と平等（２）
【内容・方法　等】 文化的多元主義
【事前・事後学習課題】 プリントを読み直し、不明部分は参考書や事典によって解消すること。

第８回 【授業テーマ】 民主主義と戦争
【内容・方法　等】 フランス革命、アメリカの独立戦争
【事前・事後学習課題】 プリントを読み直し、不明部分は参考書や事典によって解消すること。

第９回 【授業テーマ】 民主主義の土台（１）
【内容・方法　等】 政治文化論
【事前・事後学習課題】 プリントを読み直し、不明部分は参考書や事典によって解消すること。

第10回 【授業テーマ】 民主主義の土台（２）
【内容・方法　等】 ソーシャル・キャピタル（社会関係資本）、

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　83　2014/10/14　17:50:42

恩顧主義
【事前・事後学習課題】 プリントを読み直し、不明部分は参考書や事典によって解消すること。
第11回 【授業テーマ】 民主主義の将来（1）
【内容・方法 等】 巻町の住民投票運動
【事前・事後学習課題】 プリントを読み直し、不明部分は参考書や事典によって解消すること。
第12回 【授業テーマ】 民主主義の将来（2）
【内容・方法 等】 国民国家とグローバリズム
【事前・事後学習課題】 プリントを読み直し、不明部分は参考書や事典によって解消すること。
第13回 【授業テーマ】 非民主的な体制
【内容・方法 等】 権威主義的な政治体制
【事前・事後学習課題】 プリントを読み直し、不明部分は参考書や事典によって解消すること。
第14回 【授業テーマ】 非民主的な政治体制
【内容・方法 等】 全体主義的政治体制
【事前・事後学習課題】 プリントを読み直し、不明部分は参考書や事典によって解消すること。
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 授業内容を振り返り、試験対策について
【事前・事後学習課題】 ――――

評価方法（基準）
定期試験の結果及び数回の小レポートの評価による。

教材等
教科書…授業の中で指示する
参考書…ダール『デモクラシーとは何か』（岩波書店）、『現代政治学事典』（大学教育社）、阿部他『現代政治学小辞典』（有斐閣）

学生へのメッセージ
毎日の新聞やテレビで報じられる政治ニュースに注目しよう。

関連科目
政治、国際関連科目

担当者の研究室等
11号館10階　松永准教授室

選挙と政党
Election and Party

松　永　信　一（マツナガ　シンイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
現代政治における選挙と政党の問題について講義する。選挙は市民が政治に関わる最も一般的な装置であり、政党はそれを手助けする組織である。

授業方法と留意点
講述形式でプリントを配る。配られたプリントは必ず毎回持参すること。

科目学習の効果（資格）
ジャーナリスト、公務員、議員、社会科教員。いくつかの公務員試験や就職試験時事問題対策になる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 はじめに
【内容・方法 等】 授業の趣旨と進め方
【事前・事後学習課題】 プリントを読み直すこと。
第２回 【授業テーマ】 選挙制度
【内容・方法 等】 小選挙区と大選挙区、各国の選挙制度
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し、不明部分を参考書などで明らかにしていくこと。
第３回 【授業テーマ】 投票行動（1）
【内容・方法 等】 有権者の意識と投票
有権者の社会環境と投票行動
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し、不明部分を参考書などで明らかにしていくこと。
第４回 【授業テーマ】 投票行動（2）
【内容・方法 等】 有権者の心理と投票行動
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し、不明部分を参考書などで明らかにしていくこと。
第５回 【授業テーマ】 日英選挙運動の比較
【内容・方法 等】 イギリスの保守党と日本の自民党について
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し、不明部分を参考書などで明らかにしていくこと。
第６回 【授業テーマ】 日本の選挙運動（1）
【内容・方法 等】 民俗の中の選挙
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し、不明部分を参考書などで明らかにしていくこと。
第７回 【授業テーマ】 日本の選挙運動（2）
【内容・方法 等】 後援会組織
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し、不明部分を参考書などで明らかにしていくこと。
第８回 【授業テーマ】 政党（1）
【内容・方法 等】 定義と歴史的展開
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し、不明部分を参考書などで明らかにしていくこと。
第９回 【授業テーマ】 政党（2）
【内容・方法 等】 政党組織の類型
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し、不明部分を参考書などで明らかにしていくこと。
第10回 【授業テーマ】 政党（3）
【内容・方法 等】 政党システム
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し、不明部分を参考書などで明らかにしていくこと。
第11回 【授業テーマ】 戦後日本の政党(1)
【内容・方法 等】 自民党
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し、不明部分を参考書などで明らかにしていくこと。
第12回 【授業テーマ】 戦後日本の政党(2)
【内容・方法 等】 社会党及びそのほか野党
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し、不明部分を参考書などで明らかにしていくこと。
第13回 【授業テーマ】 戦後日本の政党(3)
【内容・方法 等】 無党派層とイメージ選挙
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し、不明部分を参考書などで明らかにしていくこと。
第14回 【授業テーマ】 90年代の選挙と政党
【内容・方法 等】 マスメディアの役割
【事前・事後学習課題】 プリントを復習し、不明部分を参考書などで明らかにしていくこと。
第15回 【授業テーマ】 総括
【内容・方法 等】 まとめと試験の傾向と対策
【事前・事後学習課題】 テスト範囲を念頭に置きながら、プリントを読み返す

評価方法（基準）
定期試験の結果と数回の小レポートの評価による。

教材等
教科書…特に指定しない
参考書…梅津他『比較・選挙政治』（ミネルヴァ書房）、『現代政治学事典』（大学教育者）

学生へのメッセージ
毎日の新聞やテレビで報じられる政治ニュースに注目しよう。

関連科目
政治学および国際関係論関連科目

担当者の研究室等
11号館10階　松永准教授室

市民社会論
Civil Society

森　　康　一（モリ　コウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
「市民社会」は、「国家」とも「市場」とも異なる新しい公共性の担い手として、特に1989年の東欧の民主化以降注目を集めている。
この講義では、「民主主義」との関わりで欧米あるいは日本の「市民社会」・「市民社会論」の歴史的系譜について整理した上で、事例として東欧の民主化の過程をとりあげたい。
今後の社会を担う一個の市民として、「市民社会」のありかたについて考えることを目標とする。

授業方法と留意点
プリントと板書により授業を進める。

科目学習の効果（資格）
日本の社会を考える上で必要となる歴史的視点や理論を学ぶことができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 講義の目的と内容・成績評価について
【内容・方法 等】 講義の内容全体について
【事前・事後学習課題】 新聞等で、市民社会・民主主義について書かれている記事を積極的に読んでおく
第２回 【授業テーマ】 市民社会とは何か
【内容・方法 等】 「市民」と「市民社会」について
【事前・事後学習課題】 政治理論に関する参考文献を読んでおく
第３回 【授業テーマ】 市民社会論の歴史的系譜
【内容・方法 等】 市民社会論の歴史的系譜について
【事前・事後学習課題】 市民社会論に関する参考文献を読んで

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd 84 2014/10/14 17:50:43

おく
第４回　**【授業テーマ】**　西欧における市民社会論の展開（1）
【内容・方法　等】　古代ギリシャの市民社会論について
【事前・事後学習課題】　市民社会論に関する参考文献を読んでおく
第５回　**【授業テーマ】**　西欧における市民社会論の展開（2）
【内容・方法　等】　近代ブルジョア的市民社会論について
【事前・事後学習課題】　市民社会論に関する参考文献を読んでおく
第６回　**【授業テーマ】**　西欧における市民社会論の展開（3）
【内容・方法　等】　近代ブルジョア的市民社会論に対する批判論について
【事前・事後学習課題】　市民社会論に関する参考文献を読んでおく
第７回　**【授業テーマ】**　西欧における市民社会論の展開（4）
【内容・方法　等】　近代止揚の市民社会論について
【事前・事後学習課題】　市民社会論に関する参考文献を読んでおく
第８回　**【授業テーマ】**　西欧における市民社会論の展開（5）
【内容・方法　等】　現代の市民社会論について
【事前・事後学習課題】　市民社会論に関する参考文献を読んでおく
第９回　**【授業テーマ】**　日本的「市民社会」論
【内容・方法　等】　日本の思想家による「市民社会」のとらえ方について
【事前・事後学習課題】　「日本的社会」とはどういうものか、考えておく
第10回　**【授業テーマ】**　事例研究：ポーランドの民主化運動（1）
【内容・方法　等】　ポーランドの社会主義と自主管理労組「連帯」の活動について
【事前・事後学習課題】　東欧の民主化に関する参考文献を読んでおくこと
第11回　**【授業テーマ】**　ポーランドの民主化運動（2）
【内容・方法　等】　東欧の民主化の先導役としてのポーランドが辿った過程について
【事前・事後学習課題】　東欧の民主化に関する参考文献を読んでおくこと
第12回　**【授業テーマ】**　チェコスロヴァキアの民主化運動（1）
【内容・方法　等】　チェコスロヴァキアの社会主義と1968年の「プラハの春」について
【事前・事後学習課題】　東欧の民主化に関する参考文献を読んでおくこと
第13回　**【授業テーマ】**　チェコスロヴァキアの民主化運動（2）
【内容・方法　等】　チェコスロヴァキアの社会主義と市民社会の関わりについて
【事前・事後学習課題】　東欧の民主化に関する参考文献を読んでおくこと
第14回　**【授業テーマ】**　チェコスロヴァキアの民主化運動（3）
【内容・方法　等】　1989年のビロード革命について
【事前・事後学習課題】　東欧の民主化に関する参考文献を読んでおくこと
第15回　**【授業テーマ】**　まとめ
【内容・方法　等】　講義のまとめと試験について
【事前・事後学習課題】　試験に向けたノート作りをする

評価方法（基準）
期末試験（論述式）の結果によって評価します。持ち込みは認めません。

教材等
教科書…特に使用せず、プリントを配布する。
参考書…川崎 修・杉田 敦編『現代政治理論』（有斐閣、1900円）
吉田傑俊『市民社会論―その理論と歴史―』（大月書店、3400円）
伊東孝之・南塚信吾『社会主義の20世紀』第3巻（日本放送協会、1600円）

学生へのメッセージ
日々ニュースや新聞にふれて、日本や世界で起こっていることに関心を持ってください。そして、その出来事の原因や由来が何であるのか、常に問題意識を持つようにしてください。共に勉強しましょう。

関連科目
政治学、行政学、世界の政治

担当者の研究室等
11号館5階　法学部資料室（法学部非常勤講師室）

備考
出席をとる予定です。

政治過程論
Political Process

松　永　信　一（マツナガ　シンイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
現代社会で世論の影響力は大きい。その動向に深いかかわりを持つマスメディアについて説明する。

授業方法と留意点
プリントを配布し、講義する。配られたプリントは必ず持参すること。

科目学習の効果（資格）
ジャーナリスト、マスコミ、公務員、議員、社会科教員、ＮＰＯ団体職員などの公共的な仕事に関心を持つものに向く。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】**　はじめに
【内容・方法　等】　授業のやり方、成績評価基準，授業内容の概要。
【事前・事後学習課題】　プリントを見直し、マスメディアの動きを観察しよう。
第２回　**【授業テーマ】**　「小泉劇場について」
【内容・方法　等】　派閥政治とマスメディアによる政治
【事前・事後学習課題】　プリントを復習し、不明な点は参考書などで明らかにする。
第３回　**【授業テーマ】**　近代社会におけるマスメディアの発達。
【内容・方法　等】　活字メディアから電子メディアへ
【事前・事後学習課題】　プリントを復習し、不明な点は参考書などで明らかにする。
第４回　**【授業テーマ】**　政治情報が流れるルート
【内容・方法　等】　マスコミュニケーションルートと対人コミュニケーションルート
【事前・事後学習課題】　プリントを復習し、不明な点は参考書などで明らかにする。
第５回　**【授業テーマ】**　政治的リーダーシップにおけるイメージと言葉（1）
【内容・方法　等】　民主主義の大衆化とウェーバーの「支配の３類型」
【事前・事後学習課題】　プリントを復習し、不明な点は参考書などで明らかにする。
第６回　**【授業テーマ】**　政治的リーダーシップにおけるイメージと言葉（2）
【内容・方法　等】　イメージ操作と失言・放言、スキャンダル
【事前・事後学習課題】　プリントを復習し、不明な点は参考書などで明らかにする。
第７回　**【授業テーマ】**　政治家と人気
【内容・方法　等】　マスメディアの発達と「有名性」の変遷
【事前・事後学習課題】　プリントを復習し、不明な点は参考書などで明らかにする。
第８回　**【授業テーマ】**　マスメディアの効果研究（1）
【内容・方法　等】　限定効果論
【事前・事後学習課題】　プリントを復習し、不明な点は参考書などで明らかにする。
第９回　**【授業テーマ】**　マスメディアの効果研究（2）
【内容・方法　等】　議題設定機能と現実定義機能
【事前・事後学習課題】　プリントを復習し、不明な点は参考書などで明らかにする。
第10回　**【授業テーマ】**　マスメディアの効果研究（3）
【内容・方法　等】　ニュースの製作現場
【事前・事後学習課題】　プリントを復習し、不明な点は参考書などで明らかにする。
第11回　**【授業テーマ】**　マスメディアの効果研究（4）
【内容・方法　等】　日本のニュース製作現場
【事前・事後学習課題】　プリントを復習し、不明な点は参考書などで明らかにする。
第12回　**【授業テーマ】**　マスメディアの効果研究（5）
【内容・方法　等】　沈黙の螺旋仮説と世論の風向き
【事前・事後学習課題】　プリントを復習し、不明な点は参考書などで明らかにする。
第13回　**【授業テーマ】**　マスメディアの効果研究（6）
【内容・方法　等】　培養分析
【事前・事後学習課題】　プリントを復習し、不明な点は参考書などで明らかにする。
第14回　**【授業テーマ】**　マスメディアの効果研究（7）
【内容・方法　等】　メディアイベントと「開票速報番組」
【事前・事後学習課題】　プリントを復習し、不明な点は参考書などで明らかにする。
第15回　**【授業テーマ】**　おわりに
【内容・方法　等】　授業全体のまとめと試験の傾向と対策
【事前・事後学習課題】　試験の範囲を念頭に置きつつ、プリントを見直す。

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　85　2014/10/14　17:50:43

評価方法（基準）
定期試験の結果と数回の小レポートの評価による。
教材等
教科書…授業の中で指示する。
参考書…吉見他『メディア論』(放送大学教育振興会)、蒲島他『メディアと政治』(有斐閣)、田崎他『マス・コミニュケーションの効果研究の展開』(北樹出版)、石田佐恵子『有名性という文化装置』(勁草書房)
学生へのメッセージ
テレビを真剣に見よう。新聞をじっくり読もう。
関連科目
政治、国際、行政関連科目。
担当者の研究室等
11号館10階　松永准教授室

マスメディアと世論
Mass Media and Public Opinion

松　永　信　一（マツナガ　シンイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
現代社会で世論の影響力は大きい。その動向に深いかかわりを持つマスメディアについて説明する。
授業方法と留意点
プリントを配布し、講義する。配られたプリントは必ず持参すること。
科目学習の効果（資格）
ジャーナリスト、マスコミ、公務員、議員、社会科教員、ＮＰＯ団体職員などの公共的な仕事に関心を持つものに向く。
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】**　はじめに
【内容・方法　等】　授業のやり方、成績評価基準，授業内容の概要。
【事前・事後学習課題】　プリントを見直し、マスメディアの動きを観察しよう。
第２回　**【授業テーマ】**　「小泉劇場について」
【内容・方法　等】　派閥政治とマスメディアによる政治
【事前・事後学習課題】　プリントを復習し、不明な点は参考書などで明らかにする。
第３回　**【授業テーマ】**　近代社会におけるマスメディアの発達。
【内容・方法　等】　活字メディアから電子メディアへ
【事前・事後学習課題】　プリントを復習し、不明な点は参考書などで明らかにする。
第４回　**【授業テーマ】**　政治情報が流れるルート
【内容・方法　等】　マスコミュニケーションルートと対人コミュニケーションルート
【事前・事後学習課題】　プリントを復習し、不明な点は参考書などで明らかにする。
第５回　**【授業テーマ】**　政治的リーダーシップにおけるイメージと言葉（1）
【内容・方法　等】　民主主義の大衆化とウェーバーの「支配の３類型」
【事前・事後学習課題】　プリントを復習し、不明な点は参考書などで明らかにする。
第６回　**【授業テーマ】**　政治的リーダーシップにおけるイメージと言葉（2）
【内容・方法　等】　イメージ操作と失言・放言、スキャンダル
【事前・事後学習課題】　プリントを復習し、不明な点は参考書などで明らかにする。
第７回　**【授業テーマ】**　政治家と人気
【内容・方法　等】　マスメディアの発達と「有名性」の変遷
【事前・事後学習課題】　プリントを復習し、不明な点は参考書などで明らかにする。
第８回　**【授業テーマ】**　マスメディアの効果研究（1）
【内容・方法　等】　限定効果論
【事前・事後学習課題】　プリントを復習し、不明な点は参考書などで明らかにする。
第９回　**【授業テーマ】**　マスメディアの効果研究（2）
【内容・方法　等】　議題設定機能と現実定義機能
【事前・事後学習課題】　プリントを復習し、不明な点は参考書などで明らかにする。
第10回　**【授業テーマ】**　マスメディアの効果研究（3）
【内容・方法　等】　ニュースの製作現場
【事前・事後学習課題】　プリントを復習し、不明な点は参考書などで明らかにする。
第11回　**【授業テーマ】**　マスメディアの効果研究（4）
【内容・方法　等】　日本のニュース製作現場
【事前・事後学習課題】　プリントを復習し、不明な点は参考書などで明らかにする。
第12回　**【授業テーマ】**　マスメディアの効果研究（5）
【内容・方法　等】　沈黙の螺旋仮説と世論の風向き
【事前・事後学習課題】　プリントを復習し、不明な点は参考書などで明らかにする。
第13回　**【授業テーマ】**　マスメディアの効果研究（6）
【内容・方法　等】　培養分析
【事前・事後学習課題】　プリントを復習し、不明な点は参考書などで明らかにする。
第14回　**【授業テーマ】**　マスメディアの効果研究（7）
【内容・方法　等】　メディアイベントと「開票速報番組」
【事前・事後学習課題】　プリントを復習し、不明な点は参考書などで明らかにする。
第15回　**【授業テーマ】**　おわりに
【内容・方法　等】　授業全体のまとめと試験の傾向と対策
【事前・事後学習課題】　試験の範囲を念頭に置きつつ、プリントを見直す。
評価方法（基準）
定期試験の結果と数回の小レポートの評価による。
教材等
教科書…授業の中で指示する。
参考書…吉見他『メディア論』(放送大学教育振興会)、蒲島他『メディアと政治』(有斐閣)、田崎他『マス・コミニュケーションの効果研究の展開』(北樹出版)、石田佐恵子『有名性という文化装置』(勁草書房)
学生へのメッセージ
テレビを真剣に見よう。新聞をじっくり読もう。
関連科目
政治、国際、行政関連科目。
担当者の研究室等
11号館10階　松永准教授室

公共政策の基礎
Public Policy

中　沼　丈　晃（ナカヌマ　タケアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
政策とは、解決すべき問題のために考案され用いられる手段のセットといえる。なかでも公共政策は、政府の公権力をもって国民全体のために決定され実施される手段の体系である。この講義では、公共政策を担う政府の役割を市場との対照において把握することからはじめ、公共政策の合理的な形成を理解したうえで、現実には最良の政策案が採用されるケースが稀である理由を探る。
授業方法と留意点
理論を学び、身近な例で確認し、いまの社会問題を使って説明を試みる。このステップを講義中に課題形式で進めていく。
科目学習の効果（資格）
授業は大学にふさわしいものとするが、公務員試験で問われる知識に関しては注意を促すので、志望者は積極的に受講してほしい。
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】**　「政策」という言葉
【内容・方法　等】　ドラマ「ザ・ホワイトハウス２」で「政策」という言葉が使われている文脈をつかむ。
【事前・事後学習課題】　「ザ・ホワイトハウス２」の視聴
第２回　**【授業テーマ】**　市場のメカニズム
【内容・方法　等】　等価交換に基づく市場の仕組みを知る。
【事前・事後学習課題】　レジュメp.1の復習
第３回　**【授業テーマ】**　政府のメカニズム
【内容・方法　等】　市場と対照的な政府の仕組みを知る。
【事前・事後学習課題】　レジュメp.2の復習
第４回　**【授業テーマ】**　政府による市場メカニズムの採用
【内容・方法　等】　最近の教育制度改革を例に使って、政府が競争原理を部分的に採用する意義と方法を理解する。
【事前・事後学習課題】　新聞記事資料の確認
第５回　**【授業テーマ】**　システムとしての政府の役割
【内容・方法　等】　政府をシステムとしてとらえて、公共政策を国民生活にアウトプットする意義を考える。
【事前・事後学習課題】　レジュメp.3の復習
第６回　**【授業テーマ】**　公共政策としてのサービスと規制
【内容・方法　等】　公共政策の内容を大きく「サービス」と「規制」に分けて整理する。
【事前・事後学習課題】　レジュメp.4の復習
第７回　**【授業テーマ】**　政策過程の考え方
【内容・方法　等】　政府が政策をつくり、実施する過程を段階間の移行として説明する議論を理解する。

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　86　2014/10/14　17:50:43

【事前・事後学習課題】 レジュメp.5-6の復習
レポート課題の作成

第８回 【授業テーマ】 合理的意思決定と政策過程
【内容・方法　等】 政策過程の前提にある合理性について考える。
【事前・事後学習課題】 レジュメp.7-8の復習

第９回 【授業テーマ】 課題設定とその回避
【内容・方法　等】 水俣病に対する政府の対応を見て、社会問題の解決が政府の課題とされる場合とされない場合がある理由を探る。
【事前・事後学習課題】 レジュメp.9-10の復習
新聞記事資料の確認

第10回 【授業テーマ】 政策立案とその制約
【内容・方法　等】 防衛力整備の検討を例に挙げて、課題を達成する政策案を考案する過程と、最良と思われる政策案が消えていく現実を知る。
【事前・事後学習課題】 レジュメp.11の復習
新聞記事資料の確認

第11回 【授業テーマ】 インクリメンタリズム
【内容・方法　等】 現実の政府は現在からの少しの変化だけを視野に入れて公共政策を決定するというモデルを学ぶ。
【事前・事後学習課題】 レジュメp.12の復習

第12回 【授業テーマ】 政策決定の非合理性
【内容・方法　等】 高速道路建設の現実を例に使って、合理的とはいえない政策が決定されることになる現実を知る。
【事前・事後学習課題】 レジュメp.13の復習

第13回 【授業テーマ】 組織過程モデル
【内容・方法　等】 現実の政府では各省庁に備わる所定の手続が非合理的な政策を生み出すというモデルを学ぶ。
【事前・事後学習課題】 レジュメp.14の復習

第14回 【授業テーマ】 政策決定の消滅
【内容・方法　等】 郵政民営化やエコポイントを例に挙げて、政策案があっても政策決定が先送りになったり、行われないことがある現実を知る。
【事前・事後学習課題】 レジュメp.15の復習
新聞記事資料の確認

第15回 【授業テーマ】 ゴミ箱モデル
【内容・方法　等】 政策決定を偶然ととらえ、政策が決定に至らない現実を説明するモデルを学ぶ。
【事前・事後学習課題】 レジュメp.16-17の復習
期末試験の対策

評価方法（基準）
授業内容に基づくレポートを中間で課し、期末には試験を行う。それぞれの点数と平常点（毎回の課題ペーパーの点数の累積）の合計によって評価する。

教材等
教科書…指定しない。
参考書…縣公一郎ほか編「コレーク政策研究」成文堂。宮川公男「政策科学入門」東洋経済新報社。

学生へのメッセージ
法学部の授業としては内容も方法も「かわった」ものにする挑戦的な授業にしたいと考えています。

関連科目
入門の「政治と政策」と発展の「行政と政策」の間に位置する基本科目である。

担当者の研究室等
11号館9階　中沼准教授室

行政と政策
Public Administration and Public Policy

中　沼　丈　晃（ナカヌマ　タケアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
民主主義の国家の憲法は、議会が法律をつくると定めている。しかし現代においては、法律に反映されるべき政策は行政なくしては立案も決定もできない。しかも、行政府の官僚が大きな影響力を持っている。そこでこの講義では、まず議会と行政、政治家と官僚の関係を明らかにしたうえで、日本の行政組織のあり方を確認し、国の秩序の柱となる産業政策について日本の戦後政策の特徴を理解する。

授業方法と留意点
講義の目的は具体的な事例を解釈することにある。それには(1)理論と知識を学び、(2)事例を理解し、(3)理論や知識で事例の意味を考えるという３段階が必要になる。

科目学習の効果（資格）
講義は大学にふさわしいものとするが、公務員試験で問われる知識に関しては注意を促すので、志望者は積極的に受講してほしい。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 映画『13デイズ』に見る政治と行政(1)
【内容・方法　等】 キューバ危機をめぐるアメリカ政府の動きを見て、政策決定における政治家と官僚の関係を考える。
【事前・事後学習課題】 レジュメp.1の復習
『13デイズ』の視聴

第２回 【授業テーマ】 映画『13デイズ』に見る政治と行政(2)
【内容・方法　等】 第１回の続き。
【事前・事後学習課題】 レジュメp.2の復習
『13デイズ』の視聴

第３回 【授業テーマ】 1930年代アメリカの映像に見る政治と行政
【内容・方法　等】 アメリカのニューディール政策の光景を見て、政策決定における行政の役割が拡大・深化した理由を探る。
【事前・事後学習課題】 レジュメp.3の復習

第４回 【授業テーマ】 行政国家と政治行政融合論
【内容・方法　等】 現代国家が「行政国家」と呼ばれる理由と、行政国家の現実を説明する政治行政融合論を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 レジュメp.4-5の復習

第５回 【授業テーマ】 ふたりの米大統領の言葉から考える政治と行政
【内容・方法　等】 ふたりの米大統領の対照的な言葉を読み、行政が素人仕事から政策の専門職になった背景を知る。
【事前・事後学習課題】 レジュメp.6の復習

第６回 【授業テーマ】 メリットシステムと政治行政二分論
【内容・方法　等】 専門家としての官僚を採用するメリットシステムと、その理論的根拠となった政治行政二分論を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 レジュメp.7の復習

第７回 【授業テーマ】 行政組織を見る視点
【内容・方法　等】 行政組織を見る上で基本となる「ラインとスタッフ」「独任制と合議制」の区別をできるようにする。
【事前・事後学習課題】 レジュメp.8の復習
レポート課題の作成

第８回 【授業テーマ】 日本の中央行政機構(1)
【内容・方法　等】 内閣を中心とする日本の行政機構全体の組織を把握する。
【事前・事後学習課題】 レジュメp.9-10の復習
行政組織法の整理

第９回 【授業テーマ】 日本の中央行政機構(2)
【内容・方法　等】 政治家たる大臣をトップとし、官僚がほとんどの職を占める各省の組織を把握する。
【事前・事後学習課題】 レジュメp.11の復習
行政組織法の整理

第10回 【授業テーマ】 産業政策としての護送船団方式
【内容・方法　等】 産業育成を目的とした日本の省庁による「護送船団方式」と呼ばれる戦後の産業政策の構造を知る。
【事前・事後学習課題】 レジュメp.12-13の復習

第11回 【授業テーマ】 護送船団方式の実際と批判
【内容・方法　等】 医薬品販売や携帯電話メーカーの業界における護送船団方式の実際とそれへの批判を把握する。
【事前・事後学習課題】 レジュメp.12-13の復習
新聞記事資料の確認

第12回 【授業テーマ】 護送船団方式以後の産業政策
【内容・方法　等】 英会話教室の業界を例に挙げて、近年の産業政策が消費者重視に移行しつつある背景を探る。
【事前・事後学習課題】 レジュメp.13-14の復習
新聞記事資料の確認

第13回 【授業テーマ】 トラック運送業界に見る護送船団方式とその崩壊
【内容・方法　等】 「宅急便」が風穴をあけたトラック運送業界のケースを見てみる。
【事前・事後学習課題】 レジュメp.14-15の復習
読物資料の確認

第14回 【授業テーマ】 業界との関係と行政組織の変化
【内容・方法　等】 業界との関係の基本方針によって行政組織のあり方がどう変化するのか知る。
【事前・事後学習課題】 レジュメp.16の復習

第15回 【授業テーマ】 金融庁設立に見る業界監督官庁の変化
【内容・方法　等】 金融業界を所管する省庁が大蔵省から金融監督庁を経て金融庁となった背景を見てみる。
【事前・事後学習課題】 レジュメp.17の復習
新聞記事資料の確認
期末試験の対策

評価方法（基準）
講義内容に基づくレポートを中間で課し、期末には試験を行う。それぞれの点数と平常点（毎回の復習ペーパーの点数の累積）の合計によって評価する。

教材等
教科書…指定しない。
参考書…風間規男ほか「行政学の基礎」一藝社。

学生へのメッセージ
中身の濃い授業をコンパクトに進めます。

関連科目

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　87　2014/10/14　17:50:43

「公共政策の基礎」の発展科目である。地方の政策については「地方自治と政策」で扱う。

担当者の研究室等

11号館9階　中沼准教授室

地方自治と政策

Local Govrnment and Public policy

中　沼　丈　晃（ナカヌマ　タケアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

「地方でできることは地方へ」という分権化時代において、権限を委ねられる地方自治体には、法務能力と政策立案能力の双方の強化が必要になってきている。この講義では、地方自治体の財政状況から地域政策の問題点を探り、問題を生み出した構造とその改革策を理解する。

授業方法と留意点

公共政策に関する基礎知識を前提に、地方財政の知識を身につけながら地域政策の現状を明らかにする。大学らしい発展科目にする考えなので、受講者には高い意識が求められる。

科目学習の効果（資格）

公務員試験で出題される行政学の一部をカバーする。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　ドラマ『再生の町』に見る地方行政の危機
【内容・方法　等】　大阪の市役所をモデルにして作られたドラマを見て、自治体の財政危機の様子をイメージする。
【事前・事後学習課題】　ドラマ『再生の町』の視聴

第２回　**【授業テーマ】**　自治体の財政危機と地域政策(1)
【内容・方法　等】　自治体財政の基本的な仕組みを理解し、財政状況から地域政策の現状を知る意義を確認する。
【事前・事後学習課題】　レジュメp.1-2の復習

第３回　**【授業テーマ】**　自治体の財政危機と地域政策(2)
【内容・方法　等】　大阪府の市町村の実データを使って、財政状況をはかる指標の数値を算出できるようにする。
【事前・事後学習課題】　レジュメp.3の復習
決算カードの確認

第４回　**【授業テーマ】**　自治体の財政危機と地域政策(3)
【内容・方法　等】　大阪府の市町村の実データを使って、借金の累積と財政への影響を把握できるようにする。
【事前・事後学習課題】　レジュメp.4の復習
決算カードの確認

第５回　**【授業テーマ】**　地方債の増加と建設政策(1)
【内容・方法　等】　地方債制度の基本を理解し、自治体が借金をして建設政策を展開する意味を知る。
【事前・事後学習課題】　レジュメp.5-6の復習

第６回　**【授業テーマ】**　地方債の増加と建設政策(2)
【内容・方法　等】　昭和40年代後半から昭和50年代前半まで公共事業を拡大させた補助金交付の実態を確認する。
【事前・事後学習課題】　レジュメp.6-7の復習
行政投資関連資料の確認

第７回　**【授業テーマ】**　地方債の増加と建設政策(3)
【内容・方法　等】　地方交付税について、自治体間で一般財源の均衡を図る機能と、国が自治体の政策を誘導する機能を確認する。
【事前・事後学習課題】　レジュメp.7-8の復習
レポート課題の作成

第８回　**【授業テーマ】**　地方債の増加と建設政策(4)
【内容・方法　等】　昭和61年頃から平成7年頃にかけて公共事業を拡大させた地方交付税措置という仕組みを理解する。
【事前・事後学習課題】　レジュメp.8の復習
地方交付税・公債関連資料の確認

第９回　**【授業テーマ】**　地方財政健全化比率(1)
【内容・方法　等】　地方財政健全化法によって導入された、自治体の「本体」以外の会計の現状を明らかにする指標を知る。
【事前・事後学習課題】　レジュメp.9の復習
新聞記事資料の確認

第10回　**【授業テーマ】**　地方財政健全化比率(2)
【内容・方法　等】　近畿の市町村の実データを使って、健全化比率で自治体の財政状況を把握できるようにする。
【事前・事後学習課題】　レジュメp.10の復習
健全化比率関連資料の確認

第11回　**【授業テーマ】**　土地開発公社
【内容・方法　等】　公共事業拡大の前提にあった公有地の取得について、土地開発公社が果たした役割と抱えた負債の問題の重さを考える。
【事前・事後学習課題】　レジュメp.11-12の復習
新聞記事資料の確認

第12回　**【授業テーマ】**　第三セクター
【内容・方法　等】　ビルやリゾートの開発のために自治体が第三セクターを設立した背景と、多くの第三セクターが破綻に至った経緯を知る。
【事前・事後学習課題】　レジュメp.13-14の復習
新聞記事資料の確認

第13回　**【授業テーマ】**　公営企業
【内容・方法　等】　下水道・交通・病院事業などを行う自治体の公営企業について、赤字につながる問題と改革の限界を理解する。
【事前・事後学習課題】　レジュメp.15-16の復習
新聞記事資料の確認

第14回　**【授業テーマ】**　「事業仕分け」の改革
【内容・方法　等】　事業の必要性を問い直す「事業仕分け」の改革について、その方法と結果を確認する。
【事前・事後学習課題】　レジュメp.17-18の復習
新聞記事資料の確認

第15回　**【授業テーマ】**　「協働」の改革
【内容・方法　等】　市民の行政依存、行政の自己完結を問い直す「協働」の改革について、その背景と動向を知る。
【事前・事後学習課題】　レジュメp.19-20の復習
新聞記事資料の確認

評価方法（基準）

講義内容に基づくレポートを中間で課し、期末には試験を行う。それぞれの点数と平常点（毎回の課題ペーパーの点数の累積）の合計によって評価する。

教材等

教科書…特に指定しない。
参考書…村松岐夫編「テキストブック地方自治」東洋経済新報社。
五十嵐敬喜他「公共事業のウラもオモテもわかる」東洋経済新報社。

学生へのメッセージ

政策系の最後の科目として高いレベルで講義を展開します。特に地方公務員として地域政策をリードすることになる人が真剣に勉強する場にしたいと思います。

関連科目

「公共政策の基礎」「行政と政策」「地方自治と法」

担当者の研究室等

11号館9階　中沼准教授室

金融論

Meney and Banking

堀　　篤　史（ホリ　アツシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

グローバル化の中で、金融システムは刻々と変化しています。この授業では金融システムの現状だけではなく、そのあり方についても説明していきたい。

授業方法と留意点

レジュメを用いて講義形式で行う。金融論に必要なマクロ・ミクロ経済学の知識は講義の中で適宜説明する。

科目学習の効果（資格）

経済学検定

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　イントロダクション
【内容・方法　等】　金融論で何を学ぶのかを説明する。
【事前・事後学習課題】　――――

第２回　**【授業テーマ】**　金融取引の基礎
【内容・方法　等】　金融取引の理解に必要なミクロ経済学の知識ついて説明する。
【事前・事後学習課題】　紹介する文献を読む

第３回　**【授業テーマ】**　金融取引　金融機関
【内容・方法　等】　信用リスクや銀行や証券会社の種類、業務などについて説明する。
【事前・事後学習課題】　前回の内容を復習しておくこと。

第４回　**【授業テーマ】**　金融市場
【内容・方法　等】　様々な金融市場の仕組み、特徴を説明する。
【事前・事後学習課題】　前回の内容を復習

第５回　**【授業テーマ】**　日本型金融システム
【内容・方法　等】　日本の金融システムの特徴について説明する。
【事前・事後学習課題】　紹介する文献を読んでおく。

第６回　**【授業テーマ】**　金融システムの設計(1)
【内容・方法　等】　情報の非対称性の問題について説明する。
【事前・事後学習課題】　前回の内容を復習

第７回　**【授業テーマ】**　金融システムの設計(2)
【内容・方法　等】　スクリーニング機能やモニタリング機能について説明する。

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　88　2014/10/14　17:50:43

【事前・事後学習課題】 練習問題を解いておくこと。
第８回 【授業テーマ】 金融政策の理論(1)
【内容・方法　等】 金融政策の理解に必要なマクロ経済学の知識について説明する。
【事前・事後学習課題】 紹介する文献を読んでおく。
第９回 【授業テーマ】 金融政策の理論(2)
【内容・方法　等】 金融政策の理解に必要なマクロ経済学の知識について説明する。
【事前・事後学習課題】 練習問題を解いておくこと。
第10回 【授業テーマ】 金融政策の理論(3)
【内容・方法　等】 金融政策の理解に必要なマクロ経済学の知識について説明する。
【事前・事後学習課題】 前回の内容を復習しておくこと。
第11回 【授業テーマ】 金融政策運営(1)
【内容・方法　等】 最近の金融政策の仕組みについて説明する。
【事前・事後学習課題】 紹介する文献を読んでおく。
第12回 【授業テーマ】 金融政策運営(2)
【内容・方法　等】 最近の金融政策の仕組みについて説明する。
【事前・事後学習課題】 紹介する文献を読んでおく。
第13回 【授業テーマ】 グローバル経済における金融政策
【内容・方法　等】 外国為替市場について概観し、変動相場制における金融政策について説明する。
【事前・事後学習課題】 前回の内容を復習しておくこと。
第14回 【授業テーマ】 ファイナンスの基礎
【内容・方法　等】 デリバティブやオプションの基本的な仕組みについて説明する。
【事前・事後学習課題】 前回の内容を復習
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 全体のまとめを行う
【事前・事後学習課題】 練習問題を解く

評価方法（基準）
期末テストを中心に評価する。

教材等
教科書…特に指定はしないが、講義で随時紹介する。
参考書…特に指定はしないが、講義で随時紹介する。

学生へのメッセージ
経済学の他の科目と同様に、金融論も積み重ねが大事です。毎回出席することが不可欠です。

関連科目
マクロ経済学、ミクロ経済学

担当者の研究室等
11号館5階　法学部資料室〈法学部非常勤講師室〉

財政学
Public Finance

柿　本　尚　志（カキモト　タカシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
現在の日本は、財政システムにかかわる重大な課題に直面しています。少子高齢化、膨大な国債残高、格差の拡大、行政システムの非効率性等です。さらに近年の不況は税収の減少をもたらし、歳入と歳出のバランスにおいて厳しい状況となっています。この授業では、財政の問題全体をやさしく、かつ鳥瞰的に解説することによって財政の基本的な知識を修得し、財政問題を理解することを目標にします。

授業方法と留意点
毎回、講義の初めに、前回の授業内容を復習したうえで授業に入って行きます。その際、受講生から質問のあった事項や印象深い感想などを織り交ぜて説明していきます。正確に理解し、今後の知識として役立ててもらいたいと思います。

科目学習の効果（資格）
公務員試験等

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法　等】 授業内容、授業の進め方、評価基準等について説明します。
【事前・事後学習課題】 新聞や経済誌の財政に関する記事を読むようにしてください。
第２回 【授業テーマ】 財政と経済
【内容・方法　等】 市場経済と市場の失敗、政府の役割について解説します。
【事前・事後学習課題】 教科書の第１章を読んでおくこと。
第３回 【授業テーマ】 今日の日本の財政
【内容・方法　等】 日本経済のあゆみと財政、歳入と歳出、国と地方などについて整理します。
【事前・事後学習課題】 教科書の第２章を読んでおくこと。
第４回 【授業テーマ】 財政をめぐる現代的課題
【内容・方法　等】 政府支出や公的金融のほか、三位一体の改革、地方分権についても解説します。
【事前・事後学習課題】 １、２章の内容で関心のある点について抜き出しておくこと。
第５回 【授業テーマ】 公共財
【内容・方法　等】 公共財とは何か、そしてその供給に対する「ただ乗り問題」についても考えます。
【事前・事後学習課題】 教科書の第３章を読んでおくこと。
第６回 【授業テーマ】 地方公共財
【内容・方法　等】 「足による投票」とは何か、また負の外部性についての理論を紹介します。
【事前・事後学習課題】 ３章の内容で関心のある点を抜き出しておくこと。
第７回 【授業テーマ】 財政と年金
【内容・方法　等】 財政と社会保障の関係から年金問題について解説します。
【事前・事後学習課題】 教科書の第４章を読んでおくこと。
第８回 【授業テーマ】 財政と医療
【内容・方法　等】 財政と社会保障の関係から医療問題について解説します。
【事前・事後学習課題】 ４章の内容で関心のある点を抜き出しておくこと。
第９回 【授業テーマ】 政府行動の指針（１）
【内容・方法　等】 公共投資の費用と便益や不平等の問題を考えます。
【事前・事後学習課題】 教科書の第５章を読んでおくこと。
第10回 【授業テーマ】 政府行動の指針（２）
【内容・方法　等】 公共投資についての理論的な見方を学びます。
【事前・事後学習課題】 ５章の内容で関心のある点を抜き出しておくこと。
第11回 【授業テーマ】 租税の経済への影響（１）
【内容・方法　等】 租税の現状について整理します。
【事前・事後学習課題】 教科書の第６章を読んでおくこと。
第12回 【授業テーマ】 租税の経済への影響（２）
【内容・方法　等】 誰が課税分を負担するのか、所得分配との関係はどうなるのかなどについて考えます。
【事前・事後学習課題】 ６章の内容で関心のある点を抜き出しておくこと。
第13回 【授業テーマ】 租税の効率性と公平性
【内容・方法　等】 効率と公平の基準について整理し、最適課税の問題について考えます。
【事前・事後学習課題】 教科書の第７章を読み、７章の内容で関心のある点を抜き出しておくこと。
第14回 【授業テーマ】 公債と財政政策
【内容・方法　等】 財政赤字と財政政策という今日的課題について解説します。
【事前・事後学習課題】 教科書の第８章を読み、８章の内容で関心のある点を抜き出しておくこと。
第15回 【授業テーマ】 講義のまとめ
【内容・方法　等】 授業全体のまとめ。
【事前・事後学習課題】 今まで学んだ中でもっとも関心のある点について意見、感想を書いて提出する。

評価方法（基準）
定期試験100％

教材等
教科書…入谷純著　「経済学入門シリーズ　財政学入門」第２版　日本経済新聞社　日経文庫（1000円＋税）
参考書…授業中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ
財政に関して初めて学習する人も、ある程度の知識と考え方を身につけることができるように考えています。

関連科目
地方財政論

担当者の研究室等
11号館5階　法学部資料室（法学部非常勤講師室）

地方財政論
Local Public Finance

柿　本　尚　志（カキモト　タカシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
この授業では、国と地方の財政関係や地方財政システムが抱える問題を抽出し、その改革のあり方を考えることとします。地方財政の制度や現状をわかりやすく解説し、問題解決の糸口を見出すことを目指します。

授業方法と留意点

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　89　2014/10/14　17:50:43

毎回、講義の初めに前回の授業内容を簡単に復習したうえで授業に入って行きます。その際、受講生からの質問や関心がある点などを確認し、それに関する説明も加えながら進めていきます。

科目学習の効果（資格）
公務員試験等

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 **【授業テーマ】** イントロダクション
【内容・方法　等】 授業内容、授業の進め方、評価基準等について説明します。
【事前・事後学習課題】 新聞や経済誌などの地方財政に関する記事を読むようにしてください。
第２回 **【授業テーマ】** 地方財政の実態
【内容・方法　等】 財政とは何かについて踏まえ、膨張する地方財政と国のコントロール、さらに地方財政の課題について解説します。
【事前・事後学習課題】 教科書の第１章を読んでおくこと。
第３回 **【授業テーマ】** 国と地方の機能分担
【内容・方法　等】 財政の役割について整理し、地方分権の意義を考えます。
【事前・事後学習課題】 教科書の第２章を読んでおくこと。
第４回 **【授業テーマ】** 制度としての地方財政
【内容・方法　等】 地方財政制度や財政運営について解説します。
【事前・事後学習課題】 教科書の第３章を読んでおくこと。
第５回 **【授業テーマ】** 地方公共支出の経済学
【内容・方法　等】 地方公共支出について経済学的な考え方から解説します。
【事前・事後学習課題】 教科書の第４章を読んでおくこと。
第６回 **【授業テーマ】** 地方団体の行財政改革
【内容・方法　等】 地方行財政運営と公共サービスのあり方について考えます。
【事前・事後学習課題】 教科書の第５章を読み、５章までの内容で関心のある点を抜き出しておくこと。
第７回 **【授業テーマ】** 広域行政と狭域行政
【内容・方法　等】 行政区域の問題について、市町村制の歴史や平成の大合併、また行政圏域としての見方などを紹介します。
【事前・事後学習課題】 教科書の第６章を読んでおくこと。
第８回 **【授業テーマ】** 地方税の体系と原則
【内容・方法　等】 国税と地方税を比較し、地方税体系や原則について解説します。
【事前・事後学習課題】 教科書の第７章を読んでおくこと。
第９回 **【授業テーマ】** 地方税の改革
【内容・方法　等】 さまざまな地方税についての改革、およびそれに伴う地方分権の問題を考えます。
【事前・事後学習課題】 教科書の第８章を読んでおくこと。
第10回 **【授業テーマ】** 国庫支出金と地方財政
【内容・方法　等】 地方に対する国の関与について理解を深めます。
【事前・事後学習課題】 教科書の第９章を読んでおくこと。
第11回 **【授業テーマ】** 地方交付金と財政調整
【内容・方法　等】 ここでも地方への国の関与の状況を理解します。
【事前・事後学習課題】 教科書の第１０章を読み、６～１０章までの内容で関心のある点を抜き出しておくこと。
第12回 **【授業テーマ】** 地方債の発行と国の関与
【内容・方法　等】 地方債発行における国の関与を考えます。
【事前・事後学習課題】 教科書の第１１章を読んでおくこと。
第13回 **【授業テーマ】** 地域づくりと地方団体の役割
【内容・方法　等】 地方経済の実態、地方産業振興策、地域格差問題などを解説します。
【事前・事後学習課題】 教科書の第１２章を読んでおくこと。
第14回 **【授業テーマ】** 少子高齢社会と地方財政
【内容・方法　等】 少子高齢社会における医療・介護問題を取り上げます。
【事前・事後学習課題】 教科書の第１３章を読んでおくこと。
第15回 **【授業テーマ】** 地方公営企業と第３セクター
【内容・方法　等】 地方公営企業の経営状況や第３セクターの経営破たんについて考えます。この授業の最後として、全体のまとめを行います。
【事前・事後学習課題】 教科書の第１４章を読み、今まで学んだ中でもっとも関心のある点の意見、感想を提出。

評価方法（基準）
定期試験100%。

教材等
教科書…林宜嗣著　「地方財政　新版」　有斐閣ブックス（２７００円+税）
参考書…授業中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ
昨今、地方分権や地方財政に関する報道が多く、皆さんが耳にされる言葉も多いことと思います。それらに関する知識を整理して、将来役に立つように考えています。

関連科目
財政学

担当者の研究室等
11号館5階　法学部資料室（法学部非常勤講師室）

法律と政策の仕事
Professions of Law and Public Policy

富岡直美（トミオカ　ナオミ）
水野武（ミズノ タケシ）
津村英二（ツムラ　エイジ）
中川浩一（ナカカワ　コウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	履修申請要領参照	1

授業概要・目的・到達目標
社会に出て活躍するために大学時代に何をなすべきなのか、早い段階で目的意識を持ち、4年間のキャンパスライフを有意義に送るための授業です。
次の４つをこの講義の到達目標とします。
①自己理解を深め、自信が持てるようになる。
②コミュニケーションについて、理解を深め、コミュニケーション力アップの仕方を知る。
③社会（企業）の変化を知り、自分のワーキングスタイルを考える。
④大学生活および人生設計ができるようになる。

授業方法と留意点
講義だけでなくグループワークなどを織り交ぜて進行しますので積極的な態度で受講して下さい。

科目学習の効果（資格）
社会と自分の接点を考えるきっかけとなります。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 **【授業テーマ】** フレッシュな自分を確認しよう
【内容・方法　等】 ・キャリアデザインとは？何故必要なのか？　・アセスメントテストの実施
【事前・事後学習課題】 自分にとって“キャリアデザイン”とは何か？を考えておいて下さい
第２回 **【授業テーマ】** 摂大学
【内容・方法　等】 ・摂南大学の建学の精神と教育理念を理解する　・授業の活用術を知る　・学生生活において“目標とするもの”を考える
【事前・事後学習課題】 キャリアデザインⅠのテキストP11～P17を熟読して下さい
第３回 **【授業テーマ】** 社会は君を待っている
【内容・方法　等】 ・進路についてのイメージづくり　・２０代の内に身につけたい力を知る　・未来予想図を描く
【事前・事後学習課題】 キャリアデザインⅠのテキストP19～P26を熟読して下さい
第４回 **【授業テーマ】** 社会で活躍するOB・OG
【内容・方法　等】 ・進路の多様性　（進学（院・専門学校)、資格、公務員、企業、海外等）を知る
【事前・事後学習課題】 卒業後の進路について考えておいて下さい。
キャリアデザインⅠのテキストP39～P44を熟読して下さい
第５回 **【授業テーマ】** グループ課題の設定
【内容・方法　等】 ・与えられた課題をグループで取り組む
【事前・事後学習課題】 チームの中で「自分はどんな役割を果たしたいか」を考えておいて下さい
第６回 **【授業テーマ】** 社会の仕組み
【内容・方法　等】 ・GDPから見る社会の仕組み　・税金の種類と役割　・業種/職種を知る
【事前・事後学習課題】 キャリアデザインⅠのテキストP27～P37を熟読して下さい
第７回 **【授業テーマ】** お金の話
【内容・方法　等】 ・正社員とフリーターの違いを考える
【事前・事後学習課題】 キャリアデザインⅠのテキストP53～P57を熟読して下さい
第８回 **【授業テーマ】** 自己分析から自分づくりへ①
【内容・方法　等】 ・自分の関心事柄を知る　・性格、適性、能力を考える　・自分の大事にしているモノ（価値観）を整理する
【事前・事後学習課題】 自分の長所や短所について考え、周囲の人にも聞いておいて下さい
キャリアデザインⅠのテキストP59～P69を熟読して下さい
第９回 **【授業テーマ】** 自己分析から自分づくりへ②
【内容・方法　等】 ・キャリア理論を知り、自分の関心事、性格、適性や能力の喚起へと繋げる
【事前・事後学習課題】 キャリアデザインⅠのテキストP59～P69を熟読して下さい
第10回 **【授業テーマ】** スケジューリング術
【内容・方法　等】 ・社会人基礎力を理解する　・PDCAサイ

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　90　2014/10/14　17:50:44

クルを身につける　・問題解決の思考法を身につける
【事前・事後学習課題】　キャリアデザインⅠのテキストP79～P88を熟読して下さい
第11回　【授業テーマ】　グループワーク
【内容・方法　等】　・グループワークに取り組む
【事前・事後学習課題】　自分の行動で他者が喜んでくれそうな事柄を考えておいて下さい
第12回　【授業テーマ】　グループ課題の発表会
【内容・方法　等】　・グループごとのプレゼンテーション
【事前・事後学習課題】　グループ内のプランをまとめておいて下さい
第13回　【授業テーマ】　グループ課題の発表会
【内容・方法　等】　・グループごとのプレゼンテーション
【事前・事後学習課題】　プレゼンテーションの準備を行って下さい
第14回　【授業テーマ】　グループ活動の振り返り
【内容・方法　等】　・グループ活動の振り返りからコミュニケーション、ホスピタリティ、マナーについて考える
【事前・事後学習課題】　グループ活動の経緯を振り返っておいて下さい
第15回　【授業テーマ】　未来予想図/講義のおさらい
【内容・方法　等】　・大学１年生の夏休みから何を始めるか？を考え、グループ内で発表する
【事前・事後学習課題】　夏休み以降の大学生活の目標を考えておいて下さい

評価方法（基準）
授業態度30％、グループワーク20％、レポート50％で総合評価します。

教材等
教科書…キャリアデザインⅠ
参考書…必要に応じて授業内でレジュメを配布します

学生へのメッセージ
自分の将来を考える授業ですので、能動的に参加して下さい。

関連科目
キャリアデザインⅡ、キャリアデザインⅢ、インターンシップⅠ・Ⅱ
エンプロイメントデザインⅠ、エンプロイメントデザインⅡ

担当者の研究室等
７号館３階　キャリア教育推進室

リーガルリサーチと公的書類
Legal Research and Official Document

家　本　真　実（イエモト　マミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
情報が氾濫している世の中では、情報収集・分析能力によって、勉強や仕事の能率の良さは大きく変わってきます。この講義では、法学部で学ぶにあたって必要な法情報がどこにあるか、またどのように収集すればよいのかを学びます。実際に、図書館やPC、オンライン・データベースを利用して課題を解決することにより、法情報の収集方法について学びます。
また公的な書類のなかで、とくに基本的に理解しておいたほうがよいものについて、その見方などを学びます。

授業方法と留意点
実習が授業の大部分を占める授業となりますので、出席は必須です。また、毎回、講義中に課題を出します。

科目学習の効果（資格）
法学部の学生として必要な情報収集能力を身につけることができます。また法律専門家を目指す方、法律事務所や司法書士事務所などの法律を扱う事務所などで事務員などとして勤務する（ことを将来希望される）方に必要とされる技術の基本を学ぶことができます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　はじめに
法情報とはどのようなものか
【内容・方法　等】　講義の内容や進行方法、評価などについて
法情報とは何を指すのか、どこにあるのか、法情報の調査は法の学習においてどう役に立つのかを知る
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第２回　【授業テーマ】　法令の調べ方（1）
【内容・方法　等】　法令を探す、調べる
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第３回　【授業テーマ】　法令の調べ方（2）
【内容・方法　等】　法令を探す、調べる
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第４回　【授業テーマ】　判例の調べ方（1）
【内容・方法　等】　判例を探す、調べる
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第５回　【授業テーマ】　判例の調べ方（2）
【内容・方法　等】　判例を探す、調べる
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第６回　【授業テーマ】　二次資料の調べ方（1）
【内容・方法　等】　二次資料を探す、調べる
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第７回　【授業テーマ】　二次資料の調べ方（2）
【内容・方法　等】　二次資料を探す、調べる
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第８回　【授業テーマ】　資料の引用の仕方
【内容・方法　等】　レポートや論文などにおいて資料を引用する方法について学ぶ
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第９回　【授業テーマ】　外国の法情報の調べ方
【内容・方法　等】　外国の法情報を調べる
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第10回　【授業テーマ】　登記簿（1）
【内容・方法　等】　土地・建物登記簿の見方、登記・閲覧の方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第11回　【授業テーマ】　登記簿（2）
【内容・方法　等】　商業登記および成年後見登記について学ぶ
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第12回　【授業テーマ】　戸籍
【内容・方法　等】　戸籍の見方、登録・閲覧の方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第13回　【授業テーマ】　法学に役立つ様々な情報源
【内容・方法　等】　これまでに学んだ情報源以外で、法律や政治を学ぶにあたって役立つ情報源について知る
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第14回　【授業テーマ】　具体的事例におけるリーガル・リサーチ（1）
【内容・方法　等】　具体的な事例におけるリーガル・リサーチの実践
【事前・事後学習課題】　次回の講義までに、今回の講義内容を見直して、疑問点や不明点を確認しておくこと
第15回　【授業テーマ】　具体的事例におけるリーガル・リサーチ（2）
おわりに
【内容・方法　等】　具体的な事例におけるリーガル・リサーチの実践
全講義のまとめと補足
【事前・事後学習課題】　全講義を通して疑問や不明点がないか確認したうえで講義に臨むこと

評価方法（基準）
1.講義中の受講姿勢、2.講義中の課題の成績、3.学期末試験の成績により評価します（1+2で約50%、3が約50%の割合）。1度でも欠席すれば単位取得は困難になると考えてください。遅刻、授業中の私語も大幅に減点します。

教材等
教科書…とくに使用しません。
参考書…いしかわまりこ他『リーガル・リサーチ　第3版』（日本評論社、2008年）￥1,785

学生へのメッセージ
実習をともないますので、自ら学ぶ姿勢を持って講義に臨み、授業中は私語を慎んでください。講義内容については変更する場合もあります。

関連科目
法律科目全般および情報処理系科目。

担当者の研究室等
11号館9階　家本准教授室

消費者と法
Consumer and Law

城　内　　明（キウチ　アキラ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	履修申請要領参照	2

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　91　　2014/10/14　17:50:44

授業概要・目的・到達目標
本講義においては、消費者問題の本質を理解し、いかに被害の発生を防ぎ、被害者の救済を図るかについての実践的な知識を身につけることを目標とする。

授業方法と留意点
原則として、講義形式で行う。なお、授業中、受講生に発言を求める場合がある。積極的な受講態度を求める。

科目学習の効果（資格）
消費生活専門相談員、消費生活アドバイザー、消費生活コンサルタント、その他、今後、市民生活を送る上で不可欠。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 ガイダンス・消費者法概説
【内容・方法　等】 消費法とは何か
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
第２回 【授業テーマ】 消費者契約法(1)
【内容・方法　等】 消費者契約法概説
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
第３回 【授業テーマ】 消費者契約法(2)
【内容・方法　等】 誤認・困惑類型における取消し
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
第４回 【授業テーマ】 消費者契約法(3)
【内容・方法　等】 不当約款規制
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
第５回 【授業テーマ】 特定商取引に関する法律(1)
【内容・方法　等】 特商法の全体像、クーリング・オフ制度
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
第６回 【授業テーマ】 特定商取引に関する法律(2)
【内容・方法　等】 訪問販売・電話勧誘販売・通信販売
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
第７回 【授業テーマ】 特定商取引に関する法律(3)
【内容・方法　等】 特定継続的役務提供・連鎖販売取引・業務提供誘引販売取引
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
第８回 【授業テーマ】 消費者信用取引
【内容・方法　等】 販売信用取引・消費者金融取引・多重債務者問題
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
第９回 【授業テーマ】 商品安全と法(1)
【内容・方法　等】 商品安全に係る法制度概説
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
第10回 【授業テーマ】 商品安全と法(2)
【内容・方法　等】 製造物責任法
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
第11回 【授業テーマ】 商品安全と法(3)
【内容・方法　等】 食の安全と法(1)
－全てのものは毒である－
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
第12回 【授業テーマ】 商品安全と法(4)
【内容・方法　等】 食の安全と法(2)
－食品添加物は有害か？　リスク評価の意義と限界－
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
第13回 【授業テーマ】 商品安全と法(5)
【内容・方法　等】 食の安全と法(3)
－BSE問題と食の安全－
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
第14回 【授業テーマ】 商品安全と法(6)
【内容・方法　等】 食の安全と法(4)
－食のグローバル化と食の安全－
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
第15回 【授業テーマ】 商品安全と法(7)
【内容・方法　等】 食の安全と法(5)
－食の安全・安心と表示規制－
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する

評価方法（基準）
定期試験100%。ただし、授業妨害行為（私語・携帯電話の使用・騒々しい途中入退室等）に対しては、減点措置を講じ、度重なる場合は単位不授与とする。ヒソヒソ話も禁止。厳格に対処するので注意すること。

教材等
教科書…板東俊矢・細川幸一「18歳から考える　消費者と法」法律文化社
（18歳からとあるが、基本的な考え方についての記述はハイレベル。予習用テキストとして、又、講義後に問題を考えるヒントとなる本として、最適と考える。ただし、講義内容は、テキストレベルにとどまらない。予習・復習にあたっては、シラバス・レジュメを参照し、個々の法律について解説書等にあたることが望ましい。）
参考書…『消費者六法』民事法研究会
日本弁護士連合会編『消費者法講義』日本評論社
後藤・齊藤・村編『アクセス消費者法』日本評論社
長尾治助編『レクチャー消費者法』法律文化社
その他、適宜指示する。
（なお、消費者法は改正が多いため、新しいテキストを参照することが望ましい。）

学生へのメッセージ
悪徳業者は、いつ何時、あなたに襲いかかってくるかわかりません。降りかかった火の粉を払いのける術を身につけ、自分自身、家族・友人、そして社会を守ってください。
なお、本年度は、特に、近時、社会的にも関心を集めている「食の安全」に重点を置いて講義する予定です。積極的な参加を期待します。

関連科目
民事法関連科目全般

担当者の研究室等
11号館10階　城内准教授室

裁判制度特別講義
Special Lecture on Judicial System

家　本　真　実（イエモト　マミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
2009年に、日本でも司法制度に一般の市民が参加する裁判員制度が導入されました。20歳以上の日本国籍を持つ人であれば誰でも、裁判員として刑事裁判に参加する可能性があることになります。しかし、制度導入から6年目にあたる現在でも、裁判員になると裁判でどのような任務を果たさなくてはならないのか、よく分からないという方も多いと思います。そこで、この授業では、裁判員制度を学ぶことに重点をおきながら、他の国でおこなわれている市民の司法への参加制度と比較しつつ、広く司法制度について学んでいただきたいと思います。

授業方法と留意点
この授業では、単に座って講義を受けるという形式ではなく、受講者の皆さんにも主体的に行動することによって裁判員制度を学んでいただくことになります。具体的には、まず、裁判員制度や他国の市民の司法への参加制度を学んでいただいたり、評議の練習をおこなっていただきます。さらに、12月の土曜日に家本ゼミの学生がおこなう模擬裁判において裁判員の立場で審理を聞いていただき、評議をおこなって被告人が有罪か無罪かを考えていただきます。毎回の授業が、12月の模擬裁判における審理のための備えとなりますので、1度でも欠席すれば単位は取得できないものと考えてください。

科目学習の効果（資格）
裁判員制度、日本や他国の司法制度についてより深く知ることができます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 はじめに
【内容・方法　等】 この講義の概要、講義予定、および受講確認
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義を復習し、疑問点を整理しておくこと。
第２回 【授業テーマ】 裁判員制度とは（1）
【内容・方法　等】 裁判員制度および刑事司法制度の概要
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義を復習し、疑問点を整理しておくこと。
第３回 【授業テーマ】 裁判員制度とは（2）
【内容・方法　等】 裁判員制度創設の経緯と制度の内容
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義を復習し、疑問点を整理しておくこと。
第４回 【授業テーマ】 裁判員制度とは（3）
【内容・方法　等】 裁判員制度の内容と実施状況
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義を復習し、疑問点を整理しておくこと。
第５回 【授業テーマ】 刑事裁判手続（1）
【内容・方法　等】 刑事裁判の原則、手続の流れ
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義を復習し、疑問点を整理しておくこと。
第６回 【授業テーマ】 刑事裁判手続（2）
【内容・方法　等】 刑事裁判の審理とその手続
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義を復習し、疑問点を整理しておくこと。
第７回 【授業テーマ】 アメリカの市民の司法参加制度ー陪審制度（1）
【内容・方法　等】 アメリカの刑事陪審制度について
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義を復習し、疑問点を整理しておくこと。
第８回 【授業テーマ】 アメリカの市民の司法参加制度ー陪審制度（2）
【内容・方法　等】 アメリカの刑事陪審制度について
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義を復習し、疑問点を整理しておくこと。
第９回 【授業テーマ】 ヨーロッパ諸国の市民の司法参加制度ー参審制度
【内容・方法　等】 ヨーロッパ諸国などで採用されている参審

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　92　2014/10/14　17:50:44

制度について
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義を復習し、疑問点を整理しておくこと。
第10回 【授業テーマ】 評議のためのウォームアップ（1）
【内容・方法 等】 評議とはどのようなものか
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義を復習し、疑問点を整理しておくこと。
第11回 【授業テーマ】 評議のためのウォームアップ（2）
【内容・方法 等】 仮の事件を題材にした評議をおこなう。
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義を復習し、疑問点を整理しておくこと。
第12回 【授業テーマ】 模擬裁判にて審理聴講
【内容・方法 等】 模擬裁判において審理を聴講する。
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義を復習し、疑問点を整理しておくこと。
第13回 【授業テーマ】 評議の実践
【内容・方法 等】 模擬裁判の審理から、被告人の有罪・無罪を考える。
【事前・事後学習課題】 模擬裁判で審理を聞いてみて感じたことや反省すべき点などをまとめておくこと。
第14回 【授業テーマ】 裁判員制度のあり方
【内容・方法 等】 裁判員制度はどうあるべきか、議論する。
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義を復習し、疑問点を整理しておくこと。
第15回 【授業テーマ】 おわりに
【内容・方法 等】 講義のまとめ
【事前・事後学習課題】 全講義を通して疑問や不明点がないか確認したうえで講義に臨むこと。

評価方法（基準）
授業に対する姿勢と貢献度、および学期末のレポート課題をおもに評価の基準とします。遅刻および欠席は、1度でも、単位の取得が著しく困難となりますのでご注意ください。また、初回の講義で受講の意思確認をおこないますので、初回に無断で欠席された場合には、以後の受講を認めないこととします。

教材等
教科書…使用しません。
参考書…講義中に適宜、指示します。

学生へのメッセージ
裁判員制度について興味をお持ちの方、模擬裁判で裁判員の立場を体験したいとお考えの方で、積極的に授業に参加する意思があり、そしてそれを実行できる方にのみ、受講していただきたいと思います。

関連科目
刑法総論・各論、犯罪学などの刑事法、刑事訴訟法、英米法

担当者の研究室等
11号館9階　家本准教授室

備考
講義内容は、講義の進行具合に応じて変更する場合もあります。

裁判員制度特別講義
Special Lecture on Saiban-in System

家　本　真　実（イエモト　マミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
2009年に、日本でも司法制度に一般の市民が参加する裁判員制度が導入されました。20歳以上の日本国籍を持つ人であれば誰でも、裁判員として刑事裁判に参加する可能性があることになります。しかし、制度導入から6年目にあたる現在でも、裁判員になると裁判でどのような任務を果たさなくてはならないのか、よく分からないという方も多いと思います。そこで、この授業では、裁判員制度を学ぶことに重点をおきながら、他の国でおこなわれている市民の司法への参加制度と比較しつつ、広く司法制度について学んでいただきたいと思います。

授業方法と留意点
この授業では、単に座って講義を受けるという形式ではなく、受講者の皆さんにも主体的に行動することによって裁判員制度を学んでいただくことになります。具体的には、まず、裁判員制度や他国の市民の司法への参加制度を学んでいただいたり、評議の練習をおこなっていただきます。さらに、12月の土曜日に家本ゼミの学生がおこなう模擬裁判において裁判員の立場で審理を聞いていただき、評議をおこなって被告人が有罪か無罪かを考えていただきます。毎回の授業が、12月の模擬裁判における審理のための備えとなりますので、1度でも欠席すれば単位は取得できないものと考えてください。

科目学習の効果（資格）
裁判員制度、日本や他国の司法制度についてより深く知ることができます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 はじめに
【内容・方法 等】 この講義の概要、講義予定、および受講確認
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義を復習し、疑問点を整理しておくこと。
第２回 【授業テーマ】 裁判員制度とは（1）
【内容・方法 等】 裁判員制度および刑事司法制度の概要
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義を復習し、疑問点を整理しておくこと。
第３回 【授業テーマ】 裁判員制度とは（2）
【内容・方法 等】 裁判員制度創設の経緯と制度の内容
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義を復習し、疑問点を整理しておくこと。
第４回 【授業テーマ】 裁判員制度とは（3）
【内容・方法 等】 裁判員制度の内容と実施状況
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義を復習し、疑問点を整理しておくこと。
第５回 【授業テーマ】 刑事裁判手続（1）
【内容・方法 等】 刑事裁判の原則、手続の流れ
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義を復習し、疑問点を整理しておくこと。
第６回 【授業テーマ】 刑事裁判手続（2）
【内容・方法 等】 刑事裁判の審理とその手続
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義を復習し、疑問点を整理しておくこと。
第７回 【授業テーマ】 アメリカの市民の司法参加制度ー陪審制度（1）
【内容・方法 等】 アメリカの刑事陪審制度について
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義を復習し、疑問点を整理しておくこと。
第８回 【授業テーマ】 アメリカの市民の司法参加制度ー陪審制度（2）
【内容・方法 等】 アメリカの刑事陪審制度について
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義を復習し、疑問点を整理しておくこと。
第９回 【授業テーマ】 ヨーロッパ諸国の市民の司法参加制度ー参審制度
【内容・方法 等】 ヨーロッパ諸国などで採用されている参審制度について
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義を復習し、疑問点を整理しておくこと。
第10回 【授業テーマ】 評議のためのウォームアップ（1）
【内容・方法 等】 評議とはどのようなものか
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義を復習し、疑問点を整理しておくこと。
第11回 【授業テーマ】 評議のためのウォームアップ（2）
【内容・方法 等】 仮の事件を題材にした評議をおこなう。
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義を復習し、疑問点を整理しておくこと。
第12回 【授業テーマ】 模擬裁判にて審理聴講
【内容・方法 等】 模擬裁判において審理を聴講する。
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義を復習し、疑問点を整理しておくこと。
第13回 【授業テーマ】 評議の実践
【内容・方法 等】 模擬裁判の審理から、被告人の有罪・無罪を考える。
【事前・事後学習課題】 模擬裁判で審理を聞いてみて感じたことや反省すべき点などをまとめておくこと。
第14回 【授業テーマ】 裁判員制度のあり方
【内容・方法 等】 裁判員制度はどうあるべきか、議論する。
【事前・事後学習課題】 次回の講義までに、今回の講義を復習し、疑問点を整理しておくこと。
第15回 【授業テーマ】 おわりに
【内容・方法 等】 講義のまとめ
【事前・事後学習課題】 全講義を通して疑問や不明点がないか確認したうえで講義に臨むこと。

評価方法（基準）
授業に対する姿勢と貢献度、および学期末のレポート課題をおもに評価の基準とします。遅刻および欠席は、1度でも、単位の取得が著しく困難となりますのでご注意ください。また、初回の講義で受講の意思確認をおこないますので、初回に無断で欠席された場合には、以後の受講を認めないこととします。

教材等
教科書…使用しません。
参考書…講義中に適宜、指示します。

学生へのメッセージ
裁判員制度について興味をお持ちの方、模擬裁判で裁判員の立場を体験したいとお考えの方で、積極的に授業に参加する意思があり、そしてそれを実行できる方にのみ、受講していただきたいと思います。

関連科目
刑法総論・各論、犯罪学などの刑事法、刑事訴訟法、英米法

担当者の研究室等
11号館9階　家本准教授室

備考

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd 93 2014/10/14 17:50:44

講義内容は、講義の進行具合に応じて変更する場合もあります。

社会調査実習
Field Survey of Town

中　沼　丈　晃（ナカヌマ　タケアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期非終講	履修申請要領参照	1

授業概要・目的・到達目標

2009年度まで「まちを調べる」という科目名であったこの講義では、その名のとおり、大学近辺の寝屋川市や交野市のまちに出向いて、地域や小学校の活動に参加し、観察や聞きとりによる調査を行う。本年度は、交野市の自治会と、寝屋川市の小学校に伺い、ボランティアや教員と一緒に活動を行い、世話役の方や校長先生への聞きとりを行う。

授業方法と留意点

この講義は次の２点で他の科目と大きく異なる。(1)大学の外に出向いて調査をする、(2)自治会や小学校の日常の活動に入る。ですので、欠席や遅刻はできません。

科目学習の効果（資格）

市役所職員や学校教諭の「現場」感覚がわかり、採用試験に向けた動機づけにつながるとともに、採用試験での論作文や面接などに必要な知見が得られる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　【1日目】自治会とは何か？地域において小学校はどのような役割を果たしている？
【内容・方法　等】　調査に伺う自治会や学校の日常や特徴を説明する。同時に、自分の地元での自治会や小学校について話し合う。
【事前・事後学習課題】　地元の自治会の掲示板を見たり、保護者に自治会の役員経験を尋ねる。通った小学校での地域とのつながりを思い出す。

第２回　**【授業テーマ】**　自治会とは何か？地域において小学校はどのような役割を果たしている？
【内容・方法　等】　調査に伺う自治会や学校の日常や特徴を説明する。同時に、自分の地元での自治会や小学校について話し合う。
【事前・事後学習課題】　地元の自治会の掲示板を見たり、保護者に自治会の役員経験を尋ねる。通った小学校での地域とのつながりを思い出す。

第３回　**【授業テーマ】**　【2日目】自治会活動に参加してみる。
【内容・方法　等】　交野市の自治会で資源回収活動、防犯パトロール活動に参加する。自治会の世話役の方から、地域活動のねらいや工夫、効果、充実感などを聞き取りする。
【事前・事後学習課題】　聞き取りでの質問項目を考えてくる。

第４回　**【授業テーマ】**　自治会活動に参加してみる。
【内容・方法　等】　交野市の自治会で資源回収活動、防犯パトロール活動に参加する。自治会の世話役の方から、地域活動のねらいや工夫、効果、充実感などを聞き取りする。
【事前・事後学習課題】　聞き取りでの質問項目を考えてくる。

第５回　**【授業テーマ】**　【3日目】小学校の教育現場に参加してみる。
【内容・方法　等】　寝屋川市の小学校で、夏休みの学習教室や親子料理教室、プール教室に参加する。校長先生から、児童の日常への気配り、夏休みの教室のねらい、地域とのつながりの意味などについて聞き取りする。
【事前・事後学習課題】　聞き取りでの質問項目を考えてくる。

第６回　**【授業テーマ】**　小学校の教育現場に参加してみる。
【内容・方法　等】　寝屋川市の小学校で、夏休みの学習教室や親子料理教室、プール教室に参加する。校長先生から、児童の日常への気配り、夏休みの教室のねらい、地域とのつながりの意味などについて聞き取りする。
【事前・事後学習課題】　聞き取りでの質問項目を考えてくる。

第７回　**【授業テーマ】**　【4日目】活動参加と聞き取りの結果をまとめる。
【内容・方法　等】　自治会と小学校での活動参加と聞き取りの結果をまとめる。特に、世話役の方や校長先生の考えや気配り、気遣いについて話し合う。
【事前・事後学習課題】　聞き取りの結果を整理してくる。自治会の世話役の方と小学校の校長先生へのお礼と感想の手紙を書く。

第８回　**【授業テーマ】**　活動参加と聞き取りの結果をまとめる。
【内容・方法　等】　自治会と小学校での活動参加と聞き取りの結果をまとめる。特に、世話役の方や校長先生の考えや気配り、気遣いについて話し合う。
【事前・事後学習課題】　聞き取りの結果を整理してくる。自治会の世話役の方と小学校の校長先生へのお礼と感想の手紙を書く。

第９回　**【授業テーマ】**　――――
【内容・方法　等】　――――
【事前・事後学習課題】　――――

第10回　**【授業テーマ】**　――――
【内容・方法　等】　――――
【事前・事後学習課題】　――――

第11回　**【授業テーマ】**　――――
【内容・方法　等】　――――
【事前・事後学習課題】　――――

第12回　**【授業テーマ】**　――――
【内容・方法　等】　――――
【事前・事後学習課題】　――――

第13回　**【授業テーマ】**　――――
【内容・方法　等】　――――
【事前・事後学習課題】　――――

第14回　**【授業テーマ】**　――――
【内容・方法　等】　――――
【事前・事後学習課題】　――――

第15回　**【授業テーマ】**　――――
【内容・方法　等】　――――
【事前・事後学習課題】　――――

評価方法（基準）

事前説明から活動参加、聞き取り調査、まとめまでの全過程への参加が必須。活動参加の熱心さ、聞き取り調査の真剣さ、まとめの出来で評価する。

教材等

教科書…指定しない。
参考書…なし。

学生へのメッセージ

この講義は、通常講義のない7月の特別教育期間において4日間、1日約3コマで集中して行います。詳細は、履修ガイダンス時に説明します。

関連科目

「社会調査の方法」

担当者の研究室等

11号館9階　中沼准教授室

まちを調べる
Field Survey of Town

中　沼　丈　晃（ナカヌマ　タケアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期非終講	履修申請要領参照	1

授業概要・目的・到達目標

この講義では、「まちを調べる」の名のとおり、大学近辺の寝屋川市や交野市のまちに出向いて、地域や小学校の活動に参加し、観察や聞きとりによる調査を行う。本年度は、交野市の自治会と、寝屋川市の小学校に伺い、ボランティアや教員と一緒に活動を行い、世話役の方や校長先生への聞きとりを行う。

授業方法と留意点

この講義は次の２点で他の科目と大きく異なる。(1)大学の外に出向いて調査をする、(2)自治会や小学校の日常の活動に入る。ですので、欠席や遅刻はできません。

科目学習の効果（資格）

市役所職員や学校教諭の「現場」感覚がわかり、採用試験に向けた動機づけにつながるとともに、採用試験での論作文や面接などに必要な知見が得られる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　【1日目】自治会とは何か？地域において小学校はどのような役割を果たしている？
【内容・方法　等】　調査に伺う自治会や学校の日常や特徴を説明する。同時に、自分の地元での自治会や小学校について話し合う。
【事前・事後学習課題】　地元の自治会の掲示板を見たり、保護者に自治会の役員経験を尋ねる。通った小学校での地域とのつながりを思い出す。

第２回　**【授業テーマ】**　自治会とは何か？地域において小学校はどのような役割を果たしている？
【内容・方法　等】　調査に伺う自治会や学校の日常や特徴を説明する。同時に、自分の地元での自治会や小学校について話し合う。
【事前・事後学習課題】　地元の自治会の掲示板を見たり、保護者に自治会の役員経験を尋ねる。通った小学校での地域とのつながりを思い出す。

第３回　**【授業テーマ】**　【2日目】自治会活動に参加してみる。
【内容・方法　等】　交野市の自治会で資源回収活動、防犯パトロール活動に参加する。自治会の世話役の方から、地域活動のねらいや工夫、効果、充実感などを聞き取りする。
【事前・事後学習課題】　聞き取りでの質問項目を考えてくる。

第４回　**【授業テーマ】**　自治会活動に参加してみる。
【内容・方法　等】　交野市の自治会で資源回収活動、防犯パト

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　94　　2014/10/14　17:50:44

ロール活動に参加する。自治会の世話役の方から、地域活動のねらいや工夫、効果、充実感などを聞き取りする。
【事前・事後学習課題】 聞き取りでの質問項目を考えてくる。
第５回 【授業テーマ】 【3日目】小学校の教育現場に参加してみる。
【内容・方法 等】 寝屋川市の小学校で、夏休みの学習教室や親子料理教室、プール教室に参加する。校長先生から、児童の日常への気配り、夏休みの教室のねらい、地域とのつながりの意味などについて聞き取りする。
【事前・事後学習課題】 聞き取りでの質問項目を考えてくる。
第６回 【授業テーマ】 小学校の教育現場に参加してみる。
【内容・方法 等】 寝屋川市の小学校で、夏休みの学習教室や親子料理教室、プール教室に参加する。校長先生から、児童の日常への気配り、夏休みの教室のねらい、地域とのつながりの意味などについて聞き取りする。
【事前・事後学習課題】 聞き取りでの質問項目を考えてくる。
第７回 【授業テーマ】 【4日目】活動参加と聞き取りの結果をまとめる。
【内容・方法 等】 自治会と小学校での活動参加と聞き取りの結果をまとめる。特に、世話役の方や校長先生の考えや気配り、気遣いについて話し合う。
【事前・事後学習課題】 聞き取りの結果を整理してくる。自治会の世話役の方と小学校の校長先生へのお礼と感想の手紙を書く。
第８回 【授業テーマ】 活動参加と聞き取りの結果をまとめる。
【内容・方法 等】 自治会と小学校での活動参加と聞き取りの結果をまとめる。特に、世話役の方や校長先生の考えや気配り、気遣いについて話し合う。
【事前・事後学習課題】 聞き取りの結果を整理してくる。自治会の世話役の方と小学校の校長先生へのお礼と感想の手紙を書く。
第９回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法 等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第10回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法 等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第11回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法 等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第12回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法 等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第13回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法 等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第14回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法 等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第15回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法 等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――

評価方法（基準）
調査から発表までの全過程への参加が必須。調査・発表準備・発表への貢献度で評価する。

教材等
教科書…指定しない。
参考書…なし。

学生へのメッセージ
この講義は、通常講義のない7月の特別教育期間において4日間、1日約3コマで集中して行います。詳細は、履修ガイダンス時に説明します。

関連科目
「社会調査の方法」

担当者の研究室等
11号館9階　中沼准教授室

社会調査の方法
Social Reseach Method

西　浦　真喜子（ニシウラ　マキコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
社会調査とは、社会のことがらを明らかにするために、主に現地調査によってデータを収集、分析し、その結果を公表する一連のプロセスのことをいいます。授業の前半では、調査の設計・企画、データ収集の方法といった社会調査の基礎知識について学んでもらいます。後半は、実際に皆さんに質問文を作成してもらい、模擬的な社会調査を実施したり、実際に行われている調査の事例をとり上げたりして、結果の分析や解釈の仕方についても学んでもらいます。

授業方法と留意点
講義形式での授業が主になりますが、授業中に課題に取り組んでもらい、提出を求めることがあります。

科目学習の効果（資格）
レポート作成や卒業論文で調査を行う場合に、どのようにすればよいかという手法を学べる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 社会調査ってどんなもの？
【内容・方法 等】 ・オリエンテーション
・社会調査とは？
・いろいろな社会調査
【事前・事後学習課題】 参考書第1章を読んでおく
第２回 【授業テーマ】 社会調査の実施方法
【内容・方法 等】 ・調査方法の分類
・調査倫理
・量的調査と質的調査
【事前・事後学習課題】 参考書第2章を読んでおく
第３回 【授業テーマ】 社会調査の進め方
【内容・方法 等】 ・科学としての社会調査
・よい問いの設定
・データ収集と分析
【事前・事後学習課題】 参考書第3章を読んでおく
第４回 【授業テーマ】 社会調査の計画
【内容・方法 等】 ・調査方法の分類
・調査の5ステップ
【事前・事後学習課題】 参考書第4章を読んでおく
第５回 【授業テーマ】 サンプリングの方法
【内容・方法 等】 ・母集団と標本
・標本抽出の方法
【事前・事後学習課題】 参考書第7章を読んでおく
第６回 【授業テーマ】 変数と測定尺度
【内容・方法 等】 ・変数、データとは？
・社会的態度の測定
・信頼性と妥当性
【事前・事後学習課題】 参考書第4章を読んでおく
配布プリントを読む
第７回 【授業テーマ】 調査票の設計
【内容・方法 等】 ・調査票の構成
・質問文のワーディング
【事前・事後学習課題】 参考書第6章を読んでおく
第８回 【授業テーマ】 調査票の設計
【内容・方法 等】 ・質問文の作成
・回答形式の設定
【事前・事後学習課題】 参考書第5、6章を読んでおく
第９回 【授業テーマ】 調査実施のプロセス
【内容・方法 等】 ・実査
・エディティングとコーディング
・データの入力
【事前・事後学習課題】 参考書第8、9章を読んでおく
第10回 【授業テーマ】 データの分析：単純集計
【内容・方法 等】 ・度数分布表とヒストグラム
・基礎統計量（代表値と散布度）
【事前・事後学習課題】 参考書第10章を読んでおく
課題プリント
第11回 【授業テーマ】 データの分析：2変数の関連、統計的仮説検定
【内容・方法 等】 ・クロス集計表
・相関係数
・カイ二乗検定
【事前・事後学習課題】 参考書第11・12・13章を読んでおく
課題プリント
第12回 【授業テーマ】 社会調査の実際①：身近な調査
【内容・方法 等】 ・新聞、雑誌、インターネットに出ている調査を例に挙げる
【事前・事後学習課題】 自分で関心のある調査例を探し、読んでくる
第13回 【授業テーマ】 社会調査の実際②：学術調査
【内容・方法 等】 学術的な調査の例を挙げる
【事前・事後学習課題】 学術的な調査の意義や感想をまとめる
第14回 【授業テーマ】 調査の実施
【内容・方法 等】 自分たちの関心あるテーマの模擬調査
調査内容の報告の仕方
【事前・事後学習課題】 データのまとめ
調査から言えることをまとめる
第15回 【授業テーマ】 総まとめ
【内容・方法 等】 これまでの授業のおさらい
学期末試験に向けてのポイント
【事前・事後学習課題】 学期末試験に向けての学習

評価方法（基準）
授業中に実施する課題(30％)と、期末試験の成績(70％)をもとに評価します。

教材等
教科書…授業中に配布するプリント

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd 95 2014/10/14 17:50:44

参考書…轟 亮・杉野 勇　「入門・社会調査法―2ステップで基礎から学ぶ」　法律文化社（2415円）

学生へのメッセージ

社会調査、というとなんだかおおげさなように聞こえるかもしれません。しかし、視聴率調査、インターネット調査、街頭インタビューなどの結果をテレビや新聞などで見ることも多いでしょう。あるいは、卒業論文や就職先などで調査を行わなければならない人もいるでしょう。社会調査は非常に身近なものです。そのときに役に立つよう、授業を通してデータを読み取る力や調査を企画する力を養えるようにしたいと思います。

関連科目

なし

担当者の研究室等

11号館5階　法学部資料室（法学部非常勤講師室）

応用情報処理
Advanced Information Processing

藤 木 健 史（フジキ　タケフミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

プレゼンテーションソフトは、研究成果や調査結果の報告、商品企画の発表など、様々な用途で用いられており、コンピュータ社会にとって重要なツールである。本講義では、プレゼンテーションソフトを応用的に活用するスキルを学ぶ。

授業方法と留意点

毎回コンピュータによる実習を行い，関連する演習課題に取り組む．習熟度合いに応じて，講義内容は適宜変更する場合がある．

科目学習の効果（資格）

ビジネスシーンを想定したスライド作成スキル以外に、簡易的な画像処理技術、ポスター制作スキルなども習得できる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　イントロダクション
【内容・方法　等】　授業の進め方、評価方法要
【事前・事後学習課題】　特になし

第２回　**【授業テーマ】**　PowerPoint基本操作１
【内容・方法　等】　基本操作の復習
【事前・事後学習課題】　該当する項目について配布資料をもとに復習を行う

第３回　**【授業テーマ】**　PowerPoint基本操作２
【内容・方法　等】　基本操作の復習
【事前・事後学習課題】　該当する項目について配布資料をもとに復習を行う

第４回　**【授業テーマ】**　PowerPoint　スライド作成１
【内容・方法　等】　PowerPointのスライド作成を学ぶ
【事前・事後学習課題】　該当する項目について配布資料をもとに復習を行う

第５回　**【授業テーマ】**　PowerPoint　スライド作成２
【内容・方法　等】　PowerPointのスライド作成を学ぶ
【事前・事後学習課題】　該当する項目について配布資料をもとに復習を行う

第６回　**【授業テーマ】**　PowerPoint　スライド作成３
【内容・方法　等】　PowerPointのスライド作成を学ぶ
【事前・事後学習課題】　該当する項目について配布資料をもとに復習を行う

第７回　**【授業テーマ】**　製作発表１
【内容・方法　等】　各自作成した課題を発表する
【事前・事後学習課題】　該当する項目について配布資料をもとに復習を行う

第８回　**【授業テーマ】**　PowerPoint　画像処理１
【内容・方法　等】　PowerPointを活用した画像処理を学ぶ
【事前・事後学習課題】　該当する項目について配布資料をもとに復習を行う

第９回　**【授業テーマ】**　PowerPoint　画像処理２
【内容・方法　等】　PowerPointを活用した画像処理を学ぶ
【事前・事後学習課題】　該当する項目について配布資料をもとに復習を行う

第10回　**【授業テーマ】**　PowerPoint　画像処理３
【内容・方法　等】　PowerPointを活用した画像処理を学ぶ
【事前・事後学習課題】　該当する項目について配布資料をもとに復習を行う

第11回　**【授業テーマ】**　PowerPoint　応用１
【内容・方法　等】　PowerPoint, Word, Excel　などを連携した応用を学ぶ
【事前・事後学習課題】　該当する項目について配布資料をもとに復習を行う

第12回　**【授業テーマ】**　PowerPoint　応用２
【内容・方法　等】　PowerPoint, Word, Excel　などを連携した応用を学ぶ
【事前・事後学習課題】　該当する項目について配布資料をもとに復習を行う

第13回　**【授業テーマ】**　PowerPoint　応用３
【内容・方法　等】　PowerPoint, Word, Excel　などを連携した応用を学ぶ
【事前・事後学習課題】　該当する項目について配布資料をもとに復習を行う

第14回　**【授業テーマ】**　製作発表２
【内容・方法　等】　各自作成した課題を発表する
【事前・事後学習課題】　該当する項目について配布資料をもとに復習を行う

第15回　**【授業テーマ】**　まとめ
【内容・方法　等】　まとめ、およびフォローアップを行う
【事前・事後学習課題】　特に困難な箇所の確認と復習

評価方法（基準）

出席点、課題点をもとに評価する。この授業は演習中心であるため、出席および各週の課題提出が単位取得の必要条件となります。

教材等

教科書…電子ファイルを資料として配布します。
参考書…指定しない．

学生へのメッセージ

毎回の授業が前回までの授業内容の理解を前提として進められるので，可能な限り欠席や遅刻をしないこと．欠席するとそれ以降の授業の理解が困難となる．もし万一欠席したときには各自の責任で授業課題を自習しておくこと．

関連科目

情報処理I，情報処理II

担当者の研究室等

11号館6階　経営学部事務室

法律英語
Legal English

糟 谷 英 之（カスタニ　ヒデユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

英語文献の輪読を通じて、英語法律文書の読解力を向上させること。さらに法律英語の特徴や国際社会の特性なども理解できる能力を身につけることを目標とする。

授業方法と留意点

配布プリントを基本に、主として口頭による講義方式をとるが、ビデオ、インターネットなども随時利用する。講義ノートをしっかり取っておくこと。

科目学習の効果（資格）

TOICなどの英語検定試験の準備、海外留学や海外研修の事前学習となる。最近のパラリーガルやNGO職員の資質を養成することに役立つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　講義のガイダンス
【内容・方法　等】　講義の到達目標を含む講義概要、講義の進め方、成績評価方法などについて説明する。
【事前・事後学習課題】　シラバスを読み講義概要に目を通しておくこと。

第２回　**【授業テーマ】**　国際連合の目的と構造
【内容・方法　等】　テキストを輪読し、説明を加える。加えて講義で触れられた関連問題をインターネットで調べる。
【事前・事後学習課題】　前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回作成したノートを完成すること。

第３回　**【授業テーマ】**　国際平和と安全
【内容・方法　等】　テキストを輪読し、説明を加える。加えて講義で触れられた関連問題をインターネットで調べる。
【事前・事後学習課題】　前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回作成したノートを完成すること。

第４回　**【授業テーマ】**　国際的人権保障
【内容・方法　等】　テキストを輪読し、説明を加える。加えて講義で触れられた関連問題をインターネットで調べる。
【事前・事後学習課題】　前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回作成したノートを完成すること。

第５回　**【授業テーマ】**　さまざまな国際協力
【内容・方法　等】　テキストを輪読し、説明を加える。加えて講義で触れられた関連問題をインターネットで調べる。
【事前・事後学習課題】　前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回作成したノートを完成すること。

第６回　**【授業テーマ】**　国際社会におけるＮＧＯの役割
【内容・方法　等】　テキストを輪読し、説明を加える。加えて講義で触れられた関連問題をインターネットで調べる。

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　96　2014/10/14　17:50:44

【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回作成したノートを完成すること。
第７回 【授業テーマ】 国際社会におけるルール
【内容・方法　等】 テキストを輪読し、説明を加える。加えて講義で触れられた関連問題をインターネットで調べる。
【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回作成したノートを完成すること。
第８回 【授業テーマ】 前半の総括と確認テスト
【内容・方法　等】 前半の復習と小テスト
【事前・事後学習課題】 第7回までに作成したノートを復習しておくこと。
第９回 【授業テーマ】 映画の中の法律英語(1)
【内容・方法　等】 英語映像を通じて法律問題を考える。
【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回作成したノートを完成すること。
第10回 【授業テーマ】 映画の中の法律英語(2)
【内容・方法　等】 英語映像を通じて法律問題を考える。
【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回作成したノートを完成すること。
第11回 【授業テーマ】 映画の中の法律英語(3)
【内容・方法　等】 英語映像を通じて法律問題を考える。
【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回作成したノートを完成すること。
第12回 【授業テーマ】 映画の中の法律英語(4)
【内容・方法　等】 英語映像を通じて法律問題を考える。
【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回作成したノートを完成すること。
第13回 【授業テーマ】 映画の中の法律英語(5)
【内容・方法　等】 英語映像を通じて法律問題を考える。
【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回作成したノートを完成すること。
第14回 【授業テーマ】 映画の中の法律英語(6)
【内容・方法　等】 英語映像を通じて法律問題を考える。
【事前・事後学習課題】 今まで作成したノートを復習し、テストの準備をすること。
第15回 【授業テーマ】 学期のまとめ
【内容・方法　等】 本学期の講義内容の総括
【事前・事後学習課題】 これまでに作成した全ノートの復習とテストの準備しておくこと

評価方法（基準）
講義への参加程度（出席ではない）、確認テスト及び学期末テストなどをもとに総合的に評価する。

教材等
教科書…こちらで用意したテキストを使用する。
参考書…適宜指示する。

学生へのメッセージ
単に講義に出席するだけでなく、できる限り積極的に授業に参加し質問する（考える）努力が求められる。
現在社会で求められるのは問題点を見つけ、それに対する解決策を見つける能力である。

関連科目
国際法の基礎理論、国際組織法、国際人権法、国際関係論、国際平和論、国際協力論、国際ボランティア論など国際社会とかかわりのある科目

担当者の研究室等
11号館10階　糟谷教授室

国際社会の法律英語
Legal English in International Community

糟　谷　英　之（カスタニ　ヒデユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
英語文献の輪読を通じて、英語法律文書の読解力を向上させること。さらに法律英語の特徴や国際社会の特性なども理解できる能力を身につけることを目標とする。

授業方法と留意点
配布プリントを基本に、主として口頭による講義方式をとるが、ビデオ、インターネットなども随時利用する。講義ノートをしっかり取っておくこと。

科目学習の効果（資格）
TOICなどの英語検定試験の準備、海外留学や海外研修の事前学習となる。最近のパラリーガルやNGO職員の資質を養成することに役立つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 講義のガイダンス
【内容・方法　等】 講義の到達目標を含む講義概要、講義の進め方、成績評価方法などについて説明する。
【事前・事後学習課題】 シラバスを読み講義概要に目を通しておくこと。
第２回 【授業テーマ】 国際連合の目的と構造
【内容・方法　等】 テキストを輪読し、説明を加える。加えて講義で触れられた関連問題をインターネットで調べる。
【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回作成したノートを完成すること。
第３回 【授業テーマ】 国際平和と安全
【内容・方法　等】 テキストを輪読し、説明を加える。加えて講義で触れられた関連問題をインターネットで調べる。
【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回作成したノートを完成すること。
第４回 【授業テーマ】 国際的人権保障
【内容・方法　等】 テキストを輪読し、説明を加える。加えて講義で触れられた関連問題をインターネットで調べる。
【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回作成したノートを完成すること。
第５回 【授業テーマ】 さまざまな国際協力
【内容・方法　等】 テキストを輪読し、説明を加える。加えて講義で触れられた関連問題をインターネットで調べる。
【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回作成したノートを完成すること。
第６回 【授業テーマ】 国際社会におけるＮＧＯの役割
【内容・方法　等】 テキストを輪読し、説明を加える。加えて講義で触れられた関連問題をインターネットで調べる。
【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回作成したノートを完成すること。
第７回 【授業テーマ】 国際社会におけるルール
【内容・方法　等】 テキストを輪読し、説明を加える。加えて講義で触れられた関連問題をインターネットで調べる。
【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回作成したノートを完成すること。
第８回 【授業テーマ】 前半の総括と確認テスト
【内容・方法　等】 前半の復習と小テスト
【事前・事後学習課題】 第7回までに作成したノートを復習しておくこと。
第９回 【授業テーマ】 映画の中の法律英語(1)
【内容・方法　等】 英語映像を通じて法律問題を考える。
【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回作成したノートを完成すること。
第10回 【授業テーマ】 映画の中の法律英語(2)
【内容・方法　等】 英語映像を通じて法律問題を考える。
【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回作成したノートを完成すること。
第11回 【授業テーマ】 映画の中の法律英語(3)
【内容・方法　等】 英語映像を通じて法律問題を考える。
【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回作成したノートを完成すること。
第12回 【授業テーマ】 映画の中の法律英語(4)
【内容・方法　等】 英語映像を通じて法律問題を考える。
【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回作成したノートを完成すること。
第13回 【授業テーマ】 映画の中の法律英語(5)
【内容・方法　等】 英語映像を通じて法律問題を考える。
【事前・事後学習課題】 前回の講義で指示した課題を行ってくること。次週までに今回作成したノートを完成すること。
第14回 【授業テーマ】 映画の中の法律英語(6)
【内容・方法　等】 英語映像を通じて法律問題を考える。
【事前・事後学習課題】 今まで作成したノートを復習し、テストの準備をすること。
第15回 【授業テーマ】 学期のまとめ
【内容・方法　等】 本学期の講義内容の総括
【事前・事後学習課題】 これまでに作成した全ノートの復習とテストの準備しておくこと

評価方法（基準）
講義への参加程度（出席ではない）、確認テスト及び学期末テストなどをもとに総合的に評価する。

教材等
教科書…こちらで用意したテキストを使用する。
参考書…適宜指示する。

学生へのメッセージ
単に講義に出席するだけでなく、できる限り積極的に授業に参加し質問する（考える）努力が求められる。
現在社会で求められるのは問題点を見つけ、それに対する解決策を見つける能力である。

関連科目
国際法の基礎理論、国際組織法、国際人権法、国際関係論、国際平和論、国際協力論、国際ボランティア論など国際社会とかかわりのある科目

担当者の研究室等
11号館10階　糟谷教授室

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　97　2014/10/14　17:50:45

スポーツ政策論
Sports Policy

石　井　信　輝（イシイ　ノブキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
現代社会におけるスポーツの意義を踏まえ、スポーツ政策の立案過程、およびスポーツ政策の社会に対する役割に関する知見を獲得することによって、スポーツと政策との関係に対する理解を深める。

授業方法と留意点
講義形式で展開していくが、学生と双方向の講義になるようにコミュニケーションを図っていくので、留意されたい。

科目学習の効果（資格）
公認スポーツ指導者養成に関する科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　ガイダンス
【内容・方法　等】　スポーツ政策とは
【事前・事後学習課題】　スポーツ政策という概念を整理する。
第２回　【授業テーマ】　スポーツ政策の概念
【内容・方法　等】　スポーツ政策の目的、意義
【事前・事後学習課題】　関連資料に目を通す。
第３回　【授業テーマ】　スポーツ政策の体系
【内容・方法　等】　スポーツ政策の体系
【事前・事後学習課題】　配布資料の理解。
第４回　【授業テーマ】　スポーツ政策の立案者
【内容・方法　等】　スポーツ政策を立案する組織、団体
【事前・事後学習課題】　スポーツ組織を立案する組織・団体を抜粋し整理する。
第５回　【授業テーマ】　スポーツ活動の促進とスポーツ政策（１）
【内容・方法　等】　社会の中のスポーツ、スポーツの社会的意義、歴史的変遷
【事前・事後学習課題】　スポーツの社会的意義を整理する。
第６回　【授業テーマ】　スポーツ活動の促進とスポーツ政策（２）
【内容・方法　等】　わが国におけるスポーツ振興施策、学校でのスポーツ活動の発展を促すスポーツ政策
【事前・事後学習課題】　関連資料に目を通す。
第７回　【授業テーマ】　スポーツ活動の促進とスポーツ政策（３）
【内容・方法　等】　わが国におけるスポーツ振興施策、健康の維持増進とスポーツ政策
【事前・事後学習課題】　配布資料を理解する。
第８回　【授業テーマ】　スポーツ活動の促進とスポーツ政策（４）
【内容・方法　等】　わが国におけるスポーツ振興施策、生活の質向上とスポーツ政策
【事前・事後学習課題】　わが国におけるスポーツ政策の特徴を体系づける。
第９回　【授業テーマ】　スポーツ活動の促進とスポーツ政策（５）
【内容・方法　等】　世界のスポーツ振興政策
【事前・事後学習課題】　わが国と諸外国のスポーツ政策上の特徴の理解を深める
第10回　【授業テーマ】　スポーツ活動の促進とスポーツ政策（６）、これまでの講義のまとめ
【内容・方法　等】　世界のスポーツ事情と日本のスポーツ振興施策、およびこれまでの習熟度確認試験の実施
【事前・事後学習課題】　前5回の講義と今回とを関連づけて整理する。
第11回　【授業テーマ】　競技力の向上とスポーツ政策（１）
【内容・方法　等】　国威発揚としての国際競技力の向上政策
【事前・事後学習課題】　関連資料に目を通す。
第12回　【授業テーマ】　競技力の向上とスポーツ政策（２）
【内容・方法　等】　国内の連帯促進と国際競技力の向上政策
【事前・事後学習課題】　前回の講義と関連づけて整理する。
第13回　【授業テーマ】　社会化促進のためのスポーツ政策
【内容・方法　等】　社会への組み入れを促すためのスポーツ政策
【事前・事後学習課題】　配布資料の理解。
第14回　【授業テーマ】　社会的平等とスポーツ政策
【内容・方法　等】　社会的平等を促進するためのスポーツ政策
【事前・事後学習課題】　関連資料に目を通す。
第15回　【授業テーマ】　講義の総括と習熟度の検査
【内容・方法　等】　講義全体の総括と習熟度確認のための臨時試験を行う
【事前・事後学習課題】　これまでの講義を体系立てて復習する

評価方法（基準）
授業に参加する姿勢、および試験の成績を総合的に評価する。

教材等
教科書…参考書欄を参照
参考書…公認スポーツ指導者養成テキスト（共通科目II）

学生へのメッセージ
意欲的に取り組んでほしい

関連科目
スポーツと法律等

担当者の研究室等
11号館10階　石井准教授室

備考
スポーツ指導者共通科目II - Iに対応
開講日：2014年7月25日（金）、7月28日（月）、7月29日（火）【5コマ×3日間】

スポーツと法律
Sports and Law

石　井　信　輝（イシイ　ノブキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
現代スポーツにおける法的現象と理論を、スポーツ固有法、スポーツ事故、スポーツと人権、ジェンダー、契約の観点等から検討する。そのことによって、スポーツと法律との関係についての理解を深める。

授業方法と留意点
講義形式を採用するが、学生との双方向の授業を展開したいので、その点の留意をお願いしたい。

科目学習の効果（資格）
公認スポーツ指導者資格取得のための科目でもある。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　スポーツと法（１）
【内容・方法　等】　スポーツの概念、特性
【事前・事後学習課題】　スポーツの概念や特徴についての復習。
第２回　【授業テーマ】　スポーツと法（２）
【内容・方法　等】　スポーツ法の概念、特性およびその対象
【事前・事後学習課題】　前回の講義と関連づけてまとめる。
第３回　【授業テーマ】　スポーツに関する法規定
【内容・方法　等】　スポーツに関する固有法
【事前・事後学習課題】　関連資料に目を通すこと。
第４回　【授業テーマ】　スポーツを親しむ権利
【内容・方法　等】　スポーツへのアクセスの自由
【事前・事後学習課題】　スポーツの権利性についてまとめる。
第５回　【授業テーマ】　スポーツ選手の権利（１）
【内容・方法　等】　スポーツ選手と契約
【事前・事後学習課題】　配布資料に目を通すこと。
第６回　【授業テーマ】　スポーツ選手の権利（２）
【内容・方法　等】　スポーツ選手の肖像権、パブリシティー権
【事前・事後学習課題】　前回の講義と関連づけてまとめる。
第７回　【授業テーマ】　スポーツと教育
【内容・方法　等】　学校スポーツ、社会スポーツ（生涯スポーツ）
【事前・事後学習課題】　関連資料に目を通すこと。
第８回　【授業テーマ】　スポーツ振興と法令、これまでの講義のまとめ
【内容・方法　等】　スポーツの振興に関する法令、および習熟度確認試験の実施
【事前・事後学習課題】　これまでの講義を体系的にまとめること。
第９回　【授業テーマ】　スポーツと国籍
【内容・方法　等】　スポーツへの参加と国籍
【事前・事後学習課題】　配布資料に目を通すこと。
第10回　【授業テーマ】　スポーツと社会的平等
【内容・方法　等】　スポーツとジェンダー
【事前・事後学習課題】　関連資料に目を通すこと。
第11回　【授業テーマ】　スポーツ事故と法的責任（１）
【内容・方法　等】　スポーツ事故と法律（民事責任、刑事責任）
【事前・事後学習課題】　民法、刑法の関連条項の整理。
第12回　【授業テーマ】　スポーツ事故と法的責任（２）
【内容・方法　等】　危険の引き受けと引き受けた危険
【事前・事後学習課題】　危険の引き受けと引き受けた危険との相違点をまとめる。
第13回　【授業テーマ】　スポーツ事故と法的責任（３）
【内容・方法　等】　スポーツと学校事故
【事前・事後学習課題】　配布資料に目を通すこと。
第14回　【授業テーマ】　スポーツ事故と法的責任（４）
【内容・方法　等】　フランスにけるスポーツ事故と法的責任
【事前・事後学習課題】　スポーツ事故の発生と法的責任の発生に関してまとめる
第15回　【授業テーマ】　講義の総括と習熟度検査
【内容・方法　等】　講義の総括と習熟度確認のための臨時試験の実施
【事前・事後学習課題】　講義全体を体系的に整理する。

評価方法（基準）

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　98　2014/10/14　17:50:45

授業に参加する姿勢、および試験の成績を総合的に評価する。

教材等

教科書…参考書欄を参照

参考書…塩野宏他編　『スポーツ六法』　信山社
公認スポーツ指導者養成テキスト（共通科目II）

学生へのメッセージ

意欲的に講義に参加してください。

関連科目

スポーツ政策論等

担当者の研究室等

11号館10階　石井准教授室

備考

- - - - - - - - -

スポーツ文化論
Cultural Aspects of Sports

河　瀬　泰　治（カワセ　ヤスハル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

スポーツを文化の領域と捉らえ歴史的、経済的にあらゆる側面から講義を進めてゆく。特権階級の人々に親しまれたスポーツをもっと身近に感じスポーツの取り巻く問題と新たなスポーツ文化を発掘していこうとすることがスポーツ文化論である。

授業方法と留意点

講義形式で授業を進める。なお、資料配布やＶＴＲなどを用い、教育効果を上げる。

科目学習の効果（資格）

スポーツを楽しむためによりスポーツを知ることが出来る。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　ガイダンス
【内容・方法　等】　ガイダンス
【事前・事後学習課題】　――――

第２回　**【授業テーマ】**　文化の中のスポーツ（１）
【内容・方法　等】　スポーツ人類学
【事前・事後学習課題】　課題資料配布

第３回　**【授業テーマ】**　文化の中のスポーツ（２）
【内容・方法　等】　スポーツ文化複合
【事前・事後学習課題】　課題資料配布

第４回　**【授業テーマ】**　文化の中のスポーツ（３）
【内容・方法　等】　文化とスポーツ（小テスト）
【事前・事後学習課題】　レポート提出

第５回　**【授業テーマ】**　スポーツと社会（１）
【内容・方法　等】　スポーツと社会の結びつき
【事前・事後学習課題】　課題資料配布

第６回　**【授業テーマ】**　スポーツと社会（２）
【内容・方法　等】　スポーツの社会における役割（小テスト）
【事前・事後学習課題】　レポート提出

第７回　**【授業テーマ】**　国民性とスポーツ(1)
【内容・方法　等】　民族によるスポーツの考え方（欧米）
【事前・事後学習課題】　課題資料配布

第８回　**【授業テーマ】**　国民性とスポーツ（２）
【内容・方法　等】　民族によるスポーツの考え方（アジア）
【事前・事後学習課題】　課題資料配布

第９回　**【授業テーマ】**　女性のスポーツ
【内容・方法　等】　女性アスリートの歴史
【事前・事後学習課題】　課題資料配布

第10回　**【授業テーマ】**　スポーツとマーケティング（１）
【内容・方法　等】　子供とスポーツ
【事前・事後学習課題】　課題資料配布

第11回　**【授業テーマ】**　スポーツとマーケティング（２）
【内容・方法　等】　学校体育とスポーツ（小テスト）
【事前・事後学習課題】　レポート提出

第12回　**【授業テーマ】**　スポーツとビジネス（１）
【内容・方法　等】　マネーとスポーツ
【事前・事後学習課題】　課題資料配布

第13回　**【授業テーマ】**　スポーツとビジネス（２）
【内容・方法　等】　商業主義とスポーツ
【事前・事後学習課題】　課題資料配布

第14回　**【授業テーマ】**　スポーツ文化論総括
【内容・方法　等】　文化論　まとめ
【事前・事後学習課題】　課題資料配布

第15回　**【授業テーマ】**　スポーツ文化論総括
【内容・方法　等】　発表
【事前・事後学習課題】　グループ発表

評価方法（基準）

筆記試験及びレポート・グループ発表などをし、総合的に評価する。

教材等

教科書…配布プリント

参考書…使用しない

学生へのメッセージ

講義は聞くだけでなく、自分の問題として捕らえ、自分に置き換えて考えることが重要である。教科書は特に使用しないが、新聞など関連記事には目を通したほうが良い。また、インターネットによる情報収集も新鮮な情報が得られる。

関連科目

スポーツ指導者入門

担当者の研究室等

総合体育館1階　河瀬研究室

地域とスポーツ
Community and Sports

石　井　信　輝（イシイ　ノブキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

地域社会の発展、連帯等を促進するためのスポーツの役割に関する知見を修得することによって、地域社会とスポーツとの関係の理解を深める。

授業方法と留意点

講義形式で行うが、学生の講義への参加も促すので留意してほしい。

科目学習の効果（資格）

公認スポーツ指導者養成に関する科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　ガイダンス
【内容・方法　等】　地域社会とスポーツ
【事前・事後学習課題】　地域とスポーツとの関係性について整理する。

第２回　**【授業テーマ】**　地域におけるスポーツの振興（１）
【内容・方法　等】　地域にけるスポーツ振興方策と行政とのかかわり
【事前・事後学習課題】　関連資料に目を通す。

第３回　**【授業テーマ】**　地域におけるスポーツの振興（２）
【内容・方法　等】　地域におけるスポーツ振興の主要課題
【事前・事後学習課題】　配布資料を理解する。

第４回　**【授業テーマ】**　地域におけるスポーツの振興（３）
【内容・方法　等】　地域におけるスポーツ振興と民間団体の役割
【事前・事後学習課題】　前2回と今回の講義を関連づけて整理する。

第５回　**【授業テーマ】**　地域スポーツの振興拠点（１）
【内容・方法　等】　わが国の特徴である学校スポーツおよび企業スポーツ
【事前・事後学習課題】　関連資料に目を通す。

第６回　**【授業テーマ】**　地域スポーツの振興拠点（２）
【内容・方法　等】　諸外国における地域スポーツの振興拠点
【事前・事後学習課題】　配布資料を理解する。

第７回　**【授業テーマ】**　地域スポーツの振興拠点（３）
【内容・方法　等】　地域スポーツクラブの役割（総合型地域スポーツクラブの機能と役割）
【事前・事後学習課題】　わが国と諸外国との相違点・類似点を見出す。

第８回　**【授業テーマ】**　地域スポーツの振興拠点（４）、およびこれまでの講義のまとめ
【内容・方法　等】　地域スポーツクラブの役割、これまでの到達度を評価するための試験の実施
【事前・事後学習課題】　前3回の講義と今回の講義とを関連づけて整理する。

第９回　**【授業テーマ】**　スポーツ振興法と地域スポーツの振興
【内容・方法　等】　スポーツ振興法が規定する地域スポーツ振興
【事前・事後学習課題】　配布資料の理解。

第10回　**【授業テーマ】**　地域社会の活性化とスポーツ（１）
【内容・方法　等】　わが国におけるスポーツ活動による地域社会活性化へ向けた取り組み
【事前・事後学習課題】　関連資料に目を通す。

第11回　**【授業テーマ】**　地域社会の活性化とスポーツ（２）
【内容・方法　等】　諸外国におけるスポーツ活動による地域社会活性化へ向けた取り組み
【事前・事後学習課題】　配布資料の理解。

第12回　**【授業テーマ】**　地域社会の連帯促進とスポーツ（１）
【内容・方法　等】　わが国におけるスポーツ活動による地域連帯促進への取り組み
【事前・事後学習課題】　関連資料に目を通す。

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　99　2014/10/14　17:50:45

第13回 【授業テーマ】 地域社会の連帯促進とスポーツ（2）
【内容・方法 等】 諸外国におけるスポーツ活動による地域連帯促進への取り組み
【事前・事後学習課題】 配布資料の理解。
第14回 【授業テーマ】 地域社会の連帯促進とスポーツ（3）
【内容・方法 等】 わが国における取り組みと諸外国における取り組みとの比較検討
【事前・事後学習課題】 前2回と今回の講義とを関連づけて整理する。
第15回 【授業テーマ】 講義の総括
【内容・方法 等】 講義の総括と習熟度確認のための臨時試験の実施
【事前・事後学習課題】 これまでの講義を体系的に整理・理解する。

評価方法（基準）
授業に参加する姿勢、および試験の成績を総合的に評価する。

教材等
教科書…参考書欄を参照
参考書…公認スポーツ指導者養成テキスト（共通科目I）

学生へのメッセージ
意欲的に取り組んでください。

関連科目
スポーツ政策論等

担当者の研究室等
11号館10階　石井准教授室

備考
- - - - - - - -

スポーツマネジメント
Sports Management

石　井　信　輝（イシイ　ノブキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		集中	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
スポーツ分野のマネジメントに関する知見を講義し、その獲得を図ることによって、スポーツ活動の振興とマネイジントに関する関係の理解を深める。

授業方法と留意点
講義形式の授業を展開するが、双方向の授業とするために講義へ積極的に参加することを期待する。

科目学習の効果（資格）
公認スポーツ指導者資格取得対応科目

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 ガイダンス、スポーツマネジメントとは
【事前・事後学習課題】 スポーツマネジントという言葉の整理。
第２回 【授業テーマ】 マネジメントの本質（1）
【内容・方法 等】 マネジメントの定義、マネジメントにおける目標設定
【事前・事後学習課題】 関連資料に目を通す。
第３回 【授業テーマ】 マネジメントの本質（2）
【内容・方法 等】 マネージャーの役割、心構え
【事前・事後学習課題】 マネジメントという概念をまとめる。
第４回 【授業テーマ】 スポーツマネジメントの特徴
【内容・方法 等】 スポーツマネジメントの特徴、スポーツ産業が持つ特質
【事前・事後学習課題】 前2回の講義と今回とを関連づけてまとめる。
第５回 【授業テーマ】 スポーツ施設の建設、運営および事業展開
【内容・方法 等】 スポーツ施設の建設と運営
【事前・事後学習課題】 配布資料の理解。
第６回 【授業テーマ】 全体戦略の設定
【内容・方法 等】 ミッション・ヴィジョン・ドメイン
【事前・事後学習課題】 関連資料に目を通す。
第７回 【授業テーマ】 スポーツとマネジメント（1）
【内容・方法 等】 人事マネジメント、GMの役割
【事前・事後学習課題】 これまでの講義を体系的にまとめ、理解する。
第８回 【授業テーマ】 スポーツとマネジメント（2）
【内容・方法 等】 リスクマネジメント
【事前・事後学習課題】 リスクとマネジメントという意味について整理。
第９回 【授業テーマ】 スポーツとマネジメント（3）、これまでの講義のまとめ
【内容・方法 等】 顧客管理、および習熟度確認のための試験
【事前・事後学習課題】 これまでの講義を体系的にまとめ、理解する。
第10回 【授業テーマ】 スポーツ事業の展開（1）
【内容・方法 等】 スポーツ事業の計画・運営・評価（総論、スポーツ教室の実施・運営）
【事前・事後学習課題】 関連資料に目を通す。
第11回 【授業テーマ】 スポーツ事業の展開（2）
【内容・方法 等】 スポーツマーケティング
【事前・事後学習課題】 配布資料を理解する。
第12回 【授業テーマ】 スポーツ事業の展開（3）
【内容・方法 等】 必要な法務の知識、必要な財務・経理・会計・税務の知識
【事前・事後学習課題】 前2回の講義を関連づけてまとめる。
第13回 【授業テーマ】 スポーツ組織の機能・役割とその運営（1）
【内容・方法 等】 スポーツ組織の機能・役割
【事前・事後学習課題】 配布資料に目を通すこと。
第14回 【授業テーマ】 スポーツ組織の機能・役割とその運営（2）
【内容・方法 等】 スポーツ組織の運営
【事前・事後学習課題】 前回の講義と関連づける。
第15回 【授業テーマ】 講義のまとめ
【内容・方法 等】 講義の総括と習熟度の確認のための臨時試験の実施
【事前・事後学習課題】 講義全体の体系化とその理解。

評価方法（基準）
授業への参加姿勢、および試験の成績とを総合的に評価する。

教材等
教科書…参考書欄を参照
参考書…広瀬一郎　『スポーツマネジメント入門』東洋経済新聞社
公認スポーツ指導者養成テキスト

学生へのメッセージ
意欲を持って参加してください。

関連科目
スポーツと法律等

担当者の研究室等
11号館10階　石井准教授室

備考
開講日：2015年1月20日（火）、1月21日（水）、1月22日（木）【5コマ×3日間】

スポーツの歴史
History of Sports

近　藤　　潤（コンドウ　ジュン）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
スポーツは実践することと観戦することの両方が楽しめる。スポーツの文化としての奥深さはその起源、ルールの変遷、そして名プレーヤーなどについてを学ぶことでさらに深まる。特にルールの変遷は、テレビなどのマスコミに左右される時代である。ルールの変遷に伴い技術・戦術なども大きく変わってきた。本講義では、その歴史を学ぶことによって教養を高め、よりスポーツを楽しめるような基礎知識を身につける。

授業方法と留意点
授業は講義形式で行う。またテーマに応じてグループ発表も行う。

科目学習の効果（資格）
講義は聞くだけでなく、自分の問題として捕らえ、自分に置き換えて考えることが重要である。教科書は特に使用しないが、新聞など関連記事には目を通したほうが良い。また、インターネットによる情報収集も新鮮な情報が得られる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 オリンピックの歴史（1）
【内容・方法 等】 古代オリンピック
【事前・事後学習課題】 インターネットでオリンピックについて調べる
第２回 【授業テーマ】 オリンピックの歴史（2）
【内容・方法 等】 創世期（近代）～東京オリンピック
【事前・事後学習課題】 インターネットでオリンピックについて調べる
第３回 【授業テーマ】 オリンピックの歴史（3）
【内容・方法 等】 東京オリンピック～北京オリンピック
【事前・事後学習課題】 インターネットでオリンピックについて調べる
第４回 【授業テーマ】 オリンピックの歴史（4）
【内容・方法 等】 オリンピックの将来
【事前・事後学習課題】 インターネットでオリンピックについて調べる
第５回 【授業テーマ】 ルールの起源（1）
【内容・方法 等】 サッカー
【事前・事後学習課題】 ルールについてまとめる
第６回 【授業テーマ】 ルールの起源（2）

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　100　2014/10/14　17:50:45

【内容・方法　等】 その他のスポーツ
【事前・事後学習課題】 ルールについてまとめる
第７回 【授業テーマ】 ルールの起源（３）
【内容・方法　等】 ルールの変遷
【事前・事後学習課題】 ルールについてまとめる
第８回 【授業テーマ】 プレーヤーの歴史（１）
【内容・方法　等】 日本人
【事前・事後学習課題】 授業で取りあげた人物についてまとめる→レポート作成
第９回 【授業テーマ】 プレーヤーの歴史（２）
【内容・方法　等】 日本人以外
【事前・事後学習課題】 授業で取りあげた人物についてまとめる→レポート作成
第10回 【授業テーマ】 プレゼンテーション（１）
【内容・方法　等】 ５人ずつプレゼン
【事前・事後学習課題】 授業で取りあげた人物についてまとめる→レポート作成
第11回 【授業テーマ】 プレゼンテーション（２）
【内容・方法　等】 ５人ずつプレゼン
【事前・事後学習課題】 授業で取りあげた人物についてまとめる→レポート作成
第12回 【授業テーマ】 プレゼンテーション（３）
【内容・方法　等】 ５人ずつプレゼン
【事前・事後学習課題】 授業で取りあげた人物についてまとめる→レポート作成
第13回 【授業テーマ】 プレゼンテーション（４）
【内容・方法　等】 ５人ずつプレゼン
【事前・事後学習課題】 授業で取りあげた人物についてまとめる→レポート作成
第14回 【授業テーマ】 プレゼンテーション（５）
【内容・方法　等】 ５人ずつプレゼン
【事前・事後学習課題】 授業で取りあげた人物についてまとめる→レポート作成
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 ――――――
【事前・事後学習課題】 レポート編集

評価方法（基準）
小テスト、プレゼン、平常点を加味する。

教材等
教科書…使用しない
参考書…使用しない

学生へのメッセージ
学生諸君はこちらが与える教材だけでなくさまざまな資料を集め、より深い内容にしてください。

関連科目
スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ　健康論

担当者の研究室等
総合体育館　近藤研究室

スポーツ教育学
Sports Education

近　藤　　潤（コンドウ　ジュン）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
スポーツはさまざまな教育効果をもたらすが、その反面、体罰の問題など社会問題も多数発生している。またスポーツプレーヤーの言動が新聞に大きく取り上げられられることも多い。本講義では、スポーツの与える功罪について考え、スポーツ人として必要な基礎知識を学習する。

授業方法と留意点
授業は講義形式で行う。またテーマに応じてグループ発表も行う。

科目学習の効果（資格）
スポーツの社会における功罪を知り、社会人としての基礎知識を習得できる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 基礎教育（1）
【内容・方法　等】 礼
【事前・事後学習課題】 新聞の社会欄などを読む
第２回 【授業テーマ】 基礎教育（2）
【内容・方法　等】 道徳心
【事前・事後学習課題】 新聞の社会欄などを読む
第３回 【授業テーマ】 基礎教育（3）
【内容・方法　等】 自己アピール
【事前・事後学習課題】 自己照会文作成
第４回 【授業テーマ】 スポーツの功罪（１）
【内容・方法　等】 大学スポーツについて考える
【事前・事後学習課題】 配布プリントの読み返し
第５回 【授業テーマ】 スポーツの功罪（2）
【内容・方法　等】 企業スポーツについて考える
【事前・事後学習課題】 配布プリントの読み返し
第６回 【授業テーマ】 スポーツの功罪（3）
【内容・方法　等】 障害者スポーツについて考える
【事前・事後学習課題】 配布プリントの読み返し
第７回 【授業テーマ】 スポーツの功罪（４）
【内容・方法　等】 スポーツ特待生について考える
【事前・事後学習課題】 配布プリントの読み返し
第８回 【授業テーマ】 スポーツの功罪（５）
【内容・方法　等】 スポーツ障害
【事前・事後学習課題】 配布プリントの読み返し
第９回 【授業テーマ】 スポーツの功罪（６）
【内容・方法　等】 ドーピング
【事前・事後学習課題】 配布プリントの読み返し
第10回 【授業テーマ】 生涯スポーツ（１）
【内容・方法　等】 ニュースポーツ
【事前・事後学習課題】 事前にニュースについて調べておく
第11回 【授業テーマ】 生涯スポーツ（２）
【内容・方法　等】 ニュースポーツ
【事前・事後学習課題】 事前にニュースについて調べておく
第12回 【授業テーマ】 スポーツマネージメント（１）
【内容・方法　等】 スポーツ大会の企画、運営
【事前・事後学習課題】 企画書作成
第13回 【授業テーマ】 スポーツマネージメント（２）
【内容・方法　等】 運営
【事前・事後学習課題】 企画書作成
第14回 【授業テーマ】 スポーツマネージメント（３）
【内容・方法　等】 運営
【事前・事後学習課題】 企画書作成
第15回 【授業テーマ】 スポーツマネージメント（４）
【内容・方法　等】 運営
【事前・事後学習課題】 企画書作成

評価方法（基準）
小テスト、プレゼン、平常点を加味する。

教材等
教科書…使用しない
参考書…使用しない

学生へのメッセージ
学生諸君はこちらが与える教材だけでなくさまざまな資料を集め、より深い内容にしてください。

関連科目
スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ　健康論

担当者の研究室等
総合体育館　近藤研究室

スポーツ社会学
Sports Sociology

石　井　信　輝（イシイ　ノブキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
社会とスポーツとのかかわりを社会学的な観点から究明する学問であるスポーツ社会学を体系的に理解することによって、スポーツの社会的な諸相を的確に捉え、理論的に理解する能力を養う。

授業方法と留意点
講義形式で展開するが、学生との双方向の講義となるよう積極的にコミュニケーションを図っていくつもりである。

科目学習の効果（資格）
スポーツに関する社会学的な知識を身につけることが可能。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法　等】 ガイダンス、スポーツ社会学とは
【事前・事後学習課題】 スポーツ社会学という概念の整理。
第２回 【授業テーマ】 現代社会とスポーツ
【内容・方法　等】 現代社会におけるスポーツの意義
【事前・事後学習課題】 関連資料に目を通すこと。
第３回 【授業テーマ】 スポーツ人口の構造（１）
【内容・方法　等】 スポーツ人口構造の類型化
【事前・事後学習課題】 配布資料の理解。
第４回 【授業テーマ】 スポーツ人口の構造（２）
【内容・方法　等】 年齢別、性別スポーツ参加状況
【事前・事後学習課題】 前回の講義と関連づけて今回の講義を整理する。
第５回 【授業テーマ】 少子・高齢化とスポーツ（１）
【内容・方法　等】 少子化とスポーツ
【事前・事後学習課題】 配布資料の理解。

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　101　2014/10/14　17:50:45

第６回　【授業テーマ】　少子・高齢化とスポーツ（２）
【内容・方法　等】　高齢化とスポーツ
【事前・事後学習課題】　少子・高齢化とスポーツとの関係についてまとめる。
第７回　【授業テーマ】　女性とスポーツ
【内容・方法　等】　女性のスポーツ参加
【事前・事後学習課題】　関連資料に目を通すこと。
第８回　【授業テーマ】　日本と外国のスポーツ事情、これまでの講義のまとめ
【内容・方法　等】　日本と諸外国のスポーツ参加、および習熟度を確認するための試験の実施
【事前・事後学習課題】　これまでの講義を体系的に整理・理解する。
第９回　【授業テーマ】　スポーツの社会的基盤（１）
【内容・方法　等】　学校・地域のスポーツクラブ
【事前・事後学習課題】　関連資料に目を通すこと。
第10回　【授業テーマ】　スポーツの社会的基盤（２）
【内容・方法　等】　企業および民間クラブ
【事前・事後学習課題】　前回の講義と今回の講義とを関連づけて整理する。
第11回　【授業テーマ】　スポーツと社会化（１）
【内容・方法　等】　スポーツによる社会化
【事前・事後学習課題】　配布資料の理解。
第12回　【授業テーマ】　スポーツと社会化（２）
【内容・方法　等】　スポーツへの社会化
【事前・事後学習課題】　前回の講義と今回の講義とを関連づけて整理する。
第13回　【授業テーマ】　商業主義とスポーツ
【内容・方法　等】　商業主義のスポーツへの影響
【事前・事後学習課題】　関連資料に目を通すこと。
第14回　【授業テーマ】　スポーツとマスメディア
【内容・方法　等】　マスメディアのスポーツへの影響
【事前・事後学習課題】　マスメディアという言葉の意味を検索。
第15回　【授業テーマ】　講義のまとめ
【内容・方法　等】　講義の総括と到達度の確認のための臨時試験の実施
【事前・事後学習課題】　これまでの講義を体系立てて整理し理解する。

評価方法（基準）
授業への参加姿勢、および試験の成績を総合的に評価する。

教材等
教科書…特に指定しない
参考書…池田勝・守能信治　『スポーツの社会学』　杏林書院

学生へのメッセージ
意欲的に取り組んでほしい。

関連科目
地域とスポーツ等

担当者の研究室等
11号館10階　石井准教授室

備考
- - - - -

スポーツビジネス
Sports Bussiness

樫　原　義比古（カシハラ　ヨシヒコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
現在、スポーツはビジネスと深くかかわっている。この授業では、各種契約、命名権ビジネス、肖像権、パブリシティ権等、スポーツビジネスの中でも主として法との関わり合いの深い問題を取り扱う。授業の中では、近時問題となっているスポーツビジネスと法が絡む論争的テーマを織り込み、問題の背景、状況などの分析を通じて、その対応や問題解決の在り方を検討する。

授業方法と留意点
教科書、資料などを用いて検討する。参考図書や関係資料を指定するので、各自で問題点を整理するなどして、予習しておくこと。

科目学習の効果（資格）
スポーツ・インストラクター、スポーツ・エージェントなど

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　スポーツビジネスとは
【内容・方法　等】　スポーツ産業の発達、スポーツ用品産業、スポーツサービス、情報産業、スポーツ施設
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ１４０－１４２
第２回　【授業テーマ】　スポーツビジネスと契約
【内容・方法　等】　契約、契約の種類、会社、事業者
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ１４２－１４４
第３回　【授業テーマ】　自由競争と公正な取引
【内容・方法　等】　独占禁止法、自由、公正な競争
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ１４５－１４７
第４回　【授業テーマ】　権利保護（１）
【内容・方法　等】　権利保護の必要性、知的財産権の保護
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ１４７－１４８
第５回　【授業テーマ】　権利保護（２）
【内容・方法　等】　特許法上の保護
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ１４９－１５０
第６回　【授業テーマ】　権利保護（３）
【内容・方法　等】　著作権法上の保護
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ１５０－１５１
第７回　【授業テーマ】　権利保護（４）
【内容・方法　等】　商標法上の保護
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ１５１－１５２
第８回　【授業テーマ】　権利保護（５）
【内容・方法　等】　不正競争防止法
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ１５２－１５３
第９回　【授業テーマ】　肖像権とビジネス（１）
【内容・方法　等】　肖像権とプライバシー権
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ１５３－１５５
第10回　【授業テーマ】　肖像権とビジネス（２）
【内容・方法　等】　肖像権とパブリシティ権
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ１６６－１７１
第11回　【授業テーマ】　スポーツ・エージェント（１）
【内容・方法　等】　代理人問題
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ２０２－２０６
第12回　【授業テーマ】　スポーツ・エージェント（２）
【内容・方法　等】　命名権ビジネス
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ１５８－１６０
第13回　【授業テーマ】　スポーツビジネスのあり方
【内容・方法　等】　企業スポーツの方向性
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ２２４－２３７
第14回　【授業テーマ】　まとめ（１）
【内容・方法　等】　総括と残された諸問題
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ２３８－３２１
第15回　【授業テーマ】　まとめ（２）
【内容・方法　等】　以上の総括
【事前・事後学習課題】　課題レポートの提出

評価方法（基準）
授業態度、レポート、ディベートなどをもとに総合的に評価する。

教材等
教科書…小笠原正　監修「導入対話によるスポーツ法学」（第２版）（不磨書房・新山社）
参考書…スポーツ六法

学生へのメッセージ
スポーツは、自由な人格形成、健康で文化的な生活、余暇のため、重要な役割を演じるものである。

関連科目
経済学、経営学、憲法、民法、商法、労働法など。

担当者の研究室等
11号館10階　樫原教授室

フィットネストレーニングの理論と実際
Theory and Practice of Fitness Training

堀　　美　幸（ホリ　ミユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
現代社会において、運動は生活の一部であり、正しい運動習慣は健康で質の高い生活を送るためには欠かせないものである。フィットネストレーニングの理論と実際では、正しいフィットネストレーニングの知識と正しくそれを実践出来る身体能力を獲得し、より良い運動習慣を身に着けることで質の高い生活を目指すものとする。

授業方法と留意点
講義形式のトレーニング理論の習得と屋内・外でのフィットネストレーニングの実習を主な授業内容とする。
そのため運動に適した服装とシューズを着用すること。

科目学習の効果（資格）
公認スポーツ指導者資格取得対応科目

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　オリエンテーション
【内容・方法　等】　授業主旨と進行、フィットネストレーニングとは
【事前・事後学習課題】　テキスト ｐ．３－５
第２回　【授業テーマ】　全身持久力（１）
【内容・方法　等】　全身持久力とは

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　102　2014/10/14　17:50:45

【事前・事後学習課題】 テキスト　p．９－１４
第３回 【授業テーマ】 全身持久力（２）
【内容・方法　等】 全身持久力トレーニングの実践
【事前・事後学習課題】 実践トレーニングの確認
第４回 【授業テーマ】 身体組成
【内容・方法　等】 筋・腱・靭帯・骨・神経・その他の身体組成について
【事前・事後学習課題】 配布プリントの確認
第５回 【授業テーマ】 筋力と筋持久力（１）
【内容・方法　等】 筋力・筋持久力とは
【事前・事後学習課題】 テキスト　p．１４－２０
第６回 【授業テーマ】 筋力と筋持久力（２）
【内容・方法　等】 筋力トレーニングと筋持久力トレーニングの実践
【事前・事後学習課題】 実践トレーニングの確認
第７回 【授業テーマ】 柔軟性（１）
【内容・方法　等】 柔軟運動について
【事前・事後学習課題】 テキスト　p．２１－２２
第８回 【授業テーマ】 柔軟性（２）
【内容・方法　等】 柔軟運動の実践
【事前・事後学習課題】 実践トレーニングの確認
第９回 【授業テーマ】 調整力（１）
【内容・方法　等】 調整力とは
【事前・事後学習課題】 テキスト　p．２３－２５
第10回 【授業テーマ】 調整力（２）
【内容・方法　等】 調整力トレーニングの実践
【事前・事後学習課題】 実践トレーニングの確認
第11回 【授業テーマ】 マシーントレーニング（１）
【内容・方法　等】 マシーンの特性（１）
【事前・事後学習課題】 テキスト　p．２６－２９
第12回 【授業テーマ】 マシーントレーニング（２）
【内容・方法　等】 マシーンの特性（２）
【事前・事後学習課題】 テキスト　p．２９－３２
第13回 【授業テーマ】 マシーントレーニング（３）
【内容・方法　等】 マシーントレーニング実習（１）
【事前・事後学習課題】 実践トレーニングの確認
第14回 【授業テーマ】 マシーントレーニング（４）
【内容・方法　等】 マシーントレーニング実習（２）
【事前・事後学習課題】 実践トレーニングの確認
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 講義内容の総括を行う
【事前・事後学習課題】 課題提出

評価方法（基準）
単位取得条件は、技能および平常態度、知的理解度などを総合して判断する。

教材等
教科書…公認スポーツプログラマー専門科目テキスト　5000円（税込み）
参考書…なし

学生へのメッセージ
正しい理論と方法を身に着けることで、トレーニング効果はよりよいものとなります。しっかりと基礎を身につけられるよう実践していきましょう。

関連科目
ヘルスエクササイズの理論と実際
スポーツプログラミング
体力測定とスポーツ相談

担当者の研究室等
11号館5階　法学部資料室（法学部非常勤講師室）

スポーツ心理学
Sports Psychology

石　井　信　輝（イシイ　ノブキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
スポーツ活動の基礎となる運動や人についての心理学的理解を深める。

授業方法と留意点
講義形式とするが、学生と教員との双方向型の講義にすることに留意。

科目学習の効果（資格）
スポーツ活動だけではなく、日常生活にも応用できる心理学的な知見の獲得。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 スポーツ心理学の意義
【内容・方法　等】 スポーツ心理学の意義と学問体系を理解する。
【事前・事後学習課題】 スポーツ心理学という学問領域について整理する。
第２回 【授業テーマ】 スポーツ心理学の研究法
【内容・方法　等】 実験、調査法、観察
【事前・事後学習課題】 配布資料に目を通す。
第３回 【授業テーマ】 スポーツと知覚
【内容・方法　等】 スポーツと視覚、スポーツヴィジョン
【事前・事後学習課題】 関連資料に目を通す。
第４回 【授業テーマ】 スポーツ指導と動機付け
【内容・方法　等】 動機付けの意味と、その方法論
【事前・事後学習課題】 動機付けの方法を抜粋し整理する。
第５回 【授業テーマ】 パフォーマンス修得の意味とその段階
【内容・方法　等】 パフォーマンス曲線、プラトウとスランプ
【事前・事後学習課題】 スランプとプラトウの違いを整理する。
第６回 【授業テーマ】 リーダーシップとスポーツ（１）
【内容・方法　等】 リーダーシップの概念
【事前・事後学習課題】 関連資料に目を通す。
第７回 【授業テーマ】 リーダーシップとスポーツ（２）
【内容・方法　等】 リーダーシップの形式
【事前・事後学習課題】 配布資料の理解。
第８回 【授業テーマ】 リーダーシップとスポーツ（３）、これまでの講義のまとめ
【内容・方法　等】 リーダーの役割とPM理論、および到達度確認のための試験
【事前・事後学習課題】 これまでの講義の整理とその理解。
第９回 【授業テーマ】 フィードバック
【内容・方法　等】 フィードバックの種類と効果
【事前・事後学習課題】 フィードバックという概念の検索。
第10回 【授業テーマ】 メンタルプラクティス
【内容・方法　等】 メンタルプラクティスの効果と実践方法
【事前・事後学習課題】 関連資料に目を通す。
第11回 【授業テーマ】 スポーツとパーソナリティー
【内容・方法　等】 スポーツとパーソナリティーの関係
【事前・事後学習課題】 パーソナリティーという言葉の検索。
第12回 【授業テーマ】 スポーツの経験と態度変容
【内容・方法　等】 態度の概念、態度変容理論、スポーツ経験と態度変容
【事前・事後学習課題】 配布資料の理解。
第13回 【授業テーマ】 心理的技能とパフォーマンス（１）
【内容・方法　等】 心理的技能がパフォーマンスに与える影響
【事前・事後学習課題】 関連資料に目を通す。
第14回 【授業テーマ】 心理的技能とパフォーマンス（２）
【内容・方法　等】 心理的技能とパフォーマンスとの関係
【事前・事後学習課題】 前回と講義と今回とを関連づけて整理する。
第15回 【授業テーマ】 講義のまとめ
【内容・方法　等】 講義の総括と到達度の確認のための臨時試験の実施
【事前・事後学習課題】 これまでの講義を体系づけて整理する。

評価方法（基準）
授業へ取り組む姿勢、および試験の結果を総合的に評価する。

教材等
教科書…特に指定しない
参考書…松田岩男・杉原隆　『運動心理学入門』　大修館書店

学生へのメッセージ
意欲的取り組んでください。

関連科目
特になし

担当者の研究室等
11号館10階　石井准教授室

備考
- - - - -

ヘルスエクササイズの理論と実際
Theory and Practice of Health Exercise

那　須　大　毅（ナス　ダイキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
健康と運動との関わりについて、運動対象者に合わせたエクササイズの理論を確認し実践を通して学ぶ。ウオーミングアップの意義や効果を含め、エアロビック運動を中心に行い、スポーツ指導の実際に活かす。また、レクリエーション・スポーツについても実践し楽しさを実感する。

授業方法と留意点
実技を中心に行うが、実践を通して理論について確認する。

科目学習の効果（資格）
公認スポーツ指導者資格取得対応科目

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　103　2014/10/14　17:50:46

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** 体操・ストレッチング①
【内容・方法　等】 動的・静的ストレッチング
【事前・事後学習課題】 理論は勿論のこと、実技指導の中で学んだことについても、常にノートにまとめておくこと。

第２回 **【授業テーマ】** 体操・ストレッチング②
【内容・方法　等】 スタビライゼーショントレーニング
【事前・事後学習課題】 理論は勿論のこと、実技指導の中で学んだことについても、常にノートにまとめておくこと。

第３回 **【授業テーマ】** ウオーキング・ジョギング①
【内容・方法　等】 効率の良い歩き方・走り方
【事前・事後学習課題】 理論は勿論のこと、実技指導の中で学んだことについても、常にノートにまとめておくこと。

第４回 **【授業テーマ】** ウオーキング・ジョギング②
【内容・方法　等】 持久走
【事前・事後学習課題】 理論は勿論のこと、実技指導の中で学んだことについても、常にノートにまとめておくこと。

第５回 **【授業テーマ】** 水泳・水中運動①
【内容・方法　等】 ウオーキングエクササイズ
【事前・事後学習課題】 理論は勿論のこと、実技指導の中で学んだことについても、常にノートにまとめておくこと。

第６回 **【授業テーマ】** 水泳・水中運動②
【内容・方法　等】 ウオーターエクササイズ
【事前・事後学習課題】 理論は勿論のこと、実技指導の中で学んだことについても、常にノートにまとめておくこと。

第７回 **【授業テーマ】** エアロビックダンス①
【内容・方法　等】 筋コンディショニング、バランストレーニング
【事前・事後学習課題】 理論は勿論のこと、実技指導の中で学んだことについても、常にノートにまとめておくこと。

第８回 **【授業テーマ】** エアロビックダンス②
【内容・方法　等】 サーキットトレーニング
【事前・事後学習課題】 理論は勿論のこと、実技指導の中で学んだことについても、常にノートにまとめておくこと。

第９回 **【授業テーマ】** 軽スポーツ①
【内容・方法　等】 フライングディスク
【事前・事後学習課題】 理論は勿論のこと、実技指導の中で学んだことについても、常にノートにまとめておくこと。

第10回 **【授業テーマ】** 軽スポーツ②
【内容・方法　等】 ディスクゴルフ
【事前・事後学習課題】 理論は勿論のこと、実技指導の中で学んだことについても、常にノートにまとめておくこと。

第11回 **【授業テーマ】** 軽スポーツ③
【内容・方法　等】 なわとび、ダブルダッチ
【事前・事後学習課題】 理論は勿論のこと、実技指導の中で学んだことについても、常にノートにまとめておくこと。

第12回 **【授業テーマ】** 運動ゲーム①
【内容・方法　等】 ボール遊び
【事前・事後学習課題】 理論は勿論のこと、実技指導の中で学んだことについても、常にノートにまとめておくこと。

第13回 **【授業テーマ】** 運動ゲーム②
【内容・方法　等】 ドッチボール
【事前・事後学習課題】 理論は勿論のこと、実技指導の中で学んだことについても、常にノートにまとめておくこと。

第14回 **【授業テーマ】** 運動ゲーム③
【内容・方法　等】 キックベースボール
【事前・事後学習課題】 理論は勿論のこと、実技指導の中で学んだことについても、常にノートにまとめておくこと。

第15回 **【授業テーマ】** 運動ゲーム④
【内容・方法　等】 サッカー
【事前・事後学習課題】 理論は勿論のこと、実技指導の中で学んだことについても、常にノートにまとめておくこと。

評価方法（基準）
受講態度点（50%）、技能点（20%）、レポート点（30%）の総合評価。

教材等
教科書…「公認スポーツプログラマー専門科目テキスト」日本体育施設協会（5000円）
参考書…特になし。

学生へのメッセージ
運動する楽しさを実感し，また他人に伝える方法を学ぼう．

関連科目
スポーツトレーニングの基礎、発育発達論

担当者の研究室等
11号館5階　法学部資料室（法学部非常勤講師室）

スポーツプログラミング
Sports Programming

岡　本　香代子（オカモト　カヨコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
健康な身体であるためには、体力を維持・増進させることが大切であり、運動・スポーツを行うことは身体の生理的機能を向上させるのに役立つ。授業では、運動・スポーツとトレーニング効果を理解し、対象者に合わせた運動処方の理論と実際について学ぶ。つまり、対象者に合わせたスポーツプログラムの作成と実践指導ができることを目標とする。

授業方法と留意点
テキストやプリントを用いた講義と、対象者に合わせたプログラムを実践する。

科目学習の効果（資格）
公認スポーツ指導者資格取得対応科目

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** フィットネスプログラムの基本的方法
【内容・方法　等】 スポーツプログラミング概論、運動処方概論
【事前・事後学習課題】 授業ノートをまとめ、ミニレポート課題を確認すること。

第２回 **【授業テーマ】** 子どものフィットネスプログラム①
【内容・方法　等】 子どもを対象とした運動処方論（生活・遊び）
【事前・事後学習課題】 授業ノートをまとめ、ミニレポート課題を確認すること。

第３回 **【授業テーマ】** 子どものフィットネスプログラム②
【内容・方法　等】 子どもを対象とした運動処方論（体力・スポーツ）
【事前・事後学習課題】 授業ノートをまとめ、ミニレポート課題を確認すること。

第４回 **【授業テーマ】** 子どものフィットネスプログラム③
【内容・方法　等】 子どもを対象とした運動処方の理論と実際
【事前・事後学習課題】 授業ノートをまとめ、ミニレポート課題を確認すること。

第５回 **【授業テーマ】** 子どものフィットネスプログラム④
【内容・方法　等】 子どもを対象とした運動処方の理論と実際
【事前・事後学習課題】 授業ノートをまとめ、ミニレポート課題を確認すること。

第６回 **【授業テーマ】** 壮年（中年）のフィットネスプログラム①
【内容・方法　等】 壮年（中年）を対象とした運動処方論
【事前・事後学習課題】 授業ノートをまとめ、ミニレポート課題を確認すること。

第７回 **【授業テーマ】** 壮年（中年）のフィットネスプログラム②
【内容・方法　等】 壮年（中年）を対象とした運動処方の理論と実際
【事前・事後学習課題】 授業ノートをまとめ、ミニレポート課題を確認すること。

第８回 **【授業テーマ】** 高齢者のフィットネスプログラム①
【内容・方法　等】 高齢者を対象とした運動処方論
【事前・事後学習課題】 授業ノートをまとめ、ミニレポート課題を確認すること。

第９回 **【授業テーマ】** 高齢者のフィットネスプログラム②
【内容・方法　等】 高齢者を対象とした運動処方の理論と実際
【事前・事後学習課題】 授業ノートをまとめ、ミニレポート課題を確認すること。

第10回 **【授業テーマ】** 女性のフィットネスプログラム①
【内容・方法　等】 女性を対象とした運動処方論
【事前・事後学習課題】 授業ノートをまとめ、ミニレポート課題を確認すること。

第11回 **【授業テーマ】** 女性のフィットネスプログラム②
【内容・方法　等】 女性を対象とした運動処方の理論と実際
【事前・事後学習課題】 授業ノートをまとめ、ミニレポート課題を確認すること。

第12回 **【授業テーマ】** 女性のフィットネスプログラム③
【内容・方法　等】 女性を対象とした運動処方の理論と実際
【事前・事後学習課題】 授業ノートをまとめ、ミニレポート課題を確認すること。

第13回 **【授業テーマ】** 障害者のフィットネスプログラム①
【内容・方法　等】 障害者を対象とした運動処方論（運動の意義）
【事前・事後学習課題】 授業ノートをまとめ、ミニレポート課題を確認すること。

第14回 **【授業テーマ】** 障害者のフィットネスプログラム②
【内容・方法　等】 障害者を対象とした運動処方論（運動実施上の配慮・プログラムの特色）
【事前・事後学習課題】 授業ノートをまとめ、ミニレポート課題を確認すること。

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　104　2014/10/14　17:50:46

第15回 【授業テーマ】 障害者のフィットネスプログラム③
【内容・方法 等】 障害者を対象とした運動処方の理論と実際
【事前・事後学習課題】 授業ノートをまとめ、ミニレポート課題を確認すること。

評価方法（基準）
受講態度点（50%）、技能点（20%）、レポート点（30%）の総合評価。

教材等
教科書…「公認スポーツプログラマー専門科目テキスト」日本体育施設協会（5000円）
参考書…特になし。

学生へのメッセージ
対象者に応じた運動・スポーツ指導について学び、実践に活かそう。

関連科目
発育発達論、ヘルスエクササイズの理論と実践

担当者の研究室等
11号館5階　法学部資料室（法学部非常勤講師室）

スポーツ医学の理論と実際
Theory and Practice of Sports Medicine

渡　辺　一　志（ワタナベ　ヒトシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期非終講	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
スポーツに伴う健康への関わりと身体の変化とスポーツ傷害における対策について述べ、健康の維持増進、さらには、明るく活動的な生活の実現を目指し、スポーツの適切な指導・助言を行えるようにする。

授業方法と留意点
講義および実験演習形式で授業を進める。なお、DVDやVTRなどを用いた視覚教材を活用する。

科目学習の効果（資格）
スポーツ医学の基礎的知識をもとに、AEDを含む心肺蘇生法，熱中症およびRICE処置の理解と実践について学ぶ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 スポーツ医学1
【内容・方法 等】 身体管理とコンディショニングの支援
【事前・事後学習課題】 テキストP.3-8
第２回 【授業テーマ】 スポーツ医学2
【内容・方法 等】 安全と有効なスポーツ指導
【事前・事後学習課題】 資料
第３回 【授業テーマ】 スポーツ医学3
【内容・方法 等】 リハビリテーションや、治療法としてのスポーツの活用
【事前・事後学習課題】 テキストP.157-164
第４回 【授業テーマ】 健康管理1
【内容・方法 等】 レクリエーションスポーツと競技選手のメディカルチェック
【事前・事後学習課題】 資料
第５回 【授業テーマ】 健康管理2
【内容・方法 等】 食生活、睡眠、完全休養
【事前・事後学習課題】 テキストP.79-88
第６回 【授業テーマ】 健康管理3
【内容・方法 等】 発育発達期の身体的特徴
【事前・事後学習課題】 テキストP.130-136
第７回 【授業テーマ】 安全管理1
【内容・方法 等】 スポーツにおける安全確保の知識（ウォーミングアップ、クーリングダウン）
【事前・事後学習課題】 テキストP.89-102
第８回 【授業テーマ】 安全管理2
【内容・方法 等】 内因性疾患における対策
【事前・事後学習課題】 資料
第９回 【授業テーマ】 安全管理（救急処置）1
【内容・方法 等】 運動と貧血
【事前・事後学習課題】 資料
第10回 【授業テーマ】 安全管理（救急処置）2
【内容・方法 等】 RICE処置
【事前・事後学習課題】 資料
第11回 【授業テーマ】 安全管理（救命処置）1
【内容・方法 等】 熱中症の病型と発生機序
【事前・事後学習課題】 資料
第12回 【授業テーマ】 安全管理（救命処置）2
【内容・方法 等】 熱中症に対する予防と対処法
【事前・事後学習課題】 資料
第13回 【授業テーマ】 安全管理（救命処置）3
【内容・方法 等】 呼吸循環系の基礎と運動適応
【事前・事後学習課題】 資料
第14回 【授業テーマ】 安全管理（救命救急）4
【内容・方法 等】 AEDを用いた心肺蘇生法の実際
【事前・事後学習課題】 資料
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 授業全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 ――――

評価方法（基準）
出席、筆記試験、小テスト、レポート等総合的に評価する。

教材等
教科書…公認スポーツプログラマー専門科目テキスト
参考書…運動生理学概論、大修館書店
運動生理学の基礎と発展

学生へのメッセージ
参加型、双方向性の授業を心がけています。積極的に参加し、身体運動の科学的理解を深めて下さい。

関連科目
スポーツ医学の基礎

担当者の研究室等
11号館5館　法学部資料室〈法学部非常勤講師室〉

体力測定とスポーツ相談
Physical Fitness Tset and Sports Counseling

堀　　美　幸（ホリ　ミユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
体力測定の方法と評価の原理を知り実習を行うことにより、個人の身体のサイズや身体的行動体力を把握できる能力を身につける。また、社会的・個人的に高まる健康スポーツに対する疑問や悩みに対して適切に対応できるようにする。

授業方法と留意点
講義と実習を混ぜた授業内容。実習に際し、運動に適した服装とシューズを着用すること。

科目学習の効果（資格）
公認スポーツ指導者資格取得対応科目

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業概要説明
【事前・事後学習課題】 テキスト　ｐ．１０３
第２回 【授業テーマ】 体力測定（１）
【内容・方法 等】 体組成について
【事前・事後学習課題】 テキスト　ｐ．１０３－１０４
第３回 【授業テーマ】 体力測定（２）
【内容・方法 等】 体組成の測定と評価
【事前・事後学習課題】 課題　測定結果の集計と評価
第４回 【授業テーマ】 体力測定（３）
【内容・方法 等】 体力測定の意義と方法
【事前・事後学習課題】 テキスト　ｐ．１０４－１０６
配布プリント
第５回 【授業テーマ】 体力測定（４）
【内容・方法 等】 体力測定の実践
【事前・事後学習課題】 課題　測定結果の評価
第６回 【授業テーマ】 体力測定（５）
【内容・方法 等】 測定結果の処理
【事前・事後学習課題】 テキスト　ｐ．１０７－１１２
第７回 【授業テーマ】 体力測定（６）
【内容・方法 等】 測定結果を基にした体力評価
【事前・事後学習課題】 テキスト　ｐ．１１３－１１９
第８回 【授業テーマ】 スポーツ相談（１）
【内容・方法 等】 スポーツ相談とは
【事前・事後学習課題】 テキスト　ｐ．１６５－１６６
第９回 【授業テーマ】 スポーツ相談（２）
【内容・方法 等】 スポーツ相談の意義について
【事前・事後学習課題】 テキスト　ｐ．１６７－１６９
第10回 【授業テーマ】 スポーツ相談（３）
【内容・方法 等】 スポーツ相談においての必要事項
【事前・事後学習課題】 テキスト　ｐ．１７０－１７１
第11回 【授業テーマ】 スポーツ相談（４）
【内容・方法 等】 スポーツ相談の企画と運営
【事前・事後学習課題】 テキスト　ｐ．１７１－１７２
第12回 【授業テーマ】 スポーツ相談（５）
【内容・方法 等】 スポーツ相談の実際
【事前・事後学習課題】 テキスト　ｐ．１７３－１８０
第13回 【授業テーマ】 スポーツ相談（６）
【内容・方法 等】 スポーツ相談の技術
【事前・事後学習課題】 課題　メンタルトレーニングの実施方法
第14回 【授業テーマ】 スポーツ相談（７）

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　105　2014/10/14　17:50:46

【内容・方法　等】　スポーツ相談の実習
【事前・事後学習課題】　テキスト　p．１８０－１８６
第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容・方法　等】　講義の総括を行う
【事前・事後学習課題】　課題　エゴグラムの評価

評価方法（基準）
単位取得は実習技能、課題提出、小テストおよび平常態度、知的理解度などを総合して判断する。

教材等
教科書…公認スポーツプログラマー専門科目テキスト5000円（税込み）
参考書…なし

学生へのメッセージ
個人でもグループでも指導できるよう実習を交えながら行います。いろいろな場面で応用できるよう学んでいきましょう。

関連科目
ヘルスエクササイズの理論と実際
フィットネストレーニングの理論と実際
スポーツプログラミング

担当者の研究室等
11号館5階　法学部資料室（法学部非常勤講師室）

スポーツ栄養学
Sports Nutrition

堀　　美　幸（ホリ　ミユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
健康の保持・増進、スポーツにおけるコンディショニングの土台となる栄養についての基礎的理解を目標とする。

授業方法と留意点
講義形式で行う。
適宜、課題や小テストを実施する。

科目学習の効果（資格）
基礎的な栄養からスポーツ栄養へと応用できる知識を学ぶ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　ガイダンス
【内容・方法　等】　スポーツ栄養学とは
食事バランスガイド
【事前・事後学習課題】　課題　１週間の食事日記
第２回　【授業テーマ】　エネルギー代謝（１）
【内容・方法　等】　スポーツにおける栄養の役割とエネルギー供給機講
【事前・事後学習課題】　エネルギー供給機構の確認
第３回　【授業テーマ】　エネルギー代謝（２）
【内容・方法　等】　エネルギー消費量と貯蔵エネルギー
【事前・事後学習課題】　課題　１日のエネルギー消費量
第４回　【授業テーマ】　５大栄養素（１）：糖質
【内容・方法　等】　糖質の役割と摂取方法
【事前・事後学習課題】　糖質の主な役割について確認
第５回　【授業テーマ】　５大栄養素（２）：脂質
【内容・方法　等】　脂質の役割と摂取方法
【事前・事後学習課題】　脂質の主な役割について確認
第６回　【授業テーマ】　５大栄養素（３）：タンパク質
【内容・方法　等】　タンパク質の役割と摂取方法
【事前・事後学習課題】　タンパク質の主な役割について確認
第７回　【授業テーマ】　５大栄養素（４）：ミネラル
【内容・方法　等】　鉄・カルシウムなどの役割と摂取方法
【事前・事後学習課題】　鉄・カルシウムの主な役割とスポーツ貧血について確認
第８回　【授業テーマ】　５大栄養素（５）：ビタミン
【内容・方法　等】　ビタミンの役割と摂取方法
【事前・事後学習課題】　ビタミンの主な役割と各ビタミンの働きについて確認
第９回　【授業テーマ】　水分補給
【内容・方法　等】　スポーツ時における水分補給の重要性と補給方法
【事前・事後学習課題】　水分補給の方法と熱中症について確認
第10回　【授業テーマ】　サプリメント
【内容・方法　等】　サプリメント（栄養補助食品）の利用方法
【事前・事後学習課題】　主なサプリメントの利用方法について確認
第11回　【授業テーマ】　スポーツ栄養の実際（１）
【内容・方法　等】　スポーツ栄養学に基づいた体重管理の方法
【事前・事後学習課題】　減量・増量について確認
第12回　【授業テーマ】　スポーツ栄養の実際（２）
【内容・方法　等】　スポーツ栄養学に基づいた試合前後の食事
【事前・事後学習課題】　食事内容とタイミングについて確認
第13回　【授業テーマ】　スポーツ栄養の実際（３）
【内容・方法　等】　スポーツ栄養学に基づいたトレーニング期の食事
【事前・事後学習課題】　目的別摂取方法の確認
第14回　【授業テーマ】　スポーツ栄養の実際（４）
【内容・方法　等】　スポーツ栄養学に基づいたケガ期の食事
【事前・事後学習課題】　傷害別摂取方法の確認
第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容・方法　等】　講義内容の総括を行う
【事前・事後学習課題】　課題提出

評価方法（基準）
小テスト、課題提出などで評価をするが、平常態度なども総合して判断する。

教材等
教科書…プリント配布
参考書…樋口 満 編著　新版　『コンディショニングのスポーツ栄養学』　市村出版

学生へのメッセージ
知識を実践に生かしてこそ栄養学は生きてきます。健康やパフォーマンスの向上に役立てられるよう学んで行きましょう。

関連科目
スポーツ医学の理論と実際

担当者の研究室等
11号館5階　法学部資料室（法学部非常勤講師室）

法政キャリア特別講義I
Special Classes for Law and Politics I

小　山　　昇（コヤマ　ノボル）
牛　丸　與志夫（ウシマル　ヨシオ）
木　村　秀　一（キムラ　ヒデカズ）
大　川　謙　蔵（オオカワ　ケンゾウ）
松　島　裕　一（マツシマ　ユウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
本講義は、将来のキャリア形成を視野に入れ、法学部生のキャリアとして身につけておかなければならないことを習得するために開設されている法政キャリア特別講義について、その全体像を解説します。２年次以降に開講される法政キャリア特別講義のうち、自分のキャリア形成にあったプログラムは何なのかを考え、正しい履修選択ができることをその目的としています。２年次からは、法科大学院進学・国家公務員大学卒一般職・地方上級職（Ｌクラス）、警察官・消防士・一般市役所職員（Ｏクラス）、そして一般企業への就職（Ｋクラス）と、それぞれに応じたプログラムが開講されるので、この講義でその全容を捉えてほしい。

授業方法と留意点
複数の担当者が講義形式で行うのを原則とし、公務員試験や就職試験問題を体験することも合わせて行います。自らのキャリアデザインを確実にするためにも、すべての授業に出ること、１５回の授業すべてが重要な評価対象です。なお、課題レポートは最後の時間に提示するので要注意！

科目学習の効果（資格）
法科大学院試験（法学既修者・未修者）、国家・地方公務員試験、ＳＰＩ試験、法律関係の資格試験などの受験の基礎を知ることができます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　ガイダンス
【内容・方法　等】　法政キャリア特別講義（1年次から4年次）の全体についての概要
【事前・事後学習課題】　授業で知ったことの整理と再確認
第２回　【授業テーマ】　一般地方公務員プログラム案内①
【内容・方法　等】　警察官、消防士をはじめ一般市町村公務員試験についての概説
【事前・事後学習課題】　授業で知ったことの整理と再確認
第３回　【授業テーマ】　一般地方公務員プログラム案内②
【内容・方法　等】　一般地方公務員プログラムの概要
【事前・事後学習課題】　授業で知ったことの整理と再確認
第４回　【授業テーマ】　一般地方公務員プログラム案内③
【内容・方法　等】　一般地方公務員プログラムの論文対策についての概略
【事前・事後学習課題】　授業で知ったことの整理と再確認
第５回　【授業テーマ】　地方公務員試験対策の実際①
【内容・方法　等】　試験制度の概要とその攻略法（その１）
【事前・事後学習課題】　授業での実践練習の復習
第６回　【授業テーマ】　地方公務員試験対策の実際②
【内容・方法　等】　試験制度の概略とその攻略法（その２）

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　106　2014/10/14　17:50:46

【事前・事後学習課題】 授業での実践練習の復習
第７回 【授業テーマ】 一般企業プログラム案内①
【内容・方法　等】 一般企業プログラムの概略（その１）
【事前・事後学習課題】 授業で知ったことの整理と再確認
第８回 【授業テーマ】 一般企業プログラム案内②
【内容・方法　等】 一般企業プログラムの概略（その２）
【事前・事後学習課題】 授業で知ったことの整理と再確認
第９回 【授業テーマ】 一般企業プログラム案内③
【内容・方法　等】 一般企業プログラムの概略（その３）
【事前・事後学習課題】 授業で知ったことの整理と再確認
第10回 【授業テーマ】 一般企業就職対策の実際①
【内容・方法　等】 就職活動の目標とそのポイント
【事前・事後学習課題】 授業での実践練習の復習
第11回 【授業テーマ】 一般企業就職対策の実際②
【内容・方法　等】 一般企業への就職のための面接等
【事前・事後学習課題】 授業での実践練習の復習
第12回 【授業テーマ】 一般企業就職対策の実際③
【内容・方法　等】 一般企業への就職と公務員試験との比較
【事前・事後学習課題】 授業での実践練習の復習
第13回 【授業テーマ】 法律学特修プログラム案内①
【内容・方法　等】 法律学特修プログラム案の概略（その１）
【事前・事後学習課題】 授業で知ったことの整理と再確認
第14回 【授業テーマ】 法律学特修プログラム案内②
【内容・方法　等】 法律学特修プログラム案の概略（その２）
【事前・事後学習課題】 授業で知ったことの整理と再確認
第15回 【授業テーマ】 総括
【内容・方法　等】 まとめ
法政キャリア特別講義の活用と進路決定についての提言、課題レポートの提示
【事前・事後学習課題】 授業で知ったことのすべての再確認

評価方法（基準）
最後の授業で提示する課題レポートと公務員等の体験問題の成績結果、及びその他のレポートを総合的に評価します。

教材等
教科書…配付する資料が教科書になります。
参考書…授業中に紹介します。

学生へのメッセージ
自分の希望する将来が、ゆっくりでも確実に実現できるようになるためにはどうすれば良いのか、一緒に考えましょう。

関連科目
法政キャリア特別講義Ⅱ～Ⅵ

担当者の研究室等
11号館9階　小山教授室

法政キャリア特別講義II
Special Classes for law and Politics II

松　島　裕　一（マツシマ　ユウイチ）
前　田　剛　志（マエダ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	L	前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
この法政キャリア特別講義IIの講義では、同III、同IV、同V、同VIに向けて法律の基礎的な知識の習得を目的にしています。

授業方法と留意点
講義は、論点についての解説講義及び問題演習を中心に行う予定です。関連する事項については、適宜レジュメを配布します。また、回数が限られていますので、必然的に重要な部分を集中的に論じることになり、少ししか触れられない部分もでてくるかと思います。したがって、自学自習で補っていく必要があり、かなりの程度の予習復習を求めることになります。また、授業内容も受講生の要望や問題の重要性、授業の進展などに応じて臨機応変に変更する予定です。

科目学習の効果（資格）
公務員試験や法科大学院（ロー・スクール）入試の合格を目指す学習の一助になればと考えています。また、行政書士や法学検定試験などに役立つ知識の獲得にも対応できるよう考えています。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 講義の全体像：ガイダンス
【内容・方法　等】 授業の進め方や全体像、試験対策に向けての一般的心構えなどの概説を行います。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。
第２回 【授業テーマ】 憲法①
【内容・方法　等】 憲法の人権の中でも重要な位置を占める精神的自由についての基本を学びます。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。
第３回 【授業テーマ】 憲法②
【内容・方法　等】 憲法には、精神的自由以外にも様々な人権があります。それらの概要を学びます。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。
第４回 【授業テーマ】 憲法③
【内容・方法　等】 憲法には、大きく分けて人権分野と統治分野からなります。国会、内閣、裁判所などの統治機構についての基本を学習します。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。
第５回 【授業テーマ】 民法①
【内容・方法　等】 私人間の関係を規律する民法についての学習をはじめます。まずは、権利の主体や法律行為などを定めている民法総則から学習します。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。
第６回 【授業テーマ】 民法②
【内容・方法　等】 物を直接的・排他的に支配する権利であるといわれる物権について学習します。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。
第７回 【授業テーマ】 民法③
【内容・方法　等】 特定人から特定人に対して一定の財産上の行為を請求できるという債権について学びます。まずは、債権総論からはじめます。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。
第８回 【授業テーマ】 民法④
【内容・方法　等】 債権各論といわれる分野を学習します。契約がどのようにして成立するのか、契約の効力はどのようなものがあるかなどを学びます。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。
第９回 【授業テーマ】 民法⑤
【内容・方法　等】 ここでは、具体的な契約の種類や事務管理・不当利得・不法行為などを学習します。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。
第10回 【授業テーマ】 民法⑥
【内容・方法　等】 民法は、経済的生活関係だけではなく、身分的生活関係も規律しています。婚姻、親子、相続などを学習します。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。
第11回 【授業テーマ】 行政法①
【内容・方法　等】 行政に関する法は、様々な名称と内容を持った多くの法律があります。そうした行政法を学びます。最初は、行政法の全体像や基本原理を学習します（行政法総論）。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。
第12回 【授業テーマ】 行政法②
【内容・方法　等】 行政主体が「どのような」活動をするのかという視点を学習します（行政作用法）。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。
第13回 【授業テーマ】 行政法③
【内容・方法　等】 行政法の中でも特に重要な行政救済法について学習します。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。
第14回 【授業テーマ】 その他の実定法
【内容・方法　等】 刑法、民事訴訟法、刑事訴訟法など
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。
第15回 【授業テーマ】 授業全体のまとめ
【内容・方法　等】 これまでの講義で学習してきた問題を復習したり、あまり触れられなかった問題を補足したいと考えています。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。

評価方法（基準）
授業中に実施する確認テストおよび期末試験の点数によって、総合的に評価します（詳細は初回の講義で説明します）。毎回の出席が前提ですので、無断欠席が一定回数を超えた場合、単位取得を認めません。

教材等
教科書…現時点では未定ですが、必要なテキストを購入してもらう予定です。5,000～10,000円程度の負担を見ていてください。
参考書…授業内容に応じて、授業中に適宜指示・紹介します。

学生へのメッセージ
この講義では、法政キャリア特別講義III、同IV・V、同VI（松島・前田担当分）と連続した形で、公務員試験や法科大学院（ロー・スクール）入学試験の対策を行いたいと考えています。また、行政書士など資格試験の対策も考えております。具体的な講義内容については、受講生の皆さんの要望にできる限り応じられるようにしたいと考えています。

関連科目
直接的には、法政キャリア特別講義III～VI（松島・前田担当分）と関連しますが、憲法、民法、行政法など実定法の科目とも関連しています。

担当者の研究室等
11号館9階　松島講師室

備考
法政キャリア特別講義II（松島・前田担当分）は特別履修とし、定員の上限を20名程度にします。履修生の選抜に当たっては、事前に選抜テストを実施します。また法政キャリア特別講義II、

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　107　2014/10/14　17:50:46

同III（松島・前田担当分）は連続する講義ですので、両方とも履修してください。授業内容、履修方法、選抜テストなどについて分からない点がある学生は、法学部事務室および担当教員（松島）に遠慮なく質問してください。

法政キャリア特別講義II
Special Classes for Law and Politics II

小　山　　昇（コヤマ　ノボル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	O	前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
本講義は、法政キャリア特別講義Ⅲ（Oクラス）と連関して、将来、警察官や消防士、一般の市町村役場に就職を希望する人に対して、その採用試験で最初の関門となる第１次試験に勝ち抜くための知識を講義しますが、前期のこの講義では、特に、基礎的知識の確実な習得を目標とします。

授業方法と留意点
複数の担当者による講義と問題実践及びその解説という形式で行いますので、人数を制限します。具体的な知識の積み重ねが重要なので、受講生には高い意識を求めます。最後の時間に、課題レポートを提示するので注意すること！

科目学習の効果（資格）
一般の地方公務員試験について、必須の知識を獲得することができます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法　等】 一般の地方公務員試験の概略と問題の形式について、その一般的知識と勉強方法
【事前・事後学習課題】 授業で知ったことの整理と再確認
第２回　【授業テーマ】 公務員に必要な基礎知識：準備編１
【内容・方法　等】 実力確認のためのテストとその解説
【事前・事後学習課題】 授業で知ったことの復習と整理
第３回　【授業テーマ】 公務員に必要な基礎知識：準備編２
【内容・方法　等】 数的な処理能力の養成（その１）
【事前・事後学習課題】 授業で知ったことの復習と整理
第４回　【授業テーマ】 公務員に必要な基礎知識：準備編３
【内容・方法　等】 数的な処理能力の養成（その２）
【事前・事後学習課題】 授業で知ったことの復習と整理
第５回　【授業テーマ】 公務員に必要な基礎知識：準備編４
【内容・方法　等】 数的な処理能力の養成（その３）
【事前・事後学習課題】 授業で知ったことの復習と整理
第６回　【授業テーマ】 公務員に必要な基礎知識：入門編１
【内容・方法　等】 事務的処理能力の養成（その１）
【事前・事後学習課題】 授業で知ったことの復習と整理
第７回　【授業テーマ】 公務員に必要な基礎知識：入門編２
【内容・方法　等】 事務的処理能力の養成（その２）
【事前・事後学習課題】 授業で知ったことの復習と整理
第８回　【授業テーマ】 公務員に必要な基礎知識：入門編３
【内容・方法　等】 事務的処理能力の養成（その３）
【事前・事後学習課題】 授業で知ったことの復習と整理
第９回　【授業テーマ】 公務員に必要な基礎知識：入門編４
【内容・方法　等】 事務的処理能力の養成（その４）
【事前・事後学習課題】 授業で知ったことの復習と整理
第10回　【授業テーマ】 公務員に必要な基礎知識：実践編１
【内容・方法　等】 論理的思考能力の養成（その１）
【事前・事後学習課題】 授業で知ったことの復習と整理
第11回　【授業テーマ】 公務員に必要な基礎知識：実践編２
【内容・方法　等】 論理的思考能力の養成（その２）
【事前・事後学習課題】 授業で知ったことの復習と整理
第12回　【授業テーマ】 公務員に必要な基礎知識：実践編３
【内容・方法　等】 論理的思考能力の養成（その３）
【事前・事後学習課題】 授業で知ったことの復習と整理
第13回　【授業テーマ】 公務員に必要な基礎知識：実践編４
【内容・方法　等】 論理的思考能力の養成（その４）
【事前・事後学習課題】 授業で知ったことの復習と整理
第14回　【授業テーマ】 公務員に必要な基礎知識：確認編
【内容・方法　等】 実力確認のためのテストとその解説
【事前・事後学習課題】 授業で知ったことの復習と整理
第15回　【授業テーマ】 総括
【内容・方法　等】 まとめ
課題レポートの提示
【事前・事後学習課題】 知識の整理と再確認

評価方法（基準）
最後に提示する課題レポート及び実践問題の成績結果で評価します。

教材等
教科書…配付する資料が教科書となります。
参考書…適宜、授業中に紹介します。

学生へのメッセージ
公務員試験で合格するために必要なことを正確に知りそして実践することは、必ずいい結果に結びつきます。

関連科目
法政キャリア特別講義Ⅰ、Ⅲ～Ⅴ

担当者の研究室等
11号館9階　小山教授室

法政キャリア特別講義II
Special Classes for Law and Politics II

木　村　秀　一（キムラ　ヒデカズ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	K	前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
ビジネス法務への入門講義である。現代のビジネスパーソンにはコンプライアンス（法令遵守）が厳しく要求されている。企業はその要求に応えられる人材を求めている。そこで、企業に就職を希望する学生が入社後役立つようなビジネスに関わる種々の法律知識を総合的に教授する。その範囲を絞るのはむつかしいが、初心者向けの参考になるのがビジネス実務法務検定試験３級の出題範囲であり、その範囲に合わせて授業を行うこととする。この試験はビジネス法務を体系的・効率的に学ぶことができるように工夫されているからである（東京商工会議所試験情報HP参照）。

授業方法と留意点
民法・商法・会社法・労働法・独禁法・知的財産法を履修済みか将来履修を予定している学生の受講を求める。
本講義はビジネス実務法務検定試験３級取得に役立つような内容になっているが、その資格取得のための授業ではないので、同試験に合格するためには、授業以外での十分な学習が必要であることに留意してほしい。

科目学習の効果（資格）
ビジネス実務法務検定試験３級の問題に対処する基礎となる初歩的知識を養うことができる。ちなみに、同試験に合格すれば「ビジネス法務リーダー」の称号があたえられる。また、この検定を推奨したり、採用や社内評価の参考にする企業が増えているといわれる（東京商工会議所試験情報HP参照）。HPをみれば、この試験に関わる有名大企業がずらりと並んでいる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】 ビジネス法務の重要性とビジネス実務法務検定試験３級取得の意義
【内容・方法　等】 コンプライアンスの重要性とビジネス法務に関わる法律の概要
【事前・事後学習課題】 特になし
第２回　【授業テーマ】 ビジネスに関係する法律の基礎
【内容・方法　等】 近代私法の基本原則・権利とは何か
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、基本事項を頭にたたき込むこと
第３回　【授業テーマ】 取引・権利義務の主体
【内容・方法　等】 自然人・法人・会社・会社の種類
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、基本事項を頭にたたき込むこと
第４回　【授業テーマ】 会社（法人）取引の法律
【内容・方法　等】 取引による債権債務・ビジネス文書の作成と管理
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、基本事項を頭にたたき込むこと
第５回　【授業テーマ】 取引の決済方法１
【内容・方法　等】 手形
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、基本事項を頭にたたき込むこと
第６回　【授業テーマ】 取引の決済方法２
【内容・方法　等】 小切手・電子記録債権法
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、基本事項を頭にたたき込むこと
第７回　【授業テーマ】 取引によらない債権債務１
【内容・方法　等】 事務管理・不当利得
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、基本事項を頭にたたき込むこと
第８回　【授業テーマ】 取引によらない債権債務２
【内容・方法　等】 不法行為
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、基本事項を頭にたたき込むこと
第９回　【授業テーマ】 会社（法人）の財産管理
【内容・方法　等】 財産の取得と法律・知的財産権
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、基本事項を頭にたたき込むこと
第10回　【授業テーマ】 債権の管理・回収１

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　108　2014/10/14　17:50:46

【内容・方法　等】 債権管理
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、基本事項を頭にたたき込むこと

第11回 【授業テーマ】 債権の管理・回収２
【内容・方法　等】 債権の担保・緊急時の債権回収
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、基本事項を頭にたたき込むこと

第12回 【授業テーマ】 会社（企業）活動に対する法規制１
【内容・方法　等】 独占禁止法・製造物責任法・消費者法など
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、基本事項を頭にたたき込むこと

第13回 【授業テーマ】 会社（企業）活動に対する法規制２
【内容・方法　等】 ビジネスに関連する犯罪
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、基本事項を頭にたたき込むこと

第14回 【授業テーマ】 会社（法人）と従業員の雇用関係等に関する法律
【内容・方法　等】 雇用関係と法律・男女雇用機会均等法・派遣と法律
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、基本事項を頭にたたき込むこと

第15回 【授業テーマ】 授業の総括・重要ポイントのまとめ
【内容・方法　等】 授業の理解の程度を確認し、全体総括を行う・とくに間違えやすい重要ポイントの復習
【事前・事後学習課題】 これまでの授業内容を体系立てて復習する

評価方法（基準）
授業中の態度、理解度などを総合的に判断して評価する。

教材等
教科書…指定なし
参考書…指定なし

学生へのメッセージ
ビジネス実務法務検定３級合格を目指すためには、本講義だけでは不十分です。専門的な法律科目の講義をまじめに受講し、十分な自習時間を取る必要があることを、くれぐれもお忘れなきように！

関連科目
民法・商法・会社法・労働法・独禁法・知的財産法

担当者の研究室等
11号館10階　木村教授室

備考
ビジネス実務法務検定には１級・２級もあり、２級を取得すれば「ビジネス法務エキスパート」、１級を取得すれば「ビジネス法務エグゼクティブ」の称号が与えられ、３級も含めて、それらの称号は名刺に記載できるといわれている。

法政キャリア特別講義III
Special Classes for Law and Politics III

松　島　裕　一（マツシマ　ユウイチ）
前　田　剛　志（マエダ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	L	後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
この法政キャリア特別講義IIIの講義では、同IIに引き続き公務員試験や法科大学院（ロー・スクール）入試などに向けた基礎的な知識の習得を目的にしています。受講生の皆さんが試験に合格するため、少しでもお役に立てるよう、受講生の要望を聞き入れながら、一緒に頑張っていければと考えています。

授業方法と留意点
講義は、論点についての解説講義及び問題演習を中心に行う予定です。関連する事項については、適宜レジュメを配布します。また、回数が限られていますので、必然的に重要な部分を集中的に論じることになり、少ししか触れられない部分もでてくるかと思います。したがって、自学自習で補っていく必要があり、かなりの程度の予習復習を求めることになります。また、授業内容も受講生の要望や問題の重要性、授業の進展などに応じて臨機応変に変更する予定です。

科目学習の効果（資格）
公務員試験や法科大学院（ロー・スクール）入試の合格を目指す学習の一助になればと考えています。また、行政書士や法学検定試験などに役立つ知識の獲得にも対応できるよう考えています。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 講義の全体像：ガイダンス
【内容・方法　等】 授業の進め方や全体像、試験対策に向けての一般的心構えなどの概説を行います。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。

第２回 【授業テーマ】 憲法①
【内容・方法　等】 憲法の人権の中でも重要な位置を占める精神的自由についての基本を学びます。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。

第３回 【授業テーマ】 憲法②
【内容・方法　等】 憲法には、精神的自由以外にも様々な人権があります。それらの概要を学びます。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。

第４回 【授業テーマ】 憲法③
【内容・方法　等】 憲法には、大きく分けて人権分野と統治分野からなります。国会、内閣、裁判所などの統治機構についての基本を学習します。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。

第５回 【授業テーマ】 民法①
【内容・方法　等】 私人間の関係を規律する民法についての学習をはじめます。まずは、権利の主体や法律行為などを定めている民法総則から学習します。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。

第６回 【授業テーマ】 民法②
【内容・方法　等】 物を直接的・排他的に支配する権利であるといわれる物権について学習します。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。

第７回 【授業テーマ】 民法③
【内容・方法　等】 特定人から特定人に対して一定の財産上の行為を請求できるという債権について学びます。まずは、債権総論からはじめます。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。

第８回 【授業テーマ】 民法④
【内容・方法　等】 債権各論といわれる分野を学習します。契約がどのようにして成立するのか、契約の効力はどのようなものがあるかなどを学びます。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。

第９回 【授業テーマ】 民法⑤
【内容・方法　等】 ここでは、具体的な契約の種類や事務管理・不当利得・不法行為などを学習します。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。

第10回 【授業テーマ】 民法⑥
【内容・方法　等】 民法は、経済的生活関係だけではなく、身分的生活関係も規律しています。婚姻、親子、相続などを学習します。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。

第11回 【授業テーマ】 行政法①
【内容・方法　等】 行政に関する法は、様々な名称と内容を持った多くの法律があります。そうした行政法を学びます。最初は、行政法の全体像や基本原理を学習します（行政法総論）。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。

第12回 【授業テーマ】 行政法②
【内容・方法　等】 行政主体が「どのような」活動をするのかという視点を学習します（行政作用法）。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。

第13回 【授業テーマ】 行政法③
【内容・方法　等】 行政法の中でも特に重要な行政救済法について学習します。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。

第14回 【授業テーマ】 その他の実定法
【内容・方法　等】 刑法、民事訴訟法、刑事訴訟法など
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。

第15回 【授業テーマ】 授業全体のまとめ
【内容・方法　等】 これまでの講義で学習してきた問題を復習したり、あまり触れられなかった問題を補足したいと考えています。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。

評価方法（基準）
授業中に実施する確認テストおよび期末試験の点数によって、総合的に評価します（詳細は初回の講義で説明します）。毎回の出席が前提ですので、無断欠席が一定回数を超えた場合、単位取得を認めません。

教材等
教科書…現時点では未定ですが、必要なテキストを購入してもらう予定です。5,000～10,000円程度の負担を見ていてください。
参考書…授業内容に応じて、授業中に適宜指示・紹介します。

学生へのメッセージ
この講義では、法政キャリア特別講義IV・V、同VI（松島・前田担当分）と連続した形で、公務員試験や法科大学院（ロー・スクール）入学試験の対策を行いたいと考えています。また、行政書士など資格試験の対策も考えております。具体的な講義内容については、受講生の皆さんの要望にできる限り応じられるようにしたいと考えています。

関連科目
直接的には、法政キャリア特別講義Ⅱ、Ⅳ～VI（松島・前田担当分）と関連しますが、憲法、民法、行政法など実定法の科目とも関連しています。

担当者の研究室等

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　109　2014/10/14　17:50:47

11号館9階　松島講師室

備考

この法政キャリア特別講義III（松島・前田担当分）は特別履修とし、定員の上限を20名程度としています。詳細は、法政キャリア特別講義II（松島・前田担当分）のシラバスを参照してください。

法政キャリア特別講義III
Special Classes for Law and PoliticsIII

小　山　　昇（コヤマ　ノボル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	O	後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

本講義は、法政キャリア特別講義Ⅱ（Oクラス）と連関して、将来、警察官や消防士、一般の市町村役場に就職を希望する人に対して、その採用試験で最も重要な筆記試験を確実に勝ち抜くための知識を講義しますが、後期開講のこの講義では、特に、一般知識の習得をその目標とします。

授業方法と留意点

複数の担当者による講義と問題実践の形式で行うため、人数を制限します。具体的な知識の積み重ねが重要であるので、受講生には高い意識の持続を求めます。最後の時間に課題レポートを提示するので注意すること。

科目学習の効果（資格）

一般の地方公務員試験について、必須の知識を獲得することができます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　ガイダンス
【内容・方法　等】　一般の地方公務員試験の問題について、その知識の更なる獲得に向けての勉強方法、
実力確認のためのテストとその解説
【事前・事後学習課題】　授業で知ったことの確認と整理

第２回　**【授業テーマ】**　公務員に必要な一般知識：法学編１
【内容・方法　等】　法学についての基礎力の鍛錬（その１）
【事前・事後学習課題】　授業で知ったことの復習と整理

第３回　**【授業テーマ】**　公務員に必要な一般知識：法学編２
【内容・方法　等】　法学についての基礎力の鍛錬（その２）
【事前・事後学習課題】　授業で知ったことの復習と整理

第４回　**【授業テーマ】**　公務員に必要な一般知識：法学編３
【内容・方法　等】　法学についての基礎力の鍛錬（その３）
【事前・事後学習課題】　授業で知ったことの復習と整理

第５回　**【授業テーマ】**　公務員に必要な一般知識：法学編４
【内容・方法　等】　法学についての基礎力の鍛錬（その４）
【事前・事後学習課題】　授業で知ったことの復習と整理

第６回　**【授業テーマ】**　公務員に必要な一般知識：法学編５
【内容・方法　等】　法学についての基礎力の鍛錬（その５）
【事前・事後学習課題】　授業で知ったことの復習と整理

第７回　**【授業テーマ】**　公務員に必要な一般知識：政治学編１
【内容・方法　等】　政治学についての基礎力の鍛錬（その１）
【事前・事後学習課題】　授業で知ったことの復習と整理

第８回　**【授業テーマ】**　公務員に必要な一般知識：政治学編２
【内容・方法　等】　政治学についての基礎力の鍛錬（その２）
【事前・事後学習課題】　授業で知ったことの復習と整理

第９回　**【授業テーマ】**　公務員に必要な一般知識：経済学編１
【内容・方法　等】　経済学についての基礎力の養成（その１）
【事前・事後学習課題】　授業で知ったことの復習と整理

第10回　**【授業テーマ】**　公務員に必要な一般知識：経済学編２
【内容・方法　等】　経済学についての基礎力の養成（その２）
【事前・事後学習課題】　授業で知ったことの復習と整理

第11回　**【授業テーマ】**　公務員に必要な一般知識：経済学編３
【内容・方法　等】　経済学についての基礎力の養成（その３）
【事前・事後学習課題】　授業で知ったことの復習と整理

第12回　**【授業テーマ】**　公務員に必要な一般知識：経済学編４
【内容・方法　等】　経済学についての基礎力の養成（その４）
【事前・事後学習課題】　授業で知ったことの復習と整理

第13回　**【授業テーマ】**　公務員に必要な一般知識：経済学編５
【内容・方法　等】　経済学についての基礎力の養成（その５）
【事前・事後学習課題】　授業で知ったことの復習と整理

第14回　**【授業テーマ】**　公務員に必要な一般知識：確認編
【内容・方法　等】　実力確認のためのテストとその解説
【事前・事後学習課題】　授業で知ったことの確認と整理

第15回　**【授業テーマ】**　総括
【内容・方法　等】　まとめ、
課題レポートの提示
【事前・事後学習課題】　知識の整理と再確認

評価方法（基準）

最後に提示する課題レポート及び実践した問題の成績結果で評価します。

教材等

教科書…配付する資料が教科書になります。
参考書…適宜、授業中に紹介します。

学生へのメッセージ

公務員試験で必要な知識を確実に身に付けて、ステップアップしましょう。

関連科目

法政キャリア特別講義Ⅰ、Ⅱ、Ⅳ、Ⅴ

担当者の研究室等

11号館9階　小山教授室

法政キャリア特別講義III
Special Classes for Law and Politics III

中　塚　　賢（ナカツカ　ケン）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	K	後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

この授業では将来、営業職や企画職、または総合職や事務職として、企業で活躍することを目指す学生に、ビジネスの基本要素である人・モノ・カネの動きを簿記でどのように記録するのか、そして会社の成績表ともいえる決算書からどのような情報が得られるのか、を教授する。到達目標として日商簿記３級程度の簿記力習得を目安とするが、今後、社会人として活躍するための基礎としての知識獲得を目指す。

授業方法と留意点

講義形式で、実際のビジネスの流れがわかるような説明を加えながら、実務上の出来事を、簿記ではどのように捉えるのかをわかりやすく説明する。演習的に簿記問題を解いて、理解度を確かめながら着実に知識が身につく講義を心掛けたい。

科目学習の効果（資格）

日商簿記３級合格程度の知識を獲得できる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　はじめに
【内容・方法　等】　会社の成績表とは？
【事前・事後学習課題】　講義内容の復習

第２回　**【授業テーマ】**　簿記とは何か？
【内容・方法　等】　簿記の目的と手続き
【事前・事後学習課題】　復習課題の実施

第３回　**【授業テーマ】**　仕訳と転記
【内容・方法　等】　簿記の基本的な記帳の仕方について
【事前・事後学習課題】　復習課題の実施

第４回　**【授業テーマ】**　期中の手続と決算手続
【内容・方法　等】　会計期間中の処理と、会計期間の締めとなる決算について
【事前・事後学習課題】　復習課題の実施

第５回　**【授業テーマ】**　現金・預金の取引
【内容・方法　等】　現金や預金の記帳について
【事前・事後学習課題】　復習課題の実施

第６回　**【授業テーマ】**　商品売買と掛取引
【内容・方法　等】　売上や仕入、売掛金や買掛金について
【事前・事後学習課題】　復習課題の実施

第７回　**【授業テーマ】**　手形の取引
【内容・方法　等】　手形の種類や手形の処理について
【事前・事後学習課題】　復習課題の実施

第８回　**【授業テーマ】**　有価証券の取引
【内容・方法　等】　有価証券の種類や売買の処理について
【事前・事後学習課題】　復習課題の実施

第９回　**【授業テーマ】**　債権・債務の取引
【内容・方法　等】　債権・債務や経過勘定などの処理について
【事前・事後学習課題】　復習課題の実施

第10回　**【授業テーマ】**　固定資産の取引
【内容・方法　等】　固定資産の取得・売却と減価償却
【事前・事後学習課題】　復習課題の実施

第11回　**【授業テーマ】**　資本金と税金の処理
【内容・方法　等】　資本取引と法人税・消費税など
【事前・事後学習課題】　復習課題の実施

第12回　**【授業テーマ】**　収益と費用、伝票の処理
【内容・方法　等】　収益や費用の科目、伝票会計の手続きなど
【事前・事後学習課題】　復習課題の実施

第13回　**【授業テーマ】**　決算の手続き１
【内容・方法　等】　決算整理の意味・手続きについて
【事前・事後学習課題】　復習課題の実施

第14回　**【授業テーマ】**　決算の手続き２
【内容・方法　等】　費用・収益の繰延など
【事前・事後学習課題】　復習課題の実施

第15回　**【授業テーマ】**　財務諸表の作成と読み方
【内容・方法　等】　貸借対照表・損益計算書の作り方、読み方
【事前・事後学習課題】　企業の成績を見てみよう

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　110　　2014/10/14　17:50:47

評価方法（基準）
定期試験による。出席状況や授業中の確認問題の提出により加点されることがある。

教材等
教科書…「日商簿記検定 教科書 ３級商業簿記　七訂版」　東京法令出版(1,470円)
参考書…授業中、適宜指示する。

学生へのメッセージ
簿記のまったくの初心者や、数字が苦手な学生でも、ビジネスや実務に興味があれば歓迎する。学生の理解度によって講義内容を調整することもある。

関連科目
会社法を履修していることが望ましい。

担当者の研究室等
１１号館６階（経営学部事務室）

法政キャリア特別講義Ⅳ
Special Classes for Law and PoliticsIV

松　島　裕　一（マツシマ　ユウイチ）
前　田　剛　志（マエダ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	L	前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
この法政キャリア特別講義Ⅳの講義では、公務員試験や法科大学院（ロー・スクール）入試などに向けた実践的な知識の習得を目的にしています。受講生の皆さんが試験に合格するため、少しでもお役に立てるよう、受講生の要望を聞き入れながら、一緒に頑張っていければと考えています。

授業方法と留意点
講義は、論点についての解説講義及び問題演習を中心に行う予定です。関連する事項については、適宜レジュメを配布します。また、回数が限られていますので、必然的に重要な部分を集中的に論じることになり、少ししか触れられない部分もでてくるかと思います。したがって、自学自習で補っていく必要があり、かなりの程度の予習復習を求めることになります。また、授業内容も受講生の要望や問題の重要性、授業の進展などに応じて臨機応変に変更する予定です。

科目学習の効果（資格）
公務員試験や法科大学院（ロー・スクール）入試の合格を目指す学習の一助になればと考えています。また、行政書士や法学検定試験などに役立つ知識の獲得にも対応できるよう考えています。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】**　講義の全体像：ガイダンス
【内容・方法　等】　授業の進め方や全体像、試験対策に向けての一般的心構えなどの概説を行います。
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。
第２回　**【授業テーマ】**　憲法①
【内容・方法　等】　精神的自由の内容の理解を深めます。違憲審査基準などにも触れます。
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。
第３回　**【授業テーマ】**　憲法②
【内容・方法　等】　精神的自由以外の人権の議論も多々ありますので、理解を深めていきたいと思います。
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。
第４回　**【授業テーマ】**　憲法③
【内容・方法　等】　統治機構は、資格試験では頻出の分野です。暗記すべき部分や自分で考える部分にメリハリを付けながら学習したいと考えています。
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。
第５回　**【授業テーマ】**　民法①
【内容・方法　等】　民法総則の中で論点となる部分を重点的に学習します。
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。
第６回　**【授業テーマ】**　民法②
【内容・方法　等】　物権も重要な論点が多いので、基本的な部分をしっかり押さえておきたいと思います。
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。
第７回　**【授業テーマ】**　民法③
【内容・方法　等】　問題演習などをつうじて、債権総論についての理解を深めたいと思います。
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。
第８回　**【授業テーマ】**　民法④
【内容・方法　等】　債権各論を更に勉強します。
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。
第９回　**【授業テーマ】**　民法⑤
【内容・方法　等】　債権各論の理解を深めます。
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。
第10回　**【授業テーマ】**　民法⑥
【内容・方法　等】　親族・相続分野は、択一では頻出ですので、具体的な問題演習をつうじて理解を深めたいと思っています。
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。
第11回　**【授業テーマ】**　行政法①
【内容・方法　等】　問題演習を通じて、行政法総論を学習します。
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。
第12回　**【授業テーマ】**　行政法②
【内容・方法　等】　問題演習を通じて、行政作用法を学習します。
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。
第13回　**【授業テーマ】**　行政法③
【内容・方法　等】　問題演習を通じて、行政救済法を学習します。
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。
第14回　**【授業テーマ】**　その他の実定法
刑法、民事訴訟法、刑事訴訟法など
【内容・方法　等】　憲法、民法、行政法以外で試験に関連する科目
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。
第15回　**【授業テーマ】**　授業全体のまとめ
【内容・方法　等】　これまでの講義で学習してきた問題を復習したり、あまり触れられなかった問題を補足したいと考えています。
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。

評価方法（基準）
授業中に実施する確認テストおよび期末試験の点数によって、総合的に評価します（詳細は初回の講義で説明します）。毎回の出席が前提ですので、無断欠席が一定回数を超えた場合、単位取得を認めません。

教材等
教科書…現時点では未定ですが、必要なテキストを購入してもらう予定です。5,000～10,000円程度の負担を見ていてください。
参考書…授業内容に応じて、授業中に適宜指示・紹介します。

学生へのメッセージ
この講義では、法政キャリア特別講義V、同VI（松島・前田担当分）と連続した形で、公務員試験や法科大学院（ロー・スクール）入学試験の対策を行いたいと考えています。また、行政書士など資格試験の対策も考えております。具体的な講義内容については、受講生の皆さんの要望にできる限り応じられるようにしたいと考えています。

関連科目
直接的には、法政キャリア特別講義II・III、同V、同VI（松島・前田担当分）と関連しますが、憲法、民法、行政法など実定法の科目とも関連しています。

担当者の研究室等
11号館9階　松島講師室

備考
法政キャリア特別講義Ⅳ（松島・前田担当分）は特別履修とし、定員の上限を15名程度にします。履修生の選抜に当たっては、事前に選抜テストを実施します。また法政キャリア特別講義Ⅳ、同V（松島・前田担当分）は連続する講義ですので、両方とも履修してください。授業内容、履修方法、選抜テストなどについて分からない点がある学生は、法学部事務室および担当教員（松島）に遠慮なく質問してください。

法政キャリア特別講義Ⅳ
Special Classes for Law and Politics Ⅳ

大　仲　淳　介（オオナカ　アツヨシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	O	前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
法学を学ぶ者は、自分の意見や考えを読み手に納得してもらい、自分と同じ意見をもつよう説得できる文章を書くことができなければなりません。このような小論文を書くには、いろいろな能力が必要になります。この講義では、この能力に重点をおき、小論文を通して、どういう文章が読み手を納得させることができる文章かを検討します。そして小論文の基礎的な知識を理解し、読み手を納得させる文章を書くための基礎学力をつけることを目指します。

授業方法と留意点
授業は講義方式と演習方式を併用します。プリントを配付しますので、配付したプリントは必ず持参してください。

科目学習の効果（資格）
警察官、消防士、市役所などの公務員試験に役立ちます。

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　111　2014/10/14　17:50:47

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** ガイダンス
【内容・方法　等】 法律学と説得力のある文章　小論文と作文など
【事前・事後学習課題】 原則として事後学習を重視する

第２回 **【授業テーマ】** 法的知識に基づいた文章の作成に必要な基礎的能力１
【内容・方法　等】 論理的にものごとを考え判断する能力とは
【事前・事後学習課題】 授業中に指示する

第３回 **【授業テーマ】** 法的知識に基づいた文章の作成に必要な基礎的能力２
【内容・方法　等】 ものごとの相互の対応関係を探る能力とは
【事前・事後学習課題】 授業中に指示する

第４回 **【授業テーマ】** 法的知識に基づいた文章の作成に必要な基礎的能力３
【内容・方法　等】 他人が述べたことの真意を判断する能力とは
【事前・事後学習課題】 授業中に指示する

第５回 **【授業テーマ】** 法的知識に基づいた文章の作成に必要な基礎的能力４
【内容・方法　等】 考え方や発想を柔軟に変更して妥当な解決策を探る能力とは
【事前・事後学習課題】 授業中に指示する

第６回 **【授業テーマ】** 法的知識に基づいた文章の作成に必要な基礎的能力５
【内容・方法　等】 他人の文章が何を伝えるために書かれているかを理解する能力とは
【事前・事後学習課題】 授業中に指示する

第７回 **【授業テーマ】** 法的知識に基づいた文章の作成に必要な基礎的能力６
【内容・方法　等】 複数の資料の相互の関係を理解する能力とは
【事前・事後学習課題】 授業中に指示する

第８回 **【授業テーマ】** 法的知識に基づいた文章の作成に必要な基礎的能力７
【内容・方法　等】 統計学の基礎知識とは
【事前・事後学習課題】 確認問題をする

第９回 **【授業テーマ】** 法的知識に基づいた文章と日本語１
【内容・方法　等】 日本文の特徴、文の単位、日本語の語順など
【事前・事後学習課題】 授業中に指示する

第10回 **【授業テーマ】** 法的知識に基づいた文章と日本語２
【内容・方法　等】 文の役割と文の接続、日本文と主観的表現、語調の統一など
【事前・事後学習課題】 確認問題をする

第11回 **【授業テーマ】** 法的知識に基づいた文章の書き方１
【内容・方法　等】 課題の求めているものは何かなど
【事前・事後学習課題】 授業中に指示する

第12回 **【授業テーマ】** 法的知識に基づいた文章の書き方２
【内容・方法　等】 主題の決め方、主題を文章化するための材料の集め方など
【事前・事後学習課題】 授業中に指示する

第13回 **【授業テーマ】** 法的知識に基づいた文章の書き方３
【内容・方法　等】 意見や考えの理由と根拠、構想の立て方、構成の仕方など
【事前・事後学習課題】 授業中に指示する

第14回 **【授業テーマ】** 法的知識に基づいた文章の書き方４
【内容・方法　等】 説得力のある文章と説得力のない文章、比較的字数の少ない文章の作成など
【事前・事後学習課題】 授業中に指示する

第15回 **【授業テーマ】** まとめ
【内容・方法　等】 法的基礎に基づいた文章のまとめ
【事前・事後学習課題】 前回に作成した小論文を再考する

評価方法（基準）
授業中に作成する小論文と、最後に提出を求める「課題レポート」で評価します。

教材等
教科書…資料を配付します。
参考書…授業中に、適宜、紹介します。

学生へのメッセージ
できる限り個別に対応します。また授業中に生じた疑問は必ず質問してください。

関連科目
法政キャリア特別講義Ⅴ

担当者の研究室等
11号館5階　法学部資料室（法学部非常勤講師室）

法政キャリア特別講義Ⅳ
Special Classes for Law and Politics Ⅳ

金　谷　重　樹（カナタニ　シゲキ）
大　川　謙　蔵（オオカワ　ケンゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	K	前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
本講義は宅建（宅地建物取引主任者資格試験）に出題される分野を扱い、その合格を目指すものです。宅地や建物などの取引を行う際に、重要事項の説明を行うなど、不動産の取引を行う会社などでは必置とされます。試験は、宅地建物取引業に関する実用的な知識を有するかどうかを判定することに基準が置かれています。
試験の内容は大きく分けて、権利関係に関する分野、宅建業法に関する分野、法令上の制限に関する分野、鑑定・需給・取引実務・税などの分野に分かれます。
本講義は15回しかないことから、細かな点に入りきれません。それゆえ、個人での勉強が不可欠になることにご理解ください。

授業方法と留意点
講義は授業中に配付するテキストやプリントに基づいて実施します。
基本的には過去問題を講義中に解答してもらい、その解答方法の講義・解説を行う予定です。
ただし、場合に応じて変更もありますので、その際には指示をします。その点につきご了承ください。

科目学習の効果（資格）
宅地建物取引主任者資格試験

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** ガイダンス
権利関係（１）
【内容・方法　等】 民法総則の内容①
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する。

第２回 **【授業テーマ】** 権利関係（２）
【内容・方法　等】 民法総則の内容②
物権総論の内容
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する。

第３回 **【授業テーマ】** 権利関係（３）
【内容・方法　等】 担保物権の内容
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する。

第４回 **【授業テーマ】** 権利関係（４）
【内容・方法　等】 債権総論の内容
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する。

第５回 **【授業テーマ】** 権利関係（５）
【内容・方法　等】 債権各論の内容
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する。

第６回 **【授業テーマ】** 権利関係（６）
【内容・方法　等】 家族法の内容
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する。

第７回 **【授業テーマ】** 権利関係（７）
【内容・方法　等】 借地借家法・不動産登記法の内容
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する。

第８回 **【授業テーマ】** 権利関係（８）
【内容・方法　等】 区分所有法の内容
権利関係に関する復習
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する。

第９回 **【授業テーマ】** 宅建業法（１）
【内容・方法　等】 宅地建物取引業等
業務に関する規制
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する。

第10回 **【授業テーマ】** 宅建業法（２）
【内容・方法　等】 業者としての制限内容
報酬・特定住宅瑕疵担保履行法など
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する。

第11回 **【授業テーマ】** 法令上の制限（１）
【内容・方法　等】 都市計画法など
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する。

第12回 **【授業テーマ】** 法令上の制限（２）
【内容・方法　等】 建築基準法など
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する。

第13回 **【授業テーマ】** 法令上の制限（３）
【内容・方法　等】 その他の法令上の制限
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する。

第14回 **【授業テーマ】** 鑑定・需給・取引実務・税など（１）
【内容・方法　等】 鑑定・地公法など
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する。

第15回 **【授業テーマ】** 鑑定・需給・取引実務・税など（２）
【内容・方法　等】 税に関する内容
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する。

評価方法（基準）
定期試験、提出物、各講義での取り組み（小テストなど）から

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　112　2014/10/14　17:50:47

評価します。
変更もあり得ますので、詳細は初回の講義において指摘します。無断欠席・遅刻、授業中の私語等は、そもそも単位不認定と理解してください。

教材等

教科書…授業中にプリント等を配付を予定。
なお、個人で宅建に関する参考書や問題集を手に入れること。自分にあった者であれば何でも構わない。

参考書…講義時に指示する。

学生へのメッセージ

宅建試験は講義で扱う法律科目が中心となります。それ以外にも、講義では直接扱わないような分野も出題されますが、必要とされる部分を中心に勉強を行うことで、合格できる試験です。
もちろん、予習・復習など、自己の努力が必要であることに変わりはありません。

関連科目

民法全般、行政法、税法など

担当者の研究室等

11号館9階　金谷教授室
11号館9階　大川講師室

法政キャリア特別講義Ⅴ

Special Classes for and PoliticsV

松　島　裕　一（マツシマ　ユウイチ）
前　田　剛　志（マエダ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	L	後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

この法政キャリア特別講義Ⅴの講義では、法政キャリア特別講義Ⅳに引き続き、公務員試験や法科大学院（ロー・スクール）入試などに向けたより実践的な知識の習得を目的にしています。受講生の皆さんが試験に合格するため、少しでもお役に立てるよう、受講生の要望を聞き入れながら、一緒に頑張っていければと考えています。

授業方法と留意点

講義は、論点についての解説講義及び問題演習を中心に行う予定です。関連する事項については、適宜レジュメを配布します。また、回数が限られていますので、必然的に重要な部分を集中的に論じることになり、少ししか触れられない部分もでてくるかと思います。したがって、自学自習で補っていく必要があり、かなりの程度の予習復習を求めることになります。また、授業内容も受講生の要望や問題の重要性、授業の進展などに応じて臨機応変に変更する予定です。

科目学習の効果（資格）

公務員試験や法科大学院（ロー・スクール）入試の合格を目指す学習の一助になればと考えています。また、行政書士や法学検定試験などに役立つ知識の獲得にも対応できるよう考えています。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　講義の全体像：ガイダンス
【内容・方法　等】　授業の進め方や全体像、試験対策に向けての一般的心構えなどの概説を行います。
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。

第２回　**【授業テーマ】**　憲法①
【内容・方法　等】　精神的自由の内容の理解を深めます。違憲審査基準などにも触れます。
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。

第３回　**【授業テーマ】**　憲法②
【内容・方法　等】　精神的自由以外の人権の議論も多々ありますので、理解を深めていきたいと思います。
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。

第４回　**【授業テーマ】**　憲法③
【内容・方法　等】　統治機構は、資格試験では頻出の分野です。暗記すべき部分や自分で考える部分にメリハリを付けながら学習したいと考えています。
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。

第５回　**【授業テーマ】**　民法①
【内容・方法　等】　民法総則の中で論点となる部分を重点的に学習します。
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。

第６回　**【授業テーマ】**　民法②
【内容・方法　等】　物権も重要な論点が多いので、基本的な部分をしっかり押さえておきたいと思います。
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。

第７回　**【授業テーマ】**　民法③
【内容・方法　等】　問題演習などをつうじて、債権総論についての理解を深めたいと思います。
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。

第８回　**【授業テーマ】**　民法④
【内容・方法　等】　債権各論を更に勉強します。
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。

第９回　**【授業テーマ】**　民法⑤
【内容・方法　等】　債権各論の理解を深めます。
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。

第10回　**【授業テーマ】**　民法⑥
【内容・方法　等】　親族・相続分野は、択一では頻出ですので、具体的な問題演習をつうじて理解を深めたいと思っています。
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。

第11回　**【授業テーマ】**　行政法①
【内容・方法　等】　問題演習を通じて、行政法総論を学習します。
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。

第12回　**【授業テーマ】**　行政法②
【内容・方法　等】　問題演習を通じて、行政作用法を学習します。
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。

第13回　**【授業テーマ】**　行政法③
【内容・方法　等】　問題演習を通じて、行政救済法を学習します。
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。

第14回　**【授業テーマ】**　その他の実定法
刑法、民事訴訟法、刑事訴訟法など
【内容・方法　等】　憲法、民法、行政法以外で試験に関連する科目
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。

第15回　**【授業テーマ】**　授業全体のまとめ
【内容・方法　等】　これまでの講義で学習してきた問題を復習したり、あまり触れられなかった問題を補足したいと考えています。
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。

評価方法（基準）

授業中に実施する確認テストおよび期末試験の点数によって、総合的に評価します（詳細は初回の講義で説明します）。毎回の出席が前提ですので、無断欠席が一定回数を超えた場合、単位取得を認めません。

教材等

教科書…現時点では未定ですが、必要なテキストを購入してもらう予定です。5,000～10,000円程度の負担を見ていてください。

参考書…授業内容に応じて、授業中に適宜指示・紹介します。

学生へのメッセージ

この講義では、法政キャリア特別講義Ⅳ、同Ⅵ（松島・前田担当分）と連続した形で、公務員試験や法科大学院（ロー・スクール）入学試験の対策を行いたいと考えています。また、行政書士など資格試験の対策も考えております。具体的な講義内容については、受講生の皆さんの要望にできる限り応じられるようにしたいと考えています。

関連科目

直接的には、法政キャリア特別講義Ⅱ～Ⅳ、同Ⅵ（松島・前田担当分）と関連しますが、憲法、民法、行政法など実定法の科目とも関連しています。

担当者の研究室等

11号館9階　松島講師室

備考

この法政キャリア特別講義Ⅴ（松島・前田担当分）は特別履修とし、定員の上限を15名程度としています。詳細は、法政キャリア特別講義Ⅳ（松島・前田担当分）のシラバスを参照してください。

法政キャリア特別講義Ⅴ

Special Classes for Law and Polititcs V

大　仲　淳　介（オオナカ　アツヨシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	O	後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

ある問題に対する自分の意見を読み手に納得させる文章を書くためには文章の形式だけでなく内容も問題になります。なぜならば仮にいくら納得させる書き方をしても書かれている内容が薄いものであれば、誰も自分に同調してくれるはずがないからです。そこで、この講義では、内容に重点を置き、重要と思われる課題を取り上げてそれを説明し、小論文を作成してもらいます。そして、納得させる文章の知識をいっそう深めることを目指します。

授業方法と留意点

授業は講義方式と演習方式を併用します。プリントを配付します。

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　113　2014/10/14　17:50:47

配付したプリントは必ず持参して下さい。

科目学習の効果（資格）

警察官、消防士、市役所などの公務員試験に役立ちます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** 法的思考が読み取れる文章とは？（その１）
【内容・方法　等】 課題の解釈と出題の意図など
【事前・事後学習課題】 原則として事後学習を重視する。

第２回 **【授業テーマ】** 法的思考が読み取れる文章とは？（その２）
【内容・方法　等】 三段落構成の各段落の役割と書き方など
【事前・事後学習課題】 授業中に指示する。

第３回 **【授業テーマ】** 法的思考が読み取れる文章とは？（その３）
【内容・方法　等】 四段落構成の各段落の役割と書き方など
【事前・事後学習課題】 授業中に指示する。

第４回 **【授業テーマ】** 法的思考が読み取れる文章とは？（その４）
【内容・方法　等】 よりわかり易い構成、論理の飛躍など
【事前・事後学習課題】 授業中に指示する。

第５回 **【授業テーマ】** 法的思考が読み取れる文章の内容１
【内容・方法　等】 「情報化」を課題として、その課題の意図及び意義についての説明と知識の確認
【事前・事後学習課題】 授業中に指示する。

第６回 **【授業テーマ】** 法的思考が読み取れる文章の内容２
【内容・方法　等】 「情報化」を課題とする小論文の作成
【事前・事後学習課題】 授業中に指示する。

第７回 **【授業テーマ】** 法的思考が読み取れる文章の内容３
【内容・方法　等】 「国際化」を課題として、その課題の意図及び意義についての説明と知識の確認
【事前・事後学習課題】 第６回提出の小論文を再考する。

第８回 **【授業テーマ】** 法的思考が読み取れる文章の内容４
【内容・方法　等】 「国際化」を課題とする小論文の作成
【事前・事後学習課題】 授業中に指示する。

第９回 **【授業テーマ】** 法的思考が読み取れる文章の内容５
【内容・方法　等】 「防災対策」を課題として、その課題の意図及び意義についての説明と知識の確認
【事前・事後学習課題】 第８回提出の小論文を再考する。

第10回 **【授業テーマ】** 法的思考が読み取れる文章の内容６
【内容・方法　等】 「防災対策」を課題とする小論文の作成
【事前・事後学習課題】 授業中に指示する。

第11回 **【授業テーマ】** 法的思考が読み取れる文章の内容７
【内容・方法　等】 「地方分権」を課題として、その課題の意図及び意義についての説明と知識の確認
【事前・事後学習課題】 第10回提出の小論文を再考する。

第12回 **【授業テーマ】** 法的思考が読み取れる文章の内容８
【内容・方法　等】 「地方分権」を課題とする小論文の作成
【事前・事後学習課題】 授業中に指示する。

第13回 **【授業テーマ】** 法的思考が読み取れる文章の内容９
【内容・方法　等】 「少年犯罪」を課題として、その課題の意図及び意義についての説明と知識の確認
【事前・事後学習課題】 第12回提出の小論文を再考する。

第14回 **【授業テーマ】** 法的思考が読み取れる文章の内容１０
【内容・方法　等】 「少年犯罪」を課題とする小論文の作成
【事前・事後学習課題】 授業中に指示する。

第15回 **【授業テーマ】** まとめ
【内容・方法　等】 法的思考が読み取れる文章のまとめ
【事前・事後学習課題】 第14回提出の小論文を再考する。

評価方法（基準）

授業中に作成する小論文と、最後に提出を求める「課題小論文」で評価します。

教材等

教科書…資料を配付します。
参考書…授業中に、適宜、紹介します。

学生へのメッセージ

できる限り個別に対応します。また授業中に生じた疑問は必ず質問してください。

関連科目

法政キャリア特別講義Ⅳ

担当者の研究室等

11号館5階　法学部資料室（法学部非常勤講師室）

法政キャリア特別講義Ⅴ

Special Classes for Law and Politics V

牛　丸　與志夫（ウシマル　ヨシオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	K	後期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

企業が違法な行為を行うと、損害賠償請求を受けたり、行政処分を課せられたり、刑事罰が課されるばかりでなく、社会から大きな非難を受け、企業の存立の危機にさらされおそれもある。そこで、ビジネスパーソンとして、十分な法的素養を得ることが求められる。本講義は、中堅ビジネスパーソンが習得することが求められる法的知識を得ることを目的としている。

授業方法と留意点

本講義は、受講者がビジネス実務法務検定試験の２級の合格を目指しているので、教科書に従って行う授業と毎回の復習テストによって行う。

科目学習の効果（資格）

ビジネス実務法務検定試験の２級の合格により、就職活動が有利になる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** ビジネス法務の実務
【内容・方法　等】 ビジネス実務法務とは、企業を取り巻くリスクとビジネス実務法務、企業活動とコンプライアンス・企業倫理
【事前・事後学習課題】 教科書２ページ～２４ページ

第２回 **【授業テーマ】** 取引を行う主体（１）
【内容・方法　等】 株式会社のしくみ
【事前・事後学習課題】 教科書２５ページ～９１ページ

第３回 **【授業テーマ】** 取引を行う主体（２）
【内容・方法　等】 株式会社の運営
【事前・事後学習課題】 教科書９２ページ～１２８ページ

第４回 **【授業テーマ】** 会社取引の法務（１）
【内容・方法　等】 ビジネスに関する法律関係
【事前・事後学習課題】 教科書１２０ページ～１７０ページ

第５回 **【授業テーマ】** 会社取引の法務（２）
会社財産の管理・活用と法律（１）
【内容・方法　等】 損害賠償に関する法律関係
流動資産の運用・管理の法的側面
固定資産の管理と法律
【事前・事後学習課題】 教科書１７１ページ～１９９ページ

第６回 **【授業テーマ】** 会社財産の管理・活用と法律（２）
【内容・方法　等】 知的財産権の管理と活用、賃借物件の管理
【事前・事後学習課題】 教科書２００ページ～２４７ページ

第７回 **【授業テーマ】** 債権の管理と回収（１）
【内容・方法　等】 債権の担保
【事前・事後学習課題】 教科書２５０ページ～２７８ページ

第８回 **【授業テーマ】** 債権の管理と回収（１）
債権の管理と回収（２）
【内容・方法　等】 緊急時の債権回収
債務者の倒産に対応するための処理手続
【事前・事後学習課題】 教科書２７９ージ～３３８ページ

第９回 **【授業テーマ】** 企業活動に関する法規制（１）
【内容・方法　等】 経済関連法規
【事前・事後学習課題】 教科書３３９ページ～３７２ページ

第10回 **【授業テーマ】** 企業活動に関する法規制（２）
【内容・方法　等】 消費者保護関連の規制、
【事前・事後学習課題】 教科書３７３ページ～４１８ページ

第11回 **【授業テーマ】** 企業活動に関する法規制（３）
【内容・方法　等】 情報化社会にかかわる法律
【事前・事後学習課題】 教科書４１３ページ～４２７ページ

第12回 **【授業テーマ】** 企業活動に関する法規制（３）
会社と従業員の関係
【内容・方法　等】 事業関連規制
労働組合と使用者との関係、社会保険等
【事前・事後学習課題】 教科書４２８ページ～４８２ページ

第13回 **【授業テーマ】** 紛争の解決方法
【内容・方法　等】 紛争の予防方法、民事訴訟法手続、その他の紛争の解決方法
【事前・事後学習課題】 教科書４８４ページ～５２４ページ

第14回 **【授業テーマ】** 国際法務（渉外法務）
【内容・方法　等】 国際取引に関する法的諸問題と対応のポイント、国際取引における契約作成上の諸問題、国際取引に関する個別の法的諸問題、WTOと国際通商問題
【事前・事後学習課題】 教科書５２６ページ～５８１ページ

第15回 **【授業テーマ】** 模擬テスト
【内容・方法　等】 これまでの授業を総括するために、総まとめのためのテストを実施する。
【事前・事後学習課題】 教科書全体

評価方法（基準）

第１５回目の授業で実施するテストを６０％とし、授業中に実施する小テストを４０％とします。

教材等

教科書…東京商工会議所編「ビジネス実務法務検定試験２級公式テキスト」東京商工会議所検定センター発行・発売元中央経済社
参考書…授業中に指示する。

学生へのメッセージ

ビジネス実務法務検定試験の２級の合格という明確な学習目標ができ、勉強の励みになる。学習によって、中堅ビジネスパーソンが修得することが求められる法的知識を得ることができ、しかも、それを商工会議所が証明してくれたことになり、自信を持って企業人として社会で活動できる。
学習範囲が広いので、焦らず、辛抱強く、取り組んでください。

関連科目

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　114　2014/10/14　17:50:47

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「就職実践基礎」
法政キャリア特別講義Ⅳ

担当者の研究室等
11号館9階　牛丸教授室

法政キャリア特別講義ＶＩ
Special Classes for Law and Politics VI

松　島　裕　一（マツシマ　ユウイチ）
前　田　剛　志（マエダ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4	L	前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
この法政キャリア特別講義VIの講義では、法政キャリア特別講義II～Vと同様に公務員試験や法科大学院（ロー・スクール）入試などに向けた実践的な知識の習得を目的にしています。直前期にあたることになりますので、短期間で集中的に知識の獲得を目指します。受講生の要望を随時受け入れます。

授業方法と留意点
講義は、論点についての解説講義及び問題演習を中心に行う予定です。関連する事項については、適宜レジュメを配布します。また、回数が限られていますので、必然的に重要な部分を集中的に論じることになり、少ししか触れられない部分もでてくるかと思います。したがって、自学自習で補っていく必要があり、かなりの程度の予習復習を求めることになります。また、授業内容も受講生の要望や問題の重要性、授業の進展などに応じて臨機応変に変更する予定です。

科目学習の効果（資格）
公務員試験や法科大学院（ロー・スクール）入試の合格を目指す学習の一助になればと考えています。また、行政書士や法学検定試験などに役立つ知識の獲得にも対応できるよう考えています。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　講義の全体像：ガイダンス
【内容・方法　等】　授業の進め方や全体像、試験対策に向けての一般的心構えなどの概説を行います。
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。

第２回　【授業テーマ】　憲法①
【内容・方法　等】　精神的自由
思想良心の自由、表現の自由、信教の自由、集会・結社の自由など
特に、違憲審査基準の理解
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。

第３回　【授業テーマ】　憲法②
【内容・方法　等】　その他の人権
経済的自由、幸福追求権、平等権、社会権など
特に、違憲審査基準の理解（精神的自由との比較）
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。

第４回　【授業テーマ】　憲法③
【内容・方法　等】　統治機構
国会、内閣、裁判所、財政・地方自治、憲法保障など
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。

第５回　【授業テーマ】　民法①
【内容・方法　等】　民法総則
意思表示、代理、時効など
特に、心裡留保・虚偽表示・錯誤、表見代理
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。

第６回　【授業テーマ】　民法②
【内容・方法　等】　物権
占有権、所有権、用益物権、担保物権など
特に民法１７７条、抵当権
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。

第７回　【授業テーマ】　民法③
【内容・方法　等】　債権総論
債務不履行、責任財産の保全、多数当事者の債権・債務関係、債権譲渡、債権の消滅など
特に、４１５条・４１６条、債権者代位権・詐害行為取消権
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。

第８回　【授業テーマ】　民法④
【内容・方法　等】　債権各論①
契約の成立、契約の効力、契約各論①など
特に、解除、売買
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。

第９回　【授業テーマ】　民法⑤
【内容・方法　等】　債権各論②
契約各論②、事務管理・不当利得・不法行為など
特に、賃貸借、不法行為
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。

第10回　【授業テーマ】　民法⑥
【内容・方法　等】　親族・相続
婚姻、親子、相続など
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。

第11回　【授業テーマ】　行政法①
【内容・方法　等】　行政法総論、行政組織法など
法律による行政の原理、行政主体、地方自治など
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。

第12回　【授業テーマ】　行政法②
【内容・方法　等】　行政作用法
行政行為、行政上の強制手段、行政指導、行政手続など
特に、行政行為の種類
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。

第13回　【授業テーマ】　行政法③
【内容・方法　等】　行政救済法
行政不服申立て、行政事件訴訟、国家賠償、損失補償など
特に、取消訴訟
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。

第14回　【授業テーマ】　その他の実定法
刑法、民事訴訟法、刑事訴訟法など
【内容・方法　等】　憲法、民法、行政法以外で試験に関連する科目
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。

第15回　【授業テーマ】　授業全体のまとめ
【内容・方法　等】　これまでの講義で学習してきた問題を復習したり、あまり触れられなかった問題を補足したいと考えています。
【事前・事後学習課題】　授業中に指示します。

評価方法（基準）
授業中に実施する確認テストの点数などによって、総合的に評価します（期末試験は実施しません）。毎回の出席が前提ですので、無断欠席が一定回数を超えた場合、単位取得を認めません。

教材等
教科書…現時点では未定ですが、必要なテキストを購入してもらう予定です。5,000～10,000円程度の負担を見ていてください。
参考書…授業内容に応じて、授業中に適宜指示・紹介します。

学生へのメッセージ
この講義では、法政キャリア特別講義II～V（松島・前田担当分）と連続した形で、公務員試験や法科大学院（ロー・スクール）入学試験の対策を行いたいと考えています。また、行政書士など資格試験の対策も考えております。直前期にあたるため、受講生の皆さんの具体的な要望にできる限り応じられるようにしたいと考えています。

関連科目
直接的には、法政キャリア特別講義II～V（松島・前田担当分）と関連しますが、憲法、民法、行政法など実定法の科目とも関連しています。

担当者の研究室等
11号館9階　松島講師室

備考
法政キャリア特別講義VI（松島・前田担当分）は特別履修とし、定員の上限を15名程度にします。履修生の選抜に当たっては、事前に選抜テストを実施します。授業内容、履修方法、選抜テストなどについて分からない点がある学生は、法学部事務室および担当教員（松島）に遠慮なく質問してください。

法律職・公務員特別講義Ⅰ
Special Lecture for studesnt aspiring to julists I

木　村　秀　一（キムラ　ヒデカズ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	K	前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
ビジネス法務への入門講義である。現代のビジネスパーソンにはコンプライアンス（法令遵守）が厳しく要求されている。企業はその要求に応えられる人材を求めている。そこで、企業に就職を希望する学生が入社後役立つようなビジネスに関わる種々の法律知識を総合的に教授する。その範囲を絞るのはむつかしいが、初心者向けの参考になるのがビジネス実務法務検定試験３級の出題範囲であり、その範囲に合わせて授業を行うこととする。この試験はビジネス法務を体系的・効率的に学ぶことができるように工夫されているからである（東京商工会議所試験情報HP参照）。

授業方法と留意点
20人の定員制とする。民法・商法・会社法・労働法・独禁法・知的財産法を履修済みか将来履修を予定している学生の受講を求める。
本講義はビジネス実務法務検定試験３級取得に役立つような内

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　115　2014/10/14　17:50:48

容になっているが、その資格取得のための授業ではないので、同試験に合格するためには、授業以外での十分な学習が必要であることに留意してほしい。

科目学習の効果（資格）

ビジネス実務法務検定試験３級の問題に対処する基礎となる初歩的知識を養うことができる。ちなみに、同試験に合格すれば「ビジネス法務リーダー」の称号があたえらる。また、この検定を推奨したり、採用や社内評価の参考にする企業が増えているといわれる（東京商工会議所試験情報HP参照）。HPをみれば、この試験に関わる有名大企業がずらりと並んでいる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** ビジネス法務の重要性とビジネス実務法務検定試験３級取得の意義
【内容・方法　等】 コンプライアンスの重要性とビジネス法務に関わる法律の概要
【事前・事後学習課題】 特になし

第２回 **【授業テーマ】** ビジネスに関係する法律の基礎
【内容・方法　等】 近代私法の基本原則・権利とは何か
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、基本事項を頭にたたき込むこと

第３回 **【授業テーマ】** 取引・権利義務の主体
【内容・方法　等】 自然人・法人・会社・会社の種類
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、基本事項を頭にたたき込むこと

第４回 **【授業テーマ】** 会社（法人）取引の法律
【内容・方法　等】 取引による債権債務・ビジネス文書の作成と管理
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、基本事項を頭にたたき込むこと

第５回 **【授業テーマ】** 取引の決済方法１
【内容・方法　等】 手形
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、基本事項を頭にたたき込むこと

第６回 **【授業テーマ】** 取引の決済方法２
【内容・方法　等】 小切手・電子記録債権法
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、基本事項を頭にたたき込むこと

第７回 **【授業テーマ】** 取引によらない債権債務１
【内容・方法　等】 事務管理・不当利得
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、基本事項を頭にたたき込むこと

第８回 **【授業テーマ】** 取引によらない債権債務２
【内容・方法　等】 不法行為
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、基本事項を頭にたたき込むこと

第９回 **【授業テーマ】** 会社（法人）の財産管理
【内容・方法　等】 財産の取得と法律・知的財産権
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、基本事項を頭にたたき込むこと

第10回 **【授業テーマ】** 債権の管理・回収１
【内容・方法　等】 債権管理
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、基本事項を頭にたたき込むこと

第11回 **【授業テーマ】** 債権の管理・回収２
【内容・方法　等】 債権の担保・緊急時の債権回収
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、基本事項を頭にたたき込むこと

第12回 **【授業テーマ】** 会社（企業）活動に対する法規制１
【内容・方法　等】 独占禁止法・製造物責任法・消費者法など
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、基本事項を頭にたたき込むこと

第13回 **【授業テーマ】** 会社（企業）活動に対する法規制２
【内容・方法　等】 ビジネスに関連する犯罪
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、基本事項を頭にたたき込むこと

第14回 **【授業テーマ】** 会社（法人）と従業員の雇用関係等に関する法律
【内容・方法　等】 雇用関係と法律・男女雇用機会均等法・派遣と法律
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、基本事項を頭にたたき込むこと

第15回 **【授業テーマ】** 授業の総括・重要ポイントのまとめ
【内容・方法　等】 授業の理解の程度を確認し、全体総括を行う・とくに間違えやすい重要ポイントの復習
【事前・事後学習課題】 これまでの授業内容を体系立てて復習する

評価方法（基準）

授業中の態度、理解度などを総合的に判断して評価する。

教材等

教科書…指定なし
参考書…指定なし

学生へのメッセージ

ビジネス実務法務検定３級合格を目指すためには、本講義だけでは不十分です。専門的な法律科目の講義をまじめに受講し、十分な自習時間を取る必要があることを、くれぐれもお忘れなきように！

関連科目

民法・商法・会社法・労働法・独禁法・知的財産法

担当者の研究室等

11号館10階　木村教授室

備考

ビジネス実務法務検定には１級・２級もあり、２級を取得すれば「ビジネス法務エキスパート」、１級を取得すれば「ビジネス法務エグゼクティブ」の称号が与えられ、３級も含めて、それらの称号は名刺に記載できるといわれている。

法律職・公務員特別講義 II

Special Lecture for students aspiring to julists II

金　谷　重　樹（カナタニ　シゲキ）
大　川　謙　蔵（オオカワ　ケンゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	L	前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標

本講義は宅建（宅地建物取引主任者資格試験）に出題される分野を扱い、その合格を目指すものです。宅地や建物などの取引を行う際に、重要事項の説明を行うなど、不動産の取引を行う会社などでは必置とされます。試験は、宅地建物取引業に関する実用的な知識を有するかどうかを判定することに基準が置かれています。

試験の内容は大きく分けて、権利関係に関する分野、宅建業法に関する分野、法令上の制限に関する分野、鑑定・需給・取引実務・税などの分野に分かれます。

本講義は15回しかないことから、細かな点に入りきれません。それゆえ、個人での勉強が不可欠になることにご理解ください。

授業方法と留意点

講義は授業中に配付するテキストやプリントに基づいて実施します。

基本的には過去問題を講義中に解答してもらい、その解答方法の講義・解説を行う予定です。

ただし、場合に応じて変更もありますので、その際には指示をします。その点につきご了承ください。

科目学習の効果（資格）

宅地建物取引主任者資格試験

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** ガイダンス
権利関係（１）
【内容・方法　等】 民法総則の内容①
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する。

第２回 **【授業テーマ】** 権利関係（２）
【内容・方法　等】 民法総則の内容②
物権総論の内容
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する。

第３回 **【授業テーマ】** 権利関係（３）
【内容・方法　等】 担保物権の内容
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する。

第４回 **【授業テーマ】** 権利関係（４）
【内容・方法　等】 債権総論の内容
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する。

第５回 **【授業テーマ】** 権利関係（５）
【内容・方法　等】 債権各論の内容
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する。

第６回 **【授業テーマ】** 権利関係（６）
【内容・方法　等】 家族法の内容
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する。

第７回 **【授業テーマ】** 権利関係（７）
【内容・方法　等】 借地借家法・不動産登記法の内容
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する。

第８回 **【授業テーマ】** 権利関係（８）
【内容・方法　等】 区分所有法の内容
権利関係に関する復習
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する。

第９回 **【授業テーマ】** 宅建業法（１）
【内容・方法　等】 宅地建物取引業等
業務に関する規制
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する。

第10回 **【授業テーマ】** 宅建業法（２）
【内容・方法　等】 業者としての制限内容
報酬・特定住宅瑕疵担保履行法など
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する。

第11回 **【授業テーマ】** 法令上の制限（１）
【内容・方法　等】 都市計画法など
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する。

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　116　2014/10/14　17:50:48

第12回 【授業テーマ】 法令上の制限（2）
【内容・方法　等】 建築基準法など
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する。
第13回 【授業テーマ】 法令上の制限（3）
【内容・方法　等】 その他の法令上の制限
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する。
第14回 【授業テーマ】 鑑定・需給・取引実務・税など（1）
【内容・方法　等】 鑑定・地公法など
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する。
第15回 【授業テーマ】 鑑定・需給・取引実務・税など（2）
【内容・方法　等】 税に関する内容
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する。

評価方法（基準）
定期試験、提出物、各講義での取り組み（小テストなど）から評価します。
変更もあり得ますので、詳細は初回の講義において指摘します。
無断欠席・遅刻、授業中の私語等は、そもそも単位不認定と理解してください。

教材等
教科書…授業中にプリント等を配付を予定。
なお、個人で、宅建に関する参考書や問題集を手に入れること。自分にあった者であれば何でも構わない。
参考書…講義時に指示する。

学生へのメッセージ
宅建試験は講義で扱う法律科目が中心となります。それ以外にも、講義では直接扱わないような分野も出題されますが、必要とされる部分を中心に勉強を行うことで、合格できる試験です。
もちろん、予習・復習など、自己の努力が必要であることに変わりはありません。

関連科目
民法全般、行政法、税法など

担当者の研究室等
11号館9階　金谷教授室
11号館9階　大川講師室

法律職・公務員特別講義III
Special Lecture for students aspiring to julists III

松　島　裕　一（マツシマ　ユウイチ）
前　田　剛　志（マエダ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4	L	前期	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
この法政キャリア特別講義IIIの講義では、同IIに引き続き公務員試験や法科大学院（ロー・スクール）入試などに向けた基礎的な知識の習得を目的にしています。受講生の皆さんが試験に合格するため、少しでもお役に立てるよう、受講生の要望を聞き入れながら、一緒に頑張っていければと考えています。

授業方法と留意点
講義は、論点についての解説講義及び問題演習を中心に行う予定です。関連する事項については、適宜レジュメを配布します。また、回数が限られていますので、必然的に重要な部分を集中的に論じることになり、少ししか触れられない部分もでてくるかと思います。したがって、自学自習で補っていく必要があり、かなりの程度の予習復習を求めることになります。また、授業内容も受講生の要望や問題の重要性、授業の進展などに応じて臨機応変に変更する予定です。

科目学習の効果（資格）
公務員試験や法科大学院（ロー・スクール）入試の合格を目指す学習の一助になればと考えています。また、行政書士や法学検定試験などに役立つ知識の獲得にも対応できるよう考えています。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 講義の全体像：ガイダンス
【内容・方法　等】 授業の進め方や全体像、試験対策に向けての一般的心構えなどの概説を行います。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。
第２回 【授業テーマ】 憲法①
【内容・方法　等】 憲法の人権の中でも重要な位置を占める精神的自由についての基本を学びます。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。
第３回 【授業テーマ】 憲法②
【内容・方法　等】 憲法には、精神的自由以外にも様々な人権があります。それらの概要を学びます。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。
第４回 【授業テーマ】 憲法③
【内容・方法　等】 憲法には、大きく分けて人権分野と統治分野からなります。国会、内閣、裁判所などの統治機構についての基本を学習します。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。
第５回 【授業テーマ】 民法①
【内容・方法　等】 私人間の関係を規律する民法についての学習をはじめます。まずは、権利の主体や法律行為などを定めている民法総則から学習します。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。
第６回 【授業テーマ】 民法②
【内容・方法　等】 物を直接的・排他的に支配する権利であるといわれる物権について学習します。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。
第７回 【授業テーマ】 民法③
【内容・方法　等】 特定人から特定人に対して一定の財産上の行為を請求できるという債権について学びます。まずは、債権総論からはじめます。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。
第８回 【授業テーマ】 民法④
【内容・方法　等】 債権各論といわれる分野を学習します。契約がどのようにして成立するのか、契約の効力はどのようなものがあるかなどを学びます。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。
第９回 【授業テーマ】 民法⑤
【内容・方法　等】 ここでは、具体的な契約の種類や事務管理・不当利得・不法行為などを学習します。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。
第10回 【授業テーマ】 民法⑥
【内容・方法　等】 民法は、経済的生活関係だけではなく、身分的生活関係も規律しています。婚姻、親子、相続などを学習します。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。
第11回 【授業テーマ】 行政法①
【内容・方法　等】 行政に関する法は、様々な名称と内容を持った多くの法律があります。そうした行政法を学びます。最初は、行政法の全体像や基本原理を学習します（行政法総論）。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。
第12回 【授業テーマ】 行政法②
【内容・方法　等】 行政主体が「どのような」活動をするのかという視点を学習します（行政作用法）。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。
第13回 【授業テーマ】 行政法③
【内容・方法　等】 行政法の中でも特に重要な行政救済法について学習します。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。
第14回 【授業テーマ】 その他の実定法
【内容・方法　等】 刑法、民事訴訟法、刑事訴訟法など
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。
第15回 【授業テーマ】 授業全体のまとめ
【内容・方法　等】 これまでの講義で学習してきた問題を復習したり、あまり触れられなかった問題を補足したいと考えています。
【事前・事後学習課題】 授業中に指示します。

評価方法（基準）
授業中に実施する確認テストおよび期末試験の点数によって、総合的に評価します（詳細は初回の講義で説明します）。毎回の出席が前提ですので、無断欠席が一定回数を超えた場合、単位取得を認めません。

教材等
教科書…現時点では未定ですが、必要なテキストを購入してもらう予定です。5,000～10,000円程度の負担を見ていてください。
参考書…授業内容に応じて、授業中に適宜指示・紹介します。

学生へのメッセージ
この講義では、法政キャリア特別講義IV・V、同VI（松島・前田担当分）と連続した形で、公務員試験や法科大学院（ロー・スクール）入学試験の対策を行いたいと考えています。また、行政書士など資格試験の対策も考えております。具体的な講義内容については、受講生の皆さんの要望にできる限り応じられるようにしたいと考えています。

関連科目
直接的には、法政キャリア特別講義Ⅱ、Ⅳ～VI（松島・前田担当分）と関連しますが、憲法、民法、行政法など実定法の科目とも関連しています。

担当者の研究室等
11号館9階　松島講師室

備考
この法政キャリア特別講義III（松島・前田担当分）は特別履修とし、定員の上限を20名程度としています。詳細は、法政キャリア特別講義II（松島・前田担当分）のシラバスを参照してください。

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　117　2014/10/14　17:50:48

法学基礎演習Ⅰ
Primary Seminar Ⅰ

小　山　　昇（コヤマ　ノボル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

法学基礎演習Ⅰ・Ⅱは、主として,
（1）法学部における勉学のためのガイダンスをおこなうこと、（2）法学部生として身につけるべき基本的能力をひきだして訓練するとともに、これからの法学部生活をおくるにあたって学習意欲を高めること、（3）有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすること、が目的となります。
法学基礎演習Ⅰでは、学部全体で実施している図書館の利用方法、文献の利用のしかた、情報処理室の利用指導、Ｅメールを始めとした情報検索講習会のほか、法律を勉強していくうえで必要な基礎的知識として、「法律と言葉」を主なテーマとして検討します。

授業方法と留意点

「法律と言葉」の理解については、原則として、問題を設定しそれを問答形式で進めます。双方向性を重視しますから、積極的な発言を求めます。最後に、この演習の成績評価とする課題レポートを課します。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

1．学部共通の図書館利用指導、情報処理室指導
2．フレッシュマンズ・スタディガイドを使った指導
3．ＩＴを使った法令・判例の入手方法の指導
4．六法の使い方、読み方の指導
5．法律を学ぶ基礎として必要な「法律と言葉」について問題とその検討

評価方法・評価基準

出席を重視するとともに、ゼミでの討論参加と発言状況及び課題レポートを総合して評価します。

教材等

教科書…直接に必要な資料は配付します。
参考書…「トピックからはじめる法学」編集委員会編『トピックからはじめる法学』成文堂(2,500円＋税)

備考

【学生へのメッセージ】
ゼミで出会う仲間は、今後のみなさんの学生生活にとって大切な友人となることが多いようです。話をするなど、まずは、挨拶と声をかけることから始めて下さい。

法学基礎演習Ⅰ
Primary Seminar Ⅰ

金　谷　重　樹（カナタニ　シゲキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

1．これから４年間、大学生活を送り、法を学んでいく上で必要な事項について説明します。
2．法の基礎について平易に説明します。
3．２年生から本格的に法を学ぶための基礎を培います。

授業方法と留意点

1．ニュースを素材にして、その内容を法的に考えてみます。
2．各自に、最近のニュースを取り上げ、その内容を発表してもらいます。
3．ニュースの内容を法的に捉えるよう、努力してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

1．毎回、２人から３人程度に発表してもらいます。
2．必ず、日々にニュースに接し、発表する内容を考えておいて下さい。

評価方法・評価基準

出席、報告内容及び討論への積極性を重視し、平常点により評価します。

教材等

教科書…適宜指示します。
参考書…適宜指示します。

備考

【学生へのメッセージ】
法学基礎演習の担当教員は、みなさんのクラス担任です。学生生活で悩みがあったり、勉強方法がわからないときには、気軽に相談してください。また、演習で出会う仲間は、今後のみなさんの学生生活にとって大切な最初の友人となるでしょう。どうぞ、良好な友人関係を築いて、楽しい学生生活のスタートをきってください。

法学基礎演習Ⅰ
Primary Seminar Ⅰ

牛　丸　與志夫（ウシマル　ヨシオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

法学基礎演習Ⅰ・Ⅱの目的は、主として３つあります。（1）法学部における勉学のためのガイダンスをおこなうこと、（2）法学部生として身につけるべき基本的能力をひきだして訓練するとともに、これからの法学部生活をおくるにあたって学習意欲を高めること、（3）有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることです。
（1）ガイダンスでは、①図書館の利用方法、②六法や法学参考文献の利用のしかた、③法学専門講義の履修についての心構え、④パソコンの使い方（とくに法学部生として必要な使い方）、⑤その他、学生生活に必要な事項に関する助言・指導を行います。
（2）法学部生として身につけるべき基本的な能力とは、なによりも「読む・書く・話す」能力、すなわち、「論理的思考力」と「論理的表現力」です。文献の要点を的確に理解し、明快な文章を書き、自分の見解を堂々と述べることは、なかなか大変なことです。けれども、この法学部の4年間を意欲的にすごせば、みなさんもかならずそれを修得することができます。法学基礎演習は、論理的思考力を訓練する第一歩なのです。授業では、担当教員の持ち味を生かしたさまざまな企画がなされます。たとえば、①新聞やニュース記事を読んで、現代社会の動きに関心を高める、②みなさんが関心をもっていることがらについて議論する、③法学や政治学への関心を高めるような文献を読んで討論する、④ディベートをおこなう、⑤裁判所見学など学外研修を実施するなどです。みなさんの学習意欲を高めるため、今後とも工夫を重ねる予定ですので、どんどん希望を言ってください。できるかぎり、希望にそうよう努力します。
（3）学生生活支援とは、みなさんの学生生活上の悩みや不満に対して担当教員がきめ細かに対応するということです。また、みなさんの将来の進路選択に有益なさまざまな助言活動も行います。たとえば、①公務員試験対策、②税理士や裁判所職員などの法律専門職、③就職への心構え、④大学院進学、⑤海外留学など、早い段階から準備をしたほうがよいことがらについて相談にのり、適切なアドバイスを与えます。
以上のように、法学基礎演習は、少人数教育の強みを生かし、教員が学生のみなさんに親身に接するなかで、個々の希望にできるだけ対応しながら、今後4年間にわたって実りある法学部生活をおくってもらうための道筋を示すことをめざしています。

授業方法と留意点

演習は、出席重視です。毎回、かならず出席して、無断欠席・無断遅刻は慎んでください。やむをえず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に教員まで連絡してください。法学基礎演習にかぎらず、学生生活全般にわたる質問や疑問でも、随時受け付けますので、気軽に相談してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

法学の基礎を習得する。

評価方法・評価基準

出席を重視し、平常点により評価します。ただし、欠席・遅刻が多い場合には、法学基礎演習Ⅰ・Ⅱともにレポートを課します。レポート課題の分量は、欠席・遅刻の回数が増えるほど多くなりますので、くれぐれも注意してください。

教材等

教科書…FIRST YEAR STUDY GUIDE、その他、授業中に指示します。
参考書…授業の中で指示する。

備考

【学生へのメッセージ】
法学基礎演習の担当教員は、みなさんのクラス担任です。学生生活で悩みがあったり、勉強方法がわからないときには、気軽に相談してください。また、演習で出会う仲間は、今後のみなさんの学生生活にとって大切な最初の友人となるでしょう。どうぞ、良好な友人関係を築いて、楽しい学生生活のスタートをきってください。

法学基礎演習Ⅰ
Primary Seminar Ⅰ

古　川　行　男（フルカワ　ユキオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

法学基礎演習Ⅰ・Ⅱの目的は、主として３つあります。（1）法学部における勉学のためのガイダンスをおこなうこと、（2）法

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　118　　2014/10/14　17:50:48

学部生として身につけるべき基本的能力をひきだして訓練するとともに、これからの法学部生活をおくるにあたって学習意欲を高めること、（3）有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることです。
（1）ガイダンスでは、①図書館の利用方法、②六法や法学参考文献の利用のしかた、③法学専門講義の履修についての心構え、④パソコンの使い方（とくに法学部生として必要な使い方）、⑤その他、学生生活に必要な事項に関する助言・指導を行います。
（2）法学部生として身につけるべき基本的な能力とは、なによりも「読む・書く・話す」能力、すなわち、「論理的思考力」と「論理的表現力」です。文献の要点を的確に理解し、明快な文章を書き、自分の見解を堂々と述べることは、なかなか大変なことです。けれども、この法学部の4年間を意欲的にすごせば、みなさんもかならずそれを修得することができます。法学基礎演習は、論理的思考力を訓練する第一歩なのです。授業では、担当教員の持ち味を生かしたさまざまな企画がなされます。たとえば、①新聞やニュース記事を読んで、現代社会の動きに関心を高める、②みなさんが関心をもっていることがらについて議論する、③法学や政治学への関心を高めるような文献を読んで討論する、④ディベートをおこなう、⑤裁判所見学など学外研修を実施するなどです。みなさんの学習意欲を高めるため、今後とも工夫を重ねる予定ですので、どんどん希望を言ってください。できるかぎり、希望にそうよう努力します。
（3）学生生活支援とは、みなさんの学生生活上の悩みや不満に対して担当教員がきめ細かに対応するということです。また、みなさんの将来の進路選択に有益なさまざまな助言活動も行います。たとえば、①公務員試験対策、②税理士や裁判所職員などの法律専門職、③就職への心構え、④大学院進学、⑤海外留学など、早い段階から準備をしたほうがよいことがらについて相談にのり、適切なアドバイスを与えます。
以上のように、法学基礎演習は、少人数教育の強みを生かし、教員が学生のみなさんに親身に接するなかで、個々の希望にできるだけ対応しながら、今後4年間にわたって実りある法学部生活をおくってもらうための道筋を示すことをめざしています。

授業方法と留意点

演習は、出席重視です。毎回、かならず出席して、無断欠席・無断遅刻は慎んでください。やむをえず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に教員まで連絡してください。法学基礎演習にかぎらず、学生生活全般にわたる質問や疑問でも、随時受け付けますので、気軽に相談してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

文章を読むことを重視する。

評価方法・評価基準

出席を重視し、平常点により評価します。ただし、欠席・遅刻が多い場合には、法学基礎演習Ⅰ・Ⅱともにレポートを課します。レポート課題の分量は、欠席・遅刻の回数が増えるほど多くなりますので、くれぐれも注意してください。

教材等

教科書…新聞・雑誌の記事について報告したり、議論して自分の考えをまとめ、人に伝えることを目指します。これによって、友人を増やしましょう。
参考書…授業において、適時、指示する。

備考

【学生へのメッセージ】
法学基礎演習の担当教員は、みなさんのクラス担任です。学生生活で悩みがあったり、勉強方法がわからないときには、気軽に相談してください。また、演習で出会う仲間は、今後のみなさんの学生生活にとって大切な最初の友人となるでしょう。どうぞ、良好な友人関係を築いて、楽しい学生生活のスタートをきってください。

法学基礎演習Ⅰ
Primary Seminar Ⅰ

樫　原　義比古（カシハラ　ヨシヒコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

法学基礎演習Ⅰ・Ⅱの目的は、主として3つあります。（1）法学部における勉学のためのガイダンスをおこなうこと、（2）法学部生として身につけるべき基本的能力をひきだして訓練するとともに、これからの法学部生活をおくるにあたって学習意欲を高めること、（3）有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることです。
（1）ガイダンスでは、①図書館の利用方法、②六法や法学参考文献の利用のしかた、③法学専門講義の履修についての心構え、④パソコンの使い方（とくに法学部生として必要な使い方）、⑤その他、学生生活に必要な事項に関する助言・指導を行います。
（2）法学部生として身につけるべき基本的な能力とは、なによりも「読む・書く・話す」能力、すなわち、「論理的思考力」と「論理的表現力」です。文献の要点を的確に理解し、明快な文章を書き、自分の見解を堂々と述べることは、なかなか大変なことです。けれども、この法学部の4年間を意欲的にすごせば、みなさんもかならずそれを修得することができます。法学基礎演習は、論理的思考力を訓練する第一歩なのです。授業では、担当教員の持ち味を生かしたさまざまな企画がなされます。たとえば、①新聞やニュース記事を読んで、現代社会の動きに関心を高める、②みなさんが関心をもっていることがらについて議論する、③法学や政治学への関心を高めるような文献を読んで討論する、④ディベートをおこなう、⑤裁判所見学など学外研修を実施するなどです。みなさんの学習意欲を高めるため、今後とも工夫を重ねる予定ですので、どんどん希望を言ってください。できるかぎり、希望にそうよう努力します。
（3）学生生活支援とは、みなさんの学生生活上の悩みや不満に対して担当教員がきめ細かに対応するということです。また、みなさんの将来の進路選択に有益なさまざまな助言活動も行います。たとえば、①公務員試験対策、②税理士や裁判所職員などの法律専門職、③就職への心構え、④大学院進学、⑤海外留学など、早い段階から準備をしたほうがよいことがらについて相談にのり、適切なアドバイスを与えます。
以上のように、法学基礎演習は、少人数教育の強みを生かし、教員が学生のみなさんに親身に接するなかで、個々の希望にできるだけ対応しながら、今後4年間にわたって実りある法学部生活をおくってもらうための道筋を示すことをめざしています。

授業方法と留意点

演習は、出席重視です。毎回、かならず出席して、無断欠席・無断遅刻は慎んでください。やむをえず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に教員まで連絡してください。法学基礎演習にかぎらず、学生生活全般にわたる質問や疑問でも、随時受け付けますので、気軽に相談してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

【授業テーマ】　人間の一生と法律
【内容】　生まれてから死ぬまでの間の生活に身近な法律問題を取り上げる
【方法】　適宜裁判例やその他の資料を用いる
【事前事後学習課題】　授業中に指示

評価方法・評価基準

出席を重視し、平常点により評価します。ただし、欠席・遅刻が多い場合には、法学基礎演習Ⅰ・Ⅱともにレポートを課します。レポート課題の分量は、欠席・遅刻の回数が増えるほど多くなりますので、くれぐれも注意してください。

教材等

教科書…FIRST YEAR STUDY GUIDE、金子宏・新堂幸司・平井宜雄編『法律学小事典』第4版(有斐閣)(4620円)他、授業中に指示します。
参考書…授業中指示。

備考

【学生へのメッセージ】
法学基礎演習の担当教員は、みなさんのクラス担任です。学生生活で悩みがあったり、勉強方法がわからないときには、気軽に相談してください。また、演習で出会う仲間は、今後のみなさんの学生生活にとって大切な最初の友人となるでしょう。どうぞ、良好な友人関係を築いて、楽しい学生生活のスタートをきってください。

法学基礎演習Ⅰ
Primary Seminar Ⅰ

中　沼　丈　晃（ナカヌマ　タケアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

私が担当する本演習では、どのような勉強をするうえでも基礎となる力を「感じる」ことを目的とする。その力は、集中して物事を考えることである。「感じる」とするのは、90分×15週では養うことには及ばず、みずから養う部分を感じてもらうためである。

授業方法と留意点

いくつかの種類のことをそれぞれ時間を決めて取り組む。昨年度は、たとえば、クロスワード、数字トレーニング、中学校入試問題、発想力トレーニング、ラジオニュース聴き取り、絵記憶伝達ゲームなどを行った。結果を点数化して、ゼミ生間で競うゲーム感覚で展開する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

内容は法律・政策に限らない。スピード感と集中力を重視して展開する。

評価方法・評価基準

すべての回の出席を前提とし、各回の演習の取り組み姿勢、結果で評価する。

教材等

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　119　2014/10/14　17:50:48

教科書…指定しない。
参考書…指定しない。

法学基礎演習Ⅰ
Primary Seminar Ⅰ

木　村　秀　一（キムラ　ヒデカズ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標
法学基礎演習の目的は、主として3つあります。（1）法学部における勉学のためのガイダンスをおこなうこと、（2）法学部生として身につけるべき基本的能力をひきだして訓練するとともに、これからの法学部生活をおくるにあたって学習意欲を高めること、（3）有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることです。

授業方法と留意点
演習は、出席重視です。毎回、かならず出席して、無断欠席・無断遅刻は慎んでください。やむをえず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に教員まで連絡してください。法学基礎演習にかぎらず、学生生活全般にわたる質問や疑問でも、随時受け付けますので、気軽に相談してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
（1）;図書館の利用方法、六法や法学参考文献の利用のしかた、法学専門講義の履修についての心構え、パソコンの使い方（とくに法学部生として必要な使い方）、その他、学生生活に必要な事項に関する助言・指導を行います。
（2）法学部生として身につけるべき基本的な能力とは、なによりも「読む・書く・話す」能力、すなわち、「論理的思考力」と「論理的表現力」です。文献の要点を的確に理解し、明快な文章を書き、自分の見解を堂々と述べることは、なかなか大変なことです。けれども、この法学部の4年間を意欲的にすごせば、みなさんもかならずそれを修得することができます。法学基礎演習は、論理的思考力を訓練する第一歩なのです。授業では、担当教員の持ち味を生かしたさまざまな企画がなされます。たとえば、;新聞やニュース記事を読んで、現代社会の動きに関心を高める、みなさんが関心をもっていることがらについて議論する、法学や政治学への関心を高めるような文献を読んで討論する、ディベートをおこなう、裁判所見学など学外研修を実施するなどです。

評価方法・評価基準
出席を重視し、平常点により評価します。ただし、欠席・遅刻が多い場合には、レポートを課します。レポート課題の分量は、欠席・遅刻の回数が増えるほど多くなりますので、くれぐれも注意してください。

教材等
教科書…FIRST YEAR STUDY GUIDE、その他、授業中に指示します。
参考書…なし

法学基礎演習Ⅰ
Primary Seminar Ⅰ

牧　田　　勲（マキタ　イサオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標
法学基礎演習Ⅰ・Ⅱの目的は、主として3つあります。（1）法学部における勉学のためのガイダンスをおこなうこと、（2）法学部生として身につけるべき基本的能力をひきだして訓練するとともに、これからの法学部生活をおくるにあたって学習意欲を高めること、（3）有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることです。
（1）ガイダンスでは、①図書館の利用方法、②六法や法学参考文献の利用のしかた、③法学専門講義の履修についての心構え、④パソコンの使い方（とくに法学部生として必要な使い方）、⑤その他、学生生活に必要な事項に関する助言・指導を行います。
（2）法学部生として身につけるべき基本的な能力とは、なによりも「読む・書く・話す」能力、すなわち、「論理的思考力」と「論理的表現力」です。文献の要点を的確に理解し、明快な文章を書き、自分の見解を堂々と述べることは、なかなか大変なことです。けれども、この法学部の4年間を意欲的にすごせば、みなさんもかならずそれを修得することができます。法学基礎演習は、論理的思考力を訓練する第一歩なのです。授業では、担当教員の持ち味を生かしたさまざまな企画がなされます。たとえば、①新聞やニュース記事を読んで、現代社会の動きに関心を高める、②みなさんが関心をもっていることがらについて議論する、③法学や政治学への関心を高めるような文献を読んで討論する、④ディベートをおこなう、⑤裁判所見学など学外研修を実施するなどです。みなさんの学習意欲を高めるため、今後とも工夫を重ねる予定ですので、どんどん希望を言ってください。できるかぎり、希望にそうよう努力します。
（3）学生生活支援とは、みなさんの学生生活上の悩みや不満に対して担当教員がきめ細かに対応するということです。また、みなさんの将来の進路選択に有益なさまざまな助言活動も行います。たとえば、①公務員試験対策、②税理士や裁判所職員などの法律専門職、③就職への心構え、④大学院進学、⑤海外留学など、早い段階から準備をしたほうがよいことがらについて相談にのり、適切なアドバイスを与えます。
以上のように、法学基礎演習は、少人数教育の強みを生かし、教員が学生のみなさんに親身に接するなかで、個々の希望にできるだけ対応しながら、今後4年間にわたって実りある法学部生活をおくってもらうための道筋を示すことをめざしています。

授業方法と留意点
演習は、出席重視です。毎回、かならず出席して、無断欠席・無断遅刻は慎んでください。やむをえず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に教員まで連絡してください。法学基礎演習にかぎらず、学生生活全般にわたる質問や疑問でも、随時受け付けますので、気軽に相談してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
大学の授業や学生生活について必要な知識やノウハウを身につける。講義ノートのとり方、レポートの書き方、図書館利用指導、パソコン指導など。

評価方法・評価基準
出席を重視し、平常点により評価します。ただし、欠席・遅刻が多い場合には、法学基礎演習Ⅰ・Ⅱともにレポートを課します。レポート課題の分量は、欠席・遅刻の回数が増えるほど多くなりますので、くれぐれも注意してください。

教材等
教科書…FIRST YEAR STUDY GUIDE、金子宏・新堂幸司・平井宜雄編『法律学小事典』第4版(有斐閣)(4620円)他、授業中に指示します。
参考書…授業中に指示する。

備考
【学生へのメッセージ】
法学基礎演習の担当教員は、みなさんのクラス担任です。学生生活で悩みがあったり、勉強方法がわからないときには、気軽に相談してください。また、演習で出会う仲間は、今後のみなさんの学生生活にとって大切な最初の友人となるでしょう。どうぞ、良好な友人関係を築いて、楽しい学生生活のスタートをきってください。

法学基礎演習Ⅰ
Primary SeminarⅠ

小　島　俊　朗（コジマ　トシロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標
法学基礎演習の目的は、主として3つあります。（1）法学部における勉学のためのガイダンスを行うこと、（2）法学部生として身につけるべき基本的能力を引き出して訓練するとともに、これからの法学部生活を送るに当たって学習意欲を高めること、（3）有意義な学生生活を送れるように様々な支援をすることです。

授業方法と留意点
演習は、出席重視です。毎回、かならず出席して、無断欠席・無断遅刻は慎んでください。やむをえず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に教員まで連絡してください。法学基礎演習にかぎらず、学生生活全般にわたる質問や疑問でも、随時受け付けますので、気軽に相談してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
（1）ガイダンスでは、図書館の利用方法、、六法や法学参考文献の利用の仕方、法学専門講義の履修についての心構え、パソコンの使い方（とくに法学部生として必要な使い方）、その他、学生生活に必要な事項に関する助言・指導を行います。（2）法学部生として身につけるべき基本的な能力とは、なによりも「読む・書く・話す」能力、すなわち、「論理的思考力」と「論理的表現力」です。文献の要点を的確に理解し、明快な文章を書き、自分の見解を堂々と述べることは、なかなか大変なことです。けれども、この法学部の4年間を意欲的にすごせば、皆さんも必ずそれを修得することができます。法学基礎演習は、論理的思考力を訓練する第一歩です。授業では、;新聞やニュース記事を読んで、現代社会の動きに関心を高めたり、みなさんが関心を持っている事柄について議論します。皆さんの学習意欲を高めるため、工夫を重ねる予定ですので、どんどん希望を言ってく

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　120　2014/10/14　17:50:48

ださい。できるかぎり、希望に沿うよう努力します。（3）学生生活支援とは、みなさんの学生生活上の悩みや不満に対して対応するということです。また、みなさんの将来の進路選択に有益なさまざまな助言活動も行います。たとえば、公務員試験対策、税理士や裁判所職員などの法律専門職、就職への心構え、大学院進学、海外留学など、早い段階から準備をした方がよい事柄について相談にのり、アドバイスをします。以上のように、法学基礎演習は、少人数教育の強みを生かし、教員が学生の皆さんに親身に接する中で、個々の希望にできるだけ対応しながら、今後4年間にわたって実りある法学部生活を送ってもらうための道筋を示すことを目指しています。

評価方法・評価基準

出席を重視し、平常点により評価します。

教材等

教科書…「FIRST　YEAR　STUDY　GUIDE」
参考書…なし

備考

【学生へのメッセージ】法学基礎演習の担当教員は、みなさんのクラス担任です。学生生活で悩みがあったり、勉強方法が分からないときには、気軽に相談してください。また、演習で出会う仲間は、今後のみなさんの学生生活にとって大切な最初の友人となります。良好な友人関係を築いて、楽しい学生生活のスタートをきってください。

法学基礎演習Ⅰ
Primary Seminar Ⅰ

河　原　匡　見（カワラ　マサミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

法学基礎演習Ⅰ・ⅠⅠの目的は、主として3つあります。（1）法学部における勉学のためのガイダンスをおこなうこと、（2）法学部生として身につけるべき基本的能力をひきだして訓練するとともに、これからの法学部生活をおくるにあたって学習意欲を高めること、（3）有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることです。

（1）ガイダンスでは、図書館の利用方法、六法や法学参考文献の利用のしかた、法学専門講義の履修についての心構え、パソコンの使い方（とくに法学部生として必要な使い方）、その他、学生生活に必要な事項に関する助言・指導を行います。

（2）法学部生として身につけるべき基本的な能力とは、なによりも「読む・書く・話す」能力、すなわち、「論理的思考力」と「論理的表現力」です。文献の要点を的確に理解し、明快な文章を書き、自分の見解を堂々と述べることは、なかなか大変なことです。けれども、この法学部の4年間を意欲的にすごせば、みなさんもかならずそれを修得することができます。法学基礎演習は、論理的思考力を訓練する第一歩なのです。授業では、担当教員の持ち味を生かしたさまざまな企画がなされます。たとえば、新聞やニュース記事を読んで、現代社会の動きに関心を高める、みなさんが関心をもっていることがらについて議論する、法学や政治学への関心を高めるような文献を読んで討論する、ディベートをおこなう、裁判所見学など学外研修を実施するなどです。みなさんの学習意欲を高めるため、今後とも工夫を重ねる予定ですので、どんどん希望を言ってください。できるかぎり、希望にそうよう努力します。

（3）学生生活支援とは、みなさんの学生生活上の悩みや不満に対して担当教員がきめ細かに対応するということです。また、みなさんの将来の進路選択に有益なさまざまな助言活動も行います。たとえば、公務員試験対策、税理士や裁判所職員などの法律専門職、就職への心構え、大学院進学、海外留学など、早い段階から準備をしたほうがよいことがらについて相談にのり、適切なアドバイスを与えます。

以上のように、今後4年間にわたって実りある法学部生活をおくってもらうための道筋を示すことをめざしています。

授業方法と留意点

演習は、少人数教育の強みを生かすもので出席重視です。毎回、かならず出席して、無断欠席・無断遅刻は慎んでください。やむをえず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に教員まで連絡してください。法学基礎演習にかぎらず、学生生活全般にわたる質問や疑問でも、随時受け付けますので、気軽に相談してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

詳細は、第1回目の演習で説明しますが、概ねⅠでは、大学での学業生活に慣れることを主眼に据えていきます。

評価方法・評価基準

出席を重視し、平常点により評価します。ただし、欠席・遅刻が多い場合には、レポートを課します。レポート課題の分量は、欠席・遅刻の回数が増えるほど多くなりますので、くれぐれも注意してください。

教材等

教科書…FIRST YEAR STUDY GUIDE、金子宏・新堂幸司・平井宜雄編『法律学小事典』第4版(有斐閣)(4620円)。
その他については、授業中に資料を配布する予定。
参考書…演習において適宜紹介します。

備考

法学基礎演習の担当教員は、クラス担任のようなものです。学生生活で悩みがあったり、勉強方法がわからないときには、気軽に相談してください。また、演習で出会う仲間は、今後のみなさんの学生生活にとって大切な最初の友人となるでしょう。良好な友人関係を築いて、楽しい学生生活のスタートをきってください。

法学基礎演習Ⅰ
Primary Seminar Ⅰ

松　永　信　一（マツナガ　シンイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

法学基礎演習Ⅰ・Ⅱの目的は、主として3つあります。（1）法学部における勉学のためのガイダンスをおこなうこと、（2）法学部生として身につけるべき基本的能力をひきだして訓練するとともに、これからの法学部生活をおくるにあたって学習意欲を高めること、（3）有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることです。

（1）ガイダンスでは、①図書館の利用方法、②六法や法学参考文献の利用のしかた、③法学専門講義の履修についての心構え、④パソコンの使い方（とくに法学部生として必要な使い方）、⑤その他、学生生活に必要な事項に関する助言・指導を行います。

（2）法学部生として身につけるべき基本的な能力とは、なによりも「読む・書く・話す」能力、すなわち、「論理的思考力」と「論理的表現力」です。文献の要点を的確に理解し、明快な文章を書き、自分の見解を堂々と述べることは、なかなか大変なことです。けれども、この法学部の4年間を意欲的にすごせば、みなさんもかならずそれを修得することができます。法学基礎演習は、論理的思考力を訓練する第一歩なのです。授業では、担当教員の持ち味を生かしたさまざまな企画がなされます。たとえば、①新聞やニュース記事を読んで、現代社会の動きに関心を高める、②みなさんが関心をもっていることがらについて議論する、③法学や政治学への関心を高めるような文献を読んで討論する、④ディベートをおこなう、⑤裁判所見学など学外研修を実施するなどです。みなさんの学習意欲を高めるため、今後とも工夫を重ねる予定ですので、どんどん希望を言ってください。できるかぎり、希望にそうよう努力します。

（3）学生生活支援とは、みなさんの学生生活上の悩みや不満に対して担当教員がきめ細かに対応するということです。また、みなさんの将来の進路選択に有益なさまざまな助言活動も行います。たとえば、①公務員試験対策、②税理士や裁判所職員などの法律専門職、③就職への心構え、④大学院進学、⑤海外留学など、早い段階から準備をしたほうがよいことがらについて相談にのり、適切なアドバイスを与えます。

以上のように、法学基礎演習は、少人数教育の強みを生かし、教員が学生のみなさんに親身に接するなかで、個々の希望にできるだけ対応しながら、今後4年間にわたって実りある法学部生活をおくってもらうための道筋を示すことをめざしています。

授業方法と留意点

演習は、出席重視です。毎回、かならず出席して、無断欠席・無断遅刻は慎んでください。やむをえず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に教員まで連絡してください。法学基礎演習にかぎらず、学生生活全般にわたる質問や疑問でも、随時受け付けますので、気軽に相談してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

様々な課題を提示するからそれについて各自報告すること。それほど親しくない人の前でのコミュニケーション能力を培う。

評価方法・評価基準

出席を重視し、平常点により評価します。ただし、欠席・遅刻が多い場合には、法学基礎演習Ⅰ・Ⅱともにレポートを課します。レポート課題の分量は、欠席・遅刻の回数が増えるほど多くなりますので、くれぐれも注意してください。

教材等

教科書…FIRST YEAR STUDY GUIDE、金子宏・新堂幸司・平井宜雄編『法律学小事典』第4版(有斐閣)(4620円)他、授業中に指示します。
参考書…―

備考

【学生へのメッセージ】
法学基礎演習の担当教員は、みなさんのクラス担任です。学生生活で悩みがあったり、勉強方法がわからないときには、気軽に相談してください。また、演習で出会う仲間は、今後のみな

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　121　2014/10/14　17:50:48

さんの学生生活にとって大切な最初の友人となるでしょう。どうぞ、良好な友人関係を築いて、楽しい学生生活のスタートをきってください。

法学基礎演習Ⅰ
Primary Seminar Ⅰ

糟　谷　英　之（カスタニ　ヒデユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

私が担当する本演習では、どのような勉強をするうえでも基礎となる力を「感じる」ことを目的とする。その力は、集中して物事を考えることである。「感じる」とするのは、90分×15週では養うことには及ばず、みずから養う部分を感じてもらうためである。

授業方法と留意点

いくつかの種類のことをそれぞれ時間を決めて取り組む。昨年度は、たとえば、クロスワード、数字トレーニング、中学校入試問題、発想力トレーニング、ラジオニュース聴き取り、絵記憶伝達ゲームなどを行った。結果を点数化して、ゼミ生間で競うゲーム感覚で展開する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

内容は法律・政策に限らない。スピード感と集中力を重視して展開する。

評価方法・評価基準

すべての回の出席を前提とし、各回の演習の取り組み姿勢、結果で評価する。

教材等

教科書…指定しない。
参考書…指定しない。

法学基礎演習Ⅰ
Primary Seminar Ⅰ

小　野　晃　正（オノ　コウセイ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

法学基礎演習Ⅰ・Ⅱの目的は、主として3つあります。（1）法学部における勉学のためのガイダンスをおこなうこと、（2）法学部生として身につけるべき基本的能力をひきだして訓練するとともに、これからの法学部生活をおくるにあたって学習意欲を高めること、（3）有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることです。

（1）ガイダンスでは、①図書館の利用方法、②六法や法学参考文献の利用のしかた、③法学専門講義の履修についての心構え、④パソコンの使い方（とくに法学部生として必要な使い方）、⑤その他、学生生活に必要な事項に関する助言・指導を行います。

（2）法学部生として身につけるべき基本的な能力とは、なによりも「読む・書く・話す」能力、すなわち、「論理的思考力」と「論理的表現力」です。文献の要点を的確に理解し、明快な文章を書き、自分の見解を堂々と述べることは、なかなか大変なことです。けれども、この法学部の4年間を意欲的にすごせば、みなさんもかならずそれを修得することができます。法学基礎演習は、論理的思考力を訓練する第一歩なのです。授業では、担当教員の持ち味を生かしたさまざまな企画がなされます。たとえば、①新聞やニュース記事を読んで、現代社会の動きに関心を高める、②みなさんが関心をもっていることがらについて議論する、③法学や政治学への関心を高めるような文献を読んで討論する、④ディベートをおこなう、⑤裁判所見学など学外研修を実施するなどです。みなさんの学習意欲を高めるため、今後とも工夫を重ねる予定ですので、どんどん希望を言ってください。できるかぎり、希望にそうよう努力します。

（3）学生生活支援とは、みなさんの学生生活上の悩みや不満に対して担当教員がきめ細かに対応するということです。また、みなさんの将来の進路選択に有益なさまざまな助言活動も行います。たとえば、①公務員試験対策、②税理士や裁判所職員などの法律専門職、③就職への心構え、④大学院進学、⑤海外留学など、早い段階から準備をしたほうがよいことがらについて相談にのり、適切なアドバイスを与えます。

以上のように、法学基礎演習は、少人数教育の強みを生かし、教員が学生のみなさんに親身に接するなかで、個々の希望にできるだけ対応しながら、今後4年間にわたって実りある法学部生活をおくってもらうための道筋を示すことをめざしています。

授業方法と留意点

演習は、出席重視です。毎回、かならず出席して、無断欠席・無断遅刻は慎んでください。やむをえず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に教員まで連絡してください。法学基礎演習にかぎらず、学生生活全般にわたる質問や疑問でも、随時受け付けますので、気軽に相談してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

プレゼンテーションやディベートなどを行う予定でいますが、詳細は受講生と相談しながら決めていきたいと思います。

評価方法・評価基準

出席を重視し、平常点により評価します。ただし、欠席・遅刻が多い場合には、法学基礎演習Ⅰ・Ⅱともにレポートを課します。レポート課題の分量は、欠席・遅刻の回数が増えるほど多くなりますので、くれぐれも注意してください。

教材等

教科書…FIRST YEAR STUDY GUIDE
参考書…金子宏・新堂幸司・平井宜雄編『法律学小事典（第4版補訂版）』(2008・有斐閣)のほか、授業中に適宜指示する。

備考

【学生へのメッセージ】
法学基礎演習の担当教員は、みなさんのクラス担任です。学生生活で悩みがあったり、勉強方法がわからないときには、気軽に相談してください。また、演習で出会う仲間は、今後のみなさんの学生生活にとって大切な最初の友人となるでしょう。どうぞ、良好な友人関係を築いて、楽しい学生生活のスタートをきってください。

法学基礎演習Ⅰ
Primary Seminar Ⅰ

島　田　良　一（シマダ　リョウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

法学基礎演習Ⅰ・Ⅱの目的は、主として3つあります。（1）法学部における勉学のためのガイダンスをおこなうこと、（2）法学部生として身につけるべき基本的能力をひきだして訓練するとともに、これからの法学部生活をおくるにあたって学習意欲を高めること、（3）有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることです。

（1）ガイダンスでは、①図書館の利用方法、②六法や法学参考文献の利用のしかた、③法学専門講義の履修についての心構え、④パソコンの使い方（とくに法学部生として必要な使い方）、⑤その他、学生生活に必要な事項に関する助言・指導を行います。

（2）法学部生として身につけるべき基本的な能力とは、なによりも「読む・書く・話す」能力、すなわち、「論理的思考力」と「論理的表現力」です。文献の要点を的確に理解し、明快な文章を書き、自分の見解を堂々と述べることは、なかなか大変なことです。けれども、この法学部の4年間を意欲的にすごせば、みなさんもかならずそれを修得することができます。法学基礎演習は、論理的思考力を訓練する第一歩なのです。授業では、担当教員の持ち味を生かしたさまざまな企画がなされます。たとえば、①新聞やニュース記事を読んで、現代社会の動きに関心を高める、②みなさんが関心をもっていることがらについて議論する、③法学や政治学への関心を高めるような文献を読んで討論する、④ディベートをおこなう、⑤裁判所見学など学外研修を実施するなどです。みなさんの学習意欲を高めるため、今後とも工夫を重ねる予定ですので、どんどん希望を言ってください。できるかぎり、希望にそうよう努力します。

（3）学生生活支援とは、みなさんの学生生活上の悩みや不満に対して担当教員がきめ細かに対応するということです。また、みなさんの将来の進路選択に有益なさまざまな助言活動も行います。たとえば、①公務員試験対策、②税理士や裁判所職員などの法律専門職、③就職への心構え、④大学院進学、⑤海外留学など、早い段階から準備をしたほうがよいことがらについて相談にのり、適切なアドバイスを与えます。

以上のように、法学基礎演習は、少人数教育の強みを生かし、教員が学生のみなさんに親身に接するなかで、個々の希望にできるだけ対応しながら、今後4年間にわたって実りある法学部生活をおくってもらうための道筋を示すことをめざしています。

授業方法と留意点

演習は、出席重視です。毎回、かならず出席して、無断欠席・無断遅刻は慎んでください。やむをえず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に教員まで連絡してください。法学基礎演習にかぎらず、学生生活全般にわたる質問や疑問でも、随時受け付けますので、気軽に相談してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

例年、Power point を用いたプレゼンテーションやディベートなどを行っていますが、詳細は受講生と相談しながら決めていきたいと思います。

評価方法・評価基準

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　122　2014/10/14　17:50:49

出席を重視し、平常点により評価します。ただし、欠席・遅刻が多い場合には、法学基礎演習Ⅰ・Ⅱともにレポートを課します。レポート課題の分量は、欠席・遅刻の回数が増えるほど多くなりますので、くれぐれも注意してください。

教材等

教科書…FIRST YEAR STUDY GUIDE、金子宏・新堂幸司・平井宜雄編『法律学小事典』第4版(有斐閣)(4620円)他、授業中に指示します。

参考書…授業中に適宜指示する。

備考

【学生へのメッセージ】
法学基礎演習の担当教員は、みなさんのクラス担任です。学生生活で悩みがあったり、勉強方法がわからないときには、気軽に相談してください。また、演習で出会う仲間は、今後のみなさんの学生生活にとって大切な最初の友人となるでしょう。どうぞ、良好な友人関係を築いて、楽しい学生生活のスタートをきってください。

法学基礎演習Ⅰ
Primary Seminar Ⅰ

城　内　　明（キウチ　アキラ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

法学基礎演習Ⅰ・Ⅱの目的は、主として3つあります。（1）法学部における勉学のためのガイダンスをおこなうこと、（2）法学部生として身につけるべき基本的能力をひきだして訓練するとともに、これからの法学部生活をおくるにあたって学習意欲を高めること、（3）有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることです。

（1）ガイダンスでは、①図書館の利用方法、②六法や法学参考文献の利用のしかた、③法学専門講義の履修についての心構え、④パソコンの使い方（とくに法学部生として必要な使い方）、⑤その他、学生生活に必要な事項に関する助言・指導を行います。

（2）法学部生として身につけるべき基本的な能力とは、なによりも「読む・書く・話す」能力、すなわち、「論理的思考力」と「論理的表現力」です。文献の要点を的確に理解し、明快な文章を書き、自分の見解を堂々と述べることは、なかなか大変なことです。けれども、この法学部の4年間を意欲的にすごせば、みなさんもかならずそれを修得することができます。法学基礎演習は、論理的思考力を訓練する第一歩なのです。授業では、担当教員の持ち味を生かしたさまざまな企画がなされます。たとえば、①新聞やニュース記事を読んで、現代社会の動きに関心を高める、②みなさんが関心をもっていることがらについて議論する、③法学や政治学への関心を高めるような文献を読んで討論する、④ディベートをおこなう、⑤裁判所見学など学外研修を実施するなどです。みなさんの学習意欲を高めるため、今後とも工夫を重ねる予定ですので、どんどん希望を言ってください。できるかぎり、希望にそうよう努力します。

（3）学生生活支援とは、みなさんの学生生活上の悩みや不満に対して担当教員がきめ細かに対応するということです。また、みなさんの将来の進路選択に有益なさまざまな助言活動も行います。たとえば、①公務員試験対策、②税理士や裁判所職員などの法律専門職、③就職への心構え、④大学院進学、⑤海外留学など、早い段階から準備をしたほうがよいことがらについて相談にのり、適切なアドバイスを与えます。

以上のように、法学基礎演習は、少人数教育の強みを生かし、教員が学生のみなさんに親身に接するなかで、個々の希望にできるだけ対応しながら、今後4年間にわたって実りある法学部生活をおくってもらうための道筋を示すことをめざしています。

授業方法と留意点

演習は、出席重視です。毎回、かならず出席して、無断欠席・無断遅刻は慎んでください。やむをえず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に教員まで連絡してください。法学基礎演習にかぎらず、学生生活全般にわたる質問や疑問でも、随時受け付けますので、気軽に相談してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

ゼミのテーマは、初回授業時に決定します。事前事後の学習課題については、適宜指示します。

評価方法・評価基準

出席を重視し、平常点により評価します。ただし、欠席・遅刻が多い場合には、法学基礎演習Ⅰ・Ⅱともにレポートを課します。レポート課題の分量は、欠席・遅刻の回数が増えるほど多くなりますので、くれぐれも注意してください。

教材等

教科書…FIRST YEAR STUDY GUIDE、金子宏・新堂幸司・平井宜雄編『法律学小事典』第4版(有斐閣)(4620円)他、授業中に指示します。

参考書…適宜、指示する。

備考

【学生へのメッセージ】
法学基礎演習の担当教員は、みなさんのクラス担任です。学生生活で悩みがあったり、勉強方法がわからないときには、気軽に相談してください。また、演習で出会う仲間は、今後のみなさんの学生生活にとって大切な最初の友人となるでしょう。どうぞ、良好な友人関係を築いて、楽しい学生生活のスタートをきってください。

法学基礎演習Ⅰ
Primary Seminar Ⅰ

萩　原　佐　織（ハギハラ　サオリ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

法学基礎演習の目的は、主として3つあります。（1）法学部における勉学のためのガイダンスをおこなうこと、（2）法学部生として身につけるべき基本的能力をひきだして訓練するとともに、これからの法学部生活をおくるにあたって学習意欲を高めること、（3）有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることです。

以上のように、少人数教育の強みを生かし、教員が学生のみなさんに親身に接するなかで、個々の希望にできるだけ対応しながら、今後4年間にわたって実りある法学部生活をおくってもらうための道筋を示すことをめざしています。

授業方法と留意点

演習は、出席重視です。毎回、かならず出席して、無断欠席・無断遅刻は慎んでください。やむをえず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に教員まで連絡してください。法学基礎演習にかぎらず、学生生活全般にわたる質問や疑問でも、随時受け付けますので、気軽に相談してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

（1）ガイダンスでは、図書館の利用方法、六法や法学参考文献の利用のしかた、法学専門講義の履修についての心構え、パソコンの使い方（とくに法学部生として必要な使い方）、その他、学生生活に必要な事項に関する助言・指導を行います。

（2）法学部生として身につけるべき基本的な能力とは、なによりも「読む・書く・話す」能力、すなわち、「論理的思考力」と「論理的表現力」です。文献の要点を的確に理解し、明快な文章を書き、自分の見解を堂々と述べることは、なかなか大変なことです。けれども、この法学部の4年間を意欲的にすごせば、みなさんもかならずそれを修得することができます。法学基礎演習は、論理的思考力を訓練する第一歩なのです。授業ではたとえば新聞やニュース記事を読んで、現代社会の動きに関心を高める、みなさんが関心をもっていることがらについて議論する、法学や政治学への関心を高めるような文献を読んで討論する、ディベートをおこなう、裁判所見学など学外研修を実施するなどです。

（3）学生生活支援とは、みなさんの学生生活上の悩みや不満に対して対応するということです。また、みなさんの将来の進路選択に有益なさまざまな助言活動も行います。たとえば、公務員試験対策、税理士や裁判所職員などの法律専門職、就職への心構え、大学院進学、海外留学など、早い段階から準備をしたほうがよいことがらについて相談にのり、適切なアドバイスを与えます。

評価方法・評価基準

出席を重視し、平常点により評価します。ただし、欠席・遅刻が多い場合には、ともにレポートを課します。レポート課題の分量は、欠席・遅刻の回数が増えるほど多くなりますので、くれぐれも注意してください。

教材等

教科書…『大学生が出会う法律問題　アルバイトから犯罪・事故まで　－役立つ基礎知識－』　信州大学経済学部経済システム法学科編　創成社（2010年）1,500円＋税

参考書…・FIRST YEAR STUDY GUIDE、
その他、授業において適宜指示します。

備考

【学生へのメッセージ】
学生生活で悩みがあったり、勉強方法がわからないときには、気軽に相談してください。また、演習で出会う仲間は、今後のみなさんの学生生活にとって大切な最初の友人となるでしょう。どうぞ、良好な友人関係を築いて、楽しい学生生活のスタートをきってください。

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　123　2014/10/14　17:50:49

法学基礎演習Ⅰ
Primary Seminar Ⅰ

大　川　謙　蔵（オオカワ　ケンゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

法学基礎演習Ⅰ・Ⅱの目的は、主として3つあります。（1）法学部における勉学のためのガイダンスをおこなうこと、（2）法学部生として身につけるべき基本的能力をひきだして訓練するとともに、これからの法学部生活をおくるにあたって学習意欲を高めること、（3）有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることです。

（1）ガイダンスでは、①図書館の利用方法、②六法や法学参考文献の利用のしかた、③法学専門講義の履修についての心構え、④パソコンの使い方（とくに法学部生として必要な使い方）、⑤その他、学生生活に必要な事項に関する助言・指導を行います。

（2）法学部生として身につけるべき基本的な能力とは、なによりも「読む・書く・話す」能力、すなわち、「論理的思考力」と「論理的表現力」です。文献の要点を的確に理解し、明快な文章を書き、自分の見解を堂々と述べることは、なかなか大変なことです。けれども、この法学部の4年間を意欲的にすごせば、みなさんもかならずそれを修得することができます。法学基礎演習は、論理的思考力を訓練する第一歩なのです。授業では、担当教員の持ち味を生かしたさまざまな企画がなされます。たとえば、①新聞やニュース記事を読んで、現代社会の動きに関心を高める、②みなさんが関心をもっていることがらについて議論する、③法学や政治学への関心を高めるような文献を読んで討論する、④ディベートをおこなう、⑤裁判所見学など学外研修を実施するなどです。みなさんの学習意欲を高めるため、今後とも工夫を重ねる予定ですので、どんどん希望を言ってください。できるかぎり、希望にそうよう努力します。

（3）学生生活支援とは、みなさんの学生生活上の悩みや不満に対して担当教員がきめ細かに対応するということです。また、みなさんの将来の進路選択に有益なさまざまな助言活動も行います。たとえば、①公務員試験対策、②税理士や裁判所職員などの法律専門職、③就職への心構え、④大学院進学、⑤海外留学など、早い段階から準備をしたほうがよいことがらについて相談にのり、適切なアドバイスを与えます。

以上のように、法学基礎演習は、少人数教育の強みを生かし、教員が学生のみなさんに親身に接するなかで、個々の希望にできるだけ対応しながら、今後4年間にわたって実りある法学部生活をおくってもらうための道筋を示すことをめざしています。

授業方法と留意点

毎回必ず出席すること。無断欠席・無断遅刻は認めません。全員に周知させる必要があることが多いからです。やむをえず欠席・遅刻するときには、事前に連絡すること。また、皆さんが主体ですので、積極的な発言を期待しています。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

1年前期では、新聞等から興味を抱いた社会問題等を報告してもらう予定です。どのような出来事が生じ、どのような問題点があるのかを把握してもらいます。

評価方法・評価基準

講義態度、課題への取り組みなど平常点により評価します。特に皆さんの主体性を評価の重点とします。

教材等

教科書…FIRST YEAR STUDY GUIDE、金子宏・新堂幸司・平井宜雄編『法律学小事典』第4版(有斐閣)(4620円)。六法は必携です。

参考書…講義中に指示します。

備考

法学基礎演習の担当教員は、みなさんのクラス担任です。学生生活で悩みがあったり、勉強方法がわからないときには、気軽に相談してください。また、演習で出会う仲間は、今後のみなさんの学生生活にとって大切な最初の友人となるでしょう。どうぞ、良好な友人関係を築いて、楽しい学生生活のスタートをきってください。

法学基礎演習Ⅰ
Primary Seminar Ⅰ

松　島　裕　一（マツシマ　ユウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

法学基礎演習Ⅰ・Ⅱの目的は、主として3つあります。（1）法学部における勉学のためのガイダンスをおこなうこと、（2）法学部生として身につけるべき基本的能力をひきだして訓練するとともに、これからの法学部生活をおくるにあたって学習意欲を高めること、（3）有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることです。

（1）ガイダンスでは、①図書館の利用方法、②六法や法学参考文献の利用のしかた、③法学専門講義の履修についての心構え、④パソコンの使い方（とくに法学部生として必要な使い方）、⑤その他、学生生活に必要な事項に関する助言・指導を行います。

（2）法学部生として身につけるべき基本的な能力とは、なによりも「読む・書く・話す」能力、すなわち、「論理的思考力」と「論理的表現力」です。文献の要点を的確に理解し、明快な文章を書き、自分の見解を堂々と述べることは、なかなか大変なことです。けれども、この法学部の4年間を意欲的にすごせば、みなさんもかならずそれを修得することができます。法学基礎演習は、論理的思考力を訓練する第一歩なのです。授業では、担当教員の持ち味を生かしたさまざまな企画がなされます。たとえば、①新聞やニュース記事を読んで、現代社会の動きに関心を高める、②みなさんが関心をもっていることがらについて議論する、③法学や政治学への関心を高めるような文献を読んで討論する、④ディベートをおこなう、⑤裁判所見学など学外研修を実施するなどです。みなさんの学習意欲を高めるため、今後とも工夫を重ねる予定ですので、どんどん希望を言ってください。できるかぎり、希望にそうよう努力します。

（3）学生生活支援とは、みなさんの学生生活上の悩みや不満に対して担当教員がきめ細かに対応するということです。また、みなさんの将来の進路選択に有益なさまざまな助言活動も行います。たとえば、①公務員試験対策、②税理士や裁判所職員などの法律専門職、③就職への心構え、④大学院進学、⑤海外留学など、早い段階から準備をしたほうがよいことがらについて相談にのり、適切なアドバイスを与えます。

以上のように、法学基礎演習は、少人数教育の強みを生かし、教員が学生のみなさんに親身に接するなかで、個々の希望にできるだけ対応しながら、今後4年間にわたって実りある法学部生活をおくってもらうための道筋を示すことをめざしています。

授業方法と留意点

演習は、出席重視です。毎回、かならず出席して、無断欠席・無断遅刻は慎んでください。やむをえず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に教員まで連絡してください。法学基礎演習にかぎらず、学生生活全般にわたる質問や疑問でも、随時受け付けますので、気軽に相談してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

前期は大学生活に慣れることを目標に、みんなで大学生の基本的スキルを身につけたいと思います。時おり簡単な課題を出しますので、それを提出してください。

評価方法・評価基準

出席を重視し、平常点により評価します。ただし、欠席・遅刻が多い場合には、法学基礎演習Ⅰ・Ⅱともにレポートを課します。レポート課題の分量は、欠席・遅刻の回数が増えるほど多くなりますので、くれぐれも注意してください。

教材等

教科書…教科書・・FIRST YEAR STUDY GUIDE
参考書・・小笠原喜康『新版 大学生のためのレポート・論文術』(講談社現代新書)(720円)、金子宏・新堂幸司・平井宜雄編『法律学小事典』第4版(有斐閣)(4620円)他、授業中に指示します。

参考書…特になし

備考

【学生へのメッセージ】
法学基礎演習の担当教員は、みなさんのクラス担任です。学生生活で悩みがあったり、勉強方法がわからないときには、気軽に相談してください。また、演習で出会う仲間は、今後のみなさんの学生生活にとって大切な最初の友人となるでしょう。どうぞ、良好な友人関係を築いて、楽しい学生生活のスタートをきってください。

法学基礎演習Ⅱ
Primary Seminar Ⅱ

小　山　　昇（コヤマ　ノボル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

法学基礎演習Ⅰ・Ⅱは、主として,
（1）法学部における勉学のためのガイダンスをおこなうこと、
（2）法学部生として身につけるべき基本的能力をひきだして訓練するとともに、これからの法学部生活をおくるにあたって学習意欲を高めること、（3）有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすること、が目的となります。

法学基礎演習Ⅱでは、学部全体で実施している裁判所見学のほか、社会で議論される問題を題材として、賛成反対に分かれて討論することを通して「法的なものの考え方」について考えてみる

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　124　2014/10/14　17:50:49

ことにします。

授業方法と留意点

問題を提示して賛成・反対（自分の意見とは関係なく）に分かれて討論する、という形式で行います。それぞれの立場をとる理由を事前に考えておくこと。最後に、課題レポートの提出を求めます。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

1．裁判所見学（刑事裁判の傍聴）
2．討論する問題の提示
3．提示された問題についての討論

評価方法・評価基準

出席を重視し、討論での参加状況と発言の明確性及び課題レポートを総合して評価します。

教材等

教科書…直接に必要な資料は配付します。
参考書…適宜紹介します。

備考

【学生へのメッセージ】
問題に対する賛成・反対のどちらの立場でも理由付けができるように、日頃から社会問題に関心を持ってください。

法学基礎演習II
Primary Seminar II

金　谷　重　樹（カナタニ　シゲキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

1．日々のニュースを素材に、人々の活動を法的に捉えることができるよう基本練習をします。
2．裁判を傍聴するなどして、法が現実に適用される場を経験し、法と私たちの生活が非常に密接な関係にあることを学びます。
3．2年生から本格的に法を学び理解するための基礎を培います。

授業方法と留意点

1．ニュースを素材にして、その内容を法的に考えてみます。
2．各自に、最近のニュースを取り上げ、その内容を発表してもらいます。
3．ニュースの内容を法的に捉えるよう、努力してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

1．毎回、2人から3人程度に発表してもらいます。
2．必ず、日々のニュースに接し、発表する内容を考えておいてください。

評価方法・評価基準

出席、報告内容及び討論への積極性を重視し、平常点により評価します。

教材等

教科書…適宜指示します。
参考書…適宜指示します。

備考

【学生へのメッセージ】
法学基礎演習の担当教員は、みなさんのクラス担任です。学生生活で悩みがあったり、勉強方法がわからないときには、気軽に相談してください。また、演習で出会う仲間は、今後のみなさんの学生生活にとって大切な最初の友人となるでしょう。どうぞ、良好な友人関係を築いて、楽しい学生生活のスタートをきってください。

法学基礎演習II
Primary Seminar II

牛　丸　與志夫（ウシマル　ヨシオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

法学基礎演習Ⅰ・Ⅱの目的は、主として3つあります。（1）法学部における勉学のためのガイダンスをおこなうこと、（2）法学部生として身につけるべき基本的能力をひきだして訓練するとともに、これからの法学部生活をおくるにあたって学習意欲を高めること、（3）有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることです。
（1）ガイダンスでは、①図書館の利用方法、②六法や法学参考文献の利用のしかた、③法学専門講義の履修についての心構え、④パソコンの使い方（とくに法学部生として必要な使い方）、⑤その他、学生生活に必要な事項に関する助言・指導を行います。
（2）法学部生として身につけるべき基本的な能力とは、なによりも「読む・書く・話す」能力、すなわち、「論理的思考力」と「論理的表現力」です。文献の要点を的確に理解し、明快な文章を書き、自分の見解を堂々と述べることは、なかなか大変なことです。けれども、この法学部の4年間を意欲的にすごせば、みなさんもかならずそれを修得することができます。法学基礎演習は、論理的思考力を訓練する第一歩なのです。授業では、担当教員の持ち味を生かしたさまざまな企画がなされます。たとえば、①新聞やニュース記事を読んで、現代社会の動きに関心を高める、②みなさんが関心をもっていることがらについて議論する、③法学や政治学への関心を高めるような文献を読んで討論する、④ディベートをおこなう、⑤裁判所見学など学外研修を実施するなどです。みなさんの学習意欲を高めるため、今後とも工夫を重ねる予定ですので、どんどん希望を言ってください。できるかぎり、希望にそうよう努力します。
（3）学生生活支援とは、みなさんの学生生活上の悩みや不満に対して担当教員がきめ細かに対応するということです。また、みなさんの将来の進路選択に有益なさまざまな助言活動も行います。たとえば、①公務員試験対策、②税理士や裁判所職員などの法律専門職、③就職への心構え、④大学院進学、⑤海外留学など、早い段階から準備をしたほうがよいことがらについて相談にのり、適切なアドバイスを与えます。
以上のように、法学基礎演習は、少人数教育の強みを生かし、教員が学生のみなさんに親身に接するなかで、個々の希望にできるだけ対応しながら、今後4年間にわたって実りある法学部生活をおくってもらうための道筋を示すことをめざしています。

授業方法と留意点

演習は、出席重視です。毎回、かならず出席して、無断欠席・無断遅刻は慎んでください。やむをえず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に教員まで連絡してください。法学基礎演習にかぎらず、学生生活全般にわたる質問や疑問でも、随時受け付けますので、気軽に相談してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

法学の基礎を習得する。

評価方法・評価基準

出席を重視し、平常点により評価します。ただし、欠席・遅刻が多い場合には、法学基礎演習Ⅰ・Ⅱともにレポートを課します。レポート課題の分量は、欠席・遅刻の回数が増えるほど多くなりますので、くれぐれも注意してください。

教材等

教科書…フレッシュマンズ・スタディガイド、その他、授業中に指示します。
参考書…授業の中で指示する。

備考

【学生へのメッセージ】
法学基礎演習の担当教員は、みなさんのクラス担任です。学生生活で悩みがあったり、勉強方法がわからないときには、気軽に相談してください。また、演習で出会う仲間は、今後のみなさんの学生生活にとって大切な最初の友人となるでしょう。どうぞ、良好な友人関係を築いて、楽しい学生生活のスタートをきってください。

法学基礎演習II
Primary Seminar II

古　川　行　男（フルカワ　ユキオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

法学基礎演習Ⅰ・Ⅱの目的は、主として3つあります。（1）法学部における勉学のためのガイダンスをおこなうこと、（2）法学部生として身につけるべき基本的能力をひきだして訓練するとともに、これからの法学部生活をおくるにあたって学習意欲を高めること、（3）有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることです。
（1）ガイダンスでは、①図書館の利用方法、②六法や法学参考文献の利用のしかた、③法学専門講義の履修についての心構え、④パソコンの使い方（とくに法学部生として必要な使い方）、⑤その他、学生生活に必要な事項に関する助言・指導を行います。
（2）法学部生として身につけるべき基本的な能力とは、なによりも「読む・書く・話す」能力、すなわち、「論理的思考力」と「論理的表現力」です。文献の要点を的確に理解し、明快な文章を書き、自分の見解を堂々と述べることは、なかなか大変なことです。けれども、この法学部の4年間を意欲的にすごせば、みなさんもかならずそれを修得することができます。法学基礎演習は、論理的思考力を訓練する第一歩なのです。授業では、担当教員の持ち味を生かしたさまざまな企画がなされます。たとえば、①新聞やニュース記事を読んで、現代社会の動きに関心を高める、②みなさんが関心をもっていることがらについて議論する、③法学や政治学への関心を高めるような文献を読んで討論する、④ディベートをおこなう、⑤裁判所見学など学外研修を実施するなどです。みなさんの学習意欲を高めるため、

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　125　2014/10/14　17:50:49

今後とも工夫を重ねる予定ですので、どんどん希望を言ってください。できるかぎり、希望にそうよう努力します。
（3）学生生活支援とは、みなさんの学生生活上の悩みや不満に対して担当教員がきめ細かに対応するということです。また、みなさんの将来の進路選択に有益なさまざまな助言活動も行います。たとえば、①公務員試験対策、②税理士や裁判所職員などの法律専門職、③就職への心構え、④大学院進学、⑤海外留学など、早い段階から準備をしたほうがよいことがらについて相談にのり、適切なアドバイスを与えます。
以上のように、法学基礎演習は、少人数教育の強みを生かし、教員が学生のみなさんに親身に接するなかで、個々の希望にできるだけ対応しながら、今後4年間にわたって実りある法学部生活をおくってもらうための道筋を示すことをめざしています。

授業方法と留意点

演習は、出席重視です。毎回、かならず出席して、無断欠席・無断遅刻は慎んでください。やむをえず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に教員まで連絡してください。法学基礎演習にかぎらず、学生生活全般にわたる質問や疑問でも、随時受け付けますので、気軽に相談してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

条文、初歩的法律論文等を音読したうえ、内容を確認することを繰り返します。これによって文章の理解能力を高めます。

評価方法・評価基準

出席を重視し、平常点により評価します。ただし、欠席・遅刻が多い場合には、法学基礎演習Ⅰ・Ⅱともにレポートを課します。レポート課題の分量は、欠席・遅刻の回数が増えるほど多くなりますので、くれぐれも注意してください。

教材等

教科書…授業中に指示します。
参考書…授業で利用した教科書等

備考

【学生へのメッセージ】
法学基礎演習の担当教員は、みなさんのクラス担任です。学生生活で悩みがあったり、勉強方法がわからないときには、気軽に相談してください。また、演習で出会う仲間は、今後のみなさんの学生生活にとって大切な最初の友人となるでしょう。どうぞ、良好な友人関係を築いて、楽しい学生生活のスタートをきってください。

法学基礎演習II
Primary Seminar II

樫　原　義比古（カシハラ　ヨシヒコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

法学基礎演習Ⅰ・Ⅱの目的は、主として3つあります。（1）法学部における勉学のためのガイダンスをおこなうこと、（2）法学部生として身につけるべき基本的能力をひきだして訓練するとともに、これからの法学部生活をおくるにあたって学習意欲を高めること、（3）有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることです。
（1）ガイダンスでは、①図書館の利用方法、②六法や法学参考文献の利用のしかた、③法学専門講義の履修についての心構え、④パソコンの使い方（とくに法学部生として必要な使い方）、⑤その他、学生生活に必要な事項に関する助言・指導を行います。
（2）法学部生として身につけるべき基本的な能力とは、なによりも「読む・書く・話す」能力、すなわち、「論理的思考力」と「論理的表現力」です。文献の要点を的確に理解し、明快な文章を書き、自分の見解を堂々と述べることは、なかなか大変なことです。けれども、この法学部の4年間を意欲的にすごせば、みなさんもかならずそれを修得することができます。法学基礎演習は、論理的思考力を訓練する第一歩なのです。授業では、担当教員の持ち味を生かしたさまざまな企画がなされます。たとえば、①新聞やニュース記事を読んで、現代社会の動きに関心を高める、②みなさんが関心をもっていることがらについて議論する、③法学や政治学への関心を高めるような文献を読んで討論する、④ディベートをおこなう、⑤裁判所見学など学外研修を実施するなどです。みなさんの学習意欲を高めるため、今後とも工夫を重ねる予定ですので、どんどん希望を言ってください。できるかぎり、希望にそうよう努力します。
（3）学生生活支援とは、みなさんの学生生活上の悩みや不満に対して担当教員がきめ細かに対応するということです。また、みなさんの将来の進路選択に有益なさまざまな助言活動も行います。たとえば、①公務員試験対策、②税理士や裁判所職員などの法律専門職、③就職への心構え、④大学院進学、⑤海外留学など、早い段階から準備をしたほうがよいことがらについて相談にのり、適切なアドバイスを与えます。
以上のように、法学基礎演習は、少人数教育の強みを生かし、教員が学生のみなさんに親身に接するなかで、個々の希望にできるだけ対応しながら、今後4年間にわたって実りある法学部生活をおくってもらうための道筋を示すことをめざしています。

授業方法と留意点

演習は、出席重視です。毎回、かならず出席して、無断欠席・無断遅刻は慎んでください。やむをえず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に教員まで連絡してください。法学基礎演習にかぎらず、学生生活全般にわたる質問や疑問でも、随時受け付けますので、気軽に相談してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

【授業テーマ】　人間の一生と法律
【内容】生まれてから死ぬまでの生活に身近な法律問題を取り上げる
【方法】適宜裁判例やその他の資料を用いる
【事前事後学習課題】　授業中に指示

評価方法・評価基準

出席を重視し、平常点により評価します。ただし、欠席・遅刻が多い場合には、法学基礎演習Ⅰ・Ⅱともにレポートを課します。レポート課題の分量は、欠席・遅刻の回数が増えるほど多くなりますので、くれぐれも注意してください。

教材等

教科書…FIRST YEAR STUDY GUIDE、金子宏・新堂幸司・平井宜雄編『法律学小事典』第4版(有斐閣)(4620円)他、授業中に指示します。
参考書…授業中に指示。

備考

【学生へのメッセージ】
法学基礎演習の担当教員は、みなさんのクラス担任です。学生生活で悩みがあったり、勉強方法がわからないときには、気軽に相談してください。また、演習で出会う仲間は、今後のみなさんの学生生活にとって大切な最初の友人となるでしょう。どうぞ、良好な友人関係を築いて、楽しい学生生活のスタートをきってください。

法学基礎演習ⅠⅠ
Primary Seminar II

中　沼　丈　晃（ナカヌマ　タケアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

私が担当する本演習では、複数人でどのような研究をするのにも基礎となる力を「感じて」もらうことを目的とする。その力とは単純に「しゃべる」力である。また、「感じて」もらうとするのは、90分×15週ではその力を養うには及ばず、みずから養うべき力を感じてもらいたいからである。

授業方法と留意点

早口言葉から始める。ついで、パーティーゲームを用いて、お互いの心を読みながら自分の声を発して、自分の利益となるように発言するようにする。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

内容は法律・政策に限らない。会話と楽しむことを重視して展開する。

評価方法・評価基準

すべての回の出席を前提とし、各回の演習の取り組み姿勢、結果で評価する。

教材等

教科書…指定しない。
参考書…指定しない。

法学基礎演習II
Primary Seminar II

木　村　秀　一（キムラ　ヒデカズ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

法学基礎演習の目的は、主として3つあります。（1）法学部における勉学のためのガイダンスをおこなうこと、（2）法学部生として身につけるべき基本的能力をひきだして訓練するとともに、これからの法学部生活をおくるにあたって学習意欲を高めること、（3）有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることです。

授業方法と留意点

演習は、出席重視です。毎回、かならず出席して、無断欠席・無断遅刻は慎んでください。やむをえず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に教員まで連絡してください。法学基礎演習に

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　126　2014/10/14　17:50:49

かぎらず、学生生活全般にわたる質問や疑問でも、随時受け付けますので、気軽に相談してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

（1）;図書館の利用方法、六法や法学参考文献の利用のしかた、法学専門講義の履修についての心構え、パソコンの使い方（とくに法学部生として必要な使い方）、その他、学生生活に必要な事項に関する助言・指導を行います。

（2）法学部生として身につけるべき基本的な能力とは、なによりも「読む・書く・話す」能力、すなわち、「論理的思考力」と「論理的表現力」です。文献の要点を的確に理解し、明快な文章を書き、自分の見解を堂々と述べることは、なかなか大変なことです。けれども、この法学部の4年間を意欲的にすごせば、みなさんもかならずそれを修得することができます。法学基礎演習は、論理的思考力を訓練する第一歩なのです。授業では、担当教員の持ち味を生かしたさまざまな企画がなされます。たとえば、;新聞やニュース記事を読んで、現代社会の動きに関心を高める、みなさんが関心をもっていることがらについて議論する、法学や政治学への関心を高めるような文献を読んで討論する、ディベートをおこなう、裁判所見学など学外研修を実施するなどです。

評価方法・評価基準

出席を重視し、平常点により評価します。ただし、欠席・遅刻が多い場合には、レポートを課します。レポート課題の分量は、欠席・遅刻の回数が増えるほど多くなりますので、くれぐれも注意してください。

教材等

教科書…FIRST YEAR STUDY GUIDE、その他、授業中に指示します。

参考書…なし

法学基礎演習II
Primary Seminar II

牧　田　　勲（マキタ　イサオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

法学基礎演習Ⅰ・Ⅱの目的は、主として3つあります。（1）法学部における勉学のためのガイダンスをおこなうこと、（2）法学部生として身につけるべき基本的能力をひきだして訓練するとともに、これからの法学部生活をおくるにあたって学習意欲を高めること、（3）有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることです。

（1）ガイダンスでは、①図書館の利用方法、②六法や法学参考文献の利用のしかた、③法学専門講義の履修についての心構え、④パソコンの使い方（とくに法学部生として必要な使い方）、⑤その他、学生生活に必要な事項に関する助言・指導を行います。

（2）法学部生として身につけるべき基本的な能力とは、なによりも「読む・書く・話す」能力、すなわち、「論理的思考力」と「論理的表現力」です。文献の要点を的確に理解し、明快な文章を書き、自分の見解を堂々と述べることは、なかなか大変なことです。けれども、この法学部の4年間を意欲的にすごせば、みなさんもかならずそれを修得することができます。法学基礎演習は、論理的思考力を訓練する第一歩なのです。授業では、担当教員の持ち味を生かしたさまざまな企画がなされます。たとえば、①新聞やニュース記事を読んで、現代社会の動きに関心を高める、②みなさんが関心をもっていることがらについて議論する、③法学や政治学への関心を高めるような文献を読んで討論する、④ディベートをおこなう、⑤裁判所見学など学外研修を実施するなどです。みなさんの学習意欲を高めるため、今後とも工夫を重ねる予定ですので、どんどん希望を言ってください。できるかぎり、希望にそうよう努力します。

（3）学生生活支援とは、みなさんの学生生活上の悩みや不満に対して担当教員がきめ細かに対応するということです。また、みなさんの将来の進路選択に有益なさまざまな助言活動も行います。たとえば、①公務員試験対策、②税理士や裁判所職員などの法律専門職、③就職への心構え、④大学院進学、⑤海外留学など、早い段階から準備をしたほうがよいことがらについて相談にのり、適切なアドバイスを与えます。

以上のように、法学基礎演習は、少人数教育の強みを生かし、教員が学生のみなさんに親身に接するなかで、個々の希望にできるだけ対応しながら、今後4年間にわたって実りある法学部生活をおくってもらうための道筋を示すことをめざしています。

授業方法と留意点

演習は、出席重視です。毎回、かならず出席して、無断欠席・無断遅刻は慎んでください。やむをえず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に教員まで連絡してください。法学基礎演習にかぎらず、学生生活全般にわたる質問や疑問でも、随時受け付けますので、気軽に相談してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

主として新聞記事を使い、現在の社会問題について考える。記事を読んで、その問題性について議論し、またレポートなどにまとめる。大阪地方裁判所で刑事裁判の傍聴もおこなう。

評価方法・評価基準

出席を重視し、平常点により評価します。ただし、欠席・遅刻が多い場合には、法学基礎演習Ⅰ・Ⅱともにレポートを課します。レポート課題の分量は、欠席・遅刻の回数が増えるほど多くなりますので、くれぐれも注意してください。

教材等

教科書…FIRST YEAR STUDY GUIDE、金子宏・新堂幸司・平井宜雄編『法律学小事典』第4版(有斐閣)(4620円)他、授業中に指示します。

参考書…折々の新聞記事。

備考

【学生へのメッセージ】
法学基礎演習の担当教員は、みなさんのクラス担任です。学生生活で悩みがあったり、勉強方法がわからないときには、気軽に相談してください。また、演習で出会う仲間は、今後のみなさんの学生生活にとって大切な最初の友人となるでしょう。どうぞ、良好な友人関係を築いて、楽しい学生生活のスタートをきってください。

法学基礎演習ＩＩ
Primary SeminarII

小　島　俊　朗（コジマ　トシロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

法学基礎演習の目的は、主として3つあります。（1）法学部における勉学のためのガイダンスをおこなうこと、（2）法学部生として身につけるべき基本的能力をひきだして訓練するとともに、これからの法学部生活を送るに当たって学習意欲を高めること、（3）有意義な学生生活を送れるよう様々な支援をすることです。

授業方法と留意点

演習は、出席重視です。毎回、かならず出席して、無断欠席・無断遅刻は慎んでください。やむをえず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に教員まで連絡してください。法学基礎演習に限らず、学生生活全般にわたる質問や疑問でも、随時受け付けますので、気軽に相談してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

（1）ガイダンスは、前期において実施しているところですが、必要がある場合はそれに応じて適宜実施します。（2）法学部生として身につけるべき基本的な能力とは、なによりも「読む・書く・話す」能力、すなわち、「論理的思考力」と「論理的表現力」です。文献の要点を的確に理解し、明快な文章を書き、自分の見解を堂々と述べることは、なかなか大変なことです。けれども、この法学部の4年間を意欲的にすごせば、みなさんもかならずそれを修得することができます。法学基礎演習は、論理的思考力を訓練する第一歩です。授業では最近の時事用語を自らの言葉で説明してもらい、対人能力などの向上を目指します。裁判所見学も実施します。一方通行ではなく、皆さんから有意義な提案があれば柔軟に取り上げるつもりです。（3）学生生活支援とは、皆さんの学生生活上の悩みや不満に対して担当教員がきめ細かに対応するということです。また、皆さんの将来の進路選択に有益な様々な助言活動も行います。例えば、公務員試験対策、税理士や裁判所職員などの法律専門職、就職への心構え、大学院進学、海外留学など、早い段階から準備をした方がよい事柄について相談にのり、アドバイスをします。(4)後期は法令解釈の基礎など法学への導入講義も行います。以上のように、法学基礎演習は、少人数教育の強みを生かし、教員が学生の皆さんに親身に接するなかで、個々の希望にできるだけ対応しながら、今後4年間にわたって実りある法学部生活を送ってもらうための道筋を示すことを目指しています。

評価方法・評価基準

出席を重視し、平常点により評価します。

教材等

教科書…「FIRST　YEAR　STUDY　GUIDE」

参考書…なし

備考

【学生へのメッセージ】法学基礎演習の担当教員は、皆さんのクラス担任です。学生生活で悩みがあったり、勉強方法が分からないときには、気軽に相談してください。また、演習で出会う仲間は、今後のみなさんの学生生活にとって大切な最初の友人となります。良好な友人関係を築いて、楽しい学生生活のスタートをきってください。

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　127　2014/10/14　17:50:49

法学基礎演習II
Primary Seminar II

河　原　匡　見（カワラ　マサミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

法学基礎演習の目的は、主として3つあります。（1）法学部における勉学のためのガイダンスをおこなうこと、（2）法学部生として身につけるべき基本的能力をひきだして訓練するとともに、これからの法学部生活をおくるにあたって学習意欲を高めること、（3）有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることです。

（1）ガイダンスでは、図書館の利用方法、六法や法学参考文献の利用のしかた、法学専門講義の履修についての心構え、パソコンの使い方（とくに法学部生として必要な使い方）、その他、学生生活に必要な事項に関する助言・指導を行います。

（2）法学部生として身につけるべき基本的な能力とは、なによりも「読む・書く・話す」能力、すなわち、「論理的思考力」と「論理的表現力」です。文献の要点を的確に理解し、明快な文章を書き、自分の見解を堂々と述べることは、なかなか大変なことです。けれども、この法学部の4年間を意欲的にすごせば、みなさんもかならずそれを修得することができます。法学基礎演習は、論理的思考力を訓練する第一歩なのです。授業では、担当教員の持ち味を生かしたさまざまな企画がなされます。たとえば、新聞やニュース記事を読んで、現代社会の動きに関心を高める、みなさんが関心をもっていることがらについて議論する、法学や政治学への関心を高めるような文献を読んで討論する、ディベートをおこなう、裁判所見学など学外研修を実施するなどです。みなさんの学習意欲を高めるため、今後とも工夫を重ねる予定ですので、どんどん希望を言ってください。できるかぎり、希望にそうよう努力します。

（3）学生生活支援とは、みなさんの学生生活上の悩みや不満に対して担当教員がきめ細かに対応するということです。また、みなさんの将来の進路選択に有益なさまざまな助言活動も行います。たとえば、公務員試験対策、税理士や裁判所職員などの法律専門職、就職への心構え、大学院進学、早い段階から準備をしたほうがよいことがらについて相談にのり、適切なアドバイスを与えます。

以上のように、今後4年間にわたって実りある法学部生活をおくってもらうための道筋を示すことをめざしています。

授業方法と留意点

演習は、少人数教育の強みを生かすもので出席重視です。毎回、かならず出席して、無断欠席・無断遅刻は慎んでください。やむをえず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に教員まで連絡してください。法学基礎演習にかぎらず、学生生活全般にわたる質問や疑問でも、随時受け付けますので、気軽に相談してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

詳細は、第1回目の演習で説明しますが、概ねⅡでは、法学部の演習形式による学習に慣れることを主眼に据えていきます。

評価方法・評価基準

出席を重視し、平常点により評価します。ただし、欠席・遅刻が多い場合には、レポートを課します。レポート課題の分量は、欠席・遅刻の回数が増えるほど多くなりますので、くれぐれも注意してください。

教材等

教科書…FIRST YEAR STUDY GUIDE、金子宏・新堂幸司・平井宜雄編『法律学小事典』第4版(有斐閣)(4620円)。
その他については、授業中に資料を配布する予定。

参考書…演習において適宜紹介します。

備考

法学基礎演習の担当教員は、クラス担任のようなものです。学生生活で悩みがあったり、勉強方法がわからないときには、気軽に相談してください。また、演習で出会う仲間は、今後のみなさんの学生生活にとって大切な最初の友人となるでしょう。良好な友人関係を築いて、楽しい学生生活のスタートをきってください。

法学基礎演習II
Primary Seminar II

松　永　信　一（マツナガ　シンイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

法学基礎演習Ⅰ・Ⅱの目的は、主として3つあります。（1）法学部における勉学のためのガイダンスをおこなうこと、（2）法学部生として身につけるべき基本的能力をひきだして訓練するとともに、これからの法学部生活をおくるにあたって学習意欲を高めること、（3）有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることです。

（1）ガイダンスでは、①図書館の利用方法、②六法や法学参考文献の利用のしかた、③法学専門講義の履修についての心構え、④パソコンの使い方（とくに法学部生として必要な使い方）、⑤その他、学生生活に必要な事項に関する助言・指導を行います。

（2）法学部生として身につけるべき基本的な能力とは、なによりも「読む・書く・話す」能力、すなわち、「論理的思考力」と「論理的表現力」です。文献の要点を的確に理解し、明快な文章を書き、自分の見解を堂々と述べることは、なかなか大変なことです。けれども、この法学部の4年間を意欲的にすごせば、みなさんもかならずそれを修得することができます。法学基礎演習は、論理的思考力を訓練する第一歩なのです。授業では、担当教員の持ち味を生かしたさまざまな企画がなされます。たとえば、①新聞やニュース記事を読んで、現代社会の動きに関心を高める、②みなさんが関心をもっていることがらについて議論する、③法学や政治学への関心を高めるような文献を読んで討論する、④ディベートをおこなう、⑤裁判所見学など学外研修を実施するなどです。みなさんの学習意欲を高めるため、今後とも工夫を重ねる予定ですので、どんどん希望を言ってください。できるかぎり、希望にそうよう努力します。

（3）学生生活支援とは、みなさんの学生生活上の悩みや不満に対して担当教員がきめ細かに対応するということです。また、みなさんの将来の進路選択に有益なさまざまな助言活動も行います。たとえば、①公務員試験対策、②税理士や裁判所職員などの法律専門職、③就職への心構え、④大学院進学、⑤海外留学など、早い段階から準備をしたほうがよいことがらについて相談にのり、適切なアドバイスを与えます。

以上のように、法学基礎演習は、少人数教育の強みを生かし、教員が学生のみなさんに親身に接するなかで、個々の希望にできるだけ対応しながら、今後4年間にわたって実りある法学部生活をおくってもらうための道筋を示すことをめざしています。

授業方法と留意点

演習は、出席重視です。毎回、かならず出席して、無断欠席・無断遅刻は慎んでください。やむをえず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に教員まで連絡してください。法学基礎演習にかぎらず、学生生活全般にわたる質問や疑問でも、随時受け付けますので、気軽に相談してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

課題を提示するから毎回一人か二人に報告してもらう。それほど親しくないものに対するコミュニケーション能力を培う。

評価方法・評価基準

出席を重視し、平常点により評価します。ただし、欠席・遅刻が多い場合には、法学基礎演習Ⅰ・Ⅱともにレポートを課します。レポート課題の分量は、欠席・遅刻の回数が増えるほど多くなりますので、くれぐれも注意してください。

教材等

教科書…FIRST YEAR STUDY GUIDE、金子宏・新堂幸司・平井宜雄編『法律学小事典』第4版(有斐閣)(4620円)他、授業中に指示します。

参考書…—

備考

【学生へのメッセージ】
法学基礎演習の担当教員は、みなさんのクラス担任です。学生生活で悩みがあったり、勉強方法がわからないときには、気軽に相談してください。また、演習で出会う仲間は、今後のみなさんの学生生活にとって大切な最初の友人となるでしょう。どうぞ、良好な友人関係を築いて、楽しい学生生活のスタートをきってください。

法学基礎演習II
Primary Seminar II

糟　谷　英　之（カスタニ　ヒデユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

私が担当する本演習では、複数人でどのような研究をするのにも基礎となる力を「感じて」もらうことを目的とする。その力とは単純に「しゃべる」力である。また、「感じて」もらうとするのは、90分×15週ではその力を養うには及ばず、みずから養うべき力を感じてもらいたいからである。

授業方法と留意点

早口言葉から始める。ついで、パーティーゲームを用いて、お互いの心を読みながら自分の声を発して、自分の利益となるように発言するようにする。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

内容は法律・政策に限らない。会話と楽しむことを重視して展

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　128　2014/10/14　17:50:50

開する。

評価方法・評価基準

すべての回の出席を前提とし、各回の演習の取り組み姿勢、結果で評価する。

教材等

教科書…指定しない。
参考書…指定しない。

法学基礎演習II
Primary Seminar II

小　野　晃　正（オノ　コウセイ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

法学基礎演習Ⅰ・Ⅱの目的は、主として3つあります。（1）法学部における勉学のためのガイダンスをおこなうこと、（2）法学部生として身につけるべき基本的能力をひきだして訓練するとともに、これからの法学部生活をおくるにあたって学習意欲を高めること、（3）有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることです。

（1）ガイダンスでは、①図書館の利用方法、②六法や法学参考文献の利用のしかた、③法学専門講義の履修についての心構え、④パソコンの使い方（とくに法学部生として必要な使い方）、⑤その他、学生生活に必要な事項に関する助言・指導を行います。

（2）法学部生として身につけるべき基本的な能力とは、なによりも「読む・書く・話す」能力、すなわち、「論理的思考力」と「論理的表現力」です。文献の要点を的確に理解し、明快な文章を書き、自分の見解を堂々と述べることは、なかなか大変なことです。けれども、この法学部の4年間を意欲的にすごせば、みなさんもかならずそれを修得することができます。法学基礎演習は、論理的思考力を訓練する第一歩なのです。授業では、担当教員の持ち味を生かしたさまざまな企画がなされます。たとえば、①新聞やニュース記事を読んで、現代社会の動きに関心を高める、②みなさんが関心をもっていることがらについて議論する、③法学や政治学への関心を高めるような文献を読んで討論する、④ディベートをおこなう、⑤裁判所見学など学外研修を実施するなどです。みなさんの学習意欲を高めるため、今後とも工夫を重ねる予定ですので、どんどん希望を言ってください。できるかぎり、希望にそうよう努力します。

（3）学生生活支援とは、みなさんの学生生活上の悩みや不満に対して担当教員がきめ細かに対応するということです。また、みなさんの将来の進路選択に有益なさまざまな助言活動も行います。たとえば、①公務員試験対策、②税理士や裁判所職員などの法律専門職、③就職への心構え、④大学院進学、⑤海外留学など、早い段階から準備をしたほうがよいことがらについて相談にのり、適切なアドバイスを与えます。

以上のように、法学基礎演習は、少人数教育の強みを生かし、教員が学生のみなさんに親身に接するなかで、個々の希望にできるだけ対応しながら、今後4年間にわたって実りある法学部生活をおくってもらうための道筋を示すことをめざしています。

授業方法と留意点

演習は、出席重視です。毎回、かならず出席して、無断欠席・無断遅刻は慎んでください。やむをえず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に教員まで連絡してください。法学基礎演習にかぎらず、学生生活全般にわたる質問や疑問でも、随時受け付けますので、気軽に相談してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

プレゼンテーションやディベートなどを行う予定でいますが、詳細は受講生と相談しながら決めていきたいと思います。

評価方法・評価基準

出席を重視し、平常点により評価します。ただし、欠席・遅刻が多い場合には、法学基礎演習Ⅰ・Ⅱともにレポートを課します。レポート課題の分量は、欠席・遅刻の回数が増えるほど多くなりますので、くれぐれも注意してください。

教材等

教科書…FIRST YEAR STUDY GUIDE
参考書…金子宏・新堂幸司・平井宜雄編『法律学小事典（第4版補訂版）』(2008・有斐閣)のほか、授業中に適宜指示する。

備考

【学生へのメッセージ】
法学基礎演習の担当教員は、みなさんのクラス担任です。学生生活で悩みがあったり、勉強方法がわからないときには、気軽に相談してください。また、演習で出会う仲間は、今後のみなさんの学生生活にとって大切な最初の友人となるでしょう。どうぞ、良好な友人関係を築いて、楽しい学生生活のスタートをきってください。

法学基礎演習II
Primary Seminar II

島　田　良　一（シマダ　リョウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

法学基礎演習Ⅰ・Ⅱの目的は、主として3つあります。（1）法学部における勉学のためのガイダンスをおこなうこと、（2）法学部生として身につけるべき基本的能力をひきだして訓練するとともに、これからの法学部生活をおくるにあたって学習意欲を高めること、（3）有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることです。

（1）ガイダンスでは、①図書館の利用方法、②六法や法学参考文献の利用のしかた、③法学専門講義の履修についての心構え、④パソコンの使い方（とくに法学部生として必要な使い方）、⑤その他、学生生活に必要な事項に関する助言・指導を行います。

（2）法学部生として身につけるべき基本的な能力とは、なによりも「読む・書く・話す」能力、すなわち、「論理的思考力」と「論理的表現力」です。文献の要点を的確に理解し、明快な文章を書き、自分の見解を堂々と述べることは、なかなか大変なことです。けれども、この法学部の4年間を意欲的にすごせば、みなさんもかならずそれを修得することができます。法学基礎演習は、論理的思考力を訓練する第一歩なのです。授業では、担当教員の持ち味を生かしたさまざまな企画がなされます。たとえば、①新聞やニュース記事を読んで、現代社会の動きに関心を高める、②みなさんが関心をもっていることがらについて議論する、③法学や政治学への関心を高めるような文献を読んで討論する、④ディベートをおこなう、⑤裁判所見学など学外研修を実施するなどです。みなさんの学習意欲を高めるため、今後とも工夫を重ねる予定ですので、どんどん希望を言ってください。できるかぎり、希望にそうよう努力します。

（3）学生生活支援とは、みなさんの学生生活上の悩みや不満に対して担当教員がきめ細かに対応するということです。また、みなさんの将来の進路選択に有益なさまざまな助言活動も行います。たとえば、①公務員試験対策、②税理士や裁判所職員などの法律専門職、③就職への心構え、④大学院進学、⑤海外留学など、早い段階から準備をしたほうがよいことがらについて相談にのり、適切なアドバイスを与えます。

以上のように、法学基礎演習は、少人数教育の強みを生かし、教員が学生のみなさんに親身に接するなかで、個々の希望にできるだけ対応しながら、今後4年間にわたって実りある法学部生活をおくってもらうための道筋を示すことをめざしています。

授業方法と留意点

演習は、出席重視です。毎回、かならず出席して、無断欠席・無断遅刻は慎んでください。やむをえず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に教員まで連絡してください。法学基礎演習にかぎらず、学生生活全般にわたる質問や疑問でも、随時受け付けますので、気軽に相談してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

例年、Power point を用いたプレゼンテーションやディベートなどを行っていますが、詳細は受講生と相談しながら決めていきたいと思います。

評価方法・評価基準

出席を重視し、平常点により評価します。ただし、欠席・遅刻が多い場合には、法学基礎演習Ⅰ・Ⅱともにレポートを課します。レポート課題の分量は、欠席・遅刻の回数が増えるほど多くなりますので、くれぐれも注意してください。

教材等

教科書…FIRST YEAR STUDY GUIDE、金子宏・新堂幸司・平井宜雄編『法律学小事典』第4版(有斐閣)(4620円)他、授業中に指示します。
参考書…授業中に適宜指示する。

備考

【学生へのメッセージ】
法学基礎演習の担当教員は、みなさんのクラス担任です。学生生活で悩みがあったり、勉強方法がわからないときには、気軽に相談してください。また、演習で出会う仲間は、今後のみなさんの学生生活にとって大切な最初の友人となるでしょう。どうぞ、良好な友人関係を築いて、楽しい学生生活のスタートをきってください。

法学基礎演習ⅠⅠ
Primary Seminar II

萩　原　佐　織（ハギハラ　サオリ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	2

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd 129 2014/10/14 17:50:50

授業概要・目的・到達目標

法学基礎演習の目的は、主として３つあります。（1）法学部における勉学のためのガイダンスをおこなうこと、（2）法学部生として身につけるべき基本的能力をひきだして訓練するとともに、これからの法学部生活をおくるにあたって学習意欲を高めること、（3）有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることです。

以上のように、少人数教育の強みを生かし、教員が学生のみなさんに親身に接するなかで、個々の希望にできるだけ対応しながら、今後4年間にわたって実りある法学部生活をおくってもらうための道筋を示すことをめざしています。

授業方法と留意点

演習は、出席重視です。毎回、かならず出席して、無断欠席・無断遅刻は慎んでください。やむをえず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に教員まで連絡してください。法学基礎演習にかぎらず、学生生活全般にわたる質問や疑問でも、随時受け付けますので、気軽に相談してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

（1）ガイダンスでは、図書館の利用方法、六法や法学参考文献の利用のしかた、法学専門講義の履修についての心構え、パソコンの使い方（とくに法学部生として必要な使い方）、その他、学生生活に必要な事項に関する助言・指導を行います。

（2）法学部生として身につけるべき基本的な能力とは、なによりも「読む・書く・話す」能力、すなわち、「論理的思考力」と「論理的表現力」です。文献の要点を的確に理解し、明快な文章を書き、自分の見解を堂々と述べることは、なかなか大変なことです。けれども、この法学部の4年間を意欲的にすごせば、みなさんもかならずそれを修得することができます。法学基礎演習は、論理的思考力を訓練する第一歩なのです。授業ではたとえば新聞やニュース記事を読んで、現代社会の動きに関心を高める、みなさんが関心をもっていることがらについて議論する、法学や政治学への関心を高めるような文献を読んで討論する、ディベートをおこなう、裁判所見学など学外研修を実施するなどです。

（3）学生生活支援とは、みなさんの学生生活上の悩みや不満に対して対応するということです。また、みなさんの将来の進路選択に有益なさまざまな助言活動も行います。たとえば、公務員試験対策、税理士や裁判所職員などの法律専門職、就職への心構え、大学院進学、海外留学など、早い段階から準備をしたほうがよいことがらについて相談にのり、適切なアドバイスを与えます。

評価方法・評価基準

出席を重視し、平常点により評価します。ただし、欠席・遅刻が多い場合には、ともにレポートを課します。レポート課題の分量は、欠席・遅刻の回数が増えるほど多くなりますので、くれぐれも注意してください。

教材等

教科書…『大学生が出会う法律問題　アルバイトから犯罪・事故まで　－役立つ基礎知識－』　信州大学経済学部経済システム法学科編　創成社（2010年）1,500円＋税

参考書…・FIRST YEAR STUDY GUIDE、
その他、授業において適宜指示します。

備考

【学生へのメッセージ】
学生生活で悩みがあったり、勉強方法がわからないときには、気軽に相談してください。また、演習で出会う仲間は、今後のみなさんの学生生活にとって大切な最初の友人となるでしょう。どうぞ、良好な友人関係を築いて、楽しい学生生活のスタートをきってください。

法学基礎演習II
Primary Seminar II

城　内　　明（キウチ　アキラ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

法学基礎演習Ⅰ・Ⅱの目的は、主として３つあります。（1）法学部における勉学のためのガイダンスをおこなうこと、（2）法学部生として身につけるべき基本的能力をひきだして訓練するとともに、これからの法学部生活をおくるにあたって学習意欲を高めること、（3）有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることです。

（1）ガイダンスでは、①図書館の利用方法、②六法や法学参考文献の利用のしかた、③法学専門講義の履修についての心構え、④パソコンの使い方（とくに法学部生として必要な使い方）、⑤その他、学生生活に必要な事項に関する助言・指導を行います。

（2）法学部生として身につけるべき基本的な能力とは、なによりも「読む・書く・話す」能力、すなわち、「論理的思考力」と「論理的表現力」です。文献の要点を的確に理解し、明快な文章を書き、自分の見解を堂々と述べることは、なかなか大変なことです。けれども、この法学部の4年間を意欲的にすごせば、みなさんもかならずそれを修得することができます。法学基礎演習は、論理的思考力を訓練する第一歩なのです。授業では、担当教員の持ち味を生かしたさまざまな企画がなされます。たとえば、①新聞やニュース記事を読んで、現代社会の動きに関心を高める、②みなさんが関心をもっていることがらについて議論する、③法学や政治学への関心を高めるような文献を読んで討論する、④ディベートをおこなう、⑤裁判所見学など学外研修を実施するなどです。みなさんの学習意欲を高めるため、今後とも工夫を重ねる予定ですので、どんどん希望を言ってください。できるかぎり、希望にそうよう努力します。

（3）学生生活支援とは、みなさんの学生生活上の悩みや不満に対して担当教員がきめ細かに対応するということです。また、みなさんの将来の進路選択に有益なさまざまな助言活動も行います。たとえば、①公務員試験対策、②税理士や裁判所職員などの法律専門職、③就職への心構え、④大学院進学、⑤海外留学など、早い段階から準備をしたほうがよいことがらについて相談にのり、適切なアドバイスを与えます。

以上のように、法学基礎演習は、少人数教育の強みを生かし、教員が学生のみなさんに親身に接するなかで、個々の希望にできるだけ対応しながら、今後4年間にわたって実りある法学部生活をおくってもらうための道筋を示すことをめざしています。

授業方法と留意点

演習は、出席重視です。毎回、かならず出席して、無断欠席・無断遅刻は慎んでください。やむをえず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に教員まで連絡してください。法学基礎演習にかぎらず、学生生活全般にわたる質問や疑問でも、随時受け付けますので、気軽に相談してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

ゼミのテーマは、初回授業時に決定します。事前事後の学習課題については、適宜指示します。

評価方法・評価基準

出席を重視し、平常点により評価します。ただし、欠席・遅刻が多い場合には、法学基礎演習Ⅰ・Ⅱともにレポートを課します。レポート課題の分量は、欠席・遅刻の回数が増えるほど多くなりますので、くれぐれも注意してください。

教材等

教科書…FIRST YEAR STUDY GUIDE、金子宏・新堂幸司・平井宜雄編『法律学小事典』第4版(有斐閣)(4620円)他、授業中に指示します。

参考書…適宜、指示する。

備考

【学生へのメッセージ】
法学基礎演習の担当教員は、みなさんのクラス担任です。学生生活で悩みがあったり、勉強方法がわからないときには、気軽に相談してください。また、演習で出会う仲間は、今後のみなさんの学生生活にとって大切な最初の友人となるでしょう。どうぞ、良好な友人関係を築いて、楽しい学生生活のスタートをきってください。

法学基礎演習II
Primary Seminar II

大　川　謙　蔵（オオカワ　ケンゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

法学基礎演習Ⅰ・Ⅱの目的は、主として３つあります。（1）法学部における勉学のためのガイダンスをおこなうこと、（2）法学部生として身につけるべき基本的能力をひきだして訓練するとともに、これからの法学部生活をおくるにあたって学習意欲を高めること、（3）有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることです。

（1）ガイダンスでは、①図書館の利用方法②六法や法学参考文献の利用のしかた③法学専門講義の履修についての心構え④パソコンの使い方（とくに法学部生として必要な使い方）、剔その他、学生生活に必要な事項に関する助言・指導を行います。

（2）法学部生として身につけるべき基本的な能力とは、なによりも「読む・書く・話す」能力、すなわち、「論理的思考力」と「論理的表現力」です。文献の要点を的確に理解し、明快な文章を書き、自分の見解を堂々と述べることは、なかなか大変なことです。けれども、この法学部の4年間を意欲的にすごせば、みなさんもかならずそれを修得することができます。法学基礎演習は、論理的思考力を訓練する第一歩なのです。授業では、担当教員の持ち味を生かしたさまざまな企画がなされます。たとえば、①新聞やニュース記事を読んで、現代社会の動きに関心を高める、②みなさんが関心をもっていることがらについて議論する、③法学や政治学への関心を高めるような文献を読んで討論する、④ディベートをおこなう、⑤裁判所見学など学外

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　130　2014/10/14　17:50:50

研修を実施するなどです。みなさんの学習意欲を高めるため、今後とも工夫を重ねる予定ですので、どんどん希望を言ってください。できるかぎり、希望にそうよう努力します。
（3）学生生活支援とは、みなさんの学生生活上の悩みや不満に対して担当教員がきめ細かに対応するということです。また、みなさんの将来の進路選択に有益なさまざまな助言活動も行います。たとえば、①公務員試験対策、②税理士や裁判所職員などの法律専門職、③就職への心構え、④大学院進学、⑤海外留学など、早い段階から準備をしたほうがよいことがらについて相談にのり、適切なアドバイスを与えます。
以上のように、法学基礎演習は、少人数教育の強みを生かし、教員が学生のみなさんに親身に接するなかで、個々の希望にできるだけ対応しながら、今後4年間にわたって実りある法学部生活をおくってもらうための道筋を示すことをめざしています。

授業方法と留意点
毎回必ず出席すること。無断欠席・無断遅刻は認めません。全員に周知させる必要があることが多いからです。やむをえず欠席・遅刻するときには、事前に連絡すること。また、皆さんが主体ですので、積極的な発言を期待しています。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
1年後期では、前期で取り上げた出来事・問題点につき、ゼミ生で議論をしたいと考えております。状況によっては、新しい出来事を取り上げつつ、その賛否を論理的に組み立て、相手を説得できるよう議論を組み立ててもらいます。

評価方法・評価基準
講義態度、課題への取り組みなど平常点により評価します。特に皆さんの主体性を評価の重点とします。

教材等
教科書…FIRST YEAR STUDY GUIDE、金子宏・新堂幸司・平井宜雄編『法律学小事典』第4版(有斐閣)(4620円)。六法は必携です。
参考書…講義中に指示します。

備考
法学基礎演習の担当教員は、みなさんのクラス担任です。学生生活で悩みがあったり、勉強方法がわからないときには、気軽に相談してください。また、演習で出会う仲間は、今後のみなさんの学生生活にとって大切な最初の友人となるでしょう。どうぞ、良好な友人関係を築いて、楽しい学生生活のスタートをきってください。

法学基礎演習II
Primary Seminar II

松　島　裕　一（マツシマ　ユウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標
法学基礎演習Ⅰ・Ⅱの目的は、主として3つあります。（1）法学部における勉学のためのガイダンスをおこなうこと、（2）法学部生として身につけるべき基本的能力をひきだして訓練するとともに、これからの法学部生活をおくるにあたって学習意欲を高めること、（3）有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることです。
（1）ガイダンスでは、①図書館の利用方法、②六法や法学参考文献の利用のしかた、③法学専門講義の履修についての心構え、④パソコンの使い方（とくに法学部生として必要な使い方）、⑤その他、学生生活に必要な事項に関する助言・指導を行います。
（2）法学部生として身につけるべき基本的な能力とは、なによりも「読む・書く・話す」能力、すなわち、「論理的思考力」と「論理的表現力」です。文献の要点を的確に理解し、明快な文章を書き、自分の見解を堂々と述べることは、なかなか大変なことです。けれども、この法学部の4年間を意欲的にすごせば、みなさんもかならずそれを修得することができます。法学基礎演習は、論理的思考力を訓練する第一歩なのです。授業では、担当教員の持ち味を生かしたさまざまな企画がなされます。たとえば、①新聞やニュース記事を読んで、現代社会の動きに関心を高める、②みなさんが関心をもっていることがらについて議論する、③法学や政治学への関心を高めるような文献を読んで討論する、④ディベートをおこなう、⑤裁判所見学など学外研修を実施するなどです。みなさんの学習意欲を高めるため、今後とも工夫を重ねる予定ですので、どんどん希望を言ってください。できるかぎり、希望にそうよう努力します。
（3）学生生活支援とは、みなさんの学生生活上の悩みや不満に対して担当教員がきめ細かに対応するということです。また、みなさんの将来の進路選択に有益なさまざまな助言活動も行います。たとえば、①公務員試験対策、②税理士や裁判所職員などの法律専門職、③就職への心構え、④大学院進学、⑤海外留学など、早い段階から準備をしたほうがよいことがらについて相談にのり、適切なアドバイスを与えます。
以上のように、法学基礎演習は、少人数教育の強みを生かし、教員が学生のみなさんに親身に接するなかで、個々の希望にできるだけ対応しながら、今後4年間にわたって実りある法学部生活をおくってもらうための道筋を示すことをめざしています。

授業方法と留意点
演習は、出席重視です。毎回、かならず出席して、無断欠席・無断遅刻は慎んでください。やむをえず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に教員まで連絡してください。法学基礎演習にかぎらず、学生生活全般にわたる質問や疑問でも、随時受け付けますので、気軽に相談してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
後期は本格的なレポートの書き方やプレゼンの仕方（レジュメやパワーポイントの作り方など）を、みんなで身につけていきます。大きな課題をいくつか出すので、みんなで協力しながら頑張りましょう。

評価方法・評価基準
出席を重視し、平常点により評価します。ただし、欠席・遅刻が多い場合には、法学基礎演習Ⅰ・Ⅱともにレポートを課します。レポート課題の分量は、欠席・遅刻の回数が増えるほど多くなりますので、くれぐれも注意してください。

教材等
教科書…FIRST YEAR STUDY GUIDE
参考書…小笠原喜康『新版 大学生のためのレポート・論文術』(講談社現代新書)（720円）、金子宏・新堂幸司・平井宜雄編『法律学小事典』第4版(有斐閣)(4620円)他、授業中に指示します。

備考
【学生へのメッセージ】
法学基礎演習の担当教員は、みなさんのクラス担任です。学生生活で悩みがあったり、勉強方法がわからないときには、気軽に相談してください。また、演習で出会う仲間は、今後のみなさんの学生生活にとって大切な最初の友人となるでしょう。どうぞ、良好な友人関係を築いて、楽しい学生生活のスタートをきってください。

専門演習I
Seminar I

小　山　　昇（コヤマ　ノボル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標
専門演習Ⅰは、3年次の専門演習Ⅱ（通年）での理解に必要な基礎的知識の再確認を主眼とします。国際私法の講義は3年次の開講ですので、この演習では、2年次までに履修する授業科目を中心に、関連知識を整理して理解することが目標となります。

授業方法と留意点
国際私法に関連する基礎的知識について、体系的に整理し、「それらの問題点は何か」「何が重要な事項なのか」といったことを問答形式で行うこととします。なお、理解度の確認のための課題レポートの提出を最後に求めます。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
1．財産法・家族法の順序で、国際私法に関連する重要事項を検討する。
2．家族法に関連して、戸籍法の知識を確認する。
3．国際私法の概略を確認する。

評価方法・評価基準
課題レポートの理解度を中心として、質問に対する発言状況も加えて総合的に評価します。

教材等
教科書…直接に必要な資料は配付します。
参考書…授業中に紹介します。

備考
【学生へのメッセージ】
民法体系考えながら、民法関係全般の基礎知識を再確認しましょう。

専門演習I
Seminar I

金　谷　重　樹（カナタニ　シゲキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標
専門演習Ⅰは、専門演習の入り口です。そこで、この専門演習Ⅰでは、本格的に行政法上の事例を学び研究する3年次での専門演習へ向け、初歩的な行政法上の事例を取り上げます。

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　131　2014/10/14　17:50:50

法的思考の中でも、行政法的な思考を培うことを目標とします。

授業方法と留意点

授業は各自が、自ら選択したテーマについて、その研究結果を発表し、全員で討論する方法をとります。

積極的に発言していただくことを期待しています。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

1．毎回、2人から3人程度に報告してもらいます。
2．報告の内容に対して、全員で討論を行います。

評価方法・評価基準

演習での積極性を評価の対象とします。

教材等

教科書…適宜指示します。
参考書…適宜指示します。

専門演習I
Seminar I

牛　丸　與志夫（ウシマル　ヨシオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

学生が関心を持つ法律学のテーマにつき、4年で求められる卒業論文の作成に役立つことを目的とした指導を行う。また、学生が研究のテーマを決めていない場合は、商法、すなわち、会社法、手形・小切手法、商法総則、商行為法、金融商品取引法、保険法の中から適切なテーマについて、重要判例および学説の検討を行う。あわせて、法学検定試験やビジネス実務法務検定試験対策についても指導する。

授業方法と留意点

まずは、重要判例の分析を行い、当該判例について学説の研究を行い、議論を深めて、法律学の習得をめざす。
積極的に議論に参加して欲しい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

商法に関する重要な法律問題の研究
方法：判例・学説の研究
事前事後学習課題：割り当てられたテーマにつき十分に研究すること

評価方法・評価基準

原則として定期試験は行いません。出席と受講態度を総合して、判定する。

教材等

教科書…授業の中で指示する。
参考書…授業の中で指示する。

備考

目的意識を見失わず、頑張ってください。

専門演習I
Seminar I

樫　原　義比古（カシハラ　ヨシヒコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

■専門演習Ⅱの「準備体操」としてのゼミです。3年次の「専門演習Ⅱ」と、4年次の「卒業研究」では、同じ先生のもと、ひとつの専門分野を2年間深く勉強することになります。

授業方法と留意点

（授業内容）「生きることは働くこと―　一生ものの自分を創るために　―」

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

【授業テーマ】　労働生活
【内容】　生活に身近な労働問題・社会問題を取り上げる。
【方法】　労働判例百選の中から適宜裁判例を取り上げる。
【事前事後学習課題】　授業中に指示

評価方法・評価基準

原則として定期試験は行いません。

教材等

教科書…授業中に指示をしますので、それに従ってください。
参考書…なし

備考

ゼミについて出席は必須です。

専門演習I
Seminar I

糟　谷　英　之（カスタニ　ヒデユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

専門演習Iは、3年次の「専門演習」と、4年次の「卒業研究」で国際法という専門分野を2年間深く勉強する前に、幅広く国際社会に目を向けてもらうことが目的です。

新聞、インターネットなどのメディアを通じて国際問題について考え、国際法の基礎知識を身につけることが到達目標です。

授業方法と留意点

授業方法は、新聞、インターネットなどのメディアを通じて国際問題を議論すること。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

毎回新聞、インターネットなどを通じて設定される国際的なテーマに関して情報収集した上で各自の発表や全体での議論をします。国際法の基礎知識を得るために教員が講義することもあります。さらに教員及びゼミ生の交流を深めるためにコンパやゼミ研修旅行など学外活動なども計画することもあります。

評価方法・評価基準

原則として定期試験は行いません。授業への積極的な参加の程度で評価します。場合によってはレポート提出を課すことがあります。

教材等

教科書…教科書は使用しません。
参考書…適宜授業中に指示します。

備考

定期試験は行わないので出席は必須です。

専門演習I
Seminar I

木　村　秀　一（キムラ　ヒデカズ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

専門演習Ⅱ（3年ゼミ）では、会社法・有価証券法・独禁法の判例研究のいずれかについて、学生の希望に沿って授業をすることにします。ビジネスパーソンとしてコンプライアンス能力を養うのを目的とし、具体的にはビジネス実務法務検定試験3級に合格できる法知識の修得を目標とします。
本演習は専門演習の準備段階として、2年生にも取り組みやすい法分野の判例を選んで学習してもらいます。

授業方法と留意点

2～3人のグループに分けて、各グループに判例研究をしてもらい、その結果を発表してもらいます。発表日の欠席は厳禁です。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

2年生でもとっつきやすい民法、労働法、刑法などの法分野から判例を選んでもらいます。もちろん、3年でやる会社法・有価証券法・独禁法の判例でもかまいません。

評価方法・評価基準

発表の内容も評価する。なお、六法を必ず持って来ること。

教材等

教科書…なし
参考書…各発表グループが選んだ判例に関する文献を各グループで探してもらいます。

専門演習I
Seminar I

牧　田　　勲（マキタ　イサオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

日本法史に関心をもち、またその基礎的な知識を身につけることを目標とする。日本の伝統的な法文化を知り、またそれが西欧法継受によって捨て去られることの意味を考えさせる。

授業方法と留意点

【授業内容】
「日本法の歴史」

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

学生諸君と相談の上、裁判史なり刑事法史なりといったテーマ

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　132　2014/10/14　17:50:50

を設定して、そのテーマにそって、その時代の法文化を考えることにしたい。分担を決めるので、担当者は十分な準備が必要である。

評価方法・評価基準

原則として定期試験は行わない。出席を重視するが、プレゼンテーションの回数や内容も評価の対象とする。

教材等

教科書…使わない。
参考書…ゼミの中で指示する。

備考

歴史が好きで、意欲的に取り組むことのできる学生に選択してもらいたい。

専門演習Ⅰ
Seminar Ⅰ

浮　田　　徹（ウキタ　トオル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

卒業研究につながる法学部の演習科目を行っていくにあたっての基礎的な力を身につけることを目的とします。

授業方法と留意点

個々人の力にある程度の差があることを前提としつつすべてのメンバーが基礎力を身につけていく経験を積んでいける機会を得られるようにするため、原則として出席して積極的に参加することが必要です。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

テーマを決めていく段階から自主性を重んじますので開講後決定します。

評価方法・評価基準

参加の程度とその都度の成果により評価します。

教材等

教科書…なし。
参考書…適宜紹介します。

専門演習Ⅰ
Seminar Ⅰ

小　島　俊　朗（コジマ　トシロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

将来社会人となった場合、日々世の中の動きを考慮しながら仕事をしていかなければなりません。そのような意味で、税金について学ぶことは社会経済の動きを考えることにつながります。税金についての基本的な知識を学ぶとともに、税の世界の考え方に触れることを目標にします。

授業方法と留意点

配付資料に基づき、問題点等について議論していきますので、自分の考えを積極的に発言してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

税金とは何か、税金はどのような役割を果たしているかなど、税金の基本について考えながら、現在の社会経済と税金の関わりについて考えていきます。この演習は、3年次での専門演習への導入という位置づけになります。

評価方法・評価基準

平常点により評価します。

教材等

教科書…随時資料を配付します。
参考書…なし

備考

ゼミは、社会に出てから要求される資質を向上させる機会の一つであり、出席することが重要です。自由に発言できる雰囲気のゼミにしましょう。

専門演習Ⅰ
Seminar Ⅰ

河　原　匡　見（カワラ　マサミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

私たちは日頃、さまざまなメディアを通じて氾濫する情報の中で生活しており、必要な情報を取捨選択し、かつそれを正しく読み取っていくことが求められています。そういう『みる眼』を養っていくことを目的とした演習です。特に、新聞あるいはテレビから発信される情報との“大人のつきあい方”を模索していきます。

授業方法と留意点

ゼミ形式。毎回欠かさず出席すること。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

政治や社会の動きをみる眼を養うことがテーマです。メディアのもつ特性やその発信するさまざまな情報についての基本的な視点を、実際の素材を用いながら学び考えていきます。3年生の専門演習Ⅱでの学習を進めていくための必須となる社会情報の基礎分析力を養います。なお、演習の中で適宜、予習あるいは復習の課題を提示します。

評価方法・評価基準

原則として定期試験は行いません。演習での勉学姿勢、および提出物の内容などにより評価します。

教材等

教科書…演習に必要な資料は適宜配布する予定です。
参考書…演習において適宜紹介します。

備考

演習では、積極的な参加が必要です。演習は、みなさんが、生来の資質を伸ばしたり、未知の可能性を見出したりするための、いわば知的な『共同訓練の場』といえます。ですから、演習に対しては、しっかりとした勉学の目的と意志をもって参加するようにしてください。演習によってどのような知識や思考方法が身に付くか、どのような新たな才能や可能性を見いだせるか、その成果は、みなさんの演習に対する積極さ如何に大きく関わってきます。

専門演習Ⅰ
Seminar Ⅰ

松　永　信　一（マツナガ　シンイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

■「専門演習Ⅰ」は、専門演習の「準備体操」としてのゼミです。政治を中心に現代社会の様々な重要問題についての理解を深め、その中から自分が専門とするテーマを見つけ出してほしい。

授業方法と留意点

【授業内容】
法律学的観点にこだわらずに、政治や社会の諸問題を考える。その際、『日本の論点2014』（文芸春秋社刊）を利用したいと考える。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

『日本の論点2014』から学生自身が関心あるテーマを選び、毎回、1から3名のものに報告してもらう。

評価方法・評価基準

授業中の発言を中心とした態度、発表内容に注目し、チェックしていきたい。

教材等

教科書…『日本の論点2,014』（文芸春秋社）
参考書…授業でその都度指示したい。

備考

何かある人は、以下のアドレスを使い、気軽に申し出てください。
matunaga @law.setsunan.ac.jp

専門演習Ⅰ
Seminar Ⅰ

小　野　晃　正（オノ　コウセイ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

専門演習Ⅰでは、3回生以降のゼミを進めていく上での基礎的な力を養う。
本演習では、原則として刑法及び刑事学の争点について、報告者の報告をもとに演習参加者全員で議論・討論する。また、参加者と相談の上、事例問題を解く回も必要に応じて設けたい。

授業方法と留意点

演習方式（報告と議論）
刑事法が好きな方、各種資格試験受験予定者、ロースクール進学志望者、公務員試験受験予定者の参加も歓迎する。

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　133　2014/10/14　17:50:50

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
刑事法や刑事学に関連したテーマから３年ゼミに向けての基礎を固める。
評価方法・評価基準
原則として報告と議論への参加をもとに評価する。
教材等
教科書…三井誠ほか『入門刑事法（第5版）』（2013・有斐閣）
参考書…演習内で指示する。

専門演習Ⅰ
Seminar Ⅰ

石　井　信　輝（イシイ　ノブキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標
「専門演習Ⅰ」は、3年次の「専門演習Ⅱ」と、４年次の「卒業研究」につながる演習であり、これから専門分野を２年半かけて深く勉強するための準備を行います。この準備を完了することが専門演習Ⅰの目的となりますが、具体的には、スポーツ活動を多面的に学び知見を身につけることを到達目標とします。
授業方法と留意点
・スポーツに関係する資料輪読
・レポートの作成
・作成したレポートのプレゼンテーション
・ディスカッション
授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
・授業テーマ：「スポーツ活動を多面的に学ぶ」
・方法及び内容：スポーツに関係する資料輪読、レポートの作成、作成したレポートのプレゼンテーション、およびディスカッションを行う。
・授業の都度指示する課題に対する予習と復習
評価方法・評価基準
授業への参加度（与えられた課題の完成度、プレゼンテーションの内容、ディスカッションでの発言等）を総合的に評価する。
教材等
教科書…授業の中で指示する。
参考書…その都度指示する。
備考
意欲的に取り組んで下さい。

専門演習Ⅰ
Seminar Ⅰ

島　田　良　一（シマダ　リヨウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標
刑事手続をめぐる諸問題について、受講者の報告をもとに全体で討議する。
授業方法と留意点
受講生による報告を中心とする。
授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
専門文献、資料、判例、報道記事などを素材に刑事手続に関する基礎的な知識を習得するとともに、受講生が各自関心のあるテーマについて報告を行う。
評価方法・評価基準
個別報告の内容、全体討議における発言・態度等を総合的に評価して判断する。
教材等
教科書…適宜指示する。
参考書…適宜指示する。

専門演習Ⅰ
Seminar Ⅰ

家　本　真　実（イエモト　マミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標
日頃、意識して「議論する」ということはあまりないかもしれませんが、日常生活において他の人と意見が異なることは多々あると思います。そのようなときに、話し合いによって自分の意見を相手方に理解してもらい、また相手方の意見を理解するということ、つまり相手方と「議論する」ことによって、お互いにとって納得できる合意を得ることが可能になります。そうして何らかの合意を得ることが必要な場面には、友人や家族などとの生活においてだけではなく、将来的には仕事をするうえでも遭遇することになります。そこでこのゼミでは、「議論する」ことに焦点を当てて、どうやって議論をしていくのか、相手に自分の意見を理解してもらうためにはどう話すべきなのか、また相手の意見を理解することがどれだけ重要なのか、といったことを少しずつ学んでいきたいと思います。
3年次におこなう模擬裁判においても議論をすることがメインとなりますので、専門演習Ⅰはその準備期間という位置付けでもあります。
授業方法と留意点
毎回、2-3人1グループを報告者として、一定のテーマについて基礎となる報告をおこなっていただきます。そのうえで、全員で、このテーマについて議論をしていただきます。したがって、報告者は、議論をおこなうことができるようなテーマを選択し、それについて基礎的な情報を提供することを目的としてレジュメを準備していただくとともに、報告当日の議論において司会を務めていただきます。
報告を聞く側の皆さんには、他人事のように報告を聞くのではなく、積極的に議論に参加するという姿勢をもって臨んでいただきたく思います。
授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
初回から2～3回程度は、報告にあたって必要な準備の方法などについて学びます。その後、各々の報告に移っていきたいと思います。皆さんが気楽に話せる内容を報告のテーマとしていただいて、とにかく自分の意見を口に出す、また自分の意見を他の人に理解してもらえるように話す、という練習をしていただきたいと思います。
評価方法・評価基準
報告における準備や司会進行の様子、議論への参加の姿勢をおもに評価の対象とします。
教材等
教科書…とくに使用しません。
参考書…ゼミ中に適宜、指示します。
備考
議論をすることによって、お互いの考え方を知り、理解しあうことにつながると思いますので、こうした活動を通じて、学生間での交流を深めてもらいたいと考えています。また、皆さんからゼミの内容についての提案があれば、できる限り取り入れていきたいと考えています。

専門演習Ⅰ
Seminar Ⅰ

城　内　　明（キウチ　アキラ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標
「民法判例を読む　―　基本判例を素材として　―」
本演習では、判例の読み方を学ぶ。最終的には、自力で判例を読み解き、関連判例・文献を整理して、自力で判例研究ができるまでの実力をつけることが目標となる。
なお、本ゼミでは、3年次に、他大学（近畿大学・立命館大学）との合同ゼミ（法律討論会）を行う。この討論会を勝ち抜く実力の養成も副次的な課題となる。
授業方法と留意点
報告は、2～3人のチームで行う。受講者には、チームの中での協調性、および、議論に参加する積極性が求められる。
授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
民法判例を読む　－基本判例を素材として－
事前事後学習課題については、適宜指示する。
評価方法・評価基準
演習に臨む姿勢、報告内容等を総合的に評価する。
教材等
教科書…適宜、指示する。
参考書…適宜、指示する。
備考
ゼミは毎回の出席が前提であり、無断欠席は許されません。やむをえず欠席する場合は、メール等で必ず連絡するように。
ゼミの仲間は、一生の仲間です。「自分さえ良ければ」ではなく、皆で高めあい「学問」しましょう。

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　134　2014/10/14　17:50:50

専門演習Ⅰ
Seminarl

萩　原　佐　織（ハギハラ　サオリ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

当該民事法ゼミでは、例えば民法等の実体法に基づき発生する権利につき紛争が生じ、裁判所等で解決されるべき場合に、その方法や当事者が従うべきルール等につき、具体的な事案や判例をもとに追求することを最終目標としています。ただし、2年次の段階では民事訴訟等が未履修ですので、まずは民法等の復習ならびに発展問題を取り扱い、私人の権利、ならびに私人間の権利の衝突・紛争の態様につき学んでもらいたいと思います。

授業方法と留意点

【授業内容】

前半は、ゼミでの発表の仕方（論文・判例・その他の資料等の見つけ方、配布資料の作成方法等）につき指導を行う。後半は、2,3人のグループでの研究発表を予定。なお、発表毎に質疑応答を行うので、他のグループの研究発表時にも、積極的な参加姿勢を要する。1学期内に、各グループとも、3回程研究発表を行う機会を有するが、発表毎に構成員を変更し、ゼミ生同士が、より多くのコミュニケーションを、それぞれのメンバーととることができるように考慮している。そこから研究発表にも、より良い知の化学反応が生じることを期待している。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業は、民事事件に関する判例等の研究発表を中心として行う。学期初めに、各グループの発表日時を決めるので、各グループは、構成員同士で話し合って発表テーマを決定し、発表に備え、事前に準備すること。事前準備においては、研究対象となる判例や論文等の資料を探し読み込むこと（インプット）はもちろん、どのように発表すれば他人により分かり易く伝えることができるのか、その発表内容や方法（アウトプット）についても熟慮すること。また、発表時には、研究内容を、板書やパワーポイント等を用いて説明するとともに、配布資料を配布すること。

配布資料は、①研究対象となる事案・争点・判例や学説の流れ・解説等を記載したものと、②研究対象となる事案の判決（判旨・判決理由）を記載したもの、の2点を別個に用意する。まず、発表者が、配布資料①に基づき、事案・争点等の説明を行った後、ゼミ全体でディスカッションし、その後、配布資料②を用いて、当該事案の判決につき、再度論議を行う。

評価方法・評価基準

ゼミへの参加意欲ならびにその体現、自身の研究発表への取組み方ならびにその成果、そして他のゼミ生の発表における質疑応答等を、総合的に判断して評価する。

教材等

教科書…演習時において、適宜指示する。
参考書…演習時において、適宜指示する。

備考

【学生へのメッセージ】

初めての専門演習ですので、最初は、グループ発表で、ゼミでの発表方法やディスカッションの仕方等に慣れていってもらえればと思います。このメンバーで卒業までの2年半を過ごすことになるので、皆が気軽に話し合えるような良い雰囲気のゼミになれるといいですね。

専門演習Ⅰ
Seminar I

大　川　謙　蔵（オオカワ　ケンゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

本演習では卒業までに、ゼミ生全員で少なくとも民法の制度については詳細に把握できることを目的としている。

そのために、ゼミ生全員の協力の下で、どのような社会的問題が存在し、法律がどのような対応をしているのかを把握していく。すなわち、社会状況を知ることにより、自分が社会においてどのような立場に立ち、またどのようなことをすべきかなど、多くの点を考える糸口を得られると考えている。

授業方法と留意点

２年次の予定としては、①個人による社会問題の報告（→報告方法・改善点を把握）、②グループによるディベート（集団での活動方法・説得的なものとはいかなるものであるのかを把握）、③グループでの判例報告、としている。

ただし、あくまで予定であり、話し合いなどで変更はありうる。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

判例の入手方法、レジュメの作成方法などについては、適宜指摘をしていく。

評価方法・評価基準

成績は、学期末に教員が用紙を渡すので、各ゼミ生が自己採点を行う。

自分で自分を評価する能力が必要とされる。

その自己評価書自体から教員が評価を行う。

教材等

教科書…演習時に適宜指摘していく。
参考書…演習時に適宜指摘していく。

備考

学生主体のゼミを目指しています。

そのため、新ゼミ生の獲得もゼミ生自身でガイダンス等において説明をおこない、主体的に動いてもらうことを考えています。それにより、縦の人間関係も形成され、就活などの情報も先輩から後輩へと伝えていくことができると考えています。

専門演習Ⅰ
Seminarl

松　島　裕　一（マツシマ　ユウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

３回生からの専門演習Ⅱに向けて、まずは法哲学・法思想史という学問分野に馴染んでもらうことがこの演習の目標です。具体的には、法哲学・法思想史の基本的な入門書をみんなで輪読しながら、レジュメやパワーポイントの作り方、ネットを利用した資料収集の方法、報告やグループ討論の仕方を学んでいきます。

授業方法と留意点

毎回担当者を決めて課題を発表してもらい、それに基づいてみんなで討論を行います。必要に応じて教員（松島）が学生の発表内容を補足するために講義やDVD鑑賞を行います。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

法哲学・法思想史にかんするテーマのなかからいくつかをゼミ生全員で選び、毎回担当者に報告をしてもらいます。報告担当の学生には十分な事前の準備を求めますので、真摯に課題に取り組んでください。

評価方法・評価基準

毎回の出席を前提として、演習中の報告内容や発言回数、グループ討論への参加度などを総合的に判断して評価します。なお無断欠席・遅刻が度重なる場合は単位取得を認めないので、十分に注意してください。

教材等

教科書…演習のなかで適宜指示します（実際に購入してもらうことになると思いますので、数千円程度の出費を見ていてください）。
参考書…小笠原喜康『新版 大学生のためのレポート・論文術』講談社現代新書（約760円）

備考

専門演習は学習の場であるとともに、教員と学生および学生相互の交流の場であるとも思っています。学生の希望があれば、さまざまなゼミの行事（コンパや合宿など）も実施する予定ですので、積極的に参加してほしいと思います。

専門演習Ⅰ
Seminarl

古　川　行　男（フルカワ　ユキオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

民事法の基礎的知識を確認し、深めることを目的とするゼミである。民事法は財産と家族という我々の日常生活に関する一連の法であって、現実の生活と密接に関係している。典型的裁判例、法ことわざを素材とすることにより民事法の基礎的知識を確実に習得することを目標とする。

授業方法と留意点

民事上の権利の発生・消滅に関する法（実体法）及び権利の実現に関する法（手続法）の基礎的事項と全体像を確認した上、重要な法律問題について検討・討論する。民事法は財産と家族という日常的で現実的なことを扱う法であり、現実の生活と関連づけて法律問題を検討することが重要である。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

典型的裁判例、法ことわざによって、基礎的な講義をした上、判例プラクティスⅠ、Ⅱ、Ⅲ、判例百選から選んだ判例を検討する。

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　135　2014/10/14　17:50:51

宅建等の資格試験にも有益なように、主に不動産及び債権の実現という現実的な問題について検討する。法律の学習には抽象的命題（条文、学説・判例）の具体例を知ることと紛争がどの命題に関する問題なのか二つの側面～「具体化と抽象化」、平たく言えば「例えば～、」と「要するに～、」～がある。論理の展開にはこの二つの側面（具体化と抽象化）を意識することが必要である。各ゼミ生は、このことに留意して与えられた題材に取り組むことが重要である。

評価方法・評価基準

与えられた題材に対する取り組み、授業中の態度、出席状況によって評価する。

教材等

教科書…特にない。
参考書…民事法関連の講義での教科書、「民法Visual Materials」（有斐閣）　2100円

備考

積極的に議論すること

専門演習I
Seminar I

中　沼　丈　晃（ナカヌマ　タケアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

卒業研究につながる演習の第一段階である。地域活動に参加して、現場を観察する。関係者の方に聞き取り調査をする。自分たちの行っている活動を学外の方に説明する。読書で知識を得て、それをまとめる。この４つの力をバランスよく養っていきたい。

授業方法と留意点

地域活動に参加しての参与観察、聞き取り調査が最大の特徴の演習である。さまざまな立場、価値観の人たちとの交流を楽しんでほしい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

演習で扱う分野は、地域防犯、自治会の地域活動、小学校と地域との関係、地域での児童福祉の４つである。

評価方法・評価基準

演習時限の全出席を前提とする。活動や聞き取り、読書で得られた知見のまとめへの熱意で評価する。

教材等

教科書…指定しない。
参考書…適宜紹介する。

専門演習II
SeminarII

小　山　　昇（コヤマ　ノボル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

卒業研究論文の作成に向けて、３年次の専門演習Ⅱは、「国際私法の構造」を理解するために、判例を使った検討を中心として各自あるいはグループで判例を調べて報告することを求めます。なお、理解を確実なものとするために、判例報告に入る前に、国際私法の構造について簡単な知識の確認も行い、３年次終了時には卒業研究論文のテーマを確定して提出を求めますので、目的意識を持った報告と活発な討論を求めます。

授業方法と留意点

「国際私法の構造」についての問題に答えるという形で進め、その後、「国際私法の諸問題」について判例研究をします。双方向性を重視して、討論を主体とする形式で行い、判例報告では、レジュメの作成を求めます。
なお、年度の終わりには、国際私法の理解度を評価するための課題レポートと卒業研究論文テーマの提出を義務づけます。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

１.「国際私法の構造」について、重要であると考えられる事柄を問題形式にして検討する。
２. 構造の理解を前提として、国際私法の諸問題について判例を使って具体的な研究をする。提示する判例の中から選択したものについて、実際の判決文を直接読んで検討し、レジュメを作成して報告することを求める。その後、その報告を材料として全員で討議・検討する。なお、関連する各国実質法については、必要な範囲で適宜講義する。
３. 年度の終わりには、国際私法の理解度を評価するための課題レポート、及び卒業研究論文テーマの提出を義務づける。

評価方法・評価基準

報告レジュメ、報告内容及び課題レポートを総合して評価します。

教材等

教科書…報告に必要な判例などは、図書館やインターネットを利用して必ず各自で入手すること。課題に直接関係する資料については配付します。
参考書…授業中に紹介します。

備考

【学生へのメッセージ】
判決文の読解、レジュメの作成など日本語の正確な知識が必要になりますので、日本語を意識するように心がけてください。

専門演習II
SeminarII

金　谷　重　樹（カナタニ　シゲキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

１. 行政法の講義で学んだことを基礎にして、行政法上の諸論点について判例の分析を行い、行政法への理解を深めます。
２. 演習では、自分で選んだ判例について、事案の概要、争点、裁判所の判断を紹介してもらった後、自らの見解を述べてもらいます。
３. 具体的なケースにおいて法を適切に適用し、問題解決を図る能力を身につけます。

授業方法と留意点

【授業内容】
2年生で学んだ行政法の専門知識とプレ専門演習で修得した知識をさらに発展・向上させるため、行政法上の論の中でも本格的なものを扱った判例を素材にして学習します。
【授業方法と留意点】　やむを得ず欠席する場合には必ず連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

１. 毎回、２人から３人程度に報告をしたもらいます。
２. 報告の内容に対して、全員で討論を行います。
３. 報告者はレジュメを用意して、配布してください。

評価方法・評価基準

報告内容だけでなく、課題に取り組む姿勢を重視します。

教材等

教科書…教材として使用する判例は、配付します。
参考書…授業中に適宜指示します。

備考

【学生へのメッセージ】
積極的に取り組んで下さい。ゼミの討論では積極的に発言して下さい。
法廷見学や裁判の傍聴も行います。また、コンパもやります。

専門演習II
SeminarII

牛　丸　與志夫（ウシマル　ヨシオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

学生が関心を持つ法律学のテーマにつき、４年で求められる卒業論文の作成に役立つことを目的とした指導を行う。また、学生が研究のテーマを決めていない場合は、商法、すなわち、会社法、手形・小切手法、商法総則、商行為法、金融商品取引法、保険法の中から適切なテーマについて、重要判例および学説の検討を行う。あわせて、公務員採用試験や各種の資格試験対策についても指導する。

授業方法と留意点

まずは、重要判例の分析を行い、当該判例について学説の研究を行い、議論を深めて、法律学の習得をめざす。
積極的に議論に参加して欲しい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業のテーマ：商法に関する重要な法律問題の研究
方法：判例・学説の研究
事前事後学習課題：割り当てられたテーマにつき十分に研究すること

評価方法・評価基準

出席率、演習への参加態度を総合的に判断して行う。

教材等

教科書…授業中に指示する
参考書…授業中に指示する。

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　136　2014/10/14　17:50:51

専門演習II
SeminarII

古　川　行　男（フルカワ　ユキオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
不動産登記、担保物権、民事執行等について復習及び研究をすることによりして不動産取引、金融についての知識を確実なものとする。実社会においても必要な知識を深めるだけでなく、宅建、司法書士等の資格取得に対応する法的基礎を得るようにする。

授業方法と留意点
【授業内容】
裁判例、文献を検討して、その中で，各自が関心を引く題材，課題を探し出し，レポートの作成等を通じて，卒業研究に繋がる準備を進める。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
基礎的文献、判例プラクティス、判例百選から選んだ題材について、検討、討論を重ねる。それによって、法学思考に磨きをかける。

評価方法・評価基準
授業への参加の態度、報告内容によって、評価するが、卒業研究の準備のためにも、適宜、レポートの提出を求める。

教材等
教科書…池田真朗編著「民法Visual Material s」（有斐閣）
参考書…授業において指示する。

備考
【学生へのメッセージ】

専門演習II
SeminarII

樫　原　義比古（カシハラ　ヨシヒコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
４年次の「卒業研究」の前段階のゼミです。専門演習Ｉを踏まえて、ひとつの専門分野をさらに深く勉強することになります。

授業方法と留意点
「生きることは働くこと－一生ものの自分を創るために－」

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
【授業テーマ】　労働生活
【内容】生活に身近な労働問題・社会問題を取り上げる
【方法】労働判例百選の中から適宜裁判例を取り上げる
【事前事後学習課題】　授業中に指示

評価方法・評価基準
原則として定期試験は行いません。

教材等
教科書…労働判例百選
参考書…菅野和夫著『労働法』弘文堂

専門演習II
SeminarII

糟　谷　英　之（カスタニ　ヒデユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必須	4

授業概要・目的・到達目標
専門演習IIでは、卒業研究の準備として、現代国際社会が抱える様々な問題を、各自がこれまで学んだ国際法の基本的知識などを基礎に国際法の視点からより専門的に考えることを主な目的とする。演習での討論を通じて各自が卒業論文のテーマの決定を行うことを最終的な目標とする。あわせて就職活動に関連する情報交換も行う予定である。

授業方法と留意点
【授業内容】
各自の選択したテーマに従った報告、討論を中心に進める。
加えて後期には卒業論文作成の方法など卒業研究の準備を始めることにする。
日常的に英語力の養成も心がけたい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
特に前期は、各自の選択したテーマに従った報告、討論を中心に進める。
後期には卒業論文作成の方法など卒業研究の準備を始めることにする。
日常的に英語力の養成も心がけたい。
日常的な活動を通じて教員及びゼミ生の交流を深めると共に、コンパやゼミ研修旅行などを計画することによってさらにゼミの結束を強めたい。

評価方法・評価基準
各自の報告義務の履行、演習での討論への参加程度及び演習への貢献度などを考慮して総合的に評価する。

教材等
教科書…小笠原喜康 著　『新版　大学生のためのレポート・論文術』講談社現代新書（２００９年）７２０円。
その他各自が選択したテーマに応じて『国際法外交雑誌』など学術専門誌の論文のコピーを使用する。
参考書…適宜指示する。

備考
【学生へのメッセージ】
演習は、専門的な知識を他の学生との討論を通じかつ教員の個人的な指導を受けながら身につける絶好の機会であると同時に、他の学生とも定期的に交流を深めることのできる数少ない機会でもあることを認識する必要がある。

専門演習II
SeminarII

木　村　秀　一（キムラ　ヒデカズ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
会社法・有価証券法・独禁法の判例研究のいずれかについて、学生の希望に沿って授業をすることにします。ビジネスパーソンとしてコンプライアンス能力を養うのを目的とし、具体的にはビジネス実務法務検定試験３級に合格できる法知識の修得を目標とします。

授業方法と留意点
【授業内容】
会社法・有価証券法・独禁法の重要判例を判例百選等からピックアップし、２～３人のグループに割当てて研究してもらい、発表する方式にします。レジメ等を配付して発表するのも、パワポで作成したスライドを使用するのも自由です。発表日に欠席するのは厳禁です。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
会社法・有価証券法・独禁法の重要判例を判例百選等から選んでもらい、各グループの研究結果を発表してもらう。

評価方法・評価基準
発表の内容も評価する。なお、六法を必ず持って来ること。

教材等
教科書…ゼミで指示する。
参考書…各発表グループが選んだ判例に関する文献を各グループで探してもらいます。

備考
【学生へのメッセージ】
ゼミは友人を作る絶好の場なので、授業に出るだけでなく、ゼミ生同士の交流を深めてほしい。そのため、ゼミ生が希望すれば、コンパなども行う。学生時代の思い出作りのためにも、大いに学生生活を楽しんでほしい。そのためには、仲の良い友達とグループで入ゼミするとなおよい。主な就職先：富山化学（後に武田薬品に転職）、大和ハウス、リヒト、エイブル、セブンイレブン、マクドナルド、レオパレス２１、大阪府警、学校法人常翔学園職員、海上保安庁、消防署など

専門演習II
SeminarII

牧　田　　勲（マキタ　イサオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
日本の法文化や法の変動について関心をもち、主体的に調べ、議論を通じてその理解を深めることを目標とする。過去の法だけでなく、現在の法をも視野に入れて取り組むことにしたい。また、法や紛争の背後にある経済的・社会的・思想的対立関係についても眼を向けたい。その意味では、このゼミは法社会学、法社会史の性格をもっており、法や社会に対して問題意識にあふれた諸君の選択を期待している。

授業方法と留意点

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　137　2014/10/14　17:50:51

【授業内容】
各自が関心をもったテーマについて報告してもらう。将来の卒業研究につながる基礎作業ともいえるゼミであり、文献調べ、資料収集、テーマに関わる研究上の論点整理などが必要となる。報告者の問題意識を高めるためにも、他の参加者が質問したり、批判することが重要であり、積極的な参加を期待する。学生諸君にとって文章を書く機会が多いとはいえないので、本ゼミではとくに作文指導に力を入れることとする。原稿用紙の使い方から始めて、主語－述語の一致、副詞の呼応、接続詞・助詞の使い方、文章の起承転結など、基本的なところから指導し、添削する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
前期は、例えば裁判などといったテーマを決めて、分担者に各自報告してもらう。後期は、翌年度の卒業研究論文執筆を視野に入れて、各自が興味をもつテーマについて調べ、プレゼンテーションし、討論を行うことにしたい。

評価方法・評価基準
出席重視であるが、プレゼンテーションの回数や内容を評価に加える。

教材等
教科書…使わない。
参考書…ゼミの中で指示する。

備考
【学生へのメッセージ】
多数の人と討論すること、思考を論理的にまとめ発表すること、それを文章で表現すること、これらは企業や役所に就職した後も必要とされる資質です。是非その能力を磨いてください。

専門演習II
SeminarII

小　島　俊　朗（コジマ　トシロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
租税法の学習を通じて、現実の社会経済と租税法との関連について理解を深めていきます。将来社会人になった場合、たとえどの職場でも要求されることは、何事にも自主的、積極的に取り組み自分で考え工夫していくことだと思います。ゼミの題材は租税法の分野ですが、それを一つの教材として、各人が問題意識を持って考えてもらいたいと思います。また、ゼミは知識の習得だけでなく発表力をつける場でもあります。自分の考えを整理して相手に正確に伝える能力も社会に出ると大事です。是非いろいろな意味で有意義なゼミにしてください。

授業方法と留意点
【授業内容】配付資料等をもとに租税法の基礎的な理論や個別の税法の仕組み、問題点等について研究していきます。毎回報告者が担当テーマの発表を行い、それに基づいて討論していきます。卒業研究のための準備にもつながりますので、必ず出席してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
国税不服審判所の裁決事例を担当者を決めて発表してもらい、各事例ごとの法解釈や事実認定上のポイントにつき解説します。重要な税法である法人税法、消費税法等について議論しながら考えていきます。

評価方法・評価基準
平常点により評価します。

教材等
教科書…「租税判例百選（第五版）」（別冊ジュリスト207号）有斐閣（2700円）その他随時必要に応じて資料を配付します。
参考書…なし

備考
【学生へのメッセージ】ゼミは、社会で出てから要求される資質を向上させるのに絶好の機会を提供すると思いますので、ゼミを重要視してください。自由に発言できる雰囲気のゼミにしましょう。出席することが重要です。

専門演習II
SeminarII

河　原　匡　見（カワラ　マサミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
専門演習Ⅱでは、国の内外の社会において現実に生じている動きをきちんと把握し分析し、それをより深く理解できるようにトレーニングを進めていきます。特に、本演習では、社会における「紛争」や「論争」などを題材としていきたいと思います。また、学問に直接関係することだけでなく、広く学生生活全般に関すること、あるいは一般社会の問題についても議論し合っていければと思います。

授業方法と留意点
ゼミ形式。毎回欠かさず出席すること。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
専門演習Ⅱでは、国の内外の社会におけるさまざまな政治的社会的諸現象が実際にどのように発生し、どのような状態にあるのか、きちんと把握するとともに、より深く理解していく上での分析能力の養成を目指していきます。特に、国際社会や国内社会のさまざまな局面やレベルにおける「紛争」や「対立」あるいは「論争」を題材としていきたいと思います。前期は主に、世界各地の「紛争」についての理解を深めることに重点をおき、後期は、日々動きの激しい国際情勢を把握するトレーニングに重点をおきたいと思います。そのためには、配布した資料の予習、課題についての調査（＝情報収集）、そして演習での報告およびそこで問題となった点の復習や再調査が求められます。

評価方法・評価基準
平常点（演習での勉学姿勢）および提出物の内容などにより評価します。

教材等
教科書…演習に必要な資料は適宜配布する予定です。
参考書…演習において適宜紹介します。

備考
【学生へのメッセージ】
演習は、諸君が、生来の資質を伸ばしたり、未知の可能性を見出したりするための、いわば知的な『共同訓練の場』といえます。ですから、演習に対しては、しっかりとした勉学の目的と意志をもって参加するようにしてください。演習によってどのような知識や思考方法が身に付くか、どのような新たな才能や可能性を見い出せるか、その成果は、諸君の演習に対する積極さ如何に大きく関わってきます。そして、それはまた、これからの人生のさまざまな局面において、どれだけ自信をもって諸事に臨んでいけるかということにも関わってきます。

専門演習II
SeminarII

松　永　信　一（マツナガ　シンイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必須	4

授業概要・目的・到達目標
［1］ゼミの授業の大きな目標は各自のコミュニケーション能力の開発と向上にある。具体的に言えば、それはつぎのようなことである。ひとつのテーマに主体的に関わり、それを人に説明し、話し合い、結論を導き出すということである。しかも、このような作業をそれほど親しくもないものと協同でするのである。近年、若い世代においてひきこもり傾向が見られる中で、このような能力を培うことは社会から大学に強く求められ、大学もこれに答えようとすることのできる数少ないことの一つであろう。
［2］日本社会は、今大きく変わりつつある。特に団塊の世代がいっせいに退職するとされる数年後の日本社会の様変わりは明白である。このような社会の変化を理解して、その適切な対処の仕方を見つけ出す（=自分の進路を決める）ことができるためには、広い意味での知識の習得がぜひとも必要だ。なぜなら、この困難を切り抜けるためのマニュエルなどどこにもなく、すべて自分で決めなければならないから。そうした決断力を養うための知識習得の場がゼミなのだ。それは試験のための知識習得とはかなりちがってくる。

授業方法と留意点
【授業内容】
前期のゼミのテーマは「現代社会と生命破壊」であるが、ゼミ生の要望を積極的に取り上げていきたい。自分が取り組むべき個別のテーマを探し、卒論についての見通しを立てる。後期には、卒論のテーマをきめ、その骨子を報告してもらう。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
卒論のテーマを見つけ出すというのが目標となるが、そのやり方については、学生の要望を聞いたり、学生の実力を考慮しながら決めたいと考える。

評価方法・評価基準
レポートの報告及びレジュメの作成具合。日ごろの発言態度及び発言内容。

教材等
教科書…授業中に指示。
参考書…授業中にその都度指示していきたい。

備考

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　138　2014/10/14　17:50:51

【学生へのメッセージ】
何か連絡したい時には次のアドレスにメールを下さい。
matunaga@law.setsunan.ac.jp

専門演習II
SeminarII

浮　田　　徹（ウキタ　トオル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
本演習は報告と討論を中心に行います。報告者は、報告の下準備として様々な文献を「読む」という作業、論点をまとめて報告レジュメを「書く」という作業、そして報告の場面では議論の中で「話す」という作業を行います。それ以外の参加者は、報告者が素材とするテーマについてあらかじめ「読む」という作業、議論の中で「話す」という作業を行います。このような作業を通じ、憲法に対する理解は、これまでよりもさらに深いところに到達できると考えています。そして、それをもとにして、各人が作成する卒業研究のテーマを決定し、論文として完成させることを最終的な目的としています。

授業方法と留意点
【授業内容】
卒業研究論文の作成の前段階として、憲法全般についての理解を深めます。
ある一定の大きなテーマを置いてその上で報告を行ってもらいます。
その後に、各受講者の卒業論文の構想について報告・討論を行います。題材の絞り込みとテーマ設定、論文の構想づくりまでを３年次で終了し、可能な限り早期に執筆を開始できるよう準備を整えていくことが目標となります。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
憲法に関連するテーマを採り上げ、報告、議論を行う。

評価方法・評価基準
報告をもとにして評価します。

教材等
教科書…講義中に指示します。
参考書…講義中に指示します。

備考
【学生へのメッセージ】
何かしようと自ら考える、話してみる、実際に行動してみる、といったことを、勉強面だけではなくコンパ、旅行、その他ゼミの様々な側面で実践してみてください。

専門演習II
SeminarII

石　井　信　輝（イシイ　ノブキ）
糟　谷　英　之（カスタニ　ヒデユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
スポーツ活動を多面的な学問領域から検討し、知見の獲得を図る。卒業研究題目の決定と、必要な資料・文献の収集および予備調査への導入を図る。

授業方法と留意点
【授業内容】
【前期】各自が興味を持つテーマを発見できるよう、文献・資料の収集を図る。また、収集した資料・文献を基にレジュメを作成し、報告する。
【後期】前期に発表した報告を更に掘り下げるとともに、卒業研究における各自のテーマを決定する。また、論文作成に必要な資料・文献の収集を行うとともに、必要であれば予備調査を実施する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
授業テーマ：スポーツ活動を多面的な学問領域から検討し、知見の獲得を図る。
授業内容：前期においては、各自が興味を持つテーマを発見できるよう、文献・資料の収集を図る。また、収集した資料・文献を基にレジュメを作成し、報告する。後期においては、前期に発表した報告を更に掘り下げるとともに、卒業研究における各自のテーマを決定する。また、論文作成に必要な資料・文献の収集を行うとともに、必要であれば予備調査を実施する。
事前事後学習課題：授業中に指示した課題の実行

評価方法・評価基準
報告の内容および授業への取り組みを総合的に評価する。

教材等
教科書…授業中に指示する。
参考書…その都度指示する。

備考
意欲的に取り組んでください。

専門演習II
SeminarII

島　田　良　一（シマダ　リョウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
刑事手続をめぐる諸問題について、受講者の報告をもとに全体で討議する。

授業方法と留意点
受講生による報告を中心とする。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
専門文献、資料、判例、報道記事などを素材に刑事手続に関する基礎的な知識を習得するとともに、受講生が各自関心のあるテーマについて報告を行う。

評価方法・評価基準
個別報告の内容、全体討議における発言・態度等を総合的に評価して判断する。

教材等
教科書…適宜指示する。
参考書…適宜指示する。

専門演習II
SeminarII

家　本　真　実（イエモト　マミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
法は、社会における最低限のルール・道徳であるといわれます。この演習では、現在、社会で起きている問題や議論されている事柄を通して、現行の法律がどのようなものであるか、そしてどうあるべきかを考えることによって、法に対する知識をより広い視野をもって深めていく機会にしていただきたいと思います。
前期は、報告者グループがおこなう何らかの法的・政治的問題や課題についての報告を基に、皆で議論していただきます。単に個人的な考え方や意見を述べるだけでなく、根拠を示しながら、どのように問題を捉えるべきなのかを議論する力をつけていただきたいと思っています。
後期においては、前期で培った議論・説得する力を存分に発揮しつつ、法を実践的に学ぶために、模擬裁判をおこなっていただく予定です。

授業方法と留意点
前期は毎回、2-3人を1グループとする報告者に議論の基礎となる報告をしていただいたうえで、皆さんで議論していただくというかたちをとります。報告者は、報告前に集まって、共同でレジュメを作成し、報告や議論の進行について考えてください。そのうえで、報告の数日前までにその概要を担当教員に知らせてください。報告者以外の方々には、積極的に議論に参加されることを望みます。こうして議論をおこなうことによって、違う意見を持つ人々をどう説得するか、またどう折り合いをつけるのかを学ぶことにもなるでしょう。
後期は、模擬裁判をおこなうことを考えていますので、その準備と実施がおもな活動となります。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
前期は、グループでの報告と、それを基にした議論をおこなっていただきたいと思います。1人につき、2-3回、報告をする機会があると思いますが、そのうち少なくとも1度は、民事事件の判例を報告のテーマとしていただき、当事者双方の主張、そしてそれらに対する裁判所の判断について検討・議論していただきたいと思います。2度目以降の報告については、民事事件に限らず、法律や政治に関連のある事柄について報告していただくというふうにしていきたいと考えています。
後期は4年生とともに、模擬裁判をおこなっていただきます。刑事裁判手続きや裁判員制度に関して学んだうえで、模擬裁判で題材とする事案の検討をおこない、検察チームや弁護チームの弁論や尋問を作成するという作業と模擬裁判の実施が、後期のゼミの大半を占めることになります。

評価方法・評価基準

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　139　2014/10/14　17:50:51

報告における準備や司会進行の様子、議論や模擬裁判への参加姿勢をおもに評価の対象とします。

教材等

教科書…とくに使用しません。
参考書…ゼミ中に適宜、指示します。

備考

ともに議論をし、模擬裁判をおこなうことによって、お互いの考え方を知り、理解しあうことにつながると思います。こうした活動を通じて、学生間で交流を深めてもらえれば、と考えています。また、皆さんからゼミの内容についての提案があれば、できる限り取り入れていきたいと考えています。

専門演習II
SeminarII

城　内　　明（キウチ　アキラ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必須	4

授業概要・目的・到達目標

【民法総合演習】
本演習では，受講生の法的問題解決能力の向上を目的として，現実に，今，社会で問題となっている，民法(債権法)・消費者法にかかわる最新の事例・判例の検討を行う。
長期休暇中に、他大学（近畿大学・立命館大学）との合同ゼミ（法律討論会）も予定している(全員参加)。

授業方法と留意点

報告は2～3名のチームで行う。報告者チームには、互いに協力し、関連文献・判例をふまえた報告を行うことが求められる。
本演習は，民法の基礎知識を前提とする。特に、民法総則、債権法、不法行為法、契約法、消費者と法の授業内容は、直接関連するため、履修が望ましい。
なお、ゼミは毎回の出席が前提であり、無断欠席は許されない。やむを得ず欠席する場合は、メール等で必ず連絡するように。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

民法総合演習
事前事後学習課題については適宜指示する。

評価方法・評価基準

報告，レポートおよび平常点（授業に臨む姿勢など）を総合評価する。

教材等

教科書…適宜、指示する。
参考書…適宜、指示する。

備考

ゼミは皆で作るものです。徹底的に学び，議論し，思いっきり遊んで，良いゼミをつくっていきましょう。

専門演習II
Seminar II

萩　原　佐　織（ハギハラ　サオリ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

当該民事法ゼミでは、例えば民法等の実体法に基づき発生する権利につき紛争が生じ、裁判所等で解決されるべき場合に、その方法や当事者が従うべきルール等につき、具体的な事案や判例をもとに追求することを最終目標としています。それゆえ、既に民法が良く理解できている方は、民法で学んだことを裁判という場にシフトさせ、より深く発展的に学び、他方、民法をまだ良く理解できていないという方は、裁判という角度から、もう一度民法を見つめ直す機会に利用して下さい。皆さんのご希望があれば民法・民事訴訟法以外に、民事執行・保全法や倒産法をテーマにすることも検討致します。いずれにせよ、これらの民事手続法の授業は、3年次開講で、ゼミとともに進行していきますので、専門演習もあせらずゆっくりと進んでいきたいと思います。

授業方法と留意点

【授業内容】
3年次は、2年次とは異なり、基本的には個人発表と質疑応答が中心となり、内容もより深いものとなります。発表では、自分が特に興味を有するテーマを取り上げることから、回を重ねるごとにその分野における知識が集積され、卒業研究で取り扱いたいと思う課題・問題意識に繋がることと思います。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業は、民事事件に関する判例等の研究発表を中心として行う。学期初めに、各自の発表日時を決めるので、各々発表テーマを決定し、発表に備え、事前に準備すること。事前準備においては、研究対象となる判例や論文等の資料を探し読み込むこと（インプット）はもちろん、どのように発表すれば他人により分かり易く伝えることができるのか、その発表内容や方法（アウトプット）についても熟慮すること。また、発表時には、研究内容を、板書やパワーポイント等を用いて説明するとともに、配布資料を配布すること。配布資料は、①研究対象となる事案・争点・判例や学説の流れ・解説等を記載したものと、②研究対象となる事案の判決（判旨・判決理由）を記載したもの、の2点を別個に用意する。まず、発表者が、配布資料①に基づき、事案・争点等の説明を行った後、ゼミ全体でディスカッションし、その後、配布資料②を用いて、当該事案の判決につき、再度論議を行う。当該専門演習内において、各自3回程、研究発表の機会を有する。発表毎に其々異なるテーマを取り扱ってもよいし、また、同一テーマに関する複数の判例を研究対象としてもよい。

評価方法・評価基準

ゼミへの参加意欲ならびにその体現、自身の研究発表への取組み方ならびにその成果、そして他のゼミ生の発表における質疑応答等を、総合的に判断して評価する。

教材等

教科書…適宜指示する。
参考書…適宜指示する。

備考

【学生へのメッセージ】
3年次の専門演習は、2年半に及ぶゼミの中でも一番充実して学べる時期ですので、将来のために、この時間を有意義に活かしてください。また、普段の友達の輪とはまた少し違うゼミ仲間から得られるものも多いと思いますので、全員が声をかけ合えられるような和気あいあいとしたゼミになってくれればと思います。

専門演習II
SeminarII

大　川　謙　蔵（オオカワ　ケンゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

本演習では卒業までに、ゼミ生全員で少なくとも民法の制度については詳細に把握できることを目的としている。
そのために、ゼミ生全員の協力の下で、どのような社会的問題が存在し、法律がどのような対応をしているのかを把握していく。すなわち、社会状況を知ることにより、自分が社会においてどのような立場に立ち、またどのようなことをすべきかなど、多くの点を考える糸口を得られると考えている。

授業方法と留意点

3年次の予定としては、①グループによる判例報告、②個人の判例報告を予定。
ただし、あくまで予定であり、話し合いなどで変更はありうる。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

2年次ゼミ生の獲得計画の作成、実施を予定。

評価方法・評価基準

成績は、学期末に教員が用紙を渡すので、各ゼミ生が自己採点を行う。
自分で自分を評価する能力が必要とされる。
その自己評価書自体から教員が評価を行う。

教材等

教科書…演習時に適宜指摘していく。
参考書…演習時に適宜指摘していく。

備考

学生主体のゼミを目指しています。
そのため、新ゼミ生の獲得もゼミ生自身でガイダンス等において説明をおこない、主体的に動いてもらうことを考えています。それにより、縦の人間関係も形成され、就活などの情報も先輩から後輩へと伝えていくことができると考えています。

専門演習II
SwminarII

松　島　裕　一（マツシマ　ユウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

次年度の卒業研究を見据え、各自の興味関心に基づいて報告を行ってもらいます。①まずは自分の興味のあるテーマを決定すること、②そのテーマに向かって資料を収集してそれらを読み

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd 140 2014/10/14 17:50:51

込み、自分の考えを固めること、そして、③可能であれば卒業論文の構成を考えてみること。この三つがこの演習の目標となります。

授業方法と留意点

毎回担当者を決めて課題を発表してもらい、それに基づいてみんなで討論を行います。必要に応じて教員（松島）が学生の発表内容を補足するために講義やDVD鑑賞を行います。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

法哲学・法思想史にかんするテーマのなかから自分の興味のあるものを選び、それに基づいて毎回担当者に報告をしてもらいます。報告担当者には十分な事前準備が必要なことは言うまでもありませんが、それ以外の学生には積極的な発言を求めますので、相応の予習が必要となります。

評価方法・評価基準

毎回の出席を前提として、演習中の報告内容や発言回数、グループ討論への参加度などを総合的に判断して評価します。なお無断欠席・遅刻が度重なる場合は単位取得を認めないので、十分に注意してください。

教材等

教科書…演習のなかで適宜指示します（実際に購入してもらうことになると思いますので、数千円程度の出費を見ていてください）。

参考書…小笠原喜康『新版 大学生のためのレポート・論文術』講談社現代新書（約760円）

備考

さまざまな機会を利用して、かなりの量のレポートを課す予定です。自分の言葉で文章をつづることはなかなか骨の折れる作業ですが、必ず次年度の卒業研究に役に立ちます――より具体的に言えば、卒業論文の一部となります――ので、頑張って取り組んでほしいと思います。

専門演習
Semina

小　山　　昇（コヤマ　ノボル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

卒業研究論文の作成に向けて、３年次の専門演習は、「国際私法の構造」を理解するために、判例を使った検討を中心として各自あるいはグループで判例を調べて報告することを求めます。なお、理解を確実なものとするために、判例報告に入る前に、国際私法の構造について簡単な知識の確認も行い、３年次終了時には卒業研究論文のテーマを確定して提出を求めますので、目的意識を持った報告と活発な討論を求めます。

授業方法と留意点

「国際私法の構造」についての問題に答えるという形で進め、その後、「国際私法の諸問題」について判例研究をします。双方向性を重視して、討論を主体とする形式で行い、判例報告では、レジュメの作成を求めます。

なお、年度の終わりには、国際私法の理解度を評価するための課題レポートと卒業研究論文テーマの提出を義務づけます。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

１.「国際私法の構造」について、重要であると考えられる事柄を問題形式にして検討する。

２．構造の理解を前提として、国際私法の諸問題について判例を使って具体的な研究をする。提示する判例の中から選択したものについて、実際の判決文を直接読んで検討し、レジュメを作成して報告することを求める。その後、その報告を材料として全員で討議・検討する。なお、関連する各国実質法については、必要な範囲で適宜講義する。

３．年度の終わりには、国際私法の理解度を評価するための課題レポート、及び卒業研究論文テーマの提出を義務づける。

評価方法・評価基準

報告レジュメ、報告内容及び課題レポートを総合して評価します。

教材等

教科書…報告に必要な判例などは、図書館やインターネットを利用して必ず各自で入手すること。課題に直接関係する資料については配付します。

参考書…授業中に紹介します。

備考

【学生へのメッセージ】

判決文の読解、レジュメの作成など日本語の正確な知識が必要になりますので、日本語を意識するように心がけてください。

専門演習
Semina

金　谷　重　樹（カナタニ　シゲキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

１．行政法の講義で学んだことを基礎にして、行政法上の諸論点について判例の分析を行い、行政法への理解を深めます。

２．演習では、自分で選んだ判例について、事案の概要、争点、裁判所の判断を紹介してもらった後、自らの見解を述べてもらいます。

３．具体的なケースにおいて法を適切に適用し、問題解決を図る能力を身につけます。

授業方法と留意点

【授業内容】

2年生で学んだ行政法の専門知識とプレ専門演習で修得した知識をさらに発展・向上させるため、行政法上の論の中でも本格的なものを扱った判例を素材にして学習します。

【授業方法と留意点】　やむを得ず欠席する場合には必ず連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

１．毎回、２人から３人程度に報告をしてもらいます。

２．報告の内容に対して、全員で討論を行います。

３．報告者はレジュメを用意して、配布してください。

評価方法・評価基準

報告内容だけでなく、課題に取り組む姿勢を重視します。

教材等

教科書…教材として使用する判例は、配付します。

参考書…授業中に適宜指示します。

備考

【学生へのメッセージ】

積極的に取り組んで下さい。ゼミの討論では積極的に発言して下さい。

法廷見学や裁判の傍聴も行います。また、コンパもやります。

専門演習
Semina

牛　丸　與志夫（ウシマル　ヨシオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

学生が関心を持つ法律学のテーマにつき、４年で求められる卒業論文の作成に役立つことを目的とした指導を行う。また、学生が研究のテーマを決めていない場合は、商法、すなわち、会社法、手形・小切手法、商法総則、商行為法、金融商品取引法、保険法の中から適切なテーマについて、重要判例および学説の検討を行う。あわせて、公務員採用試験や各種の資格試験対策についても指導する。

授業方法と留意点

まずは、重要判例の分析を行い、当該判例について学説の研究を行い、議論を深めて、法律学の習得をめざす。

積極的に議論に参加して欲しい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業のテーマ：商法に関する重要な法律問題の研究

方法：判例・学説の研究

事前事後学習課題：割り当てられたテーマにつき十分に研究すること

評価方法・評価基準

出席率、演習への参加態度を総合的に判断して行う。

教材等

教科書…授業中に指示する

参考書…授業中に指示する。

専門演習
Semina

古　川　行　男（フルカワ　ユキオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

不動産登記、担保物権、民事執行等について復習及び研究をすることによりして不動産取引、金融についての知識を確実なも

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　141　2014/10/14　17:50:51

のとする。実社会においても必要な知識を深めるだけでなく、宅建、司法書士等の資格取得に対応する法的基礎を得るようにする。

授業方法と留意点

【授業内容】
裁判例、文献を検討して、その中で，各自が関心を引く題材，課題を探し出し，レポートの作成等を通じて，卒業研究に繋がる準備を進める。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

基礎的文献、判例プラクティス、判例百選から選んだ題材について、検討、討論を重ねる。それによって、法学思考に磨きをかける。

評価方法・評価基準

授業への参加の態度、報告内容によって、評価するが、卒業研究の準備のためにも、適宜、レポートの提出を求める。

教材等

教科書…池田真朗編著「民法Visual Materials」（有斐閣）
参考書…授業において指示する。

備考

【学生へのメッセージ】

専門演習
Semina

樫　原　義比古（カシハラ　ヨシヒコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

４年次の「卒業研究」の前段階のゼミです。専門演習Ⅰを踏まえて、ひとつの専門分野をさらに深く勉強することになります。

授業方法と留意点

「生きることは働くこと－一生ものの自分を創るために－」

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

【授業テーマ】　労働生活
【内容】　生活に身近な労働問題・社会問題を取り上げる
【方法】労働判例百選の中から適宜裁判例を取り上げる
【事前事後学習課題】　授業中に指示

評価方法・評価基準

原則として定期試験は行いません。

教材等

教科書…労働判例百選
参考書…菅野和夫著『労働法』弘文堂

専門演習
Semina

糟　谷　英　之（カスタニ　ヒデユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

専門演習では、卒業研究の準備として、現代国際社会が抱える様々な問題を、各自がこれまで学んだ国際法の基本的知識などを基礎に国際法の視点からより専門的に考えることを主な目的とする。演習での討論を通じて各自が卒業論文のテーマの決定を行うことを最終的な目標とする。あわせて就職活動に関連する情報交換も行う予定である。

授業方法と留意点

【授業内容】
各自の選択したテーマに従った報告、討論を中心に進める。
加えて後期には卒業論文作成の方法など卒業研究の準備を始めることにする。
日常的に英語力の養成も心がけたい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

特に前期は、各自の選択したテーマに従った報告、討論を中心に進める。
後期には卒業論文作成の方法など卒業研究の準備を始めることにする。
日常的に英語力の養成も心がけたい。
日常的な活動を通じて教員及びゼミ生の交流を深めると共に、コンパやゼミ研修旅行などを計画することによってさらにゼミの結束を強めたい。

評価方法・評価基準

各自の報告義務の履行、演習での討論への参加程度及び演習への貢献度などを考慮して総合的に評価する。

教材等

教科書…小笠原喜康 著　『新版　大学生のためのレポート・論文術』講談社現代新書（２００９年）７２０円。
その他各自が選択したテーマに応じて『国際法外交雑誌』など学術専門誌の論文のコピーを使用する。
参考書…適宜指示する。

備考

【学生へのメッセージ】
演習は、専門的な知識を他の学生との討論を通じかつ教員の個人的な指導を受けながら身につける絶好の機会であると同時に、他の学生とも定期的に交流を深めることのできる数少ない機会でもあることを認識する必要がある。

専門演習
Semina

木　村　秀　一（キムラ　ヒデカズ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

会社法・有価証券法・独禁法の判例研究のいずれかについて、学生の希望に沿って授業をすることにします。ビジネスパーソンとしてコンプライアンス能力を養うのを目的とし、具体的にはビジネス実務法務検定試験３級に合格できる法知識の修得を目標とします。

授業方法と留意点

【授業内容】
会社法・有価証券法・独禁法の重要判例を判例百選等からピックアップし、２～３人のグループに割当てて研究してもらい、発表する方式にします。レジメ等を配付して発表するのも、パワポで作成したスライドを使用するのも自由です。発表日に欠席するのは厳禁です。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

会社法・有価証券法・独禁法の重要判例を判例百選等から選んでもらい、各グループの研究結果を発表してもらう。

評価方法・評価基準

発表の内容も評価する。なお、六法を必ず持って来ること。

教材等

教科書…ゼミで指示する。
参考書…各発表グループが選んだ判例に関する文献を各グループで探してもらいます。

備考

【学生へのメッセージ】
ゼミは友人を作る絶好の場なので、授業に出るだけでなく、ゼミ生同士の交流を深めてほしい。そのため、ゼミ生が希望すれば、コンパなども行う。学生時代の思い出作りのためにも、大いに学生生活を楽しんでほしい。そのためには、仲の良い友達とグループで入ゼミするとなおよい。主な就職先：富山化学（後に武田薬品に転職）、大和ハウス、リヒト、エイブル、セブンイレブン、マクドナルド、レオパレス２１、大阪府警、学校法人常翔学園職員、海上保安庁、消防署など

専門演習
Semina

牧　田　　勲（マキタ　イサオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

日本の法文化や法の変動について関心をもち、主体的に調べ、議論を通じてその理解を深めることを目標とする。過去の法だけでなく、現在の法をも視野に入れて取り組むことにしたい。また、法や紛争の背後にある経済的・社会的・思想的対立関係についても眼を向けたい。その意味では、このゼミは法社会学、法社会史の性格をもっており、法や社会に対して問題意識にあふれた諸君の選択を期待している。

授業方法と留意点

【授業内容】
各自が関心をもったテーマについて報告してもらう。将来の卒業研究につながる基礎作業ともいえるゼミであり、文献調べ、資料収集、テーマに関わる研究上の論点整理などが必要となる。報告者の問題意識を高めるためにも、他の参加者が質問したり、批判することが重要であり、積極的な参加を期待する。学生諸君にとって文章を書く機会が多いとはいえないので、本ゼミではとくに作文指導に力を入れることとする。原稿用紙の使い方から始めて、主語－述語の一致、副詞の呼応、接続詞・助詞の使い方、文章の起承転結など、基本的なところから指導し、添削する。

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　142　2014/10/14　17:50:51

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
前期は、例えば裁判などといったテーマを決めて、分担者に各自報告してもらう。後期は、翌年度の卒業研究論文執筆を視野に入れて、各自が興味をもつテーマについて調べ、プレゼンテーションし、討論を行うことにしたい。
評価方法・評価基準
出席重視であるが、プレゼンテーションの回数や内容を評価に加える。
教材等
教科書…使わない。
参考書…ゼミの中で指示する。
備考
【学生へのメッセージ】
多数の人と討論すること、思考を論理的にまとめ発表すること、それを文章で表現すること、これらは企業や役所に就職した後も必要とされる資質です。是非その能力を磨いてください。

専門演習
Semina

小　島　俊　朗（コジマ　トシロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
租税法の学習を通じて、現実の社会経済と租税法との関連について理解を深めていきます。将来社会人になった場合、たとえどの職場でも要求されることは、何事にも自主的、積極的に取り組み自分で考え工夫していくことだと思います。ゼミの題材は租税法の分野ですが、それを一つの教材として、各人が問題意識を持って考えてもらいたいと思います。また、ゼミは知識の習得だけでなく発表力をつける場でもあります。自分の考えを整理して相手に正確に伝える能力も社会に出ると大事です。是非いろいろな意味で有意義なゼミにしてください。
授業方法と留意点
【授業内容】配付資料等をもとに租税法の基礎的な理論や個別の税法の仕組み、問題点等について研究していきます。毎回報告者が担当テーマの発表を行い、それに基づいて討論していきます。卒業研究のための準備にもつながりますので、必ず出席してください。
授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
国税不服審判所の裁決事例を担当者を決めて発表してもらい、各事例ごとの法解釈や事実認定上のポイントにつき解説します。基本的な税法である国税通則法、所得税法等の仕組み、問題点等について議論しながら考えていきます。
評価方法・評価基準
平常点により評価します。
教材等
教科書…「租税判例百選（第五版）」（別冊ジュリスト207号）有斐閣（2700円）その他随時必要に応じて資料を配付します。
参考書…なし
備考
【学生へのメッセージ】ゼミは、社会で出てから要求される資質を向上させるのに絶好の機会を提供すると思いますので、ゼミを重要視してください。自由に発言できる雰囲気のゼミにしましょう。出席することが重要です。

専門演習
Semina

河　原　匡　見（カワラ　マサミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
専門演習では、国の内外の社会において現実に生じている動きをきちんと把握し分析し、それをより深く理解できるようにトレーニングを進めていきます。特に、本演習では、社会における「紛争」などを題材としていきたいと思います。また、学問に直接関係することだけでなく、広く学生生活全般に関すること、あるいは一般社会の問題についても議論し合っていければと思います。
授業方法と留意点
ゼミ形式。毎回欠かさず出席すること。
授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
専門演習では、国の内外の社会におけるさまざまな政治的社会的諸現象が実際にどのように発生し、どのような状態にあるのか、きちんと把握するとともに、より深く理解していく上での分析能力の養成を目指していきます。特に、国際社会や国内社会のさまざまな局面やレベルにおける「紛争」や「対立」あるいは「論争」を題材としていきたいと思います。前期は主に、世界各地の「紛争」についての理解を深めることに重点をおき、後期は、日々動きの激しい国際情勢を把握するトレーニングに重点をおきたいと思います。そのためには、配布した資料の予習、与えられた課題の調査、そして演習内の報告で問題となった点の復習や調査が必要です。
評価方法・評価基準
平常点（演習での勉学姿勢）および提出物の内容などにより評価します。
教材等
教科書…演習に必要な資料は適宜配布する予定です。
参考書…演習において適宜紹介します。
備考
【学生へのメッセージ】
演習は、諸君が、生来の資質を伸ばしたり、未知の可能性を見出したりするための、いわば知的な『共同訓練の場』といえます。ですから、演習に対しては、しっかりとした勉学の目的と意志をもって参加するようにしてください。演習によってどのような知識や思考方法が身に付くか、どのような新たな才能や可能性を見い出せるか、その成果は、諸君の演習に対する積極さ如何に大きく関わってきます。そして、それはまた、これからの人生のさまざまな局面において、どれだけ自信をもって諸事に臨んでいけるかということにも関わってきます。

専門演習
Semina

松　永　信　一（マツナガ　シンイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
［1］ゼミの授業の大きな目標は各自のコミュニケーション能力の開発と向上にある。具体的に言えば、それはつぎのようなことである。ひとつのテーマに主体的に関わり、それを人に説明し、話し合い、結論を導き出すということである。しかも、このような作業をそれほど親しくもないものと協同でするのである。近年、若い世代においてひきこもり傾向が見られる中で、このような能力を培うことは社会から大学に強く求められ、大学もこれに答えようとすることのできる数少ないことの一つであろう。
［2］日本社会は、今大きく変わりつつある。特に団塊の世代がいっせいに退職するとされる数年後の日本社会の様変わりは明白である。このような社会の変化を理解して、その適切な対処の仕方を見つけ出す（=自分の進路を決める）ことができるためには、広い意味での知識の習得がぜひとも必要だ。なぜなら、この困難を切り抜けるためのマニュエルなどどこにもなく、すべて自分で決めなければならないから。そうした決断力を養うための知識習得の場がゼミなのだ。それは試験のための知識習得とはかなりちがってくる。
授業方法と留意点
【授業内容】
前期のゼミのテーマは「現代社会と生命破壊」であるが、ゼミ生の要望を積極的に取り上げていきたい。自分が取り組むべき個別のテーマを探し、卒論についての見通しを立てる。後期には、卒論のテーマをきめ、その骨子を報告してもらう。
授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
卒論のテーマを見つけ出すというのが目標となるが、そのやり方については、学生の要望を聞いたり、学生の実力を考慮しながら決めたいと考える。
評価方法・評価基準
レポートの報告及びレジュメの作成具合。日ごろの発言態度及び発言内容。
教材等
教科書…授業中に指示。
参考書…授業中にその都度指示していきたい。
備考
【学生へのメッセージ】
何か連絡したい時には次のアドレスにメールを下さい。
matunaga@law.setsunan.ac.jp

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd 143 2014/10/14 17:50:51

専門演習
Semina

浮　田　　徹（ウキタ　トオル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
本演習は報告と討論を中心に行います。報告者は、報告の下準備として様々な文献を「読む」という作業、論点をまとめて報告レジュメを「書く」という作業、そして報告の場面では議論の中で「話す」という作業を行います。それ以外の参加者は、報告者が素材とするテーマについてあらかじめ「読む」という作業、議論の中で「話す」という作業を行います。このような作業を通じ、憲法に対する理解は、これまでよりもさらに深いところに到達できると考えています。そして、それをもとにして、各人が作成する卒業研究のテーマを決定し、論文として完成させることを最終的な目的としています。

授業方法と留意点
【授業内容】
卒業研究論文の作成の前段階として、憲法全般についての理解を深めます。
ある一定の大きなテーマを置いてその上で報告を行ってもらいます。
その後に、各受講者の卒業論文の構想について報告・討論を行います。題材の絞り込みとテーマ設定、論文の構想づくりまでを３年次で終了し、可能な限り早期に執筆を開始できるよう準備を整えていくことが目標となります。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
憲法に関連するテーマを採り上げ、報告、議論を行う。

評価方法・評価基準
報告をもとにして評価します。

教材等
教科書…講義中に指示します。
参考書…講義中に指示します。

備考
【学生へのメッセージ】
何かしようと自ら考える、話してみる、実際に行動してみる、といったことを、勉強面だけではなくコンパ、旅行、その他ゼミの様々な側面で実践してみてください。

専門演習
Semina

石　井　信　輝（イシイ　ノブキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
スポーツ活動を多面的な学問領域から検討し、知見の獲得を図る。卒業研究題目の決定と、必要な資料・文献の収集および予備調査への導入を図る。

授業方法と留意点
【授業内容】
【前期】各自が興味を持つテーマを発見できるよう、文献・資料の収集を図る。また、収集した資料・文献を基にレジュメを作成し、報告する。
【後期】前期に発表した報告を更に掘り下げるとともに、卒業研究における各自のテーマを決定する。また、論文作成に必要な資料・文献の収集を行うとともに、必要であれば予備調査を実施する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
授業テーマ：スポーツ活動を多面的な学問領域から検討し、知見の獲得を図る。
授業内容：前期においては、各自が興味を持つテーマを発見できるよう、文献・資料の収集を図る。また、収集した資料・文献を基にレジュメを作成し、報告する。後期においては、前期に発表した報告を更に掘り下げるとともに、卒業研究における各自のテーマを決定する。また、論文作成に必要な資料・文献の収集を行うとともに、必要であれば予備調査を実施する。
事前事後学習課題：授業中に指示した課題の実行

評価方法・評価基準
報告の内容および授業への取り組みを総合的に評価する。

教材等
教科書…授業中に指示する。
参考書…その都度指示する。

備考
意欲的に取り組んでください。

専門演習
Semina

島　田　良　一（シマダ　リョウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
刑事手続をめぐる諸問題について、受講者の報告をもとに全体で討議する。

授業方法と留意点
受講生による報告を中心とする。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
専門文献、資料、判例、報道記事などを素材に刑事手続に関する基礎的な知識を習得するとともに、受講生が各自関心のあるテーマについて報告を行う。

評価方法・評価基準
個別報告の内容、全体討議における発言・態度等を総合的に評価して判断する。

教材等
教科書…適宜指示する。
参考書…適宜指示する。

専門演習
Semina

家　本　真　実（イエモト　マミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
法は、社会における最低限のルール・道徳であるといわれます。この演習では、現在、社会で起きている問題や議論されている事柄を通して、現行の法律がどのようなものであるか、そしてどうあるべきかを考えることによって、法に対する知識をより広い視野をもって深めていく機会にしていただきたいと思います。
前期は、報告者グループがおこなう何らかの法的・政治的問題や課題についての報告を基に、皆で議論していただきます。単に個人的な考え方や意見を述べるだけでなく、根拠を示しながら、どのように問題を捉えるべきなのかを議論する力をつけていただきたいと思っています。
後期においては、前期で培った議論・説得する力を存分に発揮しつつ、法を実践的に学ぶために、模擬裁判をおこなっていただく予定です。

授業方法と留意点
前期は毎回、2-3人を1グループとする報告者に議論の基礎となる報告をしていただいたうえで、皆さんで議論していただくというかたちをとります。報告者は、報告前に集まって、共同でレジュメを作成し、報告や議論の進行について考えてください。そのうえで、報告の数日前までにその概要を担当教員に知らせてください。報告者以外の方々には、積極的に議論に参加されることを望みます。こうして議論をおこなうことによって、違う意見を持つ人々をどう説得するか、またどう折り合いをつけるのかを学ぶことにもなるでしょう。
後期は、模擬裁判をおこなうことを考えていますので、その準備と実施がおもな活動となります。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
前期は、グループでの報告と、それを基にした議論をおこなっていただきたいと思います。1人につき、2-3回、報告をする機会があると思いますが、そのうち少なくとも1度は、民事事件の判例を報告のテーマとしていただき、当事者双方の主張、そしてそれらに対する裁判所の判断について検討・議論していただきたいと思います。2度目以降の報告については、民事事件に限らず、法律や政治に関連のある事柄について報告していただくというふうにしていきたいと考えています。
後期は4年生とともに、模擬裁判をおこなっていただきます。刑事裁判手続きや裁判員制度に関して学んだうえで、模擬裁判で題材とする事案の検討をおこない、検察チームや弁護チームの弁論や尋問を作成するという作業と模擬裁判の実施が、後期のゼミの大半を占めることになります。

評価方法・評価基準
報告における準備や司会進行の様子、議論や模擬裁判への参加姿勢をおもに評価の対象とします。

教材等
教科書…とくに使用しません。
参考書…ゼミ中に適宜、指示します。

備考
ともに議論をし、模擬裁判をおこなうことによって、お互いの考え方を知り、理解しあうことにつながると思います。こうし

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　144　　2014/10/14　17:50:52

た活動を通じて、学生間で交流を深めてもらえれば、と考えています。また、皆さんからゼミの内容についての提案があれば、できる限り取り入れていきたいと考えています。

専門演習
Semina

城　内　　明（キウチ　アキラ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

【民法総合演習】

本演習では，受講生の法的問題解決能力の向上を目的として，現実に，今，社会で問題となっている，民法(債権法)・消費者法等にかかわる最新の事例・判例の検討を行う。

長期休暇中に、他大学（近畿大学・立命館大学）との合同ゼミ（法律討論会）も予定している(全員参加)。

授業方法と留意点

報告は2～3名のチームで行う。報告者チームには、互いに協力し、関連文献・判例をふまえた報告を行うことが求められる。

本演習は，民法の基礎知識を前提とする。特に、民法総則、債権法、不法行為法、契約法、消費者と法の授業内容は、直接関連するため、履修が望ましい。

なお、ゼミは毎回の出席が前提であり、無断欠席は許されない。やむを得ず欠席する場合は、メール等で必ず連絡するように。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

民法総合演習

事前事後学習課題については適宜指示する。

評価方法・評価基準

報告，レポートおよび平常点（授業に臨む姿勢など）を総合評価する。

教材等

教科書…適宜、指示する。
参考書…適宜、指示する。

備考

ゼミは皆で作るものです。徹底的に学び，議論し，思いっきり遊んで，良いゼミをつくっていきましょう。

専門演習
Semina

萩　原　佐　織（ハギハラ　サオリ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

当該民事法ゼミでは、例えば民法等の実体法に基づき発生する権利につき紛争が生じ、裁判所等で解決されるべき場合に、その方法や当事者が従うべきルール等につき、具体的な事案や判例をもとに追求することを最終目標としています。それゆえ、既に民法が良く理解できている方は、民法で学んだことを裁判という場にシフトさせ、より深く発展的に学び、他方、民法をまだ良く理解できていないという方は、裁判という角度から、もう一度民法を見つめ直す機会に利用して下さい。皆さんのご希望があれば民法・民事訴訟法以外に、民事執行・保全法や倒産法をテーマにすることも検討致します。いずれにせよ、これらの民事手続法の授業は、3年次開講で、ゼミとともに進行していきますので、専門演習もあせらずゆっくりと進んでいきたいと思います。

授業方法と留意点

【授業内容】

3年次は、2年次とは異なり、基本的には個人発表と質疑応答が中心となり、内容もより深いものとなります。発表では、自分が特に興味を有するテーマを取り上げることから、回を重ねるごとにその分野における知識が集積され、卒業研究で取り扱いたいと思う課題・問題意識に繋がることと思います。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業は、民事事件に関する判例等の研究発表を中心として行う。学期初めに、各自の発表日時を決めるので、各々発表テーマを決定し、発表に備え、事前に準備すること。事前準備においては、研究対象となる判例や論文等の資料を探し読み込むこと（インプット）はもちろん、どのように発表すれば他人により分かり易く伝えることができるのか、その発表内容や方法（アウトプット）についても熟慮すること。また、発表時には、研究内容を、板書やパワーポイント等を用いて説明するとともに、配布資料を配布すること。配布資料は、①研究対象となる事案・争点・判例や学説の流れ・解説等を記載したものと、②研究対象となる事案の判決（判旨・判決理由）を記載したもの、の2点を別個に用意する。まず、発表者が、配布資料①に基づき、事案・争点等の説明を行った後、ゼミ全体でディスカッションし、その後、配布資料②を用いて、当該事案の判決につき、再度論議を行う。当該専門演習内において、各自3回程、研究発表の機会を有する。発表毎に其々異なるテーマを取り扱ってもよいし、また、同一テーマに関する複数の判例を研究対象としてもよい。

評価方法・評価基準

ゼミへの参加意欲ならびにその体現、自身の研究発表への取組み方ならびにその成果、そして他のゼミ生の発表における質疑応答等を、総合的に判断して評価する。

教材等

教科書…適宜指示する。
参考書…適宜指示する。

備考

【学生へのメッセージ】

3年次の専門演習は、2年半に及ぶゼミの中でも一番充実して学べる時期ですので、将来のために、この時間を有意義に活かしてください。また、普段の友達の輪とはまた少し違うゼミ仲間から得られるものも多いと思いますので、全員が声をかけ合えられるような和気あいあいとしたゼミになってくれればと思います。

専門演習
Semina

大　川　謙　蔵（オオカワ　ケンゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

本演習では卒業までに、ゼミ生全員で少なくとも民法の制度については詳細に把握できることを目的としている。

そのために、ゼミ生全員の協力の下で、どのような社会的問題が存在し、法律がどのような対応をしているのかを把握していく。すなわち、社会状況を知ることにより、自分が社会においてどのような立場に立ち、またどのようなことをすべきかなど、多くの点を考える糸口を得られると考えている。

授業方法と留意点

3年次の予定としては、①グループによる判例報告、②個人の判例報告を予定。

ただし、あくまで予定であり、話し合いなどで変更はありうる。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

2年次ゼミ生の獲得計画の作成、実施を予定。

評価方法・評価基準

成績は、学期末に教員が用紙を渡すので、各ゼミ生が自己採点を行う。

自分で自分を評価する能力が必要とされる。

その自己評価書自体から教員が評価を行う。

教材等

教科書…演習時に適宜指摘していく。
参考書…演習時に適宜指摘していく。

備考

学生主体のゼミを目指しています。

そのため、新ゼミ生の獲得もゼミ生自身でガイダンス等において説明をおこない、主体的に動いてもらうことを考えています。それにより、縦の人間関係も形成され、就活などの情報も先輩から後輩へと伝えていくことができると考えています。

卒業研究
Graduation Research

小　山　　昇（コヤマ　ノボル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

卒業研究は、３年次終了時に提出したテーマを卒業研究論文として完成させることを目指しますが、具体的に検討した結果、さらに興味を持って探求したいと考えるテーマを見いだすことも妨げません。就職後に必要な知識に関係するテーマに変更することも可能です。

授業方法と留意点

文献資料の蒐集や論文作成についての注意点を当初に行い、その後はテーマごとの指導として時間を指定した個別指導になります。そのために、各自の年間計画の提出を求めることもあります。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　145　　2014/10/14　17:50:52

１．３年次最後のレポートで提出したテーマについて、卒業研究論文としてどのように具体化すべきかを検討することから始める。検討の結果によっては、そのテーマの変更も可能であるが、明確な変更理由を示すこと。
２．決定したテーマについて、必要な文献や判例をまず調査し、その蒐集と読解を通して論文の構成や目次をレポートとして提出することを求める。論文の目次、その他具体的な論文構成は、遅くとも１１月上旬までに提出のこと。
３．検討・修正を加えた後に下書きを作成し、その報告を適宜受けながら訂正を加えて論文の完成へと導く。下書きの完成時期は、１２月中旬とする。

評価方法・評価基準
卒業研究論文について、そのテーマと論述方法の関係及びその理解度を中心に作成過程を重視して総合的に評価する。

教材等
教科書…各自のテーマに即して、適宜紹介します。
参考書…各自のテーマに即して、適宜紹介します。

備考
【学生へのメッセージ】
就活と卒業研究の両立のためにも、しっかりとした年間計画をまず立ててください。

卒業研究
Graduation Research

金　谷　重　樹（カナタニ　シゲキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
専門演習で修得した知識を基礎にして、自らが選んだ行政法上の論点についての判例を集め、それらを分析して、卒業論文を完成してもらいます。

授業方法と留意点
【授業内容】
行政法の講義で学んだことと演習を通じて得た知識の集大成として、自ら選んだ行政法上の論点に関する論文を作成してもらいます。
【授業方法と留意点】　個別指導を行います。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
１．　６月末までに論文作成に必要な資料の収集を終えます。
２．　８月末までに資料の読み込みと分析を終えます。
３．　１０月末までに原稿の素案を作成します。
４．　１２月末までに論文を完成させます。

評価方法・評価基準
卒論の内容はもとより、取り組んだ姿勢も重視します。

教材等
教科書…論文資料は自らが積極的に収集して下さい。
参考書…適宜指示します。

備考
【学生へのメッセージ】
積極的に取り組んで下さい。ゼミの討論では積極的に発言して下さい。
法廷見学や裁判の傍聴も行います。また、コンパもやります。

卒業研究
Graduation Research

牛　丸　與志夫（ウシマル　ヨシオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
学生が関心を持つ法律学のテーマにつき、卒業論文の作成を目的とした指導を行う。また、学生が研究のテーマを決めていない場合は、商法、すなわち、会社法、手形・小切手法、商法総則、商行為法、金融商品取引法、保険法の中から適切なテーマを推薦し、また必要な文献を紹介する。
　卒業論文の作成は、テーマにそって学説・判例を収集し、自説をまとめていくということになる。卒業論文の完成のための研究により、法律学の応用力を身につけることを目的としている。

授業方法と留意点
【授業内容】
卒業論文の指導を行う。卒業論文のテーマは、学生ごとに異なっているので、個別的な指導を行っていく。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
資料の収集、資料の読み込み、研究成果のまとめ、卒業論文の下書きおよび卒業論文の完成という順番で、指導していく。

評価方法・評価基準
演習への参加態度、研究発表の内容等を総合的に判断して行う。

教材等
教科書…研究テーマがそれぞれの学生によって異なっており、それぞれの学生に必要な教材については、授業中に指示する。
参考書…研究テーマがそれぞれの学生によって異なっており、それぞれの学生に必要な教材については、授業中に指示する。

備考
【学生へのメッセージ】
演習は、学生が能動的に研究し、積極的に議論に加わることを望む。

卒業研究
Graduation Research

古　川　行　男（フルカワ　ユキオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
各自が選択決定した研究テーマについての参考文献並びに資料の収集方法を指導する。質の高い卒業研究論文の作成が目標である。

授業方法と留意点
卒業研究論文の作成過程において、ゼミ形式で中間発表、討論を行うことにより、論文作成の進行を図る。なお、卒業研究のテーマの決定には、社会的、法律な関心をもっていなければならないことに留意すること。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
選択決定した研究テーマについて、ゼミ形式で中間発表、討論を行う。

評価方法・評価基準
主に完成した論文の内容を審査して評価する。

教材等
教科書…学生の選んだテーマについての資料等は提供、あるいは収集に助力する。
参考書…各自が選択した研究テーマに即して、適宜、指示する。

備考
【学生へのメッセージ】
　実社会においても、テーマの設定、資料の収集・分析・報告は必須のことである。卒業研究論文の提出はそのための準備でもある。

卒業研究
Graduation Reswarch

樫　原　義比古（カシハラ　ヨシヒコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
受講生の興味や関心のありかを踏まえて、個別的労働法と集団的労働法にかかわる問題を中心に取り上げる。近年、日本の労働市場や雇用システムが流動化、多様化する中で、企業の雇用体系や働く人たちの就業意識も大きく変化してきた。受講生にはまず、働くことの意味や、働くことを通して、自分の人生について考えてもらう。この授業の教育・研究目的は変動する労働社会の情勢に柔軟に対応していくとともに、そのような世の中の日々の労働の動きに流されない不変的なものを求め、事柄の本質を見る目を養うことにある。また、職場で役立つ実践的な知識や心構えを学ぶための機会としたい。受講生諸君がこのような演習授業の学びの雰囲気のもと、教員と学生および学生相互の人間的交わりの中で、授業の目的が達成されることを願っています。学生の自発的な学習、研究意欲の高まりを期待いたします。

授業方法と留意点
【授業内容】
ゼミ生各自が取り上げた卒業研究のテーマに即して、論文の作成を指導する。ゼミの中では、各自のテーマについて逐次発表してもらい、討論や意見の交換を行う。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
授業中に指示

評価方法・評価基準
ゼミの取り組み態度、姿勢、積極性、発言など、を通じて総合的に評価。

教材等

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　146　2014/10/14　17:50:52

教科書…授業中指示。
参考書…授業中指示。

備考

【学生へのメッセージ】
卒業研究は、教育研究の機会であると共に、担当教員と学生、また学生相互の人間的な交わりの機会でもあるので、ゼミ生同士互いに励まし合って有意義な時間となるよう心がけていただきたい。

卒業研究
Graduation Research

糟　谷　英　之（カスタニ　ヒデユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
卒業研究では、3年次の専門演習で決定したテーマをもとに卒業論文を作成するため、個別的指導を行う。

授業方法と留意点
【授業内容】
卒業論文の進展具合の定期的な点検及び各学生との個別的な卒業論文作成指導による。
専門演習終了時点でテーマの設定がなされていない学生は、早期のテーマ設定が望まれる。
国際法という専門柄から外国文献の翻訳・論評を卒論として認めることにする。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
基本的には卒論作成に関して個別指導を行う。

評価方法・評価基準
基本的には完成された卒業論文の内容によって評価する。

教材等
教科書…小笠原喜康 著　『新版　大学生のためのレポート・論文術』講談社現代新書（２００９年）、７２０円。　その他各自が卒業論文作成のために収集した資料。
参考書…適宜指示する。

備考
【学生へのメッセージ】
演習は、専門的な知識を他の学生との討論を通じかつ教員の個人的な指導を受けながら身につける絶好の機会であると同時に、他の学生とも定期的に交流を深めることのできる数少ない機会でもあるからである。

卒業研究
Graduation Research

木　村　秀　一（キムラ　ヒデカズ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
会社法・有価証券法・独禁法の判例研究のいずれかについて、学生の希望に従って授業をすることにします。

授業方法と留意点
【授業内容】
卒論の作成。おおまかにいうと、テーマ選択と報告・文献検索収集方法の指導・構成および文章作法の指導・卒論下書作成の順序で行う。過去の卒論テーマを挙げると、株式会社の特色について・インサイダー取引・従業員持株制度について・株式払込の仮装について・商法からみたイトマン事件・法人格否認の法理の最近の展開・企業の社会的責任論とコーポレート・ガバナンス論・手形理論と権利外観理論・経済力の集中規制について・規制緩和と独占禁止法。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
テーマは各学生に選択してもらう。授業方法を参照のこと。

評価方法・評価基準
法律学の論文として、テーマ、構成、文章、引用文献、引用方法等が適切であるか、一定水準に達しているか等の基準により評価する。

教材等
教科書…なし
参考書…各学生の選択した卒論テーマに関係する文献を各自で入手する。

備考
【学生へのメッセージ】
ゼミは友人を作る絶好の場なので、授業に出るだけでなく、ゼミ生同士の交流を深めてほしい。そのため、ゼミ生が希望すれば、コンパやゼミ旅行を行う。学生時代の思い出作りのためにも、大いに学生生活を楽しんでほしい。そのためには、仲の良い友達とグループで入ゼミするとなおよい。主な就職先：富山化学（後に武田薬品に転職）、大和ハウス、リヒト、エイブル、セブンイレブン、マクドナルド、レオパレス２１、大阪府警、学校法人常翔学園職員、海上保安庁、消防署など

卒業研究
Graduation Research

牧　田　　勲（マキタ　イサオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
卒業研究論文作成のためのアドヴァイスを行う。問題意識の醸成、研究テーマの絞り込み、資料や文献の検索の仕方、論文の構成や文章の表現技法などを指導する。よい論文を完成すべく、着実な努力を求める。

授業方法と留意点
各自研究テーマが異なるので、それぞれのテーマに沿った資料や文献を見つけ出し、その概要を報告してもらう。夏休み明けに論文の表題や、章構成、論旨、結論など、「論文の計画書」を提出させ、それをチェックする。合格した者はそれに沿って執筆をはじめ、中途もしくは完成後に何度かチェック、添削して最終提出論文を完成させる。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
各自の研究テーマに沿って、基本文献を捜し、読み、報告する。多くの文献を読み込むことが必要であり、その基礎があってはじめて論文作成が可能となる。

評価方法・評価基準
論文の出来具合で判断する。

教材等
教科書…なし
参考書…なし

備考
就職活動で忙しい時期ではあるが、手を抜くことなくまじめに取り組むことが望まれる。

卒業研究
Graduation Research

小　島　俊　朗（コジマ　トシロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
租税法に関する問題をテーマとした論文を完成させます。税が絡んだテーマならなんでも結構ですので幅広く考えてください。

授業方法と留意点
【授業内容】
各自の選んだテーマについて個別指導を行いますが、就職活動も重なりますので、計画的に進めることが重要です。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
各自の選択したテーマに応じて指導します。

評価方法・評価基準
卒業論文の内容を審査して評価します。

教材等
教科書…なし
参考書…なし

備考
文献を読み、考え、更に文章を書く作業は社会人になった場合に、必ず役に立ちます。余裕を持って時間をかけて論文を完成させてください。

卒業研究
Graduation Research

河　原　匡　見（カワラ　マサミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
卒業研究演習においては、大学生活の、さらには小学校以来現在に至るまでの、いわば学生生活の最後の総まとめとしての卒業研究を、一定水準以上の内容を伴って完成できるよう指導し

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　147　2014/10/14　17:50:52

ていきたいと思います。また、学問に直接関係することだけでなく、広く学生生活全般に関すること、あるいは一般社会の問題についても議論し合っていければと思います。

授業方法と留意点

前期は個人指導を主体として、論文の枠組み検討と資料収集の作業状況の確認を並行して行い、夏期休暇前には、草稿の作成に入れるように指導していきます。そして、後期には各自の草稿を基に、演習参加者全体での集団指導を中心に進めていきたいと考えています。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

本演習の目的は、定められた期限までに、一定の水準以上の卒業研究を確実に完成させることです。長い論文を作成する作業は、喩えて言うならば、一歩一歩頂を目指して歩みを進めていく『登山』の如きものでしょう。したがって、実質的には約１０ヶ月間の指導によって、上記の目的を達成するために、幾つかの研究の進展段階（提出課題）を設定し、それを一つ一つ達成することによって順々に論文を完成させていくという指導方法をとります。各自、卒業研究のテーマを絞り、考究していくためには、常に積極的に関心のある問題に関する情報および資料・文献を収集しその読解に努めることが要求されます。

評価方法・評価基準

最終的に提出された論文（卒業研究）の内容に基づいて評価します。

教材等

教科書…特に指定しません。
参考書…論文の書き方に関しては、山内志朗『ぎりぎり合格への論文マニュアル』（平凡社新書）あたりが手頃な参考文献でしょう。個別のテーマに関する参考文献については演習において適宜紹介します。

備考

卒業研究の作成は、これまでの勉学の集大成というだけでなく、みなさんがこれからの人生のさまざまな局面において、どれだけ自信をもって諸事に臨んでいけるかその可能性を示唆してくれるものです。納得のいく内容のものを仕上げるよう頑張りましょう。

卒業研究
Graduation Research

松　永　信　一（マツナガ　シンイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

卒業研究は4年間の総括である。作成の結果も重要だが、何よりそのプロセスを大事にしたいと考える。自分なりに政治や社会の諸問題に切り込んだその思索の跡を示してほしい。

授業方法と留意点

【授業内容】
就職活動と並行しながら、個別に指導していきたい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

夏休み明けまでには下書き稿を出してもらうことになると思う。卒論作成の眼目は自分なりに設定した問題を自分の力で解くことである。そこに至るまでの報告書が卒論なのである

評価方法・評価基準

完成した内容は言うまでもないが、完成に至るまでの態度も評価対象である。

教材等

教科書…使用しない。
参考書…その都度指示していく。

備考

【学生へのメッセージ】
何か連絡したい時には次のアドレスにメールを下さい。
matunaga@law.setsunan.ac.jp

卒業研究
Graduation Research

中　沼　丈　晃（ナカヌマ　タケアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

地域活動に参加して、現場を観察する。関係者の方に聞き取り調査をする。自分たちの行っている活動を学外の方に説明する。読書で知識を得て、それをまとめる。この４つの力をバランスよく養っていきたい。

授業方法と留意点

地域活動に参加しての参与観察、聞き取り調査が最大の特徴の研究である。さまざまな立場、価値観の人たちとの交流を楽しんでほしい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

研究で扱う分野は、地域防犯、自治会の地域活動、小学校と地域との関係、地域での児童福祉の４つである。

評価方法・評価基準

研究時限の全出席を前提とする。活動や聞き取り、読書で得られた知見のまとめ（卒業論文・研究報告を含む）への熱意で評価する。

教材等

教科書…指定しない。
参考書…適宜紹介する。

卒業研究
Graduation Research

浮　田　　徹（ウキタ　トオル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

法学部憲法ゼミ修了者として備えておくべき素養を培います。

授業方法と留意点

個別もしくはグループ単位で卒業研究を進めます。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

憲法に関連する諸問題を調べ、討論し、論文にまとめる。

評価方法・評価基準

完成した卒業論文の内容について評価します。なお作成過程における平常点も加味します。

教材等

教科書…指定はありません。各人のテーマに応じて適宜資料を収集します。
参考書…指定はありません。各人のテーマに応じて適宜資料を収集します。

卒業研究
Graduation Research

石　井　信　輝（イシイ　ノブキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

スポーツ活動を多面的な学問領域から検討し、知見の獲得を図る。卒業研究題目の決定と、必要な資料・文献の収集および調査を実施し、卒業研究を完成させる。

授業方法と留意点

各自が決定した題目に沿って、卒業研究を推敲し、完成させる。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業テーマ：卒業研究の完成。
内容・方法：各自が決定した題目に沿って、卒業研究を推敲し、完成させる。
学習課題：卒業研究の完成に向けての資料収集、論文の推敲、およびその完成等についてその都度指示する。

評価方法・評価基準

卒業研究の内容を重視するが、それまでの取り組みも考慮し評価する。

教材等

教科書…特に指定しない。
参考書…その都度指示する。

備考

意欲的に取り組んでください。

卒業研究
Graduation Research

島　田　良　一（シマダ　リョウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

刑事手続（少年法を含む）をめぐる諸問題に関する卒業論文を作成する。

授業方法と留意点

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　148　2014/10/14　17:50:52

専門演習において設定した各自の卒論テーマについてさらに掘り下げて研究する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

卒業論文作成指導を行う。

評価方法・評価基準

卒業論文の出来によって評価する。

教材等

教科書…適宜、指示する。
参考書…適宜、指示する。

卒業研究
Graduation Research

家　本　真　実（イエモト　マミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

法は、社会における最低限のルール・道徳であるといわれます。この演習では、現在、社会で起きている問題を通して、現行の法律がどのようなものであるか、そしてどうあるべきかを考えることによって、法に対する知識をより広い視野をもって深めていく機会にしていただきたいと思います。

卒業研究においては、とくに裁判員制度に焦点をあてて、裁判員制度がいったいどういう制度なのか、市民が司法に参加する意義などを調査したうえで、後期中に模擬裁判をおこない、模擬裁判での経験から、一般の市民が司法に参加するにあたってどのような課題が問題点があるのかを探るというかたちで、より深く法の世界を探求していただきたいと思います。

授業方法と留意点

卒業論文として提出するための報告書を仕上げるための指導をおこないます。資料の収集、論文の書き方などを学んだうえで、各自の担当部分について個別指導をおこないます。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

前期中はおもに、裁判員制度や市民の司法参加に関して調査をおこなっていただきます。最終的には2-3人で1つのテーマを担当していただき、調査結果を卒業論文（報告書）としてまとめていただくこととします。

後期は3年生とともに模擬裁判をおこなっていただくとともに、卒業論文（報告書）を仕上げていただきます。

評価方法・評価基準

おもに、模擬裁判に対する取り組みと、卒業論文（模擬裁判の報告書）の審査によって評価します。

教材等

教科書…とくに使用しません。
参考書…指導中に適宜、指示します。

備考

ともに議論をし、模擬裁判をおこなうことによって、お互いの考え方を知り、理解しあうことにつながると思います。こうした活動を通じて、学生間で交流を深めてもらえれば、と考えています。また皆さんからゼミの内容についての提案があれば、できる限り取り入れていきたいと考えています。

卒業研究
Graduation Research

城　内　　明（キウチ　アキラ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

法学部に学んだ集大成として、質の高い卒業研究の完成を目標とする。

授業方法と留意点

研究テーマは、3年時の演習で担当した判例等を参考に、自由に選択。テーマに基づき、個別に課題を与え、完成まで指導する。受講生は、就職活動に忙しい時期であっても、最低限、メール等で、常に教員とコンタクトを保つように。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

卒業論文の作成指導

評価方法・評価基準

論文の内容により評価する。

教材等

教科書…適宜、指示する。
参考書…適宜、指示する。

備考

まずは、4月の授業開始日までに城内までメール等で連絡をとるように。

卒業研究
Graduation Research

萩　原　佐　織（ハギハラ　サオリ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

当該民事法ゼミでは、例えば民法等の実体法に基づき発生する権利につき争いが生じ、裁判所で解決されるべき場合に、その方法や当事者が従うべきルール等につき、具体的な事案や判例をもとに追求します。それゆえ、既に民法が良く理解できている方は、民法で学んだことを裁判という場にシフトさせ、より深く発展的に学び、他方、民法をまだ良く理解できていないという方は、裁判という角度から、もう一度民法を見つめ直す機会に利用して下さい。皆さんのご希望があれば民法や民事訴訟法以外に、民事保全執行法や倒産法をテーマにすることも検討致します。

授業方法と留意点

【授業内容】
前期は、卒業論文の書き方（論文構成、判例・参考文献等の探し方、Wordの機能の使い方、目次・脚注・参考文献目録の作成方法等）につき指導を行った後、それぞれの内容に従い、個別に指導する。後期は、個別指導の傍ら、互いの進捗状況を参考にしたり、また執筆者の考えを明確化させ、かつ内容を深化させるために、中間発表ならびに最終報告会を数回程度行う予定。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

前期は、下記2つを支柱とする：1つ目は、①卒業研究論文の書き方や、②Word機能の使い方等、卒業研究執筆にあたり、基本的な事項の指導。2つ目は、研究テーマの確定、ならびに論文の大まかな構成の作成、につき指導すること。但し、これまでのゼミにおいて、既に研究テーマが確定していたり、十分な判例や参考文献等を収集済みの学生に対しては、個別に、具体的な論文執筆指導を行う。

後期は、各自の執筆の進捗状況に差があるため、個別具体的な論文執筆指導を中心とする。また、互いの進捗状況を参考にしたり、また執筆者の考えを明確化させ、かつ内容を深化させるために、中間発表ならびに最終報告会を数回程度行う。おおよそ12月末までに、一通り執筆を終えた段階で、私に提出してもらい、1月は校正を中心とする。

評価方法・評価基準

卒業研究への取り組み方、ならびに提出された論文の審査により評価します。

教材等

教科書…卒業研究の指導において、適宜指示する。
参考書…卒業研究の指導において、適宜指示する。

備考

【学生へのメッセージ】
初めて書く論文ですので、最初は戸惑うかもしれませんが、例年、ゼミ生同士が相談または助け合い、その過程において、友情を深めているような気がます。また、それぞれ提出し終えたときの達成感で輝く顔が印象的です。学生最後の年ですので、有意義な実り多き1年にしてください。

卒業研究
Graduation Research

大　川　謙　蔵（オオカワ　ケンゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

本演習では卒業までに、ゼミ生全員で少なくとも民法の制度については詳細に把握できることを目的としている。
そのために、ゼミ生全員の協力の下で、どのような社会的問題が存在し、法律がどのような対応をしているのかを把握していく。すなわち、社会状況を知ることにより、自分が社会においてどのような立場に立ち、またどのようなことをすべきかなど、多くの点を考える糸口を得られると考えている。

授業方法と留意点

4年次の予定としては、各自で卒業論文を作成してもらいます。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

教員に適宜、経過を報告すること。

評価方法・評価基準

成績は、学期末に教員が用紙を渡すので、各ゼミ生が自己採点を行う。
自分で自分を評価する能力が必要とされる。
その自己評価書自体から教員が評価を行う。

教材等

教科書…演習時に適宜指摘していく。

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　149　2014/10/14　17:50:52

参考書…演習時に適宜指摘していく。

備考

学生主体のゼミを目指しています。
そのため、新ゼミ生の獲得もゼミ生自身でガイダンス等において説明をおこない、主体的に動いてもらうことを考えています。それにより、縦の人間関係も形成され、就活などの情報も先輩から後輩へと伝えていくことができると考えています。

卒業研究
Graduation Research

松　島　裕　一（マツシマ　ユウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

前年度に決定した共通テーマに基づいて、実際に卒業論文を執筆してもらいます。前年度の専門演習Ⅱで真面目に毎回の課題に取り組んでいればそれほど困難はないとは思いますが、いざ卒論を書き始めてみると苦労の連続かもしれません。教員（松島）がしっかりサポートしますので、自分なりに四苦八苦しながら卒業論文を書き上げることがこの卒業研究の目標です。

授業方法と留意点

個別に課題を課しますので、その課題に真摯に取り組み、卒業論文を書き上げてください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

各人が決定したテーマにしたがって資料収集を行い、実際に卒業論文執筆の作業を進めてもらいます。各人の進捗状況に応じて個別に指示を出します。

評価方法・評価基準

卒業論文によって評価します。その際、論文の質はもちろんですが、そこに至るまでの努力も評価の対象にします。悔いの残らない卒業論文を書き上げてください。

教材等

教科書…特になし。
参考書…小笠原喜康『新版 大学生のためのレポート・論文術』講談社現代新書（約760円）

備考

みんなで笑って卒業できるように頑張りましょう！　教員（松島）も精いっぱい努力しますので、学生の皆さんも頑張ってください。

011-150_150_法学部-1510_法律学科-01_専門科目_本文.indd　150　2014/10/14　17:50:52

哲学I
Philosophy I

池　田　　清（イケダ　キヨシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

哲学とは、われわれが日常生活を送る中で暗黙のうちに前提としている考え方や振舞い方に関して、「何故、こんな風に考えるのか」、「何故、こんな風に振舞うのか」、こうした素朴な疑問から始まる。決して現実離れした学問ではない。授業では、映像（映画、写真、夢かという日常的経験の中で、何が起きているのか、これをテーマとしながら、従来の哲学史上の考え方・概念を紹介しつつ、日常的経験を可能にしている諸々の要因を洗い出していく。

授業方法と留意点

テキストは使用しない。板書は相当な量になるので、ノートは必ず準備すること。試験問題は、書き残したノートから出題されます。また、見逃せない時事的な出来事が起きれば、それについて考えます。

科目学習の効果（資格）

これまで見過ごしてきた日常性の複雑さを知ることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　はじめに
【内容・方法　等】　講義の概要
【事前・事後学習課題】　――――――

第２回　【授業テーマ】　物を見ることの複雑性
【内容・方法　等】　ものの認識と行動への強迫
【事前・事後学習課題】　シラバスの熟読

第３回　【授業テーマ】　――――――
【内容・方法　等】　精神分析的見解
【事前・事後学習課題】　前回のノートの見直し

第４回　【授業テーマ】　――――――
【内容・方法　等】　現象学的見解
【事前・事後学習課題】　――――――

第５回　【授業テーマ】　――――――
【内容・方法　等】　自己認識とそのほつれ
【事前・事後学習課題】　――――――

第６回　【授業テーマ】　写真を見ることの複雑性
【内容・方法　等】　バルトの写真論その１
【事前・事後学習課題】　――――――

第７回　【授業テーマ】　――――――
【内容・方法　等】　バルトの写真論その２
【事前・事後学習課題】　――――――

第８回　【授業テーマ】　――――――
【内容・方法　等】　ソシュールの言語論
【事前・事後学習課題】　――――――

第９回　【授業テーマ】　――――――
【内容・方法　等】　ラカンの無意識論
【事前・事後学習課題】　――――――

第10回　【授業テーマ】　――――――
【内容・方法　等】　写真・言語・無意識の交錯
【事前・事後学習課題】　――――――

第11回　【授業テーマ】　映画を観ることの複雑性
【内容・方法　等】　映画の物語世界の構成
【事前・事後学習課題】　――――――

第12回　【授業テーマ】　――――――
【内容・方法　等】　メッツの映画論その１
【事前・事後学習課題】　――――――

第13回　【授業テーマ】　――――――
【内容・方法　等】　メッツの映画論その２
【事前・事後学習課題】　――――――

第14回　【授業テーマ】　――――――
【内容・方法　等】　ラカンの自我論
【事前・事後学習課題】　これまでのノートの見直し

第15回　【授業テーマ】　試験対策
【内容・方法　等】　試験問題答案の書き方
【事前・事後学習課題】　――――――

評価方法（基準）

授業参加、筆記試験などをもとに総合的に評価します。

教材等

教科書…教科書は使用しない。
参考書…適宜指示。

学生へのメッセージ

重要なのは、自分自身の日常生活に疑問を抱くことです。当たり前だと思っていることに、「何でやろ ?」と思ったときから、哲学が始まります。積極的に、しかも緊張感を持って授業に参加して下さい。

関連科目

思想系の科目。

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

哲学II
Philosophy II

池　田　　清（イケダ　キヨシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

哲学とは、われわれが日常生活を送る中で暗黙のうちに前提としている考え方や振舞い方に関して、「何故、こんな風に考えるのか」、「何故、こんな風に振舞うのか」、こうした素朴な疑問から始まる。決して現実離れした学問ではない。授業では、映像（映画、写真、夢かという日常的経験の中で、何が起きているのか、これをテーマとしながら、従来の哲学史上の考え方・概念を紹介しつつ、日常的経験を可能にしている諸々の要因を洗い出していく。

授業方法と留意点

テキストは使用しない。板書は相当な量になるので、ノートは必ず準備すること。試験問題は、書き残したノートから出題されます。また、見逃せない時事的な出来事が起きれば、それについて考えます。

科目学習の効果（資格）

これまで見過ごしてきた日常性の複雑さを知ることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　はじめに
【内容・方法　等】　講義の概要
【事前・事後学習課題】　――――――

第２回　【授業テーマ】　エディプス論
【内容・方法　等】　フロイトのエディプス論
【事前・事後学習課題】　シラバスの熟読

第３回　【授業テーマ】　――――――
【内容・方法　等】　ラカンのエディプス論その１
【事前・事後学習課題】　前回のノートの見直し

第４回　【授業テーマ】　――
【内容・方法　等】　ラカンのエディプス論その２
【事前・事後学習課題】　――――――

第５回　【授業テーマ】　――――――
【内容・方法　等】　自我の分列あるいは統一
【事前・事後学習課題】　――――――

第６回　【授業テーマ】　映画論再考
【内容・方法　等】　映像単語説その１
【事前・事後学習課題】　――――――

第７回　【授業テーマ】　――――――
【内容・方法　等】　映像単語説その２
【事前・事後学習課題】　――――――

第８回　【授業テーマ】　――――――
【内容・方法　等】　映像単語説批判
【事前・事後学習課題】　――――――

第９回　【授業テーマ】　――――――
【内容・方法　等】　映画論と言語論の交錯その１
【事前・事後学習課題】　――――――

第10回　【授業テーマ】　夢を見ることの複雑性
【内容・方法　等】　フロイトの夢理論
【事前・事後学習課題】　――――――

第11回　【授業テーマ】　――――――
【内容・方法　等】　フロイトの「イルマの注射の夢」解釈
【事前・事後学習課題】　――――――

第12回　【授業テーマ】　――――――
【内容・方法　等】　ラカンの「イルマの注射の夢」解釈
【事前・事後学習課題】　――――――

第13回　【授業テーマ】　映像技法の複雑性
【内容・方法　等】　映画論と言語論の交錯その２
【事前・事後学習課題】　――――――

第14回　【授業テーマ】　――――――
【内容・方法　等】　映画論と言語論の交錯その３
【事前・事後学習課題】　これまでのノートの見直し

第15回　【授業テーマ】　試験対策
【内容・方法　等】　試験問題答案の書き方
【事前・事後学習課題】　――――――

評価方法（基準）

授業参加、筆記試験などをもとに総合的に評価します。

教材等

教科書…教科書は使用しない。
参考書…適宜指示。

学生へのメッセージ

重要なのは、自分自身の日常生活に疑問を抱くことです。当たり前だと思っていることに、「何でやろ ?」と思ったときから、哲学が始まります。積極的に、しかも緊張感を持って授業に参加して下さい。

関連科目

思想系の科目。

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　153　　2014/08/21　14:45:19

文学I
Literature I

松　尾　佳津子（マツオ　カヅコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

「最近余り本を読んでいないなぁ」と思っているあなた、でも、本当に読むことがずっとキライでしたか？　若い人たちの活字離れがあれこれ取り沙汰されている昨今ですが、視覚や聴覚に訴える作品とは異なり、文字を通じてしか伝えられない様々な表現や思いがあることを、ぜひ感じてほしいと願っています。現代の流行作品はきっとあなたが一人でも楽しむでしょうから、私はあなたが一人では決して開くことのないような扉を開いて、作品世界を提示しようと思っています。前期は古典作品や昔話など、散文の短篇を中心に扱います。文字作品の新たな魅力を一つでも発見して、あなた自身の言語生活の豊かな糧として下さい。

授業方法と留意点

３～４講ごとにテーマを絞り、プリント形式で授業を進めます。授業中に随時課題を提示しますので、それらに取り組むことで積極的な授業参加をあなたに要求します。

科目学習の効果（資格）

「日本語文章能力検定」などの公的資格もありますが、表現やことばに自覚的である感性を養うことが何よりの学習効果でしょう。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　はじめに
【内容・方法　等】　「文学」という科目の思いこみから自由になる。
【事前・事後学習課題】　プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

第２回　**【授業テーマ】**　説話（１）
【内容・方法　等】　地域に根ざす説話に触れてみる。
【事前・事後学習課題】　プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

第３回　**【授業テーマ】**　説話（２）
【内容・方法　等】　文体の特徴を考察する。
【事前・事後学習課題】　プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

第４回　**【授業テーマ】**　説話（３）
【内容・方法　等】　類話との比較を試みる。
【事前・事後学習課題】　プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

第５回　**【授業テーマ】**　童話（１）
【内容・方法　等】　「説話」との比較を試みる。
【事前・事後学習課題】　プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

第６回　**【授業テーマ】**　童話（２）
【内容・方法　等】　各国の類話と比較する。
【事前・事後学習課題】　プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

第７回　**【授業テーマ】**　童話（３）
【内容・方法　等】　ジェンダーの観点から考察する。
【事前・事後学習課題】　プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

第８回　**【授業テーマ】**　昔話（１）
【内容・方法　等】　子供の頃読んだ物語を改めて振り返ってみる。
【事前・事後学習課題】　プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

第９回　**【授業テーマ】**　昔話（２）
【内容・方法　等】　時代の流れによるバリエーションを考察する。
【事前・事後学習課題】　プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

第10回　**【授業テーマ】**　評論・随筆（１）
【内容・方法　等】　「感性の文章」の特徴を考察する。
【事前・事後学習課題】　プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

第11回　**【授業テーマ】**　評論・随筆（２）
【内容・方法　等】　伝統的季節感の理解を深める。
【事前・事後学習課題】　プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

第12回　**【授業テーマ】**　評論・随筆（３）
【内容・方法　等】　新旧の作品の比較を試みる。
【事前・事後学習課題】　プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

第13回　**【授業テーマ】**　短編小説（１）
【内容・方法　等】　短編ならではの表現の工夫を考える。
【事前・事後学習課題】　プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

第14回　**【授業テーマ】**　短編小説（２）
【内容・方法　等】　古典とのつながりを踏まえて味読する。
【事前・事後学習課題】　プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

第15回　**【授業テーマ】**　短編小説（３）
【内容・方法　等】　文体の特徴を読み解く。
【事前・事後学習課題】　プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

評価方法（基準）

◇講義中に作成する小レポートが出席確認を兼ねます。近年散見する代筆提出については、代筆者・被代筆者共、成績処理時に大幅減点します。
◇最終成績は、定期試験の結果7割と小レポートの回答状況3割とを合わせて判断します。
◇私語・飲食・頻繁な離席・他授業の課題作成・居眠りなど、受講態度の著しく悪い学生には退室を指示して当日の出席は無効とし、さらに状況に応じてマイナス評価を下します。また、回収した小レポートの回答状況が著しく悪い場合も、当日の出席は無効とします。
◇原則として出席が半分以下の場合は、成績評価を行いません。

教材等

教科書…プリント授業です。
参考書…毎回のプリントの中で提示していきます。

学生へのメッセージ

遠いところに自分と同じ考えの人を発見する喜び。近いところに自分の思いも寄らないような発想の人に出会う楽しみ。・・・文学に触れる意味は、この二点に尽きるのではないかと、私は思っています。どうかあなたが「よい出会い」を経験できますように。

関連科目

こういった方面に興味のある人は、他に「国語学」などを学ぶことで、より理解を深めることができるでしょう。

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

文学II
Literature II

松　尾　佳津子（マツオ　カヅコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

「最近余り本を読んでいないなぁ」と思っているあなた、でも、本当に読むことがずっとキライでしたか？　若い人たちの活字離れがあれこれ取り沙汰されている昨今ですが、視覚や聴覚に訴える作品とは異なり、文字を通じてしか伝えられない様々な表現や思いがあることを、ぜひ感じてほしいと願っています。現代の流行作品はきっとあなたが一人でも楽しむでしょうから、私はあなたが一人では決して開くことのないような扉を開いて、作品世界を提示しようと思っています。後期は俳句・和歌・短歌・詩などの韻文作品を中心に扱います。文字作品の新たな魅力を一つでも発見して、あなた自身の言語生活の豊かな糧として下さい。

授業方法と留意点

３～４講ごとにテーマを絞り、プリント形式で授業を進めます。授業中に随時課題を提示しますので、それらに取り組むことで積極的な授業参加をあなたに要求します。

科目学習の効果（資格）

「日本語文章能力検定」などの公的資格もありますが、表現やことばに自覚的である感性を養うことが何よりの学習効果でしょう。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　はじめに
【内容・方法　等】　短詩型文学の広がりを概観する。
【事前・事後学習課題】　プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

第２回　**【授業テーマ】**　短詩型文学（１）
【内容・方法　等】　散文文学との違いを考察する。
【事前・事後学習課題】　プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

第３回　**【授業テーマ】**　短詩型文学（２）
【内容・方法　等】　歴史的な流れを考察する。
【事前・事後学習課題】　プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

第４回　**【授業テーマ】**　現代詩（１）
【内容・方法　等】　表現の特徴を考える。
【事前・事後学習課題】　プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

第５回　**【授業テーマ】**　現代詩（２）
【内容・方法　等】　「歌詞」を素材として考察する。

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　154　2014/08/21　14:45:19

【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

第６回 【授業テーマ】 童謡（１）
【内容・方法　等】 子供の頃に聞き覚えた歌詞を振り返る。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

第７回 【授業テーマ】 童謡（２）
【内容・方法　等】 文学作品として歌詞を考察する。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

第８回 【授業テーマ】 短歌（１）
【内容・方法　等】 表現技法の特徴を考察する。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

第９回 【授業テーマ】 短歌（２）
【内容・方法　等】 創作の過程を追体験する。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

第10回 【授業テーマ】 短歌（３）
【内容・方法　等】 現代の作品と古典作品の感性の差を比較する。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

第11回 【授業テーマ】 俳句（１）
【内容・方法　等】 表現技法の特徴を考察する。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

第12回 【授業テーマ】 俳句（２）
【内容・方法　等】 象徴表現の広がりを考察する。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

第13回 【授業テーマ】 俳句（３）
【内容・方法　等】 「俳句」から「ハイク」への広がりを考察する。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

第14回 【授業テーマ】 韻文の翻訳（１）
【内容・方法　等】 翻訳を通じて伝わるものと伝わらないものを考える。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

第15回 【授業テーマ】 韻文の翻訳（２）
【内容・方法　等】 「現代語訳」という翻訳から見えてくるものを考える。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

評価方法（基準）

◇講義中に作成する小レポートが出席確認を兼ねます。近年散見する代筆提出については、代筆者・被代筆者共、成績処理時に大幅減点します。
◇最終成績は、定期試験の結果7割と小レポートの回答状況3割とを合わせて判断します。
◇私語・飲食・頻繁な離席・他授業の課題作成・居眠りなど、受講態度の著しく悪い学生には退室を指示して当日の出席は無効とし、さらに状況に応じてマイナス評価を下します。また、回収した小レポートの回答状況が著しく悪い場合も、当日の出席は無効とします。
◇原則として出席が半分以下の場合は、成績評価を行いません。

教材等

教科書…プリント授業です。
参考書…毎回のプリントの中で提示していきます。

学生へのメッセージ

遠いところに自分と同じ考えの人を発見する喜び。近いところに自分の思いも寄らないような発想の人に出会う楽しみ。・・・文学に触れる意味は、この二点に尽きるのではないかと私は思っています。どうぞあなたが「よい出会い」を経験できますように。

関連科目

こういった方面に興味のある人は、他に「国語学」などを学ぶことで、より理解を深めることができるでしょう。

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

国語学I
Japanese Language I

橋　本　正　俊（ハシモト　マサトシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

国語学は、「日本語とは何か」を考える学問である。高校までの「国語」とはまったく異なるのでそのつもりで。
国語学Ⅰでは、世界の言語とも比較しつつ、日本語を分析することで、日本語を見つめ直すことを目的とする。
言葉について考えることは、人間について、社会について、文化について、考えることにもつながる。単に日本語についての知識を得るのではなく、広い視野をもって考える力を身につけて欲しい。

授業方法と留意点

配布するプリントに沿って講義する。講義の後、コメントを求める。課題を提出する。

科目学習の効果（資格）

日本語に対する理解が深まる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法　等】 授業の進め方、概説
日本語について考える
【事前・事後学習課題】 ――――

第２回 【授業テーマ】 世界の中の日本語１
【内容・方法　等】 日本の文字について、世界の文字とあわせて考察する
【事前・事後学習課題】 日本語の特徴について考えてくる

第３回 【授業テーマ】 世界の中の日本語２
【内容・方法　等】 日本語は、世界の言葉の中でどのように位置づけられるか
【事前・事後学習課題】 日本語の文字の特徴をまとめる

第４回 【授業テーマ】 発音１
【内容・方法　等】 日本語の発音について詳しく知る
【事前・事後学習課題】 日本語と外国語を比較する

第５回 【授業テーマ】 発音２
【内容・方法　等】 日本語の発音について詳しく知る
【事前・事後学習課題】 授業で取り上げた子音の発音を確認しておく

第６回 【授業テーマ】 拍と音節
【内容・方法　等】 日本語の拍と音節について考える
拍の一覧表を作成する
【事前・事後学習課題】 授業で取り上げた子音の発音を確認しておく

第７回 【授業テーマ】 リズム
【内容・方法　等】 日本語のリズムについて考える
【事前・事後学習課題】 拍の表を完成させる

第８回 【授業テーマ】 アクセント１
【内容・方法　等】 東西におけるアクセントの違いを見る
【事前・事後学習課題】 日本語のリズムについての課題を作成する

第９回 【授業テーマ】 アクセント２
【内容・方法　等】 アクセントの高低配分について考える
【事前・事後学習課題】 関西と関東のアクセントの違いをまとめておく

第10回 【授業テーマ】 文法１
【内容・方法　等】 日本語の述語について考察する１
【事前・事後学習課題】 アクセントの法則をまとめておく

第11回 【授業テーマ】 文法２
【内容・方法　等】 日本語の述語について考察する２
【事前・事後学習課題】 授業で指摘した文法の例を考える

第12回 【授業テーマ】 文法３
【内容・方法　等】 日本語の述語について考察する３
【事前・事後学習課題】 授業で指摘した文法の例を考える

第13回 【授業テーマ】 文法４
【内容・方法　等】 日本語の動詞について考察する
【事前・事後学習課題】 授業で指摘した文法の例を考える

第14回 【授業テーマ】 文法５
【内容・方法　等】 日本語の主語の特徴について考察する
【事前・事後学習課題】 授業で指摘した動詞の例を考える

第15回 【授業テーマ】 語彙
まとめ
【内容・方法　等】 日本語の語彙について考える
【事前・事後学習課題】 語彙について整理する

評価方法（基準）

定期試験を実施する。
定期試験の成績、授業時の課題により、総合的に評価する。

教材等

教科書…適宜プリントを配布する。
参考書…授業中に指示する。

学生へのメッセージ

日常当たり前のように用いている「ことば」そのものに関心を持って下さい。

関連科目

国語学Ⅱ

担当者の研究室等

７号館４階（橋本研究室）

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　155　2014/08/21　14:45:19

国語学II
Japanese Language II

橋　本　正　俊（ハシモト　マサトシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
国語学は、「日本語とは何か」を考える学問である。高校までの「国語」とはまったく異なるのでそのつもりで。
国語学Ⅱでは日本語の諸問題について歴史的に考える。
日本語の歴史を知ることは、現在の日本語を考察することにつながる。日本語は、文献が残されている時代からでも、発音も文字も文法も、ずいぶんと変化している。どう変化したのか、なぜ変化したのか、という視点で、古代を中心に各時代の日本語の変化を考察する。

授業方法と留意点
配布するプリントに沿って講義する。講義の後、コメントを求めたり、課題を出すこともある。

科目学習の効果（資格）
日本語の歴史の理解を通して、言葉に対する関心、理解が深まる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】 はじめに
【内容・方法　等】 授業の進め方、概説
日本の時代区分
【事前・事後学習課題】 ――――
第２回　【授業テーマ】 山・やま・ヤマはどう違う？
【内容・方法　等】 漢字・ひらがな・カタカナの歴史１
漢字の受容
【事前・事後学習課題】 時代区分を覚える
第３回　【授業テーマ】 山・やま・ヤマはどう違う？
【内容・方法　等】 漢字・ひらがな・カタカナの歴史２
ひらがなの成立
【事前・事後学習課題】 万葉仮名について整理する
第４回　【授業テーマ】 山・やま・ヤマはどう違う？
【内容・方法　等】 漢字・ひらがな・カタカナの歴史３
カタカナの成立
【事前・事後学習課題】 ひらがなの成立について整理する
第５回　【授業テーマ】 山・やま・ヤマはどう違う？
【内容・方法　等】 漢字・ひらがな・カタカナの歴史４
様々な文体
【事前・事後学習課題】 カタカナの成立について整理する
第６回　【授業テーマ】 行列と行進
【内容・方法　等】 音読みについて学ぶ
【事前・事後学習課題】 文体についてまとめる
第７回　【授業テーマ】 生きる・生まれる・生える
【内容・方法　等】 訓読みについて学ぶ
【事前・事後学習課題】 音読みについて整理する
第８回　【授業テーマ】 方言って何
【内容・方法　等】 標準語と方言1
標準語の成立
【事前・事後学習課題】 訓読みについて整理する
第９回　【授業テーマ】 方言って何
【内容・方法　等】 標準語と方言２
方言の分布
【事前・事後学習課題】 標準語について考える
第10回　【授業テーマ】 方言って何
【内容・方法　等】 標準語と方言３
方言の拡大と現代語
【事前・事後学習課題】 方言の分布についてまとめる
第11回　【授業テーマ】 わたしだ・わしじゃ・わたくしですわ
【内容・方法　等】 様々な言葉遣いについて
【事前・事後学習課題】 方言の特徴を調べる
第12回　【授業テーマ】 「はひふへほ」と「ぱぴぷぺぽ」
【内容・方法　等】 発音の変化１
古代の発音
【事前・事後学習課題】 言葉遣いについて考察する
第13回　【授業テーマ】 「はひふへほ」と「ぱぴぷぺぽ」
【内容・方法　等】 発音の変化２
変化の様子
【事前・事後学習課題】 古代の発音を整理する
第14回　【授業テーマ】 恋・愛・恋愛
【内容・方法　等】 近代翻訳語について考える
【事前・事後学習課題】 発音の変化を整理する
第15回　【授業テーマ】 縦書きと横書き
まとめ
【内容・方法　等】 表記法について考える
【事前・事後学習課題】 近代翻訳語を探してみる

評価方法（基準）
定期試験を実施する。
定期試験の成績と授業時の課題等により総合的に評価する。

教材等
教科書…適宜プリントを配布する。
参考書…授業中に指示する。

学生へのメッセージ
日本語の歴史を知ることで、現代の日本語の新たな一面が見えてくるはずです。

関連科目
国語学Ⅰ

担当者の研究室等
７号館４階（橋本研究室）

歴史学概論
A Survey of History

林　田　敏　子（ハヤシダ　トシコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
21世紀を迎えた今、20世紀という時代はすでに歴史研究の対象として重要な意味をもち始めている。二度にわたる世界大戦とファシズム、大量虐殺や民族紛争など、いまだ過去のものとはなっていない多くの問題を、われわれはどのようにとらえたらよいのだろうか。本講義では、第一次世界大戦からソ連崩壊までを、豊富に残るドキュメンタリー映像の分析を通して考察する。
「到達目標」：不況・ファシズム・戦争という三重の挑戦を受けながら、世界情勢がいかなる変化を遂げたのかを理解する。

授業方法と留意点
毎回プリントを配布し、板書と組み合わせて授業をすすめる。
ＤＶＤ映像を用いる。

科目学習の効果（資格）
歴史学に関する基本的な知識を得るとともに、現代社会を違った角度から読み解く力を養う。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】 第一次世界大戦
【内容・方法　等】 「新しい」戦争がもたらした負の遺産
【事前・事後学習課題】 20世紀におこった事件のなかで、興味のあるものをピックアップし、調べてくる。
第２回　【授業テーマ】 世界不況
【内容・方法　等】 ウォール街の大暴落とドイツのインフレ
【事前・事後学習課題】 第一次世界大戦の特徴についてまとめてくる。
第３回　【授業テーマ】 ファシズムの台頭
【内容・方法　等】 ナチス一党独裁への道～ヒトラーによる大衆宣伝～
【事前・事後学習課題】 世界恐慌とファシズムの関係について調べてくる。
第４回　【授業テーマ】 ヒトラーの野望
【内容・方法　等】 ドイツの再軍備とユダヤ人迫害
【事前・事後学習課題】 ホロコーストに関する関連文献を紹介するので、それを読んでくる。
第５回　【授業テーマ】 第二次世界大戦（１）
【内容・方法　等】 戦争捕虜問題
【事前・事後学習課題】 戦争捕虜に関する国際的取り決めについて調べてくる。
第６回　【授業テーマ】 第二次世界大戦（２）
【内容・方法　等】 「追放」から「殺戮」へ～ユダヤ人問題～
【事前・事後学習課題】 第一次世界大戦と第二次世界大戦の共通点と相違点についてまとめてくる。
第７回　【授業テーマ】 帝国の終焉（１）
【内容・方法　等】 イギリスのインド統治とフランス領インドシナ
【事前・事後学習課題】 イギリス・フランスの植民地統治の歴史について調べてくる。
第８回　【授業テーマ】 帝国の終焉（２）（中間テストの実施）
【内容・方法　等】 インドの独立とカシミール紛争の勃発
【事前・事後学習課題】 ガンジーに関する関連文献を紹介するのでそれを読んでくる。
第９回　【授業テーマ】 冷戦時代の幕開け（中間テストの解説）
【内容・方法　等】 ドイツ分割と朝鮮戦争
【事前・事後学習課題】 印パ戦争の経緯についてまとめてくる。
第10回　【授業テーマ】 緊張の高まり～キューバ危機～
【内容・方法　等】 キューバ危機が世界に与えたインパクト
【事前・事後学習課題】 ドイツの分断と統一の経緯についてまとめてくる。
第11回　【授業テーマ】 ヴェトナム戦争
【内容・方法　等】 「反戦」思想のおこり
【事前・事後学習課題】 ヴェトナム戦争に関する関連文献を紹介するのでそれを読んでくる。
第12回　【授業テーマ】 パレスチナ問題
【内容・方法　等】 第一次世界大戦から中東戦争まで
【事前・事後学習課題】 パレスチナ紛争の歴史を通して、現代のテロリズムの問題を考えてくる。

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　156　2014/08/21　14:45:20

第13回　【授業テーマ】　難民の世紀
【内容・方法　等】　紛争と難民問題
【事前・事後学習課題】　難民に関する国際的取り決めについて調べてくる。
第14回　【授業テーマ】　ソ連の崩壊
【内容・方法　等】　崩壊過程と東欧の再編成
【事前・事後学習課題】　ソ連崩壊の意味を、２０世紀の歴史のなかに位置づける。
第15回　【授業テーマ】　総括
【内容・方法　等】　小テストと解説
【事前・事後学習課題】　全授業内容を復習しておく。

評価方法（基準）
中間テストと小テストによって評価する。

教材等
教科書…なし
参考書…授業中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ
歴史学とは過去に起こった事件の年号や偉人の名前を暗記する学問ではありません。過去の出来事を通して、現代社会や未来についての思考力を養うためのものです。積極的に関連文献を読み、講義内容を批判的に摂取するよう心がけてください。

関連科目
ヨーロッパ史学

担当者の研究室等
７号館４階（林田研究室）

地誌学
Regional Geography

稲　田　克　二（イナダ　カツジ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
地誌学は、地域を対象としてそこにある地理的事象を総合的に研究する学問である。講義では、まず地域研究の基礎である自然環境の外観を学び、次に各地域ごとに自然環境・経済活動・文化などについて学ぶ。
世界各地の地域的特色を把握し、そこで生活する人々の生活様式や経済活動・文化を理解する。また中学校社会科・高等学校地歴科の教員を目指す者が、中学校・高等学校で授業をするための技術・手法を理解する。

授業方法と留意点
方法：講義を中心とし、適宜学生による研究発表を行う。

科目学習の効果（資格）
中学社会・高校地理歴史教員職員免許

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　はじめに
【内容・方法　等】　・講義の目的・方法・進め方
「地球」「地域区分」について
【事前・事後学習課題】　事前に世界の国々の国名と位置を理解しておく。事後に講義内容を復習する。
第２回　【授業テーマ】　自然環境１　地形
【内容・方法　等】　世界の地形を理解する。
【事前・事後学習課題】　世界の山脈・山地・平野などを理解しておく。事後に講義内容を復習する。
第３回　【授業テーマ】　自然環境２　気候区分
【内容・方法　等】　気候区分と気候帯を理解する。
【事前・事後学習課題】　世界の気候を概観しておく。事後に講義内容を復習する。
第４回　【授業テーマ】　自然環境３　気候帯
【内容・方法　等】　世界の気候帯の特色を理解する。
【事前・事後学習課題】　世界の気候を概観しておく。事後に講義内容を復習する。
第５回　【授業テーマ】　東南アジア
【内容・方法　等】　東南アジアについて、自然環境・経済活動・文化を理解する。
【事前・事後学習課題】　東南アジアについて概観しておく。事後に講義内容を復習する。
第６回　【授業テーマ】　西アジア・北アフリカ
【内容・方法　等】　西アジア・北アフリカについて、自然環境・経済活動・文化を理解する。
【事前・事後学習課題】　西アジア・北アフリカについて概観しておく。事後に講義内容を復習する。
第７回　【授業テーマ】　中南アフリカ
【内容・方法　等】　中南アフリカについて、自然環境・経済活動・文化を理解する。
【事前・事後学習課題】　中南アフリカについて、自然環境・経済活動・文化を理解する。
第８回　【授業テーマ】　ヨーロッパ
【内容・方法　等】　ヨーロッパについて、自然環境・経済活動・文化を理解する。
【事前・事後学習課題】　ヨーロッパについて概観しておく。事後に講義内容を復習する。
第９回　【授業テーマ】　アングロアメリカ
【内容・方法　等】　アングロアメリカについて理解する。
【事前・事後学習課題】　アングロアメリカについて概観しておく。事後に講義内容を復習する。
第10回　【授業テーマ】　オセアニア
【内容・方法　等】　オセアニアについて理解する。
【事前・事後学習課題】　オセアニアについて概観しておく。事後に講義内容を復習する。
第11回　【授業テーマ】　アジアについての地域研究発表
【内容・方法　等】　アジアの任意の地域について、学生による地域研究を発表する。
【事前・事後学習課題】　アジアについて概観しておく。事後に講義内容を復習する。
第12回　【授業テーマ】　アフリカについての地域研究
【内容・方法　等】　アフリカの任意の地域について、学生による地域研究を発表する。
【事前・事後学習課題】　アフリカについて概観しておく。事後に講義内容を復習する。
第13回　【授業テーマ】　アフリカについて概観しておく。事後に講義内容を復習する。
【内容・方法　等】　ヨーロッパの任意の地域について、学生による地域研究を発表する。
【事前・事後学習課題】　ヨーロッパについて概観しておく。事後に講義内容を復習する。
第14回　【授業テーマ】　アングロアメリカについての研究発表
【内容・方法　等】　アングロアメリカの任意の地域について、学生による地域研究を発表する。
【事前・事後学習課題】　アングロアメリカについて概観しておく。事後に講義内容を復習する。
第15回　【授業テーマ】　オセアニアについての研究発表
【内容・方法　等】　オセアニアの任意の地域について、学生による地域研究を発表する。
【事前・事後学習課題】　オセアニアについて概観しておく。事後に講義内容を復習する。

評価方法（基準）
研究発表、研究発表に対する意見発表、レポート、課題

教材等
教科書…教科書・新詳高等地図　帝国書院
参考書…講義中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ
世界にはどのような地域があり、そこではどのような生活様式や文化があるか考えましょう。

関連科目
適宜指示する。

担当者の研究室等
7号館2階　（非常勤講師室）

備考
受講生の状況により、研究発表の授業が増える場合がある。

地理学I
Geography I

原　　秀　禎（ハラ　ヒデサダ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
・自然地理学の中でも特に地形環境を取りあげて詳細に解説する。

・地理学の体系を述べた後，自然地理学の位置付けを行い、地形環境の重要性を明らかにする。
・大地形の形成過程を説明し、日本における地形の特色について順を追って解説していく。
・形成時期の古い山地地形から、最も新しい三角州に至るまで，系統的に解明する。
・我々にとって，地形とはどういう意味を持つのか，土地利用を通じて，その利用形態を明らかにする。

授業方法と留意点
配布プリントを中心として、ビデオ教材を使用して具体例を示していく。

科目学習の効果（資格）
・日本の地形環境について系統的に把握できる。
・自然観光資源に対する理解が深まる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　地理学の位置づけと自然地理学
【内容・方法　等】　地理学とは何か，人文地理学と自然地理学
【事前・事後学習課題】　人文地理と自然地理の相違点を整理する

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　157　　2014/08/21　14:45:20

第２回　【授業テーマ】　自然地理学の諸分野
【内容・方法　等】　気候地理学、植生地理学、水文学、地形学等
【事前・事後学習課題】　自然地理学の諸分野をまとめる
第３回　【授業テーマ】　地形学と地形環境
【内容・方法　等】　地形環境とは何か
【事前・事後学習課題】　地形環境の意味を確認する
第４回　【授業テーマ】　山地Ⅰ
【内容・方法　等】　世界の大地形とプレートテクトニクス，新期造山帯と火山帯
【事前・事後学習課題】　山地地形を整理する
第５回　【授業テーマ】　山地Ⅱ
【内容・方法　等】　日本の山地地形の特色，活断層と山地
【事前・事後学習課題】　活断層の分布をまとめる
第６回　【授業テーマ】　丘陵Ⅰ
【内容・方法　等】　丘陵地形の形成過程とその特色
【事前・事後学習課題】　丘陵地形を整理する
第７回　【授業テーマ】　丘陵Ⅱ
【内容・方法　等】　日本の丘陵と土地利用，丘陵の分布と大規模住宅地開発
【事前・事後学習課題】　丘陵の利用法をまとめる
第８回　【授業テーマ】　河岸段丘
【内容・方法　等】　河岸段丘地形の分布と特色，段丘面の土地利用
【事前・事後学習課題】　河岸段丘地形をまとめる
第９回　【授業テーマ】　海岸段丘
【内容・方法　等】　海岸段丘地形の分布と特色，段丘面と農業開発
【事前・事後学習課題】　海岸段丘地形をまとめる
第10回　【授業テーマ】　扇状地
【内容・方法　等】　扇状地地形の特色と土地利用，湧水帯と農業の発達
【事前・事後学習課題】　扇状地の分布を整理する
第11回　【授業テーマ】　自然堤防と後背湿地
【内容・方法　等】　自然堤防と集落の立地，後背湿地と水田耕作
【事前・事後学習課題】　自然堤防と集落の立地をまとめる
第12回　【授業テーマ】　三角州
【内容・方法　等】　三角州の形成と地下構造
【事前・事後学習課題】　三角州の分布をまとめる
第13回　【授業テーマ】　後氷期と海水準変動
【内容・方法　等】　縄文海進と弥生海退、弥生海退と平野の形成、大阪平野の形成過程
【事前・事後学習課題】　海水準変動の状況をまとめる
第14回　【授業テーマ】　第1回～第13回のまとめと理解度確認テスト
【内容・方法　等】　第1回～第13回のまとめを行った後、理解度を確認するためのテストを行う。
【事前・事後学習課題】　解答できなかった内容について復習する
第15回　【授業テーマ】　理解度確認テストの結果を踏まえ、全体を総括する。
【内容・方法　等】　日本の地形環境、生活と地形との関わり、地形利用のまとめを行う。
【事前・事後学習課題】　日本の地形環境をまとめる

評価方法（基準）
理解度確認テストの成績を中心に，授業参加状況，講義態度も考慮して，総合的に評価する。

教材等
教科書…適宜プリントを配布する。
参考書…「地形学」町田貞著　大明堂（3800円）
「日本の自然」阪口豊編著　岩波書店（3600円）

学生へのメッセージ
配布プリントの内容だけでなく、口頭で説明した内容やビデオの内容もしっかり要約して，メモをとる習慣を身につけてください。

関連科目
旅と観光の地理学，環境学

担当者の研究室等
７号館５階(原研究室)

地理学II
Geography II

高　崎　章　裕（タカサキ　アキヒロ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
本講義では、空間や場所、スケールといった地理学の概念を理解したうえで、細分化・専門化されてきた系統地理学の理論を学習する。都市地理学、農業地理学、観光地理学、行動地理学、文化地理学、社会地理学、政治地理学といった系統地理学から、後半では公共政策、社会運動、環境運動と実践的な事例も紹介しながら、地域との関わりを通した地理学的なアプローチを理解する。

授業方法と留意点
授業はパワーポイントで行う。必要に応じて、資料を配布し、DVDなどの映像を使用する。

科目学習の効果（資格）
中学社会・高校地理歴史教育職員免許
人文地理学の諸分野を概観しながら、地理学の基礎となる空間的な視点を習得していく。現代世界の地理的事象を系統地理的な理解を図り、現代社会の多様性を把握・理解することで、相対的なものの見方や地理学的想像力の涵養が期待される。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　講義ガイダンス
【内容・方法　等】　講義の目的・方法・進め方
【事前・事後学習課題】　次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。
第２回　【授業テーマ】　地理学の基礎的概念（１）
【内容・方法　等】　「空間」の概念について
【事前・事後学習課題】　次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。
第３回　【授業テーマ】　地理学の基礎的概念（２）
【内容・方法　等】　「場所」の概念について
【事前・事後学習課題】　次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。
第４回　【授業テーマ】　地理学の基礎的概念（３）
【内容・方法　等】　「スケール」について
【事前・事後学習課題】　次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。
第５回　【授業テーマ】　都市地理学
【内容・方法　等】　都市地理学の理論と事例の紹介
【事前・事後学習課題】　次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。
第６回　【授業テーマ】　農業地理学
【内容・方法　等】　農業地理学の理論と事例の紹介
【事前・事後学習課題】　次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。
第７回　【授業テーマ】　観光地理学
【内容・方法　等】　観光地理学の理論と事例の紹介
【事前・事後学習課題】　次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。
第８回　【授業テーマ】　行動地理学
【内容・方法　等】　行動地理学の理論と事例の紹介
【事前・事後学習課題】　次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。
第９回　【授業テーマ】　文化地理学
【内容・方法　等】　文化地理学の理論と事例の紹介
【事前・事後学習課題】　次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。
第10回　【授業テーマ】　社会地理学
【内容・方法　等】　社会地理学の理論と事例の紹介
【事前・事後学習課題】　次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　158　2014/08/21　14:45:20

第11回　【授業テーマ】　政治地理学
【内容・方法　等】　政治地理学の理論と事例の紹介
【事前・事後学習課題】　次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。
第12回　【授業テーマ】　地理学と公共政策
【内容・方法　等】　公共サービスとNIMBY問題
【事前・事後学習課題】　次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。
第13回　【授業テーマ】　社会運動の地理学
【内容・方法　等】　社会運動研究の理論と事例の紹介
【事前・事後学習課題】　次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。
第14回　【授業テーマ】　環境運動の地理学
【内容・方法　等】　環境運動研究の理論と事例の紹介
【事前・事後学習課題】　講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。
第15回　【授業テーマ】　講義まとめ
【内容・方法　等】　講義の総括、および定期試験に関する説明。
【事前・事後学習課題】　全講義の内容を復習しておくこと。

評価方法（基準）
定期試験

教材等
教科書…特に指定しない。
参考書…竹中克行・山村亜希・大城直樹・梶田　真編著『人文地理学』ミネルヴァ書房、2009年
山崎孝史『政治・空間・場所：「政治の地理学」に向けて』ナカニシヤ出版、2013年
その他、授業中に適宜指示する。

学生へのメッセージ
ニュースで扱われる現象や身近な出来事を地理学的視点で見た場合にどのようなことがいえるのか、普段から敏感に考えるようにしてください。また、そこでの気づきをリアクションペーパーに活かしてください。

関連科目
地誌学

担当者の研究室等
7号館2階(非常勤講師室)

経済学I
Economics I

堀　　篤　史（ホリ　アツシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
この授業では、「企業の見方」、「経済の見方」を具体的事例に即して分かりやすく解説し、経済・金融のエッセンスを身に付けることを目標とする。

授業方法と留意点
レジュメを用いて講義形式で行う。参考文献は随時紹介していく。

科目学習の効果（資格）
経済学検定

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　ガイダンス
【内容・方法　等】　なぜ、経済・金融の知識が必要なのか。
【事前・事後学習課題】　――――
第２回　【授業テーマ】　金融とは①
【内容・方法　等】　株式に関する基本的な知識について学習する。
【事前・事後学習課題】　前回の内容を復習
第３回　【授業テーマ】　金融とは②
【内容・方法　等】　金融リテラシーの必要性を学習する。
【事前・事後学習課題】　前回の内容を復習
第４回　【授業テーマ】　企業分析入門①
【内容・方法　等】　会計に関する基本的な知識について学習する。
【事前・事後学習課題】　前回の内容を復習
第５回　【授業テーマ】　企業分析入門②
【内容・方法　等】　第４回の続き
【事前・事後学習課題】　練習問題１
第６回　【授業テーマ】　企業分析入門③
【内容・方法　等】　具体的な事例を挙げ、企業分析の手法を学習する。
【事前・事後学習課題】　前回の内容を復習
第７回　【授業テーマ】　企業分析入門④
【内容・方法　等】　第６回の続き
【事前・事後学習課題】　練習問題２
第８回　【授業テーマ】　株式投資の基礎知識
【内容・方法　等】　株価はどうして決まるのか。株式投資の魅力とリスクについて学習する。
【事前・事後学習課題】　練習問題３
第９回　【授業テーマ】　前半のまとめ
【内容・方法　等】　前半のまとめを行う。
【事前・事後学習課題】　練習問題４
第10回　【授業テーマ】　日本経済について
【内容・方法　等】　経済状況を把握するための代表的な経済指標について学習する。
【事前・事後学習課題】　前回の内容を復習
第11回　【授業テーマ】　日本の財政①
【内容・方法　等】　日本の財政状況について学習する。
【事前・事後学習課題】　前回の内容を復習
第12回　【授業テーマ】　日本の財政②
【内容・方法　等】　第10回の続き
【事前・事後学習課題】　練習問題５
第13回　【授業テーマ】　国際金融①
【内容・方法　等】　為替相場に関する基本的な知識について学習する。
【事前・事後学習課題】　前回の内容を復習
第14回　【授業テーマ】　国際金融②
【内容・方法　等】　最近の国際金融の動向について学習する。
【事前・事後学習課題】　練習問題６
第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容・方法　等】　全体のまとめをおこなう。
【事前・事後学習課題】　練習問題７

評価方法（基準）
学期末テストによって評価を行う。

教材等
教科書…特に指定しないが、講義で随時紹介していく。
参考書…特に指定しないが、講義で随時紹介していく。

学生へのメッセージ
金融・経済に関する知識は、今後就職、起業の際に必要不可欠です。

関連科目
経済学Ⅱ

担当者の研究室等
11号館5階　法学部資料室（法学部非常勤講師室）

経済学II
Economics II

内　田　勝　巳（ウチダ　カツミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
新聞の経済記事が理解できるように経済全般の基礎知識を身につけることを目標とする。

授業方法と留意点
パワーポイントやレジュメを用いながら講義を行う。

科目学習の効果（資格）
社会人として必要な経済学的知識を身につけることができる

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　経済社会の変容
【内容・方法　等】　産業革命以降の経済社会の変容及び現代の資本主義体制の成立と発展について学習する。
【事前・事後学習課題】　事後：授業の復習
第２回　【授業テーマ】　経済主体と経済活動
【内容・方法　等】　家計、企業、政府の3つの経済主体と経済活動の循環について学習する。
【事前・事後学習課題】　事前：授業テーマの予習
事後：授業の復習
第３回　【授業テーマ】　市場メカニズム
【内容・方法　等】　価格はどのように決まるか、市場の失敗とは何か等、市場のメカニズムについて学習する。
【事前・事後学習課題】　事前：授業テーマの予習
事後：授業の復習
第４回　【授業テーマ】　国民所得
【内容・方法　等】　GDPを中心に国民経済の活動水準を把握するための指標について学習する。
【事前・事後学習課題】　事前：授業テーマの予習
事後：授業の復習
第５回　【授業テーマ】　資金の循環と金融

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　159　　2014/08/21　14:45:20

【内容・方法　等】 貨幣と通貨、金融市場と金融機関、中央銀行と金融政策等、金融の役割について学習する。
【事前・事後学習課題】 事前：授業テーマの予習
事後：授業の復習

第６回 【授業テーマ】 租税と財政
【内容・方法　等】 財政のしくみ、租税、財政政策、国債、大きな政府と小さな政府、地方分権等、経済における政府の役割について学習する。
【事前・事後学習課題】 事前：授業テーマの予習
事後：授業の復習

第７回 【授業テーマ】 経済成長と景気変動
【内容・方法　等】 経済はなぜ成長するのか、インフレ・デフレとは何かについて学習する。
【事前・事後学習課題】 事前：授業テーマの予習
事後：授業の復習

第８回 【授業テーマ】 労働と社会保障
【内容・方法　等】 日本の雇用形態の変化、少子高齢社会、社会保障制度について学習する。
【事前・事後学習課題】 事前：授業テーマの予習
事後：授業の復習

第９回 【授業テーマ】 貿易と国際収支
【内容・方法　等】 自由貿易と国際分業、国際収支と為替レートについて学習する。
【事前・事後学習課題】 事前：授業テーマの予習
事後：授業の復習

第10回 【授業テーマ】 国際経済体制
【内容・方法　等】 IMFと世界銀行、WTOといった国際機関の役割、国際通貨体制の変容について学習する。
【事前・事後学習課題】 事前：授業テーマの予習
事後：授業の復習

第11回 【授業テーマ】 日本経済の変容
【内容・方法　等】 戦後の高度成長、石油危機、プラザ合意、バブル経済とその崩壊といった日本経済の変容について学習する。
【事前・事後学習課題】 事前：授業テーマの予習
事後：授業の復習

第12回 【授業テーマ】 国際資本移動と多国籍企業
【内容・方法　等】 グローバル化時代における国際金融及び企業の海外直接投資等の活動について学習する。
【事前・事後学習課題】 事前：授業テーマの予習
事後：授業の復習

第13回 【授業テーマ】 地域統合
【内容・方法　等】 EU、ASEAN経済統合、FTA等、経済のグローバル化の流れについて学習する。
【事前・事後学習課題】 事前：授業テーマの予習
事後：授業の復習

第14回 【授業テーマ】 南北問題
【内容・方法　等】 経済格差の是正と国際協力について学習する。
【事前・事後学習課題】 事前：授業テーマの予習
事後：授業の復習

第15回 【授業テーマ】 地球環境問題
【内容・方法　等】 持続可能な開発、地球温暖化問題、循環型社会について学習する。
【事前・事後学習課題】 事前：授業テーマの予習
事後：授業の復習

評価方法（基準）
定期試験によって評価を行う。

教材等
教科書…とくに指定しない。
参考書…必要なときには指示をする。

学生へのメッセージ
経済全般の基礎知識を身につけて、どうすればより良い社会を築いていくことができるのか考えよう。

関連科目
経済学Ⅰ

担当者の研究室等
1号館7階（内田教授室）（経済学部）

くらしと経済
Life and Economy

堀　　篤　史（ホリ　アツシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
この授業では、「企業の見方」、「経済の見方」を具体的事例に即して分かりやすく解説し、経済・金融のエッセンスを身に付けることを目標とする。

授業方法と留意点
レジュメを用いて講義形式で行う。参考文献は随時紹介していく。

科目学習の効果（資格）
経済学検定

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法　等】 なぜ、経済・金融の知識が必要なのか。
【事前・事後学習課題】 ――――

第２回 【授業テーマ】 金融とは①
【内容・方法　等】 株式に関する基本的な知識について学習する。
【事前・事後学習課題】 前回の内容を復習

第３回 【授業テーマ】 金融とは②
【内容・方法　等】 金融リテラシーの必要性を学習する。
【事前・事後学習課題】 前回の内容を復習

第４回 【授業テーマ】 企業分析入門①
【内容・方法　等】 会計に関する基本的な知識について学習する。
【事前・事後学習課題】 前回の内容を復習

第５回 【授業テーマ】 企業分析入門②
【内容・方法　等】 第４回の続き
【事前・事後学習課題】 練習問題１

第６回 【授業テーマ】 企業分析入門③
【内容・方法　等】 具体的な事例を挙げ、企業分析の手法を学習する。
【事前・事後学習課題】 前回の内容を復習

第７回 【授業テーマ】 企業分析入門④
【内容・方法　等】 第６回の続き
【事前・事後学習課題】 練習問題２

第８回 【授業テーマ】 株式投資の基礎知識
【内容・方法　等】 株価はどうして決まるのか。株式投資の魅力とリスクについて学習する。
【事前・事後学習課題】 練習問題３

第９回 【授業テーマ】 前半のまとめ
【内容・方法　等】 前半のまとめを行う。
【事前・事後学習課題】 練習問題４

第10回 【授業テーマ】 日本経済について
【内容・方法　等】 経済状況を把握するための代表的な経済指標について学習する。
【事前・事後学習課題】 前回の内容を復習

第11回 【授業テーマ】 日本の財政①
【内容・方法　等】 日本の財政状況について学習する。
【事前・事後学習課題】 前回の内容を復習

第12回 【授業テーマ】 日本の財政②
【内容・方法　等】 第10回の続き
【事前・事後学習課題】 練習問題５

第13回 【授業テーマ】 国際金融①
【内容・方法　等】 為替相場に関する基本的な知識について学習する。
【事前・事後学習課題】 前回の内容を復習

第14回 【授業テーマ】 国際金融②
【内容・方法　等】 最近の国際金融の動向について学習する。
【事前・事後学習課題】 練習問題６

第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 全体のまとめをおこなう。
【事前・事後学習課題】 練習問題７

評価方法（基準）
学期末テストによって評価を行う。

教材等
教科書…特に指定しないが、講義で随時紹介していく。
参考書…特に指定しないが、講義で随時紹介していく。

学生へのメッセージ
金融・経済に関する知識は、今後就職、起業の際に必要不可欠です。

関連科目
経済学Ⅱ

担当者の研究室等
11号館5階　法学部資料室（法学部非常勤講師室）

心理学Ⅰ
Psychology Ⅰ

河　俣　英　美（カワマタ　ヒデミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
心理学はその行動法則を明らかにする行動の科学として、たいへん広い領域に関係している。実際に見ることができる、観察可能な行動から、人間の“こころ”の動きを検討したり、目で見て確認できないものについても、観察・実験・調査といった様々な方法を用いて客観的なデータを集め、心の働きを研究し

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　160　　2014/08/21　14:45:20

ている。授業では、これまでに行われてきた多くの実証研究を学習することによって、心理学の専門的基礎知識を身につけることを目的とする。そして、共通の法則となった心理学的事実を知ることによって、自分自身や他者の心の働きや行動を予測、理解、考えることから、いろいろな場面に応用できるようになることを目標とする。

授業方法と留意点

板書講義形式。ただし、授業の理解を深めるために課題、レポート等の提出を求めることがある。

科目学習の効果（資格）

脳の成り立ちや働き、感覚や知覚のプロセスを知るとともに、自分らしさとはというテーマで自分自身について考えてみることで、より深く自分自身や他人を知り、日常生活に役立てることができるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 心理学とは(1)
【内容・方法　等】 ・オリエンテーション
【事前・事後学習課題】 心理学の領域について調べてみよう。

第２回 【授業テーマ】 心理学とは(2)
【内容・方法　等】 ・心理学の目的
・心理学の研究方法
【事前・事後学習課題】 心理学の目的について考えてみよう。

第３回 【授業テーマ】 知覚のプロセス(1)
【内容・方法　等】 ・ものの見え方
・感覚と知覚のメカニズム・錯覚
【事前・事後学習課題】 テキストのPart１の2「知覚のプロセス」のところを読んでおこう。

第４回 【授業テーマ】 知覚のプロセス(2)
【内容・方法　等】 ・知覚の体制化
【事前・事後学習課題】 テキストのPart１の2の「知覚の体制化」の大切なところを要約してみよう。

第５回 【授業テーマ】 知覚のプロセス(3)
【内容・方法　等】 ・知覚の恒常性
【事前・事後学習課題】 テキストのPart１の2の「知覚の恒常性」の大切なところを要約してみよう。

第６回 【授業テーマ】 パーソナリティ(1)
【内容・方法　等】 ・パーソナリティの定義。理論
【事前・事後学習課題】 テキストのPart2の6「パーソナリティ」のところを読んでおこう。

第７回 【授業テーマ】 パーソナリティ(2)
【内容・方法　等】 ・パーソナリティの分類・診断
【事前・事後学習課題】 本当の自分と見せかけの自分について考えてみよう。

第８回 【授業テーマ】 パーソナリティ(3)
【内容・方法　等】 ・パーソナリティの変化
【事前・事後学習課題】 テキストのPart2の6「パーソナリティ」の大切なところを要約してみよう。

第９回 【授業テーマ】 記憶(1)
【内容・方法　等】 ・右脳と左脳
【事前・事後学習課題】 テキストのPart1の1「心と脳」のところを読んでおこう。

第10回 【授業テーマ】 記憶(2)
【内容・方法　等】 ・記憶のシステム
【事前・事後学習課題】 テキストのPart1の1「心と脳」の「記憶と脳」の大切なところを要約してみよう。

第11回 【授業テーマ】 行動の獲得と変容
【内容・方法　等】 ・認知による学習
【事前・事後学習課題】 テキストのPart1の4「行動の獲得と変容」の大切なところを要約してみよう。

第12回 【授業テーマ】 動機づけと感情
【内容・方法　等】 ・動機づけの分類
・感情
【事前・事後学習課題】 テキストのPart1の3「動機づけと感情」の大切なところを要約してみよう。

第13回 【授業テーマ】 成長と変化
【内容・方法　等】 ・遺伝と環境
・生涯発達
【事前・事後学習課題】 テキストのPart1の5「成長と変化」の大切なところを要約してみよう。

第14回 【授業テーマ】 協調できる社会をめざす
【内容・方法　等】 ・犯罪特徴と背景
【事前・事後学習課題】 テキストのPart4の15「協調できる社会をめざす」を読んで大切なところを要約してみよう。

第15回 【授業テーマ】 心理学Ⅰのまとめ
【内容・方法　等】 ・心理学Ⅰの総括
【事前・事後学習課題】 これまで配布したプリントやノートをまとめて整理してみよう。

評価方法（基準）

授業内の課題試験を主とし、授業での提出物（講義の要約、感想文、課題レポート等）をふまえて、総合的に評価する。
【授業内の課題試験80%、授業での提出物20%】

教材等

教科書…大坊郁夫著「わたしそしてわれわれ－ミレニアムバージョン」（北大路書房）（2500円）
参考書…講義中に適宜、紹介する。

学生へのメッセージ

事前に特別な知識を必要としないが、「性格判断」などの心理学の一般的なイメージと、実際の授業の内容とは大きく異なると思われるため、心理学の守備範囲がたいへん広いことと、科学としての心理学の講義であることを理解し、積極的に授業に参加することを前提として受講してほしい。

関連科目

心理学Ⅱ;と併せて履修することが望ましい。

担当者の研究室等

11号館6階　経営学部

心理学II
Psychology II

河　俣　英　美（カワマタ　ヒデミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

心理学は、人間の行動を予測することを究極的な目標としている。私たちは、これまでに得られた心理学的知見を学ぶことで、自己と他者、そして自分の周囲を取り巻く社会を科学的な視点から見直すことができる。
到達目標：以下の項目の理解を目標とする。
１）集団の中での個々人の行動　２）対人的コミュニケーション
３）文化と心理

授業方法と留意点

講義方式で適宜資料を配布する。視聴覚教材なども積極的に取り入れる。

科目学習の効果（資格）

取得できる資格は特にない。しかしながら、自己理解・他者理解を深め、自分と社会との関わりを考えるために重要な科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法　等】 授業概要、目的、内容、授業の進め方、授業のルール、評価基準について説明します。
【事前・事後学習課題】 身の回りで起きているさまざまなことについて心理学的に考える習慣をつけましょう。

第２回 【授業テーマ】 心の健康(1)
【内容・方法　等】 心の健康と適応について解説します。
【事前・事後学習課題】 授業の前に、テキストのPart2の9「心の健康と適応」を読んで予習してください。

第３回 【授業テーマ】 心の健康(2)
【内容・方法　等】 こころのトラブルについて解説します。
【事前・事後学習課題】 日常生活にある心の健康を支えるものについて考えてください。

第４回 【授業テーマ】 心の健康(3)
【内容・方法　等】 適応と不適応、ストレスについて解説します。
【事前・事後学習課題】 自分が暮らしている環境への適応について考えてください。

第５回 【授業テーマ】 自己(1)
【内容・方法　等】 自己を守ることについて解説します。
【事前・事後学習課題】 テキストのPart2の7「自己意識」を読んで事前に予習してください。

第６回 【授業テーマ】 自己(2)
【内容・方法　等】 自己を意識することについて解説します。
【事前・事後学習課題】 自らの社会的経験も考慮して、自己をうまく表現する方法について考えてください。

第７回 【授業テーマ】 自己(3)
【内容・方法　等】 自己を表現するテクニックについて解説します。
【事前・事後学習課題】 自分に対する他者の評価について考えてください。

第８回 【授業テーマ】 心の健康と適応(1)
【内容・方法　等】 ストレスと健康について解説します。
【事前・事後学習課題】 テキストのPart2の９「心の健康と適応」の大切なところを要約して、レポートを作成し、提出してください。

第９回 【授業テーマ】 心の健康と適応(2)
【内容・方法　等】 心の健康、精神障害について解説します。
【事前・事後学習課題】 社会で問題となっている精神障害について調べてください。

第10回 【授業テーマ】 心の構造(1)
【内容・方法　等】 精神分析学について解説します。
【事前・事後学習課題】 テキストのPart2の8「こころの構造」を読んで、自分のこころについて考えてください。

第11回 【授業テーマ】 心の構造(2)
【内容・方法　等】 局所論と構造論について解説します。

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　161　2014/08/21　14:45:21

【事前・事後学習課題】 精神分析療法について調べて、レポートを書いてください。

第12回 【授業テーマ】 心の構造(3)
【内容・方法　等】 神経症と防衛、フロイトと異なる立場をとる分析家たちについて解説します。
【事前・事後学習課題】 フロイトと異なる立場をとる分析家たちについて調べてください。

第13回 【授業テーマ】 対人認知(1)
【内容・方法　等】 対人認知のプロセス、パーソナリティの認知について解説します。
【事前・事後学習課題】 他者の存在が与える自分に対する影響を考えてください。

第14回 【授業テーマ】 対人認知(2)
【内容・方法　等】 対人関係の認知について解説します。
【事前・事後学習課題】 テキストのPart3の10「対人認知」の大切なところを要約してください。

第15回 【授業テーマ】 心理学Ⅱのまとめ
【内容・方法　等】 心理学Ⅱについて総括します。
【事前・事後学習課題】 テキストおよびこれまで配布したプリントに基づき、すべての内容を復習してください。

評価方法（基準）
授業内の課題試験を主とし、授業での提出物（講義の要約、感想文、課題レポート等）、授業態度をふまえて、総合的に評価する。
【授業内の課題試験70%、授業での提出物20%、授業態度10%】

教材等
教科書…大坊郁夫編『わたしそしてわれわれ ミレニアムバージョン』
北大路書房（￥2,500＋税）
参考書…講義中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ
心理学は、みなさんが想像しているよりもはるかに幅広い領域を扱っており、人間の社会生活の全てを研究対象としていると言っても過言ではありません。講義を通じ、自分を取り巻く社会と結びつけて考えることによって理解を深めて下さい。

関連科目
心理学Ⅰを履修していることが望ましい。

担当者の研究室等
11号館6階 経営学部事務室

社会学I
Sociology I

谷　口　裕　久（タニグチ　ヤスヒサ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
人は文化のなかに生き、そこで社会を形成して生きている。人は単独では生きてはゆけず、常に周囲に依存し影響を受けながら生きてゆく存在である。この学期では、社会学における種々の重厚な論題から、比較的身近な課題を選び出し、わかりやすい授業の展開を志したい。
授業の具体的な内容は授業計画を参照いただきたいが、社会における比較的身近な周辺諸事象を各回のトピックとして取り上げ、解説を進めてゆく。キーワードは、「社会、文化、家族、組織、進歩、豊かさ」である。授業は１回から３回程度で完結するオムニバス形式で行う。これらの諸課題の学習(受講とその後の復習など)を通じて、受講者自身に諸項目の社会的な意味づけを理解させながら、社会全体への豊かな視点も養成できればと考えている。

授業方法と留意点
講義形式が中心。授業内容に即した映像を副次的に教材として利用することがある。積極的にノートをまとめることが肝要。関連科目に社会学IIを挙げておくが、講義内容はそれとは連動しないので、I,IIの通年に渡る受講は必須ではない。

科目学習の効果（資格）
文化や社会をめぐり、その枠組や考え方に関して検討をすすめ、より具体的な認識をもって社会のなかに具体的な像を描くことができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 授業の進め方／「コモンズの悲劇」
【内容・方法　等】 社会的存在として共有すべき事項について検討する。
【事前・事後学習課題】 コモンズをめぐる問題について復習し、理解すること。

第２回 【授業テーマ】 社会と文化
【内容・方法　等】 社会と文化の定義や意味について考える。
【事前・事後学習課題】 社会と文化の定義や意味について復習し、理解すること。

第３回 【授業テーマ】 「野生児」の事例から考える。
【内容・方法　等】 インドにおける野生児研究の事例から社会の具体的な位相ついて検討する。
【事前・事後学習課題】 社会的位相の差異について復習し、理解すること。

第４回 【授業テーマ】 親とは誰か? 家族とは何か?
【内容・方法　等】 親や家族の定義について具体的に検討する。
【事前・事後学習課題】 親や家族の定義について復習し、理解すること。

第５回 【授業テーマ】 家族の定義と分類(1)
【内容・方法　等】 家族論の展開について検討する。
【事前・事後学習課題】 家族論の現状について復習し、理解すること。

第６回 【授業テーマ】 家族の定義と分類(2)
【内容・方法　等】 ライフスタイルとしての家族のありさまについて検討する。
【事前・事後学習課題】 家族の多様性について復習し、理解すること。

第７回 【授業テーマ】 住まいと家族
【内容・方法　等】 家族の居住のありさまや、その場としての住まいについて考える。
【事前・事後学習課題】 家族の婚後における居住形態について復習し、理解すること。

第８回 【授業テーマ】 社会組織論(1)
【内容・方法　等】 社会組織の意味や定義について検討する。
【事前・事後学習課題】 社会組織のありさまについて復習し、理解すること。

第９回 【授業テーマ】 社会組織論(2)
【内容・方法　等】 社会組織が惹起する問題について社会学的に検討する。
【事前・事後学習課題】 社会組織の問題点について復習し、理解すること。

第10回 【授業テーマ】 社会の「進歩」とは何を意味するか?
【内容・方法　等】 「進歩」の概念について検討する。
【事前・事後学習課題】 歴史的に変遷してきた社会の進歩の位相について復習し、理解すること。

第11回 【授業テーマ】 人間の主体性とは何か?
【内容・方法　等】 組織における集団主義やその批判について検討する。
【事前・事後学習課題】 集団主義やその問題点について復習し、理解すること。

第12回 【授業テーマ】 「豊かさ」とは何か?(1)
【内容・方法　等】 社会の「豊かさ」とは何かについて検討する。
【事前・事後学習課題】 社会的な「豊かさ」について復習し理解すること

第13回 【授業テーマ】 「豊かさ」とは何か?(2)
【内容・方法　等】 発展途上国と日本の比較から、「豊かさ」の意味について検討する。
【事前・事後学習課題】 比較の視点から、日本の「豊かな」現状について復習し、理解すること

第14回 【授業テーマ】 科学技術の融合と社会
【内容・方法　等】 科学と技術は融合し、今日の社会を築いたが、その過程について検討する。
【事前・事後学習課題】 科学技術の融合と発展について復習し、理解すること。

第15回 【授業テーマ】 社会学的「力(パワー)」論の展開
【内容・方法　等】 「力(パワー)」の概念を用いて、国際情勢のなかのスタンドポイントについて考える。
【事前・事後学習課題】 日本のスタンドポイントがどこにあるのか、そのありさまについて復習し、理解すること。

評価方法（基準）
定期試験によるが、それ以外に関連映像を映写した際に意見や感想を求め、点数化して得点に加算することがある。

教材等
教科書…とくに指定しない。
参考書…必要な場合、授業時間中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ
授業中の私語と携帯電話の使用は厳禁である。毎年講義内容が変わるため昨年度以前のノートは通用しない。パワーポイントのスライドを映写しつつ授業をすすめるため、積極的にノートをまとめることが不可欠。試験の点数上の差は、筆記したノートの差によると考えてよい。

関連科目
社会学II

担当者の研究室等
11号館6階　経営学部

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd 162 2014/08/21 14:45:21

社会学II
Sociology II

谷　口　裕　久（タニグチ　ヤスヒサ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

この授業では、「他者、社会的弱者、人種、民族、国民国家、ナショナリズム、グローバリゼーション、国際交流、科学技術」などをテーマとし、人や社会の外延性へと議論を広げてゆく。具体的な内容は授業計画を参照いただきたいが、これらのテーマは今日的に身近な課題であり、平易な解説を加えながら各課題を解説してゆきたい。授業は2回程度までで各論が完結するオムニバス形式で行う。これらの諸課題の学習を通じて、私たちを取り巻く社会情勢のありさまについて分析的な視点を養いたい。

授業方法と留意点

講義形式が中心。授業内容に即した映像を副次的に教材として利用することがある。積極的にノートをまとめることが肝要。関連科目に社会学Iを挙げておくが、内容はそれとは連動しないので、IIの通年に渡る受講は必須ではない。

科目学習の効果（資格）

社会を構成する人間にとっての一般的な社会問題について、それらとの対峙方法を検討でき、より具体的な問題認識を持つことができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　他者や社会とは何か?
【内容・方法　等】　「他者」への認識を深める。
【事前・事後学習課題】　「他者認識」の基礎となる概念について復習し、理解すること。

第２回　【授業テーマ】　社会的弱者考(1)
【内容・方法　等】　社会的弱者の区分について検討する。
【事前・事後学習課題】　社会的弱者のありさまについて認識を深めること。

第３回　【授業テーマ】　社会的弱者考(2)
【内容・方法　等】　病者や元患者としての社会的弱者のありさまについて検討する。
【事前・事後学習課題】　病者や元患者としての社会的弱者のありさまについて認識を深めること。

第４回　【授業テーマ】　社会的弱者考(3)
【内容・方法　等】　障がい者の現状について検討する。
【事前・事後学習課題】　障がい者と健常者の相関について認識を深めること。

第５回　【授業テーマ】　人種論と民族論(1)
【内容・方法　等】　人種論の問題点と、その認識について検討する。
【事前・事後学習課題】　人種概念の無効性ついて、諸理由を挙げることができ、さらに受講生としての意見を呈示できる。

第６回　【授業テーマ】　人種論と民族論(2)
【内容・方法　等】　日本人にとって認識のしづらい「民族」の概念について検討する。
【事前・事後学習課題】　「民族」に対する認識を高め、その概念について追究できること。

第７回　【授業テーマ】　国民国家論とナショナリズム
【内容・方法　等】　国民国家の定義と、ナショナリズムの議論を検討する。
【事前・事後学習課題】　国民国家とナショナリズムの概念について、説明ができること。

第８回　【授業テーマ】　グローバリゼーションとは何か?
【内容・方法　等】　グローバリゼーションの世界的なありさまについて、概念とともに検討する。
【事前・事後学習課題】　今日的に、世界に展開するグローバリゼーションの定義と意味について、理解を示すことができる。

第９回　【授業テーマ】　社会学的リーダーシップ論
【内容・方法　等】　リーダーシップ論の社会学的定義について具体的に検討する。
【事前・事後学習課題】　リーダーシップの定義について、社会的説明を加えられるようにする。

第10回　【授業テーマ】　社会学的「開発(発展)途上国」論(1)
【内容・方法　等】　開発(発展)途上国における開発と環境のジレンマについて、具体的に検討する。
【事前・事後学習課題】　開発(発展)途上国の開発論をめぐる問題点について具体的に指摘できること。

第11回　【授業テーマ】　社会学的「開発(発展)途上国」論(2)
【内容・方法　等】　工業化や経済成長にともなう開発(発展)途上国のありさまについて検討する。
【事前・事後学習課題】　開発(発展)途上国の工業化や経済成長をめぐり、西洋的なモデルが有効であるのかどうか検討すること。

第12回　【授業テーマ】　国際交流と国際援助活動考(1)
【内容・方法　等】　国際交流の定義について社会学的に検討する。
【事前・事後学習課題】　国際交流の定義について具体的に呈示できること。

第13回　【授業テーマ】　国際交流と国際援助活動考(2)
【内容・方法　等】　恣意性の高い国際援助活動の事例について検討する。
【事前・事後学習課題】　国際援助活動の失敗例から、その学問的寄与について考察することができる。

第14回　【授業テーマ】　科学と技術の融合は何に寄与するか?(1)
【内容・方法　等】　科学や技術の技術的かつ理念的融合について、社会学的に検討する。
【事前・事後学習課題】　ヒーロイズムに現れた科学や技術の融合について一定の意見を呈示することができる。

第15回　【授業テーマ】　科学と技術の融合は何に寄与するか?(2)
【内容・方法　等】　過去の発明の事例から、その歴史的かつ社会的な動向について検討する。
【事前・事後学習課題】　発明の事例から、それが一定の歴史的かつ社会的な潮流のもとで成立したものである点について、意見を呈示できるようにする。

評価方法（基準）

定期試験によるが、それ以外に関連映像を映写した際に意見や感想を求め、点数化して得点に加算することがある。

教材等

教科書…とくに指定しない。
参考書…必要があれば、授業時間中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ

授業中の私語と携帯電話の使用は厳禁である。パワーポイントのスライドを使用して授業をすすめる。したがって、積極的に自分なりのノートをまとめることが不可欠である。毎年講義内容が変わるため、試験の点数上の差は、筆記したノートの差によると考えてよい。

関連科目

社会学I

担当者の研究室等

11号館6階　経営学部

社会調査の方法
Social Research Method

西　浦　真喜子（ニシウラ　マキコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

社会調査とは、社会のことがらを明らかにするために、主に現地調査によってデータを収集、分析し、その結果を公表する一連のプロセスのことをいいます。授業の前半では、調査の設計・企画、データ収集の方法といった社会調査の基礎知識について学んでもらいます。後半は、実際に皆さんに質問文を作成してもらい、模擬的な社会調査を実施したり、実際に行われている調査の事例をとり上げたりして、結果の分析や解釈の仕方についても学んでもらいます。

授業方法と留意点

講義形式での授業が主になりますが、授業中に課題に取り組んでもらい、提出を求めることがあります。

科目学習の効果（資格）

レポート作成や卒業論文で調査を行う場合に、どのようにすればよいかという手法を学べる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　社会調査ってどんなもの？
【内容・方法　等】　・オリエンテーション
・社会調査とは？
・いろいろな社会調査
【事前・事後学習課題】　参考書第1章を読んでおく

第２回　【授業テーマ】　社会調査の実施方法
【内容・方法　等】　・調査方法の分類
・調査倫理
・量的調査と質的調査
【事前・事後学習課題】　参考書第2章を読んでおく

第３回　【授業テーマ】　社会調査の進め方
【内容・方法　等】　・科学としての社会調査
・よい問いの設定
・データ収集と分析
【事前・事後学習課題】　参考書第3章を読んでおく

第４回　【授業テーマ】　社会調査の計画
【内容・方法　等】　・調査方法の分類
・調査の5ステップ
【事前・事後学習課題】　参考書第4章を読んでおく

第５回　【授業テーマ】　サンプリングの方法
【内容・方法　等】　・母集団と標本
・標本抽出の方法

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　163　2014/08/21　14:45:21

【事前・事後学習課題】 参考書第7章を読んでおく
第６回 【授業テーマ】 変数と測定尺度
【内容・方法　等】 ・変数、データとは？
・社会的態度の測定
・信頼性と妥当性
【事前・事後学習課題】 参考書第4章を読んでおく
配布プリントを読む
第７回 【授業テーマ】 調査票の設計
【内容・方法　等】 ・調査票の構成
・質問文のワーディング
【事前・事後学習課題】 参考書第6章を読んでおく
第８回 【授業テーマ】 調査票の設計
【内容・方法　等】 ・質問文の作成
・回答形式の設定
【事前・事後学習課題】 参考書第5、6章を読んでおく
第９回 【授業テーマ】 調査実施のプロセス
【内容・方法　等】 ・実査
・エディティングとコーディング
・データの入力
【事前・事後学習課題】 参考書第8、9章を読んでおく
第10回 【授業テーマ】 データの分析：単純集計
【内容・方法　等】 ・度数分布表とヒストグラム
・基礎統計量（代表値と散布度）
【事前・事後学習課題】 参考書第10章を読んでおく
課題プリント
第11回 【授業テーマ】 データの分析：2変数の関連、統計的仮説検定
【内容・方法　等】 ・クロス集計表
・相関係数
・カイ二乗検定
【事前・事後学習課題】 参考書第11・12・13章を読んでおく
課題プリント
第12回 【授業テーマ】 社会調査の実際①：身近な調査
【内容・方法　等】 ・新聞、雑誌、インターネットに出ている調査を例に挙げる
【事前・事後学習課題】 自分で関心のある調査例を探し、読んでくる
第13回 【授業テーマ】 社会調査の実際②：学術調査
【内容・方法　等】 学術的な調査の例を挙げる
【事前・事後学習課題】 学術的な調査の意義や感想をまとめる
第14回 【授業テーマ】 調査の実施
【内容・方法　等】 自分たちの関心あるテーマの模擬調査
調査内容の報告の仕方
【事前・事後学習課題】 データのまとめ
調査から言えることをまとめる
第15回 【授業テーマ】 総まとめ
【内容・方法　等】 これまでの授業のおさらい
学期末試験に向けてのポイント
【事前・事後学習課題】 学期末試験に向けての学習

評価方法（基準）
授業中に実施する課題(30％)と、期末試験の成績(70％)をもとに評価します。

教材等
教科書…授業中に配布するプリント
参考書…轟 亮・杉野 勇「入門・社会調査法―2ステップで基礎から学ぶ」 法律文化社（2415円）

学生へのメッセージ
社会調査、というとなんだかおおげさなように聞こえるかもしれません。しかし、視聴率調査、インターネット調査、街頭インタビューなどの結果をテレビや新聞などで見ることも多いでしょう。あるいは、卒業論文や就職先などで調査を行わなければならない人もいるでしょう。社会調査は非常に身近なものです。そのときに役に立つよう、授業を通してデータを読み取る力や調査を企画する力を養えるようにしたいと思います。

関連科目
なし

担当者の研究室等
11号館5階　法学部資料室（法学部非常勤講師室）

情報処理I
Information Processing I

星　山　幸　子（ホシヤマ　サチコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ABC	前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
Windowsと実用的なアプリケーションソフトを用いた演習を通じて、情報の収集と選択、情報の処理技術、情報の蓄積と利用を学習し、課題やレポート、卒業論文を効果的に作成するために必要な情報活用能力を習得する。これらの作業によって、コンピュータの機能を知るとともに、コンピュータの持つ特性と有用性について理解し、情報処理能力の養成をはかる。

授業方法と留意点
テキストと配布資料を用いて演習形式で行う。毎回、課題が出題される。その課題を提出しない場合は欠席とみなされるので注意すること。授業時間内に課題を完成できない場合、次週までに提出することが求められる。出席率が8割に満たない場合は単位を認めない。

科目学習の効果（資格）
コンピュータ利用に関する技能検定に挑戦するためにも役立つ講座である。資格取得の足掛かりとして活用してほしい。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法　等】 授業計画概要と受講注意事項、
学内ネットワーク説明、コンピュータの仕組み、Windows基本操作方法
【事前・事後学習課題】 ――――
第２回 【授業テーマ】 情報の収集と選択
【内容・方法　等】 インターネット環境と情報の検索方法
【事前・事後学習課題】 情報検索課題
第３回 【授業テーマ】 情報の処理技術（１）
【内容・方法　等】 文字情報処理の基礎1
文書作成技術　書式設定1
【事前・事後学習課題】 文書作成練習課題1
第４回 【授業テーマ】 情報の処理技術（２）
【内容・方法　等】 文字情報処理の基礎2
文書作成技術　書式設定2
【事前・事後学習課題】 文書作成練習課題2
第５回 【授業テーマ】 情報の処理技術（３）
【内容・方法　等】 文字情報処理の基礎3
文書作成技術　表その他
【事前・事後学習課題】 文書作成練習課題3
第６回 【授業テーマ】 情報の処理技術（４）
【内容・方法　等】 文字情報処理の応用1
文書作成技術：レポート、論文の作成1
【事前・事後学習課題】 文書作成練習課題4
第７回 【授業テーマ】 情報の処理技術（５）
【内容・方法　等】 文字情報処理の応用2
文書作成技術：レポート、論文の作成2
【事前・事後学習課題】 文書作成練習課題5
第８回 【授業テーマ】 前半まとめと確認
【内容・方法　等】 テスト
【事前・事後学習課題】 文書作成技法復習と技能修得度の確認
第９回 【授業テーマ】 情報の蓄積と利用（１）
【内容・方法　等】 表計算基礎1
表計算ソフトウェアの概念、数値の処理
【事前・事後学習課題】 表計算練習課題1
第10回 【授業テーマ】 情報の蓄積と利用（２）
【内容・方法　等】 表計算基礎2
関数利用技術
【事前・事後学習課題】 表計算練習課題2
第11回 【授業テーマ】 情報の蓄積と利用（３）
【内容・方法　等】 表計算基礎3
グラフ処理
【事前・事後学習課題】 表計算練習課題3
第12回 【授業テーマ】 情報の蓄積と利用（４）
【内容・方法　等】 表計算応用1
データベースとピボットテーブル活用技術
【事前・事後学習課題】 表計算練習課題4
第13回 【授業テーマ】 情報の蓄積と利用（５）
【内容・方法　等】 表計算応用2
分析ツールと回帰分析基本
【事前・事後学習課題】 表計算練習課題5
第14回 【授業テーマ】 情報の蓄積と連携
【内容・方法　等】 アプリケーションソフトの連携
【事前・事後学習課題】 複合練習課題
第15回 【授業テーマ】 後半まとめと確認
【内容・方法　等】 テスト
【事前・事後学習課題】 表計算技法復習と技能修得度の確認

評価方法（基準）
授業参加状況、毎回の課題（練習問題）、実技を含む試験を総合して評価する。

教材等
教科書…「Windows7・Office2010による情報処理入門」
安積 淳　他著　実教出版　価格：￥2,100
参考書…必要に応じて参考資料を配付する。

学生へのメッセージ
使いこなすには多くの練習時間が必要です。情報処理演習室の空き時間を使って復習することをお薦めします。

関連科目
ステップアップとして「情報処理II」の受講を薦める

担当者の研究室等
７号館２階(非常勤講師室)

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　164　2014/08/21　14:45:21

情報処理I
Information Processing I

星　山　幸　子（ホシヤマ　サチコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	DEIJ	前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
Windowsと実用的なアプリケーションソフトを用いた演習を通じて、情報の収集と選択、情報の処理技術、情報の蓄積と利用を学習し、課題やレポート、卒業論文を効果的に作成するために必要な情報活用能力を習得する。これらの作業によって、コンピュータの機能を知るとともに、コンピュータの持つ特性と有用性について理解し、情報処理能力の養成をはかる。

授業方法と留意点
テキストと配布資料を用いて演習形式で行う。毎回、課題が出題される。その課題を提出しない場合は欠席とみなされるので注意すること。授業時間内に課題を完成できない場合、次週までに提出することが求められる。出席率が8割に満たない場合は単位を認めない。

科目学習の効果（資格）
コンピュータ利用に関する技能検定に挑戦するためにも役立つ講座である。資格取得の足掛かりとして活用してほしい。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】**　イントロダクション
【内容・方法　等】　授業計画概要と受講注意事項、学内ネットワーク説明、コンピュータの仕組み、Windows基本操作方法
【事前・事後学習課題】　――――
第２回　**【授業テーマ】**　情報の収集と選択
【内容・方法　等】　インターネット環境と情報の検索方法
【事前・事後学習課題】　情報検索課題
第３回　**【授業テーマ】**　情報の処理技術（１）
【内容・方法　等】　文字情報処理の基礎1
文書作成技術　書式設定1
【事前・事後学習課題】　文書作成練習課題1
第４回　**【授業テーマ】**　情報の処理技術（２）
【内容・方法　等】　文字情報処理の基礎2
文書作成技術　書式設定2
【事前・事後学習課題】　文書作成練習課題2
第５回　**【授業テーマ】**　情報の処理技術（３）
【内容・方法　等】　文字情報処理の基礎3
文書作成技術　表その他
【事前・事後学習課題】　文書作成練習課題3
第６回　**【授業テーマ】**　情報の処理技術（４）
【内容・方法　等】　文字情報処理の応用1
文書作成技術：レポート、論文の作成1
【事前・事後学習課題】　文書作成練習課題4
第７回　**【授業テーマ】**　情報の処理技術（５）
【内容・方法　等】　文字情報処理の応用2
文書作成技術：レポート、論文の作成2
【事前・事後学習課題】　文書作成練習課題5
第８回　**【授業テーマ】**　前半まとめと確認
【内容・方法　等】　テスト
【事前・事後学習課題】　文書作成技法復習と技能修得度の確認
第９回　**【授業テーマ】**　情報の蓄積と利用（１）
【内容・方法　等】　表計算基礎1
表計算ソフトウェアの概念、数値の処理
【事前・事後学習課題】　表計算練習課題1
第10回　**【授業テーマ】**　情報の蓄積と利用（２）
【内容・方法　等】　表計算基礎2
関数利用技術
【事前・事後学習課題】　表計算練習課題2
第11回　**【授業テーマ】**　情報の蓄積と利用（３）
【内容・方法　等】　表計算基礎3
グラフ処理
【事前・事後学習課題】　表計算練習課題3
第12回　**【授業テーマ】**　情報の蓄積と利用（４）
【内容・方法　等】　表計算応用1
データベースとピボットテーブル活用技術
【事前・事後学習課題】　表計算練習課題4
第13回　**【授業テーマ】**　情報の蓄積と利用（５）
【内容・方法　等】　表計算応用2
分析ツールと回帰分析基本
【事前・事後学習課題】　表計算練習課題5
第14回　**【授業テーマ】**　情報の蓄積と連携
【内容・方法　等】　アプリケーションソフトの連携
【事前・事後学習課題】　複合練習課題
第15回　**【授業テーマ】**　後半まとめと確認
【内容・方法　等】　テスト
【事前・事後学習課題】　表計算技法復習と技能修得度の確認

評価方法（基準）
授業参加状況、毎回の課題（練習問題）、実技を含む試験を総合して評価する。

教材等
教科書…「Windows7・Office2010による情報処理入門」
安積 淳　他著　実教出版　価格：￥2,100
参考書…必要に応じて参考資料を配付する。

学生へのメッセージ
使いこなすには多くの練習時間が必要です。情報処理演習室の空き時間を使って復習することをお薦めします。

関連科目
ステップアップとして「情報処理II」の受講を薦める

担当者の研究室等
７号館２階(非常勤講師室)

情報処理I
Information Processing I

星　山　幸　子（ホシヤマ　サチコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	GH	前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
Windowsと実用的なアプリケーションソフトを用いた演習を通じて、情報の収集と選択、情報の処理技術、情報の蓄積と利用を学習し、課題やレポート、卒業論文を効果的に作成するために必要な情報活用能力を習得する。これらの作業によって、コンピュータの機能を知るとともに、コンピュータの持つ特性と有用性について理解し、情報処理能力の養成をはかる。

授業方法と留意点
テキストと配布資料を用いて演習形式で行う。毎回、課題が出題される。その課題を提出しない場合は欠席とみなされるので注意すること。授業時間内に課題を完成できない場合、次週までに提出することが求められる。出席率が8割に満たない場合は単位を認めない。

科目学習の効果（資格）
コンピュータ利用に関する技能検定に挑戦するためにも役立つ講座である。資格取得の足掛かりとして活用してほしい。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】**　イントロダクション
【内容・方法　等】　授業計画概要と受講注意事項、学内ネットワーク説明、コンピュータの仕組み、Windows基本操作方法
【事前・事後学習課題】　――――
第２回　**【授業テーマ】**　情報の収集と選択
【内容・方法　等】　インターネット環境と情報の検索方法
【事前・事後学習課題】　情報検索課題
第３回　**【授業テーマ】**　情報の処理技術（１）
【内容・方法　等】　文字情報処理の基礎1
文書作成技術　書式設定1
【事前・事後学習課題】　文書作成練習課題1
第４回　**【授業テーマ】**　情報の処理技術（２）
【内容・方法　等】　文字情報処理の基礎2
文書作成技術　書式設定2
【事前・事後学習課題】　文書作成練習課題2
第５回　**【授業テーマ】**　情報の処理技術（３）
【内容・方法　等】　文字情報処理の基礎3
文書作成技術　表その他
【事前・事後学習課題】　文書作成練習課題3
第６回　**【授業テーマ】**　情報の処理技術（４）
【内容・方法　等】　文字情報処理の応用1
文書作成技術：レポート、論文の作成1
【事前・事後学習課題】　文書作成練習課題4
第７回　**【授業テーマ】**　情報の処理技術（５）
【内容・方法　等】　文字情報処理の応用2
文書作成技術：レポート、論文の作成2
【事前・事後学習課題】　文書作成練習課題5
第８回　**【授業テーマ】**　前半まとめと確認
【内容・方法　等】　テスト
【事前・事後学習課題】　文書作成技法復習と技能修得度の確認
第９回　**【授業テーマ】**　情報の蓄積と利用（１）
【内容・方法　等】　表計算基礎1
表計算ソフトウェアの概念、数値の処理
【事前・事後学習課題】　表計算練習課題1
第10回　**【授業テーマ】**　情報の蓄積と利用（２）
【内容・方法　等】　表計算基礎2
関数利用技術
【事前・事後学習課題】　表計算練習課題2
第11回　**【授業テーマ】**　情報の蓄積と利用（３）
【内容・方法　等】　表計算基礎3
グラフ処理
【事前・事後学習課題】　表計算練習課題3
第12回　**【授業テーマ】**　情報の蓄積と利用（４）

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　165　2014/08/21　14:45:21

【内容・方法　等】 表計算応用1
データベースとビボットテーブル活用技術
【事前・事後学習課題】 表計算練習課題4
第13回 【授業テーマ】 情報の蓄積と利用（5）
【内容・方法　等】 表計算応用2
分析ツールと回帰分析基本
【事前・事後学習課題】 表計算練習課題5
第14回 【授業テーマ】 情報の蓄積と連携
【内容・方法　等】 アプリケーションソフトの連携
【事前・事後学習課題】 複合練習課題
第15回 【授業テーマ】 後半まとめと確認
【内容・方法　等】 テスト
【事前・事後学習課題】 表計算技法復習と技能修得度の確認

評価方法（基準）
授業参加状況、毎回の課題（練習問題）、実技を含む試験を総合して評価する。

教材等
教科書…「Windows7・Office2010による情報処理入門」
安積 淳　他著　実教出版　価格：￥2,100
参考書…必要に応じて参考資料を配付する。

学生へのメッセージ
使いこなすには多くの練習時間が必要です。情報処理演習室の空き時間を使って復習することをお薦めします。

関連科目
ステップアップとして「情報処理II」の受講を薦める

担当者の研究室等
7号館2階(非常勤講師室)

情報処理II
Information Processing II

星　山　幸　子（ホシヤマ　サチコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ABC	後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
情報処理Iに引き続き、パーソナルコンピュータを操作して、情報処理の基礎を学習する。プレゼンテーションソフトの基本操作を通して、スライドの作成、プレゼンテーションの構成と実行を行う。後半では、アイコンやアバター作成等に必要とされる画像編集等の各種アプリケーションソフトの学習を通じ、情報発信に必要とされる画像処理の基本知識を習得する。これらの作業によって、コンピュータの機能についてさらに知識を深め、その特性と有用性についてより深く理解する。

授業方法と留意点
テキストと配布資料を用いて演習形式で行う。毎回、課題が出題される。その課題を提出しない場合は欠席とみなされるので注意すること。授業時間内に課題を完成できない場合、次週までに提出することが求められる。出席率が8割に満たない場合は単位を認めない。

科目学習の効果（資格）
コンピュータ利用に関する技能検定に挑戦するためにも役立つ講座である。資格取得の足掛かりとして活用してほしい。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第1回 【授業テーマ】 情報の表現（1）
【内容・方法　等】 紙メディアから電子メディアへの移行
プレゼンテーション技術1
スライド基本操作
【事前・事後学習課題】 内容の把握と整理
プレゼンテーション練習課題1
第2回 【授業テーマ】 情報の表現（2）
【内容・方法　等】 プレゼンテーション技術2
図の挿入と編集、クリップアートとスマートアート
アニメーションの設定
【事前・事後学習課題】 内容の把握と整理
プレゼンテーション練習課題2
第3回 【授業テーマ】 情報の表現（3）
【内容・方法　等】 プレゼンテーション技術3
発表の基本
【事前・事後学習課題】 内容の把握と整理
プレゼンテーション練習課題3
第4回 【授業テーマ】 情報の発信基本（1）
【内容・方法　等】 画像編集の基本知識1
ペイント系画像編集アプリケーションソフト基本学習1
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認
画像編集練習課題1
第5回 【授業テーマ】 情報の発信基本（2）
【内容・方法　等】 画像編集の基本知識2
ペイント系画像編集アプリケーションソフト基本学習2
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認
画像編集練習課題2
第6回 【授業テーマ】 情報の発信基本（3）
【内容・方法　等】 画像編集の基本知識3
ペイント系画像編集アプリケーションソフト基本学習3
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認
画像編集練習課題3
第7回 【授業テーマ】 作品制作（1）
【内容・方法　等】 テーマに沿ったプレゼンテーション資料の作成
【事前・事後学習課題】 内容の把握と整理、評価
第8回 【授業テーマ】 作品制作（2）
【内容・方法　等】 テーマに沿ったプレゼンテーション資料の作成
【事前・事後学習課題】 内容の把握と整理、評価
第9回 【授業テーマ】 作品評価
【内容・方法　等】 提出作品の発表と評価
【事前・事後学習課題】 内容の把握と整理、評価
第10回 【授業テーマ】 情報の発信応用（1）
【内容・方法　等】 能動的プレゼンテーションソフトの学習1
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認
preziプレゼンテーション応用課題1
第11回 【授業テーマ】 情報の発信応用（2）
【内容・方法　等】 能動的プレゼンテーションソフトの学習1
【事前・事後学習課題】 preziプレゼンテーション応用課題2
配布資料の確認
第12回 【授業テーマ】 情報の発信応用（3）
【内容・方法　等】 能動的プレゼンテーションソフトの学習2
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認
preziプレゼンテーション応用課題3
第13回 【授業テーマ】 情報発信の技術（1）
【内容・方法　等】 HP・ブログ・メールで使うhtml基本1
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認
html基本練習課題1
第14回 【授業テーマ】 情報発信の技術（2）
【内容・方法　等】 HP・ブログ・メールで使うhtml基本2
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認
html基本練習課題2
第15回 【授業テーマ】 情報発信の技術（3）
【内容・方法　等】 HP・ブログ・メールで使うhtml基本3
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認
html基本練習課題3

評価方法（基準）
授業参加状況、毎回の課題（練習問題）、実技を含む試験を総合して評価する。

教材等
教科書…必要に応じて資料を配付する。一部、下記テキストを使用。
「Windows7・Office2010による情報処理入門」
安積 淳　他著　実教出版　価格：￥2,000+税
参考書…必要に応じて参考資料を配付

学生へのメッセージ
使いこなすには多くの練習時間が必要です。情報処理演習室の空き時間を使って復習することをお薦めします。

関連科目
「情報処理I」を修得していることが望ましい

担当者の研究室等
7号館2階(非常勤講師室)

情報処理II
Information Processing II

星　山　幸　子（ホシヤマ　サチコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	DEIJ	後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
情報処理Iに引き続き、パーソナルコンピュータを操作して、情報処理の基礎を学習する。プレゼンテーションソフトの基本操作を通して、スライドの作成、プレゼンテーションの構成と実行を行う。後半では、アイコンやアバター作成等に必要とされる画像編集等の各種アプリケーションソフトの学習を通じ、情報発信に必要とされる画像処理の基本知識を習得する。これらの作業によって、コンピュータの機能についてさらに知識を深め、その特性と有用性についてより深く理解する。

授業方法と留意点
テキストと配布資料を用いて演習形式で行う。毎回、課題が出題される。その課題を提出しない場合は欠席とみなされるので注意すること。授業時間内に課題を完成できない場合、次週までに提出することが求められる。出席率が8割に満たない場合は単位を認めない。

科目学習の効果（資格）
コンピュータ利用に関する技能検定に挑戦するためにも役立つ

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　166　2014/08/21　14:45:22

講座である。資格取得の足掛かりとして活用してほしい。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** 情報の表現（１）
【内容・方法　等】 紙メディアから電子メディアへの移行
プレゼンテーション技術１
スライド基本操作
【事前・事後学習課題】 内容の把握と整理
プレゼンテーション練習課題1

第２回 **【授業テーマ】** 情報の表現（２）
【内容・方法　等】 プレゼンテーション技術２
図の挿入と編集、クリップアートとスマートアート
アニメーションの設定
【事前・事後学習課題】 内容の把握と整理
プレゼンテーション練習課題2

第３回 **【授業テーマ】** 情報の表現（３）
【内容・方法　等】 プレゼンテーション技術３
発表の基本
【事前・事後学習課題】 内容の把握と整理
プレゼンテーション練習課題3

第４回 **【授業テーマ】** 情報の発信基本（１）
【内容・方法　等】 画像編集の基本知識1
ペイント系画像編集アプリケーションソフト基本学習１
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認
画像編集練習課題1

第５回 **【授業テーマ】** 情報の発信基本（２）
【内容・方法　等】 画像編集の基本知識2
ペイント系画像編集アプリケーションソフト基本学習2
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認
画像編集練習課題2

第６回 **【授業テーマ】** 情報の発信基本（３）
【内容・方法　等】 画像編集の基本知識3
ペイント系画像編集アプリケーションソフト基本学習3
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認
画像編集練習課題3

第７回 **【授業テーマ】** 作品制作（１）
【内容・方法　等】 テーマに沿ったプレゼンテーション資料の作成
【事前・事後学習課題】 内容の把握と整理、評価

第８回 **【授業テーマ】** 作品制作（２）
【内容・方法　等】 テーマに沿ったプレゼンテーション資料の作成
【事前・事後学習課題】 内容の把握と整理、評価

第９回 **【授業テーマ】** 作品評価
【内容・方法　等】 提出作品の発表と評価
【事前・事後学習課題】 内容の把握と整理、評価

第10回 **【授業テーマ】** 情報の発信応用（１）
【内容・方法　等】 能動的プレゼンテーションソフトの学習1
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認
preziプレゼンテーション応用課題1

第11回 **【授業テーマ】** 情報の発信応用（２）
【内容・方法　等】 能動的プレゼンテーションソフトの学習1
【事前・事後学習課題】 preziプレゼンテーション応用課題2
配布資料の確認

第12回 **【授業テーマ】** 情報の発信応用（３）
【内容・方法　等】 能動的プレゼンテーションソフトの学習2
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認
preziプレゼンテーション応用課題3

第13回 **【授業テーマ】** 情報発信の技術（１）
【内容・方法　等】 HP・ブログ・メールで使うhtml基本1
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認
html基本練習課題1

第14回 **【授業テーマ】** 情報発信の技術（２）
【内容・方法　等】 HP・ブログ・メールで使うhtml基本2
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認
html基本練習課題2

第15回 **【授業テーマ】** 情報発信の技術（３）
【内容・方法　等】 HP・ブログ・メールで使うhtml基本3
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認
html基本練習課題3

評価方法（基準）
授業参加状況、毎回の課題（練習問題）、実技を含む試験を総合して評価する。

教材等
教科書…必要に応じて資料を配付する。一部、下記テキストを使用。
「Windows7・Office2010による情報処理入門」
安積 淳　他著　実教出版　価格：￥2,000+税
参考書…必要に応じて参考資料を配付

学生へのメッセージ
使いこなすには多くの練習時間が必要です。情報処理演習室の空き時間を使って復習することをお薦めします。

関連科目
「情報処理I」を修得していることが望ましい

担当者の研究室等
７号館２階(非常勤講師室)

情報処理II
Information Processing II

星　山　幸　子（ホシヤマ　サチコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	GH	後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
情報処理Iに引き続き、パーソナルコンピュータを操作して、情報処理の基礎を学習する。プレゼンテーションソフトの基本操作を通して、スライドの作成、プレゼンテーションの構成と実行を行う。後半では、アイコンやアバター作成等に必要とされる画像編集等の各種アプリケーションソフトの学習を通じ、情報発信に必要とされる画像処理の基本知識を習得する。これらの作業によって、コンピュータの機能についてさらに知識を深め、その特性と有用性についてより深く理解する。

授業方法と留意点
テキストと配布資料を用いて演習形式で行う。毎回、課題が出題される。その課題を提出しない場合は欠席とみなされるので注意すること。授業時間内に課題を完成できない場合、次週までに提出することが求められる。出席率が8割に満たない場合は単位を認めない。

科目学習の効果（資格）
コンピュータ利用に関する技能検定に挑戦するためにも役立つ講座である。資格取得の足掛かりとして活用してほしい。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** 情報の表現（１）
【内容・方法　等】 紙メディアから電子メディアへの移行
プレゼンテーション技術１
スライド基本操作
【事前・事後学習課題】 内容の把握と整理
プレゼンテーション練習課題1

第２回 **【授業テーマ】** 情報の表現（２）
【内容・方法　等】 プレゼンテーション技術２
図の挿入と編集、クリップアートとスマートアート
アニメーションの設定
【事前・事後学習課題】 内容の把握と整理
プレゼンテーション練習課題2

第３回 **【授業テーマ】** 情報の表現（３）
【内容・方法　等】 プレゼンテーション技術３
発表の基本
【事前・事後学習課題】 内容の把握と整理
プレゼンテーション練習課題3

第４回 **【授業テーマ】** 情報の発信基本（１）
【内容・方法　等】 画像編集の基本知識1
ペイント系画像編集アプリケーションソフト基本学習１
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認
画像編集練習課題1

第５回 **【授業テーマ】** 情報の発信基本（２）
【内容・方法　等】 画像編集の基本知識2
ペイント系画像編集アプリケーションソフト基本学習2
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認
画像編集練習課題2

第６回 **【授業テーマ】** 情報の発信基本（３）
【内容・方法　等】 画像編集の基本知識3
ペイント系画像編集アプリケーションソフト基本学習3
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認
画像編集練習課題3

第７回 **【授業テーマ】** 作品制作（１）
【内容・方法　等】 テーマに沿ったプレゼンテーション資料の作成
【事前・事後学習課題】 内容の把握と整理、評価

第８回 **【授業テーマ】** 作品制作（２）
【内容・方法　等】 テーマに沿ったプレゼンテーション資料の作成
【事前・事後学習課題】 内容の把握と整理、評価

第９回 **【授業テーマ】** 作品評価
【内容・方法　等】 提出作品の発表と評価
【事前・事後学習課題】 内容の把握と整理、評価

第10回 **【授業テーマ】** 情報の発信応用（１）
【内容・方法　等】 能動的プレゼンテーションソフトの学習1
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認
preziプレゼンテーション応用課題1

第11回 **【授業テーマ】** 情報の発信応用（２）
【内容・方法　等】 能動的プレゼンテーションソフトの学習1
【事前・事後学習課題】 preziプレゼンテーション応用課題2
配布資料の確認

第12回 **【授業テーマ】** 情報の発信応用（３）
【内容・方法　等】 能動的プレゼンテーションソフトの学習2

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　167　2014/08/21　14:45:22

【事前・事後学習課題】 配布資料の確認
prezi プレゼンテーション応用課題3
第13回 【授業テーマ】 情報発信の技術（1）
【内容・方法 等】 HP・ブログ・メールで使うhtml基本1
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認
html基本練習課題1
第14回 【授業テーマ】 情報発信の技術（2）
【内容・方法 等】 HP・ブログ・メールで使うhtml基本2
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認
html基本練習課題2
第15回 【授業テーマ】 情報発信の技術（3）
【内容・方法 等】 HP・ブログ・メールで使うhtml基本3
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認
html基本練習課題3

評価方法（基準）
授業参加状況、毎回の課題（練習問題）、実技を含む試験を総合して評価する。

教材等
教科書…必要に応じて資料を配付する。一部、下記テキストを使用。
「Windows7・Office2010による情報処理入門」
安積 淳 他著 実教出版 価格：￥2,000+税
参考書…必要に応じて参考資料を配付

学生へのメッセージ
使いこなすには多くの練習時間が必要です。情報処理演習室の空き時間を使って復習することをお薦めします。

関連科目
「情報処理I」を修得していることが望ましい

担当者の研究室等
7号館2階(非常勤講師室)

応用情報処理
Advanced Information Processing

藤 木 健 史（フジキ タケフミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
プレゼンテーションソフトは、研究成果や調査結果の報告、商品企画の発表など、様々な用途で用いられており、コンピュータ社会にとって重要なツールである。本講義では、プレゼンテーションソフトを応用的に活用するスキルを学ぶ。

授業方法と留意点
毎回コンピュータによる実習を行い，関連する演習課題に取り組む．習熟度合いに応じて，講義内容は適宜変更する場合がある．

科目学習の効果（資格）
ビジネスシーンを想定したスライド作成スキル以外に、簡易的な画像処理技術、ポスター制作スキルなども習得できる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第1回 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法 等】 授業の進め方、評価方法要
【事前・事後学習課題】 特になし
第2回 【授業テーマ】 PowerPoint基本操作1
【内容・方法 等】 基本操作の復習
【事前・事後学習課題】 該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第3回 【授業テーマ】 PowerPoint基本操作2
【内容・方法 等】 基本操作の復習
【事前・事後学習課題】 該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第4回 【授業テーマ】 PowerPoint スライド作成1
【内容・方法 等】 PowerPointのスライド作成を学ぶ
【事前・事後学習課題】 該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第5回 【授業テーマ】 PowerPoint スライド作成2
【内容・方法 等】 PowerPointのスライド作成を学ぶ
【事前・事後学習課題】 該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第6回 【授業テーマ】 PowerPoint スライド作成3
【内容・方法 等】 PowerPointのスライド作成を学ぶ
【事前・事後学習課題】 該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第7回 【授業テーマ】 製作発表1
【内容・方法 等】 各自作成した課題を発表する
【事前・事後学習課題】 該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第8回 【授業テーマ】 PowerPoint 画像処理1
【内容・方法 等】 PowerPointを活用した画像処理を学ぶ
【事前・事後学習課題】 該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第9回 【授業テーマ】 PowerPoint 画像処理2
【内容・方法 等】 PowerPointを活用した画像処理を学ぶ
【事前・事後学習課題】 該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第10回 【授業テーマ】 PowerPoint 画像処理3
【内容・方法 等】 PowerPointを活用した画像処理を学ぶ
【事前・事後学習課題】 該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第11回 【授業テーマ】 PowerPoint 応用1
【内容・方法 等】 PowerPoint, Word, Excel などを連携した応用を学ぶ
【事前・事後学習課題】 該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第12回 【授業テーマ】 PowerPoint 応用2
【内容・方法 等】 PowerPoint, Word, Excel などを連携した応用を学ぶ
【事前・事後学習課題】 該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第13回 【授業テーマ】 PowerPoint 応用3
【内容・方法 等】 PowerPoint, Word, Excel などを連携した応用を学ぶ
【事前・事後学習課題】 該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第14回 【授業テーマ】 製作発表2
【内容・方法 等】 各自作成した課題を発表する
【事前・事後学習課題】 該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 まとめ、およびフォローアップを行う
【事前・事後学習課題】 特に困難な箇所の確認と復習

評価方法（基準）
出席点、課題点をもとに評価する。この授業は演習中心であるため、出席および各週の課題提出が単位取得の必要条件となります。

教材等
教科書…電子ファイルを資料として配布します。
参考書…指定しない．

学生へのメッセージ
毎回の授業が前回までの授業内容の理解を前提として進められるので，可能な限り欠席や遅刻をしないこと．欠席するとそれ以降の授業の理解が困難となる．もし万一欠席したときには各自の責任で授業課題を自習しておくこと．

関連科目
情報処理I，情報処理II

担当者の研究室等
11号館6階 経営学部事務室

生物学I
Biology I

竹 内 健 治（タケウチ ケンジ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
私達人類は常に多くの生物と関わり合っています。生物学Iでは生物の種類と特徴、生命の歴史について学んでください。新聞やテレビニュースで報じられる生物関連の話題が理解できるように、基礎的な知識を身につけてください。

授業方法と留意点
教科書やプロジェクター、プリントなどを用いて、モデル図や写真を中心に解説します。小テストや課題により理解度を確認します。

科目学習の効果（資格）
日常生活に関わりの深い生物学的学術用語に対応できる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第1回 【授業テーマ】 「生物学I」の概要
【内容・方法 等】 授業の方針・学習目標と、生物学Iの概略について。
【事前・事後学習課題】 なし
第2回 【授業テーマ】 生物とは何か？
【内容・方法 等】 生物学の基礎として、生物の定義と特徴。
【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
第3回 【授業テーマ】 原核細胞と真核細胞
【内容・方法 等】 生命の基本単位である細胞の構造と特徴。
【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
第4回 【授業テーマ】 細胞内小器官
【内容・方法 等】 生命の基本単位である細胞の構造と特徴。
【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解し

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd 168 2014/08/21 14:45:22

ておくこと。
第５回　【授業テーマ】　生物の誕生と多様化、多細胞生物の出現
【内容・方法　等】　単細胞生物と多細胞生物の特徴。
【事前・事後学習課題】　授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
第６回　【授業テーマ】　生命体を構成する物質
【内容・方法　等】　全ての生物に共通する基本的な生命物質の種類。
【事前・事後学習課題】　授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
第７回　【授業テーマ】　アミノ酸とタンパク質
【内容・方法　等】　アミノ酸とタンパク質の構造と役割。
【事前・事後学習課題】　授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
第８回　【授業テーマ】　糖質と脂質
【内容・方法　等】　糖質（炭水化物）と脂質の構造と役割。
【事前・事後学習課題】　授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
第９回　【授業テーマ】　核酸
【内容・方法　等】　核酸の構造と役割。
【事前・事後学習課題】　授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
第10回　【授業テーマ】　DNAの構造とセントラルドグマ
【内容・方法　等】　遺伝子を構成する分子とその働き。
【事前・事後学習課題】　授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
第11回　【授業テーマ】　DNAの複製と遺伝情報の発現
【内容・方法　等】　遺伝子を構成する分子とその働き。
【事前・事後学習課題】　授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
第12回　【授業テーマ】　生体とエネルギー　酵素の役割
【内容・方法　等】　代謝に関わる分子と、代謝を行うシステム。
【事前・事後学習課題】　授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
第13回　【授業テーマ】　エネルギー通貨ATP
【内容・方法　等】　代謝に関わる分子と、代謝を行うシステム。
【事前・事後学習課題】　授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
第14回　【授業テーマ】　栄養（糖質、脂質）からATPを作る
【内容・方法　等】　代謝に関わる分子と、代謝を行うシステム。
【事前・事後学習課題】　授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
第15回　【授業テーマ】　光合成はすべての生命体のエネルギー源
【内容・方法　等】　食物連鎖のはじまりは、光合成を行う植物である。
【事前・事後学習課題】　授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。

評価方法（基準）
小テスト、課題、学期末試験の結果を総合的に評価する。

教材等
教科書…南雲　保／編　「やさしい基礎生物学」　羊土社　2,900円＋税
参考書…適宜紹介する。

学生へのメッセージ
命の不思議を学んでください。

関連科目
生物学II

担当者の研究室等
枚方学舎１号館5階

生物学II
Biology II

竹　内　健　治（タケウチ　ケンジ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
生物学は身近な学問です。生物学IIでは、細胞分裂や分化、さらにがん化や遺伝子疾患などについて解説します。新聞やテレビニュースで報じられる生物関連の話題が理解できるように、基礎的な知識を身につけてください。学科の学習・教育目標との対応：[C]

授業方法と留意点
教科書やプロジェクター、プリントを用いて、モデル図や写真を中心に解説します。

科目学習の効果（資格）
日常生活に関わりの深い生物学的学術用語に対応できる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　「生物学Ⅱ」の概要
【内容・方法　等】　授業の方針・学習目標と、生物学Ⅱの概略について。
【事前・事後学習課題】　なし
第２回　【授業テーマ】　生命を支える細胞分裂
【内容・方法　等】　一個の受精卵からヒトの生命は出発する。
【事前・事後学習課題】　授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
第３回　【授業テーマ】　細胞の分化
【内容・方法　等】　多細胞生物を構成する細胞は独立した役割を持つ。
【事前・事後学習課題】　授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
第４回　【授業テーマ】　細胞のがん化
【内容・方法　等】　がん発生の仕組みとその原因。
【事前・事後学習課題】　授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
第５回　【授業テーマ】　生殖の仕組み
【内容・方法　等】　生殖の仕組みを細胞レベルで解説します。
【事前・事後学習課題】　授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
第６回　【授業テーマ】　アポトーシスと個体の老化
【内容・方法　等】　細胞数を減少させる仕組み。
【事前・事後学習課題】　授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
第７回　【授業テーマ】　多細胞生物の自己維持機構
【内容・方法　等】　恒常性維持の仕組み。
【事前・事後学習課題】　授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
第８回　【授業テーマ】　生体防御機構
【内容・方法　等】　免疫の仕組みと働きの基礎
【事前・事後学習課題】　授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
第９回　【授業テーマ】　遺伝の仕組み
【内容・方法　等】　遺伝の仕組みと遺伝子疾患。
【事前・事後学習課題】　授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
第10回　【授業テーマ】　ヒトの遺伝子疾患
【内容・方法　等】　遺伝の仕組みと遺伝子疾患。
【事前・事後学習課題】　授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
第11回　【授業テーマ】　生物と環境が作る生態系
【内容・方法　等】　ヒトと環境とのかかわりの大切さ。
【事前・事後学習課題】　授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
第12回　【授業テーマ】　環境問題
【内容・方法　等】　ヒトと環境とのかかわりの大切さ。
【事前・事後学習課題】　授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
第13回　【授業テーマ】　生物の誕生と進化
【内容・方法　等】　種の概念と生物の分類体系。
【事前・事後学習課題】　授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
第14回　【授業テーマ】　生物の多様性
【内容・方法　等】　種の概念と生物の分類体系。
【事前・事後学習課題】　授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
第15回　【授業テーマ】　生命科学技術と社会
【内容・方法　等】　生命科学技術の概要と基礎的知識。
【事前・事後学習課題】　授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。

評価方法（基準）
学期末試験（60%）、小テストと課題（25%）、授業態度（15%）で評価する。

教材等
教科書…南雲　保／編　「やさしい基礎生物学」　羊土社　2,900円＋税
参考書…適宜紹介する。

学生へのメッセージ
生物学IIを理解するためには、生物学Iで学んだ知識が必要です。

関連科目
生物学I

担当者の研究室等
枚方学舎１号館5階

インターンシップI
Internship I

富　岡　直　美（トミオカ　ナオミ）
石　井　三　恵（イシイ　ミエ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　169　2014/08/21　14:45:22

授業概要・目的・到達目標
インターンシップの目的は、実際の仕事現場の一員として業務を担当させていただくことで社会人の方々がどのような考え方で働かれているのか、特に①仕事の社会における役割　②仕事の成果とは　③仕事の責任と充実感　を肌で感じてもらうことです。
インターンシップⅠでは、インターンシップへ意欲的に自信を持って参加できるようになることを目標とします。
学科の学習と教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点
グループワークやプレゼンテーションなどを行う参加型の授業です。
実際のインターンシップにつながる講義ですので、能動的に、真摯に参加することを求めます。

科目学習の効果（資格）
インターンシップへ行く目的を理解し、準備ができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】** インターンシップとは
【内容・方法　等】 授業オリエンテーション
インターンシップとアルバイトの違い
インターンシップの狙い
【事前・事後学習課題】 インターンシップとはどのようなものかを調べておいて下さい。
第２回　**【授業テーマ】** 学びと社会のつながり
【内容・方法　等】 大学での学びは、社会とどうつながるのかを考える。
【事前・事後学習課題】 自分の専攻分野と社会のかかわりを考えてください。
第３回　**【授業テーマ】** 実習参加企業について
【内容・方法　等】 産業の分類を知る。
業種、内容、実施時期等、実習参加企業について知る。
【事前・事後学習課題】 インターン受入企業リストに目を通して下さい。
第４回　**【授業テーマ】** インターンシップの目的
【内容・方法　等】 社会人と学生の違いを知る。
志望動機とインターンシップでの目標を設定する。
【事前・事後学習課題】 授業内で提示した課題を実施してください。
第５回　**【授業テーマ】** 効果的なプレゼンテーションとは
【内容・方法　等】 効果的なプレゼンテーションの仕方、注意点などを知る。
【事前・事後学習課題】 第4回目の課題について、プレゼンテーションの準備をして下さい。
第６回　**【授業テーマ】** 課題のプレゼンテーション
【内容・方法　等】 第4回目の課題をプレゼンテーションする。
【事前・事後学習課題】 第4回目の課題について、プレゼンテーションの準備をして下さい。
第７回　**【授業テーマ】** 社会人のマナー①
【内容・方法　等】 社会人としての心構えを知る。
【事前・事後学習課題】 マナーが何故大切なのかを考えて下さい。
第８回　**【授業テーマ】** 社会人のマナー②
【内容・方法　等】 電話のかけ方、指示の受け方、ホウレンソウについて
【事前・事後学習課題】 授業以降は丁寧な電話の受け答えを心がけてください。
第９回　**【授業テーマ】** 社会人のマナー③
【内容・方法　等】 御礼状の書き方、メールの書き方について
【事前・事後学習課題】 マナーの大切さを再度考えて下さい。
第10回　**【授業テーマ】** 事前訪問について
【内容・方法　等】 事前訪問のマナーと準備について
【事前・事後学習課題】 インターン先の企業のことをもう一度調べて下さい。
第11回　**【授業テーマ】** コミュニケーションの基本
【内容・方法　等】 聴く力、相手を尊重したコミュニケーションの方法について
【事前・事後学習課題】 授業後は相手を尊重したコミュニケーションを意識してください
第12回　**【授業テーマ】** グループワーク①
【内容・方法　等】 掲示された課題について、チームで情報を集約、検証、プレゼンテーションを行う。
【事前・事後学習課題】 グループ内の自分の役割を考えて下さい。
第13回　**【授業テーマ】** グループワーク②
【内容・方法　等】 掲示された課題について、チームで情報を集約、検証、プレゼンテーションを行う。
【事前・事後学習課題】 グループの最大の力を出すために、自分に何ができるかを考え、プレゼンテーションの準備をして下さい。
第14回　**【授業テーマ】** PDCAサイクル・トラブル対応
【内容・方法　等】 PDCAサイクルについて
トラブル対応について
【事前・事後学習課題】 PDCAとは何か、を調べて下さい。
第15回　**【授業テーマ】** 振り返りとまとめ
【内容・方法　等】 授業を振り返る。
インターンシップの目的を再考する。
【事前・事後学習課題】 インターンシップで何を身につけたいかをもう一度考えて下さい。

評価方法（基準）
発表（３０％）、提出物（３０％）、授業態度（４０％）による総合評価とします。

教材等
教科書…必要に応じてレジュメを配布
参考書…必要に応じて推薦図書を提示

学生へのメッセージ
インターシップの流れ　※４月下旬にリスト公開→５月上旬に希望事業所の絞り込み→５月下旬に就職部から受け入れ可否の回答→６月末頃に事前訪問→８月上旬から実習（予定）

関連科目
インターンシップⅡ（企業での就業体験実習）を希望する学生は、必ずこの科目を同時履修すること

担当者の研究室等
７号館３階　キャリア教育推進室

インターンシップII
Internship II

富　岡　直　美（トミオカ　ナオミ）
石　井　三　恵（イシイ　ミエ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	イ	前期非終講	選択	2

授業概要・目的・到達目標
インターンシップの目的は、実際の仕事現場の一員として業務を担当させていただくことで社会人の方々がどのような考え方で働かれているのか、特に社会における仕事の役割、仕事の成果、仕事に対する責任と充実感を肌で感じてもらうことです。
インターンシップⅡでは、インターンシップ実習の機会を最大限に活用し、自分や社会をより理解し、将来の選択肢や可能性を広げることを目標とします。

授業方法と留意点
事前指導→インターンシップ実習→事後指導
実習中は、大学の代表、そして実習先の一員としての意識を持って参加してください。

科目学習の効果（資格）
就職活動や将来を考えるうえでの貴重な出会いや気づきを得ることができます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】** 直前教育①
６月２１日（土）　３限目（予定）
【内容・方法　等】 インターンシップの心構え
今後のスケジュールの確認
【事前・事後学習課題】 社会人を意識したスーツ着用
第２回　**【授業テーマ】** 直前教育②
６月２１日（土）　４限目（予定）
【内容・方法　等】 報告書の書き方、注意点/マナー・身だしなみの最終確認
【事前・事後学習課題】 マナーについて考えて下さい。
第３回　**【授業テーマ】** 直前教育③
６月２８日（土）　３限目（予定）
【内容・方法　等】 プレゼンテーション①
【事前・事後学習課題】 他者に何かを伝える際に気を付けることを考えて下さい。
第４回　**【授業テーマ】** 直前教育④
６月２８日（土）　４限目（予定）
【内容・方法　等】 プレゼンテーション②
【事前・事後学習課題】 インターンシップで何を学びたいのかを考えて下さい。
第５回　**【授業テーマ】** インターンシップ実習
【内容・方法　等】 夏季休暇中に二週間以上
【事前・事後学習課題】 実習中は毎日日誌をつけること。
第６回　**【授業テーマ】** インターンシップ実習
【内容・方法　等】 夏季休暇中に二週間以上
【事前・事後学習課題】 事前に立てた目標を意識して参加してください。
第７回　**【授業テーマ】** 体験報告書の作成・提出・指導
【内容・方法　等】 報告書提出/ゼミ教員・インターンシップ担当教員における報告書のチェックと指導
（担当教員への提出と教務課へ電子データを提出）
【事前・事後学習課題】 事前指導の通りに報告書を作成する。
提出前に必ず推敲を行うこと。
第８回　**【授業テーマ】** 事後指導①
９月２７日（土）　３限目（予定）
【内容・方法　等】 体験報告会に向けたプレゼン指導及び個人

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　170　2014/08/21　14:45:22

発表
【事前・事後学習課題】 個人発表用のレジュメを準備し、プレゼンテーションができるようにして下さい。
第９回 【授業テーマ】 事後指導②
９月２７日（土） ４限目（予定）
【内容・方法 等】 体験報告会に向けたプレゼン指導及び個人発表
【事前・事後学習課題】 個人発表用のレジュメを準備し、プレゼンテーションができるようにして下さい。
第10回 【授業テーマ】 事後指導③
１０月１８日（土） ３限目（予定）
【内容・方法 等】 体験報告会に向けたプレゼン指導及び個人発表
【事前・事後学習課題】 代表者はスライドを作成し、プレゼンテーションの準備をして下さい。
第11回 【授業テーマ】 事後指導④
１０月１８日（土） ４限目（予定）
【内容・方法 等】 体験報告会に向けたプレゼン指導及び個人発表
【事前・事後学習課題】 代表者はスライドを作成し、プレゼンテーションの準備をして下さい。
第12回 【授業テーマ】 事後指導⑤
１０月２５日（土） ３限目（予定）
【内容・方法 等】 インターンシップを振り返る
（実習記録簿の提出）
【事前・事後学習課題】 実習記録簿を見直して来てください。
第13回 【授業テーマ】 事後指導⑥
１０月２５日（土） ４限目（予定）
【内容・方法 等】 インターンシップを振り返る
【事前・事後学習課題】 実習記録簿を見直して来てください。
第14回 【授業テーマ】 事後指導⑦
１１月８日（土） 1限目（予定）
【内容・方法 等】 全体報告会
学生代表者の発表
【事前・事後学習課題】 学生代表者はパワーポイントで10分で報告ができるように準備してください。
第15回 【授業テーマ】 事後指導⑧
１１月８日（土） 2限目（予定）
【内容・方法 等】 全体報告会
受け入れ企業管理者の講演とまとめ（予定）
【事前・事後学習課題】 全員スーツ着用

評価方法（基準）
企業による報告書（20%）、体験報告書など提出物（40%）、発表を含む授業態度（40%）による総合評価とします。

教材等
教科書…必要に応じてレジュメ配布
参考書…必要に応じて推薦図書を提示

学生へのメッセージ
インターンシップⅠを必ず履修してください。
インターンシップⅠの履修には、3月のガイダンスに出席し履修申し込み書を提出する必要があります。
履修希望者が多い場合は、選考することがあります。

関連科目
インターンシップⅠ

担当者の研究室等
７号館３階 キャリア教育推進室

健康論
Theory of Health

藤 林 真 美（フジバヤシ マミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
現代社会は利便さと引き換えに人々の身体活動量が著しく減少し、その結果、子どもから高齢者まで年齢階層を問わず生活習慣病に罹患する人口が激増している。この予防・改善には、「運動」「食事」「休養」のバランスが取れた生活を送ることが望ましい。
本講義では、健康について幅広い知識を習得することを目的とする。

授業方法と留意点
レジュメを配布する。

科目学習の効果（資格）
健康な大学生活を送り、さらに生涯にわたって健康を維持するための正しい知識や習慣を得る事ができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 はじめに～健康とは～
【内容・方法 等】 健康の定義。厚生労働省の「健康日本２１」の概要を解説する。
【事前・事後学習課題】 配布プリント
第２回 【授業テーマ】 「運動」「栄養」「休養」
【内容・方法 等】 「運動」「栄養」「休養」について概説し、それらと生活習慣病との関連性について説明する。
【事前・事後学習課題】 配布プリント
第３回 【授業テーマ】 五大栄養素
【内容・方法 等】 五大栄養素とその役割について解説する。
【事前・事後学習課題】 配布プリント
第４回 【授業テーマ】 身体を動かす仕組み～筋・骨格系～
【内容・方法 等】 筋・骨格系の解剖学的、形態学的特性と神経系の役割について解説する。
【事前・事後学習課題】 配布プリント
第５回 【授業テーマ】 身体を動かすしくみ～呼吸器系～
【内容・方法 等】 呼吸器の構造と機能について解説する。運動時の呼吸応答、酸素摂取量の変動、さらに運動トレーニングによる最大酸素摂取量の増大について解説する。
【事前・事後学習課題】 配布プリント
第６回 【授業テーマ】 身体を動かすしくみ～循環器系～
【内容・方法 等】 循環器の構造と機能、血液成分について解説する。運動時の心拍数、心拍出量の変動、さらに運動トレーニングによる循環器系の形態・機能の向上について解説する。
【事前・事後学習課題】 配布プリント
第７回 【授業テーマ】 生活習慣病予防としての運動の役割
【内容・方法 等】 エネルギー供給系について説明し、運動トレーニングによるエネルギー代謝の変化を解説する。
【事前・事後学習課題】 配布プリント
第８回 【授業テーマ】 発育・発達
【内容・方法 等】 幼少期から青年期にいたる身体の形態発育・機能発達と、それらに運動トレーニングが及ぼす効果について解説する。
【事前・事後学習課題】 配布プリント
第９回 【授業テーマ】 老化
【内容・方法 等】 身体の形態・機能の老化について解説する。また中・高齢者における運動トレーニングの効果について解説する。
【事前・事後学習課題】 配布プリント
第10回 【授業テーマ】 様々な環境下における生理学的しくみ
【内容・方法 等】 暑熱下・寒冷下における体温調節のしくみを解説する。さらに暑熱環境下における水分補給について解説する。
【事前・事後学習課題】 配布プリント
第11回 【授業テーマ】 運動障害と予防、応急処置
【内容・方法 等】 スポーツ障害、過換気症候群、RICE処置、心肺蘇生法について解説する。
【事前・事後学習課題】 配布プリント
第12回 【授業テーマ】 健康づくりのための運動処方
【内容・方法 等】 有酸素・無酸素運動、レジスタンストレーニングについて、健康づくりの観点から解説する。また年代・性差による違いについても説明する。
【事前・事後学習課題】 配布プリント
第13回 【授業テーマ】 ストレス・疲労への対策
【内容・方法 等】 ストレス要因の軽減・ストレスへの早期対応としてのスポーツの関わりを解説する。
また疲労が起こるしくみとその対策について解説する。
【事前・事後学習課題】 配布プリント
第14回 【授業テーマ】 アルコール、タバコ、薬物、性感染症
【内容・方法 等】 アルコールやタバコ、薬物が身体へ及ぼす影響について解説する。またHIVなど性感染症についても概説する。
【事前・事後学習課題】 配布プリント
第15回 【授業テーマ】 総括
【内容・方法 等】 皆さんのQOL（Quality of life: 生活の質）向上の観点から、「運動」「食事」「休養」の有用性について総括する。
【事前・事後学習課題】 配布プリント

評価方法（基準）
主に定期試験により評価する。ただしレポート提出を求める場合がある。その場合は定期試験の成績に加味して評価する。

教材等
教科書…特になし
参考書…特になし

学生へのメッセージ
皆さんが将来知的職業人として社会で活躍するためには、まず「健康」が基盤です。自分の身体・健康に興味を持って、より充実した大学生活を過ごしてください。

関連科目
スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ、生涯スポーツ実習，健康科学

担当者の研究室等
総合体育館1階 藤林研究室

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd 171 2014/08/21 14:45:23

スポーツ指導者入門
Sports Theory for Instructo

内　部　昭　彦（ウチベ　アキヒコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
スポーツ指導者としての基礎的指導法を学びスポーツを一般的に広く定着させることのノウハウを身に付ける。
スポーツ指導の経験が浅い学生を対象とする。

授業方法と留意点
講義形式で授業を進める。なお、資料配布やＶＴＲなどを用い、教育効果を上げる。

科目学習の効果（資格）
スポーツ指導者の基礎的知識と指導法を学ぶ（公認スポーツ指導者資格取得対応科目）

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】** ガイダンス
【内容・方法　等】 ガイダンス
【事前・事後学習課題】 ――――
第２回　**【授業テーマ】** 指導者の役割（１）
【内容・方法　等】 スポーツ指導者とは
【事前・事後学習課題】 課題テキスト　P14
第３回　**【授業テーマ】** 指導者の役割（２）
【内容・方法　等】 指導者の心構え・視点
【事前・事後学習課題】 課題テキスト　P15～P16
第４回　**【授業テーマ】** 指導者の役割（３）
【内容・方法　等】 競技者育成プログラムの理念（一貫指導システム）
【事前・事後学習課題】 課題テキスト　P17～P25
第５回　**【授業テーマ】** 指導者の役割（４）
【内容・方法　等】 競技者育成プログラムの理念（指導者の役割、ネットワーク）（小テスト・レポート提出）
【事前・事後学習課題】 課題テキスト　P26～P29
第６回　**【授業テーマ】** 文化としてのスポーツ（１）
【内容・方法　等】 スポーツの概念と歴史（スポーツの歴史的発展と現代スポーツの考え方）
【事前・事後学習課題】 課題テキスト　P32～P33
第７回　**【授業テーマ】** 文化としてのスポーツ（２）
【内容・方法　等】 スポーツの概念と歴史（スポーツを取り巻く環境）
【事前・事後学習課題】 課題テキスト　P34～P36
第８回　**【授業テーマ】** 文化としてのスポーツ（３）
【内容・方法　等】 文化としてのスポーツ（小テスト・レポート提出）
【事前・事後学習課題】 課題テキスト　P40～P45
第９回　**【授業テーマ】** 指導計画と安全管理（１）
【内容・方法　等】 指導計画の立て方（集団の指導計画、個人の指導計画）
【事前・事後学習課題】 課題テキスト　P106～P110
第10回　**【授業テーマ】** 指導計画と安全管理（２）
【内容・方法　等】 指導計画の立て方（期別計画）
【事前・事後学習課題】 課題テキスト　P111～P112
第11回　**【授業テーマ】** 指導計画と安全管理（３）
【内容・方法　等】 スポーツ活動と安全管理（スポーツにおける安全管理の知識）
【事前・事後学習課題】 課題テキスト　P113～P116
第12回　**【授業テーマ】** 指導計画と安全管理（４）
【内容・方法　等】 スポーツ活動と安全管理（スポーツ活動における安全確保のための具体的行動）（小テスト・レポート提出）
【事前・事後学習課題】 課題テキスト　P117～P118
第13回　**【授業テーマ】** 運動と健康（１）
【内容・方法　等】 運動と健康・スポーツプログラマーの役割
【事前・事後学習課題】 課題テキスト　P68～P69
第14回　**【授業テーマ】** 運動と健康（２）
【内容・方法　等】 加齢臭現象と健康
【事前・事後学習課題】 課題テキスト　P68～P70
第15回　**【授業テーマ】** 運動と健康（３）
【内容・方法　等】 急性障害と慢性障害
【事前・事後学習課題】 課題テキスト　P72～P75

評価方法（基準）
筆記試験及びレポートなどで総合的に評価する。

教材等
教科書…公認スポーツ指導者養成テキスト（共通科目Ⅰ）
４２００円(税込み)
公認スポーツプログラマー専門科目テキスト
５０００円(税込み)
参考書…公認スポーツ指導者養成
公認スポーツプログラマー専門科目

学生へのメッセージ
スポーツ指導者ニーズは年々高くなっている。

関連科目
スポーツ文化論

担当者の研究室等
総合体育館1階　内部研究室

スポーツトレーニングの基礎
Sports Training Theory

那　須　大　毅（ナス　ダイキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
スポーツトレーニングの原理・原則、およびコーチングにおける心理的面を理解し、スポーツトレーニング指導を実践する上の基礎を習得する。つまり、スポーツ指導におけるトレーニングメニュー作成や指導法について学ぶ。

授業方法と留意点
必要に応じてプリントを配布するが、パワーポイントなどを活用し視覚的にもわかり易く行う。毎回の授業スケジュールは、前回テーマの復習、本日のテーマ、質疑応答および小テストである。

科目学習の効果（資格）
公認スポーツ指導者資格取得対応科目

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】** 体力とは①
【内容・方法　等】 運動と健康、防衛体力と行動体力
【事前・事後学習課題】 授業ノートのまとめと、小テストの確認。
第２回　**【授業テーマ】** 体力とは②
【内容・方法　等】 トレーナビリティー
【事前・事後学習課題】 授業ノートのまとめと、小テストの確認。
第３回　**【授業テーマ】** トレーニングの原理・原則①
【内容・方法　等】 スポーツトレーニングの３原理・５原則、特異性
【事前・事後学習課題】 授業ノートのまとめと、小テストの確認。
第４回　**【授業テーマ】** トレーニングの原理・原則②
【内容・方法　等】 筋機能と呼吸循環機能
【事前・事後学習課題】 授業ノートのまとめと、小テストの確認。
第５回　**【授業テーマ】** トレーニング処方
【内容・方法　等】 トレーニング計画
【事前・事後学習課題】 授業ノートのまとめと、小テストの確認。
第６回　**【授業テーマ】** トレーニングの種類①
【内容・方法　等】 スポーツトレーニングの５つの内容
【事前・事後学習課題】 授業ノートのまとめと、小テストの確認。
第７回　**【授業テーマ】** トレーニングの種類②
【内容・方法　等】 体力トレーニングと技術トレーニング
【事前・事後学習課題】 授業ノートのまとめと、小テストの確認。
第８回　**【授業テーマ】** スポーツと心①
【内容・方法　等】 メンタルヘルス
【事前・事後学習課題】 授業ノートのまとめと、小テストの確認。
第９回　**【授業テーマ】** スポーツと心②
【内容・方法　等】 スポーツとストレス
【事前・事後学習課題】 授業ノートのまとめと、小テストの確認。
第10回　**【授業テーマ】** スポーツにおける動機づけ①
【内容・方法　等】 スポーツにおける動機づけとは
【事前・事後学習課題】 授業ノートのまとめと、小テストの確認。
第11回　**【授業テーマ】** スポーツにおける動機づけ②
【内容・方法　等】 スポーツにおける目標設定
【事前・事後学習課題】 授業ノートのまとめと、小テストの確認。
第12回　**【授業テーマ】** コーチングの心理①
【内容・方法　等】 スポーツ技能の習得
【事前・事後学習課題】 授業ノートのまとめと、小テストの確認。
第13回　**【授業テーマ】** コーチングの心理②
【内容・方法　等】 メンタルトレーニング
【事前・事後学習課題】 授業ノートのまとめと、小テストの確認。
第14回　**【授業テーマ】** コーチングの心理③
【内容・方法　等】 グループダイナミクス、チームビルディング

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　172　2014/08/21　14:45:23

【事前・事後学習課題】 授業ノートのまとめと、小テストの確認。

第15回 【授業テーマ】 コーチングの心理④
【内容・方法　等】 コーチング評価
【事前・事後学習課題】 授業ノートのまとめと、小テストの確認。

評価方法（基準）
受講態度点（40％）、レポート点（30％）、小テスト（30％）の総合評価。

教材等
教科書…「公認スポーツ指導者養成テキスト（共通科目Ⅰ）」日本体育協会（4200円）、「公認スポーツ指導者養成テキスト（共通科目Ⅱ）」日本体育協会（4200円）
参考書…教養科目

学生へのメッセージ
スポーツ科学の基礎を理解し、実践に活かそう。

関連科目
発育発達論

担当者の研究室等
11号館5階　法学部資料室（法学部非常勤講師室）

発育発達論
Growth and Development Theory

岡　本　香代子（オカモト　カヨコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
スポーツ指導では、年齢や性別など対象に合わせた指導を行うことが、効果やケガの面でとても大切になる。特に、ジュニア期においては、運動の果たす役割は大きく身体の発達に働きかけるだけでなく、精神的な発達を促すものである。この授業では、発育発達期の身体的・心理的特徴を理解するとともに、高齢者や女性の特徴についても学び、スポーツ指導を実践する上での基礎的知識を得る。

授業方法と留意点
テキストやプリントを用いた講義を行う。授業スケジュールは、前回テーマの復習、本日のテーマ、質疑応答および小テストである。

科目学習の効果（資格）
公認スポーツ指導者資格取得対応科目

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 発育発達期の身体的特徴、心理的特徴①
【内容・方法　等】 からだの発育・発達、運動の健康への意義
【事前・事後学習課題】 授業ノートのまとめと、小テストの確認。

第２回 【授業テーマ】 発育発達期の身体的特徴、心理的特徴②
【内容・方法　等】 筋力・持久力の発達
【事前・事後学習課題】 授業ノートのまとめと、小テストの確認。

第３回 【授業テーマ】 発育発達期の身体的特徴、心理的特徴③
【内容・方法　等】 疾走能力・跳躍能力・投能力の発達
【事前・事後学習課題】 授業ノートのまとめと、小テストの確認。

第４回 【授業テーマ】 発育発達期に多いケガや病気①
【内容・方法　等】 スポーツ外傷とスポーツ障害
【事前・事後学習課題】 授業ノートのまとめと、小テストの確認。

第５回 【授業テーマ】 発育発達期に多いケガや病気②
【内容・方法　等】 肥満、骨折、ストレス
【事前・事後学習課題】 授業ノートのまとめと、小テストの確認。

第６回 【授業テーマ】 発育発達期のプログラム①
【内容・方法　等】 走る・跳ぶ・投げる
【事前・事後学習課題】 授業ノートのまとめと、小テストの確認。

第７回 【授業テーマ】 発育発達期のプログラム②
【内容・方法　等】 有酸素運動・無酸素運動
【事前・事後学習課題】 授業ノートのまとめと、小テストの確認。

第８回 【授業テーマ】 中高年者とスポーツ①
【内容・方法　等】 社会的要因・環境と運動不足病
【事前・事後学習課題】 授業ノートのまとめと、小テストの確認。

第９回 【授業テーマ】 中高年者とスポーツ②
【内容・方法　等】 中高年者における身体活動・運動の重要性
【事前・事後学習課題】 授業ノートのまとめと、小テストの確認。

第10回 【授業テーマ】 中高年者とスポーツ③
【内容・方法　等】 中高年者のトレーニング効果、運動能力
【事前・事後学習課題】 授業ノートのまとめと、小テストの確認。

第11回 【授業テーマ】 女性とスポーツ①
【内容・方法　等】 女性の身体特性
【事前・事後学習課題】 授業ノートのまとめと、小テストの確認。

第12回 【授業テーマ】 女性とスポーツ②
【内容・方法　等】 女性アスリートの身体特性とパフォーマンス
【事前・事後学習課題】 授業ノートのまとめと、小テストの確認。

第13回 【授業テーマ】 女性とスポーツ③
【内容・方法　等】 女性の特徴に応じたスポーツプログラム
【事前・事後学習課題】 授業ノートのまとめと、小テストの確認。

第14回 【授業テーマ】 障害者とスポーツ①
【内容・方法　等】 障害者スポーツの意義・課題
【事前・事後学習課題】 授業ノートのまとめと、小テストの確認。

第15回 【授業テーマ】 障害者とスポーツ②
【内容・方法　等】 障害別から見た障害者の体力
【事前・事後学習課題】 授業ノートのまとめと、小テストの確認。

評価方法（基準）
受講態度（40％）、レポート点（30％）、小テスト（30％）の総合評価。

教材等
教科書…「公認スポーツ指導者養成テキスト（共通科目Ⅰ）」日本体育協会（4200円）、「公認スポーツ指導者養成テキスト（共通科目Ⅱ）」日本体育協会（4200円）
参考書…特になし。

学生へのメッセージ
ジュニア期のスポーツ指導は、その子の持っている才能を伸ばすこともあれば、競技生活を短くしてしまうこともあります。経験に頼りすぎず理論を基盤に指導に活かしましょう。

関連科目
スポーツプログラミング

担当者の研究室等
11号館5階　法学部資料室（法学部非常勤講師室）

スポーツ医学の基礎
Fundamental Knowledge of Sports Medicine

岡　崎　和　伸（オカザキ　カズノブ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
スポーツに伴う健康への関わりと身体の変化と疾病への影響について、さらに、スポーツ外傷・障害の概要とその対応について述べ、予防医学としてのスポーツ医学の意義についても言及する。

授業方法と留意点
講義形式で授業を進める。なお、資料配布やＶＴＲなどを用い、教育効果を上げる。

科目学習の効果（資格）
スポーツ医学の基礎的知識とスポーツ傷害（内科的・外科的）についての理解と対処法について学ぶ。(公認スポーツ指導者資格取得対応科目)

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 スポーツと健康（1）
【内容・方法　等】 スポーツ活動と健康の関わり
【事前・事後学習課題】 テキストP.32-39

第２回 【授業テーマ】 スポーツと健康（2）
【内容・方法　等】 身体活動（スポーツ活動や運動）の必要性
【事前・事後学習課題】 テキストP.68-71

第３回 【授業テーマ】 スポーツ傷害（1）
【内容・方法　等】 スポーツ外傷・障害
【事前・事後学習課題】 テキストP.72-83

第４回 【授業テーマ】 スポーツ傷害（2）
【内容・方法　等】 スポーツ外傷・障害の要因
【事前・事後学習課題】 テキストP.72-83

第５回 【授業テーマ】 救急処置（1）
【内容・方法　等】 手当ての基本（観察）
【事前・事後学習課題】 テキストP.84-90

第６回 【授業テーマ】 救急処置（2）
【内容・方法　等】 救命手当て（心肺蘇生法）
【事前・事後学習課題】 テキストP.84-90

第７回 【授業テーマ】 救急処置（3）
【内容・方法　等】 ＡＥＤを用いた心肺蘇生法
【事前・事後学習課題】 テキストP.84-90

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　173　2014/08/21　14:45:23

第８回　【授業テーマ】　救急処置（4）
【内容・方法　等】　応急手当（きずと止血、包帯法、骨折固定）
【事前・事後学習課題】　テキストP.91-95
第９回　【授業テーマ】　救急処置（5）
【内容・方法　等】　ＲＩＣＥ処置
【事前・事後学習課題】　テキストP.91-95
第10回　【授業テーマ】　スポーツと水分補給
【内容・方法　等】　水分補給と熱中症
【事前・事後学習課題】　テキストP.102
第11回　【授業テーマ】　スポーツと水分補給
【内容・方法　等】　水分補給と熱中症
【事前・事後学習課題】　テキストP.102
第12回　【授業テーマ】　スポーツと栄養（1）
【内容・方法　等】　五大栄養素の役割
【事前・事後学習課題】　テキストP.96
第13回　【授業テーマ】　スポーツと栄養 (2)
【内容・方法　等】　栄養とトレーニング，コンディショニング
【事前・事後学習課題】　テキストP.96-102
第14回　【授業テーマ】　ドーピング
【内容・方法　等】　ドーピングの定義，概要
【事前・事後学習課題】　資料
第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容・方法　等】　授業の全体のまとめ
【事前・事後学習課題】　――――

評価方法（基準）
筆記試験及びレポートなどで評価する。

教材等
教科書…公認スポーツ指導者養成テキストI（共通科目Ⅰ）
４２００円(税込み)
参考書…授業中に紹介

学生へのメッセージ
運動・スポーツと健康に関する身近な話題から、競技力向上のための最新スポーツ科学に関する授業です。毎回、簡単な実習、測定、調査などを行いながら、主体的な学習を通して理解を深めていきます。

関連科目
スポーツ医学の理論と実際

担当者の研究室等
11号館5階　法学部資料室（法学部非常勤講師室）

スポーツ科学実習I
Practice of Sports Science I

村　上　陽一郎(ムラカミ　ヨウイチロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ABCDEJ	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
スポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体能力を実践する能力を育成することを目的とする。本授業では、数種目の競技のルール・技術を身につけさらにグループの中でゲーム進行などコミニケーション能力を向上させる。
《到達目標》
①運動技術の向上
②競技ルールの理解
③学生相互のコミュニケーション能力の向上

授業方法と留意点
実技形式で行う。(雨天の場合、講義形式を行う場合がある。)
※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。
原則として、スポーツ科学実習ⅠとⅡで同じ種目を履修することはできない。

科目学習の効果（資格）
生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　ガイダンス
【内容・方法　等】　ガイダンス（履修上の注意やコース種目分け）
【事前・事後学習課題】　ルールの理解
第２回　【授業テーマ】　体力測定①
【内容・方法　等】　屋外種目
【事前・事後学習課題】　測定記録評価
第３回　【授業テーマ】　体力測定②
【内容・方法　等】　屋内種目
【事前・事後学習課題】　測定記録評価
第４回　【授業テーマ】　バレー
【内容・方法　等】　基本技術（パス）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第５回　【授業テーマ】　バレー
【内容・方法　等】　基本技術（トス）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第６回　【授業テーマ】　バレー
【内容・方法　等】　応用練習（ミニゲーム）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第７回　【授業テーマ】　バレー
【内容・方法　等】　応用練習（ミニゲーム）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第８回　【授業テーマ】　バトミントン
【内容・方法　等】　基本技術（レシーブ）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第９回　【授業テーマ】　バトミントン
【内容・方法　等】　基本技術（スマッシュ）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第10回　【授業テーマ】　バトミントン
【内容・方法　等】　応用練習（ミニゲーム）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第11回　【授業テーマ】　バトミントン
【内容・方法　等】　応用練習（ミニゲーム）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第12回　【授業テーマ】　バスケットボール
【内容・方法　等】　基本技術（ドリブル）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第13回　【授業テーマ】　バスケットボール
【内容・方法　等】　基本技術（パス）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第14回　【授業テーマ】　バスケットボール
【内容・方法　等】　応用練習（ミニゲーム）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第15回　【授業テーマ】　バスケットボール
【内容・方法　等】　応用練習（ミニゲーム）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ

評価方法（基準）
単位取得条件は技能および平常態度・知的理解度などを総合して評価する。

教材等
教科書…使用しません
参考書…使用しません

学生へのメッセージ
授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館１Fスポーツ振興センター事務室にきてください。

関連科目
生涯スポーツ実習・健康論

担当者の研究室等
総合体育館　体育館事務室

スポーツ科学実習I
Practice of Sports Science I

藤　林　真　美（フジバヤシ　マミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ABCDEJ	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
スポーツ科学実習で習得した基礎知識をベースにより応用的な内容に発展させ、スポーツライフの形成の大切さを学び、スポーツ活動の楽しさや身体活動の必要性を自覚すると共に、生涯スポーツ参加への意識向上と自信を深めることを目的にする。
《到達目標》
①運動技術の向上
②競技ルールの理解
③学生相互のコミュニケーション能力の向上
学科の学習・教育目標との対応：[Ａ２]，[Ａ３]

授業方法と留意点
【授業内容】
授業での開講種目は下記のとおりである。コース分けについては第１回目の授業ガイダンスの中で行う。
前期　①サッカー、②テニス、③ソフトボール、④バドミントン、⑤卓球
後期　①バドミントン、②テニス、③サッカー、④卓球、⑤ゴルフ(集中授業・シラバスは別途)を開講する。
※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。

科目学習の効果（資格）
生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　ガイダンス

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　174　2014/08/21　14:45:23

【内容・方法　等】 ガイダンス（履修上の注意事項の説明）
コース種目分け
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第２回 【授業テーマ】 体力測定１
【内容・方法　等】 50m走，立ち幅跳び，ハンドボール投げ
【事前・事後学習課題】 体力測定評価
第３回 【授業テーマ】 体力測定２
【内容・方法　等】 20mシャトルラン，上体起こし，長座体前屈，反復横跳
【事前・事後学習課題】 体力測定評価
第４回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法　等】 種目概要説明，基礎技術練習
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第５回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法　等】 基礎技術練習
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第６回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法　等】 基礎技術練習，ゲーム形式
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第７回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法　等】 基礎技術練習，ゲーム形式
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第８回 【授業テーマ】 バレーボール
【内容・方法　等】 種目概要説明，基礎技術練習
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第９回 【授業テーマ】 バレーボール
【内容・方法　等】 基礎技術練習
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第10回 【授業テーマ】 バレーボール
【内容・方法　等】 基礎技術練習，ゲーム形式
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第11回 【授業テーマ】 バレーボール
【内容・方法　等】 基礎技術練習，ゲーム形式
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第12回 【授業テーマ】 バスケットボール
【内容・方法　等】 種目概要説明，基礎技術練習
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第13回 【授業テーマ】 バスケットボール
【内容・方法　等】 基礎技術練習
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第14回 【授業テーマ】 バスケットボール
【内容・方法　等】 基礎技術練習，ゲーム形式
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第15回 【授業テーマ】 バスケットボール
【内容・方法　等】 基礎技術練習，ゲーム形式
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

評価方法（基準）
平常点５０％、態度点２５％、技能点２５％として、総合評価する。

教材等
教科書…使用しない
参考書…使用しない

学生へのメッセージ
授業への質問などは授業前後の休憩時間などに，総合体育館１Ｆスポーツ振興センター事務室へ来ること．
授業は総合体育館アリーナで行う．服装はスポーツウエアおよび体育館シューズを準備すること．

関連科目
生涯スポーツ実習，健康科学

担当者の研究室等
体育館１Ｆ　藤林研究室

スポーツ科学実習I
Practice of Sports ScienceI

内　部　昭　彦（ウチベ　アキヒコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ABCDEJ	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
タグラグビーを通じて、体力や運動能力の維持、増進を図ることで、健康についての知識を深める。タグラグビーは、通常のラグビーと違いタックルなどの身体接触がなく、複雑なルールや高度な技術を必要としない為、運動能力の個人差や男女差が顕在化しない特徴をもっている。また、鬼遊びの要素を持ったゲームで、スポーツの楽しさと、チームプレーによるコミュニケーション能力を養うことができ、学生間の交流や、社会での適応力を高める。

授業方法と留意点
実技形式で行う。（雨天の場合、講義形式を行う場合がある）
※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。
原則として、スポーツ科学実習ⅠとⅡで同じ種目を履修することはできない。

科目学習の効果（資格）
個人としての基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得、及び団体競技における協調性を養う。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法　等】 ガイダンス（履修上の注意やコース種目分け）
【事前・事後学習課題】 ルールの理解
第２回 【授業テーマ】 体力測定①
【内容・方法　等】 屋外種目
【事前・事後学習課題】 体力測定評価
第３回 【授業テーマ】 体力測定②
【内容・方法　等】 屋内種目
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第４回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法　等】 競技説明（ルールの説明）及び基本技術（ランニング・パス）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第５回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法　等】 基本技術（タグを使用して、基本的なアタック＆ディフェンス練習）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第６回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法　等】 基本技術（タグを使用して、基本的なアタック＆ディフェンス練習）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第７回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法　等】 基本技術、応用練習（タグを使った簡易ゲーム）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第８回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法　等】 基本技術、応用練習（タグを使った簡易ゲーム）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第９回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法　等】 基本技術、応用練習（タグを使った簡易ゲーム）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第10回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法　等】 基本技術、応用練習、ミニゲーム（実際の試合のルールに慣れる）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第11回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法　等】 基本技術、応用練習、ミニゲーム（実際の試合のルールに慣れる）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第12回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法　等】 試合（成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第13回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法　等】 試合（成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第14回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法　等】 試合（成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第15回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法　等】 試合（成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

評価方法（基準）
単位取得条件は技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する

教材等
教科書…特になし
参考書…特になし

学生へのメッセージ
授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館１Fスポーツ振興センター事務室に来ること。
実施場所は、第１グランド（人工芝）で行う。
服装はスポーツウェア及びスポーツシューズを準備すること。

関連科目
スポーツ指導者論・生涯スポーツ実習

担当者の研究室等
体育館１Ｆ　内部助教室

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　175　2014/08/21　14:45:23

スポーツ科学実習I
Practice of Sports Science I

堀　　美　幸（ホリ　ミユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	GH	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
スポーツ科学実習Ⅰはアスリート学生を対象に、スポーツ活動を通じて身体運動とスポーツ競技の理解を深め、身体能力及び競技力の向上を獲得する。また、スポーツ競技者として最低限必要とされる怪我の予防、身体能力向上のための知識の獲得を目指す。

授業方法と留意点
スポーツ科学実習Ⅰでは、屋内・外での運動とスポーツ競技の実践を主な授業内容とする。実習科目としての性格上、出席を重視する。

科目学習の効果（資格）
身体運動だけでなく、ウォーミングアップやクールダウン、身体機能向上などに活かせるトレーニングも学ぶ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】** ガイダンス
【内容・方法　等】 履修上の注意およびコース説明
【事前・事後学習課題】 ガイダンス内容を確認し、次回の授業準備を行う
第２回　**【授業テーマ】** 体力測定（１）
【内容・方法　等】 ５０ｍ走、立ち幅跳、ハンドボール投げ
【事前・事後学習課題】 ウォーミングアップとクールダウンを行う
第３回　**【授業テーマ】** 体力測定（２）
【内容・方法　等】 ２０ｍシャトルラン、上体起こし、長座体前屈、反復横跳
【事前・事後学習課題】 ウォーミングアップとクールダウンを行う
第４回　**【授業テーマ】** 体力測定の評価
ウォーミングアップとクーリングダウン
【内容・方法　等】 静的ストレッチと動的ストレッチ
【事前・事後学習課題】 ウォーミングアップとクールダウンを行う
トレーニング内容の確認
第５回　**【授業テーマ】** 球技（１）
【内容・方法　等】 卓球
【事前・事後学習課題】 ウォーミングアップとクールダウンを行う
ルール確認
第６回　**【授業テーマ】** 球技（２）
【内容・方法　等】 卓球
【事前・事後学習課題】 ウォーミングアップとクールダウンを行う
ルール確認
第７回　**【授業テーマ】** 有酸素トレーニング
【内容・方法　等】 中・長距離走を中心とした有酸素運動
【事前・事後学習課題】 ウォーミングアップとクールダウンを行う
トレーニング内容の確認
第８回　**【授業テーマ】** アジリティートレーニング
【内容・方法　等】 アジリティーラダーやミニハードルを使ったトレーニング
【事前・事後学習課題】 ウォーミングアップとクールダウンを行う
トレーニング内容の確認
第９回　**【授業テーマ】** 球技（３）
【内容・方法　等】 サッカー
【事前・事後学習課題】 ウォーミングアップとクールダウンを行う
ルール確認
第10回　**【授業テーマ】** 球技（４）
【内容・方法　等】 サッカー
【事前・事後学習課題】 ウォーミングアップとクールダウンを行う
ルール確認
第11回　**【授業テーマ】** レジスタンストレーニング（１）
【内容・方法　等】 自重でのトレーニング
【事前・事後学習課題】 ウォーミングアップとクールダウンを行う
トレーニング内容の確認
第12回　**【授業テーマ】** レジスタンストレーニング（２）
【内容・方法　等】 ウエイト（負荷）を使ったトレーニング
【事前・事後学習課題】 ウォーミングアップとクールダウンを行う
トレーニング内容の確認
第13回　**【授業テーマ】** レジスタンストレーニング（３）
【内容・方法　等】 プライオメトリクストレーニング
【事前・事後学習課題】 ウォーミングアップとクールダウンを行う
トレーニング内容の確認
第14回　**【授業テーマ】** 球技（５）
【内容・方法　等】 選択
【事前・事後学習課題】 ウォーミングアップとクールダウンを行う
ルール確認
第15回　**【授業テーマ】** 球技（６）
【内容・方法　等】 選択
【事前・事後学習課題】 ウォーミングアップとクールダウンを行う
ルール確認

評価方法（基準）
単位取得条件は技能および平常態度、知的理解度などを総合して判断する。

教材等
教科書…特になし
参考書…なし

学生へのメッセージ
それぞれの運動に適した服装とシューズを着用すること。

関連科目
スポーツ科学実習Ⅱ

担当者の研究室等
11号館5階　法学部資料室（法学部非常勤講師室）

スポーツ科学実習II
Practice of Sports Science II

村　上　陽一郎（ムラカミ　ヨウイチロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ABCDEIJ	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
スポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体能力を実践する能力を育成することを目的とする。本授業では、数種目の競技のルール・技術を身につけさらにグループの中でゲーム進行などコミニケーション能力を向上させる。
《到達目標》
①運動技術の向上
②競技ルールの理解
③学生相互のコミュニケーション能力の向上
学科の学習・教育目標との対応：[D]

授業方法と留意点
実技形式で行う。(雨天の場合、講義形式を行う場合がある。)
※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。
原則として、スポーツ科学実習ⅠとⅡで同じ種目を履修することはできない。

科目学習の効果（資格）
生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】** ガイダンス
【内容・方法　等】 ガイダンス（履修上の注意やコース種目分け）
【事前・事後学習課題】 ルールの理解
第２回　**【授業テーマ】** バレー
【内容・方法　等】 基本技術（パス）
【事前・事後学習課題】 測定記録評価
第３回　**【授業テーマ】** バレー
【内容・方法　等】 基本技術（トス）
【事前・事後学習課題】 測定記録評価
第４回　**【授業テーマ】** バレー
【内容・方法　等】 応用練習（ミニゲーム）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第５回　**【授業テーマ】** バレー
【内容・方法　等】 応用練習（ミニゲーム）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第６回　**【授業テーマ】** バレー
【内容・方法　等】 応用練習（ミニゲーム）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第７回　**【授業テーマ】** バトミントン
【内容・方法　等】 基本技術（レシーブ）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第８回　**【授業テーマ】** バトミントン
【内容・方法　等】 基本技術（スマッシュ）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　176　2014/08/21　14:45:24

第９回　【授業テーマ】　バトミントン
【内容・方法　等】　応用練習（ミニゲーム）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第10回　【授業テーマ】　バトミントン
【内容・方法　等】　応用練習（ミニゲーム）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第11回　【授業テーマ】　バトミントン
【内容・方法　等】　応用練習（ミニゲーム）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第12回　【授業テーマ】　バスケットボール
【内容・方法　等】　基本技術（ドリブル）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第13回　【授業テーマ】　バスケットボール
【内容・方法　等】　基本技術（パス）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第14回　【授業テーマ】　バスケットボール
【内容・方法　等】　応用練習（ミニゲーム）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第15回　【授業テーマ】　バスケットボール
【内容・方法　等】　応用練習（ミニゲーム）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ

評価方法（基準）
単位取得条件は技能および平常態度・知的理解度などを総合して評価する。

教材等
教科書…使用しません
参考書…使用しません

学生へのメッセージ
授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館１Ｆスポーツ振興センター事務室にきてください。

関連科目
生涯スポーツ実習・健康論

担当者の研究室等
総合体育館　体育館事務室

スポーツ科学実習II
Practice of Sports Science II

藤　林　真　美（フジバヤシ　マミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ABCDEIJ	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
スポーツ科学実習Ⅰはスポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。
《到達目標》
①運動技術の向上
②競技ルールの理解
③学生相互のコミュニケーション能力の向上
学科の学習・教育目標との対応：[A2],[A3]
～屋内スポーツコース～
具体的には、バドミントン、バスケットボール、バレーボールを通して、身体を動かす楽しさを味わう。これらの種目は集団スポーツであるため、メンバーと協力し合ってゲームを楽しみ盛り上げていくことができる能力を養成する。

授業方法と留意点
【授業内容】
スポーツ科学実習Ⅰでは、第１回目の授業時に種目選択を実施し授業を進める。
ただし各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがある。また少なすぎる場合も移動もしくは開講しないことがある。
原則として、スポーツ科学実習ⅠとⅡで同じ種目を履修することはできない。

科目学習の効果（資格）
生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　ガイダンス
【内容・方法　等】　ガイダンス（履修上の注意やコース種目分け）
【事前・事後学習課題】　授業内容の確認
第２回　【授業テーマ】　バドミントン
【内容・方法　等】　種目概要説明・基礎技術練習
【事前・事後学習課題】　学習内容のまとめ
第３回　【授業テーマ】　バドミントン
【内容・方法　等】　基礎技術練習
【事前・事後学習課題】　学習内容のまとめ
第４回　【授業テーマ】　バドミントン
【内容・方法　等】　基礎技術練習、ゲーム形式
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第５回　【授業テーマ】　バドミントン
【内容・方法　等】　基礎技術練習、ゲーム形式
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第６回　【授業テーマ】　バレーボール
【内容・方法　等】　種目概要説明・基礎技術練習
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第７回　【授業テーマ】　バレーボール
【内容・方法　等】　基礎技術練習
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第８回　【授業テーマ】　バレーボール
【内容・方法　等】　基礎技術練習
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第９回　【授業テーマ】　バレーボール
【内容・方法　等】　基礎技術練習、ゲーム形式
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第10回　【授業テーマ】　バレーボール
【内容・方法　等】　基礎技術練習、ゲーム形式
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第11回　【授業テーマ】　バスケットボール
【内容・方法　等】　種目概要説明・基礎技術練習
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第12回　【授業テーマ】　バスケットボール
【内容・方法　等】　基礎技術練習
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第13回　【授業テーマ】　バスケットボール
【内容・方法　等】　基礎技術練習、ゲーム形式
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第14回　【授業テーマ】　バスケットボール
【内容・方法　等】　基礎技術練習、ゲーム形式
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第15回　【授業テーマ】　バスケットボール
【内容・方法　等】　基礎技術練習、ゲーム形式
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ

評価方法（基準）
平常点５０％、態度点２５％、技能点２５％として、総合評価する。

教材等
教科書…使用しない
参考書…使用しない

学生へのメッセージ
授業への質問などは授業前後の休憩時間などに、総合体育館１Ｆスポーツ振興センター事務室に来ること。
授業は総合体育館アリーナで行う。服装はスポーツウェアおよび体育館シューズを準備すること。

関連科目
生涯スポーツ実習、健康科学

担当者の研究室等
体育館１Ｆ　藤林研究室

スポーツ科学実習II
Practice of Sports ScienceII

内　部　昭　彦（ウチベ　アキヒコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ABCDEIJ	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
タグラグビーを通じて、体力や運動能力の維持、増進を図ることで、健康についての知識を深める。タグラグビーは、通常のラグビーと違いタックルなどの身体接触がなく、複雑なルールや高度な技術を必要としない為、運動能力の個人差や男女差が顕在化しない特徴をもっている。また、鬼遊びの要素を持ったゲームで、スポーツの楽しさと、チームプレーによるコミュニケーション能力を養うことができ、学生間の交流や、社会での適応力を高める。
学科の学習・教育目標との対応：[B]

授業方法と留意点
実技形式で行う。（雨天の場合、講義形式を行う場合がある）
※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。
原則として、スポーツ科学実習ⅠとⅡで同じ種目を履修することはできない。

科目学習の効果（資格）
個人としての基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得、及び団体競技における協調性を養う。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　ガイダンス
【内容・方法　等】　ガイダンス（履修上の注意やコース種目分

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　177　2014/08/21　14:45:24

け）
【事前・事後学習課題】 ルールの理解
第２回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法　等】 競技説明（ルールの説明）及び基本技術（ランニング・パス）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第３回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法　等】 基本技術（タグを使用して、基本的なアタック＆ディフェンス練習）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第４回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法　等】 基本技術（タグを使用して、基本的なアタック＆ディフェンス練習）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第５回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法　等】 基本技術、応用練習（タグを使った簡易ゲーム）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第６回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法　等】 基本技術、応用練習（タグを使った簡易ゲーム）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第７回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法　等】 基本技術、応用練習（タグを使った簡易ゲーム）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第８回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法　等】 基本技術、応用練習、ミニゲーム（実際の試合のルールに慣れる）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第９回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法　等】 基本技術、応用練習、ミニゲーム（実際の試合のルールに慣れる）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第10回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法　等】 基本技術、応用練習、ミニゲーム（実際の試合のルールに慣れる）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第11回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法　等】 試合（成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第12回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法　等】 試合（成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第13回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法　等】 試合（成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第14回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法　等】 試合（成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第15回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法　等】 試合（成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

評価方法（基準）
単位取得条件は技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する

教材等
教科書…特になし
参考書…特になし

学生へのメッセージ
授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館１Fスポーツ振興センター事務室に来ること。
実施場所は、第１グランド（人工芝）で行う。
服装はスポーツウェア及びスポーツシューズを準備すること。

関連科目
生涯スポーツ実習

担当者の研究室等
体育館１F　内部助教室

スポーツ科学実習II
Practice of Sports Science II

岡　崎　和　伸（オカザキ　カズノブ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	GH	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
スポーツ科学実習Ⅱはアスリート学生を対象に、スポーツ活動を通じて身体運動とスポーツ競技の理解を深め、身体能力の向上及び競技力向上を獲得する。また、スポーツ競技者として最低限必要とされる怪我の予防と身体能力向上のための知識の獲得を目指す。

授業方法と留意点
スポーツ科学実習Ⅱは屋内・外での運動とスポーツ競技の実践を主な授業とする。

科目学習の効果（資格）
-

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 ウォーミングアップとクールダウン（１）
【内容・方法　等】 ストレッチとジョギング
【事前・事後学習課題】 適宜資料を配付
第２回 【授業テーマ】 球技（１）
【内容・方法　等】 ソフトボール
【事前・事後学習課題】 適宜資料を配付
第３回 【授業テーマ】 球技（２）
【内容・方法　等】 ソフトボール
【事前・事後学習課題】 ――――
第４回 【授業テーマ】 球技（３）
【内容・方法　等】 ソフトボール
【事前・事後学習課題】 ――――
第５回 【授業テーマ】 球技（４）
【内容・方法　等】 ソフトボール
【事前・事後学習課題】 ――――
第６回 【授業テーマ】 球技（５）
【内容・方法　等】 ソフトボール
【事前・事後学習課題】 ――――
第７回 【授業テーマ】 球技（６）
【内容・方法　等】 バドミントン
【事前・事後学習課題】 適宜資料を配付
第８回 【授業テーマ】 球技（７）
【内容・方法　等】 バドミントン
【事前・事後学習課題】 ――――
第９回 【授業テーマ】 球技（８）
【内容・方法　等】 バドミントン
【事前・事後学習課題】 ――――
第10回 【授業テーマ】 球技（９）
【内容・方法　等】 バドミントン
【事前・事後学習課題】 ――――
第11回 【授業テーマ】 球技（１０）
【内容・方法　等】 卓球
【事前・事後学習課題】 適宜資料を配付
第12回 【授業テーマ】 球技（１１）
【内容・方法　等】 卓球
【事前・事後学習課題】 ――――
第13回 【授業テーマ】 球技（１２）
【内容・方法　等】 卓球
【事前・事後学習課題】 ――――
第14回 【授業テーマ】 球技（１３）
【内容・方法　等】 卓球
【事前・事後学習課題】 ――――
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 授業全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 ――――

評価方法（基準）
平常態度、知的理解度などを総合して判断する。

教材等
教科書…-
参考書…授業中に指示する。

学生へのメッセージ
運動に適した服装とシューズの着用をすること。

関連科目
-

担当者の研究室等
11号館5階　法学部資料室（法学部非常勤講師室）

教養特別講義I～V「社会と人権」
Human rights and Society

太　田　義　器（オオタ　ヨシキ）
有　馬　善　一（アリマ　ゼンイチ）
林　田　敏　子（ハヤシダ　トシコ）
古　川　行　男（フルカワ　ユキオ）
松　島　裕　一（マツシマ　ユウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
【授業概要・目的】
本科目は、人間が人間として尊重されるということの意味を、具体的な生活や行動と関わらせて考えること、またそのような

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　178　2014/08/21　14:45:24

思索の成果を実際の生活や行動に反映させることを目的とし、そのための知識や見方・考え方を受講生に提示する。
本年度は、太田(政治哲学)、古川(判事経験者)、有馬(倫理学)、林田(西洋史)、松島(法哲学)を専門する教員が、それぞれ3回ずつ授業を行う。
【到達目標】
本授業を履修した学生は、次の項目について一定水準に達することが期待されます。
① 社会と人権にかかわる事柄について政治哲学的観点から説明できる
② 社会と人権にかかわる事柄について裁判事例の観点から説明できる
③ 社会と人権にかかわる事柄について倫理学的観点から説明できる
④ 社会と人権にかかわる事柄について西洋史的観点から説明できる
⑤ 社会と人権にかかわる事柄について法哲学的観点から説明できる
⑥ 社会と人権にかかわる事柄について、具体的な自分の生活と行動の場面に即して考えることができる

授業方法と留意点
(有馬担当分）板書・配付資料による講義形式。

科目学習の効果（資格）
人権問題について、印象論ではなく、正確な知識に基づいた理解を得ることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** 「社会と人権について考える」ことを考える
【内容・方法　等】 担当者:太田
シラバス内容の確認(10分)
社会と人権について履修生がどのような考え方をもっているのかの確認(20分)
「社会と人権について考える」ことを考える　ための話題提供(40分)
質疑およびミニッツペーハー(20分)
【事前・事後学習課題】 【事後学習】
Web上のプレ・アンケートをしてもらいます。
結果については、担当教員5名で共有します。

第２回 **【授業テーマ】** 正義とは何か？
【内容・方法　等】 担当者:松島
「人権」という考え方が明確に意識されるようになるのは近代以降ですが、古典古代にもその思想的萌芽が見られます。この回の講義では古代ギリシアにさかのぼって、人間社会における「正しさ（正義)」とは何かについて考えてみます。
【事前・事後学習課題】 【事後学習】
「正義」にかんする具体的な設問を提示しますので、授業中にその問題について皆で議論し、後日レポートを提出してください。

第３回 **【授業テーマ】** 自由とは何か？
【内容・方法　等】 担当者:松島
日本国憲法にはさまざまな自由権が規定されていますが、そもそも「自由」とは何でしょうか？ J・S・ミルやI・バーリンらの議論を手掛かりにしながら、人権概念の根幹をなす「自由」というものの本質について考えてみます。
【事前・事後学習課題】 【事後学習】
「自由」にかんする具体的な設問を提示しますので、授業中にその問題について皆で議論し、後日レポートを提出してください。

第４回 **【授業テーマ】** 平等とは何か？
【内容・方法　等】 担当者:松島
「自由」と並び、「平等」は人権概念の根幹をなす重要な概念ですが、そもそも平等とは何なのでしょうか？ J・ロールズやR・ドゥオーキンらの議論を手がかりにして、平等の本質について考えてみたいと思います。
【事前・事後学習課題】 【事後学習】
「平等」にかんする具体的な設問を提示しますので、授業中にその問題について皆で議論し、後日レポートを提出してください。

第５回 **【授業テーマ】** 人工妊娠中絶の是非をめぐって（１）
【内容・方法　等】 担当者:有馬
・人工妊娠中絶をめぐる「プロ・ライフ」(中絶反対派）と「プロ・チョイス」(中絶擁護派）の論争とその社会的背景について解説をする。
・トムソンの論文について解説をした上で、トムソンの主張について周囲の学生とディスカッションをする。
【事前・事後学習課題】 トムソンの主張についての自分の考えをまとめる。

第６回 **【授業テーマ】** 人工妊娠中絶の是非をめぐって（２）
【内容・方法　等】 担当者:有馬
・前回のディスカッションのまとめ。
・パーソン論と人工妊娠中絶問題とのつながりを説明する。
・トゥーリの論文について解説をした上で、トゥーリの主張についてディスカッションをする。
【事前・事後学習課題】 トゥーリの主張について自分の考えをまとめる。

第７回 **【授業テーマ】** 安楽死をめぐって
【内容・方法　等】 担当者:有馬
・前回のディスカッションのまとめ
・「死ぬ権利」に対するオランダやベルギーの考え方を紹介する。また、日本における「尊厳死」の問題について解説をする。
・安楽死の是非についてディスカッションをする。
【事前・事後学習課題】 安楽死について自分の考えをまとめる。

第８回 **【授業テーマ】** 正義と政治:対テロ戦争は、本当に正義の戦争なのか
【内容・方法　等】 担当者:太田
対テロ戦争についての履修生の考えの確認(10分)
「正しい戦争」という考え方の説明(30分)
「正しい戦争」という考え方を聞いて、何を考えたか、履修生の考えの確認(10分)
米国が主導している「正しい戦争」の現実についての説明(20分)
質疑およびミニッツペーパー(20分)
【事前・事後学習課題】 【事後学習】
これまでの授業についての確認のwebアンケートに応えてもらいます。

第９回 **【授業テーマ】** 憲法と基本的人権
【内容・方法　等】 担当者:古川
総論、基本的人権と公共の福祉
【事前・事後学習課題】 自分の基本的人権と他人の基本的人権との関係をどのように考えるか
最近のニュースなどで基本的人権が問題となったケースにつき話し合う。

第10回 **【授業テーマ】** 憲法における自由権
【内容・方法　等】 担当者：古川
精神的自由権、経済的自由権、人身の自由についての具体的な憲法の規定
それぞれの自由権の歴史的な流れ。愚弟的な内容
【事前・事後学習課題】 それぞれの自由権について各自はどのように考えるのか。

第11回 **【授業テーマ】** 社会権、参政権、その他
【内容・方法　等】 担当者：古川
社会的、経済的弱者を守るための人権にはどのようなものがあるか。
国民主権と参政権
一般的な幸福追求権
【事前・事後学習課題】 この3回の授業で自分として考えたことをまとめる。

第12回 **【授業テーマ】** 女性と人権
【内容・方法　等】 担当者：林田
・歴史学と「人権」
・人権概念の歴史的生成過程～アメリカ独立宣言を中心に～
・もう一つのフランス革命～オランプ・ドゥ・グージュの「女性の人権宣言」～
【事前・事後学習課題】 【事前学習】
「女性と人権」という言葉から連想するものを書き出してくる。

第13回 **【授業テーマ】** 女性は戦争をどう「戦った」か
【内容・方法　等】 担当者：林田
・犠牲者としての女性
・戦いを鼓舞する女性
・「戦う」女性～募兵運動、兵器製造、従軍～
・女性兵士をめぐって
【事前・事後学習課題】 【事後学習】
「戦争があぶりだすジェンダー問題」についてまとめる。

第14回 **【授業テーマ】** 「ジェンダー・フリー」の罠
【内容・方法　等】 担当者:林田
セクシュアル・ハラスメント、ドメスティック・バイオレンスから女性専用車両にいたるまで、身近にあるジェンダー問題を通して、ジェンダー・フリーへ向けた取り組みが抱える問題について考える（ディスカッションもしくは、小発表形式)。
【事前・事後学習課題】 【事後学習】
ディスカッション（もしくは小発表）の内容を踏まえて、自分の考えをまとめる。

第15回 **【授業テーマ】** 総括
【内容・方法　等】 担当者:太田
履修生全員に「社会と人権」について考えたことを20秒でまとめて発言してもらいます。
履修人数によりますが、一人ひとりに太田が10秒でコメントします。
【事前・事後学習課題】 【事前学習】
発言した内容を中心としたレポートを提出してもらい、それを太田担当回の評価資料とします。

評価方法（基準）
5名の担当者が課す課題を100点満点で評価し、その平均点で評価します。(5つの課題それぞれの比重は20%)

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd 179 2014/08/21 14:45:24

それぞれの担当者の評価方法については、授業計画で確認ください。

教材等

教科書…とくになし。必要に応じてプリントを配付する。
参考書…とくになし。

学生へのメッセージ

教室に来て、座って聞いているだけでも、もちろんためになりますが、それだけではなく、自分で考えてもらうための作業をたくさん行います。

関連科目

法学などのさまざまな科目

担当者の研究室等

太田(7号館4階)
古川(11号館10階)
有馬(11号館7階)
林田(7号館4階)
松島(11号館9階)

備考

有馬担当分　参考図書　加藤・飯田編　『バイオエシックスの基礎』、東海大学出版会

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「役立つ金融知力」

Useful Financial Literacy

陸　川　富　盛（リクカワ　ヨシモリ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

自ら考え判断し行動する「賢い経済主体」となるためには、先ずは市場経済や契約社会の仕組みを実感覚として理解し、様々なリスクや不確実性に果敢に立ち向かっていく必要があります。経済や法律そして金融に関する正しい知識を得てそれらを日常的に活用していくことは、実は単に金銭トラブルの回避に役立つだけでなく、より良い人生や社会の実現に欠かせないのです。

本講義の目標は、人生のさまざまな局面で的確に決断し行動できるよう、金融知識を活用する実戦的な金融インテリジェンスの基本を身に着けることです。

授業方法と留意点

教科書を使用した講義形式を中心に、先ずは経済主体としての視点で、社会の仕組みと様々な課題や対処法を認識します。
更に、それらを統合的に活用する金融インテリジェンスの基礎を学び応用します。

科目学習の効果（資格）

経済生活やビジネスライフに必要な意思決定を適宜適切に行えるよう、金融知識を活用する実戦的な金融インテリジェンスの基本を身に着けます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　イントロダクション
【内容・方法　等】　「金融知力の必要性 」
【事前・事後学習課題】　テキスト＜P4～15＞
・私たちのくらしと経済
・戦後の社会発展
・パラダイムシフト
・変革の必要性

第２回　**【授業テーマ】**　金融・経済の基礎知識 ①
【内容・方法　等】　「国際経済と国家財政」
【事前・事後学習課題】　テキスト＜P38～49＞
・国際経済
・国家の財政

第３回　**【授業テーマ】**　金融・経済の基礎知識 ②
【内容・方法　等】　「市場経済と金融の役割」
【事前・事後学習課題】　テキスト＜P16～29＞
・金融の役割
・市場経済のしくみと意義
・金融の役割と銀行

第４回　**【授業テーマ】**　法律の基礎知識
【内容・方法　等】　「契約の基本」
【事前・事後学習課題】　テキスト＜P147～149・152～159＞
・契約社会 Ⅰ
・ローン・クレジット
・契約社会 Ⅱ

第５回　**【授業テーマ】**　リスクと向き合う ①
【内容・方法　等】　「リスクマネジメント」
【事前・事後学習課題】　テキスト＜P74～81・150～152・159～161＞
・リスクマネジメント
・契約社会 Ⅲ

第６回　**【授業テーマ】**　リスクと向き合う ②
【内容・方法　等】　「リタイアメント」
【事前・事後学習課題】　テキスト＜P82～91＞
・年金制度
・老後生活資金

第７回　**【授業テーマ】**　投資の基礎知識
【内容・方法　等】　「投資とは何か」
【事前・事後学習課題】　テキスト＜P92～98＞
・投資とは
・投資意思決定プロセス

第８回　**【授業テーマ】**　経済活動と金融市場
【内容・方法　等】　「景気・株価」
【事前・事後学習課題】　テキスト＜P30～37・50～53＞
景気
景気と株価

第９回　**【授業テーマ】**　金融商品の基礎知識 ①
【内容・方法　等】　「代表的な金融商品（株式等）」
【事前・事後学習課題】　テキスト＜P118～129＞
・株式
・投資信託
・外貨建て商品
・保険商品
・デリバティブ

第10回　**【授業テーマ】**　金融商品の基礎知識 ②
【内容・方法　等】　「代表的な金融商品（債券他）」
【事前・事後学習課題】　テキスト＜P111～118＞
・預貯金
・信託
・債券

第11回　**【授業テーマ】**　金融商品の基礎知識 ③
【内容・方法　等】　「金融市場と金融商品の性格」
【事前・事後学習課題】　テキスト＜P99～111＞
・直接金融と間接金融
・金融商品の性格

第12回　**【授業テーマ】**　投資のリスク管理
【内容・方法　等】　「資産分散と時間分散」
【事前・事後学習課題】　テキスト＜P130～146＞
・分散投資
・時間分散
・長期投資

第13回　**【授業テーマ】**　ライフプランニング ①
【内容・方法　等】　「ライフプランニング表」
【事前・事後学習課題】　テキスト＜P54～63＞
・ライフプランニング

第14回　**【授業テーマ】**　ライフプランニング ②
【内容・方法　等】　「ライフイベントごとの課題」
【事前・事後学習課題】　テキスト＜P64～73＞
・キャッシュフロー表の見直し
・ライフイベントごとの課題

第15回　**【授業テーマ】**　試験（レポート提出）
【内容・方法　等】　課題レポート提出
試験
【事前・事後学習課題】　講義で得た金融インテリジェンスの応用

評価方法（基準）

課題レポートを50％、試験を20％、平常点を30％とし、本科目への取り組み姿勢や理解度等を総合的に評価します。

教材等

教科書…『今日から役に立つ、経済の読み方と投資の基礎』
発行：特定非営利活動法人　金融知力普及協会
(必須。授業では毎回この教科書を使用します。)
参考書…特定のものは指定しません

学生へのメッセージ

・受講内容の復習を行い、身近な経済・時事問題などに興味や疑問を持って考えること。
・最終回までに表計算ソフト「エクセル」（自習。講義では教えません。）で簡易な表を作成できること。
本講義でより高い効果を得るには、受講内容を復習し自分自身で深く考え調査した上で、友人たちと議論してみることが役立ちます。

関連科目

民法、会社法、経済学、国際経済、経営学、経営戦略　など

担当者の研究室等

11号館1階（教務課）

備考

この授業は、ＳＭＢＣ日興証券グループによる「寄附講座」です。

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　180　2014/08/21　14:45:24

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「地域連携教育活動Ⅰ」
Communitiy-Based Education Support ActivitiesⅠ

浅　野　英　一（アサノ　エイイチ）
浦　野　崇　央（ウラノ　タカオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本授業はサービスラーニングの授業であり、実践型学習プログラムである。大学近隣の幼稚園・小学校・中学校で教育現場の教育補助、課外活動を幅広く体験し、自己の適正を把握する機会を持ち、人間的成長や社会意識の向上を目指す。活動内容は、授業運営補助、「総合的な学習」の補助、学校行事運営補助、クラブ・サークル活動の補助、図書室運営の補助、放課後学習の補助などを組み合わせ年間を通じた活動を大学授業の空き時間を利用して週１回９０分行う。

授業方法と留意点

原則として、履修申請が可能な学生は、本年１月に行なわれた特別事前履修相談会で受け入れ校の校長・教頭・園長との相談結果によって受入れ許可を得た学生で、「地域連携教育活動Ⅰ」を初めて履修する学生を対象とする。

科目学習の効果（資格）

活動を通して責任の自覚と人間的成熟を促し、人柄や隠れていた素質を引き出す手段とする。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　事前教育－１（授業説明を4月10日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。）
【内容・方法　等】　活動についての心構え、内容の徹底周知、年間活動計画作成準備
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ作成

第２回　**【授業テーマ】**　事前教育－２
【内容・方法　等】　マナー講座・小中学校の教育現場について（学外講師を含む）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ作成

第３回　**【授業テーマ】**　事前教育－３
【内容・方法　等】　「守秘義務」の意味とその内容について（教育委員会からの学外講師）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ作成

第４回　**【授業テーマ】**　活動準備
【内容・方法　等】　受け入れ校と協議し、年間活動計画を作成する
【事前・事後学習課題】　年間計画（案）の作成

第５回　**【授業テーマ】**　活動－１
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動開始
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第６回　**【授業テーマ】**　活動－２
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第７回　**【授業テーマ】**　活動－３
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第８回　**【授業テーマ】**　活動－４
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書①の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成

第９回　**【授業テーマ】**　活動－５
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第10回　**【授業テーマ】**　活動－６
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第11回　**【授業テーマ】**　活動－７
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第12回　**【授業テーマ】**　活動－８
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成発表準備

第13回　**【授業テーマ】**　活動－９
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書②の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成

第14回　**【授業テーマ】**　活動－１０
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第15回　**【授業テーマ】**　活動－１１
【内容・方法　等】　活動業務日報・活動時間票の作成
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第16回　**【授業テーマ】**　活動－１２
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第17回　**【授業テーマ】**　活動－１３
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第18回　**【授業テーマ】**　活動－１４
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第19回　**【授業テーマ】**　活動－１５
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書③の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成

第20回　**【授業テーマ】**　活動－１６
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第21回　**【授業テーマ】**　活動－１７
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第22回　**【授業テーマ】**　活動－１８
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第23回　**【授業テーマ】**　活動－１９
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第24回　**【授業テーマ】**　活動－２０
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第25回　**【授業テーマ】**　活動－２１
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第26回　**【授業テーマ】**　活動－２２
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第27回　**【授業テーマ】**　活動－２３
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第28回　**【授業テーマ】**　活動－２４
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第29回　**【授業テーマ】**　活動－２５
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第30回　**【授業テーマ】**　活動－２６・最終報告会

評価方法（基準）

①年間活動計画書 ②活動業務日報・活動時間数（出席数）票 ③活動進捗状況報告書 ④最終活動報告書の全てを提出し、発表会で活動報告した場合のみ、それらを総合的に判断して評価する。

教材等

教科書…使用しない
参考書…適宜紹介する

学生へのメッセージ

大学の授業と授業の合間を有効利用して、大学近隣の幼稚園、小・中学校の教育現場の教師をサポートしながら、責任感・忍耐力・協調性・創造力を養うことで、自分のかけがえのない財産形成を行ってください。

関連科目

教職課程を履修していない学生でもこの科目を履修することができる。

担当者の研究室等

７号館５階　（浅野研究室）
７号館４階　（浦野研究室）

備考

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　181　2014/08/21　14:45:25

授業説明を4月10日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。

教養特別講義Ⅰ〜Ⅴ「地域連携教育活動Ⅱ」
Communitiy-Based Education Support ActivitiesII

浅　野　英　一（アサノ　エイイチ）
浦　野　崇　央（ウラノ　タカオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本授業はサービスラーニングの授業であり、実践型学習プログラムである。大学近隣の幼稚園・小学校・中学校で教育現場の教育補助、課外活動を幅広く体験し、自己の適正を把握する機会を持ち、人間的成長や社会意識の向上を目指す。活動内容は、授業運営補助、「総合的な学習」の補助、学校行事運営補助、クラブ・サークル活動の補助、図書室運営の補助、放課後学習の補助などを組み合わせ年間を通じた活動を大学授業の空き時間を利用して週１回９０分行う。

授業方法と留意点

原則として、履修申請が可能な学生は、本年１月に行なわれた特別事前履修相談会で受け入れ校の校長・教頭・園長との相談結果によって受入れ許可を得た学生で、昨年度「地域連携教育活動Ⅰ」を履修した学生のみが登録できる。

科目学習の効果（資格）

活動を通して責任の自覚と人間的成熟を促し、人柄や隠れていた素質を引き出す手段とする。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　事前教育－１（授業説明を4月10日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。）
【内容・方法　等】　活動についての心構え、内容の徹底周知、年間活動計画作成準備
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ作成

第２回　**【授業テーマ】**　事前教育－２
【内容・方法　等】　マナー講座・小中学校の教育現場について（学外講師を含む）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ作成

第３回　**【授業テーマ】**　事前教育－３
【内容・方法　等】　「守秘義務」の意味とその内容について（教育委員会からの学外講師）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ作成

第４回　**【授業テーマ】**　活動準備
【内容・方法　等】　受け入れ校と協議し、年間活動計画を作成する
【事前・事後学習課題】　年間計画（案）の作成

第５回　**【授業テーマ】**　活動－１
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動開始
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第６回　**【授業テーマ】**　活動－２
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第７回　**【授業テーマ】**　活動－３
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第８回　**【授業テーマ】**　活動－４
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書①の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成

第９回　**【授業テーマ】**　活動－５
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第10回　**【授業テーマ】**　活動－６
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第11回　**【授業テーマ】**　活動－７
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第12回　**【授業テーマ】**　活動－８
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成発表準備

第13回　**【授業テーマ】**　活動－９
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書②の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成

第14回　**【授業テーマ】**　活動－１０
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第15回　**【授業テーマ】**　活動－１１
【内容・方法　等】　活動業務日報・活動時間票の作成
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第16回　**【授業テーマ】**　活動－１２
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第17回　**【授業テーマ】**　活動－１３
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第18回　**【授業テーマ】**　活動－１４
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第19回　**【授業テーマ】**　活動－１５
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書③の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成

第20回　**【授業テーマ】**　活動－１６
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第21回　**【授業テーマ】**　活動－１７
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第22回　**【授業テーマ】**　活動－１８
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第23回　**【授業テーマ】**　活動－１９
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第24回　**【授業テーマ】**　活動－２０
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第25回　**【授業テーマ】**　活動－２１
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第26回　**【授業テーマ】**　活動－２２
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第27回　**【授業テーマ】**　活動－２３
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第28回　**【授業テーマ】**　活動－２４
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第29回　**【授業テーマ】**　活動－２５
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第30回　**【授業テーマ】**　活動－２６・最終報告会

評価方法（基準）

①年間活動計画書 ②活動業務日報・活動時間数（出席数）票 ③活動進捗状況報告書 ④最終活動報告書の全てを提出し、発表会で活動報告した場合のみ、それらを総合的に判断して評価する。

教材等

教科書…使用しない
参考書…適宜紹介する

学生へのメッセージ

大学の授業と授業の合間を有効利用して、大学近隣の幼稚園、小・中学校の教育現場の教師をサポートしながら、責任感・忍耐力・協調性・創造力を養うことで、自分のかけがえのない財産形成を行ってください。

関連科目

教職課程を履修していない学生でもこの科目を履修することが

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　182　2014/08/21　14:45:25

できる。

担当者の研究室等

７号館５階　（浅野研究室）
７号館４階　（浦野研究室）

備考

授業説明を4月10日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「青少年育成ファシリテーター養成講座」

Facilitator Training Program

浅　野　英　一（アサノ　エイイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本授業は、サービスラーニングの授業であり、青少年育成ファシリテーターとして、知識・野外活動の方法を習得し実習を通して学びと成長を得ることができる実践型学習プログラムである。実践は単なる擬似的体験ではなく、人々のために役立ったという現実的な体験を得ることを目的とし、到達目標として自己の振り返りと自己発見、責任感、価値観・技能や知識の獲得、リスクマネジメント、社会問題の理解を果たす体験を同時に果たすことができるものとする。活動受入機関は、寝屋川市内の小学校、寝屋川市教育委員会関連団体、共学センター、交野市役所、門真市役所、すさみ町役場、寝屋川青年会議所等の主催・共催事業。

授業方法と留意点

大学の授業後や、授業の無い日を利用して学外活動をします。週に1度、90分の活動が基本ですが、夏休みなど長期の休み期間中に集中して活動することも可能です。

科目学習の効果（資格）

実習や活動を通して責任の自覚と人間的成熟を促し、人柄や隠れていた素質を引き出す手段とする。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】** 事前教育－１（授業説明を4月15日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。）
【内容・方法　等】 活動についての心構え、授業内容の徹底周知、ファシリテーターについて
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「活動についての心構え」

第２回　**【授業テーマ】** 事前教育－２
【内容・方法　等】 守秘義務：活動に伴って知った情報を漏らしてはならない義務を学ぶ
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「守秘義務について」

第３回　**【授業テーマ】** 事前教育－３
【内容・方法　等】 安全管理スキル：活動に伴って発生しうる事故を未然に防ぐ方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「安全管理スキルについて」

第４回　**【授業テーマ】** 事前教育－４
【内容・方法　等】 救命救護スキル：命の大切さ、命を助ける方法、ＡＥＤの使用法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「救命救護スキルについて」

第５回　**【授業テーマ】** 事前教育－５
【内容・方法　等】 安全対策スキル：安全。衛生管理、危険予知、責任について学ぶ
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「安全対策スキルについて」

第６回　**【授業テーマ】** 事前教育－６
【内容・方法　等】 コミュニケーションスキル①：対象者理解、人とのかかわり方を学ぶ
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「人とのかかわり方について」

第７回　**【授業テーマ】** 事前教育－７
【内容・方法　等】 コミュニケーションスキル②：報告、連絡、相談（ホウ・レン・ソウ）の重要性を学ぶ
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「報告、連絡、相談について」

第８回　**【授業テーマ】** 事前教育－８
【内容・方法　等】 コミュニケーションスキル③：アイスブレーキング手法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「アイスブレーキング手法について」

第９回　**【授業テーマ】** 事前教育－９
【内容・方法　等】 コミュニケーションスキル④：指導者のあるべき姿、リーダーシップの取り方
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「指導者のあるべき姿、リーダーシップの取り方について」

第10回　**【授業テーマ】** 事前教育－１０
【内容・方法　等】 活動プログラミング・スキル：課題設定・企画立案・実施・評価方法
【事前・事後学習課題】 活動計画（案）を作成する

第11回　**【授業テーマ】** 実践活動－１
【内容・方法　等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践①
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成

第12回　**【授業テーマ】** 実践活動－２
【内容・方法　等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践②
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成

第13回　**【授業テーマ】** 実践活動－３
【内容・方法　等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践③
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成

第14回　**【授業テーマ】** 実践活動－４
【内容・方法　等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践④
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成

第15回　**【授業テーマ】** 実践活動－５
【内容・方法　等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑤
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成

第16回　**【授業テーマ】** 実践活動－６
【内容・方法　等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑥
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成

第17回　**【授業テーマ】** 実践活動－７
【内容・方法　等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑦
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成

第18回　**【授業テーマ】** 実践活動－８
【内容・方法　等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑧
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成

第19回　**【授業テーマ】** 実践活動－９
【内容・方法　等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑨
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成

第20回　**【授業テーマ】** 実践活動－１０
【内容・方法　等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑩
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成

第21回　**【授業テーマ】** 実践活動－１１
【内容・方法　等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑪
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成

第22回　**【授業テーマ】** 実践活動－１２
【内容・方法　等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑫
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成

第23回　**【授業テーマ】** 実践活動－１３
【内容・方法　等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑬
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成

第24回　**【授業テーマ】** 実践活動－１４
【内容・方法　等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑭
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成

第25回　**【授業テーマ】** 実践活動－１５
【内容・方法　等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑮
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成

第26回　**【授業テーマ】** 実践活動－１６
【内容・方法　等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑯
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成

第27回　**【授業テーマ】** 実践活動－１７
【内容・方法　等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑰
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成

第28回　**【授業テーマ】** 実践活動－１８
【内容・方法　等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実⑱
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成

第29回　**【授業テーマ】** 実践活動－１９
【内容・方法　等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑲
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成

第30回　**【授業テーマ】** 最終報告（後期分）

評価方法（基準）

①参加日数、②実習報告書、③最終報告書、④受入機関からの調書、以上の４点を総合的に判断して評価する。

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　183　2014/08/21　14:45:25

教材等
　教科書…使用しない
　参考書…適宜紹介する
学生へのメッセージ
　青少年育成活動を通して、責任感・忍耐力・協調性・創造力を養うことで、自分のかけがえのない財産形成を行ってください。
担当者の研究室等
　７号館５階　（浅野研究室）
備考
　授業説明を4月15日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「就職実践基礎」
Preparation Program for Employment Examination

松　田　剛　典（マツダ　タケノリ）
亀　田　峻　宣（カメダ　タカノブ）
西　座　由　紀（ニシザ　ユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
　就職活動時の筆記試験対策（算数・数学）について学び、筆記試験を通過する実力をつけることを目標とする授業です。この講義では、3回生で実際の出題レベルの対策を行うために必要な、算数・数学の基礎を固めるための授業です。就職活動では、筆記試験で算数・数学に苦労する学生がとても多いですので、早めに対策をしておきましょう。算数・数学が苦手な学生や、大学に入って（もしくはそれ以前から）算数・数学に触れていない学生は特にお勧めします。
授業方法と留意点
　授業は実践形式で行います。問題を解き、解説するという流れになります。
　就職活動の筆記試験を通過する実力をつけることが目的です。講義に集中して参加し、毎回の講義問題や教科書の復習を行うことが必要になります。
科目学習の効果（資格）
　就職活動に必要な数学力のうち、特に基礎的な部分を身につける
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】** テスト
　【内容・方法　等】 実力確認テスト
　【事前・事後学習課題】 シラバス熟読
第２回　**【授業テーマ】** 数と計算
　【内容・方法　等】 四則演算・小数・分数
　【事前・事後学習課題】 四則演算を復習しておくこと
第３回　**【授業テーマ】** 方程式
　【内容・方法　等】 方程式
　【事前・事後学習課題】 方程式を復習しておくこと
第４回　**【授業テーマ】** 速度算
　【内容・方法　等】 速度の基礎
　【事前・事後学習課題】 文章題による速度算について復習しておくこと
第５回　**【授業テーマ】** 割合
　【内容・方法　等】 割合の基礎・濃度算
　【事前・事後学習課題】 文章題による割合について復習しておくこと
第６回　**【授業テーマ】** 分数問題
　【内容・方法　等】 仕事算・分割払い
　【事前・事後学習課題】 文章題による仕事算・分割払いについて復習しておく
第７回　**【授業テーマ】** 金銭問題
　【内容・方法　等】 損益算
　【事前・事後学習課題】 文章題による損益算について復習しておくこと
第８回　**【授業テーマ】** 場合の数・確率
　【内容・方法　等】 場合の数・確率
　【事前・事後学習課題】 文章題による場合の数・確率を復習しておくこと
第９回　**【授業テーマ】** テスト
　【内容・方法　等】 中間テスト
　【事前・事後学習課題】 2～8回目の範囲を事前に勉強しておくこと
第10回　**【授業テーマ】** 集合・領域
　【内容・方法　等】 集合の基礎・領域
　【事前・事後学習課題】 集合・領域を復習しておくこと
第11回　**【授業テーマ】** 表の読み取り
　【内容・方法　等】 表の読み取り
　【事前・事後学習課題】 表の読み取り問題を復習しておくこと
第12回　**【授業テーマ】** 論理
　【内容・方法　等】 命題・推論①
　【事前・事後学習課題】 命題について復習しておくこと
第13回　**【授業テーマ】** 論理
　【内容・方法　等】 推論②
　【事前・事後学習課題】 推論について復習しておくこと
第14回　**【授業テーマ】** 総復習
　【内容・方法　等】 総復習①
　【事前・事後学習課題】 全ての範囲を事前に勉強しておくこと
第15回　**【授業テーマ】** テスト
　【内容・方法　等】 最終テスト
　【事前・事後学習課題】 全ての範囲を事前に勉強しておくこと
評価方法（基準）
　小テスト40％、テスト（中間・期末）40%、授業態度10％、Smart SPI10%の割合で評価する。
教材等
　教科書…オリジナル教材を使用します。
　　また適宜Smart SPIの活用を指示します。
　参考書…算数・数学に関する本を読んでおくと参考になります。
　　（例：「小学校6年間の算数が6時間でわかる本」PHP研究所）
学生へのメッセージ
　7～8割の企業が就職活動で筆記試験を課すと言われています。早めの対策しておくと、受けることのできる会社が広がります。その一方、毎年多くの3回生が秋・冬から筆記試験対策を始め、他の就職活動が忙しく時間を勉強できないままです。早めに対策をしておきましょう。
　受講する以上は、講義に集中し、毎回復習して確実に問題を解けるようになってください。
関連科目
　キャリアデザインⅡ、インターンシップⅠ・Ⅱ
担当者の研究室等
　7号館3階　キャリア教育推進室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「就職実践基礎」
Preparation Program for Employment Examination

松　田　剛　典（マツダ　タケノリ）
亀　田　峻　宣（カメダ　タカノブ）
西　座　由　紀（ニシザ　ユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
　就職活動時の筆記試験対策（算数・数学）について学び、筆記試験を通過する実力をつけることを目標とする授業です。筆記試験で特によく使われるSPI非言語分野の全ての範囲を学習し、実際に出題された際に説き方がすぐに思い出せるように練習します。実践レベルの問題を解きますので、就職活動の準備の一環として受講をお勧めします。
授業方法と留意点
　授業は実践形式で行います。問題を解き、解説するという流れになります。
　就職活動の筆記試験を通過する実力をつけることが目的です。講義に集中して参加し、毎回の講義問題や教科書の復習を行うことが必要になります。
科目学習の効果（資格）
　就職活動に必要な数学力を身につける
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】** テスト
　【内容・方法　等】 実力確認テスト
　【事前・事後学習課題】 シラバス熟読
第２回　**【授業テーマ】** 数と計算
　【内容・方法　等】 四則演算・小数・分数
　【事前・事後学習課題】 四則演算を復習しておくこと
第３回　**【授業テーマ】** 方程式
　【内容・方法　等】 方程式
　【事前・事後学習課題】 方程式を復習しておくこと
第４回　**【授業テーマ】** 速度算
　【内容・方法　等】 速度の基礎
　【事前・事後学習課題】 文章題による速度算について復習しておくこと
第５回　**【授業テーマ】** 割合
　【内容・方法　等】 割合の基礎・濃度算
　【事前・事後学習課題】 文章題による割合について復習しておくこと
第６回　**【授業テーマ】** 分数問題
　【内容・方法　等】 仕事算・分割払い
　【事前・事後学習課題】 文章題による仕事算・分割払いについて復習しておく
第７回　**【授業テーマ】** 金銭問題

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　184　2014/08/21　14:45:25

【内容・方法　等】 損益算
【事前・事後学習課題】 文章題による損益算について復習しておくこと
第８回 【授業テーマ】 場合の数・確率
【内容・方法　等】 場合の数・確率
【事前・事後学習課題】 文章題による場合の数・確率を復習しておくこと
第９回 【授業テーマ】 テスト
【内容・方法　等】 中間テスト
【事前・事後学習課題】 2～8回目の範囲を事前に勉強しておくこと
第10回 【授業テーマ】 集合・領域
【内容・方法　等】 集合の基礎・領域
【事前・事後学習課題】 集合・領域を復習しておくこと
第11回 【授業テーマ】 表の読み取り
【内容・方法　等】 表の読み取り
【事前・事後学習課題】 表の読み取り問題を復習しておくこと
第12回 【授業テーマ】 論理
【内容・方法　等】 命題・推論①
【事前・事後学習課題】 命題について復習しておくこと
第13回 【授業テーマ】 論理
【内容・方法　等】 推論②
【事前・事後学習課題】 推論について復習しておくこと
第14回 【授業テーマ】 総復習
【内容・方法　等】 総復習①
【事前・事後学習課題】 全ての範囲を事前に勉強しておくこと
第15回 【授業テーマ】 テスト
【内容・方法　等】 最終テスト
【事前・事後学習課題】 全ての範囲を事前に勉強しておくこと

評価方法（基準）
小テスト40％、テスト（中間・期末）40%、授業態度10％、Smart SPI10%の割合で評価する。

教材等
教科書…オリジナル教材を使用します。
また適宜Smart SPIの活用を指示します。
参考書…その他SPIや玉手箱関連の問題集

学生へのメッセージ
7～8割の企業が就職活動で筆記試験を課すと言われています。早めの対策しておくと、受けることのできる会社が広がります。その一方、3回生の秋・冬から筆記試験対策を始めたものの、他の活動や行事が忙しく対策が出来ていないこともあります。早めに対策をしておきましょう。
受講する以上は、講義に集中し、毎回復習して確実に問題を解けるようになってください。

関連科目
コミュニケーション能力開発

担当者の研究室等
7号館3階　キャリア教育推進室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学とこの地域を学ぶ－北河内学－」
Introduction to University and Kitakawachi Region

福　田　市　朗（フクダ　イチロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
［授業概要］学部共通の入門科目として、摂南大学と大学が立地する「北河内地域」の地歴・環境・文化・産業や同地域内にある地方自治体の現状と課題、また、同地域に関係する各分野で活躍している団体や機関の人びとの活動を広範囲にわたって紹介する。［目的］摂南大学の学生として大学や地域に愛着を持てるようになり、学生生活の中で自分自身を見つける機会とする。また、地域貢献活動や地域社会での実践教育の動機付けとする。
［到達目標］摂南大学と北河内地域についての理解を深め、地域の一員としての意識向上と地域貢献活動への参画意識向上が図れる。

授業方法と留意点
摂南大学地域連携センター関係教員のほか、北河内地域（寝屋川市・枚方市・交野市・門真市）に関係する各分野で活躍している団体や機関の人びとが学外講師として参画し、オムニバス（リレー）形式による講義を行う。各時間内に質疑応答の時間を設け、毎回、時間内に小レポートを提出。

科目学習の効果（資格）
自分自身が学ぶ摂南大学の歴史を知り、また、地域で活躍する人びとの人生観に触れ、大学と地域に愛着を持ち学生生活の中で自分自身を見つける機会となり地域貢献活動への関心が高まり活動への動機付けが図られる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 摂南大学とこの地域を学ぶ「北河内学」
【内容・方法　等】 本講義のねらいと学び方について解説した後、摂南大学と本学を設置する常翔学園の歴史を紹介し、併せて摂南大学の教育の理念を紹介する。また、本学と地域社会との関わり合いについての概要を説明する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：摂南大学の自校史集やホームページ、図書館を活用して、大学の歴史や教育の理念などについて理解を深めること。
第２回 【授業テーマ】 北河内の地歴と文化を学ぶ（１）
【内容・方法　等】 北河内地域の地理・歴史や文化について講義する。地元の研究家が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：北河内地域の全域と7つの市の特色を、各市のホームページなどを活用して調べ、北河内に関する理解を深めること。
第３回 【授業テーマ】 北河内の地歴と文化を学ぶ（２）
【内容・方法　等】 淀川とその流域の北河内地域の地理・歴史や文化について講義する。地元の研究家が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、図書館を活用するなど淀川とその流域の地理・歴史や文化について理解を深めること。
第４回 【授業テーマ】 北河内の地歴と文化を学ぶ（３）
【内容・方法　等】 都市（寝屋川市）と地方（和歌山県すさみ町）の連携をはかる取り組みを紹介し、両者が共存共栄するための考え方と具体的な施策について地元の方が解説する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：寝屋川市と協定を結んでいる和歌山県すさみ町との協働事業について、それぞれのホームページを参照し、調べてみる。
第５回 【授業テーマ】 北河内のすがたを知る（１）寝屋川市
【内容・方法　等】 寝屋川市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と寝屋川市を見比べるほか、図書館を活用するなど寝屋川市の現状と課題について理解を深めること。
第６回 【授業テーマ】 北河内のすがたを知る（２）枚方市
【内容・方法　等】 枚方市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と枚方市を見比べるほか、図書館を活用するなど枚方市の現状と課題について理解を深めること。
第７回 【授業テーマ】 北河内のすがたを知る（３）交野市
【内容・方法　等】 交野市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と交野市を見比べるほか、図書館を活用するなど交野市の現状と課題について理解を深めること。
第８回 【授業テーマ】 北河内のすがたを知る（４）門真市
【内容・方法　等】 門真市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と門真市を見比べるほか、図書館を活用するなど門真市の現状と課題について理解を深めること。
第９回 【授業テーマ】 北河内で活躍する人びとや団体を知る（１）
【内容・方法　等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
第10回 【授業テーマ】 北河内で活躍する人びとや団体を知る（２）
【内容・方法　等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
第11回 【授業テーマ】 北河内で活躍する人びとや団体を知る（３）
【内容・方法　等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
第12回 【授業テーマ】 北河内で活躍する人びとや団体を知る（４）
【内容・方法　等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもと

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　185　2014/08/21　14:45:26

に、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。

第13回 【授業テーマ】 北河内で活躍する人びとや団体を知る（5）
【内容・方法 等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。

第14回 【授業テーマ】 北河内で活躍する人びとや団体を知る（6）
【内容・方法 等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。

第15回 【授業テーマ】 北河内の産業を知る
【内容・方法 等】 北河内地域での産業活動の具体例について講義する。地元の北大阪商工会議所や寝屋川市工業会の役員が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、関係するホームページや図書館を活用するなどして産業活動を再確認し理解を深めること。

評価方法（基準）
毎回の講義の最後に行う小テスト・レポート（７５%）に加えて、講義全体に関して課せられるレポート課題（２５%）を総合して評価する。

教材等
教科書…必要に応じてハンドアウト（プリントされた講義資料）を配付する。
参考書…摂南大学の自校史集。
毎回の講義ごとに適切な書籍を指示するので、興味がある内容のものを購入して読んでほしい。

学生へのメッセージ
毎回必ず出席してください。地域で活躍されている各分野のいろいろな人の話を聞くことで、摂南大学と地域が密接につながっていること、そして自分もこの地域とのつながりを大切にすることの意義がわかるようになり、自信を持って本学での勉学に励むことができるようになります。
なお、本講義は地域で活躍されている方々の協力のもとに行われます。講師に対する礼を逸することなく、私語を慎み、遅刻しないように心がけてください。

関連科目
地理、歴史、文化、経済、産業などに関する教養科目

担当者の研究室等
１１号館７階　福田教授室

備考
学外講師の事情により、授業計画の順序を変更することがあります。
学外講師の関係者が聴講することがあります。
また、授業の様子をカメラ・ビデオで撮影することがあります。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「健康科学」
Health Science

藤　林　真　美（フジバヤシ　マミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
我が国では、交通手段の発達や家事の自動化等により身体活動量が著しく低下しており、さらに食生活の欧米化等も影響して、生活習慣病にかかる人口は増加の一途をたどっている。一方で、うつ病等にかかる人口も激増しており、メンタルヘルスの保持増進も重要課題となっている。
本講義では、学生諸君が在学中のみならず生涯にわたり心身の健康を維持・増進するため、健康に関して科学的な裏付けに基づいた知識を幅広く身につけ、講義内容を実践できる能力を身につけることを目的とする。
学科の学習・教育目標との対応：工学部[A], 理工学部［II］

授業方法と留意点
レジュメを配布する。

科目学習の効果（資格）
健康に関する基礎知識を理解し、実生活に応用することができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 日本人の健康に関する現状を把握し、本講義の意義について述べる。
【事前・事後学習課題】 配布資料

第２回 【授業テーマ】 健康づくりの三本柱
【内容・方法 等】 健康づくりのための三本柱とされている「運動」「栄養」「休養」と、その相互作用について解説する。学生諸君は自身の生活について振り返り、改善すべき点があるか検討する。
【事前・事後学習課題】 配布資料

第３回 【授業テーマ】 身体の生理機能
【内容・方法 等】 食べたものはどこへいくか？吸った酸素はどこでどんな作用をするか？
生体の生理について復習する。
【事前・事後学習課題】 配布資料

第４回 【授業テーマ】 運動トレーニングが肥満対策になる所以
【内容・方法 等】 メタボリック症候群の定義、その温床にある内臓肥満について解説する。また肥満、糖尿病、脂質異常症など生活習慣病について解説し、その予防になぜ運動トレーニングが効果的なのか、最新の知見と関連させて解説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料

第５回 【授業テーマ】 運動トレーニングで何が変わるか？
【内容・方法 等】 運動トレーニングにより、筋力増強、持久力向上、骨代謝、エネルギー代謝などが改善される。それらのメカニズムについて解説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料

第６回 【授業テーマ】 どんな運動（種類・時間・頻度）が健康によいのか？
【内容・方法 等】 第5回で解説した運動トレーニングの効果は、運動方法によってその作用が異なる。肥満解消、筋力増大、骨の増強など目的に応じたトレーニング方法について解説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料

第７回 【授業テーマ】 基礎栄養学
【内容・方法 等】 各栄養素の種類や機能について解説する。日ごろの食生活を振り返り、改善すべき点があるか否か検討する。
【事前・事後学習課題】 配布資料

第８回 【授業テーマ】 食生活と健康
【内容・方法 等】 前回の内容を踏まえ、望ましい食事について「食事バランスガイド」に基づいて解説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料

第９回 【授業テーマ】 ダイエット計画
【内容・方法 等】 近年、性別や年齢による身体の見た目や中身（体重や体脂肪率など）の違いが明らかになっている。この違いを理解したうえで、望ましいダイエット方法について解説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料

第10回 【授業テーマ】 女性の健康・男性の健康
【内容・方法 等】 性別による身体的特徴と性ホルモンの作用、さらに男女それぞれの加齢変化も踏まえて解説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料

第11回 【授業テーマ】 ストレスマネジメント
【内容・方法 等】 近年増加しているうつ病について概説し、うつ病やメンタルヘルス、ストレス対策として運動が有効なのか、最新の知見を紹介しながら解説する。
また他の精神障害についても概説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料

第12回 【授業テーマ】 睡眠
【内容・方法 等】 睡眠がどのような役割を果たしているか解説する。日ごろの睡眠について振り返り、改善すべき点があるか否か検討する。
【事前・事後学習課題】 配布資料

第13回 【授業テーマ】 アルコールと喫煙、薬物、性感染症
【内容・方法 等】 アルコールやタバコ、薬物が身体にどのように影響を及ぼすか解説する。またHIVなど性感染症についても解説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料

第14回 【授業テーマ】 高齢者の介護予防と運動
【内容・方法 等】 わが国は超高齢化社会となり、今後さらに高齢者人口が増大することが見込まれている。運動がなぜ介護予防に効果的なのか、解剖学・生理学の立場から解説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料

第15回 【授業テーマ】 総括
【内容・方法 等】 本講義の総括と、健康に関する諸問題について考える。
【事前・事後学習課題】 配布資料

評価方法（基準）
期末試験50%、レポート30%、授業態度20%の割合で評価する。

教材等
教科書…特に指定しない
参考書…スポーツサイエンス入門、田口貞善編著、丸善

学生へのメッセージ
皆さんが将来、知的職業人として社会で活躍するためには、まず心身の健康の保持増進が大切です。健康科学の基本を理解して、心身のセルフマネジメントができるようになることを希求します。

関連科目

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd 186 2014/08/21 14:45:26

スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ、生涯スポーツ実習

担当者の研究室等

総合体育館１階　藤林研究室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「マーケティングと歴史」

Marketing and History

武　居　奈緒子（タケスエ　ナオコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

この講義では、マーケティングを歴史的に考察することを目的としています。特にマーケティングの発想を踏まえ、呉服商の経営活動について説明していきます。

授業方法と留意点

講義形式を基本としますが、実態分析にも力を入れます。

科目学習の効果（資格）

マーケティング的発想で社会を見る眼が養えます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　ガイダンス
【内容・方法　等】　マーケティングについて解説していきます。
【事前・事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。

第２回　**【授業テーマ】**　製品政策
【内容・方法　等】　ヒット商品はどのようにして作られるのかについて考えます。
【事前・事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。

第３回　**【授業テーマ】**　価格政策
【内容・方法　等】　価格の設定方法について考えます。
【事前・事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。

第４回　**【授業テーマ】**　流通チャネル政策
【内容・方法　等】　商品はどのような経路をたどって販売されるのかについて考えます。
【事前・事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。

第５回　**【授業テーマ】**　販売促進政策
【内容・方法　等】　商品のアピールの仕方について考えます。
【事前・事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。

第６回　**【授業テーマ】**　マーケティングのＳＴＰアプローチ
【内容・方法　等】　市場細分化について考えます。
【事前・事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。

第７回　**【授業テーマ】**　消費行動
【内容・方法　等】　消費者の購買意思決定過程について考えます。
【事前・事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。

第８回　**【授業テーマ】**　マーケティングの歴史的研究と三井越後屋
【内容・方法　等】　マーケティングにおける歴史的研究と三井越後屋の商法について説明していきます。
【事前・事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。

第９回　**【授業テーマ】**　呉服商の流通機構
【内容・方法　等】　呉服商の流通機構について、概説していきます。
【事前・事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。

第10回　**【授業テーマ】**　越後屋の仕入機構（１）
【内容・方法　等】　三井越後屋の絹の仕入機構について、説明していきます。
【事前・事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。

第11回　**【授業テーマ】**　越後屋の仕入機構（２）
【内容・方法　等】　三井越後屋の木綿の仕入機構について、説明していきます。
【事前・事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。

第12回　**【授業テーマ】**　いとう松坂屋、大丸屋の仕入機構
【内容・方法　等】　いとう松坂屋や大丸屋の仕入機構について、概説していきます。
【事前・事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。

第13回　**【授業テーマ】**　呉服商から百貨店へ
【内容・方法　等】　呉服商から百貨店への変遷について概説します。
【事前・事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。

第14回　**【授業テーマ】**　百貨店業態の成立
【内容・方法　等】　百貨店について、説明していきます。
【事前・事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。

第15回　**【授業テーマ】**　まとめ
【内容・方法　等】　全体のまとめをします。
【事前・事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。

評価方法（基準）

期末テストの成績70％、授業内課題30％

教材等

教科書…講義時に指示します。
参考書…その都度、指示します。

学生へのメッセージ

授業で提示される問題・課題に真摯に取り組みましょう。

関連科目

マーケティング論

担当者の研究室等

武居教授室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「武道論」

Theory of Budo

横　山　喬　之（ヨコヤマ　タカユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

「武道とは何か」、「なぜ今武道なのか」等、現代における武道の特性などを概説し、現状と課題について検討していく。
また、武道の特性が理解でき、日本人の行動様式やものの考え方についても知ることができることを一般的な目標とする。
学科の学習・教育目標との対応：工学部[A]，理工学部［II］

授業方法と留意点

講義形式で授業を進める。

科目学習の効果（資格）

武道の特性を理解することができる。また、伝統的な行動様式を学ぶ中から現代にない思考力が育まれることを期待する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　ガイダンス
【内容・方法　等】　授業内容の説明と武道について
【事前・事後学習課題】　武道について調べてくる

第２回　**【授業テーマ】**　武道とは何か
【内容・方法　等】　武道の意味や言語について概説する
【事前・事後学習課題】　武道にはどのような種目があるのか調べる

第３回　**【授業テーマ】**　武道と武術について
【内容・方法　等】　武道と武術の違いについて
【事前・事後学習課題】　武芸十八般について調べてくる

第４回　**【授業テーマ】**　武道（柔道）
【内容・方法　等】　柔道について
【事前・事後学習課題】　柔道について調べ内容をまとめる

第５回　**【授業テーマ】**　武道（剣道）
【内容・方法　等】　剣道について調べ内容をまとめる
【事前・事後学習課題】　剣道について調べ内容をまとめる

第６回　**【授業テーマ】**　武道（弓道・相撲）
【内容・方法　等】　弓道・相撲について
【事前・事後学習課題】　弓道・相撲について調べ内容をまとめる

第７回　**【授業テーマ】**　武道（空手・合気道）
【内容・方法　等】　空手・合気道について
【事前・事後学習課題】　空手・合気道について調べ内容をまとめる

第８回　**【授業テーマ】**　武士道から見る日本人の道徳心①
【内容・方法　等】　武士道とは何か
【事前・事後学習課題】　著者・著作にいたる背景を調べまとめる

第９回　**【授業テーマ】**　武士道から見る日本人の道徳心②
【内容・方法　等】　武士道の道徳心について
【事前・事後学習課題】　武士はどのような道徳を持ち生活していたか調べまとめる

第10回　**【授業テーマ】**　武士道から見る日本人の道徳心③
【内容・方法　等】　武士道の道徳心について
【事前・事後学習課題】　武士はどのような道徳を持ち生活していたか調べまとめる

第11回　**【授業テーマ】**　武道と修行
【内容・方法　等】　武道における修行について
【事前・事後学習課題】　修行とは何かを調べまとめる

第12回　**【授業テーマ】**　武道の国際化
【内容・方法　等】　武道の国際化について
【事前・事後学習課題】　武道がどのように世界に普及したか調

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　187　　2014/08/21　14:45:26

べまとめる
第13回　【授業テーマ】　武道の身体技法①
【内容・方法　等】　武道特有の身体技法について
【事前・事後学習課題】　武道の身体技法とは何か調べまとめる
第14回　【授業テーマ】　武道の身体技法②
【内容・方法　等】　実際の身体技法を行う（総合体育館）
【事前・事後学習課題】　武道の身体技法とは何か調べまとめる
第15回　【授業テーマ】　武道論総括（テスト）
【内容・方法　等】　１４回まで行った授業の内容に関してテストを行う
【事前・事後学習課題】　これまでの授業の復習

評価方法（基準）
出席率75%以上のものを試験資格者とする。遅刻は2回で１回の欠席と同等とみなす。（遅刻は授業開始から30分以内に入室したことをいう）
武道論総括(15回目)におけるテストを100％の割合で評価を行う。
(ただし、上記の出席率を満たした者のみを評価対象者とする。)

教材等
教科書…特に指定はしない。
参考書…中村民雄　『今、なぜ武道か』　日本武道館　2007
藤堂良明　『柔道の歴史と文化』　不昧堂出版　2007
村田直樹　『柔道の国際化《その歴史と課題》』　日本武道館　2012
『嘉納治五郎』　筑波大学出版会　2011

学生へのメッセージ
質問等がある場合には、横山講師室に来てください。

関連科目
スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ
生涯スポーツ実習
健康論
保健論

担当者の研究室等
総合体育館１F横山講師室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningⅠ

本　多　友　常（ホンタ　トモツネ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標
和歌山県すさみ町旧古座街道沿に位置する佐本地区集落一帯をコンパクトヴィレッジとして捉え、集落環境を特徴付けている文化的景観要素を収集し、過疎高齢化集落とその周辺域の優れた文化的景観を守りつつ、未来に向けて持続可能な社会的・空間的環境整備の可能性を探索する。

授業方法と留意点
地域資産である景観構成要素の探索とそれに引き続く実測、情報収集、コミュニティ活動参加を通して、住民との交流、話し合いを進めていく。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
すさみ町佐本地区を中心とした、集落空間の魅力（地域資産としての景観要素）発見に向けた調査・探索を行う。その後集落内の住民の方々を訪問し、自分たち学生の目から見て不思議なこと、面白いことについて教えていただき、昔の暮らしや今の生活、伝承や史跡などさまざまな事柄を記録する。
また集落生活の課題について、住民との交流ワークショップ、集落コミュニティ活動参加を介して地域資産の持続性について意見交換と考察を行い、文化的景観の持続性にむけた課題発見能力の向上を目指す。

評価方法・評価基準
フィールドノートのまとめ30%
ヒアリング内容のまとめ30%
発表40%

教材等
教科書…なし
参考書…すさみ町誌編さん委員会「すさみ町誌　上巻」昭和53年8月10日
すさみ町誌編さん委員会「すさみ町誌　下巻」昭和53年8月10日
すさみ町役場　地域未来課「広報すさみ」
大己小学校育友会「谷間の光　大己小学校沿革」(1971年)、
佐本小学校百周年事業実行委員会「創立百周年記念誌　学び舎の想い出」昭和54年3月1日
石垣が語る風土と文化－屋敷構えとしての石垣
紀伊続風土記

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningⅠ

鳥　居　祐　介（トリイ　ユウスケ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標
＜寝屋川市と米国ニューポートニューズ市の姉妹都市交流支援プロジェクト＞を企画、運営するPBL授業です。NPO法人寝屋川市国際交流協会(NIEFA)とタイアップして、寝屋川市と姉妹都市提携関係にある米国ニューポートニューズ市との市民レベルの国際交流を支援し、市の国際化と経済振興に貢献することがプロジェクト全体の目標です。2014年度は、NIEFAが運営するイベント「新天地in Neyagawa」におけるニューポートニューズ市の学生マーチングバンド招聘公演を成功させることがプロジェクトの中心となる予定です。
・地域の非営利団体、自治体、企業、そして大学の相互連携について学び、社会人に相応しいコミュニケーション能力を身につけることが全履修者に共通の目標です。また各自の業務を通じて、アメリカ合衆国に関する知識や実践的な英語コミュニケーション能力を高めたり、イベント運営や広告営業の実地経験を積むことも目標にします。

授業方法と留意点
・年度を通じて定期ミーティングを行い、NIEFAスタッフの方々の協力を得ながら活動します。特に忙しくなるのは米国ニューポートニューズ市からの訪問団が来日する10月の前後になります。
・多様な関心分野、得意分野を持った学生の履修を期待しています。たとえば、
(1) 国際交流に関心があり、日本語を話せない外国人を相手に物怖じせず、簡単な英語でコミュニケーションがとれる人、またはとれるように努力する意欲のある人。訪問団の世話や案内をする人が必要です。
(2) アメリカ合衆国の一つの都市について詳しく学ぶことに興味のある人。翻訳に興味のある人。ニューポートニューズ市について学んで日本語で情報発信したり、寝屋川市のことを先方に英語で発信する人が必要です。
(3) イベントの企画運営や広告営業を経験し、社会人として働く力を高めたい人。履修者には「新天地」イベント全体を成功に導くスタッフとしての役割も期待されています。教室を離れて仕事の現場に飛び込む行動力のある人が必要です。
(4) ウェブ制作やプレゼン資料作成、チラシ、ポスター等印刷物のデザインに興味のある人。情報発信のための技能を持った人が来てくれると助かります。
(5) 協調性があるだけでなく、リーダーシップもとれる人。PBLは、学生が主体となって進めるものです。教員は、英語および翻訳の指導や事務処理についてのアドバイスをしますが、NIEFAスタッフから現場の要望を聞いて具体的な活動の中身を考え、実行し、フィードバックを受けて改善していくのは受講生の皆さん自身です。細かいプロジェクトごとにリーダーを決め、連絡を取り合いながらチームで動き、活動内容を定期的に教員に報告してもらいます。
以上、どれか一つでも当てはまる人はぜひ履修を検討してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
4月～5月中に数回のミーティングをNIEFAスタッフを交えて行い、いくつかの優先すべき活動内容を決めてそれぞれリーダーを選出し、活動に入ります。ニューポートニューズ市からバンドを含む訪問団が来日し、イベントが行われるのは10月です。それ以降は活動報告をまとめ、情報発信する作業が中心になります。

評価方法・評価基準
月ごとの活動報告や、活動現場での取り組み姿勢をみて総合的に評価する。

教材等
教科書…プリント教材
参考書…授業中に指示する

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningⅠ

紙　　博　文（カミ　ヒロフミ）
岩　坪　加　紋（イワツボ　カモン）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標
映画製作（ー摂南大学と地域連携ー）
タイトル：「空へ」

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　188　2014/08/21　14:45:26

目的は、20分～30分の短編映画を製作することである。ストーリー（案）を学生諸君で吟味して、それを基に学生が下記の作業を主体的に担う。
脚本、演出、出演、撮影、編集、音楽・作曲・演奏、効果、美術、ロケハンティング等、また、各公的機関、企業との交渉が必要であり、映画製作を通してそのための資質も磨かれる。短編映画ではあるが、かなりの作業量が求められためその覚悟が必要である。

授業方法と留意点

打ち合わせ、確認、交渉、各連絡等、チームワーク、フットワーク、スマートさ、スピードさが求められる。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

各自に与えられた役割分担をすみやかにこなすこと。映画製作は総合芸術であるからひとつひとつの作業を確認しておかねば前には進まないことに留意されたい。

評価方法・評価基準

どれだけ真剣にチームワークよく取り組めたか、努力したかで評価する。

教材等

教科書…なし
参考書…なし

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based Learningl

牧　野　幸　志（マキノ　コウシ）
久　保　貞　也（クボ　サダヤ）
山　本　圭　三（ヤマモト　ケイゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

調査分析に基づいて、地域産業の発展の可能性や地域住民の需要を科学的に明らかにする。その上で、地域を起点とした事業計画を立案し、その実現に向けて、地域内外の企業・団体や国内外の協力団体との交渉、および、コンテストなどへの参加を行う。そして、得られた経営資源を基に事業を実施し、それによってどのような変化、影響をもたらせたかを分析し、今後の活動について考える。
学科の学習・教育目標との対応：工学部[A], 理工学部［II］

授業方法と留意点

「地域！」
これまでのPBLプロジェクトで集めたアンケートデータや自治体などから提供されるデータ、および、このプロジェクトで企画するアンケート調査などを用いて、地域の期待や要望を浮かび上がらせる。そのために、統計解析の理論とソフトウェアの利用技術を習得し、実践的な分析能力を身につける。
「事業！」
地域を起点として、地域ブランドの普及や既存製品、技術の新しい組み合わせ、または、ITの活用などによる学生視点のビジネスモデルと事業計画を策定する。そして、ビジネスプランコンテストへの応募や、公的団体、民間団体などへプレゼンテーションを行い、事業計画のブラッシュアップと経営資源の獲得を目指す。
「変化！」
上記の活動を通じて得られた経営資源の制約下で、事業計画を再編して、事業の実施に着手する。具体的には、地域プロモーションサイトの構築、ICTによるモールの実験、今後の展開に向けた調査・研究などが考えられる。これらの活動を通して、自分たちの活動が地域や世界にどのようなインパクトを与えられるか、また同時に、自分たちの学びの姿勢や考え方がどのように変化したかについて振り返る。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

テーマ：地域！事業！変化！
－地域を起点に事業を起こし、世界と自分に変化をもたらす－
内容：
（1）市場分析のためのデータ解析技術の習得
（2）地域に関するデータの収集・整理
（3）データ分析の実践
（4）企画提案に関する技法の習得
（5）ビジネスモデルの策定
（6）事業計画のプレゼンテーション
（7）事業実施のための資源獲得
（8）実施結果の分析
方法：月２，３回程度、平日の午後以降に行う（授業時間の空きで調整）。また、その他に講演会や見学会などを年２，３回予定している（開催は土曜日や特別教育期間など）。主な活動場所は、情報処理室、教員の研究室、ゼミ室、および、地域の公共施設などである。

評価方法・評価基準

参加による気づき、活動への姿勢、成果などを総合的に評価する

教材等

教科書…特になし
参考書…適宜指定する（プロジェクト予算などで購入）

備考

履修については、昨年度までのPBLプロジェクトやゼミ活動、課外活動などで地域での活動経験を有する学生を想定しています。卒業研究や調査実習を見据えた参加希望も歓迎します。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based Learningl

石　田　裕　子（イシダ　ユウコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

概要：寝屋川市立池の里市民交流センターでの子どもたちへの環境学習支援に、学生が企画・実施担当として関わることで、市民ボランティアと子どもをつなぐ架け橋となることを目指す。5年目の今回は、天若湖アートプロジェクトに参加し、天然アユ復活をモチーフとした淀川水系の流域連携活動を行う。
目的：池の里市民交流センターの活動に関わり、子どもへの環境学習支援を行う。天若湖アートプロジェクトへの参加を中心に、淀川水系での流域連携を向上させる。
達成目標：地域の子どもたちの環境学習支援プログラムの企画・実践の手法を体得する。また、流域連携活動を通じて、淀川水系を中心とした環境保全と河川管理について問題を理解するとともに、その解決策について考察する。特に、淀川水系での天然アユ復活を題材に学習を進める。プロジェクト全体を通して、世代を超えた人々と交流することでコミュニケーション力を学び、自分たちで企画・実践する力を身につける。

授業方法と留意点

連携内容・方法：池の里市民交流センターでは、環境学習支援の補助から始め、学生たち自身による企画と実践を行う。天若湖アートプロジェクト実行委員会に所属し、淀川水系内の市民団体や行政機関と連携し、活動を実施する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業テーマ：寝屋川市における環境学習支援と淀川水系を中心とした流域連携プロジェクト
内容：
１．寝屋川市立池の里市民交流センターにおける環境学習支援
２．水辺再生を中心とした環境学習の実施
３．淀川水系を中心とした流域連携イベントの企画・実践
４．天若湖アートプロジェクトにおけるイベントの企画・実践
５．天然アユ復活プロジェクトの学習
６．いい川・いい川づくりワークショップでの発表
方法：授業のうち半分（月1回）は原則として平常授業期間内の土曜日2・3限に行い、主として午前中は学内のゼミ室において、石田が資料を用いて講義をし、午後は池の里市民交流センターにおける自然体験学習室の活動に参加して、地域ボランティアおよび子どもたちと接して、必要な知識・技術を習得する。9月と12月に予定している子ども教室において、自分たちで企画した環境学習プログラムを実施する。他の半分（月1回）は、学外の流域連携イベントに参加し、流域問題について学習する。特に、天若湖アートプロジェクトを中心に、淀川水系での流域連携を行う。学外発表の場として、近畿水環境交流会（7月）、天若湖アートプロジェクト（8月）、いい川・いい川づくりワークショップ（9-11月）を予定し、各活動段階における成果発表を行い、自己評価および外部評価を受けることで活動内容を振り返り、次の活動に向けてステップアップを図る。作業の実施に当たっては、理工学部都市環境工学科生態環境学研究室、および文化会エコシビル部の協力を得る。天若湖アートプロジェクト実行委員会より外部講師を招き、事前学習を行う。また、本学園ＯＢである、大阪理化株式会社社長、前田富久児氏の指導も受ける予定である。授業および活動スケジュールは、学校行事等の関係で受講者と相談の上、変更することがある。
事前事後学習課題：内容ごとに参考資料を配布するので、熟読しておくこと。また、前期・後期末にレポートを作成し、年度末にプレゼンテーションを課す。

評価方法・評価基準

授業（イベントを含む）に積極的に参加し、水辺環境の再生および流域連携活動に加わること。(60%)
水辺再生・流域連携の意義を正しく理解し、それを他者に伝えられること。(40%)

教材等

教科書…特になし
参考書…特になし

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd 189 2014/08/21 14:45:26

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningⅠ

橋　本　正　治（ハシモト　マサハル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

テーマ：過疎地域におけるグリーンエネルギー活用プロジェクト

概要・目的：グリーンエネルギーを利用した過疎地域自立活性化に利用出来るマイクロ水力発電装置や太陽光利用温水設備などを過疎地域（和歌山県すさみ町）の住民・行政に提案し、試作した装置の稼働実験を行い、過疎地域における生活環境の改善について評価を行う（継続テーマ）。本年度はこれまでの活動で得た成果をもとに災害時にも対応できる生活支援装置・設備（移設可能なトイレや厨房設備）の開発を行う。

学科の学習・教育目標との対応：工学部[A]，理工学部［II］

授業方法と留意点

学内活動：通年　週１回程度ミーティングを行いグループごとに活動内容を報告する

　現地での活動に向けて装置（ボイラやバーナーなど）や電気機器（ソーラー照明）の製作

現地活動：年5回程度　週末および夏期休業期間など

　基本的にバスで移動のため交通費不要。食費のみ必要。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業計画：

4月：テーマの情報教共有（昨年度までの成果の説明）と本年度の目的に沿った開発プロジェクトのテーマ設定

5月：現地調査とテーマの修正と具体的な開発設備・機器の決定

　大学にて概念設計、詳細設計、工程設計、必要素材の調達、加工を行う。

　大型装置・設備については現地で加工組み立て

7月：現地で加工、施工、組み立て開始

8月：装置・設備の完成

　試作装置・設備による実験評価

9月：実験結果の考察と改良

　改良した装置について評価実験・考察

11月：現地あるいは大学で再実験

　実験結果の考察と改良

2月3月：最終実地評価と報告

評価方法・評価基準

活動への参加が最低限の条件となる

活動状況、活動結果、プレゼンなどで評価する

教材等

教科書…なし

参考書…なし

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningⅠ

一　色　美　博（イツシキ　ヨシヒロ）
小　川　直　樹（オガワ　ナオキ）
丸　山　隆　三（マルヤマ　リュウゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

［授業概要・目的］

ミニ鉄道プロジェクトとして，レール幅3.5，5インチのミニ鉄道を製作し，運転会などの運営を行う．

蒸気機関車，電気機関車や客車の製作に加えて，軌道，鉄橋，駅舎なども製作し，イベント会場や小学校などで運転会を催す．また，運転会では製作過程や駆動原理などの展示も加え，参加者のものづくりへの関心を高める．

［到達目標］

蒸気機関車や鉄道施設などの製作を通して，ものづくりの技術を能動的に習得する．

授業方法と留意点

週１回のミーティングでプロジェクトの企画，運営，製作についての計画や進捗状況の報告を行います．加えて，皆さんが決定する時間割にしたがってテクノセンターで製作や技術の習得を行います．

この科目では，能動的に活動できる能力を培うことが大きな狙いです．与えられた課題に対して全貌を把握した上で計画を作り，その計画を確実に実行する姿勢を学んでください．与えられた環境，条件のもとで，工夫して自律的に課題を達成できる能力は社会人として必須の力です．この授業で「指示待ち」から「自ら行動する」姿勢を学んでください．

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

本年度はレール幅５インチの蒸気機関車の製作を継続するとともに運行イベントの企画・運営を行う．

１．教員の指導の下に目標と計画を作る．

２．計画に従って，技術指導を受けながら蒸気機関車，鉄道施設を製作する．

３．計画からの遅れには対策を講じる．

４．製作時に利用する金属材料，工作機械，工作方法などについては図書館で調べ知識を確かなものとする．

５．運行イベントの企画・運営を計画し，実施する．

６．計画，進捗状況，調査結果等をミーティングで報告する．

評価方法・評価基準

プロジェクトの実施計画や進捗状況の把握程度，プロジェクト推進に対する貢献度および製作技術習得時の能動的態度について，ミーティングでの報告や作業時の態度で評価する．

教材等

教科書…なし

参考書…なし

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningⅠ

浅　野　英　一（アサノ　エイイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

①調査：地域で予定されているプロジェクトを調査し、実現可能を探る。

②企画：具体案を立て、評価（実現可能性、コスト、実施期間、有効性）を行い、詳細な実施計画を立てる。

③関連する団体に企画をプレゼンテーションし、プロジェクトの妥当性を評価する。

④実施：実施計画に従いプロジェクトを実施する。途中に実施状況を関連機関に報告し計画の修正を行う

⑤結果報告：プロジェクトの終了時に関連機関に実施結果と次年度以降でのプロジェクトの展開について報告を行う。

授業方法と留意点

プロジェクトの実施地は、和歌山県西牟婁郡すさみ町です。活動にかかる交通手段は、バスを大学でチャーターして移動します。宿泊は、摂南大学すさみ町活動拠点（廃校になった小学校の校舎）を使うため宿泊費用は発生しません。プロジェクト実施については、調査状況に基づき事前に学内で協議して現地活動を行います。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

すさみ町の過疎地域活性について、①農業分野のキャベツ・プロジェクト、②畜産分野のイノブタソーセージ・プロジェクト、③観光分野の自然体験学習型キャンプの３つを同時に行います。

評価方法・評価基準

レポート、参加態度を総合的に評価する。

教材等

教科書…特に無し。

参考書…特に無し。

備考

履修登録をする前に、必ず、活動内容を問い合わせ、相談してから履修して下さい。問い合わせ・相談をせずに履修登録をした場合、登録を取り消すことがありますので注意してください。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningⅠ

黒　澤　敏　朗（クロザワ　トシロウ）
山　本　圭　三（ヤマモト　ケイゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

目的：「交野市の活性化」のプランを創ります。

概要：休耕田を利用した「そば」栽培の体験などをもとに、交野市の特産品を企画・提案します。

到達目標：独自の計画案作成のプロセスを通じて、多くの人々とのコミュニケーションや、各自のもつ知識の活用ができるようになることです。

学科の学習・教育目標との対応：工学部[A]，理工学部［II］

授業方法と留意点

１．連携先の関係者・グループとの意見交換を通じて、課題を明確にします。

２．交野市の住民へのヒアリングとアンケート調査を行います。

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　190　2014/08/21　14:45:27

３．他の地域の活性化プロジェクトの現状を調査します。
４．独自の特産品を企画し、イベントなどで試作したものを公開し、市民からの評価を受けます。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

１．集団意思決定のための技術の習得
ＫＪ法をはじめとする各種の意思決定、創造性開発の技法の演習を授業期間中に学内で行います。
２．アンケート調査の方法の習得
経営情報学科で開講する「市場調査」に関わる科目を受講します（他学科の学生も同様）。
３．農業産品とその加工、販売方法（６次産業化）に関する知識の習得
夏休みを利用して、先進的な地域・プロジェクトの見学を行い、知識の拡大を図ります。
４．地域特産品に関する知識・情報の収集
先進的な地域の特産品の調査を行います。

評価方法・評価基準

グループ作業が中心となるため、個人ごとの評価は簡単ではありませんが、諸活動への「参加度（回数、活動意欲、結果への貢献度、など）」をもとに評価します。

教材等

教科書…とくに指定しません。
参考書…入門書として役立つ、新書などを紹介します。

備考

毎週金曜日に定例のミーティングを行いますが、テーマの性質上、それ以外にも土曜日と日曜日の数日を使用して活動します。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based Learning

久　保　貞　也（クボ　サダヤ）
針　尾　大　嗣（ハリオ　ダイジ）
牧　野　幸　志（マキノ　コウシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

大学との関係がある自治体、公的団体に直接出向き、自分の感覚を使って地域を感じとる。
地域について見聞きし、調べ、そこで行われている活動を通じて、その地域が抱える課題やチャンスを発見する。そして、その課題解決へのチャレンジやチャンスを活かして地域と自分が共に発展する活動について考える。
学科の学習・教育目標との対応：工学部[A]，理工学部［II］

授業方法と留意点

「地域に行く」
摂南大学の卒業生が勤務している自治体や、連携協定を結んでいる自治体・公的団体への見学会を行い、魅力ある地域資源や取り組みなどを体験的に学ぶ。また、複数の地域を訪れることで、地域間の差異や共通部分の存在を実感する。
「地域を知る」
関連団体から講演者を招き、地域社会における課題や解決に向けた取り組みの実態を知る。また、地域で開催されているイベントへの参加や自主的な調査活動を通じて、地域の現状について理解を深める。
「地域と自分について考える」
このプロジェクトで気づいた課題と発見したり創りだしたチャンスを活かして、学生主体の取り組みを提案する。地域の中で学生が貢献できる役割を見つけたり、学生が地域の中で有益な学びが行える場を創りだすことを目指す。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

テーマ：地域^3＋自分
－「地域」に行き、「地域」を知り、そして、「地域」と「自分」について考える－
内容：
（１）大阪府内、京都府内、滋賀県内などの市町村への訪問
（２）地域ブランドや特産品の収集
（３）自治体の地域活性化担当者による講演
（４）地域のNPOやボランティア団体、起業家などによる講演
（５）地域イベントへの参加（春、夏、秋、冬を通じて行う）
（６）地域イベントの参画（学生主体の企画・運営の提案、新規イベントの創出）
（７）地域と学生との関わりについての分析・考察
（８）今後に向けての企画・提案
方法：月２，３回程度、平日の午後以降に行う（授業時間の空きで調整）。また、その他に講演会や見学会などを年２，３回予定している（開催は土曜日や特別教育期間など）。主な活動場所は、情報処理室、教員の研究室、ゼミ室、および、地域の公共施設などである。

評価方法・評価基準

参加による気づき、活動への姿勢、成果などを総合的に評価する

教材等

教科書…特になし
参考書…適宜指定する（プロジェクト予算などで購入）

備考

地域の実践的な課題解決を目指すため、各学部のさまざまな知識と意欲ある学生の参加を求めています。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based Learning

佐　井　英　子（サイ　ヒデコ）
栢　木　紀　哉（カヤキ　ノリヤ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

摂南大学近隣の小学生を対象に、北大阪商工会議所青年部と共同で、「子供株式会社プロジェクト」を実施する。このプロジェクトでは、子供達が、起業・会社経営の体験を通じて社会や経済・経営の仕組みを学ぶことを目的としているが、同時に学生も小学生の指導を通して、自ら考え、解決する能力、すなわち、マネジメント能力、コミュニケーション能力、指導力、行動力、協調性、責任感や市役所や商工会議所等との折衝力及び交渉力の実践力を培うことを目標とする。

授業方法と留意点

北大阪商工会議所青年部との共同により、交野市、寝屋川市、枚方市の小学生を対象に子供株式会社を設立し、商工会議所のイベントに参加する。主に小学生に対する指導は学生が担当し、実践のためのイベントの会場提供・設定等は、商工会議所が主体となるが、小学生への指導等、一部の作業は学生が責任をもって担当するので、セミナーやイベントには、必ず出席すること。また、実際の経営、生産の現場を体感するために、上記３市の会社見学会を実施する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業テーマ：子供株式会社の設立と経営
内容：
Ⅰ　経営、マネジメント、経営戦力、会計等に関する基礎的な知識を学ぶ。
Ⅱ　実際の経営、生産の現場を体感するために、会社見学会を実施する。
Ⅲ　小学生に指導する。
１．小学生と友達になろう
２．株式会社って何だろう
３．株式会社をつくろう
４．商売って何だろう。儲けってなんだろう
５．経営計画をたてよう
６．マーケティングをしよう
７．商品企画書の作成しよう
８．銀行にお金を借りよう
９．実際に販売してみよう
１０．帳簿をつけて決算書をつくろう
１１．税金を納めよう
１２．決算書を作成しよう
１３．経営報告会をしよう。どの会社が一番儲かったのかな。
講義方法法；子供達に指導する前に、まず自分たちで上記のテーマを演習形式で学習し、その後グループに分かれ小学生に対して指導する。
事前事後学習課題；上記テーマ、イベントの結果報告等レポートを作成、提出する。

評価方法・評価基準

授業（イベントを含む）に必ず参加すること。
会社の設立、経営、決算報告等の一連のプロセスを理解し、小学生に対してきちんと説明できる知識を修得すること。
小学生が理解できるような説明、会話ができるプレゼン能力を修得すること
日常接することのない保護者の方や商工会議所青年部の会員の方々と協同することにより社交性、協調性を修得することができたかを評価します。

教材等

教科書…特になし
参考書…必要に応じ適宜指定します。

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　191　2014/08/21　14:45:27

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningⅠ

八　木　紀一郎（ヤギ　キイチロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

北河内における近郊ツーリズムの開発－交野のみのを関西のふるさとにしよう

狩り暮し棚機津女に宿借らむ天の川原に我は来にけり　在原業平

またや見む交野のみのの桜狩り花の雪散る春のあけぼの　藤原俊成

観光地のイメージの希薄な北河内地域でも、生駒山系の西部山麓に位置する交野市は、緑豊かな森林と古墳時代に遡る史跡をもつ地域である。同市から現在の枚方・香里園みいたる丘陵は、「交野が原」「交野のみ野」とよばれる古来からの禁猟地で、平安時代の大宮人が風情を訪ねる地域であった。この授業では、交野市の行政・NGO・住民と協力し、この地域の観光資源を調査・開発して関西人の近郊ツーリズム（日帰りないし１泊）の対象地として盛り上げる。

学生にとっての到達目標：観光企画の基本を学ぶとともに、現地の人・組織と協力して企画をたて実践する実行力を身につける。

授業方法と留意点

＊交野市の行政・商工団体・観光協会・「おりひめ大学」と連携して、同市周辺の観光資源を調査し、それを活用したツアーの企画、観光宣伝媒体の作成、イベントへの協力にあたる。

＊参加者は、同市の市民学習会である「おりひめ大学」の学生とみなされ、同市の住民・関係者と協働することになる。最小限の礼儀と責任感をもって参加してください。

＊参加者は協働作業用のネットワークに加わるとともに、各自PBL用の専用ファイルで資料と活動成果を保存してください。

＊イベント時に、観光ニーズをさぐるためのアンケートを実施します。

＊週１回は打ち合わせ会をおこないます。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

５月連休時　第１回交野合宿（１泊２日）　現地調査、班編成、協力者との調整

６月　企画スケジュールの決定　交野市・北河内・エコツアーの勉強会

７月　枚方市・交野市の七夕祭りに参加・協力

８月　天の川星まつり協力、アンケート実施

９－１１月　秋の近郊ツーリズム企画

観光絵葉書、ポスター、パンフレット作成

１２月　かたのキャンバスなどのイベントに協力

１－２月　学内最終発表会

学外コンペ参加

担当者のホームページhttp://www.setsunan.ac.jp/~k-yagi/99_blank005.htmlを参照してください。

評価方法・評価基準

活動への実質的参加を前提にした地域と観光への認識の深まり、活動におけるリーダーシップ、協調性、創意工夫、責任感（６割）、年度末の総括レポート（４割）

教材等

教科書…安藤明之『初めてでもできる社会調査・アンケート調査とデータ解析（第２版）』日本評論社、本体2500円＋税　ISBB978-4-535-58623-1

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningⅠ

富　岡　直　美（トミオカ　ナオミ）
水　野　　武（ミズノ タケシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

●授業概要：　様々な人との交流を通して自らを取り巻く社会についての理解を深め、課題を発見し、解決策を考える。また、自主的に活動をし、実際に社会貢献をすることで、自律的職業人を目指す。

●目　的：　社会で活躍できる人になるために、社会貢献活動を通して自分自身をより理解するとともに、新たな可能性を見出す。

●到達目標：　役割意識や自己効力感を育むために、仲間と協働しながら社会に貢献する喜びを体験する。

学科の学習・教育目標との対応：工学部[A], 理工学部［II］

授業方法と留意点

①絵本や紙芝居について学ぶ。（外部講師）
②読み聞かせや紙芝居を練習する。
③社会と接するためのマナーについて学ぶ。
④学生同士のピアラーニング。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

●テーマ：　紙芝居ボランティアを通した社会貢献

●内　容：　寝屋川市の子供たちが抱える課題を解決するための紙芝居を作成し小学校で上演活動をする。

寝屋川市内の小学校を訪問し、課題の聞き取り調査や紙芝居の読み聞かせ活動を実施する。

●方　法：　（毎週1回ミーティング、および適宜、小学校での読み聞かせ活動）

１．昨年度からの紙芝居の読み聞かせ活動を継続させる。
２．昨年度からの紙芝居を広めるための営業活動をする。
３．新規紙芝居の作製にむけ、調査、企画、作成、営業などを行う。
４．自らの活動振り返りを行い、改善する。
５．仮想企業を立ち上げ、見積書などを外部団体に評価いただくことで、本活動の社会的価値を計る。

他に、地域や企業様とのコラボレーション、新たな商品開発など、参加学生のアイデアを取り入れ、様々な社会貢献の方法を模索します。

評価方法・評価基準

参加態度・貢献度合（５０％）、役割遂行度合（３０％）、報告書（２０％）による総合評価

教材等

参考書…余郷裕次（2010）『絵本のひみつ』南日本新聞社

備考

●活動は、役割を分担し自主的に運営するため、学部に関係なくそれぞれの得意分野を発揮できる。

●絵本や紙芝居について（構成、読み聞かせなど）、専門的な知識を身につけることができるため、表現力（プレゼン能力）の向上が期待される。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「身近な犯罪から自分、家族、まちを守る」
No Name

中　沼　丈　晃（ナカヌマ　タケアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

私は、地域における防犯を研究し、自分自身も、研究室の学生とともに、青パト（青色回転灯をつけた自主防犯パトロールカー）で毎日、子どもの見守り活動を行っている。そうした研究者として、普段一番接する学生に、犯罪の実態を知ってもらい、少しの注意と手間で犯罪から身を守れることをわかってほしくて、この講義を開講することとした。加えて、それほど気負わなくても、防犯ボランティアとして社会貢献できる方法があることも紹介したいと考えている。

授業方法と留意点

とにかく実際の事件を取り上げて、加害者の視点、被害者の視野、発生した場所・時間の特徴、警察や行政、学校、ボランティアの動きを具体的に説明する。そして、いま推奨されている防犯対策を紹介する。警察の防犯実務者や、活躍する防犯ボランティア団体の世話役の方をお招きしたインタビュー講義も交えていく。

科目学習の効果（資格）

各自が自分で、家庭で防犯対策をして、犯罪から身を守れるようになってもらうのが第一である。防犯ボランティア参加の動機づけにもなるだろう。職業では、当然、警察官の仕事の視点がわかる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　昨年起きた犯罪はどのような特徴があったのか？

【内容・方法　等】　昨年起きた具体的な犯罪例を取り上げて、どのような人・物が、どういう理由でねらわれているのか探る。

【事前・事後学習課題】　配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第２回　**【授業テーマ】**　犯罪にはどのような種類があり、どうやって数えるのか？

【内容・方法　等】　刑法上は同じ窃盗でも、ひったくり、自転車盗、車上ねらいなどさまざまな手口がある。１件の窃盗でも、起きた数、警察に届けられた数、検挙された数がある。こうした手口の分け方や数の数え方を説明する。

【事前・事後学習課題】　配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第３回　**【授業テーマ】**　犯罪はなぜ起こるのか？どうやって減らすの

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　192　2014/08/21　14:45:27

か？
【内容・方法　等】 悪い人がいるから犯罪が起こるのか、すきがある人がいるから犯罪が起こるのか、犯罪が起きやすい場所・時間があるから犯罪が起こるのか、それぞれの理屈を確かめてみる。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第４回 【授業テーマ】 大阪の治安はどのくらい悪いのか？どのように防犯対策を進めているのか？
【内容・方法　等】 大阪府は、他の都道府県に比べてどのような犯罪が多いのか、人口の多さを考慮するとどうなのか説明する。「オール大阪」で街頭犯罪ワースト１を返上する取り組みを紹介する。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第５回 【授業テーマ】 街頭犯罪－－ひったくり、自転車盗、車上・部品ねらいを中心に
【内容・方法　等】 一番身近な街頭犯罪について、どういう人・物が、どういった状況でねらわれているのか、どういう人が犯罪を行っているのか説明する。ついで、ひったくり防止カバー、シリンダー錠などの防犯対策の効果について紹介する。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第６回 【授業テーマ】 住宅への空き巣、忍び込み、居空き
【内容・方法　等】 泥棒は、空き巣に入る家をどのように物色し、どうやって侵入し、何を盗んでいくのか解説する。最近の防犯住宅、防犯マンションの取り組みを紹介する。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第７回 【授業テーマ】 性犯罪－－街頭での強制わいせつ、痴漢、公然わいせつ
【内容・方法　等】 大阪府は性犯罪が深刻な自治体である。犯罪者は、どんな人・場所をねらって性犯罪に及ぶのか説明する。女性の学生が今日からすべき防犯対策を紹介する。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第８回 【授業テーマ】 子どもをねらった犯罪
【内容・方法　等】 子どもに対する犯罪について、過去に大きな社会問題になった殺傷事件から、日常的に起きているわいせつ、声かけ、つきまといまで、実態を具体的に説明する。そして、子どもの安全を守るために各地で行われている取り組みを紹介する。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第９回 【授業テーマ】 ストーカー、DV（配偶者からの暴力）
【内容・方法　等】 ストーカーやDVは、個人間の問題に関わるので、対応の判断が難しい。しかし、大きな事件につながれば、対応の遅さ、まずさが批判されやすい。過去の事件の経緯を紹介して、深刻な問題への展開を防ぐために現在行われている対策を説明する。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第10回 【授業テーマ】 詐欺－－高齢者をねらった振り込め、オレオレ、リフォーム詐欺など
【内容・方法　等】 昨年、急激に増え、手口が次々と変わる高齢者をねらった詐欺を取り上げる。背景にどのような組織があるのか、どうして防犯が難しいのか、実例に即して説明する。若い私たちにできる協力も紹介する。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第11回 【授業テーマ】 サイバー犯罪－－子どもや学生が巻き込まれるネット犯罪
【内容・方法　等】 子どもが巻き込まれる出会い系サイトやネットゲームでのなりすまし、大学生も被害を受けている偽サイトでのショッピング詐欺、ネットバンクでのID、パスワード盗難など、身近なサイバー犯罪を取り上げる。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第12回 【授業テーマ】 違法ドラッグの実態と対策
【内容・方法　等】 違法ドラッグについて、その危険性、販売の実態、取締の方法を紹介する。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第13回 【授業テーマ】 防犯カメラの普及と効果
【内容・方法　等】 急速に普及した防犯カメラについて、普及の背景と経緯、技術の進歩、個人情報・プライバシーとの関係、防犯効果の考え方を説明する。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第14回 【授業テーマ】 防犯ボランティアの活動
【内容・方法　等】 近年の犯罪対策の最大の特徴は、民間のボランティア団体の活性化である。地域での子ども見守り隊、青パト活動、学生防犯ボランティアなど、最近の各地、各世代の防犯ボランティアの活動を紹介する。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第15回 【授業テーマ】 警察官の仕事の実際
【内容・方法　等】 犯罪が起きれば捜査し検挙する。犯罪が起きないように市民や企業に防犯をうながす。それを職業とする警察官の仕事の実際を紹介する。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

評価方法（基準）
定期試験60％、講義毎回の確認ペーパー30％、受講態度（投げかける質問に対する発言など）10％で総合的に評価する。

教材等
教科書…指定しない。
参考書…講義で紹介する。

学生へのメッセージ
勉強以前に、自分、家族、まちを身近な犯罪から守るために、ぜひこの講義を受講してほしいと願っている。そして、できるところからでよいので、講義で知った防犯対策をしてもらいたい。警察官志望者には、近年、警察でも人気の仕事になりつつある防犯の実務がわかるという意味で、興味を持ってもらえると思う。

関連科目
法学部「刑事政策」「経済刑法」「少年法」

担当者の研究室等
11号館9階 中沼准教授室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「英語での数学活用例」
No Name

戸　村　　芳（トムラ　カオル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
自然科学も社会科学も言語で記述して推論します。数学も人工言語です。数学言語表記は英語と日本語の両方の特徴を備えています。このことを知り、数学嫌いからの脱出を目的とします。テキストと講義担当者の発信内容の概略を理解できることを到達目標とします。

授業方法と留意点
非native speaker of Englishの担当者の英語会話と日本語で授業します。英語会話部分については、その内容を活字にして配布または投影します。担当者と受講者のやりとりとして、毎回提出物（非テスト）を書いてもらい次週には朱筆でひとりひとりに応答します。この返却物も保管しておいて定期試験で持参参照してください。

科目学習の効果（資格）
文理両方の多くの資格の活用で効果があると信じます。資格を伴わない、これからの（国際的）社会活動で、大学以前の数学、英語学力も効果大であると実感していただけると存じます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 言語（英語、日本語）と数学表示
(2+3)×4　と　2↑(ニ)　3＋(タシテ)　4×(カケル)など
【内容・方法　等】 テキストp1 - p9 / 4
【事前・事後学習課題】 Appendix p122 1 つめから 11 こめまでの問題を考えておいてください。

第２回 【授業テーマ】 数学はつじつまあわせ（指数計算の例、exp(i x）の定義など）
【内容・方法　等】 テキストp9 / 5 - p16 / 3、pp110,118
【事前・事後学習課題】 Appendix p122 12 こめから p123 5 こめまでの問題を考えておいてください

第３回 【授業テーマ】 中途半端なネイピア定数eを知れば数学はこわくない
逆関数　1/x から e など
【内容・方法　等】 テキストp16 / 4 - p25、pp110,118
【事前・事後学習課題】 Appendix p123 6 こめから p124 4 つめまでの問題を考えておいてください

第４回 【授業テーマ】 統計、確率、感性（心理学）、電子雲グラフ、

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　193　　2014/08/21　14:45:27

など
【内容・方法　等】 テキストp26 - p36 / 17
【事前・事後学習課題】 Appendix p124 5 つめから 126 1 つめまでの問題を考えておいてください

第５回 【授業テーマ】 測れない母集団平均の信頼区間推定
【内容・方法　等】 テキストp36 / 18 - p40 / 9
【事前・事後学習課題】 Appendix p126 2 つめから 7 つめの問題を考えておいてください

第６回 【授業テーマ】 分子、DNA、モールス信号のシステムなどのエントロピという概念
【内容・方法　等】 テキストp40 / 10-p54
【事前・事後学習課題】 Appendix p126 8 つめから p129 3 つめまでの問題を考えておいてください

第７回 【授業テーマ】 つるかめ算の延長でpH計算など
【内容・方法　等】 テキストp55-p64 / 10
【事前・事後学習課題】 Appendix p129 4 つめから p130 8 つめめでの問題を考えておいてください

第８回 【授業テーマ】 1700年ごろの日本人の業績　行列計算で直接測定できないKaの推定、混成軌道の作成で分子の説明
【内容・方法　等】 テキストp64 / 11 - p69
【事前・事後学習課題】 Appendix p130 9 つめから p131 7 つめまでの問題を考えておいてください

第９回 【授業テーマ】 人体の数学モデル　pH分配説、あてはめ式の有意確率など
【内容・方法　等】 テキストp70 - p84
【事前・事後学習課題】 Appendix p131 8 つめから p133 5 つめまでの問題を考えておいてください

第10回 【授業テーマ】 みえない化学反応説明の数学モデル
【内容・方法　等】 テキストp85 - p91 / 15
【事前・事後学習課題】 Appendix p123 6 つめから p134 7 つめまでの問題を考えておいてください

第11回 【授業テーマ】 測定値のグラフでの表示（直線表示）、物質収支式で人体モデル
【内容・方法　等】 テキストp91 / 16 - p98
【事前・事後学習課題】 Appendix p134 8 つめから p135 9 つめまでの問題を考えておいてください

第12回 【授業テーマ】 現象（反応速度）記述の連立微分方程式の近似解法（解の先取り）
【内容・方法　等】 テキストp99 - p106
【事前・事後学習課題】 Appendix p135 10 こめから p136 6 つめまでの問題を考えておいてください

第13回 【授業テーマ】 量子化学Shoredinger微分方程式のラプラス変換による簡単な代数的な解法の紹介
【内容・方法　等】 テキストp107 - p112 / 1
【事前・事後学習課題】 Appendix p136 7 つめから p137 8 つめまでの問題を考えておいてください

第14回 【授業テーマ】 人体モデル（コンパートメントモデル）での薬物投与に対する血中薬物濃度変化の推定のラプラス変換での簡単な代数的解法の紹介
【内容・方法　等】 テキストp112 / 2 - p116 / 1
【事前・事後学習課題】 Appendix p137 9 つめから p138 4 つめまでの問題を考えておいてください

第15回 【授業テーマ】 拡散のノイエスホイットニー式、点滴投与での血中濃度変化のラプラス変換での簡単な代数的解法の紹介
(a+b)2=a2+2ab+b2 knows best の種明かし
【内容・方法　等】 テキストp116 / 2 - p121
【事前・事後学習課題】 Appendix p138 5つめ以降の問題を考えておいてください

評価方法（基準）
毎回の提出物の評価点合計を70点満点、テキストと返却された自分の提出物参照許可の定期試験を30点満点として、合計60点以上を合格とします。定期試験不受験は成績評価できません。

教材等
教科書…Mathematical models & Pharmaceutical Sciences
(a+b)2=a2+2ab+b2 knows best,
Kaoru Tomura,PhD. in Eng.(Osaka Univ.),戸村芳単著
Industrial Publishing & Consulting Inc.,
ISBN 978-4-901493-62-8 (-13-0), ￥1200
参考書…指定はありませんが、配布プリントも活用してください。

学生へのメッセージ
これまでに修得なさった、数学、英語については、生理的に嫌悪なさる方もいるかと思います。これらを違った観点から眺めて数学、英語は大切であることを感じてください。私は英語の専門ではありません。お詫びします。しかし、義務教育の英語だけで多くの方々が英語で発言しています。私もできます。みなさんもできます。良い意味で（大学らしい）楽しい授業にしたく存じます。よろしくお願いします。

関連科目
あつかう分野は「物理化学」関連が多いですが、感性心理学などの関連も紹介します。

担当者の研究室等
枚方学舎　1号館2階　phone:072-866-3152
tomura@pharm.setsunan.ac.jp

備考
授業方法と留意点に記載した提出・返却物による、やりとり、を大切にします。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「芸術の鑑賞」
No Name

太　田　義　器（オオタ　ヨシキ）
樋　口　友　紀（ヒグチ　ユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
【授業概要】
音楽、絵画、彫刻、陶芸、詩歌。芸術と一言で言っても、その範囲は広い。「芸術とは何か」と大上段から議論をするのではなく、芸術に親しむことを目指して、さまざまな芸術ジャンルの鑑賞の仕方をそれぞれのジャンルのプロに教えてもらい、また実際に、クラシック音楽、絵画、陶芸、日本の伝統芸能、演劇、書道などの演奏会や展覧会などに行って鑑賞してもらう。
これまで芸術鑑賞に関心はあったけれども経験はないという人でも、芸術鑑賞を始められるように、芸術の楽しみ方について、初級レベルから説明します。たとえば、演奏会のチケットはどこで手に入れればいいのか、行くときの服装はどうしたらいいのか、など経験のない人が感じる不安や疑問など、あるいはそれぞれの芸術ジャンルの楽しみ方のポイントは何なのか、などについてわかりやすくお話いただきます。
教室での授業は８回、鑑賞は3回。
【目的】
芸術の鑑賞を通じた人間性の陶冶
【到達目標】
芸術を鑑賞できるようになる
学科の学習・教育目標との対応：工学部[A], 理工学部［II］

授業方法と留意点
授業の曜日時限は決まっていますが、どの日に何が取り上げられるかは、未定です。詳細については、前期中に発表します。
鑑賞に行く際にかかる費用については、履修生の自己負担になります。(無料の音楽会等についての情報提供をする予定です。)

科目学習の効果（資格）
芸術を鑑賞し、人間性の涵養につながる

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法　等】 この授業の進め方、スケジュール、評価方法についての説明
【事前・事後学習課題】 【事後学習】「これまでの芸術鑑賞経験」をまとめて提出してもらいます。

第２回 【授業テーマ】 専門家が教える芸術鑑賞(1)
【内容・方法　等】 音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者ににもわかるように説明します。
具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。
【事前・事後学習課題】 それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。
詳細は、第一回目の授業で発表します。

第３回 【授業テーマ】 専門家が教える芸術鑑賞(2)
【内容・方法　等】 音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者ににもわかるように説明します。
具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。
【事前・事後学習課題】 それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。
詳細は、第一回目の授業で発表します。

第４回 【授業テーマ】 専門家が教える芸術鑑賞(3)
【内容・方法　等】 音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者ににもわかるように説明します。
具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。
【事前・事後学習課題】 それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。
詳細は、第一回目の授業で発表します。

第５回 【授業テーマ】 専門家が教える芸術鑑賞(4)
【内容・方法　等】 音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者ににもわかるように説明します。
具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。
【事前・事後学習課題】 それぞれの専門家が指定する内容の事

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　194　2014/08/21　14:45:27

前事後学習があります。
詳細は、第一回目の授業で発表します。

第６回　**【授業テーマ】**　専門家が教える芸術鑑賞(5)
【内容・方法　等】　音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者ににもわかるように説明します。
具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。
【事前・事後学習課題】　それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。
詳細は、第一回目の授業で発表します。

第７回　**【授業テーマ】**　専門家が教える芸術鑑賞(6)
【内容・方法　等】　音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者ににもわかるように説明します。
具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。
【事前・事後学習課題】　それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。
詳細は、第一回目の授業で発表します。

第８回　**【授業テーマ】**　専門家が教える芸術鑑賞(7)
【内容・方法　等】　音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者ににもわかるように説明します。
具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。
【事前・事後学習課題】　それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。
詳細は、第一回目の授業で発表します。

第９回　**【授業テーマ】**　芸術鑑賞体験①
【内容・方法　等】　2014年内に3回、音楽会や展覧会などに実際に出かけて、芸術鑑賞体験をしてください。
鑑賞に行く日は、2014年度後期授業期間内の12月まで、いつでもかまいません。
鑑賞に行ったことがわかるように、パンフレットや写真などをレポートに添付してもらいます。
【事前・事後学習課題】　【事後学習】2014年内に芸術鑑賞レポートを３回分提出してください

第10回　**【授業テーマ】**　芸術鑑賞体験①
【内容・方法　等】　2014年内に3回、音楽会や展覧会などに実際に出かけて、芸術鑑賞体験をしてください。
鑑賞に行く日は、2014年度後期授業期間内の12月まで、いつでもかまいません。
鑑賞に行ったことがわかるように、パンフレットや写真などをレポートに添付してもらいます。
【事前・事後学習課題】　【事後学習】2014年内に芸術鑑賞レポートを３回分提出してください

第11回　**【授業テーマ】**　芸術鑑賞体験②
【内容・方法　等】　2014年内に3回、音楽会や展覧会などに実際に出かけて、芸術鑑賞体験をしてください。
鑑賞に行く日は、2014年度後期授業期間内の12月まで、いつでもかまいません。
鑑賞に行ったことがわかるように、パンフレットや写真などをレポートに添付してもらいます。
【事前・事後学習課題】　【事後学習】2014年内に芸術鑑賞レポートを３回分提出してください

第12回　**【授業テーマ】**　芸術鑑賞体験②
【内容・方法　等】　2014年内に3回、音楽会や展覧会などに実際に出かけて、芸術鑑賞体験をしてください。
鑑賞に行く日は、2014年度後期授業期間内の12月まで、いつでもかまいません。
鑑賞に行ったことがわかるように、パンフレットや写真などをレポートに添付してもらいます。
【事前・事後学習課題】　【事後学習】2014年内に芸術鑑賞レポートを３回分提出してください

第13回　**【授業テーマ】**　芸術鑑賞体験③
【内容・方法　等】　2014年内に3回、音楽会や展覧会などに実際に出かけて、芸術鑑賞体験をしてください。
鑑賞に行く日は、2014年度後期授業期間内の12月まで、いつでもかまいません。
鑑賞に行ったことがわかるように、パンフレットや写真などをレポートに添付してもらいます。
【事前・事後学習課題】　【事後学習】2014年内に芸術鑑賞レポートを３回分提出してください

第14回　**【授業テーマ】**　芸術鑑賞体験③
【内容・方法　等】　2014年内に3回、音楽会や展覧会などに実際に出かけて、芸術鑑賞体験をしてください。
鑑賞に行く日は、2014年度後期授業期間内の12月まで、いつでもかまいません。
鑑賞に行ったことがわかるように、パンフレットや写真などをレポートに添付してもらいます。
【事前・事後学習課題】　2014年内に芸術鑑賞レポートを３回分提出してください

第15回　**【授業テーマ】**　総括
【内容・方法　等】　この授業を通して学んだことについて情報交換をします。
【事前・事後学習課題】　【事前学習】「芸術鑑賞を体験して」というテーマで、授業全体の振り返りを報告してまらいますので、その準備をしてきてください。

評価方法（基準）
鑑賞には3回行ってもらいます。
レポート(100%)で評価します。

教材等
教科書…特になし
参考書…特になし

学生へのメッセージ
2014年度から始まる新しい授業です。
ぜひ楽しみに来てください。

関連科目
特になし

担当者の研究室等
太田(7号館4階)
樋口(11号館7階)

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「チームビルディング」
No Name

水　野　　武（ミズノ タケシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
成熟社会においては個人の力を集合させてプロジェクトを作り上げる「チームビルディングの思考や技術」を学ぶことが重要です。
本科目はチームビルディングの理論を学び、様々なアクティビティを通してチームに貢献する方法を考えられるようになるための授業です。
２回生以降に摂南大学PBLプロジェクトを履修する際にも役立ちます。

授業方法と留意点
講義は受講生によるアクティビティ・プレゼンテーション・シミュレーションソフトを活用したワークなどを織り交ぜて進めます。

科目学習の効果（資格）
チームで物事を進める際の基礎知識が身につきます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　オリエンテーション
【内容・方法　等】　・講義の進め方
・なぜチームが必要なのかを知る
・チームビルディングとは何か　を理解する
【事前・事後学習課題】　本科目のシラバスを精読してください

第２回　**【授業テーマ】**　チームビルディングとは何か
【内容・方法　等】　・第一回チーム分けとアクティビティ
・チームビルディングの理論を学ぶ
・チームビルディングのための技術を知る
【事前・事後学習課題】　チームにどのように貢献できるかを考えてください

第３回　**【授業テーマ】**　チームビルディング体験
【内容・方法　等】　・ペーパータワーワーク（予定）
・チームの10カ条
などに取り組み、チームビルディングを体験する
【事前・事後学習課題】　チームでの取り組みを振り返ってください

第４回　**【授業テーマ】**　シミュレーションソフトを活用したディスカッション①
【内容・方法　等】　シミュレーションソフトを活用して情報の読み取りと活用、合意形成を学ぶ
【事前・事後学習課題】　配布資料を精読してください

第５回　**【授業テーマ】**　シミュレーションソフトを活用したディスカッション②
【内容・方法　等】　シミュレーションソフトを活用して情報の読み取りと活用、合意形成を学ぶ
【事前・事後学習課題】　配布資料を精読してください

第６回　**【授業テーマ】**　シミュレーションソフトを活用したディスカッション③
【内容・方法　等】　シミュレーションソフトを活用して情報の読み取りと活用、合意形成を学ぶ
【事前・事後学習課題】　配布資料を精読してください

第７回　**【授業テーマ】**　ビジネス記事を活用したディスカッション①
【内容・方法　等】　記事を活用して情報の読み取りと活用、自分ならどうするかを考える
【事前・事後学習課題】　チームでのディスカッションを振り返ってください

第８回　**【授業テーマ】**　ビジネス記事を活用したディスカッション②

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　195　　2014/08/21　14:45:28

【内容・方法　等】 記事を活用して情報の読み取りと活用、自分ならどうするかを考える
【事前・事後学習課題】 チームでのディスカッションを振り返ってください

第９回 【授業テーマ】 チームでプロジェクトを企画する
【内容・方法　等】 ・第二回チーム分けとアクティビティ
・チームでプロジェクトを企画する
【事前・事後学習課題】 チームにどのように貢献できるかを考えてください

第10回 【授業テーマ】 摂南大学PBLプロジェクトの紹介
【内容・方法　等】 本学で開講されている摂南大学PBLプロジェクトの紹介
【事前・事後学習課題】 興味を持ったプロジェクトについて調べてください

第11回 【授業テーマ】 摂南大学PBLプロジェクトの紹介
【内容・方法　等】 本学で開講されている摂南大学PBLプロジェクトの紹介
【事前・事後学習課題】 興味を持ったプロジェクトについて調べてください

第12回 【授業テーマ】 工程管理を意識したチームビルディング
【内容・方法　等】 ビジネスゲームを題材にリソースとコスト、工程管理を意識したワークに取り組む
【事前・事後学習課題】 工程管理に関して調べて下さい

第13回 【授業テーマ】 プロジェクトのプレゼンテーション
【内容・方法　等】 第9回目の課題の報告プレゼンテーション
【事前・事後学習課題】 プレゼンテーションの際に留意することを考えて下さい

第14回 【授業テーマ】 チーム力を上げる
【内容・方法　等】 ・メンバーの力でチーム全体の力を上げる方法を考える
【事前・事後学習課題】 講義後日常生活で活かせそうな箇所を実践してください

第15回 【授業テーマ】 講義のまとめと振り返り
【内容・方法　等】 講義のおさらいと振り返りを行う
【事前・事後学習課題】 提出物などの出し忘れがないか確認してください

評価方法（基準）
チームでの提出物３０%、ワーク後の振り返りシート２０%、授業態度２０%、最終レポート３０%　で総合的に評価します。

教材等
教科書…教科書・・講義の中で必要に応じてレジュメを配布します。
参考書…参考書・・授業中に適宜、指示します。

学生へのメッセージ
ワークやアクティビティが中心となる授業です。主体性を持って講義に挑んでください。

関連科目
キャリアデザインⅠ・Ⅱ、摂南大学PBLプロジェクト

担当者の研究室等
7号館3階　キャリア教育推進室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「ものづくりインターンシップ基礎」
No Name

伊　藤　　譲（イトウ　ユズル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
これから就職活動を始める学生（大学３年）を対象に、社会人として必要とされる規律やマナー、製造業など企業で働く上での基礎知識、課題を発見して解決する方法などを習得することを目的とする。履修後には、社会人・企業人としての役割および責任、仕事への情熱、創造的態度、自己の能力向上意欲が喚起されることを期待する。到達目標は、次のとおりである。
(1)社会人としてのマナーを身につける。(2)仕事の基本に関する知識を修得する。(3)環境問題/意識についての体験をする。(4)企業における品質問題を体験する。(5)原価管理の基礎知識を修得する。(6)PDCAサイクルによる課題解決を体験する。

授業方法と留意点
パナソニック（株）より講師を招き、社会人・企業人としての基礎である知識と心がまえについて、パナソニック（株）の新入社員研修の方式に従い、講義に加えて具体事例演習を通じて体得させる。摂大教員も教室に常駐し、授業の補助と成績評価を分担する。授業は挨拶に始まり、挨拶で終わるので遅刻は厳禁です。なお、1～5回目までは120分授業（途中5分程度の休憩）とする。

科目学習の効果（資格）
社会が学生に何を求めているのかを体得し、職業意識を高め、自発的に能力向上を行えるようになる。就職後ただちに、社会人・企業人としての適切な行動が取れるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 企業・製造業・仕事の基本とは①
4月10日（木）
【内容・方法　等】 社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する
【事前・事後学習課題】 企業・製造業・仕事に基本①の講義終了後、レポートを提出のこと（書式は別途）

第２回 【授業テーマ】 企業・製造業・仕事の基本とは②
4月17日（木）
【内容・方法　等】 社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する
【事前・事後学習課題】 ----

第３回 【授業テーマ】 企業・製造業・仕事の基本とは③
4月24日（木）
【内容・方法　等】 社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する
【事前・事後学習課題】 企業・製造業・仕事の基本②～③の講義終了後、レポートを提出のこと（書式は別途）

第４回 【授業テーマ】 企業・製造業・仕事の基本とは④
5月8日（木）
【内容・方法　等】 社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する
【事前・事後学習課題】 ----

第５回 【授業テーマ】 企業・製造業・仕事の基本とは⑤
5月15日（木）
【内容・方法　等】 社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する
【事前・事後学習課題】 企業・製造業・仕事の基本④～⑤の講義終了後、レポートを提出のこと（書式は別途）

第６回 【授業テーマ】 品質教育①
5月22日（木）
【内容・方法　等】 企業活動の命運をにぎる品質問題について、品質管理の基礎からＱＣ7つ道具の活用・具体実習等により、品質の重要性を体得する（座学と実習）
【事前・事後学習課題】 ----

第７回 【授業テーマ】 品質教育②
5月29日（木）
【内容・方法　等】 企業活動の命運をにぎる品質問題について、品質管理の基礎からＱＣ7つ道具の活用・具体実習等により、品質の重要性を体得する（座学と実習）
【事前・事後学習課題】 ----

第８回 【授業テーマ】 品質教育③
6月5日（木）
【内容・方法　等】 企業活動の命運をにぎる品質問題について、品質管理の基礎からＱＣ7つ道具の活用・具体実習等により、品質の重要性を体得する（座学と実習）
【事前・事後学習課題】 品質教育①～③の講義終了後、レポートを提出する（書式は別途）

第９回 【授業テーマ】 原価・コスト教育①
6月12日（木）
【内容・方法　等】 企業活動の根幹を成す原価についての基礎概念と原価管理の基礎知識を習得する
【事前・事後学習課題】 ----

第10回 【授業テーマ】 原価・コスト教育②
6月19日（木）
【内容・方法　等】 企業活動の根幹を成す原価についての基礎概念と原価管理の基礎知識を習得する
【事前・事後学習課題】 ----

第11回 【授業テーマ】 原価・コスト教育③
6月26日（木）
【内容・方法　等】 企業活動の根幹を成す原価についての基礎概念と原価管理の基礎知識を習得する
【事前・事後学習課題】 原価・コスト教育①～③の講義終了後、レポートを提出する（書式は別途）

第12回 【授業テーマ】 課題解決教育①
7月3日（木）
【内容・方法　等】 PDCAサイクルを回すことの重要性の習得により、課題形成力・問題解決力を強化する
【事前・事後学習課題】 ----

第13回 【授業テーマ】 課題解決教育②
7月10日（木）
【内容・方法　等】 PDCAサイクルを回すことの重要性の習得により、課題形成力・問題解決力を強化する
【事前・事後学習課題】 ----

第14回 【授業テーマ】 課題解決教育③
7月17日（木）
【内容・方法　等】 PDCAサイクルを回すことの重要性の習得により、課題形成力・問題解決力を強化する
【事前・事後学習課題】 課題解決教育①～③の講義終了後、レ

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　196　　2014/08/21　14:45:28

ポートを提出のこと（書式は別途）
また、14回目までの講義を総括して、最終回での質問事項を考えておくこと

第15回 **【授業テーマ】** 全体討議・質疑応答
7月24日（木）
【内容・方法　等】 14回の講義を総括しての討議・質疑応答を実施する
【事前・事後学習課題】 最終報告として受講レポートを提出する。

評価方法（基準）
課題レポート（6回）と受講レポート50%、授業姿勢（積極性）20%、全体討議（プレゼンテーション）10%、期末試験20%とした総合評価を行う。

教材等
教科書…資料を配布する.
参考書…なし

学生へのメッセージ
日本を代表する企業であるパナソニック（株）と共同で実施する研修を受講して、社会と企業は学生に何を求めているのかを知り、職業人としての基礎知識を身につけ、社会人になるための意識転換をしましょう。この科目を履修する学生は、この科目と「ものづくりインターンシップ実践」または「ものづくり海外インターンシップ」を同時に受講することが前提です。

関連科目
『ものづくりインターンシップ実践』または『ものづくり海外インターンシップ』を履修する学生は、必ずこの科目を履修すること。

担当者の研究室等
1号館3階　伊藤教授室

備考
【担当者】
摂南大学：榊講師、白鳥講師、加嶋准教授、川野教授、横田講師、奥野教授、田中講師
パナソニック講師：佐藤哲志、山下秀行、福田祥一、高岡清

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「ものづくりインターンシップ実践」
No Name

伊　藤　　譲（イトウ　ユズル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標
『ものづくりインターンシップ基礎』の実践コースである。『ものづくりインターンシップ基礎』で学んだ内容をパナソニックのモノづくり現場で具体実習・実践することにより、更なる理解を進め、習得して自らの強みとすることを目的とする。
到達目標は以下のとおりである。
(1)生産革新・改善を体験する。(2)製造業の成り立ち・仕組みを体験する。(3)チームワーク・ＱＣＤ問題を体験する。(4)パナソニックの工場を見学する。(5)研修成果を発表する。

授業方法と留意点
『ものづくりインターンシップ基礎』で学んだ内容を体験するため、パナソニック（株）人材開発カンパニーで、計７日間の宿泊実習を行なう。また、事前指導として『ものづくりインターンシップ基礎』のまとめを行い、事後指導として実習で得られた成果の定着をはかるためにプレゼンテーションによる報告を行う。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
直前指導
・1回目　インターンシップⅠのまとめ，インターンシップⅡの準備　7/10（木）　6限目
・2回目　インターンシップⅠ全体討議プレゼンテーション指導　7/17（木）　6限目
宿泊実習（パナソニック人材開発カンパニー）
・1～3日目
【授業テーマ】
生産革新演習
【内容・方法等】
1個流しセル生産のロールプレイを通じて、生産革新実践・方法等を体得する。（グループ演習）
【事前・事後学習課題】
演習終了後、レポートを提出のこと
・4～5日目
【授業テーマ】
モノづくりシュミレーション演習
【内容・方法等】
四角錐製作を通じて、製造業の成り立ち・しくみを習得（設計～生産）し、目標達成のためのチームワーク・QCD問題意識の重要性を体得する。（グループ演習）
【事前・事後学習】
演習終了後、レポートを提出のこと
・6日目
【授業テーマ】
工場見学
【内容・方法等】
パナソニックのモノづくりを工場見学を通じて体得する。(2工場)
【事前・事後学習課題】
見学終了後、レポートを提出のこと
・7日目
【授業テーマ】
研修成果報告会
【内容・方法等】
研修成果報告会の実施。（グループ単位）
【事前・事後学習課題】
グループ単位でプレゼン資料をまとめておくこと
実習中指導
・8月30日（土）　2～5限目　プレゼンテーション指導
実習後指導
・1回目　体験報告書の添削指導
・2回目　研修成果報告会（2回目）に向けたプレゼンテーション指導
・3回目　研修成果報告会（2回目）に向けたプレゼンテーション指導
・4回目　研修成果報告会（2回目）
・5回目　全体報告会　学生代表者の発表・質疑
・6回目　全体報告会　企業管理者の講演と講評

評価方法・評価基準
実習成果40%、研修成果報告会（2回）20%、実習最終レポート10%、体験報告書10%、実習・授業態度20%とした総合評価を行なう。

教材等
教科書…資料を配布する
参考書…なし

備考
【注意事項】
期間：2014年 8月25日（月）～8月29日（金）、9月1日（月）～9月2日（火）　パナソニック（株）人材開発カンパニーでの宿泊研修です。8月30日（土）には摂大でプレゼン資料を作成します。その間、パナソニック㈱社員の、朝礼、ランニングにも参加します。ジーンズ、スリッパは禁止。ランニングできる履物、着替えが必要です。学生負担金・食費等は別途徴収します。
【担当者】
摂南大学：榊講師、白鳥講師、加嶋准教授、川野教授、横田講師、奥野教授、田中講師
パナソニック講師：佐藤哲志、高岡清、熊本義久

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「ものづくり海外インターンシップ」
No Name

川　野　常　夫（カワノ　ツネオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標
日本の企業がますますグローバル化する中で、国際的視野と素養を身に付けた人材はますます必要となる。本科目は，「ものづくり海外インターンシップ」と呼び，世界展開をしている「ものづくり企業」の海外工場において具体的に実習体験をすることにより、グローバル企業の現状を理解するとともに、自らの視野と経験を広げることを目的とする。研修先はとりわけ東南アジアの企業とする。到達目標は以下のとおりである。(1)グローバル企業の現状が理解できる。(2)海外でのものづくりの工程を体験できる。(3)チームワークを体験できる。(4)国際的視野を広げられる。(5)研修成果が発表できる。
学科の学習・教育目標との対応：[A1]

授業方法と留意点
東南アジアは，フィリピンとタイを予定している。受講者はいずれかを選択し，どちらかの企業において、本学の夏休み中に往復を含めて計１０日間（予定）の現場実習を行う。事前指導として実施企業や語学（英語）について予習を行い、事後指導として実習で得られた成果の定着をはかる。「ものづくり企業」での研修であるが，専門知識は特に必要としないので，参加学生は専門分野も，文系・理系も問わない。また男女も問わない。実習先の受け入れ人数に制限があるため，希望者多数の場合は理工学部インターンシップ委員会において選定する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
直前指導
・1回目　海外実習の準備　7/10（木）　6限目
・2回目　全体報告会に向けたプレゼンテーション指導　7/17（木）　6限目
・3回目　海外で実習するための事前指導

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　197　　2014/08/21　14:45:28

海外実習
・1〜2日目
【授業テーマ】移動、オリエンテーション
【内容・方法等】研修先企業の概要、オリエンテーション、語学（英語）研修など
【事前・事後学習課題】実習終了後、レポートを提出のこと
・3日目
【授業テーマ】企画・設計部門実習
【内容・方法等】ものづくり工程の川上である企画・設計部門において、その役割、重要性などを体得する。（グループ演習）
【事前・事後学習】実習終了後、レポートを提出のこと
・4〜5日目
【授業テーマ】工場見学会、交流会
【内容・方法等】関連工場の見学、現地従業員との交流会に参加する。交流会では、英語によるコミュニケーションを行う。
【事前・事後学習課題】交流会終了後、レポートを提出のこと
・6〜8日目
【授業テーマ】加工部門、組立部門、検査・品質管理・出荷部門実習
【内容・方法等】ものづくり工程の中流、下流である製造、組立、検査部門について、その役割、重要性などを体得する。（グループ演習）
【事前・事後学習課題】実習終了後、レポートを提出のこと
・9〜10日目
【授業テーマ】研修成果報告会、移動
【内容・方法等】グループ単位でPPTでプレゼン
【事前・事後学習課題】実習終了後、最終レポートを提出のこと
実習後指導
・1回目　最終レポート（体験報告書）の添削指導
・2回目　研修成果報告会（2回目）に向けたプレゼンテーション指導
・3回目　全体報告会　学生代表者の発表・質疑
・4回目　全体報告会　企業管理者の講演と講評

評価方法・評価基準
実習成果40%、研修成果報告会（2回）20%、実習最終レポート10%、体験報告書10%、実習・授業態度20%として評価を行う。

教材等
教科書…必要時にプリント等を配布する。
参考書…内永ゆか子：日本企業が欲しがる「グロ-バル人材」の必須スキル，朝日新聞出版 (2011/9/7)

備考
【注意事項】研修予定期間：2014年 8月中旬（研修先の都合により変更する場合があります。）
航空運賃、宿泊費、保険代などは自己負担となります。
【共同担当者】　白鳥講師

英語I
English I

山　本　尚　子（ヤマモト　ヒサコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
この授業の目的は、読解力、語彙、リスニングなどの英語の基礎力をしっかりと身につけることです。様々なテーマについて書かれたエッセイを読みながら、英文で書かれた記事の大意のつかみ方を学ぶと同時に、よく使われる表現を覚えるようにします。また様々な練習問題を通して、TOEIC等の資格試験に対応できるようにして行きます。

授業方法と留意点
授業では、まずエッセイの大意をまとめてから、イディオムや表現をチェックしながら精読します。その後リスニングや英問英答等の練習を行います。また、時々授業で学習したトピックについてグループで英語で発表する時間を設けます。尚、毎回事業の最初に単語集から小テストを行い、「統一単語テスト」に備えます。法学部実施のこのテストを必ず受験してください。

科目学習の効果（資格）
文法、語彙、読解、リスニングの基礎力をつけることによるTOEICテストなどの資格試験のスコア・アップ。TOEICテストに有効な単語力をつけること。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】**　オリエンテーション
【内容・方法　等】　授業の進め方の説明およびプリント教材を使った練習
【事前・事後学習課題】　指定された個所を予習しておくこと、単語集の指定された個所を覚えておくこと
第２回　**【授業テーマ】**　Idol Mania
【内容・方法　等】　タレント・コンテストの人気
【事前・事後学習課題】　同上
第３回　**【授業テーマ】**　The Blogsphere
【内容・方法　等】　ブログの流行
【事前・事後学習課題】　同上
第４回　**【授業テーマ】**　Organic Food
【内容・方法　等】　有機農法について
【事前・事後学習課題】　同上
第５回　**【授業テーマ】**　Franchises (1)
【内容・方法　等】　フランチャイズ (1)
【事前・事後学習課題】　同上
第６回　**【授業テーマ】**　Franchises (2)
【内容・方法　等】　フランチャイズ(2)
【事前・事後学習課題】　同上
第７回　**【授業テーマ】**　Character Culture
【内容・方法　等】　キャラクター文化
【事前・事後学習課題】　同上
第８回　**【授業テーマ】**　Language Change (1)
【内容・方法　等】　言語の変化 (1)
【事前・事後学習課題】　同上
第９回　**【授業テーマ】**　Language Change (2)
【内容・方法　等】　言語の変化 (2)
【事前・事後学習課題】　同上
第10回　**【授業テーマ】**　The Purtsuit of Perfection
【内容・方法　等】　スポーツにおける完璧主義
【事前・事後学習課題】　同上
第11回　**【授業テーマ】**　Yellow Dust Storm (1)
【内容・方法　等】　黄砂の影響 (1)
【事前・事後学習課題】　同上
第12回　**【授業テーマ】**　Yellow Dust Storm (2)
【内容・方法　等】　黄砂の影響 (2)
【事前・事後学習課題】　同上
第13回　**【授業テーマ】**　The End of Privacy
【内容・方法　等】　失われつつあるプライヴァシー
【事前・事後学習課題】　同上
第14回　**【授業テーマ】**　Going Carbon Neutral
【内容・方法　等】　CO2削減の努力
【事前・事後学習課題】　同上
第15回　**【授業テーマ】**　まとめテスト / 復習
【内容・方法　等】　これまでの内容のまとめのテストおよび復習
【事前・事後学習課題】　同上

評価方法（基準）
統一英語単語テスト30%、平常点(小テスト、提出物、授業態度、発表)30%、まとめテスト40%で総合的に評価する。

教材等
教科書…Reading Pass 3（南雲堂）
The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test WORD BOOK (成美堂)
参考書…なし

学生へのメッセージ
毎回必ず予習をして出席し、積極的に授業に参加するように心がけてください。

関連科目
すべての英語科目

担当者の研究室等
7号館2階(非常勤講師室)

英語I
English I

西　谷　継　治（ニシタニ　ケイジ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	B	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
高校までに学習した英文法の復習と同時に、それに関連するTOEICテストのテーマの学習を通して、TOEICテストに慣れ親しむ。授業では４技能のうち特にリーディング力、リスニング力の向上に力を入れる。語彙については補助テキストから単語テストを行う。
教科書は実際に報道された英字新聞の記事を用いたもので、教育・文化・科学・天災・スポーツと多岐にわたる、最新の話題を含む。受講生は、時事問題に触れると同時に国際感覚を養ってほしい。英文も大学生にふさわしいレベルとなっており、実践的、総合的な英語の運用能力の訓練になるだろう。

授業方法と留意点
１回の授業で、教科書の1Unitを学習する。教科書については、本文の和訳だけでなく、文法事項の復習、語彙の習得にも重点を置く。必要に応じてプリント等（教員から配布）も使用する。毎回の授業時間内(終了前)に質問時間をとるので、積極的に活用してほしい。授業の前後には、必ず予習、復習することが必要である。

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　198　2014/08/21　14:45:28

大体5課ごとに理解度を確認するために小テストを行う。授業の冒頭で、TOEIC対策として単語テストも行う。授業にはできるだけ辞書を持参すること。

科目学習の効果（資格）

さまざまな分野の優れた英文に触れ、視野を広げる。
文法力と読解力を向上させる。
TOEICテストに慣れ親しむ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** ガイダンス
【内容・方法　等】 授業の進め方、予習・復習の内容、成績の基準、受講にあたっての心構えなどについて説明する。また、教科書の構成を紹介する。
【事前・事後学習課題】 教科書Unit 1の予習。

第２回 **【授業テーマ】** Unit 1 Willingness to support quake-hit areas fading
【内容・方法　等】 単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】 教科書：P.1-6
単語：NO.1-30

第３回 **【授業テーマ】** Unit 2 Career education
【内容・方法　等】 単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】 教科書：P. 7-12
単語：NO.21-50

第４回 **【授業テーマ】** Unit 3 Leaf worries behind with LED vegetables
【内容・方法　等】 単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】 教科書：P. 13-18
単語：NO.41-70

第５回 **【授業テーマ】** Unit 4 Mental effects of bullying linger for years
【内容・方法　等】 単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】 教科書：P. 19-24
単語：NO.61-90

第６回 **【授業テーマ】** Unit 5 Miyagi high school girl to speak at U.N.
【内容・方法　等】 単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】 教科書：P. 25-30
単語：NO.81-110

第７回 **【授業テーマ】** 教科書 Unit 1-5　テスト
【内容・方法　等】 Unit 1～5までの内容について小テストを行う。
【事前・事後学習課題】 Unit 1-5 テスト勉強

第８回 **【授業テーマ】** 中間試験解説及び評
【内容・方法　等】 演習
【事前・事後学習課題】 単語：NO.101-130

第９回 **【授業テーマ】** Unit 6　Japanese eel now endangered
【内容・方法　等】 単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】 教科書：P.　31-36
単語：NO.121-150

第10回 **【授業テーマ】** Unit 7　Soaking up the benefits of onsen
【内容・方法　等】 単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】 教科書：P. 37-42
単語：NO.131-160

第11回 **【授業テーマ】** Unit 8　New English paper to debut April 1
【内容・方法　等】 単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】 教科書：P. 43-48
単語：NO.141-170

第12回 **【授業テーマ】** Unit 9 GIRL POWER
【内容・方法　等】 単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】 教科書：P. 49-54
単語：NO.151-180

第13回 **【授業テーマ】** Unit 10 For a tasty deal, pay your 'hometown taxes'
【内容・方法　等】 単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】 教科書：P. 55-60
単語：NO.161-190

第14回 **【授業テーマ】** 教科書　Unit 6-10 復習
【内容・方法　等】 単語小テスト及び教科書復習
【事前・事後学習課題】 Unit 6-10 復習
単語：NO.171-200

第15回 **【授業テーマ】** 教科書Unit 6-10 テスト
【内容・方法　等】 Unit 6～10までの内容について小テストを行う。
【事前・事後学習課題】 Unit 6-10 テスト勉強

評価方法（基準）

出席は毎回とり、4回以上欠席した場合は単位を認定しない。教科書に関して各学期中に合計2回のテストを行い、定期試験は実施しない。成績は、予習状況を含む平常点(30％)、統一単語テスト(30％)、小テスト(40％)、で評価する。

教材等

教科書…教科書：若有保彦、「Meet the World: English through Newspapers 2014 メディアで学ぶ日本と世界」(￥2,000)
補助テキスト：「The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test; Word Book」（￥1,700）
参考書…特になし

学生へのメッセージ

図書館やPC等を利用し日頃から英語に親しんでください。

関連科目

特になし

担当者の研究室等

7号館2階 非常勤講師室

英語Ⅰ
English Ⅰ

岩　永　道　子（イワナガ　ミチコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	C	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

基礎英文法、語彙力を強化し、読解力、表現力の向上を目指します。
また、日常生活の場面で用いられる実用的な英文や図表に慣れ、そこから適確な情報を得られるよう、適宜TOEIC関連の追加教材を用いたいと思います。

授業方法と留意点

テキストを中心に行います。辞書は必ず持参して下さい。時間内に質疑応答時間を設けます。
指定する150単語について、テキストを使い語彙力の強化向上を図る。
法学部として実施する「統一英語単語テスト」を受験すること。

科目学習の効果（資格）

英検、TOEIC受験のための基礎英語能力を養う
ＴＯＥＩＣテストに有効な単語力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** 授業方針の説明と第１章前半　「ジョン・レノン、Imagineに込めたメッセージ
【内容・方法　等】 Chapter 1 Message from John Lennon
【事前・事後学習課題】 学生へのメッセージに記載のとおり

第２回 **【授業テーマ】** 第１章後半と小テスト
【内容・方法　等】 Chapter 1
【事前・事後学習課題】 学生へのメッセージに記載のとおり

第３回 **【授業テーマ】** 第２章前半　「ソフィーの世界、１４歳の少女とたどる哲学ファンタジー」
【内容・方法　等】 Chapter 2 Sophie's World
【事前・事後学習課題】 学生へのメッセージに記載のとおり

第４回 **【授業テーマ】** 第２章後半と小テスト
【内容・方法　等】 Chapter 2
【事前・事後学習課題】 学生へのメッセージに記載のとおり

第５回 **【授業テーマ】** 第３章前半　「冥王星が惑星の地位を剥奪された理由」
【内容・方法　等】 Chapter 3 Pluto Demoted Under New Definition of Planet
【事前・事後学習課題】 学生へのメッセージに記載のとおり

第６回 **【授業テーマ】** 第３章後半と小テスト
【内容・方法　等】 Chapter 3
【事前・事後学習課題】 学生へのメッセージに記載のとおり

第７回 **【授業テーマ】** 第４章前半　「ダライ・ラマへのインタビュー」
【内容・方法　等】 Chapter 4 The Dalai Lama Interview
【事前・事後学習課題】 学生へのメッセージに記載のとおり

第８回 **【授業テーマ】** 第４章後半と小テスト
【内容・方法　等】 Lesson 4
【事前・事後学習課題】 学生へのメッセージに記載のとおり

第９回 **【授業テーマ】** 第５章前半　「古代エジプト、数の世界」
【内容・方法　等】 Chapter 5 Egyptian Math
【事前・事後学習課題】 学生へのメッセージに記載のとおり

第10回 **【授業テーマ】** 第５章後半と小テスト
【内容・方法　等】 Lesson 5
【事前・事後学習課題】 学生へのメッセージに記載のとおり

第11回 **【授業テーマ】** 第６章前半　「従順ならざる日本人、白洲次郎の手紙」
【内容・方法　等】 Chapter 6 The Jeep Way Letter from Shirasu to General Whitney
【事前・事後学習課題】 学生へのメッセージに記載のとおり

第12回 **【授業テーマ】** 第６章後半と小テスト
【内容・方法　等】 Lesson 6
【事前・事後学習課題】 学生へのメッセージに記載のとおり

第13回 **【授業テーマ】** 総合復習
【内容・方法　等】 前期授業内容の復習
【事前・事後学習課題】 学生へのメッセージに記載のとおり

第14回 **【授業テーマ】** 総合復習
【内容・方法　等】 前期授業内容の復習
【事前・事後学習課題】 学生へのメッセージに記載のとおり

第15回 **【授業テーマ】** 総合復習
【内容・方法　等】 前期授業内容の復習
【事前・事後学習課題】 学生へのメッセージに記載のとおり

評価方法（基準）

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　199　2014/08/21　14:45:28

（小）テスト、授業中の発表、課題などを総合的に評価します。評価には「統一英語単語テスト」の結果を30％組み入れる。

教材等

教科書…Wisdom Explorer 叡智の輝き　著者：岩永道子、上村淳子、吉岡みのり、吉田澄子　朝日出版　￥１７００
「学校語彙で学ぶTOEICテスト【単語集】The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test; WORD BOOK」（西谷恒志著　成美堂 ￥1,700）

参考書…なし

学生へのメッセージ

予習・復習は大変だと思いますが頑張ってください。

関連科目

英語ＩＩ、英語ＩＩＩ、英語ＩＶ

担当者の研究室等

7号館2階 (非常勤講師室)

英語I
English I

中　野　華　子（ナカノ　ハナコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	D	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

英語でのcommunicationを活発にするために必要な、連語やイディオムを主に学習する。日常会話文や短文のテキストを通して、「英語らしい表現」を学ぶことを目的とする。

授業方法と留意点

毎回授業の初めにTOEICの単語テストか前回授業分の連語・イディオムの小テストを行う。
法学部として実施する「統一英語単語テスト」を受験すること。
必ず辞書をもってくること。

科目学習の効果（資格）

ＴＯＥＩＣテストの単語力増強と基本的な英語のスキル獲得効果がある。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】** オリエンテーション
【内容・方法　等】 授業全般についての詳しい説明
Self-Introduction
【事前・事後学習課題】 単語テストの練習、単語テスト

第２回　**【授業テーマ】** Unit 1 Bill graduates
【内容・方法　等】 単語テスト
テーマに沿った文・会話文を読み、問題に取り組み解説する。
【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
授業内容の復習

第３回　**【授業テーマ】** Unit 2 Mary leaves home
【内容・方法　等】 単語テスト/前回内容の小テスト
テーマに沿った文・会話文を読み、問題に取り組み解説する。
【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
授業内容の復習

第４回　**【授業テーマ】** Unit 3 Bill moves in
【内容・方法　等】 単語テスト/前回内容の小テスト
テーマに沿った文・会話文を読み、問題に取り組み解説する。
【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
授業内容の復習

第５回　**【授業テーマ】** Unit 4 Mary settles in
【内容・方法　等】 単語テスト/前回内容の小テスト
テーマに沿った文・会話文を読み、問題に取り組み解説する。
【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
授業内容の復習

第６回　**【授業テーマ】** Unit 5 Bill starts his caree
【内容・方法　等】 単語テスト/前回内容の小テスト
テーマに沿った文・会話文を読み、問題に取り組み解説する。
【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
授業内容の復習

第７回　**【授業テーマ】** Unit 6 Mary has a jo
【内容・方法　等】 単語テスト/前回内容の小テスト
テーマに沿った文・会話文を読み、問題に取り組み解説する。
【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
授業内容の復習

第８回　**【授業テーマ】** Unit 7 Bill steps up the ladde
【内容・方法　等】 単語テスト/前回内容の小テスト
テーマに沿った文・会話文を読み、問題に取り組み解説する。
【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
授業内容の復習

第９回　**【授業テーマ】** Unit 8 Mary tries hard
【内容・方法　等】 単語テスト/前回内容の小テスト
テーマに沿った文・会話文を読み、問題に取り組み解説する。
【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
授業内容の復習

第10回　**【授業テーマ】** Unit 9 Bill is snowed unde
【内容・方法　等】 単語テスト/前回内容の小テスト
テーマに沿った文・会話文を読み、問題に取り組み解説する。
【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
授業内容の復習

第11回　**【授業テーマ】** Unit 10 Mary throws in the towel
【内容・方法　等】 単語テスト/前回内容の小テスト
テーマに沿った文・会話文を読み、問題に取り組み解説する。
【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
授業内容の復習

第12回　**【授業テーマ】** Unit 10
Just Relax and Have Fun
【内容・方法　等】 単語テスト/前回内容の小テスト
テーマに沿った文・会話文を読み、問題に取り組み解説する。
【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
授業内容の復習

第13回　**【授業テーマ】** TOEIC Bridge
【内容・方法　等】 単語テスト/前回内容の小テスト
テーマに沿った文・会話文を読み、問題に取り組み解説する。
TOEIC　Bridgeの説明・問題演習
【事前・事後学習課題】 単語テスト準備

第14回　**【授業テーマ】** TOEIC
【内容・方法　等】 TOEICの説明・問題演習
単語テスト
【事前・事後学習課題】 単語テスト準備

第15回　**【授業テーマ】** Review
【内容・方法　等】 復習テスト
【事前・事後学習課題】 Unit1-10の連語・イディオム総復習

評価方法（基準）

授業参加　３０％
テスト・小テスト　４０％
学部統一英語単語テスト　３０％

教材等

教科書…Americans Living in the U.K.-ストーリーで学ぶイディオムとコロケーション：Shuan McCabe、岩崎里子著、成美堂、1.800円
The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test-学校語彙で学ぶTOEICテスト：西谷恒志著、成美堂、1,700円

参考書…なし

学生へのメッセージ

TOEI受験も見据えて、英語独特の言い回しを自分のものにしよう。

関連科目

英語ＩＩ、英語ＩＩＩ、英語ＩＶ

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

英語I
English I

岡　　あゆみ（オカ　アユミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	E	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業では、英語基礎力の修得を目標とし、特に、単語、熟語、構文、文法に関する知識、読解力、聴解力を養う。また、長時間英語に触れる状況においてもストレスレスでいれるような英語に対する耐性も身につける。

授業方法と留意点

教科書は2冊あり、1冊はTOEICテストを受験する学生を対象に作られたもの（「TOEICテストへのファーストステップ」）を、もう1冊は単語集（「学校語彙で学ぶTOEICテスト［単語集］」）を使用する。また、補助プリントも使用する。
基本的に2回の授業で「TOEICテストへのファーストステップ」の1課分を進む。各回の授業の冒頭では、「学校語彙で学ぶTOEICテスト［単語集］」を使用した単語テストも行う。また、授業の間や終了前には質疑応答時間を設けるので積極的に質問をしてほしい。
授業計画に沿った円滑な進行を実現するため，必ず予習した上で授業に臨んでほしい。具体的な復習・予習の内容については毎回の授業時に通知する。
授業には辞書も持参すること。

科目学習の効果（資格）

TOEICテストでのスコアアップ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】** オリエンテーション、Ｕｎｉｔ1 交通と情報案内
【内容・方法　等】 オリエンテーション、単語・熟語と構文の練習、リスニング
【事前・事後学習課題】 事後学習・・・Unit1の復習

第２回　**【授業テーマ】** 単語テスト、Unit1 交通と情報案内

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　200　2014/08/21　14:45:29

【内容・方法　等】 単語テスト（番号1-20）、リスニング
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・単語集の番号1-20を覚える。Unit1の予習。
事後学習・・・Unit1の復習

第３回 【授業テーマ】 単語テスト、Unit1 交通と情報案内
【内容・方法　等】 単語テスト（番号21-40）、文法解説、リーディング
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・単語集の番号21-40を覚える。Unit1の予習。
事後学習・・・Unit1の復習

第４回 【授業テーマ】 単語テスト、Unit2 指示と説明
【内容・方法　等】 単語テスト（番号41-60）、単語・熟語と構文の練習、リスニング
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・単語集の番号41-60を覚える。Unit2の予習。
事後学習・・・Unit2の復習

第５回 【授業テーマ】 単語テスト、Unit2 指示と説明
【内容・方法　等】 単語テスト（番号61-80）、文法解説、リーディング
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・単語集の番号61-80を覚える。Unit2の予習。
事後学習・・・Unit2の復習

第６回 【授業テーマ】 単語テスト、Unit3 飲食
【内容・方法　等】 単語テスト（番号81-100）、単語・熟語と構文の練習、リスニング
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・単語集の番号81-100を覚える。Unit3の予習。
事後学習・・・Unit3の復習

第７回 【授業テーマ】 単語テスト、Unit3 飲食
【内容・方法　等】 単語テスト（番号101-120）、文法解説、リーディング
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・単語集の番号101-120を覚える。Unit3の予習。
事後学習・・・Unit3の復習

第８回 【授業テーマ】 中間試験、総括
【内容・方法　等】 試験と振返り
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・Unit1～3の復習。
事後学習・・・Unit1～3の復習。

第９回 【授業テーマ】 単語テスト、Unit4 ビジネス
【内容・方法　等】 単語テスト（番号121-140）、単語・熟語と構文の練習、リスニング
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・単語集の番号121-140を覚える。Unit4の予習。
事後学習・・・Unit4の復習

第10回 【授業テーマ】 単語テスト、Unit4 ビジネス
【内容・方法　等】 単語テスト（番号141-160）、文法解説、リーディング
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・単語集の番号141-160を覚える。Unit4の予習。
事後学習・・・Unit4の復習

第11回 【授業テーマ】 単語テスト、Unit5 通信・コミュニケーション
【内容・方法　等】 単語テスト（番号161-180）、単語・熟語と構文の練習、リスニング
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・単語集の番号161-180を覚える。Unit5の予習。
事後学習・・・Unit5の復習

第12回 【授業テーマ】 単語テスト、Unit5 通信・コミュニケーション
【内容・方法　等】 単語テスト（番号181-200）、文法解説、リーディング
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・単語集の番号181-200を覚える。Unit5の予習。
事後学習・・・Unit5の復習

第13回 【授業テーマ】 Unit6 社交
【内容・方法　等】 単語・熟語と構文の練習、リスニング
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・Unit6の予習。
事後学習・・・Unit6の復習

第14回 【授業テーマ】 Unit6 社交
【内容・方法　等】 文法解説、リーディング
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・Unit6の予習。
事後学習・・・Unit6の復習

第15回 【授業テーマ】 期末試験、総括
【内容・方法　等】 試験と振返り
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・Ｕｎｉｔ4～6の復習

評価方法（基準）

下記の評価項目を総合して最終的な成績を算出する。
統一英語単語テスト・・・30点
単語テスト・・・20点
中間試験・・・25点
期末試験・・・25点
成績評価に関するその他の詳細については第1回の授業で解説する。

教材等

教科書…北山長貴、Bill Benfield「TOEICテストへのファーストステップ」(2000円)、西谷恒志「学校語彙で学ぶTOEICテスト［単語集］」(1700円)
参考書…特になし

学生へのメッセージ

積極的な授業態度を期待します。
効率的な単語学習のためにe ラーニング教材「リンガポルタ」や単語帳の音声データを使用することをお薦めします。

関連科目

他の英語科目

担当者の研究室等

7号館2階（非常勤講師室）

英語I
English I

藪　井　恵美子（ヤブイ　エミコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	F	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

基礎英文法、語彙力を強化し、読解力、表現力の向上を目指します。
また、日常生活の場面で用いられる実用的な英文や図表に慣れ、そこから適確な情報を得られるよう、適宜TOEIC関連の追加教材を用いたいと思います。

授業方法と留意点

テキストを中心に行います。辞書は必ず持参して下さい。時間内に質疑応答時間を設けます。
指定する150単語について、テキストを使い語彙力の強化向上を図る。
法学部として実施する「統一英語単語テスト」を受験すること。

科目学習の効果（資格）

英検、TOEIC受験のための基礎英語能力を養う
ＴＯＥＩＣテストに有効な単語力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 概要説明
【内容・方法　等】 ――――――
【事前・事後学習課題】 ――――――

第２回 【授業テーマ】 Lesson3
【内容・方法　等】 代名詞
【事前・事後学習課題】 演習３

第３回 【授業テーマ】 Lesson4
【内容・方法　等】 代名詞
【事前・事後学習課題】 演習４

第４回 【授業テーマ】 Lesson5
【内容・方法　等】 時制
【事前・事後学習課題】 演習５

第５回 【授業テーマ】 Lesson6
【内容・方法　等】 時制
【事前・事後学習課題】 演習６

第６回 【授業テーマ】 Lesson7
【内容・方法　等】 時制
【事前・事後学習課題】 演習７

第７回 【授業テーマ】 Lesson8
【内容・方法　等】 助動詞
【事前・事後学習課題】 演習８

第８回 【授業テーマ】 Lesson9
【内容・方法　等】 助動詞
【事前・事後学習課題】 演習９

第９回 【授業テーマ】 Lesson10
【内容・方法　等】 態
【事前・事後学習課題】 演習１０

第10回 【授業テーマ】 Lesson11
【内容・方法　等】 態
【事前・事後学習課題】 演習１１

第11回 【授業テーマ】 Lesson12
【内容・方法　等】 不定詞
【事前・事後学習課題】 演習１２

第12回 【授業テーマ】 Lesson13
【内容・方法　等】 不定詞
【事前・事後学習課題】 演習１３

第13回 【授業テーマ】 Lesson３－１３
【内容・方法　等】 Grammar Point　のまとめ
【事前・事後学習課題】 j授業の復習

第14回 【授業テーマ】 総合復習
【内容・方法　等】 総合復習
【事前・事後学習課題】 授業の復習

第15回 【授業テーマ】 プリント教材
【内容・方法　等】 TOEIC演習
【事前・事後学習課題】 ――――――

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd 201 2014/08/21 14:45:29

評価方法（基準）
（小）テスト、授業中の発表、課題などを総合的に評価します。評価には「統一英語単語テスト」の結果を30％組み入れる。

教材等
教科書…教科書・・福井慶一郎　「Mastering Basic English Grammar」　成美堂　（1８00円）
「学校語彙で学ぶTOEICテスト【単語集】The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test; Word Book」（西谷恒志著　成美堂 ￥1,700）
参考書…なし

学生へのメッセージ
予習・復習は大変だと思いますが頑張ってください。

関連科目
英語ＩＩ、英語ＩＩＩ、英語ＩＶ

担当者の研究室等
7号館2階 (非常勤講師室)

英語I
English I

本　多　　善（ホンダ　タクミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	I	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
高校までに学習した英単語と英文法の基本を復習に加え、聞き取りや対話文の完成と対話練習を行います。これによりTOEICのスコア向上も期待されます。副教材の「The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test WORD BOOK」を併用することでより確実な語彙力を身につけることができます。

授業方法と留意点
短い英文の読解を各自で行ってもらい、英語の聞き取りや発声練習を実践してもらいます。英和辞書は必ず持参してください。テキストを使い語彙力の強化向上を図ります。学年末に法学部が実施する「統一英語単語テスト」を必ず受験して下さい。

科目学習の効果（資格）
TOEICや英検など資格試験の得点アップにつながります。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】** オリエンテーション
【内容・方法　等】 内容、授業の進め方、成績評価の説明
英文の構造と音読練習
【事前・事後学習課題】 教科書の予習、次回から実施する単語小テストの勉強

第２回　**【授業テーマ】** Unit 1
A Large Omelet Sandwich
【内容・方法　等】 英文読解、会話文聞き取り、音読練習、対話練習、構文の暗記。
指定範囲の単語テスト。
【事前・事後学習課題】 教科書の復習、次回実施する単語小テストの勉強

第３回　**【授業テーマ】** Unit 2
It’s Your Lucky Day
【内容・方法　等】 英文読解、会話文聞き取り、音読練習、対話練習、構文の暗記。
指定範囲の単語テスト。
【事前・事後学習課題】 教科書の復習、次回実施する単語小テストの勉強

第４回　**【授業テーマ】** Unit 3
My Brother Went There Last Yea
【内容・方法　等】 英文読解、会話文聞き取り、音読練習、対話練習、構文の暗記。
指定範囲の単語テスト。
【事前・事後学習課題】 教科書の復習、次回実施する単語小テストの勉強

第５回　**【授業テーマ】** Unit 4
Give Me a Break!
【内容・方法　等】 英文読解、会話文聞き取り、音読練習、対話練習、構文の暗記。
指定範囲の単語テスト。
【事前・事後学習課題】 教科書の復習、次回実施する単語小テストの勉強

第６回　**【授業テーマ】** Unit 5
You Mustn’t Panic
【内容・方法　等】 英文読解、会話文聞き取り、音読練習、対話練習、構文の暗記。
指定範囲の単語テスト。
【事前・事後学習課題】 教科書の復習、次回実施する単語小テストの勉強

第７回　**【授業テーマ】** Review
【内容・方法　等】 復習、今まで学んだ英文、会話文、音読のreview
指定範囲の単語テスト。
【事前・事後学習課題】 教科書の復習、次回実施する単語小テストの勉強

第８回　**【授業テーマ】** Unit 6
Seeing Is Believing
【内容・方法　等】 英文読解、会話文聞き取り、音読練習、対話練習、構文の暗記。
指定範囲の単語テスト。
【事前・事後学習課題】 教科書の復習、次回実施する単語小テストの勉強

第９回　**【授業テーマ】** Unit 7
I Was Using It Today at Work
【内容・方法　等】 英文読解、会話文聞き取り、音読練習、対話練習、構文の暗記。
指定範囲の単語テスト。
【事前・事後学習課題】 教科書の復習、次回実施する単語小テストの勉強

第10回　**【授業テーマ】** Unit 8
Even on a Cloudy Day
【内容・方法　等】 英文読解、会話文聞き取り、音読練習、対話練習、構文の暗記。
指定範囲の単語テスト。
【事前・事後学習課題】 教科書の復習、次回実施する単語小テストの勉強

第11回　**【授業テーマ】** Unit 9
It Was Only Ten Bucks
【内容・方法　等】 英文読解、会話文聞き取り、音読練習、対話練習、構文の暗記。
指定範囲の単語テスト。
【事前・事後学習課題】 教科書の復習、次回実施する単語小テストの勉強

第12回　**【授業テーマ】** Unit 10
Isn’t It Noisy?
【内容・方法　等】 英文読解、会話文聞き取り、音読練習、対話練習、構文の暗記。
指定範囲の単語テスト。
【事前・事後学習課題】 教科書の復習、発声練習と英文の暗記

第13回　**【授業テーマ】** Unit 11
Apples or Oranges
【内容・方法　等】 英文読解、会話文聞き取り、音読練習、対話練習、構文の暗記。
【事前・事後学習課題】 教科書の復習、発声練習と英文の暗記

第14回　**【授業テーマ】** Unit 12
What Are You Doing?
【内容・方法　等】 復習、今まで学んだ英文、会話文、音読のreview。
次回実施する叢復習テスト対策。
【事前・事後学習課題】 教科書の復習。英文、会話文、聞き取りの復習。

第15回　**【授業テーマ】** 前期の総括
【内容・方法　等】 期末まとめテスト
【事前・事後学習課題】 前期学習事項の復習

評価方法（基準）
学期末まとめテスト40%、授業内での発表10％、単語小テスト20%、共通試験30%（統一英語単語テスト30%）。

教材等
教科書…「読み・書き・聞いて学ぶ大学英文法（English Edge: Basic English Practice for College Students）」
Robert Hickling他2名編　発行所　金星堂　(2,205円税込)
【単語集】The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test: WORD BOOK」　西谷恒志著　発行所　（株）成美堂（1,700円＋税）
参考書…英和辞書

学生へのメッセージ
単語集の単語だけでなく、テキストの各章における Vocabulary の語彙も辞書で調べて予習しておいて下さい。語彙力が英語の上達に大きく影響します。

関連科目
英語Ⅱ、英語Ⅲ、英語Ⅳorスポーツ英語Ⅱ、スポーツ英語Ⅲ、スポーツ英語Ⅳ

担当者の研究室等
非常勤講師室（7号館2階）

備考
休まず積極的に授業に参加して下さい。努力は実ります。

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　202　　2014/08/21　14:45:29

英語II
English II

山　本　尚　子（ヤマモト　ヒサコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業の目的は、読解力、語彙、リスニングなどの英語の基礎力をしっかりと身につけることです。様々なテーマについて書かれたエッセイを読みながら、英文で書かれた記事の大意のつかみ方を学ぶと同時に、よく使われる表現を覚えるようにします。また様々な練習問題を通して、TOEIC等の資格試験に対応できるようにして行きます。

授業方法と留意点

授業では、まずエッセイの大意をまとめてから、イディオムや表現をチェックしながら精読します。その後リスニングや英問英答等の練習を行います。また、時々授業で学習したトピックについてグループで英語で発表する時間を設けます。尚、毎回事業の最初に単語集から小テストを行い、「統一単語テスト」に備えます。法学部実施のこのテストを必ず受験してください。

科目学習の効果（資格）

文法、語彙、読解、リスニングの基礎力をつけることによるTOEICテストなどの資格試験のスコア・アップ。TOEICテストに有効な単語力をつけること。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】** オリエンテーション/Unit 11の導入
【内容・方法　等】 授業の進め方の説明およびプリント教材を使った練習/Unit 11の導入
【事前・事後学習課題】 指定された個所を予習しておくこと、単語集の指定された個所を覚えておくこと

第２回　**【授業テーマ】** Retro Style
【内容・方法　等】 レトロ・ブーム
【事前・事後学習課題】 同上

第３回　**【授業テーマ】** It pays to be the CEO
【内容・方法　等】 CEOの特別待遇
【事前・事後学習課題】 同上

第４回　**【授業テーマ】** London
【内容・方法　等】 ロンドンの魅力
【事前・事後学習課題】 同上

第５回　**【授業テーマ】** Web 2.0 (1)
【内容・方法　等】 ネットユーザーの変化 (1)
【事前・事後学習課題】 同上

第６回　**【授業テーマ】** Web 2.0 (2)
【内容・方法　等】 ネットユーザーの変化 (2)
【事前・事後学習課題】 同上

第７回　**【授業テーマ】** Troubled Stars
【内容・方法　等】 有名人が抱える問題
【事前・事後学習課題】 同上

第８回　**【授業テーマ】** M-Shaped Society (1)
【内容・方法　等】 格差社会 (1)
【事前・事後学習課題】 同上

第９回　**【授業テーマ】** M-Sgaped Society (2)
【内容・方法　等】 格差社会 (2)
【事前・事後学習課題】 同上

第10回　**【授業テーマ】** Space Colonies
【内容・方法　等】 宇宙コロニー
【事前・事後学習課題】 同上

第11回　**【授業テーマ】** Office Gossip
【内容・方法　等】 社内のゴシップ
【事前・事後学習課題】 同上

第12回　**【授業テーマ】** Lost Arts
【内容・方法　等】 失われ行く伝統工芸
【事前・事後学習課題】 同上

第13回　**【授業テーマ】** Stem Cells (1)
【内容・方法　等】 幹細胞 (1)
【事前・事後学習課題】 同上

第14回　**【授業テーマ】** Stem Cells (2)
【内容・方法　等】 幹細胞 (2)
【事前・事後学習課題】 同上

第15回　**【授業テーマ】** まとめテスト / 復習
【内容・方法　等】 これまでの内容のまとめのテストおよび復習
【事前・事後学習課題】 同上

評価方法（基準）

統一英語単語テスト30%、平常点(小テスト、提出物、授業態度、発表)30%、まとめテスト40%で総合的に評価する。

教材等

教科書…Reading Pass 3（南雲堂）
The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test WORD BOOK (成美堂)

参考書…なし

学生へのメッセージ

毎回必ず予習をして出席し、積極的に授業に参加するように心がけてください。

関連科目

すべての英語科目

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

英語II
English II

西　谷　継　治（ニシタニ　ケイジ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	B	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

高校までに学習した英文法の復習と同時に、それに関連するTOEICテストのテーマの学習を通して、TOEICテストに慣れ親しむ。授業では４技能のうち特にリーディング力、リスニング力の向上に力を入れる。語彙については補助テキストから単語テストを行う。

教科書は実際に報道された英字新聞の記事を用いたもので、教育・文化・科学・天災・スポーツと多岐にわたる、最新の話題を含む。受講生は、時事問題に触れると同時に国際感覚を養ってほしい。英文も大学生にふさわしいレベルとなっており、実践的、総合的な英語の運用能力の訓練になるだろう。

授業方法と留意点

１回の授業で、教科書の1課分を学習する。教科書については、本文の和訳だけでなく、文法事項の復習、語彙の習得にも重点を置く。必要に応じてプリント等（教員から配布）も使用する。
毎回の授業時間内(終了前)に質問時間をとるので、積極的に活用してほしい。授業の前後には、必ず予習、復習することが必要である。
大体5課ごとに理解度を確認するために小テストを行う。授業の冒頭で、TOEIC対策として単語テストも行う。授業にはできるだけ辞書を持参すること。

科目学習の効果（資格）

さまざまな分野の優れた英文に触れ、視野を広げる。
文法力と読解力を向上させる。
TOEICテストに慣れ親しむ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】** Unit 11 Samurai spirit
【内容・方法　等】 単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】 教科書：　P.61-66
単語：　NO.401-430

第２回　**【授業テーマ】** Unit 12 Roundabouts hit the streets
【内容・方法　等】 単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】 教科書：　P.67-72
単語：　NO.421-450

第３回　**【授業テーマ】** Unit 13 Author Kanako Nishi talks about her novels and the stories ehind them
【内容・方法　等】 単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】 教科書：　P.73-78
単語：　NO.441-470

第４回　**【授業テーマ】** Unit 14 For passwords, 1 is risky game
【内容・方法　等】 単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】 教科書：　P.79-84
単語：　NO.461-490

第５回　**【授業テーマ】** Unit 15 Ideal teacher is not human but alien in manga
【内容・方法　等】 単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】 教科書：　P.85-90
単語：　NO.481-510

第６回　**【授業テーマ】** Unit 11-15 総復習
【内容・方法　等】 単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】 教科書：
単語：　NO.501-530

第７回　**【授業テーマ】** 中間テスト
【内容・方法　等】 Unit 11～15までの内容についてテスト
【事前・事後学習課題】 教科書：
単語：　NO.511-540

第８回　**【授業テーマ】** 中間試験解説及び評
【内容・方法　等】 中間試験の詳しい解説
【事前・事後学習課題】 教科書：　P.
単語：　NO.521-550

第９回　**【授業テーマ】** Unit 16 Train passengers joined in saving woman
【内容・方法　等】 単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】 教科書：　P. 91-96
単語：　NO.531-560

第10回　**【授業テーマ】** Unit 17 Rental boyfriend service becomes hot

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　203　2014/08/21　14:45:29

in China
【内容・方法　等】 単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】 教科書：　P.97-102
単語：　NO.541-570
第11回 【授業テーマ】 Unit 18 Teachers turn to movies to enhance English classes
【内容・方法　等】 単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】 教科書：　P.103-108
単語：　NO.551-580
第12回 【授業テーマ】 Unit 19 Man, 101, finishes last race in H.K.
【内容・方法　等】 単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】 教科書：　P.109-114
単語：　NO.561-590
第13回 【授業テーマ】 Unit 20　Voters unimpressed by Internet campaign
【内容・方法　等】 単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】 教科書：　P.115-120
単語：　NO.571-600
第14回 【授業テーマ】 Unit16-20 総復習
【内容・方法　等】 Unit16-20 総復習
【事前・事後学習課題】 教科書Unit 16～20までの復習
第15回 【授業テーマ】 Unit 16-20 テスト
【内容・方法　等】 Unit 16～20までの内容についてテストを行う
【事前・事後学習課題】 Unit16-20 テスト勉強

評価方法（基準）
出席は毎回とり、4回以上欠席した場合は単位を認定しない。教科書に関して各学期中に合計2回の確認テストを行い、定期試験は実施しない。成績は、予習状況を含む平常点(30%)、統一単語テスト(30％)、確認テスト(40%)、で評価する。

教材等
教科書…教科書：若有保彦、「Meet the World: English through Newspapers 2014 メディアで学ぶ日本と世界」(￥2,000)
補助テキスト：「The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test; Word Book」（￥1,700）
参考書…特になし

学生へのメッセージ
図書館やPC等を利用し日頃から英語に親しんでください。

関連科目
特になし

担当者の研究室等
7号館2階 非常勤講師室

英語II
English II

岩　永　道　子（イワナガ　ミチコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	C	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
基礎英文法、語彙力の強化をし、読解力、表現力の向上を目指します。
また、日常生活の場面で用いられる実用的な英文や図表に慣れ、そこから適確な情報を得られるよう、適宜TOEIC関連の追加教材を用いたいと思います。

授業方法と留意点
テキストを中心に行います。辞書を持参して下さい。時間内に質疑応答時間を設けます。
指定する150単語について、テキストを使い語彙力の強化向上を図る。
法学部として実施する「統一英語単語テスト」を受験すること。

科目学習の効果（資格）
英検、TOEIC受験のための基礎英語能力を養う
TOEICテストに有効な単語力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 第７章前半　「太古の大陸は１つだった、ウェゲナーの大陸移動説」
【内容・方法　等】 Chapter 7　Wegener's Continental Drift
【事前・事後学習課題】 学生へのメッセージに記載のとおり
第２回 【授業テーマ】 第７章後半と小テスト
【内容・方法　等】 Chapter 7
【事前・事後学習課題】 学生へのメッセージに記載のとおり
第３回 【授業テーマ】 第８章前半　「ムハマド・ユヌス博士のノーベル平和賞受賞演説」
【内容・方法　等】 Chapter　8　Nobel Lecture by Muhammad Yunus
【事前・事後学習課題】 学生へのメッセージに記載のとおり
第４回 【授業テーマ】 第８章後半と小テスト
【内容・方法　等】 Chapter 8
【事前・事後学習課題】 学生へのメッセージに記載のとおり
第５回 【授業テーマ】 第９章前半　「感情についての科学的分析」
【内容・方法　等】 Chapter 9　Emotion
【事前・事後学習課題】 学生へのメッセージに記載のとおり
第６回 【授業テーマ】 第９章後半と小テスト
【内容・方法　等】 Chapter 9
【事前・事後学習課題】 学生へのメッセージに記載のとおり
第７回 【授業テーマ】 第１０章前半　「戦場のピアニスト、究極の調べ」
【内容・方法　等】 Chapter 10　The Pianist
【事前・事後学習課題】 学生へのメッセージに記載のとおり
第８回 【授業テーマ】 第１０章後半と小テスト
【内容・方法　等】 Lesson 10
【事前・事後学習課題】 学生へのメッセージに記載のとおり
第９回 【授業テーマ】 第１１章前半　「ミトコンドリア・イブ、人類はたった１人のアフリカ人女性にたどり着く」
【内容・方法　等】 Chapter 11　Mitochondrial Eve
【事前・事後学習課題】 学生へのメッセージに記載のとおり
第10回 【授業テーマ】 第１１章後半と小テスト
【内容・方法　等】 Lesson 11
【事前・事後学習課題】 学生へのメッセージに記載のとおり
第11回 【授業テーマ】 第１２章前半　「世界を『無』から救う、終りのない物語」
【内容・方法　等】 Chapter 12　The Neverending Story
【事前・事後学習課題】 学生へのメッセージに記載のとおり
第12回 【授業テーマ】 第１２章後半と小テスト
【内容・方法　等】 Lesson 12
【事前・事後学習課題】 学生へのメッセージに記載のとおり
第13回 【授業テーマ】 総合復習
【内容・方法　等】 後期授業内容の復習
【事前・事後学習課題】 学生へのメッセージに記載のとおり
第14回 【授業テーマ】 総合復習
【内容・方法　等】 後期授業内容の復習
【事前・事後学習課題】 学生へのメッセージに記載のとおり
第15回 【授業テーマ】 総合復習
【内容・方法　等】 後期授業内容の復習
【事前・事後学習課題】 学生へのメッセージに記載のとおり

評価方法（基準）
（小）テスト、授業中の発表、課題などを総合的に評価します。
評価には、統一英語単語テストの結果を３０％組み入れる。

教材等
教科書…Wisdom Explorer 叡智の輝き　著者：岩永道子、上村淳子、吉岡みのり、吉田澄子　朝日出版　￥１７００
「学校語彙で学ぶTOEICテスト【単語集】The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test; WORD BOOK」（西谷恒志著　発行所（株）成美堂 ￥1,700）
参考書…なし

学生へのメッセージ
多くの英文を読みたいと思います。
予習・復習は大変だと思いますが、頑張ってください。

関連科目
英語Ⅰ、英語ＩＩＩ、英語ＩＶ

担当者の研究室等
7号館2階 (非常勤講師室)

英語II
English II

中　野　華　子（ナカノ　ハナコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	D	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
英語でのcommunicationを活発にするために必要な、連語やイディオムを主に学習する。日常会話文や短文のテキストを通して、「英語らしい表現」を学ぶことを目的とする。

授業方法と留意点
毎回授業の初めにTOEICの単語テストか前回授業分の連語・イディオムの小テストを行う。
法学部として実施する「統一英語単語テスト」を受験すること。
必ず辞書をもってくること。

科目学習の効果（資格）
ＴＯＥＩＣテストの単語力増強と基本的な英語のスキル獲得効果がある。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法　等】 授業全般についての詳しい説明
英作文
【事前・事後学習課題】 単語テストの練習、単語テスト
第２回 【授業テーマ】 Unit 11 Bill gets a pat on the back
【内容・方法　等】 単語テスト
テーマに沿った文・会話文を読み、問題に取り組み解説する。

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　204　2014/08/21　14:45:29

【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
授業内容の復習

第３回 【授業テーマ】 Unit 12 Mary has a health checkup
【内容・方法　等】 単語テスト/前回内容の小テスト
テーマに沿った文・会話文を読み、問題に取り組み解説する。
【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
授業内容の復習

第４回 【授業テーマ】 Unit 13 Bill makes enquiries
【内容・方法　等】 単語テスト/前回内容の小テスト
テーマに沿った文・会話文を読み、問題に取り組み解説する。
【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
授業内容の復習

第５回 【授業テーマ】 Unit14 Mary plans to spend
【内容・方法　等】 単語テスト/前回内容の小テスト
テーマに沿った文・会話文を読み、問題に取り組み解説する。
【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
授業内容の復習

第６回 【授業テーマ】 Unit 15 Bill Not seated together but...
【内容・方法　等】 単語テスト/前回内容の小テスト
テーマに沿った文・会話文を読み、問題に取り組み解説する。
【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
授業内容の復習

第７回 【授業テーマ】 Unit 16 Each to his own
【内容・方法　等】 単語テスト/前回内容の小テスト
テーマに沿った文・会話文を読み、問題に取り組み解説する。
【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
授業内容の復習

第８回 【授業テーマ】 Unit 17 Are Bill's bachelor days over?
【内容・方法　等】 単語テスト/前回内容の小テスト
テーマに沿った文・会話文を読み、問題に取り組み解説する。
【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
授業内容の復習

第９回 【授業テーマ】 Unit 18 Mary's cup of tea
【内容・方法　等】 単語テスト/前回内容の小テスト
テーマに沿った文・会話文を読み、問題に取り組み解説する。
【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
授業内容の復習

第10回 【授業テーマ】 Unit 19 A willing cuinea pig
【内容・方法　等】 単語テスト/前回内容の小テスト
テーマに沿った文・会話文を読み、問題に取り組み解説する。
【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
授業内容の復習

第11回 【授業テーマ】 Unit 20 Bill has popped the question
【内容・方法　等】 単語テスト/前回内容の小テスト
テーマに沿った文・会話文を読み、問題に取り組み解説する。
【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
授業内容の復習

第12回 【授業テーマ】 Unit 21 The oak tree and the cypress grow not in each other's shadow
【内容・方法　等】 単語テスト/前回内容の小テスト
テーマに沿った文・会話文を読み、問題に取り組み解説する。
【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
授業内容の復習

第13回 【授業テーマ】 TOEIC Bridge
【内容・方法　等】 単語テスト/前回内容の小テスト
TOEIC　Bridgeの説明・問題演習
【事前・事後学習課題】 単語テスト準備

第14回 【授業テーマ】 TOEIC
【内容・方法　等】 TOEICの説明・問題演習
単語テスト
【事前・事後学習課題】 単語テスト準備

第15回 【授業テーマ】 Review
【内容・方法　等】 復習テスト
【事前・事後学習課題】 Unit11-20の連語・イディオム総復習

評価方法（基準）
授業参加　３０％
テスト・小テスト　４０％
学部統一英語単語テスト　３０％

教材等
教科書…Americans Living in the U.K.-ストーリーで学ぶイディオムとコロケーション：Shuan McCabe、岩崎里子著、成美堂、1.800円
The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test-学校語彙で学ぶTOEICテスト：西谷恒志著、成美堂、1,700円
参考書…なし

学生へのメッセージ
TOEI受験も見据えて、英語独特の言い回しを自分のものにしよう。

関連科目
英語ＩＩ、英語ＩＩＩ、英語ＩＶ

担当者の研究室等
7号館2階(非常勤講師室)

英語II
English II

岡　　あゆみ（オカ　アユミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	E	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
この授業では、英語基礎力の修得を目標とし、特に、単語、熟語、構文、文法に関する知識、読解力、聴解力を養う。また、長時間英語に触れる状況においてもストレスレスでいれるような英語に対する耐性も身につける。

授業方法と留意点
教科書は2冊あり、1冊はTOEICテストを受験する学生を対象に作られたもの（「TOEICテストへのファーストステップ」）を、もう1冊は単語集（「学校語彙で学ぶTOEICテスト［単語集］」）を使用する。また、補助プリントも使用する。
基本的に2回の授業で「TOEICテストへのファーストステップ」の1課分を進む。各回の授業の冒頭では、「学校語彙で学ぶTOEICテスト［単語集］」を使用した単語テストも行う。また、授業の間や終了前には質疑応答時間を設けるので積極的に質問をしてほしい。
授業計画に沿った円滑な進行を実現するため，必ず予習した上で授業に臨んでほしい。具体的な復習・予習の内容については毎回の授業時に通知する。
授業には辞書も持参すること。

科目学習の効果（資格）
TOEICテストでのスコアアップ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 オリエンテーション、Unit1～6の振り返り
【内容・方法　等】 オリエンテーション、Unit1～6の振返り
【事前・事後学習課題】 事後学習・・・Ｕｎｉｔ1～6の復習

第２回 【授業テーマ】 単語テスト、Unit7 招待・案内
【内容・方法　等】 単語テスト（番号401-420）、単語・熟語と構文の練習、リスニング
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・単語集の番号401-420を覚える。Unit7の予習。
事後学習・・・Unit7の復習

第３回 【授業テーマ】 単語テスト、Unit7 招待・案内
【内容・方法　等】 単語テスト（番号421-440）、文法解説・リーディング
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・単語集の番号421-440を覚える。Unit7の予習。
事後学習・・・Unit7の復習

第４回 【授業テーマ】 単語テスト、Unit8 医療・保険
【内容・方法　等】 単語テスト（番号441-460）、単語・熟語と構文の練習、リスニング
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・単語集の番号441-460を覚える。Unit8の予習。
事後学習・・・Unit8の復習

第５回 【授業テーマ】 単語テスト、Unit8 医療・保険
【内容・方法　等】 単語テスト（番号461-480）、文法解説、リーディング
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・単語集の番号461-480を覚える。Unit8の予習。
事後学習・・・Unit8の復習

第６回 【授業テーマ】 単語テスト、Unit9 文化・娯楽
【内容・方法　等】 単語テスト（番号481-500）、単語・熟語と構文の練習、リスニング
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・単語集の番号481-500を覚える。Unit9の予習。
事後学習・・・Unit9の復習

第７回 【授業テーマ】 単語テスト、Unit9 文化・娯楽
【内容・方法　等】 単語テスト（番号501-520）、文法解説、リーディング
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・単語集の番号501-520を覚える。Unit9の予習。
事後学習・・・Unit9の復習

第８回 【授業テーマ】 中間試験、総括
【内容・方法　等】 試験と振返り
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・Unit6～9の復習。
事後学習・・・Unit6～9の復習

第９回 【授業テーマ】 単語テスト、Unit10 買い物
【内容・方法　等】 単語テスト（番号521-540）、単語・熟語と構文の練習、リスニング
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・単語集の番号521-540を覚える。Unit10の予習。
事後学習・・・Unit10の復習

第10回 【授業テーマ】 単語テスト、Unit10 買い物
【内容・方法　等】 単語テスト（番号541-560）、文法解説、リーディング
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・単語集の番号541-560を覚える。Unit10の予習。

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　205　2014/08/21　14:45:30

事後学習・・・Unit10の復習
第11回 **【授業テーマ】** 単語テスト、Unit11 運動・フィットネス
【内容・方法　等】 単語テスト（番号561-580）、語・熟語と構文の練習、リスニング
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・単語集の番号561-580を覚える。Unit11の予習。
事後学習・・・Unit11の復習
第12回 **【授業テーマ】** 単語テスト、Unit11 運動・フィットネス
【内容・方法　等】 単語テスト（番号581-600）、単文法解説、リーディング
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・単語集の番号581-600を覚える。Unit11の予習。
事後学習・・・Unit11の復習
第13回 **【授業テーマ】** Unit12 トラブル・申請
【内容・方法　等】 単語・熟語と構文の練習、リスニング
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・Unit12の予習。
事後学習・・・Unit12の復習
第14回 **【授業テーマ】** Unit12 トラブル・申請
【内容・方法　等】 リーディング
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・Unit12の予習。
事後学習・・・Unit12の復習
第15回 **【授業テーマ】** 期末試験、総括
【内容・方法　等】 試験と振返り
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・Ｕｎｉｔ10-12の復習

評価方法（基準）
下記の評価項目を総合して最終的な成績を算出する。
統一英語単語テスト・・・30点
単語テスト・・・20点
中間試験・・・25点
期末試験・・・25点
成績評価に関するその他の詳細については第1回の授業で解説する。

教材等
教科書…北山長貴、Bill Benfield「TOEICテストへのファーストステップ」(2000円)、西谷恒志「学校語彙で学ぶTOEICテスト［単語集］」(1700円)
参考書…特になし

学生へのメッセージ
積極的な授業態度を期待します。
効率的な単語学習のためにe ラーニング教材「リンガポルタ」や単語帳の音声データを使用することをお薦めします。

関連科目
他の英語科目

担当者の研究室等
7号館2階（非常勤講師室）

英語II
English II

藪　井　恵美子（ヤブイ　エミコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	F	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
基礎英文法、語彙力の強化をし、読解力、表現力の向上を目指します。
また、日常生活の場面で用いられる実用的な英文や図表に慣れ、そこから適確な情報を得られるよう、適宜TOEIC関連の追加教材を用いたいと思います。

授業方法と留意点
テキストを中心に行います。辞書を持参して下さい。時間内に質疑応答時間を設けます。
指定する150単語について、テキストを使い語彙力の強化向上を図る。
法学部として実施する「統一英語単語テスト」を受験すること。

科目学習の効果（資格）
英検、TOEIC受験のための基礎英語能力を養う
TOEICテストに有効な単語力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 **【授業テーマ】** 概要説明
【内容・方法　等】 ――――――
【事前・事後学習課題】 ――――――
第２回 **【授業テーマ】** Lesson１４
【内容・方法　等】 分詞
【事前・事後学習課題】 演習１４
第３回 **【授業テーマ】** Lesson１５
【内容・方法　等】 分詞
【事前・事後学習課題】 演習１５
第４回 **【授業テーマ】** Lesson１６
【内容・方法　等】 動名詞
【事前・事後学習課題】 演習１６
第５回 **【授業テーマ】** Lesson１７
【内容・方法　等】 動名詞
【事前・事後学習課題】 演習１７
第６回 **【授業テーマ】** Lesson１８
【内容・方法　等】 形容詞
【事前・事後学習課題】 演習１８
第７回 **【授業テーマ】** Lesson１９
【内容・方法　等】 比較
【事前・事後学習課題】 演習１９
第８回 **【授業テーマ】** Lesson２０
【内容・方法　等】 比較
【事前・事後学習課題】 演習２０
第９回 **【授業テーマ】** Lesson２１
【内容・方法　等】 関係詞
【事前・事後学習課題】 演習２１
第10回 **【授業テーマ】** Lesson２２
【内容・方法　等】 関係詞
【事前・事後学習課題】 演習２２
第11回 **【授業テーマ】** Lesson２３
【内容・方法　等】 仮定法
【事前・事後学習課題】 演習２３
第12回 **【授業テーマ】** Lesson２４
【内容・方法　等】 仮定法
【事前・事後学習課題】 演習２４
第13回 **【授業テーマ】** Lesson１４－２４
【内容・方法　等】 Grammar Point の復習
【事前・事後学習課題】 授業の復習
第14回 **【授業テーマ】** 総合復習
【内容・方法　等】 総合復習
【事前・事後学習課題】 ――――――
第15回 **【授業テーマ】** プリント教材
【内容・方法　等】 TOEIC演習
【事前・事後学習課題】 ――――――

評価方法（基準）
（小）テスト、授業中の発表、課題などを総合的に評価します。
評価には、統一英語単語テストの結果を３０％組み入れる。

教材等
教科書…教科書・・福井慶一郎　「Mastering Basic English Grammar」成美堂　（１８００円）
「学校語彙で学ぶTOEICテスト【単語集】The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test; Word Book」(西谷恒志著　成美堂 ￥1,700)
参考書…なし

学生へのメッセージ
多くの英文を読みたいと思います。
予習・復習は大変だと思いますが、頑張ってください。

関連科目
英語Ⅰ、英語ＩＩＩ、英語ＩＶ

担当者の研究室等
7号館2階（非常勤講師室）

英語II
EnglishII

本　多　　善（ホンダ　タクミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	I	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
高校までに学習した英単語と英文法の基本を復習に加え、聞き取りや対話文の完成と対話練習を行います。これによりTOEICのスコア向上も期待されます。副教材の「The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test WORD BOOK」を併用することでより確実な語彙力を身につけることができます。

授業方法と留意点
短い英文の読解を各自で行ってもらい、英語の聞き取りや発声練習を実践してもらいます。英和辞書は必ず持参してください。テキストを使い語彙力の強化向上を図ります。学年末に法学部が実施する「統一英語単語テスト」を必ず受験して下さい。

科目学習の効果（資格）
TOEICや英検など資格試験の得点アップにつながります。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 **【授業テーマ】** オリエンテーション
【内容・方法　等】 内容、授業の進め方、成績評価の説明
英文の構造と音読練習
【事前・事後学習課題】 教科書の予習、次回から実施する単語小テストの勉強
第２回 **【授業テーマ】** Unit 13
I Went to the Park with Bruno
【内容・方法　等】 英文読解、会話文聞き取り、音読練習、対話練習、構文の暗記。

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　206　2014/08/21　14:45:30

指定範囲の単語テスト。
【事前・事後学習課題】 教科書の復習、次回実施する単語小テストの勉強

第３回 【授業テーマ】 Unit 14
My Cousin Is Getting Married
【内容・方法　等】 英文読解、会話文聞き取り、音読練習、対話練習、構文の暗記。
指定範囲の単語テスト。
【事前・事後学習課題】 教科書の復習、次回実施する単語小テストの勉強

第４回 【授業テーマ】 Unit 15
I’ve Done That
【内容・方法　等】 英文読解、会話文聞き取り、音読練習、対話練習、構文の暗記。
指定範囲の単語テスト。
【事前・事後学習課題】 教科書の復習、次回実施する単語小テストの勉強

第５回 【授業テーマ】 Unit 16
The Mona Lisa Was Stolen?
【内容・方法　等】 英文読解、会話文聞き取り、音読練習、対話練習、構文の暗記。
指定範囲の単語テスト。
【事前・事後学習課題】 教科書の復習、次回実施する単語小テストの勉強

第６回 【授業テーマ】 Unit 17
I Wonder if You Can Help Me
【内容・方法　等】 英文読解、会話文聞き取り、音読練習、対話練習、構文の暗記。
指定範囲の単語テスト。
【事前・事後学習課題】 教科書の復習、次回実施する単語小テストの勉強

第７回 【授業テーマ】 Review
【内容・方法　等】 復習、今まで学んだ英文、会話文、音読のreview
指定範囲の単語テスト。
【事前・事後学習課題】 教科書の復習、次回実施する単語小テストの勉強

第８回 【授業テーマ】 Unit 18
It Isn’t Good Manners
【内容・方法　等】 英文読解、会話文聞き取り、音読練習、対話練習、構文の暗記。
指定範囲の単語テスト。
【事前・事後学習課題】 教科書の復習、次回実施する単語小テストの勉強

第９回 【授業テーマ】 Unit 19
Does Trevor Have a Girlfriend?
【内容・方法　等】 英文読解、会話文聞き取り、音読練習、対話練習、構文の暗記。
指定範囲の単語テスト。
【事前・事後学習課題】 教科書の復習、次回実施する単語小テストの勉強

第10回 【授業テーマ】 Unit 20
The People That You Work With
【内容・方法　等】 英文読解、会話文聞き取り、音読練習、対話練習、構文の暗記。
指定範囲の単語テスト。
【事前・事後学習課題】 教科書の復習、次回実施する単語小テストの勉強

第11回 【授業テーマ】 Unit 20
The People That You Work With
【内容・方法　等】 英文読解、会話文聞き取り、音読練習、対話練習、構文の暗記。
指定範囲の単語テスト。
【事前・事後学習課題】 教科書の復習、次回実施する単語小テストの勉強

第12回 【授業テーマ】 Unit 21
What Would You Do?
【内容・方法　等】 英文読解、会話文聞き取り、音読練習、対話練習、構文の暗記。
指定範囲の単語テスト。
【事前・事後学習課題】 教科書の復習、発声練習と英文の暗記

第13回 【授業テーマ】 Unit 22
He Asked Me How My Date Was
【内容・方法　等】 英文読解、会話文聞き取り、音読練習、対話練習、構文の暗記。
【事前・事後学習課題】 教科書の復習、発声練習と英文の暗記

第14回 【授業テーマ】 Unit 22
He Asked Me How My Date Was
【内容・方法　等】 復習、今まで学んだ英文、会話文、音読のreview。
次回実施する叢復習テスト対策。
【事前・事後学習課題】 教科書の復習。英文、会話文、聞き取りの復習。

第15回 【授業テーマ】 後期の総括
【内容・方法　等】 期末まとめテスト
【事前・事後学習課題】 後期学習事項の復習

評価方法（基準）
学期末まとめテスト40%、授業内での発表10％、単語小テスト20%、共通試験30%（統一英語単語テスト30%）。

教材等
教科書…「読み・書き・聞いて学ぶ大学英文法（English Edge: Basic English Practice for College Students）」Robert Hickling他2名編　発行所　金星堂　(2,205円税込)
「学校語彙で学ぶTOEICテスト【単語集】The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test: WORD BOOK」　西谷恒志著　発行所　（株）成美堂（1,700円＋税）
参考書…英和辞書

学生へのメッセージ
単語集の単語だけでなく、テキストの各章における Vocabulary の語彙も辞書で調べて予習しておいて下さい。語彙力が英語の上達に大きく影響します。

関連科目
英語Ⅱ、英語Ⅲ、英語Ⅳorスポーツ英語Ⅱ、スポーツ英語Ⅲ、スポーツ英語Ⅳ

担当者の研究室等
非常勤講師室（7号館2階）

備考
休まず積極的に授業に参加して下さい。努力は実ります。

英語III
English III

大　江　麻里子（オオエ　マリコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
アメリカの食文化、娯楽、スポーツなどに関する英文を読む。読解力、リスニング力を養成する。

授業方法と留意点
テキストの日本語訳と練習問題
指定する150単語について、テキストを使い語彙力の強化向上を図る。
法学部として実施する「統一英語単語テスト」を受験すること。

科目学習の効果（資格）
読解力・リスニング力・文法力の習得
TOEICテストに有効な単語力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法　等】 授業の進め方、評価方法を詳しく説明する
【事前・事後学習課題】 教科書を全体的にみておく

第２回 【授業テーマ】 Unit　1
【内容・方法　等】 単語テスト(201-217)
日本語訳と練習問題
【事前・事後学習課題】 分からない単語は辞書でひいておき、すらすらと訳せるようにしておく。

第３回 【授業テーマ】 Unit　1
【内容・方法　等】 単語テスト(218-234)
日本語訳と練習問題
【事前・事後学習課題】 分からない単語は辞書でひいておき、すらすらと訳せるようにしておく。

第４回 【授業テーマ】 Unit　2
【内容・方法　等】 単語テスト(235-251)
日本語訳と練習問題
【事前・事後学習課題】 分からない単語は辞書でひいておき、すらすらと訳せるようにしておく。

第５回 【授業テーマ】 Unit　2
【内容・方法　等】 単語テスト(252-268)
日本語訳と練習問題
【事前・事後学習課題】 分からない単語は辞書でひいておき、すらすらと訳せるようにしておく。

第６回 【授業テーマ】 Unit　3
【内容・方法　等】 単語テスト(269-285)
日本語訳と練習問題
【事前・事後学習課題】 分からない単語は辞書でひいておき、すらすらと訳せるようにしておく。

第７回 【授業テーマ】 Unit　3
【内容・方法　等】 単語テスト(286-302)
日本語訳と練習問題
【事前・事後学習課題】 分からない単語は辞書でひいておき、すらすらと訳せるようにしておく。

第８回 【授業テーマ】 Unit　4
【内容・方法　等】 単語テスト(303-319)

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　207　2014/08/21　14:45:30

日本語訳と練習問題
【事前・事後学習課題】 分からない単語は辞書でひいておき、すらすらと訳せるようにしておく。

第９回 **【授業テーマ】** Unit 4
【内容・方法　等】 単語テスト(320-336)
日本語訳と練習問題
【事前・事後学習課題】 分からない単語は辞書でひいておき、すらすらと訳せるようにしておく。

第10回 **【授業テーマ】** Unit 5
【内容・方法　等】 単語テスト(337-353)
日本語訳と練習問題
【事前・事後学習課題】 分からない単語は辞書でひいておき、すらすらと訳せるようにしておく。

第11回 **【授業テーマ】** Unit　5
【内容・方法　等】 単語テスト(354-370)
日本語訳と練習問題
【事前・事後学習課題】 分からない単語は辞書でひいておき、すらすらと訳せるようにしておく。

第12回 **【授業テーマ】** Unit 6
【内容・方法　等】 単語テスト(371-387)
日本語訳と練習問題
【事前・事後学習課題】 分からない単語は辞書でひいておき、すらすらと訳せるようにしておく。

第13回 **【授業テーマ】** Unit 6
【内容・方法　等】 単語テスト(388-400)
日本語訳と練習問題
【事前・事後学習課題】 分からない単語は辞書でひいておき、すらすらと訳せるようにしておく。

第14回 **【授業テーマ】** Unt 7
【内容・方法　等】 日本語訳と練習問題
【事前・事後学習課題】 分からない単語は辞書でひいておき、すらすらと訳せるようにしておく。

第15回 **【授業テーマ】** まとめ
【内容・方法　等】 前期範囲の理解度判定
【事前・事後学習課題】 総復習

評価方法（基準）
試験の成績（４０％）、統一単語テストの成績（３０％）と平常点（３０％）を総合的に評価する。

教材等
教科書…『アメリカン・ポップカルチャー』（朝日出版社）１８００円
『学校語彙で学ぶTOEICテスト　単語集』（成美堂）
参考書…なし

学生へのメッセージ
アメリカの文化についての知識を深めながら、英語力も磨いていきましょう。

関連科目
英語IV

担当者の研究室等
7号館２階非常勤講師室

備考
辞書を必ず持ってくること。

英語III
English III

栢　木　敦　子（カヤキ　アツコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	B	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
基礎的な文法力と速読力の養成。

授業方法と留意点
大学生として習得しておくべき基礎的な文法事項を解説し、繰り返し練習問題を行うことによって理解を深める。
プリントにより速読の練習を行うほか、共通テキストにより語彙力の強化を図る。

科目学習の効果（資格）
TOEICのスコアの向上。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** イントロダクション
【内容・方法　等】 授業の進め方、評価の仕方、予習の仕方など
【事前・事後学習課題】 Unit 1の予習

第２回 **【授業テーマ】** Unit 1　be動詞
【内容・方法　等】 Unit 1　be動詞
e動詞の活用と意味
否定文と疑問文
There is 構文
【事前・事後学習課題】 Unit 1の復習
Unit 2の予習

第３回 **【授業テーマ】** Unit 2　一般動詞　(現在)
【内容・方法　等】 Unit 2　一般動詞　(現在)
現在形の否定文
現在形の疑問文
【事前・事後学習課題】 Unit 2の復習
Unit 3 の予習

第４回 **【授業テーマ】** Unit 3　一般動詞(過去)
【内容・方法　等】 Unit 3　一般動詞(過去)
過去形の否定文
過去形の疑問文
【事前・事後学習課題】 Unit 3の復習
Unit 4の予習

第５回 **【授業テーマ】** Unit 4　進行形
【内容・方法　等】 Unit 4　進行形
現在進行形と過去進行形の否定文
現在進行形と過去進行形の疑問文
【事前・事後学習課題】 Unit 4の復習
Unit 5の予習

第６回 **【授業テーマ】** Unit 5　未来形
【内容・方法　等】 Unit 5 未来形
未来形の文
未来形の疑問文
e going to
【事前・事後学習課題】 Unit 5の復習
Unit 6の予習

第７回 **【授業テーマ】** Unit 6　助動詞
【内容・方法　等】 Unit 6　助動詞
can
must
may
【事前・事後学習課題】 中間テスト準備

第８回 **【授業テーマ】** 中間テストと解説
【内容・方法　等】 中間テストおよび解答と解説
【事前・事後学習課題】 Unit 7の予習

第９回 **【授業テーマ】** Unit 7　名詞・冠詞
【内容・方法　等】 Unit 7　名詞・冠詞
可算名詞
不可算名詞
冠詞
【事前・事後学習課題】 Unit 7の復習
Unit 8の予習

第10回 **【授業テーマ】** Unit 8　代名詞
【内容・方法　等】 Unit 8　代名詞
人称代名詞と指示代名詞
所有代名詞、再帰代名詞、疑問代名詞
不定代名詞
【事前・事後学習課題】 Unit 8の復習
Unit 9の予習

第11回 **【授業テーマ】** Unit 9　前置詞
【内容・方法　等】 Unit 9　前置詞
時を表す前置詞
場所・移動方向を表す前置詞
その他の前置詞
【事前・事後学習課題】 Unit 9 の復習
Unit 10の予習

第12回 **【授業テーマ】** Unit 10　形容詞・副詞
【内容・方法　等】 Unit 10　形容詞・副詞
形容詞の用法
数量を表す形容詞
副詞の用法
【事前・事後学習課題】 Unit 10の復習
Unit 11の予習

第13回 **【授業テーマ】** Unit 11　比較
【内容・方法　等】 Unit 11　比較
原級を用いた文
比較級を用いた文
最上級を用いた文
【事前・事後学習課題】 Unit 11復習
Unit 12予習

第14回 **【授業テーマ】** Unit 12　命令文・感嘆文
【内容・方法　等】 Unit 12　命令文・感嘆文
命令文
Whatで始まる感嘆文
Howで始まる感嘆文
【事前・事後学習課題】 テスト準備

第15回 **【授業テーマ】** 平常テストと解説
【内容・方法　等】 平常テストおよび解答と解説
【事前・事後学習課題】 テスト復習

評価方法（基準）
平常テスト 50%, 平常点（発表、課題など）20%, 統一英語単語テスト 30%

教材等
教科書…English Primer Revised Edition　佐藤哲三、愛甲ゆかり著　南雲堂（1,900円＋税）

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　208　2014/08/21　14:45:30

The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test; Word Book　西谷恒志　成美堂（1,700円＋税）

参考書…基礎的な文法書

学生へのメッセージ

必ず予習をし、毎回テキストと辞書を持参すること。
テキストと辞書を忘れた場合、また私語など授業を妨害するような行為や許可なく途中退席をする場合は欠席とみなす。

関連科目

他の英語に関連する科目

担当者の研究室等

７号館2階　非常勤講師室

英語III
English III

田　村　康　子（タムラ　ヤスコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	C	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業では、現代社会の最新の話題を取り上げたリーディング教材を用いて、英語の総合的な運用能力を高めることを目標とする。テキストには、スポーツ、ビジネス、テクノロジー、科学、ライフスタイル、健康問題、娯楽、ファッション、環境問題など様々な話題に関する英文が含まれている。
さらに練習問題として、英文の内容理解、語彙、文法演習、リスニングなど様々なアクティビティが盛り込まれており、これらを丁寧に行っていくことにより、英語の総合的な力が確実に身につくはずである。この授業を通して、英語の各種資格試験の点数アップを目指してもらいたい。

授業方法と留意点

テキストに沿って読み進むとともに、練習問題に取り組んでいく。
法学部として実施する「統一英語単語テスト」を受験すること。

科目学習の効果（資格）

英語語彙力の増強、TOEICのスコアアップ、英検におけるレベルアップ
ＴＯＥＩＣテストに有効な単語力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】** Unit 1: One Laptop Per Child
【内容・方法　等】 リーディング、練習問題
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

第２回　**【授業テーマ】** Unit 1: One Laptop Per Child
Unit 2: Green Profits
【内容・方法　等】 リーディング、練習問題
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

第３回　**【授業テーマ】** Unit 2: Green Profits
【内容・方法　等】 リーディング、練習問題
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

第４回　**【授業テーマ】** Unit 3:Well-Loved Pets
【内容・方法　等】 リーディング、練習問題
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

第５回　**【授業テーマ】** Unit 3:Well-Loved Pets
Unit 4:Italy's Fashion Kings
【内容・方法　等】 リーディング、練習問題
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

第６回　**【授業テーマ】** Unit 4:Italy's Fashion Kings
【内容・方法　等】 リーディング、練習問題
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

第７回　**【授業テーマ】** 復習
【内容・方法　等】 復習
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

第８回　**【授業テーマ】** 復習
臨時テスト
【内容・方法　等】 復習
臨時テスト
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

第９回　**【授業テーマ】** Unit 5:Viral Marketing
【内容・方法　等】 リーディング、練習問題
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

第10回　**【授業テーマ】** Unit 5:Viral Marketing
Unit 8: Replanting the World's Forests
【内容・方法　等】 リーディング、練習問題
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

第11回　**【授業テーマ】** Unit 8: Replanting the World's Forests
【内容・方法　等】 リーディング、練習問題
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

第12回　**【授業テーマ】** Unit 9: Adventure Tourism
【内容・方法　等】 リーディング、練習問題
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

第13回　**【授業テーマ】** Unit 9: Adventure Tourism
Unit 10: Cannes Film Festival
【内容・方法　等】 リーディング、練習問題
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

第14回　**【授業テーマ】** Unit 10: Cannes Film Festival
【内容・方法　等】 リーディング、練習問題
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

第15回　**【授業テーマ】** まとめ
【内容・方法　等】 まとめ
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

評価方法（基準）

統一英語単語テスト(30%)
臨時テスト(40%) 平常点(30%)

教材等

教科書…Reading Pass 2　南雲堂（2,2００円＋税) Andrew E. Bennett
「学校語彙で学ぶTOEICテスト【単語集】The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test; Word Book」(西谷恒志著　成美堂 ￥1,700)

参考書…特になし

学生へのメッセージ

毎回の授業に必ず出席するとともに、予習・復習を必ず行ってください。
授業では、単語帳をもとに計画的に単語の小テストを実施します。

関連科目

英語Ｉ、英語ＩＩ、英語ＩＶ

担当者の研究室等

7号館2階（非常勤講師室）

備考

毎回授業開始時に、副読本の単語テストを行います。
テストのスケジュールは初日に配布します。
単語帳#201-400

英語III
English III

有　本　好一郎(アリモト　コウイチロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	D	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

英語力向上にはこれまでの中学高校レベルの復習も欠かすことはできません。　特に、資格（TOEIC, 英検など）取得には読み書き、英文法のみならず、リスニングにも重点を置く必要があるので、毎回の授業で取り組みます。　聴解力がつくのを実感できますが、前向きに学習することが大前提です。　資格取得に向けて前向きに受験してください。　また授業担当者がアメリカで経験したことも写真で紹介することもあります。

授業方法と留意点

文法問題集、ディクテーションなどを多用し、語彙の習得、文法力向上、聴解力向上を図る。　中高で英語に苦手意識を持った学生も初心に帰り、学習して欲しい。

科目学習の効果（資格）

TOEICの得点向上が期待できるので積極的に受験して欲しい。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】** ガイダンス、TOEICの説明、英語クロスワードパズルなど
【内容・方法　等】 授業の進め方、評価方法、企業が要求するスコアなどを説明
【事前・事後学習課題】 教科書の予習、クロスワードパズルの暗記

第２回　**【授業テーマ】** Be動詞
【内容・方法　等】 文法、リスニング演習問題形式
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記

第３回　**【授業テーマ】** 一般動詞
【内容・方法　等】 文法、リスニング演習問題形式
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズ

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　209　2014/08/21　14:45:30

ルの暗記
第４回 **【授業テーマ】** Be動詞（過去形）
【内容・方法　等】 文法、リスニング演習問題形式
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記
第５回 **【授業テーマ】** 一般動詞（過去形１）
【内容・方法　等】 文法、リスニング演習問題形式
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記
第６回 **【授業テーマ】** 一般動詞（過去形２）
【内容・方法　等】 文法、リスニング演習問題形式
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記
第７回 **【授業テーマ】** 命令文
【内容・方法　等】 文法、リスニング演習問題形式
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記
第８回 **【授業テーマ】** 注意すべき疑問文
【内容・方法　等】 文法、リスニング演習問題形式
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記
第９回 **【授業テーマ】** 進行形
【内容・方法　等】 文法、リスニング演習問題形式
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記
第10回 **【授業テーマ】** 未来形
【内容・方法　等】 文法、リスニング演習問題形式
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記
第11回 **【授業テーマ】** 助動詞１
【内容・方法　等】 文法、リスニング演習問題形式
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記
第12回 **【授業テーマ】** 助動詞２
【内容・方法　等】 文法、リスニング演習問題形式
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記
第13回 **【授業テーマ】** 名詞、冠詞
【内容・方法　等】 文法、リスニング演習問題形式
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記
第14回 **【授業テーマ】** 代名詞
【内容・方法　等】 文法、リスニング演習問題形式
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記
第15回 **【授業テーマ】** TOEICミニクイズ
【内容・方法　等】 文法、リスニング演習問題形式
【事前・事後学習課題】 定期試験の準備

評価方法（基準）
定期試験を実施。定期試験７０％、平常点（小テスト）３０％で評価する。単語テストは２０１－４００から出題。

教材等
教科書…教科書・・南雲堂、「Everyday English Grammar」、Koji Mizushima、　￥1,900円
成美堂、「The Core Vocabulary for the TOEIC Test」、￥1,700円
参考書・・英和、和英辞典を持参のこと。
参考書…辞書を持参のこと。

学生へのメッセージ
企業の海外進出と共に英語力がますます重要になってきました。履歴書に記入できるような資格をめざして頑張ってください。

関連科目
その他英語科目全般

担当者の研究室等
7号館2階(非常勤講師室)

備考
ノート提出を評価点に加算する。
また、単語試験は「The Core Vocabulary for the TOEIC Test」から出題される範囲を受験すること。

英語III
English III

高　橋　章　夫（タカハシ　アキオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	E	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
英語を正確に読み聞きし、受信する能力を磨き、その受信した英語を応用し、書いて話せるようにする訓練をします。また、単語テストを通して、コミュニケーションに不可欠な語彙力を向上させます。

授業方法と留意点
毎回、授業の最初に小テストを行います。その後、テキストの問題に取り組みます。テキストは、２回の授業で１章進みます。各章、１回目の授業では、英語を読み、書くことに、２回目の授業では、聞き、話すことに重点を置き、テキスト及びハンドアウトの問題に取り組みます。

科目学習の効果（資格）
語彙力を強化するとともに、基礎から英語の四技能を伸ばす。また、TOEIC受験に対応できる英語力を身に着ける。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 **【授業テーマ】** イントロダクション
【内容・方法　等】 授業内容・評価方法、小テストの説明
【事前・事後学習課題】 なし
第２回 **【授業テーマ】** Pleased to meet you. 1
【内容・方法　等】 単語テスト
e動詞
【事前・事後学習課題】 単語テストの予習（201-220）
教科書の復習
第３回 **【授業テーマ】** Pleased to meet you. 2
【内容・方法　等】 単語テスト
出迎える／人を紹介する
【事前・事後学習課題】 単語テストの予習（221-240）
教科書の復習
第４回 **【授業テーマ】** Do you remember me?1
【内容・方法　等】 単語テスト
一般動詞（現在）
【事前・事後学習課題】 単語テストの予習（241-260）
教科書の復習
第５回 **【授業テーマ】** Do you remember me?2
【内容・方法　等】 単語テスト
仕事を尋ねる／説明する
【事前・事後学習課題】 単語テストの予習（261-280）
教科書の復習
第６回 **【授業テーマ】** I spoke to Ms. Hayashi yesterday.1
【内容・方法　等】 単語テスト
一般動詞（過去）
【事前・事後学習課題】 単語テストの予習（281-300）
教科書の復習
第７回 **【授業テーマ】** I spoke to Ms. Hayashi yesterday.2
【内容・方法　等】 単語テスト
謝罪する／意向を尋ねる
【事前・事後学習課題】 単語テストの予習（301-320）
教科書の復習
第８回 **【授業テーマ】** When does the meeting start?1
【内容・方法　等】 単語テスト
疑問詞
【事前・事後学習課題】 単語テストの予習（321-340）
教科書の復習
第９回 **【授業テーマ】** When does the meeting start?2
【内容・方法　等】 単語テスト
場所や時間を尋ねる
【事前・事後学習課題】 単語テストの予習（341-360）
教科書の復習
第10回 **【授業テーマ】** Can you meet me at the airport?1
【内容・方法　等】 単語テスト
助動詞 1
【事前・事後学習課題】 単語テストの予習（361-380）
教科書の復習
第11回 **【授業テーマ】** Can you meet me at the airport?2
【内容・方法　等】 単語テスト
依頼する 1
【事前・事後学習課題】 単語テストの予習（381-400）
教科書の復習
第12回 **【授業テーマ】** Feel free to ask me anytime.1
【内容・方法　等】 単語テスト
命令文
【事前・事後学習課題】 単語テストの予習（201-400）
教科書の復習
第13回 **【授業テーマ】** Feel free to ask me anytime.2
【内容・方法　等】 復習テスト1（Unit 1, 2）
使い方を説明する
【事前・事後学習課題】 教科書の復習
第14回 **【授業テーマ】** I’m thinking about quitting my job.1
【内容・方法　等】 復習テスト2（Unit 3, 4）
進行形
【事前・事後学習課題】 教科書の復習
第15回 **【授業テーマ】** I’m thinking about quitting my job.2
【内容・方法　等】 復習テスト3（Unit 5, 6）
相談する／励ます
【事前・事後学習課題】 教科書の復習

評価方法（基準）
平常点30％（小テスト+授業中課題）、定期試験40％、統一英語単語テスト30％の割合で総合的に判断します。

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　210　2014/08/21　14:45:31

教材等

教科書…角山照彦『Let’s Read Aloud & Learn English! - 音読で始める基礎英語』（成美堂）（2310円）
西谷恒志『The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test』成美堂（1700円+税）

参考書…なし

学生へのメッセージ

英語を習得するには、日々の積み重ねが大切です。授業時間のみならず、意識的に英語に触れる機会を増やすよう試みてください。

関連科目

英語IV

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

英語III
English III

金　原　真由美（カネハラ　マユミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	F	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業では単語帳を含めて３冊の教科書を使用する。１冊目ではTOEICのリスニングに頻出する日常の動作表現を学ぶことで英語の感覚を養うことが目的である。２冊目では、現在 社会で起きているさまざまな出来事や話題を読む。読解力を付けると同時に一般常識や専門的な知識を増やすことを目的とする。
単語帳を使い語彙力の向上を図る。

授業方法と留意点

毎回授業の始めにTOEICブリッジのための単語テストを行う。
動作表現の教科書は、日常表現に慣れるだけでなく英文構成の力を養うことも目指している。予習として、表現に一通り目を通しexercise（並べ替え、括弧埋め）をしてくること。
リーディングの教科書は、ノート作りをきちんとすることを心がけてください。英文を写し単語を引き、自分なりに日本語に訳してくること。

科目学習の効果（資格）

知識を広げ読解力を向上させる
TOEICテストに有効な単語力と動作表現の習得

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　ガイダンス、　自己紹介
文法確認テスト
教科書のノート作りの説明
【内容・方法　等】　授業方針、評価方法、出欠の扱いなどの説明
簡単な確認テスト
ノート作りを始める
【事前・事後学習課題】　・要点の整理・次回の予習（単熟語調べ、英文和訳）

第２回　**【授業テーマ】**　座席を決める。
単語テスト
動作表現１　居間・寝室
Chapter 1　リーディングスピード（WPM)を計る
【内容・方法　等】　Chapter 1　教科書ノートのチェック、読解、exercise
【事前・事後学習課題】　・要点の整理　・次回の予習（単熟語調べ、英文和訳）

第３回　**【授業テーマ】**　単語テスト
動作表現２　キッチン
Chapter 1　リーディングスピード（WPM)を計る
【内容・方法　等】　教科書ノートのチェック、読解、exercise
【事前・事後学習課題】　・要点の整理　・次回の予習（単熟語調べ、英文和訳）

第４回　**【授業テーマ】**　単語テスト
動作表現３　洗面所・バス・トイレ
Chapter 2　トピックを理解する
【内容・方法　等】　教科書ノートのチェック、読解、exercise
【事前・事後学習課題】　・要点の整理　・次回の予習（単熟語調べ、英文和訳）

第５回　**【授業テーマ】**　単語テスト
動作表現４　家事
Chapter 2　トピックを理解する
【内容・方法　等】　教科書ノートのチェック、読解、exercise
【事前・事後学習課題】　・要点の整理　・次回の予習（単熟語調べ、英文和訳）

第６回　**【授業テーマ】**　単語テスト
動作表現５　職業（１）
Chapter 3　全体像を拾い読みする
【内容・方法　等】　教科書ノートのチェック、読解、exercise
【事前・事後学習課題】　・要点の整理　・次回の予習（単熟語調べ、英文和訳）

第７回　**【授業テーマ】**　単語テスト
動作表現６　公共交通機関
Chapter 3　全体像を拾い読みする
【内容・方法　等】　教科書ノートのチェック、読解、exercise
【事前・事後学習課題】　・要点の整理　・次回の中間テストに備えた勉強

第８回　**【授業テーマ】**　単語テスト
臨時テスト（中間）
【内容・方法　等】　前半のまとめ
【事前・事後学習課題】　・要点の整理　・次回の予習（単熟語調べ、英文和訳）

第９回　**【授業テーマ】**　単語テスト
動作表現７　車
Chapter 4 代名詞を理解する
【内容・方法　等】　教科書ノートのチェック、読解、exercise
【事前・事後学習課題】　・要点の整理　・次回の予習（単熟語調べ、英文和訳）

第10回　**【授業テーマ】**　単語テスト
動作表現８　学校
Chapter 4 代名詞を理解する
【内容・方法　等】　教科書ノートのチェック、読解、exercise
【事前・事後学習課題】　・要点の整理　・次回の予習（単熟語調べ、英文和訳）

第11回　**【授業テーマ】**　単語テスト
動作表現９　病院
Chapter 5 単語をスキャンする
【内容・方法　等】　教科書ノートのチェック、読解、exercise
【事前・事後学習課題】　・要点の整理　・次回の予習（単熟語調べ、英文和訳）

第12回　**【授業テーマ】**　単語テスト
動作表現１０　オフィス
Chapter 5 単語をスキャンする
【内容・方法　等】　教科書ノートのチェック、読解、exercise
【事前・事後学習課題】　・要点の整理　・次回の予習（単熟語調べ、英文和訳）

第13回　**【授業テーマ】**　単語テスト
動作表現復習１－５
Chapter 6　ヒントから予測する
【内容・方法　等】　教科書ノートのチェック、読解、exercise
【事前・事後学習課題】　・要点の整理　・次回の予習（単熟語調べ、英文和訳）

第14回　**【授業テーマ】**　単語テスト
動作表現復習６－１０
Chapter 6　ヒントから予測する
【内容・方法　等】　教科書ノートのチェック、読解、exercise
【事前・事後学習課題】　・要点の整理　・次回期末テストに備えた勉強

第15回　**【授業テーマ】**　臨時テスト（期末）
【内容・方法　等】　後半のまとめ
【事前・事後学習課題】　ーーー

評価方法（基準）

共通単語試験30%、臨時テスト２回50%、平常点（発表、小テスト、授業態度）20%とし総合的に評価する。

教材等

教科書…・A Shorter Course in Expressions for Everyday Action(「５分間日常動作を表す英語表現」）小中秀彦著　南雲堂(700円)
・Supreme Reading 2 宍戸真、他２名　成美堂（1900円）
・「学校語彙で学ぶTOEICテスト【単語集】The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test; Word Book」西谷恒志著　成美堂

参考書…授業で指示する。

学生へのメッセージ

・英文を効率的に読む前の段階として、ノート作りを習慣化することから始めます。
・単語や熟語の下調べをしてノートを作ることが大変重要です。毎回ノート作りができているかをチェックします。
・授業ではできるだけ多くの受講生に当たるようにする。
・授業態度も評価の対象とします。

関連科目

他の英語関連科目

担当者の研究室等

7号館2階（非常勤講師室）

英語III
EnglishIII

三　木　浩　平（ミキ　コウヘイ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	I	前期	選択	1

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　211　2014/08/21　14:45:31

授業概要・目的・到達目標

比較的易しい英語で書かれた現代社会の話題についての文章に触れながら基礎的な英文読解力を養成することを目指します。
しかしながら単に英文を読むことだけを行うのではなく、音声を聞いたり音読を行ったりしながら総合的に英語の運用能力を高めることも意識して授業を行います。
最終的に学生のみなさんが学期の始めと比較して、英語に親しみを持つと共に読解力やリスニング力、単語力を高め、基礎的な英語の運用力を高めることを目標にします。

授業方法と留意点

指定の教科書を用いて主にリーディング課題、リスニング、音読、必要に応じて学生のみなさん主体のアクティビティを行います。
また指定する200単語について、テキストを使い語彙力の強化向上を図ります。法学部として実施する「統一英語単語テスト」を受験してください。

科目学習の効果（資格）

比較的易しい英語で書かれた読み物にも自分自身で対応し情報を読み取る力の養成。
TOEICなどのテストにも対応していけるための読解力等の基礎作り。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** オリエンテーション
【内容・方法　等】 授業の進め方、成績評価についての説明を行います。
【事前・事後学習課題】 次回からの単語テストの学習をしておいてください。
また次回の授業で使用するChapterにも目を通しておいてください。

第２回 **【授業テーマ】** Chapter1 Moon Exploration
単語テスト第1回目
【内容・方法　等】 【単語集】単語通し番号0201-0220についてテキストを使い学習する。合わせて単語テストを行う。
教科書の読解タスク、音声CDを使用してのリスニング、音読などを用いて内容の学習を行う。
【事前・事後学習課題】 次回からの単語テストの学習をしておいてください。
また次回の授業で使用するChapterにも目を通しておいてください。

第３回 **【授業テーマ】** Chapter2 Steven Spielberg
単語テスト第2回目
【内容・方法　等】 【単語集】単語通し番号0221-0240についてテキストを使い学習する。合わせて単語テストを行う。
教科書の読解タスク、音声CDを使用してのリスニング、音読などを用いて内容の学習を行う。
【事前・事後学習課題】 次回からの単語テストの学習をしておいてください。
また次回の授業で使用するChapterにも目を通しておいてください。

第４回 **【授業テーマ】** Chapter3 Wolrd Population
単語テスト第3回目
【内容・方法　等】 【単語集】単語通し番号0241-0260についてテキストを使い学習する。合わせて単語テストを行う。
教科書の読解タスク、音声CDを使用してのリスニング、音読などを用いて内容の学習を行う。
【事前・事後学習課題】 次回からの単語テストの学習をしておいてください。
また次回の授業で使用するChapterにも目を通しておいてください。

第５回 **【授業テーマ】** Chapter4 Money and sport
単語テスト第4回目
【内容・方法　等】 【単語集】単語通し番号0261-0280についてテキストを使い学習する。合わせて単語テストを行う。
教科書の読解タスク、音声CDを使用してのリスニング、音読などを用いて内容の学習を行う。
【事前・事後学習課題】 次回からの単語テストの学習をしておいてください。
また次回の授業で使用するChapterにも目を通しておいてください。

第６回 **【授業テーマ】** Chapter5 The sculptures of Rodin
単語テスト第5回目
【内容・方法　等】 【単語集】単語通し番号0281-0300についてテキストを使い学習する。合わせて単語テストを行う。
教科書の読解タスク、音声CDを使用してのリスニング、音読などを用いて内容の学習を行う。
【事前・事後学習課題】 次回からの単語テストの学習をしておいてください。
また次回の授業で使用するChapterにも目を通しておいてください。

第７回 **【授業テーマ】** Chapter6 Positive thinking
単語テスト第6回目
【内容・方法　等】 【単語集】単語通し番号0301-0320についてテキストを使い学習する。合わせて単語テストを行う。
教科書の読解タスク、音声CDを使用してのリスニング、音読などを用いて内容の学習を行う。
【事前・事後学習課題】 次回の単語テストの学習をしておいてください。
また次回の授業で使用するChapterにも目を通しておいてください。

第８回 **【授業テーマ】** Chapter7 Esperanto
単語テスト第7回目
【内容・方法　等】 【単語集】単語通し番号0321-0340についてテキストを使い学習する。合わせて単語テストを行う。
教科書の読解タスク、音声CDを使用してのリスニング、音読などを用いて内容の学習を行う。
【事前・事後学習課題】 次回の単語テストの学習をしておいてください。
また次回の授業で使用するChapterにも目を通しておいてください。

第９回 **【授業テーマ】** Chapter8 Globalization
単語テスト第8回目
【内容・方法　等】 【単語集】単語通し番号0341-0360についてテキストを使い学習する。合わせて単語テストを行う。
教科書の読解タスク、音声CDを使用してのリスニング、音読などを用いて内容の学習を行う。
【事前・事後学習課題】 次回の単語テストの学習をしておいてください。
また次回の授業で使用するChapterにも目を通しておいてください。

第10回 **【授業テーマ】** Chapter9 Online language learning
単語テスト第9回目
【内容・方法　等】 【単語集】単語通し番号0361-0380についてテキストを使い学習する。合わせて単語テストを行う。
教科書の読解タスク、音声CDを使用してのリスニング、音読などを用いて内容の学習を行う。
【事前・事後学習課題】 次回の単語テストの学習をしておいてください。
また次回の授業で使用するChapterにも目を通しておいてください。

第11回 **【授業テーマ】** Chapter10 Advertising
単語テスト第10回目
【内容・方法　等】 【単語集】単語通し番号0381-0400についてテキストを使い学習する。合わせて単語テストを行う。
教科書の読解タスク、音声CDを使用してのリスニング、音読などを用いて内容の学習を行う。
【事前・事後学習課題】 次回の授業で使用するChapterにも目を通しておいてください。

第12回 **【授業テーマ】** Chapter11 Life without technology
単語の復習
【内容・方法　等】 単語帳の復習。
教科書の読解タスク、音声CDを使用してのリスニング、音読などを用いて内容の学習を行う。
【事前・事後学習課題】 次回の授業で使用するChapterにも目を通しておいてください。

第13回 **【授業テーマ】** Chapter12 Urban wildlife
単語の復習
【内容・方法　等】 単語帳の復習。教科書の読解タスク、音声CDを使用してのリスニング、音読などを用いて内容の学習を行う。
【事前・事後学習課題】 これまでの学習したところに関して目を通して、質問等がないかなどもチェックしてください。

第14回 **【授業テーマ】** これまでの授業でおこなったことの復習（１）
【内容・方法　等】 これまでの授業を振り返って復習します。必要に応じて読解問題などを用いた演習等も行います。
【事前・事後学習課題】 これまでの学習したところに関して目を通して、質問等がないかなどもチェックしてください。

第15回 **【授業テーマ】** これまでの授業でおこなったことの復習（２）
【内容・方法　等】 これまでの授業を振り返って復習します。必要に応じて読解問題などを用いた演習等も行います。
【事前・事後学習課題】 事前にこれまでの学習したところに関して目を通して、質問等がないかなどもチェックしてください。

評価方法（基準）

成績は各科目の素点100点のうち、30点を最高点として「統一英語単語テスト」の結果を組み入れる。
統一英語単語テスト３０％、授業内テスト４０％、授業内課題等３０％とします。

教材等

教科書…宍戸　真　（著）　「Supreme Reading 1 」（成美堂, 1900円）
参考書…The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test（成美堂, 1700円）

学生へのメッセージ

英語が得意な学生さんも、あまり得意ではない学生さんも、少しずつでもしっかり学習を続けていけば必ず力がついていきます。
最初はうまくできなくても必要以上に気にすることはありません。間違いを恐れずに授業に積極的に参加してもらえたらと思います。

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　212　2014/08/21　14:45:31

どんどん英語を読んだり、聞いたり、使っていくことで、きっと英語の運用能力が高まっていくと思います。一緒に頑張りましょう。

関連科目
英語I、英語II、英語IV

担当者の研究室等
7号館2階（非常勤講師室）

備考
単語通し番号201-400がこのクラスでは取り上げられます。

英語IV
English IV

大　江　麻里子（オオエ　マリコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
アメリカの食文化、娯楽、スポーツなどに関する英文を読む。読解力、リスニング力を養成する。

授業方法と留意点
テキストの日本語訳と練習問題
指定する150単語について、テキストを使い語彙力の強化向上を図る。
法学部として実施する「統一英語単語テスト」を受験すること。

科目学習の効果（資格）
読解力・リスニング力・文法力の習得
TOEICテストに有効な単語力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】** Unit　7
【内容・方法　等】 日本語訳と練習問題
【事前・事後学習課題】 分からない単語は辞書でひいておき、すらすらと訳せるようにしておく。
第２回　**【授業テーマ】** Unit　8
【内容・方法　等】 単語テスト(601-617)
日本語訳と練習問題
【事前・事後学習課題】 分からない単語は辞書でひいておき、すらすらと訳せるようにしておく。
第３回　**【授業テーマ】** Unit 8
【内容・方法　等】 単語テスト(618-634)
日本語訳と練習問題
【事前・事後学習課題】 分からない単語は辞書でひいておき、すらすらと訳せるようにしておく。
第４回　**【授業テーマ】** Unit 9
【内容・方法　等】 単語テスト(635-651)
日本語訳と練習問題
【事前・事後学習課題】 分からない単語は辞書でひいておき、すらすらと訳せるようにしておく。
第５回　**【授業テーマ】** Unit 9
【内容・方法　等】 単語テスト(652-668)
日本語訳と練習問題
【事前・事後学習課題】 分からない単語は辞書でひいておき、すらすらと訳せるようにしておく。
第６回　**【授業テーマ】** Unit １０
【内容・方法　等】 単語テスト(669-685)
日本語訳と練習問題
【事前・事後学習課題】 分からない単語は辞書でひいておき、すらすらと訳せるようにしておく。
第７回　**【授業テーマ】** Unit １０
【内容・方法　等】 単語テスト(686-702)
日本語訳と練習問題
【事前・事後学習課題】 分からない単語は辞書でひいておき、すらすらと訳せるようにしておく。
第８回　**【授業テーマ】** Unit １１
【内容・方法　等】 単語テスト(703-719)
日本語訳と練習問題
【事前・事後学習課題】 分からない単語は辞書でひいておき、すらすらと訳せるようにしておく。
第９回　**【授業テーマ】** Unit １１
【内容・方法　等】 単語テスト(720-736)
日本語訳と練習問題
【事前・事後学習課題】 分からない単語は辞書でひいておき、すらすらと訳せるようにしておく。
第10回　**【授業テーマ】** Unit １２
【内容・方法　等】 単語テスト(737-753)
日本語訳と練習問題
【事前・事後学習課題】 分からない単語は辞書でひいておき、すらすらと訳せるようにしておく。
第11回　**【授業テーマ】** Unit　１２
【内容・方法　等】 単語テスト(754-770)
日本語訳と練習問題
【事前・事後学習課題】 分からない単語は辞書でひいておき、すらすらと訳せるようにしておく。
第12回　**【授業テーマ】** Unit １３
【内容・方法　等】 単語テスト(771-787)
日本語訳と練習問題
【事前・事後学習課題】 分からない単語は辞書でひいておき、すらすらと訳せるようにしておく。
第13回　**【授業テーマ】** Unit １３
【内容・方法　等】 単語テスト(788-800)
日本語訳と練習問題
【事前・事後学習課題】 分からない単語は辞書でひいておき、すらすらと訳せるようにしておく。
第14回　**【授業テーマ】** Unt １４
【内容・方法　等】 日本語訳と練習問題
【事前・事後学習課題】 分からない単語は辞書でひいておき、すらすらと訳せるようにしておく。
第15回　**【授業テーマ】** まとめ
【内容・方法　等】 前期範囲の理解度判定
【事前・事後学習課題】 総復習

評価方法（基準）
試験の成績（４０％）、統一単語テストの成績（３０％）と平常点（３０％）を総合的に評価する。

教材等
教科書…『アメリカン・ポップカルチャー』（朝日出版社）１８００円
『学校語彙で学ぶTOEICテスト　単語集』（成美堂）
参考書…なし

学生へのメッセージ
アメリカの文化についての知識を深めながら、英語力も磨いていきましょう。

関連科目
英語III

担当者の研究室等
7号館２階非常勤講師室

備考
辞書を必ず持ってくること。

英語IV
English IV

栢　木　敦　子（カヤキ　アツコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	B	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
基礎的な文法力と速読力の養成。

授業方法と留意点
大学生として習得しておくべき基礎的な文法事項を解説し、繰り返し練習問題を行うことによって理解を深める。
プリントにより速読の練習を行うほか、共通テキストにより語彙力の強化を図る。

科目学習の効果（資格）
TOEICのスコアの向上。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】** Unit 13　接続詞（1）
【内容・方法　等】 Ｕｎｉｔ 13　接続詞（1）
等位接続詞　and, but, or, for
時を表す接続詞
理由・条件を表す接続詞
【事前・事後学習課題】 Unit 13　復習
第２回　**【授業テーマ】** Unit 14　不定詞（1）　・　動名詞（1）
【内容・方法　等】 Unit 14　不定詞（1）・動名詞（1）
不定詞の名詞的用法
不定詞の形容詞的用法と副詞的用法
動詞の目的語になる動名詞
【事前・事後学習課題】 Unit 14の復習
Unit 15の予習
第３回　**【授業テーマ】** Unit 15　受動態
【内容・方法　等】 Unit 15　受動態
能動態と受動態
受動態の否定文と疑問文
注意すべき受動
【事前・事後学習課題】 Unit 15の復習
Unit 16の予習
第４回　**【授業テーマ】** Unit 16　完了形
【内容・方法　等】 Unit 16　完了形
現在完了
過去完了
【事前・事後学習課題】 Unit 16の復習
Unit 17の予習
第５回　**【授業テーマ】** Unit 17　接続詞（2）

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　213　2014/08/21　14:45:31

【内容・方法　等】 Unit 17 接続詞（2）
接続詞 that の用法
時制の一致
so that の構文
【事前・事後学習課題】 Unit 17の復習
Unit 18の予習

第６回 【授業テーマ】 Unit 18　5つの基本文型
【内容・方法　等】 Unit 18　5つの基本文型
１．第1文型と第2文型
２．第3文型と第4文型
３．第５文型
【事前・事後学習課題】 Unit 18の復習
Unit 19の予習

第７回 【授業テーマ】 Unit 19　各種疑問文
【内容・方法　等】 Unit 19　各種疑問文
付加疑問文（ｂｅ動詞・助動詞）
付加疑問文（一般動詞）
間接疑問文
【事前・事後学習課題】 中間テスト準備

第８回 【授業テーマ】 中間テストと解説
【内容・方法　等】 中間テストおよび解答と解説
【事前・事後学習課題】 Unit 20の予習

第９回 【授業テーマ】 Unit 20　不定詞（2）
【内容・方法　等】 Unit 20　不定詞（2）
動詞（ask, tell など）＋人＋to ～の構文
疑問詞（how, what など）＋to 動詞の原形
too～to などの構文
【事前・事後学習課題】 Unit 20の復習
Unit 21の予習

第10回 【授業テーマ】 Unit 21 Ｉｔ の特別用法
【内容・方法　等】 Unit 21 Ｉｔ の特別用法
天候・距離・明暗などを表すｉｔ
時刻・月日・季節などを表すｉｔ
形式主語のｉｔ
【事前・事後学習課題】 Unit 21の復習
Unit 22の予習

第11回 【授業テーマ】 Unit 22　分詞・動名詞（2）
【内容・方法　等】 Unit 22　分詞・動名詞（2）
現在分詞の用法
過去分詞の用法
主語・補語・前置詞の目的語になる動名詞
【事前・事後学習課題】 Unit 22の復習
Unit 23の予習

第12回 【授業テーマ】 Unit 23　関係代名詞
【内容・方法　等】 Unit 23　関係代名詞
主格の関係代名詞
所有格の関係代名詞
目的格の関係代名詞
【事前・事後学習課題】 Unit 23の復習
Unit 24の予習

第13回 【授業テーマ】 Unit 24　仮定法
【内容・方法　等】 Unit 24　仮定法
仮定法過去
仮定法過去完了
その他の仮定法
【事前・事後学習課題】 Unit 24の復習

第14回 【授業テーマ】 総括
【内容・方法　等】 今期の総括
Unit 13 から Unit 24 までの復習
【事前・事後学習課題】 テスト準備

第15回 【授業テーマ】 平常テストと解説
【内容・方法　等】 平常テストおよび解答と解説
【事前・事後学習課題】 テスト復習

評価方法（基準）
平常テスト 50%, 平常点（発表、課題など）20%, 統一英語単語テスト 30%

教材等
教科書…English Primer Revised Edition　佐藤哲三、愛甲ゆかり著　南雲堂（1,900円＋税）
The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test; Word Book　西谷恒志　成美堂（1,700円＋税）
参考書…基礎的な文法書

学生へのメッセージ
必ず予習をし、毎回テキストと辞書を持参すること。
テキストと辞書を忘れた場合、また私語など授業を妨害するような行為や
許可なく途中退席をする場合は欠席とみなす。

関連科目
他の英語に関連する科目

担当者の研究室等
７号館2階　非常勤講師室

英語IV
English IV

田　村　康　子（タムラ　ヤスコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	C	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
この授業では、現代社会の最新の話題を取り上げたリーディング教材を用いて、英語の総合的な運用能力を高めることを目標とする。テキストには、スポーツ、ビジネス、テクノロジー、科学、ライフスタイル、健康問題、娯楽、ファッション、環境問題など様々な話題に関する英文が含まれている。
さらに練習問題として、英文の内容理解、語彙、文法演習、リスニングなど様々なアクティビティが盛り込まれており、これらを丁寧に行っていくことにより、英語の総合的な力が確実に身につくはずである。この授業を通して、英語の各種資格試験の点数アップを目指してもらいたい。

授業方法と留意点
テキストに沿って読み進むとともに、練習問題に取り組んでいく。
法学部として実施する「統一英語単語テスト」を受験すること。

科目学習の効果（資格）
英語語彙力の増強、TOEICのスコアアップ、英検におけるレベルアップ
ＴＯＥＩＣテストに有効な単語力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 Unit 11: Giving Away Billions
【内容・方法　等】 リーディング、練習問題
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

第２回 【授業テーマ】 Unit 11: Giving Away Billions
Unit 12:Computer Actors
【内容・方法　等】 リーディング、練習問題
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

第３回 【授業テーマ】 Unit 12:Computer Actors
【内容・方法　等】 リーディング、練習問題
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

第４回 【授業テーマ】 Unit13: New York City
【内容・方法　等】 リーディング、練習問題
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

第５回 【授業テーマ】 Unit13: New York City
Unit 14: Fresh Water: A Growing Crisis
【内容・方法　等】 リーディング、練習問題
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

第６回 【授業テーマ】 Unit 14: Fresh Water: A Growing Crisis
【内容・方法　等】 リーディング、練習問題
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

第７回 【授業テーマ】 復習
【内容・方法　等】 復習
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

第８回 【授業テーマ】 復習
臨時テスト
【内容・方法　等】 復習
臨時テスト
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

第９回 【授業テーマ】 Unit 15: Exporting Culture
【内容・方法　等】 リーディング、練習問題
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

第10回 【授業テーマ】 Unit 15: Exporting Culture
Unit 16: Aging Populations
【内容・方法　等】 リーディング、練習問題
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

第11回 【授業テーマ】 Unit 16: Aging Populations
【内容・方法　等】 リーディング、練習問題
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

第12回 【授業テーマ】 Unit 18: Credit-Card Slaves
【内容・方法　等】 リーディング、練習問題
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

第13回 【授業テーマ】 Unit 18: Credit-Card Slaves
Unit 20: Crime-Fighting Scientists
【内容・方法　等】 リーディング、練習問題
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習して

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　214　2014/08/21　14:45:31

おく。
第14回 【授業テーマ】 Unit 20: Crime-Fighting Scientists
【内容・方法　等】 リーディング、練習問題
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 まとめ
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

評価方法（基準）
統一英語単語テスト(30%)
臨時テスト(40%) 平常点(30%)

教材等
教科書…Reading Pass 2　南雲堂（2,200円＋税) Andrew E. Bennett
「学校語彙で学ぶTOEICテスト【単語集】The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test; Word Book」(西谷恒志著　成美堂 ￥1,700)
参考書…特になし

学生へのメッセージ
毎回の授業に必ず出席するとともに、予習・復習を必ず行ってください。
授業では、単語帳をもとに計画的に単語の小テストを実施します。

関連科目
英語Ⅰ、英語ⅠⅠ、英語ⅠⅤ

担当者の研究室等
7号館2階（非常勤講師室）

備考
毎回授業開始時に、副読本の単語テストを行います。
テストのスケジュールは初日に配布します。
単語帳#601-800

英語IV
English IV

有　本　好一郎(アリモト　コウイチロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	D	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
英語力向上にはこれまでの中学高校レベルの復習も欠かすことはできません。　特に、資格（TOEIC, 英検など）取得には読み書き、英文法のみならず、リスニングにも重点を置く必要があるので、毎回の授業で取り組みます。　聴解力がつくのを実感できますが、前向きに学習することが大前提です。　資格取得に向けて前向きに受験してください。　また授業担当者がアメリカで経験したことも写真で紹介することもあります。

授業方法と留意点
文法問題集、ディクテーションなどを多用し、語彙の習得、文法力向上、聴解力向上を図る。　中高で英語に苦手意識を持った学生も初心に帰り、学習して欲しい。

科目学習の効果（資格）
TOEICの得点向上が期待できるので積極的に受験して欲しい。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 ガイダンス、TOEICの説明、英語クロスワードパズルなど
【内容・方法　等】 授業の進め方、評価方法、企業が要求するスコアなどを説明
【事前・事後学習課題】 教科書の予習、クロスワードパズルの暗記
第２回 【授業テーマ】 前置詞
【内容・方法　等】 文法、リスニング演習問題形式
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記
第３回 【授業テーマ】 形容詞
【内容・方法　等】 文法、リスニング演習問題形式
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記
第４回 【授業テーマ】 副詞
【内容・方法　等】 文法、リスニング演習問題形式
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記
第５回 【授業テーマ】 比較１
【内容・方法　等】 文法、リスニング演習問題形式
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記
第６回 【授業テーマ】 比較２
【内容・方法　等】 文法、リスニング演習問題形式
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記
第７回 【授業テーマ】 接続詞
【内容・方法　等】 文法、リスニング演習問題形式
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記
第８回 【授業テーマ】 受動態
【内容・方法　等】 文法、リスニング演習問題形式
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記
第９回 【授業テーマ】 不定詞
【内容・方法　等】 文法、リスニング演習問題形式
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記
第10回 【授業テーマ】 動名詞
【内容・方法　等】 文法、リスニング演習問題形式
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記
第11回 【授業テーマ】 分詞
【内容・方法　等】 文法、リスニング演習問題形式
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記
第12回 【授業テーマ】 現在完了
【内容・方法　等】 文法、リスニング演習問題形式
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記
第13回 【授業テーマ】 過去完了
【内容・方法　等】 文法、リスニング演習問題形式
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記
第14回 【授業テーマ】 仮定法
【内容・方法　等】 文法、リスニング演習問題形式
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記
第15回 【授業テーマ】 TOEICミニクイズ
【内容・方法　等】 文法、リスニング演習問題形式
【事前・事後学習課題】 定期試験の準備

評価方法（基準）
定期試験を実施。定期試験７０%、平常点（小テスト）３０%で評価する。単語テストは６０１－８００から出題。

教材等
教科書…教科書・・南雲堂、「Everyday English Grammar」、Koji Mizushima、　￥1,900円
成美堂、「The Core Vocabulary for the TOEIC Test」、￥1,700円
参考書…英和、和英辞書を持参。

学生へのメッセージ
企業の海外進出と共に英語力がますます重要になってきました。　履歴書に記入できるようなスコアをめざして頑張ってください。

関連科目
その他英語科目全般

担当者の研究室等
7号館2階(非常勤講師室)

備考
ノート提出を評価点に加算する。
また、単語試験は「TheCoreVocabulary for the TOEIC Test」から出題される範囲を受験すること。

英語IV
English IV

高　橋　章　夫（タカハシ　アキオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	E	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
英語を正確に読み聞きし、受信する能力を磨き、その受信した英語を応用し、書いて話せるようにする訓練をします。また、単語テストを通して、コミュニケーションに不可欠な語彙力を向上させます。

授業方法と留意点
毎回、授業の最初に小テストを行います。その後、テキストの問題に取り組みます。テキストは、２回の授業で１章進みます。各章、１回目の授業では、英語を読み、書くことに、２回目の授業では、聞き、話すことに重点を置き、テキスト及びハンドアウトの問題に取り組みます。

科目学習の効果（資格）
語彙力を強化するとともに、基礎から英語の四技能を伸ばす。また、TOEIC受験に対応できる英語力を身に着ける。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法　等】 授業内容・評価方法、小テストの説明
【事前・事後学習課題】 なし

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　215　2014/08/21　14:45:32

第２回　【授業テーマ】 I’ll give her your message.1
【内容・方法　等】 単語テスト
未来形
【事前・事後学習課題】 単語テストの予習（601-620）
教科書の復習

第３回　【授業テーマ】 I’ll give her your message.2
【内容・方法　等】 単語テスト
聞き返す／確認する 1
【事前・事後学習課題】 単語テストの予習（621-640）
教科書の復習

第４回　【授業テーマ】 I haven’t received the latest figures.1
【内容・方法　等】 単語テスト
現在完了形
【事前・事後学習課題】 単語テストの予習（641-660）
教科書の復習

第５回　【授業テーマ】 I haven’t received the latest figures.2
【内容・方法　等】 単語テスト
指示する／確認する 2
【事前・事後学習課題】 単語テストの予習（661-680）
教科書の復習

第６回　【授業テーマ】 The cafeteria is closed today.1
【内容・方法　等】 単語テスト
受動態
【事前・事後学習課題】 単語テストの予習（681-700）
教科書の復習

第７回　【授業テーマ】 The cafeteria is closed today.2
【内容・方法　等】 単語テスト
場所を説明する／感謝する
【事前・事後学習課題】 単語テストの予習（701-720）
教科書の復習

第８回　【授業テーマ】 We expect higher sales in China.1
【内容・方法　等】 単語テスト
比較
【事前・事後学習課題】 単語テストの予習（721-740）
教科書の復習

第９回　【授業テーマ】 We expect higher sales in China.2
【内容・方法　等】 単語テスト
比較する／詳細を尋ねる
【事前・事後学習課題】 単語テストの予習（741-760）
教科書の復習

第10回　【授業テーマ】 I’d like to check in.1
【内容・方法　等】 単語テスト
助動詞 2
【事前・事後学習課題】 単語テストの予習（761-780）
教科書の復習

第11回　【授業テーマ】 I’d like to check in.2
【内容・方法　等】 単語テスト
依頼する 2／希望を述べる
【事前・事後学習課題】 単語テストの予習（781-800）
教科書の復習

第12回　【授業テーマ】 How about going to the theater?1
【内容・方法　等】 単語テスト
動名詞
【事前・事後学習課題】 単語テストの予習（601-800）
教科書の復習

第13回　【授業テーマ】 How about going to the theater?2
【内容・方法　等】 復習テスト1（Unit 8, 9）
人を誘う／頻度を尋ねる
【事前・事後学習課題】 教科書の復習

第14回　【授業テーマ】 I like to travel a lot.1
【内容・方法　等】 復習テスト2（Unit 10, 11）
to不定詞
【事前・事後学習課題】 教科書の復習

第15回　【授業テーマ】 I like to travel a lot.2
【内容・方法　等】 復習テスト3（Unit 12, 13）
経験・予定を尋ねる
【事前・事後学習課題】 教科書の復習

評価方法（基準）
平常点30％（小テスト+授業中課題）、定期試験40％、統一英語単語テスト30％の割合で総合的に判断します。

教材等
教科書…角山照彦『Let’s Read Aloud & Learn English! - 音読で始める基礎英語』（成美堂）（2310円）
西谷恒志『The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test』成美堂（1700円+税）
参考書…なし

学生へのメッセージ
英語を習得するには、日々の積み重ねが大切です。授業時間のみならず、意識的に英語に触れる機会を増やすよう試みてください。

関連科目
英語III

担当者の研究室等
7号館2階(非常勤講師室)

英語IV
English IV

金　原　真由美（カネハラ　マユミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	F	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
この授業では単語帳を含めて３冊の教科書を使用する。１冊目はTOEICのリスニングに頻出する日常の動作表現を学ぶことで英語の感覚を養うことが目的である。２冊目では、現在 社会で起きているさまざまな出来事や話題を読む。読解力を付けると同時に一般常識や専門的な知識を増やすことを目的とする。
単語帳を使い語彙力の強化向上を図る。

授業方法と留意点
毎回授業の始めにTOEICのための単語テストを行う。
動作表現の教科書は、日常表現に慣れるだけでなく英文構成の力を養うことも目指している。予習として、表現に一通り目を通しexercise（並べ替え、括弧埋め）をしてくること。リーディングの教科書は、ノート作りをきちんとすることを心がけてください。 辞書を引き自分なりに訳してくること。

科目学習の効果（資格）
知識を広げ読解力を向上させる
TOEICテストに有効な単語力と動作表現の習得

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】 動作表現１１　スポーツ
Chapter 8 リーディングスピードを向上させる
【内容・方法　等】 教科書ノートのチェック、読解、exercise
【事前・事後学習課題】 要点の整理　・次回の予習（単熟語調べ、英文和訳）

第２回　【授業テーマ】 単語テスト
動作表現１２　レジャー
Chapter 8 リーディングスピードを向上させる
【内容・方法　等】 教科書ノートのチェック、読解、exercise
【事前・事後学習課題】 要点の整理　・次回の予習（単熟語調べ、英文和訳）

第３回　【授業テーマ】 単語テスト
動作表現１３　買い物
Chapter 9　内容を推測する
【内容・方法　等】 教科書ノートのチェック、読解、exercise
【事前・事後学習課題】 要点の整理　・次回の予習（単熟語調べ、英文和訳）

第４回　【授業テーマ】 単語テスト
動作表現１４　レストラン
Chapter 10　主題を探す
【内容・方法　等】 教科書ノートのチェック、読解、exercise
【事前・事後学習課題】 要点の整理　・次回の予習（単熟語調べ、英文和訳）

第５回　【授業テーマ】 単語テスト
動作表現１５　職業（２）
Chapter 10　主題を探す
【内容・方法　等】 教科書ノートのチェック、読解、exercise
【事前・事後学習課題】 要点の整理　・次回の予習（単熟語調べ、英文和訳）

第６回　【授業テーマ】 単語テスト
動作表現１６　路上
Chapter 11　情報をスキャンする
【内容・方法　等】 教科書ノートのチェック、読解、exercise
【事前・事後学習課題】 要点の整理　・次回の予習（単熟語調べ、英文和訳）

第７回　【授業テーマ】 単語テスト
動作表現１７　犯罪・事故
Chapter 11　情報をスキャンする
【内容・方法　等】 教科書ノートのチェック、読解、exercise
【事前・事後学習課題】 要点の整理　・次回中間テストに備えた勉強

第８回　【授業テーマ】 単語テスト
臨時テスト（中間）
【内容・方法　等】 前半の復習
【事前・事後学習課題】 要点の整理　・次回の予習（単熟語調べ、英文和訳）

第９回　【授業テーマ】 単語テスト
動作表現１８　パーティー
Chapter 12　同意語を理解する
【内容・方法　等】 教科書ノートのチェック、読解、exercise
【事前・事後学習課題】 要点の整理　・次回の予習（単熟語調べ、英文和訳）

第10回　【授業テーマ】 単語テスト
動作表現１９　空港
Chapter 12　同意語を理解する
【内容・方法　等】 教科書ノートのチェック、読解、exercise
【事前・事後学習課題】 要点の整理　・次回の予習（単熟語調べ、英文和訳）

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　216　2014/08/21　14:45:32

第11回 【授業テーマ】 単語テスト
動作表現２０　遊び場
Chapter 13　拾い読みして論旨をつかむ
【内容・方法　等】 教科書ノートのチェック、読解、exercise
【事前・事後学習課題】 要点の整理　・次回の予習（単熟語調べ、英文和訳）

第12回 【授業テーマ】 単語テスト
動作表現復習１１－１５
Chapter 13　拾い読みして論旨をつかむ
【内容・方法　等】 教科書ノートのチェック、読解、exercise
【事前・事後学習課題】 要点の整理　・次回の予習（単熟語調べ、英文和訳）

第13回 【授業テーマ】 単語テスト
動作表現復習１６－２０
Chapter 14　接頭辞と接尾辞
【内容・方法　等】 教科書ノートのチェック、読解、exercise
【事前・事後学習課題】 要点の整理　・次回の予習（単熟語調べ、英文和訳）

第14回 【授業テーマ】 単語テスト
Chapter 14　接頭辞と接尾辞
【内容・方法　等】 教科書ノートのチェック、読解、exercise
【事前・事後学習課題】 要点の整理　・次回期末テストに備えた勉強

第15回 【授業テーマ】 臨時テスト（期末）
【内容・方法　等】 後半の復習
【事前・事後学習課題】 ―

評価方法（基準）
共通単語試験30%、臨時テスト２回50%、平常点（発表、小テスト、授業態度）20%とし総合的に評価する。

教材等
教科書…・A Shorter Course in Expressions for Everyday Action(「５分間日常動作を表す英語表現」) 小中秀彦著　南雲堂(700円)
・Supreme Reading 2 宍戸真、他２名　成美堂（1900円）
・「学校語彙で学ぶTOEICテスト【単語集】The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test; Word Book」西谷恒志著　成美堂
参考書…特になし

学生へのメッセージ
・後期は英文の効率的な読み方を意識して進めていきます。
・単語や熟語の下調べをしてノートを作ることが大変重要です。毎回ノート作りができているかをチェックします。
・長文の下調べができたら一度以上音読するようにしましょう。
・授業態度も評価の対象とします。

関連科目
他の英語関連科目

担当者の研究室等
7号館2階(非常勤講師室)

英語IV
English IV

三　木　浩　平（ミキ　コウヘイ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	I	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
比較的易しい英語で書かれた現代社会の話題についての文章に触れながら基礎的な英文読解力を養成することを目指します。
しかしながら単に英文を読むことだけを行うのではなく、音声を聞いたり音読を行ったりしながら総合的に英語の運用能力を高めることも意識して授業を行います。
最終的に学生のみなさんが学期の始めと比較して、英語に親しみを持つと共に読解力やリスニング力、単語力を高め、基礎的な英語の運用力を高めることを目標にします。

授業方法と留意点
指定の教科書を用いて主にリーディング課題、リスニング、音読、必要に応じて学生のみなさん主体のアクティビティを行います。
また指定する200単語について、テキストを使い語彙力の強化向上を図ります。法学部として実施する「統一英語単語テスト」を受験してください。

科目学習の効果（資格）
比較的易しい英語で書かれた読み物にも自分自身で対応し情報を読み取る力の養成。
TOEICなどのテストにも対応していけるための読解力等の基礎作り。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法　等】 授業の進め方、成績評価についての説明を行います。
【事前・事後学習課題】 次回からの単語テストの学習をしておいてください。
また次回の授業で使用するChapterにも目を通しておいてください。

第２回 【授業テーマ】 Chapter13 Smart drugs
単語テスト第1回目
【内容・方法　等】 【単語集】単語通し番号0601-0620についてテキストを使い学習する。合わせて単語テストを行う。
教科書の読解タスク、音声CDを使用してのリスニング、音読などを用いて内容の学習を行う。
【事前・事後学習課題】 次回からの単語テストの学習をしておいてください。
また次回の授業で使用するChapterにも目を通しておいてください。

第３回 【授業テーマ】 Chapter14 Disappearing language
単語テスト第2回目
【内容・方法　等】 【単語集】単語通し番号0621-0640についてテキストを使い学習する。合わせて単語テストを行う。
教科書の読解タスク、音声CDを使用してのリスニング、音読などを用いて内容の学習を行う。
【事前・事後学習課題】 次回からの単語テストの学習をしておいてください。
また次回の授業で使用するChapterにも目を通しておいてください。

第４回 【授業テーマ】 Chapter15 The first cities
単語テスト第3回目
【内容・方法　等】 【単語集】単語通し番号0641-0660についてテキストを使い学習する。合わせて単語テストを行う。
教科書の読解タスク、音声CDを使用してのリスニング、音読などを用いて内容の学習を行う。
【事前・事後学習課題】 次回からの単語テストの学習をしておいてください。
また次回の授業で使用するChapterにも目を通しておいてください。

第５回 【授業テーマ】 Chapter16 Ergonomics
単語テスト第4回目
【内容・方法　等】 【単語集】単語通し番号0661-0680についてテキストを使い学習する。合わせて単語テストを行う。
教科書の読解タスク、音声CDを使用してのリスニング、音読などを用いて内容の学習を行う。
【事前・事後学習課題】 次回からの単語テストの学習をしておいてください。
また次回の授業で使用するChapterにも目を通しておいてください。

第６回 【授業テーマ】 Chapter17 City gardens
単語テスト第5回目
【内容・方法　等】 【単語集】単語通し番号0681-0700についてテキストを使い学習する。合わせて単語テストを行う。
教科書の読解タスク、音声CDを使用してのリスニング、音読などを用いて内容の学習を行う。
【事前・事後学習課題】 次回からの単語テストの学習をしておいてください。
また次回の授業で使用するChapterにも目を通しておいてください。

第７回 【授業テーマ】 Chapter18 Crime and sentencing
単語テスト第6回目
【内容・方法　等】 【単語集】単語通し番号0701-0720についてテキストを使い学習する。合わせて単語テストを行う。
教科書の読解タスク、音声CDを使用してのリスニング、音読などを用いて内容の学習を行う。
【事前・事後学習課題】 次回の単語テストの学習をしておいてください。
また次回の授業で使用するChapterにも目を通しておいてください。

第８回 【授業テーマ】 Chapter19 Climate change
単語テスト第7回目
【内容・方法　等】 【単語集】単語通し番号0721-0740についてテキストを使い学習する。合わせて単語テストを行う。
教科書の読解タスク、音声CDを使用してのリスニング、音読などを用いて内容の学習を行う。
【事前・事後学習課題】 次回の単語テストの学習をしておいてください。
また次回の授業で使用するChapterにも目を通しておいてください。

第９回 【授業テーマ】 Chapter20 Online commerce
単語テスト第8回目
【内容・方法　等】 【単語集】単語通し番号0741-0760についてテキストを使い学習する。合わせて単語テストを行う。
教科書の読解タスク、音声CDを使用してのリスニング、音読などを用いて内容の学習を行う。
【事前・事後学習課題】 次回の単語テストの学習をしておいてください。
また次回の授業で使用するChapterにも目を通しておいてください。

第10回 【授業テーマ】 Chapter21 Pop art

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　217　2014/08/21　14:45:32

単語テスト第9回目
【内容・方法　等】 【単語集】単語通し番号0761-0780についてテキストを使い学習する。合わせて単語テストを行う。
教科書の読解タスク、音声CDを使用してのリスニング、音読などを用いて内容の学習を行う。
【事前・事後学習課題】 次回の単語テストの学習をしておいてください。
また次回の授業で使用するChapterにも目を通しておいてください。

第11回 **【授業テーマ】** Chapter 22 Steve Jobs
単語テスト第10回目
【内容・方法　等】 【単語集】単語通し番号0781-0800についてテキストを使い学習する。合わせて単語テストを行う。
教科書の読解タスク、音声CDを使用してのリスニング、音読などを用いて内容の学習を行う。
【事前・事後学習課題】 次回の授業で使用するChapterにも目を通しておいてください。

第12回 **【授業テーマ】** Chapter 23 A short history of money
単語の復習
【内容・方法　等】 単語帳の復習。
教科書の読解タスク、音声CDを使用してのリスニング、音読などを用いて内容の学習を行う。
【事前・事後学習課題】 次回の授業で使用するChapterにも目を通しておいてください。

第13回 **【授業テーマ】** Chapter24 The English Civil War
単語の復習
【内容・方法　等】 単語帳の復習。教科書の読解タスク、音声CDを使用してのリスニング、音読などを用いて内容の学習を行う。
【事前・事後学習課題】 これまでの学習したところに関して目を通して、質問等がないかなどもチェックしてください。

第14回 **【授業テーマ】** これまでの授業でおこなったことの復習（1）
【内容・方法　等】 これまでの授業を振り返って復習します。必要に応じて読解問題などを用いた演習等も行います。
【事前・事後学習課題】 これまでの学習したところに関して目を通して、質問等がないかなどもチェックしてください。

第15回 **【授業テーマ】** これまでの授業でおこなったことの復習（2）
【内容・方法　等】 これまでの授業を振り返って復習します。必要に応じて読解問題などを用いた演習等も行います。
【事前・事後学習課題】 事前にこれまでの学習したところに関して目を通して、質問等がないかなどもチェックしてください。

評価方法（基準）
成績は各科目の素点100点のうち、30点を最高点として「統一英語単語テスト」の結果を組み入れる。
統一英語単語テスト３０％、授業内テスト４０％、授業内課題等３０％とします。

教材等
教科書…宍戸　真　（著）　「Supreme Reading 1 」（成美堂, 1900円）
参考書…The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test（成美堂, 1700円）

学生へのメッセージ
英語が得意な学生さんも、あまり得意ではない学生さんも、少しずつでもしっかり学習を続けていけば必ず力がついていきます。
最初はうまくできなくても必要以上に気にすることはありません。間違いを恐れずに授業に積極的に参加してもらえたらと思います。
どんどん英語を読んだり、聞いたり、使っていくことで、きっと英語の運用能力が高まっていくと思います。一緒に頑張りましょう。

関連科目
英語I、英語II、英語IV

担当者の研究室等
7号館2階（非常勤講師室）

備考
単語通し番号601-800がこのクラスでは取り上げられます。

スポーツ英語I
Sports English I

松　浦　茂　寿（マツウラ　シゲトシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	H	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
中学から高校にかけて学んだ英語を文法を中心にもう一度復習し、更なる語彙力、文法力の養成を目標とする。時間があれば教科書以外に英語の資格検定などの練習問題を用いて更なる知識の養成をはかる。授業のみならず家庭での予習、復習をきちんとし授業内容がよりわかるように各自、努力しよう。また、授業計画は進度によって変わる場合がある。

授業方法と留意点
簡単な文法問題を中心にしたテキストを用い、進度に沿って課題提出を随時行うので理由のない限り出席を心がけてもらいたい。授業計画は進度によって変わる場合がある。
指定する150単語について、テキストを使い語彙力の強化向上を図る。
法学部として実施する「統一英語単語テスト」を受験すること。

科目学習の効果（資格）
高校までの基本的英文法の復習及び英検やTOEIC等の検定・資格試験にも役立つ知識の養成。
ＴＯＥＩＣテストに有効な単語力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** オリエンテーション
【内容・方法　等】 授業方法、提出物、評価方法についての説明
【事前・事後学習課題】 ――――

第２回 **【授業テーマ】** Unit1
【内容・方法　等】 be動詞
【事前・事後学習課題】 教科書p.14-16

第３回 **【授業テーマ】** Unit2
【内容・方法　等】 一般動詞(現在)
【事前・事後学習課題】 教科書p.17 - 19

第４回 **【授業テーマ】** Unit3
【内容・方法　等】 一般動詞(過去)
【事前・事後学習課題】 教科書p.20-22

第５回 **【授業テーマ】** Unit4
【内容・方法　等】 進行形
【事前・事後学習課題】 教科書p.23-25

第６回 **【授業テーマ】** Unit5
【内容・方法　等】 未来形
【事前・事後学習課題】 教科書p.26-28

第７回 **【授業テーマ】** Unit6
【内容・方法　等】 助動詞
【事前・事後学習課題】 教科書p.29-31

第８回 **【授業テーマ】** Unit 7
【内容・方法　等】 名詞、冠詞
【事前・事後学習課題】 教科書p.32-34

第９回 **【授業テーマ】** Unit8
【内容・方法　等】 代名詞
【事前・事後学習課題】 教科書p.35-37

第10回 **【授業テーマ】** Unit9
【内容・方法　等】 前置詞
【事前・事後学習課題】 教科書p.38-40

第11回 **【授業テーマ】** Unit10
【内容・方法　等】 形容詞、副詞
【事前・事後学習課題】 教科書p.41-43

第12回 **【授業テーマ】** Unit11
【内容・方法　等】 比較
【事前・事後学習課題】 教科書p.44-46

第13回 **【授業テーマ】** Unit12
【内容・方法　等】 命令文、感嘆文
【事前・事後学習課題】 教科書p.47-49

第14回 **【授業テーマ】** 資格、検定などの問題演習
【内容・方法　等】 授業の進度によって内容を決め、プリントを用意する
【事前・事後学習課題】 ――――

第15回 **【授業テーマ】** 総合復習
【内容・方法　等】 定期試験対策
【事前・事後学習課題】 ――――

評価方法（基準）
平常点、提出物、定期試験の点数を総合評価する。また、日頃の授業態度も重視する。
評価には、「統一英語単語テスト」の結果を30%組み入れる(統一英語単語テストを受験しなかった者は評価に大きく影響します)。

教材等
教科書…教科書・・「First Primer」『基礎からの英語入門』改訂新版　佐藤　哲三、松　伸二、　愛甲　ゆかり、小手川　巧三、福島　孝夫、重久　睦美、村上　佐穂、新　彰著　南雲堂 (1900円＋税)
「学校語彙で学ぶTOEICテスト【単語集】The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test; Word Book」(西谷恒志著　発行所（株）成美堂 1700円＋税)
参考書…なし

学生へのメッセージ
「明るく、元気で、感動と発見を与える授業に！」私語をせず、マナーを守り、積極的に参加してクラス全体が一つになる様に、各自協力してもらいたい。また折角、授業中に学んだことを暗記したままではすぐに忘れます。例えば英語で書かれた看板のメッセージ等を見ただけで指示が読めるように授業外で繰り返し学習するのが英語上達への早道です。教える側も学ぶ側も仲良く、楽しく、実りある半期になる事を祈る！

関連科目

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　218　2014/08/21　14:45:32

スポーツ英語ＩＩ、スポーツ英語ＩＶ

担当者の研究室等

７号館２階(非常勤講師室)

スポーツ英語I
Sports English I

アレン　ニール

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	G	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

This course is designed to develop the four basic skills (reading, writing, speaking and listening) in a conversational English framework. In the class, students will use English to describe and explain experiences and express their opinions about familiar topics and everyday situations related to sport.

授業方法と留意点

Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course. All class activities will be conducted in English.

科目学習の効果（資格）

TOEIC，英検

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】** Course orientation and student introductions.
【内容・方法　等】 Outline of course topics and goals. Assessment details. Student self-introductions, then focus on formation of acceptable (and unacceptable) questions to someone you meet for the first time.
【事前・事後学習課題】 Begin Unit 1 online homework (http://www.sconlinepractice.com). Students must repeat each exercise until they get a score of 100% in at least nine of the ten unit exercises.

第２回　**【授業テーマ】** Greeting a friend:
- common expression and intonation errors
- 'Return question' intonation
- Formation of 'follow-up' questions

【内容・方法　等】 Students will discover, practice and individualise the language targets through individual, pair, and group vocabulary, grammar, pronunciation, conversation, reading and listening tasks.
【事前・事後学習課題】 Continue with Unit 1 online homework (http://www.sconlinepractice.com). Students must repeat each exercise until they get a score of 100% in at least nine of the ten unit exercises.

第３回　**【授業テーマ】** Unit 0:
Key phrases for classroom interaction and learning.
【内容・方法　等】 Students will discover, practice and individualise the unit language targets through individual, pair, and group vocabulary, grammar, pronunciation, conversation, reading and listening tasks.
【事前・事後学習課題】 Complete online homework (http://www.sconlinepractice.com) corresponding to the unit studied in class. Students must repeat each exercise until they get a score of 100% in at least nine of the ten unit exercises.

第４回　**【授業テーマ】** Unit 1:
- Make an introduction
- Make statements and questions with be
- Understand short conversations about people
- Understand text about jobs

【内容・方法　等】 Students will discover, practice and individualise the unit language targets through individual, pair, and group vocabulary, grammar, pronunciation, conversation, reading and listening tasks.
【事前・事後学習課題】 Complete online homework (http://www.sconlinepractice.com) corresponding to the unit studied in class. Students must repeat each exercise until they get a score of 100% in at least nine of the ten unit exercises.

第５回　**【授業テーマ】** Unit 1:
- Make an introduction
- Make statements and questions with be
- Understand short conversations about people
- Understand text about jobs

【内容・方法　等】 Students will discover, practice and individualise the unit language targets through individual, pair, and group vocabulary, grammar, pronunciation, conversation, reading and listening tasks.
【事前・事後学習課題】 Complete online homework (http://www.sconlinepractice.com) corresponding to the unit studied in class. Students must repeat each exercise until they get a score of 100% in at least nine of the ten unit exercises.

第６回　**【授業テーマ】** Unit 1:
- Make an introduction
- Make statements and questions with be
- Understand short conversations about people
- Understand text about jobs

【内容・方法　等】 Students will discover, practice and individualise the unit language targets through individual, pair, and group vocabulary, grammar, pronunciation, conversation, reading and listening tasks.
【事前・事後学習課題】 Complete online homework (http://www.sconlinepractice.com) corresponding to the unit studied in class. Students must repeat each exercise until they get a score of 100% in at least nine of the ten unit exercises.

第７回　**【授業テーマ】** Unit 2:
- Ask and answer questions about personal information
- Make wh- questions using possessives
- Understand short conversations about people
- Understand text and forms containing personal information

【内容・方法　等】 Students will discover, practice and individualise the unit language targets through individual, pair, and group vocabulary, grammar, pronunciation, conversation, reading and listening tasks. Unit 1 test.
【事前・事後学習課題】 Complete online homework (http://www.sconlinepractice.com) corresponding to the unit studied in class. Students must repeat each exercise until they get a score of 100% in at least nine of the ten unit exercises.

第８回　**【授業テーマ】** Unit 2:
- Ask and answer questions about personal information
- Make wh- questions using possessives
- Understand short conversations about people
- Understand text and forms containing personal information

【内容・方法　等】 Students will discover, practice and individualise the unit language targets through individual, pair, and group vocabulary, grammar, pronunciation, conversation, reading and listening tasks.
【事前・事後学習課題】 Complete online homework (http://www.sconlinepractice.com) corresponding to the unit studied in class. Students must repeat each exercise until they get a score of 100% in at least nine of the ten unit exercises.

第９回　**【授業テーマ】** Unit 2:
- Ask and answer questions about personal information
- Make wh- questions using possessives
- Understand short conversations about people
- Understand text and forms containing personal information

【内容・方法　等】 Students will discover, practice and individualise the unit language targets through individual, pair, and group vocabulary, grammar, pronunciation, conversation, reading and listening tasks.
【事前・事後学習課題】 Complete online homework (http://www.sconlinepractice.com) corresponding to the unit studied in class. Students must repeat each exercise until they get a score of 100% in at least nine of the ten unit exercises.

第10回　**【授業テーマ】** Unit 3:
- Talk about possessions
- Use this, that, these, and those
- Understand conversations about possessions
- Understand short texts about possessions

【内容・方法　等】 Students will discover, practice and individualise the unit language targets through individual, pair, and group vocabulary, grammar, pronunciation, conversation, reading and listening tasks. Unit 2 test.
【事前・事後学習課題】 Complete online homework (http://www.sconlinepractice.com) corresponding to the unit studied in class. Students must repeat each exercise until they get a score of 100% in at least nine of the ten unit exercises.

第11回　**【授業テーマ】** Unit 3:
- Talk about possessions
- Use this, that, these, and those
- Understand conversations about possessions
- Understand short texts about possessions

【内容・方法　等】 Students will discover, practice and individualise the unit language targets through individual, pair, and group vocabulary, grammar, pronunciation,

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　219　2014/08/21　14:45:32

conversation, reading and listening tasks.
【事前・事後学習課題】 Complete online homework (http://www.sconlinepractice.com) corresponding to the unit studied in class. Students must repeat each exercise until they get a score of 100% in at least nine of the ten unit exercises.

第12回 **【授業テーマ】** Unit 3:
- Talk about possessions
- Use this, that, these, and those
- Understand conversations about possessions
- Understand short texts about possessions

【内容・方法　等】 Students will discover, practice and individualise the unit language targets through individual, pair, and group vocabulary, grammar, pronunciation, conversation, reading and listening tasks.
【事前・事後学習課題】 Complete online homework (http://www.sconlinepractice.com) corresponding to the unit studied in class. Students must repeat each exercise until they get a score of 100% in at least nine of the ten unit exercises.

第13回 **【授業テーマ】** Review Units 1~3
【内容・方法　等】 Students will discover, practice and individualise the unit language targets through individual, pair, and group vocabulary, grammar, pronunciation, conversation, reading and listening tasks. Unit 3 test.
【事前・事後学習課題】 Complete online homework (http://www.sconlinepractice.com) corresponding to the unit studied in class. Students must repeat each exercise until they get a score of 100% in at least nine of the ten unit exercises.

第14回 **【授業テーマ】** Review Units 1~3
【内容・方法　等】 Students will discover, practice and individualise the unit language targets through individual, pair, and group vocabulary, grammar, pronunciation, conversation, reading and listening tasks.
【事前・事後学習課題】 Complete online homework (http://www.sconlinepractice.com) corresponding to the unit studied in class. Students must repeat each exercise until they get a score of 100% in at least nine of the ten unit exercises.

第15回 **【授業テーマ】** Course review and feedback. Discuss holiday plans.
【内容・方法　等】 Course review and feedback based on test results. Using 'going to' vs 'will' when talking about future plans, then personalise to discuss summer holiday plans.
【事前・事後学習課題】 ...

評価方法（基準）
Class Participation / Online homework assignments (10%)
Unit review tests (3x20%)
統一英語単語テスト (30%)

教材等
教科書…"Smart Choice: 2nd Edition Starter Multi-Pack A with Online Practice" Wilson, K., Oxford University Press, 2,000円 (ISBN-13: 9780194407120)
「学校語彙で学ぶTOEICテスト【単語集】The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test; WORD BOOK」（西谷恒志著　発行所（株）成美堂 1,700円）
参考書…http://elt.oup.com/student/smartchoice/
Practice grammar and vocabulary with fun games, and practice pronunciation with songs and karaoke.

学生へのメッセージ
If you have any queries or need advice about your successful completion of the course, feel free to contact me anytime.

関連科目
スポーツ英語ＩＩ、スポーツ英語ＩＩＩ、スポーツ英語ＩＶ

担当者の研究室等
7号館2階（非常勤講師室）

スポーツ英語II
Sports English II

松　浦　茂　寿（マツウラ　シゲトシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	H	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
中学から高校にかけて学んだ英語を文法を中心にもう一度復習し、更なる語彙力、文法力の養成を目標とする。時間があれば教科書以外に英語の資格検定などの練習問題を用いて更なる知識の養成をはかる。授業のみならず家庭での予習、復習をきちんとし授業内容がよりわかるように各自、努力しよう。また、授業計画は進度によって変わる場合がある。

授業方法と留意点
簡単な文法問題を中心にしたテキストを用い、進度に沿って課題提出を随時行うので理由のない限り出席を心がけてもらいたい。授業計画は進度によって変わる場合がある。指定する150単語について、テキストを使い語彙力の強化向上を図る。
法学部として実施する「統一英語単語テスト」を受験すること。

科目学習の効果（資格）
高校までの基本的英文法の復習及び英検やTOEIC等の検定・資格試験にも役立つ知識の養成。
ＴＯＥＩＣテストに有効な単語力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 **【授業テーマ】** 前期の復習
【内容・方法　等】 前期に習った内容の復習など
【事前・事後学習課題】 ――――
第２回 **【授業テーマ】** Unit13
【内容・方法　等】 接続詞(1)
【事前・事後学習課題】 教科書p.54-57
第３回 **【授業テーマ】** Unit14
【内容・方法　等】 不定詞(1)、動名詞(1)
【事前・事後学習課題】 教科書p.58-61
第４回 **【授業テーマ】** Unit15
【内容・方法　等】 受動態
【事前・事後学習課題】 教科書p.62-65
第５回 **【授業テーマ】** Unit16
【内容・方法　等】 完了形
【事前・事後学習課題】 教科書p.66-69
第６回 **【授業テーマ】** Unit17
【内容・方法　等】 接続詞(Ⅱ)（時勢の一致を含む）等
【事前・事後学習課題】 教科書p.62-64
第７回 **【授業テーマ】** Unit18
【内容・方法　等】 ５つの基本文型
【事前・事後学習課題】 教科書p.74-77
第８回 **【授業テーマ】** Unit19
【内容・方法　等】 各種疑問文
【事前・事後学習課題】 教科書p.78-81
第９回 **【授業テーマ】** Unit20
【内容・方法　等】 不定詞(2)
【事前・事後学習課題】 教科書p.82-85
第10回 **【授業テーマ】** Unit21
【内容・方法　等】 Itの特別用法
【事前・事後学習課題】 教科書p.86-89
第11回 **【授業テーマ】** Unit22
【内容・方法　等】 分詞、動名詞(2)
【事前・事後学習課題】 教科書p.90-93
第12回 **【授業テーマ】** Unit23
【内容・方法　等】 関係代名詞
【事前・事後学習課題】 教科書p.94-97
第13回 **【授業テーマ】** Unit 24
【内容・方法　等】 仮定法
【事前・事後学習課題】 教科書p.98-101
第14回 **【授業テーマ】** 資格、検定などの問題演習
【内容・方法　等】 授業の進度によって内容を決め、プリントを用意する
【事前・事後学習課題】 ――――
第15回 **【授業テーマ】** 総合復習
【内容・方法　等】 定期試験対策
【事前・事後学習課題】 ――――

評価方法（基準）
平常点、提出物、定期試験の点数を総合評価する。また、日頃の授業態度も重視する。
評価には、「統一英語単語テスト」の結果を30%組み入れる(統一英語単語テストを受験しなかった者は評価に大きく影響します)。

教材等
教科書…教科書・・教科書・・「First Primer」『基礎からの英語入門』改訂新版　佐藤　哲三、松　伸二、　愛甲　ゆかり、小手川　巧三、福島　孝夫、重久　睦美、村上　佐穂、新　彰著　南雲堂 (1900円＋税)
「学校語彙で学ぶTOEICテスト【単語集】The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test; Word Book」(西谷恒志著　発行所（株）成美堂 1,700円＋税)
参考書…なし

学生へのメッセージ
「明るく、元気で、感動と発見を与える授業に！」私語をせず、マナーを守り、積極的に参加してクラス全体が一つになる様に、各自協力してもらいたい。折角、授業中に学んだことを暗記したままではすぐに忘れます。例えば英語で書かれた看板のメッセージ見ただけで指示が読めるように授業外で繰り返し学習するのが英語上達への早道です。教える側も学ぶ側も仲良く、楽しく、実りある半期になる事を祈る！

関連科目
スポーツ英語Ⅰ、スポーツ英語ＩＩＩ、スポーツ英語ＩＶ

担当者の研究室等

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　220　2014/08/21　14:45:33

7号館2階（非常勤講師室）

備考

なし

スポーツ英語II
Sports English II

アレン　ニール

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	G	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

This course is designed to develop the four basic skills (reading, writing, speaking and listening) in a conversational English framework. In the class, students will use English to describe and explain experiences and express their opinions about familiar topics and everyday situations related to sport.

授業方法と留意点

Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course. All class activities will be conducted in English.

科目学習の効果（資格）

TOEIC，英検

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】** - Course orientation and review of course guidelines and assessment tasks.
- Review greeting a friend.
- Discuss summer holiday activities using the simple past tense.

【内容・方法　等】 Students will discover, practice and individualise the unit language targets through individual, pair, and group vocabulary, grammar, pronunciation, conversation, reading and listening tasks.

【事前・事後学習課題】 Begin online homework (http://www.sconlinepractice.com) corresponding to the unit studied in class. Students must repeat each exercise until they get a score of 100% in at least nine of the ten unit exercises.

第２回　**【授業テーマ】** Sports Reports
- Names for '0' in sport.
- Using 'won' and 'beat'.
- Reading sports scores.

【内容・方法　等】 Students will discover, practice and individualise the unit language targets through individual, pair, and group vocabulary, grammar, pronunciation, conversation, reading and listening tasks.

【事前・事後学習課題】 Complete online homework (http://www.sconlinepractice.com) corresponding to the unit studied in class. Students must repeat each exercise until they get a score of 100% in at least nine of the ten unit exercises.

第３回　**【授業テーマ】** Sports Reports
- Names for '0' in sport.
- Using 'won' and 'beat'.
- Reading sports scores.

【内容・方法　等】 Students will discover, practice and individualise the unit language targets through individual, pair, and group vocabulary, grammar, pronunciation, conversation, reading and listening tasks.

【事前・事後学習課題】 Complete online homework (http://www.sconlinepractice.com) corresponding to the unit studied in class. Students must repeat each exercise until they get a score of 100% in at least nine of the ten unit exercises.

第４回　**【授業テーマ】** Unit 4:
- Talk about likes and dislikes
- Use the simple present with like
- Understand conversations about what people like
- Understand short texts about what people like

【内容・方法　等】 Students will discover, practice and individualise the unit language targets through individual, pair, and group vocabulary, grammar, pronunciation, conversation, reading and listening tasks.

【事前・事後学習課題】 Complete online homework (http://www.sconlinepractice.com) corresponding to the unit studied in class. Students must repeat each exercise until they get a score of 100% in at least nine of the ten unit exercises.

第５回　**【授業テーマ】** Unit 4:
- Talk about likes and dislikes
- Use the simple present with like
- Understand conversations about what people like
- Understand short texts about what people like

【内容・方法　等】 Students will discover, practice and individualise the unit language targets through individual, pair, and group vocabulary, grammar, pronunciation, conversation, reading and listening tasks.

【事前・事後学習課題】 Complete online homework (http://www.sconlinepractice.com) corresponding to the unit studied in class. Students must repeat each exercise until they get a score of 100% in at least nine of the ten unit exercises.

第６回　**【授業テーマ】** Unit 4:
- Talk about likes and dislikes
- Use the simple present with like
- Understand conversations about what people like
- Understand short texts about what people like

【内容・方法　等】 Students will discover, practice and individualise the unit language targets through individual, pair, and group vocabulary, grammar, pronunciation, conversation, reading and listening tasks.

【事前・事後学習課題】 Complete online homework (http://www.sconlinepractice.com) corresponding to the unit studied in class. Students must repeat each exercise until they get a score of 100% in at least nine of the ten unit exercises.

第７回　**【授業テーマ】** Unit 5:
- Suggest activities to do with people
- Use the simple present
- Understand conversations about leisure activities
- Understanding text about what people do for fun

【内容・方法　等】 Students will discover, practice and individualise the unit language targets through individual, pair, and group vocabulary, grammar, pronunciation, conversation, reading and listening tasks. Unit 4 test.

【事前・事後学習課題】 Complete online homework (http://www.sconlinepractice.com) corresponding to the unit studied in class. Students must repeat each exercise until they get a score of 100% in at least nine of the ten unit exercises.

第８回　**【授業テーマ】** Unit 5:
- Suggest activities to do with people
- Use the simple present
- Understand conversations about leisure activities
- Understanding text about what people do for fun

【内容・方法　等】 Students will discover, practice and individualise the unit language targets through individual, pair, and group vocabulary, grammar, pronunciation, conversation, reading and listening tasks.

【事前・事後学習課題】 Complete online homework (http://www.sconlinepractice.com) corresponding to the unit studied in class. Students must repeat each exercise until they get a score of 100% in at least nine of the ten unit exercises.

第９回　**【授業テーマ】** Unit 5:
- Suggest activities to do with people
- Use the simple present
- Understand conversations about leisure activities
- Understanding text about what people do for fun

【内容・方法　等】 Students will discover, practice and individualise the unit language targets through individual, pair, and group vocabulary, grammar, pronunciation, conversation, reading and listening tasks.

【事前・事後学習課題】 Complete online homework (http://www.sconlinepractice.com) corresponding to the unit studied in class. Students must repeat each exercise until they get a score of 100% in at least nine of the ten unit exercises.

第10回　**【授業テーマ】** Unit 6:
- Talk about abilities
- Use can and can't to talk about abilities
- Understand conversations about what people can or can't do
- Understand text and charts about abilities

【内容・方法　等】 Students will discover, practice and individualise the unit language targets through individual, pair, and group vocabulary, grammar, pronunciation, conversation, reading and listening tasks. Unit 5 test.

【事前・事後学習課題】 Complete online homework (http://www.sconlinepractice.com) corresponding to the unit studied in class. Students must repeat each exercise until they get a score of 100% in at least nine of the ten unit exercises.

第11回　**【授業テーマ】** Unit 6:
- Talk about abilities
- Use can and can't to talk about abilities

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　221　2014/08/21　14:45:33

- Understand conversations about what people can or can't do
- Understand text and charts about abilities

【内容・方法　等】 Students will discover, practice and individualise the unit language targets through individual, pair, and group vocabulary, grammar, pronunciation, conversation, reading and listening tasks.

【事前・事後学習課題】 Complete online homework (http://www.sconlinepractice.com) corresponding to the unit studied in class. Students must repeat each exercise until they get a score of 100% in at least nine of the ten unit exercises.

第12回　【授業テーマ】 Unit 6:
- Talk about abilities
- Use can and can't to talk about abilities
- Understand conversations about what people can or can't do
- Understand text and charts about abilities

【内容・方法　等】 Students will discover, practice and individualise the unit language targets through individual, pair, and group vocabulary, grammar, pronunciation, conversation, reading and listening tasks.

【事前・事後学習課題】 Complete online homework (http://www.sconlinepractice.com) corresponding to the unit studied in class. Students must repeat each exercise until they get a score of 100% in at least nine of the ten unit exercises.

第13回　【授業テーマ】 Review Units 4~6:
Conversation: Two people talking about music at a party.
Reading: "A Talented Family"

【内容・方法　等】 Students will discover, practice and individualise the unit language targets through individual, pair, and group vocabulary, grammar, pronunciation, conversation, reading and listening tasks. Unit 6 test.

【事前・事後学習課題】 Complete online homework (http://www.sconlinepractice.com) corresponding to the unit studied in class. Students must repeat each exercise until they get a score of 100% in at least nine of the ten unit exercises.

第14回　【授業テーマ】 Review Units 4~6:
Conversation: Two people talking about music at a party.
Reading: "A Talented Family"

【内容・方法　等】 Students will discover, practice and individualise the unit language targets through individual, pair, and group vocabulary, grammar, pronunciation, conversation, reading and listening tasks.

【事前・事後学習課題】 Complete online homework (http://www.sconlinepractice.com) corresponding to the unit studied in class. Students must repeat each exercise until they get a score of 100% in at least nine of the ten unit exercises.

第15回　【授業テーマ】 Course review and feedback. Discuss holiday plans.

【内容・方法　等】 Course review and feedback based on test results. Using 'going to' vs 'will' when talking about future plans, then personalise to discuss spring holiday plans.

【事前・事後学習課題】 ...

評価方法（基準）

Class Participation / Online homework assignments (10%)
Unit review tests (3x20%)
統一英語単語テスト (30%)

教材等

教科書…"Smart Choice: 2nd Edition Starter Multi-Pack A with Online Practice" Wilson, K., Oxford University Press, 2,000円 (ISBN-13: 9780194407120)
「学校語彙で学ぶTOEICテスト【単語集】The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test; WORD BOOK」（西谷恒志著　発行所（株）成美堂 1,700円）

参考書…http://elt.oup.com/student/smartchoice/
Practice grammar and vocabulary with fun games, and practice pronunciation with songs and karaoke.

学生へのメッセージ

If you have any queries or need advice about your successful completion of the course, feel free to contact me anytime.

関連科目

スポーツ英語Ⅰ、スポーツ英語ⅠⅠⅠ、スポーツ英語ⅠⅤ

担当者の研究室等

7号館2階　非常勤講師室

スポーツ英語III
Sports English III

有　本　好一郎(アリモト　コウイチロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	H	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

英語力向上にはこれまでの中学高校レベルの復習も欠かすことはできません。　特に、資格（TOEIC, 英検など）取得には読み書き、英文法のみならず、リスニングにも重点を置く必要があるので、毎回の授業で取り組みます。　聴解力がつくのを実感できますが、前向きに学習することが大前提です。　資格取得に向けて前向きに受験してください。　また授業担当者がアメリカで経験したことも写真で紹介することもあります。

授業方法と留意点

読解、文法問題、ディクテーションなどを多用し、語彙の習得、文法力向上、聴解力向上を図る。　中高で英語に苦手意識を持った学生も初心に帰り、学習して欲しい。

科目学習の効果（資格）

TOEICの得点向上が期待できるので積極的に受験して欲しい。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】 ガイダンス、TOEICの説明、英語クロスワードパズルなど

【内容・方法　等】 授業の進め方、評価方法、企業が要求するスコアなどを説明

【事前・事後学習課題】 教科書の予習、クロスワードパズルの暗記、英単語の暗記２０１－２１４

第２回　【授業テーマ】 自己紹介についての文章を通して名詞の学習（固有名詞、複数形など）

【内容・方法　等】 読解、文法、リスニング演習問題形式を通して

【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記、英単語の暗記２１５－２２８

第３回　【授業テーマ】 家族、ペットについての文章を通して動詞の学習

【内容・方法　等】 読解、文法、リスニング演習問題形式を通して

【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記、英単語の暗記２２９－２４２

第４回　【授業テーマ】 趣味についての文章を通して主語＋動詞～の学習

【内容・方法　等】 読解、文法、リスニング演習問題形式を通して

【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記、英単語の暗記２４３－２５６

第５回　【授業テーマ】 大学生活についての文章を通して人称代名詞の学習

【内容・方法　等】 読解、文法、リスニング演習問題形式を通して

【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記、英単語の暗記２５７－２７０

第６回　【授業テーマ】 食物についての文章を通して疑問詞の学習

【内容・方法　等】 読解、文法、リスニング演習問題形式を通して

【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記、英単語の暗記２７１－２８４

第７回　【授業テーマ】 コンサートについての文章を通してHow＋形容詞、副詞の学習

【内容・方法　等】 読解、文法、リスニング演習問題形式を通して

【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記、英単語の暗記２８５－２９８

第８回　【授業テーマ】 中間試験

【内容・方法　等】 試験後、答え合わせを行い弱点を復習

【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、英単語の暗記２９９－３１２

第９回　【授業テーマ】 道案内についての文章を通して助動詞の学習

【内容・方法　等】 読解、文法、リスニング演習問題形式を通して

【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記、英単語の暗記３１３－３２６

第10回　【授業テーマ】 日本文化についての文章を通して助動詞の学習

【内容・方法　等】 読解、文法、リスニング演習問題形式を通して

【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記、英単語の暗記３２７－３４０

第11回　【授業テーマ】 ジェスチャーについての文章を通して前置詞の学習

【内容・方法　等】 読解、文法、リスニング演習問題形式を通して

【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズ

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　222　2014/08/21　14:45:33

ルの暗記、英単語の暗記３４１－３５４
第12回 **【授業テーマ】** 観光案内についての文章を通して時制の学習
【内容・方法　等】 読解、文法、リスニング演習問題形式を通して
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記、英単語の暗記３５５－３６８
第13回 **【授業テーマ】** ネットショッピングについての文章を通して進行形の学習
【内容・方法　等】 読解、文法、リスニング演習問題形式を通して
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記、英単語の暗記３６９－３８２
第14回 **【授業テーマ】** E-mailについての文章を通して数字の学習
【内容・方法　等】 読解、文法、リスニング演習問題形式を通して
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記、英単語の暗記３８３－３９６
第15回 **【授業テーマ】** 9－14回の復習とまとめ
【内容・方法　等】 読解、文法、リスニング演習問題形式を通して
【事前・事後学習課題】 定期試験の準備英単語の暗記３９７－４００
評価方法（基準）
担当教員の評価７０％、統一英語単語テスト（３０％）を実施して全体の評価を行う。
教材等
教科書…南雲堂、「Forerunner To Power-Up English」、JACET リスニング研究会、　￥1,900円
成美堂、「The Core Vocabulary for the TOEIC Test」、￥1,700円
参考書…英和、和英辞典を持参のこと。
学生へのメッセージ
英語習得には普段の努力が大切である、通学時にi-Pod 等の録音機、ラジオ番組、コンピューターなどを積極的に活用し学習すること。
関連科目
その他英語科目全般
担当者の研究室等
7号館2階(非常勤講師室)
備考
単語試験は「The Core Vocabulary for the TOEIC Test」から出題される範囲を受験すること。
単語番号２０１－４００までの範囲で期末に試験が行われます。

スポーツ英語III
Sports English III

中　本　明　子（ナカモト　アキコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	G	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
基礎的な文法と語彙を中心とした英語力の向上を図ります。
授業方法と留意点
ユニットごとに基礎から文法と語彙ををを学習し、無理なく英語に慣れ親しみます。
（問題を解く）→（解説を読む）→（再び問題を解く）→（再び解説を読む）を繰り返します。
さらに小テストとして、単語集またはテキストの指定された単語の書き取りテストを毎回行います。
科目学習の効果（資格）
英検3級、準2級
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 **【授業テーマ】** オリエンテーション
【内容・方法　等】 授業の進め方、評価方法などに関する説明
【事前・事後学習課題】 Unit 1の予習
単語集の指定された単語（200～218）の書き取り練習
第２回 **【授業テーマ】** Unit 1
【内容・方法　等】 be動詞・現在
【事前・事後学習課題】 Unit 1の復習、Unit 2の予習
単語集の指定された単語（219～230）の書き取り練習
第３回 **【授業テーマ】** Unit 2
【内容・方法　等】 一般動詞・現在
【事前・事後学習課題】 Unit 2の復習、Unit 3の予習
単語集の指定された単語（231～252）の書き取り練習
第４回 **【授業テーマ】** Unit 3
【内容・方法　等】 多様な疑問文
【事前・事後学習課題】 Unit 1からUnit 3までの復習
単語集の指定された単語（253～276）の書き取り練習
第５回 **【授業テーマ】** Unit 1からUnit 3までの復習
【内容・方法　等】 be動詞・現在、一般動詞・現在と多様な疑問文
【事前・事後学習課題】 Unit 1からUnit 3までの復習、Unit 4の予習
単語集の指定された単語（277～301）の書き取り練習
第６回 **【授業テーマ】** Unit 4
【内容・方法　等】 be動詞・過去
【事前・事後学習課題】 Unit 4の復習、Unit 5の予習
単語集の指定された単語（302～325）の書き取り練習
第７回 **【授業テーマ】** Unit 5
【内容・方法　等】 一般動詞・過去
【事前・事後学習課題】 Unit 5の復習、unit 6の予習
単語集の指定された単語（326～350）の書き取り練習
第８回 **【授業テーマ】** Unit 6
【内容・方法　等】 特殊な文
【事前・事後学習課題】 Unit 4からUnit 6までの復習
単語集の指定された単語（326～350）の書き取り練習
第９回 **【授業テーマ】** Unit 4からUnit 6までの復習
【内容・方法　等】 be動詞・過去、一般動詞・過去と特殊な文
【事前・事後学習課題】 Unit 4からUnit 6までの復習、Unit 7の予習
単語集の指定された単語（351～376）の書き取り練習
第10回 **【授業テーマ】** Unit 7
【内容・方法　等】 未来形
【事前・事後学習課題】 Unit 7の復習、Unit 8の予習
単語集の指定された単語（377～400）の書き取り練習
第11回 **【授業テーマ】** Unit 8
【内容・方法　等】 進行形
【事前・事後学習課題】 Unit 8の復習、Unit 9の予習
テキストの指定された単語の書き取り練習
第12回 **【授業テーマ】** Unit 9
【内容・方法　等】 助動詞
【事前・事後学習課題】 Unit 9の復習、Unit 10の予習
テキストの指定された単語の書き取り練習
第13回 **【授業テーマ】** Unit 10
【内容・方法　等】 英文の型
【事前・事後学習課題】 Unit 7からUnit 10までの復習
テキストの指定された単語の書き取り練習
第14回 **【授業テーマ】** Unit 7からUnit 10までの復習
【内容・方法　等】 未来形、進行形、助動詞と英文の型
【事前・事後学習課題】 前期の総復習
第15回 **【授業テーマ】** 前期の総括
【内容・方法　等】 前期まとめテストと解説
【事前・事後学習課題】 テストの復習
評価方法（基準）
統一英語単語テスト30%、小テスト20%と前期まとめテスト50%で、授業態度は減点方式とし、総合的に評価します。
教材等
教科書…大坂四朗著　「First Steps to English Grammar」　南雲堂　（1900円＋税）
西谷恒志著　「The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test: WORD BOOK」　成美堂　（1700円＋税）
参考書…英和辞書
学生へのメッセージ
単語集の単語だけでなく、テキストの各ユニットにおける単語は、英和辞書を使って予習しておいて下さい。語彙力が英語の上達に大きく影響します。
関連科目
スポーツ英語Ｉ、スポーツ英語ＩＩ、スポーツ英語IV
担当者の研究室等
7号館2階　非常勤講師室
備考
休まず積極的に授業に参加して下さい。努力は実ります。

スポーツ英語IV
Sports English IV

有　本　好一郎(アリモト　コウイチロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	H	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
英語力向上にはこれまでの中学高校レベルの復習も欠かすことはできません。　特に、資格（TOEIC, 英検など）取得には読み書き、英文法のみならず、リスニングにも重点を置く必要があるので、毎回の授業で取り組みます。　聴解力がつくのを実感できますが、前向きに学習することが大前提です。　資格取得に向けて前向きに受験してください。　また授業担当者がアメリカで経験したことも写真で紹介することもあります。
授業方法と留意点
読解、文法問題集、ディクテーションなどを多用し、語彙の習得、文法力向上、聴解力向上を図る。　中高で英語に苦手意識を持

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　223　2014/08/21　14:45:33

った学生も初心に帰り、学習して欲しい。
科目学習の効果（資格）
TOEICの得点向上が期待できるので積極的に受験して欲しい。
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 **【授業テーマ】** ガイダンス、TOEICの説明、英語クロスワードパズルなど
【内容・方法　等】 授業の進め方、評価方法、企業が要求するスコアなどを説明
【事前・事後学習課題】 教科書の予習、クロスワードパズルの暗記、英単語の暗記６０１－６１４
第２回 **【授業テーマ】** 機内放送についての文章を通して、天候や時の表現の学習
【内容・方法　等】 読解、文法、リスニング演習問題形式を通して
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記、英単語の暗記６１５－６２８
第３回 **【授業テーマ】** 空港で放送される文章を通して接続詞の学習
【内容・方法　等】 読解、文法、リスニング演習問題形式を通して
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記、英単語の暗記６２９－６４２
第４回 **【授業テーマ】** ホテルで使われる文章を通して不定詞の学習
【内容・方法　等】 読解、文法、リスニング演習問題形式を通して
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記、英単語の暗記６４３－６５６
第５回 **【授業テーマ】** レストランで使われる文章を通して形容詞の学習
【内容・方法　等】 読解、文法、リスニング演習問題形式を通して
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記、英単語の暗記６５７－６７０
第６回 **【授業テーマ】** 買い物で使われる文章を通して頻度を表す副詞の学習
【内容・方法　等】 読解、文法、リスニング演習問題形式を通して
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記、英単語の暗記６７１－６８４
第７回 **【授業テーマ】** 野球についての文章を通して比較級の学習
【内容・方法　等】 読解、文法、リスニング演習問題形式を通して
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記、英単語の暗記６８５－６９８
第８回 **【授業テーマ】** 中間試験
【内容・方法　等】 読解、文法、リスニング演習問題形式を通して
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記、英単語の暗記６９９－７１２
第９回 **【授業テーマ】** ミュージカル鑑賞についての文章を通して完了形の学習
【内容・方法　等】 読解、文法、リスニング演習問題形式を通して
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記、英単語の暗記７１３－７２６
第10回 **【授業テーマ】** 旅行案内についての文章を通して受動態の学習
【内容・方法　等】 読解、文法、リスニング演習問題形式を通して
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記、英単語の暗記７２７－７４０
第11回 **【授業テーマ】** 問題解決についての文章を通して受動態の学習
【内容・方法　等】 読解、文法、リスニング演習問題形式を通して
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記、英単語の暗記７４１－７５４
第12回 **【授業テーマ】** 体調不良についての文章を通して分詞の学習
【内容・方法　等】 読解、文法、リスニング演習問題形式を通して
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記、英単語の暗記７５５－７６８
第13回 **【授業テーマ】** 電話の会話についての文章を通して動名詞の学習
【内容・方法　等】 読解、文法、リスニング演習問題形式を通して
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記、英単語の暗記７６９－７８２
第14回 **【授業テーマ】** 別れの手紙の文章を通してセンスグループの学習
【内容・方法　等】 読解、文法、リスニング演習問題形式を通して
【事前・事後学習課題】 教科書の予習復習、クロスワードパズルの暗記、英単語の暗記７８３－７９６
第15回 **【授業テーマ】** 9－14回の復習とまとめ
【内容・方法　等】 読解、文法、リスニング演習問題形式を通して
【事前・事後学習課題】 定期試験の準備、英単語の暗記７９７－８００
評価方法（基準）
担当教員の評価７０％、統一英語単語テスト（３０％）を実施して全体の評価を行う。
単語テストは６０１－８００の範囲で期末に行う。
教材等
教科書…教科書・・南雲堂、「Forerunner To Power-Up English」、JACET　リスニング研究会、　¥1,900円
成美堂、「The Core Vocabulary for the TOEIC Test」、¥1,700円
参考書…英和、和英辞典を持参のこと。
学生へのメッセージ
英語習得には普段の努力が大切である、通学時にi-Pod 等の録音機、ラジオ番組、コンピューターなどを積極的に活用し学習すること。
関連科目
他の全ての英語科目
担当者の研究室等
7号館2階(非常勤講師室)

スポーツ英語IV
Sports English IV

中　本　明　子（ナカモト　アキコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	G	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
基礎的な文法と語彙を中心とした英語力の向上を図ります。
授業方法と留意点
ユニットごとに基礎から文法と語彙をを学習し、無理なく英語に慣れ親しみます。
（問題を解く）→（解説を読む）→（再び問題を解く）→（再び解説を読む）を繰り返します。
さらに小テストとして、単語集またはテキストの指定された単語の書き取りテストを毎回行います。
科目学習の効果（資格）
英検3級、準2級
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 **【授業テーマ】** オリエンテーション
【内容・方法　等】 授業の進め方、評価方法などに関する説明、前期学習事項の確認
【事前・事後学習課題】 Unit 11の予習
単語集の指定された単語（600～619）の書き取り練習
第２回 **【授業テーマ】** Unit 11
【内容・方法　等】 受動態
【事前・事後学習課題】 Unit 11の復習、Unit 12の予習
単語集の指定された単語（620～633）の書き取り練習
第３回 **【授業テーマ】** Unit 12
【内容・方法　等】 比較
【事前・事後学習課題】 Unit 12の復習、Unit 13の予習
単語集の指定された単語（634～659）の書き取り練習
第４回 **【授業テーマ】** Unit 13
【内容・方法　等】 完了形
【事前・事後学習課題】 Unit 11からUnit 13までの復習
単語集の指定された単語（660～684）の書き取り練習
第５回 **【授業テーマ】** Unit 11からUnit 13までの復習
【内容・方法　等】 受動態、比較と完了形
【事前・事後学習課題】 Unit 11からUnit 13までの復習、Unit 14の予習
単語集の指定された単語（685～710）の書き取り練習
第６回 **【授業テーマ】** Unit 14
【内容・方法　等】 不定詞
【事前・事後学習課題】 Unit 14の復習、Unit 15の予習
単語集の指定された単語（711～734）の書き取り練習
第７回 **【授業テーマ】** Unit 15
【内容・方法　等】 分詞
【事前・事後学習課題】 Unit 15の復習、unit 16の予習
単語集の指定された単語（735～760）の書き取り練習
第８回 **【授業テーマ】** Unit 16
【内容・方法　等】 動名詞
【事前・事後学習課題】 Unit 14からUnit 16までの復習
単語集の指定された単語（761～783）の書き取り練習
第９回 **【授業テーマ】** Unit 14からUnit 16までの復習
【内容・方法　等】 不定詞、分詞と動名詞
【事前・事後学習課題】 Unit 14からUnit 16までの復習、Unit 17の予習
単語集の指定された単語（784～800）の書き取り練習

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　224　2014/08/21　14:45:34

第10回 【授業テーマ】 Unit 17
【内容・方法　等】 節
【事前・事後学習課題】 Unit 17の復習、Unit 18の予習
テキストの指定された単語の書き取り練習
第11回 【授業テーマ】 Unit 18
【内容・方法　等】 関係代名詞
【事前・事後学習課題】 Unit 18の復習、Unit 19の予習
テキストの指定された単語の書き取り練習
第12回 【授業テーマ】 Unit 19
【内容・方法　等】 熟語の整理
【事前・事後学習課題】 Unit 19の復習、Unit 20の予習
テキストの指定された単語の書き取り練習
第13回 【授業テーマ】 Unit 20
【内容・方法　等】 会話文とitの整理
【事前・事後学習課題】 Unit 17からUnit 20までの復習
第14回 【授業テーマ】 Unit 17からUnit 20までの復習
【内容・方法　等】 節、関係代名詞、熟語の整理と、会話文とitの用法
【事前・事後学習課題】 後期の総復習
第15回 【授業テーマ】 後期の総括
【内容・方法　等】 後期まとめテストと解説
【事前・事後学習課題】 テストの復習

評価方法（基準）
統一英語単語テスト30%、小テスト20%と後期まとめテスト50%で、授業態度は減点方式とし、総合的に評価します。

教材等
教科書…大坂四朗著　「First Steps to English Grammar」　南雲堂　（1900円＋税）
西谷恒志著　「The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test: WORD BOOK」　成美堂　（1700円＋税）
参考書…英和辞書

学生へのメッセージ
単語集の単語だけでなく、テキストの各ユニットにおける単語は、英和辞書を使って予習しておいて下さい。語彙力が英語の上達に大きく影響します。

関連科目
スポーツ英語Ⅰ、スポーツ英語ⅠⅠ、スポーツ英語IV

担当者の研究室等
7号館2階　非常勤講師室

備考
休まず積極的に授業に参加して下さい。努力は実ります。

時事英語I
Journal English I

里　井　真理子（サトイ　マリコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
この授業では、実際に「使える」英語運用能力を身につけることを目標とします。アメリカ、ヨーロッパ、日本を含むアジアについての幅広いトピックを通して、語彙力や内容理解、ディクテーションなどの英語力を養成することを目指すとともに国際・社会問題についても考えていきます。

授業方法と留意点
各ユニットを１～2回の授業で進めていく予定です。
必ずテキストの予習をし、辞書を持って授業に臨みましょう。

科目学習の効果（資格）
語彙力、構文力に基づいた読解力・聴解力・表現力・運用能力の向上

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 Introduction
Unit　1　A Mom-to-Be in the Corner Office
【内容・方法　等】 授業内容についての説明
読解・問題（pp.6）
Quiz
【事前・事後学習課題】 授業範囲の予習と復習
第２回 【授業テーマ】 Unit　1　A Mom-to-Be in the Corner Office
【内容・方法　等】 Review
読解・問題（pp.6～9）
Quiz
【事前・事後学習課題】 授業範囲の予習と復習
第３回 【授業テーマ】 Unit　2　In Defense of Affirmative Action
【内容・方法　等】 読解・問題（pp.10～11）
Quiz
【事前・事後学習課題】 授業範囲の予習と復習
第４回 【授業テーマ】 Unit　2　In Defense of Affirmative Action
【内容・方法　等】 Review
読解・問題（pp.11～13）
Quiz
【事前・事後学習課題】 授業範囲の予習と復習
第５回 【授業テーマ】 Unit　3　Keeping the Internet Safe from Rogue Regimes
【内容・方法　等】 読解・問題（pp.14～15）
Quiz
【事前・事後学習課題】 授業範囲の予習と復習
第６回 【授業テーマ】 Unit　3　Keeping the Internet Safe from Rogue Regimes
【内容・方法　等】 Review
読解・問題（pp.15～17）
Quiz
【事前・事後学習課題】 授業範囲の予習と復習
第７回 【授業テーマ】 Unit　4　Fighting Hacks with National Security Standards
【内容・方法　等】 読解・問題（pp.18～19）
Quiz
【事前・事後学習課題】 授業範囲の予習と復習
第８回 【授業テーマ】 Unit　4　Fighting Hacks with National Security Standards
【内容・方法　等】 Review
読解・問題（pp.19～21）
Quiz
【事前・事後学習課題】 授業範囲の予習と復習
第９回 【授業テーマ】 Unit　5　Raise Minimum Wage
【内容・方法　等】 読解・問題（pp.22～23）
Quiz
【事前・事後学習課題】 授業範囲の予習と復習
第10回 【授業テーマ】 Unit　5　Raise Minimum Wage
【内容・方法　等】 Review
読解・問題（pp.23～25）
Quiz
【事前・事後学習課題】 授業範囲の予習と復習
第11回 【授業テーマ】 Unit　6　American's Real Immigration Crisis
【内容・方法　等】 読解・問題（pp.26～27）
Quiz
【事前・事後学習課題】 授業範囲の予習と復習
第12回 【授業テーマ】 Unit　6　American's Real Immigration Crisis
【内容・方法　等】 Review
読解・問題（pp.27～29）
Quiz
【事前・事後学習課題】 授業範囲の予習と復習
第13回 【授業テーマ】 Unit　7　France's Fleeing Billionaire
【内容・方法　等】 読解・問題（pp.30～31）
Quiz
【事前・事後学習課題】 授業範囲の予習と復習
第14回 【授業テーマ】 Unit　7　France's Fleeing Billionaire
【内容・方法　等】 Review
読解・問題（pp.31～33）
Quiz
【事前・事後学習課題】 授業範囲の予習と復習
第15回 【授業テーマ】 General Review
【内容・方法　等】 Unit　1～Unit　7までの総まとめ
【事前・事後学習課題】 授業ノート・テキストをしっかり復習しておくこと。

評価方法（基準）
授業態度（30%）＋ 授業時の課題（30%）＋小テスト（40%）

教材等
教科書…「Business Week: Eye on Japan and the World」 『ビジネスウィーク』で読み解く国際社会
村上　直久　著　南雲堂　（1,890円）
参考書…必要に応じて授業中に指示する。

学生へのメッセージ
日々の日本および世界のニュースに興味を持って意識的に新聞を読んだり、テレビを視たりしましょう。
予習・復習をしっかり行いましょう。

関連科目
他の全英語科目

担当者の研究室等
7号館2階(非常勤講師室)

時事英語II
Journal English II

里　井　真理子（サトイ　マリコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
この授業では、実際に「使える」英語運用能力を身につけるこ

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　225　2014/08/21　14:45:34

とを目標とします。アメリカ、ヨーロッパ、日本を含むアジアについての幅広いトピックを通して、語彙力や内容理解、ディクテーションなどの英語力を養成することを目指すとともに国際・社会問題についても考えていきます。

授業方法と留意点

各ユニットを１～2回の授業で進めていく予定です。
必ずテキストの予習をし、辞書を持って授業に臨みましょう。

科目学習の効果（資格）

語彙力、構文力に基づいた読解力・聴解力・表現力・運用能力の向上

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 Unit 8 Don't Bring Back the Drachma
【内容・方法 等】 読解・問題（pp.34～35）
Quiz
【事前・事後学習課題】 授業範囲の予習と復習

第２回 【授業テーマ】 Unit 8 Don't Bring Back the Drachma
【内容・方法 等】 Review
読解・問題（pp.35～37）
Quiz
【事前・事後学習課題】 授業範囲の予習と復習

第３回 【授業テーマ】 Unit 9 One Europe, Many Tribes（１）
【内容・方法 等】 読解・問題（pp.38～39）
Quiz
【事前・事後学習課題】 授業範囲の予習と復習

第４回 【授業テーマ】 Unit 9 One Europe, Many Tribes（１）
【内容・方法 等】 Review
読解・問題（pp.39～41）
Quiz
【事前・事後学習課題】 授業範囲の予習と復習

第５回 【授業テーマ】 Unit 10 One Europe, Many Tribes（２）
【内容・方法 等】 読解・問題（pp.42～43）
Quiz
【事前・事後学習課題】 授業範囲の予習と復習

第６回 【授業テーマ】 Unit 10 One Europe, Many Tribes（２）
【内容・方法 等】 Review
読解・問題（pp.43～46）
Quiz
【事前・事後学習課題】 授業範囲の予習と復習

第７回 【授業テーマ】 Unit 11 In Japan, Retirees Go On Working
【内容・方法 等】 読解・問題（pp.47～48）
Quiz
【事前・事後学習課題】 授業範囲の予習と復習

第８回 【授業テーマ】 Unit 11 In Japan, Retirees Go On Working
【内容・方法 等】 Review
読解・問題（pp.48～51）
Quiz
【事前・事後学習課題】 授業範囲の予習と復習

第９回 【授業テーマ】 Unit 12 Japan, China and A Pile of Rocks（Part 1）
【内容・方法 等】 読解・問題（pp.52～53）
Quiz
【事前・事後学習課題】 授業範囲の予習と復習

第10回 【授業テーマ】 Unit 12 Japan, China and A Pile of Rocks（Part 1）
【内容・方法 等】 Review
読解・問題（pp.53～55）
Quiz
【事前・事後学習課題】 授業範囲の予習と復習

第11回 【授業テーマ】 Unit 13 Japan, China and A Pile of Rocks（Part 2）
【内容・方法 等】 読解・問題（pp.56～57）
Quiz
【事前・事後学習課題】 授業範囲の予習と復習

第12回 【授業テーマ】 Unit 13 Japan, China and A Pile of Rocks（Part 2）
【内容・方法 等】 Review
読解・問題（pp.57～59）
Quiz
【事前・事後学習課題】 授業範囲の予習と復習

第13回 【授業テーマ】 Unit 14 China Struggles to Publish Accurate Data
【内容・方法 等】 読解・問題（pp.60～61）
Quiz
【事前・事後学習課題】 授業範囲の予習と復習

第14回 【授業テーマ】 Unit 14 China Struggles to Publish Accurate Data
【内容・方法 等】 Review
読解・問題（pp.61～64）
Quiz
【事前・事後学習課題】 授業範囲の予習と復習

第15回 【授業テーマ】 General Review
【内容・方法 等】 総まとめ
【事前・事後学習課題】 授業ノート・テキストをしっかり復習しておくこと。

評価方法（基準）

授業態度（30%）＋ 授業時の課題（30%）＋小テスト（40%）

教材等

教科書…「Business Week: Eye on Japan and the World」『ビジネスウィーク』で読み解く国際社会
村上 直久 著 南雲堂 （1,890円）

参考書…必要に応じて授業中に指示する。

学生へのメッセージ

日々の日本および世界のニュースに興味を持って意識的に新聞を読んだり、テレビを視たりしましょう。
予習・復習をしっかり行いましょう。

関連科目

他の全英語科目

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

英会話I
English Conversation I

本 多 善（ホンダ タクミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	ＡＢ	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

英語のコミュニケーション能力は、リスニング能力はもちろんのこと、繰り返しの会話の失敗を通して向上します。そのため、失敗を恐れず、新しい文法、アプリケーション、発音やイントネーションを積極的に使用して授業を進めていきます。特に相手に英語で伝えるためには、目線、ハンドジェスチャー等も重要であることから、発声や表現力の向上を目指します。

授業方法と留意点

授業ではテキストを使いながら、さまざまな異文化間コミュニケーションを実践していきます。たとえば、ジェスチャーの違い、あるいはイントネーションなどなどコミュニケーション能力向上に向けたよりアクティブで効果的なテクニックを学びます。
授業には必ず出席してください。授業中は失敗してもいいので積極的に発言してください。

科目学習の効果（資格）

英語で簡単なプレゼンテーションができるレベルを目指します。もちろん、原稿をみながらでもＯＫです。また面接やコミュニケーション（自己紹介＆専門的対話）を英語でできる程度の能力を身に着けます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 Unit1. The Japanese Bow
【内容・方法 等】 単語・文法の習得、英語による発声・テキスト内容のプレゼンテーションの練習
【事前・事後学習課題】 単語と文法の予習

第２回 【授業テーマ】 Unit 1. The Japanese Bow
【内容・方法 等】 単語・文法の習得、英語による発声・テキスト内容のプレゼンテーションの練習
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習

第３回 【授業テーマ】 Unit 2. Smiles
【内容・方法 等】 単語・文法の習得、英語による発声・テキスト内容のプレゼンテーションの練習
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習

第４回 【授業テーマ】 Unit 2. Smiles
【内容・方法 等】 単語・文法の習得、英語による発声・テキスト内容のプレゼンテーションの練習
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習

第５回 【授業テーマ】 Unit 3. Eye Contacts
【内容・方法 等】 単語・文法の習得、英語による発声・テキスト内容のプレゼンテーションの練習
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習

第６回 【授業テーマ】 Unit 3. Eye Contacts
【内容・方法 等】 単語・文法の習得、英語による発声・テキスト内容のプレゼンテーションの練習
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習

第７回 【授業テーマ】 Unit 4. Touching Behavio
【内容・方法 等】 単語・文法の習得、英語による発声・テキスト内容のプレゼンテーションの練習
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習。
次週に行う対人コミュニケーションの練習。

第８回 【授業テーマ】 Unit.1 ～4 までの復習
スピーキングテスト
【内容・方法 等】 プレゼンテーション（前半は自己紹介、後半はコミュニケーション・ギャップに関する自分の考えをプレゼン各３分）
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習

第９回 【授業テーマ】 Unit 5. Hand Gestures
【内容・方法 等】 単語・文法の習得、英語による発声・テキスト内容のプレゼンテーションの練習

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd 226 2014/08/21 14:45:34

【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
第10回 【授業テーマ】 Unit 5. Hand Gestures
【内容・方法　等】 単語・文法の習得、英語による発声・テキスト内容のプレゼンテーションの練習
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
第11回 【授業テーマ】 Unit 6. Body Movements
【内容・方法　等】 単語・文法の習得、英語による発声・テキスト内容のプレゼンテーションの練習
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
第12回 【授業テーマ】 Unit 6. Body Movements
【内容・方法　等】 単語・文法の習得、英語による発声・テキスト内容のプレゼンテーションの練習
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
第13回 【授業テーマ】 Unit 7. Space
【内容・方法　等】 単語・文法の習得、英語による発声・テキスト内容のプレゼンテーションの練習
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
第14回 【授業テーマ】 Unit 8. Space
【内容・方法　等】 単語・文法の習得、英語による発声・テキスト内容のプレゼンテーションの練習
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
第15回 【授業テーマ】 スピーキングテスト
【内容・方法　等】 プレゼンテーション（前半は自己紹介、後半は異文化コミュニケーションに関する自分の考えをプレゼン各３分）
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習、プレゼンの準備

評価方法（基準）
評価方法
「授業前準備２０%、授業態度（定期的小テストを含む）４０%、コミュニケーション・プレゼンテーションのテスト４０%」とします。

教材等
教科書…What Do You Mean? Exploring Communication Gaps
「コミュニケーション・ギャップと異文化理解」矢代京子/Cecilia Ikeguchi/ Robin Sakamoto (金星堂)
￥1995（税込）
参考書…辞書を持参のこと（発音機能付きの電子辞書が望ましい）

学生へのメッセージ
このクラスでは失敗することを恐れず、様々なコミュニケーションスキルを身に着けることを目標とします。今後くるかもしれない英語でのプレゼンに遭遇したとき、きっと役に立つクラスとなるはずです。毎回出席をとります。休まないように。

関連科目
特になし

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

英会話Ⅰ
English Conversation Ⅰ

ロナルド　K．メイソン

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	ＣＤ	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
This course is designed to develop skills in conversational English. In class, students will use English to describe and explain experiences and express their opinions about familiar topics and everyday situations particularly in the context of traveling abroad.

授業方法と留意点
Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course. All class activities will be conducted in English.

科目学習の効果（資格）
―

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 Introduction
【内容・方法　等】 Orientation and self introduction
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson before they come to class.
第２回 【授業テーマ】 Unit 1
【内容・方法　等】 Hobbies and interests
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson before they come to class.
第３回 【授業テーマ】 Unit 1
【内容・方法　等】 Unit review and workbook
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson before they come to class.
第４回 【授業テーマ】 Unit 2
【内容・方法　等】 Appearance adjectives
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson before they come to class.
第５回 【授業テーマ】 Unit 2
【内容・方法　等】 Unit review and workbook
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson before they come to class.
第６回 【授業テーマ】 Unit 3
【内容・方法　等】 Daily activities and routines.
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson before they come to class.
第７回 【授業テーマ】 Unit 3
【内容・方法　等】 Unit review and workbook
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson before they come to class.
第８回 【授業テーマ】 Unit 4
【内容・方法　等】 Household furnishings and locations.
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson before they come to class.
第９回 【授業テーマ】 Unit 4
【内容・方法　等】 Unit review and workbook
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson before they come to class.
第10回 【授業テーマ】 Unit 5
【内容・方法　等】 Giving directions, stores & services.
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson before they come to class.
第11回 【授業テーマ】 Unit 5
【内容・方法　等】 Unit review and workbook
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson before they come to class.
第12回 【授業テーマ】 Unit 6
【内容・方法　等】 Important life events, past activities
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson before they come to class.
第13回 【授業テーマ】 Unit 6
【内容・方法　等】 Unit review and workbook
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson before they come to class.
第14回 【授業テーマ】 Text review
【内容・方法　等】 text review
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson before they come to class.
第15回 【授業テーマ】 Evaluation
【内容・方法　等】 Test and course evaluation
【事前・事後学習課題】 ――――

評価方法（基準）
Evaluation will be based on quizzes, homework assignments and class participation

教材等
教科書…"English Firsthand 1,"
"English Firsthand 1 Workbook"
Pearson Longman
By M. Helgesen, S. Brown & J. Wiltshie
参考書…―

学生へのメッセージ
Students who engage wholeheartedly in class activities, who read up on lessons and do their homework, will achieve most from this course. Pair and group work will form the core of each lesson.

関連科目
―

担当者の研究室等
７号館５階
メイソン研究室

英会話Ⅰ
English Conversation Ⅰ

スティーブ　トマシェフスキー

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	ＥＧＨＩＪ	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
The course will introduce new grammar, applications, intonation and pronunciation to perform necessary communicative functions in basic English. This will be achieved through use of materials and activities that focus on the successful completion of communicative functions. Students will be expected to exchange information with single partners, and perform reading and research activities designed to reinforce information dealt with in the class.

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd 227 2014/08/21 14:45:34

授業方法と留意点

Students receive weekly prints or worksheets.They hear and write questions,then correct them before asking and answer questions with other students.

科目学習の効果（資格）

To build up Speaking and listening in English

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** Describing routines / schedules
【内容・方法　等】 Questions / What / Do
【事前・事後学習課題】 Students should study the content of the day's lesson before they come to class.

第２回 **【授業テーマ】** Telling time　Review and Quiz
【内容・方法　等】 Questions / What / Do All material to date
【事前・事後学習課題】 Students should study the content of the day's lesson before they come to class.

第３回 **【授業テーマ】** Ordering food / drink
【内容・方法　等】 would like and will have
【事前・事後学習課題】 Students should study the content of the day's lesson before they come to class.

第４回 **【授業テーマ】** Asking additional information　Review and Quiz
【内容・方法　等】 would like and will have All material to date
【事前・事後学習課題】 Students should study the content of the day's lesson before they come to class.

第５回 **【授業テーマ】** Invitations
【内容・方法　等】 I'm ___-ing / I have to
【事前・事後学習課題】 Students should study the content of the day's lesson before they come to class.

第６回 **【授業テーマ】** Declining Invitations
【内容・方法　等】 I'm ___-ing / I have to
【事前・事後学習課題】 Students should study the content of the day's lesson before they come to class.

第７回 **【授業テーマ】** Talking about the weathe
【内容・方法　等】 Let's and going to
【事前・事後学習課題】 Students should study the content of the day's lesson before they come to class.

第８回 **【授業テーマ】** Making suggestions Review and Quiz
【内容・方法　等】 Let's and going to　All material to date
【事前・事後学習課題】 Students should study the content of the day's lesson before they come to class.

第９回 **【授業テーマ】** Talking about what others like
【内容・方法　等】 Let's / How about...? / like
【事前・事後学習課題】 Students should study the content of the day's lesson before they come to class.

第10回 **【授業テーマ】** Talking about gift giving　Review and Quiz
【内容・方法　等】 Let's / How about...? / like　All material to date
【事前・事後学習課題】 Students should study the content of the day's lesson before they come to class.

第11回 **【授業テーマ】** Making suggestions
【内容・方法　等】 We should/ shouldn't - We can / can't
【事前・事後学習課題】 Students should study the content of the day's lesson before they come to class.

第12回 **【授業テーマ】** Describing People & Jobs
【内容・方法　等】 What's ..... like?
【事前・事後学習課題】 Students should study the content of the day's lesson before they come to class.

第13回 **【授業テーマ】** Using degrees of description
【内容・方法　等】 Describing people / others
【事前・事後学習課題】 Students should study the content of the day's lesson before they come to class.

第14回 **【授業テーマ】** Talking about what you did
【内容・方法　等】 Sequencing words / time expressions
【事前・事後学習課題】 Students should study the content of the day's lesson before they come to class.

第15回 **【授業テーマ】** Review and Quiz
【内容・方法　等】 All material to date
【事前・事後学習課題】 Students should study the content of the day's lesson before they come to class.

評価方法（基準）

Grades will be based on student preparation, in-class performance and short speaking and reading quizzes given periodically during the course.

教材等

教科書…第1回目の授業で説明します。
参考書…－

学生へのメッセージ

It is my hope that all of the students in this class will seriously work to improve their communication skills in English

関連科目

－

担当者の研究室等

７号館２階（非常勤講師室）

英会話II
English Conversation II

本　多　　善（ホンダ　タクミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	ＡＢ	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

英語のコミュニケーション能力は、リスニング能力はもちろんのこと、繰り返しの会話の失敗を通して向上します。そのため、失敗を恐れず、新しい文法、アプリケーション、発音やイントネーションを積極的に使用して授業を進めていきます。特に相手に英語で伝えるためには、目線、ハンドジェスチャー等も重要であることから、発声や表現力の向上を目指します。

授業方法と留意点

授業ではテキストを使いながら、さまざまな異文化間コミュニケーションを実践していきます。たとえば、ジェスチャーの違い、あるいはイントネーションなどなどコミュニケーション能力向上に向けたよりアクティブで効果的なテクニックを学びます。
授業には必ず出席してください。授業中は失敗してもいいので積極的に発言してください。

科目学習の効果（資格）

英語で簡単なプレゼンテーションができるレベルを目指します。もちろん、原稿をみながらでもＯＫです。また面接やコミュニケーション（自己紹介＆専門的対話）を英語でできる程度の能力を身に着けます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** Unit9.　Intonation
【内容・方法　等】 単語・文法の習得、英語による発声・テキスト内容のプレゼンテーションの練習
【事前・事後学習課題】 単語と文法の予習

第２回 **【授業テーマ】** Unit 9. Intonation
【内容・方法　等】 単語・文法の習得、英語による発声・テキスト内容のプレゼンテーションの練習
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習

第３回 **【授業テーマ】** Unit 10. Succinct or Elaborate
【内容・方法　等】 単語・文法の習得、英語による発声・テキスト内容のプレゼンテーションの練習
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習

第４回 **【授業テーマ】** Unit 10. Succinct or Elaborate
【内容・方法　等】 単語・文法の習得、英語による発声・テキスト内容のプレゼンテーションの練習
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習

第５回 **【授業テーマ】** Unit 11. Personal or Contextual
【内容・方法　等】 単語・文法の習得、英語による発声・テキスト内容のプレゼンテーションの練習
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習

第６回 **【授業テーマ】** Unit 11. Personal or Contextual
【内容・方法　等】 単語・文法の習得、英語による発声・テキスト内容のプレゼンテーションの練習
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習

第７回 **【授業テーマ】** Unit 12. Goal or Process Oriented
【内容・方法　等】 単語・文法の習得、英語による発声・テキスト内容のプレゼンテーションの練習
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習。
次週に行う対人コミュニケーションの練習。

第８回 **【授業テーマ】** Unit.9 ～12　までの復習
スピーキングテスト
【内容・方法　等】 プレゼンテーション（前半は自己紹介、後半はコミュニケーション・ギャップに関する原稿を選択しプレゼンテーションを行う　各３分）
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習

第９回 **【授業テーマ】** Unit 12. Goal or Process Oriented
【内容・方法　等】 単語・文法の習得、英語による発声・テキスト内容のプレゼンテーションの練習
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習

第10回 **【授業テーマ】** Unit 13. Sarcasm
【内容・方法　等】 単語・文法の習得、英語による発声・テキスト内容のプレゼンテーションの練習
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習

第11回 **【授業テーマ】** Unit 13. Sarcasm
【内容・方法　等】 単語・文法の習得、英語による発声・テキスト内容のプレゼンテーションの練習
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習

第12回 **【授業テーマ】** Unit 14. Politically Correct
【内容・方法　等】 単語・文法の習得、英語による発声・テキスト内容のプレゼンテーションの練習
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　228　　2014/08/21　14:45:34

第13回 【授業テーマ】 Unit 14. Politically Correct
【内容・方法　等】 単語・文法の習得、英語による発声・テキスト内容のプレゼンテーションの練習
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
第14回 【授業テーマ】 Unit 15. Social Networking Service
【内容・方法　等】 単語・文法の習得、英語による発声・テキスト内容のプレゼンテーションの練習
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
第15回 【授業テーマ】 スピーキングテスト
【内容・方法　等】 プレゼンテーション（前半は自己紹介、後半は異文化コミュニケーションに関する自分の考えをプレゼン各３分）
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習、プレゼンの準備

評価方法（基準）
評価方法
「授業前準備２０％、授業態度（定期的小テストを含む）４０％、コミュニケーション・プレゼンテーションのテスト４０％」とします。

教材等
教科書…What Do You Mean? Exploring Communication Gaps 「コミュニケーション・ギャップと異文化理解」矢代京子/Cecilia Ikeguchi/ Robin Sakamoto (金星堂)
￥1995（税込）
参考書…辞書を持参のこと（発音機能付きの電子辞書が望ましい）

学生へのメッセージ
このクラスでは失敗することを恐れず、様々なコミュニケーションスキルを身に着けることを目標とします。今後くるかもしれない英語でのプレゼンに遭遇したとき、きっと役に立つクラスとなるはずです。毎回出席をとります。休まないように。

関連科目
特になし

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

英会話II
English Conversation II

ロナルド　K．メイソン

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	ＣＤ	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
This course is designed to develop skills in conversational English. In class, students will use English to describe and explain experiences and express their opinions about familiar topics and everyday situations particularly in the context of traveling abroad.

授業方法と留意点
Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course. All class activities will be conducted in English.

科目学習の効果（資格）
―

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 Test review/Unit 7
【内容・方法　等】 Occupations
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson before they come to class.
第２回 【授業テーマ】 Unit 7
【内容・方法　等】 Unit review and workbook
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson before they come to class.
第３回 【授業テーマ】 Unit 8
【内容・方法　等】 Entertainment
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson before they come to class.
第４回 【授業テーマ】 Unit 8
【内容・方法　等】 Unit review and workbook
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson before they come to class.
第５回 【授業テーマ】 Unit 9
【内容・方法　等】 Future plans and activities
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson before they come to class.
第６回 【授業テーマ】 Unit 9
【内容・方法　等】 Unit review and workbook
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson before they come to class.
第７回 【授業テーマ】 Unit 10
【内容・方法　等】 Clothing and personal items.
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson before they come to class.
第８回 【授業テーマ】 Unit 10
【内容・方法　等】 Unit review and workbook
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson before they come to class.
第９回 【授業テーマ】 Unit 11
【内容・方法　等】 Food words and cooking verbs
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson before they come to class.
第10回 【授業テーマ】 Unit 11
【内容・方法　等】 Unit review and workbook
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson before they come to class.
第11回 【授業テーマ】 Unit 12
【内容・方法　等】 Opinions and music.
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson before they come to class.
第12回 【授業テーマ】 Unit 12
【内容・方法　等】 Unit review and workbook
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson before they come to class.
第13回 【授業テーマ】 Unit 13
【内容・方法　等】 Vocabulary review and fluency tasks.
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson before they come to class.
第14回 【授業テーマ】 Text review
【内容・方法　等】 text review
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson before they come to class.
第15回 【授業テーマ】 Evaluation
【内容・方法　等】 Test and course evaluation
【事前・事後学習課題】 ――――

評価方法（基準）
Evaluation will be based on quizzes, homework assignments and class participation

教材等
教科書…"English Firsthand 1," "English Firsthand 1, Workbook," Pearson Longman
参考書…―

学生へのメッセージ
Students who engage wholeheartedly in class activities, who read up on lessons and do their homework, will achieve most from this course. Pair and group work will form the core of each lesson.

関連科目
―

担当者の研究室等
７号館５階
メイソン研究室

備考
–

英会話II
English Conversation II

スティーブ　トマシェフスキー

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	ＥＧＨＩＪ	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
The course will introduce new grammar, applications, intonation and pronunciation to perform necessary communicative functions in basic English. This will be achieved through use of materials and activities that focus on the successful completion of communicative functions. Students will be expected to exchange information with single partners, and perform reading and research activities designed to reinforce information dealt with in the class.

授業方法と留意点
Students receive weekly prints or worksheets.They hear and write questions,then correct them before asking and answer questions with other students.

科目学習の効果（資格）
To build up Speaking and listening in English

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 Vacation Activities
【内容・方法　等】 Discuss Impressions / Reasons
【事前・事後学習課題】 None
第２回 【授業テーマ】 Discussing Past Activity
【内容・方法　等】 Simple Past Wh Questions / Answers
【事前・事後学習課題】 Review All Previous Data

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd 229 2014/08/21 14:45:35

第３回　【授業テーマ】 The Natural World
【内容・方法　等】 Comparative Adjectives
【事前・事後学習課題】 Review All Previous Data
第４回　【授業テーマ】 Describe / Discuss Animals
【内容・方法　等】 Superlative Adjectives
【事前・事後学習課題】 Review All Previous Data
第５回　【授業テーマ】 Ability Verbs
【内容・方法　等】 Quality of Ability
【事前・事後学習課題】 Review All Previous Data
第６回　【授業テーマ】 Abilities Past & Present
【内容・方法　等】 Use of "Can"
【事前・事後学習課題】 Review All Previous Data
第７回　【授業テーマ】 Review of Skills to Date
【内容・方法　等】 Demonstrate Competence in Practiced Skills
【事前・事後学習課題】 Review All Previous Data
第８回　【授業テーマ】 Activity Preferences
【内容・方法　等】 Likes / Dislikes
【事前・事後学習課題】 None
第９回　【授業テーマ】 Invitations/ Give / Accept
【内容・方法　等】 Gerund Forms V + ing
【事前・事後学習課題】 Review All Previous Data
第10回　【授業テーマ】 Rules / Modal Verbs
【内容・方法　等】 Describing Rules of Institutions
【事前・事後学習課題】 Review All Previous Data
第11回　【授業テーマ】 Positive / Negative Verbs
【内容・方法　等】 "Need To" "Should" & "Shouldn't"
【事前・事後学習課題】 Review All Previous Data
第12回　【授業テーマ】 Rules of Student Clubs
【内容・方法　等】 Discuss Rules of Student Preferred Activities
【事前・事後学習課題】 Review All Previous Data
第13回　【授業テーマ】 Stories
【内容・方法　等】 Story Structure Observation / Analysis / Production
【事前・事後学習課題】 Review All Previous Data
第14回　【授業テーマ】 Giving Opinions
【内容・方法　等】 Sequence Markers; First, Then, After That, etc.
【事前・事後学習課題】 Review All Previous Data
第15回　【授業テーマ】 Review of Skills to Date
【内容・方法　等】 Demonstrate Competence in Practiced Skills
【事前・事後学習課題】 Review All Previous Data

評価方法（基準）
Grades will be based on student preparation, in-class performance and short speaking and reading quizzes given periodically during the course.

教材等
教科書…English Firsthand Success Student Text - ＩＳＢＮ9789880030581
English Firsthand Success Student Work Book - ＩＳＢＮ9789880030703
Published by Pearson Longman
参考書…－

学生へのメッセージ
It is my hope that all of the students in this class will seriously work to improve their communication skills in English.

関連科目
－

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

海外語学研修
Overseas Language Training

齋　藤　安以子（サイトウ　アイコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標
この研修は、語学力（英語力）の向上と研修地の歴史・文化およびそこで生活する人々に触れ、国際的な知識と理解を深め、広範囲な国の人々と協力し合える国際感覚を身につけることを目的とする。 研修先での授業は、月曜日から金曜日に実施し、語学力別に分けたクラス内で行われる。宿泊はホームステイ形式である。費用は40万円前後を予定（為替レートにより変動の可能性あり）。
＊詳細は、３月～４月の募集ガイダンスで周知する。

授業方法と留意点
・研修前に３回の事前ガイダンスを行う（６月～８月）
・研修先では、語学学習を中心とした授業を受講する。授業を担当する先生やホームステイ先の家族を含め、授業内外を問わず現地の人と交流する積極的な行動が求められる。２週間、３週間という短い滞在期間を有意義に過ごすためにも、研修計画を前もって立て、事前学習を怠らないことが大切である。
・研修後に他の参加者と共に成果報告会で研修成果をプレゼンテーションする。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
３月上旬～４月下旬
募集ガイダンス（日時等の詳細はポータルおよび掲示で連絡する）、事前学習としては事前のガイダンス出席が義務づけられている。また、事後には成果報告およびレポート提出を要請されている。
５月
申込書の提出
５月下旬
派遣学生の決定および履修申請
６月～８月
事前ガイダンスを実施（全３回）
８月上旬
結団式
研修スケジュール＞
[２週間コース]
８月中旬～８月下旬（予定）
[３週間コース]
８月中旬～９月上旬（予定）
９月
成果報告書の提出
９月中旬
成果報告会

評価方法・評価基準
帰国後に提出する成果報告書（２０％）および研修先での成績（８０％）を基に評価する。

教材等
教科書…事前ガイダンスでは、その都度プリントを配布。研修先では受入大学が指定するもの。
参考書…・研修先の国、地域の観光局等のホームページ
・そのほか、ガイダンスや事前研修授業で紹介されるもの

備考
・参加学生は事前ガイダンスに必ず出席すること。欠席の場合は、事前に国際交流センターへ連絡をしてください。
・事前に参加申込みをし、参加許可を得た者に限り履修申請をすることができる。通常の履修申請とは方法が異なるので注意。
・各学部の期末試験等のスケジュールを確認の上、履修を検討すること。学部・学年によっては、今年度は受講できない場合もあります。

中国語Ⅰ
Chinese Ⅰ

馮　艶（ヒョウ　エン）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	J	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
正確な発音と中国語文法の基礎を学習し、読む・聴く・話す・書くの四つの力を総合的にバランスよく習得する。1年間の学習を通じて初級中国語がマスターできる。2年以後は外国語学部「中国語Ⅲ」「中国語Ⅳ」に継続可能。

授業方法と留意点
この講義は中国語Ⅱaの講義と連携し、同一教科書を使用して週２コマをリレー式に進められる。（１コマだけの履修も可。）

科目学習の効果（資格）
中国語検定試験準4級受験可能。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】 四声，単母音，子音(1)，複母音(1)
【内容・方法　等】 発音編1
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
第２回　【授業テーマ】 複母音(3)，鼻母音(4)，子音(3)
【内容・方法　等】 発音編3
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
第３回　【授業テーマ】 形容詞述語文，副詞1，変調
【内容・方法　等】 第1課1
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
第４回　【授業テーマ】 自己紹介，疑問詞疑問文
【内容・方法　等】 第1課3
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答してくる。解答後の練

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd 230 2014/08/21 14:45:35

習問題を復習する。
第５回　【授業テーマ】 是構文，副詞2，構造助詞1
【内容・方法　等】 第2課1
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
第６回　【授業テーマ】 副詞語順，全否定，部分否定，疑問視疑問文
【内容・方法　等】 第2課3
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
第７回　【授業テーマ】 動目構造，動詞重畳
【内容・方法　等】 第3課1
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
第８回　【授業テーマ】 二重目的語，副詞4
【内容・方法　等】 第3課3
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
第９回　【授業テーマ】 第1課～第3課まとめ
【内容・方法　等】 第1回単元テスト
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
第10回　【授業テーマ】 数詞2，副詞5
【内容・方法　等】 第4課2
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
第11回　【授業テーマ】 会話4
【内容・方法　等】 第4課4
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
第12回　【授業テーマ】 時間詞，名詞述語文
【内容・方法　等】 第5課2
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
第13回　【授業テーマ】 会話5
【内容・方法　等】 第5課4
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
第14回　【授業テーマ】 動詞「在」，副詞6
【内容・方法　等】 第6課2
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
第15回　【授業テーマ】 会話6
【内容・方法　等】 第6課4
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

評価方法（基準）
授業参加と単元テストによる。

教材等
教科書…本学中国語教室編『摂南大学中国語Ia』￥2,500
参考書…特になし。

学生へのメッセージ
上記のような日程で講義が進むので、欠席すると次回の受講に困難をきたす。欠席はしないように。また休講があれば、その都度進度は順次繰り延べられるので注意すること。

関連科目
「中国語Ⅱa」

担当者の研究室等
7号館２階（非常勤講師室)

中国語II
Chinese II

馮　艶（ヒョウ　エン）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	J	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
正確な発音と中国語文法の基礎を学習し、読む・聴く・話す・書くの四つの力を総合的にバランスよく習得する。1年間の学習を通じて初級中国語がマスターできる。2年以後は外国語学部「中国語Ⅲ」「中国語Ⅳに継続可能。

授業方法と留意点
この講義は中国語Ⅱbの講義と連携し、同一教科書を使用して週２コマをリレー式に進められる（１コマだけの履修も可。）

科目学習の効果（資格）
中国語検定試験4級受験可能。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】 介詞3，量詞3
【内容・方法　等】 第7課1
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
第２回　【授業テーマ】 選択疑問文，副詞7
【内容・方法　等】 第7課3
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
第３回　【授業テーマ】 第7課復習
【内容・方法　等】 第7課1～4
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
第４回　【授業テーマ】 了1，了2
【内容・方法　等】 第8課2
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
第５回　【授業テーマ】 会話8
【内容・方法　等】 第8課4
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
第６回　【授業テーマ】 状態補語，介詞5
【内容・方法　等】 第9課1
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
第７回　【授業テーマ】 副詞9，把字句
【内容・方法　等】 第9課3
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
第８回　【授業テーマ】 第7課～第9課まとめ
【内容・方法　等】 第3回単元テスト
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
第９回　【授業テーマ】 動量詞2，副詞11
【内容・方法　等】 第10課2
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
第10回　【授業テーマ】 会話10
【内容・方法　等】 第10課4
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
第11回　【授業テーマ】 能願動詞2，動量詞3
【内容・方法　等】 第11課1
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
第12回　【授業テーマ】 比較文，能願動詞4
【内容・方法　等】 第11課3
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
第13回　【授業テーマ】 第11課復習
【内容・方法　等】 第11課1～4
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
第14回　【授業テーマ】 進行文，接続詞1
【内容・方法　等】 第12課2
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
第15回　【授業テーマ】 会話12
【内容・方法　等】 第12課4
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

評価方法（基準）
授業参加と単元テストによる。

教材等
教科書…本学中国語教室編『摂南大学中国語Ia』￥2,500
参考書…特になし。

学生へのメッセージ
上記のような日程で講義が進むので、欠席すると次回の受講に困難をきたす。欠席はしないように。また休講があれば、その都度進度は順次繰り延べられるので注意すること。

関連科目
「中国語Ⅱb」

担当者の研究室等
7号館２階（非常勤講師室)

中国語III
Chinese III

兪　鳴　蒙（ユ　メイモウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	J	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
正確な発音と中国語文法の基礎を学習し，読む・聴く・話す・書くの四つの力を総合的にバランスよく習得する。1年間の学習を通じて初級中国語がマスターできる。2年以後は外国語学部「中

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　231　2014/08/21　14:45:35

国語中級」に継続可能。

授業方法と留意点

この講義は中国語Ⅰaの講義と連携し，同一教科書を使用して週２コマをリレー式に進められる。（１コマだけの履修も可。）

科目学習の効果（資格）

中国語検定試験準4級受験可能。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** 複母音(2)，鼻母音(1)
【内容・方法　等】 発音編2
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答する。

第２回 **【授業テーマ】** 子音(4)，子音(5)
【内容・方法　等】 発音編4
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答する。

第３回 **【授業テーマ】** 文末助詞，主述述語文
【内容・方法　等】 第1課2
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答する。

第４回 **【授業テーマ】** 会話1
【内容・方法　等】 第1課4
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答する。

第５回 **【授業テーマ】** 指示代名詞，反復疑問文，構造助詞2
【内容・方法　等】 第2課2
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答する。

第６回 **【授業テーマ】** 会話2
【内容・方法　等】 第2課4
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答する。

第７回 **【授業テーマ】** 文末助詞2，副詞3
【内容・方法　等】 第3課2
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答する。

第８回 **【授業テーマ】** 会話3
【内容・方法　等】 第3課4
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答する。

第９回 **【授業テーマ】** 数詞，量詞1
【内容・方法　等】 第4課1
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答する。

第10回 **【授業テーマ】** 所有，存在，疑問代名詞2
【内容・方法　等】 第4課3
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答する。

第11回 **【授業テーマ】** 数詞3，曜日
【内容・方法　等】 第5課1
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答する。

第12回 **【授業テーマ】** 疑問代名詞3，介詞1
【内容・方法　等】 第5課3
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答する。

第13回 **【授業テーマ】** 方位詞，不定代名詞，量詞2
【内容・方法　等】 第6課1
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答する。

第14回 **【授業テーマ】** 指示代名詞2
【内容・方法　等】 第6課3
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答する。

第15回 **【授業テーマ】** 第4課～第6課まとめ
【内容・方法　等】 第2回単元テスト
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答する。

評価方法（基準）

授業参加と単元テストによる。

教材等

教科書…本学中国語教室編『摂南大学中国語Ia』￥2,500
参考書…特になし。

学生へのメッセージ

上記のような日程で講義が進むので，欠席すると次回の受講に困難をきたす。欠席はしないように。また休講があれば，その都度進度は順次繰り延べられるので注意すること。

関連科目

中国語Ⅳa

担当者の研究室等

７号館２階（非常勤講師室)

中国語Ⅳ
Chinese Ⅳ

俞　　鳴　蒙（ユ　メイモウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

正確な発音と中国語文法の基礎を学習し，読む・聴く・話す・書くの四つの力を総合的にバランスよく習得する。1年間の学習を通じて初級中国語がマスターできる。2年以後は外国語学部「中国語中級」に継続可能。

授業方法と留意点

この講義は中国語Ⅰbの講義と連携し，同一教科書を使用して週２コマをリレー式に進められる（１コマだけの履修も可。）

科目学習の効果（資格）

中国語検定試験4級受験可能。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** 連動文
【内容・方法　等】 第7課2
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答する。

第２回 **【授業テーマ】** 会話7
【内容・方法　等】 第7課4
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答する。

第３回 **【授業テーマ】** 介詞4，動量詞
【内容・方法　等】 第8課1
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答する。

第４回 **【授業テーマ】** 了1了2，副詞8
【内容・方法　等】 第8課3
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答する。

第５回 **【授業テーマ】** 第8課復習
【内容・方法　等】 第8課1～4
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答する。

第６回 **【授業テーマ】** 結果補語，介詞6
【内容・方法　等】 第9課2
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答する。

第７回 **【授業テーマ】** 会話9
【内容・方法　等】 第9課4
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答する。

第８回 **【授業テーマ】** 動態助詞「過」副詞10
【内容・方法　等】 第10課1
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答する。

第９回 **【授業テーマ】** 能願動詞1
【内容・方法　等】 第10課3
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答する。

第10回 **【授業テーマ】** 第10課復習
【内容・方法　等】 第10課1～4
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答する。

第11回 **【授業テーマ】** 疑問代名詞4，能願動詞3
【内容・方法　等】 第11課2
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答する。

第12回 **【授業テーマ】** 会話11
【内容・方法　等】 第11課4
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答する。

第13回 **【授業テーマ】** 方向補語
【内容・方法　等】 第12課1
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答する。

第14回 **【授業テーマ】** 疑問代名詞5，副詞12
【内容・方法　等】 第12課3
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答する。

第15回 **【授業テーマ】** 第10課～第12課まとめ
【内容・方法　等】 第4回単元テスト
【事前・事後学習課題】 練習問題を解答する。

評価方法（基準）

授業参加と単元テストによる。

教材等

教科書…本学中国語教室編『摂南大学中国語Ia』￥2,500
参考書…特になし。

学生へのメッセージ

上記のような日程で講義が進むので，欠席すると次回の受講に困難をきたす。欠席はしないように。また休講があれば，その都度進度は順次繰り延べられるので注意すること。

関連科目

中国語Ⅳ

担当者の研究室等

７号館２階（非常勤講師室)

日本事情ＦⅠ
Japanese Culture and Society FI

門　脇　　薫（カドワキ　カオル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

日本文化・社会について、日本映画を視聴して観察したり考察したりします。また、映画の台詞や使われている場面から日本語の文法や表現についても学びます。日本文化・社会について観察し、自国の文化・社会及び他の受講生の国の文化・社会と比較考察し、様々なテーマについて日本語で自分の考えが表現できることを目標とします。

授業方法と留意点

各映画について次のように進めます。（１）映画についての情報・その他背景知識について説明　（２）映画の場面をいくつか視聴：内容理解・練習問題・その他の各種タスク問題　（３）テーマについてディスカッション　（４）「書く」練習

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　232　　2014/08/21　14:45:35

科目学習の効果（資格）
自然な日本語の表現・文法事項の習得、異文化理解、異文化に対する見方・態度

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 **【授業テーマ】** ガイダンス・日本語レベルのチェック
【内容・方法　等】 授業の概要・進め方について・スピーチ
【事前・事後学習課題】 テキスト予習
第２回 **【授業テーマ】** 映画１：テーマ「教育」
【内容・方法　等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
第３回 **【授業テーマ】** 映画１：テーマ「教育」
【内容・方法　等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
第４回 **【授業テーマ】** 映画１：テーマ「教育」
【内容・方法　等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、テーマについてレポート
第５回 **【授業テーマ】** 映画２：テーマ「家族」
【内容・方法　等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、　発表準備
第６回 **【授業テーマ】** 映画２：テーマ「家族」
【内容・方法　等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、　発表準備
第７回 **【授業テーマ】** 映画２：テーマ「家族」
【内容・方法　等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 プリントの課題、発表準備
第８回 **【授業テーマ】** テーマ１・２に関する発表
【内容・方法　等】 発表、質疑応答、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テーマについてレポート
第９回 **【授業テーマ】** 映画３：テーマ「言葉」
【内容・方法　等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
第10回 **【授業テーマ】** 映画３：テーマ「言葉」
【内容・方法　等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
第11回 **【授業テーマ】** 映画３：テーマ「言葉」
【内容・方法　等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、テーマについてレポート
第12回 **【授業テーマ】** 映画４：「民族」
【内容・方法　等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、　発表準備
第13回 **【授業テーマ】** 映画４：「民族」
【内容・方法　等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、　発表準備
第14回 **【授業テーマ】** 映画４：「民族」
【内容・方法　等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 プリントの課題、発表準備
第15回 **【授業テーマ】** テーマ３・４に関する発表
【内容・方法　等】 発表、質疑応答、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テーマについてレポート

評価方法（基準）
各課題、授業への参加度、レポート等により総合的に評価します。

教材等
教科書…"『映画で日本文化を学ぶ人のために』世界思想社（2,415円）"
参考書…授業時に指示します。

学生へのメッセージ
映画を見ながら楽しく日本語・日本文化について学びましょう！

関連科目
日本語読解、日本語文法、日本語表現作文

担当者の研究室等
７号館４階(門脇研究室)

日本事情ＦＩＩ
Japanese Culture and Society FII

門　脇　　薫（カドワキ　カオル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
日本文化・社会について、日本映画を視聴して観察したり考察したりします。また、映画の台詞や使われている場面から日本語の文法や表現についても学びます。日本文化・社会について観察し、自国の文化・社会及び他の受講生の国の文化・社会と比較考察し、様々なテーマについて日本語で自分の考えが表現できることを目標とします。

授業方法と留意点
各映画について次のように進めます。（１）映画についての情報・その他背景知識について説明　（２）映画の場面をいくつか視聴：内容理解・練習問題・その他の各種タスク問題　（３）テーマについてディスカッション　（４）「書く」練習

科目学習の効果（資格）
自然な日本語の表現・文法事項の習得、異文化についての理解、異文化に対する見方・態度

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 **【授業テーマ】** ガイダンス・日本語レベルチェック
【内容・方法　等】 授業の概要・進め方について・スピーチ
【事前・事後学習課題】 テキスト予習
第２回 **【授業テーマ】** 映画１：テーマ「職業」
【内容・方法　等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
第３回 **【授業テーマ】** 映画１：テーマ「職業」
【内容・方法　等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
第４回 **【授業テーマ】** 映画１：テーマ「職業」
【内容・方法　等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、テーマについてレポート
第５回 **【授業テーマ】** 映画２：テーマ「高齢化社会」
【内容・方法　等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、　発表準備
第６回 **【授業テーマ】** 映画２：テーマ「高齢化社会」
【内容・方法　等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、　発表準備
第７回 **【授業テーマ】** 映画２：テーマ「高齢化社会」
【内容・方法　等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 プリントの課題、発表準備
第８回 **【授業テーマ】** テーマ１・２に関する発表
【内容・方法　等】 発表、質疑応答、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テーマについてレポート
第９回 **【授業テーマ】** 映画３：テーマ「大学生活」
【内容・方法　等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
第10回 **【授業テーマ】** 映画３：「大学生活」
【内容・方法　等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
第11回 **【授業テーマ】** 映画３：テーマ「大学生活」
【内容・方法　等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、テーマについてレポート
第12回 **【授業テーマ】** 映画４：「ジェンダー」
【内容・方法　等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、　発表準備
第13回 **【授業テーマ】** 映画４：「ジェンダー」
【内容・方法　等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、　発表準備
第14回 **【授業テーマ】** 映画４：「ジェンダー」
【内容・方法　等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 プリントの課題、発表準備
第15回 **【授業テーマ】** テーマ３・４に関する発表
【内容・方法　等】 発表、質疑応答、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テーマについてレポート

評価方法（基準）
各課題、授業への参加度、レポート等により総合的に評価します。

教材等
教科書…"『映画で日本文化を学ぶ人のために』世界思想社（2,415円）"
参考書…授業時に指示します。

学生へのメッセージ
映画を見ながら楽しく日本語・日本文化について学びましょう！

関連科目
日本語読解、日本語文法、日本語表現作文

担当者の研究室等
７号館４階(門脇研究室)

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　233　2014/08/21　14:45:36

日本語読解FI
Japanese Reading FI

赤　城　永里子（アカギ　エリコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
この授業では、日本人向けに書かれた一般書を読みます。知識や教養を深めるための文章を読み、自分なりに理解して文章にまとめ、口頭で説明できるようになることを目指します。
また、調査の結果を分析する練習、グラフを用いた調査結果を口頭で説明できるようになることを目指します。

授業方法と留意点
授業では、まず受講者が各自で文章を読み、ワークシートを完成させます。その後、教員による解説を行います。授業の最後に、受講者の理解度を確認するため、ミニレポートを書いてもらうこともあります。また、授業中に復習の小テストも行います。

科目学習の効果（資格）
大学の授業に必要な読解能力、データの分析能力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法　等】 授業の進め方の説明
【事前・事後学習課題】 シラバスをよく読んで理解する
第２回　【授業テーマ】 現代の若者のマナー１
【内容・方法　等】 読解，内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
第３回　【授業テーマ】 現代の若者のマナー２
【内容・方法　等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習
第４回　【授業テーマ】 言語と文化１
【内容・方法　等】 読解，内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
第５回　【授業テーマ】 言語と文化２
【内容・方法　等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習
第６回　【授業テーマ】 割り勘文化１
【内容・方法　等】 読解，内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
第７回　【授業テーマ】 割り勘文化２
【内容・方法　等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習
第８回　【授業テーマ】 ゲーム依存症（上）１
【内容・方法　等】 書く、口頭練習する
【事前・事後学習課題】 復習
第９回　【授業テーマ】 ゲーム依存症（上）２
【内容・方法　等】 書く、口頭発表
【事前・事後学習課題】 復習
第10回　【授業テーマ】 ゲーム依存症（下）１
【内容・方法　等】 読解，内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
第11回　【授業テーマ】 ゲーム依存症（下）２
【内容・方法　等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習
第12回　【授業テーマ】 調査結果の説明と分析１
【内容・方法　等】 調査結果の説明とその分析を説明する
【事前・事後学習課題】 復習
第13回　【授業テーマ】 調査結果の説明と分析２
【内容・方法　等】 調査結果の説明とその分析を説明する
【事前・事後学習課題】 復習
第14回　【授業テーマ】 総復習
【内容・方法　等】 今学期に読んだ内容と関連する新聞記事を読む
【事前・事後学習課題】 復習
第15回　【授業テーマ】 確認テスト
【内容・方法　等】 確認テスト
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法（基準）
単語テスト、ミニレポート、確認テスト、授業への参加態度を総合的に評価します。

教材等
教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に提示します。

学生へのメッセージ
さまざまな分野の文章を読み、クラスで意見を共有しましょう。

関連科目
日本語文法Ⅰ

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

日本語読解FII
Japanese ReadingFII

赤　城　永里子（アカギ　エリコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
この授業では、専門書を読むために必要な表現を学習し、抽象的な文章を読むための練習をします。

授業方法と留意点
授業では、まず受講者が各自で文章を読み、ワークシートを完成させます。その後、教員 による解説を行います。授業の最後に、受講者の理解度を確認するため、ミニレポートを書いてもらうこともあります。また、授業中、単語テストも行います。

科目学習の効果（資格）
大学の授業に必要な読解能力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法　等】 授業の進め方の説明
【事前・事後学習課題】 シラバスをよく読んで理解する
第２回　【授業テーマ】 ストレス
【内容・方法　等】 読解，内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
第３回　【授業テーマ】 発達の要因
【内容・方法　等】 読解，内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
第４回　【授業テーマ】 実数の定義
【内容・方法　等】 読解，内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
第５回　【授業テーマ】 文章の構成方法
【内容・方法　等】 文章の構成方法の違いを理解し、構成に沿って文を書く
【事前・事後学習課題】 復習
第６回　【授業テーマ】 理性と衝動
【内容・方法　等】 読解，内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
第７回　【授業テーマ】 意味論
【内容・方法　等】 読解，内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
第８回　【授業テーマ】 態度とは何か
【内容・方法　等】 読解，内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
第９回　【授業テーマ】 情報化社会
【内容・方法　等】 読解，内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
第10回　【授業テーマ】 大衆社会の経済レベルからの分析
【内容・方法　等】 読解，内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
第11回　【授業テーマ】 社会化
【内容・方法　等】 読解，内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
第12回　【授業テーマ】 現代社会の特質
【内容・方法　等】 読解，内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
第13回　【授業テーマ】 職場の精神衛生
【内容・方法　等】 読解，内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
第14回　【授業テーマ】 国際収支
【内容・方法　等】 読解，内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
第15回　【授業テーマ】 確認テスト
【内容・方法　等】 確認テスト
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法（基準）
単語テスト、ミニレポート、確認テスト、授業への参加態度を総合的に評価します。

教材等
教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に提示します。

学生へのメッセージ
さまざまな専門分野の文章を少しずつ読み、専門書の読み方を勉強しましょう。

関連科目
日本語文法Ⅱ

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　234　2014/08/21　14:45:36

日本語文法ＦⅠ
Japanese Grammar FI

赤　城　永里子（アカギ　エリコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
この授業では、中上級の文法項目を取り上げ、用法を確認し、実際にその文法項目が使われている会話を聞いたり、その文法項目を使って会話することを通して、適切な場面で使えるようになることを目指します。また、必要に応じて日本語能力試験の文法対策も行います。

授業方法と留意点
授業では、練習問題と教員による解説を繰り返します。

科目学習の効果（資格）
高度な日本語運用能力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法　等】 授業の進め方の説明
【事前・事後学習課題】 シラバスをよく読んで理解する
第２回　【授業テーマ】 現代の若者のマナー１
【内容・方法　等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第３回　【授業テーマ】 現代の若者のマナー２
【内容・方法　等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第４回　【授業テーマ】 言語と文化１
【内容・方法　等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第５回　【授業テーマ】 言語と文化２
【内容・方法　等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第６回　【授業テーマ】 割り勘文化１
【内容・方法　等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第７回　【授業テーマ】 割り勘文化２
【内容・方法　等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第８回　【授業テーマ】 ゲーム依存症（上）１
【内容・方法　等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第９回　【授業テーマ】 ゲーム依存症（上）２
【内容・方法　等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第10回　【授業テーマ】 ゲーム依存症（下）１
【内容・方法　等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第11回　【授業テーマ】 ゲーム依存症（下）２
【内容・方法　等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第12回　【授業テーマ】 調査結果の説明と分析
【内容・方法　等】 調査結果の説明と分析に必要な文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第13回　【授業テーマ】 新聞記事の文法１
【内容・方法　等】 今学期読んだ内容に関連する新聞記事の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第14回　【授業テーマ】 新聞記事の文法２
【内容・方法　等】 今学期読んだ内容に関連する新聞記事の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第15回　【授業テーマ】 確認テスト
【内容・方法　等】 確認テスト
【事前・事後学習課題】 --------

評価方法（基準）
確認テスト、授業への参加態度を総合的に評価します。

教材等
教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に提示します。

学生へのメッセージ
場面やタスクに合わせて、適切な文法項目が確実に使えるように練習しましょう。

関連科目
日本語読解Ⅰ

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

日本語文法ＦⅡ
Japanese Grammar FII

赤　城　永里子（アカギ　エリコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
この授業では、専門書を読む際に必要になる文法や表現を勉強し、専門書を読むための文法を学習します。

授業方法と留意点
授業では、練習問題と教員による解説を繰り返します。

科目学習の効果（資格）
高度な日本語運用能力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法　等】 授業の進め方の説明
【事前・事後学習課題】 シラバスをよく読んで理解する
第２回　【授業テーマ】 ストレス
【内容・方法　等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第３回　【授業テーマ】 発達の要因
【内容・方法　等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第４回　【授業テーマ】 実数の定義
【内容・方法　等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第５回　【授業テーマ】 文章構成方法
【内容・方法　等】 文章を構成する上で必要な言い回しや文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第６回　【授業テーマ】 理性と衝動
【内容・方法　等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第７回　【授業テーマ】 意味論
【内容・方法　等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第８回　【授業テーマ】 態度とは何か
【内容・方法　等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第９回　【授業テーマ】 情報化社会
【内容・方法　等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第10回　【授業テーマ】 大衆社会の経済レベルからの分析
【内容・方法　等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第11回　【授業テーマ】 社会化
【内容・方法　等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第12回　【授業テーマ】 現代社会の特質
【内容・方法　等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第13回　【授業テーマ】 職場の精神衛生
【内容・方法　等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第14回　【授業テーマ】 国際収支
【内容・方法　等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第15回　【授業テーマ】 確認テスト
【内容・方法　等】 確認テスト
【事前・事後学習課題】 ------

評価方法（基準）
確認テスト、授業への参加態度を総合的に評価します。

教材等
教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に提示します。

学生へのメッセージ
専門書が読めるようになるために、必要な文法を勉強しましょう。

関連科目
日本語読解Ⅱ

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

日本語表現作文ＦⅠ
Japanese Reading and Writing FI

赤　城　永里子（アカギ　エリコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	1

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　235　2014/08/21　14:45:36

授業概要・目的・到達目標
この授業は、授業でレポートや論文を書くための基礎を学びます。レポートや論文の構成、適した表現、書き方のルールを身につけることを目指します。
授業方法と留意点
授業では、他者のかいたレポートを用いて、各部分（序論、本論、結論等）の説明と実践を行います。
科目学習の効果（資格）
大学で求められるレポートや論文を書く力の基礎を築く
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法　等】 授業についての説明
【事前・事後学習課題】 ――――
第２回 【授業テーマ】 基礎編１　レポートとは
【内容・方法　等】 レポートと作文の違いを理解する
【事前・事後学習課題】 復習
第３回 【授業テーマ】 基礎編２　レポートの構成
【内容・方法　等】 レポートの構成を理解する
【事前・事後学習課題】 復習
第４回 【授業テーマ】 基礎編３　よく使われる文の形
【内容・方法　等】 レポート、論文で使われる文の形について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第５回 【授業テーマ】 基礎編４　序論の書き方１
【内容・方法　等】 序論に書く内容、序論でよく使われる語と表現を学び序論を書く
【事前・事後学習課題】 復習
第６回 【授業テーマ】 基礎編５　序論の書き方２
【内容・方法　等】 序論を書く
【事前・事後学習課題】 復習
第７回 【授業テーマ】 基礎編６　結論の書き方１
【内容・方法　等】 結論に書く内容と結論でよく使われる語と表現を学び、結論を書く
【事前・事後学習課題】 復習
第８回 【授業テーマ】 基本編７　結論の書き方２
【内容・方法　等】 結論を書く
【事前・事後学習課題】 復習
第９回 【授業テーマ】 基本編８　データの説明１
【内容・方法　等】 データの概要を書く
【事前・事後学習課題】 復習
第10回 【授業テーマ】 基本編９　データの説明２
【内容・方法　等】 データの効果的な見せ方、レポート内への取り込み方を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第11回 【授業テーマ】 基本編１０　データの説明３
【内容・方法　等】 データの説明に必要な表現を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第12回 【授業テーマ】 基本編１１　データの説明４
【内容・方法　等】 結果の説明を書く
【事前・事後学習課題】 復習
第13回 【授業テーマ】 基本編１２　考察１
【内容・方法　等】 考察に関する表現を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第14回 【授業テーマ】 基本編１３　考察２
【内容・方法　等】 考察を書く
【事前・事後学習課題】 復習
第15回 【授業テーマ】 総復習
【内容・方法　等】 確認テスト
【事前・事後学習課題】 確認テスト
評価方法（基準）
課題、レポート、授業への参加態度を総合的に評価します。
教材等
教科書…毎回プリントを配付します。
参考書…授業で指示します。
学生へのメッセージ
レポートや論文の書き方を一緒に勉強しましょう。
関連科目
他の日本語関連の科目
担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

日本語表現作文ＦＩＩ
Japanese Reading and Writing FII

赤　城　永里子（アカギ　エリコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
この授業は、授業でレポートや論文を書くための基礎を学びます。レポートや論文の構成、適した表現、書き方のルールを身につけることを目指します。
授業方法と留意点
授業では、実際にテーマを決め、書き進めていきます。
科目学習の効果（資格）
大学で求められるレポートや論文を書く力の基礎を築く
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法　等】 授業についての説明
【事前・事後学習課題】 ――――
第２回 【授業テーマ】 前期の復習１
【内容・方法　等】 序論、データ結果、結論を書く
【事前・事後学習課題】 復習
第３回 【授業テーマ】 前期の復習２
【内容・方法　等】 データの考察を書く
【事前・事後学習課題】 復習
第４回 【授業テーマ】 レポート作成１　構成
【内容・方法　等】 テーマを決める、構成や必要な手順を考える
【事前・事後学習課題】 復習
第５回 【授業テーマ】 レポート作成２　参考文献
【内容・方法　等】 参考文献を集める、文献目録の書き方
【事前・事後学習課題】 復習
第６回 【授業テーマ】 レポート作成３　引用１
【内容・方法　等】 話を要約する
【事前・事後学習課題】 復習
第７回 【授業テーマ】 レポート作成４　引用２
【内容・方法　等】 引用に必要な表現を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第８回 【授業テーマ】 レポート作成５　引用３
【内容・方法　等】 対比・統合して説明する
【事前・事後学習課題】 復習
第９回 【授業テーマ】 レポート作成６　アンケート
【内容・方法　等】 アンケートを作成する
【事前・事後学習課題】 復習
第10回 【授業テーマ】 レポート作成７　調査概要
【内容・方法　等】 調査概要の書き方を学び、書く
【事前・事後学習課題】 復習
第11回 【授業テーマ】 レポート作成８　データの集計と説明１
【内容・方法　等】 データを集計し、データの見せ方を考え、効果的に説明する
【事前・事後学習課題】 復習
第12回 【授業テーマ】 レポート作成９　考察１
【内容・方法　等】 話の展開の技術を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第13回 【授業テーマ】 レポート作成１０　考察２
【内容・方法　等】 考察を補強する技術を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第14回 【授業テーマ】 レポート作成１１　結論
【内容・方法　等】 話をまとめる
【事前・事後学習課題】 復習
第15回 【授業テーマ】 総復習
【内容・方法　等】 今学期学んだことのまとめ
【事前・事後学習課題】 復習
評価方法（基準）
課題、レポート、授業への参加態度を総合的に評価します。
授業内で書き進めたレポートを最終的に提出してもらい、評価の対象とします。
教材等
教科書…プリントを配付します。
参考書…授業で指示します。
学生へのメッセージ
レポートや論文の書き方を一緒に勉強しましょう！
関連科目
他の日本語関連の科目
担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

153-236_150_法学部-1510_法律学科-04_教養科目_本文.indd　236　2014/08/21　14:45:36

キャリアデザインⅠ
Career Planning Ⅰ

富岡直美（トミオカ　ナオミ）
水野　武（ミズノ タケシ）
津村英二（ツムラ　エイジ）
中川浩一（ナカカワ　コウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

社会に出て活躍するために大学時代に何をなすべきなのか、早い段階で目的意識を持ち、4年間のキャンパスライフを有意義に送るための授業です。
次の４つをこの講義の到達目標とします。
①自己理解を深め、自信が持てるようになる。
②コミュニケーションについて、理解を深め、コミュニケーション力アップの仕方を知る。
③社会（企業）の変化を知り、自分のワーキングスタイルを考える。
④大学生活および人生設計ができるようになる。

授業方法と留意点

講義だけでなくグループワークなどを織り交ぜて進行しますので積極的な態度で受講して下さい。

科目学習の効果（資格）

社会と自分の接点を考えるきっかけとなります。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　フレッシュな自分を確認しよう
【内容・方法　等】　・キャリアデザインとは？何故必要なのか？　・アセスメントテストの実施
【事前・事後学習課題】　自分にとって“キャリアデザイン”とは何か？を考えておいて下さい

第２回　**【授業テーマ】**　摂大学
【内容・方法　等】　・摂南大学の建学の精神と教育理念を理解する　・授業の活用術を知る　・学生生活において“目標とするもの”を考える
【事前・事後学習課題】　キャリアデザインⅠのテキストP11～P17を熟読して下さい

第３回　**【授業テーマ】**　社会は君を待っている
【内容・方法　等】　・進路についてのイメージづくり　・２０代の内に身につけたい力を知る　・未来予想図を描く
【事前・事後学習課題】　キャリアデザインⅠのテキストP19～P26を熟読して下さい

第４回　**【授業テーマ】**　社会で活躍するOB・OG
【内容・方法　等】　・進路の多様性　（進学（院・専門学校）、資格、公務員、企業、海外等）を知る
【事前・事後学習課題】　卒業後の進路について考えておいて下さい。
キャリアデザインⅠのテキストP39～P44を熟読して下さい

第５回　**【授業テーマ】**　グループ課題の設定
【内容・方法　等】　・与えられた課題をグループで取り組む
【事前・事後学習課題】　チームの中で「自分はどんな役割を果たしたいか」を考えておいて下さい

第６回　**【授業テーマ】**　社会の仕組み
【内容・方法　等】　・GDPから見る社会の仕組み　・税金の種類と役割　・業種/職種を知る
【事前・事後学習課題】　キャリアデザインⅠのテキストP27～P37を熟読して下さい

第７回　**【授業テーマ】**　お金の話
【内容・方法　等】　・正社員とフリーターの違いを考える
【事前・事後学習課題】　キャリアデザインⅠのテキストP53～P57を熟読して下さい

第８回　**【授業テーマ】**　自己分析から自分づくりへ①
【内容・方法　等】　・自分の関心事柄を知る　・性格、適性、能力を考える　・自分の大事にしているモノ（価値観）を整理する
【事前・事後学習課題】　自分の長所や短所について考え、周囲の人にも聞いておいて下さい
キャリアデザインⅠのテキストP59～P69を熟読して下さい

第９回　**【授業テーマ】**　自己分析から自分づくりへ②
【内容・方法　等】　・キャリア理論を知り、自分の関心事、性格、適性や能力の喚起へと繋げる
【事前・事後学習課題】　キャリアデザインⅠのテキストP59～P69を熟読して下さい

第10回　**【授業テーマ】**　スケジューリング術
【内容・方法　等】　・社会人基礎力を理解する　・PDCAサイクルを身につける　・問題解決の思考法を身につける
【事前・事後学習課題】　キャリアデザインⅠのテキストP79～P88を熟読して下さい

第11回　**【授業テーマ】**　グループワーク
【内容・方法　等】　・グループワークに取り組む
【事前・事後学習課題】　自分の行動で他者が喜んでくれそうな事柄を考えておいて下さい

第12回　**【授業テーマ】**　グループ課題の発表会
【内容・方法　等】　・グループごとのプレゼンテーション
【事前・事後学習課題】　グループ内のプランをまとめておいて下さい

第13回　**【授業テーマ】**　グループ課題の発表会
【内容・方法　等】　・グループごとのプレゼンテーション
【事前・事後学習課題】　プレゼンテーションの準備を行って下さい

第14回　**【授業テーマ】**　グループ活動の振り返り
【内容・方法　等】　・グループ活動の振り返りからコミュニケーション、ホスピタリティ、マナーについて考える
【事前・事後学習課題】　グループ活動の経緯を振り返っておいて下さい

第15回　**【授業テーマ】**　未来予想図/講義のおさらい
【内容・方法　等】　・大学１年生の夏休みから何を始めるか？を考え、グループ内で発表する
【事前・事後学習課題】　夏休み以降の大学生活の目標を考えておいて下さい

評価方法（基準）

授業態度30％、グループワーク20％、レポート50％で総合評価します。

教材等

教科書…キャリアデザインⅠ
参考書…必要に応じて授業内でレジュメを配布します

学生へのメッセージ

自分の将来を考える授業ですので、能動的に参加して下さい。

関連科目

キャリアデザインⅡ、キャリアデザインⅢ、インターンシップⅠ・Ⅱ
エンプロイメントデザインⅠ、エンプロイメントデザインⅡ

担当者の研究室等

７号館３階　キャリア教育推進室

キャリアデザインII
Career Pllanning II

水野　武（ミズノ タケシ）
富岡直美（トミオカ　ナオミ）
橋本朗子（ハシモト　アキコ）
石井三恵（イシイ　ミエ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

将来、社会で活躍できる人になるために、１回生時からの成長を加速させます。そのために授業では社会を起点に物事を考え、自らの活かし方、伸ばすべきポイントについて考えて頂きます。

授業の到達目標は将来、何になりたいか、そのために何をするべきかを言えるようになることです。

授業方法と留意点

講義だけでなくグループワークや個人で考えるワークを織り交ぜて進行しますので能動的な態度で受講して下さい。

科目学習の効果（資格）

来るべき就職活動に向けて自分は何を伸ばさなければならないのか等を考えられるようになります

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　オリエンテーション
【内容・方法　等】　・講義の目的・内容の解説
・評価の方法
・アセスメントの実施
【事前・事後学習課題】　大学生活１年目で経験したことを思い出しておいて下さい

第２回　**【授業テーマ】**　就活体験①
【内容・方法　等】　特性と心がけ、自己PRの組み立て方を学ぶ
【事前・事後学習課題】　キャリアデザインⅡのテキストP33～Ｐ４１を熟読して下さい

第３回　**【授業テーマ】**　就活体験②
【内容・方法　等】　・学生生活を振り返る
・講師より学生生活で自分を高めるための提案
【事前・事後学習課題】　キャリアデザインⅡのテキストP42～P44を熟読して下さい

第４回　**【授業テーマ】**　自分を高める①
【内容・方法　等】　・今までの習慣を見直し自分を高めることを考える
【事前・事後学習課題】　講義を踏まえ、これからの大学生活内で何に取り組むかを考えて下さい

第５回　**【授業テーマ】**　自分を高める②

239-254_150_法学部-1510_法律学科-05_キャリア形成科目_本文.indd　239　2014/10/14　17:17:48

【内容・方法　等】　・リーダーシップ開発
・リーダーのタイプを知る
・リーダーシップコミュニケーションを学ぶ
【事前・事後学習課題】　講義の内容を日常生活で実践して下さい

第６回　【授業テーマ】　社会を知る①
【内容・方法　等】　・なぜ仕事をするのか？
・仕事観について考える
・仕事の成果とは他者への貢献を学ぶ
【事前・事後学習課題】　キャリアデザインⅡテキストのＰ９～Ｐ１７を熟読して下さい。

第７回　【授業テーマ】　社会を知る②
【内容・方法　等】　・講義④⑤の実践報告
・課題「働く人を取材してレポート」のグループ討議
【事前・事後学習課題】　グループで討議する準備をして下さい

第８回　【授業テーマ】　社会を知る③
【内容・方法　等】　・人生のイベントを考える
・他者受容力を磨く
・人生のイベントにかかる費用を考える
【事前・事後学習課題】　キャリアデザインⅡのテキストP45～P55を熟読して下さい。

第９回　【授業テーマ】　社会を知る④
【内容・方法　等】　・講義⑦課題プレゼンテーション
【事前・事後学習課題】　プレゼンテーションの準備をして下さい

第10回　【授業テーマ】　社会を知る⑤
【内容・方法　等】　・業種・職種の概念を理解する
・川上～川下の概念の理解
・付加価値について考える
【事前・事後学習課題】　キャリアデザインⅡのテキストP59～P79 を熟読して下さい

第11回　【授業テーマ】　社会を知る⑥
【内容・方法　等】　・視点/視座/視野の使い方事例を知る
・会社・業種・職種の発見の仕方を学ぶ
【事前・事後学習課題】　キャリアデザインⅡのテキストP59～P79 を熟読して下さい

第12回　【授業テーマ】　社会を知る⑦
【内容・方法　等】　・ニッポンの課題について考える
・未来の働き方を考える
【事前・事後学習課題】　キャリアデザインⅡのテキストP55を熟読して下さい

第13回　【授業テーマ】　社会を知る⑧
【内容・方法　等】　・グループプレゼンテーション
【事前・事後学習課題】　グループにおける役割を考えて下さい

第14回　【授業テーマ】　社会を知る⑨
【内容・方法　等】　・グループプレゼンテーション
【事前・事後学習課題】　ここまでの講義を振り返って下さい

第15回　【授業テーマ】　授業のおさらい
【内容・方法　等】　講義のおさらいと期末レポートの振り返り
【事前・事後学習課題】　未提出レポート等がないか確認してください

評価方法（基準）
授業態度３０％、グループワーク２０％、レポート５０％で総合評価します。

教材等
教科書…キャリアデザインⅡ（授業内で配布）
参考書…必要に応じて推薦図書を提示

学生へのメッセージ
来たるべき、就職活動、そして卒業後の自分自身のために積極的に参加して下さい。

関連科目
キャリアデザインⅠ・Ⅲ、インターンシップⅠ・Ⅱ

担当者の研究室等
７号館３階　キャリア教育推進室

キャリアデザインIII
Career Planning III

水　野　　武（ミズノ タケシ）
安　久　典　宏（アグ　ミチヒロ）
石　井　三　恵（イシイ　ミエ）
富　岡　直　美（トミオカ　ナオミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	履修申請要領参照	2

授業概要・目的・到達目標
【目標】自分を振り返り、社会をよく知り、選択肢を発見し、自分の事を他者に伝えられるようになることです。その結果満足のいく就職活動、進路選択ができるようになります。
【目的】皆さんが学生生活での学びを活かして社会で求められ、活躍できる人材になることです。
【概要】本講義は就職部主催の就職ガイダンスと連携した講義になっており、就職活動に関する知識と実践技法も学ぶことができます。

授業方法と留意点
就職部主催の就職ガイダンスと連携した講義です。全23回の変則的な講義になっているため、実施日にご注意ください。

科目学習の効果（資格）
授業を通して自分の成長に気づき、人に伝えられるようになります。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　4月11日　オリエンテーション
【内容・方法　等】　・キャリアデザインⅠ・Ⅱの振り返り
・講義の目標、進め方、評価方法の解説
【事前・事後学習課題】　シラバスを熟読すること

第２回　【授業テーマ】　4月25日　自分を知る①
【内容・方法　等】　・現時点での自分の長所を知り、卒業後の社会への活かし方を考える
【事前・事後学習課題】　自分の長所を考えること

第３回　【授業テーマ】　5月9日　自分を知る②
【内容・方法　等】　・自己PRの事例を基に自分の自分の長所と活かし方を見直す
【事前・事後学習課題】　自分の活かし方を考えること

第４回　【授業テーマ】　5月23日　社会を知る①
【内容・方法　等】　就職ガイダンス①
卒業後の進路
就職環境の現状
正社員とフリーター
就活に向けての準備
就職部のの利用
【事前・事後学習課題】　配布資料を熟読すること

第５回　【授業テーマ】　6月6日　社会を知る②
【内容・方法　等】　社会人の常識
・身だしなみ/姿勢、挨拶/発声、お辞儀等の基本的なマナーを知る
・時事/一般常識の重要性を知る
【事前・事後学習課題】　講義で身につけたマナーを実践すること

第６回　【授業テーマ】　6月20日　社会を知る③
【内容・方法　等】　ビジネス研究の着眼点を学ぶ
【事前・事後学習課題】　新聞の経済・社会面に目を通すこと

第７回　【授業テーマ】　6月27日　社会を知る④
【内容・方法　等】　就職ガイダンス②
国内の会社数
大企業と中小企業
業種と職種
業界研究・企業研究のツール/ポイント
【事前・事後学習課題】　配布資料を熟読すること

第８回　【授業テーマ】　7月4日　選択肢を発見する
【内容・方法　等】　一般消費者にはとっては知名度が高くないが活躍している企業があることを知る
【事前・事後学習課題】　興味のある会社を研究すること

第９回　【授業テーマ】　7月11日　自分を知る③
【内容・方法　等】　・学生生活での経験を振り返る
・自分が大事にしている事は何？を考える
・自分の特性を社会にどう活かすかを考える
【事前・事後学習課題】　自分の学生生活を振り返ること

第10回　【授業テーマ】　7月18日　自分を知る④
【内容・方法　等】　・「学生時代に力を入れてきたこと」の事例を基に自分の学生生活の振り返り、夏休みを使って何にチャレンジするのかを考る
【事前・事後学習課題】　夏休みの目標を立てること

第11回　【授業テーマ】　9月19日　時事・一般常識の確認
【内容・方法　等】　時事・一般常識テストの実施
【事前・事後学習課題】　テスト問題を復讐すること

第12回　【授業テーマ】　9月26日　社会を知る⑤
【内容・方法　等】　就職活動を終えた先輩の体験談
【事前・事後学習課題】　就職活動に向けての計画を立てること

第13回　【授業テーマ】　10月3日　自分の事を伝える①
【内容・方法　等】　就職ガイダンス③
・エントリー方法　・摂大指定の履歴書/自己紹介書の書き方
・エントリーシート作成ポイント
【事前・事後学習課題】　エントリーシート作成のポイントを復習すること

第14回　【授業テーマ】　10月17日　自分の事を伝える②
【内容・方法　等】　・エントリーシートとは何かを知る
・読み手の着眼点を理解する
・実際に自己PRを書いてみる
【事前・事後学習課題】　自己PRを400文字程度で書いてください

第15回　【授業テーマ】　10月24日　自分のことを伝える③
【内容・方法　等】　エントリーシートや履歴書を書くために自

239-254_150_法学部-1510_法律学科-05_キャリア形成科目_本文.indd　240　2014/10/14　17:17:49

分取材（夏休み後にどう変わったのかをチェックする）
・実際にエントリーシートの設問「学生時代に力を入れたこと」を記述する
・難問奇問、少し変わった問題も紹介
【事前・事後学習課題】 課題提出（自己PR・学生時代に力を入れたことをそれぞれ400文字で書いて提出）

第16回 【授業テーマ】 10月31日　グループでのコミュニケーション①
【内容・方法　等】 クラスを分割してグループディスカッション①
・GDとは何か？何を見られているか？を知る
・インバスケット体験
・ディベート体験
【事前・事後学習課題】 次回に向けての改善案を考えること

第17回 【授業テーマ】 11月7日　グループでのコミュニケーション②
【内容・方法　等】 クラスを分割してグループディスカッション②
・フリーディスカッション体験
【事前・事後学習課題】 集団の中でのコミュニケーションについて復習すること

第18回 【授業テーマ】 11月14日　仕事研究と志望動機①
【内容・方法　等】 ・会社研究のポイント
・「共感と提案」を考える
・聴き手に共感される志望動機の組み立て方を学ぶ
【事前・事後学習課題】 現時点での志望企業向けの志望動機を書いてみること

第19回 【授業テーマ】 11月21日　仕事研究と志望動機②
【内容・方法　等】 仕事研究の実践
【事前・事後学習課題】 仕事研究レポートの提出

第20回 【授業テーマ】 11月28日　面接における対人コミュニケーション①
【内容・方法　等】 面接における対人コミュニケーションについて考える
【事前・事後学習課題】 模擬面接の準備をしておくこと

第21回 【授業テーマ】 12月5日　面接における対人コミュニケーション②
【内容・方法　等】 クラスを分割して模擬面接を実施する
【事前・事後学習課題】 模擬面接の準備をしておくこと

第22回 【授業テーマ】 12月12日　面接における対人コミュニケーション③
【内容・方法　等】 就職ガイダンス④
・面接の種類と流れ
・面接のポイント
・マナー
・学内求人システム
【事前・事後学習課題】 配布資料を熟読すること

第23回 【授業テーマ】 12月19日　成果を上げるための行動計画
【内容・方法　等】 ・行動計画を立案する
・学生の行動事例の紹介
・講義の振り返り
【事前・事後学習課題】 卒業までの行動計画を立てること

第24回 【授業テーマ】 -
【内容・方法　等】 -
【事前・事後学習課題】 -

第25回 【授業テーマ】 -
【内容・方法　等】 -
【事前・事後学習課題】 -

第26回 【授業テーマ】 -
【内容・方法　等】 -
【事前・事後学習課題】 -

第27回 【授業テーマ】 -
【内容・方法　等】 -
【事前・事後学習課題】 -

第28回 【授業テーマ】 -
【内容・方法　等】 -
【事前・事後学習課題】 -

第29回 【授業テーマ】 -
【内容・方法　等】 -
【事前・事後学習課題】 -

第30回 【授業テーマ】 -

評価方法（基準）
講義での提出物30%、期末レポート40%、出席・授業態度30%
※期末レポートは講義の最終日に提出予定です

教材等
教科書…講義の中で適宜プリント配布します
参考書…適宜参考文献を紹介します

学生へのメッセージ
皆さんの将来のことを一緒に考えましょう。

関連科目
インターンシップⅠ・Ⅱ、キャリアデザインⅠ・Ⅱ、ビジネスマナーⅠ、就職実践基礎、コミュニケーション能力開発

担当者の研究室等
7号館5階　石井研究室
７号館３階　キャリア教育推進室（富岡/水野）
11号館　安久教授室
就職部

エンプロイメントデザインI
Employment design I

太田義器（オオタ　ヨシキ）
水野武（ミズノ タケシ）
富岡直美（トミオカ　ナオミ）
石井三恵（イシイ　ミエ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		通年	選択	1

授業概要・目的・到達目標
自らのキャリアを考えるにあたって、単に卒業時の就職だけではなく、卒業してからの人生を社会人として、職業人として自立して送れるように支援する講義です。

授業方法と留意点
本学教職員による複数人数で担当することにより、様々な講師が人生体験や、仕事をするながで身につけた考えに基づくキャリアへのアプローチを紹介します。

科目学習の効果（資格）
職業人として働くことや、人や社会と関わることについて考えるきっかけとなります。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 エンプロイメントデザインⅠで何を学ぶか[担当　教務部長、外国語学部教授　太田　義器]
【内容・方法　等】 授業の目的、どんな人が講師なのかを説明します。
【事前・事後学習課題】 まとめレポートの提出

第２回 【授業テーマ】 就職先としての地方公務員と民間(以前の就職活動から)［担当　経済学部准教授　田井　義人］
【内容・方法　等】 公務員の種類(国、地方、一般、特別、事務、技術)等の説明、地方公務員の仕事や公務員と民間の２つの就活の体験をお話ししたい。
【事前・事後学習課題】 まとめレポートの提出

第３回 【授業テーマ】 未来の自分に何を渡すか！　～充実した大学生活を送る方法～[担当　教務課係長　古屋　豊吾]
【内容・方法　等】 熱中できるものをみつけ、粘り強く取組むことで「働き抜く力」が身に付きます。
みなさんと同じ摂南大学で、ラグビーというスポーツを通して経験したことを伝えたいと思います！
【事前・事後学習課題】 まとめレポートの提出

第４回 【授業テーマ】 現代社会における情報への接し方－中国「古代史」の実例から考える－[担当　法学部講師　大川　謙蔵]
【内容・方法　等】 中国には数多くの歴史資料が存在する。そこで語られる一つの具体例を参考に、その評価・事実内容のとらえ方がどのように変化したかを把握し、現代社会における情報への接し方について考える。
【事前・事後学習課題】 まとめレポートの提出

第５回 【授業テーマ】 経済学を学ぶ意味はあるのか：震災時、経済産業省の研究所での経験[担当　経済学部講師　田中　鮎夢]
【内容・方法　等】 学問は何の役に立つのか。経済学が経済産業省の政策にいかにいかされているのかという事例をもとに、議論したいと思います。
【事前・事後学習課題】 まとめレポートの提出

第６回 【授業テーマ】 課外活動で大学生活を∞倍楽しくする方法[担当　経営学部准教授　久保　貞也]
【内容・方法　等】 クラブ活動やPBL科目などの課外活動に参加、参画することが大学での学びにどのような相乗効果を持つかについて説明します。
【事前・事後学習課題】 まとめレポートの提出

第７回 【授業テーマ】 人生における「やる気」の大切さ[担当　経営学部長　教授　羽石　寛寿]
【内容・方法　等】 少子高齢化社会の到来、組織における人の問題、ヤル気を引き起こすには
【事前・事後学習課題】 事前・・・やる気について考えて下さい
事後・・・まとめレポートの提出

第８回 【授業テーマ】 日本経済新聞をカッコ良く読みこなすコツ[担当　経済学部准教授　植杉　大]
【内容・方法　等】 就職活動及びそれ以降ビジネスパーソンとして活躍するために必要な日本経済新聞の解読方法を日経ＴＥＳＴ等の教材を用いて解説する。
【事前・事後学習課題】 まとめレポートの提出

第９回 【授業テーマ】 有意義な学生生活を送るために・・「常に目標を持って」[工大学生課課長　栃岡　清人]
【内容・方法　等】 「学生時代に目標を持っていろんなことにチャレンジしていくことでその経験が社会に出たときに活かされるのではないか」ということを自分の経験を交えて

239-254_150_法学部-1510_法律学科-05_キャリア形成科目_本文.indd　241　2014/10/14　17:17:49

伝えます。
【事前・事後学習課題】 まとめレポートの提出
第10回 【授業テーマ】 キャリアづくりの第一歩[担当　人事課係長　末川　博之]
【内容・方法　等】 社会人基礎力を身につけるために大学でどのような挑戦を体験しておくべきかを、常翔学園が求める事務職員の資質と先輩学生のクラブ経験を参考情報として、ワークを交えて受講者自らが考える講義を行います。
【事前・事後学習課題】 まとめレポートの提出
第11回 【授業テーマ】 グローバル社会で求められる人になるために[担当　国際交流センター　塩川　雅美]
【内容・方法　等】 パワーポイントや参考資料を用いて、「グローバル社会」で求められる人材について考え、その資質について解説します。
【事前・事後学習課題】 まとめレポートの提出
第12回 【授業テーマ】 出産・育児は仕事の武器？～摂南ウーマノミクス～[担当　スポーツ振興センター 保健体育教室講師　藤林　真美]
【内容・方法　等】 キャリア、結婚、妊娠、子育て、介護・・・女性を取り巻く現状について各種調査結果を元に<いきいき人生を目指して>お話しします！
【事前・事後学習課題】 まとめレポートの提出
第13回 【授業テーマ】 現代のコミュニケーション事情[担当　キャリア教育推進室教授　石井　三恵]
【内容・方法　等】 良好な人間関係を構築することは難しい現状、自分自身と相手をも尊重した日本語コミュニケーションに注目してみましょう。
【事前・事後学習課題】 まとめレポートの提出
第14回 【授業テーマ】 これからの大学生活を送るみなさんに伝えたいこと～がむしゃらであれ、誠実であれ～[担当　入試課課長　尾川　洋一]
【内容・方法　等】 グラハム・ベルは電話を発明しました。スティーブ・ジョブズはその電話を再発明すると言い、スマートフォンを作りました。そんな偉人達の話ではなく、みなさんと同じ（摂大卒業生）、名もなき大学職員がこれまでの職業経験で得たもの、幸せになるために必要と感じていることを、飾らず、率直に伝えます。
【事前・事後学習課題】 まとめレポート
第15回 【授業テーマ】 キャリアアップとは何か・・自身のキャリアアップから考える[担当　経済学部教授　持永　政人]
【内容・方法　等】 民間企業での30年の社会人経験を踏まえ、主にパワーポイントによる講義形式で就職への意識づけとキャリアアップへの示唆を行う。
【事前・事後学習課題】 まとめレポート
第16回 【授業テーマ】 社会人になるための準備を今からしておこう！[担当　法学部事務室　室長　井上　宏紀]
【内容・方法　等】 講師自身の経験や実践していることをお話しし、学生時代に身に付けておいて欲しいことや考え方を学生のみなさんに伝えます。
【事前・事後学習課題】 まとめのレポート
第17回 【授業テーマ】 仕事と法律の関係[担当　法学部長　教授　小山　昇]
【内容・方法　等】 社会で活動し仕事をしていくために意識しておくべき法律との関係を考えてみることにしたいと思います。
【事前・事後学習課題】 まとめレポートの提出
第18回 【授業テーマ】 学生時代に『自分の物差し』を広げよう！[担当　薬学部事務室　係長　山下　博行]
【内容・方法　等】 学生時代に多くのことを経験することで『自分の物差し』が広がり、その後の人生に多いに役立ちます。そのことを、講師がテコンドーと言うスポーツを通じて学び、経験したことを交えながらお話しします。
【事前・事後学習課題】 まとめレポートの提出
第19回 【授業テーマ】 人生が楽しくなる5つの心構え[担当　キャリア教育推進室講師：富岡　直美]
【内容・方法　等】 航空会社に就職、そして大学教員に転職した経験談を交えながら、一度の人生を楽しむための5つの心構えをお伝えします。
【事前・事後学習課題】 まとめレポートの提出
第20回 【授業テーマ】 成功曲線を描くために！～諦めないコツ教えます～[担当　入試課　田中　恵三]
【内容・方法　等】 学生時代の経験を活かして、いかに自分自身の力を養えるか。目標達成へのプロセスとそれが将来の自分にどのように繋がるか。自身の経験と現在を合わせて伝えます。
【事前・事後学習課題】 まとめレポートの提出
第21回 【授業テーマ】 金融業界、特に金融機関(銀行、信金、信組)について[担当　経営学部教授　岩坪　加紋]
【内容・方法　等】 銀行や信金、信組といった金融機関の仕事や今後の動向について私見を交えてお話します。
【事前・事後学習課題】 まとめレポートの提出
第22回 【授業テーマ】 社会生活と法(主として裁判員裁判への参加を求められた時の心構えなど)、裁判所職員への就職の勧誘[担当　法学部教授　古川　行男]
【内容・方法　等】 最高裁判所ホームページに紹介されているデーターなどをPDFを用いて紹介しながら話をする。
【事前・事後学習課題】 まとめレポートの提出
第23回 【授業テーマ】 「製造業で働く」とはどんなことだろうか[担当　経営学部教授　黒澤　敏朗]
【内容・方法　等】 日本の製造業の特徴とそこに特有な仕事を解説します。そして、文系出身者は製造業でどんな仕事を担当しているのかを説明します。
【事前・事後学習課題】 まとめレポートの提出
第24回 【授業テーマ】 見えない山を登っている学生諸君へ～山登りが教えてくれたもの～[担当　就職部長　伊藤　勝彦、　就職部課長　上地　和正、　キャリア教育推進室　富岡　直美]
【内容・方法　等】 人生は見えない山登り。山登りを趣味とする講師陣の経験談をもとに「人生に向き合う姿勢」や「社会人としての生き方」のヒントを探ります。
【事前・事後学習課題】 まとめレポートの提出
第25回 【授業テーマ】 グローバルに働くということ[担当　経済学部准教授　野村　佳子]
【内容・方法　等】 グローバル人材の重要性が増している昨今、グローバルに働くためには何が求められるのか、また日本人に足りないものは何なのかを担当者の海外勤務経験を踏まえて講義する。
【事前・事後学習課題】 まとめレポートの提出
第26回 【授業テーマ】 スポーツ領域で働くための法知識[担当　法学部准教授　石井　信輝]
【内容・方法　等】 私が「スポーツと法律」を大学で講義するに至った経緯、およびスポーツと法律との接点
【事前・事後学習課題】 まとめレポートの提出
第27回 【授業テーマ】 「企業(社会)が求める人」ってどんな人？[担当　国際交流センター係長　市冨　亜紀子]
【内容・方法　等】 「企業」や「社会」が求める人について、就職部・国際交流センターでの経験を基に資料を用いてお話します。
【事前・事後学習課題】 まとめレポートの提出
第28回 【授業テーマ】 コミュニケーション力を高めるための第一歩を踏み出そう[担当　学生課　川崎　裕介]
【内容・方法　等】 自身の日本語教師の経験談を通して言葉に関心を持つ大切さを学びます。人間関係を豊かにする言葉を皆さんで考えてみましょう。
【事前・事後学習課題】 まとめレポートの提出
第29回 【授業テーマ】 自分で考えることはなぜ大切なのか[担当　就職部　東妻　泰輔]
【内容・方法　等】 社会人になってもなかなかできない「自分で考える」ということについて、なぜ大切なのかを経験を基にお話しします。
【事前・事後学習課題】 まとめレポートの提出
第30回 【授業テーマ】 自分の履歴を残す［キャリア教育推進室：水野 武］

評価方法（基準）
毎回の授業にて、課題を与え合格することにより1ポイントを付与し、１５ポイント以上もって単位認定をします。

教材等
教科書…各回の講師が必要に応じてプリントを配付します。
参考書…各回の講師が必要に応じてプリントを配付します。

学生へのメッセージ
社会人・職業人としてのライフスタイルを考えることから、学生時代に伸ばすべき能力について、自ら考え、選択し、決定し、そして行動につなげる大切さを学んでください。

関連科目
キャリアデザイン、エンプロイメントデザインⅡ

担当者の研究室等
７号館３階　キャリア教育推進室

エンプロイメントデザインⅡ
Employment design Ⅱ

太田義器（オオタ　ヨシキ）
水野武（ミズノ タケシ）
富岡直美（トミオカ　ナオミ）
石井三恵（イシイ　ミエ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	選択	1

授業概要・目的・到達目標
【授業概要】
外部講師をお招きしゲストの仕事・職業観・人生経験などについてお話頂く講義です。
講義を聴講することで、学生諸君の選択肢を増やすことに役立てることができます。

239-254_150_法学部-1510_法律学科-05_キャリア形成科目_本文.indd　242　2014/10/14　17:17:49

【到達目標】
様々な職業について理解し、多様な仕事術を身につけるようになることを講義の目標とします。

授業方法と留意点
毎回異なった職業のゲスト講師によりリレー講義で進行します。ゲスト講師に仕事をする中で身につけた思考、講師のキャリアデザインへのアプローチ方法などをお話し頂きます。

科目学習の効果（資格）
人や社会に関わること、仕事力の伸ばし方について考えるきっかけとなります。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 ・オリエンテーション
・弁護士の仕事術、仕事力(摂南大学OB・弁護士)
【内容・方法　等】 社会に出てから必要な能力を、弁護士の仕事の内容や考え方などを通してお伝えします。
【事前・事後学習課題】 講義の内容を振り返り、感想をまとめて下さい。

第２回 【授業テーマ】 インバスケット思考による戦略的な人生設計の立て方
―私がベストセラー書籍を書いた理由―（経営者/著者）
【内容・方法　等】 これから社会人となる上で必要なインバスケット
思考を説明します。
学生時代に身につけるべきことや、戦略的に
人生設計することの大切さについてお話しします。
【事前・事後学習課題】 講義の内容を振り返り、感想をまとめて下さい。

第３回 【授業テーマ】 夢の仕事に就くまでと就いてから（国際協力NGO職員）
【内容・方法　等】 夢と職業をどうリンクさせ計画したのか、
実際その夢につながる仕事に就き何を考えるのか、仕事内容も紹介しながら具体的にお伝えします。
【事前・事後学習課題】 講義の内容を振り返り、感想をまとめて下さい。

第４回 【授業テーマ】 社会で活躍するための大学生活の過ごし方（経営者/事業家）
【内容・方法　等】 2度の就職活動、転職、起業、企業の採用支援、部下の育成、大学・社会人でのスポーツ経験など講師自身の経験など踏まえ、就職するためではなく、社会で活躍するための大学生活の過ごし方をお話しします。
【事前・事後学習課題】 講義の内容を振り返り、感想をまとめて下さい。

第５回 【授業テーマ】 『正解』はあるのではなくつくるもの（経営者）
【内容・方法　等】 生きること、働くこと、「正解」のない人生の歩き方について考えます。
【事前・事後学習課題】 講義の内容を振り返り、感想をまとめて下さい。

第６回 【授業テーマ】 外資系企業のトップになる条件とは？
―異文化経験から学んだこと―（外資系ブランド/リージョナル・ブランド・CEO）
【内容・方法　等】 外資系企業に求められる資質や能力、キャリア
アップの方法、そして人生の成功の秘訣をお伝えします。
【事前・事後学習課題】 講義の内容を振り返り、感想をまとめて下さい。

第７回 【授業テーマ】 今求められる公務員像（摂南大学ＯＢ／市役所職員）
【内容・方法　等】 安定・厚遇という言葉だけが独り歩きする職業としての公務員。経験談を通して、公務員になりたい自分を再度見つめ直していただきます。
【事前・事後学習課題】 講義の内容を振り返り、感想をまとめて下さい。

第８回 【授業テーマ】 企業人の私が経験した摂大ＯＢとしての歩み方（摂南大学OB・メーカー／営業管理職）
【内容・方法　等】 キャリアデザインへのアプローチ方法の観点から、先輩、同期、後輩のユニークなキャリアを紹介しつつ、在学中に人とのつながりを多く持ち、卒業後も自信を持って摂南大学卒ＯＢといえる人物であってほしい願いを込めてお話しします。
【事前・事後学習課題】 講義の内容を振り返り、感想をまとめて下さい。

第９回 【授業テーマ】 グローバル社会で働くために大切なこと（摂大OB・メーカー/営業部長）
【内容・方法　等】 講師の経験を通じてお話します。
【事前・事後学習課題】 講義の内容を振り返り、感想をまとめて下さい。

第10回 【授業テーマ】 自己目標設定と達成の方法。今求められる能力とは何か？　（商社/人事）
【内容・方法　等】 業界説明を冒頭にし、まずは繊維業界を知ってもらいます。業界説明だけでなく、今求められる能力を全体的に説明した上で個々のモチベーション向上と行動力・考察力の向上を狙います。
【事前・事後学習課題】 講義の内容を振り返り、感想をまとめて下さい。

第11回 【授業テーマ】 上場企業採用責任者が語る「就職」と「転職」と「天職」（サービス/人事）
【内容・方法　等】 講師自身の進学、留学、就職、転職等を振り返り、Want,Can,Should,Willというキーワードを用いて、事実やデータを交え自身の想いを熱く語ります。
【事前・事後学習課題】 講義の内容を振り返り、感想をまとめて下さい。

第12回 【授業テーマ】 警察官の仕事-なくてはならない正義を守る仕事（警察官）
【内容・方法　等】 警察官の仕事を体験談や映像を交えて説明します。
【事前・事後学習課題】 講義の内容を振り返り、感想をまとめて下さい。

第13回 【授業テーマ】 「仕事のやりがい、生きがいを見出すために（民間企業と国家公務員の仕事を経験して)」（摂南大学OB・公務員）
【内容・方法　等】 摂南大学（薬）一期卒業生として民間企業と国家公務員で26年間勤務してきた経験を通して、仕事のやりがい、生きがいをどのように見出していけば良いのかをお話します。
【事前・事後学習課題】 講義の内容を振り返り、感想をまとめて下さい。

第14回 【授業テーマ】 社会人になって気付いた、学ぶ事の大切さと、苦しさ、そして楽しさ。
【内容・方法　等】 学ぶことの大切さを、自らの経験から失敗談を交えてお話しします。　（銀行の外国為替業務、大学に社会人入学、税理士試験の受験・合格を通じて）
【事前・事後学習課題】 講義の内容を振り返り、感想をまとめて下さい。

第15回 【授業テーマ】 やりたいことを仕事にするための就職活動（IT/人事）
【内容・方法　等】 理想のキャリアプランを実現するために今考えておくべきことを、年間500人の学生と会ってきた採用担当者の目線からお話しします。
【事前・事後学習課題】 講義の内容を振り返り、感想をまとめて下さい。

第16回 【授業テーマ】 ものづくり関連の商社と求められる人物像（商社/人事）
【内容・方法　等】 ものづくり関連商社にはどんな仕事があるか、そこで求められる人物について映像を交えて説明します。
【事前・事後学習課題】 講義の内容を振り返り、感想をまとめて下さい。

第17回 【授業テーマ】 成りあがり（摂南大学OB・経営者）
【内容・方法　等】 摂南大学卒業後新卒で入社し、平社員が社長に成るまでの道のりを、経験談をもとにお話しします。
【事前・事後学習課題】 講義の内容を振り返り、感想をまとめて下さい。

第18回 【授業テーマ】 目標が無い？やりたいことが見つからない？そんなものは後からついてくる！（コンサルタント）
【内容・方法　等】 目標や目的を持つことの大切さを、実体験をもと
にお話しします。
【事前・事後学習課題】 講義の内容を振り返り、感想をまとめて下さい。

第19回 【授業テーマ】 今からすぐにでも身につけて欲しいコミュニケーション能力とは？（摂南大学OB・銀行員/管理職）
【内容・方法　等】 講師のこれまでの経験から、コミュニケーションの
上手なとり方についてお話しします。
【事前・事後学習課題】 講義の内容を振り返り、感想をまとめて下さい。

第20回 【授業テーマ】 新卒での就職活動で全てが決まる！？（摂南大学OG・旅行代理店/カウンター業務）
【内容・方法　等】 講師の学生生活、キャリア形成のプロセスなど
を実体験を交えてお話しします。
【事前・事後学習課題】 講義の内容を振り返り、感想をまとめて下さい。

第21回 【授業テーマ】 観光・ホテル業界での業務経験から得たもの
～観光業のKPI(key performance indicator 主要業績評価指標)～（ホテル/総支配人）
【内容・方法　等】 講師のこれまでの業務経験をもとにお話しします。
【事前・事後学習課題】 講義の内容を振り返り、感想をまとめて下さい。

第22回 【授業テーマ】 プロコンサルタントが使う考える力とは?（中小企業診断士/CDA)
【内容・方法　等】 プロのコンサルタントがコンサルティングを実践する際に用いる「考える技術」を学んでいただきます。
【事前・事後学習課題】 講義の内容を振り返り、感想をまとめて下さい。

第23回 【授業テーマ】 大阪で働く社長の告白（ねじの商社/経営者）

239-254_150_法学部-1510_法律学科-05_キャリア形成科目_本文.indd　243　2014/10/14　17:17:49

【内容・方法　等】 大阪市内に本社のある商社の社長が自身の仕事観、採用活動の現実などをお話しします。
【事前・事後学習課題】 講義の内容を振り返り、感想をまとめて下さい。

第24回 【授業テーマ】 転職5回で鍛えられたつながる力
―納得解が求められる時代だからやってこれた―（広告企画・制作/経営者）
【内容・方法　等】 納得解を導く要素（ディベート力　・プレゼン力
・コミュニケーション力）を意識して働いてきた経験から身に付けた「つながる力」について解説します。
【事前・事後学習課題】 講義の内容を振り返り、感想をまとめて下さい。

第25回 【授業テーマ】 「ビジネス創造に必要な力」を実例から学ぶ（IT/営業部長）
【内容・方法　等】 現役のビジネスパーソンが日々実践している
「ビジネスに必要な力」を事例を通じて解説します。
【事前・事後学習課題】 講義の内容を振り返り、感想をまとめて下さい。

第26回 【授業テーマ】 ファッションビジネスに魅入られた男の話（摂南OB/衣料店店長）
【内容・方法　等】 ファッションビジネスの仕組みを概説し、講師自身の学生時代の過ごし方や仕事観についてお話しします。
【事前・事後学習課題】 講義の内容を振り返り、感想をまとめて下さい。

第27回 【授業テーマ】 摂ノミクス―三本の矢（知・徳・体）をしっかり研ぐとき―（住職）
【内容・方法　等】 東北地震で被災した大学生の事例をもとに、知・徳・体を摂南大学でどう磨くかを考えます。
【事前・事後学習課題】 講義の内容を振り返り、感想をまとめて下さい。

第28回 【授業テーマ】 ワークライフバランス―お金と仕事ライフイベント―（社労士、CDA）
【内容・方法　等】 社会人になる前に意識して欲しい現実と、今から準備出来る事について、社労士・キャリアコンサルタントとしての経験からお話します。
【事前・事後学習課題】 講義の内容を振り返り、感想をまとめて下さい。

第29回 【授業テーマ】 元人事採用担当が話す面接の心がまえ。/会社勤めで見えたもの（フリーライター/アセッサー）
【内容・方法　等】 会社員時代は営業・人事を経験し、現在はフリーのライターとして活躍する講師の経験をもとに「面接での心がまえ」、「会社勤めの中で身につけた力」についてお話しします。
【事前・事後学習課題】 講義の内容を振り返り、感想をまとめて下さい。

第30回 【授業テーマ】 コトダマ・リフレーミングのいろは（経営者/フリーアナウンサー）

評価方法（基準）
毎回の授業に出席して感想を提出するごとに１ポイント付与し、１５ポイント以上獲得で評価の対象とします。
更に前期・後期の各期末でレポートを実施し、総合点で評価を致します。

教材等
教科書…必要に応じて資料を配布します
参考書…講義内で適宜お伝えいたします。

学生へのメッセージ
ゲスト講師の様々な仕事に対する意識や成果の上げ方等を聴くことで、皆さんの職業観の形成にお役立てください。なお、本講義は外部の講師による講義です。能動的に、真摯な態度で講義に挑むことはもちろんのこと、積極的に質問をして仕事に関する知識を吸収して下さい。

関連科目
キャリアデザインⅠ、キャリアデザインⅡ、エンプロイメントデザインⅠ

担当者の研究室等
教務部　キャリア教育推進室（7号館3階）

備考
ゲスト講師及び内容の一部は都合により変更になることもあります。

インターンシップⅠ
Internship Ⅰ

富　岡　直　美（トミオカ　ナオミ）
石　井　三　恵（イシイ　ミエ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	履修申請要領参照	1

授業概要・目的・到達目標
インターンシップの目的は、実際の仕事現場の一員として業務を担当させていただくことで社会人の方々がどのような考え方で働かれているのか、特に①仕事の社会における役割　②仕事の成果とは　③仕事の責任と充実感　を肌で感じてもらうことです。
インターンシップⅠでは、インターンシップへ意欲的に自信を持って参加できるようになることを目標とします。
学科の学習と教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点
グループワークやプレゼンテーションなどを行う参加型の授業です。
実際のインターンシップにつながる講義ですので、能動的に、真摯に参加することを求めます。

科目学習の効果（資格）
インターンシップへ行く目的を理解し、準備ができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 インターンシップとは
【内容・方法　等】 授業オリエンテーション
インターンシップとアルバイトの違い
インターンシップの狙い
【事前・事後学習課題】 インターンシップとはどのようなものかを調べておいて下さい。

第２回 【授業テーマ】 学びと社会のつながり
【内容・方法　等】 大学での学びは、社会とどうつながるのかを考える。
【事前・事後学習課題】 自分の専攻分野と社会のかかわりを考えてください。

第３回 【授業テーマ】 実習参加企業について
【内容・方法　等】 産業の分類を知る。
業種、内容、実施時期等、実習参加企業について知る。
【事前・事後学習課題】 インターン受入企業リストに目を通して下さい。

第４回 【授業テーマ】 インターンシップの目的
【内容・方法　等】 社会人と学生の違いを知る。
志望動機とインターンシップでの目標を設定する。
【事前・事後学習課題】 授業内で提示した課題を実施してください。

第５回 【授業テーマ】 効果的なプレゼンテーションとは
【内容・方法　等】 効果的なプレゼンテーションの仕方、注意点などを知る。
【事前・事後学習課題】 第4回目の課題について、プレゼンテーションの準備をして下さい。

第６回 【授業テーマ】 課題のプレゼンテーション
【内容・方法　等】 第4回目の課題をプレゼンテーションする。
【事前・事後学習課題】 第4回目の課題について、プレゼンテーションの準備をして下さい。

第７回 【授業テーマ】 社会人のマナー①
【内容・方法　等】 社会人としての心構えを知る。
【事前・事後学習課題】 マナーが何故大切なのかを考えて下さい。

第８回 【授業テーマ】 社会人のマナー②
【内容・方法　等】 電話のかけ方、指示の受け方、ホウレンソウについて
【事前・事後学習課題】 授業以降は丁寧な電話の受け答えを心がけてください。

第９回 【授業テーマ】 社会人のマナー③
【内容・方法　等】 御礼状の書き方、メールの書き方について
【事前・事後学習課題】 マナーの大切さを再度考えて下さい。

第10回 【授業テーマ】 事前訪問について
【内容・方法　等】 事前訪問のマナーと準備について
【事前・事後学習課題】 インターン先の企業のことをもう一度調べて下さい。

第11回 【授業テーマ】 コミュニケーションの基本
【内容・方法　等】 聴く力、相手を尊重したコミュニケーションの方法について
【事前・事後学習課題】 授業後は相手を尊重したコミュニケーションを意識してください

第12回 【授業テーマ】 グループワーク①
【内容・方法　等】 掲示された課題について、チームで情報を集約、検証、プレゼンテーションを行う。
【事前・事後学習課題】 グループ内の自分の役割を考えて下さい。

第13回 【授業テーマ】 グループワーク②
【内容・方法　等】 掲示された課題について、チームで情報を集約、検証、プレゼンテーションを行う。
【事前・事後学習課題】 グループの最大の力を出すために、自分に何ができるかを考え、プレゼンテーションの準備をして下さい。

第14回 【授業テーマ】 PDCAサイクル・トラブル対応
【内容・方法　等】 PDCAサイクルについて
トラブル対応について
【事前・事後学習課題】 PDCAとは何か、を調べて下さい。

第15回 【授業テーマ】 振り返りとまとめ

239-254_150_法学部-1510_法律学科-05_キャリア形成科目_本文.indd　244　2014/10/14　17:17:50

【内容・方法　等】 授業を振り返る。
インターンシップの目的を再考する。
【事前・事後学習課題】 インターンシップで何を身につけたいかをもう一度考えて下さい。

評価方法（基準）
発表（３０％）、提出物（３０％）、授業態度（４０％）による総合評価とします。

教材等
教科書…必要に応じてレジュメを配布
参考書…必要に応じて推薦図書を提示

学生へのメッセージ
インターンシップの流れ　※４月下旬にリスト公開→５月上旬に希望事業所の絞り込み→５月下旬に就職部から受け入れ可否の回答→６月末頃に事前訪問→８月上旬から実習（予定）

関連科目
インターンシップⅡ（企業での就業体験実習）を希望する学生は、必ずこの科目を同時履修すること

担当者の研究室等
７号館３階　キャリア教育推進室

インターンシップII
Internship II

富　岡　直　美（トミオカ　ナオミ）
石　井　三　恵（イシイ　ミエ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期非終講	履修申請要領参照	1

授業概要・目的・到達目標
インターンシップの目的は、実際の仕事現場の一員として業務を担当させていただくことで社会人の方々がどのような考え方で働かれているのか、特に社会における仕事の役割、仕事の成果、仕事に対する責任と充実感を肌で感じてもらうことです。
インターンシップⅡでは、インターンシップ実習の機会を最大限に活用し、自分や社会をより理解し、将来の選択肢や可能性を広げることを目標とします。

授業方法と留意点
事前指導→インターンシップ実習→事後指導
実習中は、大学の代表、そして実習先の一員としての意識を持って参加してください。

科目学習の効果（資格）
就職活動や将来を考えるうえでの貴重な出会いや気づきを得ることができます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】 直前教育①
６月２１日（土）　３限目（予定）
【内容・方法　等】 インターンシップの心構え
今後のスケジュールの確認
【事前・事後学習課題】 社会人を意識したスーツ着用
第２回　【授業テーマ】 直前教育②
６月２１日（土）　４限目（予定）
【内容・方法　等】 報告書の書き方、注意点/マナー・身だしなみの最終確認
【事前・事後学習課題】 マナーについて考えて下さい。
第３回　【授業テーマ】 直前教育③
６月２８日（土）　３限目（予定）
【内容・方法　等】 プレゼンテーション①
【事前・事後学習課題】 他者に何かを伝える際に気を付けることを考えて下さい。
第４回　【授業テーマ】 直前教育④
６月２８日（土）　４限目（予定）
【内容・方法　等】 プレゼンテーション②
【事前・事後学習課題】 インターンシップで何を学びたいのかを考えて下さい。
第５回　【授業テーマ】 インターンシップ実習
【内容・方法　等】 夏季休暇中に二週間以上
【事前・事後学習課題】 実習中は毎日日誌をつけること。
第６回　【授業テーマ】 インターンシップ実習
【内容・方法　等】 夏季休暇中に二週間以上
【事前・事後学習課題】 事前に立てた目標を意識して参加してください。
第７回　【授業テーマ】 体験報告書の作成・提出・指導
【内容・方法　等】 報告書提出/ゼミ教員・インターンシップ担当教員における報告書のチェックと指導
（担当教員への提出と教務課へ電子データを提出）
【事前・事後学習課題】 事前指導の通りに報告書を作成する。
提出前に必ず推敲を行うこと。
第８回　【授業テーマ】 事後指導①
９月２７日（土）　３限目（予定）
【内容・方法　等】 体験報告会に向けたプレゼン指導及び個人発表
【事前・事後学習課題】 個人発表用のレジュメを準備し、プレゼンテーションができるようにして下さい。
第９回　【授業テーマ】 事後指導②
９月２７日（土）　４限目（予定）
【内容・方法　等】 体験報告会に向けたプレゼン指導及び個人発表
【事前・事後学習課題】 個人発表用のレジュメを準備し、プレゼンテーションができるようにして下さい。
第10回　【授業テーマ】 事後指導③
１０月１８日（土）　３限目（予定）
【内容・方法　等】 体験報告会に向けたプレゼン指導及び個人発表
【事前・事後学習課題】 代表者はスライドを作成し、プレゼンテーションの準備をして下さい。
第11回　【授業テーマ】 事後指導④
１０月１８日（土）　４限目（予定）
【内容・方法　等】 体験報告会に向けたプレゼン指導及び個人発表
【事前・事後学習課題】 代表者はスライドを作成し、プレゼンテーションの準備をして下さい。
第12回　【授業テーマ】 事後指導⑤
１０月２５日（土）　３限目（予定）
【内容・方法　等】 インターンシップを振り返る
（実習記録簿の提出）
【事前・事後学習課題】 実習記録簿を見直して来てください。
第13回　【授業テーマ】 事後指導⑥
１０月２５日（土）　４限目（予定）
【内容・方法　等】 インターンシップを振り返る
【事前・事後学習課題】 実習記録簿を見直して来てください。
第14回　【授業テーマ】 事後指導⑦
１１月８日（土）　1限目（予定）
【内容・方法　等】 全体報告会
学生代表者の発表
【事前・事後学習課題】 学生代表者はパワーポイントで10分で報告ができるように準備してください。
第15回　【授業テーマ】 事後指導⑧
１１月８日（土）　2限目（予定）
【内容・方法　等】 全体報告会
受け入れ企業管理者の講演とまとめ（予定）
【事前・事後学習課題】 全員スーツ着用

評価方法（基準）
企業による報告書（20％）、体験報告書など提出物（40％）、発表を含む授業態度（40％）による総合評価とします。

教材等
教科書…必要に応じてレジュメ配布
参考書…必要に応じて推薦図書を提示

学生へのメッセージ
インターンシップⅠを必ず履修してください。
インターンシップⅠの履修には、3月のガイダンスに出席し履修申し込み書を提出する必要があります。
履修希望者が多い場合は、選考することがあります。

関連科目
インターンシップⅠ

担当者の研究室等
７号館３階　キャリア教育推進室

日本語能力開発I
Development of Japanese Language Ability I

丹　下　暖　子（タンゲ　アツコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ＡＢＣ	前期	選択必修	1

授業概要・目的・到達目標
文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を高めることを目的とする。
大学でのレポート・論文の作成、また社会に出てからの文書の作成に必要な、「事実を客観的に説明する」、「意見を論理的に記述する」力を養成することに重点を置く。
考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、など、文章化する際の基礎を実践的にトレーニングする。

授業方法と留意点
文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、文章作成を行う。
数回の課題を提出し、最後にはレポートを提出する。
毎回語彙力・表現力を養成するテストを行う。

科目学習の効果（資格）
文章作成の能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】 導入
文章の書き方１

239-254_150_法学部-1510_法律学科-05_キャリア形成科目_本文.indd　245　2014/10/14　17:17:50

【内容・方法　等】 授業の目的、進め方の説明
レポート・論文の基本事項を学ぶ
【事前・事後学習課題】 ――――
第２回 【授業テーマ】 文章の書き方２
【内容・方法　等】 わかりやすい文章の書き方を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第３回 【授業テーマ】 事実と意見
【内容・方法　等】 事実と意見の書き分け、論理的に説明する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第４回 【授業テーマ】 【課題１】説明文
【内容・方法　等】 ある事物について、論理的に説明する文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第５回 【授業テーマ】 構成
【内容・方法　等】 レポートなどの文章構成を学ぶ
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
第６回 【授業テーマ】 フィードバック
【内容・方法　等】 課題１のフィードバック
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第７回 【授業テーマ】 要約
【内容・方法　等】 要旨の要約の作成方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題１を見直す
第８回 【授業テーマ】 文章を引用する
【内容・方法　等】 文章を引用する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第９回 【授業テーマ】 図表を引用する
意見を述べる
【内容・方法　等】 図表を引用する方法を学ぶ
考察に基づいて意見を述べる方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第10回 【授業テーマ】 【課題２】論説文
【内容・方法　等】 資料を引用して意見を述べる文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第11回 【授業テーマ】 レポートの書き方１
【内容・方法　等】 レポートの体裁について学ぶ
レポート課題の説明
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
第12回 【授業テーマ】 フィードバック
レポートの書き方２
【内容・方法　等】 課題２のフィードバック
レポート作成の注意点をおさえる
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第13回 【授業テーマ】 資料収集の方法
【内容・方法　等】 文献の検索について学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題２を見直す
第14回 【授業テーマ】 小テストの復習
【 レポート 】
【内容・方法　等】 小テストの復習テスト
レポートを提出する
【事前・事後学習課題】 小テストの復習
レポートを作成する
第15回 【授業テーマ】 レポートの講評
【内容・方法　等】 レポートについて講評する
【事前・事後学習課題】 これまでの復習

評価方法（基準）
課題・レポート（70%）、授業への取り組みなど（30%）により総合的に評価する。
課題、レポートの提出は必須。場合によっては再提出も求める。

教材等
教科書…『大学生の日本語文章表現』
参考書…授業中に指示する。

学生へのメッセージ
日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別しなくてはなりません。これからの大学生活、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。

関連科目
キャリアデザイン

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

日本語能力開発I
Development of Japanese Language Ability I

舩　田　淳　一（フナタ　ジュンイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ＡＢＣ	前期	選択必須	1

授業概要・目的・到達目標
文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を高めることを目的とする。
大学でのレポート・論文の作成、また社会に出てからの文書の作成に必要な、「事実を客観的に説明する」、「意見を論理的に記述する」力を養成することに重点を置く。
考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、など、文章化する際の基礎を実践的にトレーニングする。

授業方法と留意点
文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、文章作成を行う。
数回の課題を提出し、最後にはレポートを提出する。
毎回語彙力・表現力を養成するテストを行う。

科目学習の効果（資格）
文章作成の能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 導入
文章の書き方１
【内容・方法　等】 授業の目的、進め方の説明
レポート・論文の基本事項を学ぶ
【事前・事後学習課題】 ――――
第２回 【授業テーマ】 文章の書き方２
【内容・方法　等】 わかりやすい文章の書き方を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第３回 【授業テーマ】 事実と意見
【内容・方法　等】 事実と意見の書き分け、論理的に説明する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第４回 【授業テーマ】 【課題１】説明文
【内容・方法　等】 ある事物について、論理的に説明する文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第５回 【授業テーマ】 構成
【内容・方法　等】 レポートなどの文章構成を学ぶ
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
第６回 【授業テーマ】 フィードバック
【内容・方法　等】 課題１のフィードバック
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第７回 【授業テーマ】 要約
【内容・方法　等】 要旨の要約の作成方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題１を見直す
第８回 【授業テーマ】 文章を引用する
【内容・方法　等】 文章を引用する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第９回 【授業テーマ】 図表を引用する
意見を述べる
【内容・方法　等】 図表を引用する方法を学ぶ
考察に基づいて意見を述べる方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第10回 【授業テーマ】 【課題２】論説文
【内容・方法　等】 資料を引用して意見を述べる文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第11回 【授業テーマ】 レポートの書き方１
【内容・方法　等】 レポートの体裁について学ぶ
レポート課題の説明
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
第12回 【授業テーマ】 フィードバック
レポートの書き方２
【内容・方法　等】 課題２のフィードバック
レポート作成の注意点をおさえる
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第13回 【授業テーマ】 資料収集の方法
【内容・方法　等】 文献の検索について学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題２を見直す
第14回 【授業テーマ】 小テストの復習
【 レポート 】
【内容・方法　等】 小テストの復習テスト
レポートを提出する
【事前・事後学習課題】 小テストの復習
レポートを作成する
第15回 【授業テーマ】 レポートの講評
【内容・方法　等】 レポートについて講評する
【事前・事後学習課題】 これまでの復習

評価方法（基準）
課題・レポート（70%）、授業への取り組みなど（30%）により総合的に評価する。
課題、レポートの提出は必須。場合によっては再提出も求める。

教材等
教科書…『大学生の日本語文章表現』
参考書…授業中に指示する。

学生へのメッセージ
日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別しなくてはなりません。これからの大学生活、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。

関連科目
キャリアデザイン

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

239-254_150_法学部-1510_法律学科-05_キャリア形成科目_本文.indd　246　2014/10/14　17:17:50

日本語能力開発Ⅰ
Development of Japanese Language Ability Ⅰ

細　川　知佐子（ホソカワ　チサコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ＤＥＩＪ	前期	選択必修	1

授業概要・目的・到達目標
文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を高めることを目的とする。
大学でのレポート・論文の作成、また社会に出てからの文書の作成に必要な、「事実を客観的に説明する」、「意見を論理的に記述する」力を養成することに重点を置く。
考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、など、文章化する際の基礎を実践的にトレーニングする。

授業方法と留意点
文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、文章作成を行う。
数回の課題を提出し、最後にはレポートを提出する。
毎回語彙力・表現力を養成するテストを行う。

科目学習の効果（資格）
文章作成の能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】** 導入
文章の書き方１
【内容・方法　等】 授業の目的、進め方の説明
レポート・論文の基本事項を学ぶ
【事前・事後学習課題】 ――――
第２回　**【授業テーマ】** 文章の書き方２
【内容・方法　等】 わかりやすい文章の書き方を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第３回　**【授業テーマ】** 事実と意見
【内容・方法　等】 事実と意見の書き分け、論理的に説明する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第４回　**【授業テーマ】** 【課題１】説明文
【内容・方法　等】 ある事物について、論理的に説明する文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第５回　**【授業テーマ】** 構成
【内容・方法　等】 レポートなどの文章構成を学ぶ
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
第６回　**【授業テーマ】** フィードバック
【内容・方法　等】 課題１のフィードバック
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第７回　**【授業テーマ】** 要約
【内容・方法　等】 要旨の要約の作成方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題１を見直す
第８回　**【授業テーマ】** 文章を引用する
【内容・方法　等】 文章を引用する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第９回　**【授業テーマ】** 図表を引用する
意見を述べる
【内容・方法　等】 図表を引用する方法を学ぶ
考察に基づいて意見を述べる方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第10回　**【授業テーマ】** 【課題２】論説文
【内容・方法　等】 資料を引用して意見を述べる文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第11回　**【授業テーマ】** レポートの書き方１
【内容・方法　等】 レポートの体裁について学ぶ
レポート課題の説明
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
第12回　**【授業テーマ】** フィードバック
レポートの書き方２
【内容・方法　等】 課題２のフィードバック
レポート作成の注意点をおさえる
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第13回　**【授業テーマ】** 資料収集の方法
【内容・方法　等】 文献の検索について学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題２を見直す
第14回　**【授業テーマ】** 小テストの復習
【 レポート 】
【内容・方法　等】 小テストの復習テスト
レポートを提出する
【事前・事後学習課題】 小テストの復習
レポートを作成する
第15回　**【授業テーマ】** レポートの講評
【内容・方法　等】 レポートについて講評する
【事前・事後学習課題】 これまでの復習

評価方法（基準）
課題・レポート（70％）、授業への取り組みなど（30％）により総合的に評価する。
課題、レポートの提出は必須。場合によっては再提出も求める。

教材等
教科書…『大学生の日本語文章表現』
参考書…授業中に指示する。

学生へのメッセージ
日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別しなくてはなりません。これからの大学生活、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。

関連科目
キャリアデザイン

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

日本語能力開発Ⅰ
Development of Japanese Language Ability Ⅰ

西　尾　元　伸（ニシオ　モトノブ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ＤＥＩＪ	前期	選択必修	1

授業概要・目的・到達目標
文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を高めることを目的とする。
大学でのレポート・論文の作成、また社会に出てからの文書の作成に必要な、「事実を客観的に説明する」、「意見を論理的に記述する」力を養成することに重点を置く。
考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、など、文章化する際の基礎を実践的にトレーニングする。

授業方法と留意点
文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、文章作成を行う。
数回の課題を提出し、最後にはレポートを提出する。
毎回語彙力・表現力を養成するテストを行う。

科目学習の効果（資格）
文章作成の能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】** 導入
文章の書き方１
【内容・方法　等】 授業の目的、進め方の説明
レポート・論文の基本事項を学ぶ
【事前・事後学習課題】 ――――
第２回　**【授業テーマ】** 文章の書き方２
【内容・方法　等】 わかりやすい文章の書き方を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第３回　**【授業テーマ】** 事実と意見
【内容・方法　等】 事実と意見の書き分け、論理的に説明する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第４回　**【授業テーマ】** 【課題１】説明文
【内容・方法　等】 ある事物について、論理的に説明する文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第５回　**【授業テーマ】** 構成
【内容・方法　等】 レポートなどの文章構成を学ぶ
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
第６回　**【授業テーマ】** フィードバック
【内容・方法　等】 課題１のフィードバック
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第７回　**【授業テーマ】** 要約
【内容・方法　等】 要旨の要約の作成方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題１を見直す
第８回　**【授業テーマ】** 文章を引用する
【内容・方法　等】 文章を引用する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第９回　**【授業テーマ】** 図表を引用する
意見を述べる
【内容・方法　等】 図表を引用する方法を学ぶ
考察に基づいて意見を述べる方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第10回　**【授業テーマ】** 【課題２】論説文
【内容・方法　等】 資料を引用して意見を述べる文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第11回　**【授業テーマ】** レポートの書き方１
【内容・方法　等】 レポートの体裁について学ぶ
レポート課題の説明
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
第12回　**【授業テーマ】** フィードバック
レポートの書き方２
【内容・方法　等】 課題２のフィードバック
レポート作成の注意点をおさえる
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第13回　**【授業テーマ】** 資料収集の方法
【内容・方法　等】 文献の検索について学ぶ

239-254_150_法学部-1510_法律学科-05_キャリア形成科目_本文.indd　247　2014/10/14　17:17:50

【事前・事後学習課題】 課題２を見直す
第14回 【授業テーマ】 小テストの復習
【レポート】
【内容・方法　等】 小テストの復習テスト
レポートを提出する
【事前・事後学習課題】 小テストの復習
レポートを作成する
第15回 【授業テーマ】 レポートの講評
【内容・方法　等】 レポートについて講評する
【事前・事後学習課題】 これまでの復習

評価方法（基準）
課題・レポート（70%）、授業への取り組みなど（30%）により総合的に評価する。
課題、レポートの提出は必須。場合によっては再提出も求める。

教材等
教科書…『大学生の日本語文章表現』
参考書…授業中に指示する。

学生へのメッセージ
日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別しなくてはなりません。これからの大学生活、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。

関連科目
キャリアデザイン

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

日本語能力開発I
Development of Japanese Language Ability I

河　原　匡　見（カワラ　マサミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ＧＨ	前期	選択必修	1

授業概要・目的・到達目標
文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を高めることを目的とする。
大学でのレポート・論文の作成、また社会に出てからの文書の作成に必要な、「事実を客観的に説明する」、「意見を論理的に記述する」力を養成することに重点を置く。
考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、など、文章化する際の基礎を実践的にトレーニングする。

授業方法と留意点
文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、文章作成を行う。
数回の課題を提出し、最後にはレポートを提出する。
毎回語彙力・表現力を養成するテストを行う。

科目学習の効果（資格）
文章作成の能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 導入
文章の書き方１
【内容・方法　等】 授業の目的、進め方の説明
文章表現の基礎を学ぶ
【事前・事後学習課題】 ――――
第２回 【授業テーマ】 文章の書き方２
【内容・方法　等】 文章表現の基礎を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第３回 【授業テーマ】 事実と意見
【内容・方法　等】 事実を述べる文章と意見を述べる文章の違い、論理的に説明する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第４回 【授業テーマ】 【課題１】
【内容・方法　等】 ある事物について、論理的に説明する文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第５回 【授業テーマ】 構成
【内容・方法　等】 レポートなどの文章構成を学ぶ
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
第６回 【授業テーマ】 フィードバック
【内容・方法　等】 課題１のフィードバック
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第７回 【授業テーマ】 要約
【内容・方法　等】 要約の方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題１を見直す
第８回 【授業テーマ】 引用１
【内容・方法　等】 文章を引用する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第９回 【授業テーマ】 引用２
【内容・方法　等】 グラフなどのデータを引用する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第10回 【授業テーマ】 【課題２】
【内容・方法　等】 資料を引用して意見を述べる文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第11回 【授業テーマ】 レポートの書き方１
【内容・方法　等】 レポートの体裁について学ぶ
レポート課題の説明
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
第12回 【授業テーマ】 フィードバック
レポートの書き方２
【内容・方法　等】 課題２のフィードバック
レポート作成の注意点をおさえる
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第13回 【授業テーマ】 レポートの書き方３
【内容・方法　等】 レポートを書くための資料収集の方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題２を見直す
第14回 【授業テーマ】 小テストの復習
【レポート】
【内容・方法　等】 小テストの復習テスト
レポートを提出する
【事前・事後学習課題】 小テストの復習
レポートを作成する
第15回 【授業テーマ】 レポートの講評
【内容・方法　等】 レポートについて講評する
【事前・事後学習課題】 これまでの復習

評価方法（基準）
課題・レポート（70%）、授業への取り組みなど（30%）により総合的に評価する。
課題、レポートの提出は必須。場合によっては再提出も求める。

教材等
教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に指示します。

学生へのメッセージ
日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別しなくてはなりません。これからの大学生活、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。

関連科目
キャリアデザイン

担当者の研究室等
11号館10階　河原教授室

日本語能力開発II
Development of Japanese Language Ability II

丹　下　暖　子（タンゲ　アツコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ＡＢＣ	後期	選択必修	1

授業概要・目的・到達目標
文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を全般的に高めることを目的とする。
大学生活、就職活動、社会生活で必要な、考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、他人に納得してもらうためにはどのような話し方が適切か、などを実践的にトレーニングする。

授業方法と留意点
文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、グループディスカッションやプレゼンテーション、文章作成を行う。３回の課題を提出する。
毎回語彙力・表現力を養成するテストを行う。

科目学習の効果（資格）
社会生活に必要な書く・話す能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 導入
【内容・方法　等】 授業の目的、進め方の説明
【事前・事後学習課題】 ――――
第２回 【授業テーマ】 レポートの書き方
【内容・方法　等】 レポートの構成、資料の引用と考察、意見の述べ方を確認する
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第３回 【授業テーマ】 【課題１】レポートの作成
【内容・方法　等】 資料を引用して、意見を述べる文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第４回 【授業テーマ】 敬意を表す言葉
【内容・方法　等】 敬語の種類と用法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
第５回 【授業テーマ】 フィードバック
【内容・方法　等】 課題１のフィードバック
敬語の練習問題
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第６回 【授業テーマ】 手紙の書き方
【内容・方法　等】 手紙の書式・用語・マナーを学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題１を見直す

239-254_150_法学部-1510_法律学科-05_キャリア形成科目_本文.indd　248　2014/10/14　17:17:50

第７回　【授業テーマ】　【課題２】手紙
【内容・方法　等】　手紙を作成する
【事前・事後学習課題】　前回の復習
第８回　【授業テーマ】　電子メールの書き方
【内容・方法　等】　電子メールの基本とマナーを学ぶ
【事前・事後学習課題】　これまでの復習
第９回　【授業テーマ】　フィードバック
【内容・方法　等】　課題２のフィードバック
【事前・事後学習課題】　前回の復習
第10回　【授業テーマ】　ディスカッション１
【内容・方法　等】　グループ分けとディスカッションを行う
【事前・事後学習課題】　課題２を見直す
テーマの下調べ
第11回　【授業テーマ】　ディスカッション２
【内容・方法　等】　ディスカッションとプレゼンテーション資料の作成を行う
【事前・事後学習課題】　資料作成の準備
第12回　【授業テーマ】　プレゼンテーション１
【内容・方法　等】　資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う
【事前・事後学習課題】　発表の準備
第13回　【授業テーマ】　プレゼンテーション２
【内容・方法　等】　資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う
報告文の準備をする
【事前・事後学習課題】　発表の準備
第14回　【授業テーマ】　【課題３】報告文
【内容・方法　等】　ディスカッションの経過と結論を文書で報告する
【事前・事後学習課題】　報告文の準備
第15回　【授業テーマ】　小テストの復習
授業の総括
【内容・方法　等】　小テストの復習テスト
【事前・事後学習課題】　小テストの復習

評価方法（基準）
課題（70%）、授業への取り組みなど（30%）により総合的に評価する。
課題の提出は必須。場合によっては再提出も求める。

教材等
教科書…プリントを配布する。
参考書…授業中に指示する。

学生へのメッセージ
日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別しなくてはなりません。また、人前で話す日本語と日常の話し言葉も異なります。これからの大学生活、就職活動、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。

関連科目
キャリアデザイン

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

日本語能力開発II
Development of Japanese Language Ability II

舩　田　淳　一（フナタ　ジュンイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ＡＢＣ	後期	選択必修	1

授業概要・目的・到達目標
文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を全般的に高めることを目的とする。
大学生活、就職活動、社会生活で必要な、考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、他人に納得してもらうためにはどのような話し方が適切か、などを実践的にトレーニングする。

授業方法と留意点
文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、グループディスカッションやプレゼンテーション、文章作成を行う。３回の課題を提出する。
毎回語彙力・表現力を養成するテストを行う。

科目学習の効果（資格）
社会生活に必要な書く・話す能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　導入
【内容・方法　等】　授業の目的、進め方の説明
【事前・事後学習課題】　――――
第２回　【授業テーマ】　レポートの書き方
【内容・方法　等】　レポートの構成、資料の引用と考察、意見の述べ方を確認する
【事前・事後学習課題】　前回の復習
第３回　【授業テーマ】　【課題１】レポートの作成
【内容・方法　等】　資料を引用して、意見を述べる文章を書く
【事前・事後学習課題】　前回の復習
第４回　【授業テーマ】　敬意を表す言葉
【内容・方法　等】　敬語の種類と用法を学ぶ
【事前・事後学習課題】　これまでの復習
第５回　【授業テーマ】　フィードバック
【内容・方法　等】　課題１のフィードバック
敬語の練習問題
【事前・事後学習課題】　前回の復習
第６回　【授業テーマ】　手紙の書き方
【内容・方法　等】　手紙の書式・用語・マナーを学ぶ
【事前・事後学習課題】　課題１を見直す
第７回　【授業テーマ】　【課題２】手紙
【内容・方法　等】　手紙を作成する
【事前・事後学習課題】　前回の復習
第８回　【授業テーマ】　電子メールの書き方
【内容・方法　等】　電子メールの基本とマナーを学ぶ
【事前・事後学習課題】　これまでの復習
第９回　【授業テーマ】　フィードバック
【内容・方法　等】　課題２のフィードバック
【事前・事後学習課題】　前回の復習
第10回　【授業テーマ】　ディスカッション１
【内容・方法　等】　グループ分けとディスカッションを行う
【事前・事後学習課題】　課題２を見直す
テーマの下調べ
第11回　【授業テーマ】　ディスカッション２
【内容・方法　等】　ディスカッションとプレゼンテーション資料の作成を行う
【事前・事後学習課題】　資料作成の準備
第12回　【授業テーマ】　プレゼンテーション１
【内容・方法　等】　資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う
【事前・事後学習課題】　発表の準備
第13回　【授業テーマ】　プレゼンテーション２
【内容・方法　等】　資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う
報告文の準備をする
【事前・事後学習課題】　発表の準備
第14回　【授業テーマ】　【課題３】報告文
【内容・方法　等】　ディスカッションの経過と結論を文書で報告する
【事前・事後学習課題】　報告文の準備
第15回　【授業テーマ】　小テストの復習
授業の総括
【内容・方法　等】　小テストの復習テスト
【事前・事後学習課題】　小テストの復習

評価方法（基準）
課題（70%）、授業への取り組みなど（30%）により総合的に評価する。
課題の提出は必須。場合によっては再提出も求める。

教材等
教科書…プリントを配布する。
参考書…授業中に指示する。

学生へのメッセージ
日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別しなくてはなりません。また、人前で話す日本語と日常の話し言葉も異なります。これからの大学生活、就職活動、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。

関連科目
キャリアデザイン

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

日本語能力開発II
Development of Japanese Language Ability II

丹　下　暖　子（タンゲ　アツコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ＤＥＩＪ	後期	選択必修	1

授業概要・目的・到達目標
文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を全般的に高めることを目的とする。
大学生活、就職活動、社会生活で必要な、考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、他人に納得してもらうためにはどのような話し方が適切か、などを実践的にトレーニングする。

授業方法と留意点
文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、グループディスカッションやプレゼンテーション、文章作成を行う。３回の課題を提出する。

239-254_150_法学部-1510_法律学科-05_キャリア形成科目_本文.indd　249　2014/10/14　17:17:50

毎回語彙力・表現力を養成するテストを行う。

科目学習の効果（資格）

社会生活に必要な書く・話す能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** 導入
【内容・方法　等】 授業の目的、進め方の説明
【事前・事後学習課題】 ――――

第２回 **【授業テーマ】** レポートの書き方
【内容・方法　等】 レポートの構成、資料の引用と考察、意見の述べ方を確認する
【事前・事後学習課題】 前回の復習

第３回 **【授業テーマ】** 【課題１】レポートの作成
【内容・方法　等】 資料を引用して、意見を述べる文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習

第４回 **【授業テーマ】** 敬意を表す言葉
【内容・方法　等】 敬語の種類と用法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 これまでの復習

第５回 **【授業テーマ】** フィードバック
【内容・方法　等】 課題１のフィードバック
敬語の練習問題
【事前・事後学習課題】 前回の復習

第６回 **【授業テーマ】** 手紙の書き方
【内容・方法　等】 手紙の書式・用語・マナーを学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題１を見直す

第７回 **【授業テーマ】** 【課題２】手紙
【内容・方法　等】 手紙を作成する
【事前・事後学習課題】 前回の復習

第８回 **【授業テーマ】** 電子メールの書き方
【内容・方法　等】 電子メールの基本とマナーを学ぶ
【事前・事後学習課題】 これまでの復習

第９回 **【授業テーマ】** フィードバック
【内容・方法　等】 課題２のフィードバック
【事前・事後学習課題】 前回の復習

第10回 **【授業テーマ】** ディスカッション１
【内容・方法　等】 グループ分けとディスカッションを行う
【事前・事後学習課題】 課題２を見直す
テーマの下調べ

第11回 **【授業テーマ】** ディスカッション２
【内容・方法　等】 ディスカッションとプレゼンテーション資料の作成を行う
【事前・事後学習課題】 資料作成の準備

第12回 **【授業テーマ】** プレゼンテーション１
【内容・方法　等】 資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う
【事前・事後学習課題】 発表の準備

第13回 **【授業テーマ】** プレゼンテーション２
【内容・方法　等】 資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う
報告文の準備をする
【事前・事後学習課題】 発表の準備

第14回 **【授業テーマ】** 【課題３】報告文
【内容・方法　等】 ディスカッションの経過と結論を文書で報告する
【事前・事後学習課題】 報告文の準備

第15回 **【授業テーマ】** 小テストの復習
授業の総括
【内容・方法　等】 小テストの復習テスト
【事前・事後学習課題】 小テストの復習

評価方法（基準）

課題（70％）、授業への取り組みなど（30％）により総合的に評価する。
課題の提出は必須。場合によっては再提出も求める。

教材等

教科書…プリントを配布する。
参考書…授業中に指示する。

学生へのメッセージ

日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別しなくてはなりません。また、人前で話す日本語と日常の話し言葉も異なります。これからの大学生活、就職活動、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。

関連科目

キャリアデザイン

担当者の研究室等

７号館２階（非常勤講師室）

日本語能力開発ⅠⅠ

Development of Japanese Language AbilityII

細　川　知佐子（ホソカワ　チサコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ＤＥＩＪ	後期	選択必須	1

授業概要・目的・到達目標

文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を全般的に高めることを目的とする。
大学生活、就職活動、社会生活で必要な、考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、他人に納得してもらうためにはどのような話し方が適切か、などを実践的にトレーニングする。

授業方法と留意点

文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、グループディスカッションやプレゼンテーション、文章作成を行う。３回の課題を提出する。
毎回語彙力・表現力を養成するテストを行う。

科目学習の効果（資格）

社会生活に必要な書く・話す能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** 導入
【内容・方法　等】 授業の目的、進め方の説明
【事前・事後学習課題】 ――――

第２回 **【授業テーマ】** レポートの書き方
【内容・方法　等】 レポートの構成、資料の引用と考察、意見の述べ方を確認する
【事前・事後学習課題】 前回の復習

第３回 **【授業テーマ】** 【課題１】レポートの作成
【内容・方法　等】 資料を引用して、意見を述べる文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習

第４回 **【授業テーマ】** 敬意を表す言葉
【内容・方法　等】 敬語の種類と用法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 これまでの復習

第５回 **【授業テーマ】** フィードバック
【内容・方法　等】 課題１のフィードバック
敬語の練習問題
【事前・事後学習課題】 前回の復習

第６回 **【授業テーマ】** 手紙の書き方
【内容・方法　等】 手紙の書式・用語・マナーを学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題１を見直す

第７回 **【授業テーマ】** 【課題２】手紙
【内容・方法　等】 手紙を作成する
【事前・事後学習課題】 前回の復習

第８回 **【授業テーマ】** 電子メールの書き方
【内容・方法　等】 電子メールの基本とマナーを学ぶ
【事前・事後学習課題】 これまでの復習

第９回 **【授業テーマ】** フィードバック
【内容・方法　等】 課題２のフィードバック
【事前・事後学習課題】 前回の復習

第10回 **【授業テーマ】** ディスカッション１
【内容・方法　等】 グループ分けとディスカッションを行う
【事前・事後学習課題】 課題２を見直す
テーマの下調べ

第11回 **【授業テーマ】** ディスカッション２
【内容・方法　等】 ディスカッションとプレゼンテーション資料の作成を行う
【事前・事後学習課題】 資料作成の準備

第12回 **【授業テーマ】** プレゼンテーション１
【内容・方法　等】 資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う
【事前・事後学習課題】 発表の準備

第13回 **【授業テーマ】** プレゼンテーション２
【内容・方法　等】 資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う
報告文の準備をする
【事前・事後学習課題】 発表の準備

第14回 **【授業テーマ】** 【課題３】報告文
【内容・方法　等】 ディスカッションの経過と結論を文書で報告する
【事前・事後学習課題】 報告文の準備

第15回 **【授業テーマ】** 小テストの復習
授業の総括
【内容・方法　等】 小テストの復習テスト
【事前・事後学習課題】 小テストの復習

評価方法（基準）

課題（70％）、授業への取り組みなど（30％）により総合的に評価する。
課題の提出は必須。場合によっては再提出も求める。

教材等

教科書…プリントを配布する。
参考書…授業中に指示する。

学生へのメッセージ

日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別しなくてはなりません。また、人前で話す日本語と日常の話し言葉も異なります。これからの大学生活、就職活動、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。

関連科目

キャリアデザイン

担当者の研究室等

239-254_150_法学部-1510_法律学科-05_キャリア形成科目_本文.indd　250　2014/10/14　17:17:50

7号館2階（非常勤講師室）

日本語能力開発II
Development of Japanese Language Ability II

河　原　匡　見（カワラ　マサミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	GH	後期	選択必修	1

授業概要・目的・到達目標

文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を全般的に高めることを目的とする。

大学生活、就職活動、社会生活で必要な、考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、他人に納得してもらうためにはどのような話し方が適切か、などを実践的にトレーニングする。

授業方法と留意点

文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、グループディスカッションやプレゼンテーション、文章作成を行う。3回の課題を提出する。

毎回語彙力・表現力を養成するテストを行う。

科目学習の効果（資格）

社会生活に必要な書く・話す能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回　**【授業テーマ】** 導入
【内容・方法　等】 授業の目的、進め方の説明
【事前・事後学習課題】 ――――

第2回　**【授業テーマ】** レポートの書き方
【内容・方法　等】 レポートの構成、資料の引用と分析、意見の述べ方
【事前・事後学習課題】 前回の復習

第3回　**【授業テーマ】** 【課題1】レポートの作成
【内容・方法　等】 資料を引用して、意見を述べる文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習

第4回　**【授業テーマ】** 敬意を表す言葉
【内容・方法　等】 敬語の種類と用法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 これまでの復習

第5回　**【授業テーマ】** フィードバック
【内容・方法　等】 課題1のフィードバック
敬語の練習問題
【事前・事後学習課題】 前回の復習

第6回　**【授業テーマ】** 手紙
【内容・方法　等】 手紙の書式・用語・マナーを学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題1を見直す

第7回　**【授業テーマ】** 【課題2】手紙
【内容・方法　等】 手紙を作成する
【事前・事後学習課題】 前回の復習

第8回　**【授業テーマ】** フィードバック
【内容・方法　等】 課題2のフィードバック
【事前・事後学習課題】 これまでの復習

第9回　**【授業テーマ】** 電子メールの書き方
【内容・方法　等】 電子メールの基本とマナーを学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題2の見直し

第10回　**【授業テーマ】** ディスカッション1
【内容・方法　等】 グループ分けとディスカッション
【事前・事後学習課題】 テーマの下調べ

第11回　**【授業テーマ】** ディスカッション2
【内容・方法　等】 ディスカッションとプレゼンテーション資料の作成
【事前・事後学習課題】 資料作成の準備

第12回　**【授業テーマ】** プレゼンテーション1
【内容・方法　等】 資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う
【事前・事後学習課題】 発表の準備

第13回　**【授業テーマ】** プレゼンテーション2
【内容・方法　等】 資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う
報告文の準備
【事前・事後学習課題】 発表の準備

第14回　**【授業テーマ】** 【課題3】報告文
【内容・方法　等】 ディスカッションの経過と結論を文書で報告する
【事前・事後学習課題】 報告文の準備

第15回　**【授業テーマ】** 小テストの復習
授業の総括
【内容・方法　等】 小テストの復習テスト
【事前・事後学習課題】 小テストの復習

評価方法（基準）

課題（70%）、授業への取り組みなど（30%）により総合的に評価する。

課題の提出は必須。場合によっては再提出も求める。

教材等

教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に指示します。

学生へのメッセージ

日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別しなくてはなりません。また、人前で話す日本語と日常の話し言葉も異なります。これからの大学生活、就職活動、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。

関連科目

キャリアデザイン

担当者の研究室等

11号館10階　河原教授室

数的能力開発
Development of Arithmetic Ability

亀　田　峻　宣（カメダ　タカノブ）
岩　崎　飛　鳥（イワサキ　アスカ）
西　座　由　紀（ニシザ　ユキ）
橋　本　朗　子（ハシモト　アキコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択必修	1

授業概要・目的・到達目標

中学・高校の授業の中で数学が嫌い・苦手だったという人は多いと思います。この授業では社会人として必要とされる基礎的な数学力を身につけることを目的としています。社会人として算数・数学を使う場面は意外と多いですし、就職活動でも筆記試験で算数・数学はよく使われます。そのために、現段階から算数・数学を学習することで、数学の問題が解けるようになります。

授業方法と留意点

授業はオリジナル教材を元に行います。講義を自力で解く→解説→類題を解くという流れで、問題を確実に理解し、解けるようにしていきます。授業に集中して望むことで、社会で必要とされる算数・数学の力が向上するでしょう。

また、毎回小テストをするので講義で取り扱った問題の復習、宿題は必ず行うようにしてください。

科目学習の効果（資格）

大学生・社会人として必要最低限の数学の素養を身につける。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回　**【授業テーマ】** 実力テスト
【内容・方法　等】 講義概要説明、実力テストの実施
【事前・事後学習課題】 実力テストの復習

第2回　**【授業テーマ】** 算数・数学の基礎①
【内容・方法　等】 計算問題の基礎
【事前・事後学習課題】 講義で取り扱った問題の復習

第3回　**【授業テーマ】** 算数・数学の基礎②
【内容・方法　等】 方程式の基礎
【事前・事後学習課題】 講義で取り扱った問題の復習

第4回　**【授業テーマ】** 算数・数学の文章題①
【内容・方法　等】 速度算の文章題
【事前・事後学習課題】 講義で取り扱った問題の復習

第5回　**【授業テーマ】** 算数・数学の文章題②
【内容・方法　等】 割合の文章題
【事前・事後学習課題】 講義で取り扱った問題の復習

第6回　**【授業テーマ】** 算数・数学の文章題③
【内容・方法　等】 分数の文章題
【事前・事後学習課題】 講義で取り扱った問題の復習

第7回　**【授業テーマ】** 算数・数学の文章題④
【内容・方法　等】 金銭問題の文章題
【事前・事後学習課題】 講義で取り扱った問題の復習

第8回　**【授業テーマ】** 算数・数学の文章題⑤
【内容・方法　等】 場合の数の文章題
【事前・事後学習課題】 講義で取り扱った問題の復習

第9回　**【授業テーマ】** 中テスト
【内容・方法　等】 中テスト
【事前・事後学習課題】 今まで学習した問題全てを事前に復習

第10回　**【授業テーマ】** 社会で使う算数・数学①
【内容・方法　等】 集合問題・領域問題
【事前・事後学習課題】 講義で取り扱った問題の復習

第11回　**【授業テーマ】** 社会で使う算数・数学②
【内容・方法　等】 図表問題
【事前・事後学習課題】 講義で取り扱った問題の復習

第12回　**【授業テーマ】** 社会で使う算数・数学③
【内容・方法　等】 論証問題
【事前・事後学習課題】 講義で取り扱った問題の復習

第13回　**【授業テーマ】** 社会で使う算数・数学④
【内容・方法　等】 推理問題
【事前・事後学習課題】 講義で取り扱った問題の復習

239-254_150_法学部-1510_法律学科-05_キャリア形成科目_本文.indd　251　2014/10/14　17:17:50

第14回 【授業テーマ】 復習
【内容・方法　等】 復習
【事前・事後学習課題】 全ての問題を事前に復習
第15回 【授業テーマ】 最終テスト
【内容・方法　等】 最終テスト
【事前・事後学習課題】 全ての問題を事前に復習

評価方法（基準）
授業態度・出席状況・小テスト・テストなどから判断します

教材等
教科書…オリジナル教材を別途指示します。Smart SPIも利用します。
参考書…「仕事」に使える数学（ダイヤモンド社）

学生へのメッセージ
算数や数学を楽しんで学習してください。
また、質問はどんなことでも遠慮なく質問すること。

関連科目
キャリアデザインⅡ

担当者の研究室等
7号館3階　キャリア教育推進室

コミュニケーション能力開発
Development of Communication Ability

松　田　剛　典（マツダ　タケノリ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	ＡＢＣＤ	前期	履修申請要領参照	1

授業概要・目的・到達目標
就職活動時の筆記試験対策（言語、一般常識）について学びながら、社会で必要なコミュニケーションスキルを習得するための授業です。読む・書く・話す・聴くの４技能は社会で必要なスキルですが、すぐに身に付くことはできません。この授業では毎回、話す、聴く練習をしながら、就職活動で必要な一般常識や言語の知識について学びます。普段、ディスカッションをしたり、プレゼンを練習する機会はあまりありません。講座を通して社会で求められる力を身につけたい人は受講をお勧めします。

授業方法と留意点
一般常識、言語に関しては毎回小テストで自分の理解を確認しながら、言語の基礎を学びます。
また、授業を通してコミュニケーションスキルを養います。
グループワークや読み書きの体験を中心にした実践型の授業ですので、積極的な姿勢で参加してください。

科目学習の効果（資格）
就職活動に必要な言語の知識とコミュニケーション能力を身につける

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 コミュニケーションとは？
【内容・方法　等】 コミュニケーションとは？
なぜ、コミュニケーションが必要なのか？
【事前・事後学習課題】 シラバス熟読
第２回 【授業テーマ】 聞く技術、話す技術
【内容・方法　等】 聞く技術、話す技術について基本的な方法を学びます。
【事前・事後学習課題】 前週に配布する”２語の関係①”をしっかりと復習してきてください。
第３回 【授業テーマ】 企業について知る（時事）
【内容・方法　等】 就職サイトの求人情報を参考に、企業の情報や仕事内容の見方を知り、時事との関連を考えます。
【事前・事後学習課題】 前週に配布する”２語の関係②”をしっかりと復習してきてください。
第４回 【授業テーマ】 グループディスカッション　基礎
【内容・方法　等】 グループディスカッションの上手な進め方、役割を知ります。また、実際に体験します。
【事前・事後学習課題】 前週に配布する”語句の用法①”をしっかりと復習してきてください。
第５回 【授業テーマ】 ビジネスと経済＋GD体験①
【内容・方法　等】 企業のお金の流れと、経済の仕組みについて学びます。
【事前・事後学習課題】 新聞、ニュースを見ておいてください。
第６回 【授業テーマ】 ビジネスと法律＋GD体験②
【内容・方法　等】 企業活動と法律について学びます。
【事前・事後学習課題】 新聞、ニュースを見ておいてください。
第７回 【授業テーマ】 長文読解と書く技術
【内容・方法　等】 ロジカルシンキングや論理的な文章を書ける議寿を学びます。
【事前・事後学習課題】 新聞、ニュースを見ておいてください。
第８回 【授業テーマ】 グループディスカッション　発展①
【内容・方法　等】 就職活動等で頻出される、アイデアを出すタイプのグループディスカッションを体験します。
【事前・事後学習課題】 中間レポートを提出します。
前週に配布する”長文問題”をしっかりと復習してきてください。
第９回 【授業テーマ】 グループディスカッション　発展②
【内容・方法　等】 就職活動等で頻出される、ディベートタイプのグループディスカッションを体験します。
【事前・事後学習課題】 前週に配布する”長文問題”をしっかりと復習してきてください。
第10回 【授業テーマ】 プレゼンテーションについて
【内容・方法　等】 人前で上手に話す技術や聞き取りやすく分かりやすいプレゼンについて学びます。
【事前・事後学習課題】 前週に配布する”時事”をしっかりと復習してきてください。
第11回 【授業テーマ】 敬語とマナー①
【内容・方法　等】 社会に出るための最低限のマナーや態度について学びます。
【事前・事後学習課題】 前週に配布する”敬語”をしっかりと復習してきてください。
第12回 【授業テーマ】 敬語とマナー②
【内容・方法　等】 メールの書き方、電話対応など基本的なマナーと履歴書の書き方を学びます。
【事前・事後学習課題】 前週に配布する”敬語”をしっかりと復習してきてください。
第13回 【授業テーマ】 面接演習①
【内容・方法　等】 グループ面接を体験します。
【事前・事後学習課題】 面接の準備をしっかりとしてきてください。
第14回 【授業テーマ】 面接演習②
【内容・方法　等】 グループ面接を体験します。
【事前・事後学習課題】 レポートを提出があります。
第15回 【授業テーマ】 講義の振り返り
【内容・方法　等】 言語・一般常識確認テスト
レポート振り返り
【事前・事後学習課題】 全ての範囲を事前に勉強しておいてください。

評価方法（基準）
平常点６割　授業内レポート４割（中間と最終レポート）で評価します。

教材等
教科書…各回ごとにプリントを配布します。
参考書…なし

学生へのメッセージ
3年生の後半からは始まる進路選択に向けて実践的なコミュニケーションを体験しながら、筆記試験で出際される言語分野や一般常識についての学びます。

関連科目
キャリアデザインⅡ,数的能力開発

担当者の研究室等
3号館4階　キャリア教育推進室

コミュニケーション能力開発
Development of Communication Ability

松　田　剛　典（マツダ　タケノリ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	ＥＧＨＩ	前期	履修申請要領参照	1

授業概要・目的・到達目標
就職活動時の筆記試験対策（言語、一般常識）について学びながら、社会で必要なコミュニケーションスキルを習得するための授業です。読む・書く・話す・聴くの４技能は社会で必要なスキルですが、すぐに身に付くことはできません。この授業では毎回、話す、聴く練習をしながら、就職活動で必要な一般常識や言語の知識について学びます。普段、ディスカッションをしたり、プレゼンを練習する機会はあまりありません。講座を通して社会で求められる力を身につけたい人は受講をお勧めします。

授業方法と留意点
一般常識、言語に関しては毎回小テストで自分の理解を確認しながら、言語の基礎を学びます。
また、授業を通してコミュニケーションスキルを養います。
グループワークや読み書きの体験を中心にした実践型の授業ですので、積極的な姿勢で参加してください。

科目学習の効果（資格）
就職活動に必要な言語の知識とコミュニケーション能力を身につける

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 コミュニケーションとは？
【内容・方法　等】 コミュニケーションとは？
なぜ、コミュニケーションが必要なのか？

239-254_150_法学部-1510_法律学科-05_キャリア形成科目_本文.indd　252　2014/10/14　17:17:50

【事前・事後学習課題】 シラバス熟読

第２回 【授業テーマ】 聞く技術、話す技術
【内容・方法　等】 聞く技術、話す技術について基本的な方法を学びます。
【事前・事後学習課題】 前週に配布する”２語の関係①”をしっかりと復習してきてください。

第３回 【授業テーマ】 企業について知る（時事）
【内容・方法　等】 就職サイトの求人情報を参考に、企業の情報や仕事内容の見方を知り、時事との関連を考えます。
【事前・事後学習課題】 前週に配布する”２語の関係②”をしっかりと復習してきてください。

第４回 【授業テーマ】 グループディスカッション　基礎
【内容・方法　等】 グループディスカッションの上手な進め方、役割を知ります。また、実際に体験します。
【事前・事後学習課題】 前週に配布する”語句の用法①”をしっかりと復習してきてください。

第５回 【授業テーマ】 ビジネスと経済＋GD体験①
【内容・方法　等】 企業のお金の流れと、経済の仕組みについて学びます。
【事前・事後学習課題】 新聞、ニュースを見ておいてください。

第６回 【授業テーマ】 ビジネスと法律＋GD体験②
【内容・方法　等】 企業活動と法律について学びます。
【事前・事後学習課題】 新聞、ニュースを見ておいてください。

第７回 【授業テーマ】 長文読解と書く技術
【内容・方法　等】 ロジカルシンキングや論理的な文章を書ける議寿を学びます。
【事前・事後学習課題】 新聞、ニュースを見ておいてください。

第８回 【授業テーマ】 グループディスカッション　発展①
【内容・方法　等】 就職活動等で頻出される、アイデアを出すタイプのグループディスカッションを体験します。
【事前・事後学習課題】 中間レポートを提出します。
前週に配布する”長文問題”をしっかりと復習してきてください。

第９回 【授業テーマ】 グループディスカッション　発展②
【内容・方法　等】 就職活動等で頻出される、ディベートタイプのグループディスカッションを体験します。
【事前・事後学習課題】 前週に配布する”長文問題”をしっかりと復習してきてください。

第10回 【授業テーマ】 プレゼンテーションについて
【内容・方法　等】 人前で上手に話す技術や聞き取りやすく分かりやすいプレゼンについて学びます。
【事前・事後学習課題】 前週に配布する”時事”をしっかりと復習してきてください。

第11回 【授業テーマ】 敬語とマナー①
【内容・方法　等】 社会に出るための最低限のマナーや態度について学びます。
【事前・事後学習課題】 前週に配布する”敬語”をしっかりと復習してきてください。

第12回 【授業テーマ】 敬語とマナー②
【内容・方法　等】 メールの書き方、電話対応など基本的なマナーと履歴書の書き方を学びます。
【事前・事後学習課題】 前週に配布する”敬語”をしっかりと復習してきてください。

第13回 【授業テーマ】 面接演習①
【内容・方法　等】 グループ面接を体験します。
【事前・事後学習課題】 面接の準備をしっかりとしてきてください。

第14回 【授業テーマ】 面接演習②
【内容・方法　等】 グループ面接を体験します。
【事前・事後学習課題】 レポートを提出があります。

第15回 【授業テーマ】 講義の振り返り
【内容・方法　等】 言語・一般常識確認テスト
レポート振り返り
【事前・事後学習課題】 全ての範囲を事前に勉強しておいてください。

評価方法（基準）
平常点６割　授業内レポート４割（中間と最終レポート）で評価します。

教材等
教科書…各回ごとにプリントを配布します。
参考書…なし

学生へのメッセージ
3年生の後半からは始まる進路選択に向けて実践的なコミュニケーションを体験しながら、筆記試験で出際される言語分野や一般常識についての学びます。

関連科目
キャリアデザインⅡ,数的能力開発

担当者の研究室等
3号館4階　キャリア教育推進室

ビジネスマナーI
Bisiness Manner I

橋　本　朗　子（ハシモト　アキコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	履修申請要領参照	1

授業概要・目的・到達目標
授業概要：　マナーとは何か、社会とはどういうところか、社会人になるには何が必要かが、体験を通して理解できる。
目　的：　社会生活におけるマナーの重要性を理解し、社会人になる心の準備をすることを目的とする。
到達目標：　社会人になるために必要な態度を理解し、学んだマナーを就職活動や社会で実践できることを目標とする。

授業方法と留意点
ロールプレイやグループワークを多く取り入れるため、学生の積極的な参加が求められる。

科目学習の効果（資格）
就職活動でも社会に出ても、必須のビジネスマナーが身に付く。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 ビジネスマナーとは何か
【内容・方法　等】 授業のオリエンテーション
ビジネスマナーの必要性
ビジネスにおける最低限のルール
【事前・事後学習課題】 ビジネスマナーで大切な事を考えておいて下さい。

第２回 【授業テーマ】 第一印象
【内容・方法　等】 第一印象の重要性
第一印象をよくする方法
【事前・事後学習課題】 今後考えられる初対面のシーンを考えて下さい。

第３回 【授業テーマ】 身だしなみ
【内容・方法　等】 身だしなみと態度
【事前・事後学習課題】 身だしなみが何故大切なのかを考えて下さい。

第４回 【授業テーマ】 言葉づかい
【内容・方法　等】 敬語の仕組みと使い方
【事前・事後学習課題】 尊敬語と謙譲語について調べてきてください。

第５回 【授業テーマ】 電子メールのマナー
【内容・方法　等】 電子メールのルールと書き方
【事前・事後学習課題】 メールを送る時に気をつけている事を考えてきてください。

第６回 【授業テーマ】 ビジネス文書のマナー
【内容・方法　等】 ビジネス文書の書き方
【事前・事後学習課題】 日常でどんな文書を見たことがあるか考えてください。

第７回 【授業テーマ】 電話のマナー
【内容・方法　等】 電話の受け方とかけ方
【事前・事後学習課題】 電話をかけるときに気をつける事を考えて下さい。

第８回 【授業テーマ】 訪問のマナー
【内容・方法　等】 訪問のマナーと接遇
【事前・事後学習課題】 自分が訪問を受けた時にどんな人が印象に残るのかを考えて下さい。

第９回 【授業テーマ】 ホウレンソウ
【内容・方法　等】 報告・連絡・相談の仕方
【事前・事後学習課題】 報告と連絡の違いを考えて来てください。

第10回 【授業テーマ】 指示の受け方
【内容・方法　等】 指示の受け方
【事前・事後学習課題】 自分が人に指示した経験を思い出してください。

第11回 【授業テーマ】 名刺交換のマナー
【内容・方法　等】 名刺交換の仕方
【事前・事後学習課題】 名刺の役割について考えてください。

第12回 【授業テーマ】 会社説明会でのマナー
【内容・方法　等】 会社説明会で何をすればいいのか
【事前・事後学習課題】 会社説明会でのマナーについて、疑問点を挙げて来てください。

第13回 【授業テーマ】 面接でのマナー
【内容・方法　等】 面接の種類と面接官の狙いについて
面接での基本的な振る舞い方
【事前・事後学習課題】 面接でのマナーについて、疑問点を挙げて来てください。

第14回 【授業テーマ】 グループディスカッションのマナー
【内容・方法　等】 グループディスカッションの特徴
グループディスカッションの注意点
【事前・事後学習課題】 これまでを振り返って、グループにおける自分の役割を考えてください。

第15回 【授業テーマ】 振り返りとまとめ
【内容・方法　等】 授業の振り返り・まとめ

239-254_150_法学部-1510_法律学科-05_キャリア形成科目_本文.indd　253　2014/10/14　17:17:51

【事前・事後学習課題】 未提出のレポート等がないか確認をして下さい。

評価方法（基準）

平常点30%、グループ貢献度20%、レポート50%で総合評価する。

教材等

教科書…レジュメ配布
参考書…必要に応じて参考図書を紹介

学生へのメッセージ

マナーを身に付けることは社会人に仲間入りする第一歩です。何のためにそれをするのかを考え、積極的に参加してください。また、必要になってすぐできるものではありません。日頃から実践するように意識してください。

関連科目

キャリアデザインⅠ・Ⅱ、インターンシップⅠ・Ⅱ

担当者の研究室等

３号館４階　キャリア教育推進室

ビジネスマナーII
Bisiness Manner I

石　井　三　恵（イシイ　ミエ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

授業概要：企業等のビジネス組織においての積極的なコミュニケーションや人間関係調整の必要性をビジネスマナーの視点から理解する。
目　的：社会生活におけるマナーの重要性を認識し、社会人としての基礎能力を養う。
到達目標：社会人としてのマナーと言語能力の基礎を身につける。

授業方法と留意点

ロールプレイやワークを取り入れるため、学生の積極的な参加が求められる。

科目学習の効果（資格）

ビジネスマナーが身に付く。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 ビジネスマナーとは
【内容・方法　等】 授業のオリエンテーション
ビジネスにおける最低限のルール確認
【事前・事後学習課題】 ビジネスマナーⅠを受講した学生は学んだことを復習しておいてください。受講していない学生は自身のマナーについて考えてみましょう。

第２回 【授業テーマ】 正しい姿勢と動作
【内容・方法　等】 第一印象の重要性の確認
姿勢のワンポイントアドバイス
【事前・事後学習課題】 自身の第一印象の良い点、改善すべき点をメモしておきましょう。

第３回 【授業テーマ】 PDCAサイクルとYTT方式
【内容・方法　等】 PDCAサイクルの重要性
YTT方式の活用法
【事前・事後学習課題】 日常において段取りが悪かった事例の内容を５W２Hでまとめておきましょう。また、その改善点を考えましょう。

第４回 【授業テーマ】 アサーティブな自己表現
【内容・方法　等】 自分の意思を伝える方法
ロールプレイ
【事前・事後学習課題】 日常において伝えたくても伝えられなかった内容を思い出し、メモしておきましょう。また、相手に理解される伝え方を考えましょう。

第５回 【授業テーマ】 敬語表現と逆説得
【内容・方法　等】 敬語の復習とビジネスにおける「NO」の伝え方
【事前・事後学習課題】 敬語を復習しておきましょう。

第６回 【授業テーマ】 環境プロデューサーとしての言動
【内容・方法　等】 相手の適切な言動を引き出す環境づくり
【事前・事後学習課題】 「環境プロデューサー」の意味を考え、理解しましょう。

第７回 【授業テーマ】 見えない相手との距離と「誠意」
【内容・方法　等】 空間的及び心理的距離からみえる「誠意」とは
【事前・事後学習課題】 「誠意」の意味を考え、コミュニケーションにおける距離を理解しましょう。

第８回 【授業テーマ】 「確実・迅速・丁寧」と信頼関係
【内容・方法　等】 信頼関係の構築方法とコミュニケーションを築くキーワード
【事前・事後学習課題】 日常生活において「確実・迅速・丁寧」に行動できているか振り返りましょう。また、ビジネスにおいてなぜ「信頼関係」が必要なのか理解しましょう。

第９回 【授業テーマ】 処理業務の基本
【内容・方法　等】 来客応対、業務処理、重複業務処理とTPO
【事前・事後学習課題】 TPOの意味を考えましょう。

第10回 【授業テーマ】 処理業務の応用
【内容・方法　等】 来客応対、業務処理、重複業務処理の具体例とその解決手順
【事前・事後学習課題】 処理業務の事例からその解決手順を考えましょう。

第11回 【授業テーマ】 設営の基本
【内容・方法　等】 設営業務の基本
【事前・事後学習課題】 会議等を開催する手順を考えてみましょう。

第12回 【授業テーマ】 設営の応用
【内容・方法　等】 設営業務を生活に活かす方法
【事前・事後学習課題】 手順を理解したら、人が集まる会合等を計画してみましょう。

第13回 【授業テーマ】 ビジネスマナー再考　－わかることからできることへ－
【内容・方法　等】 必要とされるビジネスマナー
【事前・事後学習課題】 ビジネスマナーを再考し、その必要性を頭の中で理解し、「わかる」という段階から、身体と心の一致である行為を促し、「できる」という実践へ移行させると同時に、自信へと繋いでいきましょう。

第14回 【授業テーマ】 キャリア開発と自己啓発
【内容・方法　等】 自分で実践するキャリア開発
【事前・事後学習課題】 キャリア開発の必要性は何を意味しているか、考えてみましょう。

第15回 【授業テーマ】 振り返りまとめ
【内容・方法　等】 授業の振り返り
【事前・事後学習課題】 未提出のレポートがないか、確認してください。

評価方法（基準）

授業への参加度（30%）、ワークならびに小テスト（30%）、レポート（40%）を総合的に評価する。

教材等

教科書…レジュメ配布
参考書…必要に応じて参考図書を紹介

学生へのメッセージ

ビジネスマナーの基本は、幼いころから家庭や学校で学んだことの延長線上にあります。決して初めて学ぶことではなく、だれもが過去に成功体験や失敗体験を数多く持っています。まずは、TPOを考え、自分の言動を意識してみることから始めてましょう。

関連科目

キャリアデザインⅠ・Ⅱ、インターンシップⅠ・Ⅱ

担当者の研究室等

3号館4階キャリア推進室

239-254_150_法学部-1510_法律学科-05_キャリア形成科目_本文.indd　254　2014/10/14　17:17:51

教師論
Teacher Education

朝　日　素　明（アサヒ　モトアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標

教職に関する理解を深め、自己の適性を見つめ直し、最終的に教職をめざすことについて主体的な進路選択を行うための判断材料を提供します。学生は、「教職の意義とは何か」「教師の役割や責任は何か」「教師の職務とはどのようなものか」「教師として生きるとはどのようなことか」などについて基礎的な知識を獲得し、「自分は教師に向いているのか」「自分はどのような教師をめざすのか」などの意思決定ができるようになります。

授業方法と留意点

講義を中心に、グループワーク等も織り交ぜて授業を進めます。また適宜、レポートを課します。

「未来ポートフォリオ」を通じて資料配布、課題・レポートの提示・提出、ディスカッションをします。

「事前・事後学習課題」はすべて事前課題です。事後課題については別途、指示します。

科目学習の効果（資格）

教員免許取得上必修

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教職の意義等に関する科目

各科目に含める必要事項：教職の意義及び教員の役割・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）・進路選択に資する各種の機会の提供等

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　オリエンテーション
教職への道
【内容・方法　等】　科目概要・「未来ポートフォリオ」の使用について説明
自らの学校・生徒体験、心に残る教師等についてのふりかえり
教職課程の履修動機
教師になることの意味
【事前・事後学習課題】　「未来ポートフォリオのリマインダ設定」
本科目のシラバスの熟読

第２回　**【授業テーマ】**　教職の成立とその意義
【内容・方法　等】　公教育の成立
教職の誕生
戦前の教員養成
【事前・事後学習課題】　テキスト第１章

第３回　**【授業テーマ】**　教師教育と教職の専門性（１）
【内容・方法　等】　教員への道
戦後教員養成の原則と制度
教員免許制度の確立
【事前・事後学習課題】　テキスト第１０章

第４回　**【授業テーマ】**　教師教育と教職の専門性（２）
【内容・方法　等】　教員免許制度の新たな展開
教員採用の動向と採用試験
【事前・事後学習課題】　テキスト第４章・第１２章

第５回　**【授業テーマ】**　教師教育と教職の専門性（３）
【内容・方法　等】　教員の研修の意義
教員の研修の種類と体系
【事前・事後学習課題】　テキスト第３章

第６回　**【授業テーマ】**　教師教育と教職の専門性（４）
【内容・方法　等】　法定研修
教員の自己研修
【事前・事後学習課題】　教員研修体系に関する配布資料
テキスト第１１章

第７回　**【授業テーマ】**　さまざまな教師像（１）
【内容・方法　等】　戦前・戦後の教師像
憧れの教師
【事前・事後学習課題】　テキスト第２章・終章

第８回　**【授業テーマ】**　さまざまな教師像（２）
【内容・方法　等】　「不良教師」（文献・映像に基づく教師像の探究）
【事前・事後学習課題】　「不良教師」に関する配布資料

第９回　**【授業テーマ】**　さまざまな教師像（３）
【内容・方法　等】　「熱血教師」（文献・映像に基づく教師像の探究）
【事前・事後学習課題】　「熱血教師」に関する配布資料

第10回　**【授業テーマ】**　さまざまな教師像（４）
【内容・方法　等】　「人間教師」（文献・映像に基づく教師像の探究）
【事前・事後学習課題】　「人間教師」に関する配布資料

第11回　**【授業テーマ】**　さまざまな教師像（５）
【内容・方法　等】　「プロ教師」（文献・映像に基づく教師像の探究）
【事前・事後学習課題】　「プロ教師」に関する配布資料

第12回　**【授業テーマ】**　教員の役割・職務（１）
【内容・方法　等】　教室における指導者の視点からみた教員の役割・職務
【事前・事後学習課題】　テキスト第５章・第８章

第13回　**【授業テーマ】**　教員の役割・職務（２）
【内容・方法　等】　学校組織の構成員の視点からみた教員の役割・職務
【事前・事後学習課題】　テキスト第７章
教職員の構成と校務分掌に関する配布資料

第14回　**【授業テーマ】**　教員の役割・職務（３）
【内容・方法　等】　教員の任用と身分
教員の服務と身分保障
教員の勤務条件
【事前・事後学習課題】　教員の任用・服務等に関する配布資料

第15回　**【授業テーマ】**　教員の役割・職務（４）
【内容・方法　等】　教員のメンタルヘルス、バーンアウト
教育改革と教員
【事前・事後学習課題】　テキスト第９章

評価方法（基準）

定期試験を実施します。その他、レポートの内容、受講に係る積極的態度も成績判定の資料とします。

教材等

教科書…佐島群巳・小池俊夫『新版　教職論』学文社（1,600円＋税）

参考書…授業中に適宜、指示します。

学生へのメッセージ

教職について考えることは教育について考えることであり、「教え」「学び」「育ち」を含む「生き方」について考えることになります。教養をもとに、広い視野で物事を捉える習慣を身につけましょう。

遅刻・早退等は厳禁です。教師を目指す者としての資質が問われます。

関連科目

教職科目全般、とりわけ「教育原理」「教育経営論」「教育課程論」「教育方法論」「生徒指導論」に関連する事柄を含みます。

担当者の研究室等

7号館3階　朝日研究室

備考

「未来ポートフォリオ」のリマインダを、すべてを受信するよう設定し、情報を確実に受け取ることができるようにしておきましょう。

教育原理
Educational Principles

村　田　俊　明（ムラタ　トシアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標

人間形成は、自立を促すプロセスである。人間の発達は誕生と同時に始まるが、保護と養育、しつけと教育という意図的な営為のうちに、教育の意義が認められる。もし教育がなされなければ、どうなるかは野性児の記録が示す通りであり、教育によってのみ人間になれるのである。人間にとっての教育の必要性と可能性について検討していく。また、教育がめざすものは何か。のぞましい人間とはどのような人間かなどについて考えていく。その他教育がめざしてきた人間像や教育基本法などについて考えていく。

授業方法と留意点

初めて教育学を学ぶ教職履修学生に、教育の諸原理を講述する形で進めるが、可能な限り、受講生の意見や感想、あるいは質問に答えていきたい。

科目学習の効果（資格）

（１）高等学校教諭１種免許状　（２）中学校教諭１種免許状の取得　（３）学芸員資格の取得に必要です。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育の基礎理論に関する科目

各項目に含める必要事項：教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　教育とは何かを考える
【内容・方法　等】　（１）オリエンテーション－教職課程と履修動機－　（２）教育の意味－自らの経験に学ぶ－　（３）「学ぶ」立場から「教える」立場へ
【事前・事後学習課題】　予習：自分にとって「教育とは何か」について考えておく。

第２回　**【授業テーマ】**　人間形成のしくみを考える

257-275_150_法学部-1510_法律学科-06_教職科目_本文.indd　257　2014/08/21　14:46:01

【内容・方法　等】　（1）教育の必要性と可能性　（2）野生児の記録
【事前・事後学習課題】　予習：もし教育を受けることがなかったなら、どのようになるかについて考え、まとめておく。

第３回　【授業テーマ】　人間形成のしくみを考える
【内容・方法　等】　（1）教育・教化・形成　（2）人間形成と発達課題　（3）からだと心の教育　（4）ことばと文化の学習
【事前・事後学習課題】　予習：現代の発達課題について考え、まとめる。

第４回　【授業テーマ】　わが国における教育としつけを考える
【内容・方法　等】　（1）子どもの社会化　（2）しつけと教育
【事前・事後学習課題】　予習：しつけのいまと昔についてまとめておく。

第５回　【授業テーマ】　教育の思想－教育はどう考えられてきたか－（1）
【内容・方法　等】　ソクラテスの産婆術とソフィストの講演、暗記と体罰の教育、コメニウスの感覚主義的教育と「世界図絵」について知る。
【事前・事後学習課題】　予習：教科書「教育の思想－教育はどう考えられてきたか－」を読んでおく。

第６回　【授業テーマ】　教育の思想－教育はどう考えられてきたか－（2）
【内容・方法　等】　ロック、ルソー、ペスタロッチ、フレーベルからデューイに至る教育思想の系譜をたどり、近代教育思想の礎となった教育思想家に学ぶ。
【事前・事後学習課題】　復習：近代の教育思想と教育思想家の業績をまとめる。

第７回　【授業テーマ】　教育の思想－わが国の近代化と教育の関係を学ぶ。
【内容・方法　等】　福沢諭吉と「学問のすすめ」、森有礼と「学校令」、澤柳政太郎と開智学校など、わが国教育の近代化につくした教育家の思想と業績を知る。
【事前・事後学習課題】　復習：近代の教育思想と教育思想家について感想をまとめ提出する。

第８回　【授業テーマ】　教育の理念と目的について考える（1）
【内容・方法　等】　（1）「学制」と「被仰出書」　（2）教育勅語
【事前・事後学習課題】　予習：予習：わが国近代教育の理念を確認する。

第９回　【授業テーマ】　教育の理念と目的について考える（2）
【内容・方法　等】　（1）憲法の教育規定　（2）教育基本法を学ぶ－旧法・新法の比較を通して－　（3）学校教育法と教育の機会均等
【事前・事後学習課題】　予習：現行教育基本法の内容を確認する。

第10回　【授業テーマ】　学校の歴史的な意味と課題を考える
【内容・方法　等】　（1）学校とは何か　（2）学校の発達　（3）学校教育の展開と二つの歴史的エポック
【事前・事後学習課題】　予習：学校制度の発展について、何が分かったかをまとめる。

第11回　【授業テーマ】　教育の再生と学校改革
【内容・方法　等】　（1）教育改革の系譜　（2）自律的学校の創造　（3）「生きる力」と学力向上
【事前・事後学習課題】　予習：現代学校改革の課題についてレポートする。

第12回　【授業テーマ】　「教えること」と「学ぶこと」について考える
【内容・方法　等】　（1）教える・学ぶの成立条件　（2）「学ぶ力」と「生きる力」
【事前・事後学習課題】　予習：「教えること」と「学ぶこと」についての体験をまとめておく。

第13回　【授業テーマ】　授業とは何かを考える
【内容・方法　等】　（1）授業をつくる　（2）授業と教材　（3）授業の形態と技術　（4）授業と評価　（5）教育評価の意味を考える
【事前・事後学習課題】　予習：理想的な授業の条件についてまとめておく。

第14回　【授業テーマ】　教師のしごとについて考える
【内容・方法　等】　（1）教師のしごと　（2）子どもとの信頼関係　（3）教育公務員としての教師　（4）教師の成長と同僚
【事前・事後学習課題】　予習：教師のしごとにとって大事なことは何であるかをまとめておく。

第15回　【授業テーマ】　討論と反省
【内容・方法　等】　討論　教育原理を学んで得た新たな知見について
【事前・事後学習課題】　復習：二年次以降の教育学学習の課題を明確にする。

評価方法（基準）
定期試験成績、レポートの成績による総合評価を行う。

教材等
教科書…村田俊明　橋本はる美『教育探求の基礎』（税務経理協会）、2012年、2800円（本体）
参考書…J.A.L.シング『狼に育てられた子』（福村出版）1470円
平沢茂編著『教育の方法と技術』（図書文化）2000円
小林恵『「学習指導要領」の現在』（学文社）2800円

学生へのメッセージ
①自分の学習体験等を思い出してほしい。②教育関係の新聞報道等に常に関心を持ってほしい。③講義中に紹介する本も読んでほしい。

関連科目
「教育原理」「教育社会学」「道徳教育の研究」「教育心理学」「生徒指導論」「教育相談」「教育経営論」「教育実習Ⅰ」「教職実践演習」「各教科教育法」

担当者の研究室等
７号館３階(村田研究室)

教育心理学
Educational Psychology

吉　田　佐治子（ヨシダ　サチコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標
学校での教育活動において、教師の果たす役割は大きい。学習の質を高めるために、教師が学習者を理解し、様々な形で援助していくためにはどうすればよいのか、それを考えていくにあたって必要な、基本的な知識を身につけることを目標とし、特に、認知的な側面に焦点を当てて議論していく。具体的には、教育について考える際に、ある意味基本となる「発達と学習」、学習者が主体的に学ぶための「学習意欲」、個人差の理解、障害の理解と特別支援教育について考える「個に応じた教育」を中心とする。また、学校を学習の場としてとらえたときの「人間関係」についてもふれることとする。

授業方法と留意点
講義形式で行う。

科目学習の効果（資格）
教員免許状取得上必修，免許法施行規則に定められた「教育の基礎理論に関する科目」６単位のうち２単位を充足。
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：教育の基礎理論に関する科目
各科目に含める必要事項：幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　発達と教育と心理学と
【内容・方法　等】　教育に対して心理学ができること、発達と教育
【事前・事後学習課題】　――――

第２回　【授業テーマ】　教育を支える認知発達1
【内容・方法　等】　思考(1)……人間の思考の特徴
【事前・事後学習課題】　テキスト第8章、第9章を読む

第３回　【授業テーマ】　教育を支える認知発達2
【内容・方法　等】　思考(2)……思考の発達、メタ認知
【事前・事後学習課題】　テキスト第7章の1、第8章、第9章を読む

第４回　【授業テーマ】　教育を支える認知発達3
【内容・方法　等】　言語(1)……言語の機能、言語の発達
【事前・事後学習課題】　テキスト第9章の2、第11章を読む

第５回　【授業テーマ】　教育を支える認知発達4
【内容・方法　等】　言語(2)……文章理解
【事前・事後学習課題】　テキスト第11章を読む

第６回　【授業テーマ】　教育を支える認知発達5
【内容・方法　等】　記憶(1)……記憶のメカニズム
【事前・事後学習課題】　テキスト第4章、第5章を読む

第７回　【授業テーマ】　教育を支える認知発達6
【内容・方法　等】　記憶(2)……記憶の発達
【事前・事後学習課題】　テキスト第4章、第5章を読む

第８回　【授業テーマ】　こどもの学び1
【内容・方法　等】　様々な学習(1)……学習とは何か、古典的条件づけ
【事前・事後学習課題】　テキスト第1章を読む

第９回　【授業テーマ】　こどもの学び2
【内容・方法　等】　様々な学習(2)……道具的条件付け、観察学習
【事前・事後学習課題】　テキスト第1章を読む

第10回　【授業テーマ】　学習を支える動機づけ1
【内容・方法　等】　意欲とは何か……動機づけ過程、期待×価値理論、学習性無力感
【事前・事後学習課題】　テキスト第2章、第3章を読む

第11回　【授業テーマ】　学習を支える動機づけ2

257-275_150_法学部-1510_法律学科-06_教職科目_本文.indd　258　2014/08/21　14:46:01

【内容・方法　等】　さまざまな学習意欲(1)……外発的動機づけ
【事前・事後学習課題】　テキスト第2章、第3章を読む
第12回　【授業テーマ】　学習を支える動機づけ3
【内容・方法　等】　さまざまな学習意欲(2)……内発的動機づけ
【事前・事後学習課題】　テキスト第2章、第3章を読む
第13回　【授業テーマ】　学習を支える動機づけ4
【内容・方法　等】　学習意欲を育むために ……報酬と罰、評価、目標、教師の対応
【事前・事後学習課題】　テキスト第0章の2、第2章、第3章を読む
第14回　【授業テーマ】　個に応じた教育1
【内容・方法　等】　個人差の理解と教育……ATI、学習方略
【事前・事後学習課題】　テキスト第0章の3，第6章を読む
第15回　【授業テーマ】　個に応じた教育2
【内容・方法　等】　「障害」の理解と特別支援教育
【事前・事後学習課題】　テキスト第13章を読む

評価方法（基準）
小テスト30％　期末試験70％

教材等
教科書…「絶対役立つ教育心理学～実践の理論、理論を実践～」藤田哲也（編著）　ミネルヴァ書房（2800円）
参考書…授業の中で随時紹介する。

学生へのメッセージ
これまで受けてきた教育を思い出してください。また心理学の用語の中には、日常的に遣われているのとやや異なる意味で用いられるものがあることに留意してください。

関連科目
心理学

担当者の研究室等
７号館3階（吉田研究室）

教育社会学
Sociology of Education

村　田　俊　明（ムラタ　トシアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	教免取得上選択必修	2

授業概要・目的・到達目標
教育社会学は、社会的事実としての教育の営みを社会学的に研究する方法学である。講義は、主に教科書の内容に沿って、基本的概念や予備知識について講述する「基礎」とデータ分析を中心に行う「応用」から構成する。教育社会学が方法学であるといっても、具体的研究対象・内容と方法とは密接に関連するものであるから、教育の人間形成作用・社会化機能を縦軸に据え、教育社会学の多様な研究対象・内容のうち、現代教育制度改革・学校改革問題、わが国の教員集団と教員問題などを取り上げ、文科省の教員統計調査データ等を拠り所に分析・検討し、教育社会学の見方と方法を学ぶ。

授業方法と留意点
教育社会学の講義は、まず教科書の内容に沿って基本的概念や予備知識について講述する。受講生には意見発表等を求めるので、教科書を予習し、各章の問題点や意見を明らかにしておく。「基礎」「応用」とも、個人あるいはグループでデータを分析し、その結果について発表する。なお、パソコンを活用してデータの検索や分析を行う。

科目学習の効果（資格）
（1）高等学校教諭１種免許状　（2）中学校教諭１種免許状の取得に必要です。
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：教育の基礎理論に関する科目
各科目に含める必要事項：教育に関する社会的、制度的又は経営的事項

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　基礎　教育社会学とは何か
【内容・方法　等】　（1）教育社会学の課題と方法を知る
（2）教育社会学と社会化研究の意味を知る
【事前・事後学習課題】　事前課題：教科書（１－教育社会学とは」「１４－教育社会学の技法」）を読んでくる。
第２回　【授業テーマ】　基礎　現代社会と学校
【内容・方法　等】　（1）学校教育の拡大と学校化の病理を考える
（2）教育の機会均等の実現-「量」から「質」への転換-
（3）社会化環境としての分節型社会の特徴を理解する
【事前・事後学習課題】　事前課題：教科書（6－学校制度の社会学」）を読んで、問題点をまとめてくる。
第３回　【授業テーマ】　基礎　階層・学歴・職業
【内容・方法　等】　（1）高等教育の発展段階論-ユニバーサル段階の教育課題について考える－
（2）学歴社会を考える-学校の社会化、選抜・配分、正当化機能を考える－
【事前・事後学習課題】　事前課題：教科書（「１０－学校の社会的機能」「１１－高等教育の社会学」「１２－階層・学歴・職業」）を読んで、問題点をまとめてくる。
第４回　【授業テーマ】　基礎　学校空間と教育的知識
【内容・方法　等】　カリキュラム・教育的知識と社会化環境としての学校空間の意味を考える
【事前・事後学習課題】　事前課題：教科書（「７－教室空間・学校空間と教育過程」:「８－カリキュラムと教育的知識」:「９－学校の組織と文化」）を読んで、問題点をまとめてくる。
第５回　【授業テーマ】　基礎　現代社会の変貌と教育
【内容・方法　等】　高度情報社会の教育と社会化について考える
【事前・事後学習課題】　事前課題：教科書（「３－社会化環境の構造変容」）を読んで、問題点をまとめてくる。
第６回　【授業テーマ】　基礎　教育改革の動向と課題
【内容・方法　等】　わが国の教育改革がめざしてきたもの、世紀転換期における教育改革動向と課題について知る
【事前・事後学習課題】　事前：教科書（１３－教育改革と学習社会」）を読んで、問題点をまとめてくる。
第７回　【授業テーマ】　応用　教育改革の動向と課題（1）
【内容・方法　等】　教育制度改革・学校改革について考える
-学力テストと「脱ゆとり」に焦点をあてて-
【事前・事後学習課題】　事前課題：文部科学省のホームページなどを参照して、何が問題となっているかを調べておく。
事後課題：配布データから、わかったことをレポートする。
第８回　【授業テーマ】　応用　教育改革の動向と課題（2）
【内容・方法　等】　教育制度改革・学校改革について考える
-学校教育制度の改革に焦点をあてて-
【事前・事後学習課題】　事前課題：文部科学省のホームページなどを参照して、何が問題となっているかを調べておく。
事後課題：配布データから、わかったことをレポートする。
第９回　【授業テーマ】　応用　教育改革の動向と課題（3）
【内容・方法　等】　教育制度改革・学校改革について考える
-教育委員会改革に焦点をあてて-
【事前・事後学習課題】　事前課題：文部科学省のホームページなどを参照して、何が問題となっているかを調べておく。
事後課題：配布データから、わかったことをレポートする。
第10回　【授業テーマ】　応用　教員問題を検証する（1）
【内容・方法　等】　（1）教員問題の系譜と現在を知る
（2）日本の教師集団を検討する-都道府県別・学校種別・年齢別・性別・職位別教員構成の分析を通して-
【事前・事後学習課題】　事後課題：配布データから、わかったことをレポートする。
第11回　【授業テーマ】　応用　教員問題を検証する（2）
【内容・方法　等】　（3）求められる教師と教員養成、教員の需給関係、教員養成と教員採用を考える
【事前・事後学習課題】　事後課題　配布データからわかったことをレポートする。
第12回　【授業テーマ】　応用　教員問題を検証する（3）
【内容・方法　等】　（4）学校改善と学校評価を考える
-学校管理職調査データから-
【事前・事後学習課題】　事後課題　配布データからわかったことをレポートする。
第13回　【授業テーマ】　応用　教員問題を検証する（4）
【内容・方法　等】　（5）学校評価の事例研究
-A中学校の学校教育点検・評価の実際を検討する-
【事前・事後学習課題】　事後課題　配布データからわかったことをレポートする。
第14回　【授業テーマ】　応用　教員問題を検証する（5）
【内容・方法　等】　（6）教員評価を考える
-学校管理職調査データから-
【事前・事後学習課題】　事後課題　配布データからわかったことをレポートする。
第15回　【授業テーマ】　全体検討　学校・教師をめぐる諸問題と教育社会学研究について
【内容・方法　等】　まとめ　学校・教師をめぐる諸問題の構造的関連性を理解し、残された課題を明らかにする。
【事前・事後学習課題】　事後課題　「基礎・応用」を通じて関心をもったこと・わかったこと、新たに発見した課題をレポートをまとめる。

評価方法（基準）
定期試験成績、課題発表、レポートの成績による評価を行う。

教材等
教科書…天野郁夫、藤田英典、苅谷剛彦『改訂版　教育社会学』（放送大学教育振興会）、2010年、2200円（本体）
参考書…文部科学省『学校教員統計調査報告書（平成２２・２５年度）』国立印刷局、6000円
小林恵『学習指導要領の現在』（学文社）2800円
村田俊明『学校経営研究のポリフォニー』（税務経理協会）、2013年、1800円

学生へのメッセージ
文部科学省のホームページ、新聞等の教育関係の報道に関心を

257-275_150_法学部-1510_法律学科-06_教職科目_本文.indd　259　2014/08/21　14:46:01

持つ。レポートの提出、発表を求める。

関連科目

「教育原理」「教育社会学」「道徳教育の研究」「教育心理学」「生徒指導論」「教育相談」「教育経営論」「教育実習Ⅰ」「教職実践演習」「各教科教育法」

担当者の研究室等

７号館３階(村田研究室)

備考

共同担当者　橋本はる美

教育経営論
Studies of Educational Administration

朝　日　素　明（アサヒ　モトアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	教免取得上選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

本科目では、公教育システムに関してなじみの深い事例を参照し、そこから政策や法制、機構、理論や論争、現実や実態を明らかにし、検討していきます。これを通して、私たちにとってはあたりまえで意識することもないような、学校教育を中心とした公教育システムのしくみやはたらきについて理解します。具体的には、例えば「何をどう教えるのか」という内容的・技術的な事柄も、実はさまざまな制度やその運用のし方などによって決められている様子がわかります。

授業方法と留意点

プレゼンテーションソフトを用いた講義のほか、テキスト・資料の事前学習に基づくディスカッション（LTD；Learning Through Discussion）等のグループワークも織り交ぜて授業を進めます。事前学習は必須です。

「未来ポートフォリオ」を通して資料配布、課題・レポートの提示・提出のほか、ディスカッションもします。

「事前・事後学習課題」はすべて事前学習課題です。事後学習課題については別途、指示します。

科目学習の効果（資格）

教員免許取得上選択必修であり、可能な限り修得することが望ましい科目

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育の基礎理論に関する科目

各科目に含める必要事項：教育に関する社会的、制度的又は経営的事項

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　オリエンテーション
公教育とは
【内容・方法　等】　授業概要、方法としてのLTD、「未来ポートフォリオ」の使用について説明
公教育の成立前史
教育における「公」と「私」
【事前・事後学習課題】　「未来ポートフォリオ」のリマインダを設定しておく。

第２回　**【授業テーマ】**　教育権の構造
【内容・方法　等】　「教育をする権利」「教育を受ける権利」「学習する権利」
教育権論争について簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】　テキスト第３章１節を読んでくる。

第３回　**【授業テーマ】**　教育を受ける権利の保障
【内容・方法　等】　教育の制度原理
「義務制」「無償制」にかかわって簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】　テキスト第３章２節を読んでくる。

第４回　**【授業テーマ】**　学校体系のしくみ
【内容・方法　等】　段階性、系統性
学校体系の類型
学校の種類と設置者
【事前・事後学習課題】　テキスト第７章１・２節を読んでくる。

第５回　**【授業テーマ】**　学校体系の現代的課題
【内容・方法　等】　選別・分離と接続・統合
「選抜・選別」について簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】　テキスト第３章３節を読んでくる。
学校の機能に関する配布資料を読んでくる。

第６回　**【授業テーマ】**　教育条件整備の法制度と新しい動向
【内容・方法　等】　公教育を支える諸条件とは
条件整備はどのようになされるか
学校の「適正規模」「適正配置」にかかわって簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】　テキスト第７章２・３節を読んでくる。
学校統廃合に関する配布資料を読んでくる。

第７回　**【授業テーマ】**　学校の組織管理
【内容・方法　等】　教職員配置と組織編制
【事前・事後学習課題】　テキスト第４章１・２節を読んでくる。

第８回　**【授業テーマ】**　学校経営の新しい動向
【内容・方法　等】　「開かれた学校」
学校評議員制度、学校運営協議会制度
地域運営学校について簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】　テキスト第４章３・４節を読んでくる。
コミュニティスクールまたは学校参加に関する配布資料を読んでくる。

第９回　**【授業テーマ】**　教育課程経営
【内容・方法　等】　学習指導要領の性質と特徴の変遷
学力論争と教育評価論
学力低下論争をめぐって簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】　テキスト第１０章１・２節を読んでくる。
学力低下論争に関する配布資料を読んでくる。

第10回　**【授業テーマ】**　教科書制度と指導行政
【内容・方法　等】　教科書検定
教科書採択
制度をめぐって簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】　テキスト第１０章３・４節を読んでくる。
教科書検定または教科書採択制度に関する配布資料を読んでくる。

第11回　**【授業テーマ】**　社会教育行政
【内容・方法　等】　社会教育と生涯学習
社会教育の理念と展開
【事前・事後学習課題】　テキスト第８章１・２節を読んでくる。

第12回　**【授業テーマ】**　生涯学習社会への移行と生涯学習振興
【内容・方法　等】　社会教育行政の運営原則
社会教育の諸制度
社会教育不要論をめぐって簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】　テキスト第８章３・４節を読んでくる。
社会教育不要論に関する配布資料を読んでくる。

第13回　**【授業テーマ】**　教育行政のはたらきと地方教育行政組織
【内容・方法　等】　教育行政の原則
教育委員会のしくみとはたらき
教育委員会制度論の新動向に関して簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】　テキスト第２章１節を読んでくる。
教育委員会制度の動向に関する配布資料を読んでくる。

第14回　**【授業テーマ】**　国の教育行政と地方との関係
【内容・方法　等】　国の教育行政を動かす組織のしくみとはたらき
教育行政関係の新しい動向
【事前・事後学習課題】　テキスト第２章２・３節を読んでくる。

第15回　**【授業テーマ】**　教育費と教育財政
【内容・方法　等】　教育財政の考え方
国・地方の教育費と教育財政
義務教育費国庫負担制度とその改革
学校財務
【事前・事後学習課題】　テキスト第６章を読んでくる。

評価方法（基準）

定期試験60％、レポート30％、受講に係る積極的態度10％の割合で総合的に評価します。定期試験を受験しなかった場合は成績評価をしません。

教材等

教科書…勝野正章・藤本典裕『教育行政学　改訂版』学文社（1,800円＋税）

参考書…授業中に適宜、指示します。

学生へのメッセージ

教員採用試験で頻出の教育法規については授業中に折に触れ解説しますが、採用試験ではそれを基本としてさらに幅広い知識、深い理解と応用力が要求されます。本科目は採用試験対策のための講義ではありませんので、各自が自主的に採用試験受験準備に取り組んでください。

遅刻・早退等は厳禁です。専門職業人・教師としての資質が問われます。

関連科目

教職科目全般、とりわけ「教育原理」「教育社会学」「教師論」「教育課程論」に関連する事項を含みます。

担当者の研究室等

7号館3階　朝日研究室

備考

「未来ポートフォリオ」のリマインダを、すべてを受信するよう設定し、情報を確実に受け取ることができるようにしておきましょう。

教育課程論
Studise of Curriculum Developement

大　野　順　子（オオノ　ジュンコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

257-275_150_法学部-1510_法律学科-06_教職科目_本文.indd　260　2014/08/21　14:46:02

授業概要・目的・到達目標

（1）教育課程(カリキュラム)とは何かについて考える。教育課程(カリキュラム)はどのような目的から、どのような内容で編成されていったかについての歴史的経緯を考察する。また、同時に学校システムとの関わりから、その意義や役割を理解する。

（2）わが国における学習指導要領の変遷や戦前・戦後のカリキュラムの実践的開発を知ると共に、これからのカリキュラム開発の課題について考える。

授業方法と留意点

テキストを中心にプリント教材等を用いた講義を中心に授業を進めるが、状況によっては学生主体の発表（プレゼン）を行うなど、学生皆さんの授業への主体的な参加が求められる。各自が取得する免許教科の中学校・高等学校の教科書を複数概観することが望ましい。

科目学習の効果（資格）

教員免許（中学校・高等学校）取得上必修科目である。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育課程及び指導法に関する科目

各科目に含める必要事項：教育課程の意義及び編成の方法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** 教育課程とは何か／オリエンテーション
【内容・方法　等】 ・学校教育のもつ機能について
【事前・事後学習課題】 課題：シラバスに挙げているいずれかのテキストの該当する分を読んでおくこと。

第２回 **【授業テーマ】** 日本における教育課程の歴史的変遷
【内容・方法　等】 ・戦前から戦後（経験主義～系統主義：高度経済成長期）の教育課程変遷について
【事前・事後学習課題】 課題：テキストの該当する部分と授業（第1回目）で配布する資料に目を通しておくこと。

第３回 **【授業テーマ】** 日本における教育課程の歴史的変遷
【内容・方法　等】 ・1970年代以降､「ゆとり」への標榜から「生きる力」､そして現在までの教育課程変遷について
【事前・事後学習課題】 課題：テキストの該当する部分と授業（第1回目）で配布する資料に目を通しておくこと。

第４回 **【授業テーマ】** 教育課程（カリキュラム）の概念と構造、および教育課程編成について
【内容・方法　等】 ・その編成要素（内部要因と外部要因）について
【事前・事後学習課題】 課題：シラバスに挙げているいずれかのテキストの該当する分を読んでおくこと。

第５回 **【授業テーマ】** 教育評価
【内容・方法　等】 ・発達段階にふさわしい評価の方法とその特質
【事前・事後学習課題】 課題：事前に配布した資料を読んでおくこと。

第６回 **【授業テーマ】** 『総合的な学習の時間』について
【内容・方法　等】 ・導入の背景とそのねらいについて（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。

第７回 **【授業テーマ】** 学校化された社会
【内容・方法　等】 ・「隠れたカリキュラム」について（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。

第８回 **【授業テーマ】** 新しい教育課程　その１
【内容・方法　等】 ・「キャリア教育」について（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。

第９回 **【授業テーマ】** 新しい教育課程　その２
【内容・方法　等】 ・「人権教育／平和教育」について（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。

第10回 **【授業テーマ】** 新しい教育課程　その３
【内容・方法　等】 ・「シティズンシップ」教育とは（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。

第11回 **【授業テーマ】** 教育課程と教育改革　その１
【内容・方法　等】 ・特色のある学校づくり＝小中編（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。

第12回 **【授業テーマ】** 教育課程と教育改革　その２
【内容・方法　等】 ・特色のある学校づくり＝高校編（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。

第13回 **【授業テーマ】** 教育課程と教育格差　その１
【内容・方法　等】 ・学力格差と学力低下問題（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。

第14回 **【授業テーマ】** 教育課程と教育格差　その２
【内容・方法　等】 ・教育格差に抗する学校の取り組み（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。

第15回 **【授業テーマ】** 総括：教育課程をめぐる諸問題
【内容・方法　等】 海外の学校教育課程の動向と国内の問題（例：外国人児童生徒問題）
【事前・事後学習課題】 課題：事前に配布した資料を読んでおくこと。

評価方法（基準）

定期試験、レポート及び授業態度や授業への貢献度（発表を含む）など総合的に評価を行う。

教材等

教科書…田中耕治・水原克敏・三石初雄・西岡加名恵［著］　『新しい時代の教育課程　第3版』　有斐閣アルマ、2011年
参考書…その他、授業時に適宜紹介する。

学生へのメッセージ

教職科目の特質をよく理解し、実践的理解を深めることが大切である。そのため、各自の中学校・高等学校での体験をふりかえり、学ぶことの視点に立った、計画的学習を考えること。また「教育実習」を視野に入れた授業計画を考えることが重要。

関連科目

教職科目全般と関連がある。他の教職科目と重なる所や特徴点を整理していくことが重要。

担当者の研究室等

７号館３階(大野研究室)

備考

2009年度以前入学生は、（高校）教免取得上選択

教育課程論
Studies of Curriclum Development

大　野　順　子（オオノ　ジュンコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

（1）教育課程(カリキュラム)とは何かについて考える。教育課程(カリキュラム)はどのような目的から、どのような内容で編成されていったかについての歴史的経緯を考察する。また、同時に学校システムとの関わりから、その意義や役割を理解する。

（2）わが国における学習指導要領の変遷や戦前・戦後のカリキュラムの実践的開発を知ると共に、これからのカリキュラム開発の課題について考える。

授業方法と留意点

テキストを中心にプリント教材等を用いた講義を中心に授業を進めるが、状況によっては学生主体の発表（プレゼン）を行うなど、学生皆さんの授業への主体的な参加が求められる。各自が取得する免許教科の中学校・高等学校の教科書を複数概観することが望ましい。

科目学習の効果（資格）

教員免許（中学校・高等学校）取得上必修科目である。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育課程及び指導法に関する科目

各科目に含める必要事項：教育課程の意義及び編成の方法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** 教育課程とは何か／オリエンテーション
【内容・方法　等】 ・学校教育のもつ機能について
【事前・事後学習課題】 課題：シラバスに挙げているいずれかのテキストの該当する分を読んでおくこと。

第２回 **【授業テーマ】** 日本における教育課程の歴史的変遷
【内容・方法　等】 ・戦前から戦後（経験主義～系統主義：高度経済成長期）の教育課程変遷について
【事前・事後学習課題】 課題：テキストの該当する部分と授業（第1回目）で配布する資料に目を通しておくこと。

第３回 **【授業テーマ】** 日本における教育課程の歴史的変遷
【内容・方法　等】 ・1970年代以降､「ゆとり」への標榜から「生きる力」､そして現在までの教育課程変遷について
【事前・事後学習課題】 課題：テキストの該当する部分と授業（第1回目）で配布する資料に目を通しておくこと。

第４回 **【授業テーマ】** 教育課程（カリキュラム）の概念と構造、および教育課程編成について
【内容・方法　等】 ・その編成要素（内部要因と外部要因）について
【事前・事後学習課題】 課題：シラバスに挙げているいずれかのテキストの該当する分を読んでおくこと。

第５回 **【授業テーマ】** 教育評価
【内容・方法　等】 ・発達段階にふさわしい評価の方法とその特質

257-275_150_法学部-1510_法律学科-06_教職科目_本文.indd　261　2014/08/21　14:46:02

【事前・事後学習課題】 課題：事前に配布した資料を読んでおくこと。

第６回 【授業テーマ】 『総合的な学習の時間』について
【内容・方法　等】 ・導入の背景とそのねらいについて（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。

第７回 【授業テーマ】 学校化された社会
【内容・方法　等】 ・「隠れたカリキュラム」について（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。

第８回 【授業テーマ】 新しい教育課程　その１
【内容・方法　等】 ・「キャリア教育」について（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。

第９回 【授業テーマ】 新しい教育課程　その２
【内容・方法　等】 ・「人権教育／平和教育」について（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。

第10回 【授業テーマ】 新しい教育課程　その３
【内容・方法　等】 ・「シティズンシップ」教育とは（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。

第11回 【授業テーマ】 教育課程と教育改革　その１
【内容・方法　等】 ・特色のある学校づくり＝小中編（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。

第12回 【授業テーマ】 教育課程と教育改革　その２
【内容・方法　等】 ・特色のある学校づくり＝高校編（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。

第13回 【授業テーマ】 教育課程と教育格差　その１
【内容・方法　等】 ・学力格差と学力低下問題（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。

第14回 【授業テーマ】 教育課程と教育格差　その２
【内容・方法　等】 ・教育格差に抗する学校の取り組み（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。

第15回 【授業テーマ】 総括：教育課程をめぐる諸問題
【内容・方法　等】 海外の学校教育課程の動向と国内の問題（例：外国人児童生徒問題）
【事前・事後学習課題】 課題：事前に配布した資料を読んでおくこと。

評価方法（基準）
定期試験、レポート及び授業態度や授業への貢献度（発表を含む）など総合的に評価を行う。

教材等
教科書…田中耕治・水原克敏・三石初雄・西岡加名恵［著］　『新しい時代の教育課程　第3版』　有斐閣アルマ、2011年
参考書…その他、授業時に適宜紹介する。

学生へのメッセージ
教職科目の特質をよく理解し、実践的理解を深めることが大切である。そのため、各自の中学校・高等学校での体験をふりかえり、学ぶことの視点に立った、計画的学習を考えること。また「教育実習」を視野に入れた授業計画を考えることが重要。

関連科目
教職科目全般と関連がある。他の教職科目と重なる所や特徴点を整理していくことが重要。

担当者の研究室等
７号館３階(大野研究室)

備考
2009年度以前入学生は、（高校）教免取得上選択

社会科・地歴科教育法I
Geography and History Education Method I

井　上　正　英（イノウエ　マサヒデ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	「社会」「地歴」教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標
近代教育制度の変遷を考察する中で、社会科・地歴科が果たすそれぞれの使命と責任を理解する。そのうえで具体的に授業展開を行う基本的知識・技能を習得する。このほか現場で起こる各種の問題についても適宜説明する。

授業方法と留意点
講義と学生諸君の発表や討論を中心として行うので、積極的な発言が望まれる。

科目学習の効果（資格）
中学・高校教員免許（社会科、地歴科）
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：教育課程及び指導法に関する科目
各科目に含める必要事項：各教科の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 ガイダンスと年間計画
【内容・方法　等】 年間講義内容の概略・受講上の注意点・成績評価について
【事前・事後学習課題】 事前　既修の「教師論」「教育原理」を復習しておく。
事後　授業終了時に指示する。

第２回 【授業テーマ】 近代学校教育制度の変遷と社会科教育　1
【内容・方法　等】 江戸末期から明治の学制の発布について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前　江戸末期から明治期の教育問題について調べておく。
事後　授業終了時に指示する。

第３回 【授業テーマ】 近代学校教育制度の変遷と社会科教育　2
【内容・方法　等】 明治期の教育制度の変遷ついて学ぶ　その１。
【事前・事後学習課題】 事前　明治期教育の大まかな変遷について調べておく。
事後　授業終了時に指示する。

第４回 【授業テーマ】 近代学校教育制度の変遷と社会科教育　3
【内容・方法　等】 明治期の教育制度の変遷ついて学ぶ　その２。
【事前・事後学習課題】 事前　明治期教育の大まかな変遷について調べておく。
事後　授業終了時に指示する。

第５回 【授業テーマ】 近代学校教育制度の変遷と社会科教育　4
【内容・方法　等】 大正自由教育から国民科の成立について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前　大正期から昭和初期の教育について調べておく。
事後　授業終了時に指示する。

第６回 【授業テーマ】 近代学校教育制度の変遷と社会科教育　5
【内容・方法　等】 戦時下教育から占領下での民主化、および社会科の成立までを学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前　戦時下教育から占領下での教育の変遷を調べておく
事後　授業終了時に指示する。

第７回 【授業テーマ】 学習指導要領について　1
【内容・方法　等】 戦後の学力観の変化と指導要領改訂の変遷を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前　中高学習指導要領解説社会編・地理歴史編を読んでおく。
事後　授業終了時に指示する。

第８回 【授業テーマ】 学習指導要領について　2
【内容・方法　等】 戦後の学力観の変化と指導要領改訂の変遷を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前　中高学習指導要領解説社会編・地理歴史編を読んでおく。
事後　授業終了時に指示する。

第９回 【授業テーマ】 学習指導案の作成と活用を学ぶ　1
【内容・方法　等】 地理・歴史科学習指導案作成の基礎を身に付け、授業への活用方法を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前　学習指導案とは何かを調べておく。
事後　授業終了時に指示する。

第10回 【授業テーマ】 学習指導案の作成と活用を学ぶ　2
【内容・方法　等】 地理・歴史科学習指導案作成の基礎を身に付け、授業への活用方法を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前　与えられたテーマで各自学習指導案を作成し発表に備える。
事後　授業終了時に指示する。

第11回 【授業テーマ】 学習指導案のプレゼンテーション　1
【内容・方法　等】 グループ毎に同一テーマでの学習指導案を作成・発表し、問題点について討議する。
【事前・事後学習課題】 事前　グループ内で指導案を作成しておくこと。
事後　授業終了時に指示する。

第12回 【授業テーマ】 学習指導案のプレゼンテーション　2
【内容・方法　等】 グループ毎に同一テーマでの学習指導案を作成・発表し、問題点について討議する。
【事前・事後学習課題】 事前　グループ内で指導案を作成して

257-275_150_法学部-1510_法律学科-06_教職科目_本文.indd　262　2014/08/21　14:46:02

おくこと。
事後　授業終了時に指示する。
第13回　【授業テーマ】　学習指導案のプレゼンテーション　3
【内容・方法　等】　グループ毎に同一テーマでの学習指導案を作成・発表し、問題点について討議する。
【事前・事後学習課題】　事前　グループ内で指導案を作成しておくこと。
事後　授業終了時に指示する。
第14回　【授業テーマ】　授業記録について
【内容・方法　等】　社会科教員として授業を見る目を鍛える為の授業記録の形式や方法について学ぶ。
【事前・事後学習課題】　事前　どのような授業記録方法があるかを考えておく。
事後　授業終了時に指示する。
第15回　【授業テーマ】　評価の方法と理論
【内容・方法　等】　生徒の学習成果を検証するための視点と評価方法について学ぶ。
【事前・事後学習課題】　事前　評価方法の種類について考えておく。
事後　評価は自己の教育技術の反映であることを考える。
評価方法（基準）
レポート及び講義での発表・発言をもとに総合的に判定する。
教材等
教科書…使用しない
参考書…中学・高校の地理および歴史の教科書
中学校学習指導要領解説　社会編（文部科学省）
高等学校学習指導要領解説　地理歴史編（文部科学省）
学生へのメッセージ
教職科目であり、教職に就くあるいは教育に高い関心を持っていることが受講の前提となります。その上で社会の変化とそれに対応する教育の動きを理解し、志高く理想的な社会科・地歴科を創造する基礎を養いませんか。
関連科目
社会科・地歴科教育法Ⅱ
担当者の研究室等
１１号館　１階　教務課

社会科・地歴科教育法II
Geography and History Education Method II

井　上　正　英（イノウエ　マサヒデ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	「社会」「地歴」教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標
近代教育制度の変遷を考察する中で、社会科・地歴科が果たすそれぞれの使命と責任を理解する。そのうえで具体的に授業展開を行う基本的知識・技能を習得する。このほか現場で起こる各種の問題についても適宜説明する。
授業方法と留意点
講義と学生諸君の発表や討論を中心として行うので、積極的な発言が望まれる。
科目学習の効果（資格）
中学・高校教員免許（社会科、地歴科）
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：教育課程及び指導法に関する科目
各科目に含める必要事項：各教科の指導法
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　ガイダンスと年間計画
【内容・方法　等】　年間講義内容の概略・受講上の注意点・成績評価について
【事前・事後学習課題】　事前　既修の「教師論」「教育原理」を復習しておく。
事後　授業終了時に指示する。
第２回　【授業テーマ】　近代学校教育制度の変遷と社会科教育　1
【内容・方法　等】　江戸末期から明治の学制の発布について学ぶ。
【事前・事後学習課題】　事前　江戸末期から明治期の教育問題について調べておく。
事後　授業終了時に指示する。
第３回　【授業テーマ】　近代学校教育制度の変遷と社会科教育　2
【内容・方法　等】　明治期の教育制度の変遷ついて学ぶ　その１。
【事前・事後学習課題】　事前　明治期教育の大まかな変遷について調べておく。
事後　授業終了時に指示する。
第４回　【授業テーマ】　近代学校教育制度の変遷と社会科教育　3
【内容・方法　等】　明治期の教育制度の変遷ついて学ぶ　その２。
【事前・事後学習課題】　事前　明治期教育の大まかな変遷について調べておく。
事後　授業終了時に指示する。
第５回　【授業テーマ】　近代学校教育制度の変遷と社会科教育　4
【内容・方法　等】　大正自由教育から国民科の成立について学ぶ。
【事前・事後学習課題】　事前　大正期から昭和初期の教育について調べておく。
事後　授業終了時に指示する。
第６回　【授業テーマ】　近代学校教育制度の変遷と社会科教育　5
【内容・方法　等】　戦時下教育から占領下での民主化、および社会科の成立までを学ぶ。
【事前・事後学習課題】　事前　戦時下教育から占領下での教育の変遷を調べておく
事後　授業終了時に指示する。
第７回　【授業テーマ】　学習指導要領について　1
【内容・方法　等】　戦後の学力観の変化と指導要領改訂の変遷を学ぶ。
【事前・事後学習課題】　事前　中高学習指導要領解説社会編・地理歴史編を読んでおく。
事後　授業終了時に指示する。
第８回　【授業テーマ】　学習指導要領について　2
【内容・方法　等】　戦後の学力観の変化と指導要領改訂の変遷を学ぶ。
【事前・事後学習課題】　事前　中高学習指導要領解説社会編・地理歴史編を読んでおく。
事後　授業終了時に指示する。
第９回　【授業テーマ】　学習指導案の作成と活用を学ぶ　1
【内容・方法　等】　地理・歴史科学習指導案作成の基礎を身に付け、授業への活用方法を学ぶ。
【事前・事後学習課題】　事前　学習指導案とは何かを調べておく。
事後　授業終了時に指示する。
第10回　【授業テーマ】　学習指導案の作成と活用を学ぶ　2
【内容・方法　等】　地理・歴史科学習指導案作成の基礎を身に付け、授業への活用方法を学ぶ。
【事前・事後学習課題】　事前　与えられたテーマで各自学習指導案を作成し発表に備える。
事後　授業終了時に指示する。
第11回　【授業テーマ】　学習指導案のプレゼンテーション　1
【内容・方法　等】　グループ毎に同一テーマでの学習指導案を作成・発表し、問題点について討議する。
【事前・事後学習課題】　事前　グループ内で指導案を作成しておくこと。
事後　授業終了時に指示する。
第12回　【授業テーマ】　学習指導案のプレゼンテーション　2
【内容・方法　等】　グループ毎に同一テーマでの学習指導案を作成・発表し、問題点について討議する。
【事前・事後学習課題】　事前　グループ内で指導案を作成しておくこと。
事後　授業終了時に指示する。
第13回　【授業テーマ】　学習指導案のプレゼンテーション　3
【内容・方法　等】　グループ毎に同一テーマでの学習指導案を作成・発表し、問題点について討議する。
【事前・事後学習課題】　事前　グループ内で指導案を作成しておくこと。
事後　授業終了時に指示する。
第14回　【授業テーマ】　授業記録について
【内容・方法　等】　社会科教員として授業を見る目を鍛える為の授業記録の形式や方法について学ぶ。
【事前・事後学習課題】　事前　どのような授業記録方法があるかを考えておく。
事後　授業終了時に指示する。
第15回　【授業テーマ】　評価の方法と理論
【内容・方法　等】　生徒の学習成果を検証するための視点と評価方法について学ぶ。
【事前・事後学習課題】　事前　評価方法の種類について考えておく。
事後　評価は自己の教育技術の反映であることを考える。
評価方法（基準）
レポート及び講義での発表・発言をもとに総合的に判定する。
教材等
教科書…使用しない
参考書…中学・高校の地理および歴史の教科書
中学校学習指導要領解説　社会編（文部科学省）
高等学校学習指導要領解説　地理歴史編（文部科学省）
学生へのメッセージ
教職科目であり、教職に就くあるいは教育に高い関心を持っていることが受講の前提となります。その上で社会の変化とそれに対応する教育の動きを理解し、志高く理想的な社会科・地歴科を創造する基礎を養いませんか。
関連科目
社会科・地歴科教育法Ⅱ
担当者の研究室等

257-275_150_法学部-1510_法律学科-06_教職科目_本文.indd　263　2014/08/21　14:46:02

１１号館　１階　教務課

社会科・公民科教育法Ⅰ
Civic Education Method Ⅰ

大　野　順　子（オオノ　ジュンコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	「社会」「公民」教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標

本授業は、中学校社会科、及び、高校公民科の学習指導ができるようになるための基礎的素養を学ぶことを目的としています。そのため、できるかぎり実践的な観点から授業を進めていきます。まず、学習指導要領の内容を理解し、授業展開のポイントを解説します。また、わかりやすい授業を行うためのさまざまな方法を実践的に考えます。具体的には指導案の書き方の指導、模擬授業の実践を中心に参加型の授業法を取り入れて、皆さん自身が教師としての心構えを磨き上げていけるよう、互いに刺激し、批評しあう機会をもうけます。まずは「教育実習」で生徒を失望させないきちんとした授業ができるよう、意欲と責任をもって授業に参加してください。

授業方法と留意点

まず社会科、公民科教育の理論の整理、そして、可能な範囲で履修者全員に模擬授業を実践してもらうような「実践型・参加型の授業」を目指します。よって、履修者は各回の授業テーマについてのレポート作成が課せられます。また模擬授業の実践では、それぞれの模擬授業終了後は必ず全員で意見交換を行い、問題点と課題点を整理します。ここでのコメント力を鍛えることも重要な目標です。指示した授業準備は必ず行ってください。教師としての自覚もあわせて養成するため、遅刻・無断欠席は認めません。

科目学習の効果（資格）

中学校１種「社会」、高校１種「公民」の教育職員免許を取得するために必要である。

【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：教育課程及び指導法に関する科目
各科目に含める必要事項：各教科の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　ガイダンス：社会科・公民科教育の意義
【内容・方法　等】　日本における社会科教育の歴史と現状について学び、社会科・公民科教育の意義について考える。
【事前・事後学習課題】　社会科教育の課題について考えてくること。
※該当するテキスト部分の要約

第２回　**【授業テーマ】**　中学校指導要領（社会）、高校指導要領（公民）にみる授業の目的
【内容・方法　等】　学習指導要領の概要について学ぶ
【事前・事後学習課題】　各自事前に入手した学習指導要領（中学：社会科、高校：公民科）の事前読了。
※該当するテキスト部分の要約

第３回　**【授業テーマ】**　中学校社会科、高校公民科の授業展開のポイント（１）
【内容・方法　等】　中学社会科・高校公民科での優れた授業実践の解説と批評
【事前・事後学習課題】　※該当するテキスト部分の要約

第４回　**【授業テーマ】**　中学校社会科、高校公民科の授業展開のポイント（２）
【内容・方法　等】　中学社会科・高校公民科での優れた授業実践の解説と批評
【事前・事後学習課題】　※該当するテキスト部分の要約

第５回　**【授業テーマ】**　中学校社会科、高校公民科の授業展開のポイント（３）
【内容・方法　等】　中学社会科・高校公民科での優れた授業実践の解説と批評
【事前・事後学習課題】　※該当するテキスト部分の要約

第６回　**【授業テーマ】**　教育方法と技術（１）：ミニ模擬授業
【内容・方法　等】　板書・話し方・参考資料の作り方・新聞記事の利用のしかたなど、教育実践の基本的技術について。コンピューター（パワーポイントやインターネット）を用いた授業のやり方。パワーポイントを用いた授業をミニ模擬授業で実演する。
【事前・事後学習課題】　新聞記事の検索。

第７回　**【授業テーマ】**　教育方法と技術（２）：ミニ模擬授業
【内容・方法　等】　ディベートを取り入れた授業の工夫について。公民に関わるテーマで模擬ディベートを行いながら学ぶ。調査の意義と方法、研究発表の指導について。ディベートを取りれたミニ模擬授業を実演する。
【事前・事後学習課題】　ディベート準備。

第８回　**【授業テーマ】**　学習指導案の書き方（１）：ミニ模擬授業
【内容・方法　等】　学習指導案の作成指導（１）：各自が作成した学習指導案のうち、もっとも力を入れるべき箇所をミニ模擬授業として実演する。
【事前・事後学習課題】　学習指導案の作成。

第９回　**【授業テーマ】**　学習指導案の書き方（２）：ミニ模擬授業
【内容・方法　等】　学習指導案の作成指導（２）：各自が作成した学習指導案のうち、もっとも力を入れるべき箇所をミニ模擬授業として実演する。
【事前・事後学習課題】　学習指導案の作成。

第10回　**【授業テーマ】**　模擬授業（１）
【内容・方法　等】　模擬授業の実践と指導（１）
【事前・事後学習課題】　模擬授業の準備。

第11回　**【授業テーマ】**　模擬授業（２）
【内容・方法　等】　模擬授業の実践と指導（２）
【事前・事後学習課題】　模擬授業の準備。

第12回　**【授業テーマ】**　模擬授業（３）
【内容・方法　等】　模擬授業の実践と指導（３）
【事前・事後学習課題】　模擬授業の準備。

第13回　**【授業テーマ】**　模擬授業（４）
【内容・方法　等】　模擬授業の実践と指導（４）
【事前・事後学習課題】　模擬授業の準備。

第14回　**【授業テーマ】**　成績評価の方法について
【内容・方法　等】　成績評価にあたって重要となる事柄の概要を知り、さまざまな成績評価の方法を学ぶ。
【事前・事後学習課題】　※該当するテキスト部分の要約

第15回　**【授業テーマ】**　総括ー社会科指導について
【内容・方法　等】　授業全体をふりかえって討論し、社会科教師としての課題と責務を確認する。
【事前・事後学習課題】　社会科教師としての自分の課題について考えてくること。

評価方法（基準）

出席（全15回出席すること。成績評価については少なくとも80％以上は必要）、レポート（レポート提出の締め切りは厳守すること）、平常点（授業への貢献度、模擬授業等）により総合的に評価する。

教材等

教科書…二谷貞夫・和井田清司編『中等社会科の理論と実践』（2007）学文社
◎中学社会科、高校公民科の指導要領については各自、事前に入手（インターネットからも文部科学省ウェブサイトより入手可能）しておいてください。

参考書…授業中に指示する。

学生へのメッセージ

本講義は学生の皆さんの主体的な授業への関与が求められます。一般的な講義に見られるような、教員が一方的に授業を進めていくスタイルではありません。学生の皆さんが授業をつくっていくことになります。ですので、宿題やレポート作成など、授業運営に欠かせない作業を怠ると自分自身はもちろんのこと、周囲に多大な迷惑がかかります。毎時間、責任と意欲を持って講義に出席して下さい。

関連科目

社会科・公民科教育法１、社会科・公民科教育法２は連続して受講することが望ましい。

担当者の研究室等

11号館1階 教務課

備考

授業計画は、授業の進捗状況等により変更することがあります。ご了承ください。

社会科・公民科教育法Ⅱ
Civic Education Method Ⅱ

大　野　順　子（オオノ　ジュンコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	「社会」「公民」教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標

本授業は、中学校社会科、及び、高校公民科の学習指導ができるようになるための基礎的素養を学ぶことを目的としています。そのため、できるかぎり実践的な観点から授業を進めていきます。まず、学習指導要領の内容を理解し、授業展開のポイントを解説します。また、わかりやすい授業を行うためのさまざまな方法を実践的に考えます。具体的には指導案の書き方の指導、模擬授業の実践を中心に参加型の授業法を取り入れて、皆さん自身が教師としての心構えを磨き上げていけるよう、互いに刺激し、批評しあう機会をもうけます。まずは「教育実習」で生徒を失望させないきちんとした授業ができるよう、意欲と責任をもって授業に参加してください。

授業方法と留意点

257-275_150_法学部-1510_法律学科-06_教職科目_本文.indd　264　2014/08/21　14:46:02

まず社会科、公民科教育の理論の整理、そして、可能な範囲で履修者全員に模擬授業を実践してもらうような「実践型・参加型の授業」を目指します。よって、履修者は各回の授業テーマについてのレポート作成が課せられます。また模擬授業の実践では、それぞれの模擬授業終了後は必ず全員で意見交換を行い、問題点と課題点を整理します。ここでのコメント力を鍛えることも重要な目標です。指示した授業準備は必ず行ってください。教師としての自覚もあわせて養成するため、遅刻・無断欠席は認めません。

科目学習の効果（資格）

中学校１種「社会」、高校１種「公民」の教育職員免許を取得するために必要である。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育課程及び指導法に関する科目

各科目に含める必要事項：各教科の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** ガイダンス：社会科・公民科教育の意義

【内容・方法　等】 日本における社会科教育の歴史と現状について学び、社会科・公民科教育の意義について考える。

【事前・事後学習課題】 社会科教育の課題について考えてくること。

※該当するテキスト部分の要約

第２回 **【授業テーマ】** 中学校指導要領（社会）、高校指導要領（公民）にみる授業の目的

【内容・方法　等】 学習指導要領の概要について学ぶ

【事前・事後学習課題】 各自事前に入手した学習指導要領（中学：社会科、高校：公民科）の事前読了。

※該当するテキスト部分の要約

第３回 **【授業テーマ】** 中学校社会科、高校公民科の授業展開のポイント（１）

【内容・方法　等】 中学社会科・高校公民科での優れた授業実践の解説と批評

【事前・事後学習課題】 ※該当するテキスト部分の要約

第４回 **【授業テーマ】** 中学校社会科、高校公民科の授業展開のポイント（２）

【内容・方法　等】 中学社会科・高校公民科での優れた授業実践の解説と批評

【事前・事後学習課題】 ※該当するテキスト部分の要約

第５回 **【授業テーマ】** 中学校社会科、高校公民科の授業展開のポイント（３）

【内容・方法　等】 中学社会科・高校公民科での優れた授業実践の解説と批評

【事前・事後学習課題】 ※該当するテキスト部分の要約

第６回 **【授業テーマ】** 教育方法と技術（１）：ミニ模擬授業

【内容・方法　等】 板書・話し方・参考資料の作り方・新聞記事の利用のしかたなど、教育実践の基本的技術について。コンピューター（パワーポイントやインターネット）を用いた授業のやり方。パワーポイントを用いた授業をミニ模擬授業で実演する。

【事前・事後学習課題】 新聞記事の検索。

第７回 **【授業テーマ】** 教育方法と技術（２）：ミニ模擬授業

【内容・方法　等】 ディベートを取り入れた授業の工夫について。公民に関わるテーマで模擬ディベートを行いながら学ぶ。調査の意義と方法、研究発表の指導について。ディベートを取りれたミニ模擬授業を実演する。

【事前・事後学習課題】 ディベート準備。

第８回 **【授業テーマ】** 学習指導案の書き方（１）：ミニ模擬授業

【内容・方法　等】 学習指導案の作成指導（１）：各自が作成した学習指導案のうち、もっとも力を入れるべき箇所をミニ模擬授業として実演する。

【事前・事後学習課題】 学習指導案の作成。

第９回 **【授業テーマ】** 学習指導案の書き方（２）：ミニ模擬授業

【内容・方法　等】 学習指導案の作成指導（２）：各自が作成した学習指導案のうち、もっとも力を入れるべき箇所をミニ模擬授業として実演する。

【事前・事後学習課題】 学習指導案の作成。

第10回 **【授業テーマ】** 模擬授業（１）

【内容・方法　等】 模擬授業の実践と指導（１）

【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備。

第11回 **【授業テーマ】** 模擬授業（２）

【内容・方法　等】 模擬授業の実践と指導（２）

【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備。

第12回 **【授業テーマ】** 模擬授業（３）

【内容・方法　等】 模擬授業の実践と指導（３）

【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備。

第13回 **【授業テーマ】** 模擬授業（４）

【内容・方法　等】 模擬授業の実践と指導（４）

【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備。

第14回 **【授業テーマ】** 成績評価の方法について

【内容・方法　等】 成績評価にあたって重要となる事柄の概要を知り、さまざまな成績評価の方法を学ぶ。

【事前・事後学習課題】 ※該当するテキスト部分の要約

第15回 **【授業テーマ】** 総括ー社会科指導について

【内容・方法　等】 授業全体をふりかえって討論し、社会科教師としての課題と責務を確認する。

【事前・事後学習課題】 社会科教師としての自分の課題について考えてくること。

評価方法（基準）

出席（全15回出席すること。成績評価については少なくとも80％以上は必要）、レポート（レポート提出の締め切りは厳守すること）、平常点（授業への貢献度、模擬授業等）により総合的に評価する。

教材等

教科書…二谷貞夫・和井田清司編『中等社会科の理論と実践』（2007）学文社

◎中学社会科、高校公民科の指導要領については各自、事前に入手（インターネットからも文部科学省ウェブサイトより入手可能）しておいてください。

参考書…授業中に指示する。

学生へのメッセージ

本講義は学生の皆さんの主体的な授業への関与が求められます。一般的な講義に見られるような、教員が一方的に授業を進めていくスタイルではありません。学生の皆さんが授業をつくっていくことになります。ですので、宿題やレポート作成など、授業運営に欠かせない作業を怠ると自分自身はもちろんのこと、周囲に多大な迷惑がかかります。毎時間、責任と意欲を持って講義に出席して下さい。

関連科目

社会科・公民科教育法１、社会科・公民科教育法２は連続して受講することが望ましい。

担当者の研究室等

11号館1階 教務課

備考

授業計画は、授業の進捗状況等により変更することがあります。ご了承ください。

道徳教育の研究
Studies of Moral Education

村　田　俊　明（ムラタ　トシアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	教免取得上必修(中免のみ)	2

授業概要・目的・到達目標

道徳教育は、報酬と罰を上手にやれば、それで済むというものではない。一定の価値を伴う行動様式と生活態度を子どもの中に育む営みである。道徳教育の歴史を学び、わが国において道徳教育がどう展開されてきたかを知る。また子どもの道徳性はいかに発達するか。なぜいま道徳教育が必要なのか。学習指導要領「道徳」の内容を授業で、どう展開するかを考え、「道徳」の授業構想及びシナリオづくりを行う。今日の中学生に、教師として「気づいてほしいこと・考えてほしいこと」は何かという「ねらい」をもった授業を構想することができ、その「ねらい」にふさわしい教材選択と教材研究をすることができる。

授業方法と留意点

教科書に基づいて道徳教育の歴史や道徳性の発達等について講述するほか、ＤＶＤ等を視聴し、道徳教育のあり方について考え、理解を深める。さらに受講生による「道徳」の授業構想を発表し、検討する。

科目学習の効果（資格）

中学校教諭１種免許状の取得に必要です。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育課程及び指導法に関する科目

各項目に含める必要事項：道徳の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** 道徳教育と人間形成

【内容・方法　等】 （１）道徳教育がめざすもの（２）道徳教育の現状と課題　（３）なぜ、いま道徳教育なのか－ＤＶＤ「崩壊？日本人のモラル－」視聴　（４）「道徳」の特別教科化を考える

【事前・事後学習課題】 予習：教科書「まえがき」「第３章」

第２回 **【授業テーマ】** 道徳教育の歴史－明治期－

【内容・方法　等】 （１）学制と「修身口授」（２）「教学聖旨」「教育議」論争（３）教育勅語の成立と修身科教育

【事前・事後学習課題】 予習：教科書（９頁～１４頁）

第３回 **【授業テーマ】** 道徳教育の歴史－大正・昭和前期－

【内容・方法　等】 （１）大正新教育と修身科（２）総力戦体制下の教育と修身科

【事前・事後学習課題】 予習：教科書（１４～１９頁）

第４回 **【授業テーマ】** 道徳教育の歴史－戦後から現在－

【内容・方法　等】 （１）修身科の廃止と教育勅語の取り扱い（２）社会科と新しい道徳教育（３）道徳教育の振興と特設道徳

257-275_150_法学部-1510_法律学科-06_教職科目_本文.indd　265　2014/08/21　14:46:02

【事前・事後学習課題】 予習：教科書（１９頁～３８頁）

第５回 【授業テーマ】 学校道徳教育の計画・運営・実施について
【内容・方法　等】 （1）「道徳」の実施状況について　（2）「道徳」の時間と指導計画　（3）各教科・特別活動・総合的学習の時間との関係　（4）道徳教育推進教師の役割
【事前・事後学習課題】 予習：出身中学校における「道徳教育計画」をＨＰ等で調べておく。

第６回 【授業テーマ】 学習指導要領「道徳」の目的と内容
【内容・方法　等】 （1）学習指導要領「道徳」の目的　（2）「道徳」の内容分析　（3）指導上の留意点
【事前・事後学習課題】 予習：配付資料の課題をしておく。教科書１３５頁～１４９頁を読んでおく。

第７回 【授業テーマ】 道徳性の発達と教育方法
【内容・方法　等】 （1）他律道徳から自律道徳へ　（2）ピアジェとコールバーグの発達段階論　（3）道徳的葛藤とシュチュエーションの創造　（4）モラルジレンマの授業
【事前・事後学習課題】 予習：教科書（３９頁～７６頁）

第８回 【授業テーマ】 子どもの実態と道徳の授業
【内容・方法　等】 （1）子どもの価値意識－「実態調査」からー　（2）道徳の授業と教材　（3）道徳教育の方法と技術
【事前・事後学習課題】 予習：配付Excel Data の検討及び教科書（７７頁～９９頁）を読んでおく。

第９回 【授業テーマ】 道徳授業の創造と特別授業
【内容・方法　等】 （1）実感ある「道徳」授業の創造
（2）ＤＶＤ視聴「特別授業　差別を知る－カナダのある小学校の試み」
【事前・事後学習課題】 ＤＶＤ視聴の感想文提出

第10回 【授業テーマ】 「道徳」授業の構想（1）
【内容・方法　等】 （1）「道徳」授業の構想・シナリオづくり　教材「スタート台のわたし」
（2）学生による指導案の発表と検討
【事前・事後学習課題】 予習：配布教材に基づいた指導案の作成

第11回 【授業テーマ】 「道徳」授業の構想(2)
【内容・方法　等】 （1））「道徳」授業の構想・シナリオづくり　教材「じいちゃん長生きして」
（2）学生による指導案の発表と検討
【事前・事後学習課題】 予習：配付資料に基づいた指導案の作成

第12回 【授業テーマ】 「道徳」授業の構想(3)
【内容・方法　等】 （1））「道徳」授業の構想・シナリオづくり　教材「アイバンク」
（2）学生による指導案の発表と検討
【事前・事後学習課題】 予習：配付資料に基づいた指導案の作成

第13回 【授業テーマ】 「道徳」授業の構想（4）
【内容・方法　等】 （1））「道徳」授業の構想・シナリオづくり　教材「蜘蛛の糸」
（2）学生による指導案の発表と検討
【事前・事後学習課題】 予習・配付資料に基づいた指導案の作成

第14回 【授業テーマ】 「道徳」授業の構想（5）
【内容・方法　等】 （1））「道徳」授業の構想・シナリオづくり　教材「ぼくの名前呼んで」
（2）学生による指導案の発表と検討
【事前・事後学習課題】 予習：配付資料に基づいた指導案の作成

第15回 【授業テーマ】 討論　「現代に生きる子どもたちに考えてほしいこと・気づいてほしいことをめぐって」
【内容・方法　等】 （1）意見発表「道徳教育の研究を学んで」
（2）道徳教材「１００万回生きたねこ」をとおして
（3）質疑応答と課題の発見
【事前・事後学習課題】 討論資料の作成・準備

評価方法（基準）
定期試験成績、レポートの成績による評価を行う。

教材等
教科書…柴田義松編著『道徳の指導』（学文社）、1800円（本体）
文部科学省『中学校学習指導要領』平成20年、国立印刷局、232円（本体）
参考書…Ｌ．コールバーグ、永野重史監訳『道徳性の形成』新曜社

学生へのメッセージ
中学校時代の「道徳」の時間における学習体験を思いおこすとよい。道徳の教材を取り扱うが、その教材をよく読み、中学生に何を伝えたらよいかを考えてほしい。

関連科目
教職科目全般と関連があるので、これまで学習した内容について、復習し整理しておくことが大切である。

担当者の研究室等
７号館３階(村田研究室)

備考
共同担当者　橋本はる美

特別活動の理論と方法
Theories and Methods for Special Activities

大　野　順　子（オオノ　ジュンコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標
（1）人間関係の希薄化が指摘される社会にあって、子ども達の社会力不足が学校教育の大きな課題の一つになっている。そのことから発達に沿った集団体験活動を目的とする特別活動は益々その重要さが増してきている。具体的には、学級（ホームルーム）活動、生徒会活動、学校行事の３本柱それぞれの特質、内容、指導課題について考えていく。（2）中学校，高等学校の特別活動について、具体的事例を交えてグループ・ワークを行う。また、学校におけるガイダンス機能の充実のため、カウンセリング・マインドとは何かについて考える。

授業方法と留意点
テキストやプリント教材等を中心に進めていく予定であるが、プレゼンテーションの力やまとめる力をつけるため、レポート作成や各自の中学校・高等学校時代の経験発表なども積極的に行う。よって、学生皆さんの主体的な授業への参加が求められる。

科目学習の効果（資格）
教員免許（中学校・高等学校）取得上必修科目である。
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：教育課程及び指導法に関する科目
各科目に含める必要事項：特別活動の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 特別活動とは何か
【内容・方法　等】 ・学校教育、および子どもたちを取り巻く現状と課題
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料（授業で配布）を読む（詳細は授業で指示する）。

第２回 【授業テーマ】 特別活動の意義と目標
【内容・方法　等】 ・特別活動の教育的意義について
【事前・事後学習課題】 課題：テキストの該当箇所を読んでおくこと。

第３回 【授業テーマ】 特別活動の特質と活動内容
【内容・方法　等】 ・特別活動が担う部分とは～その特質と活動内容について
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第４回 【授業テーマ】 学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容
【内容・方法　等】 ・学級会（ホームルーム）活動の意義と目標、およびその指導計画
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第５回 【授業テーマ】 学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容
【内容・方法　等】 ・生徒会活動の意義と目標、およびその指導計画
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第６回 【授業テーマ】 学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容
【内容・方法　等】 ・学校行事の意義と目標、およびその指導計画
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第７回 【授業テーマ】 特別活動における学校行事とボランティア活動
【内容・方法　等】 ・学校教育における儀礼的行事・文化的行事・体育的行事・集団的行事等のねらいと具体的な取り組み
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第８回 【授業テーマ】 特別活動における学校行事とボランティア活動
【内容・方法　等】 ・部活動について～そのねらいと教育的意義
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第９回 【授業テーマ】 特別活動における学校行事とボランティア活動
【内容・方法　等】 ・ボランティア活動を含めた社会奉仕活動のねらいや効果と期待
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第10回 【授業テーマ】 特別活動の指導計画と配慮事項
【内容・方法　等】 ・特別活動の全体計画と各活動・学校行事の年間指導計画について

257-275_150_法学部-1510_法律学科-06_教職科目_本文.indd　266　2014/08/21　14:46:03

【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第11回 【授業テーマ】 特別活動の指導計画と留意事項
【内容・方法　等】 ・グループワークを行い、特別活動の指導計画を作成する際のポイントをまとめ、発表する。
【事前・事後学習課題】 課題：第10回までの授業内容を各自まとめてくる。

第12回 【授業テーマ】 特別活動の効果について
【内容・方法　等】 ・特別活動を単なる「経験」に終わらせないための取り組みとしてのふりかえり（自己省察）と経験の共有、そして教師の役割について考える。
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第13回 【授業テーマ】 特別活動の課題とこれから
【内容・方法　等】 ・中央教育審議会答申と特別活動の課題
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第14回 【授業テーマ】 特別活動の新たな動向
【内容・方法　等】 ・教科教育との連環をめざして
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第15回 【授業テーマ】 特別活動の新たな展開
【内容・方法　等】 ・地域社会と学校教育～連携と協同
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

評価方法（基準）
定期試験、レポート等及び授業態度、授業内での発表（プレゼン）等によって総合的に評価を行う。

教材等
教科書…テキスト『中学校学習指導要領解説 特別活動編』文部科学省(115円)サブテキスト『高等学校学習指導要領解説 特別活動編』文部科学省（210円）
参考書…白井慎他著『新特別活動―文化と自治の力を育てるために―』学文社
その他、授業時に適宜紹介する。

学生へのメッセージ
教職科目の特質をよく理解し、実践的理解を深めること。特に生徒の話を「聞くこと（傾聴）」への理解が大切である。そのため、自身の中学校・高等学校での体験を踏まえ、具体的に理解し、「教育実習」を視野に入れていくことが望まれる。

関連科目
全教職科目と関連するが、特に「教育課程論」、「生徒指導論」、「教師論」、「教育心理学」などと関連して理解することが大切である。

担当者の研究室等
７号館３階(大野研究室)

特別活動の理論と方法
Theories and Methods for Special Activities

大　野　順　子（オオノ　ジュンコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標
（１）人間関係の希薄化が指摘される社会にあって、子ども達の社会力不足が学校教育の大きな課題の一つになっている。そのことから発達に沿った集団体験活動を目的とする特別活動は益々その重要さが増してきている。具体的には、学級（ホームルーム）活動、生徒会活動、学校行事の３本柱それぞれの特質、内容、指導課題について考えていく。（２）中学校，高等学校の特別活動について、具体的事例を交えてグループ・ワークを行う。また、学校におけるガイダンス機能の充実のため、カウンセリング・マインドとは何かについて考える。

授業方法と留意点
テキストやプリント教材等を中心に進めていく予定であるが、プレゼンテーションの力やまとめる力をつけるため、レポート作成や各自の中学校・高等学校時代の経験発表なども積極的に行う。よって、学生皆さんの主体的な授業への参加が求められる。

科目学習の効果（資格）
教員免許（中学校・高等学校）取得上必修科目である。
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：教育課程及び指導法に関する科目
各科目に含める必要事項：特別活動の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 特別活動とは何か
【内容・方法　等】 ・学校教育、および子どもたちを取り巻く現状と課題
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料（授業で配布）を読む（詳細は授業で指示する）。

第２回 【授業テーマ】 特別活動の意義と目標
【内容・方法　等】 ・特別活動の教育的意義について
【事前・事後学習課題】 課題：テキストの該当箇所を読んでおくこと。

第３回 【授業テーマ】 特別活動の特質と活動内容
【内容・方法　等】 ・特別活動が担う部分とは～その特質と活動内容について
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第４回 【授業テーマ】 学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容
【内容・方法　等】 ・学級会（ホームルーム）活動の意義と目標、およびその指導計画
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第５回 【授業テーマ】 学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容
【内容・方法　等】 ・生徒会活動の意義と目標、およびその指導計画
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第６回 【授業テーマ】 学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容
【内容・方法　等】 ・学校行事の意義と目標、およびその指導計画
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第７回 【授業テーマ】 特別活動における学校行事とボランティア活動
【内容・方法　等】 ・学校教育における儀礼的行事・文化的行事・体育的行事・集団的行事等のねらいと具体的な取り組み
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第８回 【授業テーマ】 特別活動における学校行事とボランティア活動
【内容・方法　等】 ・部活動について～そのねらいと教育的意義
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第９回 【授業テーマ】 特別活動における学校行事とボランティア活動
【内容・方法　等】 ・ボランティア活動を含めた社会奉仕活動のねらいや効果と期待
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第10回 【授業テーマ】 特別活動の指導計画と配慮事項
【内容・方法　等】 ・特別活動の全体計画と各活動・学校行事の年間指導計画について
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第11回 【授業テーマ】 特別活動の指導計画と留意事項
【内容・方法　等】 ・グループワークを行い、特別活動の指導計画を作成する際のポイントをまとめ、発表する。
【事前・事後学習課題】 課題：第10回までの授業内容を各自まとめてくる。

第12回 【授業テーマ】 特別活動の効果について
【内容・方法　等】 ・特別活動を単なる「経験」に終わらせないための取り組みとしてのふりかえり（自己省察）と経験の共有、そして教師の役割について考える。
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第13回 【授業テーマ】 特別活動の課題とこれから
【内容・方法　等】 ・中央教育審議会答申と特別活動の課題
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第14回 【授業テーマ】 特別活動の新たな動向
【内容・方法　等】 ・教科教育との連環をめざして
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第15回 【授業テーマ】 特別活動の新たな展開
【内容・方法　等】 ・地域社会と学校教育～連携と協同
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

評価方法（基準）
定期試験、レポート等及び授業態度、授業内での発表（プレゼン）等によって総合的に評価を行う。

教材等
教科書…テキスト『中学校学習指導要領解説 特別活動編』文部科学省(115円)サブテキスト『高等学校学習指導要領解説 特別活動編』文部科学省（210円）
参考書…白井慎他著『新特別活動―文化と自治の力を育てるために―』学文社
その他、授業時に適宜紹介する。

学生へのメッセージ
教職科目の特質をよく理解し、実践的理解を深めること。特に

257-275_150_法学部-1510_法律学科-06_教職科目_本文.indd 267 2014/08/21 14:46:03

生徒の話を「聞くこと（傾聴）」への理解が大切である。そのため、自身の中学校・高等学校での体験を踏まえ、具体的に理解し、「教育実習」を視野に入れていくことが望まれる。

関連科目

全教職科目と関連するが、特に「教育課程論」、「生徒指導論」、「教師論」、「教育心理学」などと関連して理解することが大切である。

担当者の研究室等

７号館３階(大野研究室)

特別活動論

Extra-Curricular Activities

大　野　順　子（オオノ　ジュンコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標

（１）人間関係の希薄化が指摘される社会にあって、子ども達の社会力不足が学校教育の大きな課題の一つになっている。そのことから発達に沿った集団体験活動を目的とする特別活動は益々その重要さが増してきている。具体的には、学級（ホームルーム）活動、生徒会活動、学校行事の３本柱それぞれの特質、内容、指導課題について考えていく。（２）中学校，高等学校の特別活動について、具体的事例を交えてグループ・ワークを行う。また、学校におけるガイダンス機能の充実のため、カウンセリング・マインドとは何かについて考える。

授業方法と留意点

テキストやプリント教材等を中心に進めていく予定であるが、プレゼンテーションの力やまとめる力をつけるため、レポート作成や各自の中学校・高等学校時代の経験発表なども積極的に行う。よって、学生皆さんの主体的な授業への参加が求められる。

科目学習の効果（資格）

教員免許（中学校・高等学校）取得上必修科目である。
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：教育課程及び指導法に関する科目
各科目に含める必要事項：特別活動の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　特別活動とは何か
【内容・方法　等】　・学校教育、および子どもたちを取り巻く現状と課題
【事前・事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で配布）を読む（詳細は授業で指示する）。

第２回　**【授業テーマ】**　特別活動の意義と目標
【内容・方法　等】　・特別活動の教育的意義について
【事前・事後学習課題】　課題：テキストの該当箇所を読んでおくこと。

第３回　**【授業テーマ】**　特別活動の特質と活動内容
【内容・方法　等】　・特別活動が担う部分とは～その特質と活動内容について
【事前・事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第４回　**【授業テーマ】**　学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容
【内容・方法　等】　・学級会（ホームルーム）活動の意義と目標、およびその指導計画
【事前・事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第５回　**【授業テーマ】**　学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容
【内容・方法　等】　・生徒会活動の意義と目標、およびその指導計画
【事前・事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第６回　**【授業テーマ】**　学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容
【内容・方法　等】　・学校行事の意義と目標、およびその指導計画
【事前・事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第７回　**【授業テーマ】**　特別活動における学校行事とボランティア活動
【内容・方法　等】　・学校教育における儀礼的行事・文化的行事・体育的行事・集団的行事等のねらいと具体的な取り組み
【事前・事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第８回　**【授業テーマ】**　特別活動における学校行事とボランティア活動
【内容・方法　等】　・部活動について～そのねらいと教育的意義
【事前・事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第９回　**【授業テーマ】**　特別活動における学校行事とボランティア活動
【内容・方法　等】　・ボランティア活動を含めた社会奉仕活動のねらいや効果と期待
【事前・事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第10回　**【授業テーマ】**　特別活動の指導計画と配慮事項
【内容・方法　等】　・特別活動の全体計画と各活動・学校行事の年間指導計画について
【事前・事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第11回　**【授業テーマ】**　特別活動の指導計画と留意事項
【内容・方法　等】　・グループワークを行い、特別活動の指導計画を作成する際のポイントをまとめ、発表する。
【事前・事後学習課題】　課題：第10回までの授業内容を各自まとめてくる。

第12回　**【授業テーマ】**　特別活動の効果について
【内容・方法　等】　・特別活動を単なる「経験」に終わらせないための取り組みとしてのふりかえり（自己省察）と経験の共有、そして教師の役割について考える。
【事前・事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第13回　**【授業テーマ】**　特別活動の課題とこれから
【内容・方法　等】　・中央教育審議会答申と特別活動の課題
【事前・事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第14回　**【授業テーマ】**　特別活動の新たな動向
【内容・方法　等】　・教科教育との連環をめざして
【事前・事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第15回　**【授業テーマ】**　特別活動の新たな展開
【内容・方法　等】　・地域社会と学校教育～連携と協同
【事前・事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

評価方法（基準）

定期試験、レポート等及び授業態度、授業内での発表（プレゼン）等によって総合的に評価を行う。

教材等

教科書…テキスト『中学校学習指導要領解説 特別活動編』文部科学省(115円)サブテキスト『高等学校学習指導要領解説 特別活動編』文部科学省（210円）
参考書…白井慎他著『新特別活動―文化と自治の力を育てるために―』学文社
その他、授業時に適宜紹介する。

学生へのメッセージ

教職科目の特質をよく理解し、実践的理解を深めること。特に生徒の話を「聞くこと（傾聴）」への理解が大切である。そのため、自身の中学校・高等学校での体験を踏まえ、具体的に理解し、「教育実習」を視野に入れていくことが望まれる。

関連科目

全教職科目と関連するが、特に「教育課程論」、「生徒指導論」、「教師論」、「教育心理学」などと関連して理解することが大切である。

担当者の研究室等

７号館３階(大野研究室)

教育方法論

Studies of Educational Method

深　川　八　郎（フカガワ　ハチロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標

（１）学校教育の中心は日々の授業活動である。そのことを踏まえ、「授業とは何か」「学びとは何か」を問い直し、授業というものを基本から考え、捉えることが大切である。（２）そのために、教育方法の歴史的な考察、特に日本の戦後教育の歩みを辿り、その目的と方法を考えていく。また、現在の教育方法の課題となっている情報機器・視聴覚教材を活用した授業の原理、構成、方法について学ぶ。

授業方法と留意点

"テキストを中心にプリント,視聴覚教材等を用いた講義方式で進める。また、各自の中学校・高等学校時代の経験発表などにより理解を深める。"

科目学習の効果（資格）

教員免許（中学校・高等学校）取得上必修科目である。
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：教育課程及び指導法に関する科目

257-275_150_法学部-1510_法律学科-06_教職科目_本文.indd　268　2014/08/21　14:46:03

各項目に含める必要事項：教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** 教育方法と教育実践
【内容・方法　等】 ・「学ぶこと」と「教えること」を見つめ直すことから、授業や学習の原理について考える・授業のガイダンス。
【事前・事後学習課題】 課題　大阪府教委資料「学校現場が求める教師像」をまとめる

第２回 **【授業テーマ】** 教育方法と学びの指導
【内容・方法　等】 ・「学力とは何か」を問い直し、そのことから、学びと学力を考察する。その上に立って、授業のあり方を考えていく。
【事前・事後学習課題】 課題　志水宏吉著『学力を考える』岩波新書を読んでおく

第３回 **【授業テーマ】** 教育方法学の歴史（欧米の教育史を中心にして）
【内容・方法　等】 ・近代以前の教育方法
【事前・事後学習課題】 課題　テキストpp7-8

第４回 **【授業テーマ】** 教育方法学の歴史（欧米の教育史を中心にして）
【内容・方法　等】 ・中世の教会と大学の教育
・宗教革命と印刷術の発明
【事前・事後学習課題】 課題　テキストpp8-9

第５回 **【授業テーマ】** 教育方法学の歴史（欧米の教育史を中心にして）
【内容・方法　等】 ・教育学の成立―コメニウス
【事前・事後学習課題】 課題　テキストpp10-12

第６回 **【授業テーマ】** 教育方法学の歴史（欧米の教育史を中心にして）
【内容・方法　等】 ・合自然の教育学―ペスタロッチ
【事前・事後学習課題】 課題　テキストpp12-14

第７回 **【授業テーマ】** 教育方法学の歴史（欧米の教育史を中心にして）
【内容・方法　等】 ・国民国家の教育学―ヘルバルトとヘルバルト主義
【事前・事後学習課題】 課題　テキストpp14-18

第８回 **【授業テーマ】** 教育方法学の歴史（欧米の教育史を中心にして）
【内容・方法　等】 ・子ども中心の教育と学びの共同体―デューイ
【事前・事後学習課題】 課題　テキストpp18-20

第９回 **【授業テーマ】** 教育方法学の歴史（欧米の教育史を中心にして）
【内容・方法　等】 ・効率主義の教育学―ボビットとチャーターズ
【事前・事後学習課題】 課題　テキストpp20-22

第10回 **【授業テーマ】** 日本の授業と授業研究（日本教育史を中心にして）
【内容・方法　等】 ・授業の成立と制度化
・戦後の新教育
【事前・事後学習課題】 課題　テキストpp33-35
課題　テキストpp38-40

第11回 **【授業テーマ】** 授業の構想と計画(1)
【内容・方法　等】 ・構想と計画の基本的視点
・指導案と教材研究
・教育における情報機器の活用
【事前・事後学習課題】 課題　指導案の作成(1)

第12回 **【授業テーマ】** 授業の構想と計画(2)
【内容・方法　等】 ・授業と教授メディア
・コンピューターの利用(情報機器とその教材活用)
【事前・事後学習課題】 課題　指導案の作成(2)

第13回 **【授業テーマ】** 授業の構想と計画(3)
【内容・方法　等】 ・コンピュータを活用した授業デザイン
・授業改善の評価と方法
【事前・事後学習課題】 課題　コンピュータを活用した授業評価の集計と活用のまとめ

第14回 **【授業テーマ】** 日本の授業と授業研究（戦後教育における校内研修を中心にして）
【内容・方法　等】 ・授業研究と教職研修
【事前・事後学習課題】 課題　テキストpp40-46

第15回 **【授業テーマ】** 教職の専門性とは何か
【内容・方法　等】 ・教師像の探究と実践的見識をめぐって
【事前・事後学習課題】 課題　テキストpp135-157

評価方法（基準）
定期試験、レポート等によって総合評価を行う。

教材等
教科書…「教育方法学」佐藤　学著 岩波書店（2060円）
参考書…「教育の方法・技術」松平信久　横須賀薫編　教育出版(2000円)
その他授業時に、適宜紹介する。

学生へのメッセージ
教師を目指す第一歩は、自己体験を通じて、「学ぶとは何か」を自分で捉え直すことが大切である。そのことを通じて、「教えるとは何か」に向けたイメージ化に近づくことが出来る。「教育実習」を視野に入れた具体的な授業構想やそのための研究と思考の努力が大切である。

関連科目
教職科目全般と関連がある。特に、「教師論」「教育原理」などと関連し理解することが大切である。

担当者の研究室等
７号館３階(深川研究室)

生徒指導論（進路指導を含む）
Studies of Guidance and Counceling

朝　日　素　明（アサヒ　モトアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標
生徒指導、進路指導は、学校教育をすすめるうえで重要な役割を占めています。非行、いじめ、不登校、学級崩壊、受験競争、進路のミスマッチなど、生徒指導・進路指導上の諸問題については、その解決の重要性が認識されています。本科目をとおして学生は、このような生徒指導、進路指導の意義や指導の方法に関する基本的な事柄について必要最低限の知識を獲得します。

授業方法と留意点
プレゼンテーションソフトを用いて講義をしたうえで、内容をめぐってディスカッション等も織り交ぜて授業を進めます。また時折、レポートを課します。
「未来ポートフォリオ」を通じて資料配布、課題・レポートの提示・提出、ディスカッションをします。
「事前・事後学習課題」はすべて事前課題です。事後課題については別途、指示します。

科目学習の効果（資格）
教員免許取得上必修
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目
各科目に含める必要事項：生徒指導の理論及び方法、進路指導の理論及び方法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** オリエンテーション
生徒指導の目標と意義
【内容・方法　等】 科目概要・「未来ポートフォリオ」の使用について説明
自分の生徒指導上の体験のふりかえり
生徒指導の目標と意義
【事前・事後学習課題】 「未来ポートフォリオ」のリマインダ設定
テキストpp.3-10

第２回 **【授業テーマ】** 生徒指導の実践
【内容・方法　等】 生徒指導の実践課題と領域
【事前・事後学習課題】 テキストpp.10-24

第３回 **【授業テーマ】** 生徒指導の理論（１）
【内容・方法　等】 理論の重要性
発達に関する理論
【事前・事後学習課題】 テキストpp.32-39

第４回 **【授業テーマ】** 生徒指導の理論（２）
【内容・方法　等】 生徒指導における治療的支援に関する理論
相談理論など
【事前・事後学習課題】 テキストpp.39-42

第５回 **【授業テーマ】** 生徒理解の進め方（１）
【内容・方法　等】 生徒理解の意義と目的
【事前・事後学習課題】 テキストpp.43-46

第６回 **【授業テーマ】** 生徒理解の進め方（２）
【内容・方法　等】 生徒理解の方法
生徒の自己理解の支援
【事前・事後学習課題】 テキストpp.46-56

第７回 **【授業テーマ】** 生徒理解の進め方（３）
【内容・方法　等】 教師の生徒認知のありよう
【事前・事後学習課題】 テキストpp.56-61

第８回 **【授業テーマ】** 中間試験
【内容・方法　等】 これまでの授業内容についての試験
【事前・事後学習課題】 前回までの復習

第９回 **【授業テーマ】** 学級経営の進め方（１）
【内容・方法　等】 学級経営の意義
学級集団の役割・機能
【事前・事後学習課題】 テキストpp.63-68

第10回 **【授業テーマ】** 学級経営の進め方（２）
【内容・方法　等】 学級集団の力学
学級経営の方法
【事前・事後学習課題】 テキストpp.68-74

第11回 **【授業テーマ】** 学級経営の進め方（３）
【内容・方法　等】 教師のリーダーシップ
【事前・事後学習課題】 テキストpp.74-79

第12回 **【授業テーマ】** 生徒指導上の諸問題の理解と対応
【内容・方法　等】 生徒指導上の諸問題とは
最近の諸問題の動向
諸問題にどう対応するか
【事前・事後学習課題】 生徒指導上の諸問題に関する配布資料

257-275_150_法学部-1510_法律学科-06_教職科目_本文.indd　269　2014/08/21　14:46:03

第13回 【授業テーマ】 進路指導の意義と課題
【内容・方法　等】 進路指導の意義と課題
進路指導に関する諸理論
【事前・事後学習課題】 テキストpp.135-159
第14回 【授業テーマ】 勤労観・職業観の形成と変容
【内容・方法　等】 青少年の勤労観・職業観
勤労観・職業観の形成と変容
【事前・事後学習課題】 テキストpp.176-195
第15回 【授業テーマ】 学校教育における進路指導の実践展開
【内容・方法　等】 進路指導における「ガイダンスの機能」
進路指導実践の展開モデル
【事前・事後学習課題】 テキストpp.215-234

評価方法（基準）
中間試験、定期試験の得点の他、レポートの内容、受講に係る積極的態度により、総合的に成績を判定します。定期試験を受験しなかった場合、成績判定はしません。

教材等
教科書…高橋超・石井眞治・熊谷信順『生徒指導・進路指導』ミネルヴァ書房（2,500円＋税）
参考書…授業中に適宜、指示します。

学生へのメッセージ
生徒指導、進路指導を学ぶ原資になる自らの体験は大事です。さらに自らの体験を対象化して考える習慣をつけましょう。そのために、基礎的な知識をしっかりと身につけてください。
授業への遅刻、無断欠席・早退等は厳禁です。生徒指導を行おうとする者としての適格性が問われます。

関連科目
教職科目全般、とりわけ「教育原理」「教師論」「教育心理学」「特別活動の理論と方法」「教育経営論」に関連する事柄を含みます。

担当者の研究室等
7号館3階　朝日研究室

備考
「未来ポートフォリオ」のリマインダを、すべてを受信するよう設定し、情報を確実に受け取ることができるようにしましょう。

教育相談（カウンセリングの基礎を含む）
School Counseling

吉　田　佐治子（ヨシダ　サチコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標
教育相談の考え方や進め方についての理解を深め、生徒が成長する過程に生じるさまざまな課題や問題に対処するための援助の考え方や実際、カウンセリングの基礎知識と教育相談の技法を身につけることを目標とする。学校における教育相談に焦点を当て、教師が行う教育相談活動の基本的な考え方や教育相談に必要なスキルを身につけるために、教育相談のもつ今日的な意義を解説し、カウンセリングの基礎知識およびその実践的な手法を紹介する。併せて、「問題」に悩む児童・生徒への実践的な取り組み方を考える.

授業方法と留意点
講義と演習を組み合わせて行う。

科目学習の効果（資格）
教員免許状取得上必修、免許法施行規則に定められた「生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目」４単位のうち２単位を充足。
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目
各科目に含める必要事項：教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法　等】 授業内容、授業の進め方、評価基準等について
【事前・事後学習課題】 ――――
第２回 【授業テーマ】 カウンセリングの基礎
【内容・方法　等】 カウンセリングの基本的な考え方、教師としての立場、カウンセリングマインド
【事前・事後学習課題】 テキスト第1章、第2章を読む
第３回 【授業テーマ】 グループ発表の準備
【内容・方法　等】 グループワーク
【事前・事後学習課題】 ――――
第４回 【授業テーマ】 学校教育相談の全体像
【内容・方法　等】 校内での役割分担と協力体制、専門機関との連携とその方法
【事前・事後学習課題】 テキスト第12章、第13章を読む
第５回 【授業テーマ】 学校におけるカウンセリング活動1
【内容・方法　等】 カウンセリング活動のいろいろ(1)……治療的カウンセリング活動、予防的カウンセリング活動
【事前・事後学習課題】 テキスト第10章を読む
第６回 【授業テーマ】 学校におけるカウンセリング活動2
【内容・方法　等】 カウンセリング活動のいろいろ(2)……開発的カウンセリング活動
【事前・事後学習課題】 テキスト第10章を読む
第７回 【授業テーマ】 パーソナリティ理解
【内容・方法　等】 パーソナリティを理解するために、パーソナリティ理解をゆがめるもの
【事前・事後学習課題】 ――――
第８回 【授業テーマ】 問題の理解と対応1
【内容・方法　等】 問題とは何か、その原因・背景と対応、適応過程
【事前・事後学習課題】 テキスト第3章を読む
第９回 【授業テーマ】 問題の理解と対応2
【内容・方法　等】 ストレス、欲求不満，葛藤
【事前・事後学習課題】 テキスト第3章、第4章を読む
第10回 【授業テーマ】 心の発達と危機
【内容・方法　等】 認知の発達、自己意識の発達、道徳性の発達、仲間関係の発達
【事前・事後学習課題】 教育心理学の復習
第11回 【授業テーマ】 相談援助活動の実際1
【内容・方法　等】 不登校……その理解と対応（学生グループ発表）
【事前・事後学習課題】 テキスト第5章を読む
第12回 【授業テーマ】 相談援助活動の実際2
【内容・方法　等】 いじめ……その理解と対応（学生グループ発表）
【事前・事後学習課題】 テキスト第6章を読む
第13回 【授業テーマ】 相談援助活動の実際3
【内容・方法　等】 学級崩壊・授業崩壊……その理解と対応（学生グループ発表）
【事前・事後学習課題】 テキスト第7章を読む
第14回 【授業テーマ】 相談援助活動の実際4
【内容・方法　等】 反社会的行動……その理解と対応（学生グループ発表）
【事前・事後学習課題】 テキスト第8章を読む
第15回 【授業テーマ】 教員のメンタル・ヘルス
【内容・方法　等】 教員自身が健康であるために，教員への対応
【事前・事後学習課題】 テキスト第14章を読む

評価方法（基準）
グループ発表50%　期末試験50%

教材等
教科書…「学校教育相談」一丸藤太郎・菅野信夫（編著）ミネルヴァ書房　（2200円）
参考書…授業の中で随時紹介する。

学生へのメッセージ
これまでの学校での「困った」経験を思い出してみてください。

関連科目
教育方法論、生徒指導論、教育心理学、教育社会学など。

担当者の研究室等
７号館３階（吉田研究室）

教育実習I
Teaching Practice I

朝　日　素　明（アサヒ　モトアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	教免取得上必修	1

授業概要・目的・到達目標
(1)教育実習に関する実践的なテキストや視聴覚教材を用いて、教育実習に必要な教育実践の基本を理解します。(2)教科の有効な指導計画を立案し、授業を効果的に展開できるようになります。(3)生徒指導の実際についての有効な指導計画を立案できるようになります。(4)教育実習の現状と課題についての認識を深めるとともに、教育実習生としての基本的な姿勢・態度を身につけます。

授業方法と留意点
視聴覚教材を有効に活用し、演習・実習形式あわせて授業を進めます。
「未来ポートフォリオ」を通じて資料配布、課題・レポートの提示・提出、ディスカッションをします。
欠席や遅刻・早退等は厳禁です。

科目学習の効果（資格）
教員免許取得上必修
【免許法施行規則に定める科目区分】
教育実習

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

257-275_150_法学部-1510_法律学科-06_教職科目_本文.indd　270　2014/08/21　14:46:03

第１回　**【授業テーマ】**　オリエンテーション
教員養成・免許制度と教育実習の意義
【内容・方法　等】　科目概要・「未来ポートフォリオ」の使用について
教員養成カリキュラムにおける教育実習の位置
教育実習の意義と目的
【事前・事後学習課題】　教育実習校開拓報告書の提出
テキストpp.12-28
第２回　**【授業テーマ】**　教育実習の実際（１）
【内容・方法　等】　教育実習の内容・形態
【事前・事後学習課題】　テキストpp.29-37
第３回　**【授業テーマ】**　教育実習の実際（２）
【内容・方法　等】　実習中の勤務の要領
教育実習の１日（視聴覚教材の視聴、意見交換）
【事前・事後学習課題】　テキストpp.78-103
実習生の立場についてレポート提出
第４回　**【授業テーマ】**　教育実習への準備（１）
【内容・方法　等】　事前準備と心がまえについて
【事前・事後学習課題】　テキストpp.46-77
第５回　**【授業テーマ】**　教育実習への準備（２）
【内容・方法　等】　生徒指導・生徒理解について
【事前・事後学習課題】　テキストpp.140-163
第６回　**【授業テーマ】**　学校における人権教育等について
【内容・方法　等】　人権教育とは
人権教育の現状と課題について
学校保健と安全指導について
【事前・事後学習課題】　授業時に指示する
第７回　**【授業テーマ】**　特別支援教育の現状と課題
【内容・方法　等】　特別支援教育とは
障害の種類と配慮事項
障害児理解と交流教育について
【事前・事後学習課題】　授業時に指示する
第８回　**【授業テーマ】**　教育実習における学習指導
【内容・方法　等】　教育実習生の授業（視聴覚教材の視聴、意見交換）
【事前・事後学習課題】　授業分析に関する配布資料
第９回　**【授業テーマ】**　教材研究と学習指導案の作成（１）
【内容・方法　等】　授業の準備と配慮事項
【事前・事後学習課題】　テキストpp.104-139
第10回　**【授業テーマ】**　教材研究と学習指導案の作成（２）
【内容・方法　等】　指定された分野・単元の教材研究（グループワーク）
指導計画・学習指導案の作成（グループワーク）
【事前・事後学習課題】　指定された分野・単元の教材研究（個人ワーク）
第11回　**【授業テーマ】**　教材研究と学習指導案の作成（３）
【内容・方法　等】　指導計画・学習指導案の作成（個人ワーク）
板書計画の作成（グループワーク）
【事前・事後学習課題】　板書計画の作成（個人ワーク）
第12回　**【授業テーマ】**　模擬授業（１）
【内容・方法　等】　作成した学習指導案に沿った模擬授業
【事前・事後学習課題】　学習指導案・板書計画案の提出
第13回　**【授業テーマ】**　授業分析（１）
【内容・方法　等】　模擬授業の逐語記録による分析批評
【事前・事後学習課題】　逐語記録の作成
第14回　**【授業テーマ】**　模擬授業（２）
【内容・方法　等】　作成した学習指導案に沿った模擬授業
【事前・事後学習課題】　学習指導案・板書計画案の提出
第15回　**【授業テーマ】**　授業分析（２）
【内容・方法　等】　模擬授業の逐語記録による分析批評
【事前・事後学習課題】　逐語記録の作成

評価方法（基準）
レポート、模擬授業の成果、科目や教育実習関連行事への参加に係る積極的態度等により、総合的に成績を判定します。

教材等
教科書…教育実習を考える会『新編教育実習の常識』蒼丘書林(740円)
参考書…摂南大学『教育実習記録』ほか、授業中に適宜、指定します。

学生へのメッセージ
教育実習において生徒を指導するに際しては、いかに微細であっても不明点があってはなりません。教育実習はこれまでのあらゆる学習の総まとめであることを自覚して、十分に準備を整えていきましょう。
専門職業人・教師としての適格性が問われます。指示されたこと・決まりごとは守りましょう。

関連科目
教職科目全般。既習内容を復習、整理しておいてください。

担当者の研究室等
7号館3階　朝日研究室

備考
年度内に開かれる教育実習体験発表会、教育実習総括講義には原則として必ず出席してください。
「未来ポートフォリオ」のリマインダを、すべてを受信するよう設定し、情報を確実に受け取ることができるようにしておきましょう。

教育実習II
Teaching Practice II

吉　田　佐治子（ヨシダ　サチコ）
村　田　俊　明（ムラタ　トシアキ）
朝　日　素　明（アサヒ　モトアキ）
大　野　順　子（オオノ　ジュンコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	教免取得上選択必修	2

授業概要・目的・到達目標
「教育実習Ⅱ」では、教育実習校において２週間以上の実習を行う。（１）教育実習校において、教科、特別活動、生徒指導などの実習を行う。大学において事前及び事後の指導を行う。（２）事前指導では、教育実習講義と個別指導を行う。（３）教育実習は所定期間内に実習校の指導教諭の下で行う。（４）事後指導では、教育実習体験報告及び反省を行い、指導のまとめとして、総括を行う。
これらにより学生は、学校教育の実情を理解し、教職に対する自らの適性に気づき、適切な進路を選択できるようになる。

授業方法と留意点
（１）教育実習校での実習を行う。（２）大学での事前・事後指導は「教育実習ⅡB」「教育実習Ⅲ」と合同で行う。（３）事前指導等への積極的参加をもって実習を許可する。実習を許可されない場合があることに留意すること。

科目学習の効果（資格）
教員免許取得上選択必修
【免許法施行規則に定める科目区分】
教育実習

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】**　教育実習特別個人指導（４月）
【内容・方法　等】　教育実習予定者のうち、教育実習の履修に特に努力を要すると判断される履修者について行う。
【事前・事後学習課題】　個別の呼び出しに速やかに応じること
第２回　**【授業テーマ】**　教育実習事前指導（４月～５月）
【内容・方法　等】　教育実習上の心がまえ・諸注意
教育実習ビデオの視聴
先輩教師の体験談
教師の仕事と責任について講義・討論
【事前・事後学習課題】　申請書類等の記入・提出
第３回　**【授業テーマ】**　教育実習個人指導（４月～５月）
【内容・方法　等】　教科書、教材、指導案の作成などについて、個別の質問にこたえ指導する。
【事前・事後学習課題】　教材・学習指導案を作成して提出（必要な者のみ）
第４回　**【授業テーマ】**　前期教育実習開始（５月～６月）
【内容・方法　等】　実習校において授業を行なったり、クラブ活動の指導を担当するなど、教育活動に携わる。
実習中、本学教員による訪問指導を行う。
【事前・事後学習課題】　教材研究、学習指導案作成
第５回　**【授業テーマ】**　教育実習体験発表会（６月～７月）
【内容・方法　等】　教育実習終了後、体験発表を行う。発表方法の詳細は、掲示による。
【事前・事後学習課題】　体験発表要旨の提出
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出
第６回　**【授業テーマ】**　後期教育実習開始（９月～１０月）
【内容・方法　等】　後期教育実習予定者の実習を行う。実習中、本学教員による訪問指導を行う。
【事前・事後学習課題】　教材研究、学習指導案作成
第７回　**【授業テーマ】**　教育実習体験発表会（１０月）
【内容・方法　等】　後期教育実習生について、体験発表を行う。発表方法の詳細については、掲示による。
【事前・事後学習課題】　体験発表要旨の提出
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出
第８回　**【授業テーマ】**　教育実習総括講義（１０月）
【内容・方法　等】　教育実習のまとめとして、その意義を確認する。
【事前・事後学習課題】　教育実習記録の提出
第９回　**【授業テーマ】**　教育実践指導（１月～３月）
【内容・方法　等】　教員採用選考試験合格者に対する指導を行う。
【事前・事後学習課題】　指示された課題
第10回　**【授業テーマ】**　――――
【内容・方法　等】　――――
【事前・事後学習課題】　――――
第11回　**【授業テーマ】**　――――

257-275_150_法学部-1510_法律学科-06_教職科目_本文.indd　271　2014/08/21　14:46:04

【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第12回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第13回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第14回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第15回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第16回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第17回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第18回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第19回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第20回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第21回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第22回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第23回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第24回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第25回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第26回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第27回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第28回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第29回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第30回 【授業テーマ】 ――――

評価方法（基準）

事前指導ならびに事後指導への積極的参加、事後指導における体験発表、実習校での実習成績、及び各種提出物による総合評価を行う。いずれか不十分なものがある場合は、単位を認定しない。

教材等

教科書…摂南大学『教育実習記録』
参考書…中学校・高等学校『学習指導要領』およびその『解説』ほか

学生へのメッセージ

『学生便覧』『教職課程履修ガイド』を必読、その指示を十分に理解しておくこと。

関連科目

教職関連科目全般

担当者の研究室等

７号館３階

備考

中学校教諭免許状取得希望者には、別途、介護等体験が義務化されている。

教育実習ⅡB
Teaching Practice Ⅱ B

吉　田　佐治子（ヨシダ　サチコ）
村　田　俊　明（ムラタ　トシアキ）
朝　日　素　明（アサヒ　モトアキ）
大　野　順　子（オオノ　ジュンコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	教免取得上選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

「教育実習ⅡB」は、２週間以上の実習を行うもので、授業研究を主体とした実習である。（１）教育実習校において、教科、特別活動、生徒指導などの実習を行う。大学において事前及び事後の指導を行う。（２）事前指導では、教育実習講義と個別指導を行う。（３）教育実習は所定期間内に実習校の指導教諭の下で行う。（４）事後指導では、教育実習体験報告及び反省を行い、指導のまとめとして、総括を行う。

これらにより学生は、学校教育の実情を理解し、教職に対する自らの適性に気づき、適切な進路を選択できるようになる。

授業方法と留意点

（１）教育実習校での実習を行う。（２）大学での事前・事後指導は「教育実習Ⅱ」「教育実習Ⅲ」と合同で行う。（３）事前指導等への積極的参加をもって実習を許可する。実習を許可されない場合があることに留意すること。

科目学習の効果（資格）

教員免許取得上選択必修
【免許法施行規則に定める科目区分】
教育実習

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** 教育実習特別個人指導（４月）
【内容・方法　等】 教育実習予定者のうち、教育実習の履修に特に努力を要すると判断される履修者について行う。
【事前・事後学習課題】 個別の呼び出しに速やかに応じること
第２回 **【授業テーマ】** 教育実習事前指導（４月～５月）
【内容・方法　等】 教育実習上の心がまえ・諸注意
教育実習ビデオの視聴
先輩教師の体験談
教師の仕事と責任について講義・討論
【事前・事後学習課題】 申請書類等の記入・提出
第３回 **【授業テーマ】** 教育実習個人指導（４月～５月）
【内容・方法　等】 教科書、教材、指導案の作成などについて、個別の質問にこたえ指導する。
【事前・事後学習課題】 教材・学習指導案を作成して提出（必要な者のみ）
第４回 **【授業テーマ】** 前期教育実習開始（５月～６月）
【内容・方法　等】 実習校において授業を行なったり、クラブ活動の指導を担当するなど、教育活動に携わる。
実習中、本学教員による訪問指導を行う。
【事前・事後学習課題】 教材研究、学習指導案作成
第５回 **【授業テーマ】** 教育実習体験発表会（６月～７月）
【内容・方法　等】 教育実習終了後、体験発表を行う。発表方法の詳細は、掲示による。
【事前・事後学習課題】 体験発表要旨の提出
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出
第６回 **【授業テーマ】** 後期教育実習開始（９月～10月）
【内容・方法　等】 後期教育実習予定者の実習を行う。実習中、本学教員による訪問指導を行う。
【事前・事後学習課題】 教材研究、学習指導案作成
第７回 **【授業テーマ】** 教育実習体験発表会（１０月）
【内容・方法　等】 後期教育実習生について、体験発表を行う。発表方法の詳細については、掲示による。
【事前・事後学習課題】 体験発表要旨の提出
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出
第８回 **【授業テーマ】** 教育実習総括講義（１０月）
【内容・方法　等】 教育実習のまとめとして、その意義を確認する。
【事前・事後学習課題】 教育実習記録の提出
第９回 **【授業テーマ】** 教育実践指導（１月～３月）
【内容・方法　等】 教員採用選考試験合格者に対する指導を行う。
【事前・事後学習課題】 指示された課題
第10回 **【授業テーマ】** ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第11回 **【授業テーマ】** ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第12回 **【授業テーマ】** ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――

257-275_150_法学部-1510_法律学科-06_教職科目_本文.indd　272　2014/08/21　14:46:04

第13回　【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第14回　【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第15回　【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第16回　【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第17回　【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第18回　【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第19回　【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第20回　【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第21回　【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第22回　【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第23回　【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第24回　【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第25回　【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第26回　【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第27回　【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第28回　【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第29回　【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第30回　【授業テーマ】 ――――

評価方法（基準）

事前指導ならびに事後指導への積極的参加、事後指導における体験発表、実習校での実習成績、及び各種提出物による総合評価を行う。いずれか不十分なものがある場合は、単位を認定しない。

教材等

教科書…摂南大学『教育実習記録』
参考書…中学校・高等学校『学習指導要領』およびその『解説』ほか

学生へのメッセージ

『学生便覧』『教職課程履修ガイド』を必読、その指示を十分に理解しておくこと。

関連科目

教職関連科目全般

担当者の研究室等

７号館３階

備考

（１）中学校教諭一種免許状の場合、「教育実習ⅡA」「教育実習ⅡB」「教育実習Ⅲ」から４単位以上、高校教諭一種免許状の場合、「教育実習ⅡB」「教育実習Ⅲ」から２単位以上修得することが必要。（２）中学校教諭免許状取得希望者には、別途、介護等体験が義務化されている。

教育実習III
Teaching Practice III

吉　田　佐治子（ヨシダ　サチコ）
村　田　俊　明（ムラタ　トシアキ）
朝　日　素　明（アサヒ　モトアキ）
大　野　順　子（オオノ　ジュンコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	教免取得上選択必修(中免は必修)	4

授業概要・目的・到達目標

「教育実習Ⅲ」では、教育実習校において４週間以上の実習を行う。（１）教育実習校において、教科、特別活動、生徒指導などの実習を行う。大学において事前及び事後の指導を行う。（２）事前指導では、教育実習講義と個別指導を行う。（３）教育実習は所定期間内に実習校の指導教諭の下で行う。（４）事後指導では、教育実習体験報告及び反省を行い、指導のまとめとして、総括を行う。
これらにより学生は、学校教育の実情を理解し、教職に対する自らの適性に気づき、適切な進路を選択できるようになる。

授業方法と留意点

（１）教育実習校での実習を行う。（２）大学での事前・事後指導は「教育実習Ⅱ」「教育実習ⅡB」と合同で行う。（３）事前指導等への積極的参加をもって実習を許可する。実習を許可されない場合があることに留意すること。

科目学習の効果（資格）

教員免許取得上選択必修
【免許法施行規則に定める科目区分】
教育実習

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】 教育実習特別個人指導（４月）
【内容・方法　等】 教育実習予定者のうち、教育実習の履修に特に努力を要すると判断される履修者について行う。
【事前・事後学習課題】 個別の呼び出しに速やかに応じること
第２回　【授業テーマ】 教育実習事前指導（４月～５月）
【内容・方法　等】 教育実習上の心がまえ・諸注意
教育実習ビデオの視聴
先輩教師の体験談
教師の仕事と責任について講義・討論
【事前・事後学習課題】 申請書類等の記入・提出
第３回　【授業テーマ】 教育実習個人指導（４月～５月）
【内容・方法　等】 教科書、教材、指導案の作成などについて、個別の質問にこたえ指導する。
【事前・事後学習課題】 教材・学習指導案を作成して提出（必要な者のみ）
第４回　【授業テーマ】 前期教育実習開始（５月～６月）
【内容・方法　等】 実習校において授業を行なったり、クラブ活動の指導を担当するなど、教育活動に携わる。
実習中、本学教員による訪問指導を行う。
【事前・事後学習課題】 教材研究、学習指導案作成
第５回　【授業テーマ】 教育実習体験発表会（６月～７月）
【内容・方法　等】 教育実習終了後、体験発表を行う。発表方法の詳細は、掲示による。
【事前・事後学習課題】 体験発表要旨の提出
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出
第６回　【授業テーマ】 後期教育実習開始（９月～１０月）
【内容・方法　等】 後期教育実習予定者の実習を行う。実習中、本学教員による訪問指導を行う。
【事前・事後学習課題】 教材研究、学習指導案作成
第７回　【授業テーマ】 教育実習体験発表会（１０月）
【内容・方法　等】 後期教育実習生について、体験発表を行う。発表方法の詳細については、掲示による。
【事前・事後学習課題】 体験発表要旨の提出
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出
第８回　【授業テーマ】 教育実習総括講義（１０月）
【内容・方法　等】 教育実習のまとめとして、その意義を確認する。
【事前・事後学習課題】 教育実習記録の提出
第９回　【授業テーマ】 教育実践指導（１月～３月）
【内容・方法　等】 教員採用選考試験合格者に対する指導を行う。
【事前・事後学習課題】 指示された課題
第10回　【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第11回　【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第12回　【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――

257-275_150_法学部-1510_法律学科-06_教職科目_本文.indd　273　2014/08/21　14:46:04

【事前・事後学習課題】 ――――
第13回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第14回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第15回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第16回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第17回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第18回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第19回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第20回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第21回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第22回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第23回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第24回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第25回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第26回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第27回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第28回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第29回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第30回 【授業テーマ】 ――――

評価方法（基準）

事前指導ならびに事後指導への積極的参加、事後指導における体験発表、実習校での実習成績、及び各種提出物による総合評価を行う。いずれか不十分なものがある場合は、単位を認定しない。

教材等

教科書…摂南大学『教育実習記録』
参考書…中学校・高等学校『学習指導要領』およびその『解説』ほか

学生へのメッセージ

『学生便覧』『教職課程履修ガイド』を必読、その指示を十分に理解しておくこと。

関連科目

教職関連科目全般

担当者の研究室等

７号館３階

備考

中学校教諭免許状取得希望者には、別途、介護等体験が義務化されている。

教職実践演習（中・高）
Practicum in Prospective Teachers

吉　田　佐治子（ヨシダ　サチコ）
村　田　俊　明（ムラタ　トシアキ）
朝　日　素　明（アサヒ　モトアキ）
大　野　順　子（オオノ　ジュンコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		後期	教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標

○教育実習を終え、各自の問題点を明確化しながら今後の自らの実践課題をグループワーク等を通して再認識し、教員としての適性や実践的な力量について確認する。
○中学・高校での現場体験学習を基に、現職・元教員、教育委員会指導主事等と研究交流し、生徒理解を通して生徒指導・進路指導ができることを確認する。
○教科に関する科目の担当者や科目の指導主事・現職教員と連携協議し、専門科目・教職科目の学習を深め、授業実践ができることを確認する。
○教員としての適性や力量、特に「授業を創造する意欲と能力」「対人関係能力と社会性・協調性」「使命感・責任感」「学校教育活動におけるリーダーシップ」等を有していることを確認する。

授業方法と留意点

○教職課程の専任教員４名による全体指導と、各専任教員毎のグループ学習を中心に進める。１グループは15～20名。さらに、長年の実践経験を有する教員から実践を通して見えてくる学校現場の諸課題を知り、自己の実習経験と重ねる中で、新たな課題を探り、かつ全体でも共有していく。
○大学の教科に関する科目の担当者・指導主事・現職教員と連絡協議し、教科指導・生徒指導・進路指導等ができることを確認していく。

科目学習の効果（資格）

○教職実践演習は、当該演習を履修する者の教科に関する科目及び教職に関する科目（教職実践演習を除く。）の履修状況を踏まえ、教員として必要な知識技能を修得したことを確認するもの。
○2013年度から４年次後期の教職課程の必修科目。免許資格取得と同時に即学校現場で生かせる実践力を身に付けることが求められる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】「教職実践演習」のガイダンス
【内容・方法　等】・科目の目的、内容方法についての確認
・各自の教育実習後の課題についての確認
・３回以降のグループ学習の各課題の確認
【事前・事後学習課題】・教育実習ノートの点検と再確認

第２回 【授業テーマ】専攻科目に於ける実践上の課題
【内容・方法　等】・専攻科目ごとに分かれ、その科目の専門分野に関する個々の課題について教科担当教員が指導。
【事前・事後学習課題】・専攻教科における分野ごとの課題を整理

第３回 【授業テーマ】専攻科目に於ける実践上の課題
【内容・方法　等】・専攻科目ごとに分かれ、その科目の専門分野と実践上の課題について、教科担当教員が指導。その上で、研究交流する。
【事前・事後学習課題】・専攻教科における分野ごとの課題を整理

第４回 【授業テーマ】生徒指導・進路指導(中学校現場での実地学習)
【内容・方法　等】地元市教委との連携協力を基に、中学校現場を全体で参観し、生徒指導・進路指導上の実践課題を知る。
【事前・事後学習課題】中学生における集団づくりと個別指導(生徒指導・進路指導のあり方)についてレポートにまとめる

第５回 【授業テーマ】生徒指導・進路指導(中学校現場での実地学習)
【内容・方法　等】地元市教委との連携協力を基に、中学校現場をグループ毎に参観し、生徒指導上の実践課題を知る。その上で、「生徒理解」を目指した研究協議を行う。
【事前・事後学習課題】中学生における集団づくりと個別指導(生徒指導のあり方)についてレポートにまとめる

第６回 【授業テーマ】生徒指導・進路指導(中学校現場での実地学習)
【内容・方法　等】地元市教委との連携協力を基に、中学校現場をグループ毎に参観し、進路指導上の実践課題を知る。その上で研究協議を行う。
【事前・事後学習課題】中学生における集団づくりと個別指導(進路指導のあり方)についてレポートにまとめる

第７回 【授業テーマ】教育格差：子どもの貧困と学力格差
【内容・方法　等】近年の経済状況が子どもたちの生活、学力にどのような影響をもたらしているのか。
また、その結果子どもたちのあいだで広がったとされる教育格差は何を意味するのかについて講義、およびディスカッションを通して理解する。
そして、こうした社会状況に学校教育は、教師はどのように対応していく必要があるのかについても議論する。

257-275_150_法学部-1510_法律学科-06_教職科目_本文.indd　274　2014/08/21　14:46:04

【事前・事後学習課題】 第一回目の授業で配布する資料を読み、Ａ４サイズの用紙１枚（1200字程度）にその要約と感想を書き、講義当日に持参する。

第８回 【授業テーマ】 学校の中のマイノリティ：外国にルーツをもつ子どもたち

【内容・方法　等】 1990年代以降、日本の入国管理政策の転換により、多くの外国人が家族とともに渡日するようになった。
それに伴い多くの外国人の子どもたちは日本の学校へ通うことになったが、彼らは日本語の問題や日本特有の学校文化など様々な問題に直面することとなった。
ここでは外国にルーツをもつ子どもたちの視点から日本の学校教育制度について講義、およびディスカッションを通して考えていく。

【事前・事後学習課題】 第一回目の授業で配布する資料を読み、Ａ４サイズの用紙１枚（1200字程度）にその要約と感想を書き、講義当日に持参する。

第９回 【授業テーマ】 カウンセリングマインドと生徒対応

【内容・方法　等】 カウンセリングの技法を生徒への対応,保護者への対応に応用する
(ロールプレイ)

【事前・事後学習課題】 （事前）カウンセリングマインドについての復習
（事後）小レポート

第10回 【授業テーマ】 「自分」を知る

【内容・方法　等】 教育職における「自己を知る」ことの重要性を知り，そのための１方法としてのエゴグラム作成を行う

【事前・事後学習課題】 （事前）「自分」について考える
（事後）小レポート

第11回 【授業テーマ】 いじめの現状

【内容・方法　等】 問題行動のなかから特に「いじめ」を取り上げ、その多様性、メカニズム、深刻さを理解する。
配布資料の事前学習に基づき、グループワークを行う。

【事前・事後学習課題】 (事前)配布資料の熟読
(事後)小レポートの提出

第12回 【授業テーマ】 いじめ問題への取り組み

【内容・方法　等】 日常の些細な出来事がどのように「いじめ」に発展するのか、教師がいじめを見抜くのはどうして困難なのかを考える。
配布資料の事前学習に基づき、グループワークを行う。

【事前・事後学習課題】 (事前)配布資料の熟読
(事後)小レポートの提出

第13回 【授業テーマ】 教育実習と「道徳」の授業について―課題の確認―

【内容・方法　等】 教育実習体験発表レジュメ等に基づく発表と討論
―教育実習における「道徳」指導について考えたことを話し合う―

【事前・事後学習課題】 事前：教育実習における「道徳」指導についての経験をまとめてくる。
事後：話し合いから学んだことをまとめる。

第14回 【授業テーマ】 「道徳」の模擬授業と授業検討
―「道徳」授業のポイント確認―

【内容・方法　等】 受講生による模擬授業と全体討論を通して、「道徳」の授業を検討する。

【事前・事後学習課題】 事前：代表者による模擬授業（３０分）の実施準備を行う。
事後：模擬授業の検討・評価を通して、「道徳」の授業観をもつ。

第15回 【授業テーマ】 授業改革と人権教育(元校長との研究交流)
総括レポートの作成

【内容・方法　等】 ・学力格差克服へ向けた中学校の授業実践に学ぶ
・大阪の人権教育は如何に進められてきたかについて知る
・中・高等学校が抱えている教育課題を踏まえ、自らの今後の課題をまとめる。

【事前・事後学習課題】 レポート作成

評価方法（基準）

教職教室教員４名によるグループ学習が中心となる。それ故、それぞれのグループでのレポート評価を総合し評価する。

教材等

教科書…「教育実習記録」(摂南大学)
教育実習で使用した各教科書・教材

参考書…資料等は授業中に適宜配布

学生へのメッセージ

教育実習を終えた時点で各自が自らの実習を省察すること。その中で、問題点を見出し、諸課題を自ら設定し、この科目を軸にしながら、全体講義やグループワークを通して課題克服を目指しながら、さらなる実践的力量を身に付けること。

関連科目

全ての教職課程必修科目、取得予定免許状に関わる各教科毎の必修科目

担当者の研究室等

教職教室(7号館3階)
吉田佐治子、村田俊明、朝日素明、大野順子

257-275_150_法学部-1510_法律学科-06_教職科目_本文.indd 275 2014/08/21 14:46:04